

新宿区

市谷本村町遺跡

—市ヶ谷警察総合庁舎の整備に伴う埋蔵文化財の調査（A区～C区）—

(第2分冊)



2023・11

東京都埋蔵文化財センター

新宿区

市谷本村町遺跡

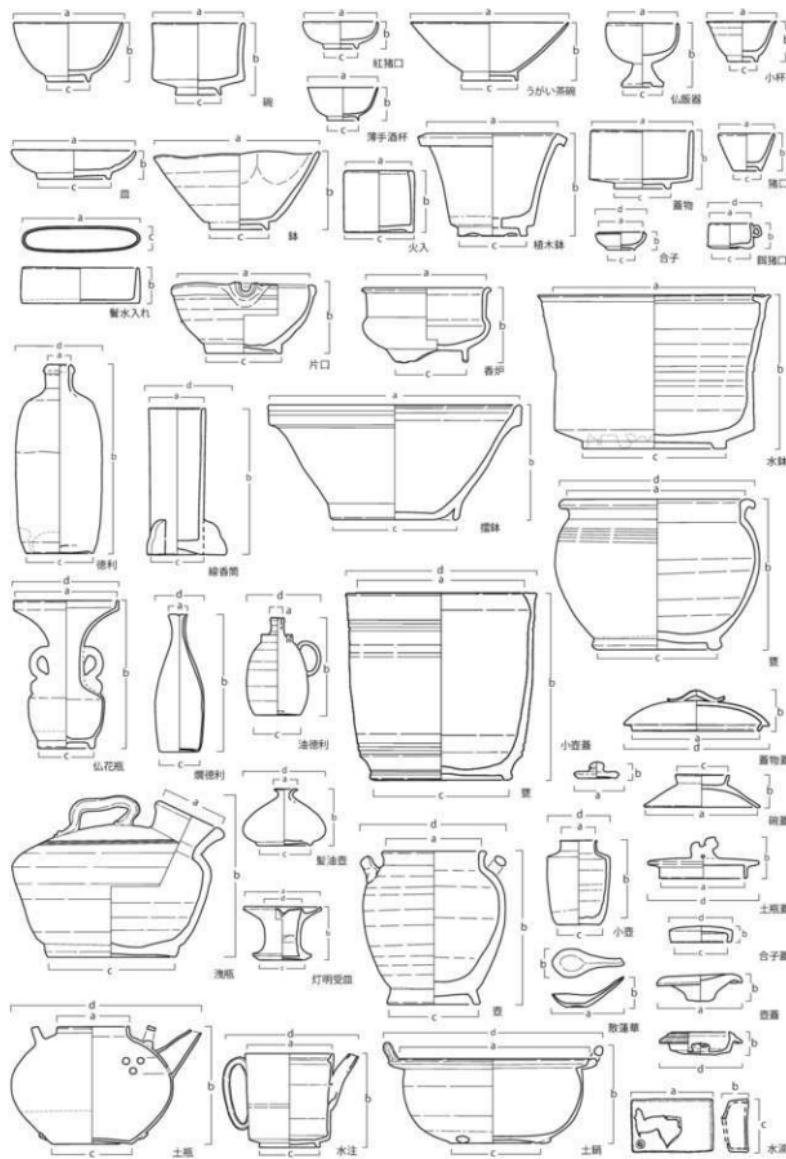
—市ヶ谷警察総合庁舎の整備に伴う埋蔵文化財の調査（A区～C区）—

(第2分冊)

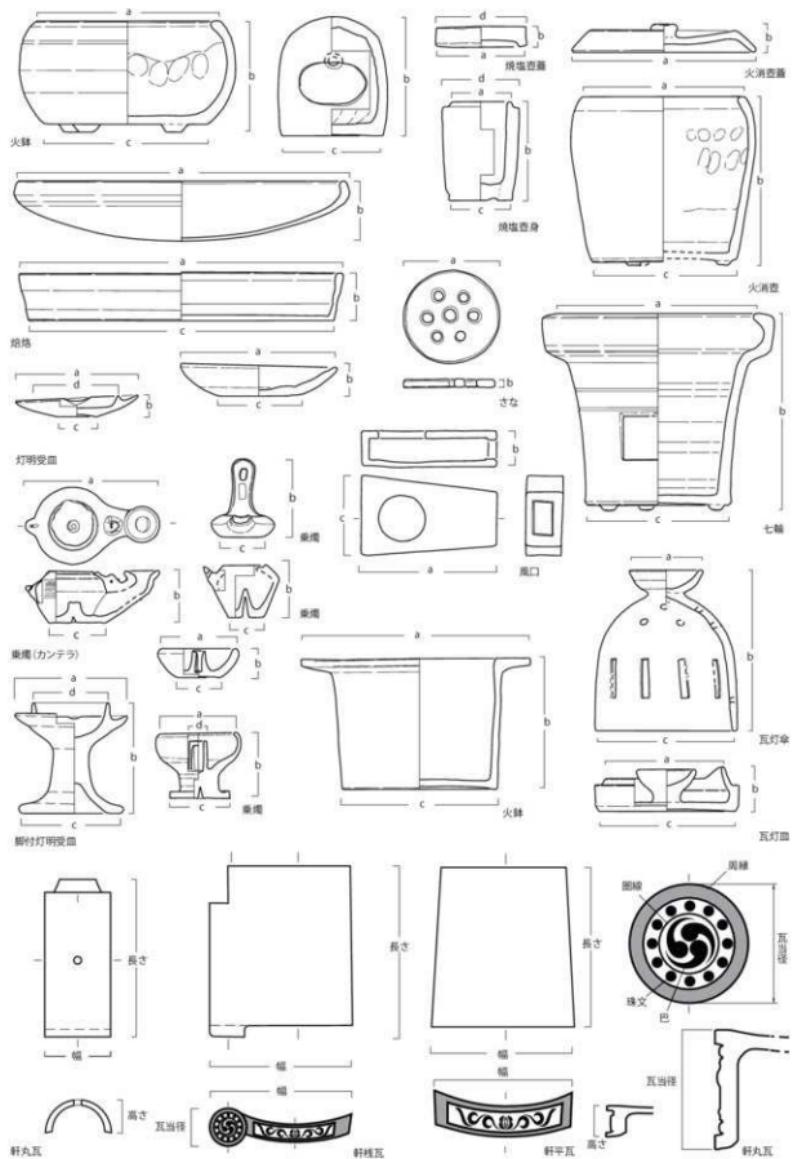


2023・11

東京都埋蔵文化財センター



陶磁器・土器・瓦計測部位凡例図①



陶磁器・土器・瓦計測部位凡例図②

目 次 (第2分冊)

凡例

目次

V 出土遺物

1 中世以前の遺物	1
2 近世以降の遺物	5
(1) 磁陶器・土器	5
A 主要遺構の出土資料	5
B 文字資料	259
(2) 瓦	288
(3) 陶磁器・土器・瓦軒用品	318
(4) 土製品・ミニチュア	319
(5) 木製品	350
(6) 石製品	383
(7) 金属製品	411
(8) 銭貨	435
(9) 脊角貝製品	445
(10) ガラス製品	451
(11) 近代以降の陶磁器	456
(12) レンガ	463
(13) 近代以降の骨・樹脂製品	465
(14) 近代以降のガラス製品	467
VI 文献史料の調査	473
VII 自然科学分析	
1 新宿区市谷本村町遺跡のローム層分析	500
2 B区 588号遺構出土船載陶磁器胎土の元素組成分析	510
3 観石材の実体顕微鏡画像と元素組成分析	515
4 市谷本村町遺跡 C536号遺構から出土した木製品の樹種	520
VIII 調査の成果と課題	531
引用・参考文献	538
報告書抄録	

挿 図 目 次

第 1 図 中世以前の遺物 (1) (1/3)	2	第 53 図 近世の陶磁器・土器 (51) (1/3)	58
第 2 図 中世以前の遺物 (2) (1/3)	3	第 54 図 近世の陶磁器・土器 (52) (1/3)	59
第 3 図 近世の陶磁器・土器 (1) (1/3)	8	第 55 国 近世の陶磁器・土器 (53) (1/3)	60
第 4 国 近世の陶磁器・土器 (2) (1/3)	9	第 56 国 近世の陶磁器・土器 (54) (1/3)	61
第 5 国 近世の陶磁器・土器 (3) (1/3)	10	第 57 国 近世の陶磁器・土器 (55) (1/3)	62
第 6 国 近世の陶磁器・土器 (4) (1/3)	11	第 58 国 近世の陶磁器・土器 (56) (1/3)	63
第 7 国 近世の陶磁器・土器 (5) (1/3・1/4)	12	第 59 国 近世の陶磁器・土器 (57) (1/3)	64
第 8 国 近世の陶磁器・土器 (6) (1/3)	13	第 60 国 近世の陶磁器・土器 (58) (1/3・1/4)	65
第 9 国 近世の陶磁器・土器 (7) (1/3)	14	第 61 国 近世の陶磁器・土器 (59) (1/3・1/4)	66
第 10 国 近世の陶磁器・土器 (8) (1/3)	15	第 62 国 近世の陶磁器・土器 (60) (1/3・1/4)	67
第 11 国 近世の陶磁器・土器 (9) (1/3)	16	第 63 国 近世の陶磁器・土器 (61) (1/3)	68
第 12 国 近世の陶磁器・土器 (10) (1/3)	17	第 64 国 近世の陶磁器・土器 (62) (1/3)	69
第 13 国 近世の陶磁器・土器 (11) (1/3・1/4)	18	第 65 国 近世の陶磁器・土器 (63) (1/3)	70
第 14 国 近世の陶磁器・土器 (12) (1/3・1/4)	19	第 66 国 近世の陶磁器・土器 (64) (1/3)	71
第 15 国 近世の陶磁器・土器 (13) (1/3・1/4)	20	第 67 国 近世の陶磁器・土器 (65) (1/3)	72
第 16 国 近世の陶磁器・土器 (14) (1/3)	21	第 68 国 近世の陶磁器・土器 (66) (1/3)	73
第 17 国 近世の陶磁器・土器 (15) (1/3)	22	第 69 国 近世の陶磁器・土器 (67) (1/3)	74
第 18 国 近世の陶磁器・土器 (16) (1/3)	23	第 70 国 近世の陶磁器・土器 (68) (1/3)	75
第 19 国 近世の陶磁器・土器 (17) (1/3)	24	第 71 国 近世の陶磁器・土器 (69) (1/3)	76
第 20 国 近世の陶磁器・土器 (18) (1/3・1/4)	25	第 72 国 近世の陶磁器・土器 (70) (1/3)	77
第 21 国 近世の陶磁器・土器 (19) (1/3・1/4・1/6)	26	第 73 国 近世の陶磁器・土器 (71) (1/3)	78
第 22 国 近世の陶磁器・土器 (20) (1/3)	27	第 74 国 近世の陶磁器・土器 (72) (1/3)	79
第 23 国 近世の陶磁器・土器 (21) (1/3)	28	第 75 国 近世の陶磁器・土器 (73) (1/3)	80
第 24 国 近世の陶磁器・土器 (22) (1/3)	29	第 76 国 近世の陶磁器・土器 (74) (1/3・1/4)	81
第 25 国 近世の陶磁器・土器 (23)	30	第 77 国 近世の陶磁器・土器 (75) (1/3)	82
第 26 国 近世の陶磁器・土器 (24) (1/3)	31	第 78 国 近世の陶磁器・土器 (76) (1/3)	83
第 27 国 近世の陶磁器・土器 (25) (1/3・1/4)	32	第 79 国 近世の陶磁器・土器 (77) (1/3)	84
第 28 国 近世の陶磁器・土器 (26) (1/3)	33	第 80 国 近世の陶磁器・土器 (78) (1/3・1/4・1/6)	85
第 29 国 近世の陶磁器・土器 (27) (1/3)	34	第 81 国 近世の陶磁器・土器 (79) (1/3)	86
第 30 国 近世の陶磁器・土器 (28) (1/3)	35	第 82 国 近世の陶磁器・土器 (80) (1/3・1/4)	87
第 31 国 近世の陶磁器・土器 (29) (1/3)	36	第 83 国 近世の陶磁器・土器 (81) (1/3)	88
第 32 国 近世の陶磁器・土器 (30) (1/3)	37	第 84 国 近世の陶磁器・土器 (82) (1/3)	89
第 33 国 近世の陶磁器・土器 (31) (1/3)	38	第 85 国 近世の陶磁器・土器 (83) (1/3)	90
第 34 国 近世の陶磁器・土器 (32) (1/3)	39	第 86 国 近世の陶磁器・土器 (84) (1/3)	91
第 35 国 近世の陶磁器・土器 (33) (1/3)	40	第 87 国 近世の陶磁器・土器 (85) (1/3)	92
第 36 国 近世の陶磁器・土器 (34) (1/3)	41	第 88 国 近世の陶磁器・土器 (86) (1/3)	93
第 37 国 近世の陶磁器・土器 (35) (1/3)	42	第 89 国 近世の陶磁器・土器 (87) (1/3)	94
第 38 国 近世の陶磁器・土器 (36) (1/3)	43	第 90 国 近世の陶磁器・土器 (88) (1/3)	95
第 39 国 近世の陶磁器・土器 (37) (1/3・1/6)	44	第 91 国 近世の陶磁器・土器 (89) (1/3・1/4)	96
第 40 国 近世の陶磁器・土器 (38) (1/3)	45	第 92 国 近世の陶磁器・土器 (90) (1/3)	97
第 41 国 近世の陶磁器・土器 (39) (1/3)	46	第 93 国 近世の陶磁器・土器 (91) (1/3)	98
第 42 国 近世の陶磁器・土器 (40) (1/3)	47	第 94 国 近世の陶磁器・土器 (92) (1/3)	99
第 43 国 近世の陶磁器・土器 (41) (1/3)	48	第 95 国 近世の陶磁器・土器 (93) (1/3・1/6)	100
第 44 国 近世の陶磁器・土器 (42) (1/3)	49	第 96 国 近世の陶磁器・土器 (94) (1/3)	101
第 45 国 近世の陶磁器・土器 (43) (1/3)	50	第 97 国 近世の陶磁器・土器 (95) (1/3)	102
第 46 国 近世の陶磁器・土器 (44) (1/3・1/4)	51	第 98 国 近世の陶磁器・土器 (96) (1/3)	103
第 47 国 近世の陶磁器・土器 (45) (1/3)	52	第 99 国 近世の陶磁器・土器 (97) (1/3)	104
第 48 国 近世の陶磁器・土器 (46) (1/3)	53	第 100 国 近世の陶磁器・土器 (98) (1/3)	105
第 49 国 近世の陶磁器・土器 (47) (1/3)	54	第 101 国 近世の陶磁器・土器 (99) (1/3)	106
第 50 国 近世の陶磁器・土器 (48) (1/3)	55	第 102 国 近世の陶磁器・土器 (100) (1/3)	107
第 51 国 近世の陶磁器・土器 (49) (1/3)	56	第 103 国 近世の陶磁器・土器 (101) (1/3)	111
第 52 国 近世の陶磁器・土器 (50) (1/3)	57	第 104 国 近世の陶磁器・土器 (102) (1/3)	112

第217図	瓦 (13) (1/4)	304	第273図	木製品 (23) (1/3・1/4・1/8)	373
第218図	瓦 (14) (1/4)	305	第274図	木製品 (24) (1/3・1/4・1/6)	374
第219図	瓦 (15) (1/4)	306	第275図	木製品 (25) (1/3・1/4)	375
第220図	瓦 (16) (1/4)	307	第276図	石製品 (1) (1/3)	384
第221図	瓦 (17) (1/4)	308	第277図	石製品 (2) (1/2・1/3・1/8)	385
第222図	瓦 (18) (1/4)	309	第278図	石製品 (3) (1/3)	386
第223図	瓦 (19) (1/4)	310	第279図	石製品 (4) (1/2・1/3)	387
第224図	B・C区出土瓦刻印 (1) (1/1)	311	第280図	石製品 (5) (1/2・1/3)	388
第225図	B・C区出土瓦刻印 (2) (1/1)	312	第281図	石製品 (6) (1/2・1/3・1/8)	389
第226図	陶磁器・土器転用品 (1/2・1/3)	317	第282図	石製品 (7) (1/3)	390
第227図	土製品・ミニチュア (1) (1/2)	320	第283図	石製品 (8) (1/2・1/3)	391
第228図	土製品・ミニチュア (2) (1/2)	321	第284図	石製品 (9) (1/2・1/3)	392
第229図	土製品・ミニチュア (3) (1/2)	322	第285図	石製品 (10) (1/2・1/3)	393
第230図	土製品・ミニチュア (4) (1/2)	323	第286図	石製品 (11) (1/2・1/3)	394
第231図	土製品・ミニチュア (5) (1/2)	324	第287図	石製品 (12) (1/2・1/3)	395
第232図	土製品・ミニチュア (6) (1/2)	325	第288図	石製品 (13) (1/2・1/3・1/8)	396
第233図	土製品・ミニチュア (7) (1/2・1/3)	326	第289図	石製品 (14) (1/3・1/3・1/8)	397
第234図	土製品・ミニチュア (8) (1/2)	327	第290図	石製品 (15) (1/2・1/3・1/8)	398
第235図	土製品・ミニチュア (9) (1/2)	328	第291図	石製品 (16) (1/3)	399
第236図	土製品・ミニチュア (10) (1/2)	329	第292図	石製品 (17) (1/2・1/3・1/8)	400
第237図	土製品・ミニチュア (11) (1/2)	330	第293図	石製品 (18) (1/3)	401
第238図	土製品・ミニチュア (12) (1/2)	331	第294図	石製品 (19) (1/3)	402
第239図	土製品・ミニチュア (13) (1/2)	332	第295図	石製品 (20) (1/2・1/3・1/8)	403
第240図	土製品・ミニチュア (14) (1/2)	333	第296図	金属製品 (煙管) (1) (1/2)	412
第241図	土製品・ミニチュア (15) (1/2・1/4)	334	第297図	金属製品 (煙管) (2) (1/2)	413
第242図	土製品・ミニチュア (16) (1/2)	335	第298図	金属製品 (煙管) (3) (1/2)	414
第243図	土製品・ミニチュア (17) (1/2)	336	第299図	金属製品 (煙管) (4) (1/2)	415
第244図	土製品・ミニチュア (18) (1/2)	337	第300図	金属製品 (その他) (1) (2/3・1/2)	419
第245図	土製品・ミニチュア (19) (1/2)	338	第301図	金属製品 (その他) (2) (1/2)	420
第246図	土製品・ミニチュア (20) (1/2)	339	第302図	金属製品 (その他) (3) (2/3・1/2・1/3)	421
第247図	土製品・ミニチュア (21) (1/2)	340	第303図	金属製品 (その他) (4) (1/2)	422
第248図	土製品・ミニチュア (22) (1/2)	341	第304図	金属製品 (その他) (5) (2/3・1/2)	423
第249図	土製品・ミニチュア (23) (1/2)	342	第305図	金属製品 (その他) (6) (2/3・1/2・1/3)	424
第250図	土製品・ミニチュア (24) (1/2・1/4)	343	第306図	金属製品 (その他) (7) (1/2・1/3)	425
第251図	木製品 (1) (1/3・1/4・1/5)	351	第307図	金属製品 (その他) (8) (1/2・1/3)	426
第252図	木製品 (2) (1/3)	352	第308図	金属製品 (その他) (9) (1/2・1/3)	427
第253図	木製品 (3) (1/3・1/4・1/5)	353	第309図	金属製品 (その他) (10) (2/3・1/2)	428
第254図	木製品 (4) (1/5)	354	第310図	金属製品 (その他) (11) (1/2)	429
第255図	木製品 (5) (1/5)	355	第311図	銭貨 (1) (2/3)	436
第256図	木製品 (6) (1/5)	356	第312図	銭貨 (2) (2/3)	437
第257図	木製品 (7) (1/5)	357	第313図	銭貨 (3) (2/3)	438
第258図	木製品 (8) (1/4・1/5・1/6)	358	第314図	銭貨 (4) (2/3)	439
第259図	木製品 (9) (1/3・1/4・1/6)	359	第315図	銭貨 (5) (2/3)	440
第260図	木製品 (10) (1/3)	360	第316図	骨角貝製品 (1) (1/2)	446
第261図	木製品 (11) (1/3)	361	第317図	骨角貝製品 (2) (1/2)	447
第262図	木製品 (12) (1/3・1/4・1/6)	362	第318図	骨角貝製品 (3) (1/2)	448
第263図	木製品 (13) (1/3・1/4)	363	第319図	骨角貝製品 (4) (1/2)	449
第264図	木製品 (14) (1/3・1/4・1/6)	364	第320図	ガラス製品 (1) (1/2)	452
第265図	木製品 (15) (1/3・1/4・1/6)	365	第321図	ガラス製品 (2) (1/2)	453
第266図	木製品 (16) (1/6)	366	第322図	ガラス製品 (3) (1/2)	454
第267図	木製品 (17) (1/6)	367	第323図	近代以降の陶磁器 (1) (1/2・1/3)	457
第268図	木製品 (18) (1/4)	368	第324図	近代以降の陶磁器 (2) (1/3)	458
第269図	木製品 (19) (1/4)	369	第325図	近代以降の陶磁器 (3) (1/2・1/3)	459
第270図	木製品 (20) (1/4)	370	第326図	近代以降の陶磁器 (4) (1/2・1/3)	460
第271図	木製品 (21) (1/4)	371	第327図	近代以降の陶磁器 文字資料 (縮尺任意)	461
第272図	木製品 (22) (1/4・1/6)	372	第328図	レンガ (1/2・1/3・1/6)	464

第 329 図	近代以降の骨・樹脂製品 (1/3)	466	軽鉱物組成	505	
第 330 図	近代以降のガラス製品 (1) (1/3)	469	第 346 図	C4 区調査区北壁の重鉱物組成および軽鉱物 組成	505
第 331 図	近代以降のガラス製品 (2) (1/3・1/4)	470	第 347 図	重鉱物・軽鉱物	509
第 332 図	近代以降のガラス製品 (3) (1/3・1/4)	471	第 348 図	市谷本村町遭跡谷警察局地點分析個体	511
第 333 図	「江戸全図」(部分)	478	第 349 図	陶磁器二元分布図集成統合	514
第 334 図	「江戸大絵図」(部分)	478	第 350 図	硯表面の実体顕微鏡画像集成 (1)	516
第 335 図	「新板江戸外絵図」(部分)	478	第 351 図	硯表面の実体顕微鏡画像集成 (2)	517
第 336 図	「御府内往還其外沿革図書」(1)	479	第 352 図	市谷本村町遭跡谷警察局地點から 出土した木製品の顕微鏡写真 (1)	527
第 337 図	「御府内往還其外沿革図書」(2)	480	第 353 図	市谷本村町遭跡谷警察局地點から 出土した木製品の顕微鏡写真 (2)	528
第 338 図	「御府内往還其外沿革図書」(3)	481	第 354 図	市谷本村町遭跡谷警察局地點から 出土した木製品の顕微鏡写真 (3)	529
第 339 図	「星敷渡預給図証文」トレース図 (1)	482	第 355 図	市谷本村町遭跡谷警察局地點から 出土した木製品の顕微鏡写真 (4)	530
第 340 図	「星敷渡預給図証文」トレース図 (2)	483	第 356 図	尾張津井町以前の土地利用	532
第 341 図	「星敷渡預給図証文」トレース図 (3)	484	第 357 図	市谷邸西御殿期の土地利用	533
第 342 図	「星敷渡預給図証文」トレース図 (4)	485	第 358 図	紀年鉢を有する墓石の年代別数量	536
第 343 図	土地範囲区分 (御府内往還其外沿革図書・ 延宝年中之形)	486			
第 344 図	C1 区南西側基本層序トレンドの重鉱物組成 および軽鉱物組成	504			
第 345 図	C2-C3 区 3001 号西壁の重鉱物組成および 軽鉱物組成	504			

表 目 次

第 1 表	中世以前の遺物観察表	4	第 33 表	近世の陶磁器・土器観察表 (C 区) (4)	239
第 2 表	近世の陶磁器・土器観察表 (B 区) (1)	208	第 34 表	近世の陶磁器・土器観察表 (C 区) (5)	240
第 3 表	近世の陶磁器・土器観察表 (B 区) (2)	209	第 35 表	近世の陶磁器・土器観察表 (C 区) (6)	241
第 4 表	近世の陶磁器・土器観察表 (B 区) (3)	210	第 36 表	近世の陶磁器・土器観察表 (C 区) (7)	242
第 5 表	近世の陶磁器・土器観察表 (B 区) (4)	211	第 37 表	近世の陶磁器・土器観察表 (C 区) (8)	243
第 6 表	近世の陶磁器・土器観察表 (B 区) (5)	212	第 38 表	近世の陶磁器・土器観察表 (C 区) (9)	244
第 7 表	近世の陶磁器・土器観察表 (B 区) (6)	213	第 39 表	近世の陶磁器・土器観察表 (C 区) (10)	245
第 8 表	近世の陶磁器・土器観察表 (B 区) (7)	214	第 40 表	近世の陶磁器・土器観察表 (C 区) (11)	246
第 9 表	近世の陶磁器・土器観察表 (B 区) (8)	215	第 41 表	近世の陶磁器・土器観察表 (C 区) (12)	247
第 10 表	近世の陶磁器・土器観察表 (B 区) (9)	216	第 42 表	近世の陶磁器・土器観察表 (C 区) (13)	248
第 11 表	近世の陶磁器・土器観察表 (B 区) (10)	217	第 43 表	近世の陶磁器・土器観察表 (C 区) (14)	249
第 12 表	近世の陶磁器・土器観察表 (B 区) (11)	218	第 44 表	近世の陶磁器・土器観察表 (C 区) (15)	250
第 13 表	近世の陶磁器・土器観察表 (B 区) (12)	219	第 45 表	近世の陶磁器・土器観察表 (C 区) (16)	251
第 14 表	近世の陶磁器・土器観察表 (B 区) (13)	220	第 46 表	近世の陶磁器・土器観察表 (C 区) (17)	252
第 15 表	近世の陶磁器・土器観察表 (B 区) (14)	221	第 47 表	近世の陶磁器・土器観察表 (C 区) (18)	253
第 16 表	近世の陶磁器・土器観察表 (B 区) (15)	222	第 48 表	近世の陶磁器・土器観察表 (C 区) (19)	254
第 17 表	近世の陶磁器・土器観察表 (B 区) (16)	223	第 49 表	近世の陶磁器・土器観察表 (C 区) (20)	255
第 18 表	近世の陶磁器・土器観察表 (B 区) (17)	224	第 50 表	近世の陶磁器・土器観察表 (C 区) (21)	256
第 19 表	近世の陶磁器・土器観察表 (B 区) (18)	225	第 51 表	近世の陶磁器・土器観察表 (C 区) (22)	257
第 20 表	近世の陶磁器・土器観察表 (B 区) (19)	226	第 52 表	近世の陶磁器・土器観察表 (C 区) (23)	258
第 21 表	近世の陶磁器・土器観察表 (B 区) (20)	227	第 53 表	近世の陶磁器・土器観察表 (C 区) (24)	259
第 22 表	近世の陶磁器・土器観察表 (B 区) (21)	228	第 54 表	焼塙塗観察表 (1)	260
第 23 表	近世の陶磁器・土器観察表 (B 区) (22)	229	第 55 表	焼塙塗観察表 (2)	261
第 24 表	近世の陶磁器・土器観察表 (B 区) (23)	230	第 56 表	近世の陶磁器・土器 文字資料一覧表 (1)	273
第 25 表	近世の陶磁器・土器観察表 (B 区) (24)	231	第 57 表	近世の陶磁器・土器 文字資料一覧表 (2)	274
第 26 表	近世の陶磁器・土器観察表 (B 区) (25)	232	第 58 表	近世の陶磁器・土器 文字資料一覧表 (3)	275
第 27 表	近世の陶磁器・土器観察表 (B 区) (26)	233	第 59 表	近世の陶磁器・土器 文字資料一覧表 (4)	276
第 28 表	近世の陶磁器・土器観察表 (B 区) (27)	234	第 60 表	主要遺構出土の陶磁器・土器集計表 (1)	277
第 29 表	近世の陶磁器・土器観察表 (B 区) (28)	235	第 61 表	主要遺構出土の陶磁器・土器集計表 (2)	278
第 30 表	近世の陶磁器・土器観察表 (C 区) (1)	236	第 62 表	主要遺構出土の陶磁器・土器集計表 (3)	279
第 31 表	近世の陶磁器・土器観察表 (C 区) (2)	237	第 63 表	主要遺構出土の陶磁器・土器集計表 (4)	280
第 32 表	近世の陶磁器・土器観察表 (C 区) (3)	238	第 64 表	主要遺構出土の陶磁器・土器集計表 (5)	281

第 65 表	主要遺構出土の陶磁器・土器集計表 (6) ······	282	第 99 表	金属製品 (その他) 観察表 (2) ······	431
第 66 表	主要遺構出土の陶磁器・土器集計表 (7) ······	283	第 100 表	金属製品 (その他) 観察表 (3) ······	432
第 67 表	主要遺構出土の陶磁器・土器集計表 (8) ······	284	第 101 表	金属製品 (その他) 観察表 (4) ······	433
第 68 表	主要遺構出土の陶磁器・土器集計表 (9) ······	285	第 102 表	金属製品 (その他) 合金成分表 (1) ······	433
第 69 表	主要遺構出土の陶磁器・土器集計表 (10) ······	286	第 103 表	金属製品 (その他) 合金成分表 (2) ······	434
第 70 表	主要遺構出土の陶磁器・土器集計表 (11) ······	287	第 104 表	錢貨観察表 (1) ······	441
第 71 表	瓦觀察表 (1) ······	313	第 105 表	錢貨観察表 (2) ······	442
第 72 表	瓦觀察表 (2) ······	314	第 106 表	錢貨観察表 (3) ······	443
第 73 表	瓦觀察表 (3) ······	315	第 107 表	錢貨観察表 (4) ······	444
第 74 表	瓦刻印一覧表 ······	316	第 108 表	骨角貝製品観察表 ······	450
第 75 表	陶磁器・瓦転用品観察表 ······	318	第 109 表	ガラス製品観察表 ······	455
第 76 表	土製品・ミニチュア観察表 (1) ······	344	第 110 表	近代以降の陶磁器観察表 (1) ······	462
第 77 表	土製品・ミニチュア観察表 (2) ······	345	第 111 表	近代以降の陶磁器観察表 (2) ······	463
第 78 表	土製品・ミニチュア観察表 (3) ······	346	第 112 表	レンガ観察表 ······	465
第 79 表	土製品・ミニチュア観察表 (4) ······	347	第 113 表	近代以降の骨・樹脂製品観察表 ······	467
第 80 表	土製品・ミニチュア観察表 (5) ······	348	第 114 表	近代以降のガラス製品観察表 ······	472
第 81 表	土製品・ミニチュア観察表 (6) ······	349	第 115 表	尾張家添地以前 屋敷地所持者変遷 (1) ······	487
第 82 表	木製品観察表 (1) ······	376	第 116 表	尾張家添地以前 屋敷地所持者変遷 (2) ······	489
第 83 表	木製品観察表 (2) ······	377	第 117 表	尾張家添地以前 屋敷地所持者変遷 (3) ······	491
第 84 表	木製品観察表 (3) ······	378	第 118 表	尾張家添地以前 屋敷地所持者履歴 (1) ······	493
第 85 表	木製品観察表 (4) ······	379	第 119 表	尾張家添地以前 屋敷地所持者履歴 (2) ······	494
第 86 表	木製品観察表 (5) ······	380	第 120 表	尾張家添地以前 屋敷地所持者履歴 (3) ······	495
第 87 表	木製品観察表 (6) ······	381	第 121 表	尾張家添地以前 屋敷地所持者履歴 (4) ······	496
第 88 表	木製品観察表 (7) ······	382	第 122 表	延宝年中以前の土地利用 ······	497
第 89 表	石製品観察表 (1) ······	404	第 123 表	宝暦~明和期 屋敷地所持者 ······	498
第 90 表	石製品観察表 (2) ······	405	第 124 表	土地に伴う手当金受給者 ······	499
第 91 表	石製品観察表 (3) ······	406	第 125 表	重軽量物分析結果 ······	503
第 92 表	石製品観察表 (4) ······	407	第 126 表	陶磁器分析結果表 ······	513
第 93 表	石製品観察表 (5) ······	408	第 127 表	硯分析値表 (1) ······	518
第 94 表	石製品観察表 (6) ······	409	第 128 表	硯分析値表 (2) ······	519
第 95 表	石製品観察表 (7) ······	410	第 129 表	市谷本村町遺跡市ヶ谷警察総合庁舎地点から 出土した木製品の樹種組成 ······	526
第 96 表	金属製品 (煙管) 観察表 (1) ······	416	第 130 表	(2) ······	+++
第 97 表	金属製品 (煙管) 観察表 (2) ······	417	第 131 表	(2) ······	+++
第 98 表	金属製品 (その他) 観察表 (1) ······	430			

V 出土遺物

1 中世以前の遺物

中世以前の出土遺物はきわめて少量で、遺存状況も小片にとどまる。遺構出土のものがあるが、いずれも近世の遺構に混入する形での出土である。内容としては縄文土器がほぼ大半を占め、わずかに古墳時代と考えられる土器・土製品も出土している。

B47号（第1図1） 深鉢の胴部破片で、蘇手状の沈線区画内に列点が施される。縄文後期前葉・堀之内1式の所産である。

B337号（第1図2～5） 2は単節縄文が施される堀之内1式の深鉢口縁部、3は単節縄文施文の胴部破片で前期後葉・諸磯式と考えられる。4は胴部破片、5は胴部下位～底部の無文の破片であるが、前者は堀之内1式、後者は中期後葉・加曾利E2式であろう。

B448号（第1図6） 隆帯による三角形区画に2条の三角形刺突文が沿う中期中葉・勝坂1式である。

B808号（第1図7） 土鍤で、長軸中央に径1mmの孔が穿たれる。古墳時代の所産であろう。

B868号（第1図8～10） 8～10はいずれも短頸壺の破片と考えられ、被熱により表面が剥落する。古墳時代の所産としておきたい。

B589・2843・5086号（第1図11～14） 11・12は深鉢の口縁部破片で、撫糸文が施される。早期前葉・撫糸文系土器の一群である。13は胎土に纖維を含み、単節縄文が施される深鉢胴部で、前期中葉・黒浜式であろう。14は深鉢の口縁部破片で、表面は単節縄文施文、口唇内面に1条の沈線が巡る堀之内2式である。

B920号（第2図1） 加曾利E2式の口縁部破片で、隆帯による渦巻文と長方形区画がみられる。

B1445号（第2図2） 深鉢胴部で、断面三角形の隆帯に2条の角押文が沿う勝坂1式である。

B1804号（第2図3） 深鉢胴部で、地文を条線文とする加曾利E2式である。

B1902号（第2図4） 深鉢の口縁部破片と考えられ、隆帯による立体的な渦巻文が施される。

B2322号（第2図5） 無文の深鉢胴部で、胎土の特徴から中期初頭・五領ヶ台式と考えられる。

B2779号（第2図6） 深鉢の口縁部破片で、横位の沈線下に単節縄文が充填される後期初頭・称名寺式である。

B2807号（第2図7） 文を単節縄文とし、縱位の沈線が垂下する加曾利E3式である。

B3083号（第2図8） 深鉢胴部で、2本一単位の沈線による弧状の文様が施される。詳細は不明ながら堀之内式に比定される。

B5084号（第2図9） 文を条線文とする加曾利E2式である。

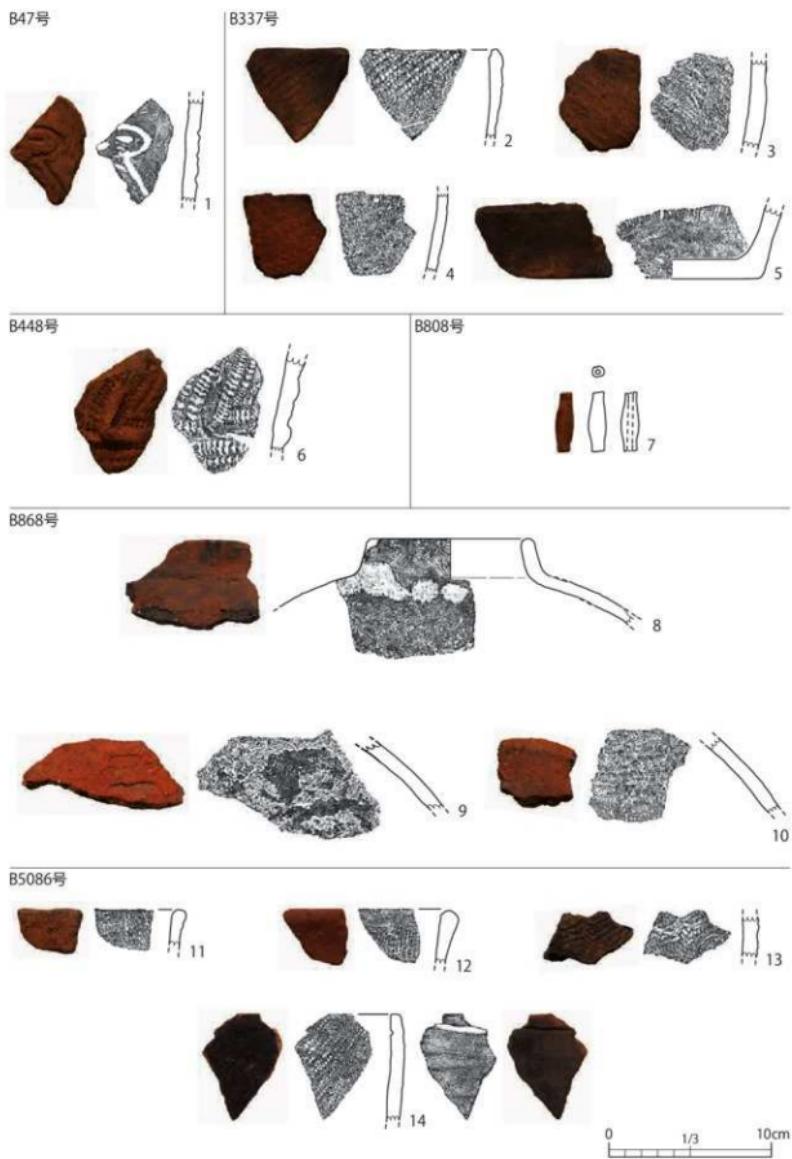
B5124号（第2図10） 位に節が並ぶ単節縄文が施される。勝坂3式と考えられる。

C305号（第2図11） 単節縄文を地文とし、横位の沈線文が施される諸磯a式である。

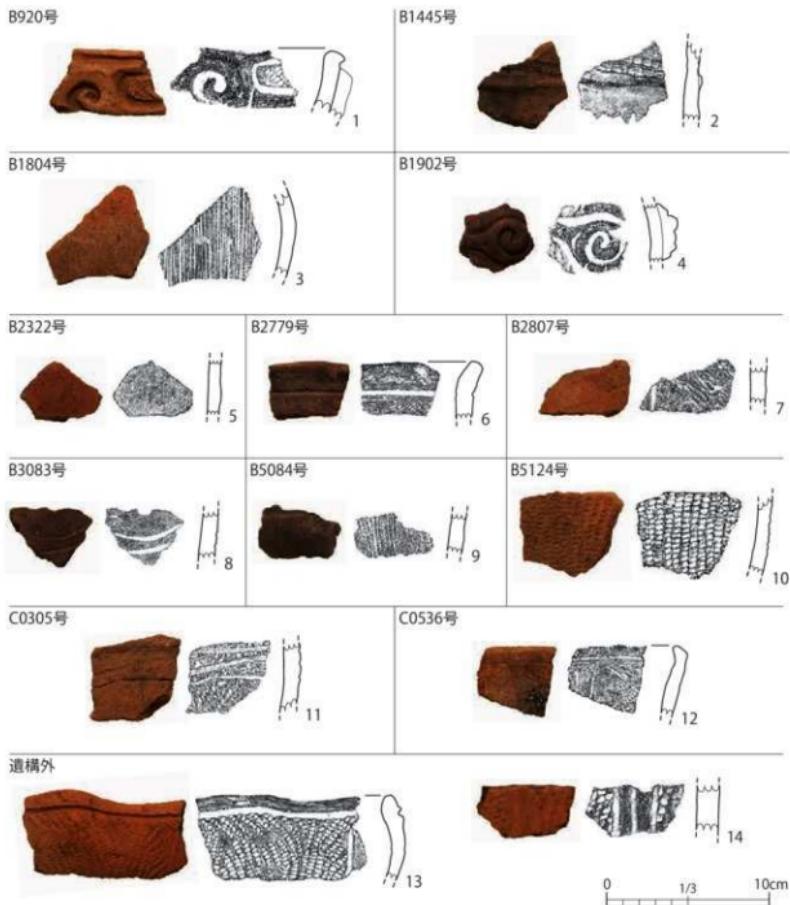
C536号（第2図12） 深鉢の口縁部で、口唇が屈曲し、2本一単位の沈線による区画文が施される。堀之内2式に比定される。

遺構外（第2図13・14） 13は深鉢の口縁部破片で、口唇に単沈線が巡り、体部は多方向からの単節縄文施文と沈線区画がみられる。加曾利E4式であろう。14は地文を単節縄文とし、3本一単位の沈線が垂下させ、沈線間の地文を磨消する加曾利E3式である。

（大綱信良）



第1図 中世以前の遺物 (1) (1/3)



第2図 中世以前の遺物（2）（1/3）

第1表 中世以前の遺物観察表

査定番号 神奈川 通号	出土地点	時期	型式	基準	部位	重量 g	胎土	焼成	文様要素
1 1 B47 号	縄文時代 後期前量	輪之内式	深鉢	側部	24.9	黒色粒子 / 石英 / 長石	良好	沈刷文 / 列点文	
1 2 B337 号	縄文時代 後期前量	輪之内式	深鉢	口縁部	34.7	長石 / 石英	良好	單態圓文 R / 口縁内面に横走沈刷	
1 3 B337 号	縄文時代 中期後量	酒匂式	深鉢	側部	39.8	黒色粒子 / 石英 / 長石	良好	單態圓文 R.	
1 4 B337 号	縄文時代 後期後量	輪之内式か	深鉢	側部	23.7	長石 / 石英 / 黑色粒子	良好	單態圓文 R. か	
1 5 B337 号	縄文時代 中期後量	加賀利 E2 式	深鉢	底部	75	石英	普通	標準文 R	
1 6 B448 号	縄文時代 中期中量	勝坂 1 式	深鉢	側部	50.7	長石 / 石英 / 黑色粒子	良好	隙帶による三角形区画文 / 隙帶脇に 2 条の三角形刻突文	
1 7 B868 号	古墳時代 ～古代	土鍋			3.9	長石 / 石英	良好	穴文 / 長軸中央に径 1mm 空孔	
1 8 B868 号	古墳時代	短頭壺	口縁部		88.6	石英 / 長石	普通	赤燒直底器か / 被熱により表面剥落	
1 9 B868 号	古墳時代	短頭壺	側部		31	石英 / 長石	普通	赤燒直底器か / 被熱により表面剥落	
1 10 B868 号	古墳時代	短頭壺	側部		33.8	石英 / 長石	普通	赤燒直底器か / 被熱により表面剥落	
1 11 B5086 号	縄文時代 早期前量	織文文系	深鉢	口縁部	10.6	長石 / 石英 / 黑色粒子	良好	標準文 R	
1 12 B5086 号	縄文時代 早期前量	織文文系	深鉢	口縁部	15.7	長石 / 石英 / 黑色粒子	良好	標準文 R	
1 13 B5086 号	縄文時代 中期前量	直口式	深鉢	側部	18.7	織文 / 長石 / 石英	普通	單態圓文 LR か	
1 14 B5086 号	縄文時代 後期後量	輪之内 2 式	深鉢	口縁部	25.3	石英 / 長石 / 黑色粒子 / 赤色スコリア	良好	單態圓文 LR / 口縁内面に横走沈刷文	
2 1 B920 号	縄文時代 中期後量	加賀利 E2 式	深鉢か	口縁部	53	黒色粒子 / 石英 / 長石	良好	隙帶による渦巻文 + 長方形区画文 / 口縁に横走沈刷文 / 区画内に單態圓文 R / 区画内の隙帶脇に沈刷文	
2 2 B1445 号	縄文時代 中期中量	勝坂 1 式	深鉢	側部	27.5	石英 / 長石 / 黑色粒子	普通	断面三角形の横條隕帶文 / 隙帶脇に 2 条の角押文	
2 3 B1804 号	縄文時代 中期後量	加賀利 E2 式	深鉢	側部	340	チャート / 石英 / 長石	良好	条縞文	
2 4 B1902 号	縄文時代 中期後量	加賀利 E2 式	深鉢か	口縁部	29	石英 / 長石	良好	隙帶による渦巻文	
2 5 B2322 号	縄文時代 中期初頭	五箇ヶ台式	深鉢	側部	17.5	雲母 / 石英 / 黑色粒子	普通	無文	
2 6 B2779 号	縄文時代 後期前頭	称名寺式か	深鉢	口縁部	28.7	黒色粒子 / 石英 / 角閃石 / 長石	良好	沈刷による 2 本一本単位の横位区画文 / 区画内に單態圓文 R. 先端	
2 7 B2807 号	縄文時代 中期後量	加賀利 E3 式	深鉢	側部	26	石英 / 長石 / 黑色粒子 / チャート	良好	單態圓文 LR / 縦位の沈刷文	
2 8 B3083 号	縄文時代 後期前量	輪之内式か	深鉢	側部	19.9	チャート / 砂岩 / 石英 / 長石	普通	沈刷による 2 本一本単位の弧状文	
2 9 B5084 号	縄文時代 中期後量	加賀利 E2 式	深鉢	側部	18.1	石英 / 長石	普通	条縞文	
2 10 B5124 号	縄文時代 中期中量	勝坂 3 式か	深鉢	側部	37.3	チャート / 黑色粒子 / 石英 / 長石 / 赤色スコリア	良好	單態圓文 R.	
2 11 C305 号	縄文時代 中期後量	諸磯 a 式	深鉢	側部	30.5	チャート / 石英 / 長石 / 赤色スコリア	良好	單態圓文 LR / 横走沈刷文	
2 12 C536 号	縄文時代 後期前量	輪之内 2 式	深鉢	口縁部	24	チャート / 石英 / 黑色粒子 / 長石 / 赤色スコリア	良好	口縁に横走沈刷文 / 2 本一本単位の沈刷による区画文	
2 13 B2-1 号	縄文時代 中期後量	加賀利 E4 式	深鉢	口縁部	74	石英 / 長石 / チャート	普通	口縁に横走沈刷文 / 沈刷による区画内 / 単態圓文 R.	
2 14 B1-4 号	縄文時代 中期後量	加賀利 E3 式	深鉢	側部	28.2	長石 / 石英 / チャート	普通	單態圓文 R / 3 本一本単位の沈刷による懸垂文 / 懸垂文間の網文崩消	

2 近世以降の遺物

(1) 磁器・陶器・土器（第3～204図、第2～70表）

A 主要遺構の出土状況

図版に掲載した出土遺物実測図には、図版1頁ごとに1から番号を付した。必要に応じて俯瞰図、写真等を付けているが、原則として正面図に番号を表記した。磁器のほかは、施釉箇所の境界を断面図に▲で表示している。磁器は、蛇目釉剥ぎされたものを除き、高台置付部分の釉剥は省略した。俯瞰写真は、文様の上下に応じて図示したが、不明瞭な描絵など施文が曖昧なものについては、正面図に従う方向をしているものがある。また見込みに文様が施されている場合は、俯瞰写真を掲載した。この際、口径の大きい遺物については、全体の俯瞰写真ではなく見込み部分のみとした場合がある。

出土陶磁器・土器の分類および観察表の表記は、『東京都新宿区内藤町遺跡』（新宿区内藤町遺跡調査会編 1992）に基づき行った。材質から磁器、陶器、土器に分類し、焼き締め陶器などの炻器に分類されるものについては陶器に含めた。また、陶器、炻器の胎土に染付で文様を描いた瀬戸・美濃産の丸碗、広東碗、端反碗などの碗や湯呑、皿、鉢など太白焼・新製焼と呼ばれるものについては、陶器に分類した。次に碗、皿、鉢などの種類、さらに大碗、中碗などの器種を記した。器種については内容を判別し易くするため、大碗、中碗、小碗、大皿、中皿、五寸皿、小皿など法量に基づいた分類のほか、対象に応じてうがい碗、盤、焰烙など用途による分類を記しているものがある。なお、極小皿は小皿に含めた。なお、遺物に墨書き、釘書き、線刻、刻印などがみられる場合には、備考欄にその内容を記載した。

出土遺物については、取り上げを行った遺物の全てについて重量を計測し、本調査において出土した遺物の数量的な把握につとめた。このうち、主な遺構の出土遺物については第60～70表の集計表にまとめている。集計表の記載内容は、種類および器種により分類した各項目について、点数と重量を記した。また、遺構ごとに材質ごと（磁器、陶器、土器）の重量をまとめ、それぞれの合計を示した。

次に出土遺物の概観を述べる。磁器は、葵の文様を描く陶磁器が出土している。葵をモチーフとした文様は、三つ葉葵を描くものから染付の文様としてフタバアオイを描くものなどがある。磁器碗、陶器の碗、皿、鉢がある。また、磁器の皿には葵の葉を象ったとみられる釘書きが施されたものがあり、小皿に多くみられる。徳川家の家紋は三つ葉葵であるが、この家紋の素材となったフタバアオイは、茎の先端に二葉がつくもので、葵をモチーフとするものの、家紋と違いやや写実的であるといえる。

焼塙壺は、小川望氏の分類（小川 2008）に従い、身をコップ形のI～V類、鉢形のI～III類、蓋をア～オに分類し、更にそれぞれの刻印、器形、成形技術、金雲母の有無など胎土の特徴などを第54・55表の観察表に別途記載した。それぞれの刻印については、図版に示したとおりである。なお、刻印については、可能な限り拓本を実測図と併せて掲載した。

以下では主要遺構出土の陶磁器・土器の様相を記す。

B44号（第3図）

大型土坑のB44号では、磁器の丸碗（第3図3・5）、型打ち皿（第3図6・7）、陶器では刷毛目碗（第

3図9)、鉄絵で草花文を描く小皿(第3図10)、灰釉の香炉(第3図11)、灰吹(第3図12)、練鉢(第3図13)のほか、土器皿がまとまって出土している。

B63号(第5図)

磁器は、草花文の中碗(第5図1)、端反形の小杯(第5図2)、蓋物蓋(第5図3)があり、陶器には型打ちの皿(第5図5)や釘書きをもつ灰釉徳利(第5図8)等がある。またB44号と同様に土器皿が集中して出土している。

B181号(第7・8図)

磁器は、肥前産の小碗(第7図6)や中鉢(第8図1)に加え、中国産とみられる薄手の端反碗(第7図4)や皿(第7図11・12)がある。陶器には鉄釉の中壺(第7図13)、土器は無耳で脇部が屈曲する焰格(第8図3・4)等がある。

B588号(第12~25図)

平面長方形の大型土坑で、貿易陶磁が多数含まれる。

磁器は、中国産の碗として芙蓉手の碗(第12図1)、端反形で蛇ノ目高台となる中碗(第12図5・6)、網目文の青花碗(第12図9・10)等がある。皿・盤は、漳州窯の餅花手(第13図4)、色絵の変形皿(第13図3)、鉢植えが描かれるもの(第13図5、第20図1)、昆虫とみられる意匠のもの(第14図3・4)、馬を意匠とするもの(第14図5、第18図1~4)、楼閣文(第16図6)、孔雀の羽根を意匠とする小皿(第16図4)などが中国産のもので、この中には揃いで複数個体が出土するものもある。また白磁のもの(第16図2)、五彩が施されるもの(第17図2、第20図2)も舶載品であろう。肥前産のものとしては、芙蓉手の大皿(第14図1)がある。壺は、第20図4が景德鎮窯のもので、第10図4の蓋と組み合う優品である。蓋物(第19図5)、香炉(第20図3)は肥前産である。

陶器も中国産のものが一定数あり、見込みに水鳥が描かれる第21図2は揃いで複数個体の出土がある。また第21図3は、被熱の影響があるが、緑釉の盤で口縁を輪花とする。国産のものは、京・信楽産の大碗(第21図1)や鉢(第22図1)、水指(第21図7、第22図5)、花生(第23図1)のほか、瀬戸・美濃産の水鉢(第21図6)、肥前産の香炉(第22図3)や片口(第22図4)、产地不明の茶入(第22図8)、志戸呂産の徳利(第23図3)等がある。第22図9は薄手の中壺で、舶載品の可能性がある。

土器は、瓦灯傘(第23図5)、瓦灯皿(第23図6)、炬燵(第24図4)等があるが数量は少ない。本遺構では、茶道具や舶載陶磁器など17世紀に帰属すると推定される遺物に加え、国示していないが「くらわんか手」の茶碗や徳利等の18世紀中頃の遺物も含まれる。第25図は被熱痕跡のある遺物の中でとりわけ溶着が顕著な例を示したが、こうした遺物が多数出土していることは、火災後の片付けに伴う可能性がある。この頃の大規模な火災としては、延享2年(1745)の六道火事や宝暦10年(1760)の宝暦大火などがあるが、遺構の廃絶時期は18世紀前半頃と推定されることから、享保10年(1725)に発生し本御殿を焼失した火災に関わる遺構と考えられる。

B808号（第31図）

道路状遺構のB808号では、覆土を新・中・古の三段階に分け、可能な限り遺物も各段階単位で取り上げた。ただし時期的に大きな差異はなく、遺物の遺存状況も小破片が主体で数量的に多くない。磁器は波佐見系の碗（第31図10・15）や皿（第31図3）があり、他にコンニャク印判で栄文とする皿（第31図2）などがある。陶器は陶胎染付の碗（第31図1）、灰釉碗（第31図5）、京・信楽産と考えられる腰折碗（第31図20）、鋸釉が施される水注（第31図23）等がある。土器は器壁高が2cm前後となる焙烙（第31図6）、「播磨大板上」の刻印の焼塩壺身（第31図7）等がある。

B1132号（第39図）

磁器は、波佐見系の碗（第39図2・4）、白磁の仏飯器（第39図9）、猪口（第39図10）等がある。陶器には、腰錫碗（第39図13・14）、肥前系の灰釉碗（第39図16）や刷毛目碗（第39図17）、香炉（第39図19）、鉄釉の小壺（第39図23）、产地不明の中鉢（第39図20）がある。土器は火鉢や焼塩壺、焙烙等が出土している。

B1445号（第42～46図）

南北に長い大型の地下室であるB1445号では、おおむね覆土を上下に二分して遺物の取上げを行った。

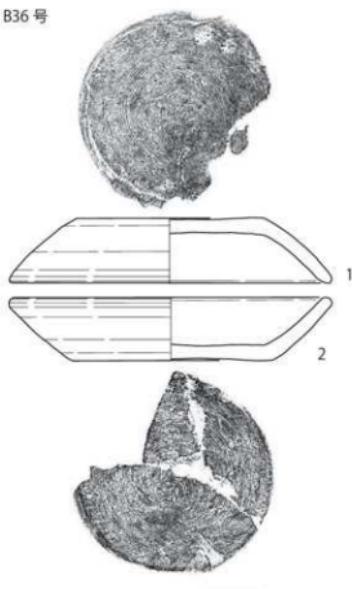
上部の磁器は、「太明年製」銘のある大碗（第42図1）、中碗（第42図2～6）、小碗（第42図12～15）、皿（第42図23～23）、等があり、このうち第42図23は鍋島焼である。また第42図27・28はセットの可能性がある。第43図1は白磁の水注で、水鳥をかたどっている。陶器は、瀬戸・美濃産の御室茶碗（第43図5）や腰錫碗（第43図6）、肥前系の刷毛目茶碗（第43図7）、餐水入れ（第43図14）等がある。土器は焙烙（第43図15・16）のほか、脚部に獸面が付された盤（第44図2）、「泉州麻生」の刻印の焼塩壺身（第44図3～5）等があり、下部の出土遺物も時期的に大きな差異は見られない。

B2290号（第58～61図）

大型土坑のB2290号は覆土が焼土を主体とし、出土陶磁器・土器にも被熱の痕跡が見られる。

磁器は、肥前産の碗（第58図1～3）、中国産の芙蓉手碗（第58図4）、上絵付が施される蓋物（第58図15・16）や蓋物蓋（第60図3・4）、皿（第59図1～5）、染付の小壺（第59図6・7）等がある。陶器は、鉄釉の碗（第60図5）、肥前系の大鉢（第60図6）、花生（第60図7）、底部付近に「イセ」の刻印がある中瓶（第60図8）等があった。

B36 号



B44 号



0 1/3 10cm

第3図 近世の陶磁器・土器(1) (1/3)

B58号



第4図 近世の陶磁器・土器(2) (1/3)

B63 号



第 5 図 近世の陶磁器・土器 (3) (1/3)

B150 号



B165 号

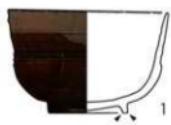


B171 号

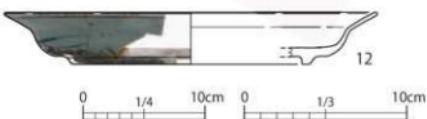
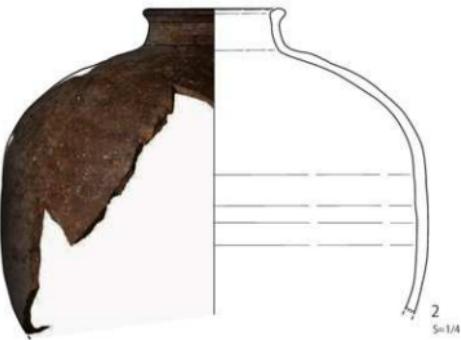
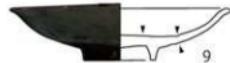
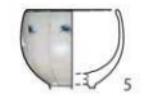


第6図 近世の陶磁器・土器(4)(1/3)

B171号

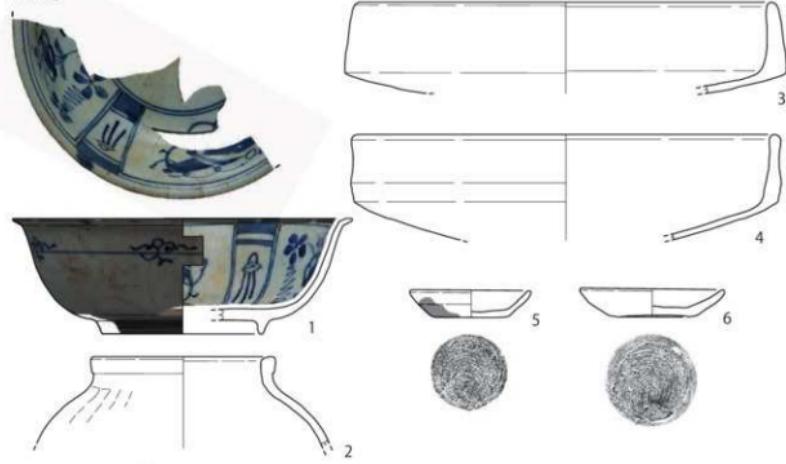


B181号

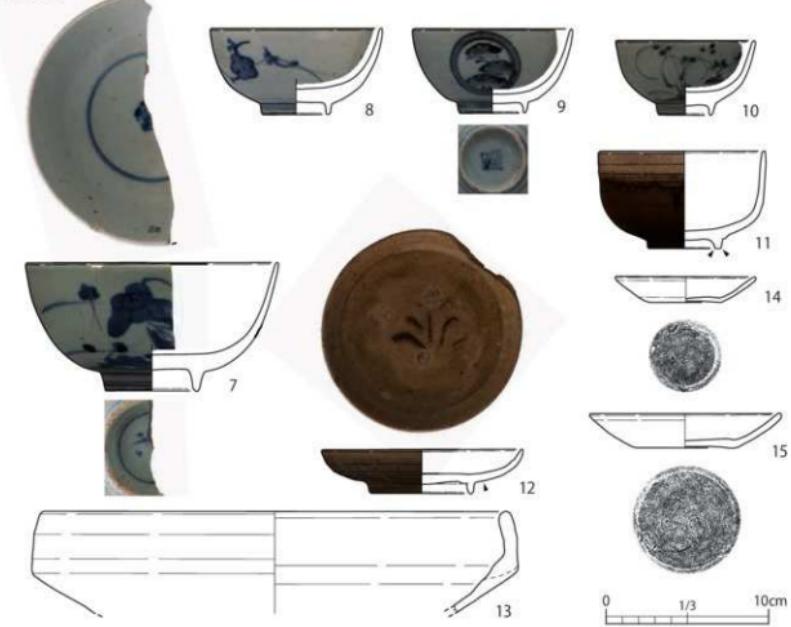


第7図 近世の陶磁器・土器(5)(1/3・1/4)

B181号

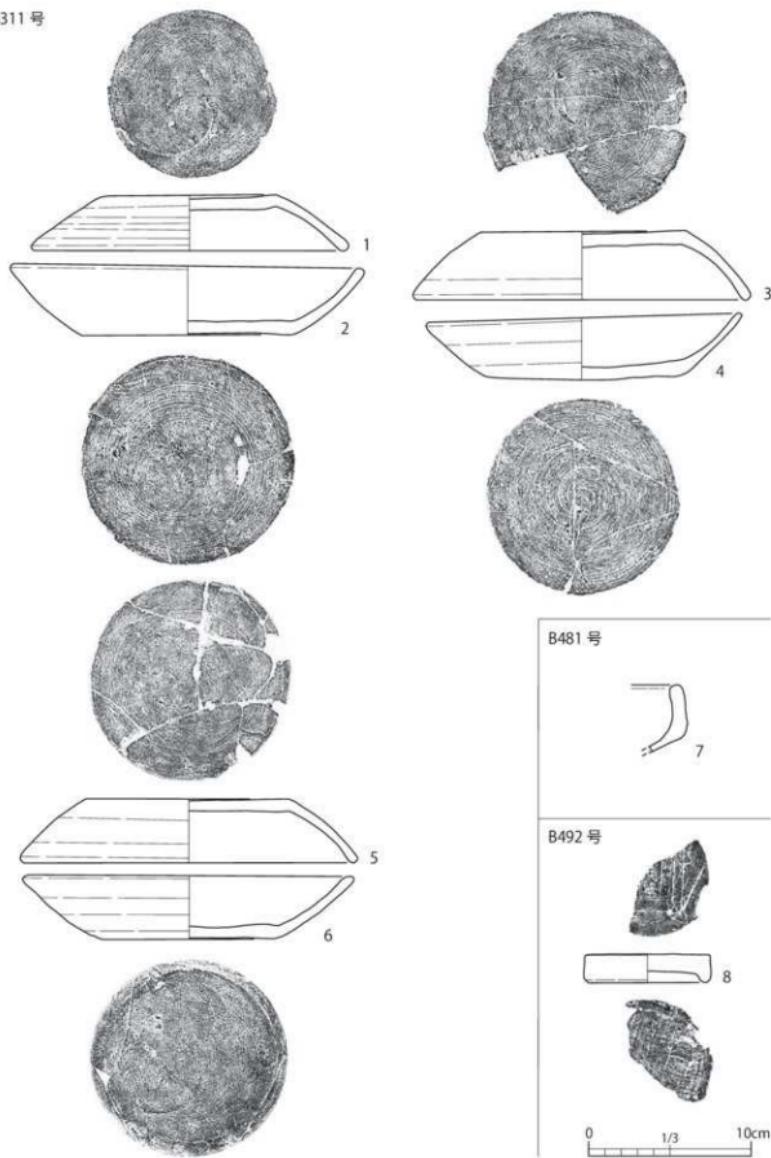


B353号



第8図 近世の陶磁器・土器(6)(1/3)

B311 号

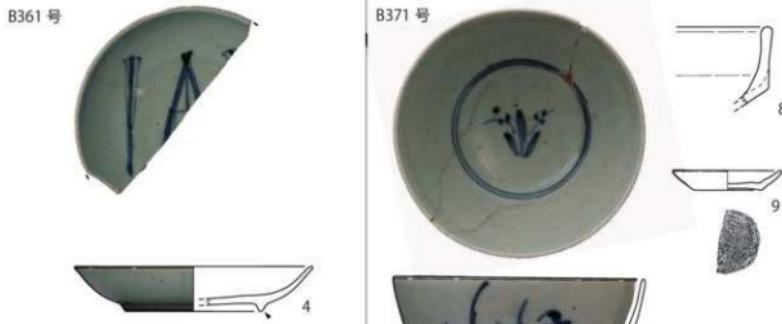


第 9 図 近世の陶磁器・土器 (7) (1/3)

B367 号

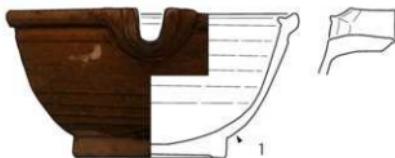


B361 号



第 10 図 近世の陶磁器・土器 (8) (1/3)

B477 号



B513 号



B522 号



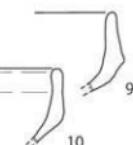
B539 号



B547 号



B577 号



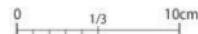
B550 号



B559 号



B560 号



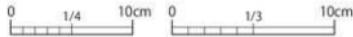
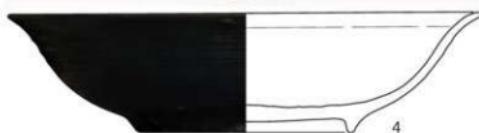
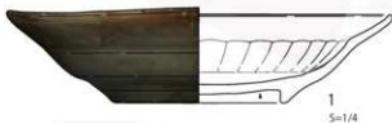
第 11 図 近世の陶磁器・土器 (9) (1/3)

B588 号



第 12 図 近世の陶磁器・土器 (10) (1/3)

B588 号



0 1/4 10cm

0 1/3 10cm

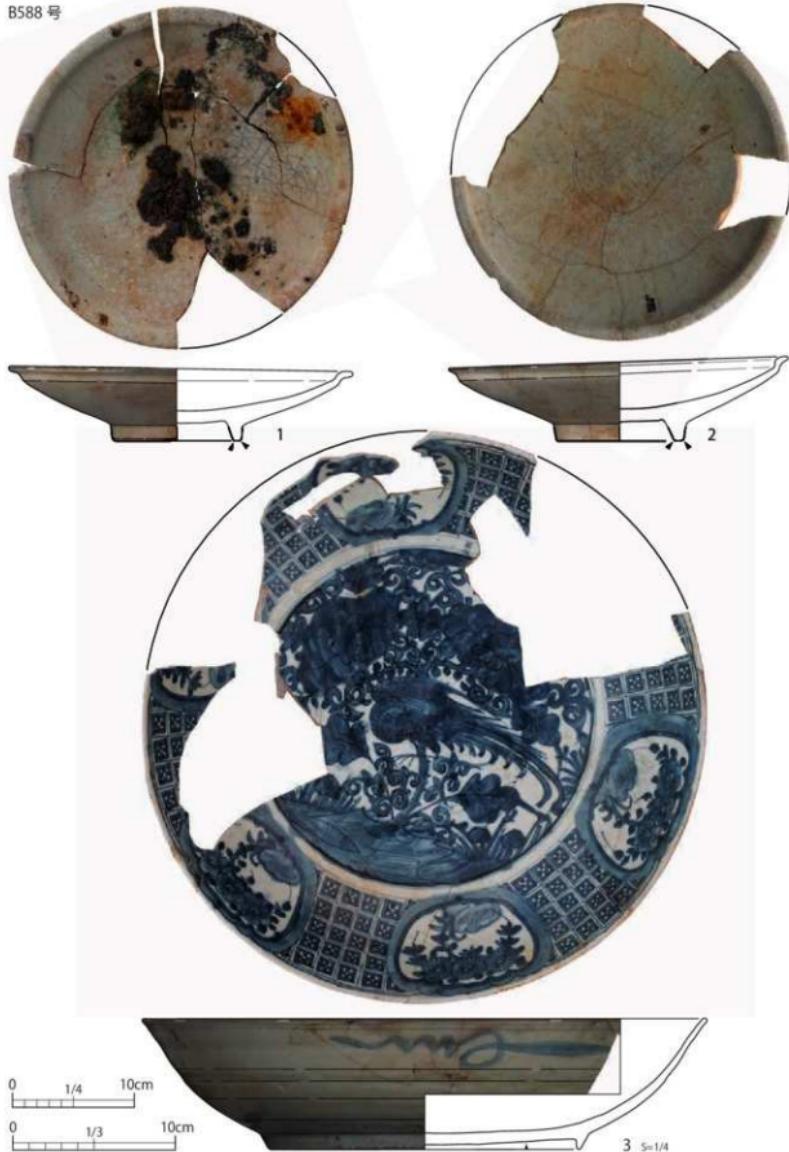
第 13 図 近世の陶磁器・土器 (11) (1/3・1/4)

B588 号



第 14 図 近世の陶磁器・土器 (12) (1/3・1/4)

B588 号



第 15 図 近世の陶磁器・土器 (13) (1/3・1/4)

B588号



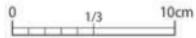
第16図 近世の陶磁器・土器（14）（1/3）

B588 号



第 17 図 近世の陶磁器・土器 (15) (1/3)

B588 号



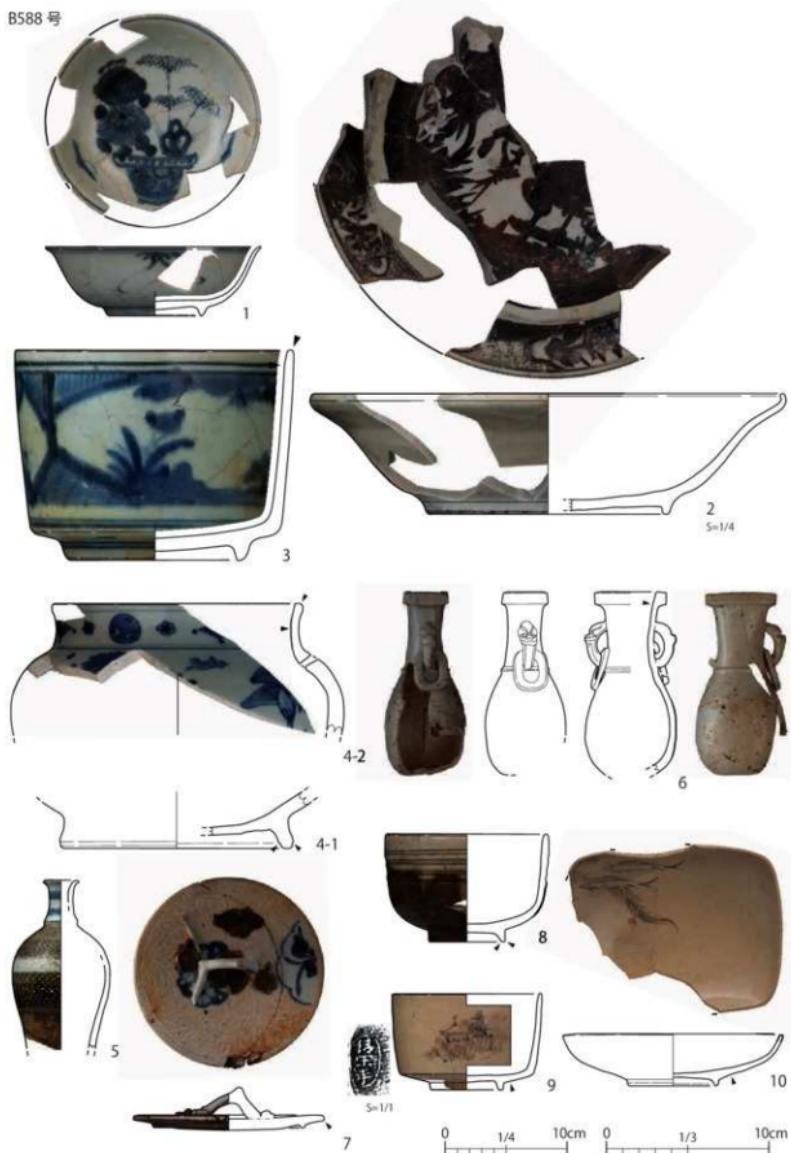
第 18 図 近世の陶磁器・土器 (16) (1/3)

B588 号



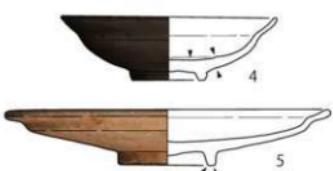
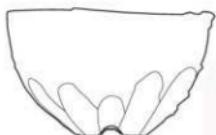
第19図 近世の陶磁器・土器 (17) (1/3)

B588 号



第 20 図 近世の陶磁器・土器 (18) (1/3・1/4)

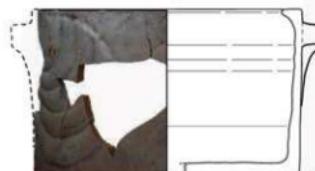
B588 号



3 S=1/4



6 S=1/6



0 1/6 20cm 0 1/4 10cm 0 1/3 10cm

第21図 近世の陶磁器・土器 (19) (1/3・1/4・1/6)

B588 号



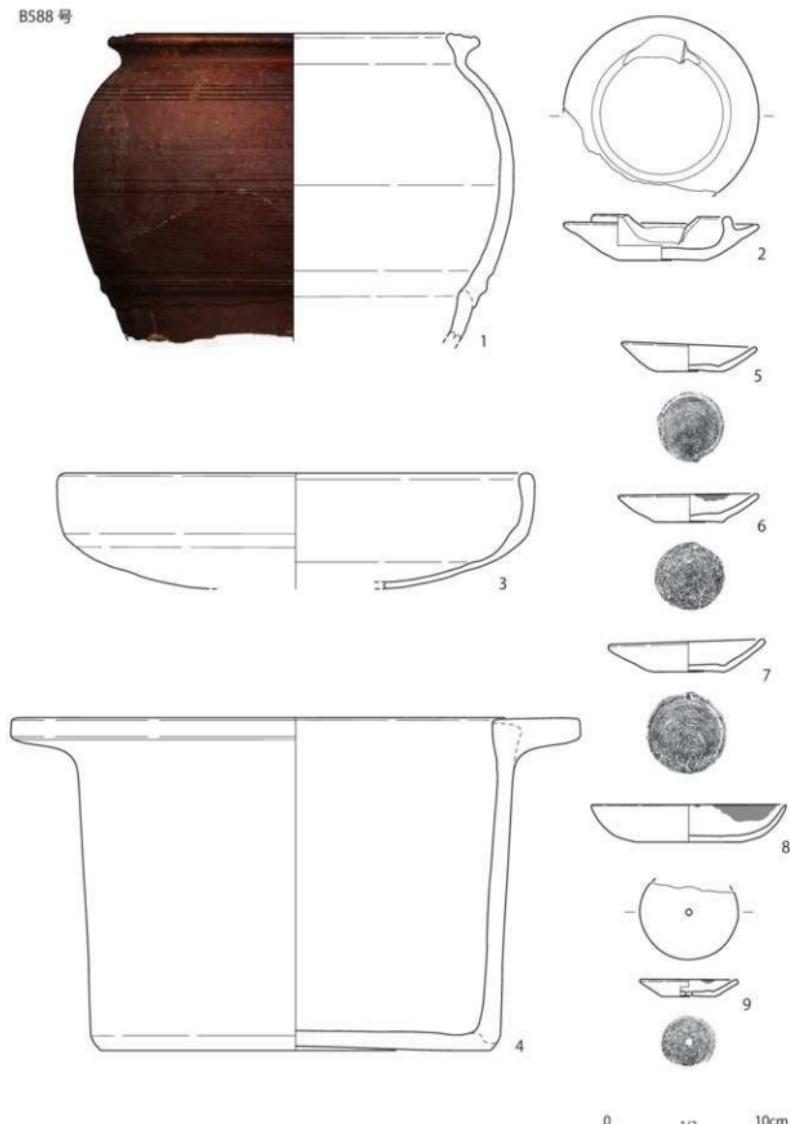
第22図 近世の陶磁器・土器 (20) (1/3)

8588 号



第23図 近世の陶磁器・土器 (21) (1/3)

B588 号



第 24 図 近世の陶磁器・土器 (22) (1/3)



(縮尺任意)

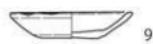
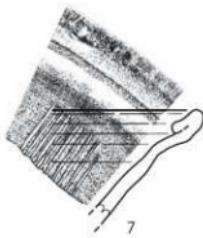


第 25 図 近世の陶磁器・土器 (23) (上段：縮尺任意、下段：1/4)

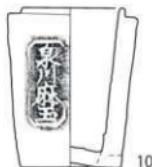
B589 号



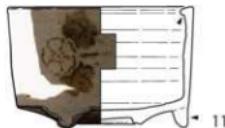
B591 号



B606 号



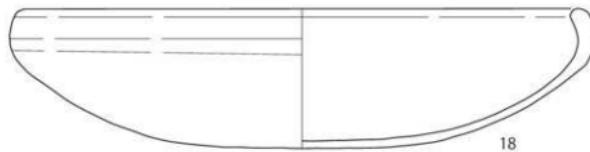
B607 号



B608 号



B635 号



第 26 図 近世の陶磁器・土器 (24) (1/3)

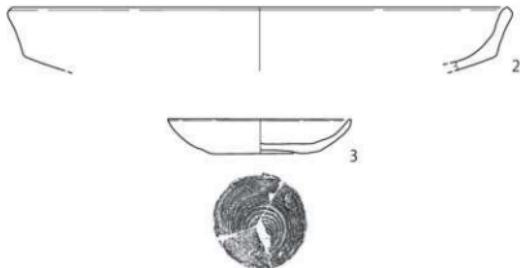


第27図 近世の陶磁器・土器(25)(1/3・1/4)

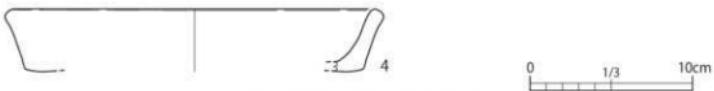
B683 号



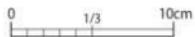
B684 号



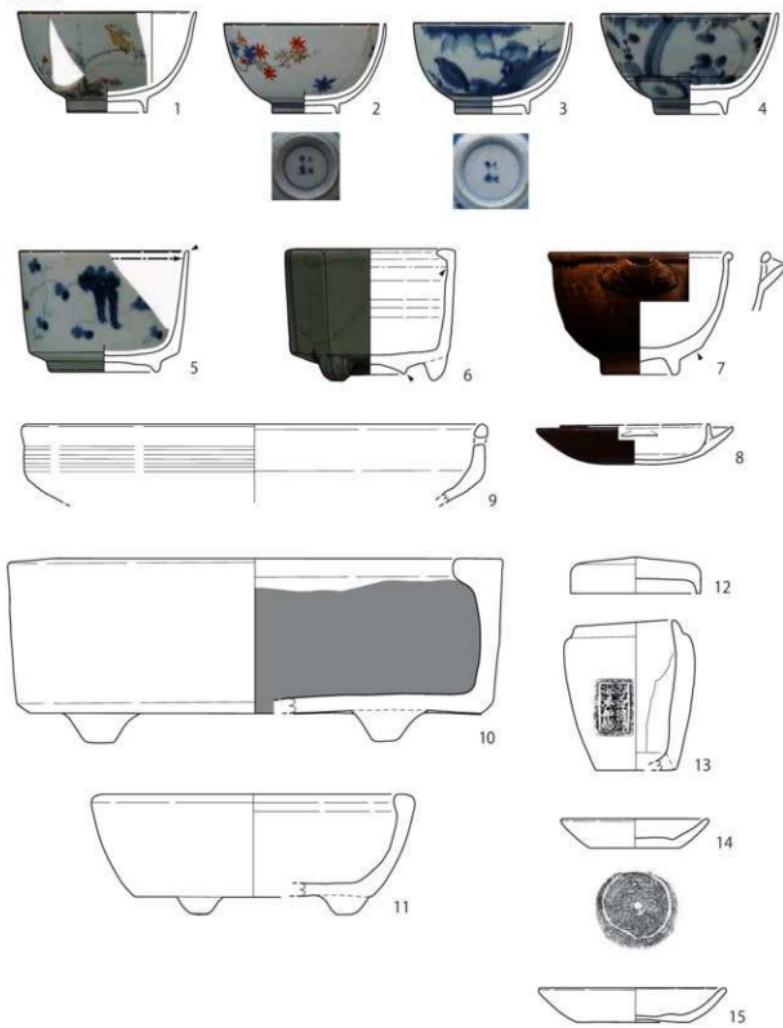
B733 号



第 28 図 近世の陶磁器・土器 (26) (1/3)



B745 号



0 1/3 10cm

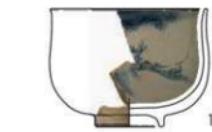
第29図 近世の陶磁器・土器 (27) (1/3)

B800 号



第 30 図 近世の陶磁器・土器 (28) (1/3)

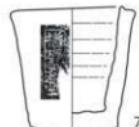
B808 号硬化面直上



B808 号古段階



3



7



B808 号中段階



8



13



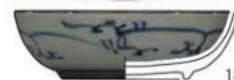
14



15



16



18



19



20



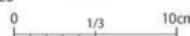
21



22



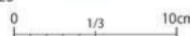
23



24



25



26



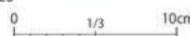
27



28



29



30



31



32



33



34



35



36



37



38



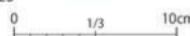
39



40



41



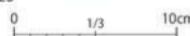
42



43



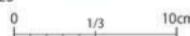
44



45



46



47



48



49



50



51



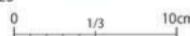
52



53



54



55



56



57



58



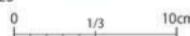
59



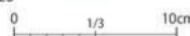
60



61



62



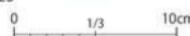
63



64



65



66



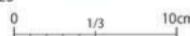
67



68



69



70



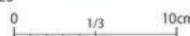
71



72



73



74



75



76



77



78



79



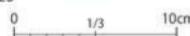
80



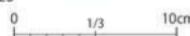
81



82



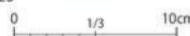
83



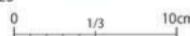
84



85



86



87



88



89



90



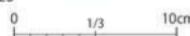
91



92



93



94



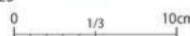
95



96



97



98



99



100

第 31 図 近世の陶磁器・土器 (29) (1/3)

B810 号



B817 号



2



3



4

B820 号



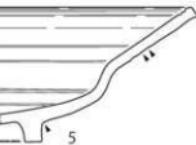
6



7



8



5

B849 号

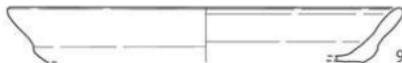


11



10

B838 号



9

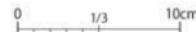
B1102 号



12

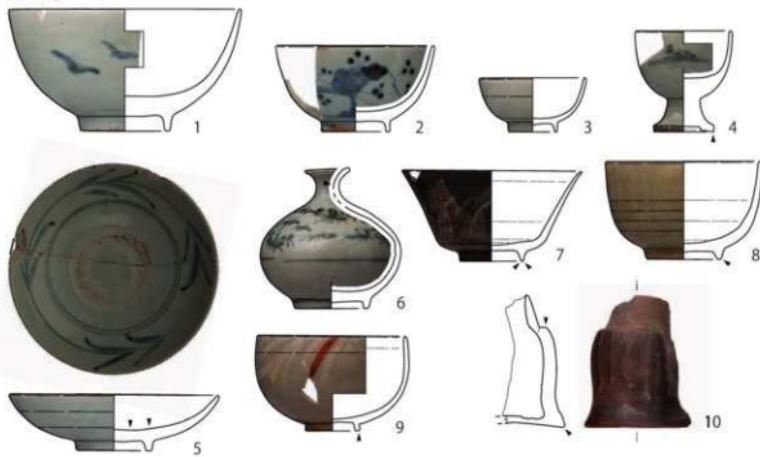


13



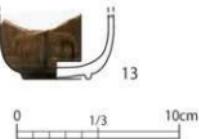
第32図 近世の陶磁器・土器(30)(1/3)

B868 号



第 33 図 近世の陶磁器・土器 (31) (1/3)

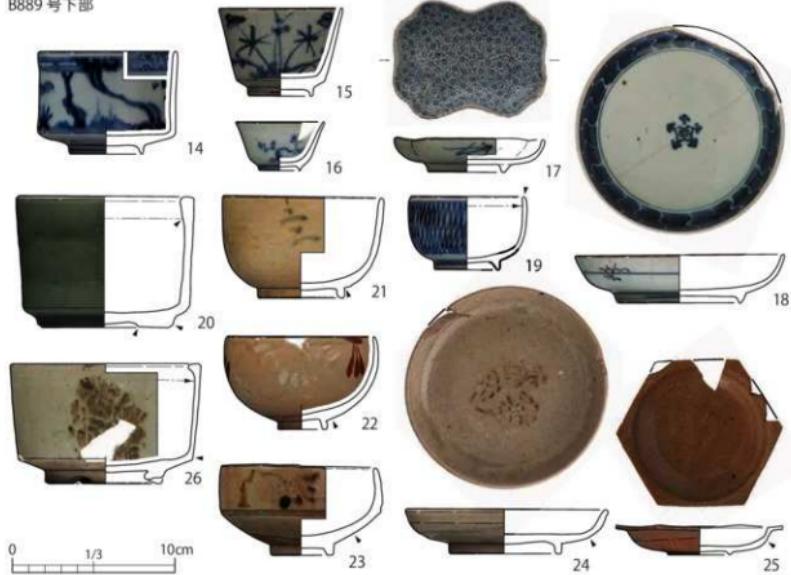
B875 号



B889 号上部

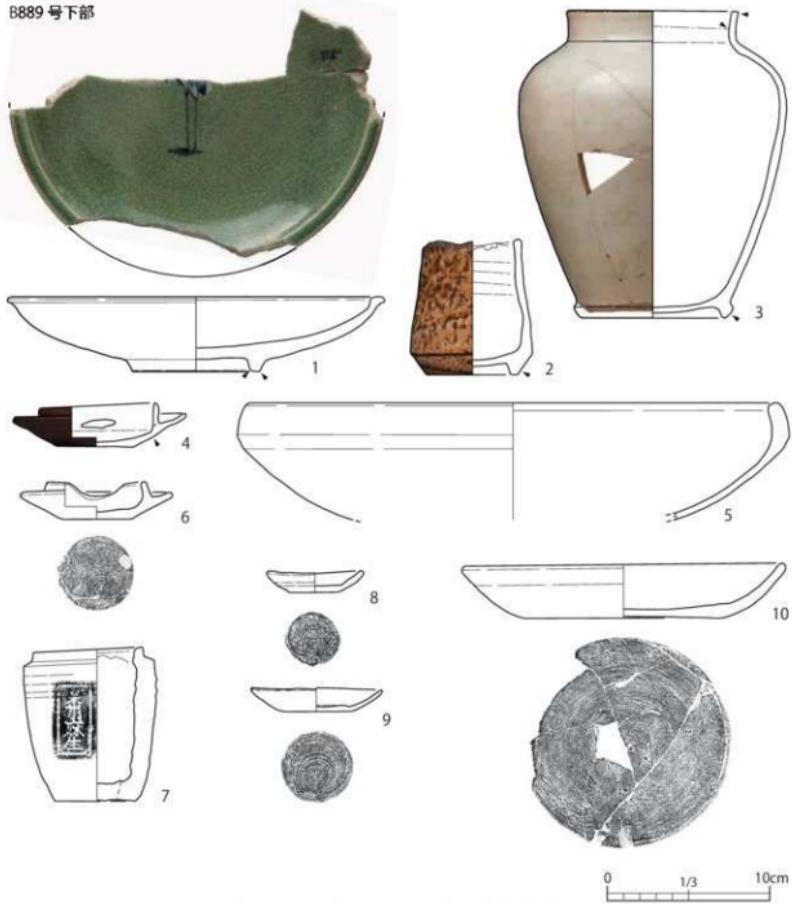


B889 号下部



第34図 近世の陶磁器・土器(32)(1/3)

B889号下部



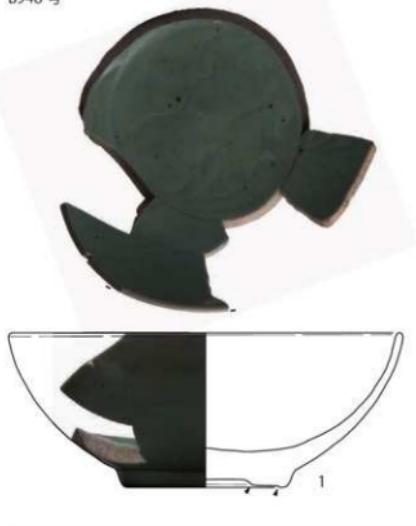
第35図 近世の陶磁器・土器 (33) (1/3)

B8890 号



第36図 近世の陶磁器・土器（34）（1/3）

B948 号

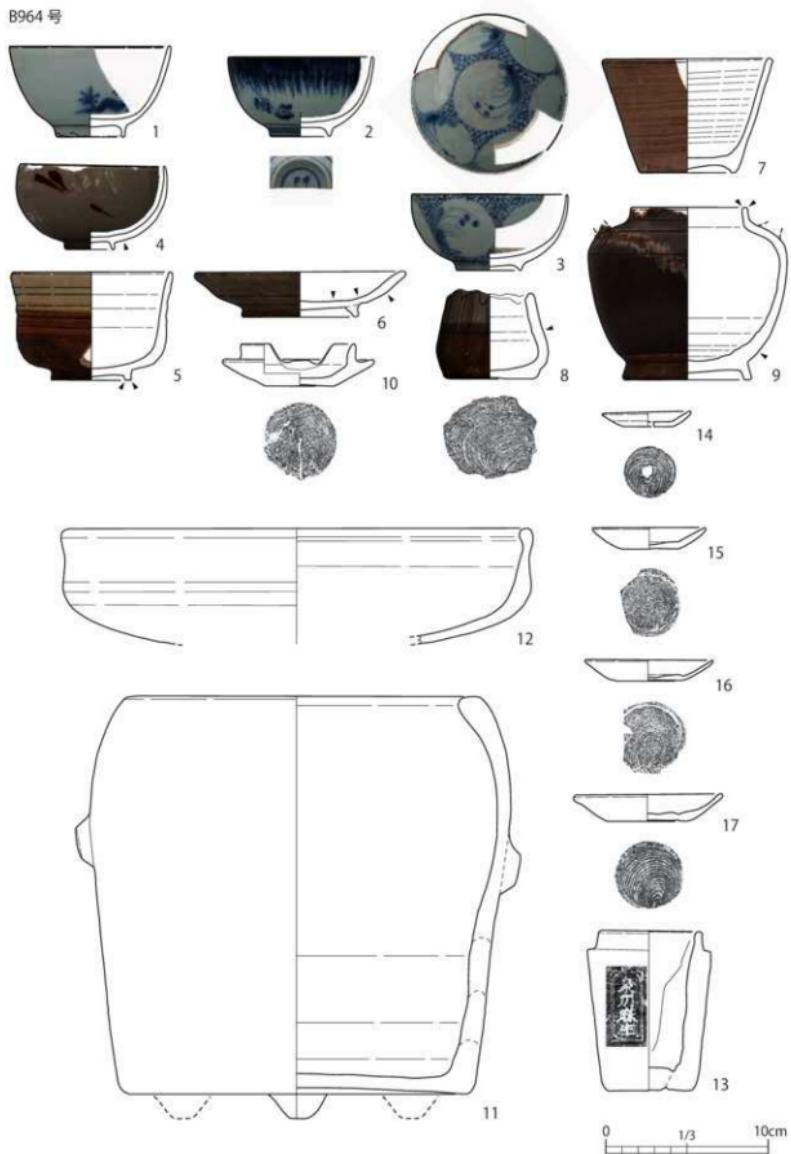


B1148 号



第37図 近世の陶磁器・土器 (35) (1/3)

B964 号



第38図 近世の陶磁器・土器 (36) (1/3)

B1132号



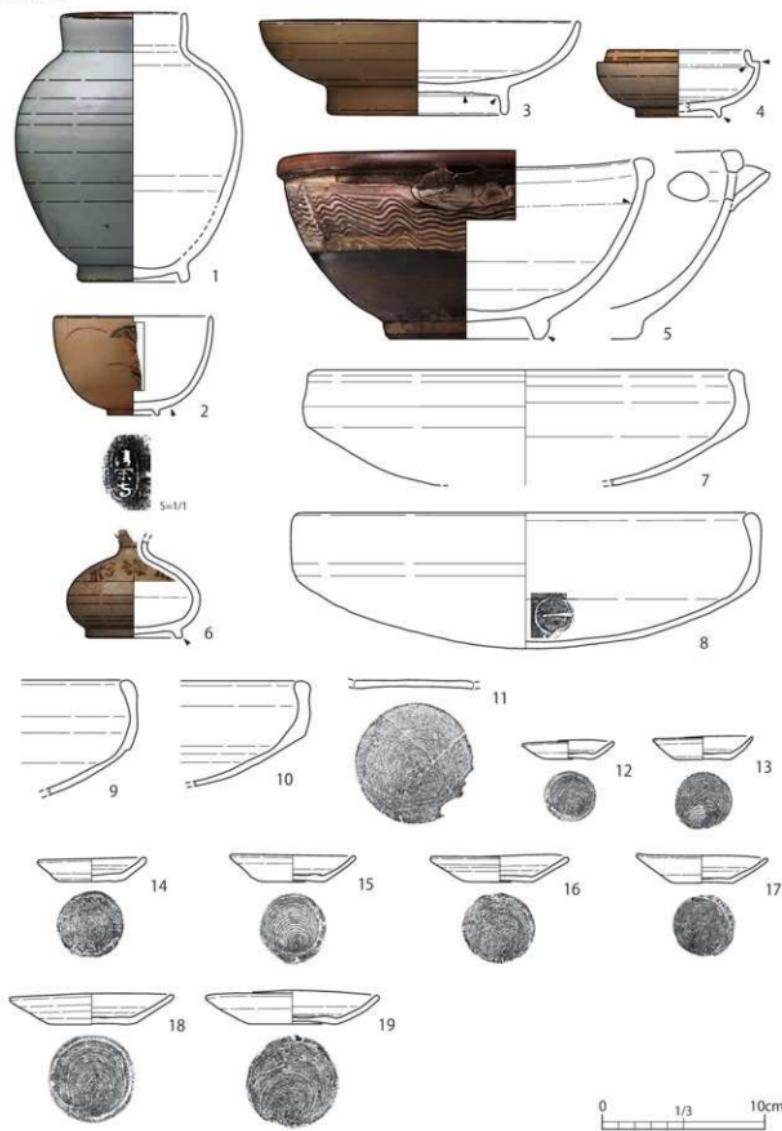
第39図 近世の陶磁器・土器 (37) (1/3・1/6)

B1159号



第40図 近世の陶磁器・土器（38）（1/3）

B1190号



0 1/3 10cm

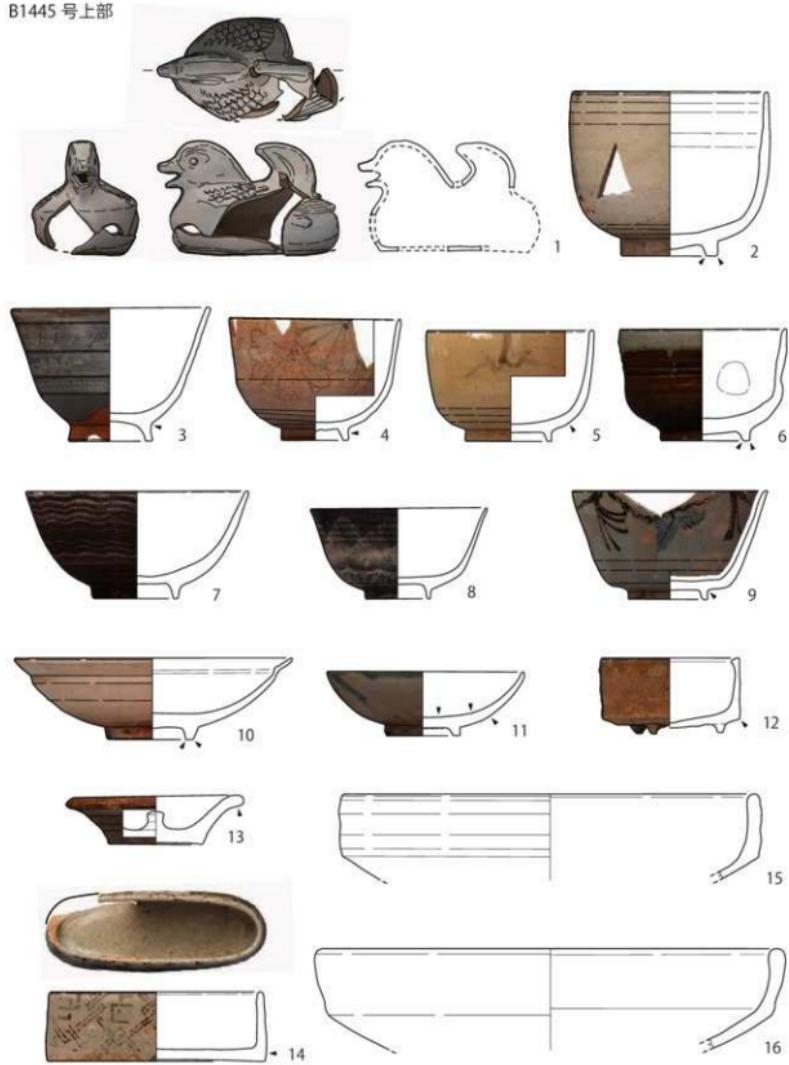
第41図 近世の陶磁器・土器 (39) (1/3)

B1445号上部



第42図 近世の陶磁器・土器 (40) (1/3)

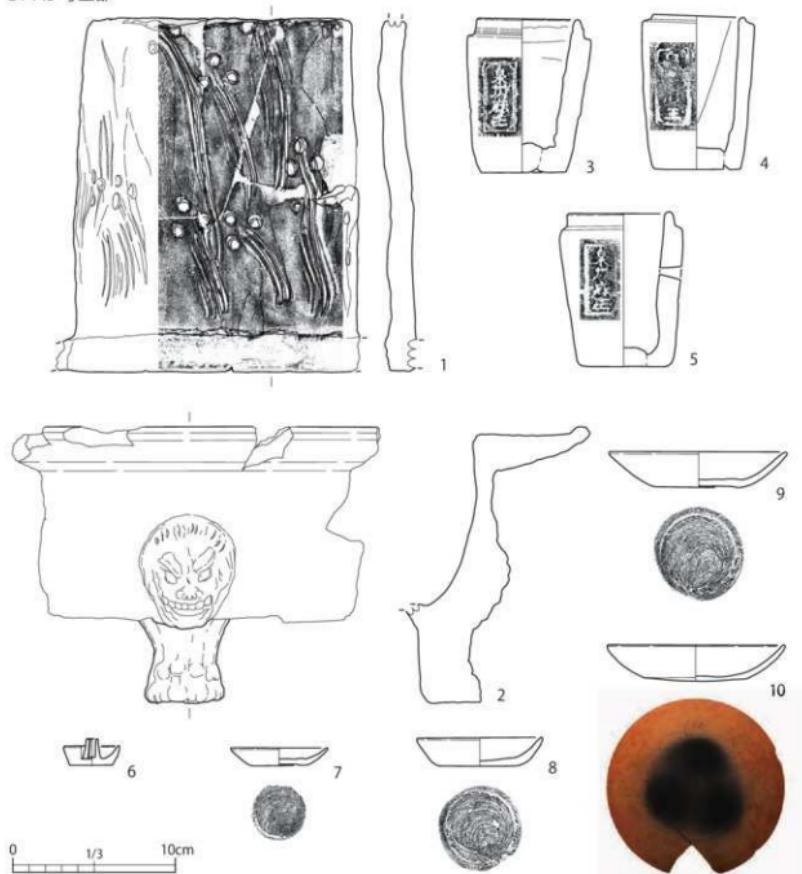
B1445 号上部



0 1/3 10cm

第43図 近世の陶磁器・土器 (41) (1/3)

B1445 号上部



第44図 近世の陶磁器・土器(42)(1/3)

B1445 号下部



第 45 図 近世の陶磁器・土器 (43) (1/3)

B1445号最下部



第46図 近世の陶磁器・土器 (44) (1/3 · 1/4)

B1475 号上部



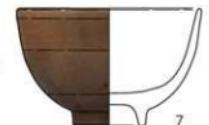
B1475 号下部



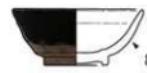
5



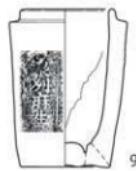
6



7



8



9

B1489 号



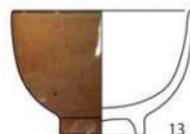
10



11



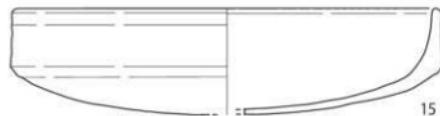
12



13



14



15



第47図 近世の陶磁器・土器 (45) (1/3)

B1505号

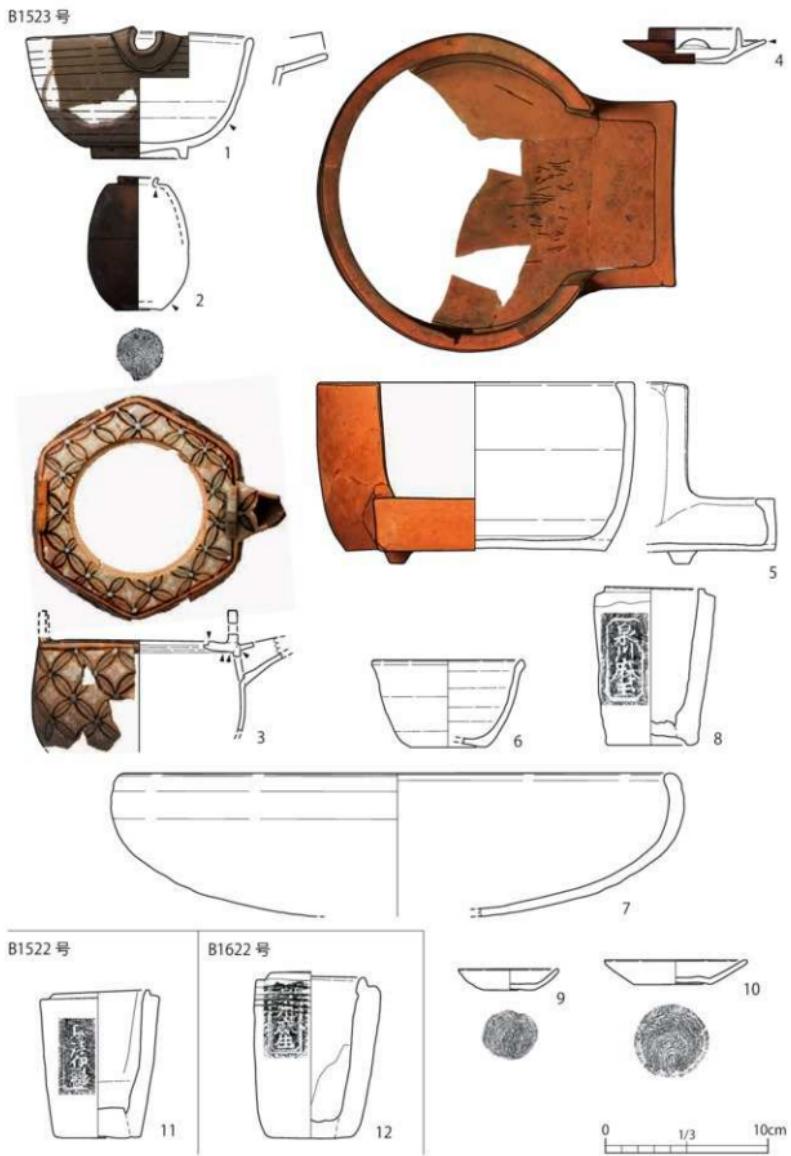


第48図 近世の陶磁器・土器 (46) (1/3)

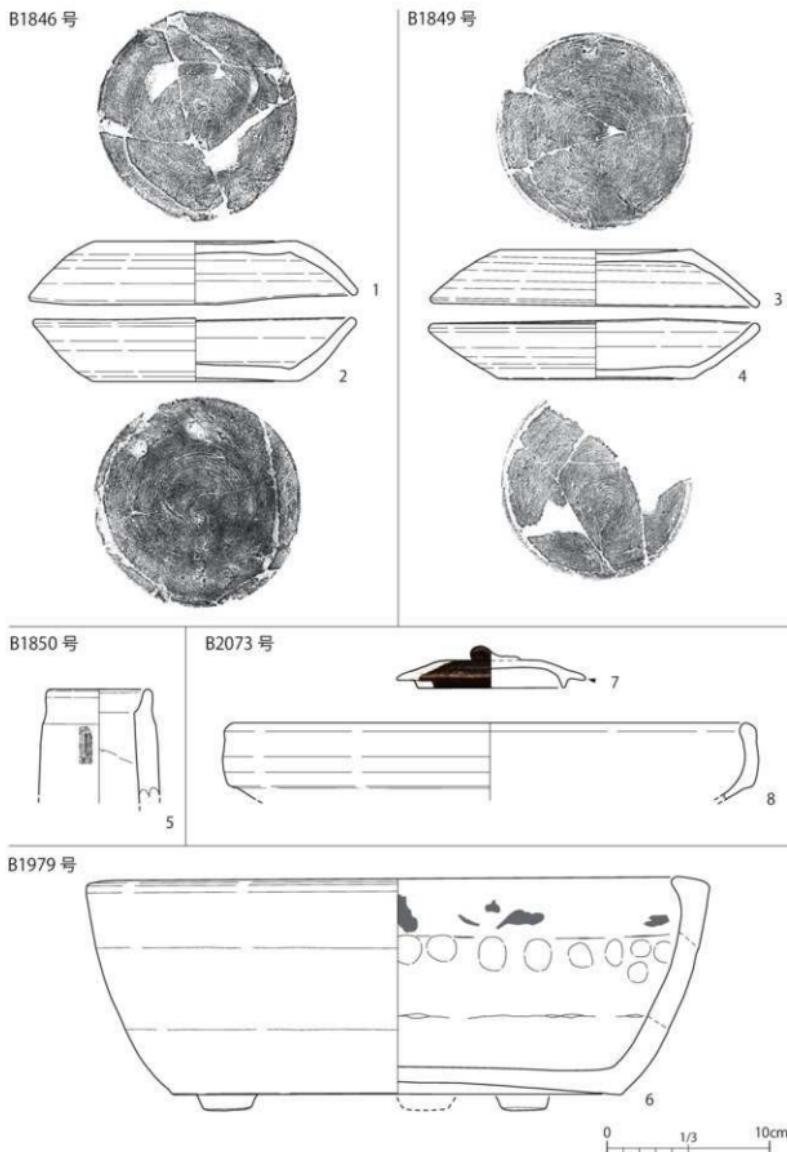
B1523号



第49図 近世の陶磁器・土器(47)(1/3)

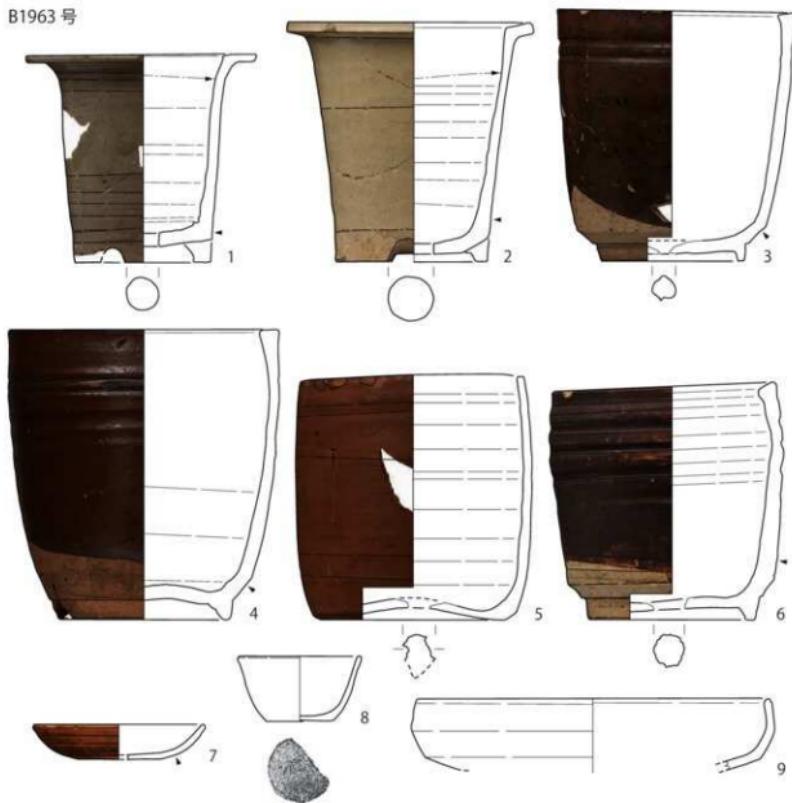


第50図 近世の陶磁器・土器 (48) (1/3)



第 51 図 近世の陶磁器・土器 (49) (1/3)

B1963 号

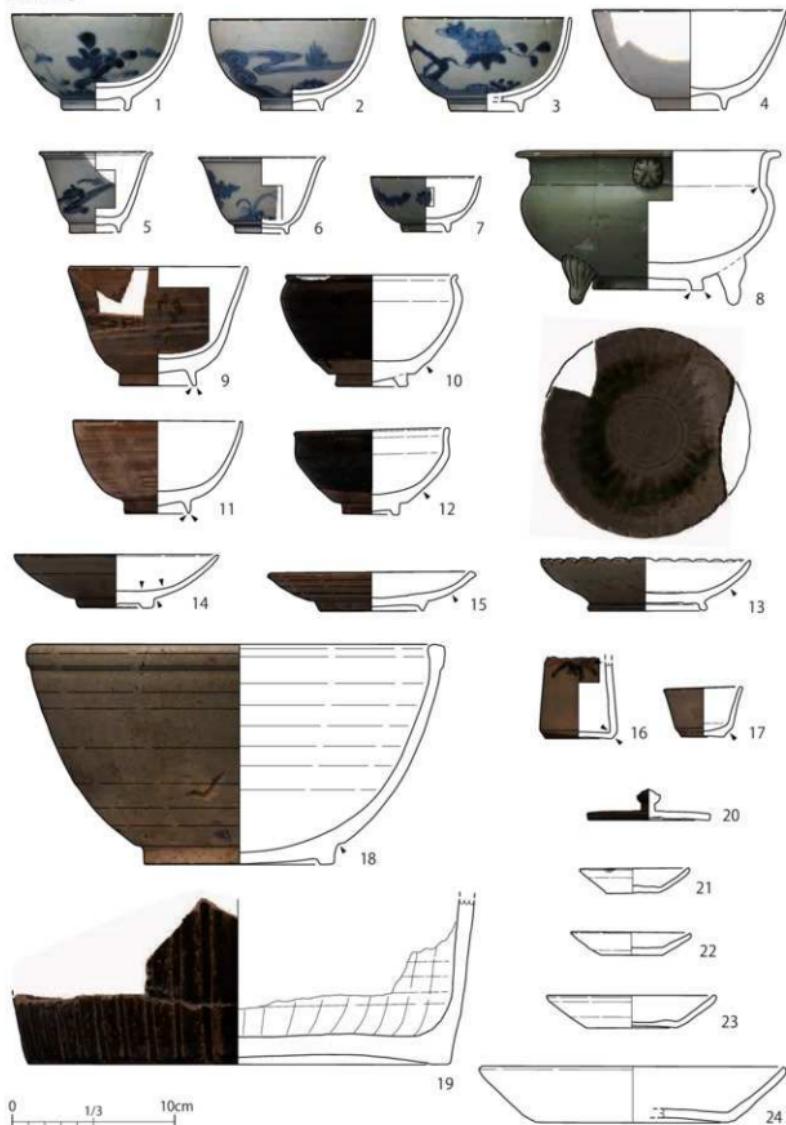


B1965 号



第 52 図 近世の陶磁器・土器 (50) (1/3)

B2086 号



第 53 図 近世の陶磁器・土器 (51) (1/3)

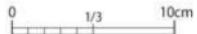
B2135 号



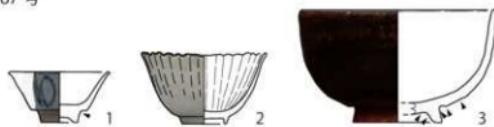
B1998 号



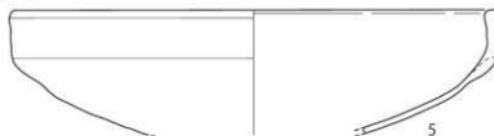
第 54 図 近世の陶磁器・土器 (52) (1/3)



B2187 号



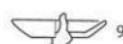
B2210 号



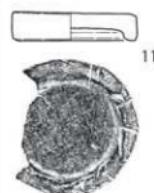
B2225 号



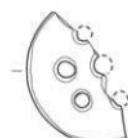
B2226 号



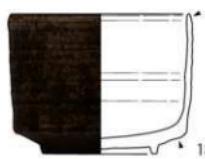
B2234 号



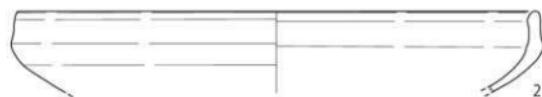
B2236 号



20



19



第 55 図 近世の陶磁器・土器 (53) (1/3)

B2223号



第56図 近世の陶磁器・土器 (54) (1/3)



第 57 図 近世の陶磁器・土器 (55) (1/3)

B2290 号



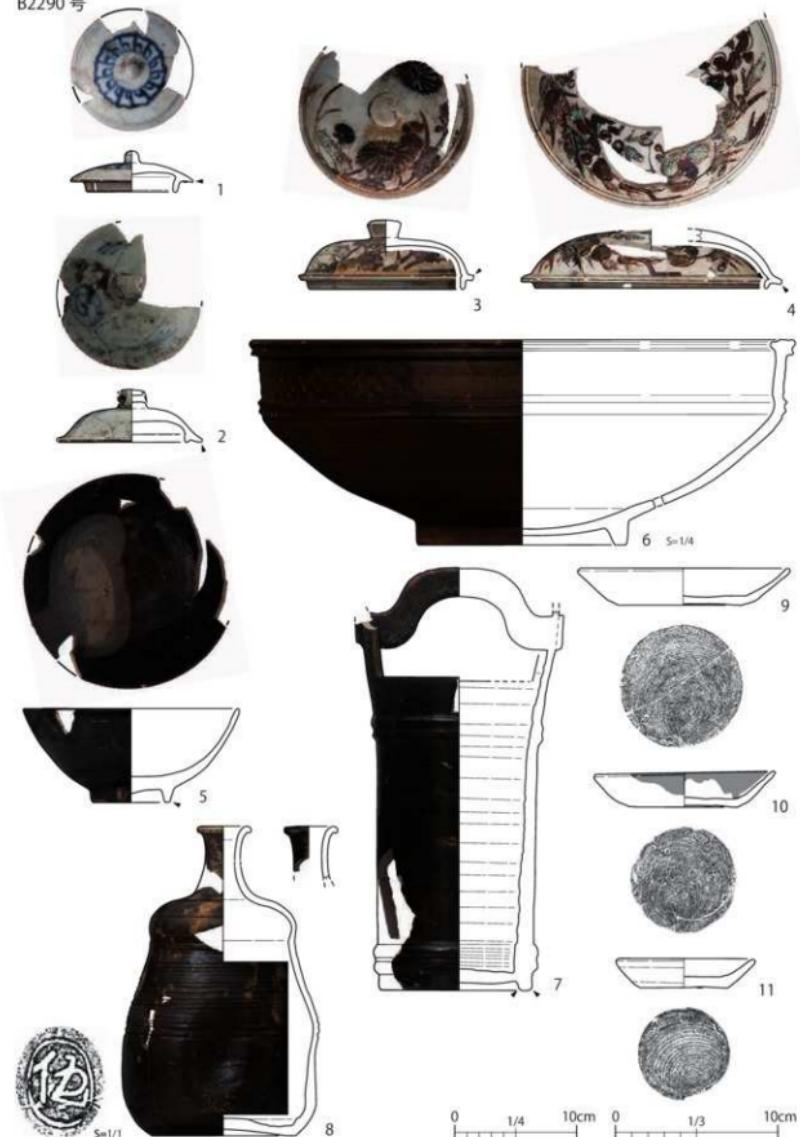
第 58 図 近世の陶磁器・土器 (56) (1/3)

B2290号

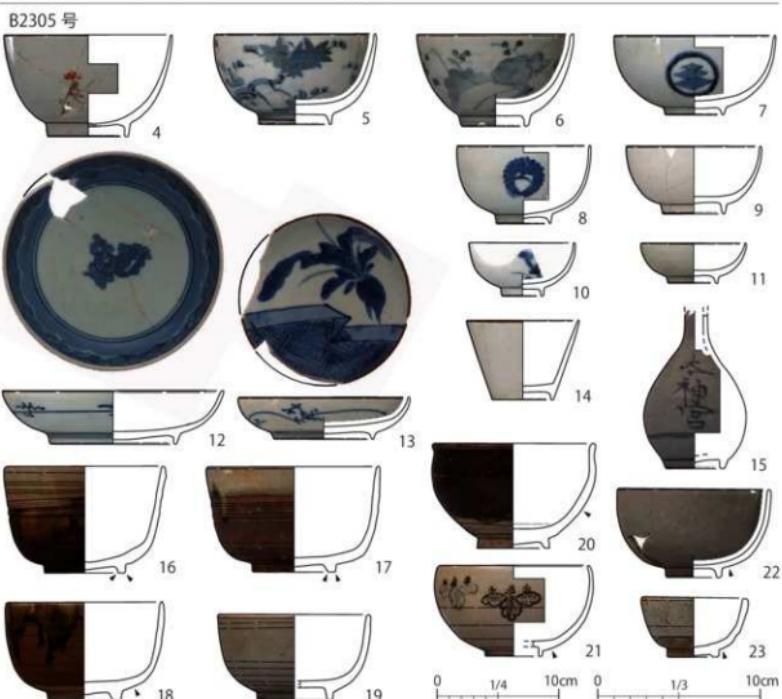


第59図 近世の陶磁器・土器 (57) (1/3)

B2290 号



第 60 図 近世の陶磁器・土器 (58) (1/3・1/4)



第 61 図 近世の陶磁器・土器 (59) (1/3・1/4)

B2305 号

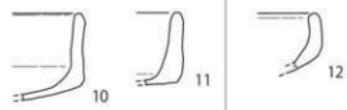


第 62 図 近世の陶磁器・土器 (60) (1/3・1/4)

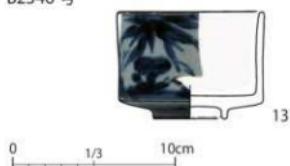
B2311号



B2314号

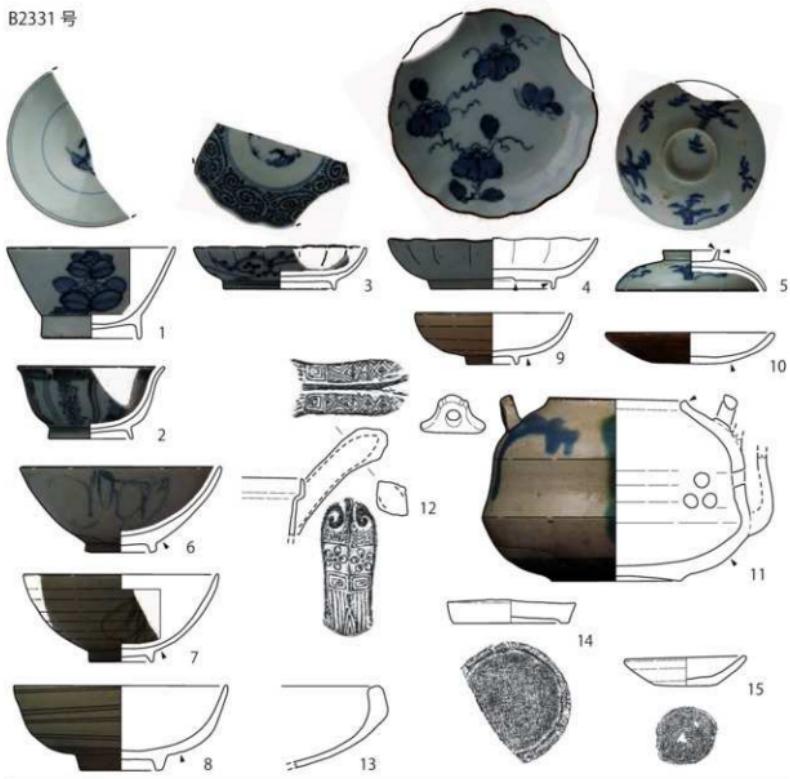


B2346号

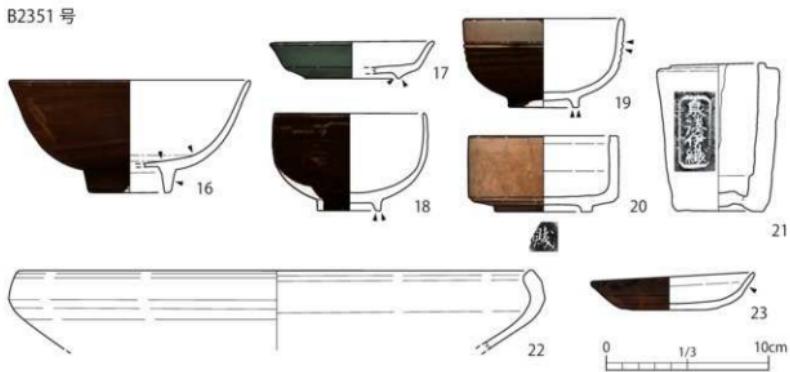


第63図 近世の陶磁器・土器 (61) (1/3)

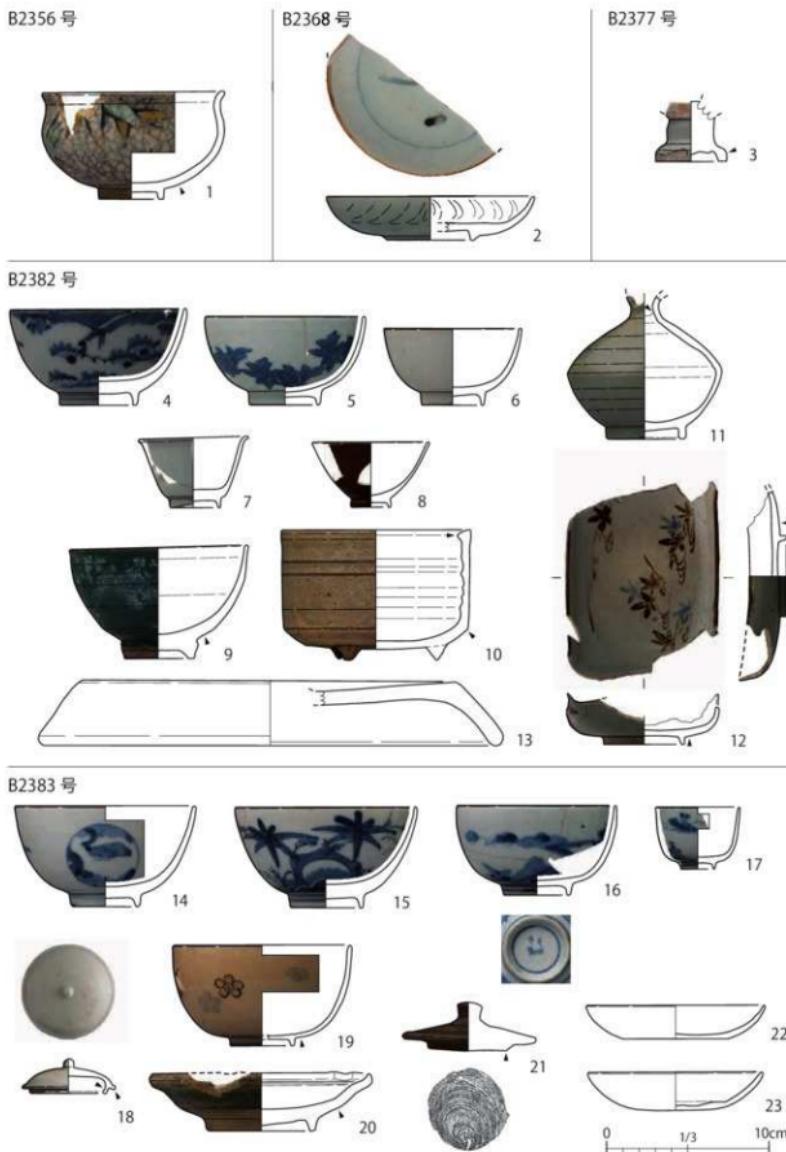
B2331号



B2351号



第64図 近世の陶磁器・土器(62) (1/3)



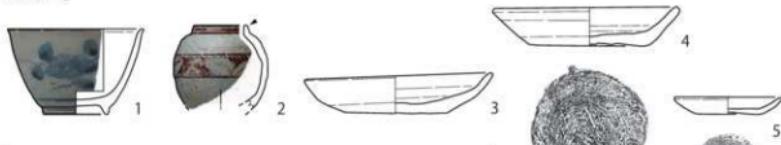
第 65 図 近世の陶磁器・土器 (63) (1/3)

B2381 号

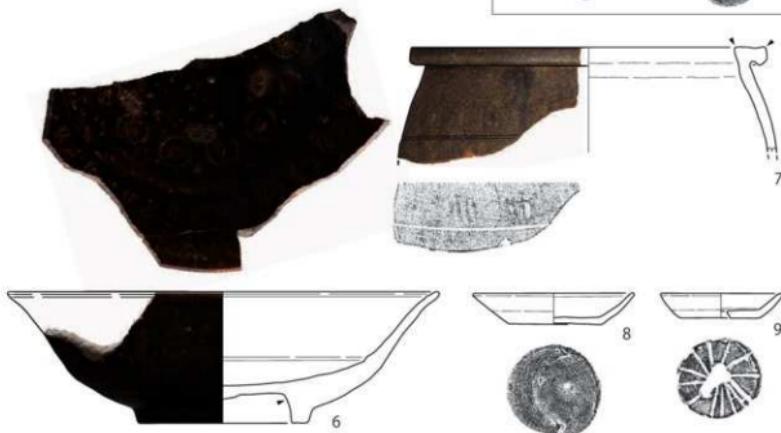


第 66 図 近世の陶磁器・土器 (64) (1/3)

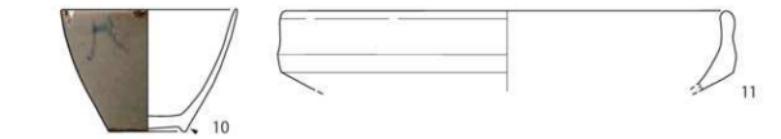
B2384 号



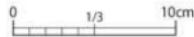
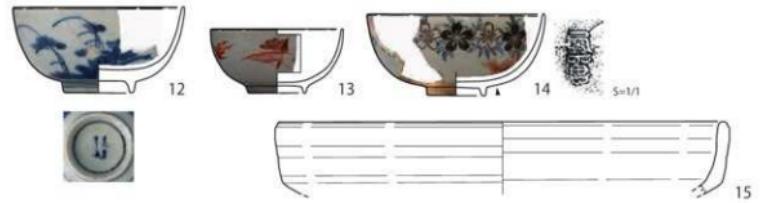
B2387 号



B2389 号



B2392 号



第 67 図 近世の陶磁器・土器 (65) (1/3)

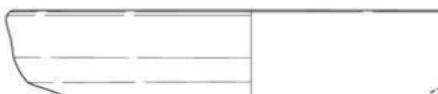
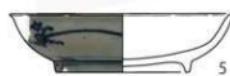
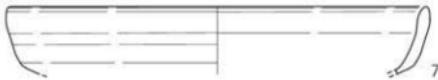
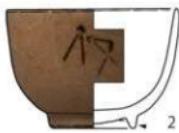
B2394 号



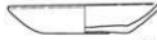
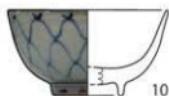
B2399 号



B2397 号



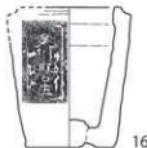
B2480 号



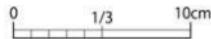
B2414 号



B2427 号

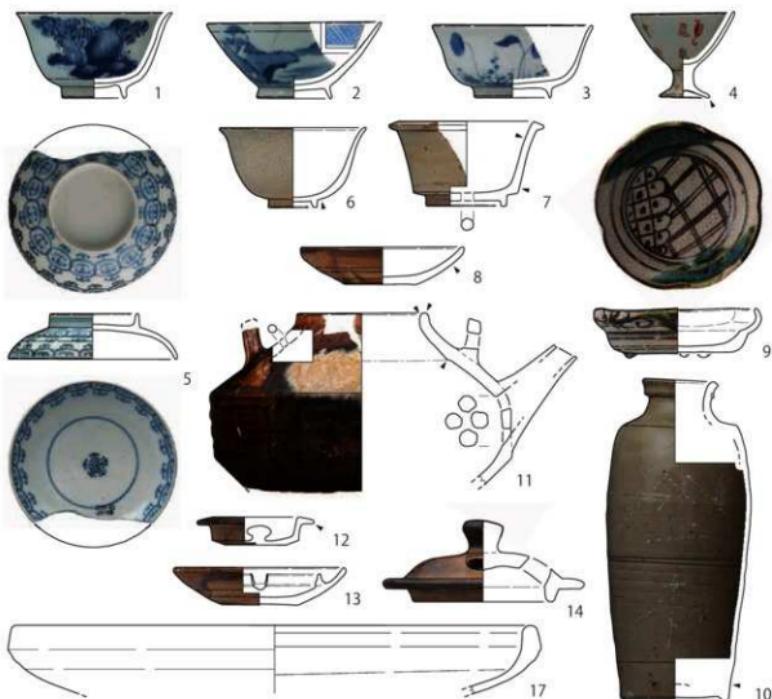


B2488 号

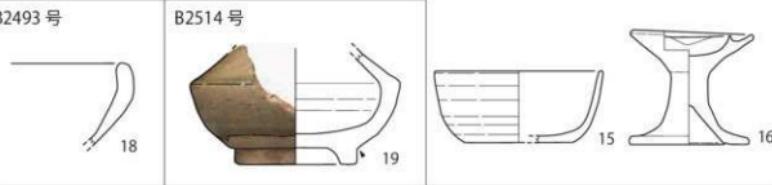


第 68 図 近世の陶磁器・土器 (66) (1/3)

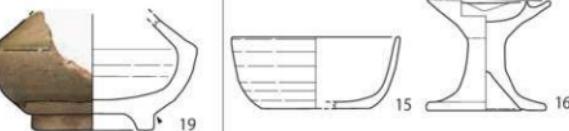
B2419号



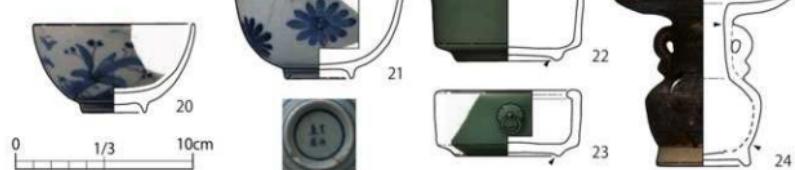
B2493号



B2514号



B2501号

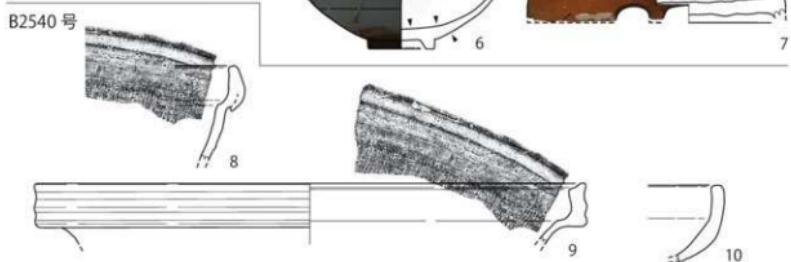


第69図 近世の陶磁器・土器(67)(1/3)

B2479号



B2540号



B2554号

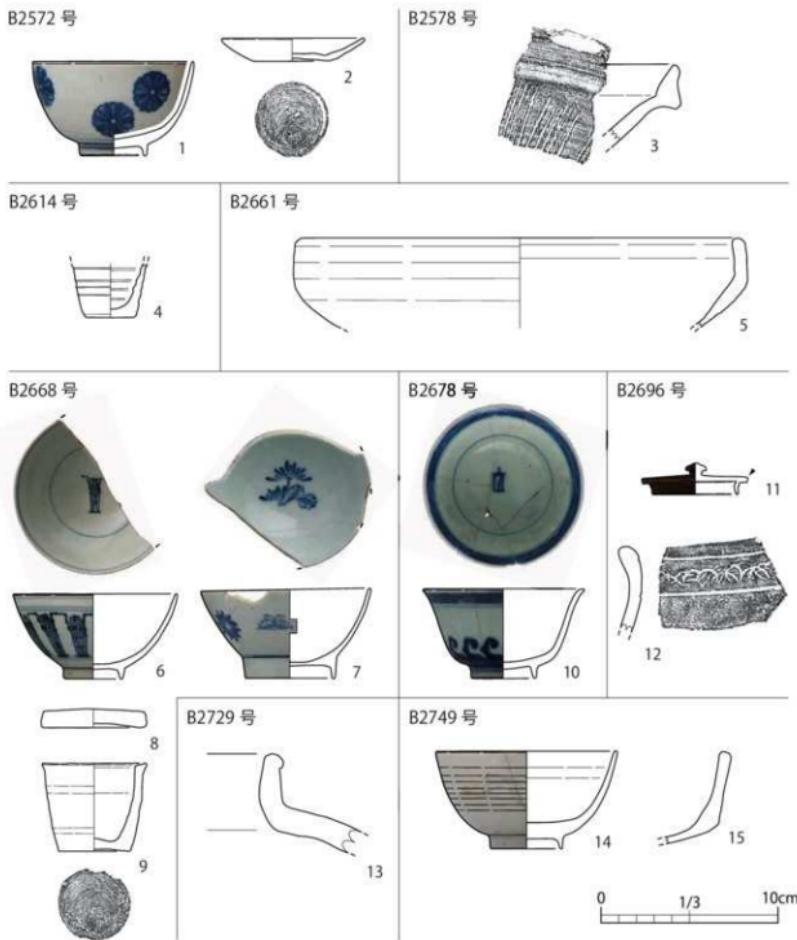


B2562号



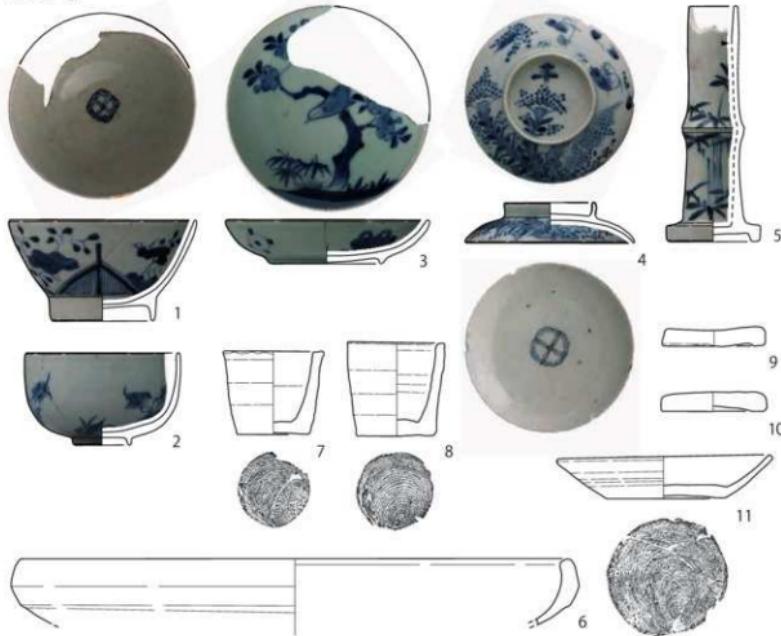
0 1/3 10cm

第70図 近世の陶磁器・土器(68)(1/3)



第 71 図 近世の陶磁器・土器 (69) (1/3)

B2731号



B2752号



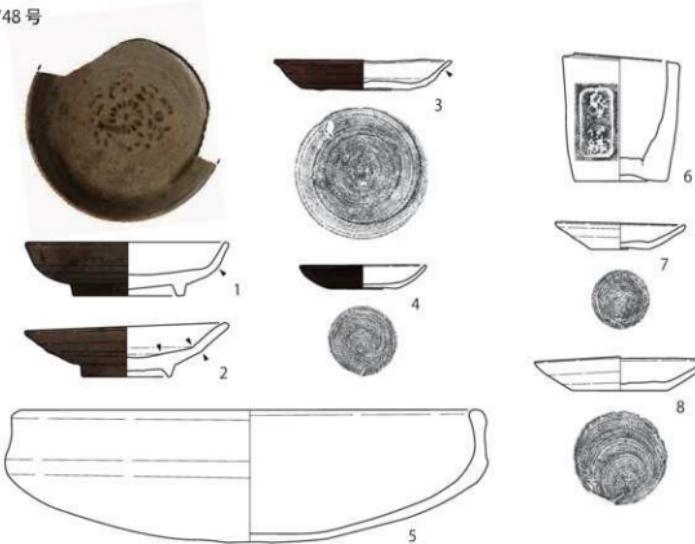
第72図 近世の陶磁器・土器 (70) (1/3)

B2748 号

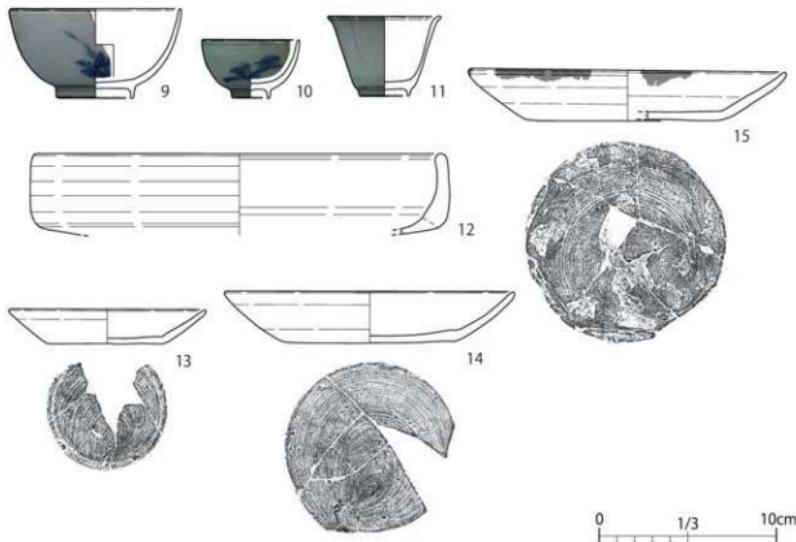


第 73 図 近世の陶磁器・土器 (71) (1/3)

B2748号



B2761号



第74図 近世の陶磁器・土器 (72) (1/3)

B2769 号



第 75 図 近世の陶磁器・土器 (73) (1/3)

B2769 号

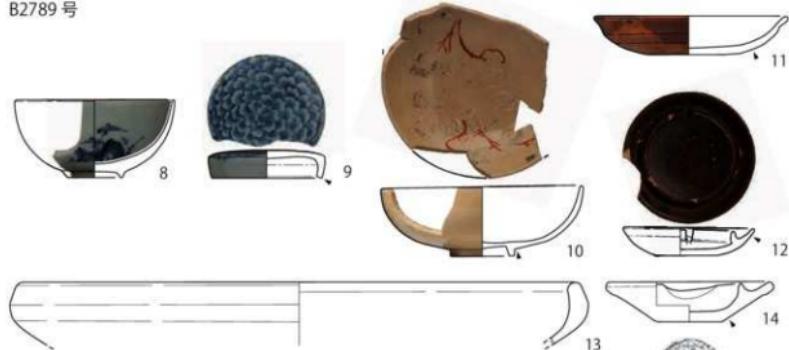


第 76 図 近世の陶磁器・土器 (74) (1/3・1/4)

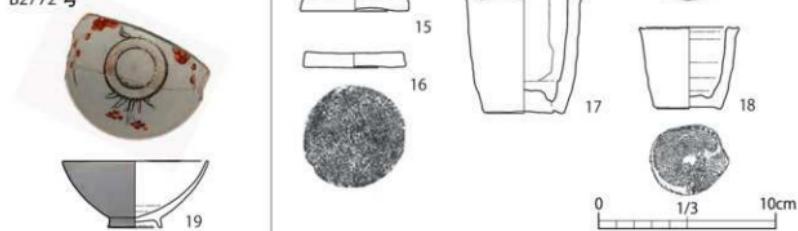
B2776号



B2789号

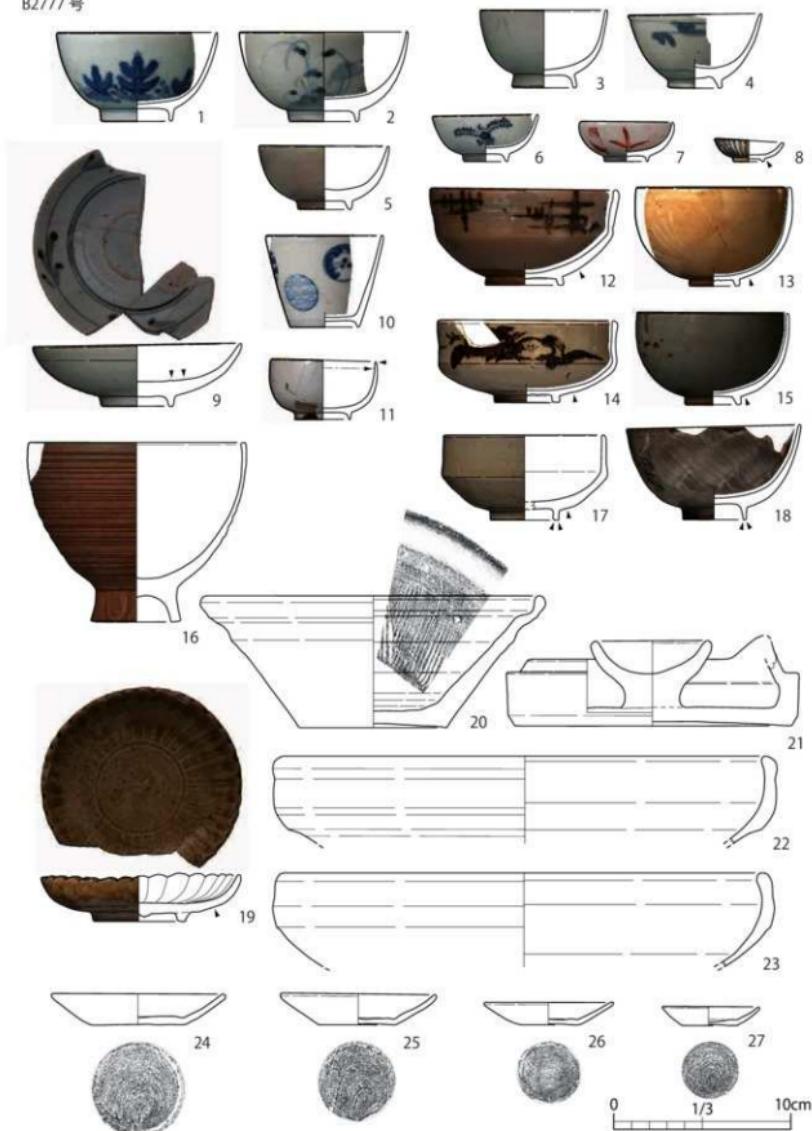


B2772号



第77図 近世の陶磁器・土器 (75) (1/3)

B2777号



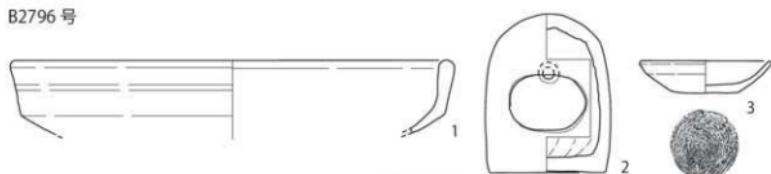
第78図 近世の陶磁器・土器 (76) (1/3)

B2796 号



第79図 近世の陶磁器・土器 (77) (1/3)

B2796 号

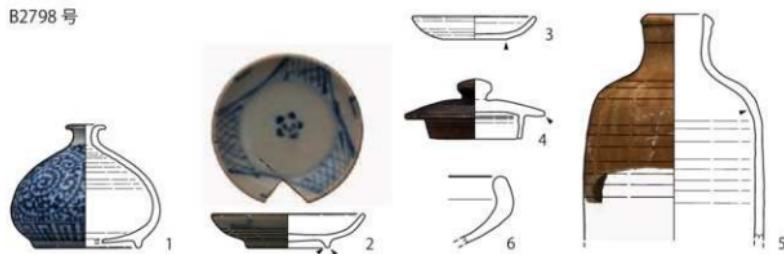


B2806 号



第 80 図 近世の陶磁器・土器 (78) (1/3・1/4・1/6)

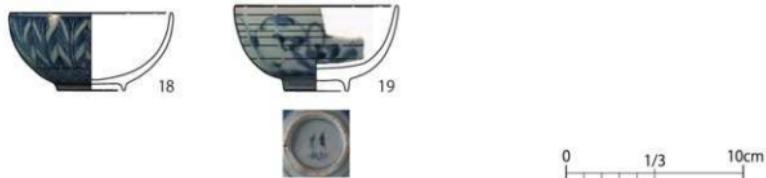
B2798 号



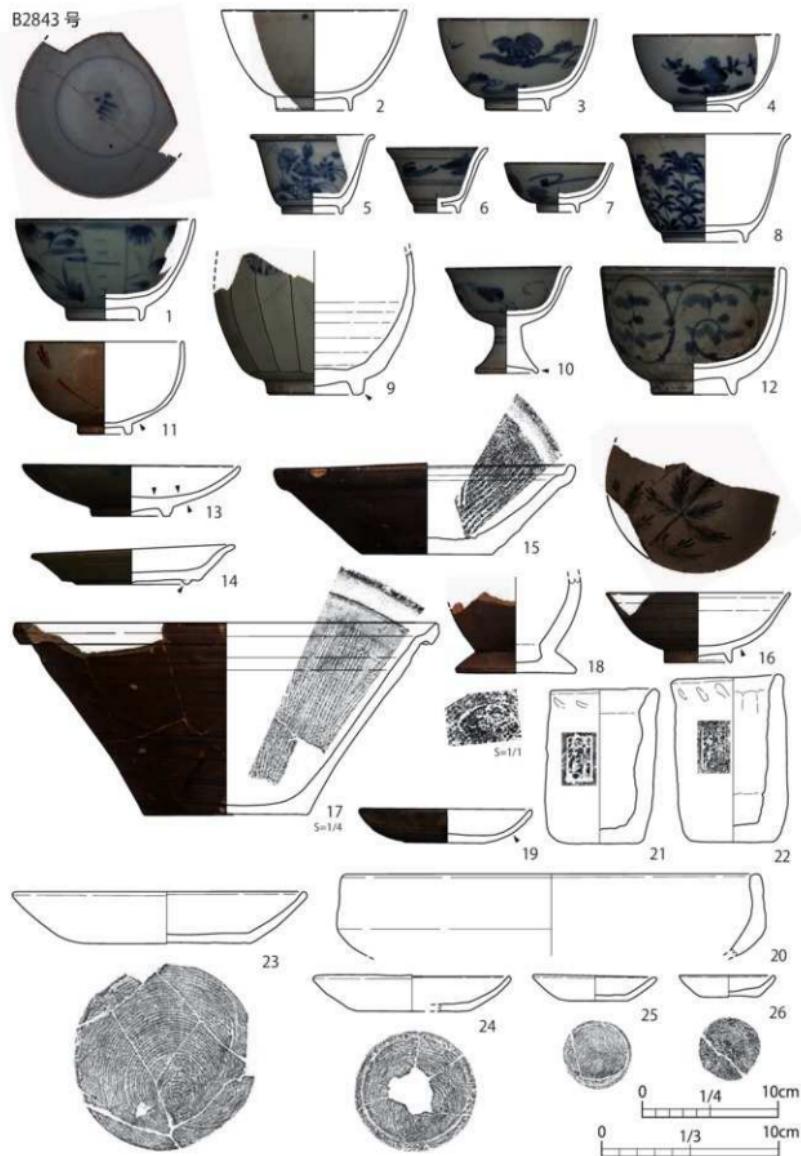
B2799 号



B2805 号



第 81 図 近世の陶磁器・土器 (79) (1/3)

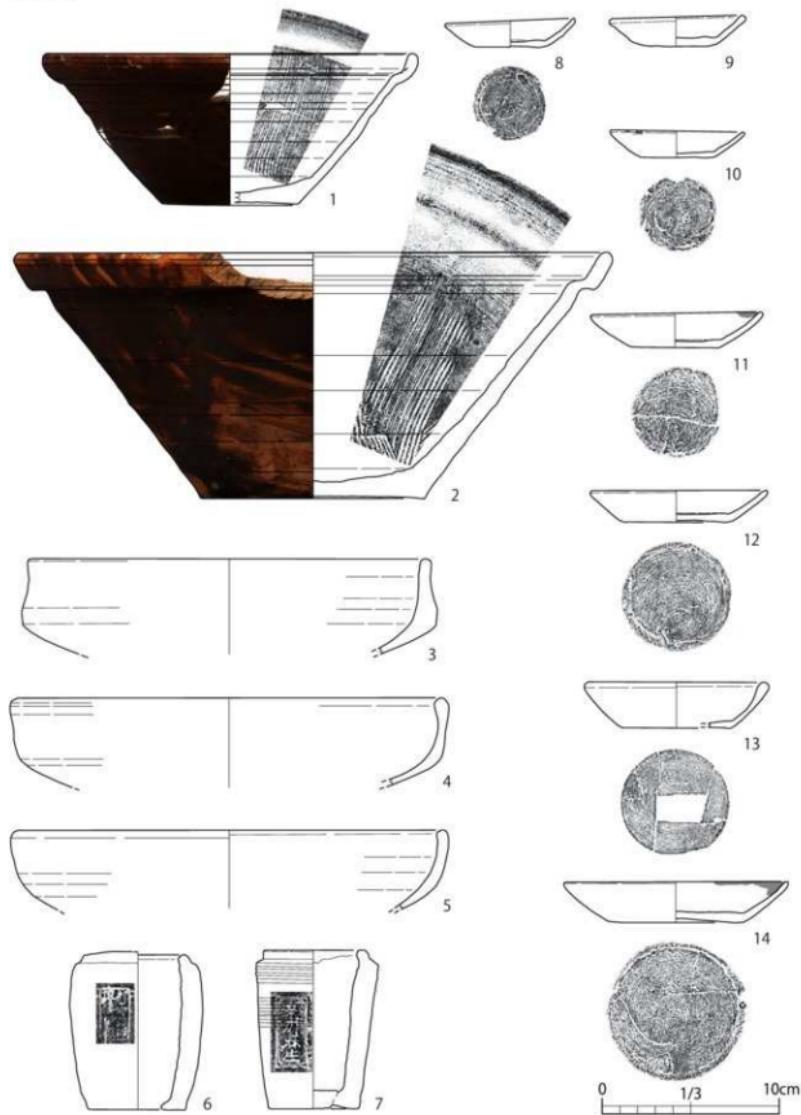


第 82 図 近世の陶磁器・土器 (80) (1/3・1/4)



第 83 図 近世の陶磁器・土器 (81) (1/3)

B2847 号



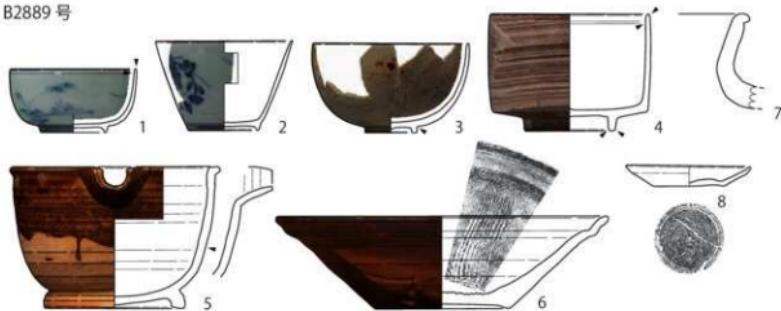
第 84 図 近世の陶磁器・土器 (82) (1/3)

B2849 号

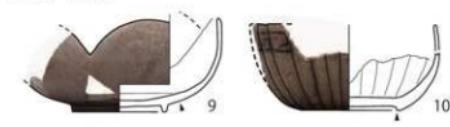


第 85 図 近世の陶磁器・土器 (83) (1/3)

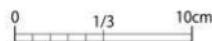
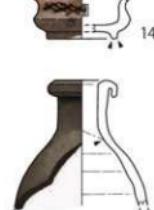
B2889 号



B3023 号上層



B3023 号下層



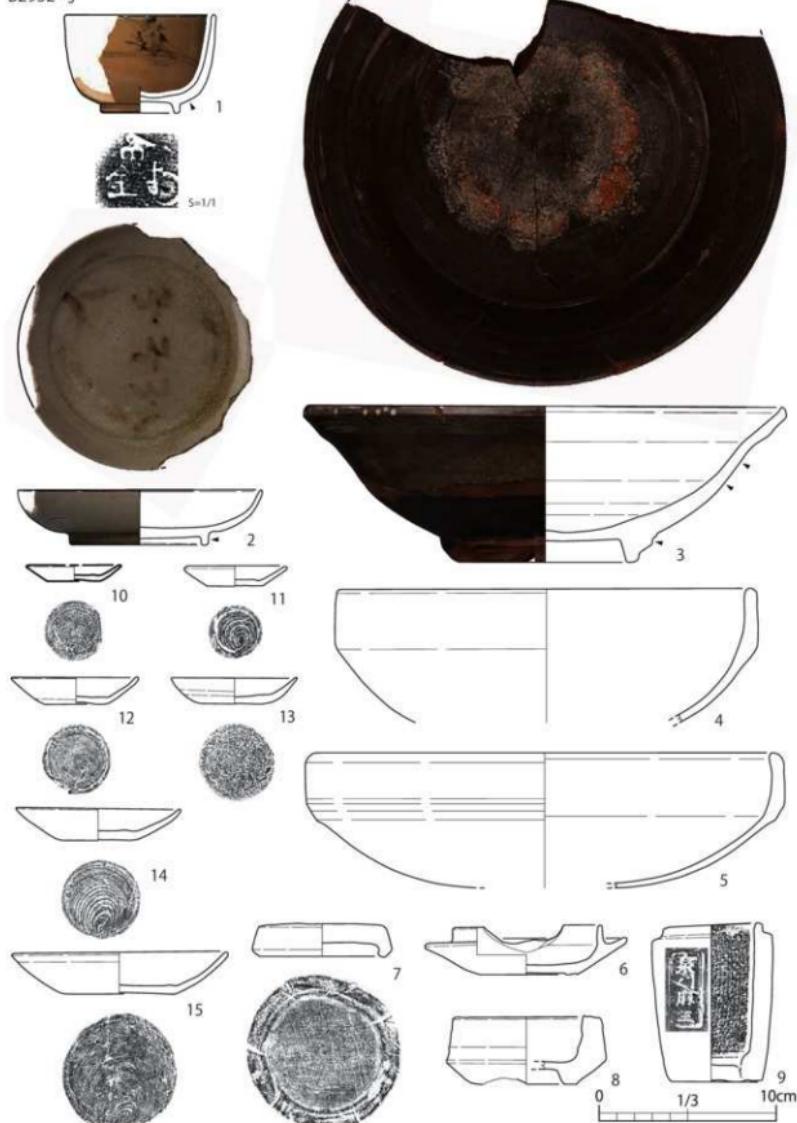
第 86 図 近世の陶磁器・土器 (84) (1/3)

B2952 号



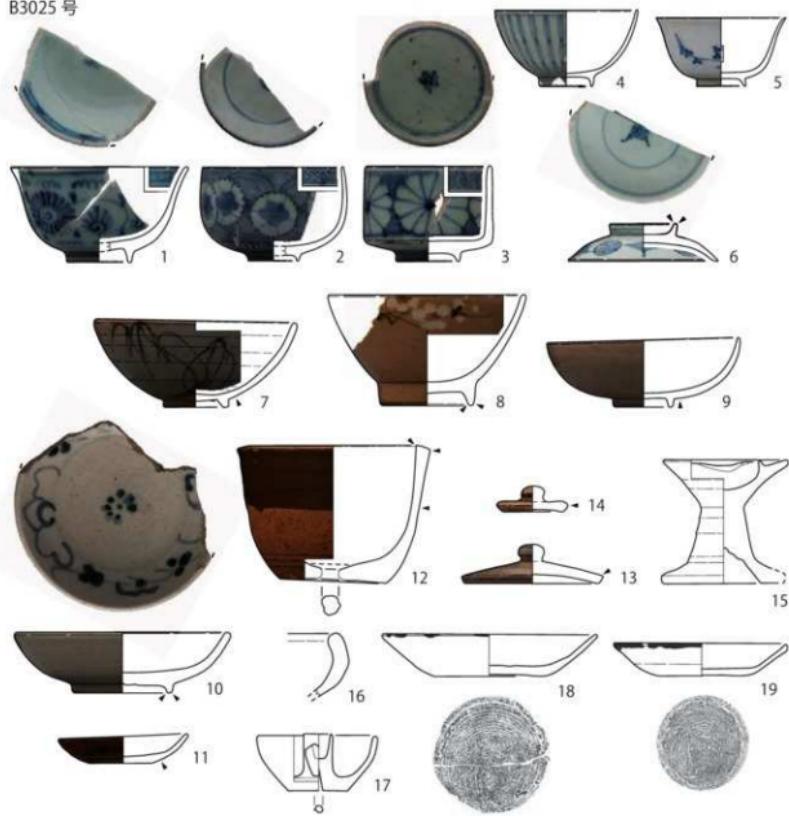
第 87 図 近世の陶磁器・土器 (85) (1/3)

B2952 号

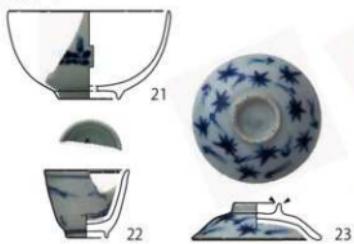


第 88 図 近世の陶磁器・土器 (86) (1/3)

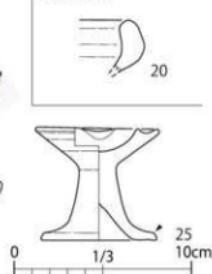
B3025号



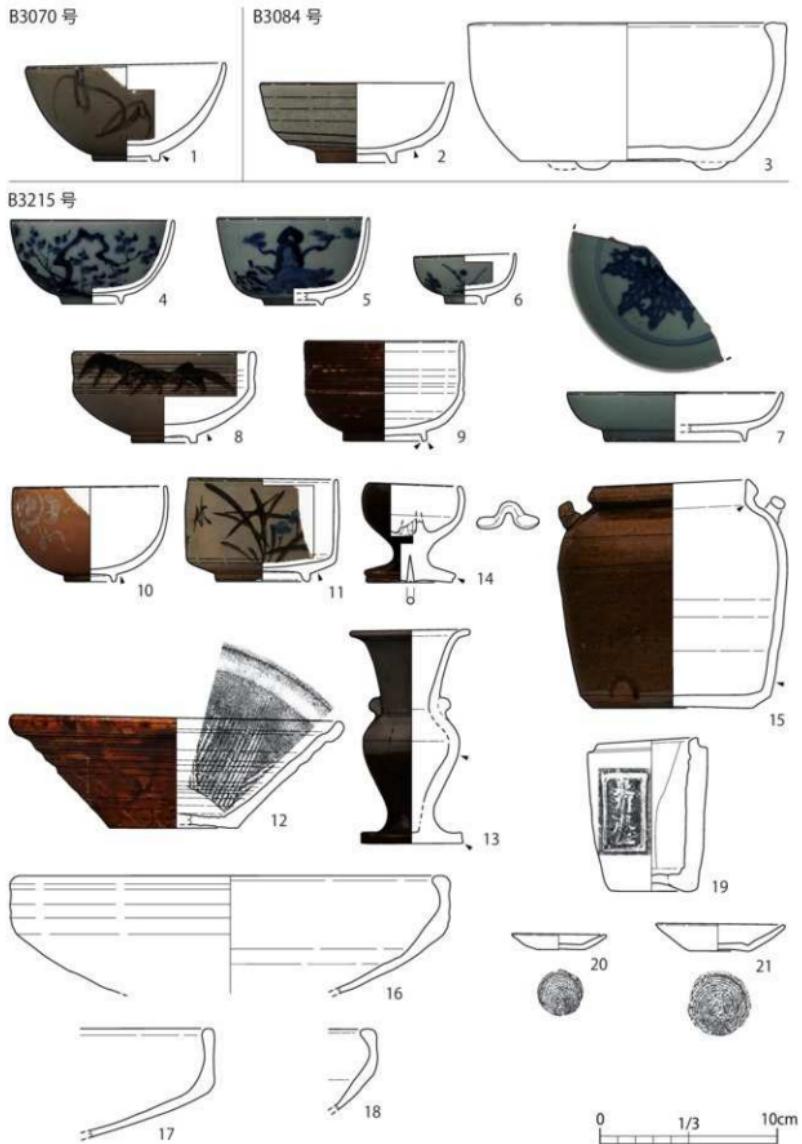
B3039号



B3028号

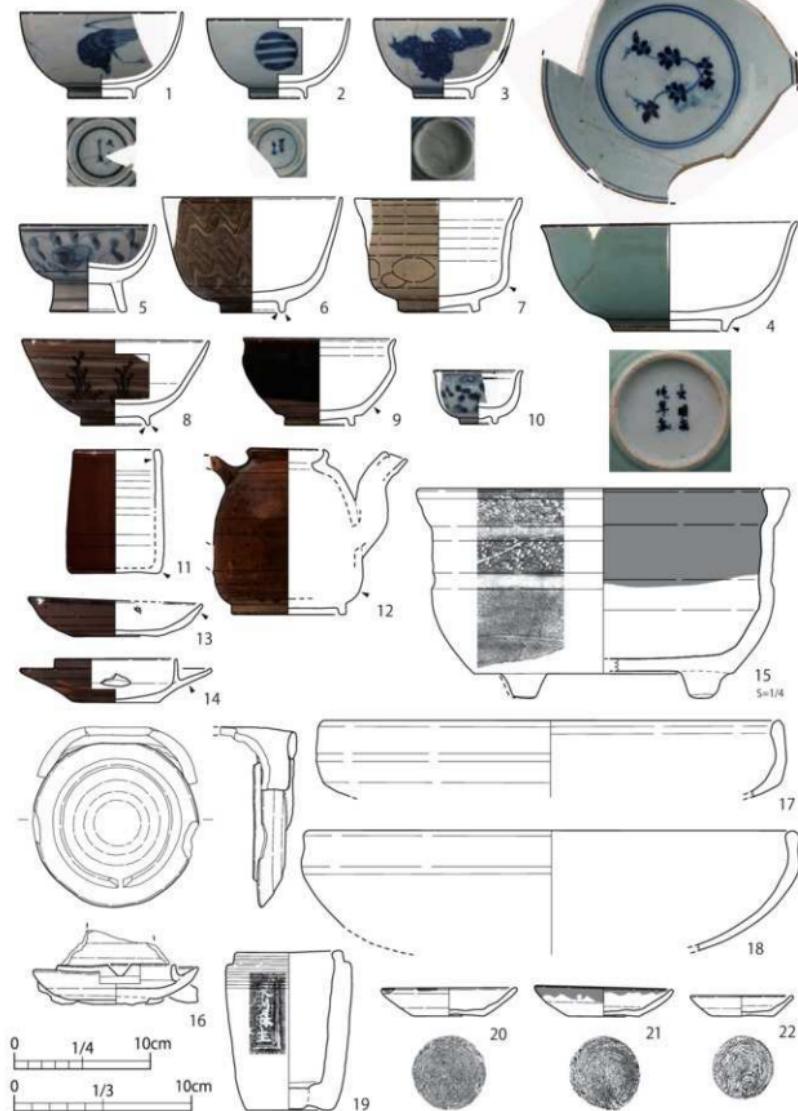


第89図 近世の陶磁器・土器 (87) (1/3)



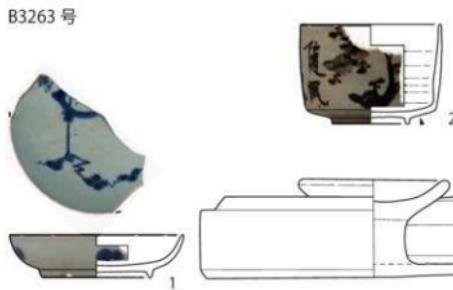
第90図 近世の陶磁器・土器（88）(1/3)

B3223 号

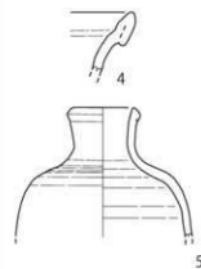


第 91 図 近世の陶磁器・土器 (89) (1/3・1/4)

B3263 号



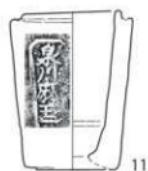
B5025 号



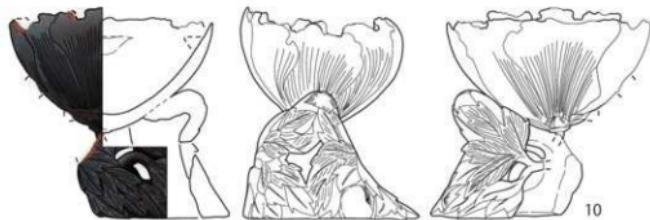
B5042 号



B5074 号



B5048 号



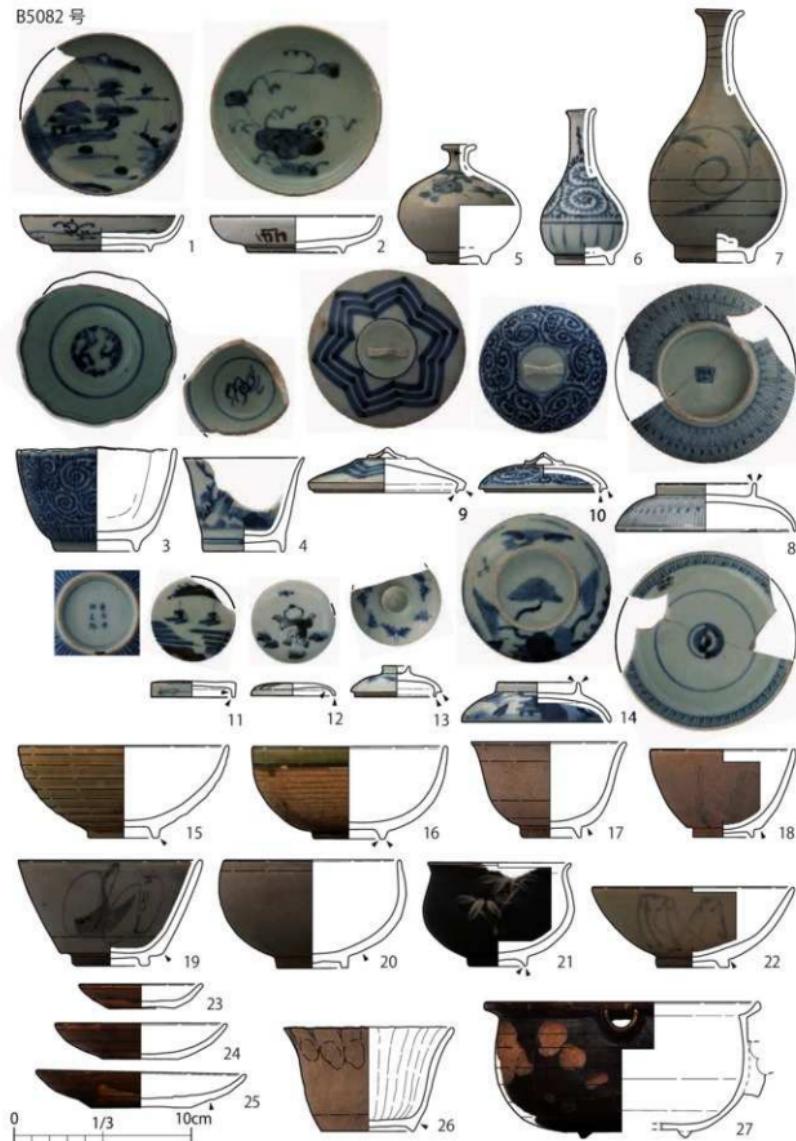
第92図 近世の陶磁器・土器 (90) (1/3)

B5082 号



第93図 近世の陶磁器・土器(91)(1/3)

B5082 号



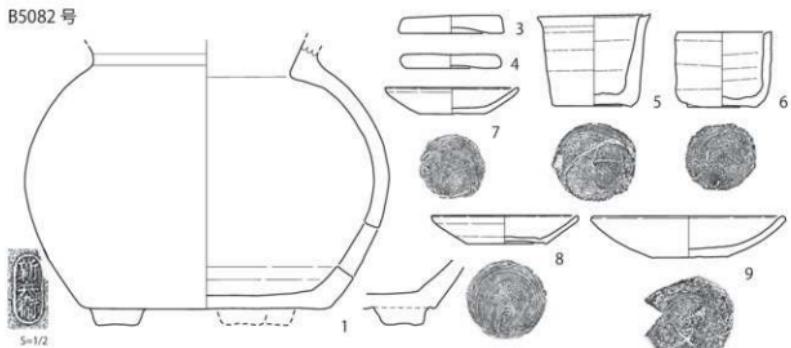
第 94 図 近世の陶磁器・土器 (92) (1/3)

B5082 号



第 95 図 近世の陶磁器・土器 (93) (1/3・1/6)

B5082 号

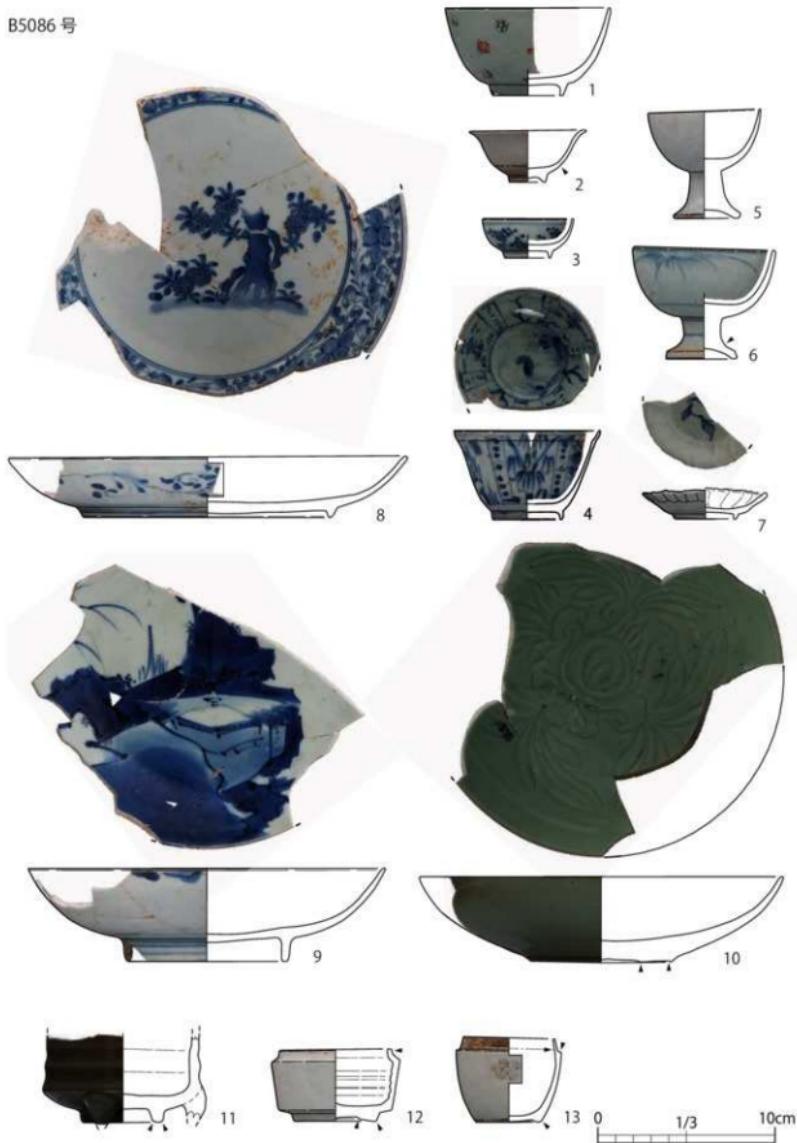


B5086 号



第 96 図 近世の陶磁器・土器 (94) (1/3)

B5086号



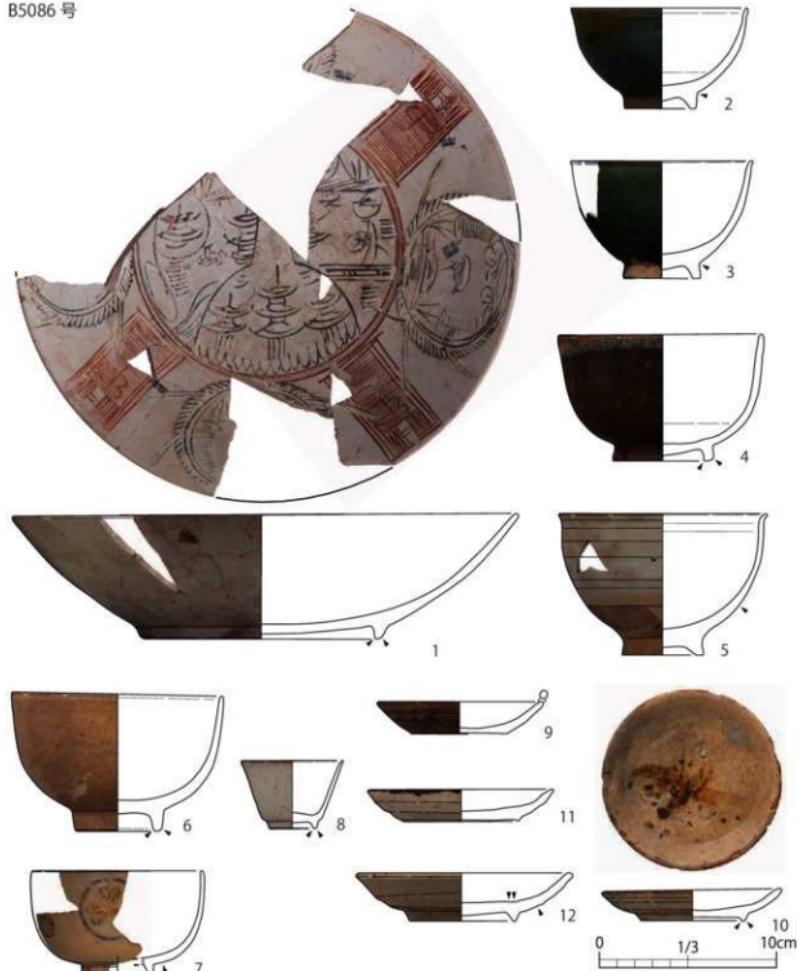
第97図 近世の陶磁器・土器 (95) (1/3)

B5086 号



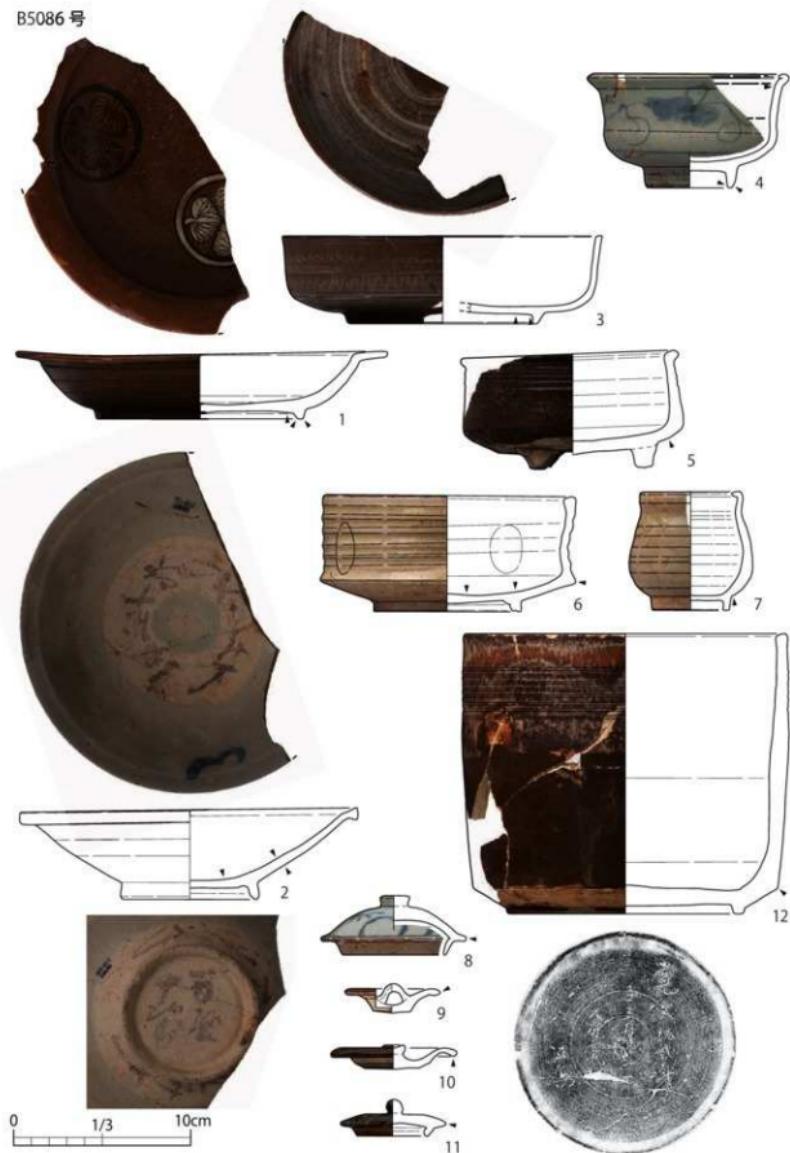
第98図 近世の陶磁器・土器 (96) (1/3)

B5086号



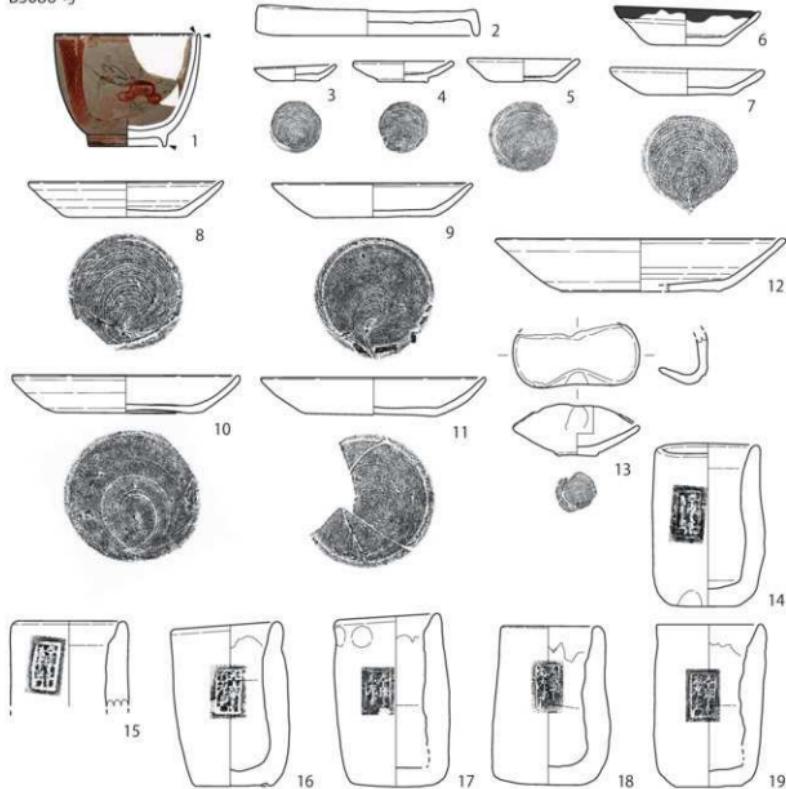
第99図 近世の陶磁器・土器 (97) (1/3)

B5086号

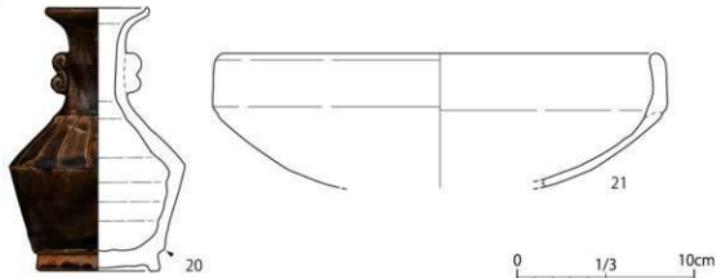


第100図 近世の陶磁器・土器(98)(1/3)

B5086 号

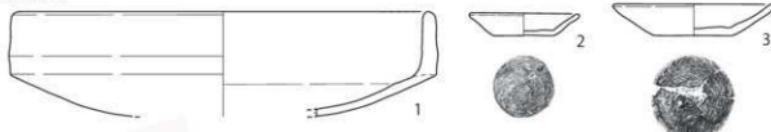


B5088 号

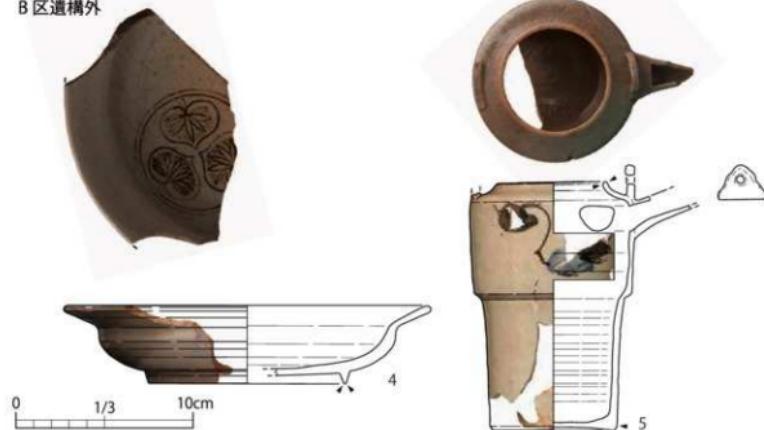


第 101 図 近世の陶磁器・土器 (99) (1/3)

B5185 号



B 区遺構外



第 102 図 近世の陶磁器・土器 (100) (1/3)

B3223号（第91図）

磁器は、「大明成化年製」銘のある大碗（第91図4）、コンニャク印判で菊花文とする小碗（第91図3）、高台幅が広い仏飯器（第91図5）等がある。

陶器は、白泥の刷毛目を有する肥前産の碗（第91図6・8）、瀬戸・美濃産の天目碗（第91図9）、灰吹（第91図11）、水注（第91図12）、志戸呂産の灯明皿（第91図13）と灯明受皿（第91図14）等がある。

土器は、体部に刺突文様をもつ火鉢（第91図15）、灯明受皿（第91図16）、器壁高が深い焙烙（第91図18）、「泉州麻生」銘の焼塩壺身（第91図16）等がある。

B5082号（第93～96図）

比較的浅い大型土坑で、下層を中心に遺物が多く出土している。

磁器は、碗（第93図1～17）、皿（第93図11～17図、第94図1・2）、鉢（第94図3・4）、瓶（第94図5～VII）、蓋（第94図8～14）があり、第93図1の大碗は外面に松林と鶴が描かれる。第93図13の小皿は蛇ノ目凹型高台で、見込みに月、蝶、二重圓線捻花文、陽刻花弁、草花文の各種の文様が見られる。また第94図8の碗蓋は、内面中央に陰陽文、口縁部に暦文、外面全体に暦文がみられ、高台内に銘款がある。

陶器は、碗（第94図15～22）、柿釉の小皿（第94図23～25）、型打ちの鉢（第94図26）、織部風の蓋物（第95図3）、豊楽焼と考えられる緑釉の急須（第95図4）、鉄釉の土瓶（第95図6）、灰釉の小壺（第95図6）、落し蓋（第95図8～11）、土瓶蓋（第95図12・13）、灯明受皿（第95図14・15）、堺産の擂鉢（第95図16）等がある。

土器は、鉢形容器（第95図17）、火鉢（第95図18）、脚付灯明受皿（第95図19）、たんころ（第95図20）、輪積み成形で蚊遣りと考えられる壺（第96図1）のほか、焼塩壺や皿、焙烙がある。

B5086号（第96～101図）

大型の採土坑で、B589号およびB2843号と同一の遺構である。

磁器は、肥前産の中碗（第96図11～14）、「太明成化年製」銘の端反碗（第96図18）、中国・景德鎮窯の可能性がある碗（第96図15、第97図4）、上絵付の中碗（第97図1）、染付皿（第97図8・9）、青磁皿（第97図10）、五寸皿（第98図1～4）、青磁の大鉢（第98図7）、蓋物（第97図12・13）、中瓶（第98図8）、蓋物蓋（第98図10～12）等がある。

陶器は、青緑釉の中碗（第99図2・3）、京・信楽産で三つ葉葵文が施される中碗（第99図7）、産地不明の大碗（第99図5・6）、上絵付の大皿（第99図1）、鉄絵と白泥で三つ葉葵文を描く中皿（第100図1）、褐釉と白泥による中鉢（第100図3）、香炉（第100図4～6）、美濃焼で高台内に「寛文拾式年 子三月三日 久尻窯■ 平左衛門」と刻書される鉄釉の中壺（第100図）、各種の蓋（第100図8～11）、橋状の把手が付く灯明皿（第99図9）等がある。

土器は、土器皿のほか、蓋（第101図2）、耳皿（第101図13）、輪積みでコップ形の焼塩壺身（第101図14～19）が出土している。なお、14～19の刻印はいずれも「天下一堺ミなと」「藤左衛門」となる。

本遺構の出土遺物は、おむね 17 世紀後半に比定されるものが多く、本調査地点では古相に位置づけられる。貿易陶磁は一定量出土するが、破片資料が多く、B588 とは様相が異なる。

C111 号（第 104・105 図）

磁器は肥前産のみが出土しており、瀬戸・美濃産のものは含まれない。碗は第 104 図 1～4 のほか筒形碗等がある。

陶器は瀬戸・美濃産の擂鉢、腰錫碗、鎧茶碗、刷毛目碗、柳茶碗、灯明受皿、鉄絵鉢、水鉢、捏鉢、二条沈線鉄釉流し灰釉碗、輪禿皿、太白焼がある。京・信楽産は、小杉碗、篆書の「御」、「松」等といった文字を上繪付し長石釉を施す筒形碗がある。肥前産は京焼風陶器平碗がある。そのほか、产地不明の土鍋、土瓶がある。

柘器は志戸呂産の灯明皿、堺・明石系の擂鉢がある。

出土遺物は概ね 18c 後半頃から 19c 初めの時期と推定され、時期に幅がある。

C140 号（第 107～109 図）

磁器は、第 140 図 1・2 の碗、第 140 図 4～6 の皿、第 140 図 8・9 の蓋物蓋があり、7 は手描きによる五弁花で口縁内面には墨弾き文様が巡る。

陶器は、灰釉の丸碗（第 107 図 10～12）、せんじ碗（第 108 図 1～4）、京・信楽産の灰釉碗（第 108 図 5・6）、皿（第 108 図 7～9）、口縁部に敲打が巡る香炉（第 108 図 11）、唐津・武雄系と考えられる鉄泥の大皿（第 108 図 10）、灯明皿（第 108 図 15・16）、灯明受皿（第 108 図 17）、餌猪口（第 108 図 19）等がある。

土器は、灯明受皿や焰烙のほか、「イツミ」「花焼塙」「■タ」と刻印がある焼塙壺蓋（第 108 図 23）がある。

C244 号（第 112～117 図）

磁器は肥前産及び瀬戸・美濃産のものがあるが、数量は瀬戸・美濃産がやや上回る。碗、碗蓋が多く、鉢の一部に焼継ぎをするものがみられる。肥前産のものは、大碗、端反碗、広東碗、薄手の浅い半球碗、皿、鉢、植木鉢、蓋、髪油壺、線香立て、戸車（第 115 図 5）、薄手酒杯がある。碗は端反碗が多い。器高が低く、高台がハの字状に下方が開くものがあり、皿は蛇ノ目凹型高台につくるものが多く、「竹末」（文字）、「六角形」（記号）「葵形？」（記号）などの釘書きを施すものが多い。ほかに、胎土が精良で肥前系とみられる生産地不明の端反碗、灰落し等がある。第 113 図 8 は、徳川家の家紋である三つ葉葵を染付で施したものである。瀬戸・美濃産のものは、端反碗、湯呑、植木鉢、蓋、神酒徳利、燭徳利がある。端反碗は、L 及び M サイズが多く、S サイズは少ない。器壁を薄く作り、高台が高く断面が三角形をなすものが多い。また、笠手のもの（第 113 図 5）、外面体部に鉄釉を施すものなどがある。

陶器は瀬戸・美濃産が大半で、柳茶碗、小杉碗、平碗、広東碗、梅花文碗、擂鉢、甕がある。柳茶碗（第 115 図 10）は、幹、枝の区別が不明瞭な、簡略化された文様となっているが、当該遺構からは、同様のものが多数出土している。擂鉢は瀬戸・美濃産のもの（第 116 図 11）のほか、堺・明石

産のもの（第 116 図 11・12）があり、見込みの掘り目が放射状のものと三角形のものがあり、いずれも 19 世紀第 1 四半期頃の特徴を示す。小杉碗は小片が多く図示できるものがないが、やや小型のものが多く、文様の有無は不明である。ほかに、太白焼の広東碗、黒色の鉄釉を施す植木鉢、織部の皿、梅花文端反碗、梅花文広東碗、萩焼の開口碗、丹波焼の甕がある。なお、型打ち成形の軟質の陶器皿（第 115 図 12）があり、内面は陽刻により花弁及び花芯を表現し、内外面に線釉を施す。

土器は、京都産の可能性がある七宝の装飾を施す涼炉や、19 世紀初め頃の特徴を示す焰烙がある。

出土遺物の時期は、尾張藩上屋敷跡遺跡 11 小期の 3-b1 から 3-b2 小期にあたると考えられ、1800 年から 1830 年頃の、C251 号と比べて僅かに先行する時期の遺物が主体である。



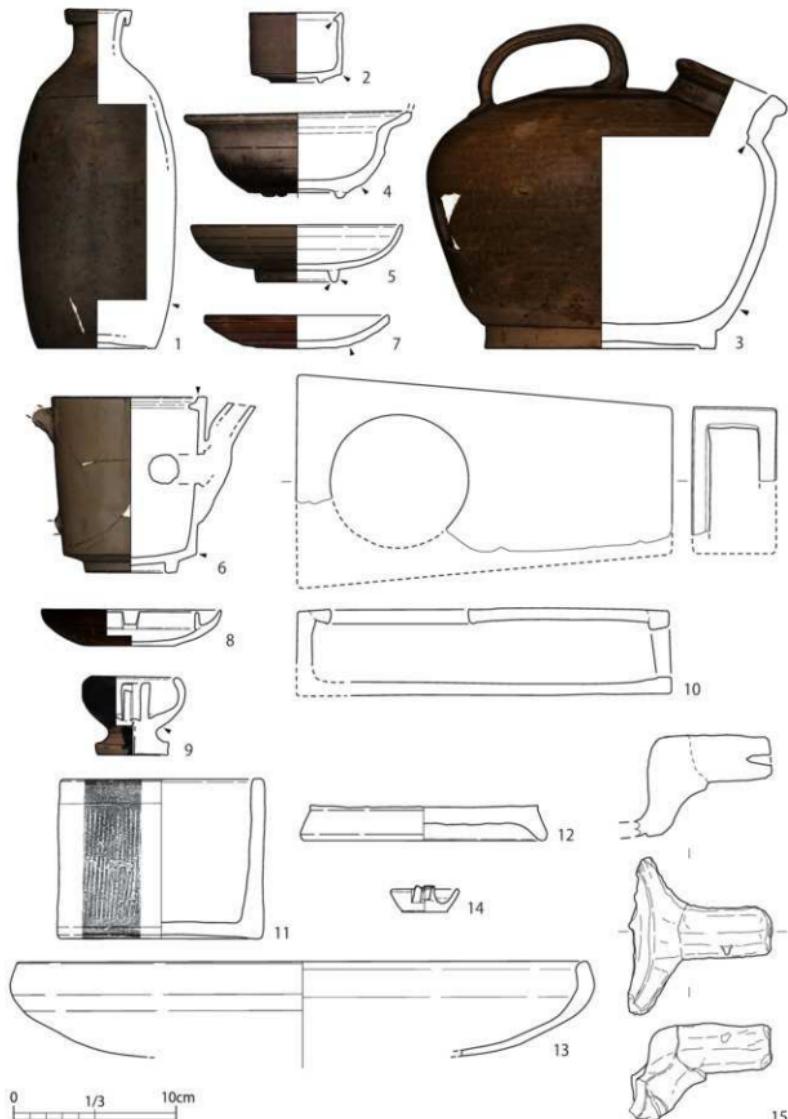
第103図 近世の陶磁器・土器（101）(1/3)

C111号



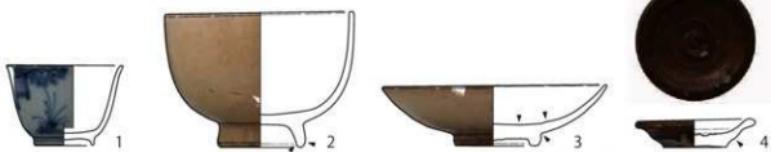
第104図 近世の陶磁器・土器(102) (1/3)

C111号



第105図 近世の陶磁器・土器(103)(1/3)

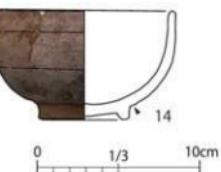
C133号



C134号



C135号



第106図 近世の陶磁器・土器 (104) (1/3)

C140 号



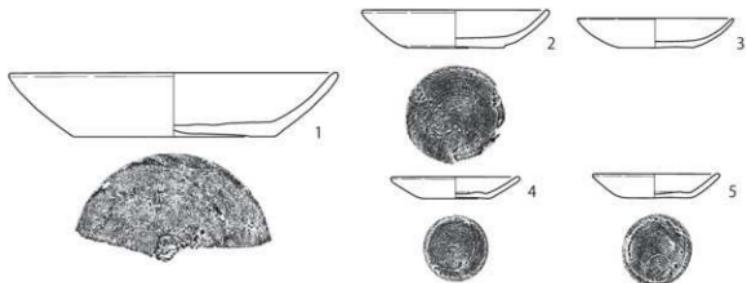
第 107 図 近世の陶磁器・土器 (105) (1/3)

C140 号

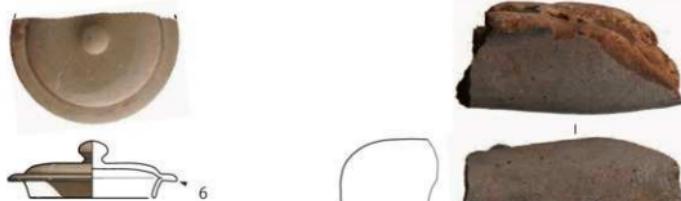


第 108 図 近世の陶磁器・土器 (106) (1/3・1/6)

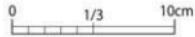
C140 号



C150 号

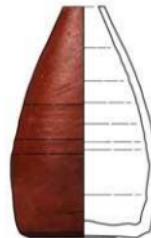
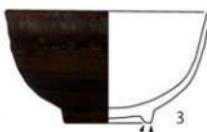


C182 号

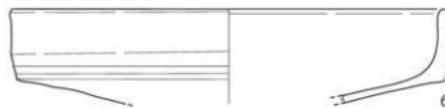


第 109 図 近世の陶磁器・土器 (107) (1/3)

C183 号



5



5=1/1

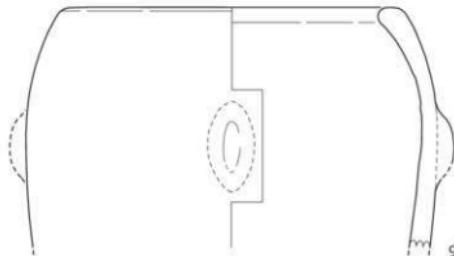
C212 号



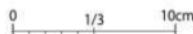
7



8



9

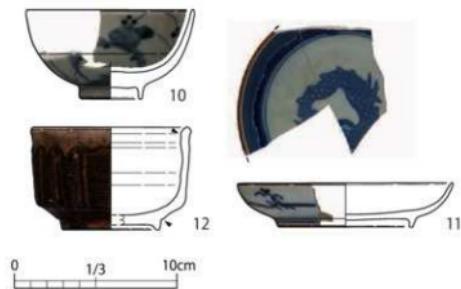


第 110 図 近世の陶磁器・土器 (108) (1/3)

C270 号



C231 号



C259 号



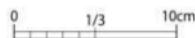
第 111 図 近世の陶磁器・土器 (109) (1/3)

C244号



第112図 近世の陶磁器・土器 (110) (1/3)

C244 号



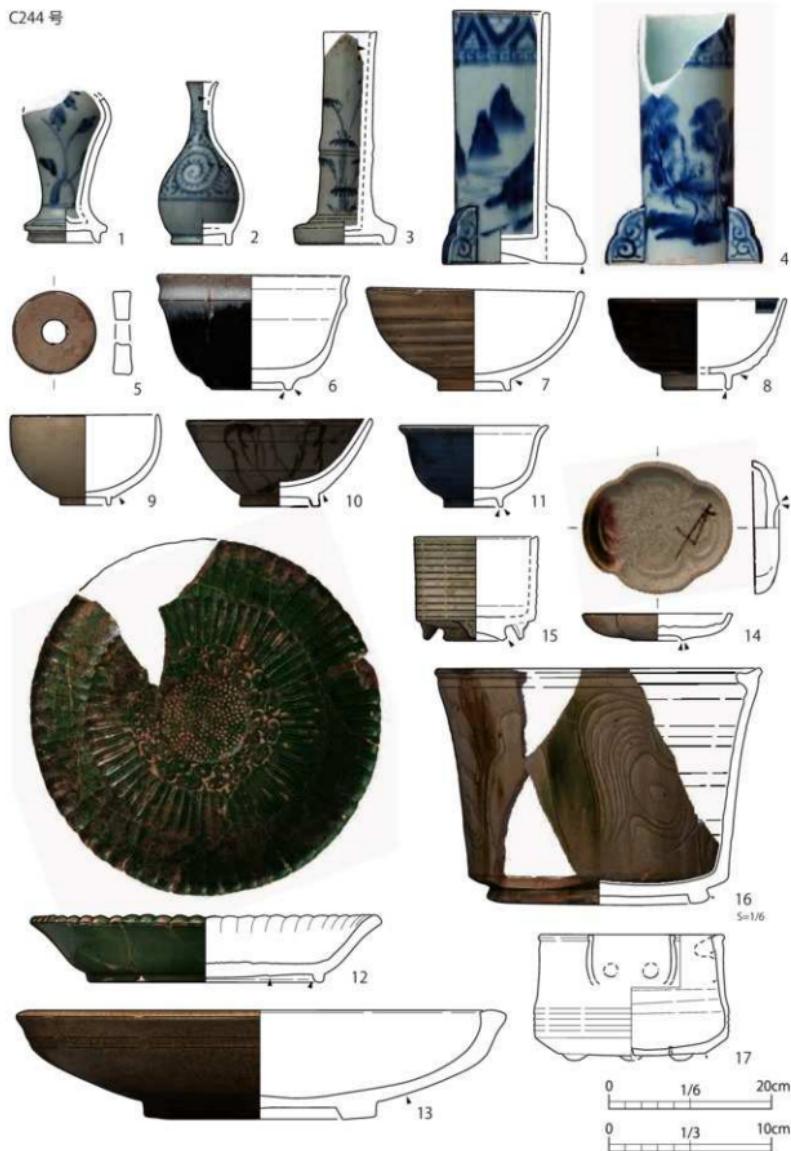
第 113 図 近世の陶磁器・土器 (111) (1/3)

C244 号



第 114 図 近世の陶磁器・土器 (112) (1/3)

C244 号

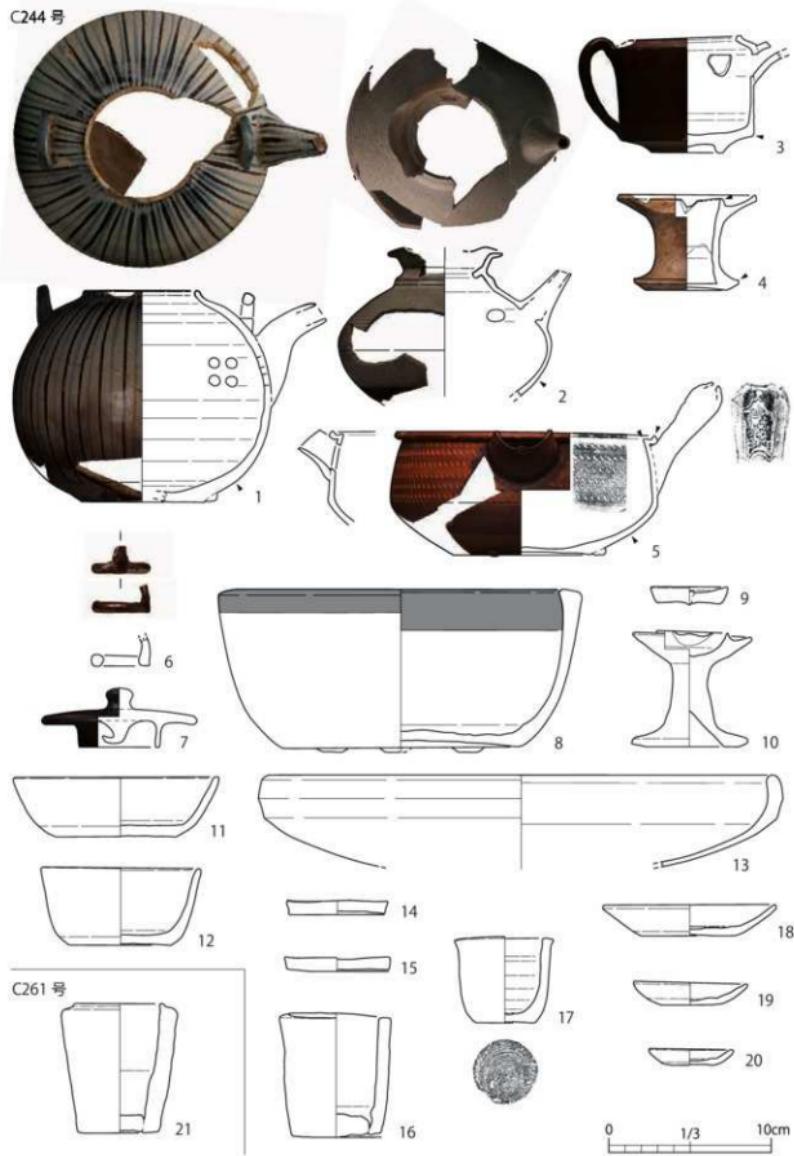


第 115 図 近世の陶磁器・土器 (113) (1/3・1/6)

C244 号



第 116 図 近世の陶磁器・土器 (114) (1/3・1/6)



第 117 図 近世の陶磁器・土器 (115) (1/3)

C251号（第118～138図）

出土遺物の数量は磁器、陶器とともに非常に多く、磁器は碗、蓋、陶器は瓶が多い。

磁器は肥前産及び瀬戸・美濃産のものがあり、碗、碗蓋が多く、ほかに皿、鉢、壺、瓶、水注、蓋、散蓮華などがある。碗は広東碗（第119図15～17）のほか、端反碗（第119図1～4、第120図9～11・14～19）、があるほか、体部が直線的に開く蓋、身が兼用となるような形状のもの（第119図5～10）がある。鉢はやや大きいサイズのもののほか、蓋物、段重、植木鉢がある。瓶は大瓶（第126図1）、神酒徳利（第125図19・20）、髮油壺（第125図21）、蓋は碗蓋が大半を占めるが、大小の蓋物蓋、合子蓋が含まれる。第126図4は摘み（高台）端部及び笠（口縁）端部に釉剥ぎがなされ、碗としても蓋としても使用可能であるが、実測図は蓋として掲載した。鉢、蓋には主に大きいサイズのものに焼継ぎをするのがみられる。

陶器は碗、皿、鉢、瓶、水注、鍋、蓋、器台など賀出土している。第128図2は瀬戸・美濃産の梅花文碗である。器形は広東碗であるが、ほかに第128図13のような端反碗がある。内面全体に白泥（白化粧土）を掛け、外面には白泥で梅花、鉄で花芯と枝を描き、高台疊付を除く内外面全体に透明釉を施す。第128図19は萩焼の開口碗である。第128図22・23は復興織部の変形皿である。素地に長石釉をかけ、緑釉で内外面亥文様を施す。向付として使用されたと考えられる。鉢は榮螺や鮑などの貝を象ったとみられるもの（第128図24）が出土している。内面には巻き貝を思わせるらせん状の隆起をつくり、緑釉を施す。外面は鉄釉が施され、フジツボあるいは棘を模したとみられる突起が数箇所につけられ器全体を支える。瓶は極めて多く、完形のものも多数あり、5～10個体以上がまとまって出土する状況がみられた。ほとんどが高田徳利形と呼ばれる徳利（第132図1～6）で、釘書きを施すものが多い。徳利はこれらのほか、三方向に面をもついわゆる三角徳利（第132図7）、胴部の2～3箇所をへこませた、ペコカン徳利（第132図8）がある。鉢は植木鉢が多い。焼成前に底部を穿孔し、高台部分をアーチ形に3箇所程度きり取って灰釉または鉄釉を施す。ほかに口縁部を摘まんて変形させ、外側面に灰釉を施した後緑釉を掛けた葉子鉢とみられるものがある。

土器は鉢形容器、火消し壺、火消し壺蓋、火鉢、焜炉、涼炉、七輪、七輪部品の五穀や風口、蚊遣り、カンテラ、秉燭、灯明受皿、皿など賀出土している。蚊遣りとみられる鉢形のもの（第130図12）は、体部上位と底面の数箇所を焼成前に穿孔しており、容器内で燃焼が続くようにつくられる。口縁部は欠損のため詳らかではなく、蓋をかぶせるため上位ですぼまるものと考えられるが、穿孔の一部とみられる箇所も観察される。

出土遺物の内容から、本遺構の廃絶時期は、C536号とほぼ同時期ではあるが、僅かに先行すると推定される。第2次西御殿の解体時までの可能性が高いが、他の遺構と比較して内容に違いがみられるのは、多量廃棄された状況と併せて御殿内における位置的な違いにも考慮すべきであると考えられる。

C305号（第140～146図）

調査区を南北に貫く往還で、層位により上・中・下の3層に分けて図示した。

上層では、磁器は雪輪梅樹文を描く中碗（第140図15）、口銹の小皿（第140図16）、中皿（第140図17）等がある。陶器は灰釉碗（第140図18）や鉄釉の小碗（第140図19）のほか、鉢、香炉、

瓶が見られた。土器は焰烙（第 141 図 4）等を図示した。

中層は遺物量が多く、磁器では碗（第 141 図 7～19）、仏飯器（第 141 図 20～23）、皿（第 142 図 1～4）、香炉（第 142 図 5）、猪口（第 142 図 6）、腰丸形の蓋物（第 142 図 7・8）、碗蓋（第 142 図 10～12）、蓋物蓋（第 143 図 1・2）等がある。陶器は碗（第 143 図 3～15）のうち、9 は「帶山」の刻印がある。第 144 図 1～3 の小皿はいずれも型紙摺で内面に鉄絵を描いたもので、付け高台である。蓋（第 144 図 7～11）は水注蓋や合子蓋等があり、他に水注や水滴、洩瓶等がある。土器は火鉢（第 144 図 16）、鉢形容器（第 145 図 2）のほか、焼塙壺の蓋と身が出土している。

下層では、磁器は染付碗の第 145 図 10 や白磁碗の第 145 図 11、また第 145 図 12 の小碗は見込に上絵付で花文様、外面に扇面、草花文、流水文を描く。陶器は第 145 図 17 の小杉碗のほか、灰釉で呉須絵が描かれる第 145 図 19 の小碗、また中皿や水注蓋がある。第 146 図 1 の小甕は、鉄釉で体部に凹線が重なり、丹波産のものと考えられる。土器は焰烙や焼塙壺を図示した。

C251号



第118図 近世の陶磁器・土器 (116) (1/3)

C251号



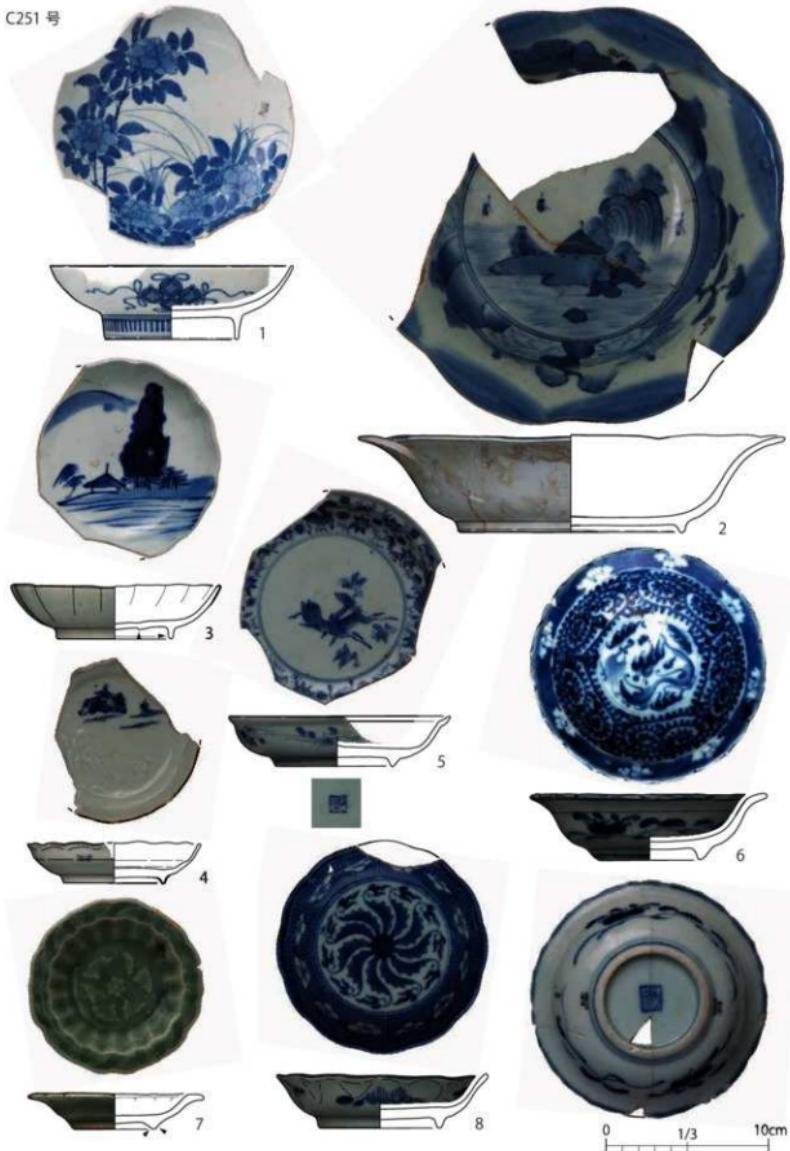
第119図 近世の陶磁器・土器 (117) (1/3)

C251号



第120図 近世の陶磁器・土器 (118) (1/3)

C251号



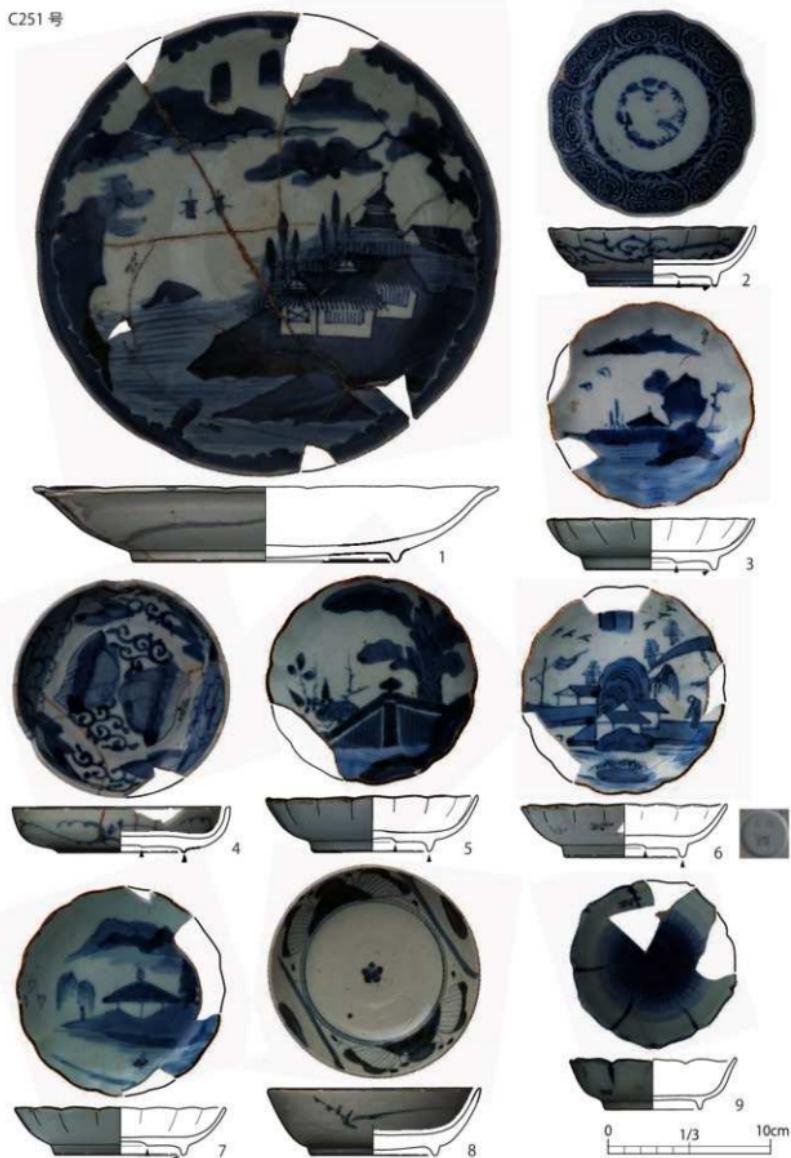
第121図 近世の陶磁器・土器 (119) (1/3)

C251号



第122図 近世の陶磁器・土器 (120) (1/3)

C251号



第 123 図 近世の陶磁器・土器 (121) (1/3)

C251号



第124図 近世の陶磁器・土器 (122) (1/3)

C251号



第125図 近世の陶磁器・土器(123)(1/3)

C251号



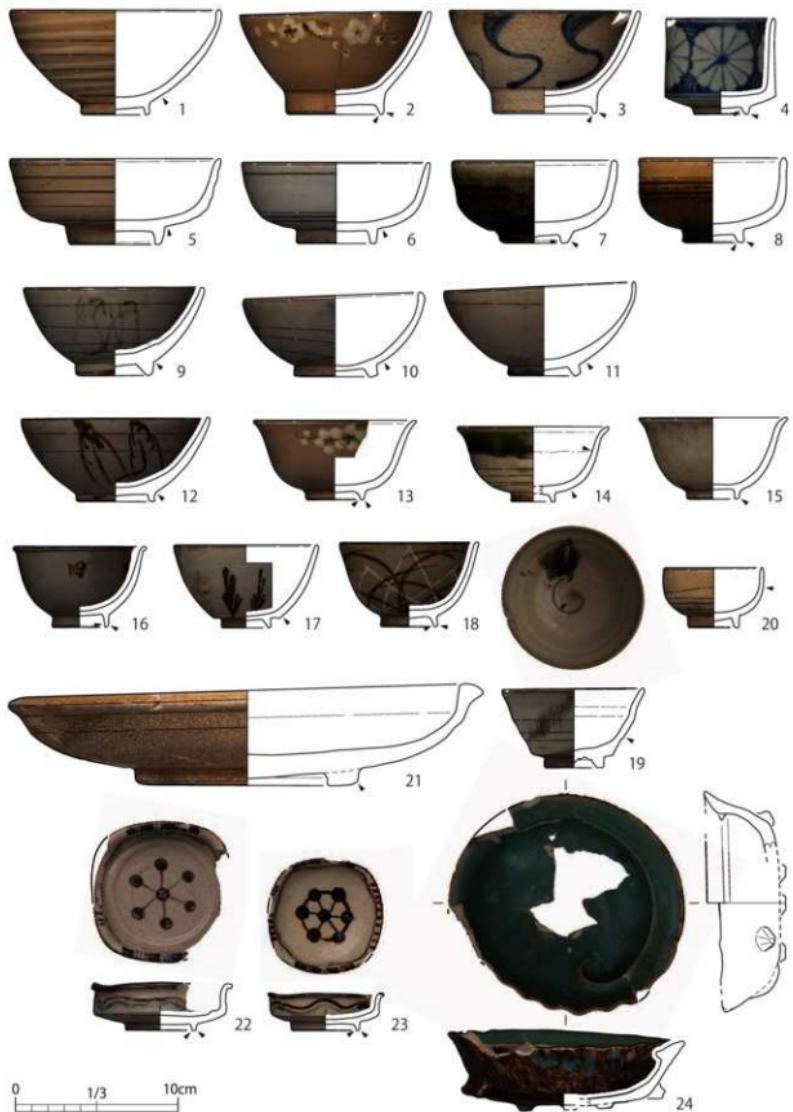
0 1/3 10cm

第126図 近世の陶磁器・土器 (124) (1/3)



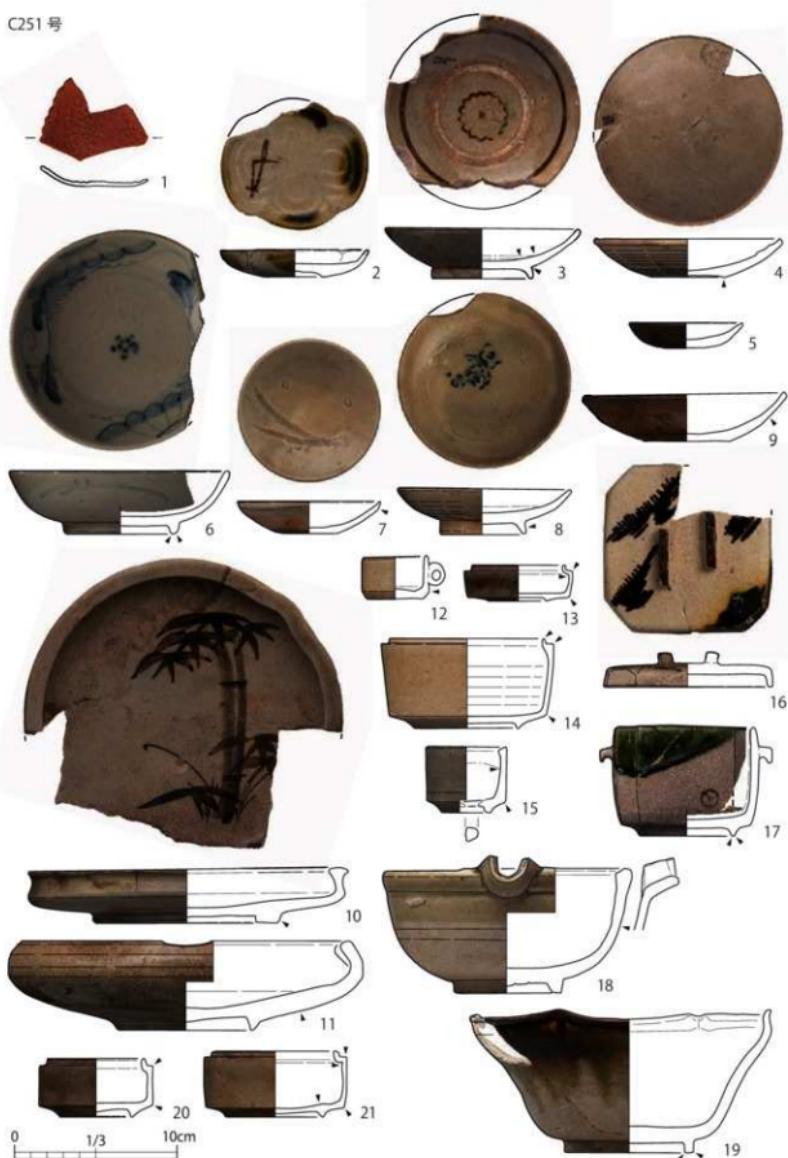
第127図 近世の陶磁器・土器（125）（1/3）

C251号



第128図 近世の陶磁器・土器 (126) (1/3)

C251号



第129図 近世の陶磁器・土器 (127) (1/3)

C251号



第130図 近世の陶磁器・土器 (128) (1/3・1/6)

C251号



第131図 近世の陶磁器・土器 (129) (1/3・1/6)

C251号



第132図 近世の陶磁器・土器 (130) (1/3・1/6)

C251 号



第 133 図 近世の陶磁器・土器 (131) (1/3)

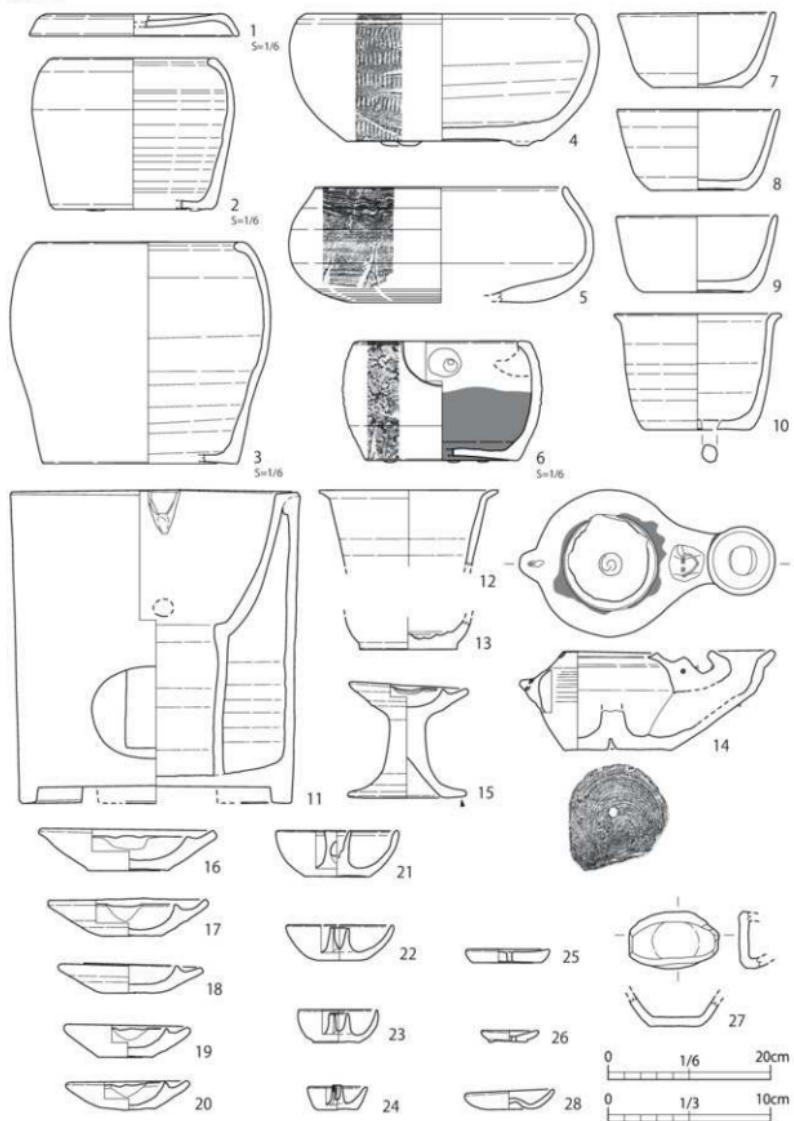


第134図 近世の陶磁器・土器 (132) (1/3)



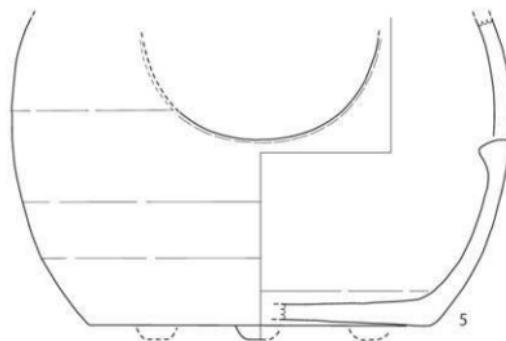
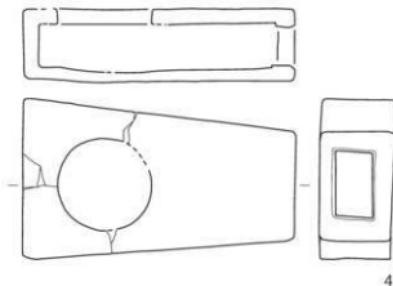
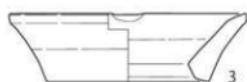
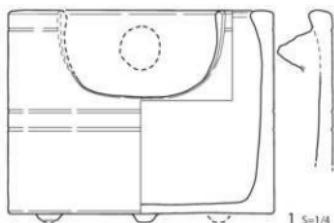
第135図 近世の陶磁器・土器(133)(1/3・1/4・1/6)

C251号



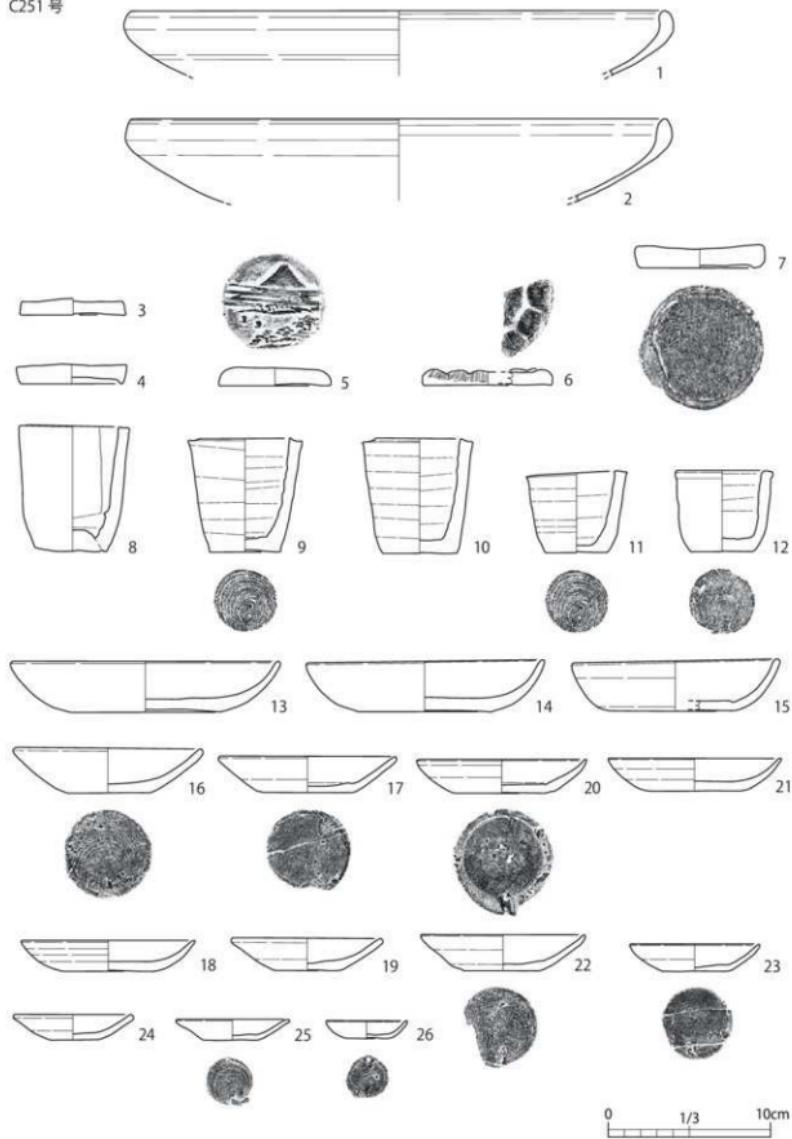
第136図 近世の陶磁器・土器 (134) (1/3・1/6)

C251号



第137図 近世の陶磁器・土器（135）（1/3・1/4）

C251号



第138図 近世の陶磁器・土器 (136) (1/3)

C278 号



0 1/3 10cm

第 139 図 近世の陶磁器・土器 (137) (1/3)

C304 号

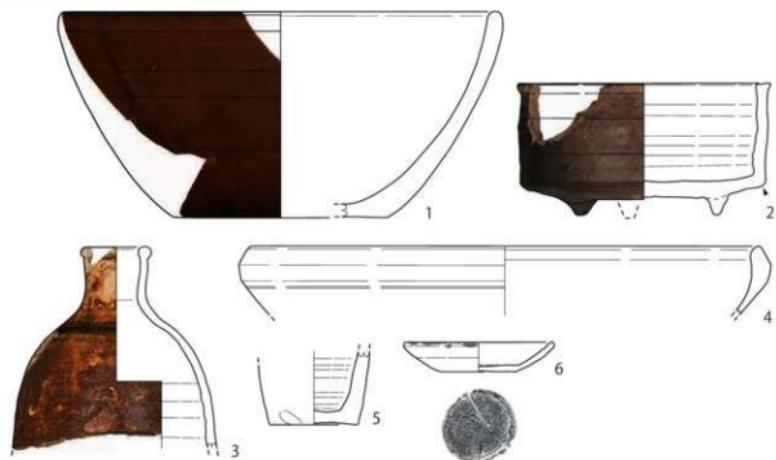


C305 号上層



第 140 図 近世の陶磁器・土器 (138) (1/3)

C305 号上層

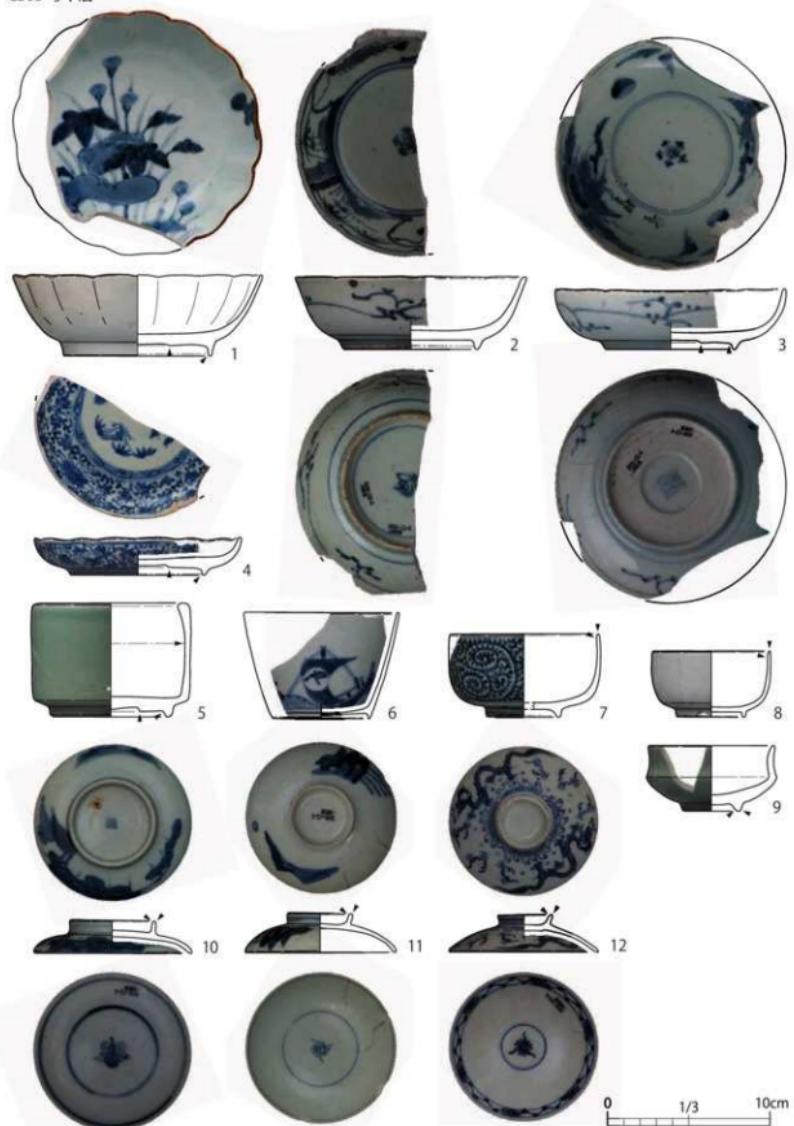


C305 号中層



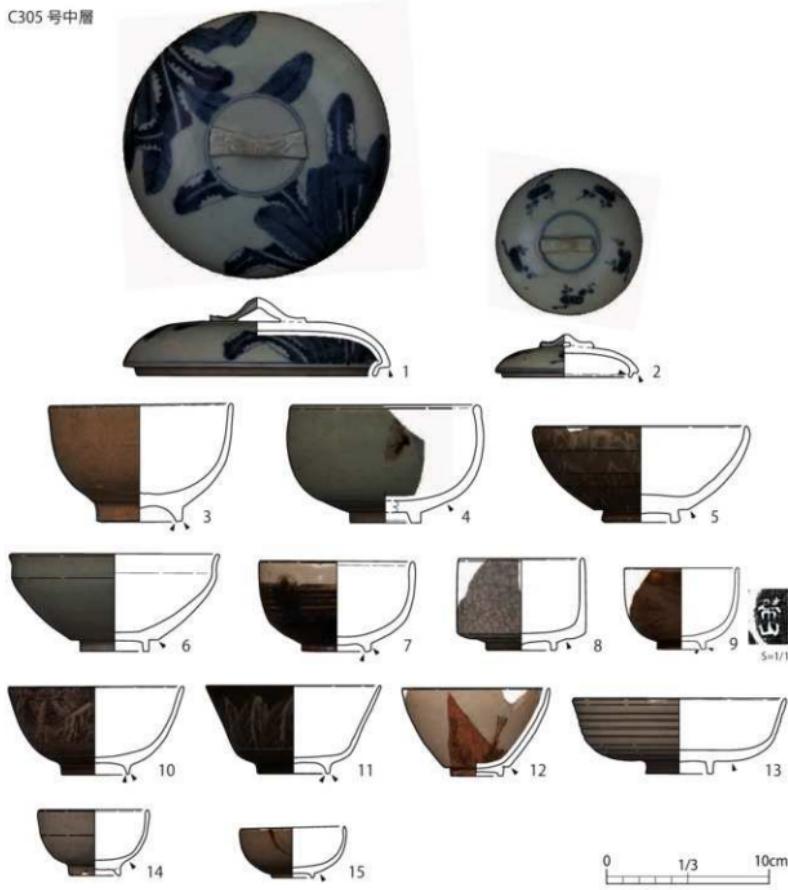
第 141 図 近世の陶磁器・土器 (139) (1/3)

C305 号中層



第 142 図 近世の陶磁器・土器 (140) (1/3)

C305 号中層



第 143 図 近世の陶磁器・土器 (141) (1/3)

C305号中層



第144図 近世の陶磁器・土器 (142) (1/3)



第145図 近世の陶磁器・土器 (143) (1/3)

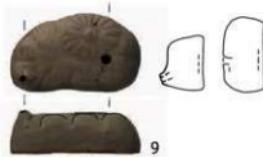
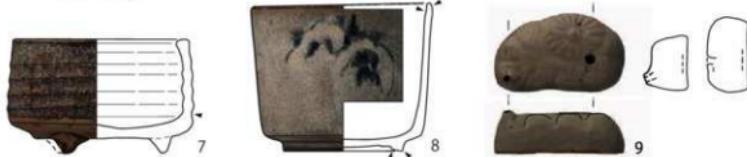
C305号下層



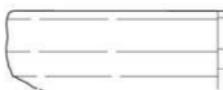
C320号



C326号



C331号



0 1/3 10cm

第146図 近世の陶磁器・土器(144)(1/3)

C375 号

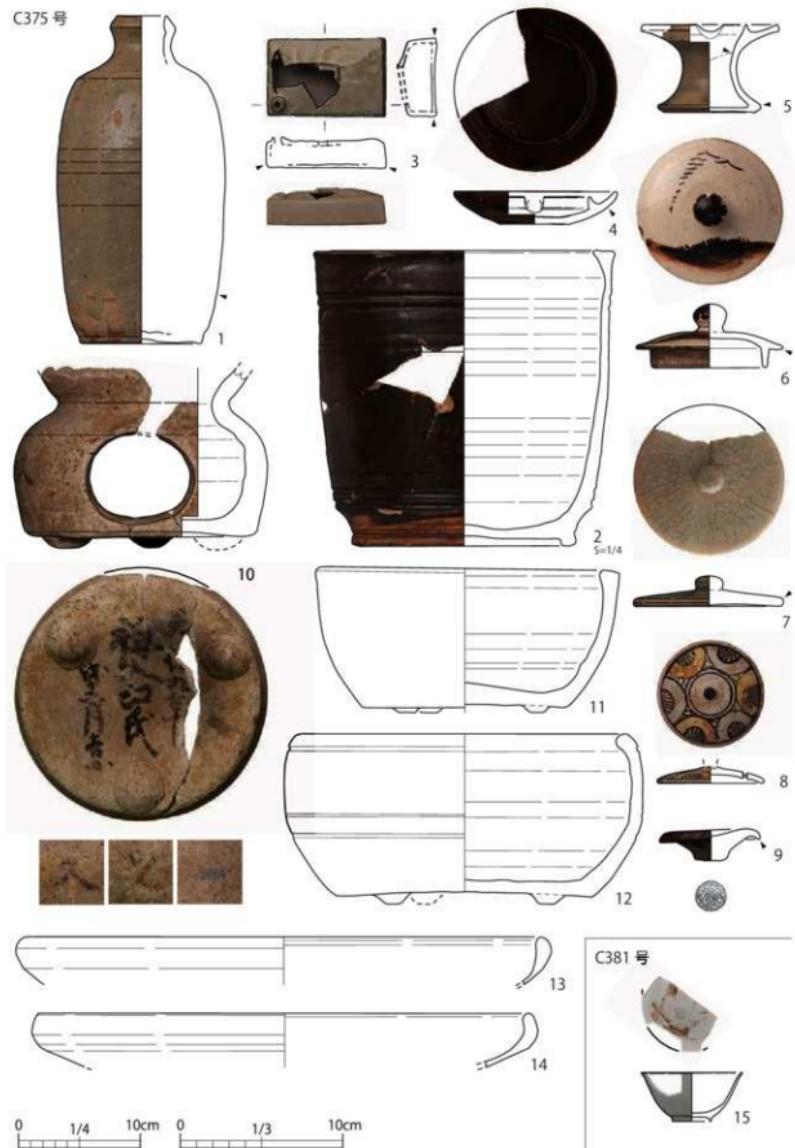


第 147 図 近世の陶磁器・土器 (145) (1/3・1/4)

C375号



第148図 近世の陶磁器・土器 (146) (1/3)



第 149 図 近世の陶磁器・土器 (147) (1/3・1/4)

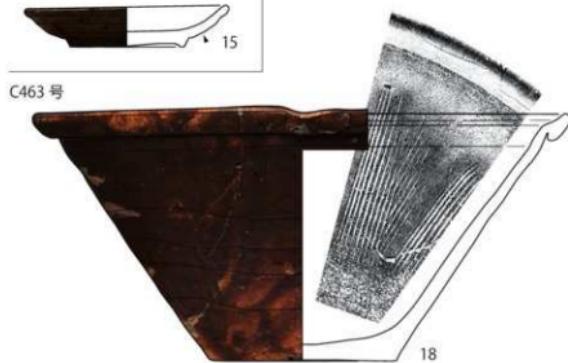
C381号



C450号



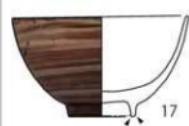
C463号



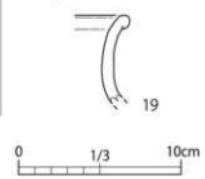
C392号



C451号



C464号



0 1/3 10cm

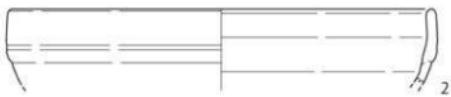
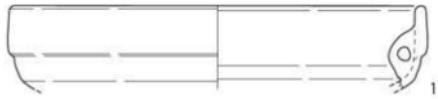
第150図 近世の陶磁器・土器(148)(1/3)

C476 号



第 151 図 近世の陶磁器・土器 (149) (1/3)

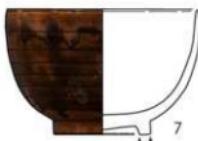
C475 号



C486 号



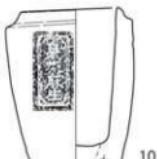
C505 号



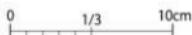
S=1/1



C454 号



C478 号



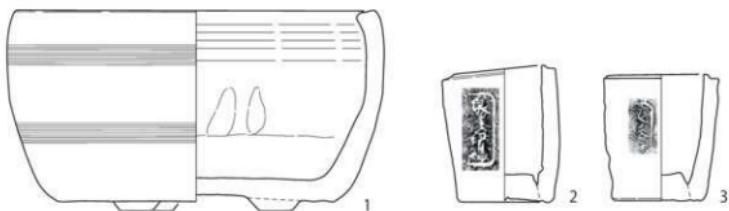
第 152 図 近世の陶磁器・土器 (150) (1/3)

CS11号



第153図 近世の陶磁器・土器（151）(1/3)

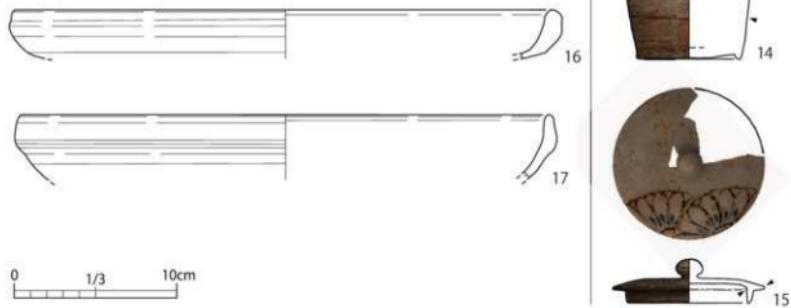
C511号



C514号



C526号



第154図 近世の陶磁器・土器 (152) (1/3)

C521 号



第 155 図 近世の陶磁器・土器 (153) (1/3)

C536号



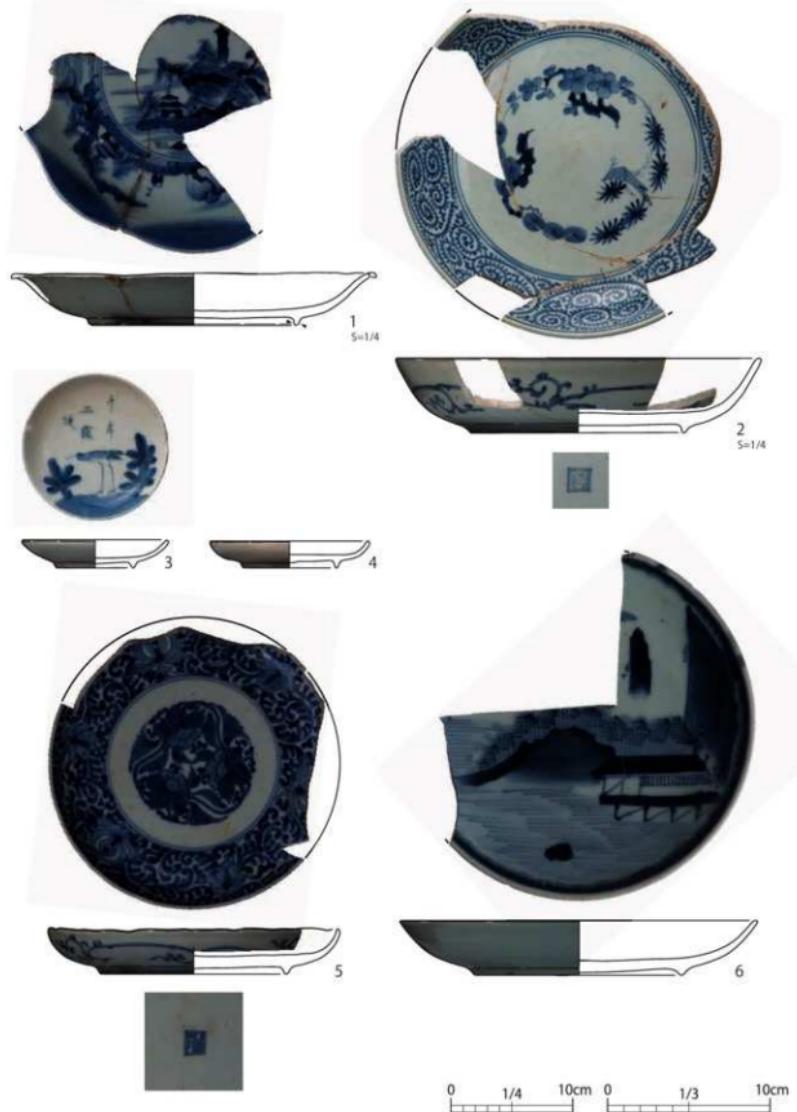
第156図 近世の陶磁器・土器 (154) (1/3)

C536 号



第 157 図 近世の陶磁器・土器 (155) (1/3)

C536 号



第 158 図 近世の陶磁器・土器 (156) (1/3・1/4)

C536 号



第 159 図 近世の陶磁器・土器 (157) (1/3・1/4)

C536 号



第 160 図 近世の陶磁器・土器 (158) (1/3)

C536 号



第 161 図 近世の陶磁器・土器 (159) (1/3)

C536 号



第 162 図 近世の陶磁器・土器 (160) (1/3・1/4)

C536 号



0 1/3 10cm

第 163 図 近世の陶磁器・土器 (161) (1/3)

C536 号



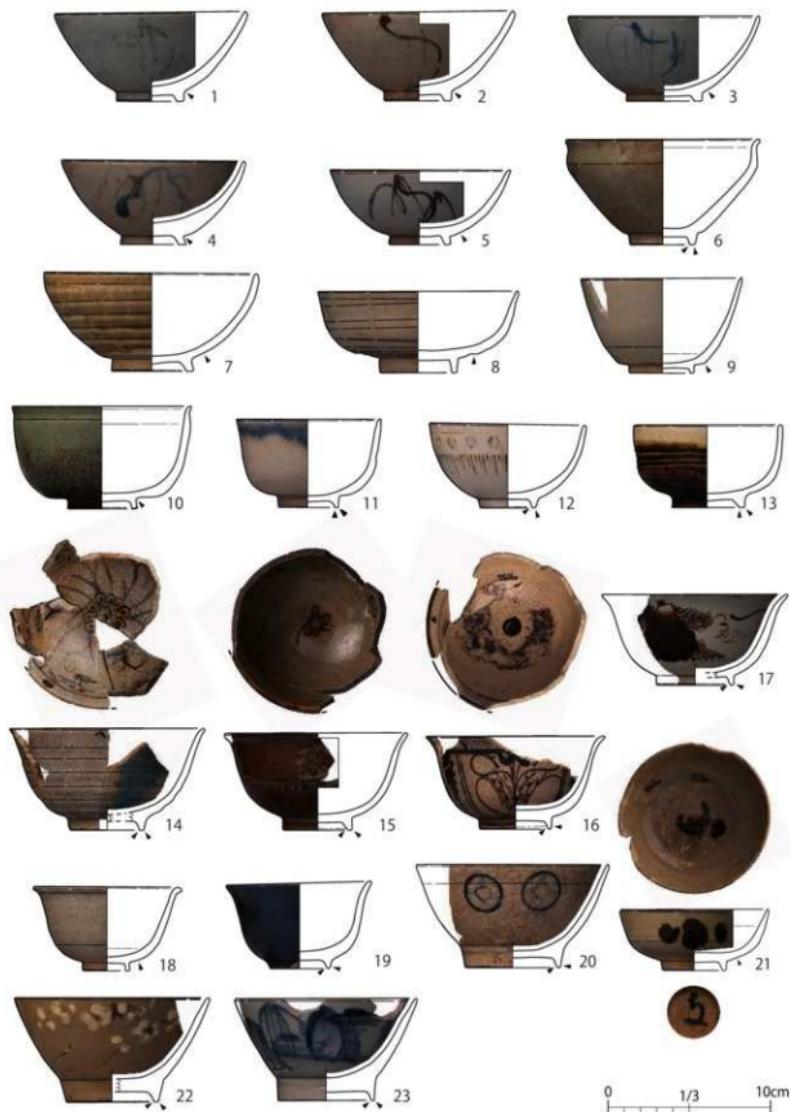
第 164 図 近世の陶磁器・土器 (162) (1/3)

C536 号



第 165 図 近世の陶磁器・土器 (163) (1/3)

C536 号



第 166 図 近世の陶磁器・土器 (164) (1/3)

C536号



第167図 近世の陶磁器・土器 (165) (1/3)

C536 号



第 168 図 近世の陶器・土器 (166) (1/3)

C536 号



第 169 図 近世の陶磁器・土器 (167) (1/3・1/6)

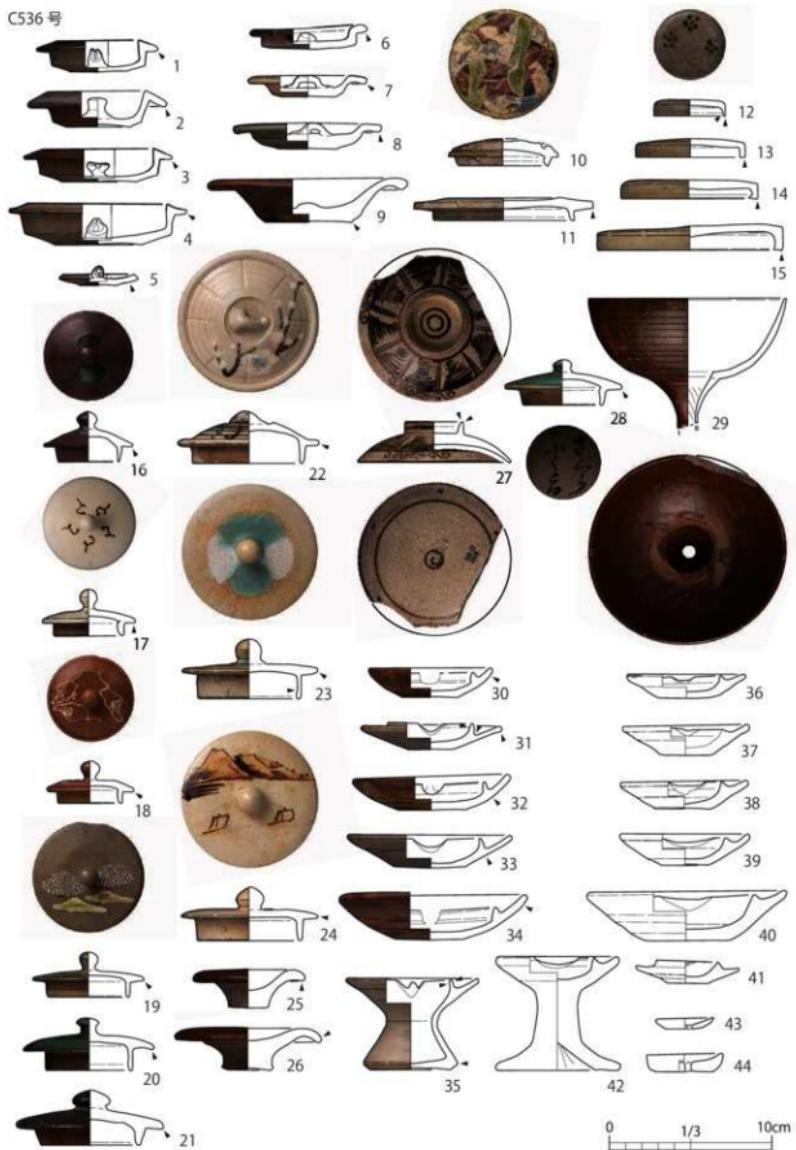


第 170 図 近世の陶磁器・土器 (168) (1/3・1/4)



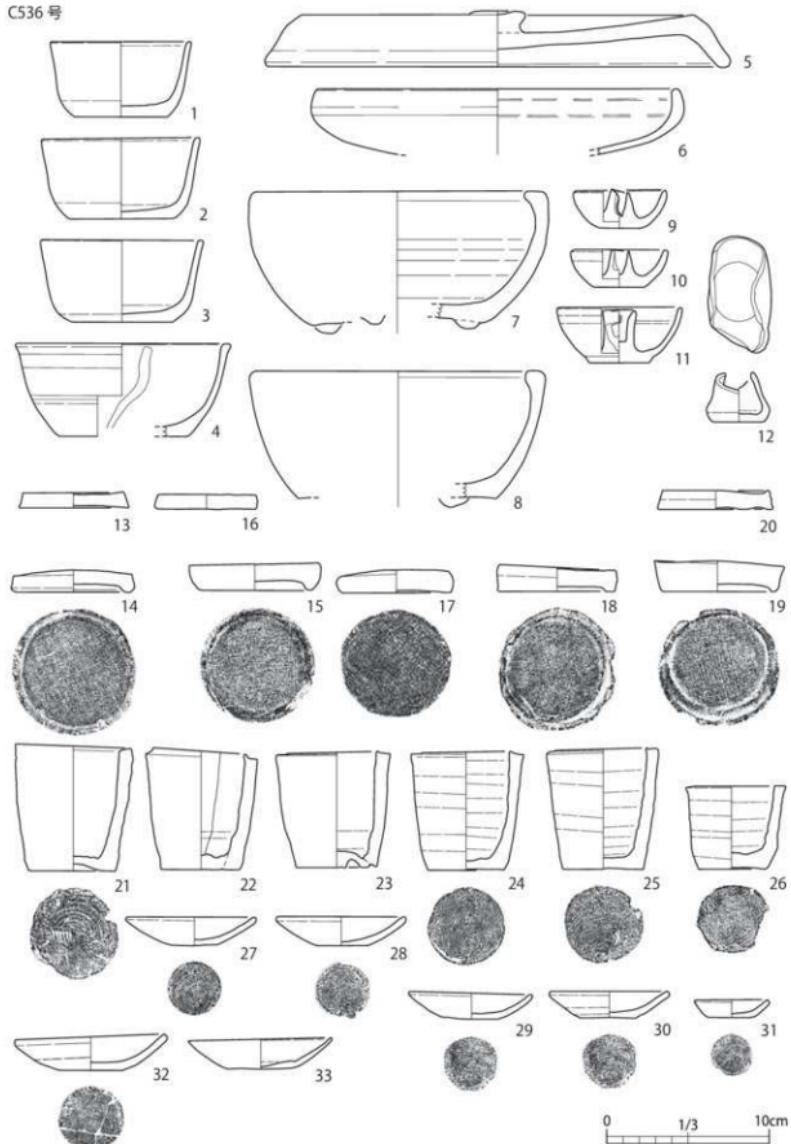
第 171 図 近世の陶磁器・土器 (169) (1/3・1/6)

C536 号

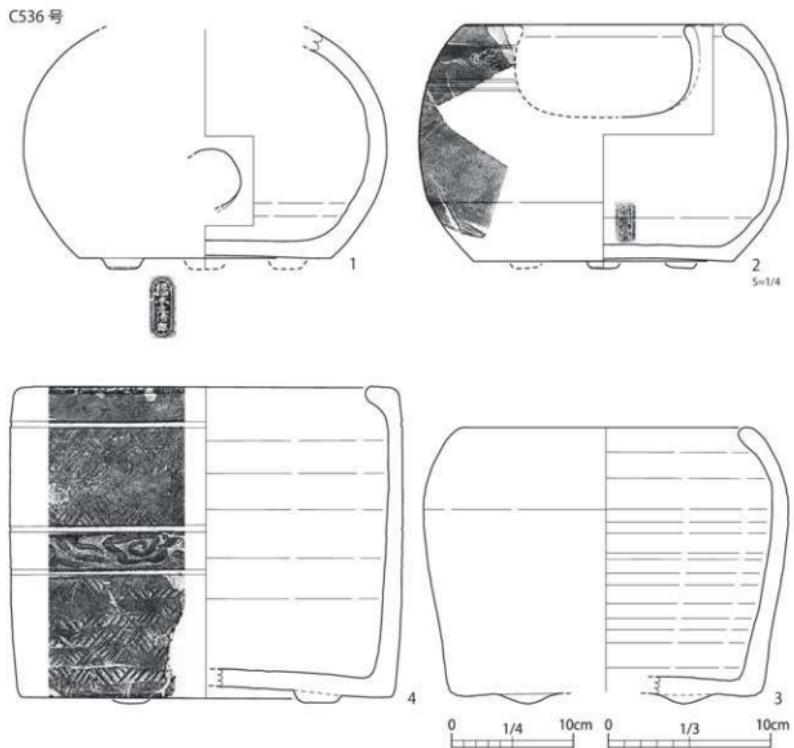


第 172 図 近世の陶磁器・土器 (170) (1/3)

C536号



第173図 近世の陶磁器・土器 (171) (1/3)



第 174 図 近世の陶磁器・土器 (172) (1/3・1/4)

C536 号（第 156 ~ 174 図）

遺物は陶磁器、木製品、金属製品などが多く出土している。

陶磁器には肥前および瀬戸・美濃産の磁器、釘書きのみられる高田徳利、美濃産の三角徳利、薩摩焼土瓶、木型打ちでない型打ち皿、いわゆる清朝磁器の散蓮華、瀬戸美濃描鉢、瓦質の蚊造りなどがある。第 156 図 1 は、見込みに五弁花と二重圓線、口縁部に上絵付で七宝繋ぎ文を施すが、全体的に不自然なものとなっている。また、外面は染付で描かれた梅樹文、鳥、雪輪、草花文に加え、上絵付で梅花、鳥、草、鈴虫などを描く。これら外面の色絵も蛇足氣味で、上絵付けの文様は江戸で加筆した可能性がある。

出土遺物には寛政期のものが多い。清朝磁器は、散蓮華、小鉢などが僅かに含まれるのみで、清朝磁器碗等を含む同時期の遺構とは差異がある。出土陶磁器・土器の時期相は 18c 末～19c 初と考えられる。ここから遺構の廃絶時期は天保頃 1830 年代前半頃で、これは第二次西御殿の造営後、西御殿長局が取り壊され、厩が整備された時期に近い。

C598 号（第 184 ~ 187 図）

第 1 次西御殿解体に伴う大型の廃棄土坑で、C305 号底面における遺構検出段階では、当該遺構はロームを多量に含む覆土であり、周囲の他の遺構を切る状況が観察される。また、このロームを多量に含む覆土は、C598 号の覆土のみならず、整地土として広範囲に広がる様子が C305 号セクションベルトの土層断面に観察される。

甕の成形は紐作りとして報告されているものが多いが、孫太等は底部に糸切痕の残る場合があり、回転により施文される沈線が施されている等、大きなものであっても輦轆で成形することが多いようと考えられる。

C605 号（第 183 図）

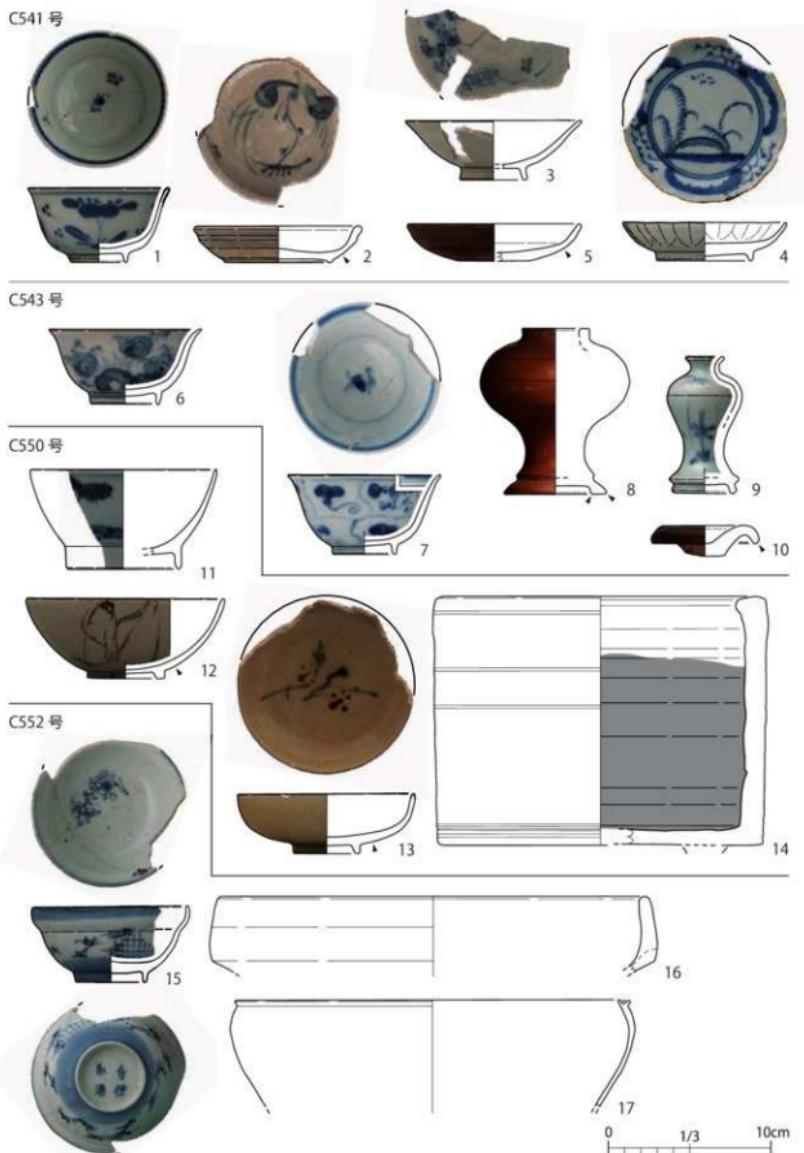
磁器は第 183 図 1 の松文が施された蓋物、陶器には同図 3 の腰錠碗や 7 の秉燭がある。18 世紀半ば頃の遺物が主体であるが、覆土には C304 号（整地土）に含まれていたとみられる遺物の混入がある。近接して C598 号が構築されており、下層に遺物が集中する傾向がある。



第175図 近世の陶磁器・土器 (173) (1/3)

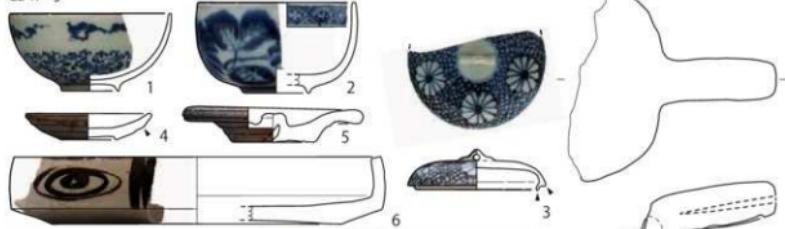


第176図 近世の陶磁器・土器 (174) (1/3)

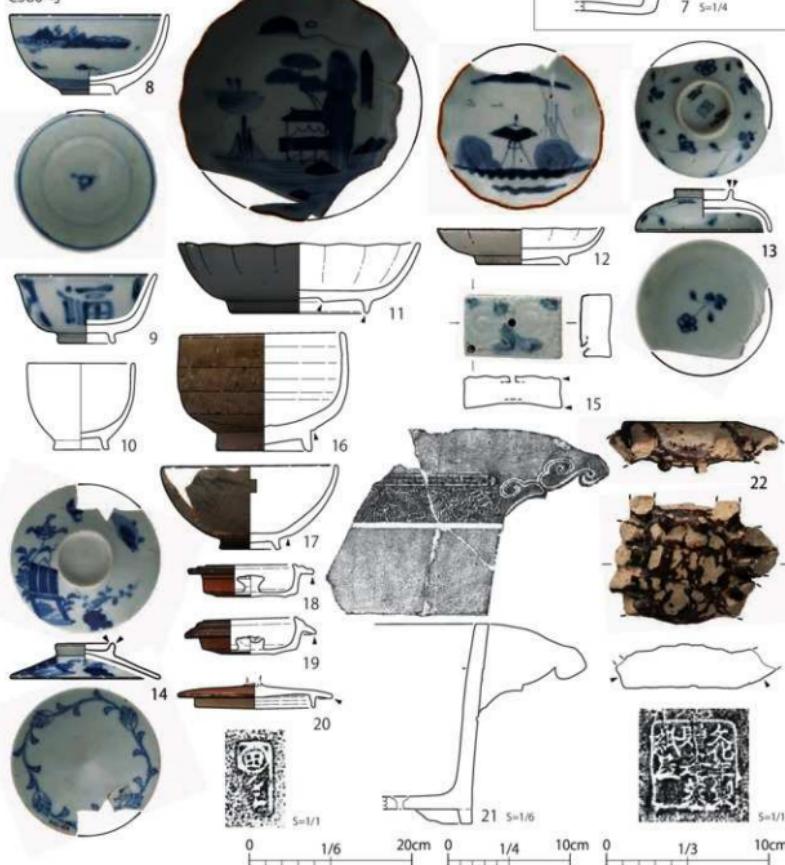


第 177 図 近世の陶磁器・土器 (175) (1/3)

C547 号



C580 号



第 178 図 近世の陶磁器・土器 (176) (1/3・1/4・1/6)



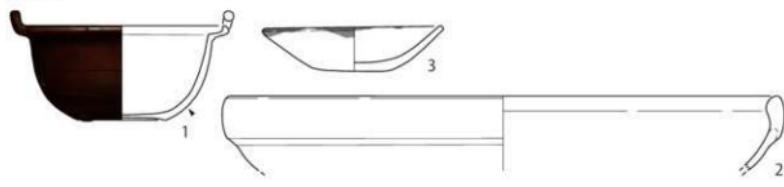
第 179 図 近世の陶磁器・土器 (177) (1/3)

C586 号

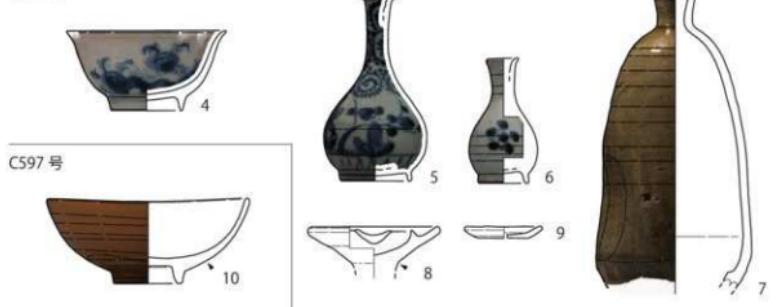


第 180 図 近世の陶磁器・土器 (178) (1/3)

C590号



C591号



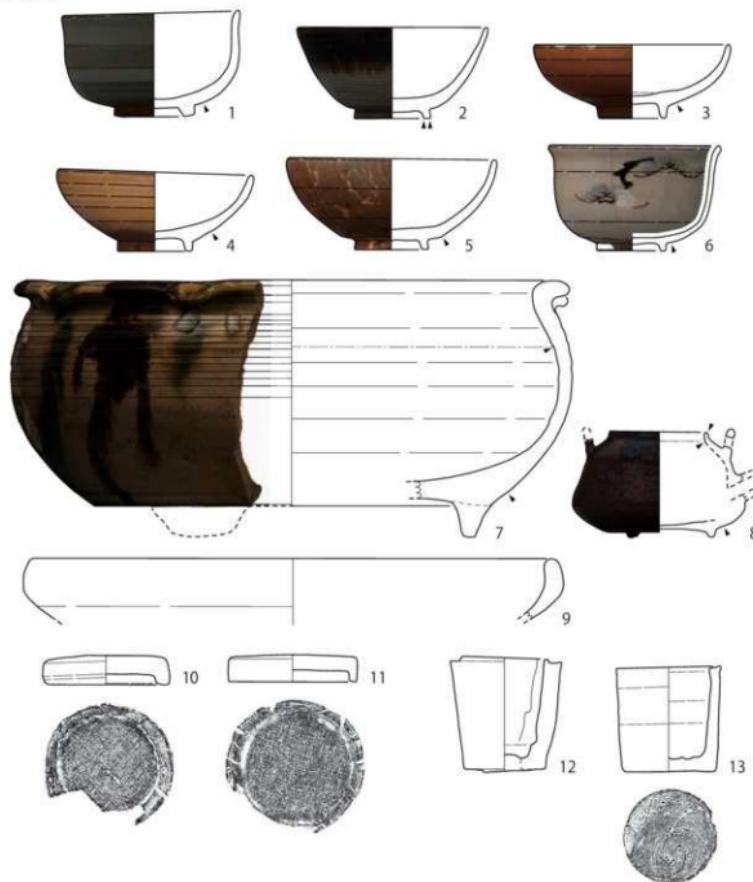
C597号

C603号

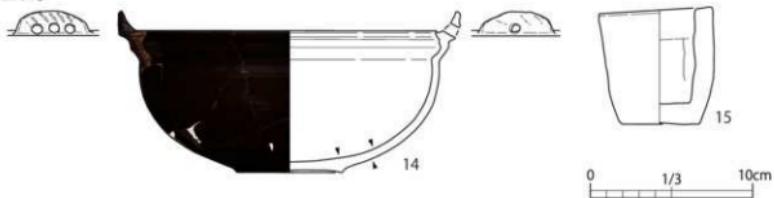


第181図 近世の陶磁器・土器 (179) (1/3)

C603号

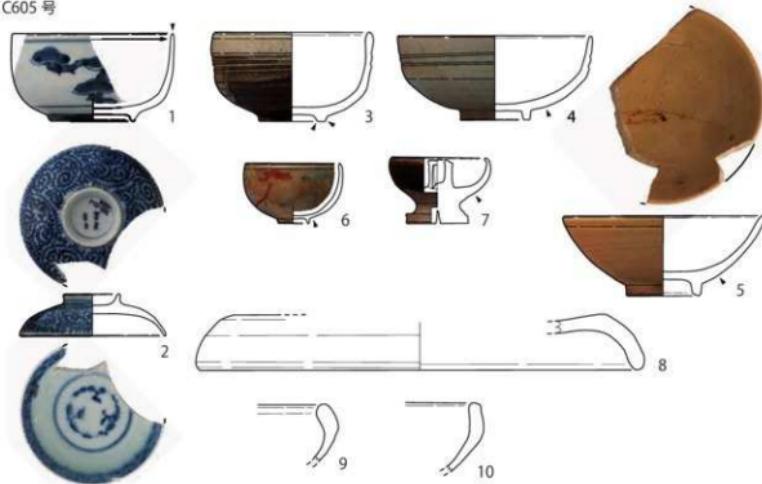


C566号

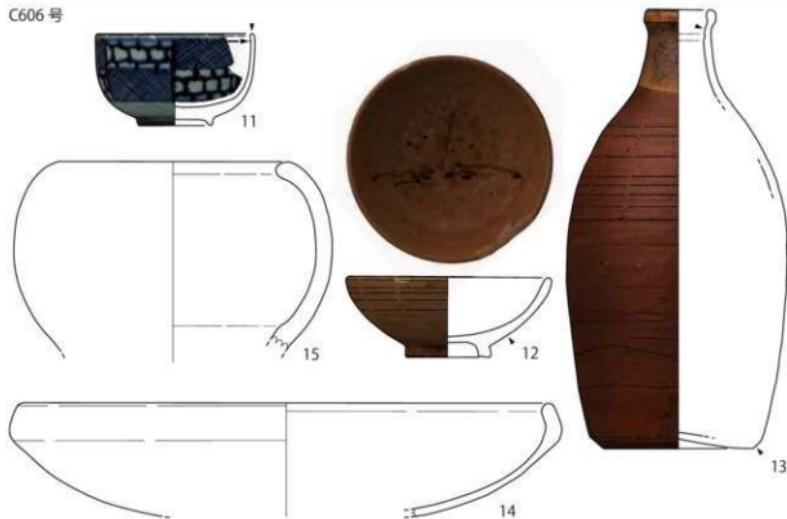


第182図 近世の陶磁器・土器 (180) (1/3)

C605号



C606号



0 1/3 10cm

第183図 近世の陶磁器・土器(181)(1/3)

C598 号



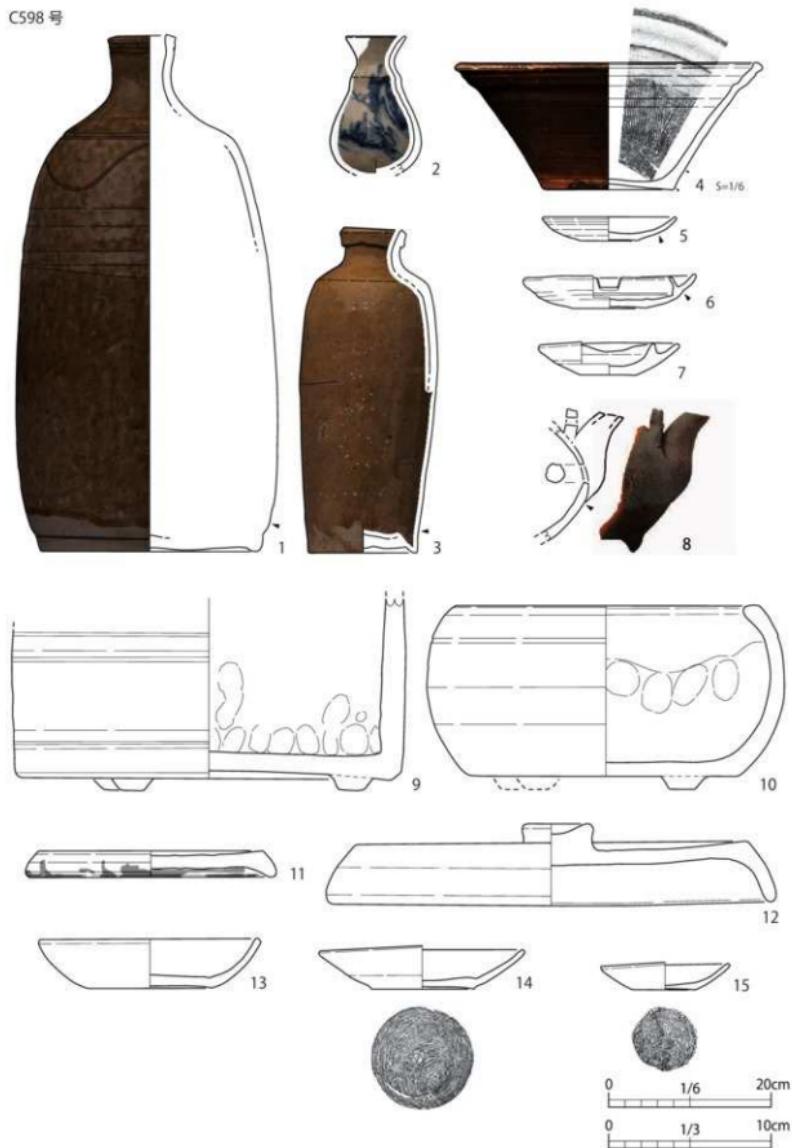
第 184 図 近世の陶磁器・土器 (182) (1/3)

C598 号



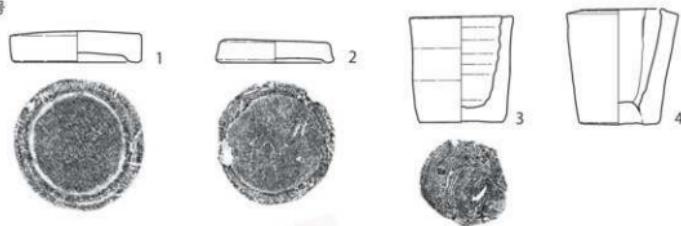
第 185 図 近世の陶磁器・土器 (183) (1/3)

C598 号

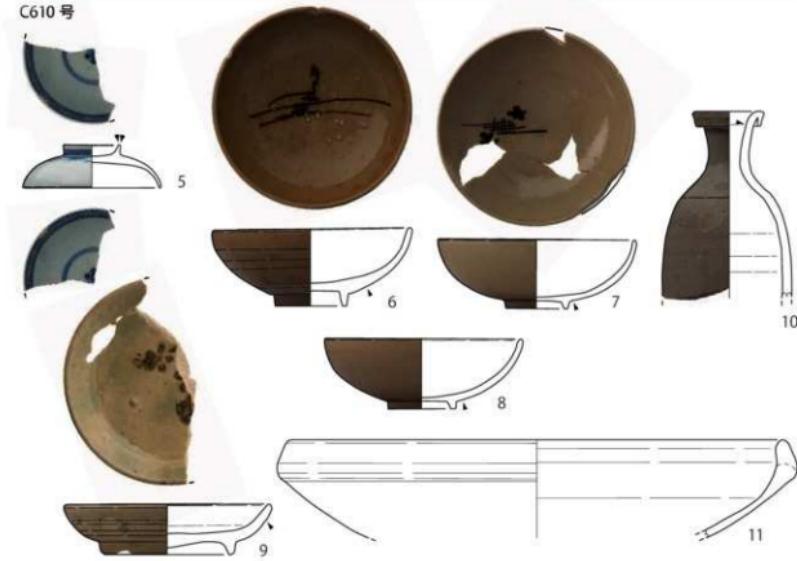


第 186 図 近世の陶磁器・土器 (184) (1/3 · 1/6)

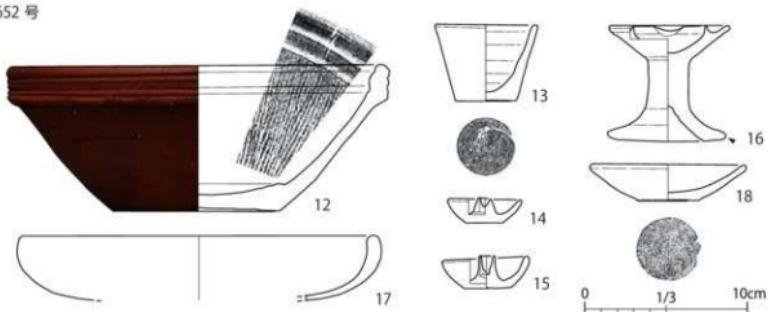
C598 号



C610 号



C652 号



第 187 図 近世の陶磁器・土器 (185) (1/3)

C612 号



第188図 近世の陶磁器・土器 (186) (1/3)

C622 号



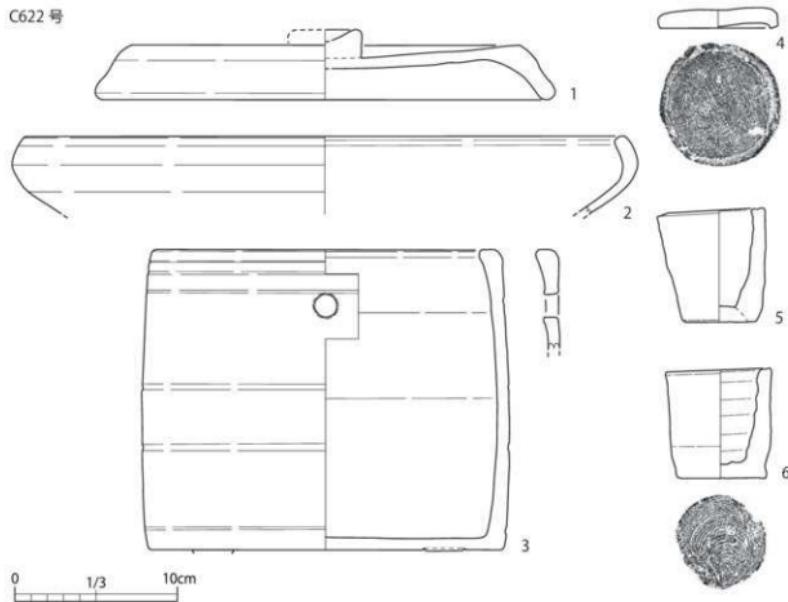
第 189 図 近世の陶磁器・土器 (187) (1/3)

C622 号



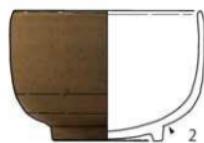
第190図 近世の陶磁器・土器（188）（1/3）

C622 号

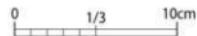
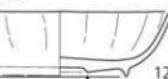


第 191 図 近世の陶磁器・土器 (189) (1/3)

C615 号

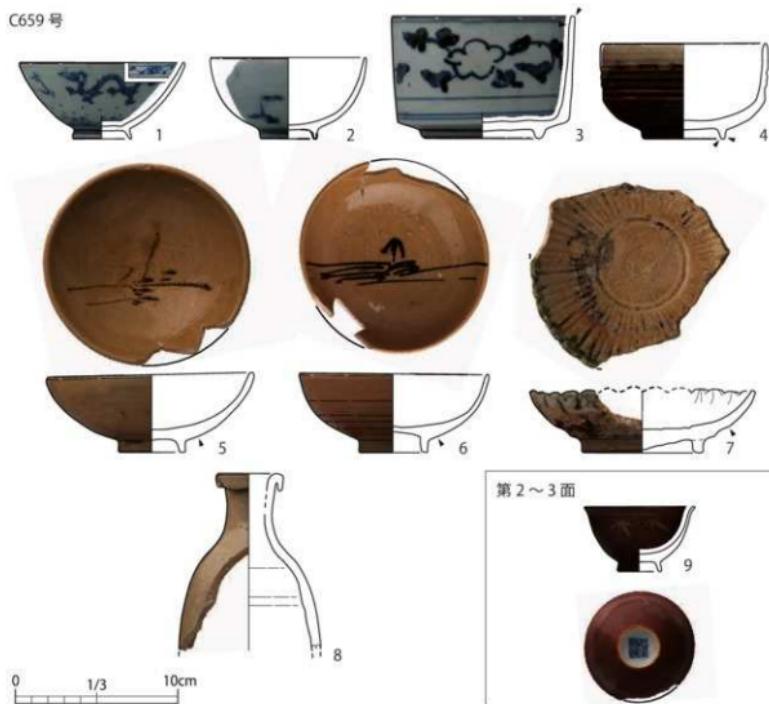


C651 号



第 192 図 近世の陶磁器・土器 (190) (1/3)

C659 号

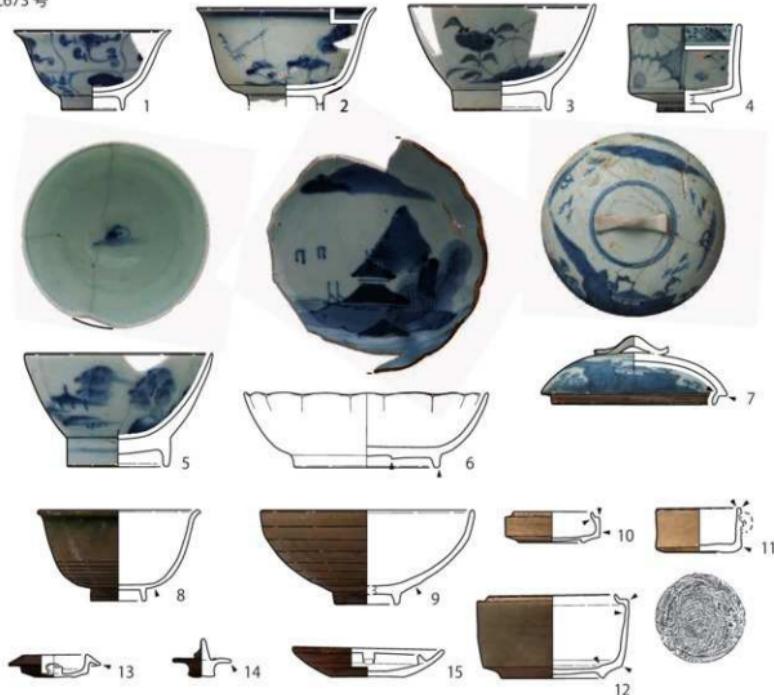


第 2 ~ 3 面

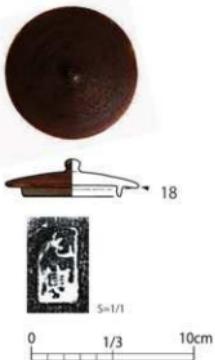


第 193 図 近世の陶磁器・土器 (191) (1/3)

C673 号



基礎 52・53



第 194 図 近世の陶磁器・土器 (192) (1/3)

第2表 近世の陶磁器・土器観察表（B区）（1）

種類番号	苗土 品目	材質	種類	品種	法則 (mm)				取色色調	成形	種類等	指定生産地	備考 (引・田・呉・梅・桂等)	
					a	b	c	d						
3	1 B36	木質	田	中田	195	40	116		にじ・白	根鉢	根鉢	江戸白地	白衣田。上田、武部白地切開物。	
3	2 B36	木質	田	中田	194	39	120		にじ・白	根鉢	根鉢	江戸白地	白衣田。下田、武部白地切開物。根鉢方型。見込みは中からうら根鉢に付す。	
3	3 B44	樹脂	圓	中圓	100	54	43		白	根鉢	寄せ付	肥前	内・昭和色。外・白。高台樹脂。高台・二重樹脂。	
3	4 B44	樹脂	圓	小坪	70	50	32		白	根鉢	寄せ付	肥前	内・昭和色。外・白。高台樹脂。高台・二重樹脂。	
3	5 B44	樹脂	圓	中圓	96	51	38		白	根鉢	寄せ付	肥前	内・昭和色。外・白。高台樹脂。高台・二重樹脂。	
3	6 B44	樹脂	圓	小田	96	20	50		白	根鉢	寄せ付	肥前	内・昭和色。外・白。高台樹脂。高台・二重樹脂。	
3	7 B44	樹脂	圓	小田	88	23	66		白	根鉢	寄せ付	肥前	内・昭和色。外・白。高台樹脂。高台・二重樹脂。	
3	8 B44	樹脂	圓	中圓	1118	78	46		白	根鉢	寄せ付	肥前	内・昭和色。外・白。高台樹脂。高台・二重樹脂。	
3	9 B44	樹脂	圓	中圓	(107)	58	38		灰黄	根鉢	白光	透明樹脂	把?	
3	10 B44	樹脂	圓	田	123	31	70		白	根鉢	深川根鉢	美濃・美濃	内・昭和色。外・白。各色樹脂。高台・白根鉢。砂付。	
3	11 B44	樹脂	圓	芦竹	110	73	94		白	根鉢	根鉢(根鉢)	漸・・美濃	内・昭和色。外・白。各色樹脂。内・昭和色。高台・白根鉢。砂付。	
3	12 B44	樹脂	圓	次式	56	70	44	66	白	根鉢	根鉢	天明	底座を斜く外面に施施。内底無施。内縁根鉢打版。	
3	13 B44	樹脂	圓	錦	136	78	70		白	根鉢	根鉢	根口・美濃	振り出し高台。見込みに白印3.	
3	14 B44	樹脂	水注	中水2	45	76	78	148	白	根鉢	根鉢(根鉢)	根口・美濃	内・昭和色。外・白。各色樹脂。高台・白根付。高台付若。	
3	15 B44	樹脂	圓	小田	98	12	24		根	根鉢	根鉢	江戸白地	昭和系未開花。根鉢白。根鉢白。根鉢白。	
3	16 B44	樹脂	圓	小田	82	19	44		根	根鉢	根鉢	江戸白地	昭和系未開花。根鉢白。根鉢白。	
3	17 B44	樹脂	圓	小田	79	22	41		にじ・根	根鉢	根鉢	江戸白地	昭和系未開花。根鉢白。根鉢白。底葉減少し。	
3	18 B44	樹脂	圓	小田	84	18	45		にじ・根	根鉢	根鉢	江戸白地	昭和系未開花。根鉢白。根鉢白。底葉減少し。	
3	19 B44	樹脂	圓	小田	84	19	45		にじ・根	根鉢	根鉢	江戸白地	昭和系未開花。根鉢白。根鉢白。底葉減少し。	
3	20 B44	樹脂	圓	小田	79	17	44		にじ・根	根鉢	根鉢	江戸白地	昭和系未開花。根鉢白。根鉢白。底葉減少し。	
3	21 B44	樹脂	圓	小田	86	16	38		にじ・根	根鉢	根鉢	江戸白地	昭和系未開花。根鉢白。根鉢白。底葉減少し。	
4	1 B56	樹脂	圓	中圓	98	56	38		根	根鉢	根鉢	根口・美濃	内・文政風。外・白。若葉。高台・二重樹脂。高台・白根付。根鉢白。	
4	2 B56	樹脂	圓	中圓	94	52	30		白	根鉢	寄せ付	肥前	内・文政風。外・白。若葉。高台・二重樹脂。高台・白根付。根鉢白。	
4	3 B56	樹脂	圓	小坪	72	48	32		白	根鉢	寄せ付	肥前	内・文政風。外・白。若葉。高台・二重樹脂。高台・白根付。根鉢白。	
4	4 B56	樹脂	圓	萬葉	122	94	78		白	根鉢	寄せ付	肥前	内・文政風。外・文政。根鉢白。根鉢白。高台・二重樹脂。	
4	5 B56	樹脂	圓	中圓	108	60	45		白	根鉢	根鉢	京・京葉	内・出目高台。根鉢白。	
4	6 B56	樹脂	圓	小坪	70	44	32		黑	根鉢	根鉢	不網	根鉢。	
4	7 B56	樹脂	田	小田	130	35	56		黑	根鉢	根鉢	根口・美濃	内・文政風。外・白。若葉。高台・二重樹脂。高台・白根付。根鉢白。	
4	8 B56	樹脂	田	追追垂身	63	90	54	78	にじ・根	根鉢	根鉢	根口・京	内・文政風。外・白。若葉。高台・二重樹脂。高台・白根付。根鉢白。	
4	9 B56	樹脂	田	追追垂身	69	95	53	78	根	根鉢	根鉢	根口・京	内・文政風。外・白。若葉。高台・二重樹脂。高台・白根付。根鉢白。	
4	10 B56	樹脂	田	追追垂身	67	97	46	77	にじ・根	根鉢	根鉢	根口・京	内・文政風。外・白。若葉。高台・二重樹脂。高台・白根付。根鉢白。	
5	1 B63	樹脂	圓	小田	96	49	35		根	根鉢	根鉢	不網	京・京葉。	
5	2 B63	樹脂	圓	小坪	70	49	32		根	根鉢	根鉢	不網	京・京葉。高台・二重樹脂。	
5	3 B63	樹脂	圓	萬葉物	100	41	120		白	根鉢	根鉢	肥前	内・文政風。外・白。若葉。高台・二重樹脂。高台・白根付。根鉢白。	
5	4 B63	樹脂	圓	中圓	(113)	54	(42)		黑	根鉢	根鉢	白底・薄野町	内・文政風。外・白。若葉。高台・二重樹脂。高台・白根付。根鉢白。	
5	5 B63	樹脂	圓	田	149	x	40	105	白	根鉢	根鉢	肥前	内・文政風。外・白。若葉。高台・二重樹脂。高台・白根付。根鉢白。	
5	6 B63	樹脂	圓	追	176				白	根鉢	根鉢	根口・美濃	内・文政風。外・白。若葉。高台・二重樹脂。根付。根付。	
5	7 B63	樹脂	圓	追追					根	根鉢	根鉢	不網	根付。	
5	8 B63	樹脂	圓	小田	90	42	208	70	93	根	根鉢	根鉢	根口・美濃	内・文政風。外・白。若葉。根付。根付。
5	9 B63	樹脂	圓	小田	97	20	33		白	根鉢	根鉢	江戸白地	内・文政風。外・白。若葉。高台・二重樹脂。根付。根付。	
5	10 B63	樹脂	圓	小田	78	17	41		根	根鉢	根鉢	江戸白地	内・文政風。外・白。若葉。高台・二重樹脂。根付。根付。	
5	11 B63	樹脂	圓	小田	59	11	32		にじ・根	根鉢	根鉢	江戸白地	内・文政風。外・白。若葉。高台・二重樹脂。根付。根付。	
5	12 B63	樹脂	圓	小田	61	11	32		にじ・根	根鉢	根鉢	江戸白地	内・文政風。外・白。若葉。高台・二重樹脂。根付。根付。	
5	13 B63	樹脂	圓	小田	98	21	53		にじ・根	根鉢	根鉢	江戸白地	内・文政風。外・白。若葉。高台・二重樹脂。根付。根付。	
5	14 B63	樹脂	圓	小田	83	16	45		にじ・根	根鉢	根鉢	江戸白地	内・文政風。外・白。若葉。高台・二重樹脂。根付。根付。	
5	15 B63	樹脂	圓	小田	97	20	51		にじ・根	根鉢	根鉢	江戸白地	内・文政風。外・白。若葉。高台・二重樹脂。根付。根付。	
5	17 B63	樹脂	圓	小田	92	20	48		根	根鉢	根鉢	江戸白地	内・文政風。外・白。若葉。高台・二重樹脂。根付。根付。	
5	18 B63	樹脂	圓	小田	98	20	53		にじ・根	根鉢	根鉢	江戸白地	内・文政風。外・白。若葉。高台・二重樹脂。根付。根付。	
5	19 B63	樹脂	圓	小田	93	21	50		にじ・根	根鉢	根鉢	江戸白地	内・文政風。外・白。若葉。高台・二重樹脂。根付。根付。	
5	20 B63	樹脂	圓	小田	98	22	52		にじ・根	根鉢	根鉢	江戸白地	内・文政風。外・白。若葉。高台・二重樹脂。根付。根付。	
5	21 B63	樹脂	圓	小田	98	22	50		にじ・根	根鉢	根鉢	江戸白地	内・文政風。外・白。若葉。高台・二重樹脂。根付。根付。	
5	22 B63	樹脂	圓	小田	99	21	51		にじ・根	根鉢	根鉢	江戸白地	内・文政風。外・白。若葉。高台・二重樹脂。根付。根付。	
5	23 B63	樹脂	圓	小田	97	20	49		にじ・根	根鉢	根鉢	江戸白地	内・文政風。外・白。若葉。高台・二重樹脂。根付。根付。	
6	1 B150	樹脂	圓	中圓	101	56	43		白	根鉢	寄せ付	根口・美濃	内・文政風。外・白。若葉。高台・二重樹脂。高台・白根付。	
6	2 B150	樹脂	圓	中圓	98	55	40		白	根鉢	寄せ付	肥前	内・文政風。外・白。若葉。高台・二重樹脂。高台・白根付。	
6	3 B150	樹脂	田	小田	99	23	29		白	根鉢	寄せ付	肥前	内・文政風。外・白。若葉。高台・二重樹脂。高台・白根付。	
6	4 B150	樹脂	田	中山田	17				根	根鉢	根鉢	根口・美濃	内・文政風。外・白。若葉。高台・二重樹脂。高台・白根付。	
6	5 B150	樹脂	田	田	27				27	27	27	江戸白地	内・文政風。	
6	6 B150	樹脂	田	中圓	99	47	41		白	根鉢	寄せ付	肥前	内・文政風。若葉。曾文。	
6	7 B150	樹脂	田	中圓	72	42	28		白	根鉢	寄せ付	肥前	内・文政風。若葉。曾文。	
6	8 B150	樹脂	田	中圓	85	30	34		白	根鉢	寄せ付	肥前	内・文政風。若葉。曾文。	
6	9 B150	樹脂	田	中圓	61	23	29		白	根鉢	寄せ付	肥前	内・文政風。	
6	10 B150	樹脂	田	小田	75	16	42		白	根鉢	寄せ付	肥前	内・文政風。	
6	11 B150	樹脂	田	小坪	74	53	44		白	根鉢	寄せ付	肥前	内・文政風。内縁に根鉢に付す。	

第3表 近世の陶器・土器観察表(区B)(2)

測量番号	出土	材質	種類	目標	法規 (mm)				胎土色調	成形	施華等	推定生産場	著者(印・路・文様・技法等)
					x	y	z	d					
6 12 B165	施華	抹	罐	I	73	54	47		灰白	模壓	染付	肥前	内:草文。一重側輪。高台内一重側輪。「大明斗笠」底。
6 13 B165	施華	抹	罐	I	58	39	34		灰白	模壓	白釉	肥前	内:草文。一重側輪。高台内一重側輪。
6 14 B165	施華	抹	小瓶		99	63	35		灰白	模壓	染付	肥前・美濃	外:施華斗笠形文を有す。
6 15 B165	施華	抹	小瓶		93	58	32		灰白	模壓	施華・上部付	信・信濃	内:施華斗笠形文を有す。
6 16 B165	施華	抹	香炉		108	67	91		灰白	模壓	施華(波紋)	肥前・美濃	内:施華斗笠形文を有す。外:施華波紋模様。
6 17 B165	施華	瓶	小瓶		38	186	54		灰白	模壓	灰地	肥前・美濃	外:施華斗笠形文を有す。
6 18 B165	施華	瓶	中瓶		37	175	70	95	灰白	模壓	灰地	肥前・美濃	外:底部は施華で覆り、瓶間に斜巻き付けて、絞詰き「ヤマ万」。
6 19 B173	施華	碗	中碗		100	57	44		灰白	模壓	染付	肥前	内:コンニャック印文。淡木文。外:一重側輪。高台二重側輪。内:施華。
6 20 B173	施華	碗	小碗		98	57	43		灰白	模壓	染付	肥前	内:施華。外:一重側輪。高台一重側輪。
6 21 B173	施華	碗	中碗		94	45	42		灰白	模壓	染付	肥前	内:山水文(湖畔)。外:施華。高台一重側輪。高台内一重側輪。
6 22 B173	施華	碗	小碗		82	38	28		灰白	模壓	施華染付	肥前	内:小強。外:草文。内:施華。外:施華。
6 23 B173	施華	碗	小碗		62	32	28		灰白	模壓	染付	肥前	外:一重側輪。朝鮮製。高台一重側輪。
6 24 B173	施華	碗	小碗		64	25	26		灰白	模壓	白釉	肥前	内:施華。
6 25 B173	施華	碗	大碗		96	64	48		灰白	模壓	白釉	肥前	内:施華。
7 1 B173	施華	碗	中碗		99	64	49		浅黄	模壓	灰地。黄地	肥前	高台背付は物を伏せ取り、外面部体中に施華を施す。
7 2 B173	施華	碗	大碗		108	250	50		350	にじく施華	施華(白)白地	肥前	信? 石英等砂利を含む。
7 3 B181	施華	碗	小碗		90	54	39		灰白	模壓	青磁	肥前	白(?)
7 4 B181	施華	碗	中碗		94	50	43		灰白	模壓	青花	中国	内:白水燒園文。口縁部一重側輪。高台一重側輪。高台内一重側輪。「大明洪武年製」記。
7 5 B181	施華	碗	小碗		56	49			灰白	模壓	染付	肥前	外:靴足。
7 6 B181	施華	碗	中碗		60	32	26		灰白	模壓	染付	肥前	外:信草文。高台一重側輪。内:淡色水物質付。
7 7 B181	施華	碗	中碗		59	34	24		灰白	模壓	白釉	肥前	施華。
7 8 B181	施華	碗	中碗		45	23	23		灰白	模壓	白釉	肥前	高台施華。
7 9 B181	施華	皿	小皿		130	35	44		灰白	模壓	青磁	肥前	狂花(能)ノ口施華折足。
7 10 B181	施華	皿	小皿		67	26	59		灰白	模壓	染付	肥前	内:外型により高台まで成形。内:草文。
7 11 B181	施華	皿	小皿		67	24	(51)		灰白	模壓	染付	肥前	内:人跡はか。外:施華文。
7 12 B181	施華	皿	中皿		230	32	(144)		灰白	模壓	青花	中国	内:人跡はか。外:施華文。
7 13 B181	施華	皿	中皿		90	150		150	にじく施華	模壓	染付	肥前	内:外型により高台まで成形。内:草文。
8 1 B181	施華	抹	中抹		208	71	(98)		灰白	模壓	染付	肥前	内:施華。
8 2 B181	土器	土器	中		110				灰白	模壓	染付?	肥前	内:施華方口のケイズ。
8 3 B181	土器	土器	抹		25(6)				灰白	模壓	青花	中国	内:施華。外:草文。
8 4 B181	土器	土器	抹		25(6)				灰白	模壓	染付?	肥前	内:施華。外:一重側輪。
8 5 B181	土器	土器	小皿		73	17	44		灰白	模壓	青花	中国	内:施華。外:一重側輪。
8 6 B181	土器	土器	小皿		88	18	48		灰白	模壓	青花	中国	内:施華。外:一重側輪。
8 7 R353	施華	碗	大碗		154	79	56		灰白	模壓	染付	肥前	内:只塗と五瓣形。外:施華。内:草文。外:草文。内:一重側輪。高台一重側輪。
8 8 R353	施華	碗	中碗		104	53	40		灰白	模壓	染付	肥前	内:只塗のみ。外:施華。内:只塗。外:施華。外:草文。
8 9 R353	施華	碗	中碗		98	52	40		灰白	模壓	染付	肥前	内:只塗のみ。外:施華。外:只塗。内:只塗。
8 10 R353	施華	碗	中碗		84	46	32		灰白	模壓	染付	肥前	内:只塗。外:草文。一重側輪。高台。赤側輪。
8 11 R353	施華	碗	中碗		102	60	44		灰白	模壓	灰地。染付	肥前	施華。
8 12 R353	施華	皿	小皿		122	27	62		浅黄褐	模壓	研磨開口。黄地	肥前・美濃	内:只塗と五瓣形。外:施華。内:草文。外:只塗。
8 13 R353	施華	皿	抹		284	(63)			灰白	模壓	江戸在地	肥前	内:只塗のみ。外:施華。内:只塗。外:施華。外:草文。
8 14 R353	施華	皿	抹		86	16	42		灰白	模壓	江戸在地	肥前	内:只塗のみ。外:施華。
8 15 R353	施華	皿	小皿		116	21	62		灰白	模壓	江戸在地	肥前	内:只塗のみ。外:施華。
9 1 R311	土器	土器	中		190	35	103		明	模壓	染付	江戸在地	内:只塗のみ。外:施華。内:只塗子。
9 2 R311	土器	土器	中		211	44	130		明	模壓	染付	江戸在地	内:只塗のみ。外:施華。内:只塗子。
9 3 R311	土器	土器	中		202	42	127		明	模壓	染付	江戸在地	内:只塗のみ。外:施華。内:只塗子。
9 4 R311	土器	土器	中		190	42	119		明	模壓	染付	江戸在地	内:只塗のみ。外:施華。内:只塗子。
9 5 R311	土器	土器	中		202	40	124		にじく施華	模壓	染付	江戸在地	内:只塗のみ。外:施華。内:只塗子。
9 6 R311	土器	土器	中		198	40	107		明	模壓	染付	江戸在地	内:只塗のみ。外:施華。内:只塗子。
9 7 R481	土器	土器	抹		272				他	模壓	染付	江戸在地	内:只塗のみ。外:施華。内:只塗子。
9 8 B492	土器	土器	抹		72	18		77	他	模壓	染付	江戸在地	内:只塗のみ。外:施華。内:只塗子。
10 1 R367	施華	皿	中皿		235	33	87		灰白	模壓	染付	肥前	内:施華。外:施華。内:只塗。外:施華。内:只塗子。
10 2 R367	施華	皿	中皿		43	219	124		他	模壓	染付	肥前	内:只塗。外:施華。内:只塗子。
10 3 R367	施華	皿	抹		204	122	226		灰白	模壓	染付	江戸在地	内:只塗。外:施華。内:只塗子。
10 4 R367	施華	皿	五寸皿		146	28	83		灰白	模壓	青花	中国	内:只塗。外:施華。内:只塗子。
10 5 R371	施華	碗	大碗		154	86	60		灰白	模壓	染付	肥前	内:只塗。外:施華。内:只塗。
10 6 R371	施華	碗	中碗		96	56	40		灰白	模壓	染付	肥前	内:只塗。外:施華。内:只塗。
10 7 R371	施華	碗	中碗		86	60	50		灰白	模壓	染付	肥前	内:文様焼し。外:只塗。内:只塗。
10 8 R371	土器	土器	抹		273				灰白	模壓	染付	江戸在地	内:只塗。外:施華。内:只塗。
10 9 R371	土器	土器	小皿		66	12	41		にじく施華	模壓	染付	江戸在地	内:只塗。外:施華。内:只塗。
10 10 R476	施華	碗	中碗		118	59	39		灰白	模壓	染付	江戸在地	内:只塗。外:施華。内:只塗。

第4表 近世の陶磁器・土器観察表(区)(3)

規範番号 備考番号	出土 地點	材質	形態	沿標	法規 (mm)				胎土色調	成形	施華等	指定生産場	備考 (印・路・文様・技法等)
					a	b	c	d					
11 1	B477	陶器	鉢	五寸	171	90	89	40	灰白	模様 染付	施華・美濃	瀬戸・美濃	割り出し高台、受漆面輪郭あり。
11 2	B477	陶器	瓶	小瓶	22	150	61	92	灰白	模様	施華	瀬戸・美濃	三角割削、底部切削、ヘラケズリ調査。
11 3	B477	陶器	瓶	右肩受付	104	24	46	64	青白・中附	模様	施華	瀬戸・美濃	受漆面付、受漆面輪郭あり。外：端面直面あり。
11 4	B513	土器	瓶	切込					褐色	印伝付	施華	江戸・近畿	口縁部少々内削、側面。
11 5	B522	陶器	瓶	中瓶		41			灰白	模様	施華	瀬戸・美濃	施華。
11 6	B529	陶器	鉢	中鉢	(130)	39	49		灰黄	模様	施華	瀬戸・美濃	内：朱口目口折、施華を1周剥かせる。割り出し高台。
11 7	B547	陶器	鉢	圓鉢					灰白	模様	施華	瀬戸・美濃	
11 8	B577	陶器	碗	大碗	124	83	50		灰白	模様	施華	瀬戸・美濃	内台盤右は施華で付付。
11 9	B577	土器	碗	切込					白	模様	施華	江戸在地	窓め、底面約4cm周。
11 10	B577	土器	碗	切込	294				白	模様	施華	江戸在地	窓め、深め、底面約4cm周。
11 11	B550	陶器	鉢	杏叶	99				灰	模様 真珠(菊)	施華	瀬戸・美濃	内：不規則受付。1周縁は平時につくり。中空内
11 12	B559	土器	瓶	切込					灰白	印伝付	施華	江戸在地	窓め、底面約2cm周。
11 13	B560	陶器	瓶	中瓶	69.5	70	38		浅黄	模様	青白	手磨	内：内側は施華で付付。外：口縁部まで施華。
12 1	B588	磁器	瓶	大瓶	122	80	47		灰白	模様	青花	中国	施被施華、施華、内：赤込み鳥文・花卉文。外：花卉文、高台・中附。
12 2	B588	磁器	瓶	中瓶	87	52	39		灰白	模様	青花	中国	施被施華、施華、内：赤込み鳥文・花卉文。外：花卉文、高台・中附。
12 3	B588	磁器	瓶	中瓶	94	50	41		灰白	模様	青花	中国	施被施華、施華、内：赤込み鳥文・花卉文。外：花卉文、高台・中附。
12 4	B588	磁器	瓶	中瓶	99	56	44		灰白	模様	青花	中国	施被施華、施華、内：赤込み鳥文・花卉文。外：花卉文、高台・中附。
12 5	B588	磁器	瓶	中瓶	95	50	45		灰白	模様	青花	中国	施被施華、施華、内：赤込み鳥文・花卉文。外：花卉文、高台・中附。
12 6	B588	磁器	瓶	中瓶	95	49	43		灰白	模様	青花	中国	施被施華、施華、内：赤込み鳥文・花卉文。外：花卉文、高台・中附。
12 7	B588	磁器	瓶	中瓶	113	65	45		灰白	模様	染付	施華	内：青白、石川。
12 8	B588	磁器	瓶	弘前款	48	55	28		灰白	模様	染付	施華	内：青白・口縁部。外：足付付。
12 9	B588	磁器	瓶	小瓶	133	42	43		灰白	模様	青花	中国	青白、内：口縁部。外：人文字・虎文。
12 10	B588	磁器	瓶	小瓶	132	41	48		灰白	模様	青花	中国	青白、内：口縁部。外：人文字・虎文。
12 11	B588	磁器	瓶	五寸瓶	146	28	76		灰白	模様	青花	中国	青白、内：口縁部。外：人文字・虎文。
13 1	B588	磁器	瓶	大瓶	312	78	140		灰白	割打	青磁、白口	施華、模様。	
13 2	B588	磁器	瓶	中瓶	198	26	110		灰白	模様	白口	施華。	
13 3	B588	磁器	瓶	中瓶	231	x	42	175	灰白	模様	白口	施華。	
13 4	B588	磁器	瓶	中瓶	182	x	42	123	灰白	模様	白口	施華。	
13 5	B588	磁器	瓶	五寸瓶	386	99	174		灰白	模様	青白・口縁	中国	
14 1	B588	磁器	盤		302	88	152		灰白	模様	染付	施華	内：青白・口縁部。外：口縁部。
14 2	B588	磁器	皿	中皿	196	42	68		灰白	模様	青磁	不明	
14 3	B588	磁器	皿	小皿	134	42	59		灰白	模様	青花	中国	青白、内：口縁部。外：人文字・虎文。
14 4	B588	磁器	皿	五寸皿	138	43	60		灰白	模様	青花	中国	青白、内：口縁部。外：人文字・虎文。
14 5	B588	磁器	皿	中皿	130	44	57		灰白	模様	青白	中国	青白、内：口縁部。外：人文字・虎文。
15 1	B588	磁器	皿	中皿	209	46	77		灰白	模様	白口	施華？	
15 2	B588	磁器	皿	中皿	207	52	78		灰白	模様	白口	施華？	
15 3	B588	磁器	皿	中皿	459	107	254		灰白	模様	青花	中国	青白、内：口縁部。外：人文字・虎文。
16 1	B588	磁器	皿	中皿	174	42	68		灰白	模様	青花	中国	青白、内：口縁部。外：人文字・虎文。
16 2	B588	磁器	皿	五寸皿	165	35	114		灰白	模様	白口	施華。	
16 3	B588	磁器	皿	五寸皿	144	34	74		灰白	模様	青花	中国	青白、内：口縁部。外：人文字・虎文。
16 4	B588	磁器	皿	小皿	-x	85	26	84 x 40	灰白	中附付	染付	施華	内：青白・口縁部。外：口縁部。
16 5	B588	磁器	皿	小皿	139	35	50		灰白	模様	青花	中国	青白、内：口縁部。外：人文字・虎文。
16 6	B588	磁器	皿	小皿	223	30	134		灰白	模様	青花	中国	青白、内：口縁部。外：人文字・虎文。
16 7	B588	磁器	皿	碟口	95	57	51		灰白	模様	染付・青磁	施華	内：口縁部。外：口縁部。
16 8	B588	磁器	皿	碟口	69	55	38		灰白	模様	染付	施華	内：口縁部。外：口縁部。
17 1	B588	磁器	皿	小皿	132 x	24	84 x 65		灰白	模様	染付	施華	内：口縁部。外：口縁部。
17 2	B588	磁器	皿	碟口	242	53	118		灰白	模様	五彩	中国	青白、内：口縁部。外：口縁部。
17 3	B588	磁器	皿		193	38	70		灰白	模様	青花	中国	青白、内：口縁部。外：口縁部。
17 4	B588	磁器	皿		204	40	72		灰白	模様	青花	中国	青白、内：口縁部。外：口縁部。
18 1	B588	磁器	皿		202	37	112		灰白	模様	青花	中国	青白、内：口縁部。外：口縁部。
18 2	B588	磁器	皿		207	39	134		灰白	模様	青花	中国	青白、内：口縁部。外：口縁部。

第5表 近世の陶器・土器観察表（B区）(4)

測量番号 種別	出土 地點	材質	形態	沿標	法規 (mm)				胎土色調	成形	施華等	推定生産地	著者 (原・高・文輝・桂法等)
					a	b	c	d					
18 3	B588	磁器	盤		208	38	122		灰白	模様	青花	中国	熱、湯沸湯、内・外・底、口 (窓の風呂)。東濃型。外：高円 内：垂頭頭、高台付加輪、砂付舟。
18 4	B588	磁器	盤		198	44	70		灰白	模様	青花	中国	熱、湯沸湯、内・底、口 (窓の風呂)。東濃型。外：高円 内：垂頭頭、高台付加輪、砂付舟。
19 1	B588	磁器	盤		206	43	131		灰白	模様	青花	中国	熱、湯沸湯、内・底、口 (窓の風呂)。東濃型。外：高円 内：垂頭頭、高台付加輪、砂付舟。
19 2	B588	磁器	盤		260	50	154		灰白	模様	青花	中国	熱、湯沸湯、内・底、口 (窓の風呂)。東濃型。外：高円 内：垂頭頭、高台付加輪、砂付舟。
19 3	B588	磁器	鉢	中鉢	195	63	96		灰白	模様	青花	中国	熱、湯沸湯、内・底、口 (窓の風呂)。東濃型。外：高円 内：垂頭頭、高台付加輪、砂付舟。
19 4	B588	磁器	盤		136	26		152	灰白	模様	青花	中国	熱、湯沸湯、外：花、昆虫、雪文、垂頭頭、高台付加輪の上級品。 底部に「燒造」の墨書き。
19 5	B588	磁器	鉢	附脚	97	30	65		灰白	模様	青花	中国	熱、外：丁口直面、垂頭頭、低脚附脚引文底部下位、垂 頭頭、高台、垂頭頭、高台付加輪は斜め。底部には墨書き。 注記欄に「真珠目」を有す。底部をぐるぐる内側、青花頭、内側頭 模様、底部模様が複数個ある。
19 6	B588	磁器	鉢	香炉	61	58	32		灰白	模様	青花	中国	熱、底部、高台付加輪、砂付舟。
19 7	B588	磁器	鉢	香炉	93	44	67		灰白	模様	青花	中国	熱、底部、高台付加輪、砂付舟。
20 1	B588	磁器	鉢	小鉢	132	43	58		灰白	模様	青花	中国	熱、湯沸湯、内・底、口 (窓の風呂)。東濃型。外：高円 内：垂頭頭、高台付加輪、砂付舟。
20 2	B588	磁器	鉢	大鉢	385	99	196		灰白	模様	五筋	中国	熱、底部に「燒造」の墨書き。
20 3	B588	磁器	鉢	萬葉	113	86	70		灰白	模様	朵梵	中国	熱、外：丁口直面、垂頭頭、高台付加輪、低脚附脚引文底部下位、垂 頭頭、高台、垂頭頭、高台付加輪は斜め。底部には墨書き。 注記欄に「真珠目」を有す。底部をぐるぐる内側、青花頭、内側頭 模様、底部模様が複数個ある。
20 4-1	B588	磁器	鉢	中鉢	152	80			灰白	模様	青花	中国	熱、底部、高台付加輪、砂付舟。
20 4-2	B588	磁器	鉢	中鉢		135	140		灰白	模様	青花	中国	世他地獄、底部のみ、第 29 回 4 と同一個体。
20 5	B588	磁器	瓶	小瓶	19	104			灰白	模様	青花	中国	第四回は「青花二重頭輪、輪脚は眞珠」が眞珠を施した後、飛び跡で 文様が消失す。
20 6	B588	磁器	瓶		47 × 27	112	56		灰白	壓押し	白磁	中国	化粧土。胎体内に文様。
20 7	B588	磁器	瓶		93	26		118	灰白	模様	青花	中国?	熱、底部に墨書きで輪脚を施す。外側に「日、花」。 内側頭部は「日」。頭部は「花」。底部は「日」。頭部は「花」。底部は「日」。
20 8	B588	陶器	碗	中碗	68	66	47		灰白	模様	灰釉、青釉	東洋、美濃	熱、底部、高台付加輪、砂付舟。
20 9	B588	陶器	碗	中碗	92	59	44		灰白	模様	灰釉、青釉	伊賀?	高台を盛りて内側に施す。体部に斜井で鳴山型と文様を施す。 印押「清水呑」。
20 10	B588	陶器	皿	小皿	(135 × 105)	32	54		灰白	塑打ち	灰釉、糸引調	京・近畿	高台とその周辺を盛り内側に施す。内側に魚・水草を描く。 捺出り舟形。
21 1	B588	陶器	皿	大皿	140	79	49～ 43		灰	模様	画眉、露	京・近畿	熱、色絵が施されていると考えられる。内側文様なし。外側に 眞珠目と文様を盛る。口縁部にはラッカ装飾とその部分が 黒漆で塗り分けられ、黒漆の部分は斜めで、斜井で「日」字形の 跡が残す。刮除で「日」の跡が残る。
21 2	B588	陶器	皿	盤	166	35	80		灰	模様	鉢	中国	熱、見込みに斜井で舟形。
21 3	B588	陶器	皿	盤	297	54	178		灰白	模様	模様ほか	中国	倒れこぼし高台。高台内外を斜井にする。高台との両脇を 斜井と内側に施す。内側には見込みと「日」の墨書きがある。 内側に斜井を斜め点とする。見込みは斜井等墨書きなど多く數あれ る。
21 4	B588	陶器	皿	小皿	132	40	45		灰白	模様	灰釉、絞模	肥前?	熱、色絵が施されていると考えられる。内側文様なし。外側に 眞珠目と文様を盛る。口縁部にはラッカ装飾とその部分が 黒漆で塗り分けられ、黒漆の部分は斜めで、斜井で「日」字形の 跡が残す。刮除で「日」の跡が残る。
21 5	B588	陶器	皿	中皿	198	35	59		灰白	模様	灰釉	伊賀?	熱、高台付加輪、足込口に墨書き。
21 6	B588	陶器	皿	中皿	(204 × 134)	204	323	(284)	灰白	塑打ち	灰釉	京・近畿	熱、高台付加輪、足込口に墨書き。
21 7	B588	陶器	皿	水盆	127	186	(146)	178	灰白	模様	灰釉、青釉	京・近畿	倒れこぼし高台。高台内外を斜井にする。高台との両脇を 斜井と内側に施す。内側には見込みと「日」の墨書きがある。 内側に斜井を斜め点とする。見込みは斜井等墨書きなど多く數あれ る。
22 1	B588	陶器	皿	中鉢	160	79	115		灰白	模様	長石釉、露	京・近畿?	熱、削り出し高台。輪を多用。体部に 3 条の空巻を設ける。 内側の凹凸点は斜井で、斜井で「日」の跡が残る。斜井で「日」の字形の 跡が残る。
22 2	B588	陶器	皿	香炉	100	60	78		灰白	模様	灰釉	京・近畿?	熱、削り出し高台。輪を多用。体部に 3 条の空巻を設ける。 内側の凹凸点は斜井で、斜井で「日」の跡が残る。
22 3	B588	陶器	皿	香炉	110	81	48	に伝・中間	模様	灰釉、白口	肥前	削り出し高台。内側に斜井で舟形を施す。斜井で「日」の跡が残る。	
22 4	B588	陶器	鉢	瓦口	208	113	92		黄白	模様	灰釉	肥前	削り出し高台。輪を多用。体部に 3 条の空巻を設ける。内側 の凹凸点は斜井で、斜井で「日」の跡が残る。斜井で「日」の字形の 跡が残る。
22 5	B588	陶器	鉢	水盆	147	167	150		灰白	模様	灰釉、青釉	京・近畿	削り出し高台。輪を多用。体部に 3 条の空巻を設ける。内側 の凹凸点は斜井で、斜井で「日」の跡が残る。
22 6	B588	陶器	皿	中皿	114	163	123		灰白	模様	灰釉、青釉	肥前・美濃	削り出し高台。輪を多用。体部に 3 条の空巻を設ける。内側 の凹凸点は斜井で、斜井で「日」の跡が残る。
22 7	B588	陶器	皿	中皿	98	230	100	193	灰白	模様	灰釉、青白釉	京・近畿	内凹部。外側の脚部下に斜井で舟形を施す。斜井で「日」の跡が残る。
22 8	B588	陶器	皿	繁人	33	83	39		黄白	模様	灰釉、青釉	不明	斜井頭部に舟形を施す。斜井で「日」の跡が残る。
22 9	B588	陶器	皿	中皿	90	216	88	228	に伝・中間	模様	灰釉、青釉	不明	斜井頭部に舟形を施す。斜井で「日」の跡が残る。
23 1	B588	陶器	皿	花生	64	234	(78)	130	灰白	模様	灰釉、青釉	京・近畿	伊賀? と。外側に斜井で舟形を施す。内側は「日」の墨書き。
23 2	B588	陶器	皿	小鉢	43	184	64	92	灰白	模様	灰釉	肥前	伊賀? と。外側に斜井で舟形を施す。内側は「日」の墨書き。
23 3	B588	陶器	皿	中皿		112			灰白	模様	灰釉	肥前	伊賀? と。外側に斜井で舟形を施す。内側は「日」の墨書き。
23 4	B588	陶器	皿	大鉢	190	75	142	に伝・中間	模様	灰釉	江戸・増	伊賀? と。外側に斜井で舟形を施す。内側は「日」の墨書き。	
23 5	B588	陶器	皿	瓦口	210	190	218		橙	模様	灰釉	江戸・增	伊賀? と。外側に斜井で舟形を施す。内側は「日」の墨書き。
23 6	B588	陶器	皿	瓦口	150	55	186		橙	模様	灰釉	江戸・增	伊賀? と。外側に斜井で舟形を施す。内側は「日」の墨書き。
24 1	B588	陶器	皿	小鉢	194			271	灰	模様	波浪 (手太郎) 内渡	著者「月刊」11、六十五「南あり」。判明せず。外邊は三寸半 を施す。模様付舟形を施す。斜井で「日」の跡が残る。	
24 2	B588	陶器	皿	瓦口	117	28	52	81	浅波頭	模様	灰釉	江戸・增	波浪 (手太郎) と。外側に斜井で舟形を施す。内側は「日」の墨書き。
24 3	B588	陶器	皿	瓦口	105	282			に伝・中間	模様	灰釉	江戸・增	波浪 (手太郎) と。外側に斜井で舟形を施す。内側は「日」の墨書き。
24 4	B588	陶器	皿	瓦口	248	204	240		浅波頭	模様	灰釉	江戸・增	波浪 (手太郎) と。外側に斜井で舟形を施す。内側は「日」の墨書き。
24 5	B588	陶器	皿	瓦口	82	28	40	に伝・中間	模様	灰釉	江戸・增	波浪 (手太郎) と。外側に斜井で舟形を施す。内側は「日」の墨書き。	
24 6	B588	陶器	皿	瓦口	85	18	42		模様	灰釉	江戸・增	波浪 (手太郎) と。外側に斜井で舟形を施す。内側は「日」の墨書き。	
24 7	B588	陶器	皿	瓦口	94	29	43	に伝・中間	模様	灰釉	江戸・增	波浪 (手太郎) と。外側に斜井で舟形を施す。内側は「日」の墨書き。	
24 8	B588	陶器	皿	瓦口	119	23	64	に伝・中間	模様	灰釉	江戸・增	外邊は「日」の墨書き。波浪 (手太郎) と。外側に斜井で舟形を施す。内側は「日」の墨書き。	
24 9	B588	陶器	皿	瓦口	59	11	33		模様	灰釉	江戸・增	外邊は「日」の墨書き。波浪 (手太郎) と。外側に斜井で舟形を施す。内側は「日」の墨書き。	

第6表 近世の陶磁器・土器観察表(区)(5)

規範番号 神社・番号	出土 地名	材質	種類	沿標	寸法(㎜)				胎土色調	成形	施華等	推定生産地	著者(印)・篇・文様・技法等	
					a	b	c	d						
26 1 B580	御田	陶	中綱	96	30	37		灰白	織輪	染付	中国?	内:浅黄地に、外:灰・竹・梅。高台内:椭圆(丸の内)青化粧(鉢)。		
26 2 B580	御田	陶	中綱	104	79	53		灰白	織輪	平滑	日本古式	内:灰地に、内:椭圆。		
26 3 B591	御田	陶	中綱	55	30	20		灰白	織輪	染付	肥前	外:模写文(文)・垂頭輪、高台・垂頭輪、高台内・垂頭輪。		
26 4 B591	御田	陶	弘治款	76	57	42		灰白	織輪	染付	肥前	内:模写文(文)・垂頭輪、高台・垂頭輪、高台内・垂頭輪、高台内:椭圆。		
26 5 B591	御田	陶	大津	215	73	120		灰白	織輪	染付	肥前	内:模写文(文)・垂頭輪、高台・垂頭輪、高台内・垂頭輪、高台内:椭圆。		
26 6 B591	御田	陶	小綱	88	55	32		灰白	織輪	灰地	肥前	内:模写文(文)・垂頭輪、高台・垂頭輪。		
26 7 B591	御田	陶	腰錦	1290	(55)			灰白	織輪	灰地	肥前	内:浅黄地に、外:模写文(文)・垂頭輪。		
26 8 B591	土器	陶	切跡	(29.6)	(47)			灰白	織輪	平滑	江戸時代	深め、脚窓4cm有り、口部5cm有り。		
26 9 B591	土器	陶	小綱	74	16	26		灰白	織輪	灰地	江戸時代	深め、脚窓4cm有り、子口・上端縁部有り。		
26 10 B606	土器	陶	燒成直身	61	99	61	79	白	板作	灰地	石巒	井原は第44去呂田。		
26 11 B607	御田	陶	香合	112	74	104		灰白	織輪	灰地	肥前	内:模写文(文)・垂頭輪、高台・垂頭輪。		
26 12 B608	御田	陶	中綱	102	55	42		白	織輪	染付	肥前	内:五瓣花・垂頭輪、外:五瓣花・梅花。高台内・垂頭輪。		
26 13 B608	御田	陶	蓋	80	18			内:灰・白	織輪	灰地	肥前	内:模写文(文)・垂頭輪。		
26 14 B635	御田	陶	中綱	(102)	51	41		灰白	織輪	染付	肥前	外:模写文。		
26 15 B635	御田	陶	中綱	102	47	36		灰白	織輪	染付	肥前	外:模写文。		
26 16 B635	御田	陶	小綱	98	69	42		灰白	織輪	染付	肥前	内:込込み模様(くらしきみやう)有り。外:舟に舟形と水波。		
26 17 B635	御田	陶	小綱	68	36	24		灰白	織輪	灰地	肥前	内:模写文(文)・垂頭輪。		
26 18 B635	御田	陶	腰錦	340	86			灰白	織輪	灰地	肥前	外:模写文。		
27 1 B664	土器	陶	燒成直身	100	25	64		白	織輪	灰地	肥前	内:模写文(文)・垂頭輪。		
27 2 B677	御田	陶	中綱	109	60	43		灰白	織輪	染付	肥前	内:舟に舟形と水波(くらしきみやう)有り。外:舟に舟形と水波。		
27 3 B677	御田	陶	中綱	67	31	30		灰白	織輪	染付	肥前	内:模写文(文)・垂頭輪。		
27 4 B677	御田	陶	弘治29	83	68	44		灰白	織輪	染付	肥前	外:模写文。		
27 5 B677	御田	陶	直	98	23	54		灰白	織輪	染付	肥前	内:コニャク芋(芋)・垂頭輪。		
27 6 B677	御田	陶	直	119	35	43		灰白	織輪	染付	肥前	内:舟に舟形と水波(くらしきみやう)有り。外:舟に舟形と水波。		
27 7 B677	御田	陶	中綱	114	75	53		浅黄	織輪	灰地	肥前	内:模写文(文)・垂頭輪。		
27 8 B677	御田	陶	中綱	114	75	52		浅黄	織輪	灰地	肥前	内:模写文(文)・垂頭輪。		
27 9 B677	御田	陶	中綱	129	53	54		灰白	灰地	灰地	肥前	内:五瓣花・垂頭輪。		
27 10 B677	陶器	陶	小綱	222	87	65		浅黄	織輪	灰地	肥前	内:模写文(文)・垂頭輪。		
27 11 B677	陶器	陶	中綱	85	110	50		灰白	織輪	灰地	肥前	内:模写文(文)・垂頭輪。		
27 12 B677	土器	陶	大綱	270	107	215		明暗	織輪	灰地	江戸時代	二足。		
27 13 B677	土器	陶	切跡	204	76			内:灰・白	織輪	灰地	江戸時代	有耳、深め、丸底。耳と中央に模写文(文)・垂頭輪。		
27 14 B677	土器	陶	直	66	14	36		白	織輪	灰地	江戸時代	浅めの模写文(文)・垂頭輪。		
27 15 B677	土器	陶	直	85	18	42		白	織輪	灰地	江戸時代	浅めの模写文(文)・垂頭輪。		
28 1 B683	陶器	陶	小綱	36	75	34	66	灰黄	織輪	染付	中国?	内:模写文(文)・垂頭輪。		
28 2 B684	土器	陶	直	306				白	織輪	染付	江戸時代	内:模写文(文)・垂頭輪。		
28 3 B684	土器	陶	直	412	21	59		白	織輪	染付	江戸時代	内:模写文(文)・垂頭輪。		
28 4 B733	土器	陶	直	225				浅黄	織輪	染付	江戸時代	内:模写文(文)・垂頭輪。		
29 1 B745	御田	陶	中綱	110	62	50		灰白	織輪	白地・上付	肥前	内:模写文(文)・垂頭輪。		
29 2 B745	御田	陶	中綱	100	55	41		灰白	織輪	染付	肥前	内:模写文(文)・垂頭輪。		
29 3 B745	御田	陶	中綱	97	56	44		灰白	織輪	染付	肥前	内:模写文(文)・垂頭輪。		
29 4 B745	御田	陶	中綱	108	62	42		灰白	織輪	染付	肥前	内:模写文(文)・垂頭輪。		
29 5 B745	御田	陶	直	103	75	64		灰白	織輪	染付	肥前	内:模写文(文)・垂頭輪。		
29 6 B745	御田	陶	直	96	81	46		灰白	織輪	染付	肥前	内:模写文(文)・垂頭輪。		
29 7 B745	御田	陶	直	110	75	45		白	織輪	染付	肥前	内:模写文(文)・垂頭輪。		
29 8 B745	御田	陶	直	120	25	32		白	織輪	染付	肥前	内:模写文(文)・垂頭輪。		
29 9 B745	土器	陶	直	280				内:灰・白	織輪	染付	江戸時代	内:模写文(文)・垂頭輪。		
29 10 B745	土器	陶	火鉢	302	113	278		内:灰・白	織輪	染付	江戸時代	内:火鉢。底面一部火鉢。		
29 11 B745	土器	陶	火鉢	190	74	146		明暗	織輪	染付	江戸時代	内:火鉢。		
29 12 B745	土器	陶	直	80	22			白	壓押し	織輪	染付	江戸時代	二足。	
29 13 B745	土器	陶	燒成直身	60	92	50	83	白	板作	織輪	染付	江戸時代	内:模写文(文)・垂頭輪。	
29 14 B745	土器	陶	直	90	18	55		白	織輪	染付	江戸時代	内:模写文(文)・垂頭輪。		
29 15 B745	土器	陶	直	115	21	70		明暗	織輪	染付	江戸時代	内:模写文(文)・垂頭輪。		
30 1 B800	御田	陶	中綱	93	50	44		白	織輪	青花	中国	内:模写文(文)・垂頭輪。		
30 2 B800	御田	陶	大綱	120	46	46		白	織輪	染付	肥前	内:模写文(文)・垂頭輪。		
30 3 B800	御田	陶	中綱	100	53	42		白	織輪	染付	肥前	内:模写文(文)・垂頭輪。		
30 4 B800	御田	陶	中綱	98	53	44		白	織輪	染付	肥前	内:模写文(文)・垂頭輪。		
30 5 B800	御田	陶	小綱	66	34	27		白	織輪	染付	肥前	内:模写文(文)・垂頭輪。		
30 6 B800	御田	陶	小綱	58	26	26		白	織輪	染付	肥前	内:模写文(文)・垂頭輪。		
30 7 B800	御田	陶	小綱	79	58	44		白	織輪	染付	肥前	内:模写文(文)・垂頭輪。		
30 8 B800	御田	陶	小綱	66	52	34		白	織輪	白地	肥前	内:模写文(文)・垂頭輪。		
30 9 B800	御田	陶	小綱	68	40	28		白	織輪	染付	肥前	内:模写文(文)・垂頭輪。		

第7表 近世の陶磁器・土器観察表（B区）(6)

測量番号 補足番号	出土 地點	材質	形態	寸標	法規 (mm)				胎土色調	成形	施華等	推定生産場	備考 (印・路、文様、柱法等)	
					a	b	c	d						
30 10 B800 製造 菓 94F	97 33 24	灰白	織繩	白磁	肥前	内面見込みに朱赤朱赤あり。								
30 11 B800 製造 菓 今古町 菓 147 60 48	98 45 38	白	織繩	白磁	肥前	内面見込みに朱赤朱赤あり。								
30 12 B800 製造 皿 五寸皿	138 27 89	灰白	織繩 染付	白磁	肥前	内・外・見込み五寸皿。縁巻き模様か。外：草花文。一重綱緒。高台・垂綱緒。高台内・垂綱緒。高台外・垂綱緒。								
30 13 B800 製造 皿 小皿	128 31 79	灰白	型打 7.5. ハ シ	灰白・斜綱緒	灰白・美濃	菊花の型打にて型打ちをする。内：型打ち字の面有る。								
30 14 B800 製造 釜 中釜	96 66 59	灰白	織繩	白磁	肥前	灰白・透印。印・底裏								
30 15 B800 製造 釜 小釜	72 40 46	灰白	織繩	白磁	肥前	灰白・透印。印・底裏								
30 16 B800 製造 釜 小釜	71 69 46	灰白	織繩	白磁	肥前	灰白・美濃	高台付脚・内外脚に施華あり。外：織繩口が口ひつ。織繩口付脚。高台は削り出して、脚を上さかまにしてハラズアリ。							
30 17 B800 土器 釜 瓢箪	Q76	灰白	織繩	白磁	肥前	JLH内地	足・底・縁巻き付脚あり。縁巻きで底吹灰を施し、下端は斜めに削り出している。							
30 18 B800 土器 釜 小釜	68 12 40	白	織繩	白磁	肥前	JLH内地	底吹灰切口付脚。織繩口付脚。(無脚底付脚者)							
30 19 B800 土器 釜 小釜	88 15 48	白	織繩	白磁	肥前	JLH内地	底吹灰切口付脚。織繩口付脚。(無脚底付脚者)							
30 20 B800 土器 釜 小釜	85 17 43	白	織繩	白磁	肥前	JLH内地	底吹灰切口付脚。織繩口付脚。(無脚底付脚者)							
30 21 B800 土器 釜 小釜	118 23 65	白	織繩	白磁	肥前	JLH内地	底吹灰切口付脚。織繩口付脚。(無脚底付脚者)							
30 22 B800 土器 釜 小釜	122 25 68	白	織繩	白磁	肥前	JLH内地	底吹灰切口付脚。外脚付脚有。							
31 1 B800 製造 陶器 瓢箪	94 73 40	灰白	織繩	白磁 白斑	不明	外：丸。高台付脚無。								
31 2 B800 古物 製造 皿 小皿	132 31 82	灰白	織繩	染付	肥前	内：丸・カスレ・ヒラ・ウタガ文要。一重綱緒。外：一重綱緒。高台付脚・外脚付脚。印脚。								
31 3 B800 古物 製造 皿 中皿	142 47 80	灰白	織繩	染付	肥前	内：丸・カスレ・ヒラ・ウタガ文要。一重綱緒。外・草花文。内・一重綱緒。高台・垂綱緒。竹文。外・草花文。内・一重綱緒。高台・垂綱緒。高台内・一重綱緒。印字路。								
31 4 B800 古物 製造 釜 小釜	72 37 34	灰白	織繩	白磁	肥前	洋細は第54表参照。								
31 5 B800 古物 製造 陶器 小瓶	68 46 30	灰白	織繩	灰白	肥前・美濃	洋細は第54表参照。								
31 6 B800 古物 製造 陶器 望呑	306 72	白	刮付	白磁	JLH内地	無耳。深め。底堅高2cm前後。底追腹付脚。								
31 7 B800 古物 製造 陶器 披壺身	63 76 51	77	白	無施	白磁	洋細は第54表参照。								
31 8 B800 製造 陶器 披壺身	54 78 56	72	白	無施	外作り	洋細は第54表参照。								
31 9 B800 中古物 製造 陶器 中国	97 56 35	灰白	織繩	染付	肥前	底追付脚。高台・垂綱緒。								
31 10 B800 中古物 製造 陶器 中国	72 42 30	灰白	織繩	染付	肥前	底追付脚。高台・垂綱緒。高台・垂綱緒。								
31 11 B800 中古物 製造 陶器 中国	89 65 42	灰白	織繩	染付	肥前	内：足追み・草花文。一重綱緒。高台・垂綱緒。印字路。								
31 12 B800 中古物 製造 陶器 中国	57 50 32	灰白	織繩	染付	肥前	底追付脚。高台・垂綱緒。印字路。								
31 13 B800 中古物 製造 陶器 中国	65 12 74	灰白	織繩 皺張蓋置	白	直進	底追付脚。高台・垂綱緒。								
31 14 B800 彩物 製造 陶器 中国	90 84 54	灰白	織繩	染付	肥前	内：足追み・羽絞。ウラジロ。								
31 15 B800 彩物 製造 陶器 中国	143 78 56	灰白	織繩	染付	肥前	内：足追み・草花文。一重綱緒。高台・垂綱緒。印字路。								
31 16 B800 彩物 製造 陶器 中国	86	灰白	織繩	百斑	中国	上半のみ斜。								
31 17 B800 彩物 製造 陶器 紅豆11	40 15 15	灰白	型押し	白磁	肥前	内：足追み・草花文。山川。底追無。								
31 18 B800 彩物 製造 陶器 皿 小皿	135 42 76	灰白	織繩	染付	肥前	内：足追み・五寸花。一重綱緒。蘭花文。柏文。外：唐印文。高台・垂綱緒。高台内・垂綱緒。印字路。								
31 19 B800 彩物 製造 陶器 皿 中皿	100 69 37	灰白	織繩	反白、口配 筋跡	不明	高台付脚底追。内：口配。外：口縁部は口に近い所で鉄筋等を盛り。体厚は口部より内側へと段級化する。体厚下部は口底イッヂンにより支撑を施す。								
31 20 B800 彩物 製造 陶器 皿 中皿	94 44 33	浅黄斑	織繩	灰白	肥前	内：底追付脚。高台・垂綱緒。高台内・垂綱緒。印字路。								
31 21 B800 彩物 製造 陶器 小瓶	34	灰白	織繩	粗繩	不明	高台・垂綱緒。								
31 22 B800 彩物 製造 陶器 唐 素追唇	20 17 24	白	千ひねり 透明繪	白	JLH内地	内：足追み・口縁部と底を盛り。口部文口に近づけ置く。外：口縁部は口に近い所で鉄筋等を盛り。体厚は口部より内側へと段級化する。体厚下部は口底イッヂンにより支撑を施す。								
31 23 B800 彩物 製造 陶器 井手 小水井	26 74 47	99	灰白	織繩 染付 筋跡	白磁	内：足追み・口縁部と底を盛り。口部文口に近づけ置く。外：口縁部は口に近い所で鉄筋等を盛り。体厚は口部より内側へと段級化する。体厚下部は口底イッヂンにより支撑を施す。								
31 24 B800 彩物 製造 陶器 皿 中皿	38 154 68	灰白	織繩	灰白	肥前	内：足追み・口縁部と底を盛り。口部文口に近づけ置く。外：口縁部は口に近い所で鉄筋等を盛り。体厚は口部より内側へと段級化する。体厚下部は口底イッヂンにより支撑を施す。								
32 1 B810 製造 皿 小皿	108 29 52	灰白	織繩	染付	肥前	内：足追付脚。高台・垂綱緒。								
32 2 B817 製造 皿 中皿	108 60 44	灰白	織繩	染付	肥前	内：底追付脚。高台・垂綱緒。								
32 3 B817 製造 皿 中皿	108 62 44	灰白	織繩	染付	肥前	内：高台文。竹。竹。高台・垂綱緒。								
32 4 B817 製造 皿 小皿	88 48 40	灰白	織繩	染付	肥前	内：高台文。竹。竹。高台・垂綱緒。								
32 5 B817 製造 陶器 釜 中体	292 83 110	にじい小判	織繩	白磁、透印繩	肥前	内：足追付脚と底を盛り。口部文口に近づけ置く。外：口縁部は口に近い所で鉄筋等を盛り。体厚は口部より内側へと段級化する。								
32 6 B820 製造 陶器 皿 中皿	98 53 38	白	織繩	染付	肥前	外：底追付脚。内：口縁部と底を盛り。一重綱緒。高台・垂綱緒。								
32 7 B820 製造 陶器 皿 中皿	66 30 25	白	織繩	染付	肥前	内：底追付脚。外：口縁部と底を盛り。一重綱緒。高台・垂綱緒。								
32 8 B820 製造 陶器 釜 釜体					透	内：底追付脚。外：口縁部と底を盛り。一重綱緒。高台・垂綱緒。								
32 9 B838 陶器 皿 瓢 望呑	240	にじい頭台	染付	白磁	JLH内地	内：足追付脚。高台・垂綱緒。								
32 10 B849 製造 釜 丸形	96 30	灰白	織繩	染付	肥前	内：足追付脚。高台・垂綱緒。								
32 11 B849 陶器 皿 小皿	60 14 35	明月	織繩	染付	JLH内地	器底追。底追は口から下に向って螺旋文を施したのち、器底中心に斜線文を付けた。器底中心に斜線文を付けたのち、器底は低めまで斜・ウラジロを盛る。								
32 12 B1102 陶器 皿 瓢 小瓶		38 68	灰白	織繩	染付	肥前	器底追。器底は口から下に向って螺旋文を施したのち、器底中心に斜線文を付けた。器底中心に斜線文を付けたのち、器底は低めまで斜・ウラジロを盛る。							
32 13 B1102 陶器 皿 瓢 望呑	250	白	刮付	白磁	JLH内地	器底追。器底は口から下に向って螺旋文を施したのち、器底中心に斜線文を付けた。器底中心に斜線文を付けたのち、器底は低めまで斜・ウラジロを盛る。								

第8表 近世の陶磁器・土器観察表(区B) (7)

番号	出土 地點	材質	種類	形様	法規(㎜)				胎土色調	成形	施華等	指定生産地	備考(印:高・文様・技法等)	
					x	y	z	d						
33 1	B868	磁器	碗	大碗	141	75	52		灰白	模様	染付	肥前	内:コニシ八寸山形花、一重脚輪、外:瓶金、油点、一重脚輪、高台・重脚輪、高台内・一重脚輪及び大明治型。高台質付付着。	
33 2	B868	磁器	碗	中碗	95	54	40		灰白	模様	染付	肥前	内:草花文、一重脚輪、高台・重脚輪、高台内・一重脚輪及び大明治型。高台質付付着。	
33 3	B868	磁器	碗	小碗	64	33	29		灰白	模様	染付	肥前	内:草花文。	
33 4	B868	磁器	碗	乳頭碗	57	62	37		灰白	模様	染付	肥前	内:草花文。	
33 5	B868	磁器	皿	小皿	127	25	44		灰白	模様	染付	肥前	内:文、豆、辺込み足ノ目輪剥落、沿筋有り。	
33 6	B868	磁器	瓶	瓶舟形	24	86	43	86	灰白	模様	染付	肥前	内:高台工上に残る底跡、草花文、中筋に一重脚輪、高台・重脚輪。	
33 7	B868	陶器	碗	中碗	109	56	39		灰白	模様	白配、透明磨	肥前	周川型?、内:ランダムに刷毛目を施す。外:透鍍の内柱	
33 8	B868	陶器	碗	中碗	94	61	44		灰白	模様	灰地、乳頭足	肥前	内:草花文及高台の無脚。	
33 9	B868	陶器	碗	中碗	91	59	33		灰白	模様	灰地、一重脚	肥前	内:草花文。	
33 10	B868	陶器	瓶	通瓶					黑地	模様	灰地	不明	人筋を呈する容器の足の部分。	
33 11	B868	土器	瓶	急切					褐	模様	灰地	江戸内地	深め、透鍍高さ4cm程度。口輪部有り。	
33 12	B868	土器	瓶	中柱	162	33	89		灰白	模様	灰地	江戸内地	底部分切末調整、模様上手。	
33 13	B875	陶器	瓶?					40	灰白	模様	白泥、刷毛	不明	割り出し高台。全体は模様の模様に白泥を充填し、象嵌状につくる。	
34 1	B880	磁器	碗	中碗	109	62	48		灰白	模様	染付	肥前	外:丸口脚輪き締、花文などを鋲ぐ文透らし、高台付着。	
34 2	B880	磁器	碗	中碗	98	59	44		灰白	模様	白底、上起付	肥前	外:草花文の上起付を施した底盤あり。	
34 3	B880	磁器	碗	中碗	96	58	42		灰白	模様	染付	肥前	内:草花文及高台の重脚輪、高台内・重脚輪及び大明治型。高台質付。	
34 4	B880	磁器	碗	中碗	99	54	44		灰白	模様	白底、上起付	肥前	内:文透らし、外:草花文と織、内:一重脚輪で花、黒い輪で茎、葉、輪を描く、高台の無脚。	
34 5	B880	磁器	碗	小碗	84	41	32		灰白	模様	染付	肥前	外:コニシ八寸乳頭足透らし、高台付着。	
34 6	B880	磁器	碗	中碗	49	32	20		灰白	模様	染付	肥前	内:脚輪。	
34 7	B880	陶器	碗	中碗	117	49	46		灰白	模様	灰地、真	肥前	朝印「小松吉」。	
34 8	B880	陶器	碗	中碗	90	55	36		灰白	模様	栗皮・美濃	肥前	割り出し高台。	
34 9	B880	陶器	瓶	花瓶				86	91	にぶい赤地	模様、贴付、内:ふん毛端	灰地、透明磨、内:ふん毛端	不明	直筒の瓶、底を表現したもののみられ、瓶は一重である。底部は斜く内側に膨張。内面は透明磨。外部は武器を施した模様。部の周囲のふん毛端を削る。打ち抜き時の柄元を残して表示する。
34 10	B880	土器	土器	打吹受皿	86	84	70	59	灰	模様	灰地	江戸内地	武器のラクダ。	
34 11	B880	土器	瓶	急切	300			にぶい-弱	吹付け	模様	江戸内地	粗耳、深め、部堅高さ2cm前後。		
34 12	B880	土器	瓶	小瓶	73	15	34		明治	模様	模様	江戸内地	底部分切末調整、模様左回転。	
34 13	B880	土器	瓶	小瓶	101	20	48		明治	模様	模様	江戸内地	武器切末調整。	
34 14	B880	磁器	碗	小碗	84	63	44		灰白	模様	染付	肥前	内:口辺に乳頭足竹輪文、一重脚輪。口辺四方乳頭、外:乳頭文及び乳頭部分には板、海のみ、高台・重脚輪。	
34 15	B880	磁器	瓶	口口	74	54	38		灰白	模様	染付	肥前	外:草花文、高台内向外に点支振りあり、高台質付着。	
34 16	B880	磁器	碗	小碗	53	30	25		灰白	模様	染付	肥前	内:文透らし。	
34 17	B880	磁器	皿	小皿	94	22	48		灰白	手切加工	染付	肥前	内:模様透り花文様。外:折れ化粧文、付け高台。	
34 18	B880	磁器	皿	小皿	72	22	35		灰白	模様	染付	肥前	内:口辺み丘井花。外:折れ草花文、一重脚輪、高台内・重脚輪。	
34 19	B880	磁器	瓶	急切	127	30	75		灰白	模様	染付	肥前	内:折れ化粧文。	
34 20	B880	磁器	瓶	口	69	45	39		灰白	模様	染付	肥前	外:脚輪文、高台・重脚輪。	
34 21	B880	陶器	瓶	香立	102	81	78		灰白	模様	青磁	肥前	肥ノ口高台、高台無脚、内底に線文透らし。	
34 22	B880	陶器	瓶	中瓶	97	63	52		浅黄	模様	灰地、直肩	栗皮・美濃	外:内底に直肩で文様を描く。	
34 23	B880	陶器	瓶	中瓶	90	57	29		浅黄	模様	灰地、直肩	栗皮・美濃	内:口辺み丘井花。外:折れ草花文、一重脚輪、高台内・重脚輪。	
34 24	B880	陶器	瓶	急切	123	28	67		灰白	模様	灰地、直	栗皮・美濃	内:口辺み丘井頭透けり直肩のひな花文。外:体部に脚輪の透けり有り。	
34 25	B880	陶器	瓶	口	105	27	47	71	灰白	模様	模様、贴付	栗皮	八角形。	
34 26	B880	陶器	瓶	香立	114	74	68		灰白	模様	灰地、直肩	栗皮・美濃	内:口辺み三脚有り直肩を押さえます。外:体部に模様透けり模様の原点文。内脚輪外側に脚輪孔あり。	
35 1	B880	磁器	瓶	小瓶	224	47	76		口	模様	染付	肥前	内:無。	
35 2	B880	陶器	瓶	吹吹	(80)	56			浅黄透	模様	灰地	肥前	男引近唇吹。口辺部最細直。	
35 3	B880	磁器	瓶	中瓶	100	189	88		灰白	模様	白底	肥前	透け有り。	
35 4	B880	陶器	瓶	打吹受皿	105	27	47	71	灰白	模様	模様、贴付	栗皮	板作り。	
35 5	B880	土器	瓶	急切	323				にぶい-弱	吹付け	吹付け	江戸内地	無耳、深め、部堅高さ2cm前後。	
35 6	B880	土器	土器	打吹受皿	89	23	43	58	にぶい-弱	模様、贴付	吹付け	江戸内地	底部未切末調整、模様左回転。	
35 7	B880	土器	瓶	燒造身	66	95	48	80	裡	模様	近鑑	詳細は第4表参照。		
35 8	B880	土器	瓶	小瓶	57	13	29		にぶい-弱	模様	模様	江戸内地	底部未切末調整、模様左回転。	
35 9	B880	土器	瓶	小瓶	79	15	40		にぶい-弱	模様	模様	江戸内地	底部未切末調整、模様左回転。	
35 10	B880	土器	瓶	中瓶	194	34	121		にぶい-弱	模様	模様	江戸内地	底部未切末調整、模様左回転。	

第9表 近世の陶磁器・土器観察表（B区）(8)

検査番号	出土場所	材質	形態	沿標	寸法（mm）				胎土色調	成形	施華等	推定生産地	著者（原・高・文庫・井法等）
					a	b	c	d					
36 1	B890	磁器	碗	小碗	108	58	45		灰白	模様	白釉	高台・東園窯	高台御付無地、脚付有地。
36 2	B890	磁器	碗	小碗	97	54	35		灰白	模様	白釉	高台御付無地、外：草花文、一重園窯、高台・東園窯、高台御付、外：上船付有地、舟形を描く、輪郭、朱地にもみぬ、輪郭の内は足付無地。	
36 3	B890	磁器	碗	豆皿（I）	54	22	24		灰白	模様	白釉、上船付	肥前	内面：横状乳突彫。一面模様、口部の内方舞。外：脚付有地の豆皿と思われる。外：舟形を描く、輪郭、朱地にもみぬ、輪郭の内は足付無地。
36 4	B890	磁器	碗	小碗	84	61	43		灰白	模様	染付、上船付	肥前	内面：横状乳突彫。一面模様、口部の内方舞。外：脚付有地の豆皿と思われる。外：舟形を描く、輪郭、朱地にもみぬ、輪郭の内は足付無地。
36 5	B890	磁器	皿	小皿	100	25	51 × 78 (52)		灰白	半切削 上	染付	肥前	外付御付、内：草花文、一重園窯、高台・東園窯、高台御付、外：上船付有地、舟形を描く、輪郭、朱地にもみぬ、輪郭の内は足付無地。
36 6	B890	陶器	碗	小碗	99	63	41		灰白	模様	灰地、拱輪	肥前	外付御付以外以及内外両面は既成で高台付には織部がござる。
36 7	B890	陶器	皿	五寸皿	149	46	64		灰青	模様	裏口・美濃	裏口	内：足付御付ノ内方舞。外：灰地とその周辺に輪郭、外付御付、内：模様は既成で内外両面は既成で高台付を施す。内面及び外付御付は既成で既成で各毛目を施す。内面は足込みを蛇口付毛目とする。
36 8	B890	陶器	碗	中杯	155	62	54		灰青	模様	白泥、薄明窯	肥前	内付御付は既成で既成で各毛目を施す。内面及び外付御付は既成で既成で各毛目を施す。内面は足込みを蛇口付毛目とする。
36 9	B890	陶器	瓶	洗瓶	55	149	134		灰白	模様、貼付	灰地、贴付	江戸・美濃	側面に模様付。側面に模様付。
36 10	B890	土器	鉢	火鉢	215	85	164		灰	模様、貼付	灰地、贴付	江戸近畿	足を付せし模様付。内面御付を施す。外：脚付。
36 11	B890	土器	鉢	火鉢	117	130	118		灰青	模様、貼付	灰地、贴付	江戸近畿	三足を付せし模様付。外面部は毛手手を施す。中央に穿孔。焰口あり。
36 12	B890	土器	鉢	火消鉢	125	140	194		灰青	模様、貼付	灰地、贴付	江戸近畿	足を付せし模様付。内面御付を施す。外：脚付。
36 13	B890	土器	鉢	燒夷身鉢	56	75	49	74	灰青	模様、板作り	灰地、板作り	江戸近畿	津波山第4号去田。
36 14	B890	土器	鉢	燒夷身鉢	61	74	50	77	灰青	模様、板作り	灰地、板作り	江戸近畿	津波山第4号去田。
36 15	B890	土器	鉢	中鉢	189	28	114		灰青	模様	裏口	江戸近畿	江戸近畿
37 1	B1148	磁器	鉢	大鉢	238	95	96		灰白	模様	青磁	肥前	内：足付御付。外：模様付。
37 2	B1148	磁器	碗	中碗	103	44	35		灰白	模様	染付	肥前	内：模様付。外：文字「片人御」。一重園窯、高台・東園窯。
37 3	B1148	磁器	碗	中碗	98	43	36		灰白	模様	染付、上船付	肥前	外：模様付。高台・金彩を施すが、焼成後、消費地における船付。
37 4	B1148	磁器	碗	中碗	105	46	40		灰白	模様	染付、上船付	肥前	外：模様付。底部下部に一重園窯と津波文。上部は舟形。草花文。
37 5	B1148	磁器	鉢	猪口	74	58	33		灰白	型打ち	染付	肥前	内：足付御付。外：模様付。
37 6	B1148	磁器	碗	小碗	84	67	44		灰白	模様	染付	肥前	内：足付御付。外：模様付。
37 7	B1148	磁器	皿	五寸皿	140	39	82		灰白	模様	染付	肥前	内：模様付。外：文字「片人御」。一重園窯、高台・東園窯。
37 8	B1148	陶器	碗	大碗	126	60	49		灰白	模様	裏口・美濃	外：模様付。	
37 9	B1148	陶器	鉢	弘前鉢	69	56	44		灰白	模様	裏口、灰地、贴付	江戸・美濃	脚及び底部模様。
37 10	B1148	陶器	皿	十丼	86	76	91		灰白	模様、貼付	裏口	三足。口部は5字。体部に模様で模様文を施す。底部は付せ付。	
37 11	B1148	土器	鉢	火もらしい	134	185	120		灰青	模様	裏口	江戸近畿	内：足付御付。
37 12	B1148	土器	鉢	燒夷身鉢	27	11		77	灰青	型押し	模様	古河	内：足付御付。
37 13	B1148	土器	鉢	燒夷身鉢	69	30	65	81	灰青	型押し	模様	古河	内：足付御付。
37 14	B1148	土器	鉢	燒夷身鉢	63	72	74	73	灰青	模様	裏口	内：足付御付。	
37 15	B1148	磁器	碗	中碗	100	56	42		灰白	模様	染付	肥前	内：足付御付。
38 2	B964	磁器	鉢	小鉢	888	49	36		灰白	模様	染付	肥前	内：足付御付。
38 3	B964	磁器	碗	中碗	95	47	40		灰白	模様	白釉	肥前	内：足付御付。高台・金彩文。
38 4	B964	陶器	鉢	小鉢	88	53	30		灰白	模様	透青、贴付	肥前	内：足付御付。
38 5	B964	陶器	碗	中碗	1008	67	49		灰白	模様	灰地、粗筋	肥前	内：足付御付。
38 6	B964	陶器	碗	小鉢	126	28	70		灰白	模様	灰地、粗筋	肥前	内：足付御付。
38 7	B964	陶器	鉢	小鉢	1096	70	60		灰白	模様	白泥、透明窯	肥前	内：足付御付。
38 8	B964	陶器	鉢	灰吹	50	55	44		灰白	模様	灰地、灰吹	肥前	内：足付御付。
38 9	B964	陶器	鉢	小鉢	69	106	78		灰白	模様	裏口	内：足付御付。	
38 10	B964	土器	鉢	焼夷身鉢	91	26	42	69	灰青	模様	灰地、贴付	江戸近畿	灰地と舟形に成る。
38 11	B964	土器	鉢	焼夷身鉢	21	26	29	274	灰青	模様	灰地、贴付	江戸近畿	灰地と舟形に成る。
38 12	B964	土器	鉢	焼夷身鉢	270	52	44		灰白	模様	裏口	江戸近畿	内：足付御付。
38 13	B964	土器	鉢	燒夷身鉢	60	99	52		灰白	模様	粗筋	江戸近畿	内：足付御付。
38 14	B964	土器	鉢	小鉢	55	10	31		灰白	模様	灰地、粗筋	江戸近畿	内：足付御付。
38 15	B964	土器	鉢	小鉢	68	13	35		灰白	模様	粗筋	江戸近畿	内：足付御付。
38 16	B964	土器	鉢	小鉢	78	13	39		灰白	模様	粗筋	江戸近畿	内：足付御付。
38 17	B964	土器	鉢	小鉢	92	17	50		灰白	模様	粗筋	江戸近畿	内：足付御付。
39 1	B1132	磁器	碗	中碗	68	54	40		灰白	模様	染付	肥前	内：草花文、一重園窯、高台・東園窯。
39 2	B1132	磁器	碗	中碗	99	54	40		灰白	模様	染付	肥前	内：足付御付。
39 3	B1132	磁器	碗	中碗	98	52	40		灰白	模様	染付	肥前	内：足付御付。
39 4	B1132	磁器	碗	中碗	106	58	41		灰白	模様	染付	肥前	内：足付御付。
39 5	B1132	磁器	碗	中碗	81	45	35		灰白	模様	染付	肥前	内：足付御付。
39 6	B1132	磁器	碗	中碗	81	43	30		灰白	模様	染付	肥前	内：足付御付。
39 7	B1132	磁器	碗	中碗	62	32	28		灰白	模様	染付	肥前	内：足付御付。
39 8	B1132	磁器	碗	中碗	54	29	23		灰白	模様	白磁	肥前	内：足付御付。
39 9	B1132	磁器	碗	中碗	73	59	38		灰白	模様	白磁	肥前	内：足付御付。
39 10	B1132	磁器	碗	中碗	72	51	35		灰白	模様	染付	肥前	内：足付御付。
39 11	B1132	磁器	碗	中碗	39	103	35		灰白	型打ち	青磁	肥前	内：足付御付。
39 12	B1132	磁器	蓋	合子蓋	48	18		54	灰白	模様	染付	肥前	内：足付御付。

第10表 近世の陶器・土器観察表 (B区) (9)

規範番号	出土	材質	種類	形様	法規 (mm)				胎土色調	成形	施華等	指定生産地	備考 (印: 萩、文様、技法等)	
					x	y	z	d						
29	13	B1132	陶器	罐	中幅	102	79	50	灰白	輪轉	灰釉	萩川・美濃	高輪轉、内部及び外部の内側は灰釉を施す。外側下半及び高輪轉の内側は銀釉で両面付けは銀の茎。体部の2側面を押さえ。	
29	14	B1132	陶器	罐	中幅	97	63	50	橙	輪轉	灰釉	萩川・美濃	高輪轉、円、下半及び高輪轉の外側は銀釉で両面付けは銀の茎。体部の2側面を押さえ。	
29	15	B1132	陶器	罐	中幅	101	69	49	灰白	輪轉	灰釉	萩川・美濃	高輪轉、円、下半及び高輪轉の外側は銀釉で両面付けは銀の茎。体部の2側面を押さえ。	
29	16	B1132	陶器	罐	大幅	122	88	51	灰白	輪轉	灰釉	肥前	高輪轉、円、下半及び高輪轉の外側は銀釉で両面付けは銀の茎。体部の2側面を押さえ。	
29	17	B1132	陶器	罐	中幅	102	58	40	黄灰	輪轉	白泥	透明釉	高輪轉無釉、内部正面に刮り毛目を施し。透明釉を施す。	
29	18	B1132	陶器	罐	小幅	62	35	30	灰黄	輪轉	白泥	高輪轉無釉、内部正面に刮り毛目を施し。透明釉を施す。		
29	19	B1132	陶器	鉢	香炉	67	54	64	灰白	輪轉	灰釉	萩川・美濃	高輪轉表面及び内側無釉。	
29	20	B1132	陶器	鉢	中幅	137	38	68	灰白	輪轉	灰釉	千明	足輪付、口縁部内側に刮り毛目と半周斜めをつくる。底部足輪付を施す。外、体部に壓痕模様による筋鉢が「ア」の花形を施す。	
29	21	B1132	陶器	蓋	圓筒形	56	110	66	灰白	輪轉	黄釉	萩川	笠形、内外部に施釉し、口縁部は銀色剥離。外側は倒伏により釉表面の凹凸を施す。	
29	22	B1132	陶器	蓋	圓筒形	67	55	45	灰白	輪轉	黄釉	萩川	笠形、内外部に施釉し、口縁部は銀色剥離。外側は倒伏により釉表面の凹凸を施す。	
29	23	B1132	陶器	蓋	中幅	67	119	72	120	灰白	輪轉	其他(手結)	萩川・美濃	輪轉無釉、同様に底面を施す。
29	24	B1132	陶器	蓋	中幅	—	—	20	灰白	輪轉	其他(手結)	萩川	輪轉無釉、同様に底面を施す。	
29	25	B1132	土器	鉢	中幅内把厚底	288	118	221	にぶい	輪轉	灰釉	萩川在地	足輪付、口縁部内側に刮り毛目と半周斜めをつくる。底部足輪付を施す。外、体部に壓痕模様による筋鉢が「ア」の花形を施す。	
29	26	B1132	土器	鉢	切込	290	—	—	橙	回転	灰釉	江戸在地	無耳、深め、底部内側に刮り毛目と半周斜め。	
29	27	B1132	土器	鉢	切込厚身	61	94	58	79	回転	灰釉	近畿	江戸在地	
29	28	B1132	土器	皿	小幅	92	18	47	橙	輪轉	灰釉	萩川在地	(輪轉無釉) 備考、底盤歩合切込厚身、輪轉手付。	
40	1	B1159	磁器	碗	小幅	92	55	35	灰白	輪轉	灰釉	肥前	外、朱墨文、高輪轉表面朱墨文。内側に朱墨文を施す。	
40	2	B1159	磁器	碗	小幅	(105)	51	41	灰白	輪轉	染付	肥前	外、朱墨文、桃子文。	
40	3	B1159	磁器	碗	小幅	60	37	26	灰白	輪轉	染付	肥前	外、高輪轉表面朱墨文。	
40	4	B1159	磁器	碗	小幅	59	25	27	灰白	輪轉	白釉	肥前	外、口縁部一帯輪轉、高輪轉、体部压痕。	
40	5	B1159	磁器	鉢	蓋物	82	47	49	灰白	輪轉	染付	肥前	口縁部内外側無釉、高輪轉付無釉。外、体部に压痕、茎主たる足は豆足、一帯輪轉、高輪轉表面、压痕部内側有輪轉。	
40	6	B1159	磁器	鉢	香炉	194	88	93	灰白	輪轉	青磁	肥前	B1523に出土十脚炉と合巻。	
40	7	B1159	磁器	蓋	蓋物	50	20	60	灰白	輪轉	染付	萩川	外、桃子文、花文、一帯輪轉。	
40	8	B1159	磁器	蓋	蓋物	86	27	100	灰白	輪轉	染付	萩川	外、丹波文、一帯輪轉。	
40	9	B1159	高輪	蓋	中幅	92	63	44	灰白	輪轉	灰釉	萩川	口縁部内側無釉、足付が牛耳となるがナガテロコ。	
40	10	B1159	高輪	鉢	中幅	117	74	50	にぶい	輪轉	灰釉(銀斑)、灰白	萩川・美濃	口縁部内外側無釉、外輪は上半を灰釉、下半を銀斑で施す。	
40	11	B1159	高輪	鉢	中幅	94	56	30	灰白	輪轉	染付	萩川	口縁部内側無釉、外輪は上半を灰釉、下半を銀斑。	
40	12	B1159	高輪	鉢	浅口鉢	66	49	36	灰白	輪轉	染付	萩川・美濃	口縁部内側無釉、外輪は上半を灰釉、下半を銀斑。	
40	13	B1159	高輪	鉢	浅口鉢	45	32	30	灰白	輪轉	染付	萩川・美濃	口縁部内側無釉、外輪は上半を灰釉、下半を銀斑。	
40	14	B1159	高輪	瓶	広口瓶	55	113	56	灰白	輪轉	染付	萩川・美濃	口縁部内側無釉、外輪は上半を灰釉、下半を銀斑で施す。	
40	15	B1159	高輪	瓶	中幅	188	188	120	灰白	輪轉	染付	萩川	口縁部内側無釉、底盤内に口縁3脚あり、底盤、足部は2cm程、脚部は1cm。	
40	16	B1159	高輪	瓶	切込	—	—	—	橙	輪轉	染付	萩川	無耳、深め、底部内側に刮り毛目と半周斜め。	
40	17	B1159	高輪	瓶	切込	300	—	—	316	輪轉	染付	萩川	無耳、深め、底部内側に刮り毛目と半周斜め。	
40	18	B1159	高輪	瓶	切込	310	87	326	にぶい	回転	染付	萩川	無耳、深め、底部内側に刮り毛目と半周斜め。	
40	19	B1159	高輪	瓶	切込厚身	64	69	47	75	にぶい	輪轉	染付	萩川	洋細工第54号参照。
40	20	B1159	高輪	皿	小幅	56	10	34	橙	輪轉	染付	萩川在地	口縁部内側無釉、輪轉手付。	
40	21	B1159	高輪	皿	小幅	76	13	36	橙	輪轉	染付	萩川在地	口縁部内側無釉、輪轉手付。	
40	22	B1159	高輪	皿	小幅	91	15	50	橙	輪轉	染付	萩川在地	口縁部内側無釉、輪轉手付。	
41	1	B1190	磁器	蓋	中幅	74	166	62	143	回転	白釉	萩川	口縁部内側無釉、足付が牛耳となるがナガテロコ。	
41	2	B1190	磁器	蓋	中幅	95	61	31	灰白	回転	白釉	萩川	口縁部内側無釉、足付が牛耳となるがナガテロコ。	
41	3	B1190	磁器	蓋	中幅	194	39	107	灰白	回転	白釉	萩川	口縁部内側無釉、足付が牛耳となるがナガテロコ。	
41	4	B1190	磁器	蓋	中幅	85	41	50	灰白	回転	白釉	萩川	口縁部内側無釉、足付が牛耳となるがナガテロコ。	
41	5	B1190	磁器	鉢	片口	215	116	93	にぶい	輪轉	白釉、透明釉	肥前	内、口縁部により急筋毛目を施す。外、体部上辺は口縁で直枝文様、下辺は直筋を施す。	
41	6	B1190	磁器	蓋	瓶	55	82	—	灰白	輪轉	染付	萩川	口縁部内側無釉、足付が牛耳となるがナガテロコ。	
41	7	B1190	磁器	蓋	瓶	—	—	—	にぶい	回転	白釉	萩川	口縁部内側無釉、足付が牛耳となるがナガテロコ。	
41	8	B1190	磁器	蓋	瓶	278	—	—	にぶい	回転	白釉	萩川	口縁部内側無釉、足付が牛耳となるがナガテロコ。	
41	9	B1190	磁器	蓋	瓶	249	—	—	にぶい	回転	白釉	萩川	口縁部内側無釉、足付が牛耳となるがナガテロコ。	
41	10	B1190	磁器	蓋	瓶	273	—	—	にぶい	回転	白釉	萩川	口縁部内側無釉、足付が牛耳となるがナガテロコ。	
41	11	B1190	磁器	皿	小幅	—	—	—	白釉	輪轉	染付	萩川	口縁部を盛り、斜辺を研削して軽用。	
41	12	B1190	磁器	皿	小幅	54	12	31	白	輪轉	白釉	萩川	口縁部内側無釉、輪轉手付。	
41	13	B1190	磁器	皿	小幅	60	15	35	白	輪轉	白釉	萩川	口縁部内側無釉、輪轉手付。	
41	14	B1190	磁器	皿	小幅	64	15	40	白	輪轉	白釉	萩川	口縁部内側無釉、輪轉手付。	
41	15	B1190	磁器	皿	小幅	75	17	39	白	輪轉	白釉	萩川	口縁部内側無釉、輪轉手付。	
41	16	B1190	磁器	皿	小幅	82	17	42	白	輪轉	白釉	萩川	口縁部内側無釉、輪轉手付。	
41	17	B1190	磁器	皿	小幅	79	18	38	白	輪轉	白釉	萩川	口縁部内側無釉、輪轉手付。	
41	18	B1190	磁器	皿	小幅	98	19	48	白	輪轉	白釉	萩川	口縁部内側無釉、輪轉手付。	
41	19	B1190	磁器	皿	小幅	104	21	53	白	輪轉	白釉	萩川	口縁部内側無釉、輪轉手付。	
42	1	B1445 上部	磁器	蓋	大幅	153	85	58	灰白	輪轉	染付	肥前	内、外ふくよこコントラ口沿、竹节、希望文様、内、一重輪轉、高輪、希望輪及び一重輪轉、高輪内、一重輪轉丸及び「明治年製」記。	
42	2	B1445 上部	磁器	蓋	中幅	108	62	42	灰白	輪轉	染付	肥前	内、草花文、一重輪轉、高輪、希望輪及び一重輪轉、「明治年製」記。	
42	3	B1445 上部	磁器	蓋	中幅	100	58	37	灰白	輪轉	染付	肥前	内、コンニャク口沿、竹节、希望文様、内、一重輪轉、高輪、希望輪及び一重輪轉、「明治年製」記。	
42	4	B1445 上部	磁器	蓋	中幅	104	61	44	灰白	輪轉	染付	肥前	内、草花文、山水文。	
42	5	B1445 上部	磁器	蓋	中幅	102	57	39	灰白	輪轉	染付	肥前	内、梅蘭、圓紋。	

第11表 近世の陶器・土器観察表（B区）（10）

測量番号 神武 番号	出土 地名	材質	形態	沿標	法規 (mm)				胎土色調	成形	施華等	推定生産場	著者 (印・路・文様・技法等)
					a	b	c	d					
42 6	B1445 上部	磁器	碗	中輪	99	52	41		灰白	模壓	染付	肥前	外：コンニャク印判刷。花文。
42 7	B1445 上部	磁器	碗	小輪	64	43	32		灰白	模壓	染付	肥前	外：コンニャク印判刷文。灰文。横帶と一重團綱。高台二重團綱及び「大明牛」印。
42 8	B1445 上部	磁器	碗	小輪	82	49	37		灰白	模壓	白絵	肥前	
42 9	B1445 上部	磁器	碗	小輪	85	47	36		灰白	模壓	白絵。上起付	肥前	外：上起付付竹。
42 10	B1445 上部	磁器	碗	小輪	71	49	33		灰白	模壓	染付	肥前	外：コンニャク印判刷文。一重團綱。高台二重團綱。高台一重團綱。
42 11	B1445 上部	磁器	碗	中輪	100	54	41		灰白	模壓	白絵	肥前	白絵。内田丸込みにキズ（使用痕跡）
42 12	B1445 上部	磁器	碗	小輪	61	34	26		灰白	模壓	白絵	肥前	高台白絵ノ口高台に近い。
42 13	B1445 上部	磁器	碗	小輪	58	38	21		灰白	模壓	染付	肥前	外：草花文。一重團綱。高台二重團綱。高台内一重團綱。
42 14	B1445 上部	磁器	碗	小輪	66	39	26		灰白	模壓	染付	肥前	外：梅瓶文。
42 15	B1445 上部	磁器	碗	小輪	66	33	27		灰白	模壓	染付	肥前	外：コンニャク印判刷文。一重團綱。高台二重團綱。
42 16	B1445 上部	磁器	鉢	花口	55	32	32		灰白	模壓	白絵。上起付	肥前	外：上起付付花口。
42 17	B1445 上部	磁器	碗	小輪	54	28	22		灰白	模壓	染付	肥前	外：草花文。
42 18	B1445 上部	磁器	鉢	横口	56	41	20		灰白	模壓	染付	肥前	外：草花文。一重團綱。
42 19	B1445 上部	磁器	碗	小輪	67	24	31		灰白	模壓	染付	肥前	外：油頭文。一重團綱。高台二重團綱。高台付印付付竹。
42 20	B1445 上部	磁器	碗	凸腹形	80	57	42		灰白	模壓	染付	肥前	外：白無地。高台一重團綱。高台二重團綱。
42 21	B1445 上部	磁器	皿	小皿	132	32	80		灰白	模壓	染付	肥前	内：白無地。高台一重團綱。高台二重團綱。高台付印付付竹。
42 22	B1445 上部	磁器	皿	小皿	130	27	81		灰白	模壓	染付	肥前	内：白無地。高台一重團綱。高台二重團綱。高台付印付付竹。
42 23	B1445 上部	磁器	皿	中皿	103	48	62		灰白	模壓	染付	肥前	内：白無地。高台一重團綱。高台二重團綱。高台付印付付竹。
42 24	B1445 上部	磁器	鉢	花口	63	40	38		灰白	模壓	染付	肥前	外：片口唐草文。口輪付一重團綱。一重團綱。高台一重團綱。
42 25	B1445 上部	磁器	鉢	杏叶	97	76	47		灰白	模壓	染付	肥前	内出筋團綱。高台付印付付竹。足柄付。休部上一重團綱及び足柄付付竹。
42 26	B1445 上部	磁器	皿	小皿	44	80	80		灰白	模壓	染付	肥前	外：折枝文。休部付一重團綱。
42 27	B1445 上部	磁器	皿	蓋置付	80	32	98		灰白	模壓	青絵	肥前	第42回 28とセツト？
42 28	B1445 底下部	磁器	鉢	段巻	91	45	58		灰白	模壓	青絵	肥前	第42回 27とセツト？（底部無地）。
42 29	B1445 上部	磁器	皿	蓋	58	15		71	灰白	模壓	染付	肥前	外：片口文。笠端部付付竹及び外側無地。笠端山吹付。硝子文。
43 1	B1445 上部	陶器	水口	水口	112	70	64		灰白	型押し	白絵	肥前	水鳥(飛)を象る。頭部、尾部の部分がバーツとして作り分けられ、さらに底部は被せる。底部には白磁あり。
43 2	B1445 上部	陶器	碗	中輪	119	101	59		灰白	模壓	施付	肥前・美濃	古内削輪を採ぐる内外面に施す。
43 3	B1445 上部	陶器	碗	大輪	121	83	51		明治期	模壓	白絵。休部	京・伊賀	古内削輪。内外に施す。休部に上付する。
43 4	B1445 上部	陶器	碗	中輪	105	76	41		灰白	模壓	鉢、山吹、休部	手前	古内削輪。休部に2重の施す。休部は2重の施す。手前は3重の施す。休部に内削輪を採る。手前は内削輪を採る。休部を内面及び外側上部に施す。手前は内削輪を採る。
43 5	B1445 上部	陶器	碗	中輪	102	68	53		灰白	模壓	休部、直張	肥前・美濃	直張。
43 6	B1445 上部	陶器	碗	中輪	102	69	54		灰白	模壓	休部、直張	肥前・美濃	直張。
43 7	B1445 上部	陶器	碗	大輪	136	66	52		にじい海螺	模壓	白絵。漆黒	肥前	刷毛目輪。内：打子柄付。外：色々毛(白)。直張で内縁を削る。直張付。高台付を採ぐる。休部に上付して文様を施す。
43 8	B1445 上部	陶器	碗	大輪	120	67	49		にじい海螺	模壓	休部、直張、直	京・伊賀	内台を採ぐる内外面全体に施す。休部に上付して文様を施す。
43 9	B1445 上部	陶器	碗	中輪	108	56	40		灰白	模壓	白絵。休部	手前	内台を採ぐる内外面全体に施す。休部に上付して文様を施す。
43 10	B1445 上部	陶器	皿	小皿	120	40	46		灰白	模壓	休部、直張	肥前	不明。
43 11	B1445 上部	陶器	皿	中皿	170	50	52		灰白	模壓	休部、直張	肥前・美濃	内台とその辺を採ぐる内外面全体に施す。休部に上付して文様を施す。
43 12	B1445 上部	陶器	鉢	杏叶	84	46	83		灰白	模壓	休部、直張	肥前・美濃	(横高輪)は直張を突出する。横高輪をへう切り。指すことをみ失せをつくる。角(ノリ)三足を付ける。
43 13	B1445 上部	陶器	皿	直蓋	36			110	灰白	模壓	直張(出脚)	肥前・美濃	直張本切調整。
43 14	B1445 上部	陶器	鉢	蒙水入れ	129	43	134		橙	板作り	休部、直張	肥前・美濃	外：休部に墨刷りによる真跡を残す。
43 15	B1445 上部	土器	鍋	結底	279				にじい海螺	手軸	無耳、深め、高輪高4cm前後。		
43 16	B1445 上部	土器	鍋	結底	254				橙	手軸	無耳、深め、高輪高4cm前後。口輪付5.34cm。		
44 1	B1445 上部	土器	不明				218		橙	手軸	ハラによる沈刷。倒炎文を施す。施底通付?上部欠損		
44 2	B1445 上部	土器	盤				170		橙	手軸	盤面、盤底。		
44 3	B1445 上部	土器	盤	燒造身	61	95	53	76	にじい供盤	板作り	直張	洋細は第54表細。	
44 4	B1445 上部	土器	盤	燒造身	56	96	53	69	橙	板作り	直張	洋細は第54表細。	

第12表 近世の陶磁器・土器観察表（B区）（11）

種類番号	生木 地點	材質	被覆	品種	法規 (cm)				樹皮色調	成形	輪葉等	推定生産地	参考 (田・路・文様・接合等)	
					a	b	c	d						
44	5 BI1445 下部	土木 柱	漆	漆ぬき身	61	95	56	76	暗	板作り	無輪	近畿	洋欄は第 54 表参照。	
44	6 BI1445 上部	土木 梁	漆面	タンコロ	34	16	27	—	暗	無輪	江戸在地	—	—	
44	7 BI1445 上部	土木 梁	漆	小柱	58	11	35	—	暗	無輪	江戸在地	北陸舟切削輪、輪轂丸打目。	—	
44	8 BI1445 上部	土木 梁	漆	小柱	78	18	50	—	暗	無輪	江戸在地	北陸舟切削輪、輪轂丸打目。	—	
44	9 BI1445 上部	土木 梁	漆	小柱	109	22	54	—	暗	無輪	江戸在地	近畿舟切削輪、輪轂丸打目。	—	
44	10 BI1445 上部	土木 梁	漆	小柱	108	22	64	—	暗	無輪	江戸在地	外：三ガキを水平、内側部に横付材（二つ盛り）	—	
45	1 BI1445 下部	漆面	漆	中綱	65	41	35	—	白	板作り	梁付	肥前	早川、永松。	—
45	2 BI1445 下部	漆面	漆	小綱	81	45	33	—	白	無輪	梁付	肥前	内：文様無し。外：丸文ほか。	—
45	3 BI1445 下部	漆面	漆	小綱	61	39	22	—	白	製作台 （内：外輪、 外輪）	白磁	千明	袖口や中身がひかり青緑に近い。高台内面無輪。外：は花 弁状の輪をつくり、高台は削り出る。	—
45	4 BI1445 下部	漆面	漆面	中綱	65	41	35	—	白	無輪	梁付	肥前	1.5m、直脚は扇筋構造による。	—
45	5 BI1445 下部	漆面	漆面	中綱	235	108	93	—	白	無輪	梁付	肥前	内見込み柱五花、裏の腰梁に見出し、見足を削り出。外：伏せ半 唐草、高台、垂繩脚、高台内一面削輪と「貴昌春」名。 台笠管付。	—
45	6 BI1445 下部	胸脚	漆	大綱	121	76	53	—	白	無輪	直脚（直脚、 内：外輪）	漆戸・美濃	大字今井の柱頭脚。高台は削り直す。内側部のみはノフ輪轂を削 り、直脚を削る。	—
45	7 BI1445 下部	胸脚	漆	中綱	200	70	60	—	白	無輪	直脚（直脚、 内：外輪）	漆戸・美濃	内見込み柱五花。裏の腰梁に見出し、見足を削り出。内側部のみはノフ輪轂を削 り、直脚を削る。	—
45	8 BI1445 下部	胸脚	漆	小柱	123	32	66	—	白	無輪	直脚	漆戸・美濃	内見込み柱五花。裏の腰梁に見出し、見足を削り出。内側部のみはノフ輪轂を削 り、直脚を削る。	—
45	9 BI1445 下部	胸脚	漆	小柱	71 × (50)	22 ~ 20	35	—	黄	直脚	直脚	漆戸・美濃	内見込み柱五花。裏の腰梁に見出し、見足を削り出。内側部のみはノフ輪轂を削 り、直脚を削る。	—
45	10 BI1445 下部	胸脚	漆	香附	108	72	82	—	黄	無輪	直脚（直脚、 内：外輪）	漆戸・美濃	内見込み柱五花。裏の腰梁に見出し、見足を削り出。内側部のみはノフ輪轂を削 り、直脚を削る。	—
45	11 BI1445 下部	胸脚	漆	香附	103	50	89	—	白	無輪	直脚	不明	内見込み柱五花。裏の腰梁に見出し、見足を削り出。内側部のみはノフ輪轂を削 り、直脚を削る。	—
45	12 BI1445 下部	胸脚	漆	花生？	46	115	50	79	白	無輪	直脚	肥前	内見込み柱は斜材。外：胴脚に直角柱。内見込み柱は白木又・紫、櫻塗脚 （直脚、既存柱内筒の内見）。	—
45	13 BI1445 下部	胸脚	漆面	右明豊臣	136	57	62	—	黄	無輪	直脚（直脚、 内：外輪）	漆戸・美濃	内見込み柱五花。裏の腰梁に見出し、見足を削り出。内側部のみはノフ輪轂を削 り、直脚を削る。	—
45	14 BI1445 下部	土木 柱	漆	漆ぬき身	62	103	48	77	暗	板作り	無輪	近畿	洋欄は第 54 表参照。	—
46	1 BI1445 越後上	漆面	漆	中綱	100	60	43	—	白	無輪	梁付	肥前	竹、桐、高台、高台一面削輪、高台二重削輪、高 台内一面削輪。	—
46	2 BI1445 越後下	漆面	漆	蓄物置	67	35	15	—	白	無輪	梁付	肥前	竹、桐、高台、高台一面削輪、貯物上、坐、垂繩脚、肥前御 一家削。	—
46	3 BI1445 越後下部	胸脚	漆	中綱	118	82	60	—	白	無輪	直脚、副脚、 既存脚	漆戸・美濃	側脚、付脚、柱脚。既存脚 5 台の直脚を削り落す。側脚は内面及び外 面に斜材。既存脚は内面から下位。既存脚は斜材を削り落す。柱脚は内面及 び外側に斜材。既存柱内筒の内見を削り落す。柱脚は内面及 び外側に斜材を削り落す。柱脚は内面及 び外側に斜材を削り落す。	—
46	4 BI1445 越後下部	胸脚	漆	香附	110	71	56	—	白	無輪	直脚、直脚	漆戸・美濃	側脚、付脚、柱脚。既存脚 5 台の直脚を削り落す。側脚は内面及び外 面に斜材。既存脚は内面から下位。既存脚は斜材を削り落す。柱脚は内面及 び外側に斜材。既存柱内筒の内見を削り落す。柱脚は内面及 び外側に斜材を削り落す。	—
46	5 BI1445 越後下部	胸脚	漆	中綱	278	93	116	—	白	無輪	直脚、透明脚、 既存脚	肥前	既存脚、内筒脚。既存脚 5 台の直脚を削り落す。側脚は内面及び外 面に斜材。既存脚は内面から下位。既存脚は斜材を削り落す。柱脚は内面及 び外側に斜材。既存柱内筒の内見を削り落す。柱脚は内面及 び外側に斜材を削り落す。	—
46	6 BI1445 越後下部	胸脚	漆	中綱	213	73	74	—	黄	無輪	直脚、透明脚、 既存脚	肥前	既存脚、内筒脚。既存脚 5 台の直脚を削り落す。側脚は内面及び外 面に斜材。既存脚は内面から下位。既存脚は斜材を削り落す。柱脚は内面及 び外側に斜材。既存柱内筒の内見を削り落す。	—
46	7 BI1445 越後下部	胸脚	漆	副脚	355	156	155	—	に赤い脚 付	直脚	直脚	丹波	引込み脚は直脚。柱脚は手平子オサ卓張りあり。底盤 の 5 ~ 6 本脚を削り落す。既存脚は内面及び外 面に斜材。既存脚は内面から下位。既存脚は斜材を削り落す。柱脚は内面及 び外側に斜材。既存柱内筒の内見を削り落す。	—
46	8 BI1445 越後下部	土木 柱	漆	漆ぬき身	60	92	59	76	暗	板作り	無輪	近畿	洋欄は第 54 表参照。	—
46	9 BI1445 越後下部	土木 柱	漆	副脚	288	55	220	—	に赤い脚 付	直脚	直脚	江戸在地	柱脚、底盤、成直脚。柱脚は手平子。	—
47	1 BI1475 上部	漆面	漆	中綱	195	29	131	—	白	無輪	梁付	肥前	内：成直脚、外：成直脚、垂繩脚、既存脚、高台、高台 一面削輪。	—
47	2 BI1475 上部	胸脚	漆	福岡香附	46	86	42	—	既存 既存脚	無輪	既存脚	肥前	既存脚、成直脚、垂繩脚、既存脚付付脚、既存脚付。	既存脚、既存脚付付脚。
47	3 BI1475 下部	胸脚	漆	中綱	107	60	44	—	白	無輪	梁付	肥前系	内：既存脚、草附脚、高台一面削輪。高台付付脚（大明寺脚）、 既存脚付付脚、既存脚付。	—
47	4 BI1475 下部	胸脚	漆	小綱	97	54	37	—	白	無輪	梁付	肥前	内：既存脚、草附脚、高台一面削輪。既存脚付付脚（大明寺脚）、 既存脚付付脚、既存脚付。	—
47	5 BI1475 下部	胸脚	漆	小綱	51	36	24	—	白	無輪	梁付	肥前	内：定文、定文脚、草附脚、内筒内：「縦」字跡。	—
47	6 BI1475 下部	胸脚	漆	小綱	54	36	25	—	白	無輪	梁付	肥前	内：既存脚、草附脚、高台一面削輪。	既存脚、既存脚付。
47	7 BI1475 下部	胸脚	漆	中綱	110	72	45	—	黄	無輪	梁付	肥前	内：既存脚、草附脚、高台一面削輪。既存脚付付脚（大明寺脚）、 既存脚付付脚、既存脚付。	—
47	8 BI1475 下部	胸脚	漆	小綱	80	35	40	—	白	無輪	既存脚（黒脚）	肥前・美濃	内：既存脚、草附脚、高台一面削輪。既存脚付付脚（大明寺脚）、 既存脚付付脚、既存脚付。	—
47	9 BI1475 下部	土木 柱	漆	漆ぬき身	53	79	55	73	暗	板作り	無輪	近畿	内：定文、定文脚、草附脚、内筒内：「縦」字跡。	—
47	10 BI490	漆面	漆	小綱	104	61	42	—	白	無輪	梁付	肥前	内：既存脚、草附脚、高台一面削輪。	既存脚、既存脚付。
47	11 BI490	漆面	漆	中綱	98	53	44	—	白	無輪	上付脚	肥前	内：既存脚、草附脚、高台一面削輪。	既存脚、既存脚付。

第13表 近世の陶器・土器観察表（B 区）(12)

測量番号 件名	出土 地名	材質	種類	沿標	法周 (mm)				胎土色調	成形	輪葉等	推定生産場	著者 (原・高・文様・技法等)
					x	y	z	d					
47 12	B1480	磁器	碗	小碗	76	47	35	105	灰白	模様	染付	肥前	外：黒縁刷毛による草花文。
47 13	B1480	陶器	碗	小碗	111	79	51	105	灰白	模様	染付	肥前	内：模様刷毛から外に拂て立ち上がる。高台側面を削取
47 14	B1480	陶器	碗	中碗	110	63	42	浅黄	模様	白泥	清陶磨	肥前	土は削取で成り良好。
47 15	B1480	土器	盆	中盆	237	65	265	灰白	模様	陶板	江戸在地	無款、底平削、脚部高 4cm 前後。	
48 1	B1505	磁器	碗	小碗	102	52	38	105	灰白	模様	染付	肥前	外：模様文。
48 2	B1505	磁器	碗	小M	56	35	19	105	灰白	模様	染付	肥前	内：模様刷毛。外：草花文。肩付無。
48 3	B1505	磁器	碗	大深盆	58	51	32	105	灰白	模様	染付	肥前	外：模様文。
48 4	B1505	磁器	皿	小皿	136	34	72	灰白	模様	染付	肥前	内：コンニャク田割五瓣花。二重輪郭、草花文。柄子文？	
48 5	B1505	磁器	皿	五寸皿	140	39	80	灰白	型打ち	白泥	肥前	内：花口文を模擬する。上縁	
48 6	B1505	磁器	鉢	小鉢	78	57	38	灰白	模様	手びねり	染付	模様成形後、手びねりにより形状に作用。内：支援無し。	
48 7	B1505	磁器	碗	中碗	96	54	42	灰白	模様	染付	青磁	肥前	
48 8	B1505	磁器	碗	小鉢	25	125	40	73	灰白	模様	染付	肥前	
48 9	B1505	陶器	碗	中碗	94	58	42	灰白	模様	灰釉	模様	内底で「御神字」。	
48 10	B1505	陶器	碗	中碗	100	51	40	灰白	模様	灰釉	長柄	模様刷毛、灰釉で高台の内外は各種で高台付付は斜めだ。休部位には少しの凹凸を造る。底部は凹部からみをもつて立ち上がり、底部直付で造る。高台付付は斜めだ。	
48 11	B1505	陶器	碗	小碗	68	42	34	浅黄	模様	灰釉	模様	内底へ花口文を模擬する。上縁	
48 12	B1505	陶器	皿	小皿	116	35	52	105	模様	模様	灰釉	内底へ花口文を模擬する。高台付付は斜めだ。高台付付は斜めだ。	
48 13	B1505	陶器	皿	小皿	123	31	62	灰白	模様	灰釉	模様	内底へ花口文を模擬する。高台付付は斜めだ。高台付付は斜めだ。	
48 14	B1505	陶器	鉢	深鉢	183	55	92	灰白	模様	路筋	模様	内底へ花口文を模擬する。内底へ花口文を模擬する。外底は斜めだ。休部位には少しの凹凸を造る。外底は斜めだ。内底へ花口文を模擬する。外底は斜めだ。	
48 15	B1505	陶器	皿	中皿	5	67	108	灰黄	模様	路筋	模様	内底へ花口文を模擬する。高台付付は斜めだ。	
48 16	B1505	陶器	瓶	小瓶	12	58	24	48	模様	模様	灰白	内底へ花口文を模擬する。高台付付は斜めだ。	
48 17	B1505	陶器	皿	右台	打吹足	88	24	44	58	灰白	模様	模様	内底へ花口文を模擬する。高台付付は斜めだ。
48 18	B1505	土器	土台	打吹足	116	26	65	87	模様	模様	灰白	内底へ花口文を模擬する。高台付付は斜めだ。	
48 19	B1505	土器	土台	たこころ	34	15	25	模	模様	模様	灰白	内底へ花口文を模擬する。高台付付は斜めだ。	
48 20	B1505	土器	土台	切跡	300			318	模	模様	模様	内底へ花口文を模擬する。高台付付は斜めだ。	
48 21	B1505	土器	土台	燒成布蓋	70	8		81	模	模様	模様	内底へ花口文を模擬する。高台付付は斜めだ。	
48 22	B1505	土器	土台	燒成布身	59	73	50	96	模	模様	模様	内底へ花口文を模擬する。高台付付は斜めだ。	
48 23	B1505	土器	土台	小皿	74	13	39	明	模様	模様	模様	内底へ花口文を模擬する。高台付付は斜めだ。	
49 1	B1523	磁器	碗	大碗	157	84	62	灰白	模様	染付	肥前	内底へ花口文を模擬する。内底へ花口文を模擬する。外底は斜めだ。休部位には少しの凹凸を造る。外底は斜めだ。内底へ花口文を模擬する。外底は斜めだ。	
49 2	B1523	磁器	碗	小碗	106	59	42	灰白	模様	染付	肥前	内底へ花口文を模擬する。	
49 3	B1523	磁器	碗	中碗	94	51	40	灰白	模様	染付	肥前	外：水引口文と柄子文。内：模様刷毛のコマキモ打吹足花。二重輪郭、草花文。高台付付は斜めだ。	
49 4	B1523	磁器	碗	小碗	98	50	36	105	模様	染付	肥前	内：模様刷毛のコマキモ打吹足花。外：模様文。	
49 5	B1523	磁器	碗	小碗	79	42	32	105	模様	染付	肥前	内：模様刷毛のコマキモ打吹足花。外：模様文。	
49 6	B1523	磁器	碗	仁波盛	72	52	40	105	模様	染付	肥前	内：模様刷毛のコマキモ打吹足花。外：模様文。	
49 7	B1523	磁器	碗	雷	133	103	87	105	模様	染付	肥前	内：模様刷毛のコマキモ打吹足花。外：模様文。	
49 8	B1523	磁器	鉢	看物	107	55	54	灰白	模様	染付	肥前	内：模様刷毛のコマキモ打吹足花。外：模様文。	
49 9	B1523	磁器	鉢	猪口	73	53	40	灰白	模様	染付	肥前	内：模様刷毛のコマキモ打吹足花。外：模様文。	
49 10	B1523	磁器	皿	沖洲利				48	模	模様	染付	肥前	内：模様刷毛のコマキモ打吹足花。外：模様文。
49 11	B1523	磁器	皿	赤毫	78	45	17	105	模	模様	染付	肥前	内：模様刷毛のコマキモ打吹足花。外：模様文。
49 12	B1523	陶器	皿	小皿	98	70	49	102	模	模様	模様	肥前	外：模様刷毛のコマキモ打吹足花。外：模様文。
49 13	B1523	陶器	皿	小皿	98	68	39	灰黄	模様	模様	模様	肥前	内：模様刷毛のコマキモ打吹足花。外：模様文。
49 14	B1523	陶器	皿	中皿	90	56	29	灰白	模様	模様	模様	肥前	内：模様刷毛のコマキモ打吹足花。外：模様文。
49 15	B1523	陶器	皿	小皿	86	49	34	灰黄	模様	模様	模様	肥前	内：模様刷毛のコマキモ打吹足花。外：模様文。
49 16	B1523	陶器	皿	小皿	108	77	53	灰	模様	模様	染付	肥前	内：模様刷毛のコマキモ打吹足花。外：模様文。
49 17	B1523	陶器	皿	中皿	100	69	50	灰黄	模様	模様	模様	外：本山文。	
49 18	B1523	陶器	皿	中皿	119	44	48	浅黄	模様	模様	模様	内：模様刷毛のコマキモ打吹足花。内面見込み部は白目刷毛。並む模様。内面全体を斜めだ。	
49 19	B1523	陶器	皿	中皿	104	66	44	108	模	模様	染付	肥前・美濃	内：模様刷毛のコマキモ打吹足花。内面見込み部は白目刷毛。並む模様。内面全体を斜めだ。
49 20	B1523	陶器	皿	中皿	207	54	79	灰白	模様	模様	染付	肥前・美濃	内：模様刷毛のコマキモ打吹足花。内面見込み部は白目刷毛。並む模様。内面全体を斜めだ。
49 21	B1523	陶器	皿	小皿	120	32	52	灰白	模	模様	染付	肥前・美濃	内：模様刷毛のコマキモ打吹足花。内面見込み部は白目刷毛。並む模様。内面全体を斜めだ。
49 22	B1523	陶器	皿	小皿	118	28	53	灰白	模	模様	染付	肥前・美濃	内：模様刷毛のコマキモ打吹足花。内面見込み部は白目刷毛。並む模様。内面全体を斜めだ。
49 23	B1523	陶器	皿	中皿	51	121	66	104	模	模	染付	肥前・美濃	内：模様刷毛のコマキモ打吹足花。内面見込み部は白目刷毛。並む模様。内面全体を斜めだ。
50 1	B1523	陶器	皿	方皿	81	58	102	162	模	模	染付	肥前・美濃	内：模様刷毛のコマキモ打吹足花。内面見込み部は白目刷毛。並む模様。内面全体を斜めだ。
50 2	B1523	陶器	皿	小皿	24	82	28	62	模	模	染付?	不明	内：模様刷毛のコマキモ打吹足花。内面見込み部は白目刷毛。並む模様。内面全体を斜めだ。

第14表 近世の陶器・土器観察表 (B区) (13)

規範番号 件名	出土 地点	材質	種類	沿標	法規 (mm)				胎土色調	成形	施華等	指定生産地	備考 (引・高・文様・技法等)
					a	b	c	d					
50 3 B1523 陶器 水井 瓢子 87 69.2 (155) 黄白 壁付 磁板、鋸切 有田 南明 1.玄葉文、上部は平頭で、輪郭より成れた斜面に張り出る。斜面内には脚跡を残すが、剥けられた部分の上部部分は内面が無難である。また、先にかかる底の部分に存在し、その内側には複数の縫合を示している。 底部に切欠き跡、底部アーチ状で2周。													
50 4 B1523 陶器 茶碗 灰白 灰白受皿 88 22 38 54 明治期 磁板 絞物(鉢形) 有田川 青カド、足と筒に残る、4周?													
50 5 B1523 土器 粉 385 223 320 に高い質 磁板 黄江戸・增田													
50 6 B1523 土器 粉 粉引緑 92 54 46 磁板 磁板 黄江戸・増田													
50 7 B1523 土器 粉 粉引緑 334 89.6 磁板 磁板 黄江戸・増田													
50 8 B1523 土器 粉 粉引緑 61 97 52 74 明治期 有作り 磁板 黄江戸・増田													
50 9 B1523 土器 粉 小鉢 61 13 32 磁板 磁板 黄江戸・増田													
50 10 B1523 土器 粉 小鉢 87 16 46 磁板 磁板 黄江戸・増田													
50 11 B1522 土器 粉 粉引緑 67.6 91 52 73 に高い質 有作り 磁板 磁板 黄江戸・増田													
50 12 B1622 土器 粉 粉引緑 58 103 50 73 に高い質 有作り 磁板 磁板 黄江戸・増田													
51 1 B1846 土器 粉 中鉢 199 39 124 磁板 磁板 黄江戸・増田													
51 2 B1846 土器 粉 中鉢 195 40 127 磁板 磁板 黄江戸・増田													
51 3 B1849 土器 粉 中鉢 197 36 118 磁板 磁板 黄江戸・増田													
51 4 B1849 土器 粉 中鉢 (109) 37 110 磁板 磁板 黄江戸・増田													
51 5 B1850 土器 粉 粉引緑 300 — — 74 有作り 磁板 磁板 黄江戸・増田													
51 6 B1979 土器 大鉢 347 144 276 磁板 有作り 磁板 黄江戸・増田													
51 7 R2073 陶器 瓶 有田窯 89 26 116 明灰黄 磁板 有田 南明 有田、深め、底部4cm前後。													
51 8 R2073 陶器 瓶 切跡 (134) — — 有田窯 有作り 磁板 黄江戸・増田													
52 1 B1963 陶器 粉 板木鉢 143 129 83 に高い質 磁板 从属 黄江戸・美濃													
52 2 B1963 陶器 粉 板木鉢 152 148 93 に高い質 磁板 从属 黄江戸・美濃													
52 3 B1963 陶器 瓶 小便 144 155 87 浅黄 磁板 有田 南明 有田とその底部を防ぎ難く、高台の3箇所に基底の切り込みがあり、口部は平手に切欠いてある。													
52 4 B1963 陶器 瓶 中便 164 178 103 疎透 磁板 有田 黄江戸・美濃													
52 5 B1963 陶器 瓶 小便 (138) (150) 114 疎透 磁板 有田 南明 有田とその底部を防ぎ難く、内面に難に張り出る。外側は直線的で2箇所に難に張り出る。外側は直線的で2箇所に難に張り出る。													
52 6 B1963 陶器 瓶 小便 134 146 101 に高い質 磁板 有田 南明 有田とその底部を防ぎ難く、内面に難に張り出る。外側は直線的で2箇所に難に張り出る。													
52 7 B1963 陶器 瓶 有明灰 0.033 22 (50) 灰黄 磁板 有田 南明 有田とその底部を防ぎ難く、内面に難に張り出る。外側は直線的で2箇所に難に張り出る。													
52 8 B1963 土器 瓶 粉引緑 144 155 87 明灰黄 磁板 有田 南明 有田とその底部を防ぎ難く、内面に難に張り出る。外側は直線的で2箇所に難に張り出る。													
52 9 B1963 土器 瓶 切跡 (218) — — 有田 南明 有田とその底部を防ぎ難く、内面に難に張り出る。外側は直線的で2箇所に難に張り出る。													
52 10 B1965 土器 瓶 粉引緑 66 82 51 77 有作り 磁板 从属 黄江戸・増田													
52 11 R2076 陶器 粉 小鉢 124 35 47 黄白 磁板 有田 南明 内・外に難に張り出る。足元に張り出る。口部に難に張り出る。外・内・外に難に張り出る。													
52 12 R2134 陶器 瓶 小便 63.8 38 (26) 黄白 磁板 有田 南明 有田とその底部を防ぎ難く、内面に難に張り出る。外側は直線的で2箇所に難に張り出る。													
52 13 R2181 陶器 瓶 小便 101 51 39 黄白 磁板 有田 南明 有田とその底部を防ぎ難く、内面に難に張り出る。外側は直線的で2箇所に難に張り出る。													
52 14 E2181 陶器 瓶 中便 69 47 34 黄白 磁板 有田 南明 有田とその底部を防ぎ難く、内面に難に張り出る。外側は直線的で2箇所に難に張り出る。													
52 15 R2181 陶器 瓶 中便 (129) 70 480 灰 磁板 有田 南明 有田とその底部を防ぎ難く、内面に難に張り出る。外側は直線的で2箇所に難に張り出る。													
53 1 E2086 陶器 瓶 中便 105 59 42 黄白 磁板 有田 南明 内・外・内・外に難に張り出る。足元に張り出る。口部に難に張り出る。外・内・外に難に張り出る。													
53 2 E2086 陶器 瓶 中便 102 61 38 黄白 磁板 有田 南明 有田とその底部を防ぎ難く、内面に難に張り出る。外側は直線的で2箇所に難に張り出る。													
53 3 E2086 陶器 瓶 中便 102 58 44 黄白 磁板 有田 南明 有田とその底部を防ぎ難く、内面に難に張り出る。外側は直線的で2箇所に難に張り出る。													
53 4 E2086 陶器 瓶 中便 102 61 44 黄白 磁板 有田 南明 有田とその底部を防ぎ難く、内面に難に張り出る。外・内・外に難に張り出る。													
53 5 E2086 陶器 瓶 小便 65.8 50 31 黄白 磁板 有田 南明 有田とその底部を防ぎ難く、内面に難に張り出る。外・内・外に難に張り出る。													
53 6 E2086 陶器 瓶 小便 (76) 47 (32) 黄白 磁板 有田 南明 有田とその底部を防ぎ難く、内面に難に張り出る。外・内・外に難に張り出る。													
53 7 E2086 陶器 瓶 小便 65.8 34 30 黄白 磁板 有田 南明 有田とその底部を防ぎ難く、内面に難に張り出る。外・内・外に難に張り出る。													
53 8 E2086 陶器 瓶 各鉢 157 95 67 黄白 磁板 有田 南明 有田とその底部を防ぎ難く、内面に難に張り出る。外・内・外に難に張り出る。													
53 9 E2086 陶器 瓶 中便 108 73 45 浅黄 磁板 白泥、質、透 明 有田 南明 有田とその底部を防ぎ難く、内面に難に張り出る。													
53 10 E2086 陶器 瓶 中便 (103) 69 43 黄白 磁板 天目焼 (鉢形) 黄江戸・美濃 有田とその底部を防ぎ難く、内面に難に張り出る。													
53 11 E2086 陶器 瓶 中便 102 57 39 浅黄 磁板 白泥、質、透 明 有田 南明 有田とその底部を防ぎ難く、内面に難に張り出る。													
53 12 E2086 陶器 瓶 中便 92 53 33 黄白 磁板 天目焼 (鉢形) 黄江戸・美濃 有田とその底部を防ぎ難く、内面に難に張り出る。													
53 13 E2086 陶器 瓶 小鉢 105 59 42 黄 磁板 窯削開鑿、縫 線 黄江戸・美濃 有田とその底部を防ぎ難く、内面に難に張り出る。外側は直線的で2箇所に難に張り出る。													
53 14 E2086 陶器 瓶 小鉢 126 33 46 黄白 磁板 青磁錆、透 明 有田 内・青磁錆を施し、足元に張り出る。口部に難に張り出る。外・内・外に難に張り出る。													
53 15 E2086 陶器 瓶 小鉢 122 24 62 灰 磁板 从属 黄江戸・美濃 有田とその底部を防ぎ難く、内面に難に張り出る。													
53 16 E2086 陶器 瓶 両吹 (50) 41 48 に高い質 磁板 黄、質 有田 南明 有田とその底部を防ぎ難く、内面に難に張り出る。外側は直線的で2箇所に難に張り出る。													
53 17 E2086 陶器 瓶 小鉢 46 31 26 黄白 磁板 有田 南明 有田とその底部を防ぎ難く、内面に難に張り出る。外側は直線的で2箇所に難に張り出る。													
53 18 E2086 陶器 瓶 球体 247 136 136 黄白 磁板 有田 南明 有田とその底部を防ぎ難く、内面に難に張り出る。外側は直線的で2箇所に難に張り出る。													
53 19 E2086 陶器 瓶 大鉢 (100) 260 に高い質 磁板 磁板(小鉢、灰泥) 丹波 南明 磁みは蓮花(巻)状で、2層は押し、3層は花折。茎部下面はハサクズリにより籠型文様がみられるが、中央に6枚の花折が配置される。													
53 20 E2086 陶器 瓶 瓶 19 26 磁板 有田 南明													

第15表 近世の陶磁器・土器観察表（B区）(14)

第16表 近世の陶器・土器観察表（B区）(15)

測量番号	出土 地名	材質	種類	沿標	法規 (mm)				胎土色調	成形	輪葉等	推定生産場	備考 (印・路・文様・技法等)
					x	y	z	d					
57	5 R2292	磁器	瓶	大瓶	95	30			灰白	模様	染付	肥前	内: 花口、直線文。外: 雷彌摩。底み足は斜めだ。 内: 口込み直線文。外: 雷彌摩。(模様は底部で一部 削除。外: 瓶口(茎)と瓶(柱)で化粧。一塗糊版。高台一 塗糊版。)
57	6 R2292	陶器	瓶	大瓶	120	79	58		灰白	模様	灰釉、透	肥前・美濃	内: 口込み直線文。外: 雷彌摩。(模様は底部で一部 削除。外: 瓶口(茎)と瓶(柱)で化粧。一塗糊版。高台一 塗糊版。)
57	7 R2292	陶器	瓶	小瓶	103	77	48		灰白	模様	灰釉(黒墨)	肥前・美濃	高台で窯跡内全体を施糊版する。外: 体部に直角石を設 らす。底部は選択して糊版する。
57	8 R2292	陶器	瓶	小瓶	115	24	53		にぶい青白	模様	灰釉	肥前・美濃	平底で窯跡内底面は糊版を施す。内: 口込みに選択糊版あり。 内: 口込み青白釉。外: 瓶口(茎)と瓶(柱)で化粧。一塗糊版。高台一 塗糊版(底)。(底)口縁部を玉筋状に切つくる。
57	9 R2292	陶器	瓶	小瓶	103	77	48		灰	模様	灰釉、透明釉	肥前系	外: 模様版から底部にかけて絵柄ベタケズリ。釉を濁け 出せる。底部無糊版。
57	10 R2292	陶器	瓶	小瓶	36	192	64		灰白	模様	灰釉	肥前	近郊で小口は糊版を施す。底部は焼成不良。底部糊版は4種類。種類によって 窯跡内底部焼成前穿孔。瓶口は焼成良好。底部小口は焼成不良。 底部糊版は4種類。種類によって
57	11 R2292	土器	鉢	大鉢24	104	77	68		灰黄	模様	無地	江戸在地	内: 焼成不良。外: 有田焼(青花)。体部は沈糊・スタンプ文。 外: 口込み下半周付帯。
57	12 R2292	土器	鉢	鉢24	206	204	145	240	橙	模様	無地	江戸在地	上輪、二足。外: 有田焼(青花)。体部は沈糊・スタンプ文。 内: 口込み下半周付帯。
57	13 R2312	土器	鍋	初頭	310				橙	模様	無地	江戸在地	無地。深め。器底径 2cm の形状。
58	1 R2290	磁器	瓶	大瓶	122	64	47		灰白	模様	染付	肥前	内: 口込み文様。外: 朝日文。
58	2 R2290	磁器	瓶	中瓶	108	56	41		灰白	模様	染付	肥前	古台内「履」字。高台で窯跡あり。
58	3 R2290	磁器	瓶	中瓶	692	50	39		灰白	模様	染付	肥前	外: 有田文。
58	4 R2290	磁器	瓶	大瓶	125	75	43		灰白	模様	青花	中国	内: 有田文。右: 里: 体部花卉文。同款文。外: 有田文。 外: 口込み一塗糊版。高台一塗糊版。
58	5 R2290	磁器	瓶	小瓶	73	45	29		灰白	模様	染付	肥前	内: 有田文。
58	6 R2290	磁器	瓶	小瓶	77	40	27		灰白	模様	染付	肥前	内: 口込み文様。
58	7 R2290	磁器	瓶	小瓶	74	36	27		灰白	模様	染付	肥前	内: 口込み文様。
58	8 R2290	磁器	瓶	小瓶	85	33	35		灰白	模様	染付	肥前	古台内「履」字。
58	9 R2290	磁器	瓶	虹吸管	40	20	17		灰白	模様	染付	肥前	内: 有田文。
58	10 R2290	磁器	瓶	弧形25	893	75	40		灰白	模様	染付	肥前	近郊で小口は糊版を施す。底部は焼成不良。底部糊版は4種類。種類によって 窯跡内底部焼成前穿孔。瓶口は焼成良好。底部小口は焼成不良。 底部糊版は4種類。種類によって
58	11 R2290	磁器	瓶	大瓶	153	69	65		灰白	模様	青花	中国	地然。内: 口込み文様。外: 雷彌摩。焦げた口縁部陶膜に丸 周向其文様の差違。外: 青花。地盤。丁目輪底一塗糊版。高 台一塗糊版。高台内一塗糊版。
58	12 R2290	磁器	瓶	大瓶	139	45	60		灰白	模様	上輪付	肥前	内: 有田文。
58	13 R2290	磁器	瓶	中瓶	230	64	80		灰白	模様	染付	肥前	内: 口込み内底部。
58	14 R2290	磁器	瓶	五寸瓶	149	25	84		灰白	模様	染付	肥前	内: 口込みに文様。外: 朝日文。
58	15 R2290	磁器	鉢	造物	157				灰白	模様	上輪付	不明	古台内「履」字。
58	16 R2290	磁器	鉢	造物	105	(70)			灰白	模様	上輪付	不明	古台内「履」字。
59	1 R2290	磁器	鉢	中瓶	203	51	96		灰白	模様	染付	肥前	内: 有田文。
59	2 R2290	磁器	鉢	中瓶	192	32	94		灰白	模様	染付	肥前	内: 有田文。外: 有田文。
59	3 R2290	磁器	鉢	中瓶	146	36	86		灰白	模様	染付	肥前	内: 口込み板 / 口縁前部。前部破り有。
59	4 R2290	磁器	鉢	中瓶	135	36	86		灰白	模様	染付	肥前	内: 口込み板 / 口縁前部。前部破り有。
59	5 R2290	磁器	鉢	中瓶	233	93	95		灰白	模様	染付	肥前	内: 有田文。
59	6 R2290	磁器	鉢	小鉢	68	56	49	103	灰白	模様	染付	肥前	内: 有田文。
59	7 R2290	磁器	鉢	小鉢	70	144	65	136	灰白	模様	染付	不明	内: 有田文。
59	8 R2290	土器	鉢	大鉢24					帶	模様	無地	尸戸在地	内: 有田文。
60	1 R2290	磁器	蓋	圓形容器	53	26			灰白	模様	染付	肥前	内: 有田文。
60	2 R2290	磁器	蓋	圓形容器	70	32			灰白	模様	染付	肥前	内: 有田文。
60	3 R2290	磁器	蓋	圓形容器	94	43			灰白	模様	染付	不明	内: 有田文。
60	4 R2290	磁器	蓋	圓形容器	141	030			灰白	模様	染付	不明	内: 有田文。
60	5 R2290	陶器	瓶	大瓶	132		48		灰白	模様	染付	不明	内: 有田文。
60	6 R2290	陶器	瓶	大瓶	442	168	170		灰	模様	染付	肥前	内: 有田文。
60	7 R2290	陶器	瓶	近生		259			灰	模様	染付	肥前	内: 有田文。
60	8 R2290	陶器	瓶	中瓶	29	190	88		灰	模様	染付	肥前	内: 有田文。
60	9 R2290	土器	鉢	小鉢	128	23	76		灰白	模様	染付	江戸在地	内: 有田文。
60	10 R2290	土器	鉢	小鉢	109	23	68		灰白	模様	染付	江戸在地	内: 有田文。
60	11 R2290	土器	鉢	小鉢	82	19	54		灰白	模様	染付	江戸在地	内: 有田文。
61	1 R2290	陶器	瓶	中瓶	30	219	100	369	灰白	模様	灰釉	不明	内: 有田文。
61	2 R2290	陶器	瓶	小瓶	19	48			灰白	模様	灰釉	不明	内: 有田文。
61	3 R2290	陶器	瓶	大瓶	332	256	213		灰白	模様	青花	肥前・美濃?	底部付近に刻印「イセ」。
61	4 R2305	磁器	瓶	中瓶	103	63	90		灰白	模様	上輪付	肥前	内: 有田文。外: 磁器。布で覆り。墨: 墨は黒で陶膜。? 伏せ。内: 有田文。
61	5 R2305	磁器	瓶	小瓶	98	56	44		灰白	模様	染付	肥前	内: ハニコニア山形模。丸に墨。高台一塗糊版。高台内一塗糊版。高台内「履」字。
61	6 R2305	磁器	瓶	中瓶	96	57	40		灰白	模様	染付	肥前	内: 古台系。外: 有田文。花之草。古台内一塗糊版。高台内一塗糊版。
61	7 R2305	磁器	瓶	中瓶	98	49	36		灰白	模様	染付	肥前	内: 古台系。外: 有田文。
61	8 R2305	磁器	瓶	小瓶	82	48	32		灰白	模様	染付	肥前	内: 古ニッケイ判藤文。
61	9 R2305	磁器	瓶	小瓶	82	42	38		灰白	模様	白墨	肥前	内: 古ニッケイ判藤文。
61	10 R2305	磁器	瓶	小瓶	65	33	24		灰白	模様	染付	肥前	内: 有田文。
61	11 R2305	磁器	瓶	小瓶	65	25	30		灰白	模様	白墨	肥前	内: 有田文。
61	12 R2305	磁器	瓶	小瓶	136	33	78		灰白	模様	染付	肥前	内: 古台系折枝葉。一塗糊版。口縁部押さえ。外: 有田文。 内: 古台系。外: 有田文。花之草。古台内一塗糊版。高台内一塗糊版。口縁部「履」字。
61	13 R2305	磁器	瓶	小瓶	106	26	62		灰白	模様	染付	肥前	内: 古台系。外: 有田文。
61	14 R2305	陶器	鉢	造物	68	49	38		灰白	模様	白墨、灰墨	肥前	外: 有田文。内: 有田文。
61	15 R2305	陶器	瓶	小瓶		36	64		灰白	模様	染付	肥前	内: 古台系。外: 有田文。
61	16 R2305	陶器	瓶	中瓶	100	66	50		灰白	模様	灰釉、硝眼	肥前・美濃	内: 古台系。外: 有田文。
61	17 R2305	陶器	瓶	中瓶	107	65	52		灰白	模様	灰釉、硝眼	肥前・美濃	内: 古台系。外: 有田文。
61	18 R2305	陶器	瓶	中瓶	93	61	45		灰白	模様	灰釉、灰墨	肥前・美濃	内: 古台系。外: 有田文。
61	19 R2305	陶器	瓶	中瓶	694	53	140		灰白	模様	透明釉	不明	内: 古台系。外: 有田文。

第17表 近世の陶器・土器観察表（B区）(16)

規範番号	出土 地点	材質	種類	形態	法規 (mm)				胎土色調	成形	種類等	性別生産場	備考 (田・木・文様・技法等)
					a	b	c	d					
61 1 20	B2305	陶器	碗	中綱	101	65	65		灰白	織輪	鉢形(天目縫)	瀬戸・美濃	瓦口縫、割り出し直角。
61 21	B2305	陶器	碗	中綱	93	57	66		灰白	織輪	鉢形	辰・昌南	外：輪文。高台とその周辺を斜面に透明白壁を施す。
61 22	B2305	陶器	碗	中綱	95	55	34		灰白	織輪	鉢形、上付付	辰・昌南	高台と斜面に施す。輪文及び預留文の上付け(彩色を有する)を施す。
61 23	B2305	陶器	碗	中綱	66	37	32		灰白	織輪	辰・昌南	瀬戸・美濃	高台と斜面に施す。
62 1	B2305	陶器	皿	小皿	125	2	74		灰白	織輪	鉢形	瀬戸・美濃	付け直し、内・見込みに輪文を施す。
62 2	B2305	陶器	鉢	中鉢	141	37	63		橙	型壓(こし)	真・辰南、灰 錆	瀬戸・美濃	アラベスクによる型壓なし。表面の裏面は白磁面あり。底 部に輪文及び無輪文。内部に輪文と直角に施す。ノゾムテ サを有す。
62 3	B2305	陶器	鉢	中鉢	157	64	55		に伝い小鉢	織輪	白磁	瀬戸	内：辰・昌南。外：筒形を施す。口縁で各部に白 磁を施す。透明白壁を施す。
62 4	B2305	陶器	瓶	丸底瓶	115	144	64		灰白	織輪・貼付	鉢形(黒絵)	瀬戸・美濃	底脚付。底脚
62 5	B2305	陶器	瓶	輪動付	31	66	44		灰白	織輪	辰南、灰錆	瀬戸・美濃	底脚付。底脚部
62 6	B2305	陶器	水注	中水注	49	107	78		灰白	織輪・貼付	鉢形(唐草) うらわ地	瀬戸・美濃	外：輪文を施す。内部は白磁面あり。底 部に輪文及び無輪文。内部に輪文を施す。内側で7字 を有す。
62 7	B2305	土器	鍋	切跡	(293)				橙	刮削(切跡)	江戸・信濃	加賀・深谷、近畿高4cm前後。	高台より出し。高台を引き締め。口縁部を施す。
62 8	B2305	土器	鍋	切跡	352	202	236		橙	刮削(切跡)	江戸・信濃	近畿高5cm前後。	口縁から底部にかけて高台を施す。
62 9	B2305	土器	鍋	燒接合身	83	94	51	80	に込・明	刮削(切跡)	近畿	近畿高54cm前後。	高台より出し。内・見込みに輪文を施す。
62 10	B2305	土器	鍋	小鉢	(56)	11	00		明	焼接合	江戸・信濃	近畿高4cm前後。	高台より出し。内・見込みに輪文を施す。
62 11	B2305	土器	鍋	小鉢	98	20	50		灰白	焼接合	江戸・信濃	近畿高4cm前後。	高台より出し。内・見込みに輪文を施す。
62 12	B2305	土器	鍋	小鉢	118	19	61		明	焼接合	江戸・信濃	近畿高4cm前後。	高台より出し。内・見込みに輪文を施す。
63 1	B2311	陶器	碗	中綱	(96)	65	52		灰白	織輪	鉢形、灰錆	瀬戸・美濃	内：辰・昌南。外：辰南。内・見込みに輪文を施す。
63 2	B2311	陶器	碗	中綱	(05)	68	39		に伝い小鉢	織輪	鉢形	不明	口縁部及び底脚部に輪文を施す。
63 3	B2311	陶器	皿	小皿	(16)	29	(65)		灰白	織輪	深鉢形(鉢)、灰	瀬戸・美濃	内：辰・昌南。外：辰南。内・見込みに輪文を施す。
63 4	B2311	陶器	鉢	楕円	350	150	140		浅蒸器	織輪	口縁	瀬戸・美濃	内：辰・昌南。外：辰南。内・見込みに輪文を施す。
63 5	B2311	陶器	水注	中水注	42	109	69	338	に伝い供盤	織輪(油透)	瀬戸・美濃	高台の直通窓あり。口縁部を施す。	
63 6	B2311	土器	鍋	切跡	244				灰白	無	江戸(信濃)	内：辰・昌南。外：辰南。内・見込みに輪文を施す。	
63 7	B2311	土器	鍋	切跡	308	(48)			灰白	無	江戸(信濃)	内：辰・昌南。外：辰南。内・見込みに輪文を施す。	
63 8	B2311	土器	鍋	切跡	73	27	21	48	灰白	無	江戸(信濃)	内：辰・昌南。外：辰南。内・見込みに輪文を施す。	
63 9	B2311	土器	鍋	切跡	84	1.6	4.3		橙	無	江戸(信濃)	内：辰・昌南。外：辰南。内・見込みに輪文を施す。	
63 10	B2314	土器	鍋	切跡	505				橙	無	江戸(信濃)	内：辰・昌南。外：辰南。内・見込みに輪文を施す。	
63 11	B2314	土器	鍋	切跡	455				橙	無	江戸(信濃)	内：辰・昌南。外：辰南。内・見込みに輪文を施す。	
63 12	B2324	土器	鍋	切跡	375				橙	無	江戸(信濃)	内：辰・昌南。外：辰南。内・見込みに輪文を施す。	
63 13	B2346	土器	鍋	切跡	88	66	45	(37)	灰白	無	江戸(信濃)	内：辰・昌南。外：辰・豊尾。	
63 14	B2347	土器	鍋	中	93?	220	59	74	灰白	織輪	付合	瀬戸	内：辰。
64 1	B2331	磁器	碗	中綱	104	56	62		灰白	織輪	付合	瀬戸	内：足込み水鳥?、一葉團扇(口縁部)、束腰團扇。外：赤絵 草花文、素白地。高台と斜面を施す。
64 2	B2331	磁器	碗	中綱	91	45	52		灰白	織輪	付合	瀬戸・美濃?	外：江戸(瀬戸)青花、体部(織輪編)、「悲鶯図」の文字、高台 と斜面を施す。
64 3	B2331	磁器	皿	小皿	(106)	26	69		灰白	型打ち	白磁	内：足込み水鳥と竹葉文。一葉團扇、頭透。外：伊勢文、 高台と斜面を施す。	
64 4	B2331	磁器	皿	小皿	129	31	76		灰白	型打ち	白磁	内：足込み。高台と斜面を施す。	
64 5	B2331	磁器	蓋	圓蓋	92	25		35	灰白	織輪	付合	瀬戸	内：足込み。
64 6	B2331	陶器	碗	大碗	124	53	44		灰白	織輪	灰錆	瀬戸・美濃	内：足込み水鳥?、一葉團扇(口縁部)、束腰團扇。外：赤絵 文、素白地。高台と斜面を施す。
64 7	B2331	陶器	碗	大碗	(129)	54	40		灰白	織輪	灰錆	瀬戸・美濃	内：足込み水鳥と竹葉文。一葉團扇、頭透。外：伊勢文、 高台と斜面を施す。
64 8	B2331	陶器	碗	大碗	(132)	52	(52)		灰白	織輪	灰錆	瀬戸・美濃	内：足込み水鳥と竹葉文。一葉團扇、頭透。外：伊勢文、 高台と斜面を施す。
64 9	B2331	陶器	皿	小皿	97	32	32		灰白	織輪	灰錆	瀬戸・美濃	内：足込み水鳥と竹葉文。一葉團扇、頭透。外：伊勢文、 高台と斜面を施す。
64 10	B2331	陶器	皿	口縁	104	19	46		灰白	織輪	灰錆	瀬戸	内：足込み水鳥と竹葉文。一葉團扇、頭透。外：伊勢文、 高台と斜面を施す。
64 11	B2331	陶器	水注	土瓶	94	114	80	179	灰白	織輪・貼付	灰錆	瀬戸・美濃	内：足込み水鳥と竹葉文。一葉團扇、頭透。外：伊勢文、 高台と斜面を施す。
64 12	B2331	陶器	瓶	行平					網透期	灰錆	網透	手標	内：足込み。
64 13	B2331	土器	鍋	切跡					網透	刮削(切跡)	江戸在庫	深谷、近畿高2cm前後。	網透期。体部に直通窓あり。
64 14	B2331	土器	鍋	燒接合身	79	15		78	網透	刮削	近畿	近畿	網透期。体部に直通窓あり。
64 15	B2331	土器	鍋	小鉢	75	19	38		網透	織輪	江戸在庫	内：足込み水鳥と竹葉文。一葉團扇、頭透。外：伊勢文、 高台と斜面を施す。	
64 16	B2351	陶器	碗	大碗	147	69	50		橙	織輪	白磁、透明白	手標	内：足込み水鳥と竹葉文。一葉團扇、頭透。外：伊勢文、 高台と斜面を施す。
64 17	B2351	磁器	皿	小皿	100	2.3	57		灰白	織輪	青磁	肥前	内：足込み3条の波紋が混る。
64 18	B2351	磁器	皿	中綱	91	60	39		灰白	織輪	灰錆	手標	内：足込み3条の波紋が混る。
64 19	B2351	磁器	皿	中綱	96	55	42		灰白	織輪	灰錆	手標	内：足込み3条の波紋が混る。
64 20	B2351	磁器	皿	青磁	91	46	60		灰白	織輪	灰錆	手標	内：足込み3条の波紋が混る。
64 21	B2351	磁器	皿	青磁	58	91	53	75	灰白	刮削	近畿	内：足込み3条の波紋が混る。	
64 22	B2351	磁器	皿	青磁	316			303	灰白	刮削	江戸在庫	内：足込み3条の波紋が混る。	
64 23	B2351	磁器	皿	小皿	99	23	45		網透	織輪	手標	内：足込み3条の波紋が混る。	
65 1	B2366	磁器	碗	中綱	109	67	40		灰白	織輪	白磁、土器	手標	内：足込み水鳥を有する。
65 2	B2368	磁器	皿	小皿	(126)	27	(54)		灰白	型打ち	柴付、灰	便前	内：足込み水鳥を有する。
65 3	B2377	磁器	皿	長角沿	(37)	44			灰白?	織輪	肥前	内：足込み水鳥を有する。	
65 4	B2382	磁器	皿	中綱	107	59	45		灰白	織輪	柴付	内：足・青持ち波、瀬戸。	

第18表 近世の陶磁器・土器観察表（B区）(17)

規範番号	出土 場所	材質	種類	直標	法規 (mm)				出土色調	成形	種類等	推定生産地	備考 (田・真・瓦・織・目法等)
					a	b	c	d					
65. 5	R2382	陶器	碗	中幅	97	35	42		灰白	織物	束付	瀬戸	外：コンニャク田利花文。里：
65. 6	R2382	陶器	碗	小幅	83.8	47	37		灰白	織物	束付	瀬戸	
65. 7	R2382	陶器	碗	小幅	85.9	44	39.9		灰白	織物	束付	高台町付近	内：高台町付近の花文。外：洪施。高台町付近に研付有。
65. 8	R2382	陶器	碗	小幅	71.0	40	23		灰白	織物	束付	瀬戸	内：高台町付近の花文。外：洪施。高台町付近に研付有。
65. 9	R2382	陶器	碗	小幅	108	69	42		灰白	織物	束付	瀬戸	内：洪施。外：青釉足を施す。取り出し高台。
65. 10	R2382	陶器	碗	香炉	69.8	44			浅黄	織物	束付	瀬戸・美濃	内：江戸風の織物。輪郭は柔らかく、外：底面を隠す施す。体部は半円に研磨的な仕上げが2面ある。口縁部は内側に肥厚する。
65. 11	R2382	陶器	瓶	瓶身付	69.3	44	95		灰白	織物	束付	高台町付近	高台町付近は内・外側に研付取り。付付有。
65. 12	R2382	陶器	皿	(121) (96)	x	31	50		灰白	塑形	透彫り、波紋、京・俊業	（構・内・外縁と右肩部の水立、左裏文を鋸く。）	
65. 13	R2382	土器	釜	大舟形	277				灰白	織物	束付	江戸在地	縞み矢張。
65. 14	R2382	陶器	碗	中幅	110	62	40		灰白	織物	束付	瀬戸	
65. 15	R2382	陶器	碗	中幅	110	62	43		灰白	織物	束付	瀬戸	
65. 16	R2382	陶器	碗	小幅	97	55	40		灰白	織物	束付	瀬戸	外：コンニャク田利花の花文様に唐草を手描きした花唐草文。一柄施。高台・赤織物。高台内には「花」既。
65. 17	R2382	陶器	碗	小幅	51	38	20		灰白	織物	束付	瀬戸	内面：文織し。外面：花文・波紋。
65. 18	R2382	陶器	蓋付鍋	46	23	38	38	灰白	織物	束付	瀬戸	外：高台内。内・外縁と右肩部の水立、左裏文を鋸く。	
65. 19	R2382	陶器	碗	中幅	108	62	38		灰白	織物	眞・紅斑・透	京・俊業	外：外縁に内側と外縁に輪郭を施す。両口の内側を飾り高台。
65. 20	R2382	陶器	皿	小幅	129	36	64		灰白	手びねり	灰白	瀬戸・美濃	高台に割れ有して、高台外縁と、内面はアズリ。高台内は青巾模様。内縁部は内側に研削し、5箇所を削りせずして丸く切る。高台内を完全に施す。
65. 21	B2382	陶器	蓋付器	48	30		8.2	灰白	織物	束付	不明		
65. 22	B2382	土器	釜	小幅	109	21	64		褐	織物	束付	江戸在地	瓦井口付近と同様、口縁部を研磨する。
65. 23	B2382	土器	釜	小幅	106	24	54		褐	織物	束付	江戸在地	瓦井口付近と同様、口縁部を研磨する。
66. 1	R2381	陶器	碗	中幅	114	64	44		灰白	織物	束付	束前	外：高台に内側と外縁に輪郭を施す。両口の内側を飾り高台。
66. 2	R2381	陶器	碗	中幅	90	51	38		灰白	織物	束付	束前	外：眞・紅・一柄施。高台・赤織物。高台内・一柄施。
66. 3	R2381	陶器	碗	中幅	72	52	31		灰白	織物	束付	瀬戸	高台内は花無施す。高台は外側を施す。
66. 4	R2381	陶器	碗	中幅	71	54	36		灰白	織物	束付	瀬戸	高台内は花無施す。高台は外側を施す。
66. 5	R2381	陶器	碗	薄子の杯	66	31	28		灰白	織物	束付	瀬戸	外：水立文、眞・青金・早翠文・一柄施。高台・二柄施。高台内は「花」既。
66. 6	R2381	陶器	碗	小幅	84	48	34		灰白	織物	口上起付	瀬戸	外：眞文、瓦文。内縁部で輪郭、赤で埋り、茎は黒で輪郭、眞縁で埋り。
66. 7	R2381	陶器	碗	弘法形	81	60	46		灰白	織物	束付	瀬戸	外：眞文・瓦文・高輪文・透彫。高台・赤織物。内縁部で輪郭を施す。底ふちを口縁で隠す。底ふち縁部を隠す。外：瓦井口付近と同様、口縁部を研磨する。
66. 8	R2381	陶器	皿	小幅	124	36	42		灰白	織物	束付	瀬戸	内：瓦井口付近と同様、口縁部を研磨する。
66. 9	R2381	陶器	皿	大皿	267	48	152		灰白	織物	束付	瀬戸	内：瓦井口付近と同様、口縁部を研磨する。
66. 10	R2381	陶器	蓋		66	28			灰白	織物	束付	瀬戸	外：瓦井口付近と同様、口縁部を研磨する。
66. 11	R2381	陶器	鉢		45	19	18		灰白	塑形	束付	瀬戸	二二ヨット、内面に文字。
66. 12	R2381	陶器	碗	中幅	104	70	54		灰白	織物	束付	瀬戸	内面及び外縁下部に研削を施す。
66. 13	R2381	陶器	皿	変形皿	(108) (24)	53			灰白	塑形	口7.2	千明	板・透彫
66. 14	R2381	陶器	沐	食器入れ	117	45	122		灰白	操作	口7.2	千明	板・透彫
66. 15	R2381	陶器	蓋	小箱	12	36	39	39	灰白	手びねり	詰合式 (透彫)	瀬戸・美濃	瓦井口上面及び縁部に施す。
66. 16	R2381	土器	釜	4505	(289)				褐	織物	束付	束前	深め、透彫。束前高4cm付近。内縁部を縦状。
66. 17	R2381	土器	釜	直造掛巻	73	21	71		褐	塑形	束付	瀬戸	二二ヨット、内面に文字。
67. 1	R2384	陶器	碗	小幅	82	53	38		灰白	織物	束付	瀬戸	内面及び外縁下部に研削を施す。
67. 2	R2384	陶器	碗	小幅	32	52	54		灰白	塑形	口上起付	瀬戸	内：瓦井口付近と同様、口縁部を研磨する。
67. 3	R2384	陶器	皿	小幅	114	25	65		灰白	織物	口上起付	瀬戸・美濃	内縁部で輪郭を施す。平行して、外縁部に付子口10×3.
67. 4	R2384	土器	皿	小幅	112	25	74		灰白	織物	束付	瀬戸	外：体部下から内縁部までヘタリを出す。
67. 5	R2384	土器	皿	小幅	66	11	40		灰白	織物	束付	瀬戸	底付口付近、研磨を施す。
67. 6	R2387	陶器	沐	中鉢	265	81	104	に△小鉢	織物	凸輪	束前	内：透彫。外：内・外縁に透彫を施す。内縁部付近に透彫付子口。	
67. 7	R2387	陶器	沐	中鉢	(218)	65			灰白	塑形	口7.2	千明	外：透彫。
67. 8	R2387	陶器	沐	中鉢	100	19	58		灰白	塑形	口7.2	千明	外：透彫。
67. 9	R2387	陶器	皿	小幅	75	15	50		褐	織物	束付	瀬戸	内・外縁に透彫を施す。
67. 10	R2389	陶器	碗	中幅	109	75	50		灰白	織物	束付	不明	外：体部内に直口に直す。透彫。
67. 11	R2389	陶器	碗	切込	280				明黄	操作	口7.2	千明	透彫。深め、透彫高4cm付近。内縁部を縦状。
67. 12	R2392	陶器	碗	中幅	104	53	44		灰白	織物	束付	瀬戸	外：花文、眞文、一柄施。高台・赤織物。束付の取扱手。
67. 13	R2392	陶器	碗	小幅	80	40	35		灰白	織物	口上起付	瀬戸	外：花文、眞文・透彫。内：透彫。
67. 14	R2392	陶器	碗	中幅	108	50	36		灰白	織物	束付	瀬戸	内：透彫及びその内側を透彫。外：透彫。
67. 15	R2392	土器	皿	切込	(270)				明黄	操作	束付	瀬戸在地	黒目、深め、透彫高4cm付近。
68. 1	R2394	陶器	碗	中幅	97	56	39		灰白	織物	束付	瀬戸	内・外・コラントウ田利花文。外・コンニャク田利花文。
68. 2	R2397	陶器	碗	中幅	104	74	49	に△小鉢	織物	吹き抜	瀬戸・美濃	菊花文の堅型で、梨型でちむる。口縁部はハラで花柱付に切る。外・内：吹き抜より底部から内縁部へ透彫部へ分枝状の削り込み。外・内：吹き抜より底部から内縁部へ透彫部へ分枝状の削り込み。付子口付。	
68. 3	R2397	陶器	註	五寸鉢	138	41	69	口上開付	瀬戸・美濃	吹き抜	束付	瀬戸	内：吹き抜。外：透彫。
68. 4	R2399	陶器	碗	中幅	(110)	62	42		灰白	織物	束付	瀬戸	内：透彫。外：透彫。
68. 5	R2399	陶器	皿	五寸寸	(140)	36	82		灰白	織物	束付	瀬戸	内：透彫。外：透彫。
68. 6	R2399	陶器	註	小鉢	77	51	30		灰白	塑形	束付	瀬戸	内：透彫文。外：透彫。
68. 7	R2399	土器	註	切込	(258)				明黄	操作	束付	瀬戸在地	透彫。深め、透彫高4cm付近。
68. 8	R2399	土器	註	切込	(294)				明黄	操作	束付	瀬戸在地	透彫。深め、透彫高4cm付近。内縁部を縦状。
68. 9	R2480	陶器	碗	中幅	100	56	40		灰白	織物	束付	瀬戸	内：透彫文。外：透彫。

第19表 近世の陶磁器・土器観察表（B区）(18)

調査番号	出土	材質	種類	寸幅	法規 (mm)				胎土色調	成形	施華等	推定生産地	著者 (印・萬・文輝・我法等)
					a	b	c	d					
68 10 B2480 磁器 陶 中瓶 98 53 42	灰口	磁器	染付	明治	内：白地文、一串團扇、高台・垂團扇、高台付砂付。								
68 11 B2480 磁器 陶 中瓶 1025 (296)	明治期	磁器	染付	江戸時代	直径及 2cm 前後。								
68 12 B2480 磁器 陶 中瓶 1025 C270	明治期	磁器	染付	江戸時代	直径及 2cm 前後。								
68 13 B2480 七呂 陶 瓶 鎌倉青磁 70 20 77	灰口	磁器	染付	江戸時代	内：白地文、一串團扇、高台・垂團扇、高台付砂付。								
68 14 B2480 七呂 陶 瓶 小呂 93 18 50	灰口	磁器	染付	江戸時代	内：白地文、一串團扇、高台・垂團扇、高台付砂付。								
68 15 B2414 七呂 陶 瓶 切跡 93 18 50	灰口	磁器	染付	江戸時代	内：白地文、一串團扇、高台・垂團扇、高台付砂付。								
68 16 B2427 七呂 陶 瓶 黄釉青磁 86 53 76	灰口	磁器	染付	江戸時代	内：白地文、一串團扇、高台・垂團扇、高台付砂付。								
68 17 B2488 胸部 陶器 30	灰口	磁器	染付	不明	平明	被施、成形に切跡、模様、花、枝の彫造を付けて。							
69 1 B2419 磁器 陶 中瓶 95 53 38	灰口	磁器	染付	瀬戸・美濃	内：内込み白文、外：刷毛、窓、筆、山水文。								
69 2 B2419 磁器 陶 中瓶 106 47 45	灰口	磁器	染付	瀬戸	内：内込み白文、外：刷毛。								
69 3 B2419 磁器 陶 中瓶 97 45 46	灰口	磁器	染付	瀬戸	内：白地文。								
69 4 B2419 磁器 陶 丸底瓶 63 53 32	灰口	磁器	染付	瀬戸・上越	内：上越の「白花」、染付。								
69 5 B2419 磁器 陶 瓶 103 28	灰口	磁器	染付	瀬戸	内：白地文。								
69 6 B2419 胸部 陶 中瓶 90 49 30	灰口	磁器	灰地	京・近畿?	灰地	内：中身に白花、一串團扇、瀬戸文、底部模様。							
69 7 B2419 胸部 陶 瓶 木目鉢 82 52 48	灰口	磁器	灰地	瀬戸・美濃	内：中身に白花、一串團扇、瀬戸文、底部模様。								
69 8 B2419 胸部 陶 直口皿 100 23 44	灰口	磁器	染付	瀬戸・美濃	内：直口盤を有する。								
69 9 B2419 胸部 陶 瓶 小鉢 100 30 60	灰口	磁器	染付	瀬戸・美濃	内：子口器。								
69 10 B2419 胸部 陶 瓶 中瓶 42 197 65 88	灰口	磁器	灰地	瀬戸・美濃	内：中身に白花、一串團扇、瀬戸文、底部模様。								
69 11 B2419 胸部 陶 水呑 土瓶 78	225	浅黄	磁器	染付	瀬戸・美濃	内：水呑、土瓶。							
69 12 B2419 胸部 陶 瓶 小口茶器 38 17	72	根	磁器	染付	瀬戸 (黒釉)	平明							
69 13 B2419 胸部 陶 直口 104 23 46	74 浅黄	磁器	染付	瀬戸 (黒釉)	灰地	出溝切立。外：体部から底面にかけて斜面ヘラケツリ。							
69 14 B2419 七呂 陶 瓶 花絞り蓋 87 50	124	根	磁器	染付	江戸時代	外：底面丸刃付、底面側面穿孔。内面削面。							
69 15 B2419 七呂 陶 丸底付茶器 1040 44 869	根	磁器	染付	江戸時代	内：子口。								
69 16 B2419 七呂 陶 直口 76 70 74	根	磁器	染付	江戸時代	内：直口盤を有する。								
69 17 B2419 七呂 陶 瓶 切跡 1040	明治期	磁器	染付	江戸時代	内：直口盤を有する。								
69 18 B2493 七呂 陶 瓶 切跡 0580	浅黄	磁器	染付	江戸時代	内：直口盤を有する。								
69 19 B2514 胸部 陶 丸底瓶 75	灰口	磁器	灰地	瀬戸・美濃	内：丸底瓶。								
69 20 B2501 磁器 陶 中瓶 696 55 38	灰口	磁器	染付	瀬戸	内：白文、一串團扇、高台・内一串團扇。								
69 21 B2501 磁器 陶 中瓶 102 56 41	灰口	磁器	染付	瀬戸	内：白文、一串團扇と組みで有する。内文有らす、一串團扇、高台・内一串團扇。								
69 22 B2501 磁器 陶 茶器 90 46 61	灰口	磁器	染付	瀬戸	内：白文、一串團扇。								
69 23 B2501 磁器 陶 水呑 80 41 64	灰口	磁器	染付	瀬戸	内：白地文。								
69 24 B2501 胸部 陶 丸底瓶 108 110 57	にい・灰地	磁器	染付	瀬戸・美濃	詳記無れ。割り出し尚存。								
70 1 B2479 磁器 陶 大瓶 193 92 64	灰口	磁器	染付	瀬戸	内：見込み白地文、一串團扇、白地團扇文。外：白地文。								
70 2 B2479 磁器 陶 丸底瓶 67 62 34	灰口	磁器	染付	瀬戸	内：白地文。								
70 3 B2479 磁器 陶 小瓶 98 41 78	灰口	磁器	染付	瀬戸	内：白地文。								
70 4 B2479 磁器 陶 中柱 212 32 140	灰口	磁器	白磁	瀬戸	内：白地文。								
70 5 B2479 磁器 陶 中瓶 108 61 40	浅黄	磁器	白磁	瀬戸	内：白地文。								
70 6 B2479 磁器 陶 小瓶 120 37 40	灰口	磁器	染付	瀬戸	内：白地文。								
70 7 B2479 磁器 陶 ? 160 17	浅黄	白磁	透明釉	瀬戸	内：白地文。								
70 8 B2540 胸部 陶 瓶 極細 160	灰口	磁器	染付	瀬戸・美濃	内：白地文。								
70 9 B2540 胸部 陶 瓶 極細 C338	灰口	磁器	染付	瀬戸	内：白地文。								
70 10 B2540 七呂 陶 瓶 切跡 160	灰口	磁器	染付	瀬戸	内：白地文。								
70 11 B2554 磁器 陶 中瓶 98 51 41	灰口	磁器	染付	瀬戸	内：白地文。								
70 12 B2554 磁器 陶 中瓶 099 51 40	灰口	磁器	染付	瀬戸	内：白地文。								
70 13 B2562 磁器 陶 中瓶 032 57 41	灰口	磁器	染付	瀬戸	内：白地文。								
70 14 B2562 七呂 陶 小瓶 82 18 47	根	磁器	染付	江戸時代	内：白地文。								
71 1 B2572 磁器 陶 中瓶 100 58 42	灰口	磁器	染付	瀬戸	内：白地文。								
71 2 B2572 七呂 陶 小瓶 88 14 48	明治期	磁器	染付	江戸時代	内：直口切跡有り、被施。								
71 3 B2578 胸部 陶 瓶 極細	灰口	磁器	染付	瀬戸	内：直口切跡有り、被施。								
71 4 B2614 胸部 陶 ? 30	灰口	磁器	染付	瀬戸	内：直口切跡有り、被施。								
71 5 B2661 七呂 陶 切跡 (278)	根	磁器	染付	江戸時代	内：子口器。								
71 6 B2668 磁器 陶 中瓶 101 53 36	灰口	磁器	染付	瀬戸	内：白地文。								
71 7 B2668 磁器 陶 中瓶 (105) 56 56	灰口	磁器	染付	瀬戸	内：白地文。								
71 8 B2668 磁器 陶 中瓶 61 11 60	にい・根	磁器	染付	瀬戸	内：白地文。								
71 9 B2668 七呂 陶 瓶 極細青磁 52 54 44	64	にい・根	磁器	瀬戸	内：白地文。								
71 10 B2678 磁器 陶 中瓶 97 55 39	灰口	磁器	染付	瀬戸・美濃	内：白地文。								
71 11 B2696 磁器 陶 茶器 52 20	65	にい・根	磁器	染付	瀬戸	内：茶器。							

第20表 近世の陶器・土器観察表 (B 区) (19)

測量番号	出土	材質	種類	形様	法規 (mm)				胎土色調	成形	施華等	指定生産地	備考 (引・高・文様・技法等)
					a	b	c	d					
71	12	R2699	土器	鉢	火鉢				に赤い表面	輪轉	無	江戸在地	外：赤茶色と黒茶色調、浅腹。スタンプ文様を複数に捺す。 ナガリ状の文様を捺す。縁部。
71	13	R2729	陶器	便	大瓶				に赤い表面	輪轉	無	江戸在地	引土は2~5mmの砂粒の多い土で、1個罐体は玉締めにつくる。
71	14	R2749	磁器	碗	中盤	110	60	44	灰白	輪轉	白磁、上手付	肥前	上手付を削す。
71	15	R2749	磁器	碗	切頭				白	輪轉	白磁	江戸在地	深皿、即ち高さ4cm前後。
72	1	R2731	磁器	碗	中盤	114	63	62	白	輪轉	安付	肥前	引：扇子？
72	2	R2731	磁器	碗	中盤	94	57	34	白	輪轉	安付	肥前	外：扇子？
72	3	R2731	磁器	皿	小皿	124	27	68	白	輪轉	安付	肥前	内：柏原、竹、鳥
72	4	R2731	磁器	蓋	圓盤	103	25	10	白	輪轉	安付	肥前	内：草花、鳥
72	5	R2731	磁器	皿	圓盤	90	145	57	白	輪轉	安付	肥前	内：草花、鳥
72	6	R2731	土器	鉢	切頭	130			灰黄	輪轉	無	江戸在地	無耳、即ち高さ2cm前後。
72	7	R2731	土器	鉢	燒結串身	60	51	44	白	輪轉	無	江戸在地	即ち串身第54去頭。
72	8	R2731	土器	鉢	燒結串身	58	58	47	一	輪轉	無	江戸在地	即ち串身第54去頭。
72	9	R2731	土器	鉢	燒結串身	50	12		56	輪轉	型押し	肥前	手印
72	10	R2731	土器	鉢	燒結串身	50	12		58	輪轉	型押し	肥前	手印
72	11	R2731	土器	鉢	小皿	133	27	73	白	輪轉	型押し	肥前	手印
72	12	R2752	磁器	碗	中盤	101	37	36	灰白	輪轉	安付	肥前	肥前半切頭整、外外面に僅かに保有前、輪轉半切頭。
72	13	R2752	磁器	碗	中盤	95	54	37	灰白	輪轉	安付	肥前	内：足込み文、垂露脚、白磁第一垂露脚。外：葵花文、板花文、一垂露脚、高台一垂露脚、高台内一垂露脚及び明治製。
72	14	R2752	磁器	碗	小皿	64	35	29	灰白	輪轉	白磁	肥前	内：足込み文、垂露脚、白磁第一垂露脚。外：葵花文、板花文、一垂露脚、高台一垂露脚、高台内一垂露脚。
72	15	R2752	陶器	皿	小皿	106	20	62	灰白	輪轉	白磁	肥前	内：足込み文、垂露脚、白磁第一垂露脚。
72	16	R2752	土器	鉢	切頭	248			白	輪轉	白磁	江戸在地	内目：筒内残存、深め、直径4cm前後。
72	17	R2752	土器	鉢	燒結串身	50	95	42	68	灰白	輪轉	白磁	即ち串身第54去頭。
72	18	R2752	土器	鉢	燒結串身	63	33	25	白	輪轉	白磁	即ち串身第54去頭。	
73	1	R2748	磁器	碗	中盤	108	63	44	白	輪轉	安付	肥前	外：花、高台内「解」
73	2	R2748	磁器	碗	中盤	102	59	36	白	輪轉	安付	肥前	外：花
73	3	R2748	磁器	碗	中盤	51	51	20	白	輪轉	安付	肥前	外：花
73	4	R2748	磁器	碗	小皿	80	52	38	白	輪轉	白磁	肥前	外：花
73	5	R2748	磁器	碗	小皿	72	26	28	灰白	輪轉	白磁	肥前	高台背付炒付盆。
73	6	R2748	磁器	碗	小皿	54	32	20	灰白	輪轉	安付	肥前	外：花、即ち早・一垂露脚、高台一垂露脚、高台内一垂露脚。
73	7	R2748	磁器	瓶	酒呑	50	22	22	灰白	輪轉	安付	肥前	外：花に早花文、難。
73	8	R2748	磁器	瓶	泡立	72	53	38	灰白	輪轉	白磁	肥前	外：花に早花文、難。
73	9	R2748	磁器	皿	中盤	64	15	27	灰白	型押し	安付	肥前	内：足込みニシニヤク印明三巴と草文、五角舟の印け舟。
73	10	R2748	磁器	皿	小皿	74	15	40	灰白	型押し	安付	肥前	内：足込みニシニヤク印明三巴と草文、五角舟の印け舟。
73	11	R2748	磁器	皿	小皿	122	25	60	灰白	輪轉	安付	肥前	外：絵、高台内「花文文様」、外：一垂露脚。
73	12	R2748	磁器	鉢	中盤	214	84	100	灰白	輪轉	青磁	肥前	外：絵、高台内「花文文様」、外：一垂露脚。
73	13	R2748	磁器	鉢	中盤	76	52	42	灰白	輪轉	安付	肥前	内：足込み五瓣形、外：花唐草文、一垂露脚、高台一垂露脚、高台内一垂露脚、外滴。
73	14	R2748	陶器	皿	中盤	92	68	50	灰白	輪轉	灰地、輪轉	瀬戸・美濃	瀬戸、美濃
73	15	R2748	陶器	皿	中盤	99	66	47	灰白	輪轉	灰地、瀬戸・美濃	瀬戸、美濃	外：瀬戸に前田家御用文様を彫る。
73	16	R2748	陶器	皿	中盤	105	62	40	灰	輪轉	灰地、瀬戸・美濃	瀬戸、美濃	外：瀬戸に前田家御用文様。
73	17	R2748	陶器	皿	小皿	62	22	28	白	輪轉	反輪轉	瀬戸・美濃	瀬戸・美濃
73	18	R2748	陶器	鉢	中盤	292	85	120	灰白	輪轉	白磁	肥前	内：足込みノシニヤク印明三巴と草文、五角舟の印け舟。
74	1	R2748	陶器	皿	小皿	122	33	68	灰白	輪轉	白磁	瀬戸・美濃	瀬戸・美濃
74	2	R2748	陶器	皿	小皿	104	55	46	灰白	輪轉	白磁	瀬戸・美濃	瀬戸・美濃
74	3	R2748	陶器	皿	小皿	108	19	54	小皿	輪轉	白磁	瀬戸・美濃	瀬戸・美濃
74	4	R2748	陶器	皿	小皿	78	15	40	小皿	輪轉	白磁	瀬戸・美濃	瀬戸・美濃
74	5	R2748	陶器	皿	切頭	280	81	200	灰白	輪轉	白磁	瀬戸・美濃	瀬戸・美濃
74	6	R2748	陶器	皿	切頭	57	79	56	71	輪轉	白作舟	瀬戸・美濃	瀬戸・美濃
74	7	R2748	陶器	皿	小皿	80	17	36	明治期	輪轉	白作舟	瀬戸・美濃	瀬戸・美濃
74	8	R2748	陶器	皿	小皿	106	21	56	白	輪轉	白作舟	瀬戸・美濃	瀬戸・美濃
74	9	R2761	磁器	碗	中盤	292	85	120	灰白	輪轉	安付	肥前	内：足込みノシニヤク印明三巴と草文、五角舟の印け舟。
74	10	R2761	磁器	碗	中盤	60	36	26	灰白	輪轉	安付	肥前	外：山水文、瀬戸・美濃
74	11	R2761	磁器	碗	中盤	70	49	30	灰白	輪轉	白磁	肥前	外：山水文、瀬戸・美濃
74	12	R2761	磁器	碗	中盤	292	85	120	灰白	輪轉	白磁	瀬戸・美濃	瀬戸・美濃
74	13	R2761	磁器	碗	中盤	120	22	68	白	輪轉	白磁	瀬戸・美濃	瀬戸・美濃
74	14	R2761	磁器	碗	中盤	178	32	104	白	輪轉	白磁	瀬戸・美濃	瀬戸・美濃
74	15	R2761	磁器	碗	中盤	193	33	112	白	輪轉	白磁	瀬戸・美濃	瀬戸・美濃
75	1	R2769	磁器	碗	中盤	102	62	42	灰白	輪轉	安付	肥前	内：足込みノシニヤク印明三巴と草文、五角舟の印け舟。
75	2	R2769	磁器	碗	中盤	99	61	40	灰白	輪轉	安付	肥前	内：足込み文、鳥、若葉、一垂露脚、高台一垂露脚。
75	3	R2769	磁器	碗	中盤	107	59	45	灰白	輪轉	安付	肥前	内：足込み文、鳥、若葉、一垂露脚、高台一垂露脚。
75	4	R2769	磁器	碗	中盤	101	57	44	灰白	輪轉	安付	肥前	内：足込み文、鳥、若葉、一垂露脚、高台内「大明牛製」。
75	5	R2769	磁器	碗	中盤	99	50	38	灰白	輪轉	安付	肥前	内：足込みノシニヤク印明文跋文、外：体、高台内「大明牛製」。
75	6	R2769	磁器	碗	中盤	68	33	27	灰白	輪轉	安付	肥前	内：足込みノシニヤク印明文跋文、高台一垂露脚。
75	7	R2769	磁器	碗	中盤	75	55	38	灰白	輪轉	安付	肥前	内：足込みノシニヤク印明文跋文、高台一垂露脚。
75	8	R2769	磁器	皿	小皿	93	56	36	灰白	輪轉	安付	肥前	内：足込みノシニヤク印明文跋文、外：体、高台内「大明牛製」。
75	9	R2769	磁器	皿	小皿	128	39	46	灰白	輪轉	安付	肥前	内：足込みノシニヤク印明文跋文、高台一垂露脚。
75	10	R2769	磁器	皿	小皿	130	34	78	灰白	輪轉	安付	肥前	内：足込みノシニヤク印明文跋文、外：体、高台内「大明牛製」。

第21表 近世の陶器・土器観察表（B区）(20)

測量番号 神武 番号	出土 地点	材質	形態	沿標	法規 (mm)				胎土色調	成形	施華等	推定生産地	備考 (印) ■ 高・文様・技法等
					a	b	c	d					
75 11 B2769 袋足 筒 露胎 87 73 52 145 45C 磁輪 染付 乾面 内：高麗部有高麗文を含む施華。若松文、範文。外部下端一帯削除。高台・一帯削除。													
75 12 B2769 袋足 筒 菩薩蓋 130 36 145 45C 磁輪 染付 乾面 外：竹、竹。高麗文、若松文。から外側の刃無地で斜行。笠部の削痕。													
75 13 B2769 胸器 筒 中綱 116 72 40 145 45C 磁輪 白底、透明釉 平明 内外面部に口沿で巻折毛口を施す。高台底部外側を削り出す。													
75 14 B2769 胸器 筒 小綱 104 59 38 145 45C 磁輪 白底、透明釉 乾面 内外面部に口沿で巻折毛口を施す。高台底部外側を削り出す。													
75 15 B2769 胸器 筒 中綱 98 58 40 に点打小間 磁輪 白底、透明釉 乾面 内外面部に口沿で巻折毛口を施す。高台底部外側を削り出す。													
75 16 B2769 胸器 筒 中綱 106 63 44 145C 磁輪 背模 (天井地) 鹿戸・美濃 天井地：角出と高台。内面：透達。													
75 17 B2769 胸器 筒 中綱 94 54 46 145C 磁輪 背模 (黒地) 不明 内面：透達。													
75 18 B2769 胸器 筒 豪火入れ 121 41 125 145C 手作り 灰地、鉄 磁輪 染付 乾面 外：圓柱により既成の草花文を描く。													
75 19 B2769 胸器 筒 口元 154 98 77 178C 磁輪 染付 乾面 外：圓柱により既成の草花文を描く。													
75 20 B2769 胸器 直 切皿 102 25 4.9 145C 磁輪 染付 鉄足 乾面 口元凹 1.5cmの切込みを付ける。外側は底部下から乾面にかけて約1cmのカットアーチ。													
75 21 B2769 胸器 茶台 石造火鉢 91 24 47 56 磁輪 染付 鉄足 乾面 口元凹 出湯アーチ部、底盤は3周目。兔足は内側を下す。外：底部下から底盤にかけて約1cmのカットアーチ。													
76 1 B2769 胸器 筒 西扣 120 71 70 145C 磁輪 染付 灰地、鉄 磁輪・美濃 2足。外：圓柱により、既成の文を施す。													
76 2 B2769 胸器 直 小形 70 123 74 125 145C 磁輪 染付 灰地 (直脚) 鹿戸・美濃													
76 3 B2769 胸器 水注 中水注 51 102 75 147 145C 磁輪 染付 鉄脚 (直脚) 鹿戸・美濃 頭り立し高台、圓筒部を削り出す。口部部から直脚部にかけて手子欠損。高台及び直脚部を削り出し。													
76 4 B2769 胸器 筒 袋足 315 134 126 145C 磁輪 染付 乾面 美濃 成形が切妻整型。外：底部下にはノリ跡がある。頭元1.5cm単位。													
76 5 B2769 胸器 筒 大鉢 355 108 129 黄灰 磁輪 白底 乾面 内：外に1.5cmの切込みを施す。既成文と接する。胎部削除して、既成文は平行で並ぶ。既成文下部で底盤を削る。既成文下部で底盤を削る。既成文と接する。胎部下半と内部は透明釉を削る。既込みに1.5cm削る。													
76 6 B2769 七寸 瓶 瓶口55 Q2805 (Q281) に点打小間 145C 磁輪 染付 乾面 無目、深目、肥厚高4cm前後。上端部は鋸歯。													
76 7 B2769 七寸 瓶 小鉢 65 13 38 145C 磁輪 染付 乾面 深目削除。底盤は3周目。底盤中央へ鉄足を施す。													
76 8 B2769 七寸 瓶 小鉢 58 14 36 145C 磁輪 染付 乾面 深目削除。底盤は3周目。底盤中央へ鉄足を施す。													
76 9 B2769 七寸 瓶 小鉢 84 16 42 145C 磁輪 染付 乾面 深目削除。底盤は3周目。底盤中央へ鉄足を施す。													
76 10 B2769 七寸 瓶 小鉢 103 22 60 145C 磁輪 染付 乾面 深目削除。底盤は3周目。底盤中央へ鉄足を施す。													
76 11 B2769 七寸 瓶 小鉢 159 30 99 145C 磁輪 染付 乾面 深目削除。底盤は3周目。内面底盤に埋め込み。													
77 1 B2776 胸器 筒 中綱 94 53 37 145C 磁輪 染付 乾面 高台第一・二重削除及び「大明年製」款。													
77 2 B2776 胸器 筒 瓶口23 68 63 36 145C 磁輪 染付 乾面 高台第一・二重削除及び「大明年製」款。													
77 3 B2776 胸器 筒 瓶口14 74 48 41 145C 磁輪 染付 乾面 高台第一・二重削除及び「大明年製」款。													
77 4 B2776 胸器 直 小鉢 135 29 80 145C 磁輪 染付 乾面 高台第一・二重削除及び「大明年製」款。													
77 5 B2776 胸器 瓶 小鉢 76 38 38 145C 磁輪 染付 乾面 高台第一・二重削除及び「大明年製」款。													
77 6 B2776 胸器 瓶 小鉢 193 75 58 145C 磁輪 染付 青磁文、透明釉 乾面 内：透明釉、肥大口脚付。外：青磁文。高台外脚を削り取り。													
77 7 B2776 七寸 直 小鉢 86 18 45 145C 磁輪 染付 乾面 深目削除。底盤は3周目。上端部は鋸歯。													
77 8 B2779 胸器 瓶 中綱 97 48 24 145C 磁輪 染付 乾面 深目削除。底盤は3周目。外：花文。													
77 9 B2779 胸器 瓶 口ノフ 17 68 72 145C 磁輪 染付 乾面 底盤内面削除。から外側削除。外：花文。													
77 10 B2780 胸器 直 大鉢 122 44 39 145C 磁輪 染付 鉄脚、上端部 乾・透透 内：既成文で花文を削く。高台外脚を削り取り。													
77 11 B2780 胸器 直 石造火鉢 117 24 57 145C 磁輪 染付 乾面 内：既成文で花文を削く。外：青磁文。高台外脚を削り取り。													
77 12 B2780 胸器 茶台 石造火鉢 79 18 39 54 145C 磁輪 染付 乾面 深目削除。底盤は3周目。上端部は鋸歯。													
77 13 B2780 七寸 瓶 瓶口55 342 145C 磁輪 染付 乾面 深目削除。底盤は3周目。上端部は鋸歯。													
77 14 B2780 七寸 瓶 瓶口55 98 25 39 62 145C 磁輪 染付 乾面 深目削除。底盤は3周目。上端部は鋸歯。													
77 15 B2780 七寸 瓶 瓶身有蓋 66 11 62 145C 磁輪 染付 乾面 深目削除。底盤は3周目。上端部は鋸歯。													
77 16 B2780 七寸 瓶 瓶身有蓋 62 10 80 145C 磁輪 染付 乾面 深目削除。底盤は3周目。上端部は鋸歯。													
77 17 B2780 七寸 瓶 瓶身有蓋 61 76 48 145C 手作り 灰地 乾面 深目削除。底盤は3周目。上端部は鋸歯。													
77 18 B2780 七寸 瓶 瓶身有蓋 50 59 39 60 に点打小間 磁輪 染付 戸口仕切 乾面 深目削除。底盤は3周目。上端部は鋸歯。													
77 19 B2772 袋足 筒 小綱 89 41 33 145C 磁輪 染付 上脚付 乾面 乾・青磁・白・透透。一重削除。高台・二重削除。高台第一・二重削除。底盤は3周目。上端部は鋸歯。													
78 1 B2777 袋足 筒 中綱 97 55 42 145C 磁輪 染付 乾面 高台第一・二重削除。底盤は3周目。上端部は鋸歯。													
78 2 B2777 袋足 筒 中綱 102 55 41 145C 磁輪 染付 乾面 高台第一・二重削除。底盤は3周目。上端部は鋸歯。													
78 3 B2777 袋足 筒 小綱 78 48 38 145C 磁輪 白磁 乾面 高台第一・二重削除。底盤は3周目。上端部は鋸歯。													
78 4 B2777 袋足 筒 小綱 81 46 31 145C 磁輪 染付 乾面 高台第一・二重削除。底盤は3周目。上端部は鋸歯。													
78 5 B2777 袋足 筒 小綱 79 40 29 145C 磁輪 白磁 乾面 高台第一・二重削除。底盤は3周目。上端部は鋸歯。													
78 6 B2777 袋足 筒 小綱 64 29 26 145C 磁輪 染付 乾面 高台第一・二重削除。底盤は3周目。上端部は鋸歯。													
78 7 B2777 袋足 瓶 瓶口14 57 25 25 145C 磁輪 白磁、上端部 乾面 深目削除。底盤は3周目。上端部は鋸歯。													
78 8 B2777 袋足 瓶 瓶口14 40 14 18 145C 磁輪 型押し 乾面 高台第一・二重削除。底盤は3周目。上端部は鋸歯。													
78 9 B2777 袋足 瓶 小鉢 127 39 42 145C 磁輪 染付 乾面 深目削除。底盤は3周目。上端部は鋸歯。													
78 10 B2777 袋足 瓶 瓶口14 70 56 42 145C 磁輪 染付 乾面 高台第一・二重削除。底盤は3周目。上端部は鋸歯。													
78 11 B2777 胸器 瓶 茶台 64 37 33 145C 磁輪 染付 乾面 高台第一・二重削除。底盤は3周目。上端部は鋸歯。													
78 12 B2777 胸器 瓶 中綱 112 60 48 145C 磁輪 白磁、白底、上端部 乾・透透 内：青磁文をあらわし茶付で草花文を鏤く。													
78 13 B2777 胸器 瓶 小綱 93 61 31 145C 磁輪 染付 乾面・美濃 内：青磁文をあらわし茶付で草花文を鏤く。													
78 14 B2777 胸器 瓶 中綱 106 51 40 145C 磁輪 染付 乾・透透 内：青磁文をあらわし茶付で草花文を鏤く。													
78 15 B2777 胸器 瓶 中綱 92 57 33 に点打小間 磁輪 染付 乾面・美濃 内：青磁文をあらわし茶付で草花文を鏤く。													
78 16 B2777 胸器 瓶 大鉢 132 110 55 145C 明黄釉 磁輪 白磁 平明 体部下に白磁の痕跡があり、削り出し直合。													

第22表 近世の陶器・土器観察表（B区）(21)

測量番号	出土地点	材質	被削	沿標	法線 (mm)				赤土色調	成形	種類等	推定生産地	備考 (図・文様・方法等)
					a	b	c	d					
78 17	B2777	陶器	焼	中標	96	52	39	45.0	暗緑	灰焼、黄焼	墨田・美濃	高輪・其の他の各所の工房。	
78 18	B2777	陶器	焼	中標	106	58	38	45.0	暗緑	白泥	明治焼	墨田・肥前	同上。内に細毛毛。外に上部は連続した打ち削毛毛。下部は乱毛毛。
78 19	B2777	陶器	焼	小標	121	30	53	45.0	堅押し	削深開片	墨田・美濃	同上。	
78 20	B2777	陶器	焼	中標	203	81	91	45.0	灰青	暗緑	前縁	墨田・美濃	高輪・其の他の各所の工房。
78 21	B2777	土器	焼	瓦目標	149	65.0	169	45.0	暗緑	削平・加熱	江戸・増	高輪・其の他の各所の工房。	底部を削りヘラでなじらし、特に高台、内部に輪花形の網目状を施す。足見出しは堅密式・直脚式。内に輪花形の輪鉢式につく。
78 22	B2777	土器	焼	切跡	295	45.0	45.0	45.0	暗緑	削平・加熱	江戸・増	高輪・其の他の各所の工房。	底部を削りヘラでなじらし、特に高台、内部に輪花形の網目状を施す。足見出しは堅密式・直脚式。内に輪花形の輪鉢式につく。
78 23	B2777	土器	焼	切跡	293	45.0	45.0	45.0	暗緑	削平・加熱	江戸・増	高輪・其の他の各所の工房。	底部を削りヘラでなじらし、特に高台、内部に輪花形の網目状を施す。足見出しは堅密式・直脚式。内に輪花形の輪鉢式につく。
78 24	B2777	土器	焼	小標	104	20	58	45.0	明緑	暗緑	江戸・増	高輪・其の他の各所の工房。	底部を削りヘラでなじらし、特に高台、内部に輪花形の網目状を施す。足見出しは堅密式・直脚式。内に輪花形の輪鉢式につく。
78 25	B2777	土器	焼	小標	94	20	47	45.0	暗緑	暗緑	江戸・増	高輪・其の他の各所の工房。	底部を削りヘラでなじらし、特に高台、内部に輪花形の網目状を施す。足見出しは堅密式・直脚式。内に輪花形の輪鉢式につく。
78 26	B2777	土器	焼	小標	77	14	35	45.0	暗緑	暗緑	江戸・増	高輪・其の他の各所の工房。	底部を削りヘラでなじらし、特に高台、内部に輪花形の網目状を施す。足見出しは堅密式・直脚式。内に輪花形の輪鉢式につく。
78 27	B2777	土器	焼	小標	58	12	34	45.0	暗緑	暗緑	江戸・増	高輪・其の他の各所の工房。	底部を削りヘラでなじらし、特に高台、内部に輪花形の網目状を施す。足見出しは堅密式・直脚式。内に輪花形の輪鉢式につく。
79 1	B2796	磁器	焼	中標	98	55	36	45.0	暗緑	安付	肥前	内にコシニク印の水波文。外に、直脚式。	
79 2	B2796	磁器	焼	中標	96	51	30	45.0	暗緑	安付	肥前	内にコシニク印の水波文。外に、直脚式。	
79 3	B2796	磁器	焼	小標	88	49	36	45.0	暗緑	安付	肥前	内にコシニク印の水波文。外に、直脚式。	
79 4	B2796	磁器	焼	中標	70	23	20	45.0	暗緑	安付	肥前	内にコシニク印の水波文。外に、直脚式。	
79 5	B2796	磁器	焼	小標	66	40	22	45.0	暗緑	安付	肥前	内にコシニク印の水波文。外に、直脚式。	
79 6	B2796	磁器	焼	直脚	62	25	24	45.0	暗緑	安付	肥前	内にコシニク印の水波文。外に、直脚式。	
79 7	B2796	磁器	焼	直脚	84	56	40	45.0	暗緑	安付	肥前	内にコシニク印の水波文。外に、直脚式。	
79 8	B2796	磁器	焼	小標	118	38	60	45.0	堅引	六角	肥前	内にコシニク印の水波文。外に、直脚式。	
79 9	B2796	磁器	焼	堅引	52	90	45.0	45.0	暗緑	安付	肥前	内にコシニク印の水波文。外に、直脚式。	
79 10	B2796	磁器	焼	中標	58	19	64	45.0	暗緑	青花	中国	板焼(?)・直脚式。	
79 11	B2796	陶器	焼	中標	112	63	42	45.0	灰青	削平・透焼	肥前	内にコシニク印の水波文。外に、直脚式。	
79 12	B2796	陶器	焼	中標	96	64	48	45.0	灰青	削平	肥前	内にコシニク印の水波文。外に、直脚式。	
79 13	B2796	陶器	焼	中標	98	68	54	45.0	灰青	削平	肥前	内にコシニク印の水波文。外に、直脚式。	
79 14	B2796	陶器	焼	中標	110.0	66	86	45.0	灰青	削平	肥前	内にコシニク印の水波文。外に、直脚式。	
79 15	B2796	陶器	焼	中標	278	94	100	45.0	灰青	削平・透焼	肥前	内にコシニク印の水波文。外に、直脚式。	
79 16	B2796	陶器	焼	中標	195	58	60	45.0	暗緑	安付	肥前	内に見込みノリと輪鉢式。外に高台及びその内部には無釉。	
79 17	B2796	陶器	焼	堅引	108	39	11.0	45.0	暗緑	板作り	肥前	内に見込みノリと輪鉢式。外に高台及びその内部には無釉。	
79 18	B2796	陶器	焼	中標	48	103	72	13.0	暗緑	板作り(?)、弓の矢柄	肥前	内に見道具具あり。	
79 19	B2796	陶器	焼	中標?	43	61	45.0	45.0	暗緑	板作り	肥前	内に見道具具あり。	
80 1	B2796	土器	焼	堅引?	42.0	45.0	45.0	45.0	明治焼	削平・加熱	江戸・増	無目、深め、底部周囲4cm前後。	
80 2	B2796	土器	焼	手切り	48	35	97	72.0	明治焼	削平	江戸・増	近世を除く全体に刃を引き出す。	
80 3	B2796	土器	焼	手切り	81	20	41	45.0	灰青	削平	江戸・増	無目、全体に刃を引き出す。	
80 4	B2806	陶器	焼	中標	273	90	100	45.0	灰青	板作り	肥前	内に刃を引き出し底を削り、板作りをする。外に、底面千手と外側に輪鉢を施す。見込みに日本刀。	
80 5	B2806	土器	焼	大柄	414	109	434	47.2	板作り	板作り	江戸・増	外大柄、頭部は火鉢式。	
80 6	B2806	土器	焼	小標	58	15	28	45.0	板作り	板作り	江戸・増	外大柄、頭部は火鉢式。	
81 1	B2798	磁器	焼	堅引	20	27	65	45.0	45.0	安付	肥前	内に輪花文。	
81 2	B2798	陶器	焼	中標	92	21	49	45.0	浅黄相	削平	肥前	内に輪花文。	
81 3	B2798	陶器	焼	中標	74	14	39	45.0	暗緑	板作り	肥前	内に輪花文。	
81 4	B2798	陶器	焼	中標	57	37	45.0	45.0	暗緑	板作り	肥前	内に輪花文。	
81 5	B2798	陶器	焼	中標	35	45.0	45.0	45.0	暗緑	板作り	肥前	内に輪花文。	
81 6	B2798	土器	焼	堅引?	45.0	45.0	45.0	45.0	明治焼	削平・加熱	江戸・増	堅引? 2cm前後。	
81 7	B2799	磁器	焼	中標	102	63	41	45.0	暗緑	板作り	肥前	内に刃を引き出し底を削り、板作りをする。外に、頭部から辺縁にヘラでなじらしする。見込みに頭部が丸い。また、頭部にも刃の跡が残る。	
81 8	B2799	磁器	焼	中標	104	59	41	45.0	暗緑	板作り	肥前	内に刃を引き出し底を削り、板作りをする。外に、頭部から辺縁にヘラでなじらしする。見込みに頭部が丸い。また、頭部にも刃の跡が残る。	
81 9	B2799	磁器	焼	中標	102	56	41	45.0	暗緑	板作り	肥前	内に刃を引き出し底を削り、板作りをする。外に、頭部から辺縁にヘラでなじらしする。見込みに頭部が丸い。また、頭部にも刃の跡が残る。	
81 10	B2799	磁器	焼	小標	135	35	80	45.0	暗緑	板作り	肥前	内に刃を引き出し底を削り、板作りをする。外に、頭部から辺縁にヘラでなじらしする。見込みに頭部が丸い。また、頭部にも刃の跡が残る。	
81 11	B2799	磁器	焼	堅引	77	51	49	45.0	暗緑	板作り	肥前	内に刃を引き出し底を削り、板作りをする。外に、頭部から辺縁にヘラでなじらしする。見込みに頭部が丸い。また、頭部にも刃の跡が残る。	
81 12	B2799	磁器	焼	堅引	106	82	61	45.0	暗緑	板作り	肥前	内に刃を引き出し底を削り、板作りをする。外に、頭部から辺縁にヘラでなじらしする。見込みに頭部が丸い。また、頭部にも刃の跡が残る。	
81 13	B2799	磁器	焼	堅引	134	100	83	45.0	暗緑	堅引	肥前	内に刃を引き出し底を削り、板作りをする。外に、頭部から辺縁にヘラでなじらしする。見込みに頭部が丸い。また、頭部にも刃の跡が残る。	
81 14	B2799	磁器	焼	堅引?	31	88	45.0	45.0	暗緑	板作り	肥前	内に刃を引き出し底を削り、板作りをする。外に、頭部から辺縁にヘラでなじらしする。見込みに頭部が丸い。また、頭部にも刃の跡が残る。	
81 15	B2799	磁器	蓋	蓋地	99	30	45.0	45.0	暗緑	板作り	肥前	内に刃を引き出し底を削り、板作りをする。外に、頭部から辺縁にヘラでなじらしする。見込みに頭部が丸い。また、頭部にも刃の跡が残る。	
81 16	B2799	土器	焼	中標	118	24	66	45.0	暗緑	板作り	江戸・増	内に五瓣花・唐津文・梅三枝・外・芭草文。一重脚輪。	
81 17	B2799	土器	焼	中標	58	14	31	45.0	暗緑	板作り	江戸・増	内に五瓣花・唐津文・梅三枝・外・芭草文。一重脚輪。	
81 18	B2805	磁器	焼	中標	99	48	41	45.0	暗緑	板作り	肥前	内に五瓣花・唐津文・梅三枝・外・芭草文。一重脚輪。	
81 19	B2805	磁器	焼	中標	99	53	39	45.0	暗緑	板作り	肥前	内に五瓣花・唐津文・梅三枝・外・芭草文。一重脚輪。	
82 1	B2843	磁器	焼	中標	109	62	44	45.0	暗緑	板作り	肥前	内に五瓣花・唐津文・梅三枝・外・芭草文。一重脚輪。	
82 2	B2843	磁器	焼	中標	112	62	46	45.0	暗緑	板作り	肥前	内に五瓣花・唐津文・梅三枝・外・芭草文。一重脚輪。	
82 3	B2843	磁器	焼	中標	96	57	37	45.0	暗緑	板作り	肥前	内に五瓣花・唐津文・梅三枝・外・芭草文。一重脚輪。	

第23表 近世の陶器・土器観察表（B区）(22)

測量番号 件名	出土 地點	材質	形態	沿標	法規 (mm)				胎土色調	成形	施華等	指定生産地	著者 (印・路・文様・法等)	
					a	b	c	d						
82 4	E2843	磁器	碗	小綱	88	47	37		灰白	輪轉	染付	肥前	内：青花、水呑。一重圓腹、高台・重圓腹、高台内「大明年製」款。	
82 5	E2843	磁器	碗	小綱	74	48	36		灰白	輪轉	染付	肥前	外：青花文、鶴鳳、雀、鳥。内：「誠徳・重圓腹・一重圓腹・高台・重圓腹・高台内「大明年製」款。	
82 6	E2843	磁器	碗	小綱	62	40	27		灰白	輪轉	染付	肥前	内：「誠徳是」高台・重圓腹、「大明年」款。高台付付加飾。	
82 7	E2843	磁器	碗	紅口	65	31	24		灰白	輪轉	染付	肥前	外：コニャク印付青花文。子供用丸付加飾。	
82 8	E2843	磁器	鉢	縁口	102	67	49		灰白	輪轉	染付	肥前	内：青花文。高台・重圓腹、高台・重圓腹、高台・重圓腹、高台内「大明年製」款。	
82 9	E2843	磁器	鉢	中古	(89)	54			灰白	輪轉	六角切 り	染付	肥前	内：青花文。輪轉で成形し、輪轉外側は六角切りにより平面を作らる。高台の内側を成形。
82 10	E2843	磁器	碗	弘治款	76	66	37		灰白	輪轉	染付	肥前	内：「弘治款」。一重圓腹、高台・重圓腹、成化款。	
82 11	E2843	陶器	碗	中綱	96	57	31		灰白	輪轉	染付	上締付	上締付に花紋と模様。	
82 12	E2843	陶器	碗	中綱	110	79	49		灰白	輪轉	染付	肥前	内：青花文。斜面・重圓腹、高台・重圓腹、高台・重圓腹、高台内「弘治款」款。	
82 13	E2843	磁器	皿	小紐	133	32	47		灰白	輪轉	青花繪、透明 釉	肥前	内：青花繪、蛇・日目繪など。外：透明。高台外側面取り、内：青花。	
82 14	E2843	陶器	皿	小紐	123	24	67		灰白	輪轉	染付	肥前	内：青花文。付付に草文を描き、透明物を擲ける。荷付無地、圓形の足。	
82 15	E2843	陶器	鉢	縁口	181	56	80		灰白	輪轉	染付	肥前	内：青花文。付付に草文を描き、透明物を擲ける。	
82 16	E2843	陶器	皿	小紐	112	43	40		灰白	輪轉	染付	肥前	内：青花文。付付に草文を描き、透明物を擲ける。	
82 17	E2843	陶器	鉢	縁口	344	158	132		灰白	輪轉	染付	肥前	内：青花文。透明で成形し、輪轉外側は六角切りにより平面を作らる。高台の内側を成形。	
82 18	E2843	陶器	皿			72	83		青白	輪轉	染付	不明	印付印押付。	
82 19	E2843	陶器	皿	印明款	104	22	48		青白	輪轉	詰付	肥前・美濃	内：印付印押付。外：青花文。	
82 20	E2843	土器	瓶	切口	254				明灰	輪轉	詰付	肥前	内：印付印押付。外：青花文。	
82 21	E2843	土器	瓶	追造身	63	95	46		明灰	輪轉	詰付	肥前	内：印付印押付。外：青花文。	
82 22	E2843	土器	瓶	追造身	62	103	46	72	明灰	輪轉	詰付	肥前	内：印付印押付。外：青花文。	
82 23	E2843	土器	瓶	中身	179	32	102		明灰	輪轉	詰付	肥前	内：印付印押付。外：青花文。	
82 24	E2843	土器	瓶	小紐	129	23	68		明灰	輪轉	詰付	肥前	内：印付印押付。外：青花文。	
82 25	E2843	土器	瓶	小紐	73	16	40		明灰	輪轉	詰付	肥前	内：印付印押付。外：青花文。	
82 26	E2843	土器	瓶	小紐	57	13	33		明灰	輪轉	詰付	肥前	内：印付印押付。外：青花文。	
83 1	E2847	磁器	皿	大綱	156	79	60		灰白	輪轉	染付	肥前	内：青花文。高台・重圓腹、「大明年製」款。	
83 2	Z E2847	磁器	皿	中綱	108	62	44		灰白	輪轉	染付	肥前	内：青花文。高台・重圓腹、「大明年製」款。	
83 3	E2847	磁器	皿	中綱	102	56	38		灰白	輪轉	染付	肥前	内：青花文。高台・重圓腹、「大明年製」款。	
83 4	E2847	磁器	皿	中綱	99	56	36		灰白	輪轉	染付	肥前	内：青花文。高台・重圓腹、「大明年製」款。	
83 5	E2847	磁器	皿	中綱	85	49	39		灰白	輪轉	染付	肥前	内：青花文。高台・重圓腹、「大明年製」款。	
83 6	E2847	磁器	皿	中綱	81	48	34		灰白	輪轉	染付	肥前	内：青花文。高台・重圓腹、「大明年製」款。	
83 7	E2847	磁器	皿	中綱	81	48	29		灰白	輪轉	染付	肥前	内：青花文。高台・重圓腹、「大明年製」款。	
83 8	E2847	磁器	皿	中綱	86	47	34		灰白	輪轉	染付	肥前	内：青花文。高台・重圓腹、「大明年製」款。	
83 9	E2847	磁器	皿	中綱	84	48	34		灰白	輪轉	染付	肥前	内：青花文。高台・重圓腹、「大明年製」款。	
83 10	E2847	磁器	皿	中綱	669	23	30		灰白	輪轉	染付	肥前	内：青花文。高台・重圓腹、「大明年製」款。	
83 11	E2847	磁器	皿	中綱	664	27	25		灰白	輪轉	染付	肥前	内：青花文。高台・重圓腹、「大明年製」款。	
83 12	E2847	磁器	皿	弘治款	49	60	33		灰白	輪轉	染付	肥前	内：青花文。高台・重圓腹、「弘治款」款。	
83 13	E2847	磁器	皿	中綱	602	61	34		灰白	輪轉	染付	肥前	内：青花文。	
83 14	E2847	磁器	皿	小紐	49	14			灰白	壓押し	白磁、上締付	肥前	内：印付印押付。外：高台・重圓腹、「大明年製」款。	
83 15	E2847	磁器	皿	白口	48	10			灰白	壓押し	染付	肥前	内：印付印押付。外：高台・重圓腹、「大明年製」款。	
83 16	E2847	磁器	器物	蓋	84	22			青白	輪轉	青磁	肥前	内：印付印押付。外：高台・重圓腹、「大明年製」款。	
83 17	E2847	磁器	器物	高口	93	146	53		青白	輪轉	青磁	肥前	内：印付印押付。外：高台・重圓腹、「大明年製」款。	
83 18	E2847	陶器	皿	中綱	(118)	82	50		灰白	灰陶、灰土	平明	肥前	内：印付印押付。底付を完全に焼く。	
83 19	E2847	陶器	皿	中綱	100	66	48		灰白	輪轉	灰陶、灰土	肥前	内：印付印押付。底付を完全に焼く。	
83 20	E2847	陶器	皿	中綱	(101)	65	52		灰白	輪轉	灰陶、透明	肥前	内：印付印押付。底付を完全に焼く。	
83 21	E2847	陶器	皿	中綱	106	61	39		灰白	輪轉	白磁、透明	肥前	内：印付印押付。底付を完全に焼く。	
83 22	E2847	陶器	皿	中綱	78	36	40		灰白	輪轉	透明	肥前	内：印付印押付。底付を完全に焼く。	
83 23	E2847	陶器	皿	詰口	(143)	44	109		灰白	輪轉	灰陶	肥前	内：印付印押付。底付を完全に焼く。	
83 24	E2847	陶器	皿	縁口	163	98	80		灰白	輪轉	灰陶	肥前	内：印付印押付。底付を完全に焼く。	
83 25	E2847	陶器	皿	縁口	120	44	41	125 × 46	灰	板作り	灰陶、良、具	肥前・美濃	内：印付印押付。底付を完全に焼く。	
83 26	E2847	陶器	皿	火もらい	96	112	44		灰白	輪轉	灰陶、うぶふ	肥前・美濃	内：印付印押付。底付を完全に焼く。	
83 27	E2847	陶器	皿		76	17			灰白	輪轉	灰陶、良、具	肥前・美濃	内：印付印押付。底付を完全に焼く。	
84 1	E2847	陶器	鉢	縁口	(224)	93	83		灰白	にじい開削	紺付	肥前・美濃	内：印付印押付。底付を完全に焼く。	
84 2	E2847	陶器	鉢	縁口	(480)	151	138		灰白	輪轉	紺付	肥前・美濃	内：印付印押付。底付を完全に焼く。	
84 3	E2847	陶器	鉢	切口	(249)				明灰	輪轉	紺付	肥前	内：印付印押付。底付を完全に焼く。	
84 4	E2847	陶器	鉢	切口	(270)				明灰	輪轉	紺付	肥前	内：印付印押付。底付を完全に焼く。	
84 5	E2847	陶器	鉢	切口	(270)				明灰	輪轉	紺付	肥前	内：印付印押付。底付を完全に焼く。	
84 6	E2847	陶器	鉢	切口	61	97	58	82	にじい開削	板作り	紺付	肥前	内：印付印押付。底付を完全に焼く。	
84 7	E2847	陶器	鉢	切口	63	98	53	57	明灰	輪轉	紺付	肥前	内：印付印押付。底付を完全に焼く。	
84 8	E2847	陶器	鉢	切口	79	18	42		明灰	輪轉	紺付	肥前	内：印付印押付。底付を完全に焼く。	
84 9	E2847	陶器	鉢	切口	80	19	40		明灰	輪轉	紺付	肥前	内：印付印押付。底付を完全に焼く。	
84 10	E2847	陶器	皿	中古	82	17	44		明灰	輪轉	紺付	肥前	内：印付印押付。底付を完全に焼く。	
84 11	E2847	陶器	皿	中古	104	22	53		明灰	輪轉	紺付	肥前	内：印付印押付。底付を完全に焼く。	
84 12	E2847	陶器	皿	中古	107	20	62		明灰	輪轉	紺付	肥前	内：印付印押付。底付を完全に焼く。	
84 13	E2847	陶器	皿	中古	108	28	67		明灰	輪轉	紺付	肥前	内：印付印押付。底付を完全に焼く。	
84 14	E2847	陶器	皿	中古	137	25	82		明灰	輪轉	紺付	肥前	内：印付印押付。底付を完全に焼く。	

第24表 近世の陶器・土器観察表（B区）(23)

測量番号	出土	材質	種類	形様	法寸 (mm)				胎土色調	成形	施華等	指定生産地	備考 (印・路・文様・法等)	
					a	b	c	d						
85	1	E2849	磁器	碗	大碗	148	71	60	灰白	織輪	染付	肥前	内：模込み模様竹葉梅。一重輪縁。口縁部四隅傳文。外：月、羽、高台外周、一重輪縁。	
85	2	E2849	磁器	碗	小碗	88	44	36	灰白	織輪	染付	肥前	内：見込みコンニャク印御五瓣花。一重輪縁。高台四隅付。外：象頭口文。	
85	3	E2849	磁器	碗	小碗	76	36	26	灰白	織輪	染付	肥前	内：文政文。外：染付。	
85	4	E2849	磁器	碗	小碗	60	24	26	灰白	織輪	染付	肥前	外：良慶文。	
85	5	E2849	磁器	碗	足跡足	76	60	36	灰白	織輪	白拂	肥前	内：足跡足。	
85	6	E2849	磁器	皿	五寸皿	129	32	74	灰白	織輪	染付	肥前	内：見込みコンニャク印御五瓣花。一重輪縁。花押草文。外：月輪折枝。外文傳文。高台四隅付。外：模込み模様竹葉梅。	
85	7	E2849	陶器	碗	小碗	79	58	38	灰青	織輪	透明輪、直裏	京・信楽?	内：内面及びその周辺に施輪縁。外側は削出し。筋付?	
85	8	E2849	陶器	碗	大碗	138	63	52	棕	織輪	透明輪、白刷	肥前	内：内面及びその周辺に施輪縁。外側は削出し。筋付?	
85	9	E2849	陶器	碗	中碗	101	69	46	灰白	透明輪	肥前	内：内面及びその周辺に施輪縁。外側は削出し。筋付?		
85	10	E2849	陶器	碗	中碗	107	57	40	灰青	白刷	透明輪	肥前	内：内面ともに白刷により各部位毛口を施す。目附付。	
85	11	E2849	陶器	碗	小碗	90	55	40	灰白	透明輪、直裏	京・美濃	内：目附付で開口と水栓式。		
85	12	E2849	陶器	皿	小皿	130	28	82	浅黄	織輪	灰刷	瀬戸・美濃	付け舟。内：見込み模様竹葉梅による虎鉢花。日輪。外側面部と底盤部に施輪縁。外側面部は下端を削出する。	
85	13	E2849	陶器	皿	小皿	72	110	66	灰白	織輪	灰刷	瀬戸・美濃	内：内面及びその周辺に施輪縁。外側面部は下端を削出する。	
85	14	E2849	陶器	水注	小水注	48	106	72	154	灰青	塑押	政治(直裏)	瀬戸・美濃	内：内面及びその周辺に施輪縁。外側面部は下端を削出する。
85	15	E2849	陶器	水滴		17	33	64	灰白	塑押	灰刷	瀬戸・美濃	内：内面ともに白刷により各部位毛口を施す。目附付。	
85	16	E2849	陶器	器物	灯明受皿	79	57	67	145	織輪	(直裏)、今の點	瀬戸・美濃	内：立脚部は直脚で腰から外反し、内反しに折り返して肥厚させまる。口縁部は伏せ足を施り、底面は丸みを帯びる傾きがある。高台内側面部に丸みを削ぐ。外側面部は下端を削出する。	
85	17	E2849	土器	鉢	燒成灰身	65	98	52	76	灰青	操作台	白刷	近畿	近畿地区は伏せ足。底面中央切削調整。
85	18	E2849	土器	鉢	タココロ	40	16	28	棕	灰刷	灰刷	江戸・近畿	近畿地区未発見。	
85	19	E2849	土器	皿	五寸皿	156	33	90	棕	灰刷	灰刷	江戸・近畿	高台の腹部及び内側には底盤を施す。内側部の内底部と直裏部に丸みを削ぐ。外側面部は下端を削出する。	
85	20	E2875	陶器	碗	小碗	121	69	44	浅黄	織輪	灰刷	瀬戸・美濃	内：内面及びその周辺に施輪縁。外側面部は下端を削出する。	
85	21	E2875	陶器	碗	中碗	99	82	50	灰白	織輪	灰刷	瀬戸・美濃	内：内面及びその周辺に施輪縁。外側面部は下端を削出する。	
85	22	E2889	磁器	鉢	蓋置	78	39	40	灰白	織輪	染付	高台	内：文政文。外：竹、梅文。一重輪縁。	
85	2	E2889	磁器	鉢	七寸	74	55	42	灰白	織輪	染付	高台	内：文政文。外：竹、梅文。一重輪縁。	
85	3	E2889	陶器	皿	小皿	96	55	32	灰白	透明輪	付(木、舟、白刷)	京・信濃	高台とその周辺を引き締め、体部に草花文の上絵付あり。	
85	4	E2889	陶器	鉢	蓋物	96	72	54	棕	透明輪	付(木、舟)	京・信濃	日本深澤とその内側部は輪を引き取り。外側は白刷で巻取る。	
85	5	E2889	陶器	鉢	片口	120	87	86	14	浅黄根	織輪(直裏)、うらわぬ	瀬戸・美濃	高台の腹部及び内側には底盤を施す。内側部の内底部と直裏部に丸みを削ぐ。外側面部は下端を削出する。	
85	6	E2889	陶器	鉢	瓶	204	57	82	灰白	織輪	灰刷	瀬戸・美濃	内：内面り口と中腹。見込み模様に横筋を入れる。外：底脚付可逆型。	
85	7	E2889	陶器	皿	中皿	78	39	40	灰白	織輪	灰刷	瀬戸・美濃	内：内面り口と中腹。見込み模様に横筋を入れる。外：底脚付可逆型。	
85	8	E2889	土器	皿	小皿	78	13	44	棕	織輪	灰刷	江戸・近畿	近畿地区未発見。	
85	9	E3023	土器	鉢	小鉢	58	58	58	灰白	塑押	ち?	透明輪	内：底脚部を引き締め。外：草花文の上絵付あり。	
85	10	E3023	土器	鉢	小鉢	108	53	63	灰	織輪	灰刷	近畿	内：底脚部とその内側部は輪を引き取り。外側は白刷で巻取る。	
85	11	E3023	土器	鉢	小鉢	119	31	56	灰	織輪	灰刷	近畿	内：底脚部を引き締め。外：草花文の上絵付あり。見込みに口部付。	
85	12	E3023	土器	鉢	物盛身	59	93	59	76	にあい	操作台	無	洋蘭文葉 54 茜絞。	
85	13	E3023	土器	鉢	中碗	1126	67	72	灰白	織輪	灰刷、呂白刷	京・信濃?	全体的に焼成しており、水足によるものとみられる。底脚部と内側部は輪を引き取り。内側面部を削り出し。外側面部と外周部は長石を施す。外側面部は下端を削出する。	
85	14	E3024	陶器	鉢	七寸	(25)	144	灰白	織輪	呂白刷、呂白刷	京・美濃	内：底脚部を引き締め。外：草花文の上絵付あり。		
85	15	E3024	陶器	鉢	中軸	43	(77)	灰	織輪	灰刷	京・美濃	内：底脚部を引き締め。外：草花文の上絵付あり。		
87	1	B2952	磁器	碗	大碗	159	75	60	灰白	織輪	染付	肥前	内：月ひらき花文。一重輪縁。口縁部一重輪縁。外：海之内、高台外周、一重輪縁。	
87	2	B2952	磁器	碗	中碗	103	54	45	灰白	織輪	染付	肥前	内：月ひらき花文。一重輪縁。口縁部一重輪縁。外：海之内、高台外周、一重輪縁。	
87	3	B2952	磁器	碗	中碗	103	50	37	灰白	織輪	染付	肥前	内：忠臣蔵、忠、津櫻。	
87	4	B2952	磁器	碗	中碗	98	53	40	灰白	織輪	染付	肥前	内：忠臣蔵、忠、津櫻。	
87	5	B2952	磁器	碗	中碗	103	55	41	灰白	織輪	染付	肥前	内：忠臣蔵、朝顕御船。一重輪縁。真白、朝顕御船。外：内側面部に底要部の茎を引き締める。ボタン状の突出部を貼付する。	
87	6	B2952	磁器	碗	小碗	104	55	45	灰白	織輪	染付	肥前	内：忠臣蔵、忠、津櫻。	
87	7	B2952	磁器	碗	小碗	53	35	23	灰白	織輪	染付	肥前	内：忠臣蔵、忠、津櫻。	
87	8	B2952	磁器	碗	小碗	65	32	20	灰白	織輪	染付	肥前	内：忠臣蔵、忠、津櫻。	
87	9	B2952	磁器	碗	小碗	64	26	20	灰白	織輪	染付	肥前	内：忠臣蔵、忠、津櫻。	
87	10	B2952	磁器	碗	高足碗	81	61	43	灰白	織輪	染付	肥前	内：忠臣蔵、忠、津櫻。	
87	11	B2952	磁器	碗	高足碗	74	57	29	灰白	織輪	染付	肥前	内：忠臣蔵、忠、津櫻。	
87	12	B2952	磁器	碗	高足碗	58	54	34	灰白	織輪	染付	肥前	内：忠臣蔵、朝顕御船。一重輪縁。真白、朝顕御船。外：内側面部に底要部の茎を引き締める。	
87	13	B2952	磁器	碗	高足碗	71	50	40	灰白	織輪	染付	肥前	内：忠臣蔵、忠、津櫻。	
87	14	B2952	磁器	瓶	髪油舟	64	灰白	織輪	染付	肥前	内：忠臣蔵、忠、津櫻。			
87	15	B2952	磁器	瓶	小瓶	35	灰白	織輪	青磁	肥前	内：忠臣蔵、忠、津櫻。			
87	16	B2952	磁器	瓶	水注	92	27	51	灰白	塑押	染付	肥前	内：忠臣蔵、忠、津櫻。	

第25表 近世の陶磁器・土器観察表（B区）(24)

地名 番号	出土 材質	種類	形態	法規 (mm)				胎土色調	成形	施薬等	性定生産場	備考 (田・真・文殊・桂法等)
				a	b	c	d					
87 7 B2952 陶器 土 中綱 100 69 41 47 黄褐 磁輪 田原 田原											高台付は外側に施釉取り、施削する。	
87 18 B2952 陶器 土 中綱 100 76 55 47 黄白 磁輪 茶葉・灰葉 濱戸・美濃											内面及び外側の底盤上半に灰葉。高台付を除く底盤及び底盤下部に施釉を施す。	
87 19 B2952 陶器 土 中綱 93 56 47 黄白 磁輪 茶葉・灰葉 濱戸・美濃											外：灰葉・灰葉及び櫻園山水文を施く。高台付は中央に櫻葉の割り痕あり。施墨支の上給付。	
87 20 B2952 陶器 土 小綱 61 36 23 黄褐 磁輪 灰葉・灰葉 田原・土佐 京・信濃											高台は外側に施釉取りする。高台内は中央に櫻葉の割り痕あり。施墨支の上給付。	
87 21 B2952 陶器 土 香炉 118 73 85 浅黄相 磁輪 灰葉・灰葉 田原・美濃											外：平彫文丸ノミ状工具で施す。	
87 22 B2952 陶器 土 香炉 80 43 80 浅黄相 磁輪 灰葉・灰葉 田原・美濃											内：上部に施墨彫、外：側面に施墨。側面は施墨後に工具で削り取る形跡を残す。	
87 23 B2952 陶器 土 鉢 豆入れ 132 29 132 黄白 手作り 磁輪・透彫 田・信濃											内：上部に施墨彫、外：側面に施墨。側面は施墨後に工具で削り取る形跡を残す。	
87 24 B2952 陶器 土 小綱 34 60 に高い壺 磁輪 板作り 田原・水野 不明											内：上部に施墨彫、外：側面に施墨。側面は施墨後に工具で削り取る形跡を残す。	
88 1 B2952 陶器 土 小綱 91 61 47 黄白 磁輪 田原											引目。外：具装部で施墨水。	
88 1 B2952 陶器 土 五寸皿 150 34 82 黄白 磁輪 滴露井附 田原・美濃											割り出し高台・高台内及び付属を除く外側全面施墨。内：引目込込に切妻状の鉢底。	
88 3 B2952 陶器 土 大鉢 252 97 108 259 に高い壺 磁輪 白灰・灰葉・灰葉 田原・美濃											内：鉢底・底盤・内面及び外側に付属を除く外側全面施墨。外：引目込込に切妻状の鉢底。	
88 4 B2952 七寸 土 瓢 252 磁輪 田原・美濃											内：鉢底・底盤・内面及び外側に付属を除く外側全面施墨。外：引目込込に切妻状の鉢底。	
88 5 B2952 七寸 土 瓢 283 磁輪 田原・美濃											内：鉢底・底盤・内面及び外側に付属を除く外側全面施墨。外：引目込込に切妻状の鉢底。	
88 6 B2952 七寸 花口 直鉢受皿 31 60 90 黄褐 磁輪 田原・美濃											内：鉢底・底盤・内面及び外側に付属を除く外側全面施墨。外：引目込込に切妻状の鉢底。	
88 7 B2952 七寸 花口 地図模 77 20 76 黄褐 磁輪 印押し・板作り 田原・美濃											内：鉢底・底盤・内面及び外側に付属を除く外側全面施墨。外：引目込込に切妻状の鉢底。	
88 8 B2952 七寸 花口 地図模 73 42 61 黄褐 磁輪 印押し・板作り 田原・美濃											内：鉢底・底盤・内面及び外側に付属を除く外側全面施墨。外：引目込込に切妻状の鉢底。	
88 9 R2952 七寸 花口 地図模 603 (67) 56 (75) 明治期 板作り 田原・美濃											内：鉢底・底盤・内面及び外側に付属を除く外側全面施墨。外：引目込込に切妻状の鉢底。	
88 10 R2952 七寸 小鉢 16 10 32 黄褐 田原・美濃											内：鉢底・底盤・内面及び外側に付属を除く外側全面施墨。外：引目込込に切妻状の鉢底。	
88 11 R2952 七寸 小鉢 60 13 35 田原・美濃 磁輪 田原・美濃											内：鉢底・底盤・内面及び外側に付属を除く外側全面施墨。外：引目込込に切妻状の鉢底。	
88 12 R2952 七寸 小鉢 76 17 40 田原・美濃 磁輪 田原・美濃											内：鉢底・底盤・内面及び外側に付属を除く外側全面施墨。外：引目込込に切妻状の鉢底。	
88 13 R2952 七寸 小鉢 76 15 28 田原・美濃 磁輪 田原・美濃											内：鉢底・底盤・内面及び外側に付属を除く外側全面施墨。外：引目込込に切妻状の鉢底。	
88 14 R2952 七寸 小鉢 100 21 40 田原・美濃 磁輪 田原・美濃											内：鉢底・底盤・内面及び外側に付属を除く外側全面施墨。外：引目込込に切妻状の鉢底。	
88 15 R2952 七寸 小鉢 132 26 70 田原・美濃 磁輪 田原・美濃											内：鉢底・底盤・内面及び外側に付属を除く外側全面施墨。外：引目込込に切妻状の鉢底。	
89 1 R3025 陶器 土 中綱 108 59 40 黄白 磁輪 染付 田原・美濃											内：引目込込と一側面。一側面は「田原製不文様」。外：「田原一側面」。染付。青花・金彩・金刷。高台・直脚。	
89 2 R3025 陶器 土 小綱 86 58 30 黄白 磁輪 染付 田原・美濃											内：引目込込と一側面。一側面は「田原製不文様」。外：「田原一側面」。染付。青花・金彩・金刷。高台・直脚。	
89 3 R3025 陶器 土 小綱 76 59 38 黄白 磁輪 染付 田原・美濃											内：引目込込と一側面。一側面は「田原製不文様」。外：「田原一側面」。染付。青花・金彩・金刷。高台・直脚。	
89 4 R3025 R3025 陶器 土 小綱 88 47 32 田原・美濃 磁輪 染付 田原・美濃											内：引目込込と一側面。一側面は「田原製不文様」。外：「田原一側面」。染付。青花・金彩・金刷。高台・直脚。	
89 5 R3025 陶器 土 小綱 80 42 30 田原・美濃 磁輪 染付 田原・美濃											内：引目込込と一側面。一側面は「田原製不文様」。外：「田原一側面」。染付。青花・金彩・金刷。高台・直脚。	
89 6 R3025 陶器 土 圖柄 92 23 34 黄白 磁輪 染付 田原・美濃											内：引目込込と一側面。一側面は「田原製不文様」。外：「田原一側面」。染付。青花・金彩・金刷。高台・直脚。	
89 7 R3025 陶器 土 中綱 121 52 36 黄褐 磁輪 灰葉 田原・美濃											内：底盤・底葉。外：「田原」で鉢底・底葉に枝を掲ぎ、全体に施墨を施す。高台付を除く。高台付は枝を掲ぎ、全体に施墨を施す。	
89 8 R3025 陶器 土 中綱 119 69 54 磁輪 灰葉 田原・美濃											内：底盤・底葉。外：「田原」で鉢底・底葉に枝を掲ぎ、全体に施墨を施す。高台付を除く。高台付は枝を掲ぎ、全体に施墨を施す。	
89 9 R3025 陶器 土 中綱 116 43 3.5 黄白 透彫 田原・美濃											内：引目込込と一側面。一側面は「花咲草文」。高台付を除く。透彫を施す。	
89 10 R3025 陶器 土 小鉢 129 38 58 黄白 透彫 田原・美濃											内：引目込込と一側面。一側面は「花咲草文」。高台付を除く。透彫を施す。	
89 11 R3025 陶器 土 小鉢 78 18 29 黄白 透彫 田原・美濃											内：引目込込と一側面。一側面は「花咲草文」。高台付を除く。透彫を施す。	
89 12 R3025 陶器 土 小鉢 119 R3.85 66 磁輪 透彫 田原・美濃											内：引目込込と一側面。一側面は「花咲草文」。外：「田原一側面」。透彫。	
89 13 R3025 陶器 土 24 87 田原・美濃 磁輪 透彫 田原・美濃											内：引目込込と一側面。一側面は「花咲草文」。外：「田原一側面」。透彫。	
89 14 R3025 陶器 土 小手筋 16 44 陶黄 0 二手びね 田原・美濃											内：引目込込と一側面。一側面は「花咲草文」。外：「田原一側面」。透彫。	
89 15 R3025 七寸 花口 直鉢受皿 77 76 75 47 明治期 磁輪 透彫 田原・美濃											内：底盤・底葉。外：「田原」で鉢底・底葉に枝を掲ぎ、全体に施墨を施す。高台付を除く。底盤や中空を施す。	
89 16 R3025 七寸 花口 47 磁輪 透彫 田原・美濃											内：底盤・底葉。外：「田原」で鉢底・底葉に枝を掲ぎ、全体に施墨を施す。高台付を除く。底盤や中空を施す。	
89 17 R3025 七寸 地図模 たこころ 78 35 35 磁輪 不明 透彫 田原・美濃											内：底盤・底葉。外：「田原」で鉢底・底葉に枝を掲ぎ、全体に施墨を施す。高台付を除く。底盤や中空を施す。	
89 18 R3025 七寸 小鉢 133 26 70 磁輪 透彫 田原・美濃											内：底盤・底葉。外：「田原」で鉢底・底葉に枝を掲ぎ、全体に施墨を施す。高台付を除く。底盤や中空を施す。	
89 19 R3025 七寸 小鉢 107 21 55 磁輪 透彫 田原・美濃											内：底盤・底葉。外：「田原」で鉢底・底葉に枝を掲ぎ、全体に施墨を施す。高台付を除く。底盤や中空を施す。	
89 20 R3025 七寸 花口 磁輪 田原・美濃											内：底盤・底葉。外：「田原」で鉢底・底葉に枝を掲ぎ、全体に施墨を施す。高台付を除く。底盤や中空を施す。	
89 21 R3039 陶器 土 中綱 (96) 55 36 田原・美濃 磁輪 染付 田原・美濃											内：「田原製不文」。高台付を除く。高台付無無。	
89 22 R3039 陶器 土 小鉢 (52) 42 25 田原・美濃 磁輪 染付 田原・美濃											内：底盤・底葉。外：「田原」で鉢底・底葉に枝を掲ぎ、全体に施墨を施す。高台付を除く。底盤や中空を施す。	
89 23 R3039 陶器 土 花器 77 23 26 田原・美濃 磁輪 染付 田原・美濃											内：底盤・底葉。外：「田原」で鉢底・底葉に枝を掲ぎ、全体に施墨を施す。高台付を除く。底盤や中空を施す。	
89 24 R3039 陶器 小鉢 丸形 (30) 35 51 田原・美濃 磁輪 染付 田原・美濃											内：底盤・底葉。外：「田原」で鉢底・底葉に枝を掲ぎ、全体に施墨を施す。高台付を除く。底盤や中空を施す。	
89 25 R3039 七寸 花口 田原受皿 75 70 070 48 磁輪 透彫 田原・美濃											内：底盤・底葉。外：「田原」で鉢底・底葉に枝を掲ぎ、全体に施墨を施す。高台付を除く。底盤や中空を施す。	
90 1 R3070 陶器 土 大鉢 123 60 42 田原・美濃 磁輪 灰葉 田原・美濃											内：「田原製不文」。高台付を除く。	
90 2 R3084 陶器 土 中綱 119 49 49 田原・美濃 磁輪 灰葉 田原・美濃											内：引目込込と一側面。側面の御印は「田原製」で、体部には「田原」で施す。	
90 3 R3084 七寸 小鉢 (196) 90 132 明治期 磁輪 灰葉 田原・美濃											内：底盤・底葉。外：「田原」で鉢底・底葉に枝を掲ぎ、全体に施墨を施す。高台付を除く。底盤や中空を施す。	
90 4 B3215 陶器 土 中綱 100 52 36 田原・美濃 磁輪 染付 田原・美濃											内：「田原」水波文。外：「田原」内：「田原」字記。	
90 5 B3215 陶器 土 中綱 93 54 35 田原・美濃 磁輪 染付 田原・美濃											内：「田原」水波文。外：「田原」内：「田原」字記。	
90 6 B3215 陶器 土 中綱 62 31 23 田原・美濃 磁輪 染付 田原・美濃											内：「田原」水波文。	
90 7 B3215 陶器 小鉢 (131) 30 869 田原・美濃 磁輪 染付 田原・美濃											内：コニッケ利印。裏：「田原」。二重脚輪。外：「田原製」。内：「田原」。	
90 8 B3215 陶器 土 中綱 108 56 39 田原・美濃 磁輪 灰葉 田原・美濃											内：底盤・底葉を施す。外：「田原」。	
90 9 B3215 陶器 土 中綱 95 62 48 田原・美濃 磁輪 不明 田原・美濃											内：「田原」水波文。	
90 10 B3215 陶器 土 中綱 92 59 30 田原・美濃 磁輪 透彫 田原・美濃											内：底盤・底葉を施す。外：「田原」。	
90 11 B3215 陶器 土 中綱 90 64 (56) 田原・美濃 磁輪 灰葉 田原・美濃											内：底盤・底葉を施す。外：「田原」。	
90 12 B3215 陶器 土 球根 200 70 79 淡黄 磁輪 透彫 田原・美濃											内：底盤・底葉を施す。外：「田原」。	
90 13 B3215 陶器 土 丸形 68 132 63 田原・美濃 磁輪 染付 田原・美濃											内：底盤・底葉を施す。外：「田原」。	

第26表 近世の陶磁器・土器観察表（B区）(25)

規範番号	出土点	材質	種類	形態	法規 (mm)				胎土色調	成形	釉薬等	判定生産地	備考 (田・萬・文殊・桂芳等)	
					x	y	z	d						
90 14	B3215	陶器	茶碗	台付丸たん 二重唇	55	61	53		灰白	織輪	鉢底 (黒墨)	瀬戸・美濃	付台丸たんの形態、底墨黒。笠立丸唇。成形を全く全面に施釉。底墨も全面に施釉。壁墨なし。	
90 15	B3215	陶器	茶碗	中唇	94	140	58	14.2	灰白	織輪	底付 (白墨)	瀬戸・美濃	成形はヘラタリ彫物。	
90 16	B3215	陶器	茶碗	中唇	260				灰白	織輪	底付	瀬戸・美濃	底付、深め。器高4cm前後。口縁底4mm缺。	
90 17	B3215	陶器	茶碗	中唇	265				灰白	織輪	底付	瀬戸・美濃	深め。器高4cm前後。口縁底4mm缺。	
90 18	B3215	陶器	茶碗	中唇	265				灰白	織輪	底付	瀬戸・美濃	深め。器高4cm前後。口縁底4mm缺。	
90 19	B3215	陶器	茶碗	中唇	63	94	54	74	灰白	織輪	底付	瀬戸・美濃	井筒付4.54表記。	
90 20	B3215	陶器	茶碗	小唇	58	10	28		灰白	織輪	底付	瀬戸・美濃	成形は口4周整。壁墨なし。	
90 21	B3215	陶器	茶碗	小唇	78	17	38		灰白	織輪	底付	瀬戸・美濃	底墨付口4周整。壁墨なし。	
91 1	B3223	磁器	碗	小碗	100	53	40		灰白	織輪	裏付	肥前	内:丸み小花文。外:素面。口縁底4mm前後。一重脚輪。高台と脚輪。外:ヨコシマタリ彫物。	
91 2	B3223	磁器	碗	小碗	88	49	34		灰白	織輪	裏付	肥前	丸み小花文。内:横筋小花文。底墨文。一重脚輪。高台と脚輪。	
91 3	B3223	磁器	碗	小碗	86	49	36		灰白	織輪	裏付	肥前	内:ヨコシマタリ彫物。外:高台と脚輪。	
91 4	B3223	磁器	碗	大碗	159	68	70		灰白	織輪	裏付	肥前	内:丸み小花文。外:素面。口縁底4mm前後。一重脚輪。高台と脚輪。	
91 5	B3223	磁器	碗	中唇	82	54	48		灰白	織輪	裏付	肥前	丸み小花文。内:横筋小花文。底墨文。一重脚輪。高台と脚輪。	
91 6	B3223	陶器	碗	中唇	108	71	28		灰白	織輪	底付	肥前	丸み小花文。内:横筋小花文。底墨文。一重脚輪。高台と脚輪。	
91 7	B3223	陶器	碗	大碗	159	68	70		灰白	織輪	底付	肥前	丸み小花文。内:横筋小花文。底墨文。一重脚輪。高台と脚輪。	
91 8	B3223	陶器	碗	中唇	114	53	42		灰白	織輪	底付	肥前	丸み小花文。内:横筋小花文。底墨文。一重脚輪。高台と脚輪。	
91 9	B3223	陶器	碗	中唇	92	54	42		灰白	織輪	底付	肥前	丸み小花文。内:横筋小花文。底墨文。一重脚輪。高台と脚輪。	
91 10	B3223	陶器	碗	中唇	54	33	22		灰白	織輪	裏付	肥前	外:文様手形。	
91 11	B3223	陶器	碗	中唇	52	76	54		灰白	織輪	裏付	肥前	内:横筋の内花文。外:素面。口縁底4mm前後。手形で底面を叩き施釉。手形で、底面の溝を削除する。	
91 12	B3223	陶器	水注	中水注	45	103	68		灰白	織輪	底付	鉢底 (黒墨)	瀬戸・美濃	把手一端部斜。把手子の中央部は堅骨。削り出した舟形。把手子の側面は堅骨。底墨なし。
91 13	B3223	陶器	水注	中水注	106	22	52		灰白	織輪	底付	鉢底 (黒墨)	外:底墨付舟形。半立ち底墨にかけてマズリ。	
91 14	B3223	陶器	水注	中水注	118	27	52	74	灰白	織輪	底付	鉢底 (黒墨)	外:底墨付舟形。	
91 15	B3223	土器	鉢	大鉢	300	172	210	309	橙	織輪	底付	瀬戸在地	内:底墨の内花文。外:底墨を叩き施釉。手形で、底面の溝を削除する。	
91 16	B3223	陶器	水注	中水注	102	48	54	72	橙	織輪	底付	瀬戸在地	把手一端部斜。把手子の中央部は堅骨。削り出した舟形。把手子の側面は堅骨。底墨なし。	
91 17	B3223	土器	鉢	中唇	280				灰白	織輪	底付	瀬戸在地	把手一端部斜。把手子の中央部は堅骨。削り出した舟形。把手子の側面は堅骨。底墨なし。	
91 18	B3223	土器	鉢	中唇	297	74			灰白	織輪	底付	瀬戸在地	把手一端部斜。把手子の中央部は堅骨。削り出した舟形。把手子の側面は堅骨。底墨なし。	
91 19	B3223	土器	鉢	中唇	100	69	53	78	灰白	織輪	底付	瀬戸在地	把手一端部斜。把手子の中央部は堅骨。削り出した舟形。把手子の側面は堅骨。底墨なし。	
91 20	B3223	土器	鉢	中唇	82	174			灰白	織輪	底付	瀬戸在地	把手一端部斜。把手子の中央部は堅骨。削り出した舟形。把手子の側面は堅骨。底墨なし。	
91 21	B3223	土器	鉢	中唇	84	79	42		灰白	織輪	底付	瀬戸在地	把手一端部斜。把手子の中央部は堅骨。削り出した舟形。把手子の側面は堅骨。底墨なし。	
91 22	B3223	土器	鉢	中唇	63	12	38		灰白	織輪	底付	瀬戸在地	把手一端部斜。把手子の中央部は堅骨。削り出した舟形。把手子の側面は堅骨。底墨なし。	
92 1	B3263	陶器	碗	中唇	(106)	27	96		灰白	織輪	裏付	肥前	内:丸み小花文。外:底墨付舟形。	
92 2	B3263	陶器	碗	中唇	89	62	46		灰白	織輪	裏付	肥前	内:丸み小花文。外:底墨付舟形。	
92 3	B3263	陶器	碗	中唇	86	207	87	浅黄	織輪	裏付	か	内:丸み小花文。外:底墨付舟形。		
92 4	B5025	陶器	碗	圓錐					灰白	織輪	裏付	瀬戸・美濃	底墨付舟形。	
92 5	B5025	陶器	碗	中唇	?				灰白	織輪	底付	瀬戸・美濃	底墨付舟形。	
92 6	B5042	陶器	皿	打目皿	105	26	51		浅黄	織輪	底付	瀬戸・美濃	内:足立丸文。外:素面。口縁底4mm前後。底脚取付。底墨付舟形。	
92 7	B5042	土器	皿	中唇	297	74			浅黄	織輪	底付	瀬戸在地	内:足立丸文。外:素面。口縁底4mm前後。底脚取付。底墨付舟形。	
92 8	B5048	陶器	碗	中唇	98	56	62		灰白	織輪	裏付	肥前	内:丸み小花文。外:素面。口縁底4mm前後。底脚取付。底墨付舟形。	
92 9	B5048	陶器	碗	中唇	54	174			灰白	織輪	裏付	肥前	内:丸み小花文。外:素面。口縁底4mm前後。底脚取付。底墨付舟形。	
92 10	B5074	陶器	鉢	舌付	125	129	108		灰白	織輪	裏付	肥前	内:足立丸文。外:素面。口縁底4mm前後。底脚取付。底墨付舟形。	
92 11	B5074	陶器	鉢	舌付	58	98	50	75	灰白	織輪	裏付	肥前	内:足立丸文。外:素面。口縁底4mm前後。底脚取付。底墨付舟形。	
93 1	B5082	磁器	碗	大碗	144	69	54		灰白	織輪	裏付	肥前	内:丸み小花文。外:素面。口縁底4mm前後。底脚取付。底墨付舟形。	
93 2	B5082	磁器	碗	中唇	98	51	35		灰白	織輪	裏付	肥前	内:丸み小花文。外:素面。口縁底4mm前後。底脚取付。底墨付舟形。	
93 3	B5082	磁器	碗	中唇	107	54	36		灰白	織輪	裏付	肥前	内:丸み小花文。外:素面。口縁底4mm前後。底脚取付。底墨付舟形。	
93 4	B5082	磁器	碗	中唇	103	54	56		灰白	織輪	裏付	肥前	内:丸み小花文。外:素面。口縁底4mm前後。底脚取付。底墨付舟形。	
93 5	B5082	磁器	碗	中唇	106	59	44		灰白	織輪	裏付	肥前	内:丸み小花文。外:素面。口縁底4mm前後。底脚取付。底墨付舟形。	
93 6	B5082	磁器	碗	中唇	74	62	37		灰白	織輪	裏付	肥前	内:ヨコシマタリ彫物。	
93 7	B5082	磁器	碗	中唇	88	56	33		灰白	織輪	裏付	肥前	内:ヨコシマタリ彫物。	
93 8	B5082	磁器	碗	中唇	73	40	35		灰白	織輪	裏付	肥前	内:ヨコシマタリ彫物。	
93 9	B5082	磁器	碗	中唇	67	23	27		灰白	織輪	裏付	肥前	内:ヨコシマタリ彫物。	
93 10	B5082	磁器	碗	中唇	54	24	15		灰白	織輪	裏付	肥前	内:ヨコシマタリ彫物。	
93 11	B5082	磁器	皿	小皿	127	31	75		灰白	織輪	裏付	肥前	内:ヨコシマタリ彫物。	
93 12	B5082	磁器	皿	小皿	128	35	74		灰白	織輪	裏付	肥前	内:ヨコシマタリ彫物。	
93 13	B5082	磁器	皿	小皿	130	32	84		灰白	織輪	裏付	肥前	内:ヨコシマタリ彫物。	
93 14	B5082	磁器	皿	小皿	124	27	84		灰白	織輪	裏付	肥前	内:ヨコシマタリ彫物。	
93 15	B5082	磁器	皿	小皿	118	21	78		灰白	織輪	裏付	肥前	内:ヨコシマタリ彫物。	
93 16	B5082	磁器	皿	小皿	105	28	62		灰白	織輪	裏付	肥前	内:ヨコシマタリ彫物。	
93 17	B5082	磁器	皿	小皿	106	26	58		灰白	織輪	裏付	肥前	内:ヨコシマタリ彫物。	

第27表 近世の陶器・土器観察表（B区）(26)

測量番号 種類	出土 場所	材質	被覆	沿標	法面 (mm)				胎色	成形	施葉等	推定生産地	備考 (図・写真・文様・技法等)
					a	b	c	d					
94-1	I B5082	磁器	田 小鉢	100	22	60			灰白	織繩	染付	肥前	内：相馬守永文、漆口。外：山口第一重圓錐、外：佐草文、古白第一重圓錐、古白二重圓錐、古白付付錐。
94-2	I B5082	磁器	田 小鉢	104	23	58			灰白	織繩	染付	肥前	内：相馬守永文、外：西阿佐、高白點一重圓錐、古白一重圓錐、古白付付錐。
94-3	I B5082	磁器	鉢 小鉢	97	64	49			灰白	織繩	染付	肥前	内：切込み丸底竹梅文。二重圓錐、山口第二重圓錐、外：山田文、鉢文、高白文×文、山口部文様あり。外：相馬守永文、高白×文、高白點一重圓錐、「奇玉」款。
94-4	I B5082	磁器	鉢 細口	74	58	50			灰白	織繩	染付	肥前	内：内：矢張文、一重圓錐、「山口第二重圓錐、外：山田文、鉢文、一重圓錐、古白、非圓錐、古白付付錐。
94-5	I B5082	磁器	瓶 麦粒形	21	74	34			灰白	織繩	染付	肥前	内：相馬守永文、圓錐、高台付付錐。
94-6	I B5082	磁器	瓶 小瓶	17	96	33	53		灰白	織繩	染付	肥前	内：相馬守永文、高白×文、山口部文様あり。外：相馬守永文、高白×文、高白付付錐、研付文。
94-7	I B5082	磁器	瓶 小瓶	28	156	42	84		灰白	織繩	染付	肥前	内：中の相馬文、一重圓錐、山口部文様。外：相馬文、高台付付錐、内：一重圓錐、高台路筋。
94-8	I B5082	磁器	蓋 滅器	110	30	60			灰白	織繩	染付	肥前	内：相馬守永文、雲龍文を内外面に施錠。透底錠あり。所は寸用付。
94-9	I B5082	磁器	蓋 割物蓋	87	27	97			灰白	織繩	染付	肥前	内：相馬守永文、雲龍文を内外面に施錠。透底錠あり。所は寸用付。
94-10	I B5082	磁器	蓋 割物蓋	71	24	79			灰白	織繩	染付	肥前	内：相馬守永文、雲龍文を内外面に施錠。透底錠あり。所は寸用付。
94-11	I B5082	磁器	蓋 合口蓋	51	10	52			灰白	織繩	染付	肥前	内：相馬守永文、鉢形内。
94-12	I B5082	磁器	蓋 合口蓋	52	8				灰白	織繩	染付	肥前	内：相馬子、鉢、瓦筒形。
94-13	I B5082	磁器	蓋 割物蓋	50	19	56			灰白	織繩	染付	肥前	内：相馬守永文、瓦筒形を内外面に施錠。
94-14	I B5082	磁器	蓋 滅器	91	25	50			灰白	織繩	染付	肥前	内：相馬守永文、一重圓錐、山口部文様。外：一重圓錐、非圓錐。輪五瓣足無。
94-15	I B5082	陶器	碗 大碗	127	57	44			浅黄白	織繩	白模	肥前	内：相馬守永文、圓錐、白模。
94-16	I B5082	陶器	碗 小碗	118	57	44			灰白	織繩	白模	肥前	内：相馬守永文、外表面は緑色を絞り、透けける。体部は飛滑で質をもつ。
94-17	I B5082	陶器	碗 中碗	95	59	36			灰白	織繩	灰模	肥前	内：相馬守永文、中碗。
94-18	I B5082	陶器	碗 小碗	88	54	37			灰白	織繩	灰模	肥前	内：相馬守永文、中碗。
94-19	I B5082	陶器	碗 小碗	112	65	43			灰白	織繩	灰模	肥前	内：相馬守永文、圓錐。
94-20	I B5082	陶器	碗 中碗	107	66	43	115		灰白	織繩	灰模	肥前	内：相馬守永文、圓錐。
94-21	I B5082	陶器	碗 中碗	87	64	34	93		灰白	織繩	白模 黄模	肥前	内：相馬守永文、中碗。
94-22	I B5082	陶器	碗 大碗	123	50	43			灰白	織繩	灰模	肥前	内：相馬守永文、中碗。
94-23	I B5082	陶器	皿 小皿	76	15	40			浅黄白	織繩	灰模	肥前	内：相馬守永文、中碗。
94-24	I B5082	陶器	皿 小皿	106	22	46			浅黄白	織繩	白模	肥前	内：相馬守永文、中碗。
94-25	I B5082	陶器	皿 小皿	128	23	62			浅黄白	織繩	白模	肥前	内：相馬守永文、中碗。
94-26	I B5082	陶器	皿 小皿	101	64	55			灰白	望天打	灰模	肥前	内：相馬守永文、中碗。
94-27	I B5082	陶器	皿 月日	168	84	70			灰白	織繩	灰模	不明	把手付、内外面全圓錐。
95-1	I B5082	陶器	皿 小皿	188	46	74			灰	織繩	灰 淡青	肥前	内：相馬守永文、淡青色を施錠。外側は飛滑で質をもつ。
95-2	I B5082	陶器	皿 小皿	96	21	44			灰白	織繩	淡青	肥前	内：相馬守永文、淡青色を施錠。外側は飛滑で質をもつ。
95-3	I B5082	陶器	皿 蓋物	88	65	52			灰白	織繩	淡青	肥前	内：相馬守永文、淡青色を施錠。外側は飛滑で質をもつ。
95-4	I B5082	陶器	水注 急注	85	63	29			灰白	織繩	急注	肥前	内：相馬守永文、急注。
95-5	I B5082	陶器	水注 小皿	71	82	60	97		灰白	織繩	急注	肥前	内：相馬守永文、急注。
95-6	I B5082	陶器	水注 水注	120	77	77	155		灰白	織繩	急注	肥前	内：相馬守永文、急注。
95-7	I B5082	陶器	水注 水注	85	63	29			灰白	織繩	急注	肥前	内：相馬守永文、急注。
95-8	I B5082	陶器	蓋 深し蓋	14					灰白	織繩	急注	肥前	内：相馬守永文、急注。
95-9	I B5082	陶器	蓋 深し蓋	22					橙	織繩	急注	肥前	内：相馬守永文、急注。
95-10	I B5082	陶器	蓋 深し蓋	24					灰白	織繩	急注	肥前	内：相馬守永文、急注。
95-11	I B5082	陶器	蓋 深し蓋	13					灰白	織繩	急注	肥前	内：相馬守永文、急注。
95-12	I B5082	陶器	蓋 土器蓋	60	33	99	140		灰白	織繩	急注	肥前	内：相馬守永文、土器蓋。
95-13	I B5082	陶器	蓋 土器蓋	62	40	40			灰白	織繩	急注	肥前	内：相馬守永文、土器蓋。
95-14	I B5082	陶器	蓋 口押受	74	15	34	49		灰白	織繩	急注	肥前	内：相馬守永文、口押受。
95-15	I B5082	陶器	蓋 口押受	108	20	50	82		灰白	織繩	急注	肥前	内：相馬守永文、口押受。
95-16	I B5082	陶器	蓋 亂形	470	190	230			灰	織繩	急注	肥前	内：相馬守永文、乱形。
95-17	I B5082	陶器	蓋 亂形	90	55	48			明治	織繩	急注	江戸時代	内：相馬守永文、乱形。
95-18	I B5082	陶器	土器	211	99	140			相模又 は他模	織繩	急注	江戸時代	内：相馬守永文、土器。
95-19	I B5082	陶器	土器	82	83	80	54		相模又 は他模	織繩	急注	江戸時代	内：相馬守永文、土器。
95-20	I B5082	陶器	土器	74	15	34	49		灰白	織繩	急注	江戸時代	内：相馬守永文、土器。
95-21	I B5082	陶器	土器	170	150	224			明治	織繩	急注	江戸時代	内：相馬守永文、土器。
95-22	I B5082	陶器	土器	336					相模又 は他模	織繩	急注	江戸時代	内：相馬守永文、土器。
95-23	I B5082	陶器	土器	62	11	11	39		相模	織繩	急注	江戸時代	内：相馬守永文、土器。
95-24	I B5082	陶器	土器	58	9	37	37		相模	織繩	急注	江戸時代	内：相馬守永文、土器。
95-25	I B5082	陶器	土器	57	56	48	69		相模	織繩	急注	江戸時代	内：相馬守永文、土器。

第28表 近世の陶磁器・土器観察表（B区）(27)

測量番号	出土地	材質	種類	寸幅	法規 (mm)				胎土色調	成形	施華等	推定生産場	備考 (印)・場・文様・技法等
					x	y	z	d					
96_6	E5082	土器	鉢	地盤身	57	47	42	59	明褐色	模様	江戸内地	津屋山第4号	印
96_7	E5082	土器	皿	小鉢	82	16	49	49	褐	模様	江戸内地	内井手本林地	模様
96_8	E5082	土器	皿	中鉢	90	18	48	48	褐	模様	江戸内地	近江手本林地	印
96_9	E5082	土器	皿	大鉢	117	26	66	66	褐	模様	江戸各地	近江手本林地	印
96_10	E5082	土器	皿	小皿	122	23	65	65	白い開口色	模様	江戸内地	近江手本林地	模様
96_11	E5086	磁器	碗	中碗	114	66	44	44	灰白	模様	染付	肥前	内: 桜の花文、茶・墨調紋、口縁部・一重輪郭、外: 絞緋山水文、柄、乳頭、足裏
96_12	E5086	磁器	碗	中碗	114	61	44	44	灰白	模様	染付	肥前	内: 桜の花文、茶・墨調紋、口縁部・一重輪郭、外: 絞緋山水文、柄、乳頭、足裏
96_13	E5086	磁器	碗	中碗	114	63	63	63	灰白	模様	染付	肥前	内: 桜の花文、茶・墨調紋、口縁部・一重輪郭、外: 絞緋山水文、柄、乳頭、足裏
96_14	E5086	磁器	碗	中碗	104	57	42	42	灰白	模様	染付	肥前	内: 桜の花文、茶・墨調紋、口縁部・一重輪郭、外: 絞緋山水文、柄、乳頭、足裏
96_15	E5086	磁器	碗	中碗?	98	61	36	36	灰白	模様	染付	中国	供御品。内: 桜の花文、茶・墨調紋、高台・垂葉、高足、身及び一重輪郭、高台に「官窑」款。
96_16	E5086	磁器	碗	中碗?	56				灰白	模様	白磁	中国	内: 桜の花文、茶・墨調紋、口縁部・一重輪郭、外: 不透明、足底部・一重輪郭、高台・垂葉、供御品。
96_17	E5086	磁器	碗	小碗	78	55	36	36	灰白	模様	染付	肥前?	内: 桜の花文、茶・墨調紋、口縁部・一重輪郭、外: 一重輪郭、高台・垂葉、足裏
96_18	E5086	磁器	碗	小碗	82	51	40	40	灰白	模様	染付	肥前	内: 桜の花文、茶・墨調紋、口縁部・一重輪郭、外: 一重輪郭、高台・垂葉、足裏
96_19	E5086	磁器	碗	小碗	70	47	30	30	灰白	模様	白磁	肥前?	内: 文字不明、体部上部及び足部に 朱調紋、背: 11月桂樹・重輪郭、体部文様不明、高台・垂葉、高台・朱調紋、高台・垂葉。
96_20	E5086	磁器	碗	小碗	90	46	38	38	灰白	模様	青花	中国	内: 文字不明、体部上部及び足部に 朱調紋、背: 11月桂樹・重輪郭、体部文様不明、高台・垂葉、高台・朱調紋、高台・垂葉。
96_21	E5086	磁器	碗	小鉢	82	54	34	34	灰白	模様	白磁	肥前?	内: 桜の花文、茶・墨調紋、高台・垂葉、高台・朱調紋、高台・垂葉。
96_22	E5086	磁器	碗	小鉢	69	48	32	32	灰白	模様	白磁	肥前?	内: 桜の花文、茶・墨調紋、高台・垂葉、高台・朱調紋、高台・垂葉。
96_23	E5086	磁器	碗	小鉢	59	40	27	27	灰白	模様	染付	肥前?	内: 桜の花文、茶・墨調紋、口縁部・一重輪郭、外: 銀彩、足底部・一重輪郭、高台・垂葉、足裏
96_24	E5086	磁器	碗	小鉢	55	33	24	24	白	模様	青花	中国?	内: 文字不明、体部上部及び足部に 朱調紋、背: 11月桂樹・重輪郭、体部文様不明、高台・垂葉、高台・朱調紋、高台・垂葉。
97_1	E5086	磁器	碗	中碗	101	54	43	43	灰白	模様	白磁	上付	肥前?
97_2	E5086	磁器	碗	中碗	67	32	22	22	灰白	模様	白磁	肥前?	内: 桜の花文、茶・墨調紋、高台・垂葉、高台・朱調紋、高台・垂葉。
97_3	E5086	磁器	碗	小碗	56	24	28	28	灰白	模様	染付	肥前?	内: 桜の花文、茶・墨調紋、口縁部・一重輪郭、背: 乾、竹・月桂樹・重輪郭、足部: 11月桂樹・重輪郭、外: 銀彩、足底部・一重輪郭、高台・垂葉、足裏
97_4	E5086	磁器	碗	中碗	90	55	42	42	灰白	模様	青花	中国?	内: 文字不明、体部上部及び足部に 朱調紋、背: 11月桂樹・重輪郭、足部: 11月桂樹・重輪郭、外: 銀彩、足底部・一重輪郭、高台・垂葉、足裏
97_5	E5086	磁器	碗	乳鉢	68	68	39	39	灰白	模様	白磁	肥前?	内: 文字不明、足部: 11月桂樹・重輪郭、足裏
97_6	E5086	磁器	碗	乳鉢	86	69	43	43	灰白	模様	染付	肥前?	内: 文字不明、足部: 11月桂樹・重輪郭、足裏
97_7	E5086	磁器	碗	小皿	75	19	38	38	灰白	型打ち	染付	肥前?	内: 文字不明、足部: 11月桂樹・重輪郭、足裏
97_8	E5086	磁器	皿	中皿	(246)	154			灰白	模様	染付	肥前?	内: 文字無し。背: 2寸? 1, 上縁第一重輪郭・一重輪郭、内: 文字有り。足部: 11月桂樹・重輪郭、足裏
97_9	E5086	磁器	皿	中皿	(220)	57	69	69	灰白	模様	染付	肥前?	内: 文字無し。背: 2寸? 1, 上縁第一重輪郭、内: 文字有り。足部: 11月桂樹・重輪郭、足裏
97_10	E5086	磁器	皿	中皿	222	53	86	86	灰白	模様	青花	肥前?	内: 文字無し。背: 11月桂樹・重輪郭、足部: 11月桂樹・重輪郭、足裏
97_11	E5086	磁器	皿	詰	48				灰白	模様	青花	三寸?	内: 文字無し。背: 11月桂樹・重輪郭、足部: 11月桂樹・重輪郭、足裏
97_12	E5086	磁器	皿	詰	69	45	39	39	灰白	模様	白磁	肥前?	内: 文字無し。背: 11月桂樹・重輪郭、足部: 11月桂樹・重輪郭、足裏
97_13	E5086	磁器	皿	詰	56	53	39	39	灰白	模様	染付	肥前?	内: 文字無し。背: 11月桂樹・重輪郭、足部: 11月桂樹・重輪郭、足裏
98_1	E5086	磁器	皿	五寸皿	153	21	94	94	灰白	模様	染付	肥前?	内: 文字無し。背: 五寸? 1, 11月桂樹・重輪郭、足部: 11月桂樹・重輪郭、足裏
98_2	E5086	磁器	皿	五寸皿	140	32	64	64	灰白	型打ち	染付	肥前?	内: 文字無し。背: 五寸? 1, 11月桂樹・重輪郭、足部: 11月桂樹・重輪郭、足裏
98_3	E5086	磁器	皿	五寸皿	(140)	30	(64)	(64)	灰白	型打ち	染付	肥前?	内: 文字無し。背: 五寸? 1, 11月桂樹・重輪郭、足部: 11月桂樹・重輪郭、足裏
98_4	E5086	磁器	皿	長寸皿	140	28	89	89	灰白	型打ち	染付	肥前?	内: 文字無し。背: 五寸? 1, 11月桂樹・重輪郭、足部: 11月桂樹・重輪郭、足裏
98_5	E5086	磁器	皿	小皿	106	31	54	54	灰白	模様	染付	肥前?	内: 文字無し。背: 五寸? 1, 11月桂樹・重輪郭、足部: 11月桂樹・重輪郭、足裏
98_6	E5086	磁器	皿	五寸皿	136	29	42	42	灰白	模様	青花	肥前?	内: 文字無し。背: 五寸? 1, 11月桂樹・重輪郭、足部: 11月桂樹・重輪郭、足裏
98_7	E5086	磁器	皿	中鉢	232	88	94	94	灰白	模様	青花	肥前?	内: 文字無し。背: 五寸? 1, 11月桂樹・重輪郭、足部: 11月桂樹・重輪郭、足裏
98_8	E5086	磁器	皿	中鉢	55	92	92	92	灰白	模様	足付	肥前?	内: 文字無し。背: 五寸? 1, 11月桂樹・重輪郭、足部: 11月桂樹・重輪郭、足裏
98_9	E5086	磁器	皿	中鉢	72	32	88	88	灰白	模様	足付	肥前?	内: 文字無し。背: 五寸? 1, 11月桂樹・重輪郭、足部: 11月桂樹・重輪郭、足裏
98_10	E5086	磁器	皿	中鉢	103	37	120	120	灰白	模様	足付	肥前?	内: 文字無し。背: 五寸? 1, 11月桂樹・重輪郭、足部: 11月桂樹・重輪郭、足裏
98_11	E5086	磁器	器	物置	74	(29)	103	103	灰白	型打ち	染付	肥前?	内: 文字無し。背: 五寸? 1, 11月桂樹・重輪郭、足部: 11月桂樹・重輪郭、足裏
99_1	E5086	陶器	鉢	大鉢	310	77	142	142	灰白	模様	上付	肥前?	内: 菊山文
99_2	E5086	陶器	皿	小皿	108	62	43	43	灰白	模様	青花	肥前?	内: 菊山文
99_3	E5086	陶器	皿	中皿	(112)	72	47	47	灰白	模様	青花	肥前?	内: 菊山文
99_4	E5086	陶器	皿	大皿	124	78	60	60	灰白	模様	うのふ	肥前?	内: 菊山文
99_5	E5086	陶器	皿	大皿	(128)	87	50	50	灰白	模様	白磁	肥前?	内: 菊山文
99_6	E5086	陶器	皿	大皿	128	86	50	50	灰白	模様	灰白	肥前?	内: 菊山文
99_7	E5086	陶器	皿	中皿	103	64	43	43	灰白	模様	白磁	肥前?	内: 菊山文
99_8	E5086	陶器	皿	小皿	62	42	28	28	灰白	模様	白磁	肥前?	内: 菊山文
99_9	E5086	陶器	皿	大皿	100	29	58	58	に白い開口	模様	灰白	肥前?	内: 菊山文
99_10	E5086	陶器	皿	小皿	108	29	64	64	灰白	模様	灰白	肥前?	内: 菊山文

第29表 近世の陶磁器・土器観察表（B区）（28）

第30表 近世の陶器・土器観察表（C区）(1)

測量番号	出土点	材質	時期	形種	尺度(mm)				出土色調	底面	難易度	推定生産地	参考(田・呂・文庫・目次等)
					a	b	c	d					
103	1 C105	陶器	縦	中縦	93.8	56	36		灰白	灰白、斑駁	渾厚	瀬戸・美濃	
103	2 C105	陶器	縦	小縦	98	25	63		浅黄褐	灰白	渾厚	江戸在地	
103	3 C106	陶器	縦	中縦	170	75	86	180	灰白	灰白	渾厚	瀬戸・美濃	
103	4 C106	陶器	縦	長縦	196	60	90		灰白	灰白	渾厚	瀬戸・美濃	目録 13 条。底面切削調査。
103	5 C118	陶器	縦	小縦	160	63	72	178	灰白	灰白	渾厚	良細	不明
103	6 C125	陶器	縦	小縦	57	44	27		灰白	灰白	渾厚	長毛細	不明
103	7 C125	陶器	縦	浅縦	60	154	129	174	灰白	灰白	灰白、のみの 縫	瀬戸・美濃	底面とその両辺を斜めに斜角を施した後、上部に今の ふ掛を施ける。
103	8 C132	磁器	縦	中縦	(97)	39	34		灰白	灰白	渾厚	瀬戸	目録込み・五瓣花。(上縁部分外側に磨削記。)
103	9 C132	磁器	縦	中縦	103	63	43		灰白	灰白	灰白、乳頭	瀬戸・美濃	
103	10 C132	磁器	縦	中縦	94	54	32		灰白	灰白	灰白、上付付	良・若狭	上給付四脚?
103	11 C132	磁器	縦	中縦	(110)	85	31		灰白	灰白	灰白、内側	瀬戸・美濃	底面切削成形の跡有り。
103	12 C132	磁器	縦	中縦	119	80	53		灰白	灰白	灰白、直	良・若狭	底面内側に開口式丸びらき。
103	13 C132	磁器	縦	中縦	(142)	81	67		灰白	灰白	灰白	瀬戸・美濃	底面内側の丸びらき。体部内側に△彫の底輪(朱輪+輕輪)。
103	14 C132	磁器	縦	中縦	21	45	79		灰白	灰白	灰白	瀬戸・美濃	切り欠き調査。
103	15 C132	磁器	縦	中縦	26	217	69	97	灰白	灰白	灰白	瀬戸・美濃	底面
103	16 C132	磁器	縦	小縦	106	15	45	62	灰白	灰白	灰白	瀬戸・美濃	底面を斜めに施輪。
103	17 C132	磁器	縦	中縦	106	15	45	62	灰白	灰白	灰白	瀬戸・美濃	
103	18 C132	磁器	縦	中縦	106	15	45	62	灰白	灰白	灰白	瀬戸・美濃	
103	19 C132	磁器	縦	中縦	106	15	45	62	灰白	灰白	灰白	瀬戸・美濃	
104	1 C111	磁器	縦	中縦	(93)	64	35		灰白	灰白	渾厚	瀬戸	外:失伝絵文、変葉文。
104	2 C111	磁器	縦	中縦	(96)	53	40		灰白	灰白	渾厚	瀬戸	外:高台内腹あり。くらわんか手。
104	3 C111	磁器	縦	中縦	(96)	48	34		灰白	灰白	渾厚	瀬戸	
104	4 C111	磁器	縦	中縦	(59)	33	20		灰白	灰白	渾厚	瀬戸	内:梅葉文。
104	5 C111	磁器	縦	乳突沿	(54)	49	35		灰白	灰白	渾厚	瀬戸	外:變葉文。
104	6 C111	磁器	縦	小縦	135	38	74		灰白	灰白	渾厚	瀬戸	内:柱込み丘野文。變葉文。
104	7 C111	磁器	縦	小縦	122	35	44		灰白	灰白	渾厚	瀬戸	内:柱込み丘野文。變葉文。
104	8 C111	磁器	縦	中縦	108	77	42		灰白	灰白	底輪	瀬戸・美濃	底輪有。
104	9 C111	磁器	縦	中縦	105	64	43		灰白	灰白	底輪	瀬戸・美濃	底輪有。
104	10 C111	磁器	縦	中縦	113	56	46		灰白	灰白	底輪	瀬戸・美濃	底輪有。
104	11 C111	磁器	縦	中縦	100	59	47		灰白	灰白	底輪	良・若狭	底輪を施し、底輪を掘削にかける。
104	12 C111	磁器	縦	中縦	94	56	43		灰白	灰白	底輪	瀬戸・美濃	底輪有。
104	13 C111	磁器	縦	中縦	96	58	40		灰白	灰白	底輪	良・若狭	外:上給付で神文様を施す。
104	14 C111	磁器	縦	中縦	108	78	47		灰白	灰白	底輪	瀬戸・美濃	全部に底輪を施し、部分的に底輪を設す。
104	15 C111	磁器	縦	中縦	96	52	35		灰白	灰白	底輪	瀬戸・美濃	せんじ繩。外:白箭で支撑を施す。
104	16 C111	磁器	縦	中縦	97	64	38		灰白	灰白	底輪	瀬戸・美濃	底輪有。
104	17 C111	磁器	縦	中縦	107	62	48		灰白	灰白	底輪	良・若狭	底輪有。
104	18 C111	磁器	縦	中縦	106	56	46		灰白	灰白	底輪	良・若狭	底輪有。
104	19 C111	磁器	縦	中縦	205	61	78		灰白	灰白	底輪	瀬戸・美濃	底輪有。内:柱込みを施す。外:柱込みを施す。
104	20 C111	磁器	縦	中縦	100	34			灰白	灰白	底輪	良・若狭	底輪有。
104	21 C111	磁器	縦	中縦	99	19			灰白	灰白	底輪	良・若狭	底輪有。
105	1 C111	磁器	縦	中縦	36	209	72	97	灰白	灰白	渾厚	瀬戸・美濃	底輪。
105	2 C111	磁器	縦	小縦	55	43	33		灰白	灰白	渾厚	手	
105	3 C111	磁器	縦	浅縦	42	167	118	186	破綻	破綻	渾厚	瀬戸・美濃	手把手付。
105	4 C111	磁器	縦	小体	140	(54)	45		破綻	破綻	渾厚	良・若狭	三星を刻す。
105	5 C111	磁器	縦	小縦	128	35	48		破綻	破綻	渾厚	瀬戸・美濃	刻印。
105	6 C111	磁器	縦	水井	95	108	56	63(35)	破綻	破綻	渾厚	良・若狭	把手。注:清酒付。
105	7 C111	磁器	縦	中縦	(112)	49	21		破綻	破綻	渾厚	瀬戸・美濃	内底に底輪有り。
105	8 C111	磁器	縦	中縦	119	22	55	89	破綻	破綻	渾厚	瀬戸・美濃	底部内面及びその付近を斜めに斜角を施す。底輪及び刻印下 手は焼成ペイケリ。
105	9 C111	磁器	縦	中縦	52	49	42		破綻	破綻	渾厚	瀬戸・美濃	底部切削調整。
105	10 C111	磁器	縦	中縦	231	131	54	90	破綻	破綻	渾厚	江戸在地	
105	11 C111	磁器	縦	火入	122	97	123		破綻	破綻	渾厚	江戸在地	内:三才手。瓶底文様を施す。
105	12 C111	磁器	縦	火入	146	22			破綻	破綻	渾厚	江戸在地	
105	13 C111	磁器	縦	火入	(350)				破綻	破綻	渾厚	江戸在地	底輪、浅め、割裂高2cm前後。
105	14 C111	磁器	縦	火入	58	13	36		破綻	破綻	手	江戸在地	
105	15 C111	磁器	縦	火入					手	手	渾厚	江戸在地	
106	1 C133	陶器	縦	中縦	72	30	25		灰白	灰白	渾厚	渾厚	渾厚
106	2 C133	陶器	縦	中縦	115	84	50		灰白	灰白	渾厚	渾厚	渾厚
106	3 C133	陶器	縦	五寸縦	(138)	38	51		灰白	灰白	渾厚	渾厚	渾厚
106	4 C133	陶器	縦	小縦	70	18	30	74	灰白	灰白	渾厚	渾厚	渾厚
106	5 C134	陶器	縦	小縦	77	57	36		灰白	灰白	渾厚	渾厚	渾厚
106	6 C134	陶器	縦	大縦	167	75	64		灰白	灰白	渾厚	渾厚	渾厚
106	7 C134	陶器	縦	小縦	(87)	40	33		灰白	灰白	渾厚	渾厚	渾厚
106	8 C134	陶器	縦	大縦	(153)	85	58		灰白	灰白	渾厚	渾厚	渾厚
106	9 C134	陶器	縦	中縦	(224)	43	(116)		灰白	灰白	渾厚	渾厚	渾厚
106	10 C134	陶器	縦	中縦	114	74	43		灰白	灰白	渾厚	渾厚	渾厚
106	11 C134	陶器	縦	中縦	112	78	54		灰白	灰白	渾厚	渾厚	渾厚
106	12 C134	陶器	縦	中縦	(149)	37	85		灰白	灰白	渾厚	渾厚	渾厚
106	13 C134	陶器	縦	中縦					灰白	灰白	渾厚	渾厚	渾厚
106	14 C135	陶器	縦	中縦	110	68	48		灰白	灰白	渾厚	渾厚	渾厚
107	1 C140	陶器	縦	中縦	98	52	40		灰白	灰白	渾厚	渾厚	渾厚
107	2 C140	陶器	縦	中縦	98	49	42		灰白	灰白	渾厚	渾厚	渾厚
107	3 C140	陶器	縦	小縦	84	60	38		灰白	灰白	渾厚	渾厚	渾厚
107	4 C140	陶器	縦	五寸縦	(153)	35	58		灰白	灰白	渾厚	渾厚	渾厚

第31表 近世の陶器・土器観察表（C区）（2）

測量番号 測定番号	出土 地點	材質	時期	形種	尺度(mm)				胎土色調	成形	難易度	既定生産地	備考（田・萬・文様・技術等）	
					a	b	c	d						
107	5 C140	磁器	田	小鉢	154	34	78		灰白	模様	染付	肥前	内：コニャック印五角花、萬字彫りで底部及び雲文様。高台内側面及び「大明年製」款、ハリヨウ1点。	
107	6 C140	磁器	田	小鉢	134	28	76		灰白	模様	染付	肥前	内：コニャック田利五角花。雲輪文又ハ底面ハリヨウ。	
107	7 C140	磁器	田	小鉢	135	28	74		灰白	模様	染付	肥前	内：模様ハ五種、五瓣花。底面又ハリヨウ。	
107	8 C140	磁器	田	小鉢	88	29	97		灰白	模様	染付	肥前	糊みで貼付あり。	
107	9 C140	磁器	田	小鉢	147	45	158		灰白	模様	染付	肥前	外：鶴文。合わせ口に砂付。	
107	10 C140	陶器	田	中鉢	1249	84	50		灰白	模様	灰釉	瀬戸・美濃		
107	11 C140	陶器	田	中鉢	118	76	52		灰白	模様	灰釉	瀬戸・美濃		
107	12 C140	陶器	田	中鉢	102	68	42		灰白	模様	灰釉	瀬戸・美濃		
107	13 C140	陶器	田	大鉢	122	87	39		浅黄	模様	灰釉	瀬戸・美濃	台面とその周囲を焼き灰跡を施す。付高台。	
107	14 C140	陶器	田	大鉢	124	46	76		灰白	模様	灰釉・鉛釉	不明		
107	15 C140	陶器	田	中鉢	105	70	45	109	灰白	模様	灰釉	瀬戸・美濃	今宮二重輪を施し、開口部に灰斑全貌を施す。体厚に2段式。	
108	1 C140	陶器	田	中鉢	100	54	37		灰白	模様	灰釉	瀬戸・美濃	せんじ輪。外：以前と異で竹文を描く。	
108	2 C140	陶器	田	中鉢	120	57	55		灰白	模様	灰釉	瀬戸・美濃		
108	3 C140	陶器	田	中鉢	108	49	40		浅黄	模様	灰釉	瀬戸・美濃		
108	4 C140	陶器	田	中鉢	103	44	45		灰白	模様	灰釉	瀬戸・美濃	せんじ輪。内外：灰釉、黄輪部分。	
108	5 C140	陶器	田	中鉢	(94)	54	32		浅黄	模様	灰釉	京・信楽		
108	6 C140	陶器	田	小鉢	65(1)	41	26		浅黄	模様	灰釉	京・信楽	内外：上締付	
108	7 C140	陶器	田	中鉢	203	64	85		灰白	模様	灰釉	瀬戸・美濃	内：柱状に斜削部分があり、真輪凸状に付着。	
108	8 C140	陶器	田	小鉢	128	33	75		灰白	模様	灰釉	瀬戸・美濃	内：灰斑により模様で花文様を描く。付高台。見込みに「星バタ輪」。	
108	9 C140	陶器	田	小鉢	119	29	62		灰白	模様	鋸深井附	瀬戸・美濃	内：鋸深井により模様で花文様を描く。付高台。見込みに「三八巴輪」。	
108	10 C140	陶器	田	大鉢	366	123	120		赤陶	模様	杏葉輪・鶴輪	瀬戸・美濃	付高台・武道丸。	
108	11 C140	陶器	田	鉢	143	77	102	153	灰白	模様	灰釉	瀬戸・美濃	内：模様に貼付有り。	
108	12 C140	陶器	田	鉢	400	160	47	68	灰白	模様	灰釉	瀬戸・美濃	瓶方輪に難削成文化、瓶方内に丸ノミ割れ。(1脚部)に難削成文化。	
108	13 C140	陶器	田	鉢	灰斑とし				灰白	模様	灰釉・上締付	平明	1脚部に難打削有り。	
108	14 C140	陶器	田	その他の形種					灰白	模様	灰釉	瀬戸・美濃	内：灰斑により模様で花文様を描く。付高台。見込みに「星バタ輪」。	
108	15 C140	陶器	田	その他の形種	112	25	54		灰白	模様	灰釉	瀬戸・美濃		
108	16 C140	陶器	田	その他の形種	103	29	56		浅黄	模様	灰釉	瀬戸・美濃	内：見込みに垂ね拂き面有り。	
108	17 C140	陶器	田	粗陶受皿	110	28	45	79	浅黄	模様	染付	志口呂	赤渦アーチ状と陶束。	
108	18 C140	陶器	田	小皿蓋	35	17			白	模様	真輪?	瀬戸・美濃		
108	19 C140	陶器	田	網輪口	41	21	41		灰白	模様	染付	灰釉	内：網輪口により模様で花文様を描く。付高台。	
109	20 C140	陶器	田	千両	粗陶受皿	122	33	65	82	白	模様	粗陶	江戸・近畿	灰斑半切付調整。
109	21 C140	陶器	田	千両	粗陶受皿	100	24	46	67	白	模様	粗陶	江戸・近畿	灰斑半切付調整。
109	22 C140	陶器	田	網	網筋				白	模様	粗陶	江戸・近畿	深め、腰唇高2cm前後。	
109	23 C140	陶器	田	蓋	燒成剥落				白	型作り	粗陶	江戸・近畿		
109	1 C140	陶器	田	中鉢	(200)	39	124		白	模様	粗陶	江戸在地	近津半切付調整。	
109	2 C140	陶器	田	七輪	小鉢	113	23	60		白	模様	粗陶	江戸在地	近津半切付調整。
109	3 C140	陶器	田	七輪	小鉢	95	18	140		白	模様	粗陶	江戸在地	近津半切付調整。
109	4 C140	陶器	田	七輪	小鉢	78	13	42		白	模様	粗陶	江戸在地	近津半切付調整。
109	5 C140	陶器	田	七輪	小鉢	76	15	42		白	模様	粗陶	江戸在地	近津半切付調整。
109	6 C140	陶器	田	土器	104(2)	35	70	70	灰白	模様	灰釉	灰釉	古・近畿	造形物の一端か。
109	7 C140	陶器	田	土器	95	55	63	139	灰白	模様	染付	志口呂	山台付を除き模様を施した後、口縁部からうぶ輪を施す。	
109	8 C140	陶器	田	土器	223	60	127	90	灰白	模様	染付	志口呂	外：足見文。	
109	9 C140	陶器	田	水注	40	117	70	155	灰白	模様	灰釉	瀬戸・美濃		
109	10 C140	陶器	田	水注	120	22	70		白	模様	灰釉	瀬戸・美濃	内：模様に貼付有り。	
110	1 C180	粗陶	田	鉢	110	33	48		灰白	模様	染付	志口呂	内：露文。外：筒内一側剥離。(太明化作)鉢。	
110	2 C180	粗陶	田	鉢	102	82	44		白	型作り	志口呂	内：露文。外：筒内一側剥離。		
110	3 C180	陶器	田	大鉢	126	69	53		灰白	模様	真輪?	瀬戸・美濃	山台付を除き模様を施した後、口縁部からうぶ輪を施す。	
110	4 C180	陶器	田	小鉢	101	21	44		灰白	模様	染付	志口呂	体厚下に斜削ヘラケアリを施し、内面部及び体面上に模様を施す。	
110	5 C180	陶器	田	鉢	26	142	66		灰白	模様	染付	志口呂	内：露文。外：筒内一側剥離。	
110	6 C180	陶器	田	鉢	206	69	52		浅黄	模様	染付	志口呂	腰唇高4cm前後。	
110	7 C180	陶器	田	鉢	69	56	62		灰白	模様	染付	志口呂	外：草花。	
110	8 C212	磁器	田	小鉢	128	36	65		灰白	模様	灰釉	瀬戸・美濃	内：1脚部で模様を表面とする。	
110	9 C212	土器	田	大鉢	200				白	模様	染付	江戸在地		
111	1 C220	磁器	田	小鉢	87	25	45		灰白	模様	染付	志口呂	深め、腰唇高4cm前後。	
111	2 C220	磁器	田	小鉢	126	24	82		灰白	模様	染付	志口呂	外：鶴文。	
111	3 C220	陶器	田	小鉢	92	57	26		灰白	模様	灰釉	志口呂	内：露文。外：筒内一側剥離。	
111	4 C220	陶器	田	中鉢	90	55	30		浅黄	模様	灰釉	志口呂	手彫り。	
111	5 C220	陶器	田	中鉢	104	72	52		浅黄	模様	灰釉	志口呂	内：露文。外：筒内一側剥離。	
111	6 C220	陶器	田	中鉢	92	65	47		灰白	模様	灰釉	志口呂	手彫り。	
111	7 C220	陶器	田	土器	147				灰白	模様	染付	志口呂	手彫り。	
111	8 C220	土器	田	網	156	78	56		灰白	模様	染付	志口呂	手彫り。	
111	9 C220	土器	田	網	312				灰白	模様	染付	志口呂	手彫り。	
111	10 C231	磁器	田	中鉢	102	55	37		灰白	模様	染付	志口呂	手彫り。	
111	11 C231	磁器	田	小鉢	133	27	82		灰白	模様	染付	志口呂	内：露文。コニャック印半切文化。(1脚、ハリヨウ1点)。	
111	12 C231	陶器	田	鉢	夫人	96	63	60		灰白	模様	灰釉	瀬戸・美濃	
111	13 C259	陶器	田	五寸鉢	137	31	76		白	模様	染付	志口呂	手彫り。	
112	1 C244	磁器	田	大鉢	156	78	56		灰白	模様	染付	志口呂	手彫り。	
112	2 C244	磁器	田	大鉢	129	70	49		灰白	模様	染付	志口呂	内：露文。外：筒内側面文様。	
112	3 C244	磁器	田	小鉢	95	54	36		灰白	模様	染付	志口呂	内：鳥。外：筒内側面文様。	
112	4 C244	磁器	田	中鉢	118	62	46		灰白	模様	染付	志口呂	内：鳥。外：筒内側面文様。	

第32表 近世の陶磁器・土器観察表 (C区) (3)

画数(画)	画名	画類	題材	图幅(㎜)			底色	成形	藝術等	预定产地	参考(田・辯・文様・注釈等)	
				x	y	z						
112.	5 C244	絵図	中綱	103	59	45	白	絵版	安井	横川・美濃	内:千早。外:羽州、近畿内諸。	
112.	6 C244	絵図	中綱	94	52	38	白	絵版	安井	横川・美濃	内:千早。外:羽州。	
112.	7 C244	絵図	中綱	99	49	40	白	絵版	安井	横川・美濃	内:千早文様。外:近花。	
112.	8 C244	絵図	中綱	94	53	41	白	絵版	安井	横川・美濃	内:千早文様。外:梅瓣?	
112.	9 C244	絵図	中綱	93	53	40	白	絵版	安井	肥前		
112.	10 C244	絵図	中綱	95	52	38	白	絵版	安井	横川・美濃	内:千早文様。横綱。外:肥前御陣。横綱:「酒抱生吉」字。	
112.	11 C244	絵図	小綱	89	52	36	底白	絵版	安井	肥前	内:千早御船引。横綱。外:肥前。横綱:「酒抱生吉」字。	
112.	12 C244	絵図	小綱	88	52	38	底白	絵版	安井	肥前	内:千早文様。外:花。	
112.	13 C244	絵図	小綱	92	54	34	底白	絵版	安井	横川・美濃	内:千早文様。外:近花。	
112.	14 C244	絵図	小綱	92	49	36	底白	絵版	安井	横川・美濃	内:千早文様。外:梅瓣。	
112.	15 C244	絵図	小綱	94	47	72	底白	絵版	安井	肥前		
113.	1 C244	絵図	小綱	90	50	38	白	絵版	安井	肥前		
113.	2 C244	絵図	小綱	82	46	32	底白	絵版	安井	肥前	内:千早。字。左脚部:宝文院。外:赤牟岐守。文。	
113.	3 C244	絵図	小綱	80	42	39	白	絵版	安井	肥前	内:千早。字。山文。外:山。	
113.	4 C244	絵図	小綱	79	44	31	白	絵版	安井	肥前	内:千早。字。右脚部:「酒抱生吉」。	
113.	5 C244	絵図	小綱	72	36	30	白	絵版	安井	横川・美濃	内:千早。字。	
113.	6 C244	絵図	小綱	114	62	50	底白	絵版	安井	肥前	内:文字あり。外:松、竹、屈。	
113.	7 C244	絵図	中綱	109	64	44	底白	絵版	安井	肥前	内:千早。横綱。横綱:「酒抱生吉」。外:山。	
113.	8 C244	絵図	中綱	98	48	40	底白	絵版	安井	肥前	内:千早。外:山。	
113.	9 C244	絵図	中綱	98	44	33	底白	絵版	安井	肥前	内:千早。外:「三要要」。	
113.	10 C244	絵図	中綱	75	59	29	白	絵版	安井	肥前		
113.	11 C244	絵図	中綱	75	59	29	白	絵版	安井	肥前		
113.	12 C244	絵図	中綱	75	59	29	白	絵版	安井	肥前		
113.	13 C244	絵図	中綱	75	59	29	白	絵版	安井	肥前		
113.	14 C244	絵図	中綱	95	52	38	底白	絵版	安井	肥前	外:半葉文。	
113.	15 C244	絵図	中綱	118	64	62	白	絵版	安井	肥前		
113.	16 C244	絵図	中綱	98	53	50	白	絵版	安井	肥前	内:横綱。横綱:「酒抱生吉」。外:横川山水文。	
113.	17 C244	絵図	小圩	98	44	33	底白	絵版	安井	肥前	外:横川山水文。	
113.	18 C244	絵図	小圩	51	29	19	白	絵版	安井	肥前		
113.	19 C244	絵図	小圩	78	32	24	白	絵版	安井	肥前	内:付で「小圩」文字。化粧加印。	
113.	20 C244	絵図	海	足利屋	58	49	32	白	絵版	安井	横川・美濃	外:花押章。
114.	1 C244	絵図	中綱	127	31	70	底白	絵版	安井	肥前		
114.	2 C244	絵図	中綱	137	32	86	白	絵版	安井	横川・美濃	肥前:「印型高」。墨:「心潤」。	
114.	3 C244	絵図	中綱	126	21	72	白	絵版	安井	肥前	肥前:「印型高」。	
114.	4 C244	絵図	跡物	77	40	34	底白	絵版	安井	肥前	草写:「原」、「麗」、「匂」、「舟」字。	
114.	5 C244	絵図	田	小綱	69	20	35	白	絵版	安井	横川・美濃	肥前:「印型高」。
114.	6 C244	絵図	田	小綱	94	21	48	白	絵版	安井	肥前	
114.	7 C244	絵図	跡物	34	69	44	白	絵版	安井	肥前		
114.	8 C244	絵図	跡	合子	36	14	39	46	絵版	安井	肥前	
114.	9 C244	絵図	跡	合子	56	17	21	63	絵版	安井	肥前	
114.	10 C244	絵図	跡	植物	74	42	46	底白	絵版	安井	横川山水文。油山。	
114.	11 C244	絵図	跡	中疋	166	81	88	白	絵版	安井	肥前	外:「朝氣」。
114.	12 C244	絵図	跡	落葉	83	24	24	底白	絵版	安井	内:波、角引。外:糸綱、鳥。	
114.	13 C244	絵図	跡	落葉	78	24	28	白	絵版	安井	肥前	
114.	14 C244	絵図	跡	落葉	108	44	40	白	絵版	安井	肥前	
114.	15 C244	絵図	跡	落葉	96	30	30	白	絵版	安井	肥前	
114.	16 C244	絵図	跡	落葉	88	20	30	100	絵版	安井	肥前	
114.	17 C244	絵図	跡	落葉	40	17	54	54	絵版	安井	肥前	
114.	18 C244	絵図	跡	合子	50	11	50	50	絵版	安井	肥前	
114.	19 C244	絵図	油	絵油在	20	74	51	底白	絵版	安井	肥前	肥前:「油」。扇、玩具文。
114.	20 C244	絵図	油	砂利油	21	68	48	底白	絵版	安井	肥前	砂利油:「砂利」。花文。山風。
115.	1 C244	絵図	油	小綱	41			白	絵版	安井	肥前	神社御社。
115.	2 C244	絵図	油	小綱	109	100	55	白	絵版	安井	肥前	神社御社。
115.	3 C244	絵図	油	脚背	139	131	57	63	絵版	安井	肥前	外:「舟」。
115.	4 C244	絵図	油	脚背	57	155	53	底白	絵版	安井	横川・美濃	事代:「山風文」。見付:「草写」。出世:「無地」。
115.	5 C244	絵図	油	脚背	11			52	絵版	安井	肥前	
115.	6 C244	絵図	油	中綱	115	71	44	白	絵版	安井	横川・美濃	足洗。
115.	7 C244	絵図	油	大綱	130	63	45	白	絵版	安井	横川・美濃	附:「口綱」。
115.	8 C244	絵図	油	中綱	109	56	39	底白	絵版	安井	横川・美濃	内:千早文様。一重圓輪。山風酒消文。外:真珠。高行貢。付:出世有り。
115.	9 C244	絵図	油	中綱	96	50	30	白	絵版	安井	横川・美濃	内:「京」。
115.	10 C244	絵図	油	天綱	128	50	52	白	絵版	安井	横川・美濃	内:「京」。
115.	11 C244	絵図	油	大綱	90	51	35	白	絵版	安井	横川・美濃	内:「京」。
115.	12 C244	絵図	油	中綱	298	42	142	底白	絵版	安井	横川・美濃	外:「秋物」。内:「花を參る」。内付:「絵輪」。外付:「秋物」。
115.	13 C244	絵図	油	大綱	281	67	142	底白	絵版	安井	横川・美濃	内:「秋物」。
115.	14 C244	絵図	油	小綱	92	17	31	白	絵版	安井	横川・美濃	外:「秋物」。
115.	15 C244	絵図	油	小綱	76	64	33	白	絵版	安井	横川・美濃	内:「秋物」。
115.	16 C244	絵図	油	水鉢	306	293	235	白	絵版	安井	横川・美濃	内:「秋物」。
115.	17 C244	絵図	油	脚	220	155	182	底白	絵版	安井	横川・美濃	底白:「秋物」。脚:「黄葉」。脚鉢:「白」。
116.	1 C244	絵図	油	落葉物	69	27	92	底白	絵版	安井	横川・美濃	内:「京」。外:「三重ビン」。内:「落葉」。外:「灰葉」。
116.	2 C244	絵図	油	基	96	27	92	底白	絵版	安井	横川・美濃	内:「京」。
116.	3 C244	絵図	油	落葉	97	24	底白	絵版	安井	横川・美濃	不開。	
116.	4 C244	絵図	油	千葉	77	29	59	白	絵版	安井	横川・美濃	肥前。
116.	5 C244	絵図	油	千葉	61	45	45	80	絵版	安井	横川・美濃	肥前。
116.	6 C244	絵図	油	千葉	40	23	23	54	絵版	安井	横川・美濃	肥前。
116.	7 C244	絵図	油	千葉	64	32	29	80	絵版	安井	横川・美濃	青筋絹。不開。
116.	8 C244	絵図	油	千葉	65	33	93	93	絵版	安井	横川・美濃	青筋絹。不開。

第33表 近世の陶磁器・土器観察表（C区）(4)

測量番号 測量番号	出土地点	材質	時期	形種	基盤 (mm)				地土色調	底面	輪郭等	既定生産地	備考 (田・路・文様・技術等)
					a	b	c	d					
116 9 C244	陶器	瓶	中幅?						灰白	縫接 貼付	食器、うなぎ 模様	瀬戸・美濃	以前一部日本の内地、瓶子を象る。他の少部分に紀子を 貼り付けて瓶子の縁を表現。
116 10 C244	陶器	瓶	中幅	187					灰白	縫接	底面	瀬戸・美濃	瓶436。
116 11 C244	陶器	鉢	圓筒	31.8	130	1140			灰白	縫接	底面	瀬戸・美濃	内：四脚丁字、单位、外：口縁部から主体を西側にハラマツリ、 内：四脚丁字、口部、 外：内：口縁部から口部。
116 12 C244	陶器	鉢	圓筒	290	99	236			灰白	縫接	底面	瀬戸・美濃	明治時代。
116 13 C244	陶器	鉢	圓筒	400	158	186			灰白	縫接	底面	瀬戸・美濃	明・野町
116 14 C244	陶器	鉢	大腹	250	250	107	142		灰白	縫接	底面	瀬戸・美濃	近江守村、野町き「萬葉」。
116 15 C244	陶器	瓶	中幅	35	190	53			灰白	縫接	底面	瀬戸・美濃	近江上とその両方面で、特に口部に施漆け。
116 16 C244	陶器	瓶	中幅	276	286	210			灰白	縫接	底面	瀬戸・美濃	手刷毛、内：近江八幡市。
117 1 C244	陶器	水注	十脚	68	13.20	(76)			灰白	縫接	底面	不明	不明。
117 2 C244	陶器	水注	立水注						灰白	縫接	底面	不明	不明。
117 3 C244	陶器	水注	中幅	71	72	44	(123)	C	灰白	縫接	底面	不明	外：底部を斜く部分に施漆。
117 4 C244	陶器	水注	中幅	92	49	36			灰白	縫接	底面	瀬戸・美濃	外：底部を斜く部分に施漆。
117 5 C244	陶器	瓶	平手	159	106	84			灰白	縫接 貼付	底面	瀬戸・美濃	手刷毛。
117 6 C244	陶器	その他の 伝記祥言付							灰白	手刷毛 カタ	底面	不明	不明。
117 7 C244	土器	蓋	絞り蓋	48	46	36			灰白	縫接 貼付	底面	瀬戸在地	縫み及び沿部を貼付。
117 8 C244	土器	鉢	土鍋	224	100	144			灰白	縫接	底面	江戸在地	二足、内：口縁部付帯。
117 9 C244	土器	鉢	圓筒	46	11	38			灰白	縫接	底面	江戸在地	近江守切末刷毛、縫接と目刷。
117 10 C244	土器	鉢	切妻付	72	71	60	44		灰白	縫接	底面	江戸在地	脚付、外：切妻。
117 11 C244	土器	鉢	小皿	124	37	74			灰白	縫接	底面	江戸在地	近江守切末刷毛、縫接と目刷。
117 12 C244	土器	鉢	深八角	96	46	63			灰白	縫接	底面	江戸在地	近江守切末刷毛、縫接と目刷。
117 13 C244	土器	瓶	切妻	209					灰白	縫接	底面	江戸在地	無耳、底盤高 20mm 前後。
117 14 C244	土器	蓋	絞り蓋	60	9	63			灰白	縫接	底面	近畿	縫し。
117 15 C244	土器	蓋	絞り蓋	63	9	65			灰白	縫接	底面	近畿	縫し。
117 16 C244	土器	鉢	絞り身	69	37	54	90	穂	作合	底面	近畿	洋細は第 54 表参照。	
117 17 C244	土器	鉢	絞り身	61	53	37	61	にじ	灰白	縫接	底面	江戸在地	近江守切 54 表参照。
117 18 C244	土器	皿	小皿	104	20	58			灰白	縫接	底面	江戸在地	近江守切末刷毛、縫接と目刷。
117 19 C244	土器	皿	小皿	70	15	38			灰白	縫接	底面	江戸在地	近江守切末刷毛、縫接と目刷。
117 20 C244	土器	皿	小皿	51	15	28			灰白	縫接	底面	江戸在地	近江守切末刷毛、縫接と目刷。
117 21 C261	土器	鉢	切妻身	54	80	50			穂	作合	底面	近畿	洋細。
118 1 C251	磁器	碗	大碗	149	69	51			灰白	縫接	底面	肥前	内：唐物竹葉文、一側脚脚、口縁部四方文。外：草花文、 内：外分花、一側脚脚、草花文、高台内脚脚、高脚付 口縁部。
118 2 C251	磁器	碗	大碗	127	66	53	白		縫接	底面	肥前	内：外分花、一側脚脚、草花文、高台内脚脚、高脚付 口縁部。	
118 3 C251	磁器	碗	中幅	110	63	46			縫接	底面	肥前	内：外分花、一側脚脚、草花文、高台内脚脚、高脚付 口縁部。	
118 4 C251	磁器	碗	中幅	114	61	46			縫接	底面	肥前	内：外分花、一側脚脚、草花文、高台内脚脚、高脚付 口縁部。	
118 5 C251	磁器	碗	中幅	104	58	48			縫接	底面	瀬戸・美濃	内：近江守切 54 表参照、脚付、口縁部無。	
118 6 C251	磁器	碗	中幅	106	60	46			縫接	底面	瀬戸・美濃	内：近江守切末刷毛、縫接と目刷。	
118 7 C251	磁器	碗	中幅	96	52	34			縫接	底面	瀬戸・美濃	内：近江守切 54 表参照。	
118 8 C251	磁器	碗	中幅	98	51	38			縫接	底面	瀬戸・美濃	内：花、草彌紋、口縁部脚無し、外：竹文。	
118 9 C251	磁器	碗	中幅	95	54	39			縫接	底面	瀬戸・美濃	内：近江守切 54 表参照、脚付、口縁部。	
118 10 C251	磁器	碗	中幅	92	49	38			縫接	底面	瀬戸・美濃	内：近江守切 54 表参照、脚付、口縁部。	
118 11 C251	磁器	碗	中幅	94	50	36			縫接	底面	瀬戸・美濃	内：花、草彌紋、口縁部脚無し、外：草花文、洋細。	
118 12 C251	磁器	碗	中幅	91	46	34			縫接	底面	瀬戸・美濃	内：花、草彌紋、口縁部脚無し。	
118 13 C251	磁器	碗	小幅	90	49	32			縫接	底面	中国	官能説、脚付、小幅子口。料：赤地に近江守切 54 表文？。腰章 を有する。	
118 14 C251	陶器	碗	小幅	64	51	36	灰		縫接	底面	中国	陶器の脚付直筒 (白毛刷毛) を有し、腰元と同様に腰章を有する。 内：腰元は腰章で腰を支える。合掌は腰章で腰を支える。内 外：腰元。	
118 15 C251	磁器	碗	小幅	78	43	33			縫接	底面	中国	洋細。	
118 16 C251	磁器	碗	小幅	65	37	22			縫接	底面	中国	官能説、脚付直筒 (白毛刷毛) を有し、腰元と同様に腰章を有する。 内：腰元は腰章で腰を支える。合掌は腰章で腰を支える。内 外：腰元。	
119 1 C251	磁器	碗	中幅	94	50	40			縫接	底面	中国	内：一側脚脚、脚付、腰元と脚無し。外：竹文。	
119 2 C251	磁器	碗	中幅	82	44	33			縫接	底面	中国	内：花、草彌紋、外：竹文。	
119 3 C251	磁器	碗	中幅	94	44	48			縫接	底面	中国	内：花、草彌紋、外：竹文。	
119 4 C251	磁器	碗	中幅	110	48	43			縫接	底面	中国	内：花、草彌紋、外：竹文。	
119 5 C251	磁器	碗	中幅	106	48	44			縫接	底面	中国	内：花、草彌紋、外：竹文。	
119 6 C251	磁器	碗	中幅	104	49	39			縫接	底面	中国	内：花、草彌紋、外：竹文。	
119 7 C251	磁器	碗	中幅	94	42	37			縫接	底面	中国	内：花、草彌紋、外：竹文。	
119 8 C251	磁器	碗	中幅	95	48	37			縫接	底面	中国	内：花、草彌紋、外：竹文。	
119 9 C251	磁器	碗	中幅	100	46	41			縫接	底面	中国	内：花、草彌紋、外：竹文。	
119 10 C251	磁器	碗	中幅	100	47	34			縫接	底面	中国	内：花、草彌紋、外：竹文。	
119 11 C251	磁器	碗	中幅	(100)	41	38			縫接	底面	中国	内：花、草彌紋、外：竹文。	
119 12 C251	磁器	碗	中幅	85	53	(35)			縫接	底面	中国	内：花、草彌紋、外：竹文。	
119 13 C251	磁器	碗	中幅	94	44	32			縫接	底面	中国	内：花、草彌紋、外：竹文。	
119 14 C251	磁器	碗	大碗	130	76	72	白		縫接	底面	中国	内：花、草彌紋、外：竹文。	
119 15 C251	磁器	碗	中幅	116	63	62			縫接	底面	瀬戸・美濃	内：花、草彌紋、外：竹文。	
119 16 C251	磁器	碗	中幅	110	62	58			縫接	底面	瀬戸・美濃	内：花、草彌紋、外：竹文。	
119 17 C251	磁器	碗	中幅	76	51	35			縫接	底面	瀬戸・美濃	内：花、草彌紋、外：竹文。	
120 1 C251	磁器	碗	中幅	117	64	60			縫接	底面	瀬戸・美濃	内：不明、一側脚脚、腰元と脚無し。	
120 2 C251	磁器	碗	小幅	74	51	35			縫接	底面	瀬戸・美濃	内：不明、一側脚脚、腰元と脚無し。	
120 3 C251	磁器	碗	小幅	88	77	47			縫接	底面	瀬戸・美濃	内：花、草彌紋、外：竹文。	
120 4 C251	磁器	碗	小幅	75	58	38			縫接	底面	瀬戸・美濃	内：花、草彌紋、外：竹文。	
120 5 C251	磁器	碗	小幅	73	61	34			縫接	底面	瀬戸・美濃	内：花、草彌紋、外：竹文。	

第34表 近世の陶磁器・土器観察表（C区）(5)

測量番号	出土場所	材質	時期	形態	寸法(mm)				出土色調	成形	難易度	既定生産地	備考(田・呂・文庫・技法等)	
					a	b	c	d						
120_6 C251	繩目	陶	小罐	75	60	38			灰白	輪轉	難	瀬戸・美濃	外：高台色調を除き黒釉をす。	
120_7 C251	繩目	陶	小罐	74	57	36			灰白	輪轉	難	瀬戸・美濃	外：花崗草文、鶴文、高台・重圓錐。	
120_8 C251	繩目	陶	小罐	60	50	26			灰白	輪轉	難	瀬戸・美濃	内：別底文？外：山水文、古台形錐文。	
120_9 C251	繩目	陶	小罐	84	48	36			灰白	輪轉	難	瀬戸・美濃	田。	
120_10 C251	繩目	陶	小罐	82	45	34			灰白	輪轉	難	瀬戸・美濃	外：芭花纹、綿手。	
120_11 C251	繩目	陶	小罐	79	51	38			白	輪轉	難	瀬戸・美濃	外：芭草文。	
120_12 C251	繩目	陶	中罐	92	39	36			灰白	輪轉	難	瀬戸・美濃	外：芭叶文。	
120_13 C251	繩目	陶	小罐	68	34	26			灰白	輪轉	難	瀬戸・山水文、雜、通山。		
120_14 C251	繩目	陶	小罐	63	32	26			灰白	輪轉	難	瀬戸・美濃	外：雜。	
120_15 C251	繩目	陶	小罐	52	25	26			灰白	輪轉	難	色紀、神代子、内：社社。		
120_16 C251	繩目	陶	小罐	(111)	67	44			灰白	輪轉	難	瀬戸・美濃	内：芭叶文、山陽御形態、外：輪轉、文字「吉原謹」。西行内記。	
120_17 C251	繩目	陶	小罐	88	44	36			灰白	輪轉	難	瀬戸・美濃	内：芭叶文、青磁輪、口縁は一点削り。外：芭叶文、高台・重圓錐、上部付て削。別底文？。外：草。	
120_18 C251	繩目	陶	小罐	62	31	28			灰白	輪轉	難	瀬戸・美濃	内：葉、梅。	
120_19 C251	繩目	陶	筒子2脚	75	26	28			白	輪轉	難	瀬戸・内：集。		
120_20 C251	陶器	陶	小罐	(38)	34				灰白	輪轉	難	瀬戸・上野村 不明	内：上野村「楓」文字、一重圓錐ほか、上：輪付て草引文。	
120_21 C251	繩目	陶	乳突2脚	66	31	29			灰白	輪轉	難	瀬戸・美濃	外：丁字文、圓錐。	
120_22 C251	繩目	陶	乳突2脚	59	31	34			灰白	輪轉	難	瀬戸・美濃	内：芭草文？。外：圓錐。	
120_23 C251	繩目	陶	不明		43				灰白	輪轉	難	瀬戸・美濃	外：芭草文、カムフラージュ？。燒跡有り。	
120_24 C251	繩目	陶	紅斑	57	28	17			灰白	輪轉	難	瀬戸・美濃	外：丁字板、回しき口紅斑。紅、轉。	
120_25 C251	繩目	陶	紅斑	53	24	18			灰白	輪轉	難	瀬戸・美濃	外：芭、杏。	
120_26 C251	繩目	陶	紅斑	54	18	26			灰白	輪轉	難	瀬戸・美濃		
121_1 C251	繩目	陶	五寸盆	148	46	80			灰白	輪轉	難	瀬戸・内：芭叶文、外：宝文、一重圓錐。高台・高台。		
121_2 C251	繩目	陶	大皿	264	60	138			灰白	輪轉	難	瀬戸・内：芭叶山文、高台内印刷。燒跡有り。		
121_3 C251	繩目	陶	小皿	92	30	36			塑打斗	輪轉	難	瀬戸・内：芭叶山文、模ノリ印刷型文(高)。見込み印刷4.		
121_4 C251	繩目	陶	小皿	(105)	60	62			塑打斗	輪轉	難	瀬戸・内：芭叶山文、透蓋・高台。		
121_5 G251	繩目	磁	五寸盆	146	31	76			白	輪轉	難	瀬戸・内：芭叶文、外：宝文、一重圓錐。高台・高台。		
121_6 G251	繩目	磁	五寸盆	142	41	62			灰白	輪轉	難	瀬戸・美濃	内：芭叶文、朝日葵文。模ノリ芭叶文。外：芭草文？。	
121_7 C251	繩目	陶	小组	106	22	49			塑打斗	輪轉	難	瀬戸・内：十字頭で底。毫を短く。		
121_8 C251	繩目	陶	小组	127	34	73			塑打斗	輪轉	難	瀬戸・外：芭、外：草。		
122_1 C251	繩目	陶	小组	69	24	44			塑打斗	輪轉	難	瀬戸・美濃	内：芭叶山文、透蓋・高台。	
122_2 C251	繩目	陶	小组	131	37	78			白	輪轉	難	瀬戸・内：芭叶文、透蓋・高台。燒跡有り。高台内印刷4.外：芭叶文、一重圓錐。燒跡有り。		
122_3 C251	繩目	陶	大皿	211	56	172			白	輪轉	難	瀬戸・内：芭叶山文、外：透蓋・高台。内：芭叶文、透蓋・高台。		
122_4 C251	繩目	陶	深鉢	147	34	82			白	輪轉	難	瀬戸・美濃	内：芭叶山文、口縁。	
122_5 C251	繩目	陶	小组	103	24	64			塑打斗	輪轉	難	瀬戸・内：芭叶文、口縁。		
122_6 C251	繩目	陶	小组	102	25	56			塑打斗	輪轉	難	瀬戸・内：芭叶山文、口縁。耳付「號子」。		
122_7 C251	繩目	陶	小组	100	20	36			塑打斗	輪轉	難	瀬戸・内：芭叶山文、口縁。底付「號子」。		
122_8 C251	繩目	陶	大皿	284	46	162			白	輪轉	難	瀬戸・内：芭叶山文、透蓋・高台。燒跡有り。高台内印刷4.外：芭叶文、透蓋・高台。内：芭叶山文、透蓋・高台。外：透蓋・高台。		
122_9 C251	繩目	陶	小组	126	37	77			塑打斗	輪轉	難	瀬戸・内：芭叶山文、透蓋・高台。内：芭叶文、透蓋・高台。		
123_3 C251	繩目	陶	小组	126	32	78			白	塑打斗	輪轉	難	瀬戸・内：芭叶文、透蓋・高台。	
123_4 C251	繩目	陶	小组	134	28	78			白	塑打斗	輪轉	難	瀬戸・美濃	内：芭叶山文、透蓋・高台。
123_5 C251	繩目	陶	小组	130	35	70			白	塑打斗	輪轉	難	瀬戸・内：芭叶文、透蓋・高台。	
123_6 C251	繩目	陶	小组	126	33	72			白	塑打斗	輪轉	難	瀬戸・内：芭叶山文、透蓋・高台。	
123_7 C251	繩目	陶	小组	128	29	78			白	塑打斗	輪轉	難	瀬戸・内：芭叶山文、透蓋・高台。	
123_8 C251	繩目	陶	中鉢	94	64	48			白	輪轉	難	瀬戸・内：コニカル型印刷(高)。外：芭叶文、一重圓錐。高台内印刷(底)。		
123_9 C251	繩目	陶	中鉢	101	32	58			塑打斗	輪轉	難	瀬戸・美濃	内：芭叶文、透蓋・高台。	
124_1 C251	繩目	陶	江井	224	105	100			白	輪轉	難	瀬戸・外：芭、透蓋・雲、燒跡有り。		
124_2 C251	繩目	陶	中鉢	136	68	65			白	輪轉	難	瀬戸・内：芭、透蓋・雲、竹文。外：芭叶文、一重圓錐。高台内印刷(底)。		
124_3 C251	繩目	陶	中鉢	94	37	44			塑打斗	輪轉	難	瀬戸・内：芭叶文？。外：芭叶文？。一重圓錐。		
124_4 C251	繩目	陶	中鉢	95	33	42			塑打斗	輪轉	難	瀬戸・内：芭叶文？。外：芭叶文？。一重圓錐。		
124_5 C251	繩目	陶	中鉢	160	80	70			白	輪轉	難	瀬戸・内：芭叶文、透蓋・高台。	内：芭叶文、透蓋・高台。	
124_6 C251	繩目	陶	中鉢	180	78	80			白	塑打斗	輪轉	難	瀬戸・内：芭叶文、透蓋・高台。	内：芭叶文、透蓋・高台。
124_7 C251	繩目	陶	中鉢	140	30	80			白	輪轉	難	瀬戸・美濃	内：芭叶文、透蓋・高台。	
124_8 C251	繩目	陶	中鉢	143	44	86			白	輪轉	難	瀬戸・美濃	内：芭叶文、透蓋・高台。	
125_1 C251	繩目	陶	透壺	126	67	66			白	輪轉	難	瀬戸・外：芭。		
125_2 C251	繩目	陶	透壺	120	67	58			白	輪轉	難	瀬戸・外：芭。		
125_3 C251	繩目	陶	透壺	118	65	66			白	輪轉	難	瀬戸・外：芭、透蓋文、透壺。内：透蓋文。		
125_4 C251	繩目	陶	中鉢	152	52	82			白	塑打斗	輪轉	難	瀬戸・内：芭叶文、透蓋・高台。外：芭叶文、一重圓錐。高台内印刷(底)。	
125_5 C251	繩目	陶	蓋物	(110)	69	74			白	輪轉	難	瀬戸・外：芭、太陽石。		
125_6 C251	繩目	陶	蓋物	94	51	47			白	輪轉	難	瀬戸・内：芭叶文、芭松。		
125_7 C251	繩目	陶	透壺	76	35	47			白	輪轉	難	瀬戸・外：芭。		
125_8 C251	繩目	陶	透壺	72	56	40			白	輪轉	難	瀬戸・美濃、帆立口瓶。		
125_9 C251	繩目	陶	透壺	74	41	32			白	輪轉	難	瀬戸・外：芭叶文。		
125_10 C251	繩目	陶	四重	150	56	96			白	輪轉	難	瀬戸・内：芭叶文、透蓋・高台。外：芭叶文、一重圓錐。高台内印刷(底)。		
125_11 C251	繩目	陶	四重	140	47	86			白	輪轉	難	瀬戸・美濃、帆立口瓶。		
125_12 C251	繩目	陶	透壺	101	70	70			白	輪轉	難	瀬戸・外：芭。		
125_13 C251	繩目	陶	透壺	106	87	76			白	輪轉	難	瀬戸・外：芭叶文、透蓋・高台。		
125_14 C251	繩目	陶	小壺	114	101	78	120		白	輪轉	難	瀬戸・美濃	内：芭叶文、透蓋・高台。	
125_15 C251	繩目	陶	透壺	123	67	65	125		白	輪轉	難	瀬戸・美濃	内：芭、透蓋。	

第35表 近世の陶磁器・土器観察表 (C区) (6)

測量番号 種類	出土 地點	材質	時期	形態	尺度(mm)				地土色調	底面	輪郭等	既定生産地	備考 (田・墓・文様・技法等)
					a	b	c	d					
125_16 C251	御用 茶	高砂	122	65	65	65	65	65	灰白	被糊	染付	肥前	外: 瓦。内: 梅鉢。
125_17 C251	御用 茶	高木鉢	122	98	79	灰白	被糊	染付	肥前	内: 陶加刷文。外: 椿蘭山水文。口縁加刷文。			
125_18 C251	御用 水注	木頭	123	39	66	灰白	被糊	染付	肥前	上:「福」字。下:五點足。			
125_19 C251	御用 茶	小鉢	20	127	44	68	口	被糊	染付	肥前	神西御用。外: 銀無草文。左: 梅竹文。右: 梅瓶文。		
125_20 C251	御用 茶	小鉢	17	71	29	灰白	被糊	染付	肥前	外: 陶加草文。内: 梅文。			
125_21 C251	御用 茶	製目付	20	74	46	灰白	被糊	染付	肥前	絵唐草文。外: 梅竹文。左: 梅竹文。右: 梅瓶文。			
126_1 C251	御用 茶	大鉢	36	252	91	口	被糊	青磁	染付	肥前	絵唐草文。「内吉」。		
126_2 C251	御用 茶	中鉢	100	—	—	灰白	被糊	染付	肥前	内: 花?。外: 花卉文。			
126_3 C251	御用 茶	圓蓋	100	30	56	灰白	被糊	染付	肥前	内: 花?。外: 花卉文。			
126_4 C251	御用 茶	圓蓋	45	33	64	灰白	被糊	組合糊	灰口、美濃	外: 梅枝文。丸模入。			
126_5 C251	御用 茶	圓蓋	88	27	33	灰白	被糊	染付	肥前	内: 梅枝文。外: 梅瓶文。左: 梅竹文。右: 梅瓶文。			
126_6 C251	御用 盒	高砂	86	25	35	灰白	被糊	染付	肥前	内: 梅枝文。外: 梅竹文。左: 梅竹文。右: 梅瓶文。口縁加刷文。			
126_7 C251	御用 盒	高砂	82	23	32	口	被糊	染付	肥前	内: 瓦。外: 梅枝文。			
126_8 C251	御用 盒	高砂	86	29	30	灰白	被糊	染付	灰口、美濃	外: 瓦。内: 梅枝文。			
126_9 C251	御用 盒	高砂	78	73	29	灰白	被糊	染付	灰口、美濃	外: 瓦。内: 梅枝文。			
126_10 C251	御用 盒	高砂	77	95	26	口	被糊	染付	肥前	内: 梅枝文。左: 梅竹文。			
126_11 C272	御用 盒	高砂物置	88	30	99	灰白	白糊	上:初付	肥前	内: 梅枝文。左: 梅竹文。			
127_1 C251	御用 盒	高砂物置	116	37	128	口	被糊	染付	肥前	内: 梅枝文。外: 梅竹文。左: 梅竹文。右: 梅瓶文。			
127_2 C251	御用 盒	高砂物置	116	37	128	口	被糊	染付	肥前	内: 梅枝文。外: 梅竹文。左: 梅竹文。右: 梅瓶文。			
127_3 C251	御用 盒	高砂物置	59	24	—	灰白	被糊	染付	千明	内: 千明文ほか。横筋み。			
127_4 C251	御用 盒	高砂	76	36	40	灰白	被糊	染付	肥前	内: 梅枝文。			
127_5 C251	御用 盒	高砂物置	62	25	71	灰白	被糊	染付	肥前	内: 千明文。外: 梅枝文。			
127_6 C251	御用 盒	水引置	55	23	—	灰白	被糊	染付	千明	内: 千明文。外: 梅枝文。			
127_7 C251	御用 盒	高砂物置	118	37	134	口	被糊	染付	灰口、美濃	外: 梅枝文。左: 梅竹文。右: 梅瓶文。			
127_8 C251	御用 盒	高砂物置	—	60	—	灰白	被糊	染付	肥前	内: 千明文ほか。横筋み。			
127_9 C251	御用 盒	高砂物置	53	10	61	灰白	被糊	染付	灰口、美濃	外: 千明文。			
127_10 C251	御用 水注	木頭	15	42	62	灰白	被糊	染付	灰口、美濃	外: 鎌倉山文。花口文。左: 朝日焼。右: 朝子文。			
127_11 C251	御用 水口	木頭	96	49	25	灰白	押切し	染付	灰口、美濃	上:花。波文。			
127_12 C251	御用 行丁脚	高砂草	48	(25)	—	口	被糊	染付	肥前	内: 鎌倉山文。			
127_13 C251	御用 行丁脚	高砂草	97	53	34	口	被糊	染付	肥前	内: 花。鳥。			
127_14 C251	御用 行丁脚	高砂草	(115)	46	48	灰白	被糊	染付	灰口、美濃	内: 花。波文。			
127_15 C251	御用 行丁脚	大網	121	67	62	灰白	被糊	染付	灰口、美濃	内: 花。波文。			
127_16 C251	御用 行丁脚	小網	90	49	38	灰白	被糊	染付	灰口、美濃	内: 花。波文。			
128_1 C251	御用 行丁脚	小網	100	123	78	灰白	被糊	染付	灰口、美濃	外: 朝日山白。内: 行丁脚白。高台とその両脇を斜めに施す。			
128_2 C251	御用 行丁脚	小網	117	63	58	灰白	被糊	染付	灰口、美濃	内: 行丁脚白。高台とその両脇を斜めに施す。			
128_3 C251	御用 行丁脚	小網	116	64	62	灰白	被糊	染付	灰口、美濃	内: 行丁脚白。外: 文政文。			
128_4 C251	御用 行丁脚	小網	66	59	32	灰白	被糊	染付	灰口、美濃	内: 行丁脚白。外: 文政文。			
128_5 C251	御用 行丁脚	大網	128	53	54	灰白	被糊	染付	灰口、美濃	内: 大山焼。陶器の表面に外付で施す。			
128_6 C251	御用 行丁脚	小網	116	50	48	灰白	被糊	染付	灰口、美濃	内: 行丁脚白。			
128_7 C251	御用 行丁脚	小網	100	51	36	灰白	被糊	染付	灰口、美濃	内: 行丁脚白。			
128_8 C251	御用 行丁脚	小網	88	52	34	灰白	被糊	染付	灰口、美濃	内: 行丁脚白。			
128_9 C251	御用 行丁脚	小網	110	54	43	灰白	被糊	染付	灰口、美濃	内: 行丁脚白。			
128_10 C251	御用 行丁脚	小網	108	52	51	灰	被糊	染付	灰口、美濃	内: 行丁脚白。外: 甘利山焼。			
128_11 C251	御用 行丁脚	小網	116	58	37	灰白	被糊	染付	灰口、美濃	内: 行丁脚白。			
128_12 C251	御用 行丁脚	小網	114	52	44	灰	被糊	染付	灰口、美濃	内: 行丁脚白。			
128_13 C251	御用 行丁脚	小網	100	49	34	灰白	被糊	染付	灰口、美濃	内: 行丁脚白。			
128_14 C251	御用 行丁脚	小網	92	46	28	灰白	被糊	染付	灰口、美濃	内: 行丁脚白。			
128_15 C251	御用 行丁脚	小網	90	50	30	灰白	被糊	染付	京、京口	内: 行丁脚白。			
128_16 C251	御用 行丁脚	小網	80	50	34	灰白	被糊	染付	京、京口	内: 行丁脚白。			
128_17 C251	御用 行丁脚	小網	87	51	29	灰白	被糊	染付	京、京口	内: 行丁脚白。			
128_18 C251	御用 行丁脚	小網	84	52	32	灰	被糊	染付	京、京口	内: 行丁脚白。			
128_19 C251	御用 行丁脚	小網	87	49	35	灰白	被糊	染付	京、京口	内: 行丁脚白。			
128_20 C251	御用 行丁脚	小網	69	37	30	灰白	被糊	染付	灰口、美濃	内: 行丁脚白。			
128_21 C251	御用 行丁脚	大網	270	63	120	灰白	被糊	染付	灰口、美濃	内: 行丁脚白。			
128_22 C251	御用 行丁脚	小網	84	29	44	灰白	被糊	染付	灰口、美濃	内: 行丁脚白。			
128_23 C251	御用 行丁脚	小網	70	23	4.0	灰白	被糊	染付	灰口、美濃	内: 行丁脚白。			
128_24 C251	御用 行丁脚	愛宕山	144	40-	100	灰白	タカラ 貼付	染付	灰口、美濃	内: 行丁脚白。			
128_25 C251	御用 行丁脚	愛宕山	133	50	90	灰白	被糊	染付	灰口、美濃	内: 行丁脚白。			
128_26 C251	御用 行丁脚	小網	75	26	28	灰	型打	不明	京、京口	内: 行丁脚白。			
128_27 C251	御用 行丁脚	小網	88	17	34	灰白	型打	不明	京、京口	内: 行丁脚白。			
128_28 C251	御用 行丁脚	小網	118	31	60	灰	被糊	染付	灰口、美濃	内: 行丁脚白。			
128_29 C251	御用 行丁脚	小網	116	24	44	灰白	被糊	染付	京、京口	内: 行丁脚白。			

第36表 近世の陶器・土器観察表 (C 区) (7)

測量番号 測定番号	出土地点	材質	時期	高さ	直径(mm)				胎土色調	底面	輪郭等	推定生産地	備考 (田・路・文様・技法等)	
					a	b	c	d						
129. 5	C251	陶器	田	切削面	69	17	27	灰	暗緑	特輪	瀬戸・美濃	内: 重ね輪郭あり。外: 体部上部から底面部にかけて輪郭 ヘタクズリを施す。輪郭上面とその西の側面を拭き取る。		
129. 6	C251	陶器	田	小鉢	134	39	65	灰(?)	暗緑	白泥、真朱、 青緑	瀬戸・美濃	丸白。内: 五瓣花、草花文。一重輪郭。外: 手捺し模様?		
129. 7	C251	陶器	田	切削面	88	20	34	灰(?)	暗緑	灰地、真朱、 青緑	京・近畿	内: 轮郭及び外輪郭の底部に施磨する。内: 細目。三足ハマ (三 脚) ピン。足あり。		
129. 8	C251	陶器	田	小鉢	105	29	52	浅黄	暗緑	灰地、真朱、 青緑	瀬戸・美濃	内: 轮郭及び外輪郭の底部に施磨する。内: 細目。輪郭底に青文様を施す。 外: 轮郭ヘタクズリを施す。輪郭底にその西の側面を拭き取る。		
129. 9	C251	陶器	田	切削面	123	30	52	灰	暗緑	特輪	瀬戸・美濃	内: 轮郭及び外輪郭の底部に施磨する。内: 細目。輪郭底に青文様を施す。 外: 轮郭ヘタクズリを施す。輪郭底にその西の側面を拭き取る。		
129. 10	C251	陶器	田	盤	173	30	112	灰	暗緑	特輪	瀬戸・美濃	内: 轮郭底で手拭く。		
129. 11	C251	陶器	田	盤	202	55	84	浅黄	暗緑	特輪	瀬戸・美濃	内: 轮郭底で手拭く。		
129. 12	C251	陶器	跡	圓筒(?)	38	27	34	52	灰(?)	暗緑 貼付	灰地	瀬戸・美濃	内: 轮郭底で手拭く。外: 体部は上部から底面部にかけて輪郭 ヘタクズリを施す。輪郭底にその西の側面を拭き取る。	
129. 13	C251	陶器	跡	蓋物	57	22	36	灰(?)	暗緑	灰地	瀬戸・美濃	内: 轮郭及び外輪郭の底部に施磨する。内: 細目。輪郭底に青文様を施す。 外: 轮郭ヘタクズリを施す。輪郭底にその西の側面を拭き取る。		
129. 14	C251	陶器	跡	蓋物	90	55	64	灰(?)	暗緑	灰地	瀬戸・美濃	内: 轮郭底で手拭く。		
129. 15	C251	陶器	跡	小鉢	48	41	29	灰	暗緑	特輪	瀬戸・美濃	内: 轮郭及び外輪郭を施磨する。底部は焼成時に存する 内輪郭。		
129. 16	C251	陶器	蓋	蓋物	104	22	—	—	タグ 透明釉、 押し 錐	透明釉、真 朱、 錐	瀬戸・美濃	内: 轮郭底で手拭く。輪郭底に青文様を施す。手拭は輪郭。輪 郭側に輪郭を施す。輪郭底に青文様を施す。手拭で内輪郭を手くら い白目を残す。		
129. 17	C251	陶器	跡	蓋物	83	69	57	灰(?)	暗緑	型起こし 灰地、真朱、 直輪	瀬戸・美濃	内: 轮郭底で手拭く全体を輪郭する。手拭は輪郭。輪 郭側で輪郭を残す。輪郭底に青文様を施す。		
129. 18	C251	陶器	跡	円口(?)	147	85	66	168	灰(?)	暗緑 貼付	灰地	瀬戸・美濃	内: 轮郭及び外輪郭を施磨する。底部は焼成時に存する 内輪郭。	
129. 19	C251	陶器	跡	中鉢	(180)	88	75	灰(?)	暗緑	真朱、 今井の 乳頭	瀬戸・美濃	内: 轮郭底で手拭く。上方輪郭や内輪郭を残す。上輪 部を輪郭に反す。輪郭底を輪郭で押さえて拭き取る。		
129. 20	C251	陶器	跡	蓋物	60	36	44	70	灰(?)	暗緑	灰地	瀬戸・美濃	内: 轮郭底で手拭く。輪郭底に青文様を施す。手拭で内輪 郭を残す。	
129. 21	C251	陶器	跡	蓋物	79	41	59	灰(?)	暗緑	灰地	瀬戸・美濃	内: 轮郭及び外輪郭の底部及び内輪郭は無輪となる。口縁に直 輪。		
130. 1	C251	陶器	蓋	小鉢	220	129	200	299	灰(?)	暗緑 貼付	铁輪、關輪	瀬戸・美濃	内: 体部は斜面で輪郭を施す。外: 体部斜面と輪郭底に青文 様を施す。内: 轮郭底は下部から左右に手拭え。その他の輪郭は外輪 郭から下方へ向ける。	
130. 2	Z C251	陶器	跡	蓋物	98	57	67	灰(?)	暗緑	灰地	瀬戸・美濃	内: 轮郭及び外輪郭及び内輪郭は無輪となる。口縁に直 輪。		
130. 3	C251	陶器	跡	西脇	149	59	88	灰(?)	暗緑	灰地	瀬戸・美濃	内: 轮郭及び外輪郭を施す。外: 体部斜面と輪郭底に青文 様を施す。内: 轮郭底は下部から左右に手拭え。その他の輪郭は外輪 郭から下方へ向ける。		
130. 4	C251	陶器	跡	粘木鉢	126	156	90	灰(?)	暗緑	铁輪、關輪	瀬戸・美濃	内: 体部斜面で輪郭を施す。外: 体部斜面及び輪郭底に青文 様を施す。足裏は上輪郭を残す。輪郭底は直輪。		
130. 5	C251	陶器	跡	粘木鉢	100	110	75	浅黄	暗緑	灰地	瀬戸・美濃	内: 体部斜面で輪郭を施す。外: 体部斜面及び内輪郭は無 輪となる。口縁に直輪。		
130. 6	C251	陶器	跡	粘木鉢	128	93	89	147	灰	暗緑	灰地	瀬戸・美濃	内: 体部斜面で輪郭を施す。外: 体部斜面及び内輪郭は無 輪となる。口縁に直輪。	
130. 7	C251	陶器	跡	粘木鉢	271	224	194	灰(?)	暗緑	鐵輪、凸宋輪	瀬戸・美濃	内: 体部斜面で輪郭を施す。外: 体部斜面及び輪郭底に青文 様を施す。足裏は上輪郭を残す。輪郭底は直輪。		
130. 8	C251	陶器	跡	小鉢	98	80	60	114	灰(?)	暗緑	铁輪、灰地	瀬戸・美濃	内: 体部斜面で輪郭を施す。外: 体部斜面及び輪郭底に青文 様を施す。内: 轮郭底は下部から左右に手拭え。輪郭底を平削 り。外輪: 直輪。	
130. 9	C251	陶器	跡	粘木鉢	184	121	103	195	灰(?)	暗緑	灰地	瀬戸・美濃	内: 体部斜面で輪郭を施す。外: 体部斜面及び内輪郭は無 輪となる。口縁に直輪。	
130. 10	C251	陶器	跡	?	—	—	66	—	暗緑	輪郭	干明、竹干	瀬戸・美濃	内: 轮郭内に輪郭4。輪郭底は手拭。口: 月輪底に青文 様を施す。内: 轮郭底は下部から左右に手拭え。口: 月輪底に青 文様を施す。	
130. 11	C251	陶器	跡	片口(?)	181	123	97	222	灰黄	暗緑	良輪	瀬戸・美濃	内: 轮郭底は下部から左右に手拭え。口: 月輪底に青文 様を施す。内: 轮郭底は下部から左右に手拭え。口: 月輪底に青 文様を施す。	
130. 12	C251	陶器	跡	丸造り	(114)	(177)	—	—	浅黄	暗緑	輪郭	不明	目輪底に直輪あり。軽乳化。	
131. 1	C251	陶器	蓋	中鉢	190	134	137	—	—	—	—	瀬戸・美濃	内: 体部斜面に5つの輪郭がある。直輪に輪郭を残す。口: 月輪底に青文 様を施す。内: 轮郭底は下部から左右に手拭え。輪郭底を平削 り。外輪: 直輪。	
131. 2	C251	陶器	蓋	中鉢	160	108	104	—	—	—	—	瀬戸・美濃	内: 体部斜面で輪郭を施す。外: 体部斜面及び内輪郭は無 輪となる。口縁に直輪。	
131. 3	C251	陶器	跡	小鉢	208	143	(178)	316	灰(?)	暗緑	铁輪、關輪	瀬戸・美濃	内: 体部斜面で輪郭を施す。外: 体部斜面及び内輪郭は無 輪となる。口縁に直輪。	
131. 4	C251	陶器	跡	水鉢	325	222	170	—	淡黄	暗緑	铁輪	瀬戸・美濃	内: 体部斜面で輪郭を施す。外: 体部斜面及び内輪郭は無 輪となる。口縁に直輪。	
131. 5	C251	陶器	跡	大鉢	330	235	207	—	灰(?)	暗緑	鐵輪、凸宋輪	瀬戸・美濃	内: 体部斜面で輪郭を施す。外: 体部斜面及び内輪郭は無 輪となる。口縁に直輪。	
131. 6	C251	陶器	蓋	大鉢	304	282	220	332	粗	暗緑	铁輪、關輪	瀬戸・美濃	内: 体部斜面で輪郭を施す。外: 体部斜面及び内輪郭は無 輪となる。口縁に直輪。	
131. 7	C251	陶器	跡	鉢	185	170	172	245	灰(?)	暗緑 貼付	铁輪、灰	瀬戸・美濃	内: 体部斜面に4つの輪郭がある。直輪に輪郭を残す。口: 月輪底に青文 様を施す。内: 轮郭底は下部から左右に手拭え。口: 月輪底に青 文様を施す。	
131. 8	C251	陶器	跡	瓶	313	168	154	324	灰(?)	暗緑	铁輪	不明	三星を含む。外輪: 体部斜面及び輪郭を施す。瓶底に文様を描く。底 は半球的火穴。	
131. 9	C251	陶器	蓋	小鉢	100	123	78	—	—	—	—	瀬戸・美濃	内: 轮郭。外輪は断面方形で削り出しなにより成形する。把手 を施す。	
131. 10	C251	陶器	蓋	小鉢	74	87	54	94	灰(?)	暗緑 貼付	铁輪	瀬戸・美濃	内: 轮郭。外輪は断面方形で削り出しなにより成形する。把手 を施す。	
131. 11	C251	陶器	蓋	小鉢	54	63	42	70	灰(?)	暗緑 貼付	铁輪	瀬戸・美濃	内: 轮郭。外輪は断面方形で削り出しなにより成形する。把手 を施す。	
131. 12	C251	陶器	跡	?	116	98	76	—	—	—	—	瀬戸・美濃	内: 轮郭。外輪は断面方形で削り出しなにより成形する。把手 を施す。	
131. 13	C251	陶器	跡	花瓶	46	111	63	95	灰(?)	暗緑	铁輪	瀬戸・美濃	内: 轮郭。外輪は断面方形で削り出しなにより成形する。把手 を施す。	
131. 14	C251	陶器	跡	瓶	49	40	42	84	灰(?)	暗緑	铁輪	不明	内: 轮郭。外輪は断面方形で削り出しなにより成形する。把手 を施す。	
131. 15	C251	陶器	瓶	瓶中?	22	—	—	—	—	—	—	田代	内: 轮郭。外輪は断面方形で削り出しなにより成形する。把手 を施す。	

第37表 近世の陶磁器・土器観察表（C区）(8)

測量番号 種類・番号	出土地点	材質	種類	形態	法線 (mm)				胎土色調	成形	施華等	既定生産地	備考 (田・高・昌・呉・昌黎・扶桑等)	
					a	b	c	d						
132. 1	C251	陶器	瓶	大瓶	32	246	111	141	灰黄	模様	灰釉	慶州・美濃	既定に多切あり。射方き「六八」。	
132. 2	C251	陶器	瓶	中瓶	35	230	80	109	灰黄	模様	灰釉	慶州・美濃	外：制御下半は白地へケタズリ。内部は削り出し。輪郭を取り、制御に左右の繩巻2箇所あり。絞込みに螺旋文あり。	
132. 3	C251	陶器	瓶	中瓶	32	206	80	107	灰黄	模様	灰釉	慶州・美濃	外：輪郭下半は白地へケタズリ。既定との内側は輪郭を取り、既定の削り出し。制御に左右の繩巻3箇所あり。既定に螺旋文あり。射方きあり。	
132. 4	C251	陶器	瓶	中瓶	34	215	68	84	灰白	模様	灰釉	慶州・美濃	外：制御下半は白地へケタズリ。輪郭を削り出る。射方きあり。	
132. 5	C251	陶器	瓶	中瓶	40	203	66	84	灰	模様	灰釉	慶州・美濃	外：制御下半は白地へケタズリ。輪郭を削り出る。既定に螺旋文あり。射方きあり。	
132. 6	C251	陶器	瓶	中瓶	40	188	68	84	灰	模様	灰釉	慶州・美濃	外：制御下半は白地へケタズリ。輪郭を削り出る。既定に螺旋文あり。射方きあり。	
132. 7	C251	陶器	瓶	小瓶	20	192	68	96	灰	模様	灰釉	慶州・美濃	外：制御下半は白地へケタズリ。輪郭を削り出る。既定に螺旋文あり。射方きあり。	
132. 8	C251	陶器	瓶	小瓶	27	176	64	102	灰黄	模様	灰釉	慶州・美濃	外：制御下半は白地へケタズリ。既定に削り出し。既定に螺旋文あり。射方きあり。	
132. 9	C251	陶器	瓶	大瓶		128	197	141	灰白	模様	灰釉	平明	外：制御下半は白地へケタズリ。輪郭を削り出る。既定に螺旋文あり。射方きあり。	
132. 10	C251	陶器	水注	水注江	67	79	52	128	灰白	模様	灰付	灰釉	慶州・美濃	内：既定。既定に外側を削り出す。既定に螺旋文あり。既定に螺旋文あり。
132. 11	C251	陶器	水注	水注江	56	67	44	120	灰白	模様	灰付	灰釉	内：既定。既定に外側を削り出す。既定に螺旋文あり。既定に螺旋文あり。	
132. 12	C251	陶器	瓶	花生	62		74	灰白	模様	灰釉	晶釉	慶州・美濃	外：既定に既定に既定。既定に既定を削く。既定を削く。既定に既定を削く。	
132. 13	C251	陶器	瓶	花生		67		灰白	模様	灰釉	晶釉	慶州・美濃	内：既定を削く。既定に既定を削く。既定に既定を削く。	
133. 1	C251	陶器	水注	土瓶	66	109	60	190	灰白	模様	古付	不明	外：既定を削く。既定に既定を削く。既定に既定を削く。	
133. 2	C251	陶器	水注	土瓶	698	(124)	74	204	相	模様	古付	既釉	外：既定に既定。既定で既定を削く。既定を削く。既定に既定を削く。	
133. 3	C251	陶器	水注	土瓶	51				古	模様	古付	不明	外：既定を削く。既定に既定を削く。既定に既定を削く。既定に既定を削く。	
133. 4	C251	陶器	水注	土瓶	44				古	模様	古付	不明	外：既定を削く。既定に既定を削く。	
133. 5	C251	陶器	瓶	土瓶	136				古	模様	古付	不明	既定に既定を削く。既定に既定を削く。	
133. 6	C251	陶器	瓶	高足	1660	87	73	182	灰白	模様	灰付	平明	外：既定を削く。既定に既定を削く。既定に既定を削く。	
133. 7	C251	陶器	瓶	土瓶	176	95	74	200	灰白	模様	灰付	平明	外：既定を削く。既定に既定を削く。既定に既定を削く。	
133. 8	C251	陶器	瓶	土瓶	184	110	84	220	灰白	模様	灰付	平明	既定に既定を削く。既定に既定を削く。既定に既定を削く。	
134. 1	C251	陶器	壺	干子 ^{カニ}	46	43	34	80	灰白	模様	灰付	平明	既定とその辺境を跨ぐ全面に施釉。	
134. 2	C251	陶器	壺	土瓶蓋	79	36		164	灰白	模様	灰付	灰釉	京・但倭	
134. 3	C251	陶器	壺	土瓶蓋	60	35		90	灰黄	模様	古付	不明	外：既定に既定に既定を削く。既定に既定を削く。既定に既定を削く。	
134. 4	C251	陶器	壺	土瓶蓋	48	29		70	灰白	模様	古付	不明	既定に既定を削く。既定に既定を削く。	
134. 5	C251	陶器	壺	土瓶蓋	48	29		72	灰白	模様	古付	不明	外：既定に既定。既定で既定を削く。既定を削く。	
134. 6	C251	陶器	壺	土瓶蓋	58	37		79	灰白	模様	古付	不明	外：企念に既定。既定に既定を削く。	
134. 7	C251	陶器	壺	干子 ^{カニ}	112	19		79	灰白	模様	古付	不明	外：既定に既定を削く。	
134. 8	C251	陶器	壺	干子 ^{カニ}	95	13		79	灰白	模様	古付	不明	外：既定に既定。既定に既定を削く。	
134. 9	C251	陶器	壺	高足 ^{トウ} 壺	28	17		100	灰白	模様	高足 ^{トウ} 付	慶州・白泥	外：既定に既定。既定に既定を削く。	
134. 10	C251	陶器	壺	高足 ^{トウ} 壺	87	25		93	灰白	模様	高足 ^{トウ} 付	慶州・白泥	外：既定に既定。既定に既定を削く。	
134. 11	C251	陶器	壺	高足 ^{トウ} 壺	53	20		93	灰白	模様	高足 ^{トウ} 付	慶州・白泥	外：既定に既定。既定に既定を削く。	
134. 12	C251	陶器	壺	十瓣蓋	63	36		83	灰白	模様	灰付	灰釉	外：既定に既定を削く。既定に既定を削く。	
134. 13	C251	陶器	壺	十瓣蓋	35	31		52	灰白	模様	古付	灰釉	外：既定に既定を削く。既定に既定を削く。	
134. 14	C251	陶器	壺	十瓣蓋	36	27		54	灰白	模様	古付	不明	外：企念に良石縫を削く。内：既定。	
134. 15	C251	陶器	壺	土瓶蓋	42	29		59	灰白	模様	古付	不明	外：企念に良石縫。既定に既定を削く。既定に既定を削く。	
134. 16	C251	陶器	壺	土瓶蓋	35	26		54	灰白	模様	古付	平明	外：企念に既定を削く。既定に既定を削く。	
134. 17	C251	陶器	壺	土瓶蓋	37	28		48	灰白	模様	灰付	灰釉	外：既定に既定を削く。既定に既定を削く。	
134. 18	C251	陶器	壺	44	28		54	灰白	模様	灰付	不明	外：既定に既定を削く。		
134. 19	C251	陶器	壺	50	14		51	灰白	模様	古付 ^(トウ)	白泥	外：既定に既定を削く。		
134. 20	C251	陶器	壺	73	9		87	灰白	模様	古付 ^(トウ)	白泥	外：既定に既定を削く。		
134. 21	C251	陶器	壺	92	32		116	灰白	模様	灰付	京・昌象	外：既定に既定を削く。		
134. 22	C251	陶器	壺	105	21		116	灰白	模様	灰付	平明	外：既定に既定を削く。		
134. 23	C251	陶器	壺	116	21		122	灰白	模様	灰付	灰釉	外：既定に既定を削く。		
134. 24	C251	陶器	壺	18	42		95	灰白	模様	灰付	慶州・白泥	既定に既定を削く。		
134. 25	C251	陶器	壺	18	43		86	灰白	模様	灰付	平明	外：企念に既定。既定に既定を削く。		
134. 26	C251	陶器	壺	18	34		68	灰白	模様	灰付	平明	外：既定に既定を削く。既定に既定を削く。		
134. 27	C251	陶器	壺	94	24		28	灰白	模様	灰付	平明	外：既定に既定を削く。		
134. 28	C251	陶器	壺	171	39		49	灰白	模様	灰付	京・白泥	既定に既定を削く。		
134. 29	C251	陶器	壺	125			150	灰白	模様	空付	慶州・白泥	既定に既定を削く。		
135. 1	C251	陶器	壺	若物 ^{カニ}	168	27		相	模様	古付	白泥	イッサン、外：既定に既定を削く。		
135. 2	C251	陶器	壺	若物 ^{カニ}	108	13		108	灰白	模様	灰付	外：企念に既定。		

第38表 近世の陶器・土器観察表 (C 区) (9)

測量番号	出土 場所	材質	種類	形態	尺度(mm)				出土色調	底面	輪郭等	原産生地	参考 (田・暮・文様・技法等)		
					a	b	c	d							
135 3 C251	陶器	鐵	蓋物器	61	10	70	43	褐色	灰褐色	圓口・美濃	有輪點。				
135 4 C251	陶器	鐵	蓋物器	96	23	38	42	褐色	灰褐色	灰褐色、灰乳頭。	圓口・美濃	外：美濃手、内：灰褐色。			
135 5 C251	土器	鐵?		74	44	9	灰褐色	不明	不明	灰褐色。			灰褐色。		
135 6 C251	陶器	鐵	打目具	40	138	51	77	灰白色	褐色	灰褐色、綠褐色。	圓口・美濃				
135 7 C251	陶器	鐵	刮刀	48	114	56	48	灰白色	褐色	灰褐色、灰乳頭。	圓口・美濃	外：鉛輪で側面又は縁に。			
135 8 C251	陶器	鐵	刮刀受皿	82	52	45	42	褐色	褐色	灰褐色。	圓口・美濃	底面及び受皿縁を除く全面に施す。			
135 9 C251	陶器	鐵	刮刀受皿	64	40	50	20	灰白色	褐色	灰褐色。	圓口・美濃				
135 10 C251	陶器	鐵	小鉢				56	褐色	褐色	灰褐色。	不明	灰褐色。			
135 11 C251	陶器	鐵	打目具	123	32	47	浅黃	褐色	褐色	圓口・美濃	体部外周に曳毛印内面全体に施施す。内：深ねじき痕あり。外：体部中位以下斜輪ヘラケツリ。				
135 12 C251	陶器	鐵	打目具	122			に深い凹み	褐色	褐色	圓口・美濃	体部外周に曳毛印内面全体に施施す。内：深ねじき痕あり。外：体部中位以下斜輪ヘラケツリ。				
135 13 C251	陶器	鐵	打目具	180	78	80	に深い凹み	褐色	褐色	圓口・美濃	体部外周に曳毛印内面全体に施施す。内：深ねじき痕あり。外：体部中位以下斜輪ヘラケツリ。				
135 14 C251	陶器	鐵	刮刀受皿	124	30	56	88	灰褐色	褐色	圓口・美濃	圓口・美濃	外：鉛輪下部斜輪ヘラケツリ。			
135 15 C251	陶器	鐵	刮刀受皿	102	2.3	46	70	灰褐色	褐色	褐色	圓口・美濃	受皿部は褐色。外：外輪部下から底部まで斜輪ヘラケツリ。油渦状立紋。			
135 16 C251	陶器	鐵	刮刀受皿	90	23	36	56	灰白色	褐色	圓口・美濃	受皿部は褐色。外：外輪部下から底部まで斜輪ヘラケツリ。油渦状立紋。				
135 17 C251	陶器	鐵	刮刀受皿	70	16	34	42	灰褐色	褐色	圓口・美濃	受皿部は褐色。外：外輪部下から底部まで斜輪ヘラケツリ。油渦状立紋。				
135 18 C251	陶器	鐵	鋸	427	182	186	細孔	褐色	加厚	明	圓口	見込み6—8条の単位。単位口・舟形。外輪部(鋸刃部分)から受皿部にかけて斜輪ヘラケツリ。			
135 19 C251	陶器	鐵	鋸	438	149	160	細孔	褐色	加厚	明	圓口	見込み7—9条と部10条の単位。見込み部斜輪。鋸刃部斜輪ヘラケツリ。			
135 20 C251	陶器	鐵	鋸	268	156	153	灰白色	褐色	鋸	圓口・美濃	文政元年(1818年)。外：底部斜輪。辯込に白拂毛。				
135 21 C251	陶器	鐵	蓋物器		59			灰白色	褐色	灰褐色	圓口・美濃				
136 1 C251	土器	鐵	火消棒	251	28		浅黃褐	圓口・鋸	鋸	圓口	山戸在地				
136 2 C251	土器	鐵	火消棒	(195)	188	194	圓	圓口	鋸	圓口	山戸在地				
136 3 C251	土器	鐵	火消棒	(72)	273	257	圓	圓口	鋸	圓口	山戸在地				
136 4 C251	土器	鐵	火消棒	170	81	121	に深い凹み	圓口	鋸	圓口	山戸在地	三足。外：火消棒頭部ミサギ。スタンプによる文様。			
136 5 C251	土器	鐵	火消棒	(52)	71	110	灰白色	褐色	鋸	圓口	山戸在地	外：火消棒頭部ミサギ。C244号十輪六点と合体。			
136 6 C251	土器	鐵	鋸	6000	149	185	に深い凹み	圓口	鋸	圓口	山戸在地	三足。完記3脚のうち1脚は欠損。外：火消棒頭部ミサギ。			
136 7 C251	土器	鐵	鋸	95	47	55	浅黃褐	圓口	鋸	圓口	山戸在地	火消棒頭部ミサギ。斜輪ヘラケツリ。			
136 8 C251	土器	鐵	鋸	95	50	58	浅黃褐	圓口	鋸	圓口	山戸在地	外：火消棒頭部ミサギ。			
136 9 C251	土器	鐵	鋸	98	48	65	明小鉢	圓口	鋸	圓口	山戸在地	外：火消棒頭部ミサギ。			
136 10 C251	土器	鐵	鋸	101	72	65	明	圓口	鋸	圓口	山戸在地	底面に切欠調整。焼成前断面。			
136 11 C251	土器	鐵	鋸	175	193	168	灰白色	圓口	鋸	圓口	山戸在地	火消棒頭部ミサギ。			
136 12 C251	土器	鐵	鋸	98	36	110	灰白色	圓口	鋸	圓口	山戸在地	火消棒頭部ミサギ。			
136 13 C251	土器	鐵	鋸		60		圓口	鋸	鋸	圓口	山戸在地	底面に切欠調整。			
136 14 C251	土器	鐵	カムテラ	58	61	67	154	明小鉢	鋸	鋸	圓口	山戸在地	火消棒頭部ミサギ。底面に切欠調整。火消棒頭部ミサギ。底部に斜輪。2箇所ある扇なり下に円心穿孔部分に斜輪が当たる。		
136 15 C251	土器	鐵	蓋物器	70	71	54	74	明褐色	褐色	透明玻璃	圓口	山戸在地	火消棒頭部ミサギ。全面上に斜輪。		
136 16 C251	土器	鐵	打目具	106	26	50	74	褐色	褐色	透明玻璃	圓口	山戸在地	火消棒頭部ミサギ。全面上に斜輪。		
136 17 C251	土器	鐵	打目具	98	23	36	65	褐色	褐色	透明玻璃	圓口	山戸在地	火消棒頭部ミサギ。全面上に斜輪。		
136 18 C251	土器	鐵	打目具	86	18	34	58	浅黃褐	褐色	透明玻璃	圓口	山戸在地	火消棒頭部ミサギ。全面上に斜輪。		
136 19 C251	土器	鐵	打目具	75	20	34	48	褐色	褐色	透明玻璃	圓口	山戸在地	火消棒頭部ミサギ。全面上に斜輪。		
136 20 C251	土器	鐵	打目具	73	18	33	47	褐色	褐色	透明玻璃	圓口	山戸在地	火消棒頭部ミサギ。全面上に斜輪。瓶穴アリ。		
136 21 C251	土器	鐵	鋸	タココロ	76	28	40	明褐色	透明玻璃	透明玻璃	圓口	山戸在地	火消棒頭部ミサギ。全面上に斜輪。瓶穴アリ。		
136 22 C251	土器	鐵	鋸	タココロ	64	22	29	明褐色	透明玻璃	透明玻璃	圓口	山戸在地	火消棒頭部ミサギ。全面上に斜輪。		
136 23 C251	土器	鐵	鋸	タココロ	48	20	29	明褐色	透明玻璃	透明玻璃	圓口	山戸在地	火消棒頭部ミサギ。全面上に斜輪。		
136 24 C251	土器	鐵	鋸	タココロ	35	15	25	に深い凹み	透明玻璃	透明玻璃	圓口	山戸在地	火消棒頭部ミサギ。底面に切欠削除。		
136 25 C251	土器	鐵	鋸	打目具	50	8	43	に深い凹み	透明玻璃	透明玻璃	圓口	山戸在地	火消棒頭部ミサギ。底面に切欠削除。		
136 26 C251	土器	鐵	鋸	打目具	34	8	22	に深い凹み	透明玻璃	透明玻璃	圓口	山戸在地	火消棒頭部ミサギ。底面に切欠削除。		
136 27 C251	土器	鐵	鋸	(21)	30		褐色	透明玻璃	透明玻璃	圓口	山戸在地	火消棒頭部ミサギ。			
136 28 C251	土器	鐵	小鉢	53	13	23	浅黃	褐色	褐色	作合	不明	火消棒頭部ミサギ。			
137 1 C251	土器	鐵	蓋物器	G186	174	215	浅黃	圓口	鋸	透明玻璃	圓口	山戸在地	火消棒頭部ミサギ。全面上に斜輪。		
137 2 C251	土器	鐵	土器		172	184	浅黃	圓口	鋸	透明玻璃	圓口	山戸在地	火消棒頭部ミサギ。全面上に斜輪。		
137 3 C251	土器	鐵	土器	五輪	146	42	100	に深い凹み	圓口	鋸	透明玻璃	圓口	山戸在地	底面を開く全面充ナメ調整。	
137 4 C251	土器	鐵	品				206	に深い凹み	褐色	作合	不明	火消棒頭部ミサギ。			
137 5 C251	土器	鐵	鋸	火消棒	(148)	210	に深い凹み	褐色	鋸	透明玻璃	圓口	山戸在地	火消棒頭部ミサギ。全面上に斜輪。		
137 6 C251	土器	鐵	鋸	火消棒	330	(30)	に深い凹み	褐色	透明玻璃	圓口	山戸在地	火消棒頭部ミサギ。全面上に斜輪。			
137 7 C251	土器	鐵	鋸	火消棒	330	(51)	に深い凹み	透明玻璃	透明玻璃	圓口	山戸在地	火消棒頭部ミサギ。全面上に斜輪。			
137 8 C251	土器	鐵	鋸	火消棒	61	12	62	透明玻璃	透明玻璃	透明玻璃	圓口	山戸在地	火消棒頭部ミサギ。全面上に斜輪。		
137 9 C251	土器	鐵	鋸	火消棒	68	11	57	に深い凹み	透明玻璃	透明玻璃	圓口	山戸在地	火消棒頭部ミサギ。全面上に斜輪。		
137 10 C251	土器	鐵	鋸	火消棒	78	9	69	透明玻璃	透明玻璃	透明玻璃	圓口	山戸在地	火消棒頭部ミサギ。全面上に斜輪。		
137 11 C251	土器	鐵	鋸	火消棒	72	14	78	透明玻璃	透明玻璃	透明玻璃	圓口	山戸在地	火消棒頭部ミサギ。全面上に斜輪。		
137 12 C251	土器	鐵	鋸	火消棒	56	28	44	に深い凹み	透明玻璃	透明玻璃	圓口	山戸在地	火消棒頭部ミサギ。全面上に斜輪。		
137 13 C251	土器	鐵	鋸	火消棒	50	38	60	透明玻璃	透明玻璃	透明玻璃	圓口	山戸在地	火消棒頭部ミサギ。全面上に斜輪。		
137 14 C251	土器	鐵	五寸鉢	(163)	32	92	透明玻璃	透明玻璃	透明玻璃	圓口	山戸在地	火消棒頭部ミサギ。全面上に斜輪。			
137 15 C251	土器	鐵	五寸鉢	(146)	32	82	透明玻璃	透明玻璃	透明玻璃	圓口	山戸在地	火消棒頭部ミサギ。全面上に斜輪。			
137 16 C251	土器	鐵	小鉢	125	32	72	透明玻璃	透明玻璃	透明玻璃	圓口	山戸在地	火消棒頭部ミサギ。全面上に斜輪。			

第39表 近世の陶器・土器観察表（C区）（10）

観察番号 種別	出土 場所	材質	時期	量記(m)				出土色調	底面	輪郭等	既定生産地	備考(田・呉・文様・技法等)
				a	b	c	d					
138 17 C251	土器	陶	小鉢	108	23	51		明黄向	無縫	直口	江戸在地	既定大切切調整。
138 18 C251	土器	陶	小鉢	(106)	19	(56)		橙	無縫	直口	江戸在地	外：上輪底直下から底面にかけて瓦刃。
138 19 C251	土器	陶	小鉢	92	20	40		橙	無縫	直口	江戸在地	底部中央未調整、全面に施錆。
138 20 C251	土器	陶	小鉢	104	21	48		橙	無縫	直口	江戸在地	既定大切切調整。
138 21 C251	土器	陶	小鉢	106	20	57		橙	無縫	直口	江戸在地	外：上輪底直下から底面にかけて瓦刃。
138 22 C251	土器	陶	小鉢	100	22	48		橙	無縫	直口	江戸在地	既定大切切調整。
138 23 C251	土器	陶	小鉢	78	17	40		橙	無縫	直口	江戸在地	既定大切切調整。
138 24 C251	土器	陶	小鉢	72	16	30		橙	無縫	直口	江戸在地	既定大切切調整、全面に施錆。
138 25 C251	土器	陶	小鉢	68	13	33		橙	無縫	直口	江戸在地	既定大切切調整。
138 26 C251	土器	陶	小鉢	50	11	26		橙	無縫	直口	江戸在地	既定大切切調整。
139 1 C278	磁器	陶	大鉢	(149)	70	52		灰白	無縫	直口	前	
139 2 C278	磁器	陶	大鉢	141	84	58		灰白	無縫	直口	灰地、直	不明
139 3 C278	磁器	陶	小鉢	(86)	62	32		灰白	無縫	直口	前	
139 9 C278	磁器	陶	鉢(浅)	(90)	65	(64)		灰白	無縫	直口	前	
139 4 C278	磁器	陶	大鉢	(72)	51	49		灰白	無縫	直口	前	
139 5 C278	磁器	陶	中鉢	102	51	35		灰白	無縫	直口	前	
139 6 C278	磁器	陶	小鉢	90	49	32		灰白	無縫	直口	前	
139 7 C278	磁器	陶	小鉢	62	25	30		灰白	無縫	直口	前	
139 8 C278	磁器	陶	小鉢	53	32	22		灰白	無縫	直口	前	
139 10 C278	磁器	陶	鉢	(104)	53	83		灰白	無縫	直口	前	
139 11 C278	磁器	陶	盆	(70)	62	16	43	58	明黄向	無縫	直	織紋・美濃
139 12 C278	土器	陶	燒成石器	79	19		72	黒	無縫	直口	前	
140 1 C304	磁器	陶	中鉢	100	35	34		灰白	無縫	直口	前	
140 2 C304	磁器	陶	小鉢	98	50	34		灰白	無縫	直口	前	内：木の堅文をコンニャク印台で転し、墨で花描く。高台内「木の堅文」款。
140 3 C304	磁器	陶	小鉢	66	33	27		灰白	無縫	直口	前	内：見込み五瓣花、上輪部四方連文。
140 4 C304	磁器	陶	小鉢	54	24	22		灰白	無縫	直口	前	
140 5 C304	磁器	陶	鉢	70	40	46		灰白	無縫	直口	前	外：草花文
140 6 C304	磁器	陶	小鉢	(89)	51	37		灰白	無縫	直	灰地、直	京・伝委
140 7 C304	磁器	陶	中鉢	(100)	58	44		灰白	無縫	直口	灰地	瀬戸・美濃
140 8 C304	磁器	陶	中鉢	(118)	71	(52)		灰白	無縫	直口	灰地	高台・直
140 9 C304	磁器	陶	小鉢(?)	66				灰白	無縫	直口	前	白泥、透明感、織紋
140 10 C304	磁器	陶	瓶	60	148	218	195	灰白	無縫	直口	直	織紋・美濃
140 11 C304	磁器	陶	鉢(大)	192	(118)	180	240	明黄向	無縫	直口	前	足矢生し船形のみ、内：舟モサエ瓶手押跡。
140 12 C304	磁器	陶	瓶	66	12			無縫	無縫	直口	内：舟モサエ瓶手押が確かに貰ひ。	
140 13 C305	土器	土	鉢	燒成新身	55	87	52	72	粉	無縫	直口	沖縄第55表参照。
140 14 C305	磁器	陶	中鉢	99	40			灰白	型打ち	直口	前	
140 15 C305	磁器	陶	中鉢	95	52	38		灰白	無縫	直口	前	外：雪輪舟絞元。
140 16 C305	磁器	陶	皿	105	33	52		灰白	無縫	直口	前	
140 17 C305	磁器	陶	中鉢	204	33	72		灰白	無縫	直口	前	外：太空望。
140 18 C305	磁器	陶	大鉢	122	62	37		灰白	無縫	直口	前	高台・美濃
140 19 C305	磁器	陶	小鉢	72	33	39		灰白	無縫	直口	前	高台・美濃
141 1 C305	磁器	陶	鉢	266	127	130		赤	無縫	直口	前	火拂。
141 2 C305	磁器	陶	瓶	156	81	146		灰白	無縫	直口	前	高台・美濃
141 3 C305	磁器	陶	瓶	38				灰白	無縫	直口	前	内：跳ね頭舟文、見込み五瓣花。外：松竹梅文。
141 4 C305	磁器	陶	瓶	314				灰白	無縫	直口	前	利利用。へら模様あり。前面下方に細目文あり。
141 5 C305	磁器	陶	瓶	54				明黄向	無縫	直口	前	瓶耳、四壁高さ2cm前後。
141 6 C305	磁器	陶	瓶	91	18	46		明黄向	無縫	直口	前	内：舟モサエ瓶手押有り。縫縫古田。
141 7 C305	磁器	陶	中鉢	94	35	34		灰白	無縫	直口	前	内：上輪付で舟文。高台・直。
141 8 C305	磁器	陶	小鉢	88	34	32		灰白	無縫	直口	前	内：内輪頭舟文、見込み五瓣花。外：松竹梅文。
141 9 C305	磁器	陶	中鉢	103	48	35		灰白	無縫	直口	前	内：舟モサエ瓶手押有り。
141 10 C305	磁器	陶	中鉢	(96)	51	35		灰白	無縫	直口	前	外：牡丹文、龜甲文。
141 11 C305	磁器	陶	中鉢	(88)	60	35		灰白	無縫	直口	前	
141 12 C305	磁器	陶	中鉢	101	49	35		灰白	無縫	直口	前	外：五葉桔梗重文。
141 13 C305	磁器	陶	中鉢	98	52	37		灰白	無縫	直口	前	外：七宝點文。
141 14 C305	磁器	陶	中鉢	81	38	35		灰白	無縫	直口	前	外：松竹文。
141 15 C305	磁器	陶	小鉢	38				灰白	無縫	直口	前	外：コスモ花文。
141 16 C305	磁器	陶	小鉢	(57)	34	22		灰白	無縫	直口	前	外：コニニヤク印判判縫。内：株分付縫。
141 17 C305	磁器	陶	小鉢	87	28	29		灰白	無縫	直口	前	外：コニニヤク印判縫。内：株分付縫。
141 18 C305	磁器	陶	小鉢	80	64	40		灰白	無縫	直口	前	内：見込み五瓣花。外：矢羽根文。
141 19 C305	磁器	陶	小鉢	(70)	60	38		灰白	無縫	直口	前	内：見込み五瓣花。上輪部内四方釋文、体部内出舟花。
141 20 C305	磁器	陶	小鉢	79	61	43		灰白	無縫	直口	前	

第40表 近世の陶磁器・土器観察表（C区）(11)

測量番号 測定 番号	出土 地點	材質	形態	測量	法規 (mm)				胎土色調	成形	輪郭等	推定生産地	備考 (田・呂・文様・技法等)
					a	b	c	d					
141	21	C305 中筋	磁器	伝承品	67	61	40		灰白	模様	青磁	肥前	近江鉢。
141	22	C305 中筋	磁器	伝承品	70	48	40		灰白	模様	染付	肥前	近江窯系。
141	23	C305 中筋	磁器	伝承品	55	57	32		灰白	模様	染付	肥前	波佐見系。
142	1	C305 中筋	磁器	田	五寸田	150	50	90	灰白	模様	染付	肥前	田：草花文。 内：波佐見。
142	2	C305 中筋	磁器	田	五寸田	140	45	82	灰白	模様	染付	肥前	田内：「五」字。 内：竹文。
142	3	C305 中筋	磁器	田	五寸田	140	37	79	灰白	模様	染付	肥前	内：波佐見五寸田。外：草花文。
142	4	C305 中筋	磁器	田	小紋	126	23	82	灰白	模様	染付	肥前	内：波佐見模様と竹梅文。唐花文。外：酒花文。
142	5	C305 中筋	磁器	井	香炉	90	70	71	灰白	模様	青磁	肥前	井：口沿堅高台。内：無縫。井：底面付着。
142	6	C305 中筋	磁器	井	筒	96	65	60	灰白	模様	染付	肥前	外：柄膨り船形。
142	7	C305 中筋	磁器	井	蓋物	92	51	44	灰白	模様	染付	肥前	外：輪窓空文。
142	8	C305 中筋	磁器	井	蓋物	72	41	42	灰白	模様	白磁	肥前	
142	9	C305 上筋	磁器	井	小碗	76	41	34	灰白	模様	青磁	肥前	
142	10	C305 中筋	磁器	蓋	蓋物	94	21	51	灰白	模様	染付	肥前	外：通し。
142	11	C305 中筋	磁器	蓋	蓋物	91	25	38	灰白	模様	染付	肥前	外：輪窓山水。
142	12	C305 中筋	磁器	蓋	蓋物	91	23	30	灰白	模様	染付	肥前	外：船。
143	1	C305 中筋	陶器	蓋物	146	48	164		灰白	模様	染付	肥前	外：柏葉文。
143	2	C305 中筋	陶器	蓋	蓋物	82	27	91	灰白	模様	染付	肥前	外：柏枝。
143	3	C305 中筋	陶器	蓋	中碗	0.15	73	52	灰白	模様	灰斑	肥前	
143	4	C305 中筋	陶器	蓋	中碗	115	73	44	灰白	模様	灰斑	灰斑	湖戸・美濃
143	5	C305 中筋	陶器	蓋	大碗	130	60	45	灰白	模様	灰斑	白磁	湖戸・美濃
143	6	C305 中筋	陶器	蓋	大碗	126	60	42	灰白	模様	白磁	透明白釉	京・信楽?
143	7	C305 中筋	陶器	蓋	中碗	95	56	38	灰白	模様	灰斑	灰斑	湖戸・美濃
143	8	C305 中筋	陶器	蓋	小碗	76	57	47	灰白	模様	灰斑	長石斑	湖戸・美濃
143	9	C305 中筋	陶器	蓋	小碗	96	68	40	灰白	模様	铁種	山那	切印「山那」。
143	10	C305 中筋	陶器	蓋	中碗	107	55	40	灰白	模様	白磁	透明白	内外：打耐毛目。
143	11	C305 中筋	陶器	蓋	小碗	107	55	48	灰白	模様	白磁	透明白	肥前
143	12	C305 中筋	陶器	蓋	小碗	90	54	32	灰白	模様	灰斑	灰斑	京・信楽?
143	13	C305 中筋	陶器	蓋	大碗	130	47	40	灰白	模様	灰斑	湖戸・美濃	
143	14	C305 中筋	陶器	蓋	小碗	66	41	30	灰白	模様	灰斑	湖戸・美濃	
143	15	C305 中筋	陶器	蓋	小碗	63	32	26	灰白	模様	灰斑	上粘付	京・信楽?
144	1	C305 中筋	陶器	田	小紋	115	32	66	灰白	模様	灰斑	灰斑	内：型崩れで内面に露胎を露す。付け高台。
144	2	C305 中筋	陶器	田	小紋	117	29	60	灰白	模様	灰斑	灰斑	内：型崩れで内面に露胎を露す。付け高台。
144	3	C305 中筋	陶器	田	小紋	124	28	64	灰白	模様	模様	灰斑	内：型崩れで内面に露胎を露す。付け高台。
144	4	C305 中筋	陶器	井	洗碗	56	75	56	灰白	模様	灰斑	灰斑	湖戸・美濃 (草木?)
144	5	C305 中筋	陶器	井	小鉢	52	39	49	灰白	模様	灰斑	灰斑	外：土配付。
144	6	C305 中筋	陶器	井				40	灰白	模様	施釉 (不明)	不明	底部半切末調整。
144	7	C305 中筋	陶器	蓋	水注	17	39	78	灰白	模様	灰斑	湖戸・美濃	外：落し道。
144	8	C305 中筋	陶器	蓋		14	38	68	灰白	模様	灰斑	湖戸・美濃	
144	9	C305 中筋	陶器	蓋	合子蓋	90	15	92	灰白	模様	灰斑	湖戸・美濃	
144	10	C305 中筋	陶器	蓋		52	90	62	灰白	模様	灰斑	灰斑	私用器。外：灰斑と白磁で花を描き、枝で枝を描く。
144	11	C305 中筋	陶器	蓋	合子蓋	56	8		灰白	模様	灰斑	灰斑	京・信楽?
144	12	C305 中筋	陶器	水注	小水注	47	67	38	灰白	模様	灰斑	湖戸・美濃	外：鉢で枝、灰斑で花を描く。
144	13	C305 中筋	陶器	水注	水滴	82	57	26	灰白	塑押し	灰斑	湖戸・美濃	外：「信」字と枝を塑押し。
144	14	C305 中筋	陶器	瓶	汽瓶	73	164	126	灰白	模様	灰斑	湖戸・美濃	武部系切削、直線ヘラタリ。底深凹を除き施釉。
144	15	C305 中筋	陶器	瓶	受皿	102	17	75	灰白	模様	粘付	粘付	湖戸・美濃
144	16	C305 中筋	土器	井	火鉢	200	121	—	灰白	粘付	粘付	灰白	

第41表 近世の陶磁器・土器観察表（C区）(12)

通観番号 通期	出土 地點	材質	形態	表面	法規(m)				胎土色調	成形	釉薬等	測定生産地	備考(印・萬・文様・技法等)	
					a	b	c	d						
145 1 C305 中絆	陶器	皿	小皿	80	19	40		明面	輪轉	灰土	不明	輪轉(白)印。口縁部壓付。		
145 2 C305 中絆	土器	鉢	輪圧凹部	96	49	58		明面	輪轉	無鉢	江戸在地			
145 3 C305 中絆	土器	蓋	絞り蓋	78	19			94	灰白	不明	輪轉	江戸在地	外面えぎき。	
145 4 C305 中絆	土器	皿	小皿	74	15	34		明面	輪轉	無鉢	江戸在地	口縁部壓付。		
145 5 C305 中絆	土器	蓋	燒造密着	59	12			75		塑押し	無鉢	近畿		
145 6 C305 中絆	土器	蓋	燒造密着	66	14			72		塑押し	無鉢	近畿		
145 7 C305 中絆	土器	蓋	燒造密着	69	17			74		塑押し	無鉢	近畿		
145 8 C305 中絆	土器	鉢	燒造密着					57		輪轉	無鉢	江戸在地	洋細は第55去相。	
145 9 C305 中絆	土器	鉢	燒造密着	60	70	51	74			輪轉	無鉢	江戸在地	洋細は第55去相。	
145 10 C305 中絆	磁器	碗	中絆	95	53	34		灰白	輪轉	染付	肥前	内：月込み模様松竹梅。口縁部四方彫文。外：蘿草、菊。		
145 11 C305 下絆	磁器	碗	小皿	87	44	28		灰白	輪轉	白磁	肥前	口絆。		
145 12 C305 中絆	磁器	碗	小皿	80	35	28		灰白	輪轉	白磁、上付鉢	肥前	内：ハゼ彫文に上船付で花文様。外：蘿草。草花文。流水文。		
145 13 C305 中絆	磁器	碗	小皿	52	37	24		灰白	輪轉	染付	肥前	外：草花文。		
145 14 C305 下絆	磁器	碗	小皿	60	22	30		灰白	輪轉	白磁	肥前			
145 15 C305 下絆	磁器	皿	中皿	211	44	120		灰白	輪轉	染付	肥前	外：唐文。内：透光文。		
145 16 C305 下絆	磁器	蓋	焼造	90	26			34	灰白	輪轉	染付	肥前	外：竹。内：丸込み五舟丸。二重削輪。四方神文。	
145 17 C305 下絆	陶器	碗	中絆	110	66	48		灰白	輪轉	灰地、真	京・信楽	小切輪。		
145 18 C305 下絆	陶器	碗	大皿	0.27	54	47		灰白	輪轉	灰地	瀬戸・美濃	高台所辺を除き灰地を施す。		
145 19 C305 下絆	陶器	碗	小皿	88	53	31		灰白	輪轉	灰地、乳頭	瀬戸・美濃	高台所辺を除き乳頭。		
145 20 C305 下絆	陶器	碗	小皿	75	42	32		灰白	輪轉	灰地、乳頭	瀬戸・美濃	高台所辺を除き乳頭。底部による文様を極く。		
145 21 C305 下絆	陶器	皿	中皿	238	58	137	270	灰白	輪轉	瓦石地、西	瀬戸・美濃	外：瓦。流水文。口縁2段。		
145 22 C305 下絆	陶器	蓋	水注置	27	18		63	灰白	輪轉	染付	瀬戸・美濃			
145 23 C305 下絆	土器	鉢	燒造	0.26			1338	明面	輪轉	回転台	無鉢	江戸内地	無。堅厚高2cm前後。	
145 24 C305 下絆	土器	蓋	燒造密着	72	17		67	相	塑押し	無鉢	近畿			
145 25 C305 下絆	土器	蓋	燒造密着	73	13		72	赤面	塑押し	無鉢	近畿			
145 26 C305 下絆	土器	鉢	燒造密着	56	85	52	73	相	板今	無鉢	近畿	洋細は第55去相。		
146 1 C326 伏	陶器	瓶	小瓶	(220)			(332)	灰面	輪轉	灰地	白波			
146 2 C326 伏	陶器	瓶	小口?				50	80	灰面	透明	透明	外：側面中央から直面にかけて凹窓へラテックス、底部へ少少引出。内：足心、高台「大明牛乳」瓶。一重削輪。		
146 3 C326 伏	陶器	瓶	空瓶	152	58	42		灰白	輪轉	染付	肥前系			
146 4 C326 伏	陶器	瓶	小瓶	94	52	40		灰白	輪轉	染付	肥前	コニニケキ印付。基板、茎葉、高台「大明牛乳」瓶。一重削輪。		
146 5 C326 伏	陶器	瓶	小瓶	65	51	29		灰白	輪轉	染付	肥前系	外：コニニケキ印付。		
146 6 C326 伏	陶器	瓶	香炉	107	71	79		灰白	輪轉	染付	瀬戸・美濃	足・口付を除き乳頭。内：月込み口拂玉。		
146 7 C326 伏	陶器	瓶	香炉	104	70	76		灰白	輪轉	染付	瀬戸・美濃	内：乳頭。外：化粧を除き乳頭(他種)。後のうつ瓶。		
146 8 C326 伏	陶器	瓶	蓋	109	91	72		灰	輪轉	染付	肥前系	脚部缺付。外：山水文。		
146 9 C326 伏	陶器	瓶	水注	27	49		40	板今	板今	灰地	瀬戸・美濃	内：足心。高台「大明牛乳」瓶。		
146 10 C326 伏	陶器	瓶	水注	(27)				板今	板今	灰地	瀬戸・美濃	無肩、深い。底部高4cm前後。		
146 11 C326 伏	陶器	瓶	小瓶	104	29	50		相	板今	板今	瀬戸・美濃	底部切端部膨らむ。ヨウロウ左肩付。右縁部はぼ全周に斜付唇。		
146 12 C331 伏	陶器	瓶	小瓶	101	57	42		板今	板今	板今	瀬戸・美濃			
146 13 C330 伏	陶器	瓶	小瓶	0.05	0.05		(26)	灰地	回転台	染付	瀬戸・美濃	脚部、腰部、底部高4cm前後。		
147 1 C375 伏	陶器	瓶	大瓶	154	72	56		板今	輪轉	染付	肥前	内：月込み竹文様。口縁部四方彫文。外：草花文。		
147 2 C375 伏	陶器	瓶	中絆	(110)	59	42		板今	輪轉	染付	瀬戸・美濃	内：手付。外：花文。		
147 3 C375 伏	陶器	瓶	小瓶	88	43	32		板今	輪轉	染付	瀬戸・美濃	内：手付。外：頭部に文字。		
147 4 C375 伏	陶器	瓶	小瓶	82	45	32		板今	輪轉	染付	瀬戸・美濃	内：手付。外：草花文。		
147 5 C375 伏	陶器	瓶	中絆	122	64	60		板今	輪轉	染付	瀬戸・美濃	内：脚部山文。		
147 6 C375 伏	陶器	瓶	中絆	112	63	60		板今	輪轉	染付	瀬戸・美濃	内：月込み竹文様。外：透光文。		
147 7 C375 伏	陶器	瓶	小瓶	83	76	52		板今	輪轉	染付	瀬戸・美濃	内：脚部山文文様。外：文様不明。		
147 8 C375 伏	陶器	瓶	丁子瓶	84	36	32		板今	輪轉	染付	肥前	内：脚部山文文様。外：透光文。筋助子。内：丁子瓶。外：脚部山文文様。		
147 9 C375 伏	陶器	瓶	小瓶	60	30	26		板今	輪轉	染付	肥前	内：外脚付。脚口文。		
147 10 C375 伏	陶器	瓶	小皿	100	25	56		板今	輪轉	染付	肥前	内：脚部山文文様。口縁。		
147 11 C375 伏	陶器	瓶	大瓶	290	63	144		板今	輪轉	染付	肥前	内：脚部山文文様。外：透光文。底書きあり。		
147 12 C375 伏	陶器	瓶	中絆	238	60	123		板今	輪轉	染付	肥前	内：足心み。瓶文。内古文。透打牛・瓶文。		
148 1 C375 伏	陶器	瓶	燒造利	28	218	55	72	板今	輪轉	染付	瀬戸・美濃	外：脚部山文文様。		
148 2 C375 伏	陶器	瓶	中絆	146	76	58		板今	輪轉	染付	瀬戸・美濃	内：透光文。外：上草草花文。下：脚輪。		
148 3 C375 伏	陶器	瓶	丁子	73	59	50		板今	輪轉	染付	肥前	脚口付脚口台。内：乗組輪。外：格子文。		
148 4 C375 伏	陶器	瓶	丁子	47	13		49	板今	輪轉	染付	肥前	外：油口。脚干。		
148 5 C375 陶器	陶器	瓶	大瓶	125	65	56		板今	輪轉	染付	瀬戸・美濃			
148 6 C375 陶器	陶器	瓶	小瓶	112	59	40		板今	輪轉	染付	瀬戸・美濃			
148 7 C375 陶器	陶器	瓶	中絆	95	53	43		板今	輪轉	染付	瀬戸・美濃			
148 8 C375 陶器	陶器	瓶	小瓶	85	57	33		板今	輪轉	染付	白底、透光輪。萩	内：丸込み蝶文?外：草花。		

第42表 近世の陶磁器・土器観察表 (C区) (13)

番号	地名	材質	種類	法身 (mm)				施上色調	成形	種葉型	指定生産地	備考 (伝・著・文庫・技法等)				
				a	b	c	d									
148	9	C375	陶器	小瓶	89.0	46	33		灰白	模様	高輪脚、低輪脚	灰	自然釉の付着あり。			
148	10	C375	陶器	小瓶	93.0	32	28		灰白	模様	透窓脚	灰	自然釉の付着あり。			
148	11	C375	陶器	小杯				20	灰白	模様	染付	不明	太口脚。街市に白口化粧を施付け。別足で給付した後に透明釉を施す。上部付あり。高台内蔵底あり。			
148	12	C375	陶器	鉢	14.0	109	135	185	灰白	模様	高輪脚	灰	太口脚。街市に白口化粧を施付け。別足で給付した後に透明釉を施す。上部付あり。高台内蔵底あり。			
148	13	C375	陶器	鉢	16.0	80.0	11	50	25	40	6.2	灰白	模様	高輪脚	灰	
148	14	C375	陶器	鉢	16.0	94.0	(21.4)	136	180	180	12.38	灰白	模様	高輪脚、低輪脚	灰	内：銀錫、内面に印跡5、95：模様。
148	15	C375	陶器	水戸	土瓶	72	67	94	149	灰白	模様	高輪脚、低輪脚、うのふら	灰	内：銀錫、美濃。		
148	16	C375	陶器	蓋	急須	58	29		黄灰	つばひねり・模	高輪脚	灰	不明	朝日。		
148	17	C375	陶器	急須	急須	58			黄灰	つばひねり・模	高輪脚	灰	不明	朝日「道」。		
148	18	C375	陶器	蓋	行平				相	つばひねり	高輪脚	灰	不明	朝日、高台内部に刻印「赤阪」。		
149	1	C375	陶器	瓶	小瓶	30	202	73	304	灰白	模様	灰錫	灰	外：模様を施すにし、底面及びその周辺は釉を拭き取り。内：底面に模様を施す。		
149	2	C375	陶器	瓶	中瓶	217	243	172	248	灰白	模様	高輪脚、低輪脚	灰	内：底面に模様を施す。		
149	3	C375	陶器	水注	水注	74	48	24		灰白	模様	堅押し	灰	外：丁度前記文書引。		
149	4	C375	陶器	湯呑	白口吹付	101	29	42	66	灰白	模様	堅押し	灰	内：底面下部から底まで全体ハクレジ。軽釉を施す。底面にその周辺は釉を拭き取る。		
149	5	C375	陶器	湯呑	白口吹付	88.0	54	55	45	灰白	模様	灰錫	灰	底面アーチ化。外：底辺及び内側に模様を施す。		
149	6	C375	陶器	蓋	土瓶蓋	69	39		90	灰白	模様	灰錫、真	灰	外：模様を施す。		
149	7	C375	陶器	蓋	土瓶蓋	93	19		灰	模様	灰錫	真、冠章5	外：模様、内：ハラ切り未施用。			
149	8	C375	陶器	蓋		66			灰白	模様	白泥、真	灰	糊み込み。側面削痕周囲有るが、給付により大半は埋められる。			
149	9	C375	陶器	蓋	小舟巻	—	19	60	62	灰白	模様	白泥	灰	糊み込み模様。		
149	10	C375	陶器	鉢	模	(111)	136	156	145	灰白	模様	無	灰	江戸時代 指定に墨書き「祖父氏氏、天保9年」。		
149	11	C375	陶器	鉢	大鉢	167	90	125	相	模様	無	相	三尾、土御瓢。			
149	12	C375	陶器	鉢	大鉢	(200)	105	157	230	模様	無	相	江戸時代			
149	13	C375	陶器	鉢	切込	(316)			明治期	模様	無	相	無は、切込なし。			
149	14	C375	陶器	鉢	模	切込	(300)		明治期	模様	無	相	江戸時代 江戸・無田、切込高さ2cm前後。外：三寸手、スタンプ文様。			
149	15	C381*	磁器	瓶	腰	62	30	24	灰白	模様	白泥、上給付	灰	色鉛、内：糊み込み模様。			
150	1	C381	磁器	瓶	中瓶	114	63	42	灰白	模様	染付	灰	外：糊み込み模様。			
150	2	C381	磁器	瓶	中瓶	105	57	40	灰白	模様	染付	灰	内：花西草文。			
150	3	C381	磁器	瓶	中瓶	69.0	50	38	灰白	模様	染付	灰	外：模様。			
150	4	C381	磁器	瓶	小瓶	66	62	40	灰白	模様	染付	灰	外：日本文。			
150	5	C381	磁器	瓶	小瓶	70	60	35	灰白	模様	染付	灰	外：日本文。			
150	6	C381	磁器	瓶	小瓶	68.0	51	33	灰白	模様	染付	灰	内：糊み込み模様。外：手彫り、格子。			
150	7	C381	磁器	瓶	小瓶	50.0	36	19	灰白	模様	染付	灰	内：糊み込み模様。外：糊み込み模様。			
150	8	C381	磁器	瓶	腰	88	46	46	灰白	模様	染付	灰	外：手彫文、格子文。			
150	9	C381	磁器	土瓶	土瓶	67	26	36	相	模様	透窓脚	灰	江戸時代 江戸期。			
150	10	C381	磁器	土瓶	土瓶	74	26	20	相	模様	無	江戸時代 江戸期。				
150	11	C381	磁器	土瓶	土瓶	30	55	22	相	模様	無	江戸時代 江戸・無田。				
150	12	C381	磁器	土瓶	土瓶	76	18	32	相	模様	透窓脚	灰	江戸時代 江戸期。			
150	13	C392	磁器	蓋	腰	103	29	57	57	灰白	模様	染付	灰	肥前、内：糊み込み模様。		
150	14	C450	陶器	瓶	中瓶	102	56	39	灰白	模様	模様	灰	内：糊み込み模様。外：竹文、糊み込み不透明。			
150	15	C450	陶器	瓶	中瓶	122	26	68	相	模様	模様	灰	内：糊み込み模様。			
150	16	C450	陶器	瓶	腰	66	152	146	204	灰白	模様	模様	灰	内：各部毛目、糊み込み模様あり。窓を閉め灰錫を剥離する。		
150	17	C451	陶器	瓶	中瓶	140	78	41	灰白	模様	模様	白泥、透窓脚	灰	内：各部毛目、白泥で耐久性を施す。骨付を削ぐ全面に透明釉を拂てる。		
150	18	C463	陶器	瓶	腰	326	157	115	灰白	模様	模様	白泥、真	眞口(一)・口足・半足。底部内部は黒色による摩耗有り。底部内切模様。			
150	19	C464	土器	鉢	中盆	(55)			相	模様	灰錫	灰	内：糊み込み模様。			
151	1	C476	陶器	鉢	中盆	(132)	33	(46)	相	模様	染付	灰	内：高台内に含め底錫。			
151	2	C476	陶器	鉢	中盆	(92)			相	模様	染付	灰	底錫。			
151	3	C476	陶器	鉢	模	(46)	18	(31)	(54)	相	模様	白瓶	相	糊み込み模様。		
151	4	C476	陶器	模	物置	(90)			相	模様	染付	灰	底錫。			
151	5	C476	陶器	模	物置	68			80	相	模様	染付	底錫、糊み文様割り。			
151	6	C476	陶器	模	物置	66	42		97	相	模様	染付	底錫。			
151	7	C476	陶器	模	五寸鉢	0.405	27	0.79	相	模様	灰錫	白泥	内：糊み込み模様。			
151	8	C476	陶器	鉢	大鉢	(104)			相	模様	染付	白泥、真	肥前			
151	9	C476	陶器	鉢	腰	121	79	68	相	模様	灰錫	白泥、真	肥前、内：糊み込み模様。			
151	10	C476	陶器	鉢	腰	(116)	27	80.0	134	相	模様	白泥、灰錫	灰	内：糊み込み模様。		
151	11	C476	陶器	鉢	腰	95	77	60	109	相	模様	白泥、灰錫	灰	内：糊み込み模様。		
151	12	C476	陶器	鉢	腰	—	—		相	模様	模様	白泥、灰錫	灰	内：糊み込み模様。		
151	13	C476	陶器	瓶	中瓶	32	193	82	112	灰白	模様	模様	白泥、うのふら	糊み、美濃。		
151	14	C476	陶器	瓶	物置	155	39		182	灰白	模様	灰錫	美濃	糊み、内：糊み込み模様。		
151	15	C476	陶器	瓶	子口瓶	130	20		相	模様	模様	灰錫	美濃。	糊み、外：コンニャク印押 (模様、草履)、草花文。		
151	16	C476	陶器	瓶	模	(251)			相	模様	模様	模様	白泥、灰錫	内：糊み込み模様。		
151	17	C476	陶器	瓶	模	(259)			相	模様	模様	模様	白泥、灰錫	内：糊み込み模様。		
151	18	C480	陶器	蓋	物置	70	20		84	相	模様	染付	肥前	外：宝文。		
151	19	C480	陶器	瓶	花瓶	28	84	54	74	にじ小判	模様	白泥、透窓脚	肥前	内：口沿による集錬、追手。		
152	1	C505	磁器	瓶	中瓶	108	59	46	相	模様	染付	肥前	外：コンニャク印押 (模様、草履)、草花文。			
152	2	C505	磁器	瓶	中瓶	190	30	84	相	模様	染付	肥前	内：糊み込み。			
152	7	C505	磁器	瓶	中瓶	118	77	58	相	模様	模様	白泥、透窓脚	肥前、内：糊み、外：糊み (口印押)。			
152	8	C505	磁器	鉢	西6	120	23	60	相	模様	模様	肥前	内：草花文、内：糊み、外：糊み (口印押)。			
152	9	C505	磁器	行平	白口吹付	116	33	56	78	相	模様	模様	土口白	糊みアーチ張り脚。		

第43表 近世の陶磁器・土器観察表（C区）（14）

測量番号 測定番号	出土 地點	材質	種類	表面	寸法(mm)				出土色調	底面	難易度	既生産地	参考(図・表・文様・技法等)
					a	b	c	d					
152 10 C454	土器	鉢	焼成直身	59	95	55	77	浅灰色	板作り	無難	近畿		
152 11 C478	土器	鉢	焼成直身	56	96	46	72	浅灰色	板作り	無難	近畿		
153 1 C511	掘出	罐	大罐	128	69	49	40	灰白	被絵	染付	肥前		
153 2 C511	掘出	罐	中罐	69	47	40	40	灰白	被絵	染付	肥前		
153 3 C511	掘出	罐	弘安型	75	55	41	40	灰白	被絵	染付	肥前	内：白文式、外：墨。高円内腹に「風」字形、一重圓綱。	
153 4 C511	掘出	罐	五寸罐	(147)	43	85	40	灰白	被絵	染付	肥前	内：白文式、外：墨。高円内腹に「風」字形、一重圓綱。	
153 5 C511	掘出	罐	小罐	(132)	36	47	40	灰白	被絵	染付	肥前	内：白文式、外：墨。高円内腹に「風」字形、一重圓綱。	
153 6 C511	掘出	罐	小罐	99	36	50	101	灰白	被絵	染付	肥前	内：白文式、外：墨。高円内腹に「風」字形、一重圓綱。	
153 7 C511	掘出	鉢	小罐	80	56	40	40	灰白	被絵	染付	肥前	内：白文式、外：墨。高円内腹に「風」字形、一重圓綱。	
153 8 C511	掘出	鉢	盆口	80	62	37	40	灰白	被絵	染付	肥前	外：墨。内文？	
153 9 C511	掘出	鉢	盆口	84	58	45	40	灰白	被絵	染付	肥前	内：白文式、外：墨。内文？	
153 10 C511	掘出	罐	中罐	107	63	25	40	灰白	被絵	染付	肥前	内：白文式、外：墨。高円内腹に「風」字形、一重圓綱。	
153 11 C511	掘出	罐	中罐	78	50	44	40	灰白	被絵	染付	肥前	内：白文式、外：墨。高円内腹に「風」字形、一重圓綱。	
153 12 C511	掘出	鉢	小鉢	76	66	50	40	灰白	被絵	染付	肥前	内：白文式、外：墨。高円内腹に「風」字形、一重圓綱。	
153 13 C511	掘出	皿	中皿	145	95	35	60	灰白	塑打	施付	肥前	木板板、付け高台。高台に白布有り。	
153 14 C511	掘出	皿	小皿	120	(30)	65	40	灰白	被絵	施付	肥前	内：白文式、外：墨。高台に白布有り。	
153 15 C511	掘出	皿	小皿	124	37	48	40	灰白	被絵	施付	肥前	内：白文式、外：墨。高台に白布有り。	
153 16 C511	掘出	皿	小皿	125	37	58	40	灰白	被絵	施付	肥前	内：白文式、外：墨。高台に白布有り。	
153 17 C511	掘出	皿	長低盤	52	137	86	40	灰白	被絵	施付	肥前	内：白文式、外：墨。高台に白布有り。	
153 18 C511	掘出	鉢	鉢	113	49	100	40	灰白	被絵	施付	肥前	内：白文式、外：墨。高台に白布有り。	
153 19 C511	掘出	鉢	浅吹	69	70	50	40	灰白	被絵	施付	肥前	内：白文式、外：墨。高台に白布有り。	
153 20 C511	掘出	皿	中板	100	20	57	104	灰白	被絵	施付	肥前	内：白文式、外：墨。高台に白布有り。	
153 21 C511	掘出	皿	浅吹	104	21	61	71	灰白	被絵	施付	肥前	内：白文式、外：墨。高台に白布有り。	
153 22 C511	陶器	鉢	紅豆使	110	24	53	71	明治	被絵	施付	肥前	内：白文式、外：墨。高台に白布有り。	
153 23 C511	土器	鉢	小鉢	79	18	36	40	明治	被絵	施付	肥前	内：白文式、外：墨。高台に白布有り。	
153 24 C511	土器	鉢	小鉢	111	23	58	40	明治	被絵	施付	肥前	内：白文式、外：墨。高台に白布有り。	
154 1 C511	土器	鉢	中鉢	(222)	124	170	40	明治	被絵	施付	肥前	内：白文式、外：墨。高台に白布有り。	
154 2 C511	土器	鉢	焼成直身	55	84	56	70	明治	板作り	施付	肥前	内：白文式、外：墨。高台に白布有り。	
154 3 C511	土器	鉢	焼成直身	60	28	53	21	明治	板作り	施付	肥前	内：白文式、外：墨。高台に白布有り。	
154 4 C514	掘出	碗	中碗	98	48	38	40	灰白	被絵	染付	平野	内：白文式、外：墨。高台に白布有り。	
154 5 C514	掘出	碗	小碗	80	40	30	40	灰白	被絵	染付	平野	内：白文式、外：墨。高台に白布有り。	
154 6 C514	掘出	碗	小碗	80	40	30	40	灰白	被絵	染付	平野	内：白文式、外：墨。高台に白布有り。	
154 7 C514	掘出	碗	小碗	132	41	72	40	灰白	被絵	染付	平野	内：白文式、外：墨。高台に白布有り。	
154 8 C514	掘出	碗	小碗	62	42	42	40	灰白	被絵	染付	平野	内：白文式、外：墨。高台に白布有り。	
154 9 C514	掘出	碗	中碗	119	52	47	40	灰白	被絵	染付	平野	内：白文式、外：墨。高台に白布有り。	
154 10 C514	掘出	碗	大碗	126	57	58	36	灰白	被絵	染付	平野	内：白文式、外：墨。高台に白布有り。	
154 11 C514	掘出	碗	中碗	109	42	38	40	浅黄	被絵	染付	平野	内：白文式、外：墨。高台に白布有り。	
154 12 C514	掘出	碗	大碗	126	58	36	40	灰白	被絵	染付	平野	内：白文式、外：墨。高台に白布有り。	
154 13 C514	掘出	碗	西口	161	60	90	40	灰白	被絵	染付	平野	内：白文式、外：墨。高台に白布有り。	
154 14 C514	掘出	碗	瓶	38	193	63	84	灰白	被絵	染付	平野	内：白文式、外：墨。高台に白布有り。	
154 15 C514	掘出	碗	瓶	74	27	93	40	灰白	被絵	染付	平野	内：白文式、外：墨。高台に白布有り。	
154 16 C526	土器	瓶	切跡	(308)	—	—	—	—	被絵	施付	肥前	内：白文式、外：墨。高台に白布有り。	
154 17 C526	土器	瓶	切跡	(324)	—	—	—	—	被絵	施付	肥前	内：白文式、外：墨。高台に白布有り。	
155 1 C521	掘出	罐	中罐	(106)	61	38	40	被絵	染付	平野	内：白文式、外：墨。高台に白布有り。		
155 2 C521	掘出	罐	中罐	(91)	51	36	40	被絵	染付	平野	内：白文式、外：墨。高台に白布有り。		
155 3 C521	掘出	罐	小罐	79	45	33	40	被絵	染付	平野	内：白文式、外：墨。高台に白布有り。		
155 4 C521	掘出	碗	蓋物	95	56	53	40	被絵	染付	平野	内：白文式、外：墨。高台に白布有り。		
155 5 C521	掘出	碗	中碗	204	33	103	40	被絵	染付	平野	内：白文式、外：墨。高台に白布有り。		
155 6 C521	掘出	碗	小碗	(98)	23	(52)	40	被絵	染付	平野	内：白文式、外：墨。高台に白布有り。		
155 7 C521	掘出	碗	小碗	28	—	—	40	被絵	染付	平野	内：白文式、外：墨。高台に白布有り。		
155 8 C521	掘出	碗	小碗	30	—	—	60	被絵	染付	平野	内：白文式、外：墨。高台に白布有り。		
155 9 C521	掘出	碗	中碗	(113)	54	34	40	被絵	染付	平野	内：白文式、外：墨。高台に白布有り。		
155 10 C521	掘出	皿	小皿	103	21	48	40	被絵	染付	平野	内：白文式、外：墨。高台に白布有り。		
155 11 C521	掘出	皿	五寸皿	158	38	68	40	浅黄	被絵	染付	平野	内：白文式、外：墨。高台に白布有り。	
155 12 C521	掘出	皿	小皿	160	67	97	40	被絵	染付	平野	内：白文式、外：墨。高台に白布有り。		
155 13 C521	掘出	皿	小皿	84	56	55	40	被絵	染付	平野	内：白文式、外：墨。高台に白布有り。		
155 14 C521	掘出	皿	中皿	34	208	67	83	浅黄	被絵	染付	平野	内：白文式、外：墨。高台に白布有り。	
155 15 C521	掘出	皿	小皿	55	67	90	40	被絵	染付	平野	内：白文式、外：墨。高台に白布有り。		
155 16 C521	土器	瓶	切跡	—	—	—	—	明治	被絵	施付	江戸	内：白文式、外：墨。高台に白布有り。	
156 1 C536	掘出	罐	大罐	153	81	64	40	被絵	染付	平野	内：白文式、外：墨。高台に白布有り。		
156 2 C536	掘出	罐	大罐	148	66	57	40	被絵	染付	平野	内：白文式、外：墨。高台に白布有り。		
156 3 C536	掘出	罐	中罐	116	63	48	40	被絵	染付	平野	内：白文式、外：墨。高台に白布有り。		
156 4 C536	掘出	罐	中罐	104	55	49	40	被絵	染付	平野	内：白文式、外：墨。高台に白布有り。		
156 5 C536	掘出	罐	中罐	101	52	43	40	被絵	染付	平野	内：白文式、外：墨。高台に白布有り。		
156 6 C536	掘出	罐	中罐	96	57	43	40	被絵	染付	平野	内：白文式、外：墨。高台に白布有り。		
156 7 C536	掘出	罐	中罐	98	51	41	40	被絵	染付	平野	内：白文式、外：墨。高台に白布有り。		

第44表 近世の陶磁器・土器観察表(C区)(15)

標題番号	出土 地點	財質	規格	形態	量差 (mm)				出土色調	成形	輪裏面	既定生産地	備考 (引、路、文様、注目)
					a	b	c	d					
156. 8	C536	鐵器	圓	中幅	100	48	41		灰白(表面)	鍛壓	柒付	瀬戸・美濃	鉄熱、外に「打上」で仕上げる。
156. 9	K536	鐵器	圓	中幅	99	54	38		灰白	鍛壓	柒付	瀬戸・美濃	内：淡い朱の文様、二重輪裏、「三輪打上」で打上たはぎ。外：朱、赤絞り、外縁、火綱文。
156. 10	L536	鐵器	圓	中幅	92	47	43		灰白	鍛壓	柒付	瀬戸・美濃	内：朱の文様、輪裏打上。外：朱絞り、火綱文。
156. 11	M536	鐵器	圓	小幅	81	44	36		灰白	鍛壓	柒付	瀬戸・美濃	内：朱の文様、輪裏打上。外：朱絞り、火綱文。
156. 12	N536	鐵器	圓	中幅	117	65	65		灰白	鍛壓	柒付	瀬戸・美濃	内：淡い朱の文様、二重輪裏、「三輪打上」で打上たはぎ。外：朱絞り、火綱文。
157. 1	S536	鐵器	圓	中幅	94	53	36		灰白	鍛壓	柒付	瀬戸・美濃	内：朱の文様、輪裏打上。外：朱絞り、火綱文。
157. 2	T536	鐵器	圓	中幅	91	53	38		灰白	鍛壓	柒付	瀬戸・美濃	内：朱の文様、輪裏打上。外：朱絞り、火綱文。
157. 3	U536	鐵器	圓	小幅	76	62	46		灰白	鍛壓	柒付	瀬戸・美濃	内：朱の文様、輪裏打上。外：朱絞り、火綱文。
157. 4	V536	鐵器	圓	狂幅	90	45	35		灰白	鍛壓	柒付	瀬戸・美濃	内：朱の文様、輪裏打上。外：朱絞り、火綱文。
157. 5	W536	鐵器	圓	小幅	70	36	22		灰白	鍛壓	柒付	瀬戸	■「あんたがやだんじ」と書かれた文字。裏面は「花」。
157. 6	X536	鐵器	圓	中幅	95	43	36		灰白	鍛壓	柒付	不明	外：朱絞り、火綱文。
157. 7	Z536	鐵器	圓	狂幅	82	33	28		灰白	鍛壓	柒付	不明	外：朱絞り、火綱文。
157. 8	A536	鐵器	圓	小幅	76	31	26		灰白	鍛壓	七付	不明	内：朱の文様、輪裏打上。外：朱絞り、火綱文。
157. 9	B536	鐵器	圓	小幅	78	35	27		灰白	鍛壓	七付	不明	内：朱の文様、輪裏打上。外：朱絞り、火綱文。
157. 10	C536	鐵器	圓	小幅	69	36	29		灰白	鍛壓	七付	不明	内：朱の文様、輪裏打上。外：朱絞り、火綱文。
157. 11	D536	鐵器	圓	小幅	69	29	29		灰白	鍛壓	七付	不明	内：朱の文様、輪裏打上。外：朱絞り、火綱文。
157. 12	E536	鐵器	圓	狂幅	68	36	28		灰白	鍛壓	七付	不明	内：朱の文様、輪裏打上。外：朱絞り、火綱文。
157. 13	F536	鐵器	圓	小幅	66	25	28		灰白	鍛壓	七付	不明	内：朱の文様、輪裏打上。外：朱絞り、火綱文。
157. 14	G536	鐵器	圓	小幅	59	27	29		灰白	鍛壓	七付	不明	内：朱の文様、輪裏打上。外：朱絞り、火綱文。
157. 15	H536	鐵器	圓	小幅	71	33	25		灰白	鍛壓	柒付	不明	内：朱の文様、輪裏打上。外：朱絞り、火綱文。
157. 16	I536	鐵器	圓	中幅	72	69	32		灰白	鍛壓	柒付	不明	内：朱の文様、輪裏打上。外：朱絞り、火綱文。
157. 17	J536	鐵器	圓	中幅	64	64	39		灰白	鍛壓	柒付	瀬戸・美濃	内：朱の文様、輪裏打上。外：朱絞り、火綱文。
157. 18	K536	鐵器	圓	中幅	(63)	50	33		灰白	鍛壓	柒付	瀬戸・美濃	内：朱の文様、輪裏打上。外：朱絞り、火綱文。
157. 19	L536	鐵器	圓	小幅	94	23	43		灰白	鍛壓	柒付	瀬戸・美濃	内：朱の文様、輪裏打上。外：朱絞り、火綱文。
157. 20	M536	鐵器	圓	小幅	98	24	44		灰白	鍛壓	柒付	瀬戸・美濃	内：朱の文様、輪裏打上。外：朱絞り、火綱文。
157. 21	N536	鐵器	圓	小幅	104	20	61		灰白	鍛壓	七付	瀬戸・美濃	内：朱の文様、輪裏打上。外：朱絞り、火綱文。
157. 22	O536	鐵器	圓	中幅	116	32	64		灰白	鍛壓	七付	瀬戸・美濃	内：朱の文様、輪裏打上。外：朱絞り、火綱文。
158. 1	P536	鐵器	圓	大幅	3009	43	(367)		灰白	鍛壓	柒付	瀬戸	内：朱の文様、輪裏打上。外：朱絞り、火綱文。
158. 2	Q536	鐵器	圓	大幅	298	61	174		灰白	鍛壓	柒付	瀬戸	内：朱の文様、輪裏打上。外：朱絞り、火綱文。
158. 3	S536	鐵器	圓	小幅	88	17	46		灰白	鍛壓	柒付	瀬戸	内：朱の文様、輪裏打上。外：朱絞り、火綱文。
158. 4	T536	鐵器	圓	小幅	97	17	58		灰白	鍛壓	七付	瀬戸・美濃	内：朱の文様、輪裏打上。外：朱絞り、火綱文。
158. 5	U536	鐵器	圓	中幅	1609	29	113		灰白	鍛壓	柒付	瀬戸・美濃	内：朱の文様、輪裏打上。外：朱絞り、火綱文。
158. 6	V536	鐵器	圓	中幅	G229	33	128		灰白	鍛壓	柒付	瀬戸・美濃	内：朱の文様、輪裏打上。外：朱絞り、火綱文。
159. 1	C536	鐵器	圓	中幅	188	27	107		灰白	鍛壓	柒付	瀬戸・美濃	内：朱の文様、輪裏打上。外：朱絞り、火綱文。
159. 2	D536	鐵器	圓	中幅	174	30	106		灰白	塑打	柒付	瀬戸	内：朱の文様、輪裏打上。外：朱絞り、火綱文。
159. 3	E536	鐵器	圓	中幅	226	32	126		灰白	鍛壓	柒付	瀬戸	内：朱の文様、輪裏打上。外：朱絞り、火綱文。
159. 4	F536	鐵器	圓	中幅	228	37	128		灰白	鍛壓	柒付	瀬戸	内：朱の文様、輪裏打上。外：朱絞り、火綱文。
159. 5	G536	鐵器	圓	小幅	65	16	36		灰白	塑打	柒付	瀬戸	内：朱の文様、輪裏打上。外：朱絞り、火綱文。
159. 6	H536	鐵器	圓	小幅	87	20	51		灰白	塑打	柒付	瀬戸・美濃	内：朱の文様、輪裏打上。外：朱絞り、火綱文。
159. 7	I536	鐵器	圓	中幅	92	23	47		灰白	塑打	柒付	瀬戸・美濃	内：朱の文様、輪裏打上。外：朱絞り、火綱文。
159. 8	J536	鐵器	圓	小幅	99	25	42		灰白	塑打	柒付	瀬戸・美濃	内：朱の文様、輪裏打上。外：朱絞り、火綱文。
159. 9	K536	鐵器	圓	小幅	94	28	41		灰白	塑打	柒付	瀬戸・美濃	内：朱の文様、輪裏打上。外：朱絞り、火綱文。
159. 10	L536	鐵器	圓	小幅	121	29	71		灰白	鍛壓	柒付	瀬戸	内：朱の文様、輪裏打上。外：朱絞り、火綱文。
160. 1	M536	鐵器	圓	小幅	89	20	46		灰白	塑打	柒付	瀬戸・美濃	内：朱の文様、輪裏打上。外：朱絞り、火綱文。
160. 2	N536	鐵器	圓	小幅	89	29	49		灰白	塑打	七付	瀬戸・美濃	内：朱の文様、輪裏打上。外：朱絞り、火綱文。
160. 3	O536	鐵器	圓	小幅	102	26	57		灰白	塑打	柒付	瀬戸・美濃	内：朱の文様、輪裏打上。外：朱絞り、火綱文。
160. 4	P536	鐵器	圓	小幅	100	25	54		灰白	塑打	柒付	瀬戸・美濃	内：朱の文様、輪裏打上。外：朱絞り、火綱文。
160. 5	Q536	鐵器	圓	小幅	97	27	66		灰白	塑打	柒付	瀬戸	内：朱の文様、輪裏打上。外：朱絞り、火綱文。
160. 6	R536	鐵器	圓	小幅	127	33	74		灰白	塑打	柒付	瀬戸	内：朱の文様、輪裏打上。外：朱絞り、火綱文。
160. 7	S536	鐵器	圓	小幅	56	16	27		灰白	鍛壓	七付	瀬戸・美濃	内：朱の文様、輪裏打上。外：朱絞り、火綱文。
160. 8	T536	鐵器	圓	薄口	80	67	60		灰白	鍛壓	柒付	瀬戸	内：朱の文様、輪裏打上。外：朱絞り、火綱文。
160. 9	U536	鐵器	圓	薄口	83	63	66		灰白	鍛壓	柒付	瀬戸	内：朱の文様、輪裏打上。外：朱絞り、火綱文。
160. 10	V536	鐵器	圓	薄口	93	68	51		灰白	鍛壓	柒付	瀬戸	内：朱の文様、輪裏打上。外：朱絞り、火綱文。
160. 11	W536	鐵器	圓	薄口	103	58	55		灰白	鍛壓	柒付	瀬戸・美濃	内：朱の文様、輪裏打上。外：朱絞り、火綱文。
160. 12	X536	鐵器	圓	薄口	93	48	43		灰白	鍛壓	柒付	瀬戸・美濃	内：朱の文様、輪裏打上。外：朱絞り、火綱文。
160. 13	Y536	鐵器	圓	薄口	89	49	47		灰白	鍛壓	柒付	瀬戸・美濃	内：朱の文様、輪裏打上。外：朱絞り、火綱文。
160. 14	Z536	鐵器	圓	薄口	60	47	39		灰白	鍛壓	柒付	瀬戸・美濃	内：朱の文様、輪裏打上。外：朱絞り、火綱文。
160. 15	A536	鐵器	圓	薄口	44	48	33		灰白	鍛壓	柒付	瀬戸・美濃	内：朱の文様、輪裏打上。外：朱絞り、火綱文。
160. 16	B536	鐵器	圓	薄口	(57)	42	33		灰白	鍛壓	柒付	瀬戸・美濃	内：朱の文様、輪裏打上。外：朱絞り、火綱文。
160. 17	C536	鐵器	圓	薄口	66	34	33		灰白	鍛壓	柒付	瀬戸・美濃	内：朱の文様、輪裏打上。外：朱絞り、火綱文。
160. 18	D536	鐵器	圓	薄口	48	27	27		灰白	鍛壓	柒付	瀬戸	内：朱の文様、輪裏打上。外：朱絞り、火綱文。
160. 19	E536	鐵器	圓	薄口	123	49	76		灰白	鍛壓	柒付	瀬戸	内：朱の文様、輪裏打上。外：朱絞り、火綱文。
160. 20	F536	鐵器	圓	薄口	143	65	91		灰白	鍛壓	柒付	瀬戸	内：朱の文様、輪裏打上。外：朱絞り、火綱文。

第45表 近世の陶器・土器観察表（C区）（16）

測量番号 測定番号	出土 地點	材質	種類	形態	度量 (mm)				出土色調	底面	輪郭等	原生產地	備考 (田・呂・文様・技術等)
					a	b	c	d					
160_21	C536	磁器	鉢	四脚	101	51	64		灰白	破綻	柒付	肥前	外：劉勧記、横岡山文、呂文、高台付無縫。
160_22	C536	磁器	鉢	四脚	123	49	75		灰白	破綻	柒付	肥前・美濃	外：肥前、梅山文、口縁部一側開口。
160_23	C536	磁器	鉢	四脚	80	36	68		灰白	破綻	柒付	肥前	外：肥前文？
160_24	C536	磁器	鉢	四脚	76	32	58		灰白	破綻	柒付、上輪付	肥前	色鉄、内：文様なし、外：柒付の一部側面内に上輪付。蓋 紀に金井、高台付無縫。
160_25	C536	磁器	鉢	小鉢	95	38	46		灰白	塑打	柒付	肥前・美濃	内：肥前、文文、外：呂文。
160_26	C536	磁器	鉢	蓋物	77	37	37		灰白	破綻	柒付	肥前	左端斜削、外：右軸文様、梅山文。
160_27	C536	磁器	鉢	呑口	64	(52)	—		灰白	破綻	柒付	不明	二足、内田製。
161_1	C536	磁器	鉢	中鉢	176	81	75		灰白	破綻	柒付	肥前	内：柱山文様、器の内縁、呪、体部花、梅葉、呪の内縁、 外：肥前、花、落合付無縫、模様あり。
161_2	C536	磁器	鉢	中鉢	168	93	91	51	灰白	塑打	柒付	肥前	内：柱山文様、口縁竹筋、肥前、落合文、外：呂文。
161_3	C536	磁器	鉢	小鉢	146	73	68		灰白	破綻	柒付	肥前	内：見立草花文、体部渦巻き底部、花、阿立文、外：呂文、 外：柱山文、竹、落合、呪、模様あり。
161_4	C536	磁器	鉢	小鉢	153	77	83		灰白	塑打	柒付	肥前	内：見立草花文、器の内縁、落合付無縫。
161_5	G_536	磁器	鉢	小鉢	49	34	28		灰白	破綻	上旋付	中国	世宗御製、利和、天正元年款。
161_6	C536	磁器	鉢	小鉢	88	68	42		灰白	塑打	柒付	肥前・美濃	内：口縁部横筋文、呪、花押文、竹文、四瓣文。
161_7	C536	磁器	鉢	蓋物	72	37	39		灰白	破綻	柒付	不明	外：横岡山文、落合付無縫。
161_8	C536	磁器	蓋	合子蓋	61	12			灰白	破綻	柒付	肥前	外：肥前文、第161回11とセツト。
161_9	C536	磁器	蓋	合子蓋	47	12			灰白	破綻	柒付	肥前	外：肥前文、蓋、第161回13とセツト。
161_10	C536	磁器	蓋	合子蓋	47	11			灰白	破綻	柒付	肥前	蓋受け無縫、底付無縫、第161回8とセツト。内面付物 あり。
161_11	C536	磁器	鉢	合子	51	16	54		灰白	破綻	柒付	肥前	蓋受け無縫、底付無縫。
161_12	C536	磁器	鉢	合子	39	14	40		灰白	破綻	柒付	肥前	第161回10とセツト。
161_13	C536	磁器	鉢	合子	38	16	41		灰白	破綻	柒付	肥前	蓋受け無縫、底付無縫、第161回10とセツト。
161_14	C536	磁器	鉢	合子	61	27	58	66	灰白	破綻	柒付	肥前	蓋受け無縫、底付無縫。
161_15	C536	磁器	鉢	蓋物	78				灰白	破綻	柒付	肥前	内：文無款、外：口縁山文、竹、模様把手。
161_16	C536	磁器	鉢	呑口	52	49	21	21	灰白	破綻	青磁	肥前	神西御製、外：鶴芋文、櫻文、口縁竹筋付無縫。
161_17	C536	磁器	鉢	小鉢	16	100	42		灰白	破綻	柒付	肥前	神西御製、外：鶴芋文、櫻文、口縁竹筋付無縫。
161_18	C536	磁器	鉢	小鉢	19	95	34	53	灰白	破綻	柒付	肥前	神西御製、外：竹、落合、高台付無縫、砂付有。
161_19	C536	磁器	瓶	瓶直立	57	122	56		灰白	破綻	柒付	肥前・美濃	足、外：横岡山文、直瓶形。
161_20	C536	磁器	瓶	中瓶		63		54	灰白	破綻	柒付	肥前	神西御製、外：竹竹文、櫻文。
161_21	C536	磁器	瓶	小瓶	11	143	38	38	灰白	破綻	柒付	肥前・美濃	内：文無款、外：口縁山文、竹、模様把手。
161_22	C536	磁器	瓶	小瓶	21	105	35	45	灰白	破綻	柒付	肥前	神西御製、外：鶴芋文、高台付無縫、砂付有。
161_23	C536	磁器	瓶	小瓶	15	72	28	73	灰白	破綻	柒付	肥前	神西御製、外：竹、落合。
161_24	C536	磁器	瓶	小瓶	52	108	46	43	灰白	破綻	柒付	肥前	外：見立山文、駒形。
162_9	C536	磁器	水注	水呑	11	43	19	68	灰白	塑打	青磁	肥前	外：既頭跡。
162_10	C536	磁器	瓶	洗物器	23	65	53	95	灰白	破綻	柒付	肥前	内：花文、高台付有。
162_11	C536	磁器	水注	水呑	31				灰白	破綻	柒付	肥前・美濃	外：梅山文、蓮山文、空、口手形。
162_12	C536	磁器	水注	瓶	113	204	92		灰白	塑打	青磁	肥前	内：既頭跡、花文様、把手、花文様、印伝文、花形縁貼付。
162_13	C536	磁器	瓶	瓦呑瓶	83	153	54		灰白	塑打	青磁	肥前	内：瓦呑瓶。
163_1	C536	磁器	蓋	蓋物	135	50			灰白	破綻	柒付	肥前	外：既頭跡、竹、草花文、瓦呑瓶形。
163_2	C536	磁器	蓋	蓋物	111	31			灰白	破綻	柒付	肥前	内：草文、空、瓦呑瓶形。
163_3	C536	磁器	蓋	蓋物	118	33	100		灰白	破綻	柒付	肥前	外：草文、空、瓦呑瓶形。
163_4	C536	磁器	蓋	蓋物	87	31			灰白	破綻	柒付	肥前	内：瓦呑瓶各開き施付、既頭跡文、口縁竹筋付、瓦呑瓶形。
163_5	C536	磁器	蓋	蓋物	73	24		96	灰白	破綻	柒付	肥前	三瓣形無縫、外：山松文様、櫻文。
163_6	C536	磁器	蓋	蓋物	(72)	24			灰白	破綻	柒付	肥前	内：山松文様、花文、既頭跡。
163_7	C536	磁器	蓋	蓋物	68	26			灰白	破綻	柒付	肥前・美濃	瓦呑瓶無縫、外：薄、宝瓶。
163_8	C536	磁器	蓋	蓋物	68	19		80	灰白	破綻	柒付	肥前	内：桐木、鳥。
163_9	C536	磁器	蓋	蓋物	63	24			灰白	破綻	柒付	肥前	外：横岡山文、吉田、屋、瓦呑瓶無縫。
163_10	C536	磁器	蓋	蓋物	82	33			灰白	破綻	柒付	肥前	外：横岡山文、油山、雁、瓦呑瓶無縫。結半は木製。
163_11	C536	磁器	蓋	蓋物	61	25			灰白	破綻	柒付	肥前	外：横岡山文、瓦呑瓶無縫、模様梅花形。
163_12	C536	磁器	蓋	蓋物	53	22			灰白	破綻	柒付	肥前	外：松文、格文、瓦呑瓶無縫。
163_13	C536	磁器	蓋	蓋物	45	19			灰白	破綻	柒付	肥前	外：内心内装桶文様、模様瓶貼付、瓦呑瓶形。
163_14	C536	磁器	蓋	蓋物	45	20			灰白	塑打	青磁	肥前	外：既頭文あり。瓦呑瓶へ切り取れ、健造等乳孔1。
163_15	C536	磁器	蓋	蓋物	76	20			灰白	破綻	口縁	肥前	内：既頭文、既頭付、既頭底文、既頭文、模様、既頭文、既頭底文。
163_16	C536	磁器	蓋	合子蓋	53	11			灰白	破綻	柒付	肥前	外：肥前文、蓮山、傳子、第163回11とセツト。
163_17	C536	磁器	鉢	合子	46	14	26		灰白	破綻	柒付	肥前	既頭文、瓦呑瓶付、瓦呑瓶付。
163_18	C536	磁器	鉢	合子	9	15		20	灰白	柒付	上輪付	肥前	内：既頭形各開き施付、既頭文、既頭底文、既頭付。
164_1	C536	磁器	蓋	蓋物	109	31			灰白	破綻	柒付	肥前	内：既頭文、既頭底文、既頭付、既頭文、既頭底文。
164_2	C536	磁器	蓋	圓蓋	107	28			灰白	破綻	柒付	肥前	内：既頭文、既頭底文、既頭付、既頭文。
164_3	C536	磁器	蓋	圓蓋	103	30			灰白	破綻	柒付	肥前	内：既頭文、既頭底文、既頭付、既頭文。
164_4	C536	磁器	蓋	圓蓋	95	29			灰白	破綻	柒付	肥前	内：既頭文、既頭底文、既頭付、既頭文。
164_5	C536	磁器	蓋	圓蓋	90	22			灰白	破綻	柒付	肥前	内：既頭文、既頭底文、既頭付、既頭文。
164_6	C536	磁器	蓋	圓蓋	65	18			灰白	破綻	柒付	肥前	内：既頭文、既頭底文、既頭付、既頭文。
164_7	C536	磁器	蓋	圓蓋	98	26			灰白	破綻	柒付	肥前	内：既頭文、既頭底文、既頭付、既頭文。

第46表 近世の陶器・土器観察表（C区）(17)

測量番号 測定番号	出土地點	材質	形態	高さ	底面 (mm)				胎土色調	成形	輪郭等	推定生産地	備考 (田・呂・文殊・法華等)	
					a	b	c	d						
164 8	C536 磁器	磁	圓筒	78	27				褐色	染付	渦巻・美濃	内：組み込み式文、一重輪郭、口縁部等に組み込まれた。外：片持式文、組み込み式。		
164 9	C536 磁器	磁	圓筒	79	26				褐色	染付	渦巻・美濃	内：組み込み式文、外：模様山水文、組み込み式。		
164 10	C536 磁器	磁	圓筒	83	27				褐色	染付	渦巻	内：組み込み式文、外：模様山水文、組み込み式。		
164 11	C536 磁器	磁	圓筒	81	25				褐色	染付	渦巻・美濃	内：組み込み式文、外：秋子文様、組み込み式。		
164 12	C536 磁器	磁	圓筒	79	25				褐色	染付	渦巻・美濃	内：組み込み式文、外：模様山水文、組み込み式。		
165 1	C536 磁器	磁	圓筒	81	27				褐色	染付	渦巻・美濃	内：組み込み式文、外：模様山水文、組み込み式。		
165 2	C536 磁器	磁	圓筒	80	22				褐色	染付	渦巻・美濃	内：組み込み式文、外：模様山水文、組み込み式。		
165 3	C536 磁器	磁	圓筒	92	25				褐色	染付	渦巻	内：組み込み式文、外：模様山水文、組み込み式。		
165 4	C536 磁器	磁	圓筒	91	22				褐色	染付	渦巻	内：組み込み式文、外：模様山水文、組み込み式。		
165 5	C536 磁器	磁	圓筒	90	25				褐色	染付	渦巻	内：組み込み式文、外：模様山水文、組み込み式。		
165 6	C536 磁器	磁	圓筒	81	22				褐色	染付	渦巻	内：組み込み式文、外：模様山水文、組み込み式。		
165 7	C536 磁器	磁	圓筒	86	24				褐色	染付	渦巻	内：組み込み式文、外：模様山水文、組み込み式。		
165 8	C536 磁器	磁	圓筒	68	15				褐色	染付	渦巻	内：組み込み式文、外：模様山水文、組み込み式。		
165 9	C536 磁器	磁	筒子型	53	10				褐色	染付	渦巻	内：組み込み式文、外：模様山水文、組み込み式。		
165 10	C536 磁器	磁	筒子型	56	07				褐色	染付	渦巻	内：組み込み式文、外：模様山水文、組み込み式。		
165 11	C536 磁器	水鉢	水鉢	70	19	49			塑壓	染付 (灰、灰原)	渦巻	内：組み込み式文、外：模様山水文、組み込み式。		
165 12	C536 磁器	水鉢	水鉢	57	26	40			塑壓	染付	渦巻	内：組み込み式文、外：模様山水文、組み込み式。		
165 13	C536 磁器	水鉢	水鉢	54	15	39	28		塑壓	染付 (灰、灰原)	渦巻	内：組み込み式文、外：模様山水文、組み込み式。		
165 14	C536 磁器	水鉢	水鉢	54	20	52			塑壓	染付	渦巻	内：組み込み式文、外：模様山水文、組み込み式。		
165 15	C536 磁器	杓子型	塑壓單	47	32	86			塑壓	染付	渦巻・美濃	内：組み込み式文、外：模様山水文、組み込み式。		
165 16	C536 磁器	杓子型	塑壓單	53	110	29			塑壓	染付	渦巻	内：組み込み式文、外：模様山水文、組み込み式。		
165 17	C536 磁器	その他の	鉢	28	39	32			手びねり	鉢	平明	内：組み込み式文、外：模様山水文、組み込み式。		
166 1	C536 陶器	陶	碗	117	55	40			褐色	灰塗	直筒・真	渦巻・美濃	内：白泥を全面に施す。外：西絵で模様山水文を施す。	
166 2	C536 陶器	陶	碗	118	55	44			褐色	灰塗	直筒・真	渦巻・美濃	内：白泥を全面に施す。外：模様山水文を施す。	
166 3	C536 陶器	陶	碗	117	53	46			褐色	灰塗	直筒・真	渦巻・美濃	内：白泥を全面に施す。外：模様山水文を施す。	
166 4	C536 陶器	陶	碗	112	52	40			褐色	灰塗	直筒・真	渦巻・美濃	内：白泥を全面に施す。外：西絵で模様山水文を施す。	
166 5	C536 陶器	陶	碗	111	55	40			褐色	灰塗	直筒・真	渦巻・美濃	内：白泥を全面に施す。外：西絵で模様山水文を施す。	
166 6	C536 陶器	陶	碗	118	55	44			褐色	灰塗	直筒・真	渦巻・美濃	内：白泥を全面に施す。外：模様山水文を施す。	
166 7	C536 陶器	陶	碗	130	61	50			褐色	灰塗	直筒・白	渦巻・美濃	内：白泥を全面に施す。外：模様山水文を施す。	
166 8	C536 陶器	陶	碗	122	50	47			褐色	灰塗	直筒・真	渦巻・美濃	内：白泥を全面に施す。外：模様山水文を施す。	
166 9	C536 陶器	陶	碗	99	59	29			褐色	灰塗	直筒	渦巻・美濃	内：白泥を全面に施す。外：模様山水文を施す。	
166 10	C536 陶器	陶	碗	110	63	42			褐色	灰塗	直筒・真	渦巻・美濃	内：白泥を全面に施す。外：模様山水文を施す。	
166 11	C536 陶器	陶	碗	88	54	37			褐色	灰塗	直筒・真	渦巻・美濃	内：白泥を全面に施す。外：模様山水文を施す。	
166 12	C536 陶器	陶	碗	95	52	33			褐色	灰塗	直筒・真	渦巻・美濃	内：白泥を全面に施す。外：模様山水文を施す。	
166 13	C536 陶器	陶	碗	91	51	45			褐色	灰塗	直筒・真	渦巻・美濃	内：白泥を全面に施す。外：模様山水文を施す。	
166 14	C536 陶器	陶	碗	128	63	45			褐色	灰塗	直筒・真	渦巻・美濃	内：白泥を全面に施す。外：模様山水文を施す。	
166 15	C536 陶器	陶	碗	110	60	40			褐色	灰塗	直筒・真	渦巻・美濃	内：白泥を全面に施す。外：模様山水文を施す。	
166 16	C536 陶器	陶	碗	108	57	42			褐色	灰塗	直筒・真	渦巻・美濃	内：白泥を全面に施す。外：模様山水文を施す。	
166 17	C536 陶器	陶	碗	113	56	(45)			褐色	灰塗	直筒・真	渦巻・美濃	内：白泥を全面に施す。外：模様山水文を施す。	
166 18	C536 陶器	陶	碗	88	52	28			褐色	灰塗	直筒・真	渦巻・美濃	内：白泥を全面に施す。外：模様山水文を施す。	
166 19	C536 陶器	陶	碗	88	54	36			褐色	灰塗	直筒・真	渦巻・美濃	内：白泥を全面に施す。外：模様山水文を施す。	
166 20	C536 陶器	陶	碗	117	64	57			褐色	灰塗	直筒・真	渦巻・美濃	内：白泥を全面に施す。外：模様山水文を施す。	
166 21	C536 陶器	陶	半升	114	43	50			褐色	灰塗	直筒・真	渦巻・美濃	内：白泥を全面に施す。外：模様山水文を施す。	
166 22	C536 陶器	陶	碗	120	64	56	(91)		褐色	灰塗	直筒・真	渦巻・美濃	内：白泥を全面に施す。外：模様山水文を施す。	
166 23	C536 陶器	陶	碗	111	63	60			褐色	染付	直筒・真	渦巻・美濃	内：白泥を全面に施す。外：模様山水文を施す。	
167 1	C536 陶器	陶	碗	113	64	57			褐色	染付	直筒・真	渦巻・美濃	内：白泥を全面に施す。外：模様山水文を施す。	
167 2	C536 陶器	陶	碗	74	57	34			褐色	染付	直筒・真	渦巻・美濃	内：白泥を全面に施す。外：模様山水文を施す。	
167 3	C536 陶器	陶	碗	88	48	40			褐色	染付	直筒・真	渦巻・美濃	内：白泥を全面に施す。外：模様山水文を施す。	
167 4	C536 陶器	陶	碗	82	49	33			褐色	染付	直筒・真	渦巻・美濃	内：白泥を全面に施す。外：模様山水文を施す。	
167 5	C536 陶器	陶	碗	92	44	35			褐色	染付	直筒・真	渦巻・美濃	内：白泥を全面に施す。外：模様山水文を施す。	
167 6	C536 陶器	陶	小鉢	61	48	37			褐色	染付	直筒・真	渦巻・美濃	内：白泥を全面に施す。外：模様山水文を施す。	
167 7	C536 陶器	陶	小鉢	63	36	28			褐色	染付	直筒・真	渦巻・美濃	内：白泥を全面に施す。外：模様山水文を施す。	
167 8	C536 陶器	陶	小鉢	91	51	45			褐色	染付	直筒・真	渦巻・美濃	内：白泥を全面に施す。外：模様山水文を施す。	
167 9	C536 陶器	陶	小鉢	56	33	30			褐色	染付	直筒・真	渦巻・美濃	内：白泥を全面に施す。外：模様山水文を施す。	
167 10	C536 陶器	陶	大鉢	281	69	181			褐色	染付	直筒・真	渦巻・美濃	内：白泥を全面に施す。外：模様山水文を施す。	
167 11	C536 陶器	陶	中鉢	185	44	80			褐色	染付	直筒・真	渦巻・美濃	内：白泥を全面に施す。外：模様山水文を施す。	
167 12	C536 陶器	陶	中鉢	186	33	116			褐色	染付	直筒・真	渦巻・美濃	内：白泥を全面に施す。外：模様山水文を施す。	
167 13	C536 陶器	陶	鉢	94	58	64			褐色	染付	直筒・真	渦巻・美濃	内：白泥を全面に施す。外：模様山水文を施す。	

第47表 近世の陶器・土器観察表（C区）(18)

測量番号 総面積 面積	出土 地点	材質	種類	高さ(cm)	底面(cm)				地土色調	底面	輪郭等	既定生産地	備考 (田・呉・文様・技法等)	
					a	b	c	d						
167	14	C536	陶器	皿	五寸皿	140	31	62	底白	暗緑	灰地	渕川・美濃	内：伏込み口軸折底。外：高台とその周辺を開き施釉。割り出しが高台。	
167	15	C536	陶器	皿	小皿	87	24	54	底白	型打ち	灰地	渕川・美濃	複開窓底。内：伏込みに渕筋で花文。文字を描く。四足先端をくび出し施釉。	
167	16	C536	陶器	皿	小皿	91	28	58	底白	型打ち	灰地	渕川・美濃	複開窓底。内：伏込みに渕筋で花文。文字を描く。四足先端をくび出し施釉。	
167	17	C536	陶器	皿	小皿	(84)	70	24	50	底白	型打ち	灰地	渕川・美濃	複開窓底。内：伏込みに渕筋で花文。文字を描く。四足先端をくび出し施釉。
168	3	C536	陶器	皿	中皿	206	58	91	底白	暗緑	緑筋(少少)	渕川・美濃	内側に花文と緑筋文。葵花文等を描く。外側は高台以外舟形。	
168	2	C536	陶器	皿	中皿	202	47	114	底白	暗緑	灰・高石積	渕川・美濃	付込み口軸折3脚底。	
168	3	C536	陶器	皿	小皿	99	24	54	底白	暗緑	染付	不明	内：舟形山形文。高台。帆掛舟形。外：唐津文。舟形山形文。舟形山形文。外：舟形山形文。舟形山形文。	
168	4	C536	陶器	皿	小皿	97	15	56	底白	型打ち	暗緑	不明	内：舟形山形文。高台。帆掛舟形。外：唐津文。舟形山形文。	
168	5	C536	陶器	皿	小皿	89	23	40	底白	暗緑	灰地	不明	内：舟形山形文。高台。帆掛舟形。外：唐津文。舟形山形文。	
168	6	C536	陶器	皿	小皿	105	28	48	底白	暗緑	灰地	渕川・美濃	内：舟形山形文。高台。帆掛舟形。外：唐津文。舟形山形文。	
168	7	C536	陶器	皿	小皿	130	33	67	底白	暗緑	染付	渕川・美濃	内：舟形山形文。高台。帆掛舟形。外：唐津文。舟形山形文。	
168	8	C536	陶器	皿	中皿	65	14	24	底白	暗緑	灰地	京・信濃	内：舟形山形文。高台。帆掛舟形に2箇所で山形の頭部。外：舟形山形文。	
168	9	C536	陶器	皿	中皿	72	15	36	底白	暗緑	灰地	渕川・美濃	内：舟形山形文。高台。帆掛舟形。外：舟形山形文。	
168	10	C536	陶器	皿	中皿	95	22	42	内・外・中	暗緑	染付(渕筋)	志戸川	内：舟形山形文。外：舟形山形文。	
168	11	C536	陶器	皿	中皿	117	23	46	内・外・中	暗緑	染付(渕筋)	志戸川	内：舟形山形文。外：舟形山形文。	
168	12	C536	陶器	鉢	深鉢・入れ	160	32	159	底白	板作り	灰・青・透	渕川・美濃	底部を開く外側に施釉。内側・底と直角で山形文を描く。	
168	13	C536	陶器	鉢	片口	148	77	73	底白	暗緑	染付	渕川・美濃	内：全面に施釉。外：高台とその周辺を開き施釉。舟形山形文。	
168	14	C536	陶器	鉢	香炉	79	44	36	底白	暗緑	灰付	白泥・長颈	外：底部無施釉。表面で模様の水文を描く。	
168	15	C536	陶器	鉢	鳥鉢	77	52	42	底白	暗緑	灰付	京・琵琶	内：全面に施釉。底部無施釉。表面で模様の水文を描く。	
168	16	C536	陶器	鉢	圓錐口	52	28	38	底白	暗緑	灰付	渕川・美濃	底部切妻形。底部無施釉。模様を刻む。底部無施釉。模様を刻む。	
168	17	C536	陶器	鉢	圓錐口	69	41	64	底白	暗緑	灰付	渕川・美濃	内：底部無施釉。ヘアケツリを描く。模様を刻む。	
168	18	C536	陶器	鉢	若物	89	72	51	底白	暗緑	灰付	京・高石積	内：舟形山形文を刻む。舟形山形文。	
169	1	C536	陶器	鉢	木桶鉢	130	128	95	底白	暗緑	灰地	志戸川・美濃	内：舟形山形文。外：舟形山形文。	
169	2	C536	陶器	鉢	小鉢	105	96	69	浅黄	暗緑	灰地	志戸川・木桶鉢	内：舟形山形文。外：舟形山形文。	
169	3	C536	陶器	鉢	木桶鉢	93	49	44	底白	暗緑	灰地	志戸川・美濃	内：舟形山形文。外：舟形山形文。	
169	4	C536	陶器	鉢	水鉢	326	221	203	底白	暗緑	灰地	渕川・美濃	内：舟形山形文。外：舟形山形文。	
169	5	C536	陶器	鉢	木桶鉢	163	101	82	223	底白	暗緑	灰地	志戸川・美濃	内：舟形山形文を刻む。舟形山形文。
169	6	C536	陶器	鉢	泡鉢	308	176	162	底白	暗緑	灰地	志戸川・美濃	内：舟形山形文を刻む。舟形山形文。	
169	7	C536	陶器	鉢	小鉢	64	82	49	底白	暗緑	灰付	渕川・美濃	内：舟形山形文。外：舟形山形文。	
169	8	C536	陶器	鉢	小鉢	86	103	74	95	底白	暗緑	灰付	渕川・美濃	内：舟形山形文。外：舟形山形文。
169	9	C536	陶器	鉢	中鉢	254	345	164	内・外・側	暗緑	灰付	志戸川・美濃	内：舟形山形文。底面に舟形を刻む。外：舟形山形文。	
169	10	C536	陶器	鉢	小鉢	147	149	93	336	底白	板作り	志戸川・美濃	内：全面施釉。見込み口目隠。外：高台とその周辺を開き施釉。舟形山形文。	
169	11	C536	陶器	鉢	高鉢	159	89	71	384	底白	暗緑	灰付	渕川・美濃	内：全面施釉。外：舟形山形文。
170	1	C536	陶器	鉢	茶葉	112	140	96	116	底白	灰付	灰地	不明	見込み付。底面及び側面に模様を刻む。
170	2	C536	陶器	鉢	足付	185			明鏡	暗緑	透明鏡	不明	1枚鏡底は受け状に舟形を有する。1枚鏡直下に舟形で文様を刻む。	
170	3	C536	陶器	鉢	錐鉢	369	156	162	454	底白	暗緑	灰地	渕川・美濃	内：舟形山形文。底面に舟形を刻む。外：舟形山形文。
170	4	C536	陶器	鉢	錐鉢	440	181	181	明鏡	暗緑	灰付	明鏡	内：舟形山形文。底面に舟形を刻む。外：舟形山形文。	
170	5	C536	陶器	鉢	大鉢	34	242	103	133	底白	暗緑	灰地	渕川・美濃	内：舟形山形文。底面に舟形を刻む。外：舟形山形文。
170	6	C536	陶器	鉢	中鉢	34	225	76	111	底白	暗緑	灰地	渕川・美濃	内：舟形山形文。底面に舟形を刻む。外：舟形山形文。
170	7	C536	陶器	鉢	小鉢	34	203	67	81	底白	暗緑	灰地	渕川・美濃	内：舟形山形文。底面に舟形を刻む。外：舟形山形文。
170	8	C536	陶器	鉢	小鉢	36	177	66	83	底白	暗緑	灰地	渕川・美濃	内：舟形山形文。底面に舟形を刻む。外：舟形山形文。
171	1	C536	陶器	瓶	中瓶	28	234	93	底白	暗緑	灰付	渕川・美濃	内：舟形山形文。底面に舟形を刻む。外：舟形山形文。	
171	2	C536	陶器	瓶	中瓶	26	170	64	内・外・側	暗緑	灰地	渕川・美濃	内：舟形山形文。底面に舟形を刻む。外：舟形山形文。	
171	3	C536	陶器	瓶	中瓶	21	148	62	底白	暗緑	灰地	渕川・美濃	内：舟形山形文。底面に舟形を刻む。外：舟形山形文。	
171	4	C536	陶器	瓶	小瓶	25	96	64	内・外・側	暗緑	灰地	渕川・美濃	底面無施釉。側面は2枚形を平均に作る。	
171	5	C536	陶器	瓶	伝化瓶	49	104	68	底白	暗緑	灰地	渕川・美濃	底面無施釉。	
171	6	C536	陶器	瓶	花生				底白	暗緑	灰地	渕川・美濃	底面無施釉。	
171	7	C536	陶器	瓶	水注	68	79	53	内・外・側	暗緑	灰付	渕川・美濃	内：舟形山形文。底面に舟形を刻む。外：舟形山形文。	
171	8	C536	陶器	瓶	水注	63	91	62	底白	暗緑	青筋付	不明	内：舟形山形文。底面に舟形を刻む。外：舟形山形文。	
171	9	C536	陶器	瓶	粗細口	124	22	52	底白	暗緑	灰地	渕川・美濃	内：印伝(御祝)、藤田文。唐津文。惟良文。政文8年。内：粗細口。	
171	10	C536	陶器	瓶	西瓶	54	170	125	底白	暗緑	灰付	渕川・美濃	内：舟形山形文。底面に舟形を刻む。外：舟形山形文。	
171	11	C536	陶器	瓶	口折	(69)			底白	手びね	灰付	手びね	物のような貝を象る。底部部分を削付け。内面部に縦筋を削す。	
171	12	C536	陶器	その他の	美濃し	60	40	45	底白	暗緑	灰付?	不明	底面と側部下位に穿孔。	

第48表 近世の陶磁器・土器観察表（C区）(19)

測観番号 測定番号	出土地点	材質	種類	測量	法星(m)				出土色調	成形	施華	既定生産地	備考(田・墓・文様・技法等)			
					a	b	c	d								
172_1	C536	陶器	蓋	朱片蓋?	20	72	に伝へ	96	破壊	灰白	うのふ 施華	不明	外島のみ施華。施み崩れ。			
172_2	2	C536	陶器	蓋	水呑蓋	22	73	明暗	破壊	灰白	青銅鏡	不明				
172_3	3	C536	陶器	蓋	前蓋	21	75	に伝へ	96	破壊	灰白	不明	外島のみ施華。施み崩れ。			
172_4	4	C536	陶器	蓋	前蓋	26	109	に伝へ	96	破壊	灰白	瀬戸・美濃	外島のみ施華。施み崩れ。			
172_5	5	C536	陶器	蓋	蓋片蓋	12	に伝へ	96	破壊	灰白	透明施	不明	外:施華。施み崩れ。			
172_6	6	C536	陶器	蓋	中水呑蓋	15	86	灰白	破壊	灰白	施華	不明				
172_7	7	C536	陶器	蓋	中前蓋	13	91	浅黄	破壊	灰白	施華	不明				
172_8	8	C536	陶器	蓋	中前蓋	16	灰白	破壊	灰白	漆(御井 付)	漆(御井 付)	瀬戸・美濃	外島のみ施華。施み崩れ。			
172_9	9	C536	陶器	蓋	中前蓋	28	灰白	破壊	漆(御井 付)	漆(御井 付)	漆(御井 付)	瀬戸・美濃	外島のみ施華。施み崩れ。			
172_10	10	C536	陶器	蓋	物置蓋	54	17	灰白	破壊	漆(御井 付)	漆(御井 付)	不明	既貫通孔。外表面は裏の土壁を複数切削する。			
172_11	11	C536	陶器	蓋	物置蓋	85	14	53	灰白	破壊	灰白	瀬戸・美濃	外:無施。			
172_12	12	C536	陶器	蓋	物置蓋	44	10	に伝へ	96	破壊	灰白	漆(御井 付)	漆(御井 付)	瀬戸・美濃 (御井漆無)。外: 跡またはは底面で梅花文を認く。		
172_13	13	C536	陶器	蓋	物置蓋	67	11	84	灰白	破壊	灰白	漆(御井 付)	漆(御井 付)	瀬戸・美濃 下垂無施。		
172_14	14	C536	陶器	蓋	物置蓋	84	12	114	灰白	破壊	灰白	漆(御井 付)	漆(御井 付)	瀬戸・美濃 下垂無施。		
172_15	15	C536	陶器	蓋	物置蓋	113	16	114	灰白	破壊	灰白	不明	外島のみ施華。施み崩れ。其のうふ物を複数部分から取れる。セトとなる可能性。			
172_16	16	C536	陶器	蓋	土瓶蓋	37	31	54	暗黃	破壊	灰白	うのふ 施華	不明	外島のみ施華。施み崩れ。其のうふ物を複数部分から取れる。セトとなる可能性。		
172_17	17	C536	陶器	蓋	土瓶蓋	42	29	30	に伝へ	96	破壊	灰白	不明	外:無施。跡記で土瓶を指す。		
172_18	18	C536	陶器	蓋	土瓶蓋	38	26	69	明暗	破壊	灰白	漆(御井 付)	漆(御井 付)	外島のみ施華。イチヂンで文縫を認く内に四手印。既て既貫通孔無視。		
172_19	19	C536	陶器	蓋	土瓶蓋	50	28	84	に伝へ	96	破壊	灰白	漆(御井 付)	漆(御井 付)	外島のみ施華。イチヂンで文縫を認く。	
172_20	20	C536	陶器	蓋	土瓶蓋	55	32	83	灰白	破壊	青銅鏡	不明	青土瓶蓋。既出の無施。			
172_21	21	C536	陶器	蓋	土瓶蓋	60	34	23	55	に伝へ	96	破壊	灰白	漆(御井 付)	漆(御井 付)	既出の無施。扇形土瓶。
172_22	22	C536	陶器	蓋	土瓶蓋	66	32	86	灰白	破壊	灰白	漆(御井 付)	漆(御井 付)	外島のみ施華。同心円。既貫通孔の縫を斜化する。既と既出で梅丸。土瓶を指す。		
172_23	23	C536	陶器	蓋	土瓶蓋	60	37	87	灰白	破壊	灰白	漆(御井 付)	漆(御井 付)	外島のみ施華。既出の無施。		
172_24	24	C536	陶器	蓋	土瓶蓋	63	33	92	灰白	破壊	灰白	漆(御井 付)	漆(御井 付)	既出の無施。既石瓶を施し既底盤で山瓶。帆掛け船を認く。		
172_25	25	C536	陶器	蓋	土瓶蓋	76	24	に伝へ	96	破壊	灰白	漆(御井 付)	漆(御井 付)	外島のみ施華。既出の無施。		
172_26	26	C536	陶器	蓋	土瓶蓋	27	に伝へ	96	破壊	灰白	漆(御井 付)	漆(御井 付)	外島のみ施華。既出の無施。			
172_27	27	C536	陶器	蓋	土瓶蓋	92	25	44	灰白	破壊	灰白	漆(御井 付)	漆(御井 付)	既出の無施。既底盤を斜く全く同じに施す。既既出で内底盤等の文縫を指す。		
172_28	28	C536	陶器	蓋	土瓶蓋	48	28	72	灰白	破壊	青銅鏡	不明	青土瓶蓋。埋者「さくら瓣くの御」。			
172_29	29	C536	陶器	蓋	牛頭	122	80	12	灰白	破壊	灰白	漆(御井 付)	漆(御井 付)	全面に施華する。既:牛頭部分は既。		
172_30	30	C536	陶器	蓋	牛頭	74	18	34	66	に伝へ	96	破壊	漆(御井 付)	漆(御井 付)	既出ヘタクリ。既底部無施。既基輪無施。	
172_31	31	C536	陶器	蓋	牛頭	83	17	26	灰白	破壊	灰白	漆(御井 付)	漆(御井 付)	既出ヘタクリ。既底部無施。既基輪無施。		
172_32	32	C536	陶器	蓋	牛頭	94	22	41	77/9	に伝へ	96	破壊	漆(御井 付)	漆(御井 付)	既出ヘタクリ。既底部無施。既基輪無施。	
172_33	33	C536	陶器	蓋	牛頭	98	20	45	52	灰白	破壊	漆(御井 付)	漆(御井 付)	既出ヘタクリ。既底部無施。既基輪無施。		
172_34	34	C536	陶器	蓋	牛頭	113	29	42	に伝へ	96	破壊	漆(御井 付)	漆(御井 付)	既出ヘタクリ。既底部無施。既基輪無施。		
172_35	35	C536	陶器	蓋	牛頭	79	56	49	灰白	破壊	灰白	漆(御井 付)	漆(御井 付)	既出ヘタクリ。既底部無施。		
172_36	36	C536	土器	蓋	牛頭	71	15	34	明暗	破壊	漆(御井 付)	漆(御井 付)	既出ヘタクリ。既底部無施。既基輪無施。既既底盤付着。			
172_37	37	C536	土器	蓋	牛頭	76	19	33	に伝へ	96	破壊	漆(御井 付)	漆(御井 付)	既出ヘタクリ。既底部無施。既基輪無施。既既底盤付着。		
172_38	38	C536	土器	蓋	牛頭	76	17	35	に伝へ	96	破壊	漆(御井 付)	漆(御井 付)	既出ヘタクリ。既底部無施。既基輪無施。既既底盤付着。		
172_39	39	C536	土器	蓋	牛頭	72	19	30	45	に伝へ	96	破壊	漆(御井 付)	漆(御井 付)	既出ヘタクリ。既底部無施。既基輪無施。既既底盤付着。	
172_40	40	C536	土器	蓋	牛頭	120	31	51	明暗	破壊	漆(御井 付)	漆(御井 付)	既出ヘタクリ。既底部無施。既基輪無施。既既底盤付着。			
172_41	41	C536	土器	蓋	牛頭	62	145	21	に伝へ	96	破壊	漆(御井 付)	漆(御井 付)	既出ヘタクリ。既底部無施。既基輪無施。		
172_42	42	C536	土器	蓋	牛頭	76	70	76	48	漆	漆(御井 付)	漆(御井 付)	既出ヘタクリ。既底部無施。			
172_43	43	C536	土器	蓋	牛頭	35	7	23	漆	破壊	漆(御井 付)	漆(御井 付)	既出ヘタクリ。既底部無施。既基輪無施。			
172_44	44	C536	土器	蓋	牛頭	46	12	35	漆	破壊	漆(御井 付)	漆(御井 付)	既出ヘタクリ。既底部無施。既基輪無施。			
173_1	1	C536	土器	蓋	跡	跡	85	46	57	明暗	破壊	漆(御井 付)	漆(御井 付)	内蓋ナデ。外蓋ナギナ。既底部切削。既既底盤付着。		
173_2	2	C536	土器	蓋	跡	跡	95	50	65	明暗	破壊	漆(御井 付)	漆(御井 付)	内蓋ナデ。外蓋ナギナ。既底部切削。既既底盤付着。		
173_3	3	C536	土器	蓋	跡	97	50	62	明暗	破壊	漆(御井 付)	漆(御井 付)	内蓋ナデ。外蓋ナギナ。既底部切削。既既底盤付着。			
173_4	4	C536	土器	蓋	仕切	132	37	78	に伝へ	96	漆	漆(御井 付)	漆(御井 付)	仕切り既存せず。既既底盤付着。		
173_5	5	C536	土器	蓋	火呑合	34	35	286	に伝へ	96	漆	漆(御井 付)	漆(御井 付)	内:既存。		
173_6	6	C536	土器	蓋	火呑	97	50	62	漆	破壊	漆(御井 付)	漆(御井 付)	既既底盤付着。			
173_7	7	C536	土器	蓋	火呑	173	88	107	に伝へ	96	漆	漆(御井 付)	漆(御井 付)	既既底盤付着。		
173_8	8	C536	土器	蓋	火呑	174	79	123	に伝へ	96	漆	漆(御井 付)	漆(御井 付)	内蓋に漆喰付着。既既底盤付着。		
173_9	9	C536	土器	蓋	火呑	54	23	24	明暗	漆	漆(御井 付)	漆(御井 付)	内外全蓋に施華。既既底盤付着。			
173_10	10	C536	土器	蓋	火呑	60	23	31	明暗	漆	漆(御井 付)	漆(御井 付)	内外全蓋に施華。既既底盤付着。			
173_11	11	C536	土器	蓋	火呑	76	34	36	漆	破壊	漆(御井 付)	漆(御井 付)	内外全蓋に施華。既既底盤付着。			
173_12	12	C536	土器	蓋	火呑	20	30	31	明暗	漆	漆(御井 付)	漆(御井 付)	既既底盤付着。			
173_13	13	C536	土器	蓋	火呑	67	10	62	に伝へ	96	漆	漆(御井 付)	漆(御井 付)	既既底盤付着。		

第49表 近世の陶磁器・土器観察表（C区）(20)

測量番号 測定番号	出土 地點	材質	種類	高さ	法規 (mm)			微十調	底面	輪郭等	既生産地	備考 (田・墓・文様・技法等)
					a	b	c					
173 14 C536	土器	素	焼成直前	70	14			73	楕	堅押し	近畿	
173 15 C536	土器	素	焼成直前	66	17			79	楕	堅押し	近畿	
173 16 C536	土器	素	焼成直前	60	9			79	楕	堅押し	近畿	
173 17 C536	土器	素	焼成直前	68	14			60	楕	堅押し	近畿	
173 18 C536	土器	素	焼成直前	70	16			71	楕	堅押し	近畿	
173 19 C536	土器	素	焼成直前	68	19			80	楕	堅押し	近畿	
173 20 C536	土器	素	焼成直前	70	12			66	楕	堅押し	近畿	
173 21 C536	土器	素	焼成直前	70	78	53	72	楕	折作り	楕	近畿	洋細は第55表参照。
173 22 C536	土器	素	焼成直前	61	51	41	61	楕	折作り	楕	近畿	洋細は第55表参照。
173 23 C536	土器	素	焼成直前	78	18	23	80	楕	折作り	楕	近畿	洋細は第55表参照。
173 24 C536	土器	素	焼成直前	62	18	32	77	楕	折作り	楕	近畿	洋細は第55表参照。
173 25 C536	土器	素	焼成直前	56	71	49	69	楕	折作り	楕	近畿	洋細は第55表参照。
173 26 C536	土器	素	焼成直前	56	75	49	66	楕	折作り	楕	近畿	洋細は第55表参照。
173 27 C536	土器	素	焼成直前	61	51	41	61	楕	折作り	楕	近畿	洋細は第55表参照。
173 28 C536	土器	素	焼成直前	78	18	23	80	楕	折作り	楕	近畿	洋細は第55表参照。
173 29 C536	土器	素	焼成直前	62	18	32	77	楕	折作り	楕	近畿	洋細は第55表参照。
173 30 C536	土器	素	焼成直前	74	18	24	80	楕	折作り	楕	近畿	洋細は第55表参照。
173 31 C536	土器	素	焼成直前	72	16	24	80	楕	折作り	楕	近畿	洋細は第55表参照。
173 32 C536	土器	素	焼成直前	62	18	26	79	楕	折作り	楕	近畿	洋細は第55表参照。
173 33 C536	土器	素	焼成直前	70	14	36	74	楕	折作り	楕	近畿	洋細は第55表参照。
173 1 C536	土器	素	焼成直前	88	18	43	96	楕	折作り	楕	近畿	式部作切手形脚、輪轂上手形。
173 2 C536	土器	素	焼成直前	156	223	22	156	楕	折作り	楕	近畿	或ひ、底面に切口「朱雀安五郎」。
173 3 C536	土器	素	焼成直前	228	200	212	302	楕	折作り	楕	近畿	或ひ、底面に切口「朱雀安五郎」。
173 4 C536	土器	大鉢	焼成直前	174	164	184	174	楕	折作り	楕	近畿	付帯なし。
175 1 C539	鉢	火鉢	焼成直前	223	190	230	216	楕	折作り	楕	近畿	ミガキ、沈金、文様有り。
175 2 C539	鉢	火鉢	焼成直前	108	64	46	93	楕	折作り	楕	近畿	内に丸みと舟形、輪轂上手形。外面部全面に施釉。頂部に保形。
175 3 C539	鉢	火鉢	焼成直前	96	50	38	93	楕	折作り	楕	近畿	内に丸みと舟形、輪轂上手形。
175 4 C539	鉢	火鉢	焼成直前	105	57	58	93	楕	折作り	楕	近畿	或ひ、底面に切口「朱雀安五郎」。
175 5 C539	鉢	火鉢	焼成直前	76	58	34	93	楕	折作り	楕	近畿	付帯なし。
175 6 C539	鉢	火鉢	焼成直前	88	75	44	93	楕	折作り	楕	近畿	ミガキ、沈金、文様有り。
175 7 C539	鉢	火鉢	焼成直前	64	54	35	93	楕	折作り	楕	近畿	内に丸みと舟形、輪轂上手形。外面部全面に施釉。頂部に保形。
175 8 C539	鉢	火鉢	焼成直前	96	27	48	93	楕	折作り	楕	近畿	内に丸みと舟形、輪轂上手形。
175 9 C539	鉢	火鉢	焼成直前	147	41	100	93	楕	折作り	楕	近畿	或ひ、底面に切口「朱雀安五郎」。
175 10 C539	鉢	火鉢	焼成直前	30	18	38	47	楕	折作り	楕	近畿	内に丸みと舟形、輪轂上手形。
175 11 C539	鉢	火鉢	焼成直前	104	27	55	93	楕	折作り	楕	近畿	内に丸みと舟形、輪轂上手形。
175 12 C539	鉢	火鉢	焼成直前	97	28	40	93	楕	折作り	楕	近畿	内に丸みと舟形、輪轂上手形。
175 13 C539	鉢	火鉢	焼成直前	33	93	93	93	楕	折作り	楕	近畿	内に丸みと舟形、輪轂上手形。
175 14 C539	鉢	火鉢	焼成直前	83	(35)	(30)	(43)	楕	折作り	楕	中国	内に丸みと舟形、輪轂上手形。外面部全面に施釉。頂部に保形。
175 15 C539	鉢	火鉢	焼成直前	110	62	36	93	楕	折作り	楕	美濃	内に丸みと舟形、輪轂上手形。外面部全面に施釉。頂部に保形。
175 16 C539	鉢	火鉢	焼成直前	106	62	42	93	楕	折作り	楕	美濃	内に丸みと舟形、輪轂上手形。外面部全面に施釉。頂部に保形。
175 17 C539	鉢	火鉢	焼成直前	105	64	36	93	楕	折作り	楕	美濃	内に丸みと舟形、輪轂上手形。外面部全面に施釉。頂部に保形。
175 18 C539	鉢	火鉢	焼成直前	103	57	52	93	楕	折作り	楕	美濃	内に丸みと舟形、輪轂上手形。外面部全面に施釉。頂部に保形。
175 19 C539	鉢	火鉢	焼成直前	134	62	44	93	楕	折作り	楕	美濃	内に丸みと舟形、輪轂上手形。外面部全面に施釉。頂部に保形。
175 20 C539	鉢	火鉢	焼成直前	126	54	38	93	楕	折作り	楕	美濃	内に丸みと舟形、輪轂上手形。外面部全面に施釉。頂部に保形。
175 21 C539	鉢	火鉢	焼成直前	90	56	38	93	楕	折作り	楕	美濃	内に丸みと舟形、輪轂上手形。外面部全面に施釉。頂部に保形。
176 1 C539	鉢	火鉢	焼成直前	106	43	36	93	楕	折作り	楕	近畿	内に丸みと舟形、輪轂上手形。外面部全面に施釉。頂部に保形。
176 2 C539	鉢	火鉢	焼成直前	79	27	26	93	楕	折作り	楕	近畿	内に丸みと舟形、輪轂上手形。
176 3 C539	鉢	火鉢	焼成直前	120	61	62	338	楕	折作り	楕	近畿	或ひ、底面に切口「朱雀安五郎」。
176 4 C539	鉢	火鉢	焼成直前	38	24	38	93	楕	折作り	楕	近畿	或ひを除く全体に施釉。底面に切口「朱雀安五郎」。
176 5 C539	鉢	火鉢	焼成直前	55	239	102	325	楕	折作り	楕	近畿	或ひを除く全体に施釉。底面に切口「朱雀安五郎」。
176 6 C539	鉢	火鉢	焼成直前	112	124	76	183	楕	折作り	楕	近畿	内に丸みと舟形、輪轂上手形。外面部全面に施釉。頂部に保形。
176 7 C539	鉢	火鉢	焼成直前	82	28	59	93	楕	折作り	楕	近畿	内に丸みと舟形、輪轂上手形。外面部全面に施釉。頂部に保形。
176 8 C539	鉢	火鉢	焼成直前	316	123	140	160	楕	折作り	楕	近畿	内に丸みと舟形、輪轂上手形。外面部全面に施釉。頂部に保形。
176 9 C539	鉢	火鉢	焼成直前	72	21	11	93	楕	折作り	楕	近畿	内に丸みと舟形、輪轂上手形。外面部全面に施釉。頂部に保形。
176 10 C539	鉢	火鉢	焼成直前	55	11	21	39	楕	折作り	楕	近畿	内に丸みと舟形、輪轂上手形。外面部全面に施釉。頂部に保形。
176 11 C539	鉢	火鉢	焼成直前	93	27	37	93	楕	折作り	楕	近畿	内に丸みと舟形、輪轂上手形。外面部全面に施釉。頂部に保形。
176 12 C539	鉢	火鉢	焼成直前	90	23	28	93	楕	折作り	楕	近畿	内に丸みと舟形、輪轂上手形。外面部全面に施釉。頂部に保形。
176 13 C539	鉢	火鉢	焼成直前	56	—			楕	折作り	楕	近畿	内に丸みと舟形、輪轂上手形。外面部全面に施釉。頂部に保形。
176 14 C539	鉢	火鉢	焼成直前	222	(49)			楕	折作り	楕	近畿	或ひを除く全体に施釉。底面に切口「朱雀安五郎」。
176 15 C540	鉢	火鉢	焼成直前	42	22	11	93	楕	折作り	楕	近畿	或ひを除く全体に施釉。底面に切口「朱雀安五郎」。
176 16 C540	鉢	火鉢	焼成直前	176	47	140	93	楕	折作り	楕	近畿	或ひを除く全体に施釉。底面に切口「朱雀安五郎」。
176 17 C540	鉢	火鉢	焼成直前	69	44	64	95	楕	折作り	楕	近畿	或ひを除く全体に施釉。底面に切口「朱雀安五郎」。
176 18 C540	鉢	火鉢	焼成直前	41	196	66	93	楕	折作り	楕	近畿	或ひを除く全体に施釉。底面に切口「朱雀安五郎」。
177 1 C541	鉢	火鉢	焼成直前	85	46	34	93	楕	折作り	楕	近畿	内に丸みと舟形、輪轂上手形。外面部全面に施釉。
177 2 C541	鉢	火鉢	焼成直前	94	24	57	93	楕	折作り	楕	近畿	内に丸みと舟形、輪轂上手形。外面部全面に施釉。
177 3 C541	鉢	火鉢	焼成直前	106	37	39	93	楕	折作り	楕	近畿	内に丸みと舟形、輪轂上手形。外面部全面に施釉。
177 4 C541	鉢	火鉢	焼成直前	69	23	64	93	楕	折作り	楕	近畿	内に丸みと舟形、輪轂上手形。外面部全面に施釉。
177 5 C541	鉢	火鉢	焼成直前	104	45	23	93	楕	折作り	楕	近畿	内に丸みと舟形、輪轂上手形。外面部全面に施釉。
177 6 C543	鉢	火鉢	焼成直前	93	46	42	93	楕	折作り	楕	近畿	内に丸みと舟形、輪轂上手形。外面部全面に施釉。
177 7 C543	鉢	火鉢	焼成直前	94	49	38	93	楕	折作り	楕	近畿	内に丸みと舟形、輪轂上手形。外面部全面に施釉。
177 8 C543	鉢	火鉢	焼成直前	40	102	62	92	楕	折作り	楕	近畿	内に丸みと舟形、輪轂上手形。外面部全面に施釉。
177 9 C543	鉢	火鉢	焼成直前	22	84	36	93	楕	折作り	楕	近畿	内に丸みと舟形、輪轂上手形。外面部全面に施釉。

第50表 近世の陶器・土器観察表 (C 区) (21)

地名	出土点	材質	種類	形態	尺度(mm)				地土色調	底面	輪郭等	既定生産地	備考 (田・呂・宮様・技法等)
					a	b	c	d					
177	10 C543	陶器	圓	小口若	64	19			灰白	破損	灰釉	瀬戸・美濃	外：黄褐色、内：白色。手切り版あり。
177	11 C550	陶器	圓	中幅	114	62	(86)		灰白	破損	付	肥前	広口輪郭、内：口縁・垂唇輪郭、足込式・垂唇輪郭。外：竹文。
177	12 C550	陶器	圓	中幅	120	50	47		灰	破損	灰	灰釉	瀬戸・美濃
177	13 C550	陶器	圓	中幅	1098	37	38		灰白	破損	付	肥前	内：赤みみに黄で毎花、灰面下斜を極く。
177	14 C550	土器	圓	足柄	190	153	(190)	(206)	灰	破損	灰	灰釉	瀬戸・美濃
177	15 C552	陶器	圓	中幅	95	47	42		白	破損	付	手前	内：赤みみに白、外：山水文。高内「青磁」製あり。
177	17 C552	土器	圓	足柄	260	—	—		浅黄明	破損	付	江戸在地	脚目、脚堅高為 4cm 前後。外：竹文。
177	18 C547	陶器	圓	中幅	99	48	(35)		灰白	破損	付	伊勢	外：脚堅文、脚・板。
178	2 Z C547	陶器	圓	中幅	695	56	140		灰白	破損	付	手前	内：口輪郭と方脚文、足込式・垂唇輪郭。外：花。
178	3 C547	陶器	圓	中幅	75	25	—		灰白	破損	付	手前	外：脚堅文、脚・板。
178	4 C547	陶器	圓	中幅	76	16	34		灰白	破損	付	手前	底面とその周辺を除く内外面を施す。
178	5 C547	陶器	圓	中幅	112	22	50		灰白	破損	付	手前	内：脚堅文。
178	6 C547	陶器	圓	中幅	(225)	42	(186)		白	破損	付	手前	内：脚堅文。
178	7 C547	土器	円	十幅	171	71	158		白	下づくね	付	江戸在地	
178	8 C580	陶器	圓	小幅	97	49	34		灰白	破損	付	瀬戸・美濃	内：相模山山水文。
178	9 C580	陶器	圓	小幅	86	43	34		灰白	破損	付	瀬戸・美濃	内：相模山山水文。
178	10 C580	陶器	圓	小幅	(65)	53	33		灰白	破損	付	瀬戸・美濃	内：相模山山水文。
178	11 C580	陶器	圓	五寸幅	149	43	83		白	破損	付	手前	内：相模山山水文。
178	12 C580	陶器	圓	五寸幅	102	23	54		白	破損	付	手前	底の口堅高台面、肩書き「相模」。
178	13 C580	陶器	圓	五寸幅	82	26	34		白	破損	付	手前	内：草花文、縁内に「相」字跡放。
178	14 C580	陶器	圓	五寸幅	92	22	—		白	破損	付	手前	内：草花文、外：脚・脚輪え。
178	15 C580	陶器	圓	水滴	60	20	39		灰白	型押し	付	手前	
178	16 C580	陶器	圓	中幅	97	73	58		灰白	破損	付	瀬戸・美濃	
178	17 C580	陶器	圓	中幅	107	52	32		灰白	破損	付	灰・黄	内：脚堅文。
178	18 C580	陶器	圓	着	20	—	—		77	脚	脚輪	手前	底とし器。
178	19 C580	陶器	圓	着	女士若?	23	—		81	脚	脚輪	灰白	不明
178	20 C580	陶器	圓	着	物置若	62	—		72	脚	脚輪	手前	内：底面に切妻・脚・足付。
178	21 C580	陶器	圓	着	水鉢	—	—		脚	脚輪	脚	手前	既定地焼成登録あり。隨意文様 (脚)・脚・足付。
178	22 C580	陶器	その他の	盤	—	32	—		手前	下づくね	手前	手前	内：相模山山水文。
179	1 C564	陶器	圓	中幅	114	61	66		手前	破損	付	瀬戸	内：口込式・直造文、底・菊・竹・藤丸。
179	2 C564	陶器	圓	小幅	78	44	38		手前	破損	付	手前	相模丸・丸泡文。
179	3 C564	陶器	圓	中幅	110	69	46		手前	破損	付	手前	底の口堅高台面、肩書き「相模」。
179	4 C564	陶器	圓	中幅	104	61	41		手前	破損	付	手前	京・信楽。
179	5 C564	陶器	圓	中幅	114	50	46		手前	破損	付	手前	瀬戸・美濃
179	6 C564	陶器	圓	中幅	91	50	38		手前	破損	付	手前	相模丸・脚堅。
179	7 C564	陶器	圓	大腹	122	40	36		手前	破損	付	京・信楽	高台所を除き底を施す。
179	8 C564	陶器	圓	中幅	(118)	65	(47)		灰白	破損	付	瀬戸・美濃	相模丸・脚・乳頭。
179	9 C564	陶器	圓	中幅	117	72	45		灰白	破損	付	手前	内：口堅高台面。
179	10 C564	陶器	圓	大腹	126	65	44		手前	破損	付	手前	内：口堅高台面。
179	11 C564	陶器	圓	中幅	94	25	37		灰白	破損	付	手前	底の口堅高台面、底面縁を拭き取る。
179	12 C564	陶器	圓	中幅	88	30	77		灰白	破損	付	手前	内：口堅高台面、底面縁を拭き取る。
179	13 C564	陶器	圓	大腹	206	64	83		灰白	破損	付	手前	内：口堅高台面、底面縁を拭き取る。
179	14 C564	陶器	圓	脚	C546	144	(136)		灰白	破損	付	手前	内：口堅高台面。
179	15 C564	陶器	圓	脚	70	20	97		手前	破損	付	手前	内：口堅高台面。
179	16 C564	陶器	瓶	小瓶	33	221	78	110	灰	破損	付	手前	内：口堅高台面。外：全周輪郭後、底部及びその両端は拭き取る。
179	17 C564	陶器	瓶	小瓶	32	197	66	84	浅黄	破損	付	手前	内：口堅高台面。外：拭き取る。
179	18 C564	陶器	瓶	小瓶	24	141	60	80	手前	破損	付	手前	内：口堅高台面。
179	19 C564	土器	脚	印伝紋	78	73	72	49	手前	破損	付	手前	内：口堅高台面。
179	1 C580	陶器	圓	中幅	109	63	44		手前	破損	付	手前	内：口堅高台面・垂唇輪郭。内側四方傳文、外：口堅文。
179	2 C580	陶器	圓	中幅	699	48	(34)		手前	破損	付	手前	外：口堅文。
179	3 C580	陶器	圓	中幅	698	48	34		手前	破損	付	手前	外：口堅文。
179	4 C580	陶器	圓	中幅	886	56	34		手前	破損	付	手前	内：口堅高台面。
179	5 C580	陶器	圓	中幅	81	38	30		手前	破損	付	手前	内：口堅高台面。
179	6 C580	陶器	圓	脚	71	52	38		手前	破損	付	手前	内：口堅文。
179	7 C580	陶器	圓	脚	100	28	—	40	手前	破損	付	手前	内：草花文。内側四方傳文。外：斜文。
180	8 C580	陶器	圓	大腹	136	59	48		手前	破損	付	手前	内：口堅高台面。
180	9 C580	陶器	圓	大腹	129	52	42		手前	破損	付	手前	内：口堅高台面。
180	10 C580	陶器	圓	中幅	108	41	38		手前	破損	付	手前	内：口堅高台面。
180	11 C580	陶器	圓	着	98	26	—	109	手前	破損	付	手前	内：口堅文。
180	12 C580	陶器	圓	脚	340	—	—	354	明治期	脚輪	脚輪	手前	内：口堅文。
180	13 C580	土器	圓	大口密沿	280	43	—	—	手前	破損	付	手前	内：口堅文。
180	14 C580	土器	圓	大口密沿	236	30	208	246	明治期	脚輪	脚輪	手前	内：全部的にナデ、内部の一側に押さえぬあり。内：脚・脚輪。
180	15 C580	土器	圓	大口密沿	57	—	—	150	明治期	脚輪	脚輪	手前	内：口堅文。
180	16 C580	土器	脚	大口	70	54	73	71	手前	破損	付	手前	内：口堅高台面。
181	1 C590	陶器	脚	土器	126	57	54	(38)	灰	破損	付	手前	内：口堅手付。
181	2 C590	土器	脚	切跡	C590	—	—	—	灰白	破損	付	手前	内：口堅高台面。
181	3 C590	土器	脚	小口	108	28	40	40	灰白	破損	付	手前	内：口堅手付。
181	4 C591	陶器	脚	中幅	96	49	43	白	破損	付	手前	内：口堅手付。	
181	5 C591	陶器	脚	中幅	19	115	42	63	手前	破損	付	手前	内：口堅手付。
181	6 C591	陶器	脚	中幅	18	77	30	42	手前	破損	付	手前	内：口堅手付。
181	7 C591	陶器	脚	中幅	22	—	—	手前	破損	付	手前	内：口堅手付。	
181	8 C591	土器	脚	明治昭和	78	—	—	45 明治期	破損	付	手前	内：脚・脚輪。	
181	9 C591	土器	脚	小口	46	8	20	明治期	破損	付	手前	内：脚・脚輪。	
181	10 C592	陶器	脚	大口	(122)	53	41	灰白	破損	付	手前	内：脚・脚輪。	

第51表 近世の陶器・土器観察表（C区）(22)

測量番号 測定番号	出土 場所	材質	形態	表面	法規 (mm)				胎土色調	成形	施業者	既定生産地	備考 (印・呂・文様・技法等)
					a	b	c	d					
181_11 C603	縦目	陶器	中幅	101	52	36			灰白	破綻	安付	伊前	
181_12 C603	縦目	陶器	中幅	83	56	31			灰白	破綻	安付	伊前	
181_13 C603	縦目	陶器	中幅	1000	50	36			灰白	破綻	安付	伊前	
181_14 C603	縦目	陶器	小幅	60	24	25			灰白	破綻	安付	伊前	
181_15 C603	縦目	陶器	広幅	50	56	37			灰白	破綻	安付	伊前	
181_16 C603	縦目	陶器	小幅	105	19	67			灰白	破綻	安付	伊前	内：円込み平文。外：唐草文。
181_17 C603	縦目	陶器	小幅	108	25	62			灰白	破綻	安付	伊前	内：草花文。外：唐草文。高台内：出文。
181_18 C603	縦目	陶器	中幅	1249	69	61			灰白	破綻	安付	伊前	
181_19 C603	縦目	陶器	中幅	98	54	52			灰白	破綻	安付	伊前	
181_20 C603	縦目	陶器	中幅	107	79	70			灰白	破綻	安付	伊前	
181_21 C603	縦目	陶器	中幅	93	21		33		灰白	破綻	安付	伊前	内：四方陣文。環状弦竹彫文。外：唐草文。
182_1 C603	縦目	陶器	中幅	108	65	48			灰白	破綻	成形・鉛錠	瀬戸・美濃	
182_2 C603	縦目	陶器	中幅	116	56	46			灰白	破綻	成形・鉛錠	瀬戸・美濃	内：灰陶。外：灰錠。表面、口縁部内部：鉛錠。
182_3 C603	縦目	陶器	中幅	118	46	40			灰白	破綻	成形	伊前	
182_4 C603	縦目	陶器	中幅	118	51	45			灰白	破綻	成形	伊前	内：山水文。
182_5 C603	縦目	陶器	大幅	127	57	45			灰白	破綻	成形	伊前	内：灰陶。瀬戸・美濃。内引：内引毛口。
182_6 C603	縦目	陶器	中幅	107	65	43			灰白	破綻	成形	伊前	印：灰文。外：印模。底で鉛錠。底面で要を錠く。
182_7 C603	縦目	陶器	中幅	125	158	5244			浅黄	破綻	成形	瀬戸・美濃	上縁に凹凸を有り、内面に凸凹線。口縁部内面の凹面と体部外縁に灰陶を施す。若狭と美濃を交方に施して仕切する。体部に貯石を吊り付けける。
182_8 C603	陶器	合口	土瓶	59	67	62	309		灰白	破綻	透窓・灰陶。成形	瀬戸・美濃	
182_9 C603	土瓶	縦目	中幅	120					332	横目	成形	江戸在地	無目。底丸。厚壁高2cm前後。
182_10 C603	土瓶	縦目	地縫合口	73	18	75			灰白	破綻	成形	不明	
182_11 C603	土瓶	縦目	地縫合口	79	17	79			灰白	破綻	成形	不明	
182_12 C603	土瓶	縦目	地縫合口	53	72	50	68		灰白	成形	作合口	江戸在地	洋繩は第55表參照。
182_13 C603	土瓶	縦目	地縫合口	64	65	56	84		灰白	成形	江戸在地	洋繩は第55表參照。	
182_14 C566	陶器	縦土瓶	180	99	65			灰白	成形	底丸	子引		
182_15 C566	土瓶	縦目	地縫合口	70	48	72	20		禮	成形	底丸	底面に凹凸を有り、内面に凸凹線。口縁部内面の凹面と体部外縁に灰陶を施す。若狭と美濃を交方に施して仕切する。底面に貯石を吊り付けける。	
183_1 C605	縦目	陶器	中幅	98	54	52			灰白	破綻	安付	伊前	外：化。
183_2 C605	縦目	陶器	中幅	90	26	34			灰白	破綻	安付	伊前	内：四方陣文。環状弦竹彫文。外：印模。印文。
183_3 C605	縦目	陶器	中幅	94	55	40			灰白	破綻	成形	瀬戸・美濃	圓錐。
183_4 C605	縦目	陶器	中幅	118	52	42			灰白	成形	底丸	瀬戸・美濃。体部に2条の旋紋。	
183_5 C605	縦目	陶器	大幅	124	49	44			灰白	破綻	成形	伊前	口縁部内面に、内：円込み薄輪で、外：厚輪。
183_6 C605	縦目	陶器	中幅	58	37	18			灰白	破綻	成形	底丸	体部に鉛錠で底を錠く。
183_7 C605	縦目	陶器	中幅	58	41	38			灰白	成形	底丸	瀬戸・美濃。底部中央切欠形、底面輪孔あり。	
183_8 C605	土瓶	中幅	105	52	48	270		明治	成形	底丸	江戸在地		
183_9 C605	土瓶	中幅	105	52	48			明治	成形	底丸	深め、底丸。厚壁高2cm前後。		
183_10 C605	土瓶	中幅	105	52	48			明治	成形	底丸	深め、底丸。厚壁高2cm前後。		
183_11 C605	土瓶	中幅	105	52	48			明治	成形	底丸	外：化。子引。右肩丸。		
183_12 C605	土瓶	中幅	123	50	50			明治	成形	底丸	口縁部内面に鉛錠。外：厚頭鉛錠。		
183_13 C605	土瓶	中幅	124	50	50	38	270	92	136	明治	成形	古戸川	右肩丸。厚壁。丸丸。厚壁高2cm前後。
183_14 C605	土瓶	中幅	125	50	50			明治	成形	底丸	江戸在地	内：円込みナラシ。外：桶型口の子引。外縁まで、根木。	
183_15 C605	土瓶	大幅	140					明治	成形	底丸	江戸在地	内：円込みコンシャンク判別用。外縁まで、根木。	
184_1 C598	縦目	陶器	大幅	150	80	58			灰白	破綻	成形	伊前	内：円込み。外：高台背付細い。底丸まで、根木。
184_2 C598	縦目	陶器	中幅	10.0	5.1	3.9			灰白	成形	底丸	伊前	内：見込み文。外：高台背付細い。底丸まで、根木。
184_3 C598	縦目	陶器	中幅	101	47	31			灰白	成形	底丸	伊前	外：印模。印文。
184_4 C598	縦目	陶器	中幅	108	56	52			灰白	成形	底丸	伊前	底丸。高台内凹底。底面に鉛錠。
184_5 C598	縦目	陶器	中幅	89	50	52			灰白	成形	底丸	内：底丸に横筋折竹彫文。口縁部内面に鉛錠。外：付合口。	
184_6 C598	縦目	陶器	中幅	68	43	45			灰白	成形	底丸	伊前	外：化。
184_7 C598	縦目	陶器	小幅	101	20	69			灰白	成形	底丸	伊前	
184_8 C598	縦目	陶器	小幅	81	21	40			灰白	成形	底丸	伊前	底部を除く内側面全体に施す。内面斜削。
184_9 C598	縦目	陶器	中幅	145	48	87			灰白	成形	底丸	伊前	
184_10 C598	縦目	陶器	中幅	75	41	36			灰白	成形	底丸	内：化。外：印模。印文。	
184_11 C598	縦目	陶器	中幅	74	48	35			灰白	成形	底丸	内：化。外：印模。印文。	
184_12 C598	縦目	陶器	中幅	84	65	64			灰白	成形	底丸	内：底丸に横筋折竹彫文。外：口縁部内面に鉛錠。外：付合口。	
184_13 C598	縦目	陶器	中幅	80	58	44			灰白	成形	底丸	外：化。	
184_14 C598	縦目	陶器	中幅	58	48	26			灰白	成形	底丸	外：化。根木。	
184_15 C598	縦目	陶器	中幅	114	76	44			灰白	成形	底丸	瀬戸・美濃。外：体部遊び底。口縁部内面に鉛錠。	
184_16 C598	縦目	陶器	中幅	116	69	56			灰白	成形	底丸	瀬戸・美濃。外：口縁部内面に鉛錠を施す。	
184_17 C598	縦目	陶器	中幅	90	27		32		灰白	成形	底丸	外：化。	
184_18 C598	縦目	陶器	中幅	85	25		31		灰白	成形	底丸	内：化。	
184_19 C598	縦目	陶器	中幅	105	22		54		灰白	成形	底丸	内：化。	
184_20 C598	縦目	陶器	中幅	72	24		82		灰白	成形	底丸	内：化。	
184_21 C598	縦目	陶器	中幅	114	76	44			灰白	成形	底丸	瀬戸・美濃。外：体部遊び底。口縁部内面に鉛錠。	
184_22 C598	縦目	陶器	中幅	110	72	50			灰白	成形	底丸	瀬戸・美濃。外：化。	
184_23 C598	縦目	陶器	大幅	126	63	42			灰白	成形	底丸	瀬戸・美濃。外：化。	
185_1 C598	縦目	陶器	大幅	125	65	44			浅黄	破綻	成形	瀬戸・美濃	内：口縁部。外：体部遊び底。口縁部内面に鉛錠。
185_2 C598	縦目	陶器	中幅	116	69	56			灰白	破綻	成形	瀬戸・美濃	内：口縁部鉛錠。外：高台足見その内面に鉛錠を施す。
185_3 C598	縦目	陶器	中幅	116	52	46			灰白	破綻	成形	瀬戸・美濃	内：底丸に鉛錠を設す。口縁部内面に鉛錠。
185_4 C598	縦目	陶器	中幅	112	40	38			浅黄	破綻	成形	瀬戸・美濃	平底。
185_5 C598	縦目	陶器	中幅	86	59	42			灰白	破綻	成形	瀬戸・美濃	底丸・古窓。
185_6 C598	縦目	陶器	中幅	84	54	36			灰白	破綻	成形	瀬戸・美濃	底丸・古窓。
185_7 C598	縦目	陶器	中幅	258	64	134			灰白	破綻	成形	瀬戸・美濃	口縁部
185_8 C598	縦目	陶器	中幅	127	28	42			灰白	破綻	成形	瀬戸・美濃	内：底丸口状の複列切妻成形に施す。

第52表 近世の陶器・土器観察表（C区）(23)

調査番号	出土点	材質	種類	高さ	基盤 (mm)				出土色調	底面	輪郭等	既生产地	参考 (田・呂・文・草・技法等)	
					a	b	c	d						
185. 10 C598	陶器	田	小鉢	104	22	45			灰白	底面	底面	瀬戸・美濃	右側内。丸み込みに底面具施あり。	
185. 11 C598	陶器	田	中鉢	210	41	112			灰白	底面	底面	瀬戸・美濃	内：丸み込みに底面の印記。	
185. 12 C598	陶器	鉢	丸鉢	100	96	105			灰白	底面	底面	瀬戸・美濃	外：口底を施した後、底部を引き透明。下端部内外面に縁跡を残す。	
185. 13 C598	陶器	器	土瓶蓋	59	35			75	浅黄褐	底面	底面	瀬戸・美濃	丸形。手は轮廓線に近く。外：白配を施した上に斜面	
185. 14 C598	陶器	器	土瓶蓋	65	41			96	灰白	底面	底面	瀬戸・美濃	内：底面に丸みを施す。	
185. 15 C598	陶器	器	土瓶蓋	80	70	64		91	灰白	底面	底面	瀬戸・美濃	外：口底を施した後、底部を引き透明。内：底面に縁跡を残す。	
186. 1 C598	陶器	器	大瓶	30	318	132	161	浅黄	底面	底面	瀬戸・美濃	内：下部を斜面へカズレ。底部に底状の条線。全体と上部表面に舟形を施し、底面は輪を残す。		
186. 2 C598	陶器	器	小瓶	35				56	灰黄	底面	底面	瀬戸・美濃	白地。	
186. 3 C598	陶器	器	小瓶	35	201	65	85	浅黄	底面	底面	瀬戸・美濃	内：下部を斜面へカズレ。内：底面不規。底部を斜め外側に縁跡を残す。		
186. 4 C598	陶器	器	鉢	364	156	160		150	灰白	底面	底面	瀬戸・美濃	内：底面は斜面を施す。	
186. 5 C598	陶器	器	土瓶	82	15	35			灰白	底面	底面	瀬戸・美濃	内：底部下部に斜面を施す。	
186. 6 C598	陶器	器	土瓶	104	21	44		64	灰白	底面	底面	瀬戸・美濃	内：底部下部に斜面を施す。	
186. 7 C598	陶器	器	土瓶	84	22	34	54	54	灰白	底面	底面	瀬戸・美濃	内：底部下部に斜面を施す。	
186. 8 C598	陶器	器	土瓶	—	—	88			灰白	底面	底面	瀬戸・美濃	前代。	
186. 9 C598	陶器	器	土瓶	228					灰白	底面	底面	瀬戸・美濃	前代。	
186. 10 C598	陶器	器	鉢	184	113	168	(220)	灰白	底面	底面	瀬戸・美濃	内：下部を斜面へカズレ。内：底面不規。底部を斜め外側に縁跡を残す。		
186. 11 C598	陶器	器	土瓶	150	16				灰白	底面	底面	瀬戸・美濃	内：下部を斜面へカズレ。内：底面不規。	
186. 12 C598	陶器	器	土瓶	268	51				浅黄	底面	底面	瀬戸・美濃	内：底部下部に斜面を施す。	
186. 13 C598	陶器	器	土瓶	134	31	76			灰白	底面	底面	瀬戸・美濃	内：底部下部に斜面を施す。	
186. 14 C598	陶器	器	土瓶	125	27	64			灰白	底面	底面	瀬戸・美濃	前代。	
186. 15 C598	陶器	器	土瓶	78	17	39			灰白	底面	底面	瀬戸・美濃	前代。	
187. 1 C598	陶器	器	土瓶	22					灰白	底面	底面	瀬戸・美濃	前代。	
187. 2 C598	陶器	器	土瓶	184	113	168	(220)	灰白	底面	底面	瀬戸・美濃	内：下部を斜面へカズレ。内：底面不規。底部を斜め外側に縁跡を残す。		
187. 3 C598	陶器	器	土瓶	150	16				灰白	底面	底面	瀬戸・美濃	内：下部を斜面へカズレ。内：底面不規。	
187. 4 C598	陶器	器	土瓶	268	51				浅黄	底面	底面	瀬戸・美濃	内：底部下部に斜面を施す。	
187. 5 D610	陶器	器	土瓶	50	48	71			灰白	底面	底面	瀬戸・美濃	内：底部下部に斜面を施す。	
187. 6 D610	陶器	器	土瓶	121	48	44			灰白	底面	底面	瀬戸・美濃	前代。	
187. 7 D610	陶器	器	大瓶	121	43	36			灰白	底面	底面	瀬戸・美濃	前代。	
187. 8 E610	陶器	器	土瓶	120	48	41			灰白	底面	底面	瀬戸・美濃	前代。	
187. 9 G610	陶器	器	大瓶	125	31	76			灰白	底面	底面	瀬戸・美濃	内：斜面の草花。	
187. 10 G610	陶器	器	土瓶	42					灰白	底面	底面	瀬戸・美濃	前代。	
187. 11 G610	陶器	器	土瓶	333					灰白	底面	底面	瀬戸・美濃	内：底部下部に斜面を施す。	
187. 12 G612	陶器	器	土瓶	227	90	103			灰白	底面	底面	瀬戸・美濃	内：斜面の草花。	
187. 13 G612	陶器	器	土瓶	63	47	37			灰白	底面	底面	瀬戸・美濃	内：斜面の草花。	
187. 14 G612	陶器	器	土瓶	22	30	23			灰白	底面	底面	瀬戸・美濃	内：斜面の草花。	
187. 15 G612	陶器	器	土瓶	51	21	29			灰白	底面	底面	瀬戸・美濃	内：斜面の草花。	
187. 16 G612	陶器	器	土瓶	73	72	71			灰白	底面	底面	瀬戸・美濃	内：斜面の草花。	
187. 17 G612	陶器	器	土瓶	216					灰白	底面	底面	瀬戸・美濃	内：斜面の草花。	
187. 18 G612	陶器	器	土瓶	50	23	39			灰白	底面	底面	瀬戸・美濃	内：斜面の草花。	
187. 19 G612	陶器	器	土瓶	106	59	54			灰白	底面	底面	瀬戸・美濃	内：斜面の草花。	
188. 1 C612	陶器	器	土瓶	98	50	42			灰白	底面	底面	瀬戸・美濃	内：斜面の草花。	
188. 2 C612	陶器	器	土瓶	72	47	28			灰白	底面	底面	瀬戸・美濃	内：斜面の草花。	
188. 3 C612	陶器	器	土瓶	104	73	46			灰白	底面	底面	瀬戸・美濃	内：斜面の草花。	
188. 4 C612	陶器	器	土瓶	88	54	33			灰白	底面	底面	瀬戸・美濃	内：斜面の草花。	
188. 6 D612	陶器	器	土瓶	110	64	40			灰白	底面	底面	瀬戸・美濃	内：斜面の草花。	
188. 7 D612	陶器	器	土瓶	62	39	32			灰白	底面	底面	瀬戸・美濃	内：斜面の草花。	
188. 8 D612	陶器	器	土瓶	256	(37)		290	灰白	底面	底面	底面	内：斜面の草花。	内：斜面を斜面につく多。全面に底輪を施した後、上端部内方に突起を。内：底面及び突起に底輪を施す。	
188. 9 G612	陶器	器	土瓶	98	71	69	111	灰白	底面	底面	底面	内：斜面の草花。	内：斜面を斜面につく多。全面に底輪を施した後、上端部内方に突起を。内：底面及び突起に底輪を施す。	
188. 10 G612	陶器	器	土瓶	64	47	38	82	灰白	底面	底面	底面	内：斜面の草花。	内：斜面を斜面につく多。全面に底輪を施した後、上端部内方に突起を。内：底面及び突起に底輪を施す。	
188. 11 G612	陶器	器	土瓶	114	53				灰白	底面	底面	底面	内：斜面の草花。	内：斜面を斜面につく多。全面に底輪を施した後、上端部内方に突起を。内：底面及び突起に底輪を施す。
188. 12 G612	陶器	器	土瓶	165	133	118			灰白	底面	底面	瀬戸・美濃	内：斜面の草花。	内：斜面を斜面につく多。全面に底輪を施した後、上端部内方に突起を。内：底面及び突起に底輪を施す。
188. 13 G612	陶器	器	土瓶	97	21	38			灰白	底面	底面	瀬戸・美濃	内：斜面の草花。	内：斜面を斜面につく多。全面に底輪を施した後、上端部内方に突起を。内：底面及び突起に底輪を施す。
188. 14 G612	陶器	器	土瓶	77	77	76			灰白	底面	底面	瀬戸・美濃	内：斜面の草花。	内：斜面を斜面につく多。全面に底輪を施した後、上端部内方に突起を。内：底面及び突起に底輪を施す。
188. 15 G612	陶器	器	土瓶	330			348	灰白	底面	底面	底面	内：斜面の草花。	内：斜面を斜面につく多。全面に底輪を施した後、上端部内方に突起を。内：底面及び突起に底輪を施す。	
189. 1 G622	陶器	器	大瓶	144	75	60			灰白	底面	底面	瀬戸・美濃	内：斜面の草花。	内：斜面を斜面につく多。全面に底輪を施した後、上端部内方に突起を。内：底面及び突起に底輪を施す。
189. 2 G622	陶器	器	土瓶	148	45	90			灰白	底面	底面	瀬戸・美濃	内：斜面の草花。	内：斜面を斜面につく多。全面に底輪を施した後、上端部内方に突起を。内：底面及び突起に底輪を施す。
189. 3 G622	陶器	器	土瓶	90	52	33			灰白	底面	底面	瀬戸・美濃	内：斜面の草花。	内：斜面を斜面につく多。全面に底輪を施した後、上端部内方に突起を。内：底面及び突起に底輪を施す。
189. 4 G622	陶器	器	土瓶	70	13				灰白	底面	底面	瀬戸・美濃	内：斜面の草花。	内：斜面を斜面につく多。全面に底輪を施した後、上端部内方に突起を。内：底面及び突起に底輪を施す。
189. 5 G622	陶器	器	土瓶	100	45	32			灰白	底面	底面	瀬戸・美濃	内：斜面の草花。	内：斜面を斜面につく多。全面に底輪を施した後、上端部内方に突起を。内：底面及び突起に底輪を施す。
189. 6 G622	陶器	器	土瓶	100	53	59			灰白	底面	底面	瀬戸・美濃	内：斜面の草花。	内：斜面を斜面につく多。全面に底輪を施した後、上端部内方に突起を。内：底面及び突起に底輪を施す。
189. 7 G622	陶器	器	土瓶	155	78	86			灰白	底面	底面	瀬戸・美濃	内：斜面の草花。	内：斜面を斜面につく多。全面に底輪を施した後、上端部内方に突起を。内：底面及び突起に底輪を施す。
189. 8 G622	陶器	器	土瓶	141	41	86			灰白	底面	底面	瀬戸・美濃	内：斜面の草花。	内：斜面を斜面につく多。全面に底輪を施した後、上端部内方に突起を。内：底面及び突起に底輪を施す。
189. 9 G622	陶器	器	土瓶	148	45	90			灰白	底面	底面	瀬戸・美濃	内：斜面の草花。	内：斜面を斜面につく多。全面に底輪を施した後、上端部内方に突起を。内：底面及び突起に底輪を施す。
189. 10 G622	陶器	器	土瓶	97	49	34			灰白	底面	底面	瀬戸・美濃	内：斜面の草花。	内：斜面を斜面につく多。全面に底輪を施した後、上端部内方に突起を。内：底面及び突起に底輪を施す。
189. 11 G622	陶器	器	土瓶	50	14				灰白	底面	底面	瀬戸・美濃	内：斜面の草花。	内：斜面を斜面につく多。全面に底輪を施した後、上端部内方に突起を。内：底面及び突起に底輪を施す。
189. 12 G622	陶器	器	土瓶	46	9				灰白	底面	底面	瀬戸・美濃	内：斜面の草花。	内：斜面を斜面につく多。全面に底輪を施した後、上端部内方に突起を。内：底面及び突起に底輪を施す。
189. 13 G622	陶器	器	土瓶	67	56	40			灰白	底面	底面	瀬戸・美濃	内：斜面の草花。	内：斜面を斜面につく多。全面に底輪を施した後、上端部内方に突起を。内：底面及び突起に底輪を施す。
189. 14 G622	陶器	器	土瓶	116	53	42			灰白	底面	底面	瀬戸・美濃	内：斜面の草花。	内：斜面を斜面につく多。全面に底輪を施した後、上端部内方に突起を。内：底面及び突起に底輪を施す。
189. 15 G622	陶器	器	土瓶	81	58	40			灰白	底面	底面	瀬戸・美濃	内：斜面の草花。	内：斜面を斜面につく多。全面に底輪を施した後、上端部内方に突起を。内：底面及び突起に底輪を施す。
189. 16 G622	陶器	器	土瓶	114	37	38			灰白	底面	底面	瀬戸・美濃	内：斜面の草花。	内：斜面を斜面につく多。全面に底輪を施した後、上端部内方に突起を。内：底面及び突起に底輪を施す。
189. 17 G622	陶器	器	土瓶	123	28	70			灰白	底面	底面	瀬戸・美濃	内：斜面の草花。	内：斜面を斜面につく多。全面に底輪を施した後、上端部内方に突起を。内：底面及び突起に底輪を施す。

第53表 近世の陶器・土器観察表（C区）（24）

測量番号 測定番号	出土点	材質	種類	形態	法規 (mm)				出土色調	成形	施華等	特定生産地	備考 (印: 嘉、文富、桂輝、桂芳)	
					a	b	c	d						
189 18	C622	陶器	皿	小盤	267	108	170		灰白	織繩	灰釉	桂輝	桂輝・美濃	底丸及び内面を引き抜きを施す。丁口はやや丸く深めに当期に作れる。丁口底を約押さえし、縁脚を1本脚から2本脚半にかけて部分的に縦脚を施し脚付する。底脚中央のそばに2本脚を施す。内面は引抜きを施す。外側は引抜きを施す。底脚内側に列記の文。内面は墨文。
190 1	C622	陶器	皿	大皿	262	62	135		灰白	織繩	灰釉	桂輝	桂輝・美濃	底丸「太口ぼさつ」。底内面に印文。内面はみ口跡。
190 2	C622	陶器	皿	土鍋	154	75	64	164	灰白	織繩	灰釉	桂輝	桂輝・美濃	外: 底部下部を削り内へカケタリ。底部はハラクツリ。底部上端、底部内側に墨文あり。
190 3	C622	陶器	皿	切妻足皿	106	24	56		灰白	織繩	灰釉	桂輝	桂輝・美濃	外: 底部原形を保つ。底脚を削り前後。底部ハラクツリ。
190 4	C622	陶器	皿	中皿	100	162	100	146	灰白	織繩	灰釉	桂輝	桂輝・美濃	内: 底口・7条。単足。縁脚に墨記: 二英足。底面かに内面は墨文。
190 5	C622	陶器	皿	深盆	250	133	168		にじ・小皿	織繩	灰釉	桂輝	桂輝・美濃	内: 底口・7条。単足。縁脚に墨記: 二英足。底面かに内面は墨文。
190 6	E622	陶器	皿	小皿	73	12	41		白	織繩	灰釉	桂輝	桂輝・美濃	底内面に墨文。縁脚上端。
190 7	G622	陶器	皿	小皿	106	19	54		白	織繩	灰釉	桂輝	桂輝・美濃	底丸切妻脚。底脚内側に墨文。
190 8	G622	陶器	皿	中皿	136	24	76		白	織繩	灰釉	桂輝	桂輝・美濃	底丸切妻脚。
191 1	G622	陶器	皿	大皿	274	43			(46) 佐賀燒	織繩	灰釉	桂輝	桂輝・美濃	内: 底口・7条。単足。縁脚に墨記: 二英足。底面かに内面は墨文。
191 2	G622	陶器	皿	深盆	370				昭和燒	織繩	灰釉	桂輝	桂輝・美濃	底丸切妻脚。縁脚上端。
191 3	G622	陶器	皿	深盆	210	185	216		にじ・深盆	織繩	灰釉	桂輝	桂輝・美濃	底丸切妻脚。縁脚上端。
191 4	G622	陶器	皿	深盆	68	13			71 明治燒	型押し	灰釉	桂輝	桂輝・美濃	内: 底口・7条。単足。縁脚に墨記: 二英足。底面かに内面は墨文。
191 5	G622	陶器	皿	深盆	52	70	43	68	昭和燒	織繩	灰釉	桂輝	桂輝・美濃	内: 底口・7条。単足。縁脚に墨記: 二英足。底面かに内面は墨文。
191 6	G622	陶器	皿	深盆	64	67	52	65	昭和燒	織繩	灰釉	桂輝	桂輝・美濃	内: 底口・7条。単足。縁脚に墨記: 二英足。底面かに内面は墨文。
191 7	O651	磁器	瓶	直筒	86	34			昭和燒	織繩	灰釉	桂輝	桂輝・美濃	内: 底口・7条。単足。縁脚に墨記: 二英足。底面かに内面は墨文。
192 1	O651	磁器	瓶	直筒	96	53	37		昭和燒	織繩	灰釉	桂輝	桂輝・美濃	内: 底口・7条。単足。縁脚に墨記: 二英足。底面かに内面は墨文。
192 2	O651	磁器	瓶	直筒	103	56	38		昭和燒	織繩	灰釉	桂輝	桂輝・美濃	内: 底口・7条。単足。縁脚に墨記: 二英足。底面かに内面は墨文。
192 3	O651	磁器	瓶	直筒	115	80	66		昭和燒	織繩	灰釉	桂輝	桂輝・美濃	内: 底口・7条。単足。縁脚に墨記: 二英足。底面かに内面は墨文。
192 4	O651	磁器	瓶	直筒	94	52	33		昭和燒	織繩	灰釉	桂輝	桂輝・美濃	内: 底口・7条。単足。縁脚に墨記: 二英足。底面かに内面は墨文。
192 5	O651	磁器	瓶	直筒	34	198	68	85	昭和燒	織繩	灰釉	桂輝	桂輝・美濃	内: 底口・7条。単足。縁脚に墨記: 二英足。底面かに内面は墨文。
192 6	O651	磁器	瓶	大瓶	145	67	51		昭和燒	織繩	灰釉	桂輝	桂輝・美濃	内: 底口・7条。単足。縁脚に墨記: 二英足。底面かに内面は墨文。
192 7	O651	磁器	瓶	中瓶	96	53	37		昭和燒	織繩	灰釉	桂輝	桂輝・美濃	内: 底口・7条。単足。縁脚に墨記: 二英足。底面かに内面は墨文。
192 8	O651	磁器	瓶	小瓶	68	58	36		昭和燒	織繩	灰釉	桂輝	桂輝・美濃	内: 底口・7条。単足。縁脚に墨記: 二英足。底面かに内面は墨文。
192 9	O651	磁器	瓶	直筒	81	23			昭和燒	織繩	灰釉	桂輝	桂輝・美濃	内: 底口・7条。単足。縁脚に墨記: 二英足。底面かに内面は墨文。
192 10	O651	磁器	瓶	中瓶	115	63	60		昭和燒	織繩	灰釉	桂輝	桂輝・美濃	内: 底口・7条。単足。縁脚に墨記: 二英足。底面かに内面は墨文。
192 11	O651	磁器	瓶	大瓶	130	75	74		昭和燒	織繩	灰釉	桂輝	桂輝・美濃	内: 底口・7条。単足。縁脚に墨記: 二英足。底面かに内面は墨文。
192 12	O651	磁器	瓶	直筒	137	41	82		昭和燒	織繩	灰釉	桂輝	桂輝・美濃	内: 底口・7条。単足。縁脚に墨記: 二英足。底面かに内面は墨文。
192 13	O651	磁器	瓶	直筒	94	24	40		昭和燒	織繩	灰釉	桂輝	桂輝・美濃	内: 底口・7条。単足。縁脚に墨記: 二英足。底面かに内面は墨文。
192 14	O651	磁器	瓶	直筒	124	54	58		昭和燒	織繩	灰釉	桂輝	桂輝・美濃	内: 底口・7条。単足。縁脚に墨記: 二英足。底面かに内面は墨文。
192 15	O651	磁器	瓶	直筒	72	43	56		昭和燒	織繩	灰釉	桂輝	桂輝・美濃	内: 底口・7条。単足。縁脚に墨記: 二英足。底面かに内面は墨文。
192 16	O651	磁器	瓶	直筒	52	28			昭和燒	織繩	灰釉	桂輝	桂輝・美濃	内: 底口・7条。単足。縁脚に墨記: 二英足。底面かに内面は墨文。
192 17	O651	磁器	瓶	直筒	102	22	51	72	浅井燒	織繩	灰釉	桂輝	桂輝・美濃	内: 底口・7条。単足。縁脚に墨記: 二英足。底面かに内面は墨文。
192 18	O651	磁器	瓶	直筒	49	53	40	62	にじ・直筒	織繩	灰釉	桂輝	桂輝・美濃	内: 底口・7条。単足。縁脚に墨記: 二英足。底面かに内面は墨文。
192 19	O651	磁器	瓶	直筒	100	47	36		昭和燒	織繩	灰釉	桂輝	桂輝・美濃	内: 底口・7条。単足。縁脚に墨記: 二英足。底面かに内面は墨文。
192 20	O651	磁器	瓶	直筒	59	53	33		昭和燒	織繩	灰釉	桂輝	桂輝・美濃	内: 底口・7条。単足。縁脚に墨記: 二英足。底面かに内面は墨文。
192 21	O651	磁器	瓶	直筒	110	76	70		昭和燒	織繩	灰釉	桂輝	桂輝・美濃	内: 底口・7条。単足。縁脚に墨記: 二英足。底面かに内面は墨文。
192 22	O651	磁器	瓶	直筒	100	59	48		昭和燒	織繩	灰釉	桂輝	桂輝・美濃	内: 底口・7条。単足。縁脚に墨記: 二英足。底面かに内面は墨文。
192 23	O651	磁器	瓶	直筒	125	49	40		浅井燒	織繩	灰釉	桂輝	桂輝・美濃	内: 底口・7条。単足。縁脚に墨記: 二英足。底面かに内面は墨文。
192 24	O651	磁器	瓶	直筒	116	49	42		昭和燒	織繩	灰釉	桂輝	桂輝・美濃	内: 底口・7条。単足。縁脚に墨記: 二英足。底面かに内面は墨文。
192 25	O651	磁器	瓶	直筒	135	29	72		昭和燒	織繩	灰釉	桂輝	桂輝・美濃	内: 底口・7条。単足。縁脚に墨記: 二英足。底面かに内面は墨文。
192 26	O651	磁器	瓶	直筒	35	109			昭和燒	織繩	灰釉	桂輝	桂輝・美濃	内: 底口・7条。単足。縁脚に墨記: 二英足。底面かに内面は墨文。
193 6	Z~3	磁器	瓶	小杯	67	40	26		昭和燒	織繩	灰釉	桂輝	桂輝・美濃	内: 底口・7条。単足。縁脚に墨記: 二英足。底面かに内面は墨文。
194 1	L 673	磁器	瓶	中瓶	96	49	38		昭和燒	織繩	灰釉	桂輝	桂輝・美濃	内: 底口・7条。単足。縁脚に墨記: 二英足。底面かに内面は墨文。
194 2	L 673	磁器	瓶	中瓶	110	61			昭和燒	織繩	灰釉	桂輝	桂輝・美濃	内: 底口・7条。単足。縁脚に墨記: 二英足。底面かに内面は墨文。
194 3	L 673	磁器	瓶	中瓶	114	65	58		昭和燒	織繩	灰釉	桂輝	桂輝・美濃	内: 底口・7条。単足。縁脚に墨記: 二英足。底面かに内面は墨文。
194 4	L 673	磁器	瓶	中瓶	68	54	32		昭和燒	織繩	灰釉	桂輝	桂輝・美濃	内: 底口・7条。単足。縁脚に墨記: 二英足。底面かに内面は墨文。
194 5	L 673	磁器	瓶	中瓶	115	70	62		昭和燒	織繩	灰釉	桂輝	桂輝・美濃	内: 底口・7条。単足。縁脚に墨記: 二英足。底面かに内面は墨文。
194 6	L 673	磁器	瓶	中瓶	151	46	88		昭和燒	織繩	灰釉	桂輝	桂輝・美濃	内: 底口・7条。単足。縁脚に墨記: 二英足。底面かに内面は墨文。
194 7	L 673	磁器	瓶	中瓶	100	42	114		昭和燒	織繩	灰釉	桂輝	桂輝・美濃	内: 底口・7条。単足。縁脚に墨記: 二英足。底面かに内面は墨文。
194 8	L 673	磁器	瓶	中瓶	98	56	34		浅井	織繩	灰釉	桂輝	桂輝・美濃	内: 底口・7条。単足。縁脚に墨記: 二英足。底面かに内面は墨文。
194 9	L 673	磁器	瓶	大瓶	130	58	38		浅井	織繩	灰釉	桂輝	桂輝・美濃	内: 底口・7条。単足。縁脚に墨記: 二英足。底面かに内面は墨文。
194 10	L 673	磁器	瓶	小杯	48	19	40	58	昭和燒	織繩	灰釉	桂輝	桂輝・美濃	内: 底口・7条。単足。縁脚に墨記: 二英足。底面かに内面は墨文。
194 11	L 673	磁器	瓶	深盆	50	28	40		昭和燒	織繩	灰釉	桂輝	桂輝・美濃	内: 底口・7条。単足。底脚内側に墨記: 二英足。
194 12	L 673	磁器	瓶	蓋	78	52	62	94	昭和燒	織繩	灰釉	桂輝	桂輝・美濃	内: 底口・7条。単足。底脚内側に墨記: 二英足。
194 13	L 673	磁器	瓶	蓋子	14	41	57		昭和燒	織繩	灰釉	桂輝	桂輝・美濃	内: 底口・7条。単足。底脚内側に墨記: 二英足。
194 14	L 673	磁器	瓶	蓋子	17	24		36	昭和燒	織繩	灰釉	桂輝	桂輝・美濃	内: 底口・7条。単足。底脚内側に墨記: 二英足。
194 15	L 673	磁器	瓶	蓋子	64	19	44	93	昭和燒	織繩	灰釉	桂輝	桂輝・美濃	内: 底口・7条。単足。底脚内側に墨記: 二英足。
194 16	L 673	磁器	瓶	大瓶	34	234	117	144	昭和燒	織繩	灰釉	桂輝	桂輝・美濃	内: 底口・7条。単足。底脚内側に墨記: 二英足。
194 17	L 673	磁器	瓶	中瓶	38	292	84	84	昭和燒	織繩	灰釉	桂輝	桂輝・美濃	内: 底口・7条。単足。底脚内側に墨記: 二英足。
194 18	52~53	磁器	瓶	蓋	59	23			にじ・直筒	織繩	灰釉	桂輝	桂輝・美濃	内: 底口・7条。単足。底脚内側に墨記: 二英足。

第54表 焼塙壺觀察表(1)

編固	番号	通固 番号	形相	脚土 色調	質問	土色	成形方法	黏土相	成粘土	C-1	判別特	目印	備考		
4	8	B58	コップ形	灰	や少・粗	焼けり(Ⅲ類)	太	内	3	長方形・重鉛?	銀河古墳?	内面布口、有段	細山城		
4	9	B58	コップ形	粗	少・粗	焼けり(Ⅲ類)	無	外	2	内側2重鉛?	銀河麻玉?	内面布口、無段			
4	10	B58	コップ形	灰	粗	焼けり(Ⅲ類)	無	外	2	内側2重鉛?	銀河麻玉?	内面布口、無段			
26	10	B606	コップ形	粗	有・粗	湖青	焼けり(Ⅲ類)	太	内	3	圓切凸円孔1重鉛?	銀河麻玉?	内面布口、有段		
27	1	B664	コップ形	粗	無	や少・粗	焼けり(Ⅰ-3)	—	—	1	長方形・重鉛?	天下一朝など?	銀河古墳?		
29	13	B745	コップ形	粗	無	湖青	焼けり(Ⅲ類)	無	外	3	長方形・重鉛?	銀河地原? 銀河	銀河地原? 銀河	銀河日向	
31	7	B808 (古墳跡)	コップ形	粗	有	湖青	焼けり(Ⅱ-3類)	—	—	1	長方形・重鉛?	銀河大廻?	内面糊口、底部糸引切削		
31	8	B808 (古墳跡)	コップ形	粗	少	や少・粗	焼けり(Ⅲ類)	無	内	2			内面糊口、無段		
33	7	B809	コップ形	粗	少	や少・粗	焼けり(Ⅲ類)	無	内	3	内側2重鉛?	銀河麻玉?	内面布口、無段		
36	13	B800	コップ形	粗	少	や少・粗	焼けり(Ⅲ類)	太	外	1	長方形・重鉛?	銀河麻玉?	内面糊口、有段		
36	14	B800	コップ形	粗	少	や少・粗	焼けり(Ⅲ類)	無	外	3	外側凸円孔・内側2 重鉛?	銀河大廻?	内面糊口、底付切削		
38	13	B964	コップ形	粗	湖青	や少・粗	焼けり(Ⅲ類)	太	内	—	1	長方形・重鉛?	銀河麻玉?	内面糊口、無段	
39	27	B1132	コップ形	粗	少	や少・粗	焼けり(Ⅲ類)	無	外	2	内側凸円孔・内側2 重鉛?	銀河麻玉?	内面糊口、無段		
39	27	B1159	コップ形	粗	少	や少・粗	焼けり(Ⅲ類)	無	外	—	1	長方形・重鉛?	銀河大廻?	内面糊口、底部糸引切削	
44	3	B1445 上	コップ形	灰	少・粗	や少・粗	焼けり(Ⅲ類)	無	内	2	外側凸円孔・内側2 重鉛?	銀河麻玉?	内面糊口、有段		
44	4	B1445 下	コップ形	粗	少	湖青	焼けり(Ⅲ類)	無	内	2	挑出形2重鉛?	銀河麻玉?	内面布口、有段		
44	5	B1445	コップ形	粗	少	や少・粗	焼けり(Ⅲ類)	無	内	3	外側凸円孔・内側2 重鉛?	銀河麻玉?	内面糊口、無段		
45	14	B1445 下部	コップ形	粗	少	湖青	焼けり(Ⅲ類)	太	内	3	長方形・重鉛?	銀河地原? 銀河	銀河地原? 銀河	銀河日向、底付オサエ	
46	8	B1445 底下部	コップ形	粗	少	湖青	焼けり(Ⅲ類)	太	内	3	長方形・重鉛?	銀河地原? 銀河	銀河地原? 銀河	銀河日向、底付布口	
47	9	B1475	コップ形	粗	有	や少・粗	焼けり(Ⅲ類)	太	内	3	—	銀河麻玉?	内面糊口、無段		
48	22	B1505	コップ形	粗	無	湖青	焼けり(Ⅱ-3類)	—	—	—	—	—	内面糊口、底付糸引切削		
51	5	B1850	コップ形	淡青	少	や少・粗	焼けり(Ⅲ類)	—	—	1	—	—	—		
52	10	B1965	コップ形	湖青	無	湖青	焼けり(Ⅲ類)	太	内	3	長方形・重鉛?	銀河麻玉?	内面糊口、底付布口		
62	9	B2305	コップ形	灰	少	や少・粗	焼けり(Ⅲ類)	無	内	3	内側長方形・内側2 重鉛?	銀河麻玉?	内面糊口、無段		
64	21	B2351	コップ形	粗	有	湖青	焼けり(Ⅲ類)	無	外	2	圓切凸円孔1重鉛?	銀河伊勢?	内面糊口、有段		
66	16	B2427	コップ形	粗	無	湖青	焼けり(Ⅲ類)	無	外	2	—	—	内面糊口、無段		
71	9	B2668	コップ形	灰	少	湖青	焼けり(Ⅱ-3類)	—	—	—	—	—	内面糊口、底付糸引切削		
72	7	B2731	コップ形	粗	有	湖青	焼けり(Ⅲ類)	—	—	—	—	—	内面糊口、底付糸引切削		
72	8	B2731	コップ形	粗	有	湖青	焼けり(Ⅲ類)	—	—	—	—	—	内面糊口、底付糸引切削		
72	17	B2752	コップ形	粗	灰	や少・粗	焼けり(Ⅰ-3)	—	—	1	長方形・重鉛?	天下一朝など?	銀河地原? 銀河地原? 銀河麻玉?		
74	6	B2748	コップ形	粗	有	湖青	焼けり(Ⅲ類)	無	外	2	圓切凸円孔1重鉛?	銀河伊勢?	内面糊口、有段		
77	17	B2789	コップ形	粗	有	湖青	焼けり(Ⅲ類)	無	外	—	—	—	内面糊口、有段		
77	18	B2789	コップ形	灰	少	湖青	焼けり(Ⅲ類)	—	—	—	—	—	内面糊口、底付糸引切削		
82	21	B2843	コップ形	粗	少	湖青	焼けり(Ⅰ-3)	—	—	1	長方形・重鉛?	天下一朝など?	銀河伊勢? 銀河麻玉?		
82	22	B2843	コップ形	灰	少	湖青	焼けり(Ⅰ-3)	—	—	1	長方形・重鉛?	天下一朝など?	銀河伊勢? 銀河麻玉?		
84	6	B2847	コップ形	粗	少	や少・粗	焼けり(Ⅲ類)	太	内	3	長方形・重鉛?	銀河伊勢?	内面糊口、有段		
84	7	B2847	コップ形	灰	少	や少・粗	焼けり(Ⅲ類)	無	内	3	内側長方形・内側2 重鉛?	銀河麻玉?	内面糊口、無段		
85	17	B2849	コップ形	淡青	粗	粗	焼けり(Ⅲ類)	無	内	3	外側長方形・内側2 重鉛?	銀河麻玉?	内面糊口、無段		
86	12	B3023	コップ形	灰	少	湖青	焼けり(Ⅲ類)	無	外	2	圓切凸円孔1重鉛?	銀河麻玉?	N-Ⅱ類、銀河玉形		
88	8	B2952	棒形	淡青	粗	湖青	焼けり(Ⅲ類)	—	—	—	—	—	—		
88	9	B2952	コップ形	湖青	無	湖青	焼けり(Ⅲ類)	無	外	2	外側長方形・内側2 重鉛?	銀河麻玉?	内面糊口、有段		
90	19	R3215	コップ形	粗	少	や少・粗	焼けり(Ⅲ類)	無	外	2	—	銀河麻玉?	内面糊口、有段		
91	19	R3223	コップ形	灰	少	や少・粗	焼けり(Ⅲ類)	無	内	3	外側長方形・内側2 重鉛?	銀河麻玉?	内面糊口、有段		
92	11	R3074	コップ形	湖青	無	湖青	焼けり(Ⅲ類)	太	内	3	圓切凸円孔1重鉛?	銀河麻玉?	内面糊口、有段		
95	5	B5082	コップ形	灰	少	湖青	焼けり(Ⅱ-3類)	—	—	—	—	—	内面糊口、底付糸引切削		
96	6	B5082	コップ形	湖青	無	湖青	焼けり(Ⅱ-3類)	—	—	—	—	—	内面糊口、底付糸引切削		
101	14	B5086	コップ形	粗	無	湖青	焼けり(Ⅰ-3)	—	—	1	長方形・重鉛?	天下一朝など?	体外表面オサエ麻玉?		
101	15	B5086	コップ形	粗	少	湖青	焼けり(Ⅰ-3)	—	—	1	長方形・重鉛?	天下一朝など?	上半部分のみ現存		
101	16	B5086	コップ形	粗	少	湖青	焼けり(Ⅰ-3)	—	—	1	—	—	天下一朝など?		
101	17	B5086	コップ形	湖青	無	湖青	焼けり(Ⅰ-3)	—	—	1	—	—	天下一朝など?		
101	18	B5086	コップ形	粗	無	や少・粗	焼けり(Ⅰ-3)	—	—	1	—	—	天下一朝など?		
101	19	B5086	コップ形	湖青	粗	粗	焼けり(Ⅰ-3)	—	—	1	—	—	天下一朝など?		
117	16	C244	コップ形	粗	少	や少・粗	焼けり(Ⅲ類)	無	外	2	—	—	内面平滑、有段		
117	17	C244	コップ形	灰	少	湖青	焼けり(Ⅱ-3類)	—	—	—	—	—	内面糊口1字や不明瞭、底付糸引切削		
138	8	C251	コップ形	灰	少	湖青	焼けり(Ⅲ類)	無	内	3	—	—	内面糊口、有段		
138	9	C251	コップ形	灰	少	湖青	焼けり(Ⅲ類)	—	—	—	—	—	内面糊口、底付糸引切削		
138	10	C251	コップ形	灰	少	湖青	焼けり(Ⅱ-3類)	—	—	—	—	—	内面糊口、底付糸引切削		
138	11	C251	コップ形	粗	粗	湖青	焼けり(Ⅱ-3類)	—	—	—	—	—	内面糊口1字不明瞭、底付糸引切削		
138	12	C251	コップ形	粗	粗	湖青	焼けり(Ⅱ-3類)	—	—	—	—	—	内面糊口1字不明瞭、底付糸引切削		

第55表 焼塙壺觀察表(2)

編目	番号	通期 番号	形状	蓋・ 色調	質地	胎土	成形方法	黏土相	成黏土	C-1次	剖面特	組目	備考
140	13	C304	コップ形 壺	灰少 糊泥	板瓦形 (目 2 領)	無	内	2	鋼切田方筋 1 重棒	金澤伊賀	内田壺口、有段		
141	5	C305	コップ形 梗乳頭	灰少 糊泥	輪轉 (目 2 領)	—	—	1	目方筋 1 重棒	蓮池大池上	内田壺口、武澤市切玉調整		
145	8	C305	コップ形 壺	灰少 糊泥	輪轉 (目 2 領)	—	—	1	—	無	内田壺口、武澤市切玉調整		
145	9	C305	コップ形 壺	灰少 糊泥	輪轉 (目 2 領)	—	—	—	目方筋 1 重棒	蓮池大池上?	内田壺口、武澤市切玉調整		
145	26	C305	コップ形 壺	有 少干粗	陶作り (目領)	—	—	—	—	—	—		
154	2	C511	コップ形 壺	有 少干粗	陶作り (目領)	無	外	2	鋼切田方筋 1 重棒	金澤伊賀	内田壺口、有段		
154	3	C511	コップ形 壺	無 少干粗	板瓦形 (目領)	無	外	2	鋼切田方筋 1 重棒	金澤伊賀	内田壺口、有段		
173	21	C536	コップ形 壺	無 少干粗	陶作り (目領)	無	—	2	—	無	内田本丸? 36段		
173	22	C536	コップ形 にら・壺	有 少干粗	陶作り (目領)	無	外	3	—	無	内田壺口?、有段		
173	23	C536	コップ形 壺	灰少 糊泥	陶作り (目領)	無	外	2	—	無	内田壺口、有段		
173	24	C536	コップ形 壺	灰少 糊泥	輪轉 (目 2 領)	—	—	1	—	無	内田壺口、武澤市切玉調整		
173	25	C536	コップ形 壺	灰少 糊泥	輪轉 (目 2 領)	—	—	1	—	無	内田壺口、武澤市切玉調整		
173	26	C536	コップ形 壺	灰少 糊泥	輪轉 (目 2 領)	—	—	1	—	無	内田壺口、武澤市切玉調整		
176	17	C540	糞形 汚眞	無 少干粗	陶作り (目領)	—	—	—	—	N	鼻盤玉形		
180	16	C588	コップ形 壺	灰少 糊泥	輪轉 (目 2 領)	—	—	1	—	無	内田壺口、武澤市切玉調整		
182	12	C602	コップ形 にら・壺	少 少干粗	陶作り (目領)	無	外	2	—	無	内田壺口、武澤市切玉調整		
182	13	C603	コップ形 にら・壺	少 少干粗	輪轉 (目 2 領)	—	—	1	—	無	内田壺口、武澤市切玉調整		
187	3	C598	コップ形 にら・壺	糊泥	輪轉 (目 2 領)	—	—	1	—	無	内田壺口、武澤市切玉調整		
187	4	C598	コップ形 壺	有 少干粗	陶作り (目領)	無	外	2	—	無	内田壺口、有段		
191	5	C622	コップ形 壺	有 少干粗	陶作り (目領)	無	外	2	—	無	内田平道、有段		
191	6	C622	コップ形 壺	無 糊泥	輪轉 (目 2 領)	—	—	1	—	無	内田壺口、武澤市切玉調整		
192	18	C651	コップ形 にら・壺	無 糊泥	輪轉 (目 2 領)	—	—	1	—	無	内田壺口、武澤市切玉調整		

B 文字資料（第 195～204 図、第 56～59 表）

文字資料は 4,628 点が確認された。これらの文字資料には、墨書、釘書き（たがね書き）、線刻のほか、鉄軸などを用い施釉して記すもの、焼成前に籠書きするもの、籠書き内に施釉するもののほか、焼成前に押印して記す刻印がある。

本調査において、B・C 区は単に調査を進める上で分割設定した調査区に過ぎないが、両者は往還跡と見られる C305 号を境界に東西に位置しており、B 区の調査区東側は西御殿の敷地東側の境界にほぼ沿った形となっている。その結果、B 区では西御殿に関わる遺構に加え、尾張藩による西側添地の拝領以前に存在した大縄地や旗本屋敷に関わる遺構が多く検出された。C 区では往還跡とみられる遺構を含むものの西側添地拝領以前の遺構は少なく、西御殿に関わる遺構及び本御殿の敷地の一部にあたる範囲の遺構が多く検出されており、両調査区では検出された遺構や出土遺物の時期、内容においてそれぞれの傾向が把握されたことから、墨書資料など文字資料の出土数量についても若干の違いが認められる。

刻印は、陶磁器・土器の実測図に拓影を示し、判読内容は同観察表に記した。B808 号古段階の堆積層から出土した碗に、「朝日」の刻印を持つものがある。高台のみが残存するが、高台とその周辺を除き灰釉を掛け、高台内には「朝日」の刻印がある。朝日焼の印であると考えられる。また、B585 号から、浅く削られた蛇ノ目状の高台内に、方形の枠で囲まれた篆書の「都」印を持つものが確認されており、京・信楽産と推定される。高台とその周辺が露胎となっており、内外面に灰釉を施す。また、京焼風陶器の刻印には「粟田」、「清水」、「小松吉」、「木下弥」、「山伊原」、「柴」などがある。

墨書は、①御殿内の役所や部屋の名称を記したもの、②個人名を記したもの、③紀年銘、の 3 つに大きく分けられる。

①御殿内の役所や部屋の名称を記したものとしては、第 198 図 8 は、「松御ふく之間」、第 198 図 10 は「さくら御ふくの間」と判読される。この「御ふく之（の）間」に冠した「松」、「さくら」はそれぞれ、市谷邸奥向にあたる当主室居住域の呼称「松御殿」と「桜御殿」を略したものであると考えられ、このほかにも「松」、「桜」を冠して記載された資料が数点確認されている。これらはそれぞれ、第 14 代藩主徳川慶勝室矩姫が居住した松御殿と、第 15 代藩主徳川茂徳室政姫が居住した桜御殿の名称を略して冠したものとみられる。部屋の名称を記した例としては、「三之間」（第 197 図 5）、「廣膳」（第 198 図 7）、「六ノ内用坊」（第 196 図 15）、「御使所」（第 197 図 12）、「御小納戸」（第 197 図 16）、「御膳所」（第 196 図 3）、「右使」（第 198 図 13）、「御本殿」（第 197 図 2）などがあり、西御殿の絵図に描かれた部屋の名称に一致するものがみられる。また、「五ノ二」など部屋ごとに供えられた数量を示すものもある。

②個人名を記したものには、名字や男性名の一部と考えられる文字を記したもののか「高つ部や」等女性銘のものも散見され、女中の長局で使用されていた器物とみられる。個人名は主に柳茶碗や灰釉平碗、刷毛目碗等の高台上に記される場合が多く、当該器物の所有者を示すとみられる。このほか、所謂相合い傘を描き男女の名前を記したものがみられる。また、個人名を記したものには、ほかに次のようなものがある。第 199 図 12 は陶器の鉢で、高台内に米本常三、遠山永幻の名が記されている。二人のうち、米本常三の名は米本吉蔵の子として史料にみえ、米本吉蔵（？～1863）の経歴は以下の通りであることがわかる。

- 一 天保三辰三月三十日 御持筒頭都築九郎右衛門組同心米六石式人分取より表坊主見習被仰付令
剃髪可相勤候
- 一 同四巳十月十日 御時計懸り可相勤候
- 一 同六未十二月七日 表坊主被仰付
- 一 同亥十一月六日 御時計懸り相解候
- 一 同十二丑正月十一日 御切米八石二被成下
- 一 弘化三年二月廿日 御時計懸り可相勤候
- 一 文久元酉十月十六日 及老年勤向難渋之趣相間候付勤向差免候勤向無之候付御普請役可相勤候
御宛行之内壱石引揚候
- 一 同二戌十一月廿日 格別之恩召を以御普請代席被仰付
- 一 同年十二月廿九日 世禄御切米五石与可心得旨
- 一 同三亥六月十日 病死

天保3年（1832）、尾張藩士である米本吉蔵は都築九郎右衛門組の同心で、天保4年（1833）に尾張藩上屋敷の表坊主見習いとなり、剃髪した。弘化3年（1846）に御時計懸りとなったが、文久元年（1861）には老齢により勤務に難渋するようになったため職務を免ぜられ、御普請役となった。文久3年（1863）病死とある。遠山永幻については史料にその名がみえないが、遠山永賀の名があり、その息として永保の名がある。

- 一 文化三寅正月六日 表坊主見習召抱御切符金三両御扶持式人分被令下
- 一 同四卯七月二日 表坊主申付御切米八石被成下
- 一 同十酉二月九日 御用部屋懸り申付
- 一 文政二卯五月十八日 御用部屋懸り差免
- 一 同四巳三月十日 御時計懸り可相勤旨

この二人の父親には、表坊主、御時計懸りという立場が共通しており、職務は世襲が多いことを考慮すれば、米本常三、遠山永幻の二人は市谷邸内において職務上の関わりがあったものと考えられる。なお、当該墨書の筆跡はどうちらも同じである。

③の紀年銘では、文政期が多く記されている。内容は、墨書された遺物を購入したとみられる日付を記すものがある。

内容が判読できる墨書589点で、内訳は役所・部屋名が46%、個人名が35%、屋号等が11%、紀年銘が6%である。これらに加え、僅かではあるが価格とみられる数値、「市谷大隅町」などの地名、「火消しつぼ」などの用途がある。なお、木の葉、人物などイラストが描かれたものは除いた。

釘書き、または「たがね書き」と呼ばれる、陶磁器に線刻で文字や記号を施したもののは、総数2775点が確認された（第200～204図）。多くは陶器の徳利で、いわゆる高田徳利形と呼ばれる徳利の胴部に施されており、他に磁器の小皿の底面に施される例がみられた。また、同一個体上に釘書

きと墨書の両方が書かれたものも少数見られた。この事例は、釘書き「三イ」に対して墨書「三イ」、四角形に「大」に対して四角形に「大」など、概ね同じ内容が書かれている。

第 204 図 1 ~ 25 のように磁器に施された釘書きもあり、磁器小皿の高台内等に人名や記号などが記される。こうした事例は、C 251 号や C 536 号など、19 世紀第 1 ~ 第 2 四半期の遺構から多数が出土した。

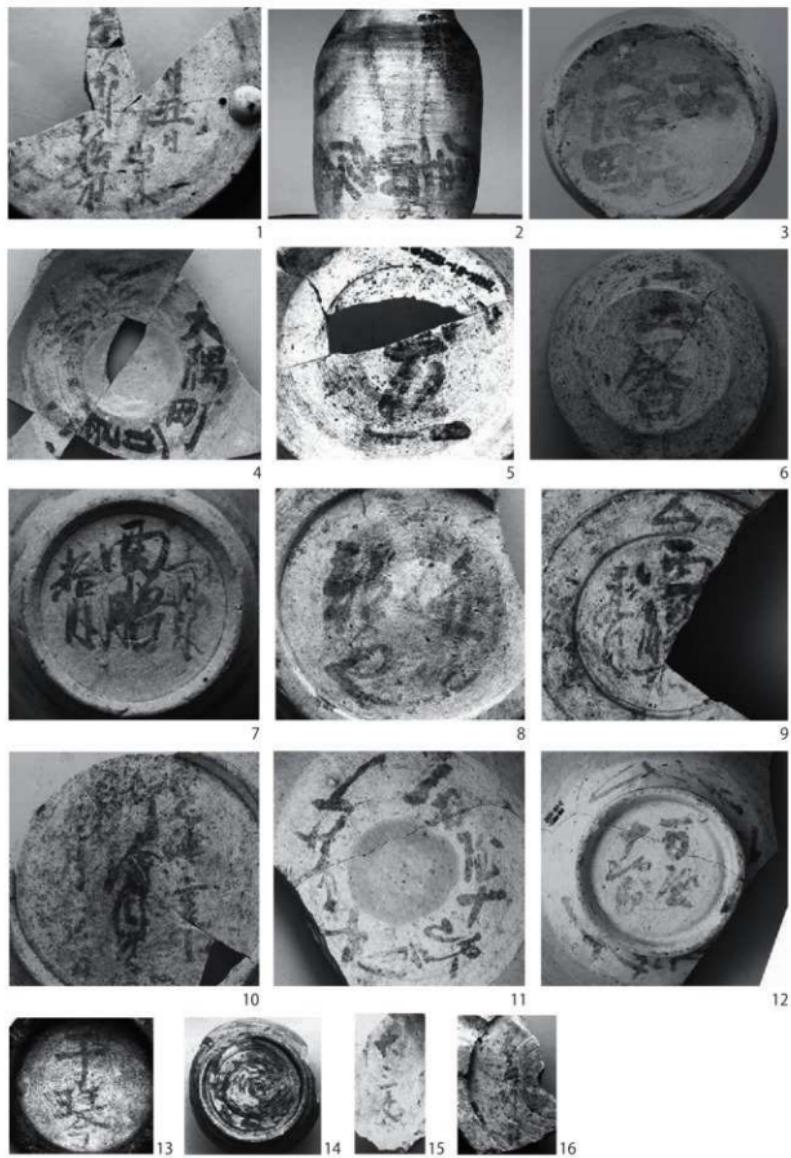
釘書きの内容としては、「万」など 1 文字のもの、丸や四角形、山等の記号と文字を組み合わせたもの、「万利」、「三イ」など複数の文字が記されたものなどがある。これらの釘書きは多様であるが、わずかに部分的に残る例もあり、本来どういった内容の一部であるのか不明なものも多い。また、「キ」、「い」、「一」などと判読できる特定の文字の組み合わせが頻出するものなど、個別に書かれた複数の文字を 1 つの釘書きとして捉えたものもある。また、例えば「三イ」等といった同一文字の組み合わせが一個体の 2 箇所または 3 箇所に繰り返し書かれる場合は、「三イ」 1 種類を 3 箇所に記すものとして取り扱った。

釘書きの内容は、120 種類が確認された。種類の把握にあたっては、小さな破片のみの確認で、釘書き全体が把握できないものは可能な限り除いた。しかしながら、釘書き全体を確認できるものの、判読が不可能で、内容について他との区別が困難なものある。刻字方法については、第 57 ~ 59 表に記した。ただ、線刻及び点刻については、これらの中間的ともいえる、分類が難しいものが存在する。

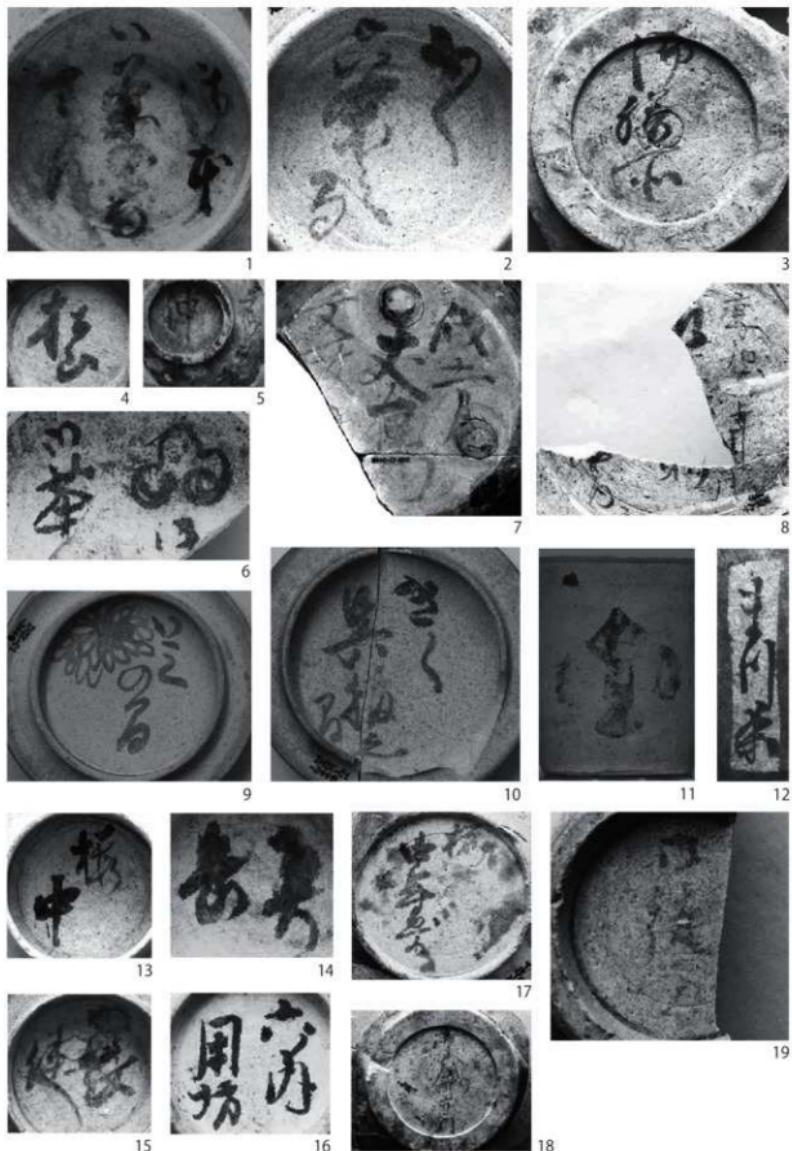
焼成前に刻書により文字が記される例もあり、第 204 図 26 の陶器瓶の高台内には、「寛文拾式年子三月三日 久尻窯■ 平左衛門」とする紀年・窯名・人名が残されている。

上絵付による文字資料には暦茶碗があり、B1159 号出土の第 40 図 9 は、白化粧土に鉄釉を施すことで暦の文字を記している。記された暦は、朔日の干支から享保 2 年 (1717) または寛延 3 年 (1750) にあたる可能性が高いが、出土遺物などの時期から、寛延 3 年のものであると考えられる。

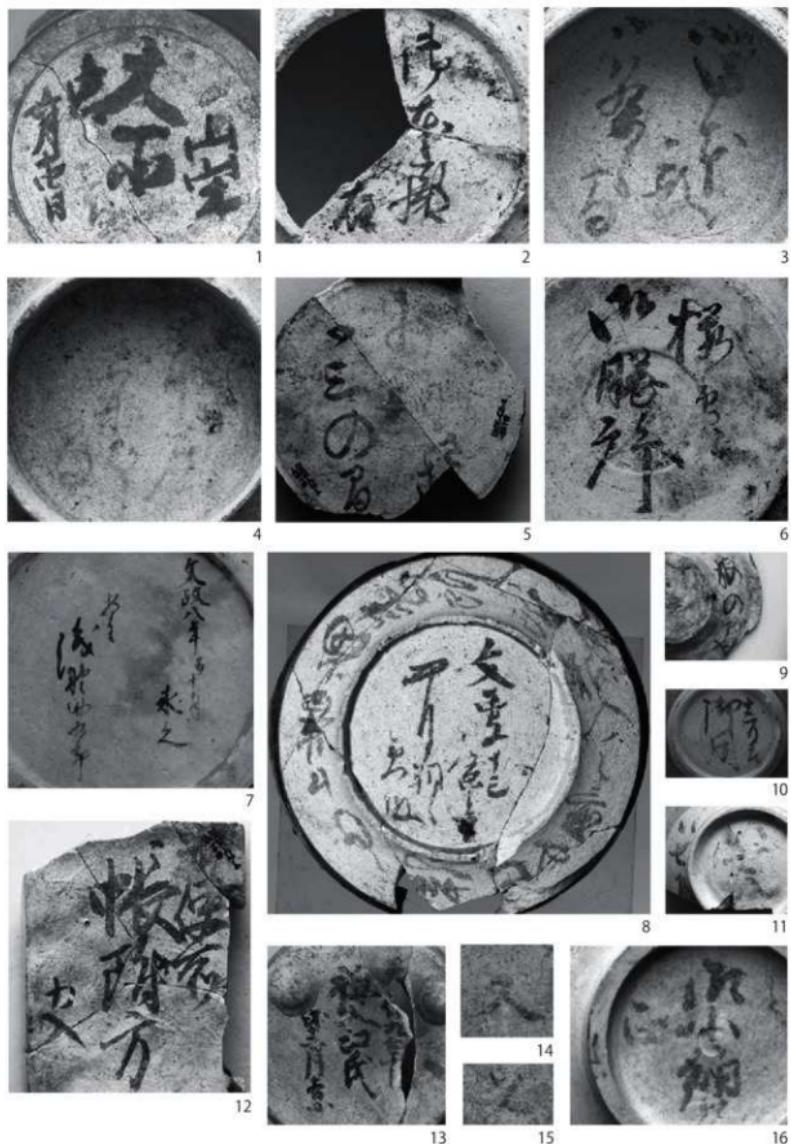
その他、施釉によるものでは、屋号と考えられる「井戸屋」のほか、本報告では図示していないが、新宿区百人町三丁目遺跡で出土例がある「東大久保」の文字が書かれたものも出土している。



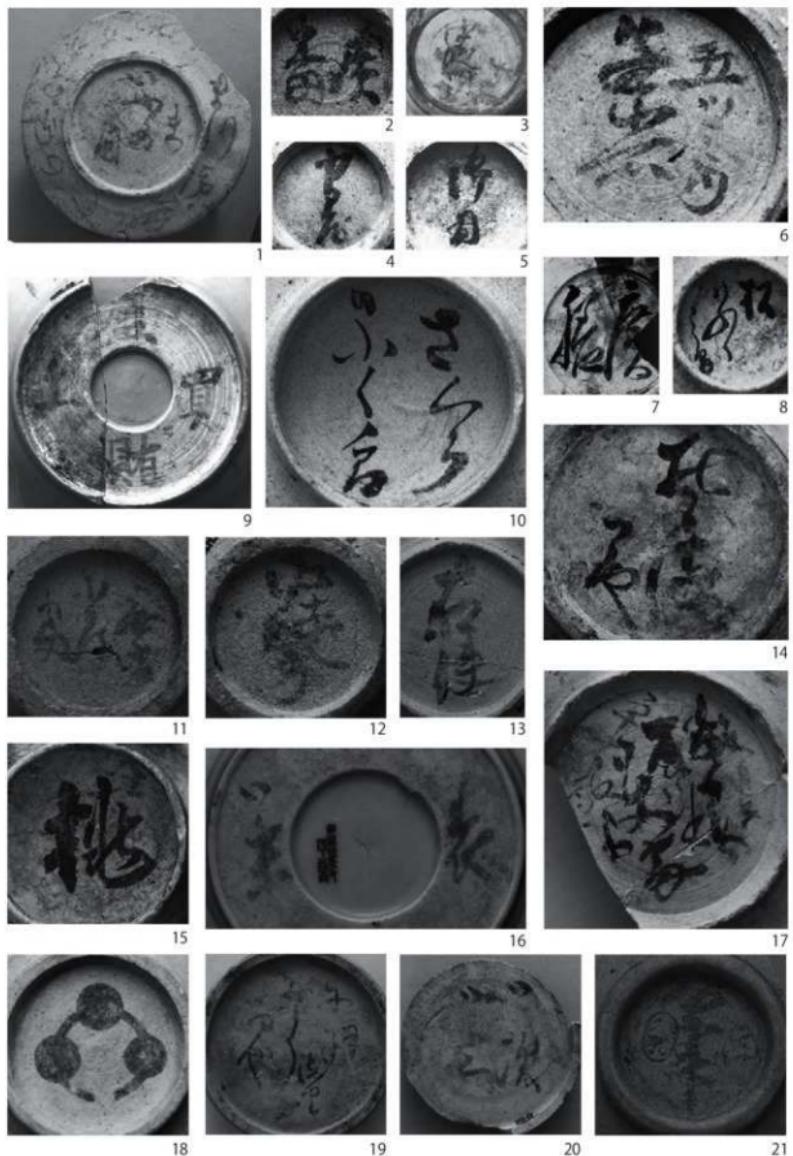
第195図 近世の陶磁器・土器 文字資料（1）（縮尺任意）



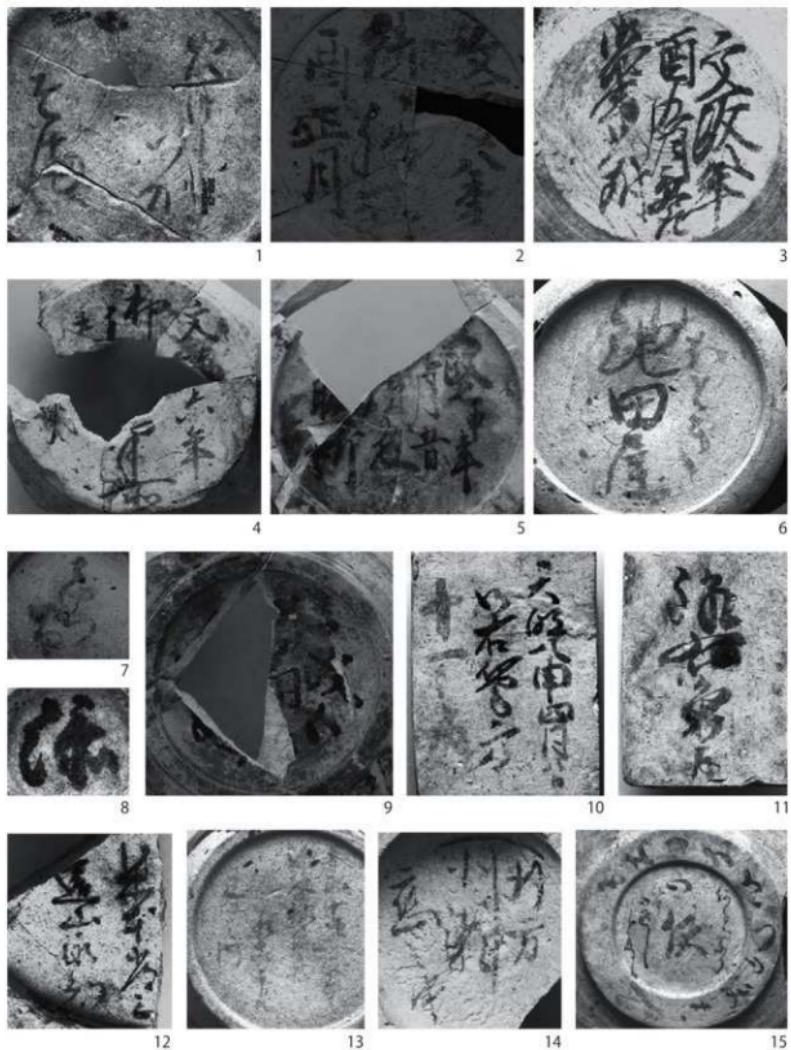
第196図 近世の陶器・土器 文字資料（2）（縮尺任意）



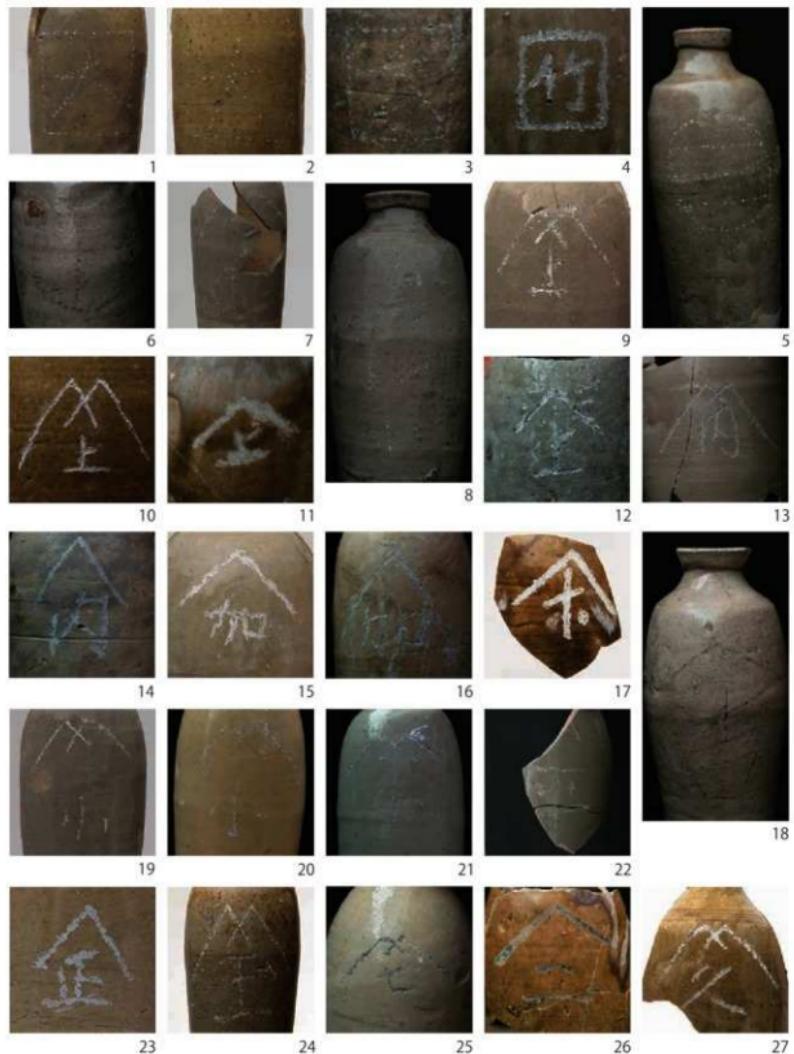
第197図 近世の陶磁器・土器 文字資料（3）（縮尺任意）



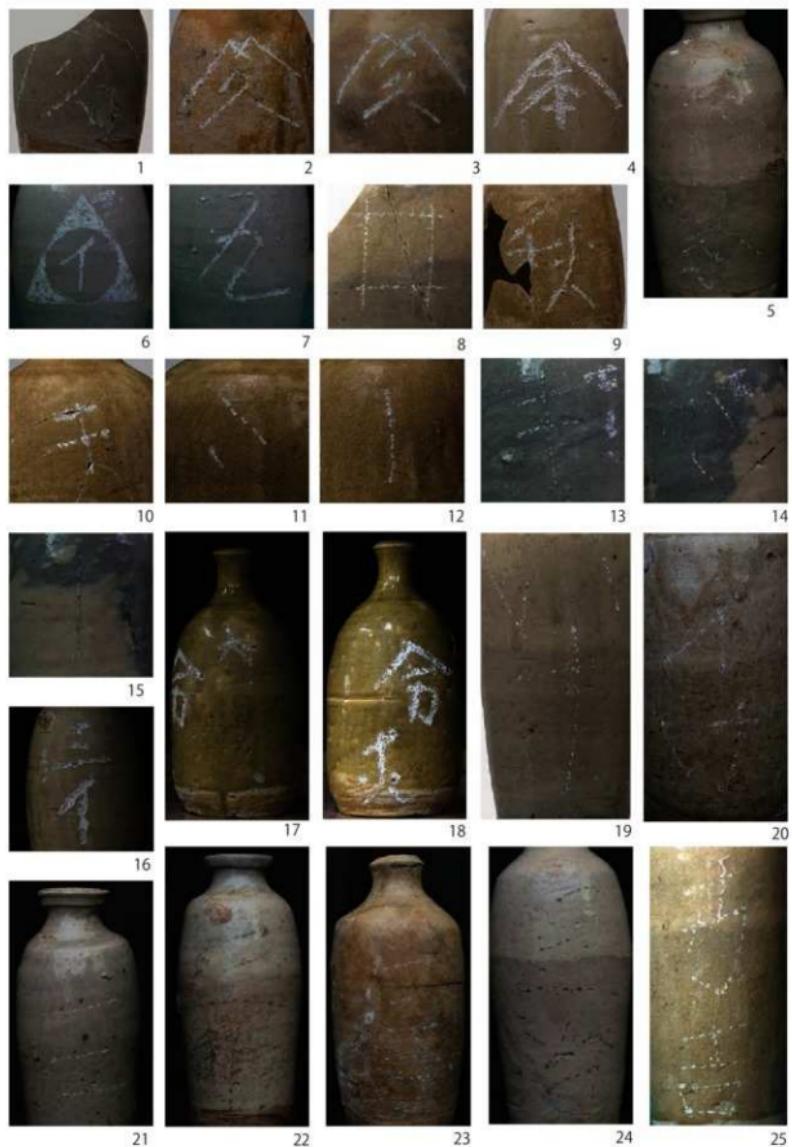
第198図 近世の陶磁器・土器 文字資料(4)(縮尺任意)



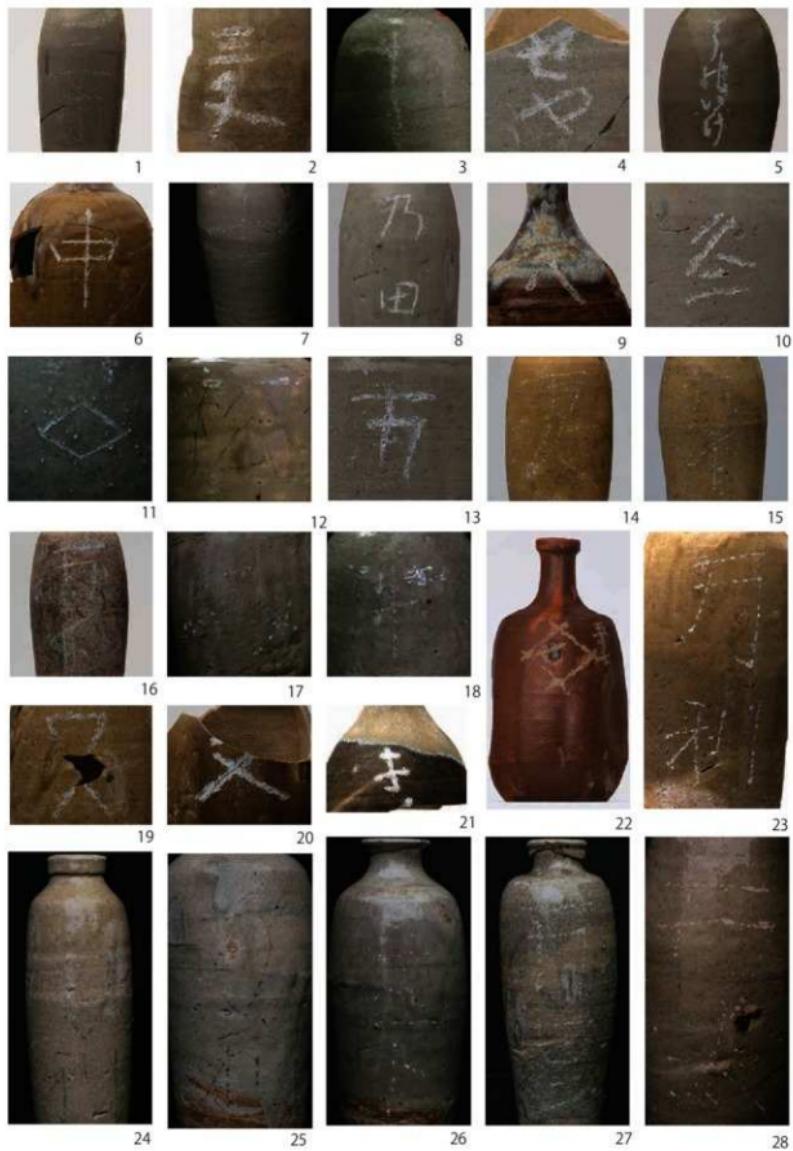
第199図 近世の陶磁器・土器 文字資料（5）（縮尺任意）



第200図 近世の陶磁器・土器 文字資料（6）（縮尺任意）



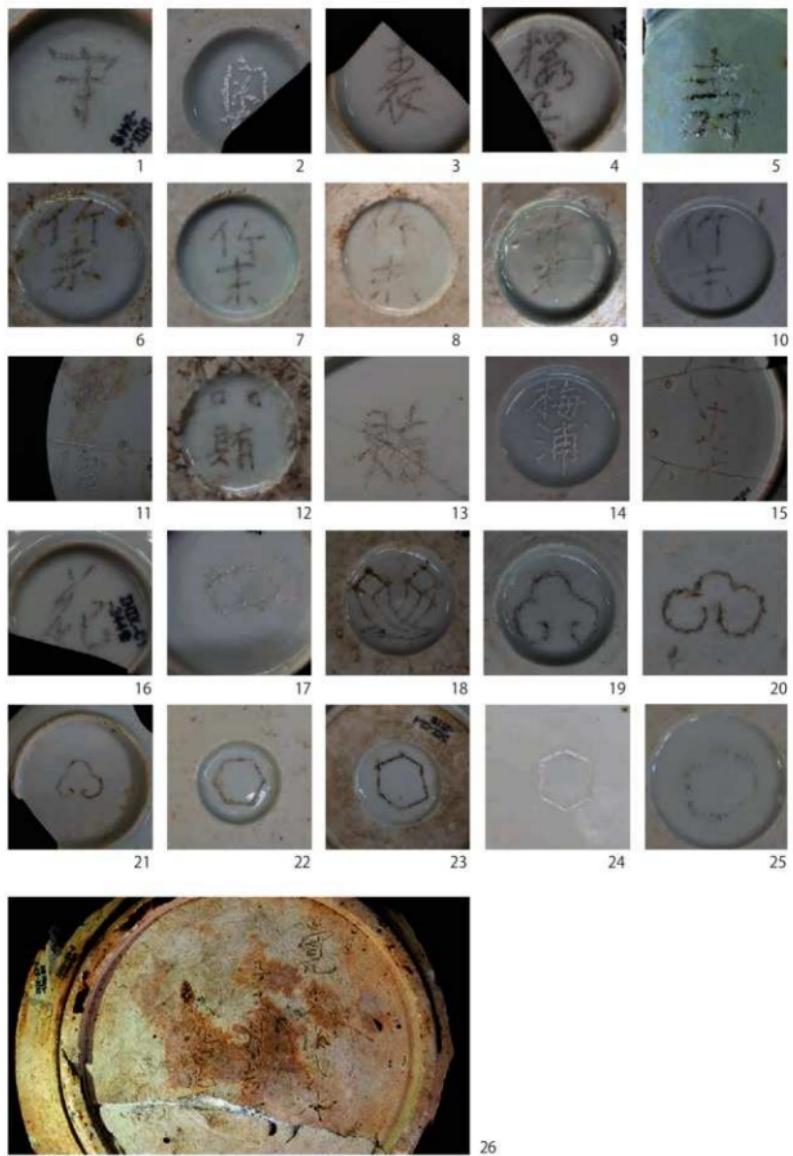
第201図 近世の陶器・土器 文字資料（7）（縮尺任意）



第 202 図 近世の陶磁器・土器 文字資料 (8) (縮尺任意)



第 203 図 近世の陶磁器・土器 文字資料 (9) (縮尺任意)



第 204 図 近世の陶磁器・土器 文字資料 (10) (縮尺任意)

第56表 近世の陶磁器・土器 文字資料一覧表（1）

拂岡番号 拂岡 番号	出土 地點	文字 種別	材質	精粗	器種	内容	位置	備考
195 1	B476 号	墨書	陶器	鉢	火鉢	「月五日 出来 廣御所」	底面	役所または部屋名?
195 2	B1523 号	墨書	陶器	筆	徳利	「伊(カ) ■延喜良■」	胴部	人名
195 3	B1523 号	墨書	陶器	筆	徳利	「市谷大隅町」	底面	人名
195 4	B1522 号	墨書	陶器	皿	大皿	「大隅町万屋■次郎」	見込み	人名
195 5	B1522 号	墨書	陶器	皿	大皿	「万■」	高台内	
195 6	B1159 号	墨書	陶器	皿	徳利	「未 十一月■ 西賀 猪内」	高台内	紀年銘
195 7	B2731 号	墨書	陶器	皿	中碗	「未 二月■ 西賀 猪内」	高台内	紀年銘
195 8	B5082 号	墨書	陶器	鉢	「井舟當や」		高台内	役所・部屋名
195 9	B5082 号	墨書	陶器	皿	「△西所 未九月」		高台内	役所・部屋名
195 10	B5082 号	墨書	陶器	鉢	香炉	「寛政一年 三月廿四日」	底面	紀年銘
195 11	B5086 号	墨書	陶器	皿	輪軸組	「万屋十次郎 大すみ町」	見込み	軸組部 人名? 漢人?
195 12	B5086 号	墨書	陶器	皿	輪軸組	「万屋十次郎 大すみ町」	萬台内、底部	人名? 漢人?
195 13	C132 号	墨書	陶器	碗	「千利休」		高台内	人名
195 14	C140 号	墨書	陶器	皿	徳利	「いせや九■」	底面	屋号
195 15	C132 号	墨書	陶器	鉢	植木鉢	「廿六文(内面底部)」	内面底部	購入・疑問?
195 16	C132 号	墨書	陶器	鉢	植木鉢	「辰南月初植木之」(萬台内)	高台内	購入・疑問?
196 1	C244 号	墨書	陶器	高	土瓶蓋	「御本(茶)・煎茶之間(てん)」(御本駒御茶之間)	蓋裏面	役所・部屋名
196 2	C244 号	墨書	陶器	高	土瓶蓋	「おく御茶之間」	蓋裏面	役所・部屋名
196 3	C244 号	墨書	陶器	皿	大皿	「御膳所」	底面	役所・部屋名
196 4	C244 号	墨書	陶器	皿	柳葉碗	「松山」	高台内	人名
196 5	C244 号	墨書	陶器	高	「■壬申草元廿(カ)～(仲」		高台内、周囲	紀年銘
196 6	C244 号	墨書	陶器	高	土瓶蓋	「葵(ひのき)・御御茶」	蓋裏面	役所・部屋名
196 7	C244 号	墨書	土器	鉢	「戊十一月 丈右衛門 文政」	底面	紀年銘	
196 8	C244 号	墨書	陶器	皿	「享和三(?)年 亥月 之内」	底面	紀年銘 (1803)	
196 9	C244 号	墨書	陶器	高	土瓶蓋	「の間(花の盆)」	通内面	役所・部屋名
196 10	C244 号	墨書	陶器	高	土瓶蓋	「きく」(間)	蓋内面	役所・部屋名
196 11	C244 号	墨書	土器	鉢	燒造痕跡	不明	体部	
196 12	C244 号	墨書	陶器	水注	土瓶	「ま(茶)」	底部環辺	
196 13	C251 号	墨書	陶器	高	「桜中」		通内面	役所・部屋名
196 14	C251 号	墨書	陶器	高	「奥(氣)」		通内面	役所・部屋名
196 15	C251 号	墨書	陶器	高	「表(皮)」		通内面	役所・部屋名
196 16	C251 号	墨書	陶器	高	平碗	「六ノ内田坊」	高台内	役所・部屋名
196 17	C251 号	墨書	陶器	鉢	香炉	「桜」(中年號)	高台内	役所・部屋名
196 18	C251 号	墨書	陶器	皿	馬の目	「御手所方内附」	高台内	役所・部屋名
196 19	C251 号	墨書	陶器	鉢	「御徒方」		高台内	役所・部屋名
197 1	C251 号	墨書	陶器	鉢	片口	「山宋 大所 申 六月十四日」	底面	役所・部屋名?
197 2	C251 号	墨書	陶器	鉢	「御本段 ■右」		高台内	役所・部屋名
197 3	C251 号	墨書	陶器	高	「御本(茶)・茶之間」(御・茶の上に「ハ」形)	蓋内面	役所・部屋名	
197 4	C251 号	墨書	陶器	高	「本段 茶之間」		高台内	役所・部屋名
197 5	C251 号	墨書	陶器	灰釉	「三之間」		内面底	役所・部屋名
197 6	C251 号	墨書	陶器	鉢	(底)「桜中 廣御所」 (高台)「文政二年五月廿日」(高台)	底面、高台	紀年銘 (1818)	
197 7	C251 号	墨書	陶器	水鉢	「文政八年」	高台内	紀年銘	
197 8	C251 号	墨書	陶器	鉢	(高台内)「文政十二年寅年四月朔日愛慶」 (高台環辺)「御手口盛当所附助入之意也」	高台内、高台環辺	紀年銘等	
197 9	C251 号	墨書	陶器	高	「梅の節」	通内面	役所・部屋名	
197 10	C251 号	墨書	陶器	鉢	「御用」	高台内	役所・部屋名	
197 11	C305 号	墨書	陶器	高	「(ハセ)」「(せ)」	萬台脇・高台内	屋号	
197 12	C314 号	墨書	陶器	水鉢	「御使相附形入」	底面	役所・部屋名	
197 13	C375 号	墨書	土器	鉢	火鉢	「天保九年 父兄江氏 成十二月吉日」	底面	紀年銘、人名
197 14	C375 号	墨書	土器	鉢	火鉢	「久」	体部	
197 15	C375 号	墨書	土器	鉢	火鉢	「不」	体部	
197 16	C311 号	墨書	陶器	高	平碗	「御小鍋(正)」	高台内	役所・部屋名
197 17	C356 号	墨書	陶器	鉢	火鉢	「火鉢」	底面	役所・部屋名
197 18	C356 号	墨書	陶器	高	「(火)」	萬台内	底面	
197 19	C356 号	墨書	陶器	高	柳葉碗	「廣(高)」	高台内	役所・部屋名
197 20	C356 号	墨書	陶器	高	刷毛口瓶	「中段(限)」	高台内	役所・部屋名
197 21	C356 号	墨書	陶器	高	灰釉瓶	「中腹(限)」	高台内	役所・部屋名
197 22	C356 号	墨書	陶器	高	灰釉瓶	「御用」	高台内	役所・部屋名
197 23	C321 号	墨書	陶器	高	柳葉碗	「五つ(内)無所」	高台内	役所・部屋名
197 24	C356 号	墨書	陶器	高	馬口瓶	「廣(擴)」	高台内	役所・部屋名
197 25	C356 号	墨書	陶器	高	「松脚(ふのく)の間」	通内面	役所・部屋名	
197 26	C356 号	墨書	磁器	皿	「廣施貢上」	底面	役所・部屋名/1046 と同一個体	
197 27	C356 号	墨書	陶器	高	「(さくら御)」	通内面	役所・部屋名	
197 28	C356 号	墨書	陶器	高	「(さくら御)」	通内面	役所・部屋名	
197 29	C356 号	墨書	陶器	高	「無小屋番」	高台内	役所・部屋名	
197 30	C356 号	墨書	陶器	高	「御徒方」	高台内	役所・部屋名	

第57表 近世の陶磁器・土器 文字資料一覧表（2）

辨明番号	出土 地点	文字 種類	材質	種類	断縫	内容	位置	備考
198 13 C536 号	墨書き	陶器	鉢	鉢	「右使」	高台内	段所・部屋名	
198 14 C536 号	墨書き	陶器	鉢	片口	「此しま部や」	高台内	段所・部屋名	
198 15 C536 号	墨書き	陶器	高		「桃」	蓋内面	部屋名	
198 16 C536 号	墨書き	陶器	皿		「表」「御東」	底面		
198 17 C536 号	墨書き	陶器	灰釉		「御使甲田」	底面	女中の名前	
198 18 C530 号	墨書き	陶器	碗	平碗	記号?	高台内		
198 19 C536 号	墨書き	陶器	鉢		「丹羽崎里 みうら 部や」	高台内	部屋名	
198 20 C536 号	墨書き	陶器	鉢	片口	「脚三」「脚次」	高台内	段所・部屋名	
198 21 規丸	墨書き	陶器	高		「西」「里」	高台内	朝田は「春穂」?	
199 1 C536 号	墨書き	陶器	唐		「火けしつま そま」	高台内	人名?	
199 2 C536 号	墨書き	陶器	高		「文■山内 創所 西正月」	底面	紀年銘（文政八年（1825）西年か）	
199 3 C536 号	墨書き	陶器	皿		「文政八年九月受取 御■附」	底面	紀年銘	
199 4 C536 号	墨書き	陶器	鉢		「文政八年■ 創■所 ま■月」	底面	紀年銘	
199 5 C536 号	墨書き	陶器	水鉢		「文政八年五月五日」	底面	紀年銘（1824）	
199 6 C536 号	墨書き	陶器	高		「はとき 池田屋」	底面	屋号	
199 7 C536 号	墨書き	陶器	鉢	青鉢	「高つ部や」	底面	人名	
199 8 C536 号	墨書き	陶器	碗	柳茶碗	「手」	底面	人名?	
199 9 C536 号	墨書き	陶器	鉢	片口	「文政二■」	高台内	紀年銘	
199 10 C539 号	墨書き	陶器	水注	水滴	「天明八小四月八日御行事方十一之内」	高台内	紀年銘（1788）	
199 11 C564 号	墨書き	磁器	水注	水滴	「御右事方」	底面	段所・部屋名	
199 12 C587 号	墨書き	陶器			「宋本三 通山水灯」	高台内	人名	
199 13 C598 号	墨書き	陶器			「文化二西■ ■谷林■ 求■ 三■之内」	高台内	紀年銘（1813）	
199 14 C605 号	墨書き	陶器			「京鏡屋」	高台内	人名	
199 15 C622 号	墨書き	陶器	皿	馬口皿	「五大はさつ御使はん 何方へ参り 御使 候ハハハ 御延シ」	高台内	その他	
200 1 B2292 号	蔚書き	陶器	瓶	德利	「(四角) 大」	胴部	点刻	
200 2 B2292 号	蔚書き	陶器	瓶	德利	「(四角) 大」	胴部	点刻	
200 3 C251 号	蔚書き	陶器	瓶	德利	「(四角) 大」	胴部	点刻	
200 4 C598 号	蔚書き	陶器	瓶	德利	「(四角) 竹」	胴部	ベタ書き	
200 5 C251 号	蔚書き	陶器	瓶	德利	「(丸) 三」	胴部	点刻	
200 6 C536 号	蔚書き	陶器	瓶	德利	「(丸) ト?」	胴部	点刻	
200 7 B3070 号	蔚書き	陶器	瓶	德利	「(ヤマ) イ」	胴部	点刻	
200 8 C536 号	蔚書き	陶器	瓶	德利	「(丸) 万 サ?」	胴部	点刻	
200 9 B1522 号 下部	蔚書き	陶器	瓶	德利	「(ヤマ) 上」	胴部	線刻	
200 10 B890 号	蔚書き	陶器	瓶	德利	「(ヤマ) 上」	胴部	線刻	
200 11 C140 号	蔚書き	陶器	瓶	德利	「(ヤマ) 上」	胴部	ベタ書き	
200 12 C140 号	蔚書き	陶器	瓶	德利	「(ヤマ) 上」	胴部	輪削 / 第3回11と同一個体	
200 13 C30 号	蔚書き	陶器	瓶	德利	「(ヤマ) 内」	胴部	線刻	
200 14 C575 号	蔚書き	陶器	瓶	德利	「(ヤマ) 内」	胴部	線刻	
200 15 B1148 号	蔚書き	陶器	瓶	德利	「(ヤマ) 加」	胴部	線刻	
200 16 C514 号	蔚書き	陶器	瓶	德利	「(ヤマ) 加」	胴部	線刻	
200 17 B1523 号	蔚書き	陶器	瓶	德利	「(ヤマ) 木」	胴部	ベタ書き	
200 18 C251 号	蔚書き	陶器	瓶	德利	「(ヤマ) 吉」	胴部	点刻	
200 19 B1764 号	蔚書き	陶器	瓶	德利	「(ヤマ) 小」	胴部	線刻	
200 20 C598 号	蔚書き	陶器	瓶	德利	「(ヤマ) 小」	胴部	線刻	
200 21 C598 号	蔚書き	陶器	瓶	德利	「(ヤマ) 小」	胴部	線刻	
200 22 C278 号	蔚書き	陶器	瓶	德利	「(ヤマ) 平」	胴部	線刻	
200 23 B565 号	蔚書き	陶器	瓶	德利	「(ヤマ) 正」	胴部	ベタ書き	
200 24 B2898 号	蔚書き	陶器	瓶	德利	「(ヤマ) 玉」	胴部	線刻	
200 25 C132 号	蔚書き	陶器	瓶	德利	「(ヤマ) 七」	胴部	線刻	
200 26 C511 号	蔚書き	陶器	瓶	德利	「(ヤマ) 二」	胴部	ベタ書き	
200 27 B2849 号	蔚書き	陶器	瓶	德利	「(ヤマ) 久」	胴部	線刻	
201 1 C597 号	蔚書き	陶器	瓶	德利	「(ヤマ) 久」	胴部	線刻	
201 2 B1522 号 下部	蔚書き	陶器	瓶	德利	「(ヤマ) 久」	胴部	線刻	
201 3 B1522 号 下部	蔚書き	陶器	瓶	德利	「(ヤマ) 久」	胴部	線刻	
201 4 B890 号	蔚書き	陶器	瓶	德利	「(ヤマ) 本」	胴部	ベタ書き	
201 5 C536 号	蔚書き	陶器	瓶	德利	「(ヤマ) 本」	胴部	点刻	
201 6 C511 号	蔚書き	陶器	瓶	德利	△・丸「イ」	胴部	線刻	
201 7 C511 号	蔚書き	陶器	瓶	德利	九	胴部	線刻	
201 8 B3025 号	蔚書き	陶器	瓶	井		胴部	点刻	
201 9 B1522 号 下部	蔚書き	陶器	瓶	德利	秋	胴部	線刻 / 第3回19と同一個体	
201 10 B3070 号	蔚書き	陶器	瓶	德利	ヰ	胴部	線刻 / 11・12と同一個体	

第58表 近世の陶磁器・土器 文字資料一覧表（3）

辨明番号	出土 地点	文字 種類	材質	種類	断縁	内容	位置	備考
201 11	B3070 号	蔚書	陶器	瓶	徳利	。	胴部	線刻/10・12と同一側体
201 12	B3070 12	蔚書	陶器	瓶	徳利	।	胴部	線刻/10・11と同一側体
201 13	C539 号	蔚書	陶器	瓶	徳利	ヰ	胴部	点刻/14・15と同一側体
201 14	C539 号	蔚書	陶器	瓶	徳利	。	胴部	点刻/13・15と同一側体
201 15	C539 号	蔚書	陶器	瓶	徳利	।	胴部	点刻/13・14と同一側体
201 16	C111 号	蔚書	陶器	瓶	徳利	三イ	胴部	ベタ書き
201 17	B5082 号	蔚書	陶器	瓶	徳利	大、(ヤマ)万、■	胴部	ベタ書き/18と同一側体
201 18	B5082 号	蔚書	陶器	瓶	徳利	大、(ヤマ)万、■	胴部	ベタ書き/17と同一側体
201 19	B2419 号	蔚書	陶器	瓶	徳利	いけ	胴部	点刻
201 20	C536 号	蔚書	陶器	瓶	徳利	イケ	胴部	点刻
201 21	C536 号	蔚書	陶器	瓶	徳利	二	胴部	点刻
201 22	C251 号	蔚書	陶器	瓶	徳利	三イ	胴部	点刻
201 23	C536 号	蔚書	陶器	瓶	徳利	三合?	胴部	点刻
201 24	C251 号	蔚書	陶器	瓶	徳利	三治	胴部	点刻
201 25	C622 号	蔚書	陶器	瓶	徳利	万古	胴部	点刻
202 1	B657 号	蔚書	陶器	瓶	徳利	三十?	胴部	点刻
202 2	B2796 号	蔚書	陶器	瓶	徳利	三又	胴部	ベタ書き
202 3	C598 号	蔚書	陶器	瓶	徳利	十	胴部	線刻
202 4	B898 号 新潟県	蔚書	陶器	瓶	徳利	七乍	胴部	ベタ書き
202 5	B1522 号 下部	蔚書	陶器	瓶	徳利	そんれい	胴部	ベタ書き
202 6	B889 号 下部	蔚書	陶器	瓶	徳利	申	胴部	線刻
202 7	C536 号	蔚書	陶器	瓶	徳利	申	胴部	点刻
202 8	B1522 号 下部	蔚書	陶器	瓶	徳利	乃田	胴部	線刻
202 9	B159 号	蔚書	陶器	瓶	徳利	八	胴部	ベタ書き
202 10	B2849 号	蔚書	陶器	瓶	徳利	久二	胴部	ベタ書き
202 11	C140 号	蔚書	陶器	瓶	徳利	慶則	胴部	線刻/第1回 12と同一側体
202 12	C244 号	蔚書	陶器	瓶	徳利	松	胴部	線刻
202 13	B1522 号 下部	蔚書	陶器	瓶	徳利	万	胴部	ベタ書き
202 14	B2731 号	蔚書	陶器	瓶	徳利	万一?	胴部	点刻
202 15	B3025 号	蔚書	陶器	瓶	徳利	万イ	胴部	点刻
202 16	B5082 号	蔚書	陶器	瓶	徳利	万イ	胴部	線刻
202 17	C251 号	蔚書	陶器	瓶	徳利	み	胴部	線刻
202 18	C598 号	蔚書	陶器	瓶	徳利	半	胴部	線刻
202 19	B1522 号 下部	蔚書	陶器	瓶	徳利	又	胴部	ベタ書き / 第2回 9と同一側体
202 20	B889 号 下部	蔚書	陶器	瓶	徳利	又	胴部	ベタ書き
202 21	B1527 号	蔚書	陶器	瓶	徳利	ヰ	胴部	ベタ書き
202 22	C536 号	蔚書	陶器	瓶	徳利	(井桁彫) 七 五十七	胴部	点刻
202 23	B2348 号	蔚書	陶器	瓶	徳利	万利	胴部	点刻
202 24	C536 号	蔚書	陶器	瓶	徳利	万利	胴部	点刻
202 25	C251 号	蔚書	陶器	瓶	徳利	万利	胴部	点刻
202 26	C251 号	蔚書	陶器	瓶	徳利	万利	胴部	点刻
202 27	C536 号	蔚書	陶器	瓶	徳利	万セ	胴部	点刻
202 28	C536 号	蔚書	陶器	瓶	徳利	万太	胴部	点刻
203 1	B3070 号	蔚書	陶器	瓶	徳利	山(ヤマ)	胴部	点刻
203 2	B3070 号	蔚書	陶器	瓶	徳利	山(ヤマ)	胴部	点刻
203 3	B2331 号	蔚書	陶器	瓶	徳利	山(ヤマ)?	胴部	点刻
203 4	B3025 号	蔚書	陶器	瓶	徳利	半	胴部	点刻
203 5	C251 号	蔚書	陶器	瓶	徳利	い四	胴部	点刻
203 6	C140 号	蔚書	陶器	瓶	徳利	さ	胴部	ベタ書き
203 7	B2789 号	蔚書	陶器	瓶	徳利	右工門	胴部	ベタ書き
203 8	B5082 号	蔚書	陶器	瓶	徳利	合	胴部	点刻
203 9	B3025 号	蔚書	陶器	瓶	徳利	四合	胴部	点刻
203 10	C251 号	蔚書	陶器	瓶	徳利	山川	胴部	点刻
203 11	B898 号	蔚書	陶器	瓶	徳利	不明	胴部	ベタ書き
203 12	C536 号	蔚書	陶器	瓶	徳利	王	胴部	点刻
203 13	B3001 号	蔚書	陶器	瓶	徳利	松治	胴部	点刻
203 14	B5082 号	蔚書	陶器	瓶	徳利	イ吉	胴部	点刻
203 15	C244 号	蔚書	陶器	瓶	徳利	(井桁彫) い?	胴部	点刻
203 16	C536 号	蔚書	陶器	瓶	徳利	(内角) 大	胴部	点刻/17と同一側体
203 17	C536 号	蔚書	陶器	瓶	徳利	合羽羽	胴部	線刻/16と同一側体

第59表 近世の陶磁器・土器 文字資料一覧表（4）

拂岡番号 拂岡 番号	出土 地點	文字 種別	材質	種類	形種	内容	位置	備考
203 18 C244 号	糸苦	陶器	瓶	德利	(ア'マ) サ?		胴部	点刻
203 19 C536 号	糸苦	陶器	瓶	德利	(カキ) ゴ?		胴部	点刻
203 20 C622 号	糸苦	陶器	瓶	德利	口に\		胴部	ベタ書き
203 21 C251 号	糸苦	陶器	瓶	德利	「山セラ」		胴部	点刻
203 22 C251 号	糸苦	陶器	瓶	德利	本四?		胴部	
203 23 C521 号	糸苦	陶器	瓶	德利	四角「大」		胴部	
203 24 C305 号	糸苦	陶器	瓶	德利	(丸) 万		胴部	
203 25 C476 号	糸苦	陶器	瓶	德利	■万?		胴部	
203 26 C564 号	糸苦	陶器	瓶	德利	「山」山(1)		胴部	
203 27 梶尾	糸苦	陶器	瓶	德利	四角「大」		胴部	
203 28 B111 号	糸苦・ 施釉	陶器	瓶	德利	合		胴部	
203 29 C536 号	施釉	陶器	瓶	德利	月口延		胴部	
204 1 C244 号	糸苦	磁器	皿	小皿	「守」		底面	
204 2 基盤 52* S3 号	糸苦	磁器	皿	小皿	「東」		底面	
204 3 C244 号	糸苦	磁器	浅丸		「表」		底面	
204 4 C244 号	糸苦	磁器	浅丸		「極」		底面	
204 5 基盤 52 号	糸苦	磁器	皿	小皿	「壽」?		底面	
204 6 C536 号	糸苦	磁器	皿	小皿	「竹末」		底部	
204 7 C244 号	糸苦	磁器	皿	小皿	「竹末」		底部	
204 8 C244 号	糸苦	磁器	皿	小皿	「竹末」		底部	
204 9 C244 号	糸苦	磁器	皿	小皿	「竹末」		底部	
204 10 C536 号	糸苦	磁器	皿	小皿	「竹末」		底部	
204 11 C536 号	糸苦	磁器	皿	小皿	「演供」		底部	
204 12 C244 号	糸苦	磁器	皿	小皿	「ヒロ團」		底面	
204 13 B514 号	糸苦	磁器	皿	小皿	「頭」		底面	
204 14 C536 号	糸苦	磁器	皿	小皿	「梅瓶」		底部	
204 15 C251 号	糸苦	磁器	皿	小皿	「いたや」		底面	
204 16 C244 号	糸苦	磁器	皿	小皿	花		底面	
204 17 C536 号	糸苦	磁器	皿	小皿	扇形		底部	
204 18 C244 号	糸苦	磁器	皿	小皿	「字文様」		底面	
204 19 C536 号	糸苦	磁器	皿	小皿	模造印		底部	
204 20 C536 号	糸苦	磁器	皿	小皿	梵記印		底部	
204 21 C251 号	糸苦	磁器	皿	小皿	梵記印		底部	
204 22 C244 号	糸苦	磁器	皿	小皿	六角形		底面	
204 23 C251 号	糸苦	磁器	皿	小皿	六角形		底面	
204 24 C244 号	糸苦	磁器	皿	小皿	六角形		底面	
204 25 C244 号	糸苦	磁器	皿	小皿	六角形		底面	
204 26 B5080 号	糸苦	陶器	甕		寛文拾式年 子三月三日 久戸窯 ■ 平左衛門		底面	

第60表 主要遺構出土の陶磁器・土器集計表(1)

< B588 号 >

材質	種類 (器種)	数値 (点)	重量 (g)
磁器	碗類	797	5,235
	皿類	380	17,839
	鉢類	325	8,066
	壺類	47	1,330
	瓶類	207	5,509
	水注類	9	50
	杓子類		
	湯呑類		
	盃類	73	1,608
	特殊類		
	不明	146	104
	小計	1,984	39,741
陶器	碗類	594	7,006
	皿類	131	2,776
	鉢類	198	8,274
	(擂鉢)		
	壺類	75	4,795
	瓶類	428	14,614
	瓶類	471	8,806
	水注類	49	1,125
	壺類		
	盃類		
	杓子類		
	湯呑類		
	盃類	1	31
	皿類	14	379
	他		
	不明	145	448
	小計	2,106	48,254
炻器	碗類		
	鉢類	1	65
	(擂鉢)		
	壺類		
	瓶類	1	154
	瓶類	238	5,996
	湯呑類		
	盃類		
	不明		
	小計	240	6,215
土器	碗類		
	皿類	215	1,544
	鉢類	269	15,143
	(鉢形容器)	(14)	(231)
	(燒堪罐)	(12)	(342)
	(火鉢)	(199)	(12,791)
	(盤豆)	(44)	(1,779)
	壺類		
	瓶類		
	水注類		
	調瓶	131	1,989
	(焰塔)	(131)	(1,989)
	盃類		
	湯呑類	99	3,897
	杓子類	33	4,124
	杓子類		
	湯呑類		
	盃類	6	408
	盃類	4	349
	特殊類		
	不明	78	458.2
	小計	835	27,912.2
	総計	5,165	122,122.2

< B808 号 >

材質	種類 (器種)	数値 (点)	重量 (g)
磁器	碗類	1,922	13,327
	皿類	399	4,522.5
	鉢類	160	2,226
	壺類	9	146
	瓶類	206	1,668
	水注類	20	179
	杓子類		
	湯呑類		
	盃類	55	576
	特殊類		
	不明	360	476
	小計	3,131	23,120.5
陶器	碗類	1,547	10,828
	皿類	275	4,241
	鉢類	1,289	27,372
	(擂鉢)	(252)	(7,464)
	壺類	197	5,778
	瓶類	84	2,487
	瓶類	1,311	20,644
	水注類	82	1,063
	盃類	43	418
	蓋類		
	杓子類		
	湯呑類	4	25
	盃類	37	767
	他		
	不明	605	1,052
	小計	5,474	74,675
炻器	碗類	11	48
	鉢類	283	13,302
	(擂鉢)	(281)	(13,212)
	壺類	25	1,643
	瓶類	483	10,876
	湯呑類	4	92
	盃類		
	不明	13	97
	小計	819	26,058
上器	碗類		
	皿類	1,669	7,151
	鉢類	671	20,842.4
	(鉢形容器)	(36)	(277)
	(燒堪罐)	(28)	(643.4)
	(火鉢)	(561)	(17,391)
	(盤豆)	(46)	(2,531)
	壺類		
	瓶類		
	水注類	15	475
	調瓶	1,081	11,164
	(焰塔)	(1,081)	(11,164)
	盃類		
	湯呑類	15	502
	杓子類		
	湯呑類	2	17
	盃類	57	879
	盃類	140	1,722
	特殊類		
	不明	724	3,186
	小計	4,374	45,938.4
	総計	13,798	169,791.9

< B889 号 >

材質	種類 (器種)	数値 (点)	重量 (g)
磁器	碗類	583	5,330
	皿類	120	1,585
	鉢類	44	715
	壺類	2	30
	瓶類	43	675
	水注類	6	50
	杓子類		
	湯呑類		
	盃類	7	60
	特殊類		
	不明	19	37.7
	小計	824	8,482.7
陶器	碗類	513	5,795
	皿類	99	1,450
	鉢類	284	9,419.8
	(擂鉢)	(42)	(2,324.8)
	壺類	14	600
	瓶類	22	1,390
	瓶類	407	13,755
	水注類	14	295
	調瓶	10	275
	盃類		
	杓子類		
	湯呑類	1	90
	盃類	5	250
	他		
	不明	31	95.1
	小計	1,400	33,414.9
炻器	碗類	77	6,085
	鉢類	(77)	(6,085)
	瓶類	8	650
	瓶類	79	1,650
	湯呑類		
	盃類		
	不明	2	115
	小計	166	8,500
上器	碗類		
	皿類	476	2,710
	鉢類	283	10,746.5
	(鉢形容器)	(6)	(315)
	(燒堪罐)	(24)	(751.5)
	(火鉢)	(237)	(8,228)
	(盤豆)	(16)	(1,468)
	壺類		
	瓶類		
	水注類		
	調瓶	250	4,289.3
	(焰塔)	(250)	(4,289.3)
	盃類		
	湯呑類		
	盃類		
	杓子類		
	湯呑類	18	715
	盃類	28	895
	特殊類		
	不明	12	55.2
	小計	1,067	19,411
	総計	3,457	69,808.6

第61表 主要遺構出土の陶磁器・土器集計表(2)

< B1445号 >

材質	種類 (器種)	数量 (点)	重量 (g)
磁器	碗類	1,765	12,821.2
	皿類	257	4,917.6
	鉢類	54	1,091.2
	壺類	4	285
	瓶類	78	1,072.4
	水注類	16	1,308
	杓子類		
	湯呑類		
	蓋類	14	1,643
	特殊類		
	不明	184	267.4
	小計	2,372	22,328.6
陶器	碗類	802	11,291.4
	皿類	218	5,070
	鉢類	283	11,800
	(搗鉢)	80	4,150
	壺類	7	462.6
	壺類	33	1,255.7
	瓶類	118	2,100
	水注類	12	1,311.5
	蓋類	5	138.4
	釜類		
	杓子類		
	湯呑類		
	蓋類	4	479.5
	蓋類	5	351.3
	他		
	不明	36	41
	小計	1,693	38,451.4
炻器	碗類	18	224.4
	皿類	77	6,812.7
	(搗鉢)	(69)	(6,632.7)
	壺類	18	1,335
	壺類	75	4,200
	瓶類		
	蓋類		
	不明	2	35.6
	小計	190	12,607.7
土器	碗類		
	皿類	1,916	8,159.8
	鉢類	323	11,129.6
	(鉢形容器)	(17)	(175.3)
	(燒造窯)	(30)	(2,866.9)
	(火鉢)	(259)	(7,260)
	(製糸)	(17)	(827.4)
	壺類		
	瓶類		
	水注類		
	調理類	687	10,545
	(炻器)	(687)	(10,545)
	釜類		
	蓋類	4	495
	杓子類		
	湯呑類	1	10
	湯呑類	22	422.2
	蓋類	5	119.7
	特殊類		
	不明	182	548.5
	小計	3,140	31,429.8
	總計	7,305	104,817.5

< B1522号 >

材質	種類 (器種)	数量 (点)	重量 (g)
磁器	碗類	534	7,822.5
	皿類	99	1,540.6
	鉢類	46	1,175
	壺類	2	140
	瓶類	52	545
	水注類	1	5
	杓子類		
	湯呑類	7	170
	蓋類	26	457.2
	特殊類		
	不明	101	120
	小計	868	11,975.3
陶器	碗類	511	5810
	皿類	81	1,906.7
	鉢類	408	18,834.1
	(搗鉢)	(34)	(630)
	壺類	89	7,664.7
	瓶類	6	285
	水注類	937	46,710
	蓋類	20	177
	特殊類	54	1,090
	釜類		
	杓子類		
	湯呑類		
	蓋類	2	40.1
	壺類	13	210
	他		
	不明	177	350
	小計	2,298	83,077.6
炻器	碗類	64	4,265
	皿類	(50)	(3,580)
	壺類	4	760
	瓶類	1	40
	水注類	131	5,435
	蓋類		
	特殊類		
	不明		
	小計	200	10,500
土器	碗類		
	皿類	835	4,855
	鉢類	424	15,662.1
	(鉢形容器)	(18)	(297.5)
	(燒造窯)	(48)	(1,514.6)
	(火鉢)	(317)	(1,165)
	(製糸)	(41)	(2,685)
	壺類		
	瓶類		
	水注類		
	調理類	540	9,055
	(炻器)	(540)	(9,055)
	釜類		
	蓋類	3	3,120
	杓子類	5	2,265
	湯呑類		
	蓋類	1	20
	湯呑類	36	1,180
	蓋類	52	2,780
	特殊類		
	不明	61	445.3
	小計	1,957	39,382.4
	總計	5,323	144,935.3

< B1523号 >

材質	種類 (器種)	数量 (点)	重量 (g)
磁器	碗類	203	3,658
	皿類	31	675
	鉢類	21	1,155
	壺類		
	瓶類	20	315
	水注類	3	37.4
	杓子類		
	湯呑類		
	蓋類	6	235
	特殊類		
	不明	3	1
	小計	287	6,076.4
陶器	碗類	162	3,735
	皿類	76	1,400
	鉢類	109	7,865
	(搗鉢)	(19)	(3,165)
	壺類	6	90
	瓶類	8	241.2
	蓋類	81	2,900
	水注類	4	65
	調理類	2	30
	釜類		
	杓子類		
	湯呑類	1	40
	蓋類		
	不明	4	2.2
	小計	453	16,368.4
炻器	碗類	13	725
	皿類	(13)	(725)
	壺類	2	131.7
	瓶類	2	560
	蓋類	23	1,705
	湯呑類	1	50
	蓋類		
	不明		
	小計	41	3,171.7
土器	碗類		
	皿類	253	975
	鉢類	124	9,110.4
	(鉢形容器)	(6)	(95)
	(燒造窯)	(11)	(935.4)
	(火鉢)	(87)	(2,848)
	(製糸)	(20)	(5,240)
	壺類		
	瓶類		
	水注類		
	調理類	334	5,885
	(炻器)		
	釜類	14	1,125
	蓋類		
	湯呑類		
	蓋類	1	20
	湯呑類	36	1,180
	蓋類	52	2,780
	特殊類		
	不明	128	35.3
	小計	867	17,820.7
	總計	1,648	43,437.2

第62表 主要遺構出土の陶磁器・土器集計表(3)

< B2086号 >

材質	種類 (器種)	数値 (点)	重量 (g)
磁器	碗類	279	3,140
	皿類	17	510.9
	鉢類	25	670
	壺類		
	瓶類	21	390
	水注類	1	2.5
	疗子類		
	邢台類		
	盃類	4	52.7
	特殊類		
	不明	5	18.6
	小計	352	4,784.7
陶器	碗類	59	1,300
	皿類	46	1,665
	鉢類	52	4,241.4
	(擂鉢)	14	725
	壺類	12	475
	壺類	5	132.6
	瓶類	34	835
	水注類		
	邢台類		
	盃類		
	疗子類		
	邢台類		
	盃類		
	壺類	6	131.2
	他		
	不明	3	14.3
	小計	231	9,519.5
炻器	碗類		
	鉢類	30	1,935
	(擂鉢)	30	(1,935)
	壺類	4	480
	瓶類	3	125
	邢台類		
	盃類		
	壺類	1	75
	小計	38	2,615
上器	碗類		
	皿類	147	1,010
	鉢類	73	4,810
	(鉢形容器)	(4)	(40)
	(燒造窯)	(1)	(415)
	(火鉢)	(64)	(4,215)
	(盤) ¹	(4)	(140)
	壺類		
	瓶類		
	水注類		
	邢台類	39	340
	(培燒)	(39)	(340)
	盃類		
	壺類	1	60
	疗子類		
	邢台類		
	盃類	4	215
	特殊類		
	不明	14	68.9
	小計	278	6,503.9
	總計	899	23,423.1

< B2223号 >

材質	種類 (器種)	数値 (点)	重量 (g)
磁器	碗類	136	1,390
	皿類	44	594
	鉢類	7	83.8
	壺類	2	13.4
	瓶類		
	水注類		
	疗子類		
	邢台類		
	盃類	1	4
	特殊類		
	不明	1	0.3
	小計	191	2,085.5
陶器	碗類	74	926
	皿類	5	42.6
	鉢類	64	2,166
	(擂鉢)	(17)	(895)
	壺類		
	瓶類	4	125
	水注類	30	575
	邢台類	8	230
	盃類		
	疗子類		
	邢台類		
	盃類		
	壺類	2	43
	瓶類	1	12
	他		
	不明		
	小計	188	4,119.6
炻器	碗類	8	61
	鉢類	3	206.6
	(擂鉢)	(3)	(206.6)
	壺類	17	632.3
	瓶類	5	104.6
	邢台類	1	4.6
	盃類		
	壺類		
	不明		
	小計	34	1,009.1
上器	碗類		
	皿類	264	1,040
	鉢類	78	2,195.5
	(鉢形容器)	(11)	(103.1)
	(燒造窯)	(8)	(98.5)
	(火鉢)	(50)	(1,660)
	(盤) ¹	(9)	(333.9)
	壺類		
	瓶類		
	水注類		
	邢台類	197	2,963.9
	(培燒)	(197)	(2,963.9)
	盃類		
	壺類		
	疗子類		
	邢台類		
	盃類		
	壺類	1	125
	瓶類	13	545
	特殊類		
	不明	151	137.7
	小計	704	7,007.1
	總計	1,117	14,221.3

< B2290号 >

材質	種類 (器種)	数値 (点)	重量 (g)
磁器	碗類	258	2,160
	皿類	522	8,229
	鉢類	90	927
	壺類	57	695
	瓶類	69	300
	水注類		
	疗子類		
	邢台類		
	盃類	55	420
	特殊類		
	不明	52	24
	小計	1,103	12,755
陶器	碗類	21	219
	皿類	5	117
	鉢類	65	2,833
	(擂鉢)	(2)	(34)
	壺類	45	4,645
	瓶類	9	80
	水注類	111	3,385
	邢台類		
	盃類		
	疗子類		
	邢台類		
	盃類		
	壺類		
	不明	14	13
	小計	270	11,292
炻器	碗類	32	4,235
	鉢類	8	855
	壺類	4	180
	邢台類		
	盃類		
	壺類		
	不明		
	小計	44	5,270
上器	碗類	76	1,300
	皿類	49	3,595
	(鉢形容器)	(47)	(3,140)
	(燒造窯)	(2)	(459)
	(火鉢)		
	(盤) ¹		
	壺類		
	瓶類		
	水注類		
	邢台類		
	盃類		
	壺類		
	疗子類		
	邢台類		
	盃類		
	壺類		
	不明	1	6
	小計	126	4,901
	總計	1,543	34,218

第63表 主要遺構出土の陶磁器・土器集計表 (4)

< B2305号 >

材質	種類 (器種)	数量 (点)	重量 (g)
磁器	碗類	261	2,102
	皿類	30	378
	鉢類	12	101
	壺類	2	81
	瓶類	17	234
	水注類	1	3
	杓子類		
	器台類		
	蓋類	2	36
	特殊類		
	不明	8	5
	小計	333	2,940
陶器	碗類	204	3,301
	皿類	45	742
	鉢類	61	2,758
	(擂鉢)	(9)	(259)
	壺類	6	106
	壺類	1	64
	瓶類	38	551
	水注類	18	819
	罐類	6	18
	釜類		
	杓子類		
	器台類		
	蓋類	1	7
	蓋類	3	63
	他		
	不明	18	18
	小計	401	8,447
炻器	皿類	2	5
	鉢類	26	701
	(擂鉢)	(13)	(463)
	壺類	3	281
	壺類		
	瓶類	56	1,175
	器台類	5	298
	蓋類		
	不明		
	小計	92	2,460
上器	碗類		
	皿類	693	2,833
	鉢類	133	3,614
	(鉢形容器)	(5)	(29)
	(燒瓶壺)	(6)	(429)
	(火鉢)	(99)	(2,601)
	(醍醐)	(23)	(555)
	壺類		
	瓶類		
	水注類		
	調理類	338	4,684
	(焰塔)	(338)	(4,684)
	蓋類		
	蓋類		
	和瓶	27	5,795
	杓子類		
	器台類		
	蓋類	1	6
	蓋類	2	70
	特殊類		
	不明	57	105
	小計	1,251	17,107
	総計	2,077	30,954

< B2748号 >

材質	種類 (器種)	数量 (点)	重量 (g)
磁器	碗類	205	2,448
	皿類	52	509
	鉢類	6	118
	壺類	3	72
	瓶類	6	72
	水注類	4	12
	杓子類		
	器台類		
	蓋類	3	78
	特殊類		
	不明	7	15
	小計	286	3,324
陶器	碗類	123	1,220
	皿類	27	1,450
	鉢類	56	3,517
	(擂鉢)	(18)	(2,459)
	壺類	7	279
	壺類	4	97
	瓶類	26	593
	水注類	2	165
	罐類		
	釜類		
	杓子類		
	器台類		
	蓋類	1	19
	他		
	不明	2	7
	小計	248	7,247
炻器	皿類	6	141
	鉢類	10	378
	(擂鉢)	(8)	(355)
	壺類		
	壺類	12	315
	瓶類		
	水注類		
	蓋類		
	不明		
	小計	28	834
上器	碗類		
	皿類	285	1,626
	鉢類	96	3,681
	(鉢形容器)	(8)	(208)
	(燒瓶壺)	(2)	(260)
	(火鉢)	(67)	(2,656)
	(醍醐)	(19)	(557)
	壺類		
	瓶類		
	水注類		
	調理類	48	1,057
	(焰塔)		
	蓋類		
	蓋類		
	和瓶	1	584
	杓子類		
	器台類		
	蓋類	5	601
	蓋類	2	72
	特殊類		
	不明	54	217
	小計	491	7,838
	総計	1,053	19,343

< B2769号 >

材質	種類 (器種)	数量 (点)	重量 (g)
磁器	碗類	253	3,097
	皿類	41	614
	鉢類	7	196
	壺類		
	瓶類	28	363
	水注類	4	33
	杓子類		
	器台類		
	蓋類	14	272
	特殊類		
	不明	15	7
	小計	362	4,582
陶器	碗類	88	1,545
	皿類	25	793
	鉢類	90	6,720
	(擂鉢)	(31)	(2,901)
	壺類	5	220
	瓶類	12	485
	水注類	13	360
	罐類	2	468
	釜類		
	蓋類		
	杓子類		
	器台類		
	蓋類	1	71
	蓋類	1	6
	蓋類	1	34
	不明	7	29
	小計	245	10,731
炻器	皿類	1	70
	鉢類	8	404
	(擂鉢)	(8)	(404)
	壺類	1	69
	瓶類		
	水注類	1	75
	蓋類		
	不明		
	小計	11	618
上器	碗類		
	皿類	91	1,121
	鉢類	12	1,430
	(鉢形容器)		
	(燒瓶壺)		
	(火鉢)	(9)	(983)
	(醍醐)	(3)	(449)
	壺類		
	瓶類		
	水注類		
	調理類	26	825
	(焰塔)		
	蓋類	1	25
	蓋類		
	和瓶		
	杓子類		
	器台類		
	蓋類		
	不明		
	小計	130	3,401
	総計	748	19,332

第64表 主要遺構出土の陶磁器・土器集計表（5）

< B2777 号 >

材質	種類 (品種)	数量 (点)	重量 kg
磁器	碗類	257	1,783
	皿類	40	512
	鉢類	10	102
	壺類		
	瓶類	21	286
	水注類	1	3
	杓子類		
	磨台類		
	通類	6	79
	特殊類		
	不明	2	1
	小計	337	2,766
陶器	碗類	251	2,372
	皿類	25	504
	鉢類	79	3,106
	(指跡)	(15)	(1,268)
	壺類	38	1,313
	壺類	8	107
	瓶類	55	1,130
	水注類	3	337
	調類		
	釜類		
	杓子類		
	磨台類		
	通類		
	不明	1	41
	他		
	不明	13	57
	小計	473	8,967
炻器	壺類	14	835
	(指跡)	(14)	(835)
	壺類	20	1,737
	壺類	3	38
	瓶類	43	996
	磨台類		
	通類		
	不明	1	14
	小計	81	3,620
土器	碗類		
	皿類	1,437	3,708
	鉢類	105	4,635
	(鉢形容器)	(6)	(67)
	(燒焰壺)	(14)	(110)
	(火鉢)	(80)	(3,892)
	(型印)	(5)	(566)
	壺類		
	瓶類		
	水注類		
	調類	271	2,920
	(焰烙)	(271)	(2,920)
	釜類		
	瓶類	12	1,389
	磨台類	22	3,470
	杓子類		
	磨台類		
	磨台類	9	169
	通類	32	1,740
	特殊類		
	不明	1,129	770
	小計	3,017	18,801
	總計	3,908	34,154

< B2796 号 >

材質	種類 (品種)	数量 (点)	重量 kg
磁器	碗類	162	1,675
	皿類	55	760
	鉢類	5	57
	壺類	1	23
	瓶類	5	107
	水注類	1	9
	杓子類		
	磨台類		
	通類	4	45
	特殊類		
	不明	3	7
	小計	236	2,683
陶器	碗類	119	2,172
	皿類	33	479
	鉢類	87	4,050
	(指跡)	(20)	(1,130)
	壺類	3	146
	壺類	5	315
	瓶類	130	3,749
	水注類	10	544
	調類		
	釜類		
	杓子類		
	磨台類		
	通類	1	21
	不明	1	15
	他		
	不明	4	24
	小計	393	11,515
炻器	壺類		
	瓶類	3	149
	(指跡)	7	790
	壺類	51	1,606
	磨台類		
	通類		
	不明		
	小計	61	2,545
土器	碗類		
	皿類	258	863
	鉢類	129	4,135
	(鉢形容器)	(5)	(46)
	(燒焰壺)	(14)	(110)
	(火鉢)	(80)	(3,892)
	(型印)	(5)	(566)
	壺類		
	瓶類		
	水注類		
	調類	132	1,859
	(焰烙)	(132)	(1,859)
	釜類		
	瓶類	5	310
	磨台類		
	杓子類		
	磨台類	5	115
	磨台類	21	577
	通類	4	123
	特殊類		
	不明	156	453
	小計	710	8,435
	總計	1,400	25,178

< B2843 号 >

材質	種類 (品種)	数量 (点)	重量 kg
磁器	碗類	270	3,561
	皿類	70	1,464
	鉢類	16	189
	壺類	2	62
	瓶類	22	407
	水注類	2	61
	杓子類		
	磨台類		
	通類	4	76
	特殊類		
	不明	7	3
	小計	393	5,823
陶器	碗類	177	2,120
	皿類	28	506
	鉢類	119	6,201
	(指跡)	(39)	(3,888)
	壺類	16	378
	瓶類	17	419
	磨台類	42	843
	水注類	6	76
	調類		
	釜類		
	杓子類		
	磨台類		
	通類	3	135
	他		
	不明	15	157
	小計	423	10,835
炻器	壺類	4	116
	瓶類	35	4,105
	(指跡)	(31)	(4,032)
	壺類	4	507
	瓶類	18	624
	磨台類	2	29
	通類		
	不明		
	小計	63	5,381
土器	碗類		
	皿類	1,715	8,982
	鉢類	129	6,671
	(鉢形容器)	(1)	(15)
	(燒焰壺)	(4)	(1,174)
	(火鉢)	(120)	(5,208)
	(型印)	(4)	(282)
	壺類		
	瓶類		
	水注類		
	調類	287	3,728
	(焰烙)	(287)	(3,728)
	釜類	4	510
	瓶類	2	100
	磨台類		
	杓子類		
	磨台類	5	82
	通類	8	232
	特殊類		
	不明	442	411
	小計	2,592	20,716
	總計	3,471	42,755

第65表 主要遺構出土の陶磁器・土器集計表（6）

< B2847号 >

材質	種類 (器種)	数値 (点)	重量 (g)
磁器	碗類	269	3,450
	皿類	25	561
	鉢類	12	220
	壺類		
	瓶類	9	190
	水注類	1	5
	疗子類		
	邢台類		
	盞類	2	11
	特殊類		
	不明		
	小計	318	4,437
陶器	碗類	112	2,083
	皿類	31	1,410
	鉢類	64	3,004
	(搗跡)	(36)	(2,037)
	壺類	4	86
	壺類	1	10
	瓶類	27	945
	水注類	1	8
	邢台類		
	盞類		
	特殊類		
	不明	1	45
	他		
	不明	5	24
	小計	246	7,615
炻器	盤類	1	50
	鉢類	17	1,195
	(搗跡)	(17)	(1,195)
	壺類	4	430
	壺類		
	瓶類	9	244
	邢台類	2	70
	盞類		
	不明		
	小計	33	1,989
土器	碗類		
	皿類	71	830
	鉢類	286	2,840
	(鉢形容器)	(268)	(1,325)
	(燒窯廠)	(13)	(1,030)
	(火跡)	(3)	(280)
	(裂口)	(2)	(205)
	壺類	33	1,510
	瓶類		
	水注類		
	邢台類		
	(培燒)	31	1,475
	盞類	79	1,225
	盞類	7	1,029
	特殊類		
	疗子類		
	邢台類		
	盞類	4	110
	特殊類		
	不明	84	215
	小計	595	9,234
	總計	1,192	23,275

< B2849号 >

材質	種類 (器種)	数値 (点)	重量 (g)
磁器	碗類	109	1,425
	皿類	32	919
	鉢類	4	66
	壺類	13	621
	水注類		
	疗子類		
	邢台類		
	盞類	3	48
	特殊類		
	不明	6	2
	小計	167	3,081
陶器	碗類	108	2,443
	皿類	28	698
	鉢類	80	3,070
	(搗跡)	(12)	(465)
	壺類	14	250
	壺類	9	604
	瓶類	99	5,315
	水注類	13	539
	邢台類	12	559
	盞類		
	疗子類		
	邢台類		
	盞類	1	330
	壺類	1	17
	他		
	不明	17	7
	小計	382	13,832
炻器	盤類		
	鉢類	34	3,275
	(搗跡)	(34)	(3,275)
	壺類	5	670
	壺類	3	24
	邢台類		
	盞類		
	不明		
	小計	42	3,969
土器	碗類	1	2
	皿類	215	990
	鉢類	54	4,907
	(鉢形容器)		
	(燒窯廠)	(1)	(375)
	(火跡)	(52)	(4,505)
	(裂口)	(1)	(27)
	壺類		
	瓶類		
	水注類		
	邢台類		
	(培燒)	70	900
	盞類		
	盞類	1	56
	壺類	3	380
	疗子類		
	邢台類		
	盞類	2	24
	邢台類	4	535
	盞類	5	67
	特殊類		
	不明	63	210
	小計	418	8,071
	總計	1,009	28,953

< B2952号 >

材質	種類 (器種)	数値 (点)	重量 (g)
磁器	碗類	179	2,823
	皿類	22	336
	鉢類	11	105
	壺類	4	105
	瓶類	18	612
	水注類	2	59
	疗子類		
	邢台類		
	盞類	4	54
	特殊類		
	不明	4	3
	小計	244	4,097
陶器	碗類	99	1,809
	皿類	30	938
	鉢類	76	4,323
	(搗跡)	(15)	(1,267)
	壺類	4	261
	瓶類	6	112
	水注類	46	1,825
	邢台類		
	盞類		
	疗子類		
	邢台類		
	盞類	4	216
	他		
	不明	1	1
	小計	266	9,485
炻器	盤類	23	1,431
	鉢類	(23)	(1,431)
	壺類	11	537
	瓶類	11	742
	邢台類		
	盞類		
	不明		
	小計	45	2,710
土器	碗類	435	1,898
	皿類	97	3,620
	(鉢形容器)	(6)	(668)
	(燒窯廠)	(1)	(290)
	(火跡)	(90)	(3,264)
	(裂口)		
	壺類		
	瓶類		
	水注類		
	邢台類		
	(培燒)	233	2,706
	盞類		
	盞類	1	56
	壺類	3	380
	疗子類		
	邢台類		
	盞類	2	24
	邢台類	4	535
	盞類	5	67
	特殊類		
	不明	489	575
	小計	1,266	9,102
	總計	1,821	25,394

第66表 主要遺構出土の陶磁器・土器集計表(7)

< B3025号 >

材質	種類 (器種)	数値 (点)	重量 (g)
磁器	碗類	55	1030.7
	皿類	12	400
	鉢類	2	85
	壺類		
	瓶類	8	250
	水注類		
	杓子類		
	漏斗類		
	蓋類	12	311.2
	特殊類		
	不明		
	小計	89	2076.9
陶器	碗類	61	2430
	皿類	25	1885
	鉢類	18	1870
	(搗鉢)	(5)	(240)
	壺類	1	390
	壺類	159	10375
	水注類	23	370
	漏斗類	10	230
	蓋類		
	杓子類		
	漏斗類		
	蓋類	5	115
	皿類	22	520
	他		
	不明	1	1
	小計	325	18186
炻器	碗類		
	鉢類	13	1290
	(搗鉢)	(9)	(1.025)
	壺類		
	壺類		
	水注類	2	50
	蓋類		
	不明		
	小計	15	1340
上器	碗類		
	皿類	73	873
	鉢類	47	3085
	(鋸形容器)	(10)	(240)
	(燒造窯)	(33)	(2.665)
	(火鉢)	(4)	(180)
	壺類		
	壺類		
	水注類		
	漏斗類	9	230
	(焰燒)	(9)	(230)
	蓋類		
	蓋類	1	190
	杓子類		
	漏斗類	1	5
	漏斗類	15	225
	蓋類	3	225
	特殊類		
	不明	14	5
	小計	163	4838
	総計	592	26440.9

< B3223号 >

材質	種類 (器種)	数値 (点)	重量 (g)
磁器	碗類	338	3,118
	皿類	53	1,090
	鉢類	9	84
	壺類	28	595
	水注類	1	3
	杓子類		
	漏斗類		
	蓋類	6	66
	特殊類		
	不明	6	5
	小計	441	4,961
陶器	碗類		
	皿類		
	鉢類		
	(搗鉢)	(3,033)	
	壺類		
	水注類		
	漏斗類		
	蓋類		
	杓子類		
	漏斗類		
	蓋類		
	不明		
	小計	11,270.4	
炻器	碗類	2	80
	鉢類	20	1,951
	(搗鉢)	(20)	(1.951)
	壺類	11	420
	蓋類		
	水注類	21	839
	漏斗類	3	124
	蓋類		
	不明		
	小計	57	3,414
上器	碗類		
	皿類	486	2,070
	鉢類	36	4,341
	(鋸形容器)	(11)	(116)
	(燒造窯)	(1)	(380)
	(火鉢)	(24)	(3,845)
	(盤)		
	壺類		
	蓋類		
	水注類		
	漏斗類	77	2,807
	(焰燒)	(77)	(2,807)
	蓋類	1	135
	鉢類	1	182
	杓子類		
	漏斗類		
	蓋類		
	不明	2	5
	小計	605	9713
	總計	1103	29358.4

< B5082号 >

材質	種類 (器種)	数値 (点)	重量 (g)
磁器	碗類	264	3,725
	皿類	110	2,920
	鉢類	9	79
	壺類		
	水注類	24	655
	杓子類	2	12
	漏斗類	16	228
	特殊類		
	不明	10	4
	小計	435	7,623
陶器	碗類	399	5,784
	皿類	82	3,750
	鉢類	201	8,298
	(搗鉢)	(19)	(975)
	壺類	70	11,657.5
	蓋類	37	1,700
	水注類	666	43,364
	漏斗類	237	3,975
	蓋類	131	3,470
	蓋類		
	杓子類		
	漏斗類		
	蓋類		
	不明	42	34
	小計	1,872	82,553.5
炻器	碗類	5	49
	鉢類	77	17,895
	(搗鉢)	(71)	(17,625)
	壺類		
	蓋類		
	水注類	28	1,090
	漏斗類		
	蓋類	1	10
	不明		
	小計	111	19,044
上器	碗類		
	皿類	867	4,553
	鉢類	560	22,545.7
	(鋸形容器)	(39)	(848)
	(燒造窯)	(130)	(2,445.7)
	(火鉢)	(346)	(16,695)
	(盤)	(45)	(2,559)
	壺類		
	蓋類		
	水注類		
	漏斗類	239	3,282
	(焰燒)	(239)	(3,282)
	蓋類		
	鉢類		
	蓋類		
	不明	90	182
	小計	1,953	34,608.7
	總計	4,371	143,829.2

第 67 表 主要遺構出土の陶磁器・土器集計表 (8)

< B5086 号 >

材質	種類 (器種)	数量 (点)	重量 (g)
磁器	碗類	2,690	29,575
	皿類	751	17,834.6
	鉢類	252	6,018.5
	壺類	9	563
	瓶類	234	3,705.4
	水注類	8	169
	杓子類		
	湯台類		
	蓋類	81	1,717
	特殊類	1	96.4
	不明	700	923
	小計	4,726	60,601.9
陶器	碗類	2,375	32,993.2
	皿類	802	19,004.2
	鉢類	1,168	50,379.1
	(搾跡)	(493)	(27,029)
	壺類	88	6,220
	壺類	260	6,161
	瓶類	670	21,363.6
	水注類	28	605.4
	蓋類	6	32
	釜類		
	杓子類		
	重復類	1	100
	湯台類	8	234.3
	蓋類	51	1,760.3
	他		
	不明	545	879.5
	小計	6,002	139,732.6
炻器	壺類	1	11
	鉢類	1,249	37,911.5
	(搾跡)	(1,241)	(37,785)
	壺類	18	2,986.3
	壺類	6	157
	瓶類	57	1,999
	湯台類		
	蓋類		
	不明	2	9
	小計	1,333	43,073.8
土器	碗類		
	皿類	35,533	150,472.3
	鉢類	1,827	64,783.8
	(鉢形容器)	(19)	(6,608)
	(煙灰皿)	(115)	(10,295.7)
	(火鉢)	(1,674)	(5,1937)
	(製糸)	(19)	(1,883.1)
	壺類	137	3,525
	瓶類		
	水注類		
	調理類	(焙烙)	3,028
			39,532.3
	蓋類		
	鋸類	22	3,091.9
	和頭類	13	1,155
	杓子類		
	湯台類		
	蓋類	130	4,390.3
	瓶類	115	4,558.1
	特殊類		
	不明	9,891	11,142.7
	小計	50,696	282,651.4
	總計	62,757	526,059.7

< C111 号 >

材質	種類 (器種)	数量 (点)	重量 (g)
磁器	碗類	74	1,325
	皿類	49	1,407
	鉢類	12	166
	壺類		
	瓶類	4	73
	水注類	2	20
	杓子類		
	湯台類		
	蓋類		
	特殊類		
	不明	1	10
	小計	142	3,001
陶器	碗類	389	8,259
	皿類	67	1,686
	鉢類	351	12,751.3
	(搾跡)	(53)	(3,396)
	壺類	37	1,480
	瓶類	4	144
	水注類	136	3,077
	蓋類	8	360
	釜類		
	杓子類		
	重復類	2	102
	湯台類	7	192
	蓋類	46	1,093
	他		
	不明		
	小計	2,184	76,315.3
炻器	壺類	2	49
	(搾跡)	(2)	(49)
	壺類		
	瓶類	62	2,137
	湯台類		
	蓋類		
	不明		
	小計	64	2,186
土器	碗類		
	皿類	280	1,562
	鉢類	295	16,830
	(鉢形容器)	(21)	(1,880)
	(煙灰皿)	(1)	(6)
	(火鉢)	(254)	(13,140)
	(製糸)	(19)	(1,795)
	壺類		
	瓶類		
	水注類		
	調理類	329	4,988
	(焙烙)	(329)	(4,988)
	蓋類		
	鋸類		
	和頭類		
	杓子類	6	388
	湯台類	1	13
	蓋類	17	323
	鋸類	61	3,135
	特殊類		
	不明		
	小計	989	27,239
	總計	3,379	108,741.3

< C140 号 >

材質	種類 (器種)	数量 (点)	重量 (g)
磁器	碗類	154	1,746
	皿類	33	2,136
	鉢類	9	153
	壺類		
	瓶類	29	659
	水注類		
	杓子類		
	湯台類		
	蓋類	7	601
	特殊類		
	不明	1	6
	小計	233	5,301
陶器	碗類	727	17,116
	皿類	334	9,556
	鉢類	382	17,675
	(搾跡)	(151)	(6,838)
	壺類	89	3,624
	瓶類	23	1,744
	水注類	853	32,841
	湯台類	46	3,311
	蓋類	3	34
	杓子類		
	重復類	2	66
	湯台類	19	1,015
	蓋類	14	475
	他	2	305
	不明	4	329
	小計	2,498	88,091
炻器	壺類	46	6,495
	(搾跡)	(46)	(6,495)
	壺類	1	31
	瓶類	40	3,613
	湯台類		
	蓋類		
	不明		
	小計	87	10,139
土器	碗類		
	皿類	788	4,193
	鉢類	644	15,949.4
	(鉢形容器)	(33)	(1,470)
	(煙灰皿)	(24)	(410.4)
	(火鉢)	(363)	(13,667)
	(製糸)	(4)	(402)
	壺類		
	瓶類		
	水注類		
	調理類	198	3,249
	(焙烙)	(198)	(3,249)
	蓋類		
	鋸類		
	和頭類		
	杓子類		
	湯台類	28	905
	蓋類	59	2,534
	特殊類		
	不明	1	6
	小計	1,718	26,836.4
	總計	4,536	130,367.4

第68表 主要遺構出土の陶磁器・土器集計表(9)

<C244号>

材質	種類 (器種)	数量 (点)	重量 (g)
磁器	碗類	685	13,959
	皿類	130	5,143.6
	鉢類	125	7,625
	壺類		
	瓶類	63	1,530
	水注類	2	15
	杓子類		
	湯呑類		
	通類	111	2,570
	特殊類	1	40
	不明	57	328.3
	小計	1,174	31,210.9
陶器	碗類	351	10,669.1
	皿類	98	6,540
	鉢類	170	10,900
	(指跡)		
	壺類	233	23,560
	瓶類	21	790
	瓶類	1,693	116,900.4
	水注類	573	13,461.68
	通類	128	2,700
	金類		
	杓子類		
	東甌類		
	湯呑類	14	735
	通類	73	3,390.7
	他		
	不明	76	100.5
	小計	3,430	189,747.38
炻器	碗類		
	鉢類	89	20,000
	(指跡)	(89)	(20,000)
	壺類	5	505
	瓶類	6	120
	水注類		
	通類		
	不明		
	小計	100	20,625
上器	碗類		
	皿類	653	5,717
	鉢類	1,021	39,084.7
	(鉢形容器)	(603)	(14,772)
	(燒造窓)	(131)	(3,877.7)
	(火跡)	(287)	(20,435)
	(型印)		
	壺類		
	瓶類		
	水注類		
	通類	759	10,739
	(焰跡)	(759)	(10,739)
	釜類		
	杓子類		
	湯呑類		
	湯台類	120	4,005
	通類	137	7,099
	特殊類		
	不明	187	2,30.3
	小計	2,877	66,875
	總計	7,581	308,458.28

<C251号>

材質	種類 (器種)	数量 (点)	重量 (g)
磁器	碗類	4,992	114,072.3
	皿類	941	13,695
	鉢類	586	9,574.8
	壺類	38	781
	瓶類	175	2,677
	水注類	10	171
	杓子類		
	湯台類		
	通類	441	6,311.2
	特殊類	10	126
	不明	591	399.2
	小計	7,784	147,807.5
陶器	碗類	3,133	53,194
	皿類	402	22,403.65
	鉢類	1,906	99,976
	(指跡)	(605)	(28,840)
	壺類	932	78,466
	瓶類	81	3,856
	水注類	14,559	612,609
	通類	6,506	103,733.86
	特殊類	851	20,959
	釜類		
	杓子類	13	314
	東甌類	1	44
	湯台類	112	6,010
	通類	441	20,515
	他		
	不明	1,379	6,053.2
	小計	30,336	1,028,133.71
炻器	碗類	360	84,295
	鉢類	(360)	(84,295)
	壺類		
	瓶類	4	75
	水注類		
	通類		
	不明		
	小計	364	84,370
上器	碗類	3	80
	皿類	2,422	18,649
	鉢類	4,369	164,637.5
	(鉢形容器)	(2,724)	(78,103.9)
	(燒造窓)	(322)	(7,488.6)
	(火跡)	(1,323)	(79,045)
	(型印)		
	壺類		
	瓶類		
	水注類		
	通類	5,610	73,440
	(焰跡)	(5,610)	(73,440)
	釜類		
	杓子類	335	6,290
	湯台類		
	通類		
	不明	195	184.1
	小計	13,503	273,090.6
	總計	51,987	1,533,401.81

<C304号>

材質	種類 (器種)	数量 (点)	重量 (g)
磁器	碗類	24	684
	皿類	2	63
	鉢類	6	112
	壺類		
	瓶類	3	85
	水注類		
	杓子類		
	湯台類		
	通類	1	82
	特殊類		
	不明		
	小計	36	1,026
陶器	碗類	36	1,187
	皿類	13	261
	鉢類	34	2,231
	(指跡)	(8)	(270)
	壺類	1	66
	瓶類	1	62
	水注類	39	3,610
	通類		
	杓子類		
	東甌類		
	湯台類		
	通類		
	不明		
	小計	124	7,417
炻器	碗類	9	1340
	鉢類	(9)	(1,340)
	(指跡)		
	壺類		
	瓶類		
	水注類		
	通類		
	不明		
	小計	9	1,340
上器	碗類		
	皿類	26	622.5
	(鉢形容器)	(2)	(14)
	(燒造窓)	(11)	(258.5)
	(火跡)	(13)	(358)
	(型印)		
	壺類		
	瓶類		
	水注類		
	通類	11	345
	(焰跡)	(11)	(345)
	釜類		
	杓子類	1	90
	湯台類		
	通類		
	不明	1	5
	小計	41	1,357.5
	總計	210	11,140.5

第69表 主要遺構出土の陶磁器・土器集計表 (10)

< C305号 >

材質	種類 (器種)	数値 (点)	重量 (g)
磁器	碗類	837	13,090
	皿類	249	6,352
	鉢類	117	3,555
	壺類		
	瓶類	46	1,518
	水注類	2	12
	杓子類		
	器台類		
	蓋類	129	3,244
	特殊類		
	不明	224	890
	小計	1,604	28,661
陶器	碗類	1,007	15,608.5
	皿類	270	9,245.5
	鉢類	422	16,477
	(搾跡)	(52)	(2,240)
	壺類	172	11,310
	壺類	8	1,061
	瓶類	1,874	68,976.5
	水注類	138	2,588
	蓋類	112	1,955
	釜類		
	杓子類		
	器台類		
	蓋台類	7	330
	蓋類	64	1,364
	他		
	不明	339	799
	小計	4,413	129,715.5
炻器	盤類	2	35
	鉢類	118	13,220
	(搾跡)	(115)	(12,725)
	壺類	59	11,888
	壺類	32	2,180
	器台類		
	蓋類		
	不明		
	小計	211	27,323
土器	碗類		
	皿類	636	3,716
	鉢類	423	19,738.3
	(鉢形容器)	(58)	(1,442)
	(烧造痕)	(27)	(1,260.3)
	(火跡)	(327)	(1,622.8)
	(製作印)	(11)	(808)
	壺類		
	瓶類		
	水注類		
	蓋類	490	9,900.5
	(烧造)	(490)	(9,900.5)
	釜類		
	蓋類		
	和類		
	杓子類	1	150
	器台類	2	27
	蓋台類	33	1,033
	蓋類	65	4,075
	特殊類		
	不明	7	233
	小計	1,657	38,872.8
	総計	7,885	224,571.3

< C375号 >

材質	種類 (器種)	数値 (点)	重量 (g)
磁器	碗類	244	5,720.7
	皿類	112	2,498.2
	鉢類	84	2,839
	壺類	11	156
	瓶類	59	624
	水注類	6	32
	杓子類		
	器台類		
	蓋類	33	352
	特殊類		
	不明	29	29
	小計	578	12,250.9
陶器	碗類	123	1,713
	皿類	53	2,500
	鉢類	183	16,153
	(搾跡)	(21)	(2,428)
	壺類	65	5,074
	瓶類	9	294
	水注類	144	12,402
	蓋類	216	4,554
	蓋類	37	1,084
	釜類		
	杓子類		
	器台類		
	蓋台類	12	287
	蓋類	34	941
	他		
	不明	60	67
	小計	936	45,069
炻器	盤類		
	鉢類	26	3,422
	(搾跡)	(26)	(3,422)
	壺類	4	1,846
	瓶類	6	173
	器台類		
	蓋類		
	不明		
	小計	36	5,441
土器	碗類		
	皿類	49	955
	鉢類	208	11,580
	(鉢形容器)	(31)	(346)
	(烧造痕)	(7)	(89)
	(火跡)	(156)	(10,025)
	(製作印)	(14)	(1,120)
	壺類		
	瓶類		
	水注類		
	蓋類	82	1,240
	(烧造)	(82)	(1,240)
	釜類		
	蓋類		
	和類		
	杓子類	1	150
	器台類	2	27
	蓋台類	33	1,033
	蓋類	65	4,075
	特殊類		
	不明	7	233
	小計	1,657	38,872.8
	総計	7,885	224,571.3

< C511号 >

材質	種類 (器種)	数値 (点)	重量 (g)
磁器	碗類	48	1,438
	皿類	28	1,331
	鉢類	29	732
	壺類		
	瓶類	14	272
	水注類	12	176.4
	杓子類		
	器台類		
	蓋類	4	19
	特殊類		
	不明		
	小計	135	3,968.4
陶器	碗類	250	5,762
	皿類	92	3,666
	鉢類	166	18,783
	(搾跡)	(60)	(8,564)
	壺類	23	1,334
	瓶類	4	913
	水注類	211	16,135
	蓋類	94	2,356
	器台類	17	382
	蓋類		
	杓子類		
	重複類		
	器台類	8	577
	蓋類	27	1,071
	他		
	不明		
	小計	892	50,979
炻器	盤類	10	954
	鉢類	(8)	(894)
	壺類	4	336
	瓶類	28	746
	器台類		
	蓋類		
	不明		
	小計	42	2,036
土器	碗類		
	皿類	286	2,872
	鉢類	88	10,475
	(鉢形容器)	(14)	(2,808)
	(烧造痕)	(3)	(572)
	(火跡)	(68)	(9,528)
	(製作印)	(3)	(103)
	壺類		
	瓶類		
	水注類		
	蓋類	449	8,673
	(烧造)	(449)	(8,673)
	釜類		
	蓋類		
	和類		
	杓子類		
	器台類		
	蓋台類		
	蓋類	13	1,302
	特殊類		
	不明		
	小計	836	23,322
	総計	1,905	80,305.4

第70表 主要遺構出土の陶磁器・土器集計表（11）

< C536 号 >

材質	種類 (器種)	数量 (点)	重量 (kg)
磁器	碗類	7,379	18,741.8
	盤類	1,293	44,954.5
	鉢類	1,183	33,273.1
	壺類	5	190.67
	瓶類	367	41,128.4
	水注類	96	2,195.8
	杓子類		
	露台類	1	125
	蓋類	870	18,116.2
	特殊類		
	不明	783	1,047.4
	小計	11,977	159,373.3
陶器	碗類	3,101	73,455.8
	盤類	1,131	61,566.8
	鉢類	2,664	151,637.3
	(鉢群)	(52)	(2,625)
	壺類	735	67,127.4
	瓶類	684	26,530
	水注類	14,072	636,926.6
	露台類	1,018	17,440.3
	蓋類	462	9,535
	蓋類	6	825
	杓子類	112	3,125.1
	蓋陶類		
	露台類	127	5,159.9
	蓋類	477	15,249.4
	他		
	不明	1,113	1,700.1
	小計	25,702	1,070,359.6
炻器	碗類	7	67.2
	盤類	616	126,605
	(鉢群)	(613)	(126,560)
	壺類	50	6,400
	瓶類		
	水注類	36	1,308.9
	露台類		
	蓋類	1	105
	不明	38	25.1
	小計	748	134,511.2
上器	碗類		
	盤類	1,311	9,873
	鉢類	3,636	14,067.1
	(斜形容器)	(1,442)	(24,904.8)
	(燒酒壺)	(315)	(7,493)
	(火鉢)	(1,879)	(108,272.3)
	(銀盤)		
	蓋類		
	瓶類		
	水注類	23	257
	露台類		
	(燒酒)	1,918	36,617.5
	蓋類		
	鉢類		
	瓶類		
	杓子類		
	蓋陶類		
	露台類	344	11,191
	蓋類	799	36,284.2
	特殊類		
	不明	889	1,330
	小計	8,920	236,229.2
	總計	47,347	1,600,466.9

< C539 号 >

材質	種類 (器種)	数値 (点)	重量 (g)
磁器	碗類	319	5,018.8
	皿類	55	1,083
	鉢類	44	749
	壺類	1	88
	瓶類	43	596
	水注類		
	杓子類	6	36
	湯呑類		
	蓋類	37	745
	特殊類		
	不明		
	小計	505	8,315.8
陶器	碗類	554	11,511
	皿類	105	2,320
	鉢類	222	9,595
	(鉢詰)	(55)	(4,181)
	壺類	88	4,435
	壺類	11	324
	瓶類	1,200	48,074
	水注類	107	2,816
	調類	29	763
	蓋類		
	特殊類		
	不明		
	小計	2,362	80,782
炻器	皿類		
	鉢類	38	3,318
	(鉢詰)	(38)	(3,318)
	壺類	18	1,406
	瓶類		
	水注類	9	201
	調類		
	蓋類		
	不明		
	小計	65	4,925
土器	碗類		
	皿類	90	600
	鉢類	183	7,981
	(錦形容器)	(35)	(475)
	(燒坂窯)	(12)	(235)
	(火葬)	(116)	(6,318)
	(型切 ¹)	(20)	(953)
	壺類		
	瓶類		
	水注類		
	調類	110	1,900
	(切堵)	(110)	(1,900)
	蓋類	3	54
	鉢類	1	79
	箱類		
	杓子類		
	特殊類		
	不明		
	小計	415	11,427
	總計	3,347	105,449.8

<C622号>

材質	種類 (品種)	数量 (点)	重量 (g)
磁器	直頸	234	4,906
	粗頸	39	1,130
	斜頸	31	1,873
	直頸	3	242
	粗頸	13	880
	水注類		
	粒子類		
	酒台類		
	直頸	25	586
	特殊類		
陶器	不明		
	直頸	345	9,617
	粗頸	138	3,995
	斜頸	36	4,349
	斜頸	88	8,774
	(指跡)	(8)	(467)
	直頸	70	6,900
	直頸	32	1,798
	直頸	200	12,439
	水注類	90	2,288
磁器	直頸	56	1,194
	直頸		
	粒子類		
	酒台類		
	直頸	7	168
	直頸	8	122
	他		
	不明		
	小計	725	42,027
	直頸	4	31
炻器	直頸	33	8,409
	斜頸	(33)	(8,409)
	直頸	5	260
	直頸		
	直頸	10	488
	酒台類	2	121
	直頸		
	不明		
	小計	54	9,309
	直頸		
土器	直頸	135	1,684
	斜頸	120	8,665
	(鉢形容器)	(30)	(159)
	(燒成窯)	(13)	(771)
	(火鉢)	(100)	(7,425)
	(鑿炉)	(4)	(310)
	直頸		
	直頸		
	水注類		
	直頸	121	2,888
漆器	(焰燒)	(121)	(2,888)
	直頸		
	直頸		
	直頸		
	粒子類		
	酒台類		
	直頸	8	261
	直頸	30	3,141
	特殊類		
	不明		
總計	小計	414	16,639
	總計	1,538	77,592

(2) 瓦 (第 205 ~ 225 図、第 71 ~ 74 表)

市谷邸の調査において出土した瓦については、既往の調査において時期ごとの特徴がまとめられており（「尾張藩上屋敷跡 I ~ VIII」）、使用される瓦の種類や規格についても詳細な検討がなされている。本調査においては極めて多量の瓦が出土しており、本報告では、丸瓦、平瓦、軒丸瓦、軒平瓦、鬼瓦、道具瓦などの別に加え、瓦当文様の違いや大きさなどについて、可能な限り多くの例を図示した。よって出土した瓦は遺構ごとにまとめ実測図を掲載したが、個々の遺構の出土傾向を捉えていない面もある。なお、瓦当文様の分類に当たっては金子智氏による基準（金子 1994、1996）及び内野正氏による分類（内野 2002）に基づいた。

出土した瓦の瓦当文様は A 種及び B 種が大半を占めるが、B 種や D 種も少量ながら含まれる。なお、A 種の中には、中心飾りの脇が Y 字状を呈するなど B 種の影響をうかがわせるものもあり、こういった例は C 種においても僅かながらみられ、19 世紀初め頃以降を帰属時期とする遺構から出土している例が多い。これらは A 種と B 種の折衷式とされる（金子 1996）ものであるとみられ、文様構成としては B 種に通じる部分が多い。

C 区においては、C106 号、C476 号など他の遺物に比べ多量の瓦を覆土に含む遺構がいくつか検出された。このうち C476 号では覆土のほとんどが焼土で占められていたことから、火災後の片付けに伴うものと判断されたが、B948 号における棟込瓦の出土や、C140 号における面戸瓦の出土など、それほど多数の遺構で出土していないような特定の種類の瓦がまとまって出土する例も見受けられる。廃棄に伴うものと考えられるが、瓦は什器や食物残滓などと異なり日常的にゴミとして廃棄されるようなものでは無いため、建物の解体や修繕などに伴う一括廃棄が推定される。また、本瓦葺きに使用された丸瓦、平瓦は被熱しているものが割合的に多くを占める。以下、遺構ごとに出土した瓦の主要な特徴を記す。

B275 号 (第 205 図 1 ~ 6)

A 種（江戸式）、C 種（東海式）の瓦当文様をもつ瓦が大半を占めるが、B 種（大阪式）の軒桟瓦も出土している。文様はポールド体とも言える肉太な表現で、中心飾りは脇に Y 字形をなす文様を配し、唐草文様を含め A 種の表現に近似する。A 種は中心飾り、唐草、子葉とも肉太に表現されるものがほとんどである。C 種はⅢ類、Ⅳ類に分類される文様を持つものが出土している。

B476 号 (第 205 図 7)

文様を確認できるものは出土していないが、棟瓦で 9 寸の規格のものが出土している。

B479 号 (第 206 図 1)

瓦の出土数量は少ない。1 は A 種の瓦当文様を持つ軒桟瓦である。中心飾り、子葉とも肉太に表現される。

B500 号 (第 206 図 2)

図示したものは瓦当文様が A 種で規格が 9 寸の軒桟瓦である。中心飾りはやや小さいが単線で表現される。

B502 号 (第 206 図 3)

藤の文様を持つ軒丸瓦が出土している。接合部分が瓦当部分の上辺に当たることから、文様は上り藤を表現したものと推定される。

B588号（第206図4）

瓦の出土は少ないが、鬼瓦の一部と見られるものが出土している。

B597号（第206図5～7）

A種の瓦当文様を持つ瓦の出土が多い。小片が多いが、本瓦葺きの瓦が若干含まれるようである。図示したものはいずれも中心飾りと子葉が二重線が用いられるが、やや肉太に表現され、中心飾りは大型となっている。

B677号（第207図1）

本瓦葺きに使用されたと見られる丸瓦が出土している。胴部長は8寸を測り、玉縁部分の長さは36mmと長く作られる。また、内面にはコビキ痕及び布目痕が確認できる。本調査では多量の瓦が出土しており、丸瓦も相当数含まれるが、全体の形状等が把握できるものは極めて少ない。

B691号（第207図2）

小片であるがB種の瓦当文様を持つ軒瓦が出土している。

B808号（第207図3～6）

菊丸瓦、A種の瓦当文様を持つ軒瓦が出土が出土している。二重線で表現されるものがあり、単線のものには中心飾りが比較的小さいものが見られる。4は菊丸文様を持血、菊丸瓦或いは軒棧瓦の一部と推定されるものの詳細は不明である。

B889号（第207図7）

出土した瓦には、完形に近い状態を残すものがあり、図示した平瓦は9寸の規格に相当すると考えられる。

B948号（第208図1～5）

1～5は菊丸瓦と同様の棟込瓦とみられ、巴文及び珠文を持つ。本遺構で出土したものは瓦当径に僅かな違いが見られるものの、概ね2.5～3寸程度である。棟込瓦は本調査において複数の遺構で出土しているが、本遺構例の様にまとまって出土する例が見られ、これには解体等に伴う廃棄が想定される。

B1148号（第209図1・2）

1は軒丸瓦である。全長が不明であるが、幅は3寸近く本調査で出土した丸瓦の中では比較的大きく、9寸～1尺程度の規格に相当する可能性がある。被熱の痕跡が顕著で、内面には多量のタールが付着している。2はA種の瓦当文様を持つ軒瓦である。

B1401号（第209図3）

3は軒丸瓦で、全長は約8寸を測る。瓦当部分が胴部に対し僅かに鈍角に付けられる。

B1435号（第209図4～8）

C種の瓦当文様を持つ軒棧瓦が多く出土している。文様はC-Ⅲ、Ⅳ類があり、幅は9寸を測るものがある。「江戸作」「丸に一」の刻印を有するものがみられる。

B1963号（第210図1）

1はA種の瓦当文様を持つ軒棧瓦である。文様はやや肉太に表現され、幅は9寸を測る。

B2290号（第210図2）

瓦の出土量は多くないが、右巴16珠の文様を施す軒丸瓦が出土している。全長は不明であるが、

瓦当径は比較的大きく、被熱の痕跡が観察される。

B2843号（第210図3）

3は軒丸瓦で、左巴15珠の文様を施す。被熱の痕跡が顕著である。外面はペラ調整を施し、全長は不明であるが、瓦当径は大きく9寸～1尺程度の規格に相当する可能性がある。

B3025号（第210図3～9、第211図1～5）

本遺構は溝上の石組遺構で、底面に敷かれた石材上に堆積した覆土には多量の瓦が含まれていた。瓦当文様にはA、B種があり、A種は中心飾りを大きく作り、子葉を肉太に表現するもの（第211図1）や、二重線で表現するもの（第210図8）などがある。第210図6はA種の範疇に含まれるものであるが、中心飾りの脇がY字状に近い形で表現されるなど、B種にみられる要素を含む。また、第210図10はC種としたが、唐草にはA種に近い表現がみられ、中心飾りの中央も橋状を思わせる形状となっている。第211図5は鬼瓦である。B588号で同様のもの（第206図4）が一部分であるが出土している。

B3223号（第211図6）

瓦の出土数量は多くないが、D種の軒平瓦が出土している。

B5082号（第212図1～3）

棟瓦が多量に出土しており、軒棟瓦の文様はA種が大半を占める。B種も含まれる（3）が、僅かである。

B5086号（第212図4～12）

4は鬼瓦の瓦当部分とみられ、五葉葵文の一部である。6・7は小片で本来の方向が不明であるが、唐草状の文様や縁辺部分の形状から、11、12と関連する可能性も考慮して推定した。8～12は沢瀉文を施す瓦である。

C105号（第213図1）

1は瓦質であることから瓦に含めて図示した。一部分のみの出土で、形状から平面的には方形をなす四隅の一つである可能性がある。瓦としては種類、用途が不明であるが、方形屋根の露盤などに形状的には近いと考えられる。

C106号（第213図2～7）

滴水瓦（5）が出土しており、既往の調査では第3次御殿期にあたる遺構からの出土例に近い文様のものがある。7は一部分であり瓦の種類は不明であるが、瓦当文様に六葉の葵文が表される。

C111号（第213図8・9）

本遺構で出土した瓦は小片が多く作図に耐え得るものは少ない。8はD種で二重線で中心飾りと唐草を表現する。

C150号（第214図2）

2は本瓦葺きに使用された丸瓦で、A種の瓦当文様を持つ軒平瓦である。瓦当部分は接合の詳細が不明であるが断面形状が台形で肉厚に作られ、平瓦の一辺の下面に瓦当部分を付けるものと考えられる。瓦当面上辺を面取りする。

C124号（第214図4・5）

4は軒棟瓦で、全長、幅とも1尺近い。瓦当文様はC種であるが、唐草はいずれも下向きに表現

され C- i 類に相当するものである。瓦当面に「丸に上」の刻印を有する。5 は棟込瓦で、瓦当文様が菊文を表す菊丸瓦と呼ばれるものである。

C140 号（第 215 図）

多量の瓦が出土しており、種類は平瓦、丸瓦、軒平瓦、軒丸瓦のほか滴水瓦や面戸瓦がある。1・2・9 は D 種の瓦当文様を持つもので、本調査における出土は僅かである。3 は棟込瓦で六葉の葵文を表す。葵文を表すものは他に 11 があるが、小片であり詳細は不明である。5 は軒平瓦、軒桟瓦の別が不明であるが、瓦当文様は D- ii 類である。13～15 は面戸瓦である。

C251 号（第 216 図 2～5）

2 は A 種の瓦当文様を持つもので、軒桟瓦の一部であると考えられる。4 は軒桟瓦で、瓦当文様は C- iii 類に分類される。

C304 号（第 216 図 5～7）

6 は丸瓦で、全長は不明であるが幅は比較的広く作られ、9 寸あるいは 1 尺程度の規格である可能性がある。7 は軒丸瓦で、右巴 14 珠の文様を施すが、瓦当径は大きく 6 と同様のサイズであると推定される。

C305 号（第 217 図）

1 は丸瓦で、内面はコビキ痕及び棒状工具の痕跡が目立つ。2 は瓦当文様が D- ii 類の軒平瓦である。3 は瓦当文様が C- ii 類であるが、小片のため詳細は不明である。4 は小片で詳細が不明であるが、瓦当文様は D- i 類に相当する。5 は瓦質であることから、瓦に含めて図示した。断面形状が蒲鉾状の凸面を呈する表面に鱗状の文様を施し、僅かな部分のみの出土ではあるが蛇がとぐろを巻いたような形態を作る。本来の形は不明であるが、宇賀神を象ったものなどが挙げられる。7 は A 種の瓦で、中心飾り及び唐草、子葉は二重線で表現される。8 は面戸瓦である。

C473 号（第 218 図 1・2）

1 は丸瓦である。全長は約 8 寸を測る。2 は D- i 類の瓦当文様を持つ軒桟瓦で、隅瓦として使用されたと考えられる。

C476 号（第 218 図 3～5、第 219 図 1・2）

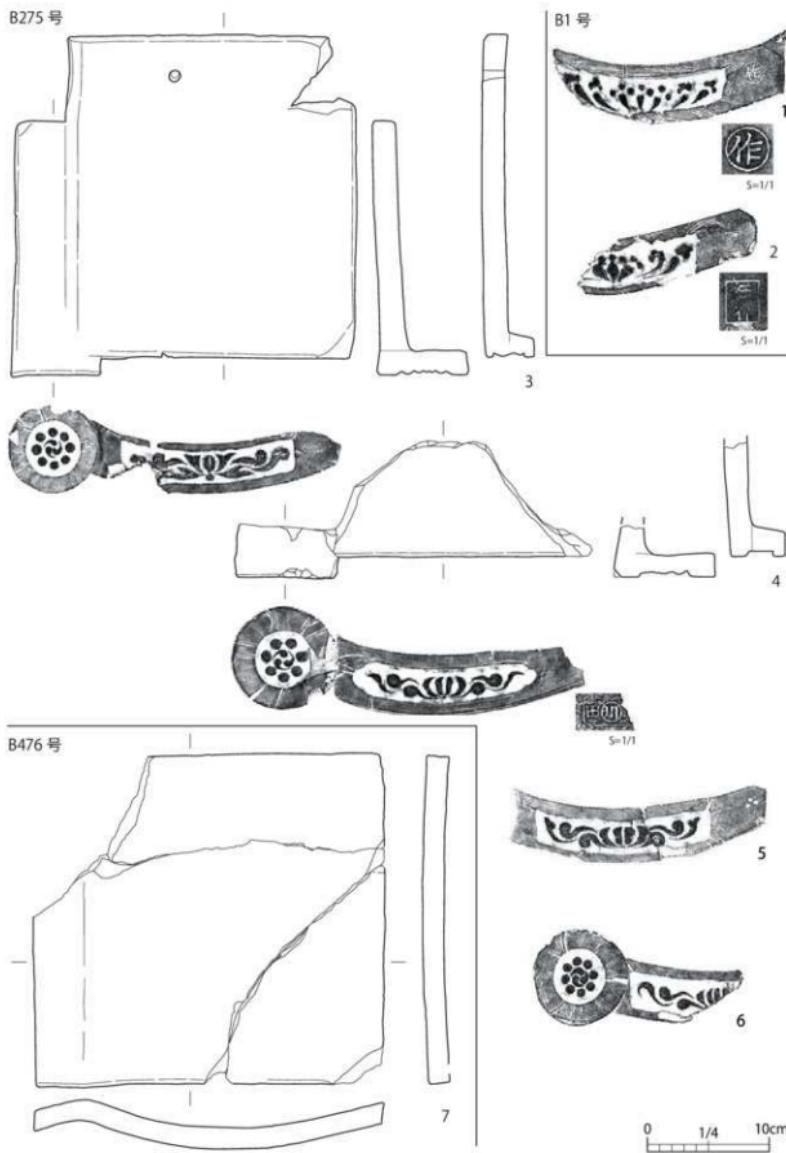
第 218 図 3～5 はいずれも軒丸瓦である。このうち 3 は被熱が顕著に認められる。第 219 図 1 は一部分のみの出土であるが、C 種の瓦当文様を持つ袖瓦であると考えられる。

C536 号（第 220 図、第 221 図 1～7）

第 220 図 1 は丸瓦である。玉縁部分は比較的長く作られるが、8 寸の規格に相当するものと考えられる。2 は軒平瓦、軒桟瓦の別は不明であるが、D 種の瓦当文様を施す。3 の瓦当文様は B 種であるが、小片のため詳細は不明である。4 は中心飾りを比較的小さく表現する B 種の瓦当文様を施す。6 は三葉葵文を表したもので、鬼瓦などの一部分であるとみられるが、詳細は不明である。7 は軒平瓦で、隅瓦として使用されたものと考えられる。第 221 図 1～7 はいずれも軒桟瓦であるが、4・5 は A 種、それ以外は C 種である。本遺構では陶磁器、土器、木製品、金属製品に加えて瓦も多量に出土しており、多くが C 種の瓦当文様を有する。

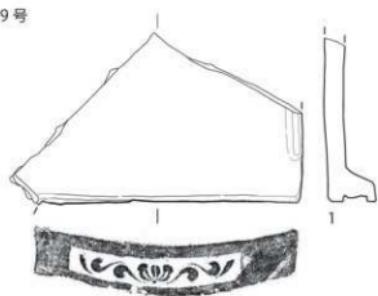
C598 号（第 221 図 8～13）

8～13 は軒桟瓦である。いずれも比較的中心飾りが小さく表現され、唐草や子葉が単線であって

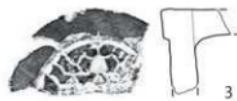


第205図 瓦 (1) (1/4)

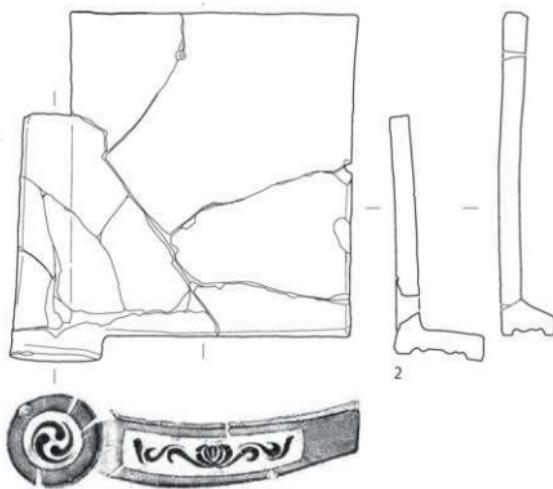
B479 号



B502 号



B500 号

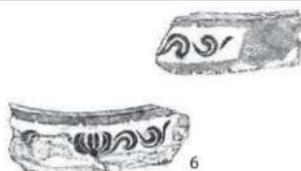


B588 号



4

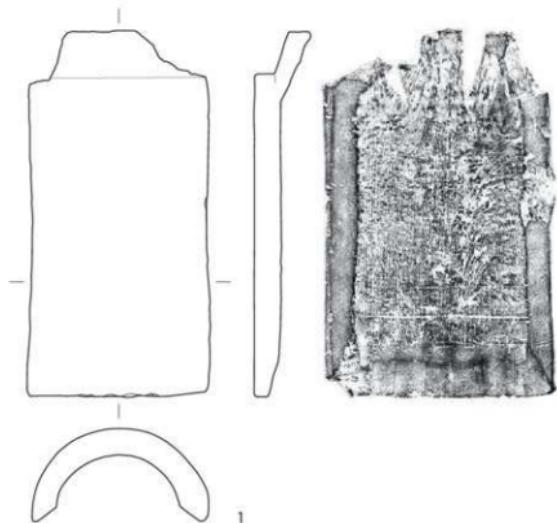
B597 号



0 1/4 10cm

第 206 図 瓦 (2) (1/4)

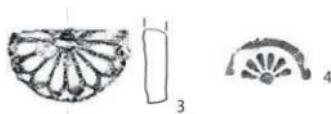
B677 号



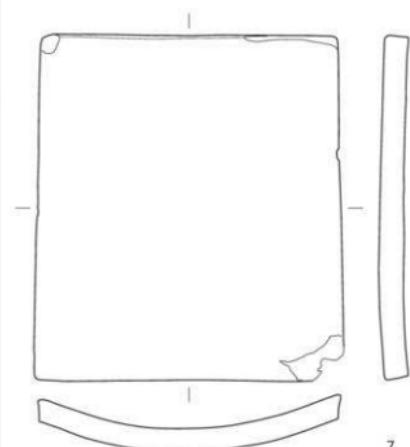
B691 号



B808 号新段階



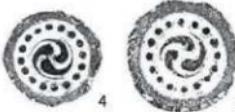
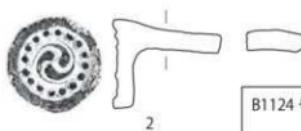
B889 号



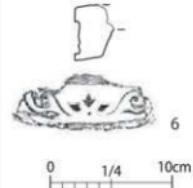
0 1/4 10cm

第 207 図 瓦 (3) (1/4)

B948 号

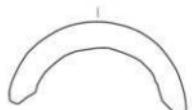
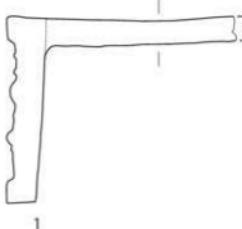


B1124 号

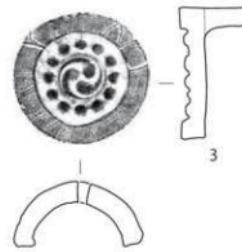


第 208 図 瓦 (4) (1/4)

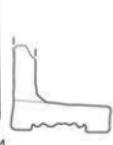
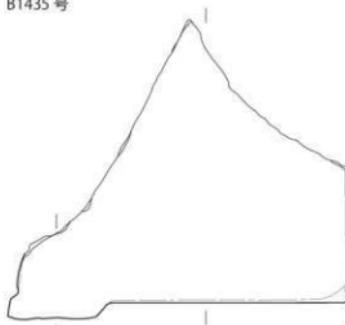
B1148号



B1401号



B1435号



5=1/1



6



7



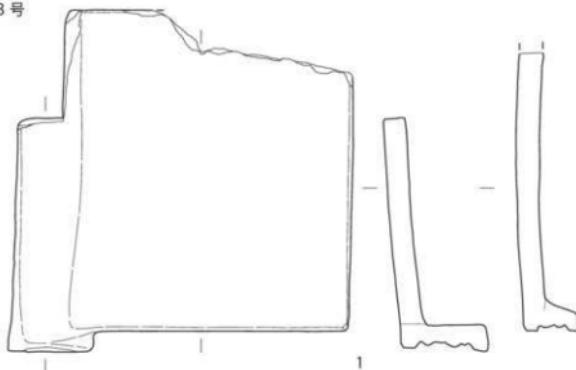
8

5=1/1

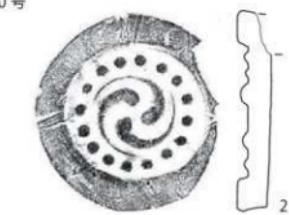
0 1/4 10cm

第209図 瓦(5)(1/4)

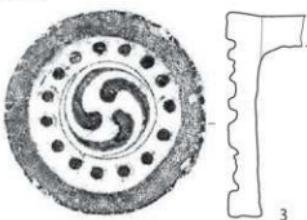
B1963 号



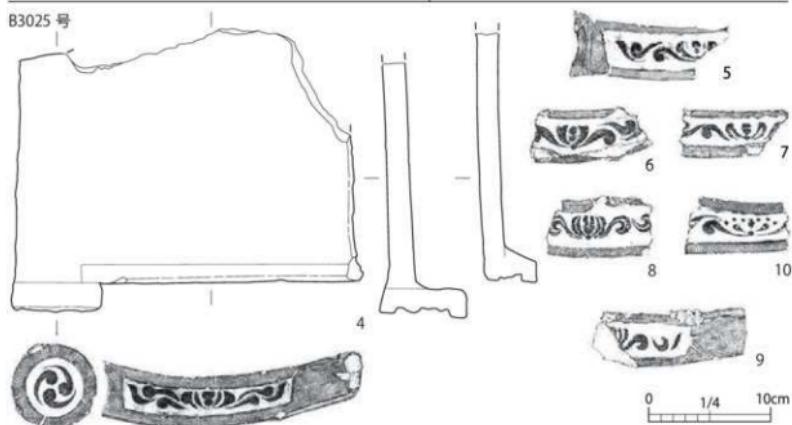
B2290 号



B2843 号

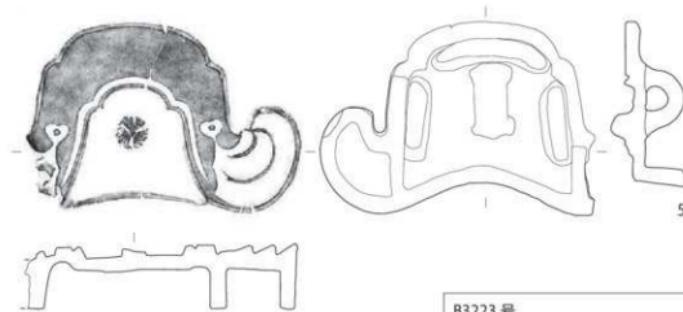
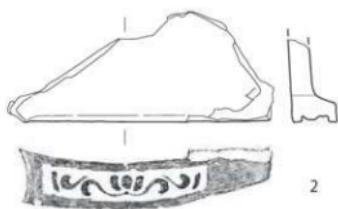
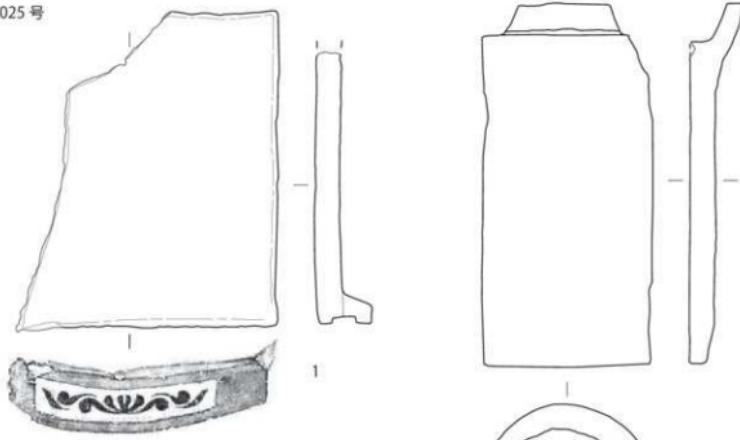


B3025 号



第 210 図 瓦 (6) (1/4)

B3025 号



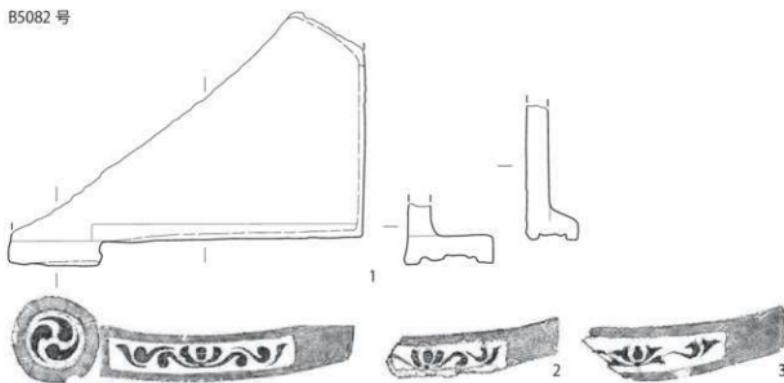
0 1/4 10cm

B3223 号

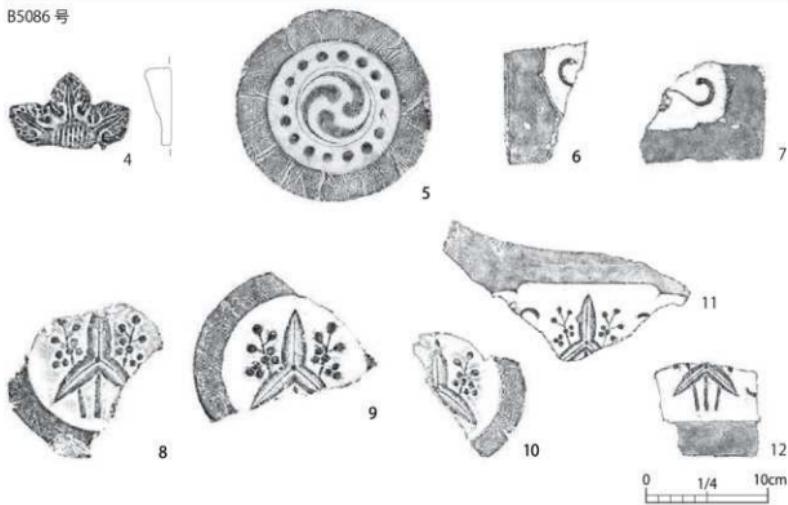


第 211 図 瓦 (7) (1/4)

B5082 号

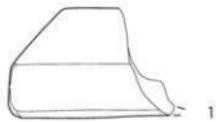
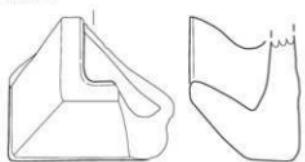


B5086 号

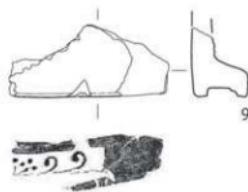


第 212 図 瓦 (8) (1/4)

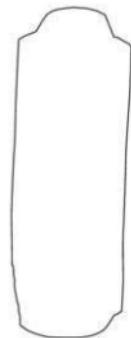
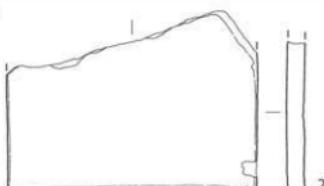
C105号



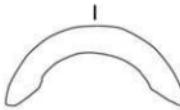
C111号



C106号



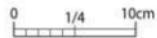
5



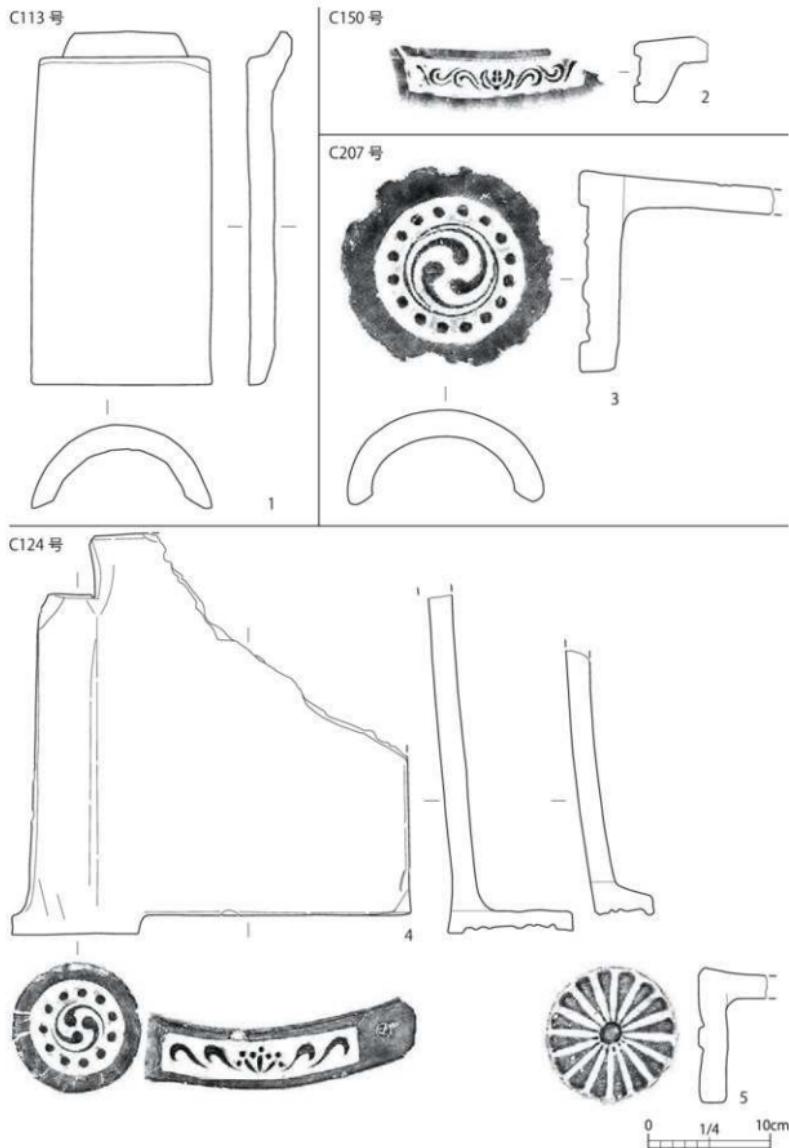
6



7

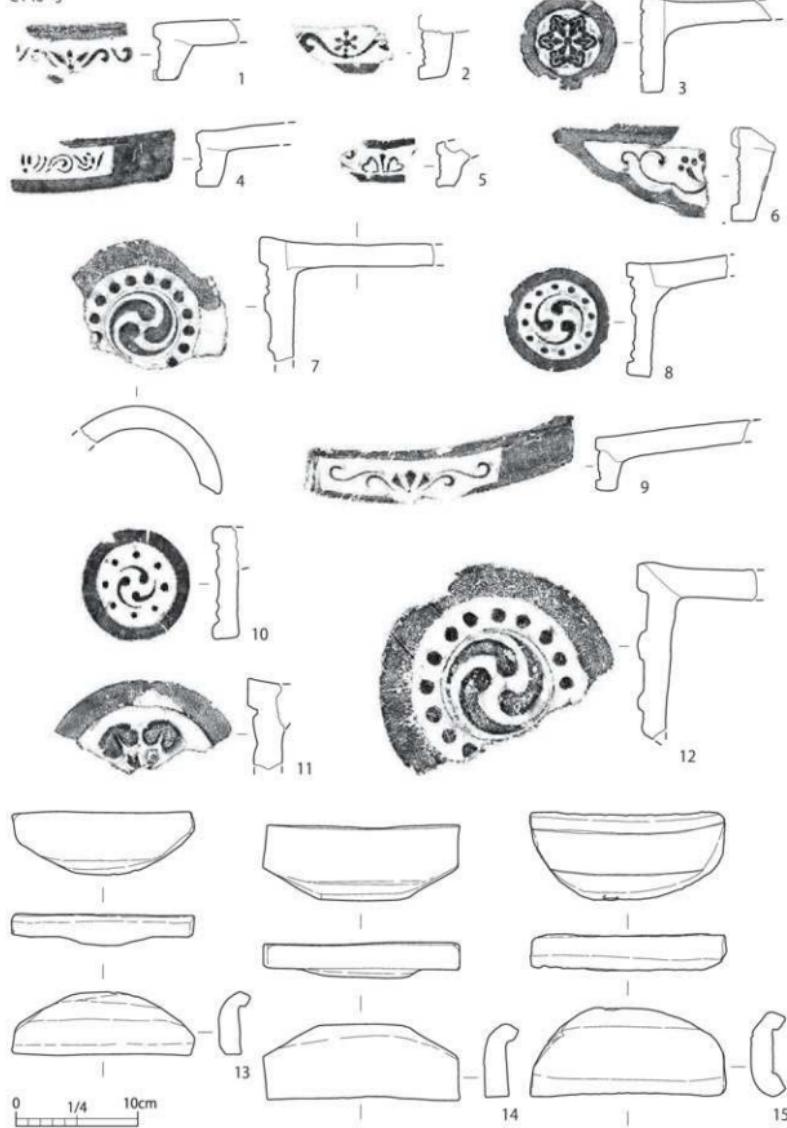


第213図 瓦(9)(1/4)



第214図 瓦(10)(1/4)

C140号

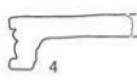
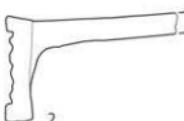


第215図 瓦(11)(1/4)

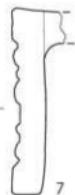
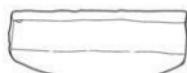
C244 号



C251 号



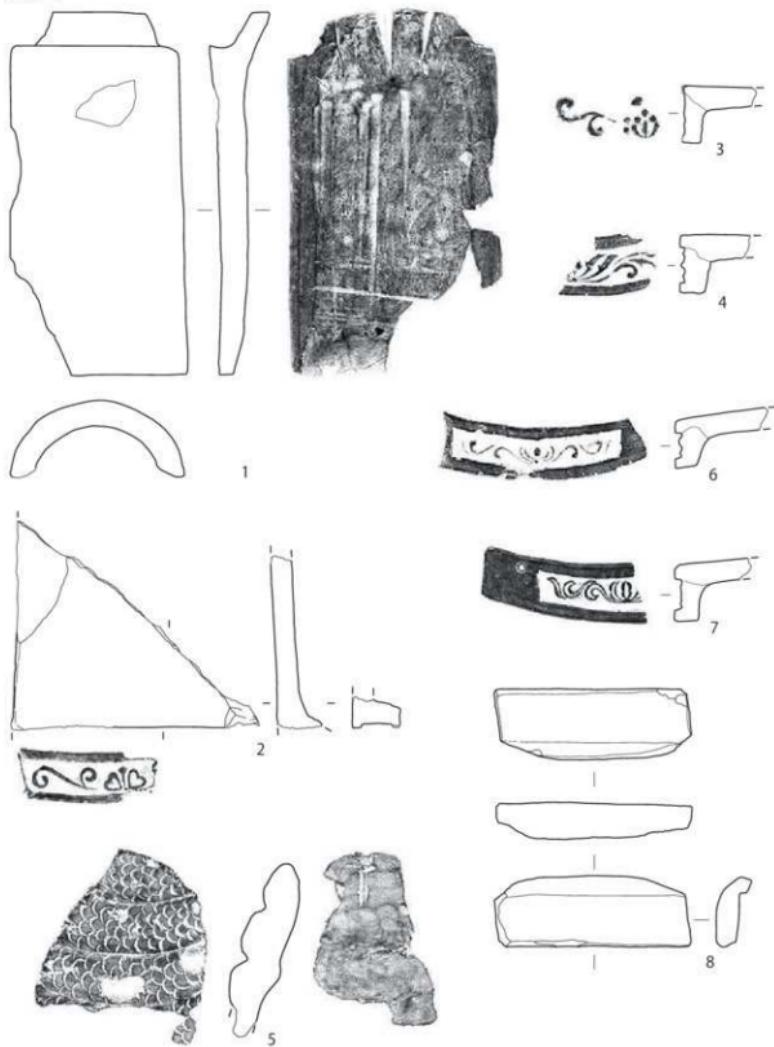
C304 号



0 1/4 10cm

第 216 図 瓦 (12) (1/4)

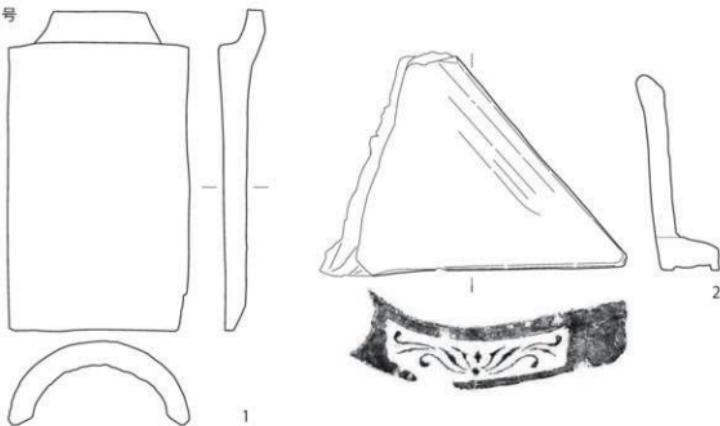
C305号



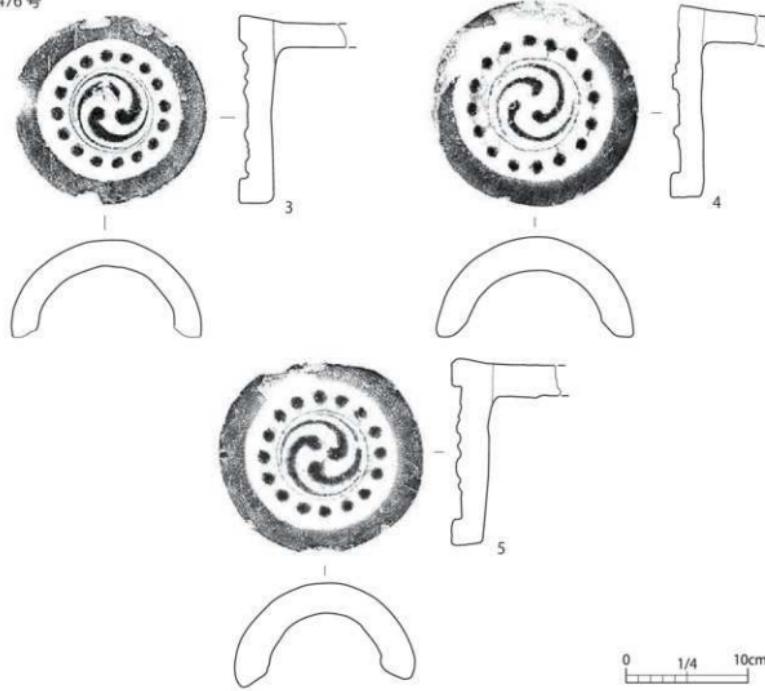
0 1/4 10cm

第217図 瓦(13)(1/4)

C473号

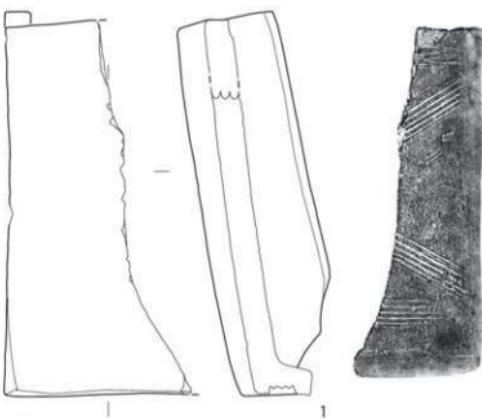


C476号



第218図 瓦(14)(1/4)

C476 号



1

1



2

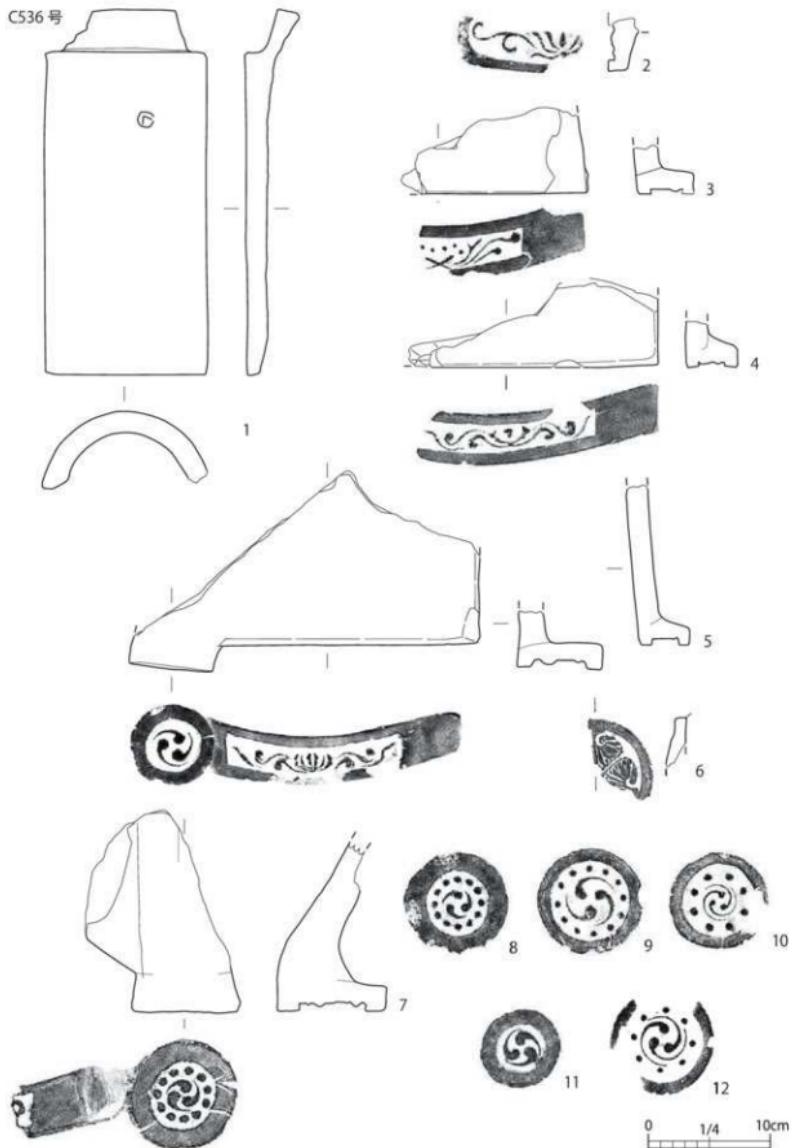
C514 号



3

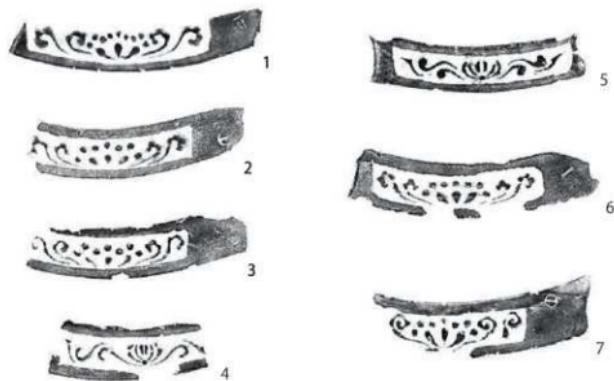
0 1/4 10cm

第 219 図 瓦 (15) (1/4)

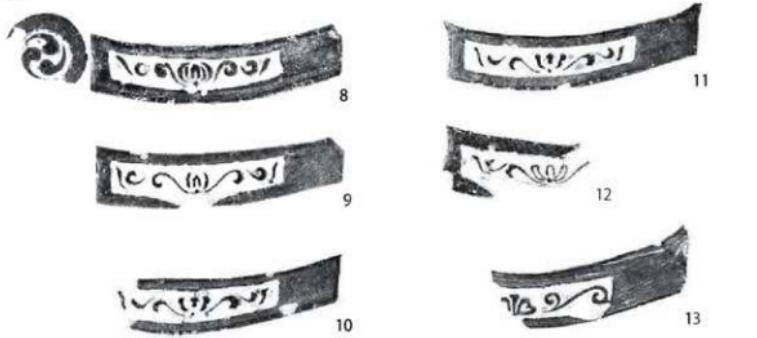


第220図 瓦 (16) (1/4)

C536 号

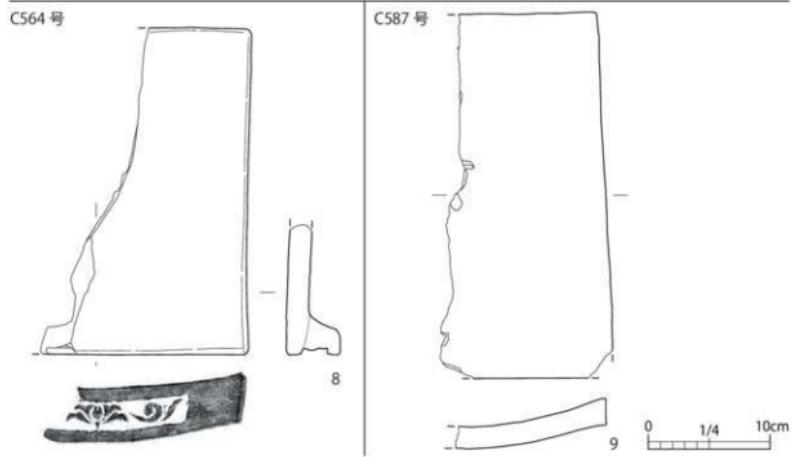
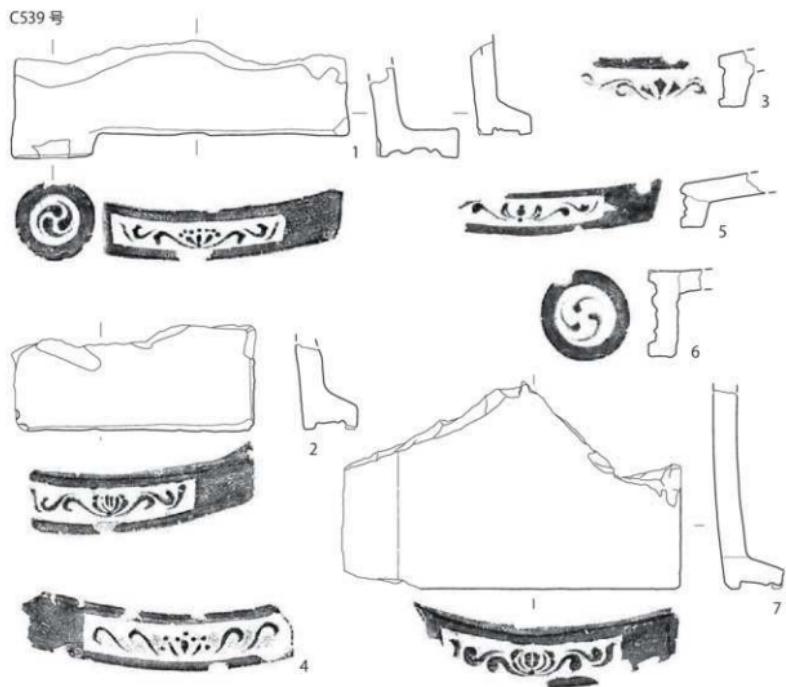


C598 号

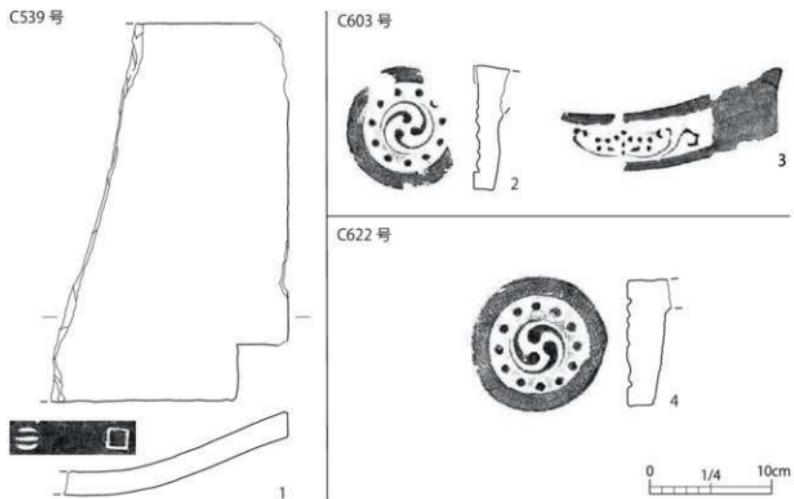


0 1/4 10cm

第 221 図 瓦 (17) (1/4)



第 222 図 瓦 (18) (1/4)



第223図 瓦 (19) (1/4)

も細い線で表される。13はD-ii類の瓦当文様を持つ。

C539号 (第222図1~7)

1~5・7はいずれも軒棟瓦である。1は瓦当文様を持つが両端に子葉が表現され、文様構成はA種に近い。中心飾りは4にみられるC-i類似する。2・4・7の瓦当文様はA種であるが、中心飾りや唐草、子葉の表現は様々である。

C564号 (第222図8)

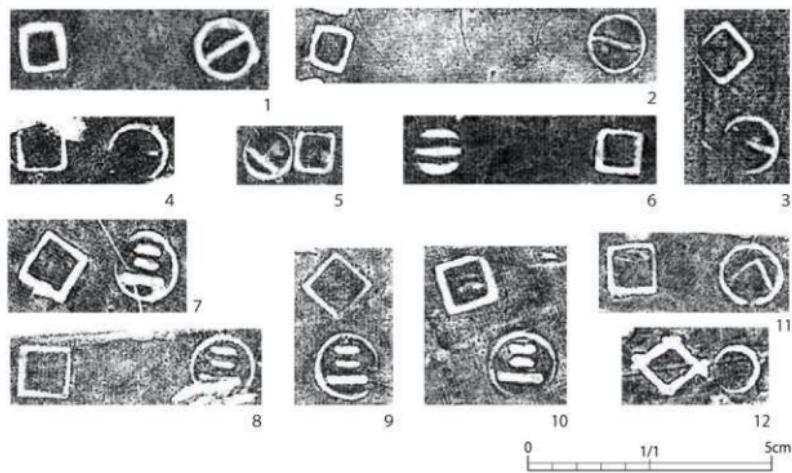
A種と考えられる瓦当文様を有する。唐草、子葉は他に見られるA種のものと同様であるものの、中心飾りの脇がくびれを有するというよりはY字状をなす個別の文様に表されるものである。全長から、8寸の規格に相当すると言える。

刻印をもつ瓦はB区で284例、C区で52例、合計336例確認された。いずれも完形および破片を合わせての数量で、接合可能なものは接合したうえで計数しているが、接合不可能なものの同一個体である可能性があるものを含む。挿図では、2個所に押印したものは別に示した。刻印の詳細は第74表を参照いただきたい。

(寺西朗平)



第224図 B・C区出土瓦刻印（1）(1/1)



第225図 B・C区出土瓦刻印(2)(1/1)

第71表 瓦観察表(1)

番号	出土 地點	種類	文様	刻印	法量 (mm)			胎土	表面 色調	備考	整理 番号	
					瓦当径	長さ	幅					
205	1 B1 号	軒桟瓦?						灰色砂質	暗灰色		22111	
205	2 B1 号	軒桟瓦?						灰色砂質	暗灰色		22110	
205	3 B275 号	軒桟瓦	右巴文 8 珠 江戸式 A II K		75	283	283	280	灰色砂質	暗灰色	平瓦部軒側面を面取り。穿孔跡 有。	22010
205	4 B275 号	軒桟瓦	右巴文 7 珠 江戸式 B II L		82	—	—	—	灰色砂質	暗灰色		22135
205	5 B275 号	軒桟瓦			—	—	—	—	灰色砂質	暗灰色		22027
205	6 B275 号	軒桟瓦			48	—	—	—	灰色砂質	暗灰色		22028
205	7 B476 号	平瓦			(259)	271		—	灰色砂質	暗灰色		22169
206	1 B479 号	軒桟瓦	江戸式 1 Ila			—	—	—	灰色砂質	暗灰色	瓦当面折り曲げ	22024
206	2 B500 号	軒桟瓦	右巴文無し 江戸式 1 IFa		71	286	278	—	灰色砂質	暗灰色		22166
206	3 B502 号	軒丸瓦?	土作り墨文		—	—	—	—	灰色砂質	暗灰色		22093
206	4 B588 号	曳瓦			—	—	—	—	灰色砂質	暗灰色		22107
206	5 B597 号	軒桟瓦?	江戸式		—	—	—	—	灰色砂質	暗灰色		22045
206	6 B597 号	軒桟瓦?	江戸式		—	—	—	—	灰色砂質	暗灰色		22052
206	7 B597 号	軒桟瓦?	江戸式		—	—	—	—	灰色砂質	暗灰色		22116
207	1 B677 号	丸瓦			299	150	66	66	灰色砂質	暗灰色	表面へ少調整。内面布袋瓶。玉 縁部接合。	22101
207	2 B691 号	軒桟瓦?	その他		—	—	—	—	灰色砂質	暗灰色		22006
207	3 B808 号 新段階	樋达瓦	樋込瓦(菊丸)		(97)	—	—	—	灰色砂質	暗灰色	菊紋?	22137
207	4 B808 号 新段階	樋达瓦?			—	—	—	—	灰色砂質	暗灰色		22138
207	5 B808 号 新段階	軒桟瓦?			—	—	—	—	灰色砂質	暗灰色		22124
207	6 B808 号 新段階	軒桟瓦?			—	—	—	—	灰色砂質	暗灰色		22125
207	7 B889 号	平瓦			285	254		—	灰色砂質	暗灰色		22155
208	1 B948 号	樋达瓦(巴)	連珠三巴文右巻 16 珠		84	89	84	—	灰色砂質	暗灰色		22074
208	2 B948 号	樋达瓦(巴)	連珠三巴文右巻 16 珠		8	97	80	—	灰色砂質	暗灰色		22075
208	3 B948 号	樋达瓦(巴)	連珠三巴文右巻 16 珠		94	77	94	—	灰色砂質	暗灰色		22076
208	4 B948 号	樋达瓦(巴)?	連珠三巴文右巻 16 珠		—	—	—	—	灰色砂質	暗灰色		22077
208	5 B948 号	樋达瓦(巴)?	連珠三巴文右巻 16 珠		152	—	—	84	灰色砂質	暗灰色		22078
208	6 B1124 号	軒桟瓦	D その他		—	—	—	—	灰色砂質	暗灰色		22007
209	1 B1148 号	軒丸瓦	連珠三巴文右巻 16 珠		151	—	144	—	赤褐色砂質	暗灰色	被熱。内面布袋瓶。タール多量 に付着。	22091
209	2 B1148 号	軒桟瓦?	江戸式 1 41K		—	—	—	—	灰色砂質	暗灰色		22046
209	3 B1401 号	軒丸瓦	連珠三巴文右巻 12 珠		109	304		—	灰色砂質	暗灰色	内面布袋瓶。コビキ瓶。釣舟	22092
209	4 B1435 号	軒桟瓦	連珠三巴文右巻 12 珠 東海式 3 12	JCP作	80	—	281	—	灰色砂質	暗灰色		22019
209	5 B1435 号	軒桟瓦?	東海式		—	—	—	—	灰色砂質	暗灰色		22119
209	6 B1435 号	軒桟瓦?	東海式		—	—	—	—	灰色砂質	暗灰色		22120
209	7 B1435 号	軒桟瓦	東海式		—	—	—	—	灰色砂質	暗灰色		22020
209	8 B1435 号	軒桟瓦	東海式		—	—	—	—	灰色砂質	暗灰色		2211
210	1 B1963 号	軒桟瓦	JCP式		70	285	287	—	灰色砂質	暗灰色		22009
210	2 B2290 号	軒丸瓦	連珠三巴文右巻 16 珠		162	—	—	—	赤褐色砂質	暗灰色	被熱。	22082
210	3 R2843 号	軒丸瓦	連珠三巴文右巻 15 珠		168	—	—	—	赤褐色砂質	暗灰色	被熱。外面へ少調整。	22081
210	4 B3025 号	軒桟瓦	江戸式		72	—	287	—	灰色砂質	暗灰色		22012
210	5 R3025 号	軒桟瓦	江戸式					—	灰色砂質	暗灰色		22128
210	6 R3025 号	軒桟瓦?	江戸式					—	灰色砂質	暗灰色		22042
210	7 R3025 号	軒桟瓦?	江戸式					—	灰色砂質	暗灰色		22043
210	8 R3025 号	軒桟瓦?	江戸式			309	—	—	灰色砂質	暗灰色		22031
210	9 R3025 号	軒桟瓦?	江戸式					—	灰色砂質	暗灰色		22030
210	10 R3025 号	軒桟瓦?	東海式					—	灰色砂質	暗灰色		22130
211	1 R3025 号	軒桟瓦?	江戸式		—	—	—	—	灰色砂質	暗灰色		22014
211	2 R3025 号	軒桟瓦	江戸式		—	—	—	—	灰色砂質	暗灰色		22023
211	3 R3025 号	丸瓦			—	—	—	295	14	62	灰色砂質	暗灰色
211	4 R3025 号	軒桟瓦?	連珠三巴文右巻 12 珠		83	—	—	—	灰色砂質	暗灰色		22362
211	5 R3025 号	曳瓦			—	—	—	—	灰色砂質	暗灰色		22170

第72表 瓦観察表（2）

測量番号	出土地点	種類	文様	鉢印	法量 (mm)			胎土	表面色調	備考	整理番号
					瓦当径	長さ	幅				
211 6	B3223号	軒桟瓦?			—	—	—	灰色砂質	暗灰色		22005
212 1	B5082号	軒桟瓦	江戸式		73	—	292	灰色砂質	暗灰色		22013
212 2	B5082号	軒桟?	江戸式		—	—	—	灰色砂質	暗灰色		22044
212 3	B5082号	軒桟?	江戸式		—	—	—	灰色砂質	暗灰色		22054
212 4	B5086号	不明	五葉葵文		—	—	—	灰色砂質	暗灰色	攤乱?	22139
212 5	B5086号	丸瓦	連珠三巴文右巻16株		—	—	—	灰色砂質	暗灰色		22067
212 6	B5086号	不明			—	—	—	灰色砂質	暗灰色		22064
212 7	B5086号	不明			—	—	—	灰色砂質	暗灰色		22063
212 8	B5086号	丸瓦	沢瀉文		—	—	—	灰色砂質	暗灰色		22070
212 9	B5086号	丸瓦	沢瀉文		—	—	—	灰色砂質	暗灰色		22072
212 10	B5086号	丸瓦	沢瀉文		—	—	—	灰色砂質	暗灰色		22071
212 11	B5086号		沢瀉文		—	—	—	灰色砂質	暗灰色		22068
212 12	B5086号	不明	沢瀉文		—	—	—	灰色砂質	暗灰色		22067
213 1	C105号	不明			—	—	—	90	灰色砂質	暗灰色	22523
213 2	C106号	平瓦			—	204	—	灰色砂質	暗灰色		22004
213 3	C106号	軒丸瓦			107	—	—	灰色砂質	暗灰色		22117
213 4	C106号	軒平瓦	東面式		—	—	—	灰色砂質	暗灰色		22094
213 5	C106号	丸瓦			272	95	45	灰色砂質	暗灰色		22026
213 6	C106号	丸瓦			292	145	65	灰色砂質	暗灰色		22086
213 7	C106号	軒桟瓦?	六葉葵文		—	—	—	灰色砂質	暗灰色		22265
213 8	C111号	軒桟瓦?	江戸式		—	—	—	灰色砂質	暗灰色		22120
213 9	C111号	軒桟瓦?	東面式		—	—	—	灰色砂質	暗灰色		22119
214 1	C113号	丸瓦			290	143	68	灰色砂質	暗灰色		22087
214 2	C150号	軒桟瓦			—	—	—	灰色砂質	暗灰色		22416
214 3	C207号	軒丸瓦			165	—	—	灰色砂質	暗灰色		22073
214 4	C124号	軒桟瓦	左巴文11株		—	328	327	灰色砂質	暗灰色		22023
214 5	C124号	櫛込瓦(菊丸)			110	—	—	灰色砂質	暗灰色		22098
215 1	C140号	軒桟瓦?	その他		—	—	—	灰色砂質	暗灰色		22128
215 2	C140号	軒桟瓦?	その他		—	—	—	灰色砂質	暗灰色		22130
215 3	C140号	軒桟瓦?	六葉葵文		90	—	—	灰色砂質	暗灰色		22266
215 4	C140号	軒桟瓦?	江戸式		—	—	—	灰色砂質	暗灰色		22412
215 5	C140号	軒桟瓦?	その他		—	—	—	灰色砂質	暗灰色		22384
215 6	C140号	軒平瓦	東面式		—	—	—	灰色砂質	暗灰色		22099
215 7	C140号	軒丸瓦			(150)	—	—	灰色砂質	暗灰色		22055
215 8	C140号	軒桟瓦			85	—	—	灰色砂質	暗灰色	家紋?	22342
215 9	C140号	軒桟瓦	その他		—	—	—	灰色砂質	暗灰色		22385
215 10	C140号	軒桟瓦?			79	—	—	灰色砂質	暗灰色		22326
215 11	C140号	軒丸瓦?	六葉葵文		—	—	—	灰色砂質	暗灰色		22060
215 12	C140号	軒丸瓦			(170)	—	—	灰色砂質	暗灰色		22059
215 13	C140号	面戸瓦			52	150	—	灰色砂質	暗灰色		22507
215 14	C140号	面戸瓦			63	161	—	灰色砂質	暗灰色		22510
215 15	C140号	面戸瓦			69	16	—	灰色砂質	暗灰色		22006
216 1	C244号	軒丸瓦			154	—	—	灰色砂質	暗灰色		22066
216 2	C251号	軒桟瓦			85	—	—	灰色砂質	暗灰色		22329
216 3	C251号	軒桟瓦?	江戸式		—	—	—	灰色砂質	暗灰色		22158
216 4	C251号	軒桟瓦	東面式	鉢印	—	—	—	灰色砂質	暗灰色		22159
216 5	C304号	面戸瓦			57	147	—	灰色砂質	暗灰色		22511
216 6	C304号	丸瓦?		丸・四角	—	147	71	灰色砂質	暗灰色		22027
216 7	C304号	軒丸瓦			153	—	—	灰色砂質	暗灰色		22067
217 1	C305号	丸瓦			297	142	62	灰色砂質	暗灰色		22089
217 2	C305号	軒桟瓦?	その他		—	—	—	灰色砂質	暗灰色		22162
217 3	C305号	軒桟瓦?			—	—	—	灰色砂質	暗灰色		22163
217 4	C305号	軒桟瓦?			—	—	—	灰色砂質	暗灰色		22392
217 5	C305号	不明		蟠伏	—	—	—	灰色砂質	暗灰色	表面に蟠伏の文様を表現し、蛇が蟠伏をまく姿の一部にみえる。龍または牛首神像の一部分か。	22103

第73表 瓦観察表（3）

測量番号	出土 地点	種類	文様	鉢印	法量 (mm)			胎土	表面 色調	備考	整理 番号
					瓦当径	長さ	幅				
217 6	C305 号	軒桟瓦?	江戸式		—	—	—	灰色砂質	暗灰色		22419
217 7	C305 号 上刷	軒桟瓦?	江戸式	丸	—	—	—	灰色砂質	暗灰色		22420
217 8	C305 号	面戸瓦			59	162	—	灰色砂質	暗灰色		22513
218 1	C473 号	丸瓦			263	148	69	灰色砂質	暗灰色		22090
218 2	C473 号	軒平瓦			—	—	—	灰色砂質	暗灰色	鋼瓦	22394
218 3	C476 号	軒桟瓦?			153	—	—	灰色砂質	暗灰色	被熱。	22074
218 4	C476 号	軒桟瓦?			—	—	—	灰色砂質	暗灰色		22077
218 5	C476 号	軒桟瓦?			—	—	—	灰色砂質	暗灰色		22078
219 1	C476 号	袖瓦			316	—	—	灰色砂質	暗灰色		22541
219 2	C476 号	軒桟瓦?			154	—	—	灰色砂質	暗灰色		22080
219 3	C514 号	軒丸瓦			—	—	—	灰色砂質	暗灰色		22082
220 1	C536 号	丸瓦			300	135	63	灰色砂質	暗灰色		22044
220 2	C536 号	軒桟瓦?			—	—	—	灰色砂質	暗灰色	胎土に雲母?	22191
220 3	C536 号	軒桟瓦?	東海式		—	—	—	灰色砂質	暗灰色		22198
220 4	C536 号	軒桟瓦?	江戸式		—	—	—	灰色砂質	暗灰色		22200
220 5	C536 号	軒桟瓦	江戸式		67	—	284	灰色砂質	暗灰色		22190
220 6	C536 号	不明	三葉蔓文	(96)	—	—	—	灰色砂質	暗灰色	瓦瓦等への貼付部分が剥落したもののか?	22433
220 7	C536 号	軒丸瓦			88	—	—	灰色砂質	暗灰色	鋼瓦	22545
220 8	C536 号	軒桟瓦?			87	—	—	灰色砂質	暗灰色	段?	22336
220 9	C536 号	軒桟瓦?	左巴文12珠		87	—	—	灰色砂質	暗灰色	葵	22349
220 10	C536 号	軒桟瓦?	右巴文8珠		71	—	—	灰色砂質	暗灰色		22334
220 11	C536 号	軒桟瓦	左巴文		68	—	—	灰色砂質	暗灰色		22295
220 12	C536 号	軒桟瓦?	右巴文8珠		—	—	—	灰色砂質	暗灰色		22335
221 1	C536 号	軒桟瓦	東海式		—	—	—	灰色砂質	暗灰色		22187
221 2	C536 号	軒桟瓦?	東海式		—	—	—	灰色砂質	暗灰色		22195
221 3	C536 号	軒桟瓦?	東海式		—	—	—	灰色砂質	暗灰色		22199
221 4	C536 号	軒桟瓦?	江戸式		—	—	—	灰色砂質	暗灰色		22201
221 5	C536 号	軒桟瓦	江戸式		—	—	—	灰色砂質	暗灰色		22426
221 6	C536 号	軒桟瓦	東海式		—	—	—	灰色砂質	暗灰色		22196
221 7	C536 号	軒桟瓦?	東海式		—	—	—	灰色砂質	暗灰色		22202
221 8	C598 号	軒桟瓦	江戸式		—	—	—	灰色砂質	暗灰色		22227
221 9	C598 号	軒桟瓦	江戸式		69	—	277	灰色砂質	暗灰色		22228
221 10	C598 号	軒桟瓦	江戸式		—	—	—	灰色砂質	暗灰色		22230
221 11	C598 号	軒桟瓦	江戸式		—	—	—	灰色砂質	暗灰色		22232
221 12	C598 号	軒桟瓦	江戸式		—	—	—	灰色砂質	暗灰色		22235
221 13	C598 号	軒桟瓦?	その他		—	—	—	灰色砂質	暗灰色		22406
222 1	C539 号	軒桟瓦	東海式		—	278	—	灰色砂質	暗灰色		22210
222 2	C539 号	軒桟瓦	江戸式		—	—	—	灰色砂質	暗灰色		22213
222 3	C539 号	軒桟瓦?	その他		—	—	—	灰色砂質	暗灰色		22398
222 4	C539 号	軒桟瓦	東海式		—	—	—	灰色砂質	暗灰色		22212
222 5	C539 号	軒桟瓦?	江戸式		—	—	—	灰色砂質	暗灰色		22214
222 6	C539 号	軒桟瓦?			(70)	—	—	灰色砂質	暗灰色		22297
222 7	C539 号	軒桟瓦	江戸式		278	—	—	灰色砂質	暗灰色		22428
222 8	C564 号	軒桟瓦?	その他		—	234	—	灰色砂質	暗灰色		22225
222 9	C587 号	平瓦		鉢印	300	—	—	灰色砂質	暗灰色	被熱?	22449
223 1	C539 号	平瓦			308	—	—	灰色砂質	暗灰色		22031
223 2	C603 号	軒丸	11珠		101	—	—	灰色砂質	暗灰色		22236
223 3	C603 号	軒桟瓦?	東海式		—	—	—	灰色砂質	暗灰色		22037
223 4	C622 号	軒桟瓦			104	—	—	灰色砂質	暗灰色		22375

第74表 瓦刻印一覧表

銘載番号 拂岡 番号	出土 地点	資料	判読 内容	備考	銘載番号 拂岡 番号		出土 地点	資料	判読 内容	備考
					拂岡 番号	拂岡 番号				
224 1	B1号	第205図2	江戸作		224 57	B1509号		井桁彌		
224 2	B1435号		江戸作		224 58	B2275号				
224 3	B1435号		江戸作		224 59	B800号				
224 4	B279号		江戸作		224 60	B1132号				
224 5	B1401号		江戸作		224 61	B1435号		丸一		
224 6	B3-31K		江戸作		224 62	B2-14K		丸一		
224 7	B1435号		山形二		224 63	B808号		丸一		
224 8	B1435号				224 64	B1435号		丸一		
224 9	B161号		ヤマ本		224 65	B1435号		丸一		
224 10	B161号		ヤマ本		224 66	B1435号		丸二		
224 11	B251号		ヤマ本		224 67	B1505号		丸二		
224 12	B2419号		ヤマ本		224 68	B808号		丸三		
224 13	B1-4K		卌		224 69	B342号		丸三		
224 14	B479号		丸上		224 70	B808号		丸三		
224 15	B1435号		丸上		224 71	B808号				
224 16	B3025号		丸上		224 72	B808号				
224 17	B788号		丸寿		224 73	B808号		丸十		
224 18	B2796号		丸寿		225 1	B1522号		四角・丸一		
224 19	B372号		丸五?		225 2	B1522号		四角・丸一		
224 20	B765号		丸半?		225 3	C304号		四角・丸一		
224 21	B1522号		丸半?		225 4	B372号		四角・丸一		
224 22	B2722号				225 5	B933号		四角・丸上		
224 23	B2722号				225 6	C539号	第223図1	四角・丸二		
224 24	B3070号				225 7	B1522号		四角・丸三		
224 25	B2-3K		丸弗		225 8	B2495号		四角・丸三		
224 26	B2722号				225 9	B1-31K		四角・丸三		
224 27	B2722号				225 10	B1998号		四角・丸三		
224 28	B1453号		李尾國	柳あり	225 11	B2103号		四角・丸力半		
224 29	B890号		弓	柳あり	225 12	B1522号		井桁彌・丸		
224 30	B2-1K		丸小							
224 31	B2288号			柳あり						
224 32	B275号	第205図4	丸川田	柳あり						
224 33	B2-31K		卌							
224 34	B808号		不明							
224 35	B1号	第205図1	丸作							
224 36	B1522号									
224 37	B2571号		丸力半							
224 38	B2741号		ヤマ							
224 39	B477号									
224 40	B499号		ヤマ庄製							
224 41	B275号									
224 42	B372号		武田婆							
224 43	B808号									
224 44	B2722号		三鱗							
224 45	B5082号		三鱗							
224 46	B211号		三角							
224 47	B3025号		三角							
224 48	B479号		ヤマ							
224 49	B2135号		ヤマ							
224 50	B479号		丸							
224 51	B338号		丸							
224 52	B479号		丸							
224 53	B3083号		四角							
224 54	B251号		四角							
224 55	B808号									
224 56	B372号		丸十							



第226図 陶磁器・瓦転用品 (1/2・1/3)

第 75 表 陶磁器・瓦転用品観察表

面積番号 種別 種類	出土 地點	種別	器種	平面 形状	詳細	残存率 (%)	法量 (mm)			整理 番号	
							長さ	幅	厚み		
226 1	B468 号	磁器	碗	円形	側面を円形に打ち欠き / おはじきか	100	12.3	12.5	3	0.7	1
226 2	B745 号	平瓦		二角形	側面・正面に研磨痕 / 砥石	100	65	58	21	76.6	7
226 3	B808 号	磁器	碗	円形	側面を円形に打ち欠き / おはじきか	100	18	17.5	4.6	1.8	14
226 4	B1522 号	磁器	碗	円形	側面を円形に打ち欠き / おはじきか	100	18	18.7	4.5	2.3	11
226 5	B2290 号	平瓦		方形	正面に複数の研磨痕 / 砥石	100 か	136	104	24	35.5	52
226 6	B2748 号	平瓦		方形	正面中央に長方形の抉り / 瓦未完成か	60	52	42	20	58.3	15
226 7	B2769 号	土器	皿	円形	側面を円形に打ち欠き / 用途不明	100	95.5	96	6.5	107	16
226 8	B3084 号	平瓦		円形	側面を円形に打ち欠き / 用途不明	100	99	104	18	193.6	65
226 9	B5082 号	平瓦		二角形	全面に研磨痕 / 砥石	100	93	83	16.5	107	23
226 10	B5086 号	平瓦		円形	側面に研磨痕 / 砥石	100	61	60	21	86.4	27
226 11	B5086 号	平瓦		椭円形	側面・正面に研磨痕 / 砥石	100	80	38	20	68.9	69
226 12	C244 号	平瓦		方形	正面中央に長方形の抉り / 用途不明	100	124	90.5	29	327.5	40
226 13	C251 号	平瓦		方形	全面に研磨痕 / 砥石	100	57	43	13	39.8	44
226 14	C251 号	平瓦		円形	側面を円形に打ち欠き / 用途不明	100	53.5	55.5	16.5	59.3	32
226 15	C305 号 土器	平瓦		円形	側面に研磨痕 / 砥石	100	65.5	63.5	23.6	108	33
226 16	C536 号	陶器	蓋	円形	側面を円形に打ち欠き / 用途不明	100	62	62	5	209	35
226 17	C536 号	陶器	盤	円形	側面を円形に打ち欠き / 用途不明	100	179	178	21	690	37

(3) 陶磁器・土器・瓦転用品 (第 226 図、第 75 表)

陶磁器・土器・瓦の破片を打ち欠いて再利用したものを転用品とした。円形に打ち欠いたものは、周囲を研磨し平滑に仕上げたものと未加工のものがある。また不定形で研磨の痕跡を残すものもあり、これらは砥石として転用されたものと考えられる。

第 226 図 1 は B468 号出土で、染付磁器を円形に打ち欠いていたおはじきと考えられる。2 は B745 号出土で、瓦の破片を用いた転用砥石で、周縁と平坦面に研磨の痕跡が認められる。B808 号出土の 3、B1522 号の 4 はいずれも染付磁器を円形に打ち欠いたおはじきと考えられる。5 は B2290 号出土で、瓦の平坦面に数条の溝が認められ、鋭利な刃物等に用いられた砥石と考えられる。B2748 号の 6 は、瓦の破片の平坦面に方形の抉りが入ったもので、硯の未完成であろうか。7 は B2769 号出土で、土器皿の底部を円形に打ち欠いている。周縁は未加工で、鍋敷きと考えられる。B3084 号出土の 8 は瓦の円形に打ち欠いているが、用途は不明である。9 は B3084 号出土で、瓦の破片を研磨した砥石で、1 側面以外全面が使用される。B5086 号出土の 10・11 は、いずれも瓦の破片を研磨した砥石である。C244 号出土の 12 は、瓦の破片の平坦面に方形の抉りが入ったもので、硯の未完成であろうか。C251 号出土の 13 は瓦の破片を研磨した砥石で、全面が使用される。同遺構出土の 14 は、瓦の円形に打ち欠いたもので、8 と同様にその他の加工痕や使用痕が見られない。C305 号出土の 15 は、瓦の破片を研磨した砥石で、全面が使用される。C536 号出土の 16 は陶器、17 は擂鉢を円形に打ち欠いている。16 は用途が不明であるが、17 は鍋敷きと考えられる。

(4) 土製品・ミニチュア(第227~250図、第76~81表)

土製品・ミニチュアは、磁器・陶器・土器を材質とし、破片も含めて多種多様な資料が出土している。以下では、東京大学構内遺跡出土資料の分類(安芸・小林・堀内2012)を基本とし、人形・器物・建造物・遊具の各種の特徴を記す。

人形のうち、ひと形となるものでは、天神は陶器で彩色される第243図10等があり、恵比寿と大黒はB808号において土師質のものが共伴する(第228図3・4)。西行は立像と坐像の2種があり、立像には土師質でほぼ完形の第230図1、坐像には陶器で彩色が施される第239図1がある。袴人形には第229図9、唐人は陶器の第241図5、朝鮮通信使は土師質の第248図11・12、虚無僧は陶器の第240図2や磁器で上絵付とされる第236図8、姉様は土師質の第231図7が代表的な例である。ぶら人形は第246図4にあるが全体としては少数で、その他の意匠としては、第246図3の亀乗り童子、第234図1のお茶を注ぐ人物坐像等がある。

動物形には、第242図6の陶器で緑釉が施される獅子、猿は第238図13のいわゆる言わ猿や、笠を被った第244図1がある。犬は第232図7・8に小形のものがあり、馬は第240図4の荷を積んだものや、第241図6の脚を欠くものがある。哺乳動物として他に、第249図1の土師質の狐、第229図6の染付の兎等がみられる。鳥類としては、第231図8の土師質の鳩、第249図4の同じく土師質の鶴、第230図8は鷺鳶で、第231図3は陶器の水鳥と考えられる。亀は第232図9のように陶器で鉄軸としたものが多い。第238図7は蟬の羽根、第231図2は狸であろうか。

その他の人形として、首人形は第227図19で人物、第249図6で狐をモチーフとする。

器物は、第227図3等の磁器碗にバリエーションが多く、陶器碗には第244図9がある。皿も多種があり、第233図6の染付のものや、輪花状の第246図6、第234図11は扁状を呈する。鉢は土師質の第227図9、蓋物は染付の第228図12、銚子は土師質で施釉された第227図2、瓶はベコかん形の第246図14や瓢箪形の同図12などがある。片口鉢には緑釉の第246図16、土瓶は第242図26の同じく緑釉のもの、第233図14の鍋は陶器で鉄軸が施される。釜はB808号で茶釜と羽釜が共伴する(第228図17・18)。擂鉢は土師質の第227図7、陶器で貯釉が施された第244図15がある。蓋もまた多様で、第231図12の土瓶蓋、土師質で平たい第238図2、釜蓋の第243図2等がある。その他、第239図15は染付の香炉、第231図11は水注、第249図10は器台、第245図7は七厘、第241図2は竈、第250図3は硯、第244図16は瓶掛であろう。模造貨としては、第244図21の南鎌二朱銀の模造貨には、表面に「銀座常賣」、裏面に「此南鎌八十テモ不成小判一両」とある。また同図22の文政一分金の模造貨では、表面に「ニセ」、裏面に「光次(花押)」の文字を読み取ることができる。

建造物では、第230図8の祠、第241図4の三重塔、第249図16の城郭、第247図3の橋、第249図17の塙があり、第234図7は民家の屋根であろう。

遊具では、第227図14の土鈴、第247図5の鳩笛、第242図15の碁石状土製品は表面が黒彩される。面模は第235図11が鬼、第242図13が狐をモチーフとするものである。第227図17の泥面子は両面に意匠があり、芥子面は第243図8等があるが、いずれも数量は限定的である。

その他、土製の温石である第242図16には、丸枠に「熊」の押印がなされる。



第227図 土製品・ミニチュア(1) (1/2)



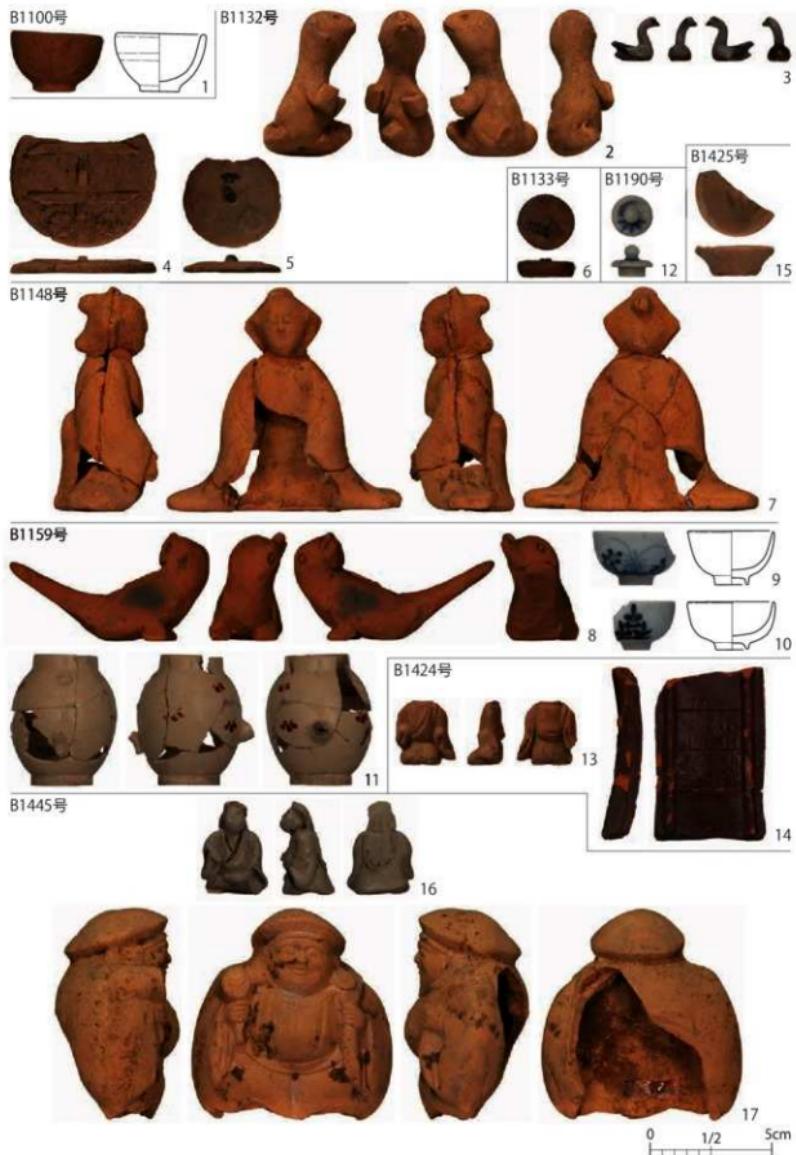
第228図 土製品・ミニチュア(2) (1/2)



第229図 土製品・ミニチュア(3)(1/2)



第230図 土製品・ミニチュア(4)(1/2)



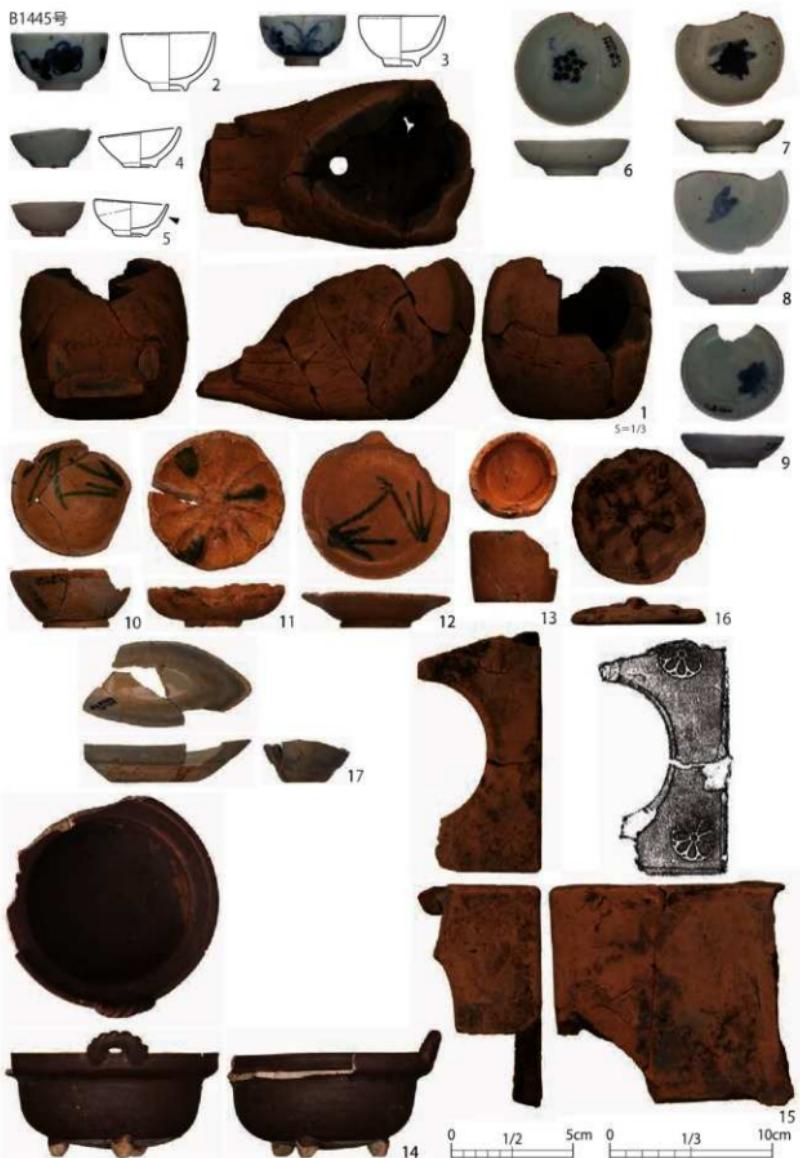
第231図 土製品・ミニチュア(5) (1/2)

B1445号



第232図 土製品・ミニチュア (6) (1/2)

B1445号



第233図 土製品・ミニチュア (7) (1/2・1/3)



第 234 図 土製品・ミニチュア (8) (1/2)



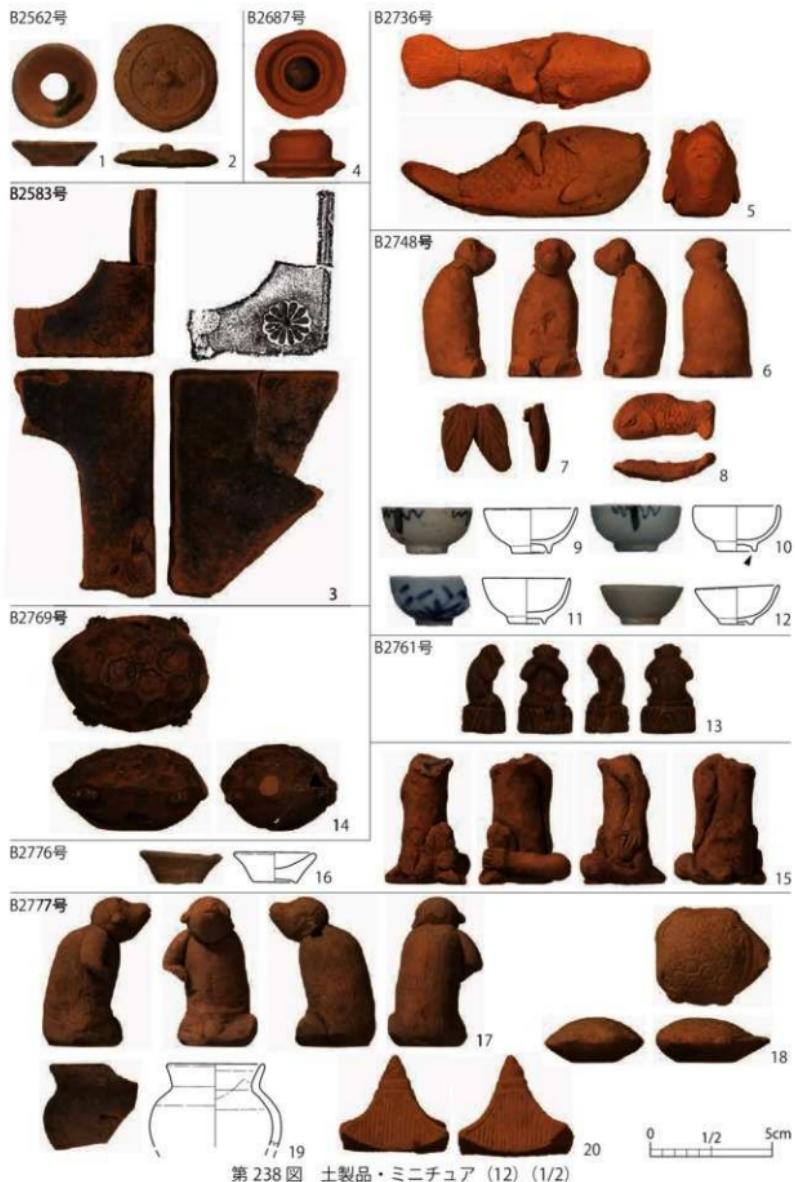
第235図 土製品・ミニチュア(9) (1/2)



第236図 土製品・ミニチュア(10) (1/2)



第 237 図 土製品・ミニチュア (11) (1/2)



第238図 土製品・ミニチュア (12) (1/2)

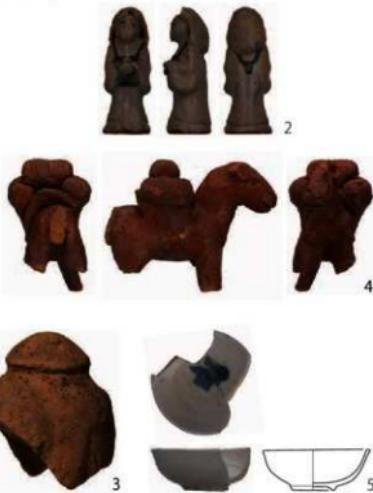


第239図 土製品・ミニチュア (13) (1/2)

B5086号



B2847号



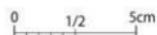
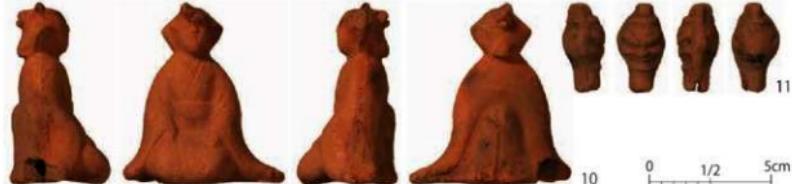
B2883号



B2889号

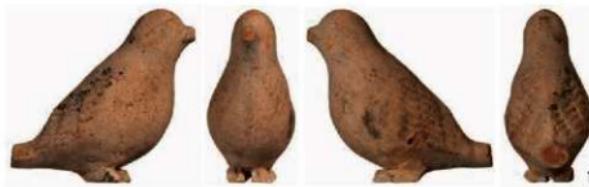


B2895号



第240図 土製品・ミニチュア (14) (1/2)

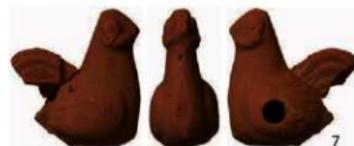
B2952号



B3023号



B3025号



0 1/2 5cm 0 1/4 10cm

第241図 土製品・ミニチュア (15) (1/2・1/4)



第242図 土製品・ミニチュア (16) (1/2)

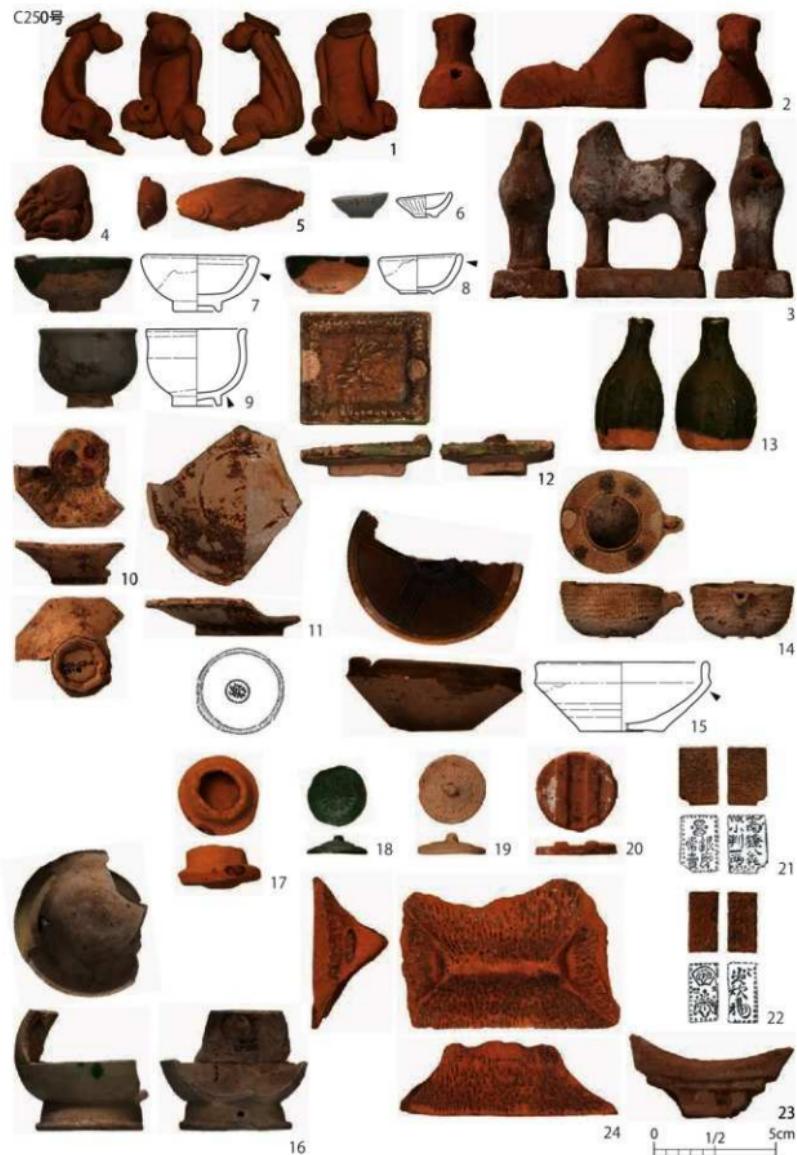
C244号



C250号



第243図 土製品・ミニチュア (17) (1/2)



第244図 土製品・ミニチュア (18) (1/2)



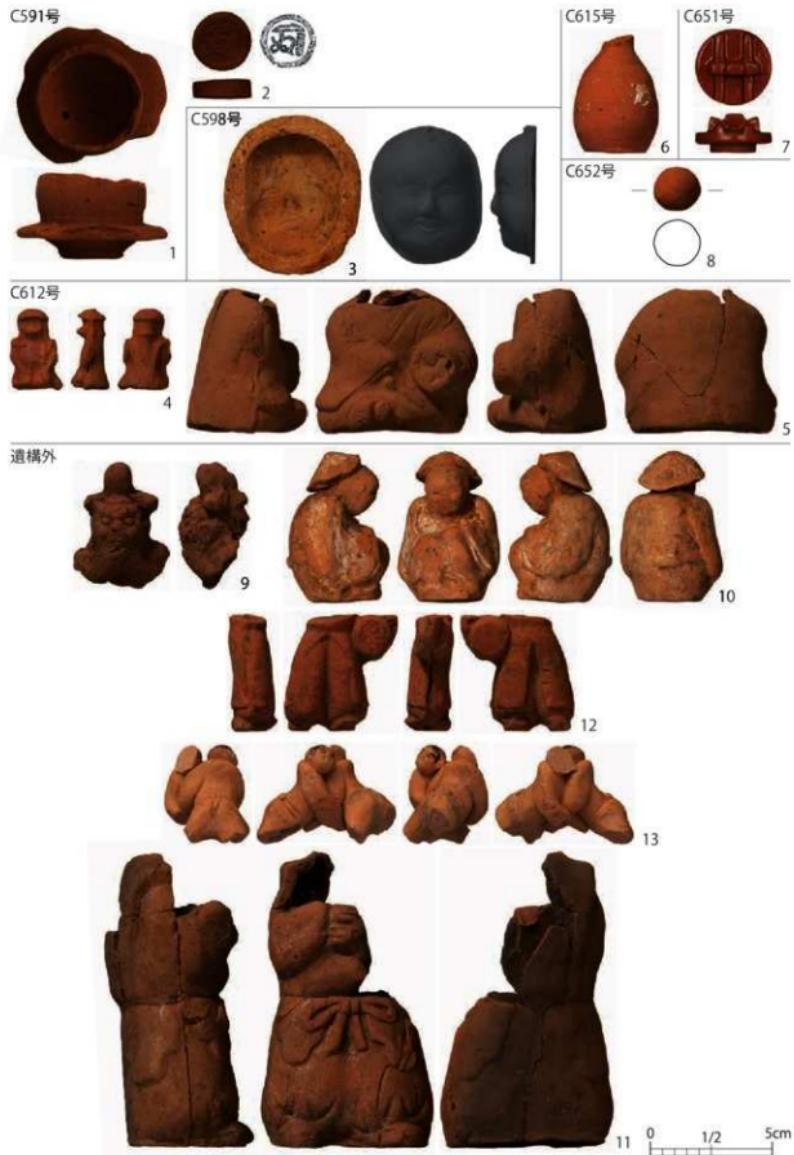
第245図 土製品・ミニチュア (19) (1/2)

C536号



第246図 土製品・ミニチュア (20) (1/2)





第248図 土製品・ミニチュア(22)(1/2)



第249図 土製品・ミニチュア (23) (1/2)

遺構外



第250図 土製品・ミニチュア (24) (1/2・1/4)

第76表 土製品・ミニチュア観察表(1)

探査番号 探査場所	出土地点	材質	種別	測定 モード	形状色	残存率 (%)	法寸 (mm)			重量 g	施物・彩色	備考	整理 番号
							長さ	幅	厚み				
227 1 B44 号	土師質 人形 大仏 棒	70 [44.8] (42.2) [30.4] 24.6 武勅 背面に刻印「大」											211512
227 2 B44 号	陶器 器物 砂子 棒	100 52.5 32.4 30.0 21.2 透明釉・緑釉											211508
227 3 B165 号	土師質 器物 砂	50 25.0 15.0 10.0 2.6 処付											211520
227 4 B165 号	陶器 器物 砂	40 60.0 29.7 24.0 15.1 武勅											211518
227 5 B171 号	土師質 器物 砂	70 34.0 18.0 14.0 5.3 透明釉											211526
227 6 B171 号	土師質 器物 砂	60 31.0 13.0 12.0 3.1 透明釉											211527
227 7 B171 号	土師質 器物 砂鉢	40 [96.0] 36.0 50.0 32.4											211516
227 8 B171 号	土師質 建造物 塔	20 50.3 [20.0] [51.8] 34.1											211531
227 9 B294 号	土師質 器物 砂	90 36.0 25.0 19.0 12.2											212427
227 10 B367 号	土師質 器物 砂	100 28.0 16.0 16.0 8.1 透明釉											211550
227 11 B367 号	土師質 建造物 塔	30 50.8 [33.7] 49.2 43.3											211545
227 12 B370 号	土師質 人形 男性座像 棒	100 41.5 45.0 27.6 20.9											211558
227 13 B371 号	土師質 人形 美 棒	100 60.5 33.1 39.7 62.9											211556
227 14 B371 号	土師質 遊具 七輪 浅黄粘	100 29.9 34.6 28.4 11.7											211554
227 15 B411 号	土師質 動物形 猫 棒	70 [25.8] 32.6 [23.8] 9.8											211565
227 16 B440 号	陶器 器物 砂	50 [49.0] 30.0 25.0 18.8											210173
227 17 B514 号	土師質 遊具 剣子 棒	100 27.8 27.7 9.5 7.6											210378
227 18 B527 号	土師質 動物形 細棒 棒	50 [35.5] [38.7] [25.5] 12.0 キラ付着											210373
227 19 B588 号	土師質 人形 俗人形 黒墨	90 [28.6] 41.6 [27.9] 21.3 キラ付着											211437
227 20 B588 号	土師質 器物 砂	90 [36.2] 35.8 38.5 63.8											210179
227 21 B588 号	陶器 建造物 民家	灰白 10 [42.5] [41.8] - 9.6 透明釉											211580
228 1 B680 号	土師質 動物形 魚	100 53.4 20.7 75.2 21.0 水色釉・茶彩											210189
228 2 B755 号	土師質 人形 朝鮮通称倭かに にふい黄粘	20 [30.2] [33.9] [22.5] 10.8											210386
228 3 B868 号	土師質 動物形 魚	80 [52.3] 60.4 8.2 18.7 キラ付着											210264
228 3 B868 号	土師質 人形 衣袖寺	100 44.0 58.9 32.9 39.6											210731
228 4 B868 号	土師質 人形 大黒天	90 32.0 5.56 24.8 29.7 キラ付着											210785
228 5 B868 号	土師質 人形 帽子	40 [36.6] [41.3] [27.5] 19.0											211401
228 6 B868 号	土師質 人形 天神	80 36.4 [28.7] 20.8 16.3 透明釉											210219
228 7 B868 号	陶器 人形 坊主人形	70 [43.6] [51.8] [52.7] 74.0											210192
228 8 B868 号	土師質 人形 不明	80 46.9 [45.5] 31.1 41.3 キラ付着											211402
228 9 B868 号	土師質 動物形 猫	30 [33.5] [43.8] [50.8] 39.8											210788
228 10 B868 号	土師質 動物形 大	40 [48.1] [60.8] 50.4 45.5											211403
228 11 B868 号	土師質 動物形 大 浅黄粘	100 9.9 13.0 16.3 0.8 武勅											210382
228 12 B868 号	土師質 器物 砂	50 [46.0] 14.0 [24.0] 8.4 処付											211430
228 13 B868 号	土師質 器物 砂	100 35.7 12.8 22.5 8.3 透明釉・緑釉											210205
228 14 B868 号	陶器 器物 砂	浅黄粘 100 27.9 8.4 17.0 4.0 透明釉・緑釉											210739
228 15 B868 号	陶器 器物 砂	灰白 20 - [12.1] 23.0 10.3 赤色											210771
228 16 B868 号	土師質 器物 砂	100 40.8 41.9 8.1 8.2 キラ付着											210786
228 17 B868 号	土師質 器物 砂茶葉	90 36.0 37.2 36.5 6.3 武勅											210767
228 18 B868 号	土師質 器物 砂	90 47.0 34.0 38.0 5.4											210774
229 1 B868 号	土師質 建造物 塔	30 [34.5] [51.2] [32.3] 33.2 土師質											210193
229 1 B868 号	土師質 人形 手持ち扇子 棒	80 [49.9] [57.0] 32.4 41.7 キラ付着											210265
229 2 B868 号	土師質 人形 大指き扇子	80 [41.1] [36.3] 29.7 21.1 キラ付着											210266
229 4 B884 号	土師質 建造物 塔	70 [56.6] [91.6] [57.1] 163.1											210268
229 5 B889 号	土師質 人形 西行 棒	70 [54.9] [19.4] [57.3] 155.8											210260
229 6 B889 号	陶器 動物形 兔 白	100 15.6 30.0 36.9 11.6 処付											210262
229 7 B889 号	土師質 動物形 鳥 棒	80 [33.0] [28.1] [68.3] 27.8											210237
229 8 B889 号	陶器 建造物 民家 浅黄粘	41.3 60.5 11.2 7.3 透明釉・緑釉											210261
229 9 B889 号	土師質 人形 神人形 棒	70 97.9 108.7 65.0 121.8											210036
229 10 B890 号	土師質 人形 猿 棒	10 [29.2] [37.5] [22.7] 12.2											210044
229 11 B890 号	土師質 人形 女性 棒	20 [24.8] [24.8] [21.5] 5.5											210033
229 12 B890 号	土師質 人形 店子 棒	30 [49.7] [52.1] [55.4] 28.2											210024
229 13 B890 号	土師質 人形 騎馬者 浅黄粘	80 [13.6] [28.6] [33.1] 6.6											210122
230 1 B890 号	土師質 人形 神様 にふい砂	80 70.5 [55.9] 41.7 55.0											210023
230 2 B890 号	土師質 人形 神様 にふい砂	90 26.2 [24.5] 21.3 8.9											210127
230 3 B890 号	土師質 動物形 大 棒	90 20.9 28.6 26.4 7.3 キラ付着											210126
230 4 B890 号	土師質 動物形 魚 浅黄粘	80 28.0 [13.1] [37.6] 7.5 キラ付着											210123
230 5 B890 号	土師質 動物形 魚 浅黄粘	80 [20.1] [26.8] [19.1] 9.5											210116
230 6 B890 号	土師質 器物 砂	90 55.4 54.6 9.4 21.0 キラ付着											210137
230 7 B890 号	土師質 建造物 砂	30 [54.5] [63.8] [62.4] 58.9											210037
230 8 B895 号	土師質 動物形 鶴 砂白	80 35.2 35.9 53.8 8.8											210250
230 9 B895 号	土師質 器物 火鉢	50 22.0 21.0 30.0 15.6											210407
230 10 B924 号	土師質 人形 天神 棒	80 25.1 [25.0] [10.3] 3.7 透明釉											210384
230 11 B964 号	土師質 人形 西行 にふい砂	90 63.4 14.9 58.8 198.5 キラ付着											210190
230 12 B1027 号	土師質 道具 路 浅黄粘	90 28.4 29.1 33.9 11.5											210287
230 13 B1041 号	土師質 建造物 祠 にふい砂	90 72.9 91.4 70.9 161.4											210267
231 1 B1100 号	土師質 器物 砂	100 36.0 25.0 16.0 13.0											210372
231 2 B1132 号	土師質 動物形 鶴 にふい砂	80 27.5 60.3 [38.9] 30.5											210147
231 3 B1132 号	陶器 器物 水滴 砂	100 11.9 18.2 19.7 13.7 伝粉・鉄軸											211458
231 4 B1132 号	土師質 器物 砂	70 59.9 46.9 7.4 15.4 キラ付着											210145
231 5 B1132 号	土師質 器物 砂	80 40.2 36.9 7.4 5.9											210144
231 6 B1133 号	土師質 器物 砂かく にふい砂	100 23.4 22.8 8.1 4.4 透明釉											210391
231 7 B1148 号	土師質 人形 神様 棒	80 96.6 91.9 [142.7] 62.7											210163

第77表 土製品・ミニチュア観察表(2)

測定番号 測定番号	出土地点	材質	種別	測定 モード	測定色	残存率 (%)	法量(mm)			重量 (g)	施釉・彩色	備考	整理 番号
							長さ	幅	厚み				
231 8 B1159 号	土師質	動物形	鶴	標準	白	100	[32.0]	[44.3]	82.3	43.8			210292
231 9 B1159 号	土師質	動物形	鶴	標準	白	50	35.0	22.0	13.0	7.1	赤付		211435
231 10 B1159 号	土師質	動物形	鶴	標準	白	50	[35.0]	20.0	[13.0]	5.3	赤付		211434
231 11 B1159 号	土師質	動物形	火吹	標準	白	80	26.0	53.8	25.0	24.8	灰釉・赤色		211436
231 12 B1190 号	土師質	動物形	鶴	標準	白	100	16.8	13.0	10.5	1.9	赤付		210388
231 13 B1424 号	土師質	人形	不明	標準	白	80	[24.7]	[26.4]	15.2	5.8	キラ付着		210544
231 14 B1424 号	土師質	建造物	壇	標準	白	80	[46.0]	[71.4]	[14.5]	31.2	赤釉		210543
231 15 B1425 号	土師質	動物形	鶴	標準	白	40	[36.0]	[21.0]	4.3	透明釉・緑釉			210545
231 16 B1445 号	土師質	人形	不明	標準	白	80	[28.2]	[38.5]	[22.5]	16.1	灰釉・赤釉・染付		210508
231 17 B1445 号	土師質	人形	大黒	標準	白	70	[82.4]	[86.6]	[51.4]	124.1	牛付着		210419
232 1 B1445 号	土師質	人形	不明	標準	白	60	[60.8]	[108.4]	[48.3]	106.2	牛付着		210417
232 2 B1445 号	土師質	人形	女性立像	標準	白	90	[43.2]	[82.0]	[25.7]	49.5	牛付着	底面に円孔1ヶ所	210434
232 3 B1445 号	土師質	動物形	猿	標準	白	80	[60.9]	[99.3]	[51.1]	155.5			210413
232 4 B1445 号	土師質	動物形	猿	標準	白	100	23.1	40.5	20.4	14.1	透明色	底面に円孔1ヶ所	210487
232 5 B1445 号	土師質	動物形	猿	標準	白	80	31.1	[26.8]	31.6	13.7	赤釉		210501
232 6 B1445 号	土師質	動物形	猿	標準	白	50	[51.3]	87.9	[64.8]	101.9			210421
232 7 B1445 号	陶器	動物形	犬	標準	白	90	[14.2]	25.8	28.2	4.4	灰釉・赤釉		210503
232 8 B1445 号	陶器	動物形	犬	標準	白	100	15.9	17.9	28.6	7.0	灰釉・赤釉		210432
232 9 B1445 号	陶器	動物形	兔	標準	白	100	36.1	17.8	50.2	8.50	灰釉		210428
232 10 B1445 号	陶器	動物形	兔	標準	白	90	38.2	[16.6]	[48.7]	8.6	赤釉		210502
233 1 B1445 号	土師質	動物形	鳥	標準	白	60	104.6	[99.7]	[17.5]	59.5		底面に円孔1ヶ所	210618
233 2 B1445 号	土師質	動物形	鳥	標準	白	90	39.0	24.0	14.0	11.8	赤付		211472
233 3 B1445 号	土師質	動物形	鳥	標準	白	100	34.0	21.0	12.0	10.3	赤付		211478
233 4 B1445 号	土師質	動物形	鳥	標準	白	100	32.0	14.0	13.0	6.4	透明釉		211471
233 5 B1445 号	土師質	動物形	鳥	標準	白	100	29.0	15.0	12.0	4.5	透明釉		211473
233 6 B1445 号	土師質	動物形	鳥	標準	白	90	47.0	15.2	21.0	11.2	赤付		211475
233 7 B1445 号	土師質	動物形	鳥	標準	白	80	44.5	18.0	19.5	9.2	赤付		211477
233 8 B1445 号	土師質	動物形	鳥	標準	白	70	46.5	15.5	20.0	8.1	赤付		211476
233 9 B1445 号	土師質	動物形	鳥	標準	白	90	42.0	14.4	20.5	9.3	赤付		211474
233 10 B1445 号	陶器	動物形	鳥	標準	白	70	[51.0]	24.4	27.5	16.4	透明釉・緑釉		210485
233 11 B1445 号	陶器	動物形	犬	標準	白	90	56.0	18.1	23.0	27.8	透明釉・緑釉		210483
233 12 B1445 号	陶器	動物形	犬	標準	白	80	60.0	14.9	31.0	24.4	透明釉・緑釉		210482
233 13 B1445 号	陶器	動物形	犬	標準	白	90	89.5	52.3	40.0	77.5	赤釉		211470
233 14 B1445 号	土師質	動物形	鶴	標準	白	30	[51.3]	[91.1]	[98.4]	161.5		花卉文	210409
233 15 B1445 号	土師質	動物形	鶴	標準	白	90	54.9	56.0	11.3	20.9			210635
233 16 B1445 号	陶器	建造物	舟	標準	白	70	35.2	[17.7]	[68.8]	8.5	灰釉		210427
234 1 B1475 号	陶器	人形	お茶を注ぐ女性	標準	白	90	[79.6]	117.6	64.9	94.1	灰釉・赤釉・金彩	背面に円孔1ヶ所	210548
234 2 B1475 号	陶器	人形	袋	標準	白	90	64.4	59.1	56.5	66.0	灰釉・赤釉・金彩		210549
234 3 B1475 号	土師質	人形	西行	標準	白	50	68.9	[50.2]	45.0	44.7	黒彩		210550
234 4 B1505 号	土師質	人形	西行	標準	白	70	[33.3]	[70.2]	[33.3]	40.9			210553
234 5 B1505 号	土師質	人形	猿	標準	白	70	[82.4]	[42.7]	[47.6]	68.9	赤彩		210554
234 6 B1505 号	土師質	動物形	犬	標準	白	80	[16.3]	[20.3]	[23.3]	3.7	赤釉		210568
234 7 B1520 号	土師質	建造物	瓦屋根	標準	白	90	[105.0]	[35.9]	[81.9]	191.8			210570
234 8 B1522 号	土師質	建造物	瓦屋根	標準	白	70	30.8	[27.0]	18.7	8.8		底面に円孔1ヶ所	210595
234 9 B1522 号	土師質	動物形	犬	標準	白	100	16.4	40.8	23.3	9.1	キラ付着		210587
234 10 B1522 号	土師質	動物形	犬	標準	白	30	[54.0]	[34.0]	[54.0]	10.2			210598
234 11 B1523 号	陶器	動物形	犬	標準	白	90	[65.5]	18.6	11.5	21.7	透明釉・緑釉		210637
234 12 B1523 号	陶器	動物形	犬	標準	白	80	—	[42.7]	[25.0]	21.0	透明釉・緑釉		210636
235 1 B1533 号	土師質	動物形	兔	標準	白	100	31.2	16.3	54.2	11.4			210644
235 2 B1536 号	陶器	動物形	兔	標準	白	80	[66.9]	37.8	69.6				210647
235 3 B1926 号	陶器	動物形	鶴	標準	白	20	[28.6]	[65.1]	[53.9]	28.1	透明釉・金頭輪		210667
235 4 B1956 号	土師質	植物形	併花生	標準	白	100	15.0	27.0	16.0	8.1			210668
235 5 B1963 号	土師質	人形	神人形	標準	白	60	99.3	87.5	42.9	62.9			210678
235 6 B1963 号	土師質	人形	女性立像	標準	白	80	26.0	[14.3]	18.8	15.5	牛付着		210682
235 7 B1963 号	土師質	植物形	茶葉	標準	白	90	34.5	34.5	42.4	73.2			210676
235 8 B1979 号	土師質	植物形	鶴	標準	白	60	35.0	17.0	14.0	4.1	透明釉		211579
235 9 B2086 号	土師質	動物形	鶴	標準	白	80	46.7	[72.1]	75.5	67.7			210691
235 10 R2086 号	土師質	植物形	美	標準	白	80	[50.0]	33.3	37.0	60.2			210694
235 11 R2086 号	土師質	植物形	美	標準	白	100	64.6	55.2	24.0	47.9			210690
235 12 B2151 号	土師質	植物形	蓬	標準	白	100	25.4	8.1	19.0	3.1	透明釉・赤彩		210704
235 13 B2223 号	土師質	植物形	蓬	標準	白	40	[79.0]	32.0	50.0	33.2			210719
235 14 B2223 号	土師質	植物形	蓬	標準	白	90	59.4	57.0	10.7	18.8			210715
235 15 B2223 号	土師質	植物形	蓬	標準	白	70	[56.8]	[53.8]	8.8	13.8	牛付着		210720
236 1 B2234 号	土師質	植物形	蓬	標準	白	90	24.7	25.2	14.5	5.1	緑釉		210723
236 2 B2236 号	土師質	植物形	蓬	標準	白	70	—	47.1	24.5	18.1	緑釉		210724
236 3 B2292 号	土師質	器具	磨石形土器製品	標準	白	100	24.0	22.3	6.7	6.3	黒彩		210813
236 4 B2292 号	土師質	人形	房子	標準	白	100	20.3	20.7	6.6	2.3			212292
236 5 B2305 号	土師質	植物形	もりらう	標準	白	80	[18.9]	33.3	13.4	4.8	牛付着	底面に円孔1ヶ所	210818
236 6 B2305 号	土師質	植物形	もりらう	標準	白	70	[28.0]	[51.2]	29.5	34.2			210820
236 7 B2351 号	陶器	人形	虚無僧	標準	白	60	[30.9]	54.9	19.3	19.5	透明釉・緑釉		210829

第78表 土製品・ミニチュア観察表(3)

測定番号	出土地点	材質	種別	測定モード	測定色	残存率 (%)	法量(mm)			重量(g)	施釉・彩色	備考	整理番号	
							長さ	幅	厚み					
236 8	B2381 号	陶器	人形	唐物	白	70	[71.6]	206.8	50.5	142.7	透明釉・土胎付		210840	
236 9	B2381 号	土師質	人形	唐物	橙	70	[39.0]	[35.4]	15.4	15.9			210843	
236 10	B2381 号	土師質	動物形	埴	橙	80	[35.0]	69.0	29.0	36.0		底面に円孔 1ヵ所	210841	
236 11	B2383 号	土師質	器物	埴輪	橙	40	[134.0]	52.0	70.0	103.3			210855	
236 12	B2383 号	土師質	器物	埴	橙	60	43.8	[31.6]	8.8	6.9	キラ付着		210858	
237 1	B2389 号	土師質	人形	内行	橙	30	[64.5]	[98.3]	[53.0]	95.7	キラ付着		210865	
237 2	B2394 号	土師質	人形	唐物	橙	60	[68.7]	140.5	[71.5]	230.9	キラ付着	遺構関連(B2394+ B2399+B2501)	210884	
237 3	B2394 号	陶器	器物	皿	にぶい物	40	—	[14.6]	28.0	12.2	透明釉・綠釉	口縁部打ち欠き		210887
237 4	B2394 号	土師質	器物	皿	橙	90	44.1	44.9	8.0	10.0			210889	
237 5	B2400 号	土師質	器物	皿	橙	60	[58.1]	[51.2]	10.2	17.9	牛付着		210904	
237 6	B2399 号	土師質	器物	茶釜	橙	30	—	[48.7]	[54.0]	32.2			210892	
237 7	B2399 号	陶器	建造物	塔	橙	50	[33.0]	[47.8]	[33.4]	46.0	鉄軸		210894	
237 8	B2402 号	土師質	器物	茶釜	橙	70	[17.7]	[33.7]	[62.4]	21.8			210931	
237 9	B2462 号	陶器	器物	鉢子	浅黄橙	40	[50.0]	33.3	[34.0]	15.1	透明釉・緑釉		210925	
237 10	B2462 号	土師質	器物	皿	にぶい物	50	40.4	[24.3]	7.0	5.8			210928	
237 11	B2501 号	陶器	人形	兒かわ	白	100	23.5	57.9	19.9	17.2	灰釉		210940	
237 12	B2540 号	土師質	人形	内行	にぶい物	70	42.4	[38.7]	[37.1]	41.6		底面に円孔 1ヵ所	210944	
237 13	B2554 号	土師質	人形	大黒天	橙	100	20.9	26.2	20.7	8.0		底面に円孔 1ヵ所	210945	
238 1	B2562 号	陶器	器物	鉢	灰白	90	32.0	10.8	18.0	5.7	透明釉・綠釉	底部穿孔	210947	
238 2	B2562 号	土師質	器物	皿	にぶい物	100	44.0	42.7	9.6	11.0	牛付着		210946	
238 3	B2583 号	土師質	器物	皿	白	20	[60.8]	[93.0]	[69.4]	11.0		頭印(花弁文)	210949	
238 4	B2687 号	土師質	器物	茶釜	橙	90	16.0	19.8	27.0	14.2			210994	
238 5	B2736 号	土師質	動物形	牌に嵌る猫	橙	50	[31.7]	[39.5]	[102.3]	6.60			211160	
238 6	B2748 号	土師質	動物形	埴	にぶい物	80	[30.2]	57.2	29.9	34.7		底面に円孔 1ヵ所	211004	
238 7	B2748 号	土師質	動物形	鉢	橙	20	[28.8]	[28.1]	[19.7]	4.5			211008	
238 8	B2748 号	土師質	動物形	皿	橙	100	12.3	19.4	42.2	5.1			211005	
238 9	B2748 号	陶器	器物	鉢	白	100	37.0	19.0	15.0	8.3	牛付着		211591	
238 10	B2748 号	陶器	器物	碗	白	100	36.0	19.0	15.0	8.7	牛付着		211592	
238 11	B2748 号	陶器	器物	碗	白	70	35.0	19.0	14.0	7.1	牛付着		211593	
238 12	B2748 号	陶器	器物	白	100	34.0	17.0	12.0	5.7	透明釉		211595		
238 13	B2761 号	陶器	動物形	皿	浅黄橙	100	22.6	36.9	18.2	13.6	銘輪		211021	
238 14	B2769 号	陶器	動物形	皿	にぶい物	70	48.0	35.5	64.4	26.4	銘輪	中空	211024	
238 15	B2776 号	土師質	動物形	皿	橙	80	[38.1]	[40.0]	[35.2]	34.7		底面に円孔 1ヵ所	210401	
238 16	B2776 号	土師質	器物	鉢	浅黄橙	90	30.0	13.0	18.0	8.1	透明釉		211043	
238 17	B2777 号	土師質	動物形	埴	浅黄橙	80	[38.8]	61.7	44.3	51.1		底面に円孔 1ヵ所	211053	
238 18	B2777 号	土師質	動物形	角	浅黄橙	90	40.4	18.7	[46.9]	13.8			211050	
238 19	B2777 号	土師質	器物	皿	橙	30	[30.9]	[30.4]	—	10.4	透明釉		211055	
238 20	B2777 号	土師質	建造物	祠	橙	20	[45.0]	[39.7]	[44.5]	34.3			211052	
239 1	B2789 号	陶器	人形	内行	灰白	90	[44.4]	55.1	[42.0]	50.5	透明釉・緑釉		211073	
239 2	B2796 号	陶器	人形	大黒天	橙	100	21.1	30.5	11.4	4.2	透明釉	底面に円孔 1ヵ所	211083	
239 3	B2803 号	祖孫	器物	皿	白	80	43.6	15.0	26.0	12.3	牛付着		211600	
239 4	B2806 号	祖孫	器物	皿	白	50	[24.0]	18.0	15.0	4.2	牛付着		211160	
239 5	B2843 号	陶器	人形	男性立彌	灰白	70	[29.8]	[59.3]	[24.8]	26.5	灰釉・銘輪		211110	
239 6	B2843 号	陶器	動物形	車を持つ童	灰白	70	[31.7]	[34.7]	[29.7]	19.1	透明釉・緑釉		211111	
239 7	B2843 号	祖孫	器物	皿	白	100	60.5	15.9	34.5	13.7	透明釉		211107	
239 8	B2843 号	土師質	動物形	馬	橙	100	29.1	29.8	10.7	4.6			211112	
239 9	B5086 号	土師質	人形	内行	にぶい物	80	[55.4]	[120.8]	[47.8]	191.2	キラ付着	正面・底面に円孔	211353	
239 10	B5086 号	土師質	人形	不明	淡黄	60	26.4	[40.1]	[15.3]	10.7	キラ付着		211363	
239 11	B5086 号	土師質	人形	内行	淡黄	80	[34.6]	[66.5]	[29.5]	49.9	キラ付着		211354	
239 12	B5086 号	土師質	人形	内行	にぶい物	80	[52.5]	[54.2]	[37.0]	54.4			211356	
239 13	B5086 号	土師質	動物形	駄大	にぶい物	30	[47.2]	[150.5]	[54.5]	102.9			211352	
239 14	B5086 号	祖孫	器物	白	100	25.0	16.0	9.0	5.5	箇付			211428	
239 15	B5086 号	祖孫	器物	杏仁	白	30	[36.0]	31.0	[16.0]	10.5	牛付着		211341	
239 16	B5086 号	土師質	器物	皿	浅黄	100	19.0	29.0	19.0	25.6			211371	
239 17	B5086 号	土師質	器物	皿	にぶい物	100	49.7	[15.4]	29.0	15.4		内面に側付着	211370	
239 18	B5086 号	土師質	器物	茶釜	橙	90	—	[19.0]	30.0	13.0			211376	
240 1	B5086 号	土師質	建造物	祠	橙	30	[70.3]	[41.9]	[75.6]	101.0			211366	
240 2	B2847 号	陶器	人形	唐物	にぶい物	90	20.1	[52.1]	[19.8]	16.9	灰釉・銘輪		211123	
240 3	B2847 号	土師質	人形	大黒天	にぶい物	60	[52.8]	[60.7]	[41.8]	71.8			211122	
240 4	B2847 号	陶器	動物形	馬	橙	80	[34.4]	[54.4]	[70.9]	48.4	透明釉	荷輪	211124	
240 5	B2847 号	祖孫	器物	白	60	42.0	17.0	16.5	6.5	5.8			211582	
240 6	B2883 号	土師質	人形	面持ち童子	にぶい物	100	47.6	59.5	41.8	70.9		底面に円孔 1ヵ所	211138	
240 7	B2883 号	土師質	動物形	埴	橙	90	27.3	[44.9]	17.3	10.5	牛付着		211139	
240 8	B2883 号	土師質	器物	茶釜	橙	90	40.0	40.8	40.0	78.1			211136	
240 9	B2889 号	土師質	人形	大神	橙	80	38.4	[128.8]	26.7	21.8			211146	
240 10	B2895 号	土師質	人形	神祇	橙	90	66.5	[74.8]	41.5	42.4			211154	
240 11	B2895 号	土師質	人形	百人郎	にぶい物	90	19.9	36.6	17.5	7.0		底面に円孔 1ヵ所	211155	
241 1	B2952 号	土師質	動物形	馬	浅黄	90	36.1	71.1	[75.8]	41.5	白配	帽子残存	211163	
241 2	B2952 号	土師質	器物	皿	白	80	195.1	98.7	16.2	104.5			211169	
241 3	B2952 号	土師質	器物	皿	にぶい物	80	59.8	59.6	10.4	21.3	キラ付着		211161	
241 4	B3023 号	土師質	建造物	塔	にぶい物	90	35.2	99.7	34.9	83.5	キラ付着	底面に円孔 1ヵ所	211185	
241 5	B3025 号	陶器	人形	唐子	白	90	72.6	79.9	[53.4]	81.0	透明釉・鉄軸	両肩に円孔	211231	

第79表 土製品・ミニチュア観察表(4)

相観番号 種別 番号	出土地点	材質	種別	器種 モチーフ	胎土色	残存率 (%)	法量(mm)			重量 (g)	施釉・彩色	備考	相観 番号	
							長さ	幅	厚み					
241 6	B3025号	土師質	動物形	馬	棕	90	27.7	43.0	76.8	33.6	鏡面・円孔3ヶ所	211228		
241 7	B3025号	土師質	動物形	馬	棕	80	28.4	57.5	[53.1]	30.7	鏡面・側面に円孔	211233		
242 8	B3025号	陶器	器物	七輪	灰白	80	26.5	39.7	30.5	25.5	緑釉	211225		
242 1	B3025号	陶器	器物	釜	浅黄褐	90	21.0	18.4	10.5	5.4	透明釉	211235		
242 2	B3025号	土師質	器物	白か	灰白	60	21.0	26.0	21.0	17.4		211243		
242 3	B3025号	陶器	器物	壺	棕	100	25.3	9.8	15.5	3.8	赤彩	211239		
242 4	B3025号	土師質	道具	面手すり	棕	100	26.1	25.3	6.9	4.6	黒	211250		
242 5	B3025号	土師質	道具	鉛石形土製品	棕	100	21.5	21.0	5.4	2.1		212293		
242 6	B3223号	陶器	動物形	獅子	灰白	40	[40.0]	17.2	4.6	35.6	緑釉	背面に円孔1ヶ所	211193	
242 7	B3223号	磁器	器物	鉢	白	50	43.0	19.0	16.0	7.2	透明釉		211583	
242 8	B3223号	磁器	器物	皿	白	90	59.5	15.6	37.0	12.6	透明釉		211584	
242 9	B5022号	磁器	器物	碗	灰白	50	[27.0]	15.0	18.0	3.9	白釉		211318	
242 10	B5074号	磁器	器物	碗	白	30	47.5	19.7	20.0	6.9	付穴		211500	
242 11	B5074号	磁器	器物	碗	白	100	43.0	17.0	16.0	11.8	透明釉		211499	
242 12	B5082号	陶器	器物	蓋	棕	100	47.4	46.9	12.3	12.3	透明釉		211335	
242 13	B5082号	土師質	道具	面鏡(鏡)	棕	100	48.6	55.8	24.0	29			211333	
242 14	B5082号	土師質	道具	砂石形土製品	棕	100	21.0	20.5	5.4	2.1			212318	
242 15	B5082号	土師質	道具	砂石形土製品	にい物	100	21.0	20.5	5.6	2.2	黒彩		212319	
242 16	B5112号	土師質	道具	墨石形土製品	にい物	100	85.0	60.0	15.0	120.7	印印:○に黒		212439	
242 17	B5131号	土師質	道具	鏡	白	100	34.0	18.0	14.0	7.3	透明釉		211404	
242 18	C16号	土師質	道具	玉土	にいし青磁	100	12.0	12.0	11.8	1.3			211681	
242 19	C16号	土師質	道具	玉土	にいし青磁	100	10.5	10.2	11.0	0.6			212282	
242 20	C16号	土師質	道具	玉土	にいし青磁	100	8.0	8.0	7.5	0.3			212287	
242 21	C16号	土師質	道具	玉土	にいし青磁	100	7.5	7.0	7.0	0.2			212289	
242 22	C244号	土師質	動物形	舌をかぶる猫	にいし地	90	35.8	(60.1)	41.1	34.7			211626	
242 23	C244号	瓦	瓦	鷹	灰白	90	24.1	23.9	[50.6]	11.5			211679	
242 24	C244号	陶器	器物	皿	白	30	-	(33.8)	(31.8)	4.0	緑釉・黄釉	底部外面に刻印「京」「万」	211619	
242 25	C244号	土師質	器物	鉢	灰白	90	47.5	20.8	20.2	14.6	緑釉		211614	
242 26	C244号	土師質	器物	土瓶	灰白	100	23.6	40.9	29.1	44.1	緑釉		211612	
243 1	C244号	土師質	道具	鉢	にい物	30	60.3	86.6	(10.9)	55.2			211652	
243 2	C244号	土師質	道具	皿	棕	100	53.1	52.7	10.0	23.3			211649	
243 3	C244号	土師質	道具	皿か	棕	100	21.3	19.3	21.3	4.1			211650	
243 4	C244号	土師質	道具	塔	棕	80	36.3	70.1	38.0	40.6			211658	
243 5	C244号	土師質	道具	祠	棕	70	31.2	(30.2)	18.9	10.9			211659	
243 6	C244号	土師質	道具	鉛石形土製品	棕	100	21.2	20.0	5.1	1.9			211677	
243 7	C244号	土師質	道具	鉛石形土製品	にい物	100	18.5	18.5	6.0	1.8	黒彩		212418	
243 8	C244号	土師質	道具	片手舟	棕	100	18.5	15.0	6.0	1.4			212266	
243 9	C244号	土師質	道具	片手舟	棕	100	17.5	16.5	7.0	1.4	キラ付着	底面不明	211678	
243 10	C250号	陶器	人形	天神	灰白	100	47.8	59.2	29.2	35.5	緑釉	底面に円孔1ヶ所	211653	
243 11	C251号	土師質	人形	天神	棕	80	27.5	21.0	6.5	2.6			211668	
243 12	C251号	土師質	人形	波比寿	90	27.1	41.6	22.5	14.9				211866	
243 13	C251号	土師質	人形	大黒天	にい物	100	26.2	38.7	27.2	17.4			211871	
243 14	C251号	陶器	人形	西行	浅黄褐	80	42.9	58.0	43.2	52.5	緑釉・鉄釉		211821	
243 15	C250号	陶器	人形	内転か	灰白	80	51.2	48.2	41.4	52.4	緑釉・鉄釉		211654	
243 16	C251号	土師質	人形	組相撲	棕	80	93.9	11.0	60.1	143.3			211857	
244 1	C251号	土師質	動物形	猪	棕	80	37.9	[54.2]	38.7	25.2			211773	
244 2	C251号	土師質	動物形	馬	棕	100	29.8	39.0	78.8	30.0		底面に円孔4ヶ所	211764	
244 3	C251号	土師質	動物形	馬	にい物	80	31.8	(72.2)	59.9	57.9	白泥・赤彩		211763	
244 4	C251号	土師質	動物形	馬	にい物	100	31.9	31.3	12.0	6.6	キラ付着		211825	
244 5	C250号	土師質	動物形	魚	にい物	90	22.0	21.8	5.3	10.3			211759	
244 6	C250・253号	磁器	器物	碗	白	100	20.0	10.0	8.0	3.0	透明釉		212269	
244 7	C251号	陶器	器物	鉢	灰白	70	44.0	23.0	18.0	13.7	緑釉		211844	
244 8	C251号	陶器	器物	鉢	灰白	50	32.0	16.0	13.0	5.0	緑釉		211848	
244 9	C251号	陶器	器物	鉢	灰白	100	40.0	32.0	20.0	24.6	火釉		211843	
244 10	C251号	陶器	器物	鉢	灰白	50	(58.0)	17.7	22.8	7.3	透明釉・緑釉・ 鉄釉・赤彩		211835	
244 11	C251号	陶器	器物	皿	浅黄褐	60	(80.0)	15.8	36.8	16.5	緑釉・赤彩	「此座常富」裏面	211839	
244 12	C250号	陶器	器物	皿	灰白	80	53.9	(17.7)	31.8	28.2	緑釉		211696	
244 13	C251号	陶器	器物	皿	浅黄褐	100	8.0	54.7	28.0	24.3	緑釉		211852	
244 14	C251号	陶器	器物	皿	灰白	90	22.0	23.6	15.5	19.9	透明釉・真釉		211830	
244 15	C251号	陶器	器物	皿	灰白	50	68.0	29.0	34.0	26.8	鉄釉		211815	
244 16	C251号	陶器	器物	皿	灰白	60	(56.0)	49.5	44.8	34.8	火釉・緑釉		211806	
244 17	C250号	土師質	器物	盆	棕	100	22.0	18.4	8.5	10.1			211699	
244 18	C251号	陶器	器物	皿	灰白	100	24.1	7.9	24.6	2.0	緑釉		211828	
244 19	C250号	土師質	器物	皿	灰白	100	27.7	11.2	28.4	3.3			211697	
244 20	C251号	土師質	器物	皿	棕	100	33.6	33.2	6.0	5.4	白泥		211827	
244 21	C250号	土師質	器物	皿	にい物	100	16.3	24.3	2.4	1.4	キラ付着	「此座常富」裏面 「此座常八子モ不 成小判一両」	211708	
244 22	C251号	土師質	器物	皿	棕	100	13.0	24.8	2.5	1.1	キラ付着	表面「二七」裏面「丸 花形」文政一分金模造	212225	

第80表 土製品・ミニチュア観察表(5)

測定番号 標印 番号	出土地点	材質	種別	器種 モチーフ	胎土色	残存率 (%)	法量(mm)			重量 (g)	施釉・彩色	備考	物理 番号
							長さ	幅	厚み				
244 23 C251号	土師質 建造物	鳥居	に赤い地	30	[67.4]	[34.4]	[14.0]	24.7	白泥				211784
244 24 C251号	土師質 建造物	家屋	棕	20	[89.6]	[31.1]	[62.4]	69.9					211780
245 1 C250号	土師質 道具	杵石形土製品	棕	100	21.0	20.5	6.0	24	黒彩				212327
245 2 C251号	土師質 道具	杵石形土製品	棕	100	19.5	19.2	7.0	22	白泥				212340
245 3 C251号	土師質 道具	泥面子	棕	100	22.5	22.9	7.2	40		意匠不明			211767
245 5 C251号	土師質 道具	杵	棕	90	64.0	45.0	34.0	49.3	白泥				211768
245 6 C252号	土師質 道具	杵石形土製品	に赤い地	100	20.5	19.8	6.0	21	白泥				212323
245 7 C272号	陶器	器物	七層	灰白	100	49.3	46.7	35.4	56.6	鉄輪	底部外面に刻印「京」 「万」、裏面「三拾六 文」		212077
245 8 C272号	土師質 器物	瓶	に赤い地	90	[42.0]	21.0	8.0	7.5	キラ付着				211800
245 9 C272号	土師質 不明		棕	80	[38.7]	[43.1]	27.8	59.0			底面に円孔 1ヶ所		211915
245 10 C270号	土師質 器物	鉢	棕	90	45.0	23.0	32.0	36.7					212267
245 11 C305号	土師質 人形	大黒天	に赤い地	100	20.6	26.0	24.4	8.0	キラ付着				212210
245 12 C305号	土師質 動物形	獅子舞	棕	20	[41.1]	[52.5]	[38.5]	19.1					211637
245 13 C305号	土師質 動物形	馬	に赤い地	80	35.0	[60.5]	31.2	38.0	鉄輪				211638
245 14 C305号	土師質 器物	鉢	白	70	[56.0]	15.8	28.5	10.6	透明釉				212226
245 15 C305号	土師質 器物	茶釜	棕	80	31.0	37.7	35.0	61.9					212236
245 16 C305号	土師質 器物	茶釜	に赤い地	80	[40.0]	30.5	30.0	57.2					211635
245 16 C521号	陶器	器物	瓶	浅黄褐	90	6.0	44.6	22.0	21.8	鉄輪			211983
245 17 C375号	磁器	器物	瓶	白	100	21.0	12.0	8.0	23	透明釉			212274
245 18 C408号	陶器	人形	仏像	に赤い地	90.6	[99.1]	[95.4]	[29.3]	20.3	鉄輪			212271
245 20 C521号	陶器	建造物	橋	棕	50	26.4	[8.4]	[36.2]	6.1	透明釉・白釉・ 緑釉			211984
246 1 C356号	土師質 人形	立像	棕	80	48.8	[74.8]	35.0	54.8	白泥				212088
246 2 C356号	土師質 人形	座像	棕	80	38.7	[27.2]	30.5	16.5	白泥				212092
246 3 C356号	土師質 人形	乗り兎子	浅黄褐	40	[66.6]	[45.8]	4.0	15.0					212091
246 4 C356号	土師質 人形	ぶらら人形	棕	90	46.8	97.9	29.9	46.0					212089
246 5 C356号	土師質 人形	馬	に赤い地	100	25.6	42.9	78.2	33.6			底面に円孔 4ヶ所		212079
246 6 C356号	磁器	器物	瓶	白	100	56.9	15.6	30.1	22.5	白釉			212198
246 7 C356号	磁器	器物	瓶	白	60	[43.3]	17.8	[23.3]	9.9	透明釉			212199
246 8 C356号	土師質 器物	瓶	白	40	[36.0]	9.0	[18.0]	2.8					212166
246 9 C356号	陶器	器物	瓶	浅黄褐	80	50.0	23.4	22.7	19.1	緑釉			212144
246 10 C356号	陶器	器物	口口	灰白	70	50.4	24.4	18.0	16.2	緑釉			212139
246 11 C356号	土師質 器物	瓶	白	20	—	[15.7]	[39.7]	12.8			底部外面に刻印「亀」		212185
246 12 C356号	陶器	器物	瓶	浅黄褐	100	5.0	44.7	21.5	30.4	緑釉			212148
246 13 C356号	陶器	器物	瓶	灰白	30	—	[149.3]	25.8	18.3	緑釉	布袋連利形		212142
246 14 C356号	陶器	器物	瓶	棕	90	[17.0]	80.5	35.0	67.4	鉄輪			212197
246 15 C356号	陶器	器物	土瓶	灰白	40	22.6	[24.6]	—	20.6	緑釉			212138
246 16 C356号	陶器	器物	跨子	灰白	80	22.5	23.3	16.0	21.8	緑釉			212140
246 17 C356号	陶器	器物	跨脚	灰白	50	—	[37.3]	48.6	47.2	火照			212136
246 18 C356号	陶器	器物	調	浅黄褐	100	41.2	25.6	20.0	22.8	鉄輪			212182
246 19 C356号	土師質 器物	釜	に赤い地	80	40.3	37.2	26.4	50.4					211974
246 20 C356号	陶器	器物	瓶	灰白	90	[25.3]	7.1	[24.3]	2.5	透明釉・緑釉			212157
246 21 C356号	陶器	器物	瓶	浅黄褐	100	30.9	14.0	19.5	8.0	鉄輪			212168
246 22 C356号	陶器	器物	七層	灰白	30	48.9	16.1	49.0	19.6	透明釉			212158
247 1 C356号	土師質 建造物	灯籠	棕	20	106.9	[90.8]	20.6	118.1					212075
247 2 C356号	土師質 器物	践鉢	に赤い地	100	16.6	23.6	2.5	1.7	キラ付着	表面「御承常實」、裏 面「此跡常八一子モ 不或小判一両」			212074
247 3 C356号	陶器	建造物	橋	灰黄闇	100	19.0	19.0	44.6	7.8				212159
247 4 C356号	陶器	道具	盾	灰白	100	23.7	38.4	56.7	20.3	緑釉・鉄輪			212188
247 5 C356号	陶器	道具	盾	灰白	100	22.6	38.0	60.5	12.2	鉄輪			212189
247 6 C356号	土師質 道具	杵石形土製品	棕	100	20.5	20.5	7.0	2.3	白泥				212354
247 7 C356号	土師質 道具	杵石形土製品	棕	100	20.8	20.3	6.0	2.2	黒彩				212366
247 8 C356号	土師質 道具	泥面子	棕	100	46.2	45.5	12.6	32.2			三つ巴		212176
247 9 C356号	土師質 道具	泥面子	に赤い地	100	22.9	22.7	8.0	4.9			龍		212178
247 10 C356号	土師質 道具	泥面子	棕	100	21.8	21.9	5.5	2.8			意匠不明		212177
247 11 C356号	土師質 道具	泥面子	棕	100	16.8	16.7	4.0	1.1			「松」		212180
247 12 C359号	土師質 人形	立像	棕	90	23.7	49.8	18.7	14.2					211945
247 13 C359号	陶器	器物	瓶	灰白	100	9.0	44.0	19.0	17.8	緑釉			211935
247 14 C359号	陶器	器物	土瓶	灰白	80	[16.5]	[26.4]	19.0	20.1	透明釉・緑釉			211936
247 15 C359号	土師質 器物	盆	棕	80	45.2	38.2	27.0	54.6					211904
247 16 C359号	土師質 器物	泥面子	棕	100	23.3	23.3	8.1	5.1			魚か 南瓜か		212024
247 17 C359号	土師質 器物	泥面子	棕	100	23.9	[22.6]	9.1	5.5					212025
247 18 C540号	磁器	器物	瓶	白	60	21.0	11.0	7.0	2.1	透明釉			212275
247 19 C543号	土師質 器物	釜	棕	70	[44.0]	39.2	28.0	46.7					211967
247 20 C543号	土師質 器物	瓶	に赤い地	100	50.0	50.5	11.3	23.8					211968
247 21 C545号	土師質 道具	泥面子	棕	100	34.2	54.8	9.0	32.1	キラ付着	魔			211964
247 22 C543号	土師質 道具	泥面子	棕	100	26.5	26.0	7.2	6.2			三つ巴		211963
247 23 C547号	土師質 道具	泥面子	棕	100	27.9	27.0	8.6	6.6			上面：海老；下面： 花卉		212008
247 24 C566号	磁器	器物	瓶	白	100	20.0	11.0	8.0	3.4	透明釉			212276

第81表 土製品・ミニチュア観察表(6)

測定番号 探査 番号	出土地点	材質	種別	測定 モード	胎土色	残存率 (%)	法量(mm)			重量 (g)	施釉・彩色	備考	物理 番号
							長さ	幅	厚み				
247 25	C566 号	土師質	道具	泥面手	橙	100	23.4	23.5	8.5	56		意匠不明	212059
247 26	C567 号	土師質	道具	泥	浅黄橙	80	[45.0]	22.0	5.0	72			212017
247 27	C580 号	陶器	器物	瓶	橙	80	—	(65.8)	27.8	27.1	铁触・錆触・白触		211978
247 28	C586 号	土師質	人形	立像	にぶい・橙	80	23.0	39.1	29.3	16.3	白配	底面に円孔 1ヵ所	212013
247 29	C587 号	陶器	器物	瓶	灰白	90	30.0	15.0	12.0	50			212006
248 1	C591 号	土師質	器物	差	橙	80	(38.0)	35.4	24.4	45.8			211975
248 2	C591 号	土師質	道具	泥面手	橙	100	23.5	24.0	7.0	53		「ぬ」	212010
248 3	C598 号	土師質	道具	面鏡	橙	100	56.7	65.5	24.4	45.4	墨子か		212253
248 4	C612 号	土師質	人形	座像	橙	100	33.4	21.8	33.9	59	キラ付着		211932
248 5	C612 号	土師質	人形	朝鮮通信使か	にぶい・橙	70	66.7	[59.5]	59.6	64.8	底面に円孔 1ヵ所		211928
248 6	C615 号	土師質	器物	瓶	橙	80	—	(48.6)	25.0	33.3	白配		212254
248 7	C651 号	陶器	器物	瓶	米期	100	31.4	31.2	15.9	102	透明触		212259
248 8	C652 号	土師質	道具	玉土	橙	100	19.0	18.0	19.0	58			212260
248 9	B1-3K 2-3前	土師質	人形	鍛鉗か	橙	30	(39.2)	[52.0]	[29.2]	23.5			210326
248 10	C1区段	土師質	人形	座像	にぶい・橙	90	42.1	(62.1)	42.7	51.4	白配		211620
248 11	B1-2K 3-3前	土師質	人形	朝鮮通使か	橙	60	(121.9)	(70.9)	[63.5]	22.4	キラ付着		211573
248 12	B2-3区段	土師質	人形	朝鮮通信使か	橙	60	(46.6)	(48.4)	[20.1]	30.8		底面に円孔 1ヵ所	210959
248 13	C2-3K 2-3前	土師質	人形	相撲	にぶい・橙	70	[57.1]	(40.7)	(35.0)	35.5	白色・黒色		211925
249 1	C2-3K 2-3前	土師質	人形	荷輪狐	橙	100	45.0	93.5	39.4	52.6			211917
249 2	B1-3K 2-3前	土師質	動物形	瓶	にぶい・橙	20	(30.6)	(39.0)	[42.8]	22.1	キラ付着		210321
249 3	B1-3K 2-3前	陶器	動物形	馬	灰白	80	33.0	47.7	[61.0]	26.8	碌触		210322
249 4	C2-3K 2-3前	土師質	人形	罐	橙	100	39.3	47.8	62.2	45.8		體面・底面に円孔	211918
249 5	C2-6K 2-3前	土師質	人形	首人形	にぶい・橙	90	19.0	31.7	18.7	7.6		底面に円孔 1ヵ所	211927
249 6	B1-3K 2-3前	土師質	動物形	首人形(瓶)	にぶい・橙	100	21.1	34.2	26.4	9.7		底面に円孔 1ヵ所	210323
249 7	B1-3K 1前	陶器	器物	瓶	灰白	100	26.0	14.0	11.0	39	灰触・碌触		210352
249 8	B2-4K 3-4前	陶器	器物	皿	浅黄橙	80	32.0	11.7	19.5	56	透明触・碌触		210729
249 9	C2-3区段	陶器	器物	鉢	浅黄橙	70	(54.8)	30.0	25.0	20.7	透明触・碌触		211987
249 10	B1-2K 2-3前	陶器	器物	台輪	浅黄橙	100	41.4	27.7	21.7	17.4	透明触・碌触		211571
249 11	B1-4K 3-5前	陶器	器物	鑿鋸	橙	60	(110.0)	34.0	36.0	36.0	武触		210658
249 12	C2-6K 4前	土師質	器物	差	にぶい・橙	80	(46.0)	35.4	32.3	48.9			211954
249 13	C1-1-K 1-3前	陶器	器物	瓶	灰灰	100	31.2	12.9	21.6	7.1	鉄触		211755
249 14	B1-3K 3-5前	土師質	器物	瓶	橙	90	39.2	39.3	8.2	9.0	キラ付着	三巴	210393
249 15	B1-3K 3-5前	土師質	器物	瓶	橙	100	36.3	35.9	6.4	6.3	キラ付着		210392
249 16	C2-6K 2-3前	布器	建造物	城郭	橙	70	(44.8)	43.1	16.2	17.6	碌触	底面に円孔 1ヵ所	211986
249 17	C2-4区段	陶器	建造物	副	灰灰	90	91.4	16.0	11.0	14.9	灰触・端頭触		211947
249 18	C2-3K 2-3前	土師質	建造物	家屋	にぶい・黄触	20	87.9	(27.3)	48.3	65.8			211921
249 19	B1-3K 2-3前	陶器	建造物	塔(相輪)	灰白	10	17.8	(25.6)	18.0	8.4	碌触		210229
250 1	B1-3K 2-3前	土師質	建造物	祠	橙	40	(52.8)	(60.1)	(60.3)	92.1			210320
250 2	B2-4K 1-3前	土師質	建造物	橋	橙	60	31.2	(52.1)	(18.7)	15.9	白配		212280
250 3	B2-1K 2-3前	土師質	器物	甌	橙	90	27.0	13.0	7.0	3.0			210728
250 4	Q2-2K 基礎60号	土師質	道具	面鏡	橙	70	(53.4)	(53.4)	13.0	19.5		馬	212012
250 5	C1-1-K 1-3前	土師質	道具	泥面手	橙	100	28.0	27.9	0.9	6.8		鐘	211707
250 6	C2-3K 2-3前	土師質	道具	泥面手	橙	100	26.6	26.6	8.0	6.5		菊花文	212003
250 7	C2-3K 2-3前	土師質	道具	泥面手	橙	100	26.4	24.1	7.9	5.2		意匠不明	212004
250 8	C2-5K 基礎52・53号	土師質	道具	泥面手	橙	100	23.8	23.8	9.0	6.4		意匠不明	212069
250 9	B1-3K 1-2前	土師質	不明	浅粗	橙	20	(158)	(95)	66.0	506.3			212442

(5) 木製品（第 251～275 図、第 82～88 表）

木製品は、その大半が C536 号の出土で、他に B146 号、B589・2843・5086 号等で若干の出土がみられる。以下では、新宿区行元寺跡における分類（越村 2003）を基本とし、出土木製品の特徴を記す。なお各資料の年輪幅は、粗密によって細かい方から A～C の 3 つに分類し第 82～88 表に記載するとともに、第 251～275 図の断面図に模式的に記入している。

第 251・252 図には C536 号以外の出土木製品を示した。B146 号では、第 251 図 1 の模造刀柄が出土している。黒色漆塗によるものか、網目状の巻き付け痕が観察される。B589 号出土の 2 は、断面長方形で笄と考えられる。3 は横櫛で、いわゆる利休形を呈する。4 は傘下轆轤で、中棒も残存する。5 の連歯下駄は歯が著しく摩耗している。6・7 は箸で、長く太い 6 は菜箸の可能性もある。8・9 は円形の容器蓋で、9 は表面が平滑で黒色の漆塗りがなされる。10 は錐柄で、先端部には断面方形の孔が観察される。11 は一角に孔が穿たれた札で、墨書があるが内容は不詳である。B1445 号では、12～14 の箸、15 の柄約留が出土している。B2290 号出土の 16 は炭化した状態での出土で、織維束が絡む中綿部分と平織の布部分からなり、布の端部には縫糸の折り返しが観察される。衣や布団等の織維製品と考えられる。B3084 号では、第 252 図 1 の箸が出土している。C106 号では、漆工用いた漆滲し紙（2）と漆滲し布（3）、また 4 の漆の残滓も出土している。

次に C536 号の出土木製品について、種別ごとに特徴を記す。装身具として、第 253 図 1・2 は横櫛で、差し歯タイプの疏櫛である。いずれも利休形を呈し、表面は平滑に磨かれている。1 は歯が一部残存し、2 は鞘のみである。3・4 は縱櫛で、いわゆる毛筋立てであろう。柾目取りの薄い板材を素材とし、先端は早材部分を削って櫛歯を作出している。5 は和傘の下轆轤で、表面は黒色の漆塗りがなされ、中棒が一部残存する。6 は团扇柄で、扇面を差し込む要部分も残存する。下駄は多量に出土しており、7～12・第 254 図・第 255 図 1～7 は連歯下駄である。すべて横緒が後歯前方となるもので、樹種はスギが卓越する。なかでも第 255 図 4 は、平面が小判状を呈し、半割材を丁寧に加工したもので、表面に小円が 8 つ並んだ焼印がみられる。他の連歯下駄とは一線を画するもので、同図 5 は遺存状況は良好でないがセットになるものであろう。刎下駄は少なく、わずかに第 255 図 8 が見られる。第 255 図 9・10・第 256～257 図 1～10 は差歎下駄のうち陰卯下駄で、歯の遺存状況は良好でない。平面形や幅、サイズによりいくつかのカテゴリーに分類されるが、下駄台の材質はケンボナシが多い。特筆すべき点として、第 256 図 2 では下駄台の前歯溝において歯を留める楔が確認されている。楔はタケ亞科で、前歯溝には楔を打ち込むためのわずかな抉りも観察される。楔こそ欠くものの、こうした抉りは同 6 など複数の個体で確認されている。第 257 図 11・第 258 図 1～8 は無眼下駄で、周縁に釘痕が残る例もあるが、履物の構造は判然としない。

食膳具として、第 258 図 9～14・第 259 図には折敷等の膳の部材を一括した。側板や底板、脚板など部材単体の出土で、黒色・赤色の漆塗りが施されたものが多い。器としては第 260 図・第 261 図 1～3 の椀・椀蓋があり、一字椀や平椀、丸椀に分かれるが、数量としては多くない。第 261 図 4～11 は箸、12～15 は刃物柄で、12 は包丁とみられる刃部が遺存する。

第 262 図・第 263 図 1～11 の箱物も一定数確認されるが、やはり部品単体での出土のため全体の構造がわからないものが多い。このうち、蓋と考えられる第 262 図 5 は、黒色漆塗の上から金彩で文様が描かれる。他の調度品として、第 263 図 12～17 は把手やそれに類するもので、第 264





第252図 木製品(2) (1/3)

図1～4も同様であろう。第263図18・19は箱枕、20は鏡箱の蓋である。

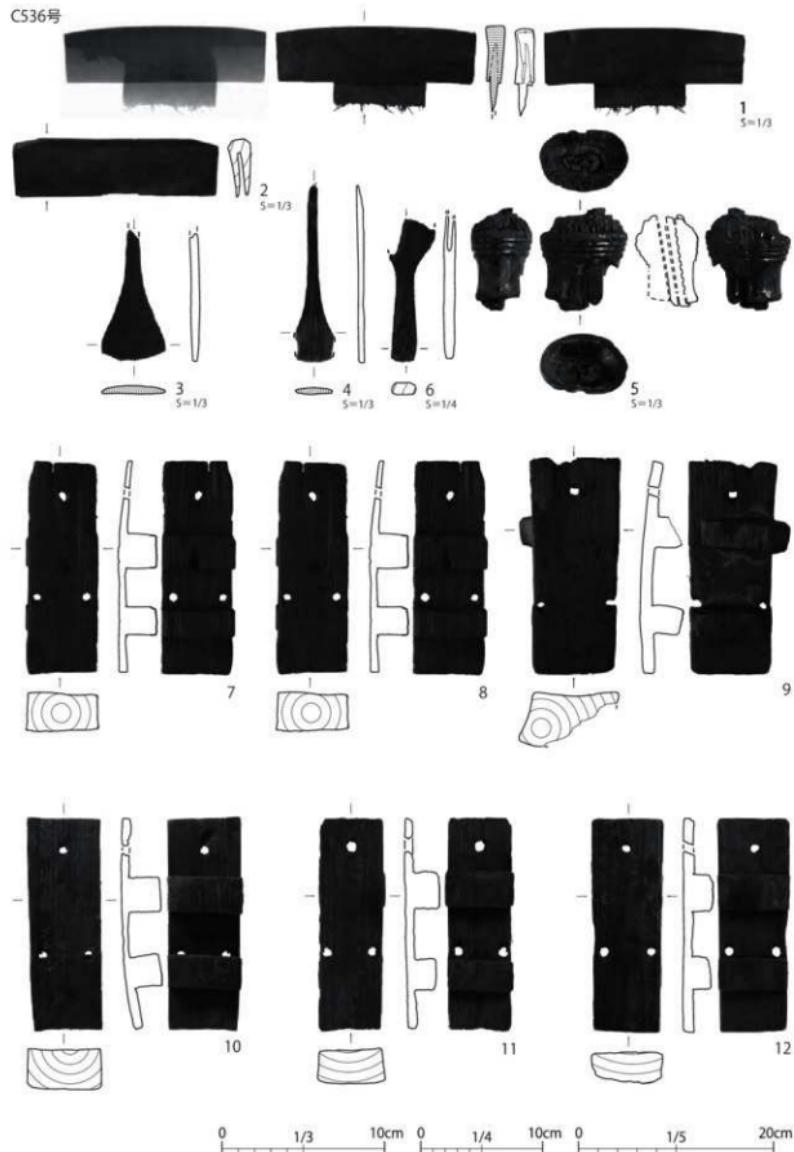
その他の道具として、第264図5は灯台脚部、6～8は火打金の柄、9は柄約留、10はちりとり柄と考えられる。11・12は刷毛柄で、13～15は簾・束子の繊維質が遺存する。16は漆塗りの物差し、17は先端部が残る錐である。

第265図7～14・第266～271図は、桶や樽、またその他の容器の蓋ないしは底板である。大型のものは、第265図7のように複数の部材を釘で連結しており、上部には栓孔が穿たれる。中型のものでは漆塗り製品も散見され、第268図7は葵の文様が確認される。また第269図12は黒色の漆塗りの上に「大」の文字が見える。小型の円形板材は、第271図8のように中央に小孔が観察される例が多く、製材の痕跡と考えられる。栓も一定数確認され、第272図1～16がそれに該当する。同図17・18はウツギ属を用いた注口である。容器の側板には同図19～31があり、数量は多くないが、結束痕が確認されるものもある。

遊具等の道具としては、第273図1の木刀、2の羽子板、3の漆塗りの浮子、4のカリンによる琴柱がある。

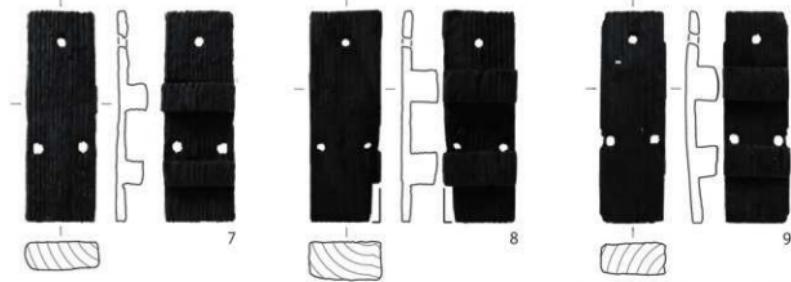
第273図5～10・第274図・第275図1～12は建築部材や残材まとめた。第273図5は縦手部分の大型部材で、8・9は鴨居である。第274図8は、角棒状で端部に溝、釘痕、円形の切り込みが確認される。第275図1～5は釘等の金属が残る部材である。13～16は撥の可能性もある丸棒状の部材で、漆塗りの17は軸の部品であろう。

C536号



第253図 木製品(3) (1/3・1/4・1/5)

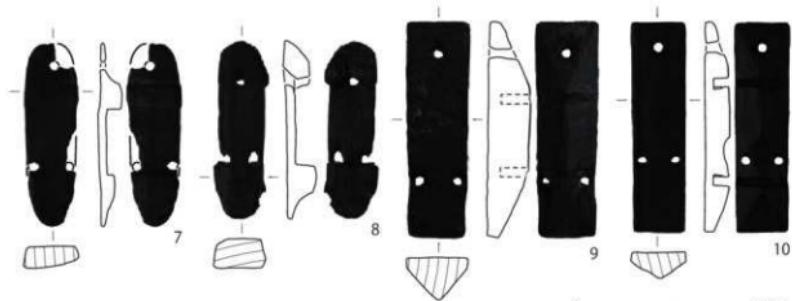
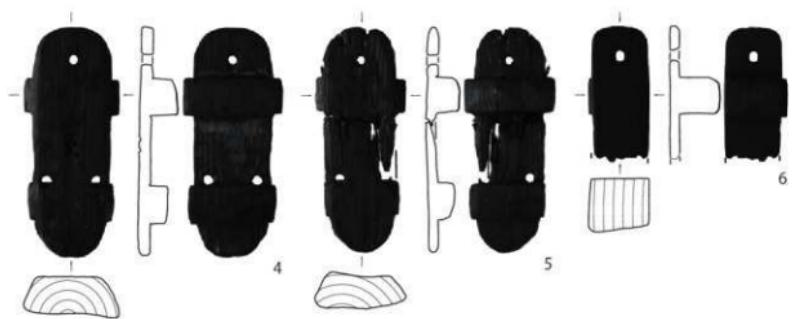
C536号



0 1/5 20cm

第 254 図 木製品 (4) (1/5)

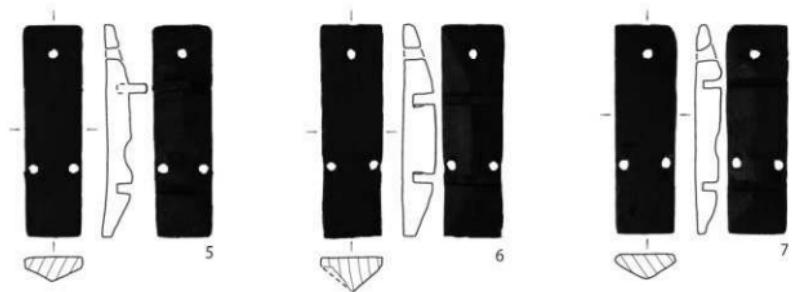
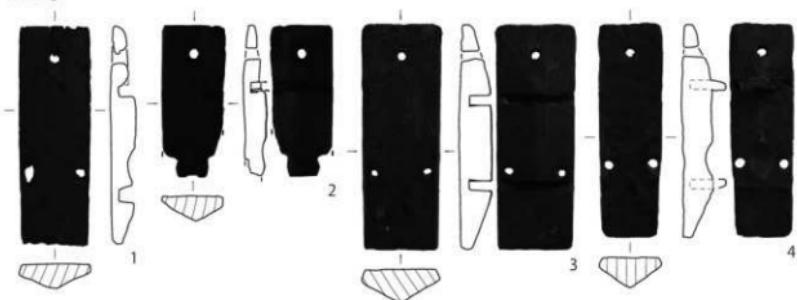
C536号



0 1/5 20cm

第255図 木製品(5) (1/5)

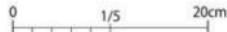
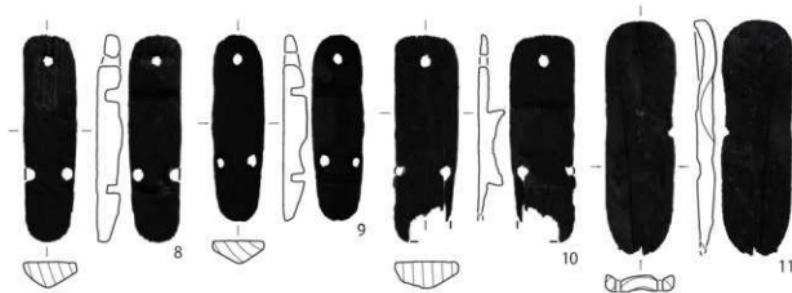
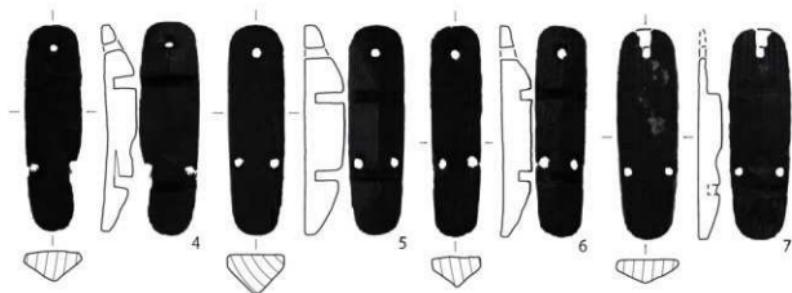
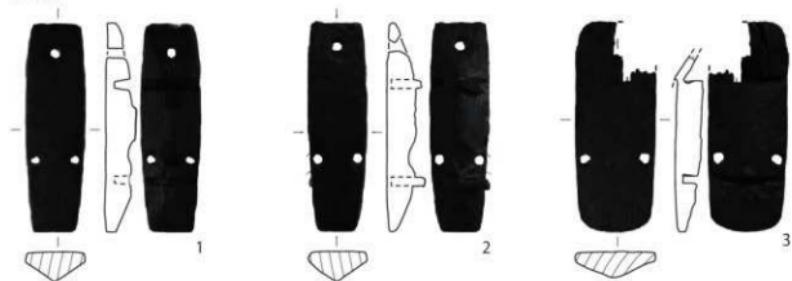
C536号



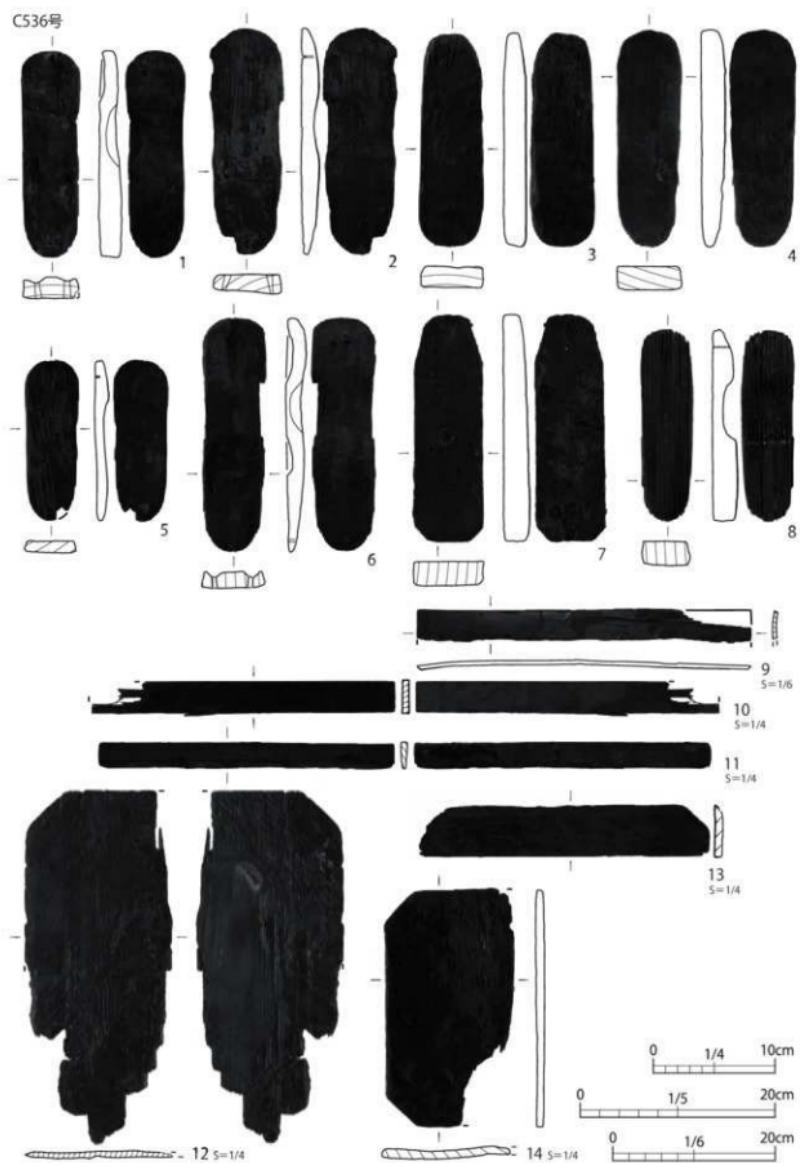
0 1/5 20cm

第256図 木製品 (6) (1/5)

C536号

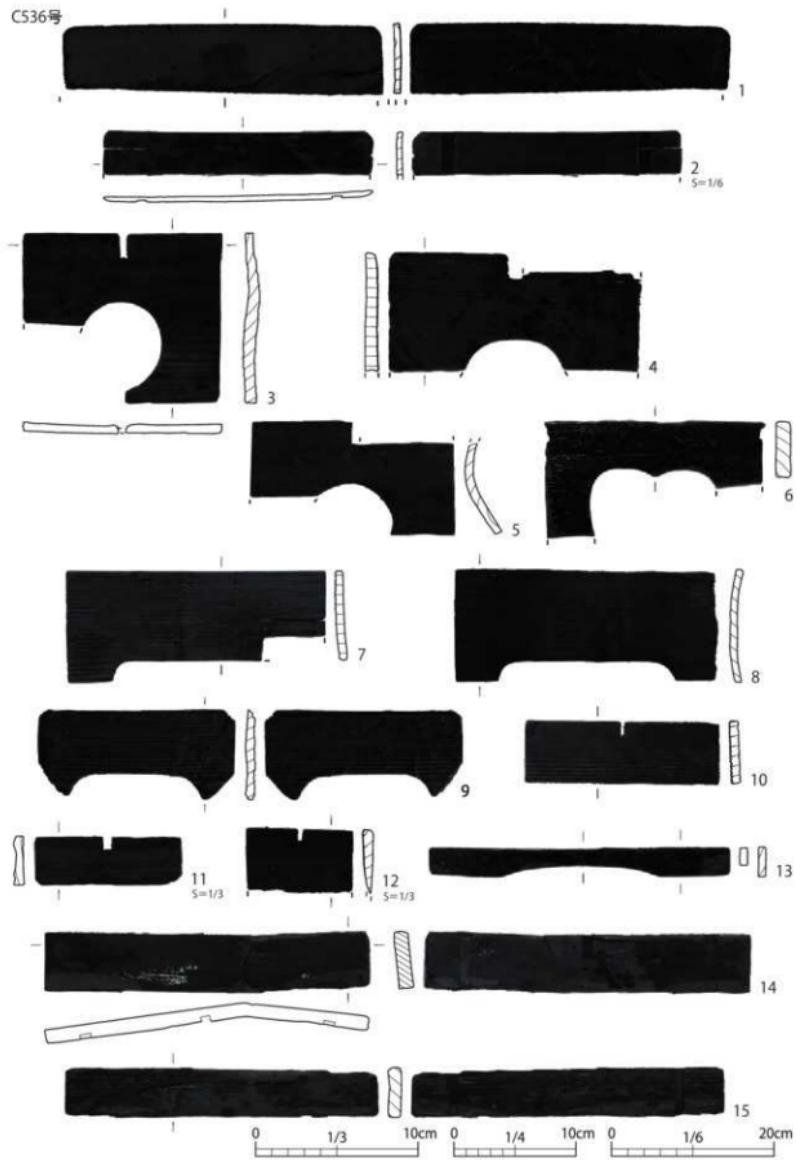


第257図 木製品(7) (1/5)



第258図 木製品(8) (1/4・1/5・1/6)

C536号



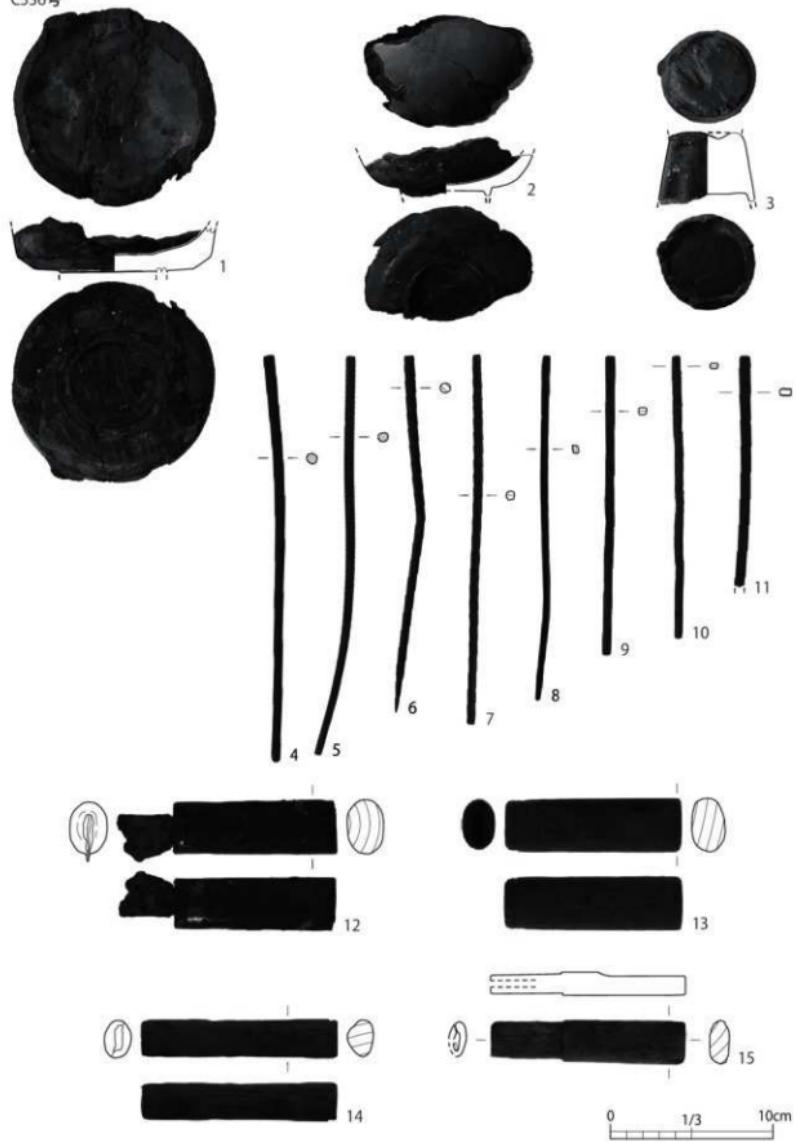
第259図 木製品(9) (1/3・1/4・1/6)

C536号



第 260 図 木製品 (10) (1/3)

C536号

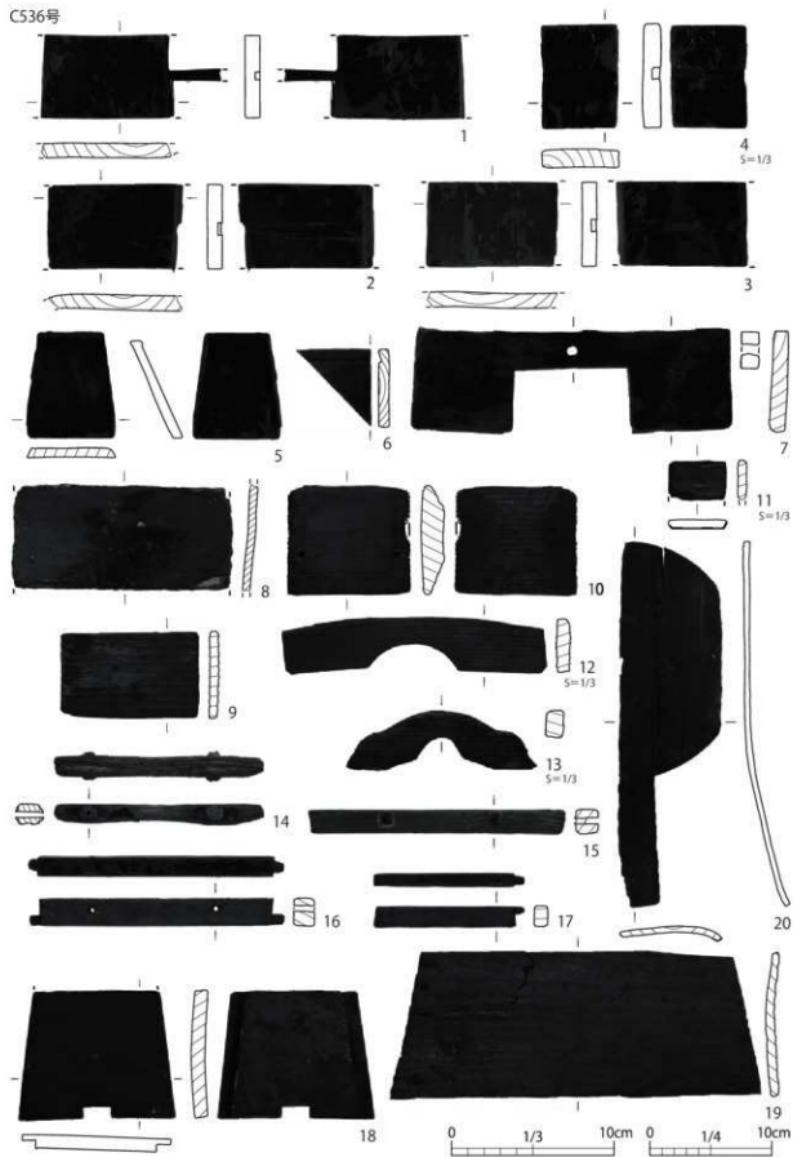


第 261 図 木製品 (11) (1/3)

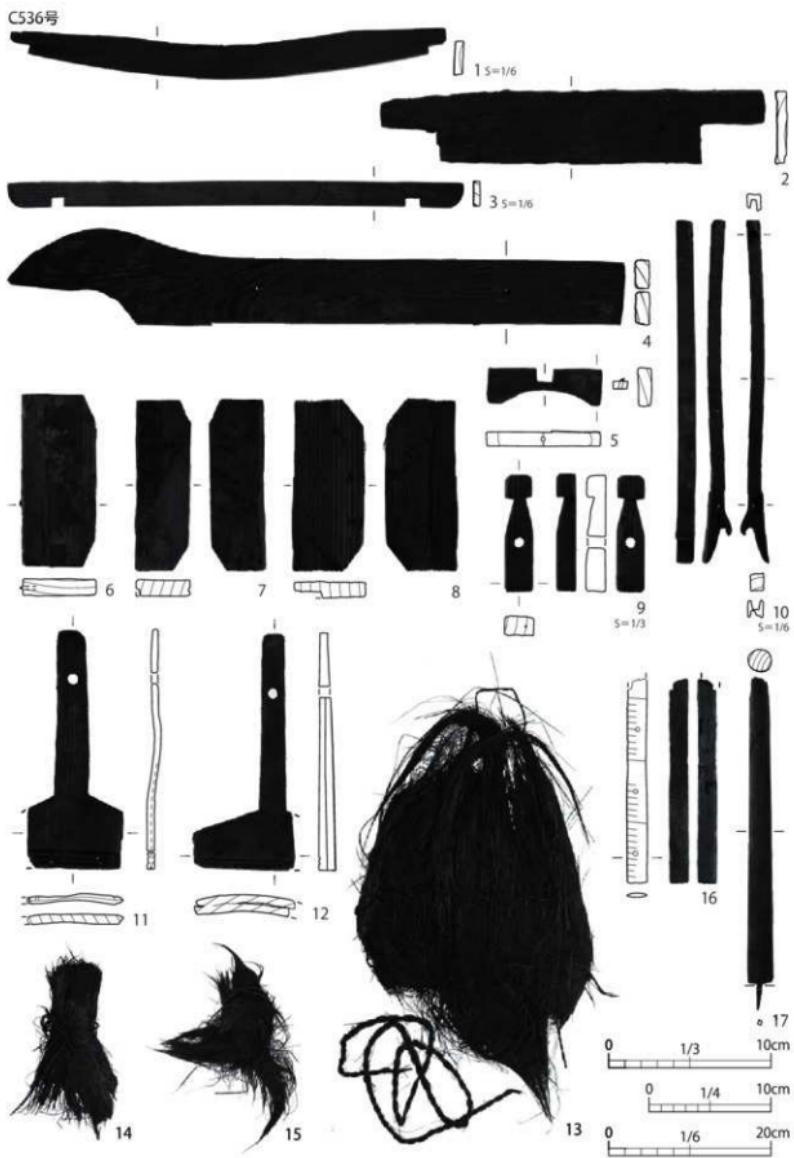
CS36号



第 262 図 木製品 (12) (1/3・1/4・1/6)

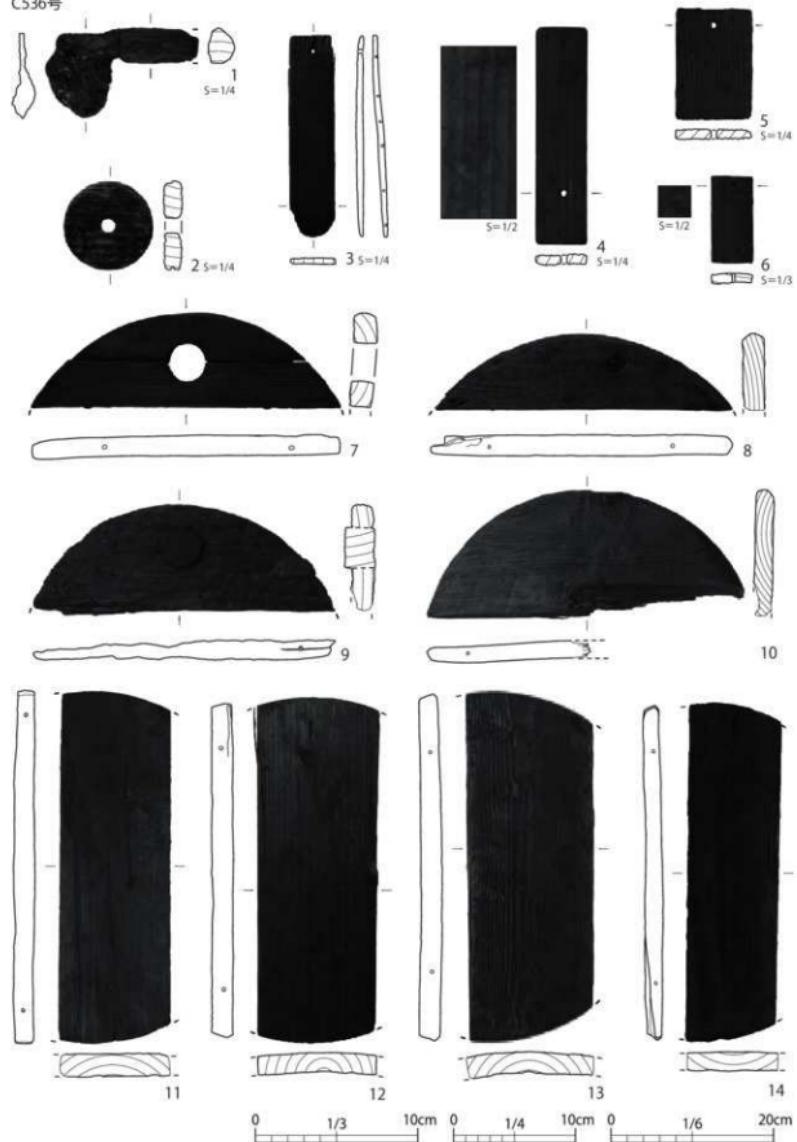


第263図 木製品 (13) (1/3・1/4)



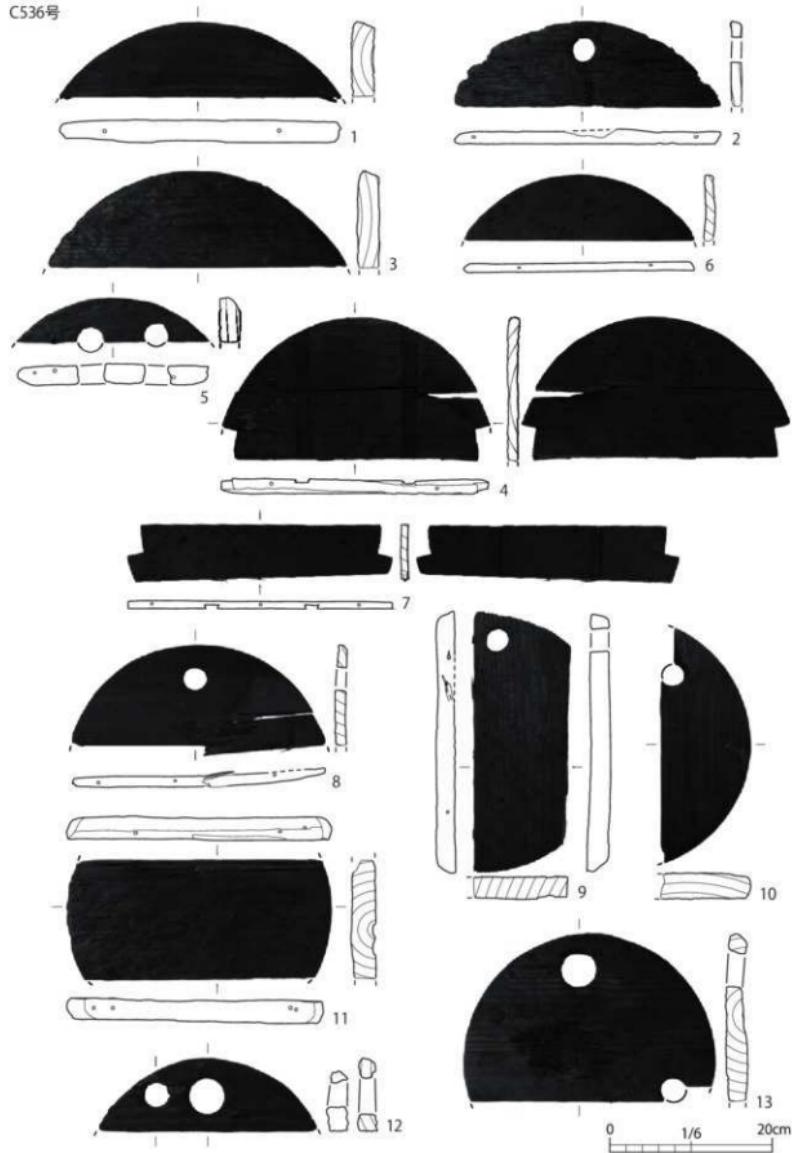
第 264 図 木製品 (14) (1/3・1/4・1/6)

C536号



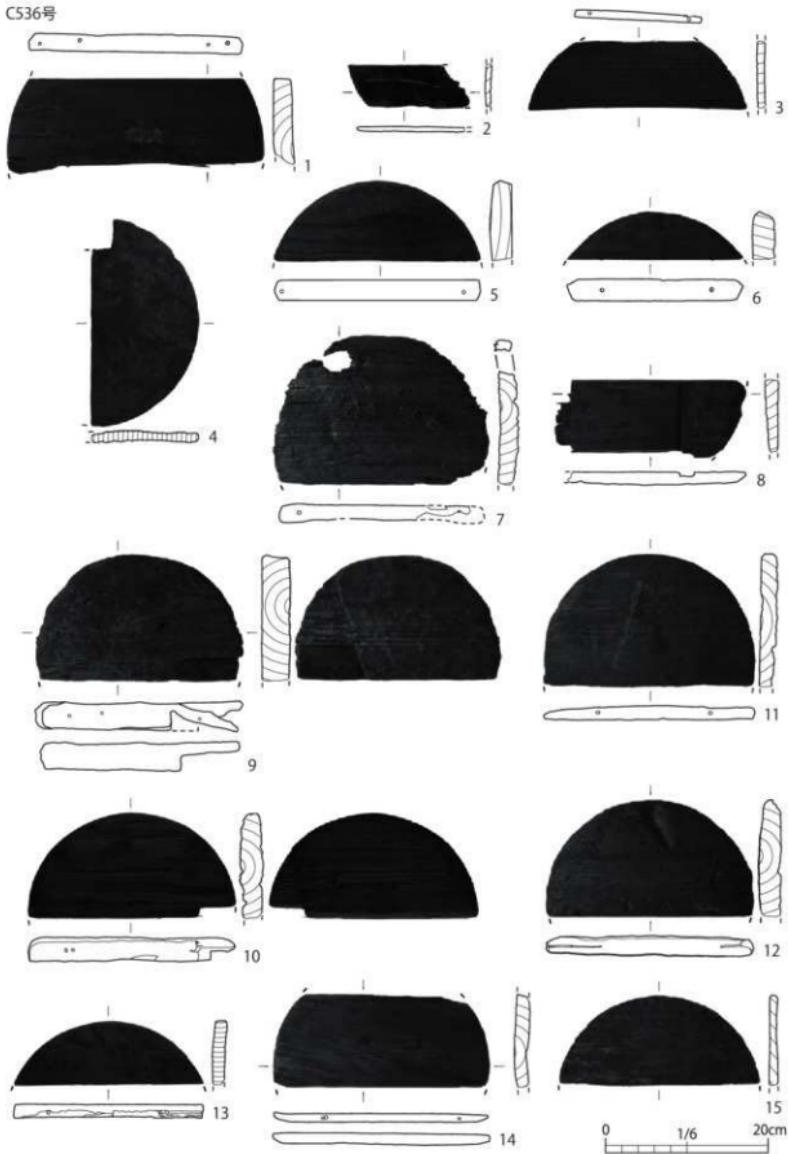
第265図 木製品(15) (1/3・1/4・1/6)

C536号



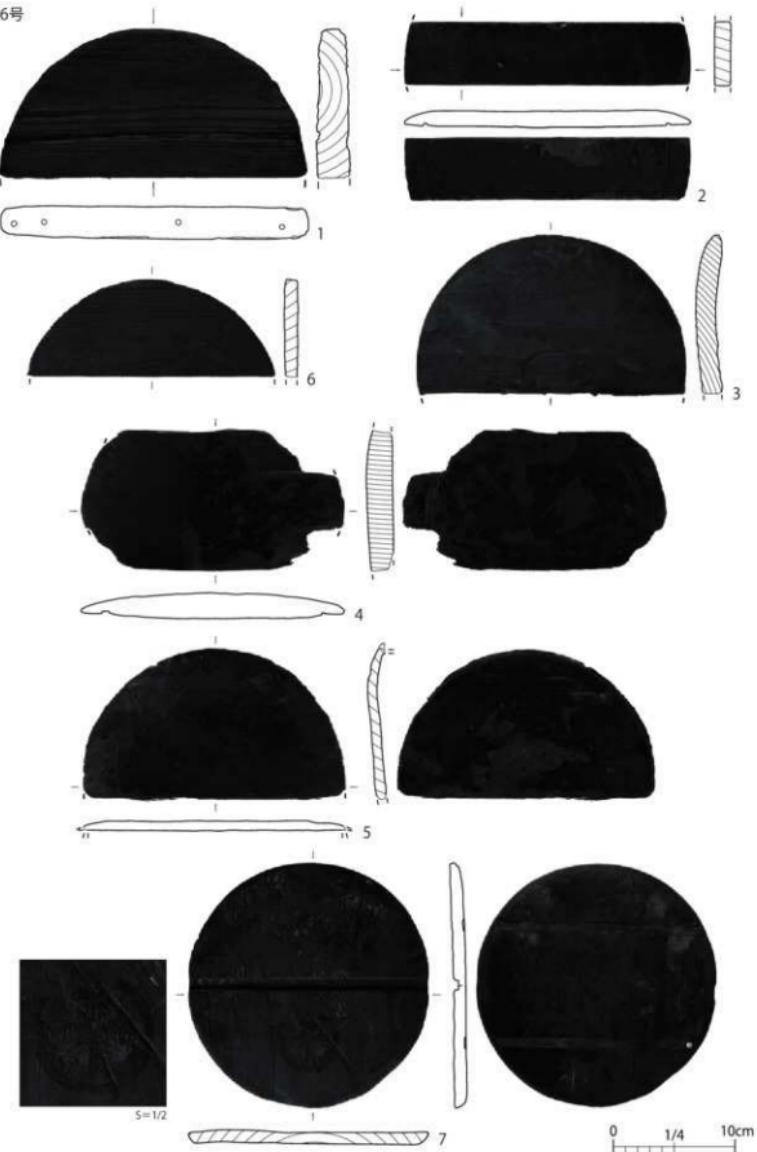
第266図 木製品 (16) (1/6)

C536号

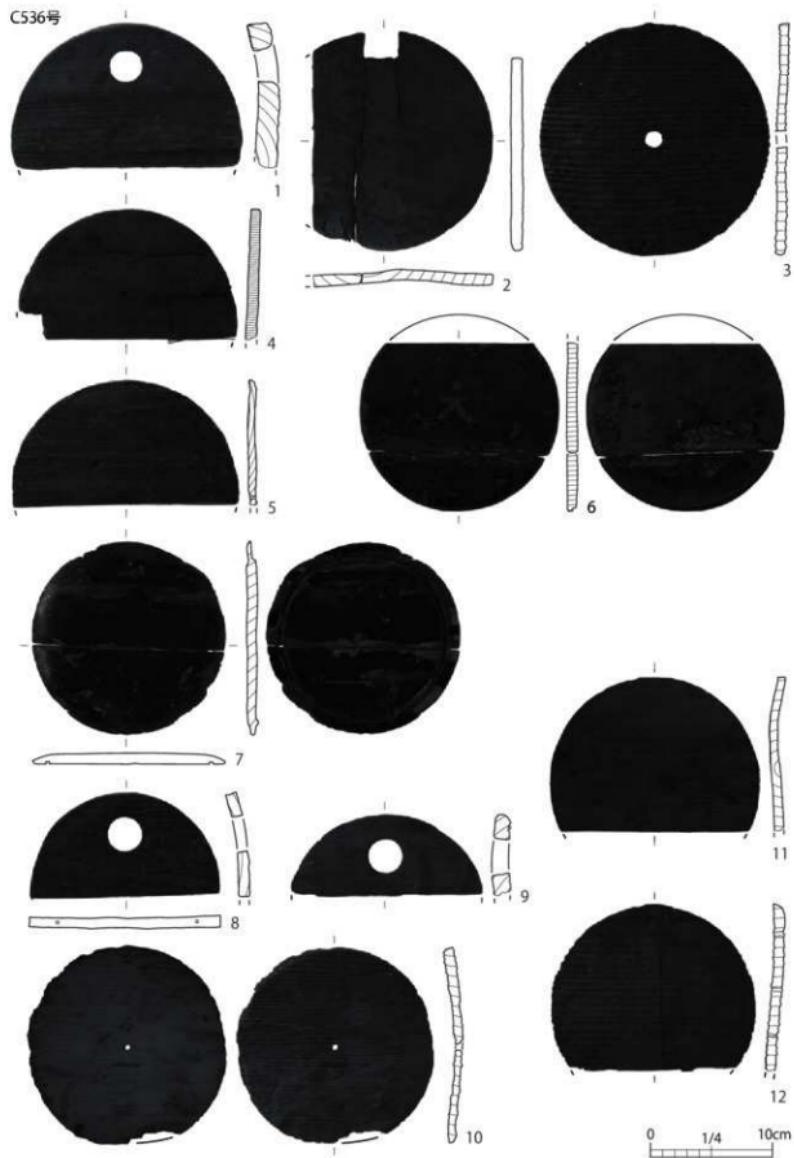


第267図 木製品 (17) (1/6)

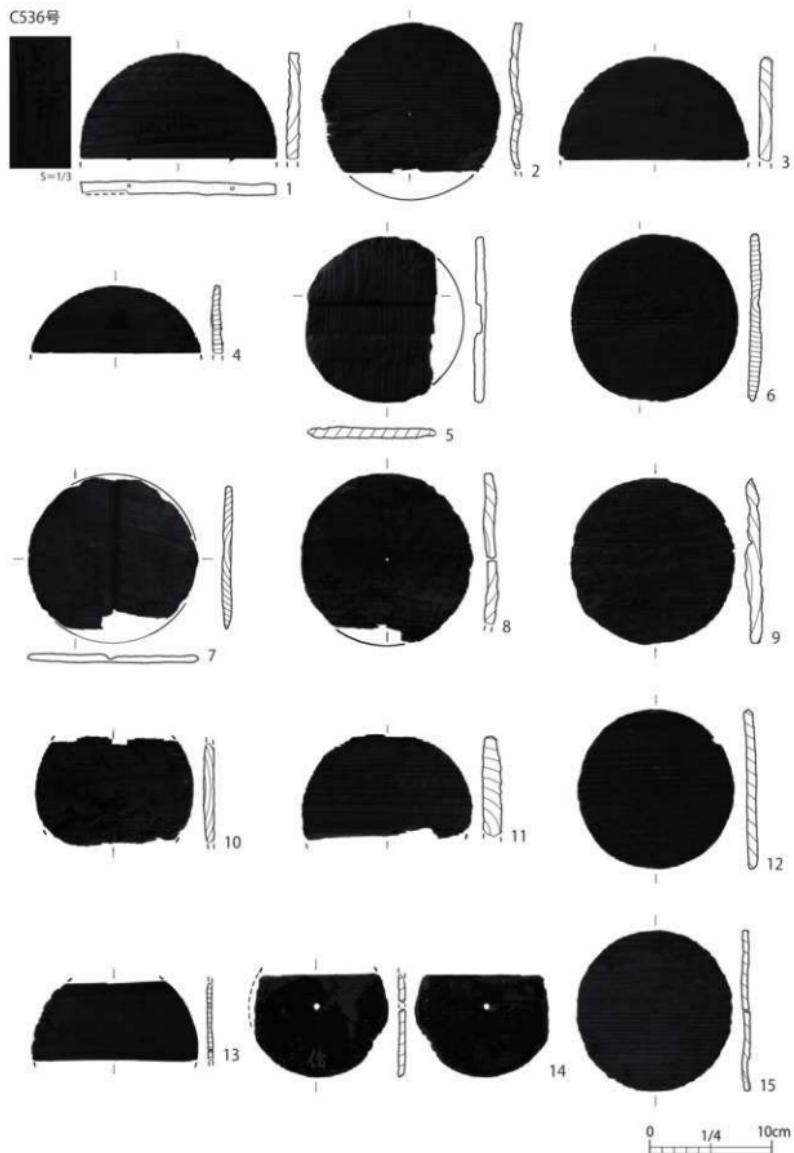
C536号



第 268 図 木製品 (18) (1/4)

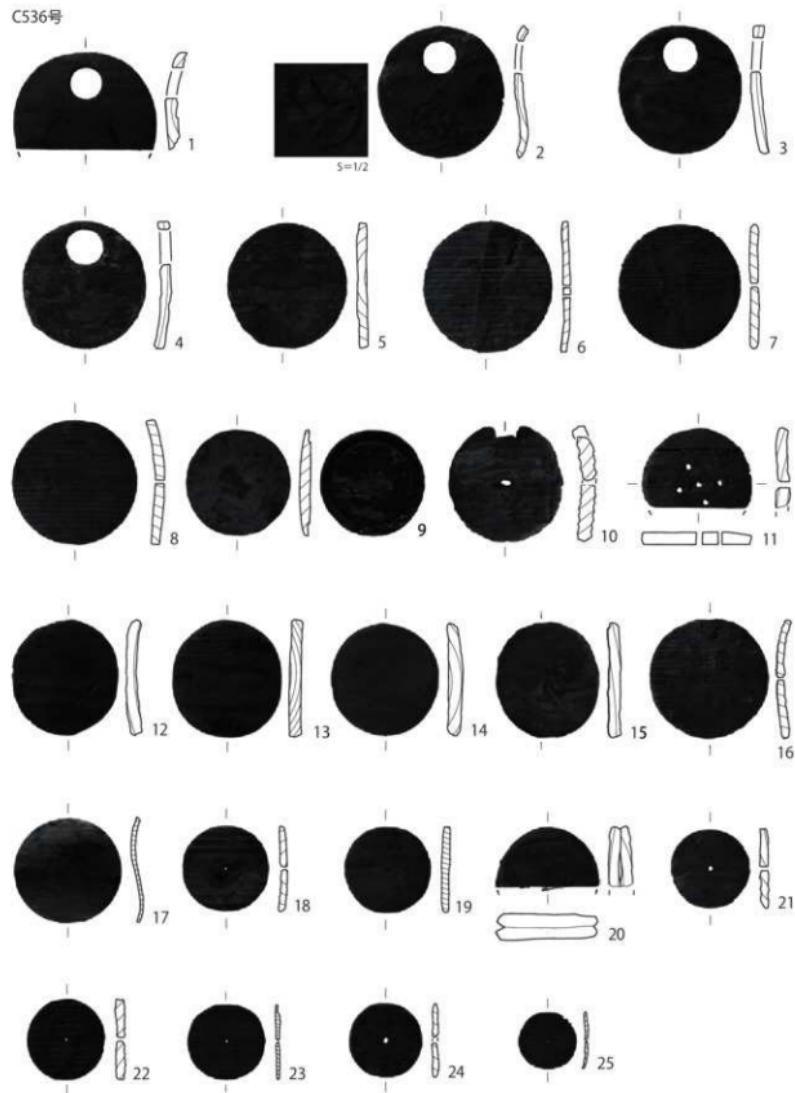


第 269 図 木製品 (19) (1/4)

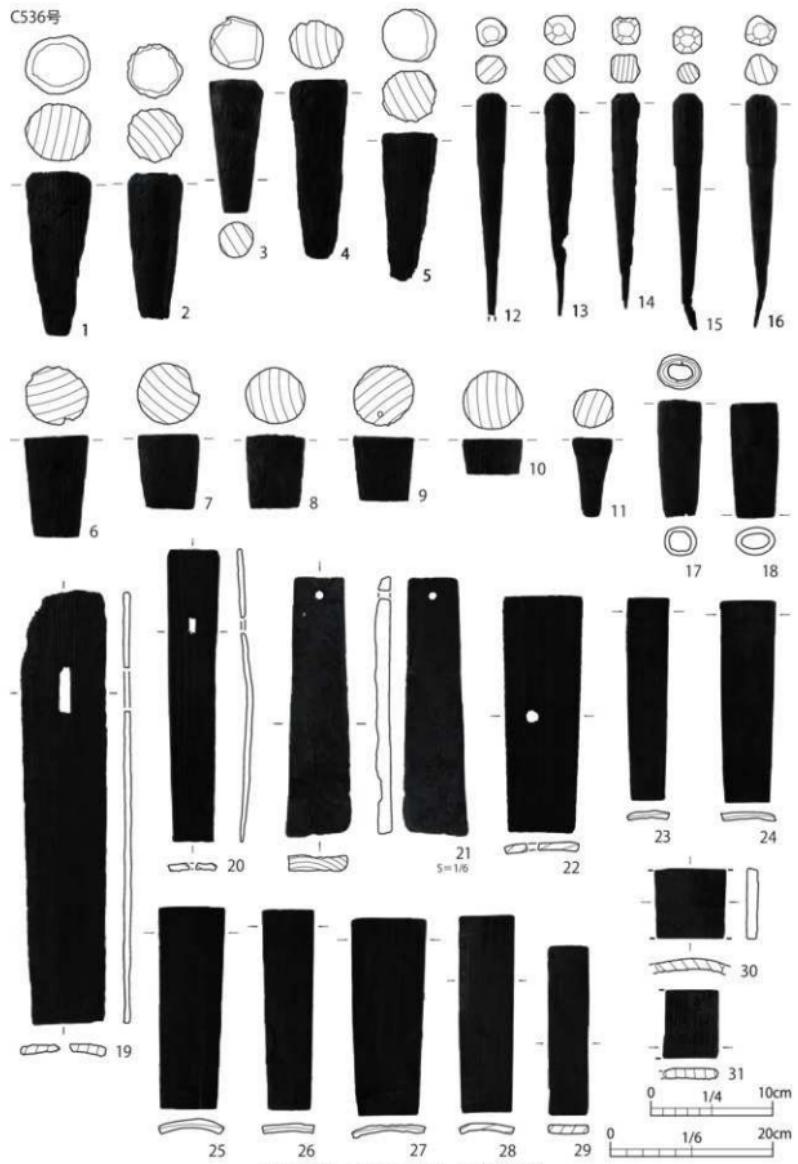


第 270 図 木製品 (20) (1/4)

C536号

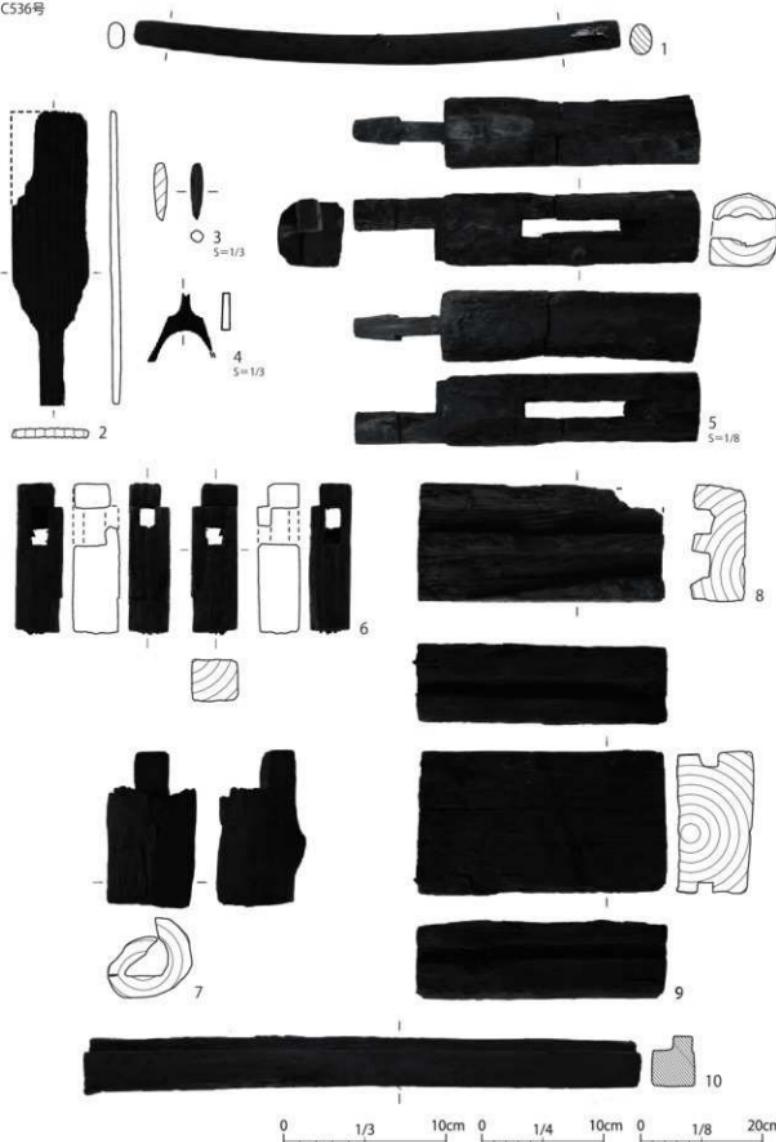


第271図 木製品 (21) (1/4)



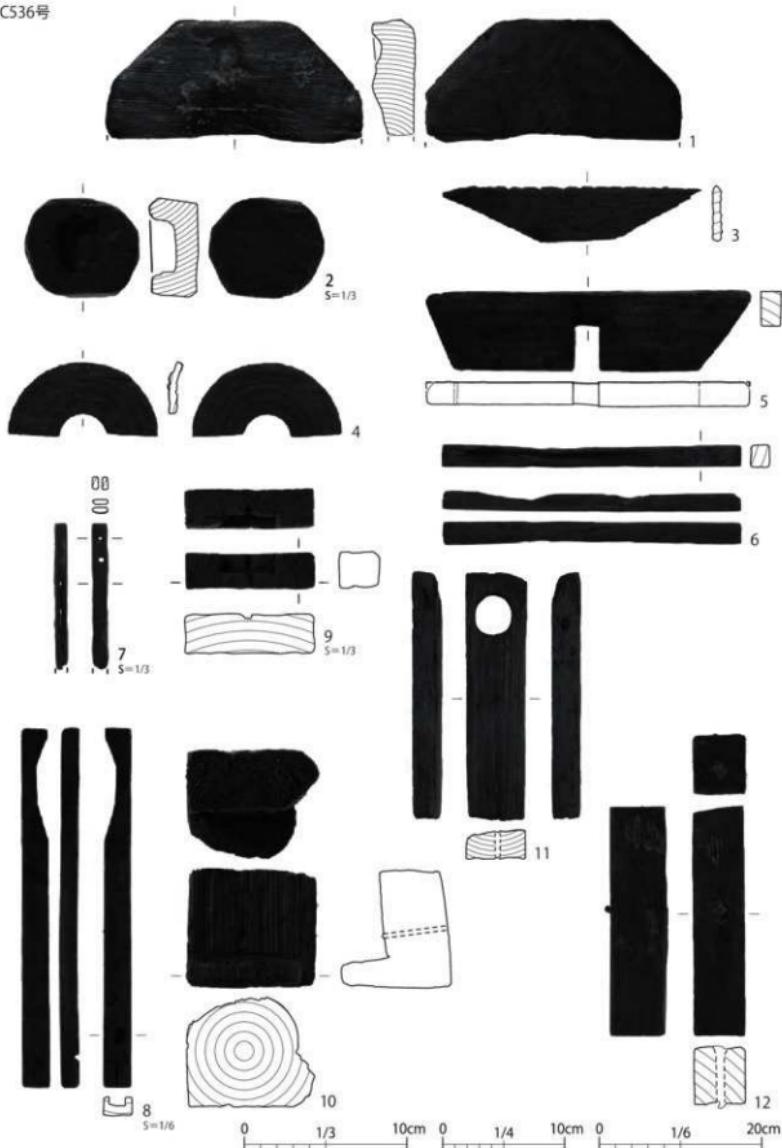
第272図 木製品 (22) (1/4・1/6)

C536号



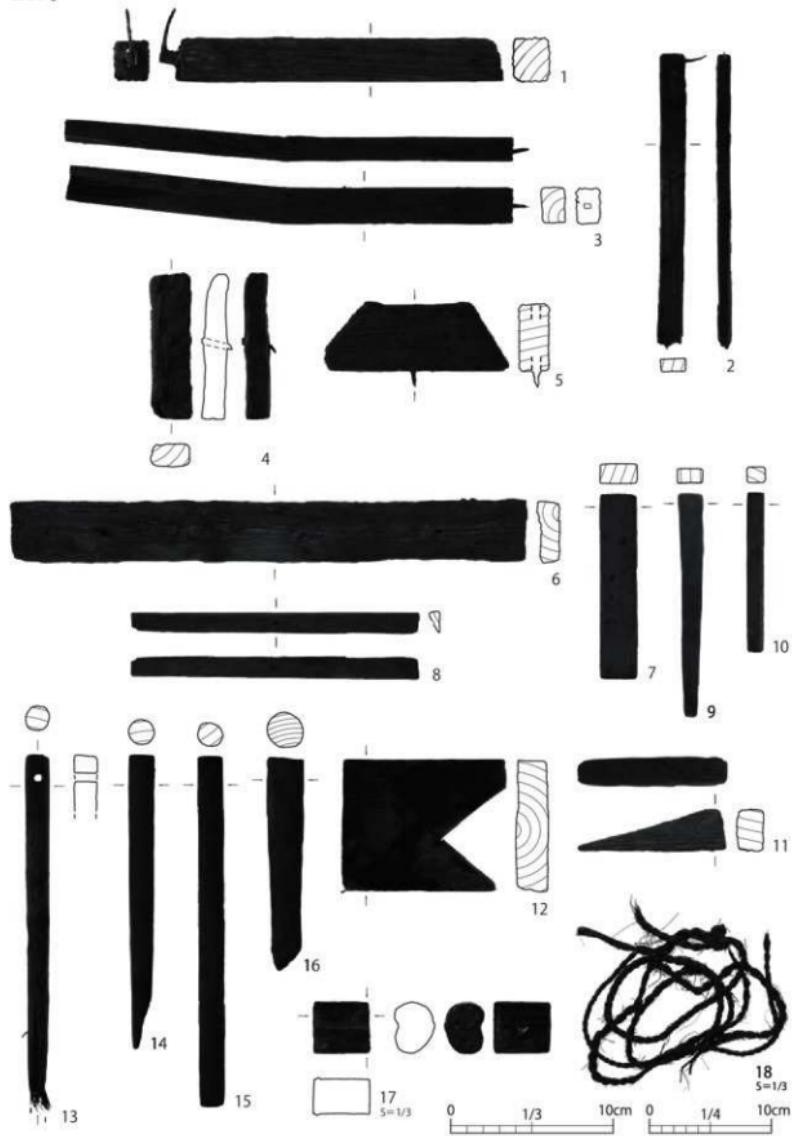
第273図 木製品(23) (1/3・1/4・1/8)

CS36号



第274図 木製品(24)(1/3・1/4・1/6)

C536号



第275図 木製品 (25) (1/3・1/4)

第82表 木製品観察表(1)

規範番号 接着番号	由出土地点	種別 部材	特徴	残存率 (%)	法算 (mm)			含水 重量 (g)	本取り 年輪	樹種	サンプル 番号	整理 番号
					長さ L(D)	幅 W(H)	厚み H(W)					
251 1 B146 号	模造刀柄	黒色漆塗り / 樹目(刷毛)の巻き付け 側面に刀身も壊れて出土したか 別個体	95	148	32	13	47	板目 B	サワラ	S61-1116	28001	
251 2 B5080 号	斧か	断面扇形	100	115	10	6	7	板目 C	アスナロ	S61-1117	28010	
251 3 B5086 号	櫛櫛	解離 / 利休形 / 黒色漆塗	30	[39]	[42]	6	7	板目 B	イスノキ	S61-1102	28029	
251 4 B5086 号	札	板状 / 一舟に穿孔 / 里貫 (不詳)	100	61	56	9	33	板目 B	アスナロ	S61-1107	28538	
251 5 B5086 号	透巻下駄	平舟形 / 角 / 構造孔後側前方 / 後側面斜面頭	80	213	90	22	216	透い板目 C	ヒノキ	S61-1093	28028	
251 6 B5086 号	箸	断面七角形	100	23	6	—	7	削目 B	アスナロ	S61-1096	28042	
251 7 B5086 号	箸	断面円形	100	141	5	5	4	なし	タケ漆柄	S61-1097	28043	
251 8 B5086 号	小型容器蓋板	中央上部に径 22mm 穿孔	40	[49]	[118]	9	30	板目 B	ヒノキ	S61-1089	28030	
251 9 B5086 号	小型容器蓋板	黒色漆塗	50	[32]	[74]	6	11	板目 A	サワラ	S61-1091	28036	
251 10 B5086 号	漆柄	丸棒状 / 先端に断面方形の孔	100	21	18	15	41	削目 B	アスナロ	S61-1114	29543	
251 11 B5086 号	漆柄	黒色漆塗り / 中横残存	80	51	44	32	28	芯引き削出 C	エゴノキ属	S61-1095	28058	
251 12 B1445 号	箸	断面方形	100	215	6	—	5	削目 C	アスナロ	S61-1119	28013	
251 13 B1445 号	箸	断面円形	100	219	6	5	4	削目 C	ヒノキ	S61-1121	29568	
251 14 B1445 号	箸	断面八角形 / 先端尖り	100	154	6	5	4	削目 C	—	—	29666	
251 15 B1445 号	柄留柄	上部に凹状の切り込み / 下部 に円孔	100	95	26	13	24	板目 B	ヒノキ	S61-1118	28012	
251 16 B2290 号	織縫製品	衣か / 肘輪残存 / 固化	40	[262]	[376.4]	—	[87]	—	—	—	29411	
252 1 B3084 号	箸	断面円形	100	157.5	5.3	5.3	5	削目	タケ漆柄	S61-1120	28204	
252 2 C106 号	漆滲し紙	赤色漆滲り	平舟	—	—	—	—	—	—	—	28192-1	
252 3 C106 号	漆滲し紙	赤色漆滲り	平舟	—	—	—	—	—	—	—	28192-2	
252 4 C106 号	漆滲残存	赤色漆滲り / 伸みシワあり	平舟	—	—	—	7	—	—	—	29682	
253 1 C536 号	横櫛	櫛形 / 利休形 / 櫛面 50% 残存 / 墨書き不明	80	123.5	[53]	12	46	削 : 板目 C 裏 : 板目 A	裏 : カバノキ属 表 : カヤカ	東: S61-970 美: S61-981	28188	
253 2 C536 号	横櫛	櫛形刷毛 / 利休形 / 墨書き不明	100	125	36	14	45	板目 C	ヒノキ	S61-972	28189	
253 3 C536 号	横櫛	毛刷立	70	[81]	39	5	7	板目 A	ツヅ	S61-782	28367	
253 4 C536 号	横櫛	毛刷立	80	109	[23]	45	4	板目 A	ツヅ	S61-753	28190	
253 5 C536 号	茶卓難櫛	黒色漆滲り / 中横残存	80	63	54	37	50	芯引き削出 C	エゴノキ属	S61-767	28407	
253 6 C536 号	銀刷毛	底部に切り込み	90	[121]	[36]	9	18	透い板目 C	ヒノキ	S61-981	28341	
253 7 C536 号	透巻下駄	平面丸形 / 構造孔後側前方	100	218	74	37	295	芯持板口 C	ヒノキ	S61-549	28253	
253 8 C536 号	透巻下駄	平面丸形 / 構造孔後側前方	95	219	75	39	290	芯持板口 C	スギ	S61-638	29012	
253 9 C536 号	透巻下駄	平面丸形 / 構造孔後側前方	90	222	102	55	412	板目芯口 C	クリ	S61-637	29011	
253 10 C536 号	透巻下駄	平面丸形 / 構造孔後側前方	95	220	76	41	322	板目芯口 C	スギ	S61-568	28260	
253 11 C536 号	透巻下駄	平面丸形 / 構造孔後側前方	100	218	70	36	251	板目芯口 C	スギ	S61-564	28212	
253 12 C536 号	透巻下駄	平面丸形 / 構造孔後側前方	95	219.5	173	31.5	246	板目芯口 C	スギ	S61-561	28208	
254 1 C536 号	透巻下駄	平面丸形 / 構造孔後側前方	95	215	67	33	239	板目芯口 C	スギ	S61-569	28261	
254 2 C536 号	透巻下駄	平面丸形 / 構造孔後側前方	100	218	72	37	265	板目芯口 C	スギ	S61-556	28218	
254 3 C536 号	透巻下駄	平面丸形 / 構造孔後側前方	90	219	70	41	293	板目芯口 C	スギ	S61-576	28258	
254 4 C536 号	透巻下駄	平面丸形 / 構造孔後側前方	100	213	79	37	264	透い板目芯口 C	スギ	S61-550	28254	
254 5 C536 号	透巻下駄	平面丸形 / 構造孔後側前方 / 後側面斜面頭	90	218	75.5	20	189	透い板目芯口 C	スギ	S61-548	28252	
254 6 C536 号	透巻下駄	平面丸形 / 構造孔後側前方	100	218.5	70.5	42	333	板目芯口 C	スギ	S61-566	28215	
254 7 C536 号	透巻下駄	平面丸形 / 構造孔後側前方	95	217	75	28	204	透い板目芯口 C	スギ	S61-577	28259	
254 8 C536 号	透巻下駄	平面丸形 / 構造孔後側前方	90	217	75	39	291	板目芯口 C	スギ	S61-570	28262	
254 9 C536 号	透巻下駄	平面丸形 / 構造孔後側前方	95	219	68	33	245	透い板目芯口 C	ヒノキ	S61-559	28222	
255 1 C536 号	透巻下駄	平面丸形 / 構造孔後側前方	90	220	79	35	274	板目 C	スギ	S61-557	28219	
255 2 C536 号	透巻下駄	平面丸形 / 構造孔後側前方 / 後側面斜面頭	70	224.5	84	20	239	板目 C	クリ	S61-574	28271	
255 3 C536 号	透巻下駄	平面丸形 / 構造孔後側前方 / 後側面斜面頭	95	224	77	39	293	板目 C	スギ	S61-555	28217	
255 4 C536 号	透巻下駄	平面丸形 / 構造孔後側前方 / 後側面斜面頭	100	236	101	38	405	板目芯口 C	スギ	S61-643	29017	
255 5 C536 号	透巻下駄	平面丸形 / 構造孔後側前方 / 表面隙部取り / 中央に鋤印による文様 / 第255図4をセッテ か	50	231	93	35	176	板目芯口 C	スギ	S61-604	28978	
255 6 C536 号	透巻下駄	平面丸形 / 構造孔後側前方	50	[139]	62	51	184	板目 C	ケンボナシ属	S61-598	28972	
255 7 C536 号	透巻下駄	平面丸形 / 構造孔後側前方 / 後側面斜面頭	80	189	56.5	22	97	板目 C	カツラ	S61-586	28483	
255 8 C536 号	透脚下駄	平面丸形 / 構造孔後側前方	90	183	54	31	131	板目芯口 C	クリ	S61-584	28487	
255 9 C536 号	透脚下駄	平面丸形 / 構造孔後側前方 / 前後側面頭	100	222	65	43	308	台 : 板目 C 前脚 : 板目 C 後脚 : テヤキ	台 : ケンボナシ属 前脚 : ケヤキ 後脚 : テヤキ	台 : S61-679 前脚 : S61-680 後脚 : S61-681	28242	
255 10 C536 号	透脚下駄	平面丸形 / 構造孔後側前方 / 前後側面頭	100	205	58	26	203	透い板目芯口 C	ケンボナシ属	S61-735	29049	
256 1 C536 号	透脚下駄	平面丸形 / 構造孔後側前方	95	225	74	26	255	透い板目芯口 C	ケンボナシ属	S61-654	28210	
256 2 C536 号	透脚下駄	平面丸形 / 構造孔後側前方 / 前後側面頭	60	[154]	65	24	126	透い板目芯口 C 台 : ケヤキ 前脚 : ケヤキ 後脚 : タケ漆柄	台 : ケヤキ 前脚 : ケヤキ 後脚 : タケ漆柄	台 : S61-718 前脚 : S61-719 後脚 : S61-720	29036	
256 3 C536 号	透脚下駄	平面丸形 / 構造孔後側前方 / 前後側面内側にはぞ穴	100	232	81.5	33	397	透い板目 C	ケンボナシ属	S61-675	28240	

第83表 木製品観察表(2)

査定番号 群団 番号	出土地点	種別 器種	特徴	残存率 (%)	法算 (mm)			含水 重量 (g)	本取り 年輪	樹種	サンプル 番号	整理 番号
					長さ (L) 幅 (W) 厚み (H)	幅 (W)	厚み (H)					
256	4 C536 号	扇脚下駄	平面長方形 / 槌締孔後側前方 / 前後側残存	95	218	66.5	45	281	台: 桟目 C 前脚: 桟目直 後脚: 桟目直	台: エノキ属 前脚: タガキ 後脚: タガキ	台: 561-658 前脚: 561-659 後脚: 561-660	28229
256	5 C536 号	扇脚下駄	平面長方形 / 槌締孔後側前方 / 前後側残存	90	216	61	43	252	台: 道・極目芯 前脚: 桟目 C	台: クリ 前脚: エノキ属 後脚: タガキ	台: 561-707 前脚: 561-708	28484
256	6 C536 号	扇脚下駄	平面長方形 / 槌締孔後側前方 / 前後側残存側内側に穴が二つ	90	213	64	34	282	道・極目芯上 C	ケンボナシ属	561-734	29048
256	7 C536 号	扇脚下駄	平面長方形 / 槌締孔後側前方	100	214	64	26.5	219	道・極目芯 F C	クリ	561-700	28450
256	8 C536 号	扇脚下駄	平面長方形 / 槌締孔後側前方 / 前後側残存	100	213	68	20	217	台: 桟目 C 前脚: 不明	台: ケンボナシ属 前脚: タガキ 後脚: タガキ	台: 561-683 前脚: 561-684	28244
256	9 C536 号	扇脚下駄	平面長方形 / 槌締孔後側前方 / 台表面凹凸 / 前後側残存	95	217	64	26	226	台: 桟目 C 前脚: 板目 C 後脚: 板目 C	台: クリ 前脚: タガキ 後脚: タガキ	台: 561-660 前脚: 561-664 後脚: 561-665	28234
256	10 C536 号	扇脚下駄	平面長方形 / 槌締孔後側前方 / 前後側残存 / 表面変化	95	208.5	63	35	242	台: 桟目芯 T C 前脚: 板目 C	台: スダジイ 前脚: タガキ	台: 561-670 前脚: 561-671	28238
257	1 C536 号	扇脚下駄	平面斜長方形 / 槌締孔後側前方 / 前後側残存	100	213	62	31	244	台: 桟目 C 前脚: 板目 C 後脚: タガキ	台: クリ 前脚: タガキ 後脚: タガキ	台: 561-705 前脚: 561-706	28452
257	2 C536 号	扇脚下駄	平面長方形 / 槌締孔後側前方 / 前後側残存 80% 残存	90	214	61	40.5	255	台: 桟目 C 前脚: 板目 C 後脚: 板目 C	台: クリ 前脚: タガキ 後脚: タガキ	台: 561-685 前脚: 561-686 後脚: 561-687	28245
257	3 C536 号	扇脚下駄	平面長方形 / 槌締孔後側前方 / 前後側残存側内側には穴二つ	90	217	82.5	26.5	261	板目芯 T C	ケンボナシ属	561-657	28228
257	4 C536 号	扇脚下駄	平面長方形 / 槌締孔後側前方	95	212	58.5	32	214	板目 C	クリ	561-668	28236
257	5 C536 号	扇脚下駄	平面長方形 / 槌締孔後側前方	100	215	58	41	280	道・極目芯上 C	センダン	561-732	29046
257	6 C536 号	扇脚下駄	平面斜長方形 / 槌締孔後側前方	95	216.5	53	30	200	前脚: 板目 C 後脚: 板目 C 不規則: タガキ	台: ケンボナシ属 前脚: タガキ 後脚: 不規則	台: 561-680 前脚: 561-681	28265
257	7 C536 号	扇脚下駄	平面長方形 / 槌締孔後側前方 / 全周側に溝跡 / 前後側残存	95	213.5	64	24.5	180	台: 桟目 C 前脚: 板目 C 後脚: 板目 C	台: クリ 前脚: タガキ 後脚: タガキ	台: 561-661 前脚: 561-662	28232
257	8 C536 号	扇脚下駄	平面長方形 / 槌締孔後側前方 / 後脚側残存	95	212	55	26.5	190	台: 道・極目 C 前脚: 板目 C 後脚: タガキ	台: クリ 前脚: タガキ 後脚: タガキ	台: 561-663 前脚: 561-667	28235
257	9 C536 号	扇脚下駄	平面長方形 / 槌締孔後側前方	100	190	52	24	138	道・極目芯 L C	クリ	561-733	29047
257	10 C536 号	扇脚下駄	平面長方形 / 槌締孔後側前方 / 片白黒色塗装 / 台面の前後	90	212	68	26	147	板目 C	クリ	561-580	28449
257	11 C536 号	扇脚下駄	平面斜長方形 / 菊瓣 8 号所 / 台面中央内側に抜き	95	238	73	20	247	板目芯 T C	アカマツ	561-598	28230
258	1 C536 号	扇脚下駄	平面長方形 / 菊瓣數か所 / 台面中央内側に抜き	95	212.5	60.5	23	226	板目芯 T C	アカマツ	561-699	28231
258	2 C536 号	扇脚下駄	平面長方形 / 菊瓣數か所 / 台面中央内側に抜き	95	232	76.5	19	231	板目芯 T C	アカマツ	561-696	28225
258	3 C536 号	扇脚下駄	平面長方形 / 菊瓣數か所 / 台面中央内側に抜き	100	220	67	23	304	板目芯 T C	ヒノキ	561-701	28270
258	4 C536 号	扇脚下駄	平面長方形 / 菊瓣數か所 / 台面中央内側に抜き	100	223	67	25	321	板目芯 T C	ヒノキ	561-694	28223
258	5 C536 号	扇脚下駄	平面長方形 / 菊瓣數か所 / 台面中央内側に抜き	95	165	51	14	102	板目芯 T C	アカマツ	561-746	29060
258	6 C536 号	扇脚下駄	平面長方形 / 菊瓣 8 号所 / 台面中央内側に抜き	95	25	65	20	234	板目 C	アカマツ	561-700	28233
258	7 C536 号	扇脚下駄	平面長方形 / 菊瓣數か所 / 台面中央内側に抜き	100	233	72.5	28	412	板目 C	カラマツ属	561-697	28226
258	8 C536 号	扇脚下駄	平面長方形 / 菊瓣數か所 / 台面中央内側に抜き	100	198	54	25.5	181	板目 C	アカマツ	561-695	28224
258	9 C536 号	扇脚板	内外全面赤色塗装	90	(411)	41	5	72	板目 C	ヒノキ	561-700	29007
258	10 C536 号	扇脚板	内外全面赤色塗装 / 内面赤色塗装	60	247.5	29	57	35	板目 B	マツ属貴賀派	561-874	28438
258	11 C536 号	扇脚板	内外全面赤色塗装	95	243	22	5.1	29	板目 B	ヒノキ	561-871	28433
258	12 C536 号	扇脚板	上・下脚裏面に刻み / 上面裏面に刻み	30	(122)	288	7	148	板目 B	アスナロ	561-895	29065
258	13 C536 号	扇脚板	上面裏面に刻み / 下脚裏面に刻み	10	239	44	7	62	板目 C	アスナロ	561-907	29085
258	14 C536 号	扇脚板	上面裏面に刻み	40	194	106	75	121	板目 C	アスナロ	561-880	28453
259	1 C536 号	扇脚板	四隅面に刻み / 下脚裏面に刻み	20	262	57	6	95	道・極目 C	ヒノキ	561-875	28439
259	2 C536 号	扇脚板	下面裏面に溝 2 条 / 溝中に櫛材材質に刻み	15	332	55	6	121	板目 C	ヒノキ	561-882	28460
259	3 C536 号	扇脚板	上部中央に切り込み / 下脚中央に切り込み	80	164	140	8	130	板目 C	モミ属	561-865	28355
259	4 C536 号	扇脚板	内外全面赤色塗装 / 上部中央に切り込み / 下脚中央に平円形の透かし	40	204	[98]	11	163	板目 C	モミ属	561-890	28490
259	5 C536 号	扇脚板	上部中央に切り込み / 下脚中央に平円形の透かし	70	168	(92)	8	93	板目 C	モミ属	561-863	28353
259	6 C536 号	扇脚板	内外全面赤色塗装 / 下部に曲線状の透かし	80	180	(101)	12	125	板目 C	ヒノキ	561-878	28445
259	7 C536 号	扇脚板	下部に長楕円形の透かし	90	214	92	10	108	板目 C	スギ	561-961	29175
259	8 C536 号	扇脚板	下部中央に透かし	100	214	93	6	115	板目 C	スギ	561-859	28317
259	9 C536 号	扇脚板	下部内側に段階状 / 下部に透かし	100	162	74	7.5	59	道・極目 C	スギ	561-860	28274
259	10 C536 号	扇脚板	中央上面に切り込み	100	160	52	10	64	板目 C	セミ属	561-857	28129
259	11 C536 号	扇脚板	上部中央に切り込み	100	90	30	6	16	板目 C	ヒノキ	561-884	28467
259	12 C536 号	扇脚板	上部中央に切り込み	80	66	140	7	15	板目 C	ツガ属	561-862	28340
259	13 C536 号	扇脚板	内外全面赤色塗装 / 中央下部に楕円形の透かし	100	244	24	6	39	板目 C	ヒノキ	561-873	28437

第84表 木製品観察表(3)

規範番号 説明番号	出土地点	種別 部材	特徴	既存率 (%)	法量 (mm)			含水 重量 (g)	本取り 年輪	樹種	サンプル 番号	整理 番号
					長さ (L) mm	幅 (W) mm	厚み (H) mm					
259 14 C536 号	脚脚板	内外加色彩塗装・赤色塗装 / 上部材 / 上面に櫻目材	95 268 52 25 167	板目 B	アスナロ	S61-967	29186					
259 15 C536 号	脚脚板	内外加色彩塗装・赤色塗装 / 上部中央に酒 / 酒上面に溝・別部材 / 上面に櫻目材	95 256 42 11 103	板目 C	スギ	S61-964	29182					
260 1 C536 号	桟蓋(平底)	脚部に / 内外加色彩塗装	40 (124) [38] [29] 67	横木取り板目 A	ブナ属	S61-1079	28419					
260 2 C536 号	桟蓋(一文字挽)	外面黒色塗装 / 内面赤色塗装 / 外面塗装内面赤色書か「本物」	50 (107) [44] 49 85	横木取り板目 C	ブナ属	S61-1074	28412					
260 3 C536 号	桟蓋(一文字挽)	脚部に / 内外加色彩塗装	20 (100) 25 — 23	横木取り板目 A	トチノキ	S61-1069	28402					
260 4 C536 号	桟蓋(腰丸柱)	内面加色彩塗装 / 外面塗装内面赤色書か「酒」	30 — [11] (42) 14	横木取り板目 A	トチノキ	S61-1072	28410					
260 5 C536 号	跡	外面赤色塗装 / 内面赤色塗装 / 高台内赤色書か「■」/ 外面赤色書か「彩」	60 [128] 74 [37] 95	横木取り板目 C	ブナ属	S61-1082	28423					
260 6 C536 号	桟(腰丸柱)	内外加色彩塗装 / 高台内黑色塗装	60 [116] [50] [56] 100	横木取り板目 C	ハンノキ属	S61-1073	28411					
260 7 C536 号	桟(腰丸柱)	脚部に / 外面加色彩塗装 / 内面赤色書か「酒」/ 高台赤色書か「上」/ 脚部内面赤色塗装 / 外面赤色塗装	60 [118] [38] [38] 131	横木取り板目 C	ブナ属	S61-1081	28422					
260 8 C536 号	桟(腰丸柱)	脚部に / 外面加色彩塗装 / 外面赤色書か「酒」	50 [108] [36] [56] 114	横木取り板目 B	トチノキ	S61-1076	28415					
260 9 C536 号	桟(桟)	脚部に / 板 / 外面加色彩塗装	60 [104] [35] 100 103	横木取り板目 A	トチノキ	S61-1078	28418					
261 1 C536 号	桟(平底)	脚部に / 外面加色彩塗装 / 内面赤色塗装	10 [125] [28] [65.5] 180	横木取り板目 C	ブナ属	S61-1080	28421					
261 2 C536 号	桟(腰丸柱)	脚部に / 外面加色彩塗装 / 内面赤色書か「酒」	40 (107) [25] [58.1] 46	横木取り板目 C	トチノキ	S61-1075	28414					
261 3 C536 号	桟	高台面 / 外面加色彩塗装 / 内面赤色塗装	10 — [43] — 69	横木取り板目 C	トチノキ	S61-1071	28408					
261 4 C536 号	著	断面円形	100 249 6.5 6.5 7	削目 A	イヌガヤ	S61-794	29417					
261 5 C536 号	著	断面円形	100 246 6 5.5 6	削目 A	イヌガヤ	S61-795	29419					
261 6 C536 号	中か	断面円形 / 先端斜面に加工	100 220 5.5 5.5 6	削目 B	イヌガヤ	S61-793	29416					
261 7 C536 号	著	断面方形	95 228 5.5 5.5 5	削目 C	スギ	S61-792	29415					
261 8 C536 号	著	断面方形	100 212 5 4 4	削目 A	イヌノキ	S61-784	29292					
261 9 C536 号	著	断面椭円形	100 184 5 4.5 4.5	削目 C	スギ	S61-791	29306					
261 10 C536 号	著	断面梢円形	95 169 6 3.5 3	削目 B	スギ	S61-796	29420					
261 11 C536 号	著	断面方形	70 (142) 7 4 4	削目 B	スギ	S61-797	29424					
261 12 C536 号	鉗丁	端部に / 黒色塗装 / 鉄製鉗丁残存	100 (137) 32 23 84	削目 C	スギ	S61-786	29295					
261 13 C536 号	刃物類柄	端部に溝	100 109 34 20 64	削目 C	スギ	S61-777	28362					
261 14 C536 号	刃物類柄	100 121 24 16 39	削目 C	ヒノキ	S61-785	29293						
261 15 C536 号	刃物類柄	段を作り / 刃面墨書き (不評)	95 26 12 14 36	削目 C	ヒノキ	S61-768	28432					
262 1 C536 号	筋ifik板か	端面に段作成	4-8 238 63 29.5 95	板目 B	ヒノキ	S61-1004	28100					
262 2 C536 号	筋ifik板	上面黒色塗装 / 下面に2条の溝	20 204 [52] 61 57	板目 B	ヒノキ	S61-872	28434					
262 3 C536 号	筋ifik板	下上面黒色塗装 / 下面に2条の溝	95 200 187 9 381	板目 C	スギ	S61-881	28458					
262 4 C536 号	筋ifik板	下上面黒色塗装 / 下面に2条の溝	70 (120) 150 9 140	板目 B	ヒノキ	S61-896	29066					
262 5 C536 号	筋ifik板	下上面黒色塗装 / 上面金彩色で文様	50 105 [50.5] 5 26 週い板目 C	ヒノキ	S61-866	28405						
262 6 C536 号	筋ifik板	上面黒色塗装 / 下面赤色塗装 / 別部材	95 99 99 12 102	板目 C	ヒノキ	S61-867	28426					
262 7 C536 号	筋ifik板	内外面黒色塗装 / 長軸方向端部に段作成	90 102 79 77 56	板目 C	ヒノキ	S61-877	28444					
262 8 C536 号	筋ifik板か	下上面黒色塗装	40 98 [46] 7 27	板目 B	アスナロ	S61-904	29076					
262 9 C536 号	筋ifik板	上部端に孔あり / 左右両側に	不明 271 139 7 287	板目 C	モミ属	S61-959	29170					
262 10 C536 号	筋ifik板	中央上部に円孔	不明 182 50 8 70	削目 C	—	—	29172					
262 11 C536 号	筋ifik板	内面下に溝1条 / 侧面に釘穴2ヶ所	100 131 71 6 61 週い板目 B	スギ	S61-947	29154						
262 12 C536 号	筋ifik板か	板状 / 端に打穴3ヵ所	95 113 4 6 21	板目 B	スギ	S61-994	28475					
262 13 C536 号	筋ifik板	赤色塗装 / 端部に釘穴2ヶ所 / 端に墨書き	90 169 41 12 77	週い板目 B	アスナロ	S61-954	29162					
262 14 C536 号	筋ifik板か	内外面黒色塗装 / 赤色塗装文様 / 内面中央の溝に別部材残存	不明 (98) 63 10 63	板目 C	—	—	29171					
263 1 C536 号	筋ifik板	内外面黒色塗装 / 内面中央の溝	50 (145) 69 13 95	板目 C	ヒノキ	S61-869	28428					
263 2 C536 号	筋ifik板か	内外面黒色塗装 / 内面中央の溝	40 (110) 70 12 96	板目 C	スギ	S61-888	28476					
263 3 C536 号	筋ifik板か	内外面黒色塗装 / 内面中央の溝に別部材残存	40 (107) 69.5 12 97	板目 C	—	—	28477					
263 4 C536 号	筋ifik板か	内外面黒色塗装 / 内面中央の溝に別部材残存	95 64 48 11 37	板目 C	アスナロ	S61-889	28478					
263 5 C536 号	筋ifik板か	内外面黒色塗装	不明 — — 47	板目 C	アスナロ	S61-891	28492					
263 6 C536 号	筋ifik板	黒色塗装 / 上部に溝	100 64 62 9 18	板目 B	スギ	S61-956	29164					
263 7 C536 号	調度品木材	板状 / 黑色塗装 / 上部中央に穿孔 / 上部中央の溝に別部材残存	100 85 26.4 14 236	板目 C	モミ属	S61-879	28451					
263 8 C536 号	筋ifik部材	板状 / 内外加色彩塗装 / 各側面に墨書き	90 (180) 88 6 102	板目 B	ヒノキ	S61-897	29067					
263 9 C536 号	筋ifik部材	赤色塗装か	100 114 71 70 53	板目 C	スギ	S61-950	29158					
263 10 C536 号	筋ifik底板か	上面中央部平滑 / 上面横継目痕2ヶ所 / 斜面左端	100 102 89 19 106	週い板目 C	サワラ	S61-1028	29242					

第85表 木製品観察表(4)

査定番号 補図 番号	出土地点	種別 器種	特徴	残存率 (%)	法算 (mm)			含水 重量 g	本取り 年輪	樹種	サンプル 番号	整理 番号
					長さ L(D)	幅 W(H)	厚み S(D)					
263 11 C536 号	箱形部材か	板状 / 赤色漆塗		100	36	(25)	5	5	追い極日 C	アスナロ	S61-909	29092
263 12 C536 号	把手	中央下部に平円孔の透かし		100	161	33	8	32	追い極日 C	モミ属	S61-1029	29243
263 13 C536 号	把手	曲線状の平面形		20	117	37	12	26	極日 C	ヒノキ	S61-385	28711
263 14 C536 号	調度品部材	断面左形 / 黒色漆塗 / ハトメ状の脚部具 2ヶ所残存		不明	172	17	24	65	削出 B	スギ	S61-835	29268
263 15 C536 号	調度品部材	断面左形 / ハトメ状の脚部具 2ヶ所残存		95	211	20	19	75	角材 C	スギ	S61-829	29262
263 16 C536 号	調度品部材	角棒状 / 赤色漆塗 / 削穴 2ヶ所		100	208	23	17	72	追い極日 C	ヒノキ	S61-841	29274
263 17 C536 号	調度品部材	角棒状 / 赤色漆塗 / ぼかしあり		100	124	17	11	25	極日 C	ヒノキ	S61-960	29174
263 18 C536 号	柄削除部	外側: 赤色漆塗 / 内面赤色漆塗 / 面に切り込み / 肉厚あり		100	129	(105)	11	128	板目 B	アスナロ	S61-986	28429
263 19 C536 号	柄削除部	赤色漆塗		90	304	118	7	243	板目 C	スギ	S61-1046	29215
263 20 C536 号	柄削除部	板状		40	(298)	84	5	99	板目 C	ヒノキ	S61-988	28458
264 1 C536 号	調度品部材	板状 / 棚 / 南端に切り込み		95	536	60	12	226	板目 C	ヒノキ	S61-999	28495
264 2 C536 号	調度品部材	板状 / 南端に切り込み		95	317	63	10	156	板目 C	モミ属	S61-998	28494
264 3 C536 号	調度品部材	両端下部に切口切り込み		80	558	30	8	82	追い極日 C	モミ属	S61-982	28348
264 4 C536 号	調度品部材か	板状 / 端穴 2ヶ所		100	8	501	11	327	板目 C	アカマツ	S61-973	28311
264 5 C536 号	灯台脚部	中央下部に斜め切り込み / 斜穴 1ヶ所		95	95	32	11.5	25	板目 C	アスナロ	S61-885	28468
264 6 C536 号	火打金	長方形に切り込み / 内面片板存在 / 不詳		100	141	61	12	125	板目 C	アスナロ	S61-1012	28431
264 7 C536 号	火打金	長方形に切り込み / 塗墨・模様 (不詳)		90	14	45	14	86	追い極日 C	ヒノキ	S61-984	28358
264 8 C536 号	火打金	長方形に切り込み		80	140	69	14	96	極日 C	スギ	S61-983	28356
264 9 C536 号	柄内留	上部に丸い状の切り込み / 中央に円孔		100	72	18	12	12	板目 C	スギ	S61-818	28373
264 10 C536 号	ちりとり柄か	卜丁部にネジ穴 / 上端部に廻し状の切口切り込み		95	423	31	22	178	角材 C	ヒノキ	S61-820	28461
264 11 C536 号	刷毛柄 (寸刷毛七)	持ち手斜面に7mm穿孔 / 先端部に2条の縦溝 / 刷毛部に切り込み		95	148	(60)	5	23	板目 C	ヒノキ	S61-978	28336
264 12 C536 号	刷毛柄 (寸刷毛七)	持ち手斜面に7mm穿孔 / 先端部外面に2条の縦溝 / 刷毛部前面に切り込み		60	146	(63)	14	31	板目 B	ヒノキ	S61-980	28338
264 13 C536 号	等	織机東 / 脱束機 2段残存	千削 (162) / (265)	—	97	—	—	—	—	—	—	28374
264 14 C536 号	等	織机東 / 脱束機 (1段) 残存	(118) / (67)	—	31	—	—	—	—	—	—	28375
264 15 C536 号	等	織机東 / 脱束機による結束	千削 (129) / (95)	—	20	—	—	—	—	—	—	29348
264 16 C536 号	物指	男手赤色漆塗 / 約3mm間隔で70個盛り		70	(126)	12	3	3	なし	タケ番科	S61-1047	29216
264 17 C536 号	等	鉄製等 / 両端部残存	100	271	19	20	79	削出 B	アスナロ	S61-763	28370	
265 1 C536 号	鍔	鉄製刃具残存	30	(95) / (22)	(16)	60	60	削出 C	スギ	S61-781	28366	
265 2 C536 号	車輪	中央に径12mm穿孔 / 周縁摩耗		100	74	74	14	60	板目 C	モミ属	S61-346	28305
265 3 C536 号	札	板状 / 1箇所中央に径3mm穿孔 / 周縁丸く / 周縁丸く / 重複丸く / 重複丸く / 六角形 / 物指側を用意か		100	165	38	5	30	追い極日 C	スギ	S61-775	28320
265 4 C536 号	札	板状 / 下端に凹字 (漆書不詳)		100	178	42	8	63	板目 C	モミ属	S61-1043	29212
265 5 C536 号	札	板状 / 1箇所中央に円孔		100	90	62	8	45	板目 C	モミ属	S61-1045	29214
265 6 C536 号	札	板状 / 中央上部に凹字 (漆書不詳)		100	53	26	6	9	板目 C	スギ	S61-1041	29210
265 7 C536 号	札 / 烙焼類板	上部に径50mm穿孔 / 断面に町		10	378	(117)	29	498	板目 C	スギ	S61-58	28086
265 8 C536 号	札 / 烙焼類板	周縁面取り / 周縁面取り		20	(375)	(895)	27	612	板目 C	スギ	S61-59	28101
265 9 C536 号	札 / 烙焼類板	断面に町痕 / 札あり		40	(139)	(374)	36	930	板 : 板目 C 板 : 削出 C	板 : スギ 板 : 削出 C	S61-946 S61-947	28073
265 10 C536 号	札 / 烙焼類板	周縁面取り / 断面に町痕		40	(156)	(395)	21	971	板目 C	スギ	S61-63	28078
265 11 C536 号	札 / 烙焼類板	断面に町痕		30	(140)	436	27	1600	板目 C	スギ	S61-62	28072
265 12 C536 号	札 / 烙焼類板	周縁面取り / 断面に町痕		40	(152)	430	26	1645	板目 C	スギ	S61-68	28076
265 13 C536 号	札 / 烙焼類板	周縁面取り / 断面に町痕		40	(158)	433	26.5	1705	板目 C	ヒノキ	S61-64	28071
265 14 C536 号	札 / 烙焼類板	周縁面取り / 断面に町痕		30	(114)	415	21	1019	板目 C	スギ	S61-69	28077
266 1 C536 号	札 / 烙焼類板	周縁面取り / 断面に町痕		20	(92)	(346)	27.5	602	板目 C	スギ	S61-70	28110
266 2 C536 号	札 / 烙焼類板	上部に径30mm穿孔 / 周縁面取り		30	106	332	20	369	板目 C	スギ	S61-71	28081
266 3 C536 号	札 / 烙焼類板	周縁面取り / 表面中央 / 断面上に町痕		20	(120)	368	28	850	板目 C	スギ	S61-72	28096
266 4 C536 号	札 / 烙焼類板	表面に2条 / 中央左右間に切り込み / 断面上に町痕		50	(329)	(176)	14	573	板目 C	ヒノキ	S61-127	28841
266 5 C536 号	札 / 烙焼類板	表面に2条 / 中央左右間に切り込み / 断面上に町痕		20	(55)	(230)	25	171	板目 C	スギ	S61-73	28115
266 6 C536 号	札 / 烙焼類板 / 成板	上面に2条 / 左右間に町痕		20	(81.5)	(285)	12	203	板目 C	スギ	S61-74	28111
266 7 C536 号	札 / 烙焼類板	上面に2条 / 左右間に町痕 / 2ヶ所つづり込み / 断面上に町痕		100	325.5	56	9	192	追い極日 C	ヒノキ	S61-858	28312
266 8 C536 号	札 / 烙焼類板	上部に径30mm穿孔 / 周縁面取り / 内縫縫工具痕覗見 / 表面に町痕		40	(226)	(315)	14	386	板目 C	モミ属	S61-76	28074
266 9 C536 号	札 / 烙焼類板	上部に径30mm穿孔 / 周縁面取り / 内縫縫工具痕覗見 / 表面に町痕		40	323	(120)	29.5	918	追い極日 C	スギ	S61-79	28082
266 10 C536 号	札 / 烙焼類板	上部に径30mm穿孔 / 周縁面取り / 内縫縫工具痕覗見 / 表面に町痕		30	(290)	(111)	31	658	板目 C	スギ	S61-78	28080

第86表 木製品観察表(5)

規範番号 補図 番号	出土地点	種別 器種	特徴	残存率 (%)	法量 (mm)			含水 重量 kg	本取り 年輪	樹種	サンプル 番号	整理 番号
					長さ L(D)	幅 W(H)	厚み T(B)					
266 11 C536 号	楕・湾曲板	周縁面取り / 断面に釘孔	40	(150)	322.5	31	1317	芯持板目C	スギ	S61-75	28097	
266 12 C536 号	楕・湾曲板	周縁面取り / 断面に釘孔	30	(94)	(272)	24	327	板目C	スギ	S61-225	28106	
266 13 C536 号	楕・湾曲板	周縁面取り / 断面に釘孔	60	(208)	313	23	1189	板目C	スギ	S61-229	28094	
267 1 C536 号	楕・湾曲板	周縁面取り / 断面に釘孔	40	116	319	21	738	板目C	スギ	S61-228	28093	
267 2 C536 号	楕・湾曲板	周縁面取り / 上面に黒色漆塗	10	(132)	(51)	7	45	板目C	ヒノキ	S61-227	28479	
267 3 C536 号	楕・湾曲板 或板	断面に釘孔	30	268	(82)	10	173	板目C	スギ	S61-146	28607	
267 4 C536 号	楕・湾曲板	中央上面に方型の切り込み	50	258	(136)	13	272	板目B	スギ	S61-232	28103	
267 5 C536 号	楕・湾曲板	周縁面取り / 断面に釘孔	30	99	258	27	522	板目C	スギ	S61-231	28099	
267 6 C536 号	楕・湾曲板	周縁面取り / 断面に釘孔	20	(59)	(213)	27	215	板目C	スギ	S61-234	28119	
267 7 C536 号	楕・湾曲板 或板	端部に径 30mm 空孔か / 断面に 釘孔	80	(185)	267	25	861	板目C	スギ	S61-240	28084	
267 8 C536 号	楕・湾曲板	上面に溝 2 条 / 周縁面取り	30	(95)	(225)	16	222	板目C	ヒノキ	S61-235	28107	
267 9 C536 号	楕・湾曲板	上面に段を作出 / 断面に釘 孔	60	(157)	255	34	1031	板目C	スギ	S61-241	28085	
267 10 C536 号	楕・湾曲底 或板	周縁面取り / 上下面に段を作 出 / 断面に釘孔	50				650	板目C	スギ	S61-170	28627	
267 11 C536 号	楕・湾曲板 或板	周縁や面取り / 断面に釘孔	60	(165)	264	21	687	板目C	スギ	S61-239	28092	
267 12 C536 号	楕・湾曲板	周縁面取り / 表面・断面に釘孔	50	(145)	258	26	761	板目C	モミ属	S61-242	28087	
267 13 C536 号	楕・湾曲板 或板	断面に釘孔	30	233	(79)	16	219	板目B	ヒノキ	S61-172	28630	
267 14 C536 号	楕・湾曲板	周縁面取り / 断面に釘孔	40	(111)	269	15	393	板目C	ヒノキ	S61-237	28090	
267 15 C536 号	楕・湾曲板 或板	断面に釘孔	50	113	249	11	226	板目C	モミ属	S61-238	28091	
268 1 C536 号	中型容器板	周縁面取り / 断面に釘孔	50	252	(122)	26	645	板目C	スギ	S61-175	28634	
268 2 C536 号	中型容器板 或板	前面四隅に溝 / 滝内に表面材残 り / 上面に黒色漆 (不詳)	100	(235)	(52)	13	164	追一板目C	スギ	S61-987	28436	
268 3 C536 号	中型容器板	周縁面取り / 上中史密田か	60	(132)	214	18.5	406	板目B	ヒノキ	S61-244	28104	
268 4 C536 号	中型容器板 或板	上面四隅に溝 / 周縁面取り / 上 面に黒色漆	50	219	(119)	21	337	板目C	ヒノキ	S61-246	28454	
268 5 C536 号	中型容器板 或板	周縁面取り / 表の可動部あり / 中央に孔 / 上下面黒色漆	50	025.9	216	8	137	追一板目C	ヒノキ	S61-247	28457	
268 6 C536 号	中型容器板 或板	断面に釘孔	30	(80)	200	11	142	板目C	スギ	S61-245	28118	
268 7 C536 号	中型容器板	上面に溝 / 下面に溝 2 条 / 溝内に黑色漆残り / 周縁面取り / 上部に孔 / 金具	95	202	199	10	335	板目板；板目C 板：ヒノキ 板：ヒノキ板	ヒノキ スギ	S61-249 S61-250	28186	
269 1 C536 号	中型容器板	上面に径 28mm 空孔 / 周縁面取 り / 上部に孔 / 金具	60	(118)	188	19	315	板目C	スギ	S61-251	28122	
269 2 C536 号	中型容器板	上面に孔 / 切り込み	80	180	(150)	10	223	板目C	モミ属	S61-248	28116	
269 3 C536 号	中型容器板	中央に孔 15mm 空孔	100	191.5	191	8.5	218	板目C	スギ	S61-253	28288	
269 4 C536 号	中型容器板 或板	中央に孔 2 か所	50	180.5	(106)	8.5	137	板目A	ヒノキ	S61-255	28298	
269 5 C536 号	中型容器板 或板	中央に孔 / 小孔	50	(104)	188	5	95	板目B	ヒノキ	S61-254	28297	
269 6 C536 号	中型容器板	下面兩面に段を作出 / 上面は黒 色漆表面に赤色漆 (大) / 下面は 漆表面に赤色漆	90	(130)	165	8	175	板目B	ヒノキ	S61-258	28455	
269 7 C536 号	中型容器板	上面四隅に溝 / 周縁面取り / 上 面に黒色漆	100	161.5	162	9	169	板目C	スギ	S61-259	28456	
269 8 C536 号	中型容器板	上面四隅に溝 / 周縁面取 り / 上部に径 28mm 空孔 / 周 縁面取り / 上面に黒色漆	50	(87)	158	9	88	板目C	スギ	S61-268	28165	
269 9 C536 号	中型容器板 或板	上面に径 28mm 空孔 / 周縁面取 り / 上部に孔 / 周縁面取	40	156	(67)	14.5	90	追一板目C	スギ	S61-262	28126	
269 10 C536 号	中型容器板 或板	中央に孔 / 塗漆か (不詳)	95	159	160	9	155	板目C	モミ属	S61-260	28123	
269 11 C536 号	中型容器板 或板	中央に孔 / 塗漆か (不詳)	70	(127)	172	8	148	板目B	スギ	S61-213	28853	
269 12 C536 号	中型容器板	周縁面取り / 外面に釘孔	70	(130)	167	8	150	追一板目C	スギ	S61-261	28124	
270 1 C536 号	中型容器板	断面に孔 / 上面に塗漆 (不詳)	50	(89)	160	11	111	板目C	スギ	S61-263	28158	
270 2 C536 号	中型容器板 或板	中央に孔 / 小孔	80	(122)	147	7	80	板目C	ヒノキ	S61-265	28125	
270 3 C536 号	中型容器板	周縁面取り	50	(85)	156	10	108	板目C	スギ	S61-267	28114	
270 4 C536 号	小型容器板	中央上面に切り込み / 棱皮模様	40	(56)	(14)	8	41	追一板目B	ヒノキ	S61-358	28675	
270 5 C536 号	小型容器板	上面中央に溝 1 条	70	(105)	136	9	94	追一板目C	ヒノキ	S61-284	28166	
270 6 C536 号	小型容器板	周縁面取り	100	137	137	10	135	板目B	スギ	S61-275	28347	
270 7 C536 号	小型容器板	上面に溝 1 条	90	139.5	(124)	70	73	板目B	ヒノキ	S61-276	28117	
270 8 C536 号	小型容器板 或板	中央に孔	90	142	(136)	9	94	板目C	ヒノキ	S61-273	28290	
270 9 C536 号	小型容器板 或板	100	134	136	13	139	板目C	スギ	S61-277	28112		
270 10 C536 号	小型容器板 或板	中央に孔 / 上面に切り込み 2 箇所 / 下面に塗漆 (不詳) / 外面中 央に円形の押し版	60	130	(92)	9	81	板目B	スギ	S61-279	28280	
270 11 C536 号	小型容器板 或板	40	(87)	140	15	157	板目C	スギ	S61-286	28162		
270 12 C536 号	小型容器板	中央に孔 / 周縁面取り	100	131	137	8	101	板目C	モミ属	S61-281	28289	

第 87 表 木製品観察表 (6)

測定番号 測定番号	出土地点 番号	種別 器種	特徴	既存率 (%)	法量 (mm)			含水 重量 (g)	本取り 年輪	樹種	サンプル 番号	整理 番号
					L径	幅 断面高	厚み 底径					
270_13	C536 号	小型容器蓋板	中央に小孔 / 上部に杭突き痕	40	137	(66)	5	36	板目 B	スギ*	S61-272	28281
270_14	C536 号	小型容器蓋板	中央に横 27mm 空孔 / 上部四隅に 上部に横 27mm 空孔 / 上部四隅に 上部に横 27mm 空孔 / 上部四隅に	70	(85)	(109)	5	51	追い・板目 C	-	S61-286	28425
270_15	C536 号	小型容器蓋板	中央に小孔	100	127	132	5.5	67	板目 C	モミ属	S61-285	28121
271_1	C536 号	小型容器蓋板	中央に小孔	60	116	(80)	9	68	板目 C	スギ*	S61-294	28134
271_2	C536 号	小型容器蓋板	上部に横 27mm 空孔 / 外面焼印 に文字 (不詳)	100	104	109	6	60	板目 C	スギ*	S61-300	28301
271_3	C536 号	小型容器蓋板	上部に横 27mm 空孔	100	102	106	9	80	板目 C	スギ*	S61-297	28286
271_4	C536 号	小型容器蓋板	上部に横 30mm 空孔	100	103	105	8	60	板目 C	スギ*	S61-291	28145
271_5	C536 号	小型容器蓋板	上面に棘状痕	100	98	102	6	51	板目 C	スギ*	S61-296	28272
271_6	C536 号	小型容器蓋板 底板	中央に小孔 2か所	100	106	108	7	59	追い・板目 C	スギ*	S61-304	28153
271_7	C536 号	小型容器蓋板 底板	中央に小孔	100	100	103	6	58	追い・板目 C	ヒノキ	S61-307	28273
271_8	C536 号	小型容器蓋板 底板	中央に小孔	100	102.5	102	8	68	追い・板目 C	スギ*	S61-303	28152
271_9	C536 号	小型容器蓋板 底板	上面四隅に凹切口 / 上面赤色漆 塗 / 下面黑色漆塗の玉手赤色漆 塗 (不詳)	95	88	88	9	37	板目 C	ヒノキ	S61-326	28424
271_10	C536 号	小型容器蓋板	中央に横 5mm 空孔 / 上部に切 り込み	100	94.5	95	12	85	板目 C	モミ属	S61-322	28170
271_11	C536 号	小型容器蓋板	中央に横 4mm の方形空孔 5 か所	60	91	(66)	10	44	板目 C	スギ*	S61-329	28149
271_12	C536 号	小型容器蓋板 底板	中央に小孔	100	87	95	11	69	板目 C	スギ*	S61-325	28309
271_13	C536 号	小型容器蓋板 底板	中央に小孔	100	89	96	10	74	板目 B	スギ*	S61-338	28276
271_14	C536 号	小型容器蓋板	周縁面取りか	100	88	92	12	78	板目 C	スギ*	S61-327	28120
271_15	C536 号	小型容器蓋板 底板	平面や中橋円形	100	85	95.5	11	57	板目 C	スギ*	S61-328	28127
271_16	C536 号	小型容器蓋板 底板	中央に小孔	100	97	97	8	52	追い・板目 C	スギ*	S61-319	28150
271_17	C536 号	小型容器蓋板 底板	中央に小孔	100	88	86	4	24	板目 B	ヒノキ	S61-323	28284
271_18	C536 号	小型容器蓋板 底板	中央に小孔	100	70	70	7	23	板目 C	ヒノキ	S61-343	28160
271_19	C536 号	小型容器蓋板 底板	中央に小孔	100	71	71	6.5	23	板目 B	ヒノキ	S61-342	28157
271_20	C536 号	小型容器蓋板 底板	蓋板が折れ曲がり密着	60	85	(51)	21	64	板目 C	スギ*	S61-292	28176
271_21	C536 号	小型容器蓋板	中央に横 3mm 空孔	100	65	65	7	21.5	板目 C	モミ属	S61-348	28156
271_22	C536 号	小型容器蓋板 底板	中央に小孔	100	67	66	8	27	追い・板目 C	モミ属	S61-355	28308
271_23	C536 号	小型容器蓋板 底板	中央に小孔	100	64	61	4	13	板目 B	スギ*	S61-350	28283
271_24	C536 号	小型容器蓋板 底板	中央に横 4mm 空孔	100	60.4	60.4	5	18	追い・板目 C	モミ属	S61-352	28304
271_25	C536 号	小型容器蓋板 底板	中央に小孔	100	48	47	2.5	6	追い・板目 B	ヒノキ	S61-349	28275
272_1	C536 号	桿	上面面取り	100	133	58	48	162	削目 C	スギ*	S61-774	28359
272_2	C536 号	桿	上面面取り	100	119	45	44	122	削目 C	スギ*	S61-756	28323
272_3	C536 号	桿	上面面取り	100	109	42	41	101	削目 C	スギ*	S61-760	28328
272_4	C536 号	桿	上面面取り	95	147	48	44	159	削目 C	スギ*	S61-755	28322
272_5	C536 号	桿	上面面取りか	100	123	44	43	121	削目 C	ヒノキ料	S61-775	28360
272_6	C536 号	桿	上面面取り	100	82	51	47	131	削目 C	スギ*	S61-776	28361
272_7	C536 号	桿	上面面取り	95	63	51	50	112	削目 C	アヌナロ	S61-779	28364
272_8	C536 号	桿	上面面取り	100	59	48	46	100	削目 C	スギ*	S61-772	28335
272_9	C536 号	桿	上面面取り	100	54	47.5	50	94	削目 C	スギ*	S61-780	28365
272_10	C536 号	桿	上面面取り	100	28	47	48	50	削目 C	スギ*	S61-762	28331
272_11	C536 号	桿	上面面取り	100	65	32	32	29	削目 C	スギ*	S61-773	28342
272_12	C536 号	桿	上面面取り / 中央上部に段を作 出 / 先端部削損	95	(182)	25	22	46	削目 C	サワラ	S61-764	28371
272_13	C536 号	桿	上面面取り / 中央上部に段を作 出	95	182	25	23	47	削目 C	ヒノキ	S61-765	28372
272_14	C536 号	桿	上面面取り / 中央上部に段を作 出	100	176	25	23	44	削目 B	ヒノキ	S61-757	28324
272_15	C536 号	桿	上面面取り / 中央上部に段を作 出 / 先端部削損	95	196	22	21	48	削目 C	ヒノキ	S61-758	28325
272_16	C536 号	桿	上面面取り / 中央上部に段を作 出 / 先端部削損	95	192	26	24.5	49	削目 C	アヌナロ	S61-759	28326
272_17	C536 号	桿	表面面的に調整	95	92	36	28	61	枝引き削目 C	ウツギ属	S61-761	28330
272_18	C536 号	桿	表面面的に調整	100	95	40	30	68	枝引き削目 C	ウツギ属	S61-778	28363
272_19	C536 号	桿・吻頭削板	上部に横方形の穿孔	95	357	70	5	136	削目 C	スギ*	S61-974	28313
272_20	C536 号	桿・吻頭削板	上部に横方形の穿孔	100	240	44	5	47	削目 C	スギ*	S61-976	28321
272_21	C536 号	植物削板	上端に横 3mm 空孔 / 下端に溝	100	419	80	20	357	板目 B	アヌナロ	S61-1005	28102
272_22	C536 号	植物削板	中央に穿孔	100	193	65	70	73	板目 C	スギ*	S61-864	28354
272_23	C536 号	植物削板	上・下端外面に粘土痕	100	166	35	8	33	板目 C	スギ*	S61-990	28469

第88表 木製品観察表(7)

被観察番号 確認番号	出土地点 番号	種別 器種	特徴	残存率 (%)	法量 (mm)			含水 重量 kg	本取り 年輪	樹種	サンプル 番号	整理 番号
					長さ L×幅 W×高 H	幅 W	厚み H					
272 24 C536 号	楕・円柱脚板	上・下端外面に粘土痕		100	167	46	7	45	板目 C	スギ	S61-091	28470
272 25 C536 号	楕・円柱脚板	上・下端外面に粘土痕		100	166	55	13	62	板目 C	スギ	S61-093	28474
272 26 C536 号	楕・円柱脚板	上・下端外面に粘土痕		100	166	43	8	46	板目 C	ヒノキ	S61-095	28481
272 27 C536 号	楕・円柱脚板	下端外面に粘土痕		100	163	61	11	61	板目 C	スギ	S61-092	28473
272 28 C536 号	楕・円柱脚板	上・下端に粘土痕		100	162	46	6	38	板目 C	スギ	S61-1064	29207
272 29 C536 号	楕・円柱脚板 か			100	139	34	7	31	板目 C	アヌナロ	S61-1061	29204
272 30 C536 号	容器側板	外面黒色・赤色漆塗/内面黒色 漆塗/外側に粘土痕 2 条		100	58	(58)	9	27	迎・板目 C	スギ	S61-894	28529
272 31 C536 号	容器側板	外面黒色・赤色漆塗/外側に粘 土痕 2 条		90	57	(45)	9	22	板目 C	—	—	29177
273 1 C536 号	木刀	黒色漆塗		100	399	26	17.5	137	削目 B	ヒノキ	S61-783	28369
273 2 C536 号	羽子板			80	240	63	6.5	67	削目 C	スギ	S61-997	28489
273 3 C536 号	浮子	中央に穿孔/赤色漆塗		90	36	8	7	1	削目 C	スギ	S61-1039	29427
273 4 C536 号	等柱	黒色漆塗		80	43	(40)	5	4	板目	カリン	S61-1000	28497
273 5 C536 号	部材	縦手部分か/先端突出部に返し 状の加工/中央部に長方形の削 り跡		100	1144	242	240	4906	芯丸木 C	アヌナロ	S61-1040	28070
273 6 C536 号	部材	角棒状/上部にぼぞく、不規 則形状/中央削り抜き		124	38	33	120	角材 C	モミ属	S61-816	28329	
273 7 C536 号	不明	丸棒状/中央削り抜き/先端部 に削り跡		95	128	74	74	306	芯丸木 C	クリ	S61-790	29305
273 8 C536 号	部材	鶴巣造材か/平面に溝 2 条		90	200	98	45	606	板目 C	アカマツ	S61-1015	28491
273 9 C536 号	部材	上・下端に溝		100	205	120	63	1519	芯板目 C	ヒノキ	S61-1007	28349
273 10 C536 号	部材	角棒状/上部で作削出		95	454	48	35	592	角材 A	ヒノキ	S61-855	29288
274 1 C536 号	部材	平面八角形の板材か/中央部に西 洋式穿孔/上部に削り跡の凹み		40	210	98	35	656	迎・板目 B	アヌナロ	S61-1003	28079
274 2 C536 号	部材か	中央部に 35mm の円孔の切り込 み		100	61	72	30	100	迎・板目 B	アヌナロ	S61-1006	28334
274 3 C536 号	部材	板状/平面台形/長軸側面に連 続した削り跡		95	208	46	7	41	板目 C	—	—	29239
274 4 C536 号	不明	板状/表面に同心に線刻/柱 状の削り跡		124	92	7	7	37	横取り板目 B	スギ	S61-1001	28498
274 5 C536 号	部材	板状/上部中央に切り込み		265	655	20	296	466	削目 C	サワラ	S61-1009	28318
274 6 C536 号	部材	中央に溝一部が色濃く残存		100	246	19	15	53	削目 C	ヒノキ	S61-852	29285
274 7 C536 号	部材	角棒状/先端・中央に 2 個一対 の穴孔		90	10	8	6	2	削目 C	ヒノキ	S61-826	29259
274 8 C536 号	部材	角棒状/端面に刻痕・径 17mm の円孔の切り込み		100	442	35	23	311	板目 C	ヒノキ	S61-813	28314
274 9 C536 号	部材	角棒状/中央に切り込み・溝		95	80	24	23	39	板目 C	スギ	S61-821	28463
274 10 C536 号	部材	角柱状/切り込み/中央に削殘 り跡・残存		108	97	90	552	芯丸木 C	スギ	S61-1008	28351	
274 11 C536 号	部材	角棒状/上部に穿孔/中央に削 り残存		90	203	52	24	204	板目 B	スギ	S61-1036	29253
274 12 C536 号	部材	角棒状/中央に穿孔・残存		100	189	44	49	421	角材 C	ヒノキ	S61-822	28488
275 1 C536 号	部材	角棒状/先端に鉄製金具残存		80	279	60	30	298	角材 C	スギ	S61-854	29287
275 2 C536 号	部材	角棒状/端部に穿孔・残 存		362	57.5	18	187	187	迎・板目 C	スギ	S61-815	28316
275 3 C536 号	部材	角棒状/端部に穿孔・残存		100	381	31	19.5	228	板目 C	スギ	S61-814	28315
275 4 C536 号	部材	角棒状/中央に穿孔・残存		95?	119	34	27	78	角材 C	スギ	S61-817	28332
275 5 C536 号	部材	板状/平面逆台形/中央に残 存		95	149	67	25	189	板目 C	モミ属	S61-1014	28486
275 6 C536 号	部材	板状/端面部分に斜穴 2 ヶ所		100	423	51	18	346	板目 C	スギ	S61-1030	29244
275 7 C536 号	部材	角棒状		100	151	31	18	85	迎・板目 C	ヒノキ	S61-840	29273
275 8 C536 号	部材	断面三角形		95	236	19	9	26	板目 C	スギ	S61-839	29272
275 9 C536 号	部材	角棒状		100	183	21	12	33	板目 C	ヒノキ	S61-828	29261
275 10 C536 号	部材	角棒状		100	130	15	13	24	角材 C	ヒノキ	S61-845	29278
275 11 C536 号	部材	板状/残材か		100	123	35	23	57	迎・板目 C	スギ	S61-848	29281
275 12 C536 号	部材	板状/黑色漆塗/残材か		100	133	108	26	345	板目 C	アヌナロ	S61-1011	28352
275 13 C536 号	部材	丸棒状/上端部に径 8mm 穿孔 / 先端部に掘		90	(294)	22	20	76	削目 B	スギ	S61-754	28319
275 14 C536 号	部材	丸棒状/先端掘り		100	246	21	20	77	削目 C	ヒノキ	S61-788	29299
275 15 C536 号	部材	丸棒状		100	289	21	19.5	99	削目 C	スギ	S61-789	29303
275 16 C536 号	部材	丸棒状/先端鋭利に加工		100	175	29	29	103	削目 B	アヌナロ	S61-787	29296
275 17 C536 号	部材	丸棒状/黑色漆塗/本体側に溝 の跡み/輪屈筋か		不明	35	32.5	23.5	23	削目 C	ヒノキ	S61-769	28496
275 18 C536 号	磚	1段 R/ 粘土部あり		不明	—	3.8	—	13	—	—	—	28381

(6) 石製品（第 276～295 図、第 89～95 表）

石製品は、砥石や硯を中心として、温石や白、火打石、碁石等が出土している。

最も出土が多い砥石は、石材や形態によって荒砥、中砥、仕上げ砥の別があり、同一の石材でも色調のバリエーションが多様である。第 276 図 10 は砂岩製の粗砥で、中砥は流紋岩製の 1・4、ホルンフェルス製の 7 等がある。仕上げ砥は粘板岩製の 2・12 等がある。第 277～279 図では B5086 号でまとまった出土があり、第 278 図 16 の中砥は使用面が磨り減り湾曲している。第 280 図 4 はホルンフェルス製の中砥で、表面は手斧痕が顕著に認められる。また同図 9 の仕上げ砥にも同様の加工痕があり、11 では櫛歯状の盤痕が残る。第 281 図 13 はほぼ完形の仕上げ砥で、やや緑色身を帯びた粘板岩による。第 282 図 5・10 等は同じ粘板岩製の仕上げ砥であるが、色調は黄橙色を基調としている。第 283 図 9 は頁岩製の仕上げ砥と考えられ、側面に鉈痕と研磨痕が共存する。第 285 図 9 は流紋岩製の中砥で、木目状の文様が明瞭に残る。C140 号出土の第 288 図 6 は、ほぼ完形の仕上げ砥で、表面のみを使用し、4 側面は鋸痕、裏面は手斧痕が観察される。第 290 図 8 は棒状の砥石で、近代の金型砥石の可能性がある。第 291 図 8 の C536 号出土の中砥は、上側面と裏面に残痕、左右の側面に鉈痕があり、表面のみの使用である。遺構外出土の第 294 図 1 は、粘板岩製の仕上げ砥で、山状の幾何学模様が線刻される。

硯は砥石に次いで出土数量が多く、石材としては粘板岩が主体を占める。その他の石材としては、第 283 図 8 の流紋岩製のもの、第 288 図 16 等の凝灰岩製のもの、第 292 図 2 のいわゆる赤間硯とされる頁岩製のものがある。硯の形態は平面長方形を基本とし、第 279 図 2・3・15 のように四隅が面取りされるものや、第 285 図 16 のように硯面が大小 2 つ作出される特異なものもある。また第 285 図 3 のように硯背面に覆手と呼称する瘤みを有する一群も一定数確認される。刻書も複数確認され、図示が難しいものの、第 281 図 7 は背面に「正保■六月■八日■」「中村■」、第 287 図 2 は「■（元力）禄十六年」「石」、第 290 図 7 は「今井清（カ）吉持之」、第 292 図 2 は「赤間硯」、第 293 図 2 は「近藤氏」「明和四年」「亥八月廿八日」「江州高嶋虎斑石」、第 295 図 1 は硯側に「九百八十九文ニ面かたる高嶋石也」と判読される。

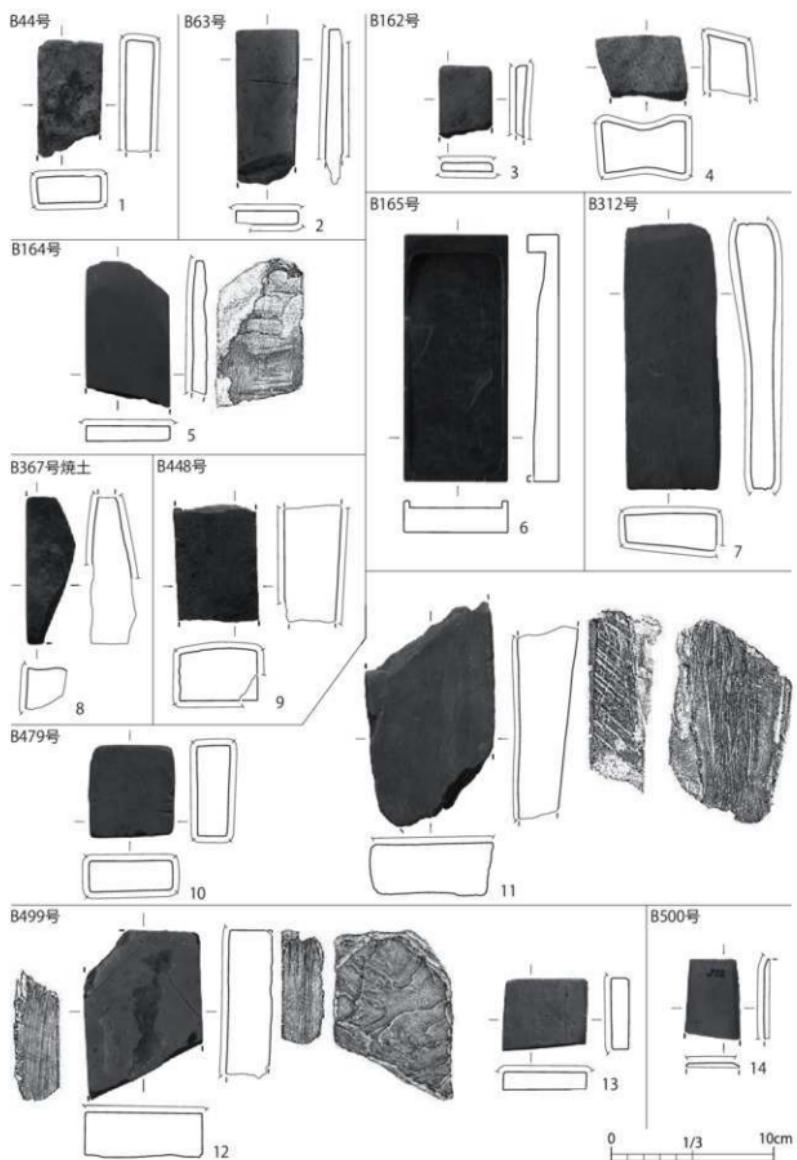
温石は、平面長方形で上部中央に孔を有するものが一定数出土し、材質は第 277 図 5 の黒雲母片岩製、第 284 図 7 の凝灰岩製の 2 種がみられる。

石臼は、第 277 図 12 で茶臼の下臼が完形で出土している。粉碾臼には、第 281 図 9 や第 295 図 8 の下臼、第 288 図 15 の上臼があるが、数量としては限定的である。

火打石は、玉髓製を主体として、第 281 図 3、第 286 図 12 のように縁辺に細かな剥離痕がよく観察される。第 281 図 8 は黒曜石製の火打石で、やはり微細な敲打痕がみられる。

碁石は、黒色と白色の 2 種があり、数量としては黒色の粘板岩製が多数を占める。白色のものは、第 288 図 11・12 等にみられ、石材は粘板岩と考えられる。

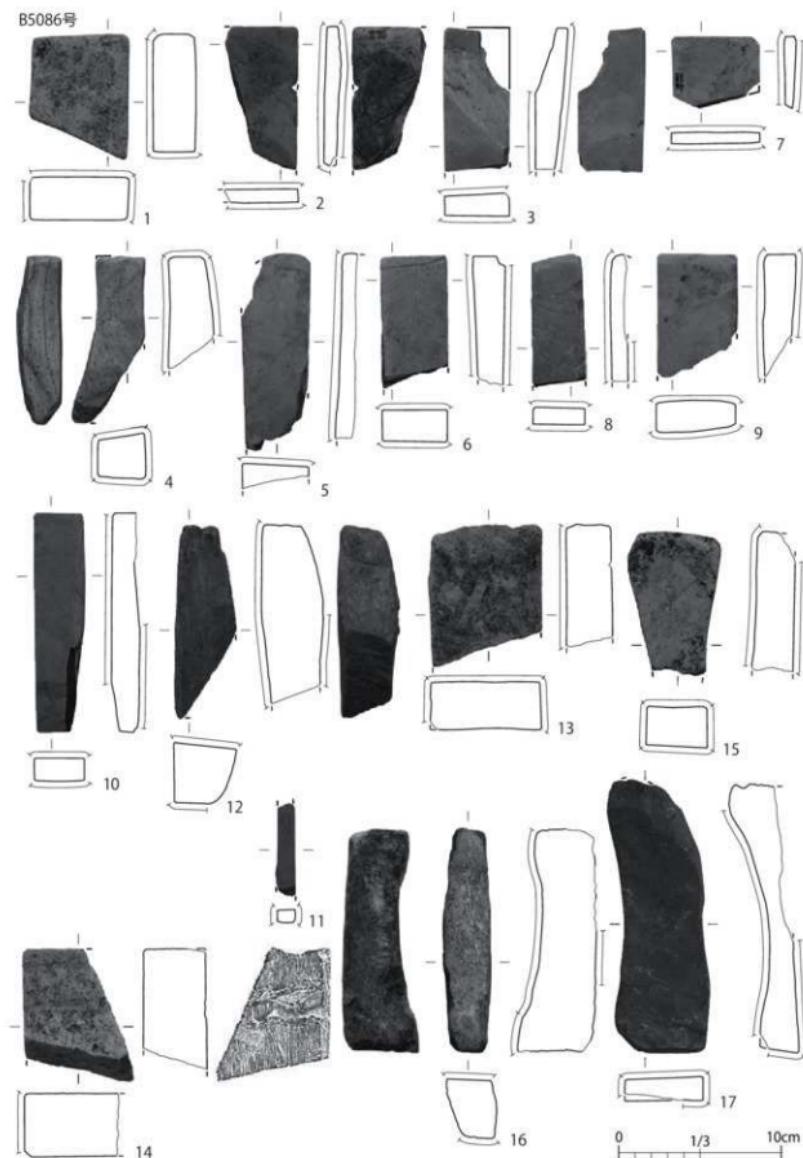
その他の石製品としては、第 277 図 6～9 で成形された水晶が出土している。自然状態の結晶ではなく、頭部を丸く研磨している。また第 284 図 5 では硯を転用した印章があり、同図 15 の蠟石による獅子の彫刻は印章頭であろう。文具では他に、第 295 図 7 の石筆がある。調理具・暖房具として、第 290 図 3・4 では七厘が出土している。



第276図 石製品(1) (1/3)



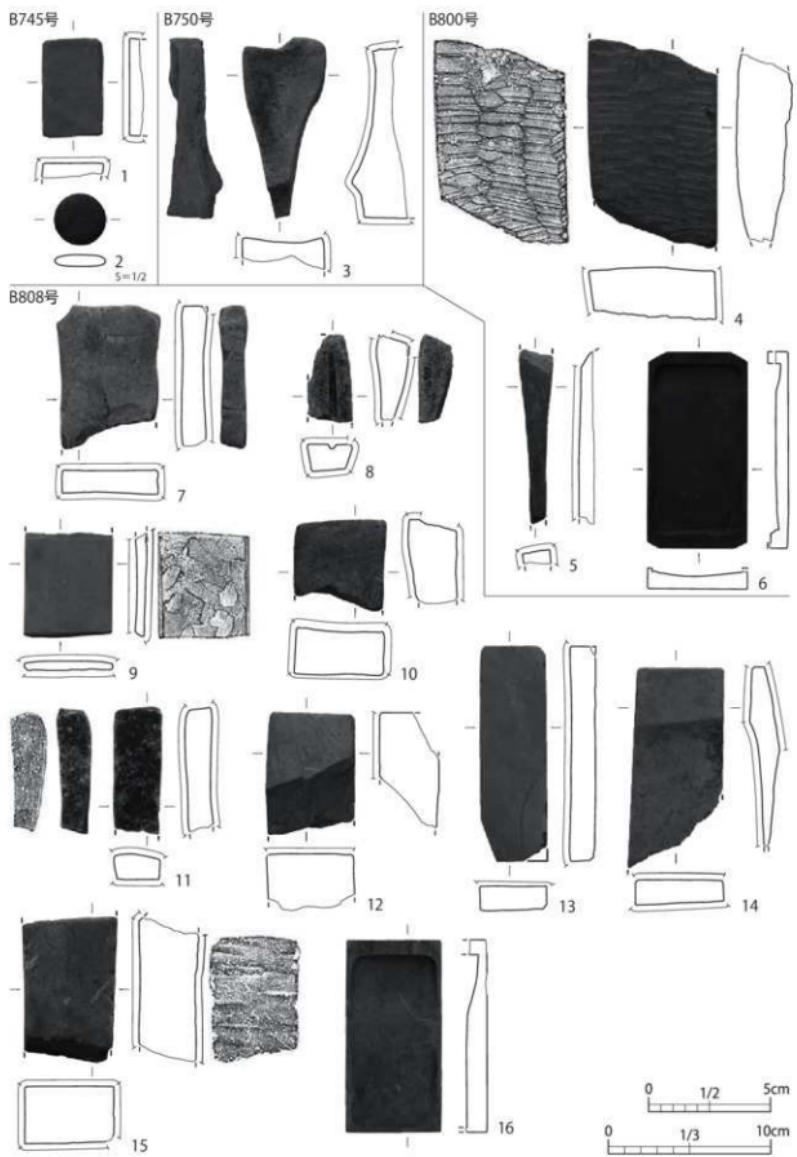
第277図 石製品(2) (1/2・1/3・1/8)



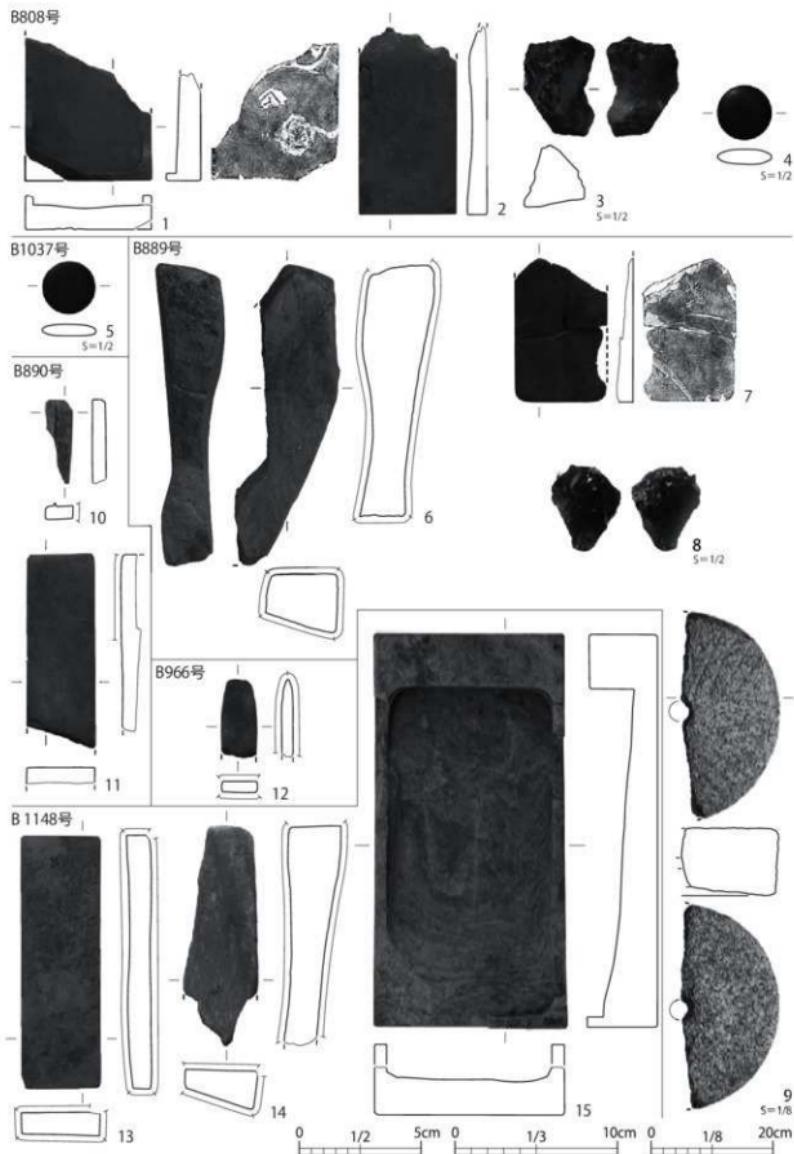
第278図 石製品(3) (1/3)



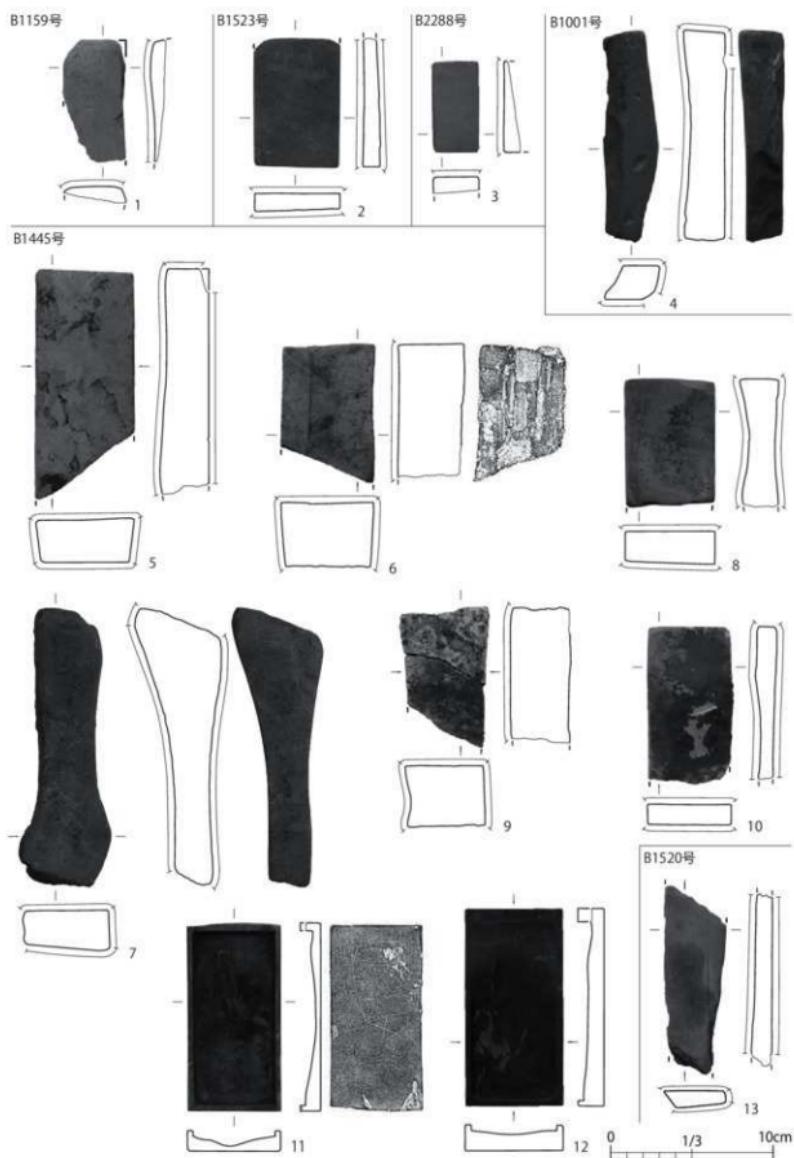
第279図 石製品(4)(1/2・1/3)



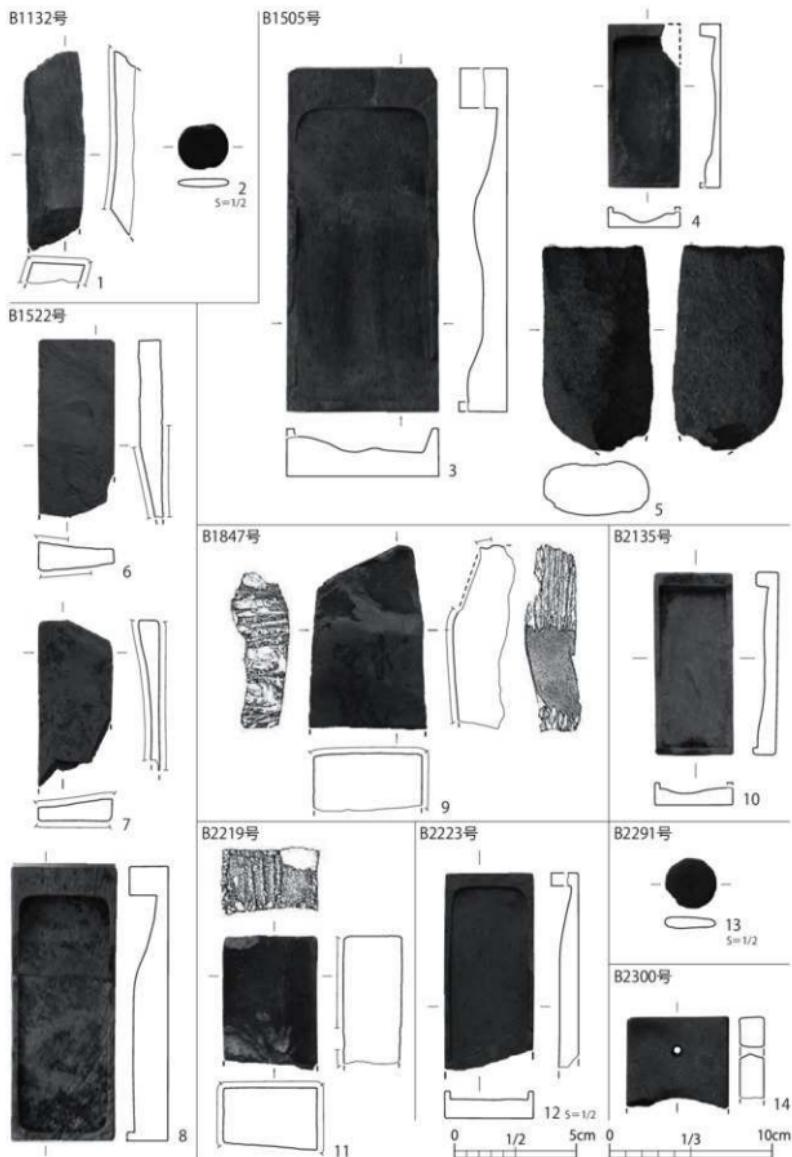
第280図 石製品(5) (1/2・1/3)



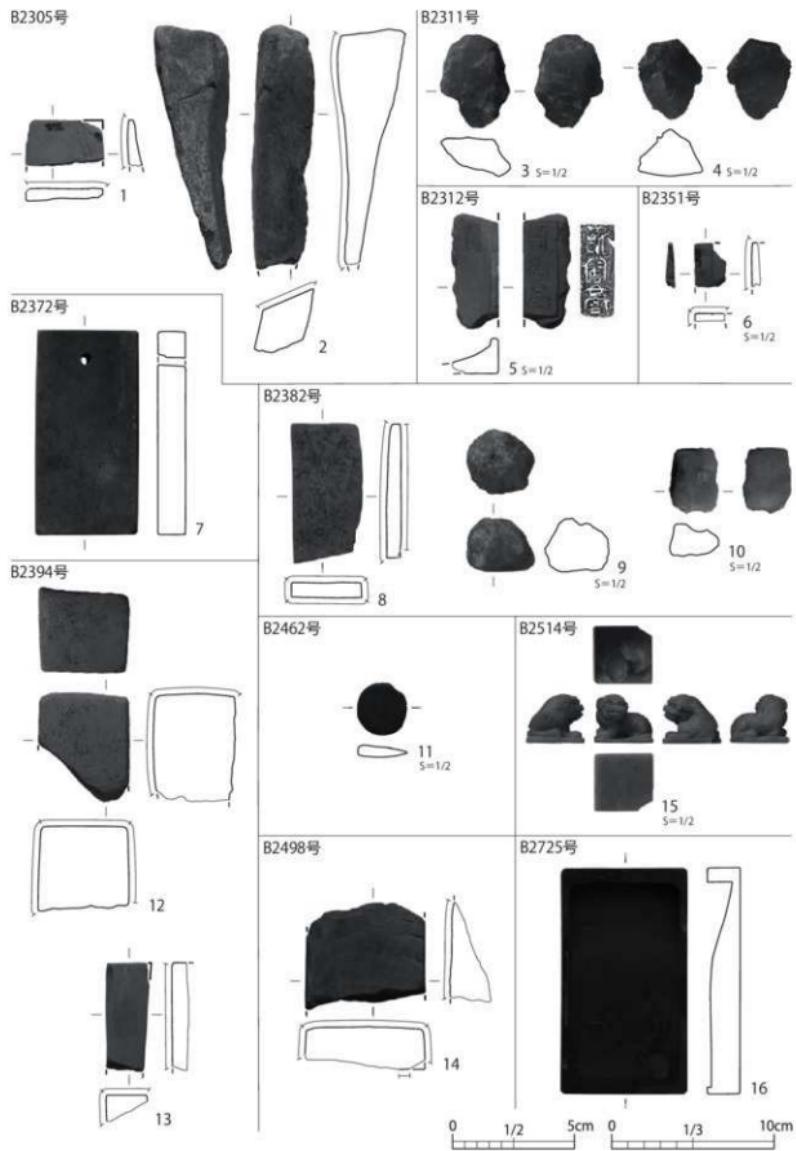
第 281 図 石製品 (6) (1/2・1/3・1/8)



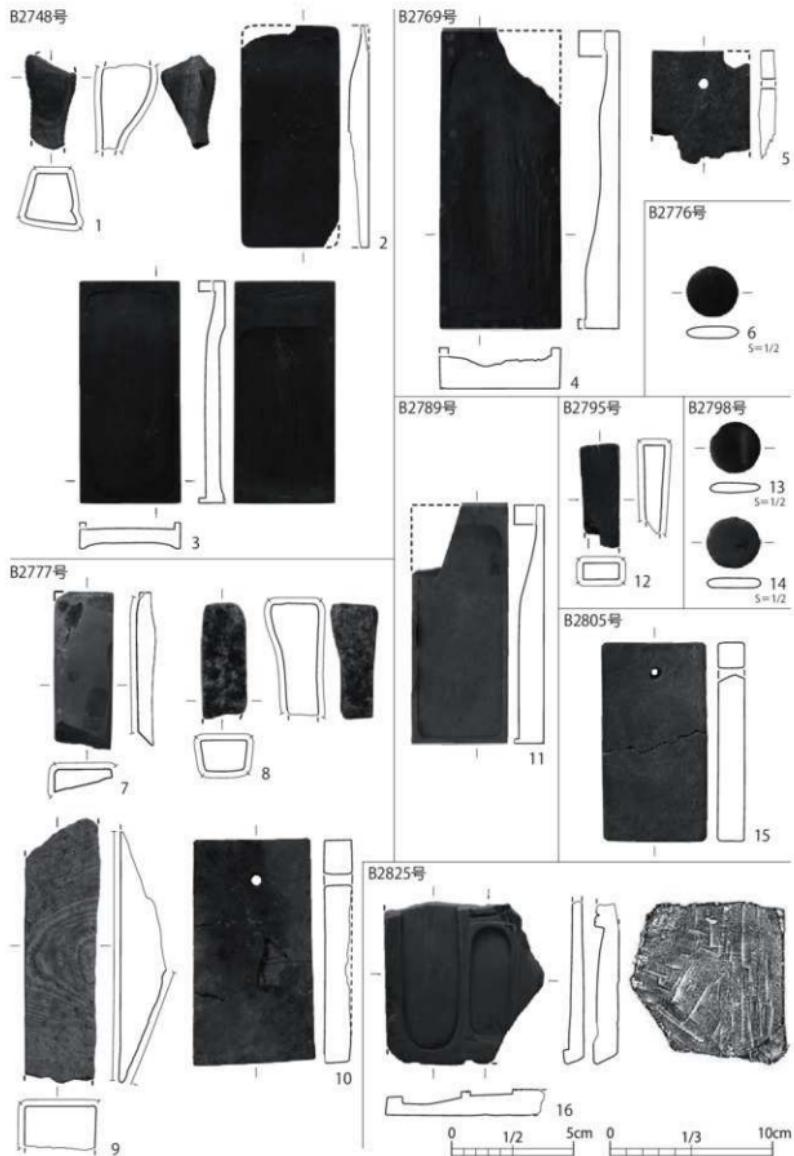
第282図 石製品(7) (1/3)



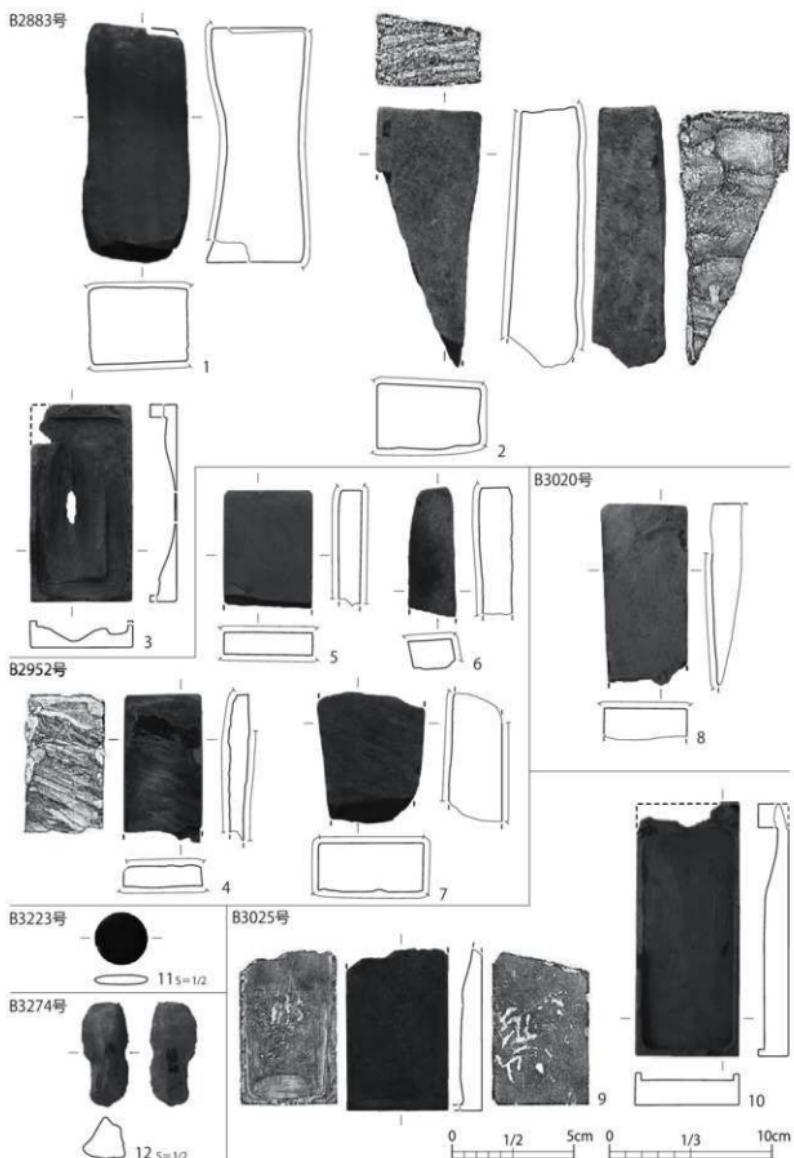
第283図 石製品(8) (1/2・1/3)



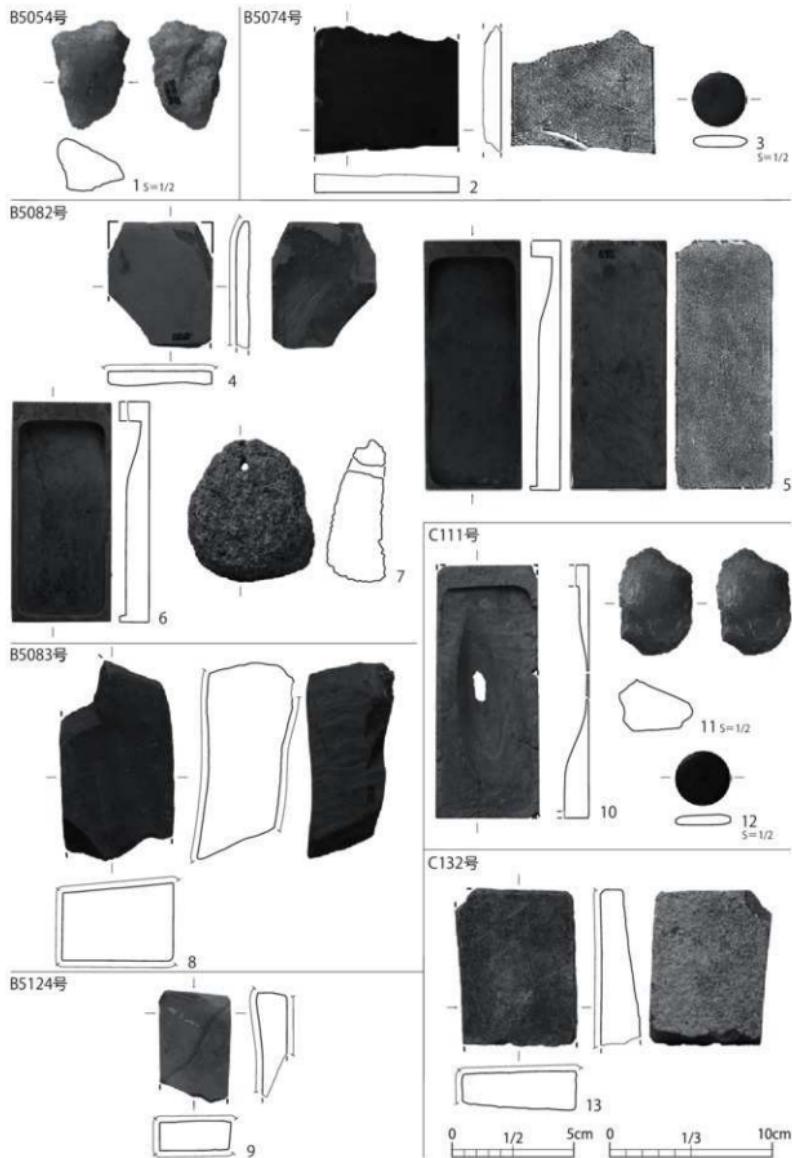
第284図 石製品(9) (1/2・1/3)



第285図 石製品 (10) (1/2・1/3)



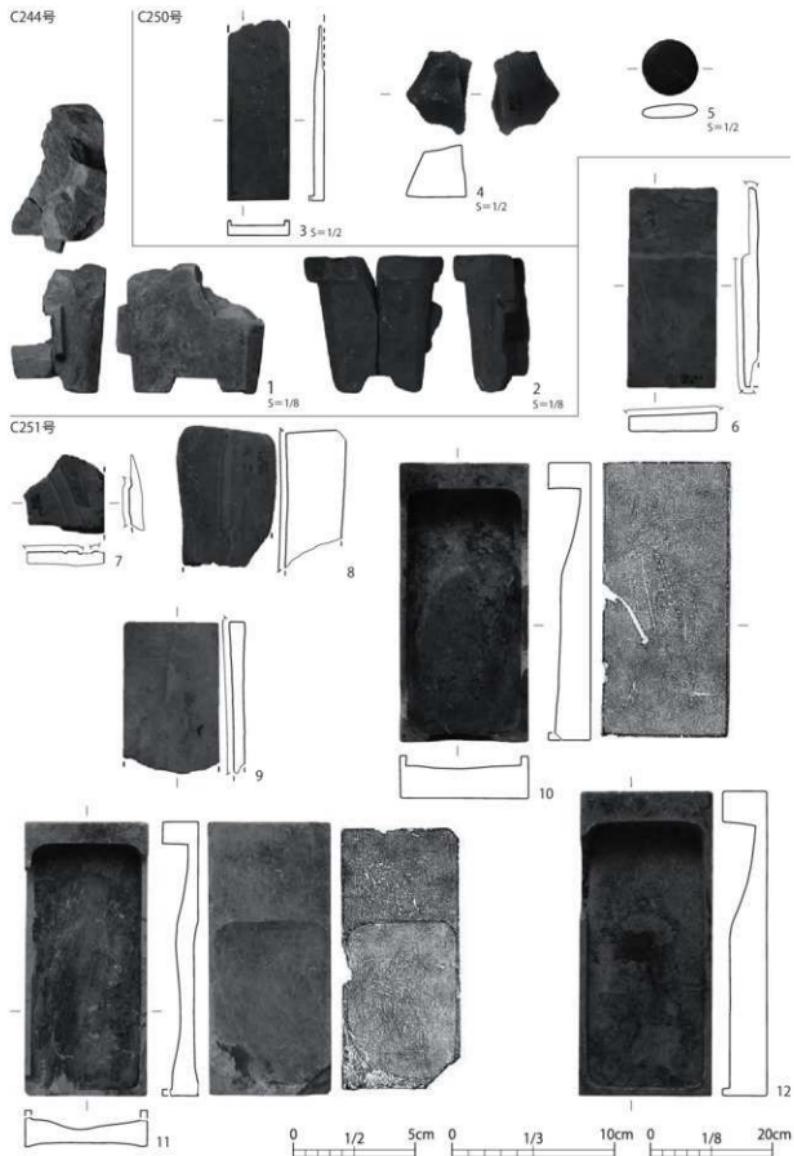
第286図 石製品(11) (1/2・1/3)



第287図 石製品(12)(1/2・1/3)



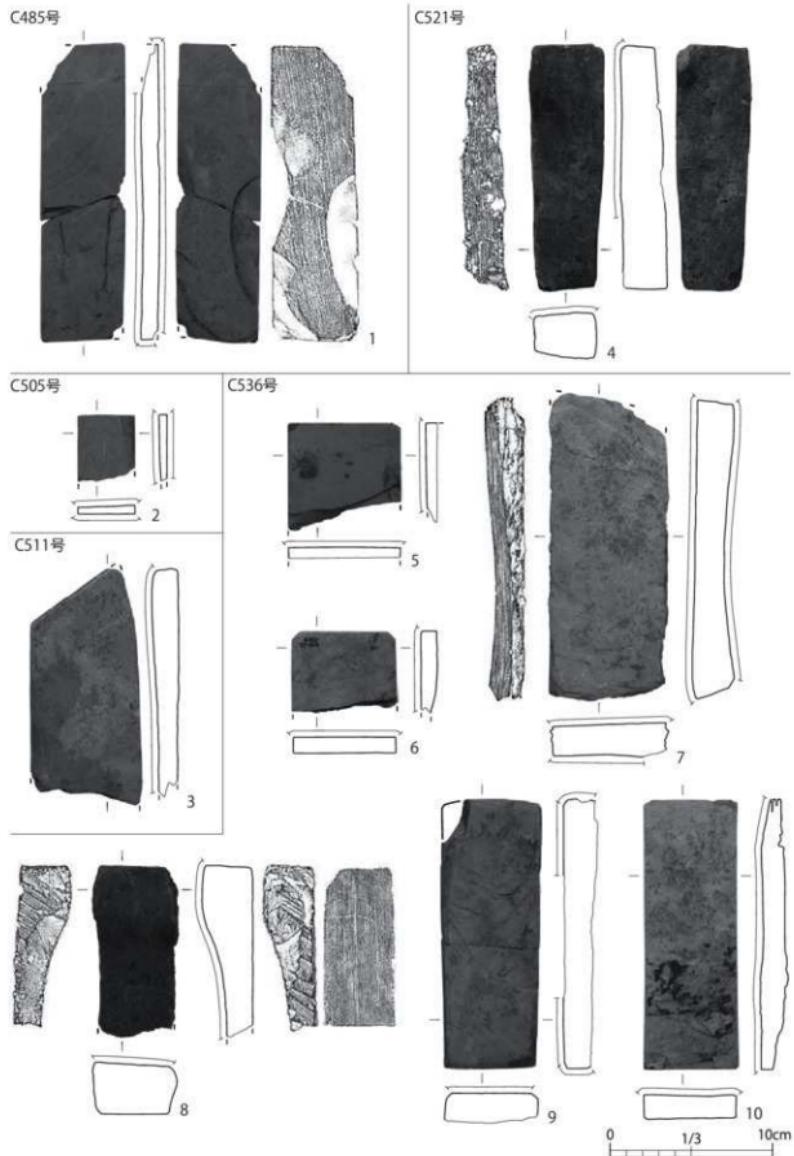
第288図 石製品(13) (1/2・1/3・1/8)



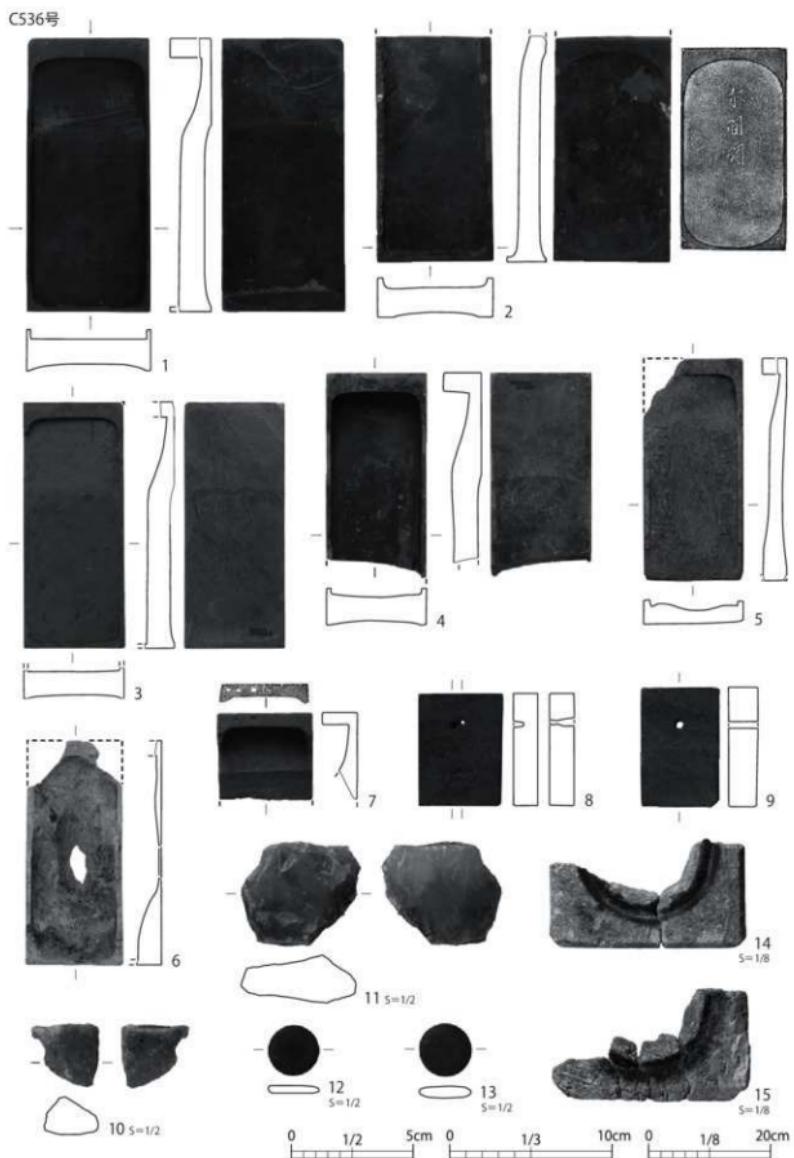
第289図 石製品(14)(1/2・1/3・1/8)



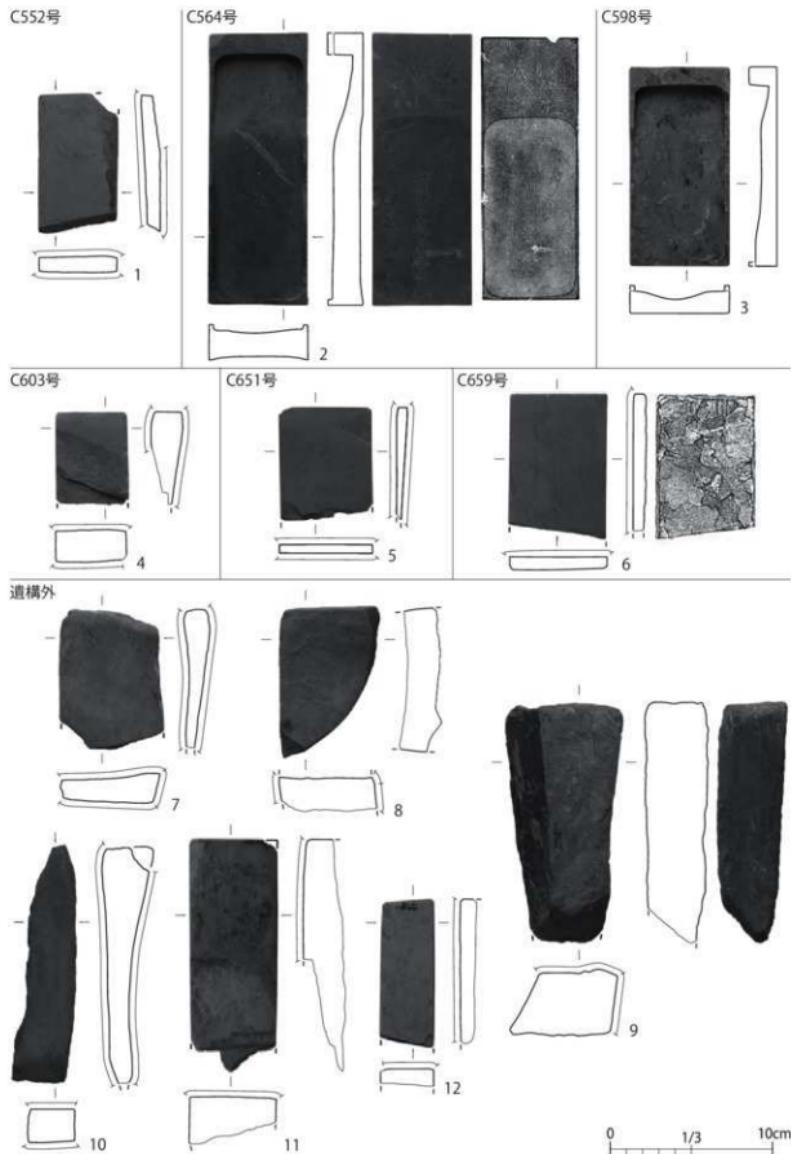
第290図 石製品(15) (1/2・1/3・1/8)



第 291 図 石製品 (16) (1/3)

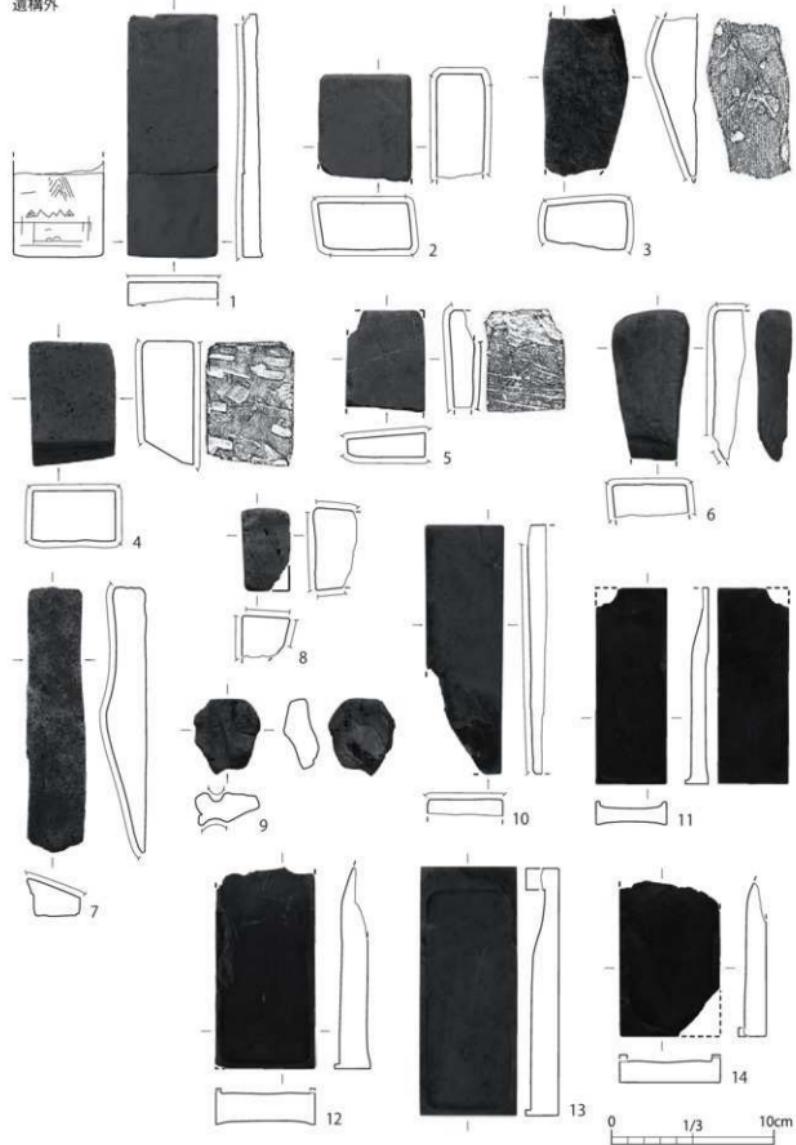


第292図 石製品(17) (1/2・1/3・1/8)



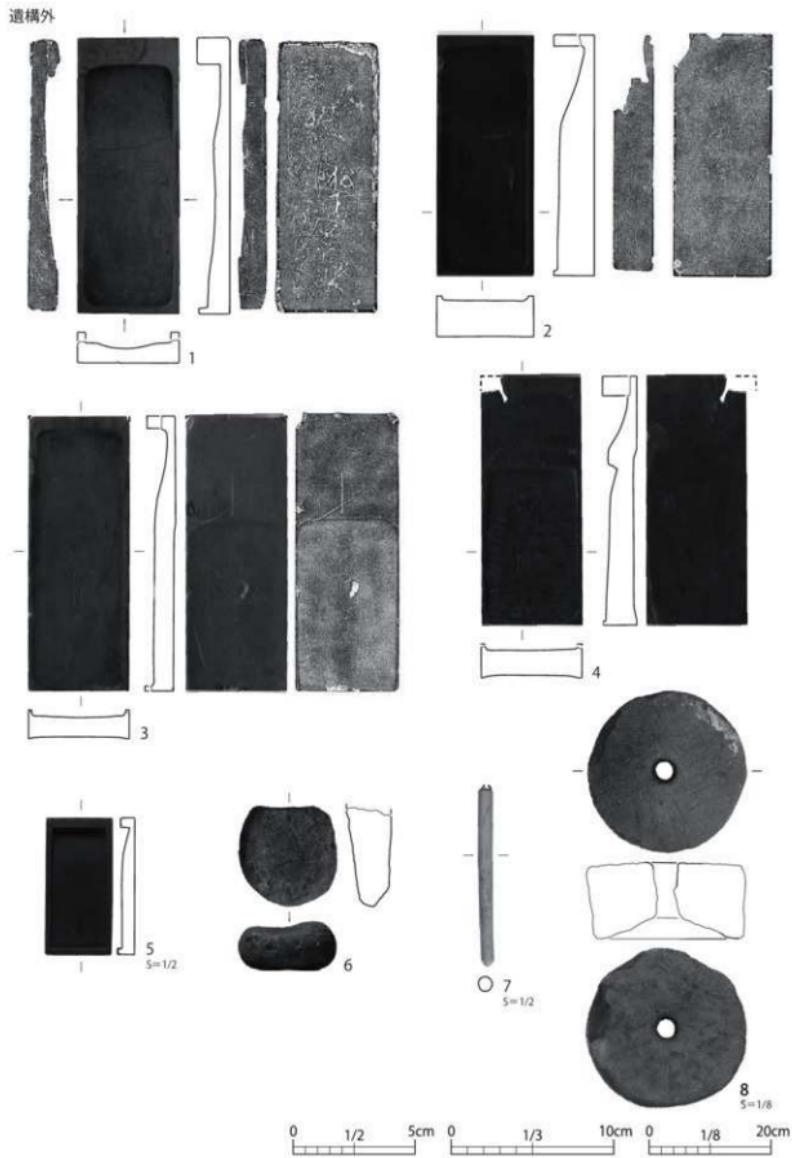
第293図 石製品(18)(1/3)

遺構外



第294図 石製品(19)(1/3)

遺構外



第295図 石製品(20) (1/2・1/3・1/8)

第89表 石製品観察表(1)

規範番号 種別 番号	出土地点	種別 岩種	特徴	現存率 (%)	法線(mm)			重量 (g)	色調	石材	整理 番号
					長さ	幅	厚み				
276 1 B44号	砥石	中砥/5面使用/上側面中央に溝状の使用痕/下部欠損/下部欠損面に溝状の使用痕	50	(7)	40	18	86.7	浅黄褐	淡灰岩	230880	
276 2 B63号	砥石	上仕砥/2面使用/3側面に鋸歯/下部欠損	60	96	38	9	64.8	浅黄褐	粘板岩	230887	
276 3 B162号	砥石	上仕砥/2面使用/裏面は被削面後再整形し使用/3側面に鋸歯・一部使用か/下部欠損	30	44	33	59	15.9	にふい相	粘板岩	230889	
276 4 B162号	砥石	中砥/5面使用/表・裏面端方向に凹凸/下部欠損	30	(38)	52	32	101.5	灰白	淡灰岩	230891	
276 5 B164号	砥石	上仕砥/1面使用/3側面に鋸歯/裏面に手斧痕・鋸歯/上・下部欠損	40	83	52.5	99	72.9	にふい相	粘板岩	230893	
276 6 B165号	砥石	粗粒岩中に深く/左側面に被削痕	90	152	64	19	338.4	灰オリーブ	粘板岩	230897	
276 7 B312号	砥石	中砥/4面使用/下側面に鋸歯/打ち割り裂痕	100	(163)	58	25	384.6	灰	砂岩	230912	
276 8 B367号	砥石	中砥/3面使用/下側面に鋸歯/上部・右から斜面欠損	40	90	30	27	79.4	ホルンフェルス	230916		
276 9 B448号	砥石	中砥/4面使用/左側面は手斧痕/上・下部欠損	40	(72)	49	32	227.7	灰黒	淡灰岩	230929	
276 10 B479号	砥石	高砥/6面使用/表裏面側縁にかけてV字状の溝	100	56	53	21	118.8	にふい黄黒	砂岩	230101	
276 11 B479号	砥石	中砥/1面使用/裏面に鋸歯/左右側面に鉈痕/下部欠損/上・下部欠損	60	(111)	80	39	543.7	灰	ホルンフェルス	230145	
276 12 B499号	砥石	仕上砥/1面使用/3側面に鋸歯/裏面に手斧痕/下部欠損	50	88	72	27	346.8	明闇灰	粘板岩	230873	
276 13 B499号	砥石	仕上砥/1面使用/上・左・右側面に鋸歯/裏面/下部は被削面後内整形	30	43	51	11	51.9	浅黄褐	粘板岩	230874	
276 14 B500号	砥石	仕上砥/1面使用/3側面に鋸歯/面取り/裏面・下部欠損	10	(49)	(34)	(4)	10.4	にふい相	粘板岩	230050	
277 1 B588号 東	砥石	仕上砥/2面使用/表面下部は被削面後内整形し使用/3側面に鋸歯/下添・表面下部欠損	60	120	52	14	163.4	にふい黄黒	粘板岩	230864	
277 2 B588号	砥石	仕上砥/多面使用/裏面の一部欠損	90	46	27	9	20.4	黒	頁岩	230100	
277 3 B588号	砥石	被熱により赤化。消解金属が付着	90	123	65	21	287.7	灰オリーブ	粘板岩	230853	
277 4 B588号	砥石	裏面一部削落	100	53	26	50	14.2	黒	粘板岩	230858	
277 5 B588号	温石	両方向からの穿孔孔1ヵ所/下端面に加工痕	100	133	63	22	454.1	にふい黄黒	黒雲母片岩	230157	
277 6 B588号	水晶	水晶部は曲面状、断面は八角形に整形	80	24	12	(11)	7.9	無透明	水晶	230185	
277 7 B588号 東	水晶	水晶部は曲面状、断面八角形に整形	70	18	9	(8)	1.6	無透明	水晶	230213	
277 8 B588号 ベルト	水晶	水晶部は曲面状、断面は六角形に整形	90	24	9	8	2.7	無透明	水晶	231272	
277 9 B588号 ベルト	水晶	水晶部は六角形に整形	30	(17)	(8)	(7)	1.1	無透明	水晶	231273	
277 10 B588号	砾石		100	22	22	5	3.6	黒黒	粘板岩	230871	
277 11 B588号 ベルト	砾石		100	22	22	5	3.8	黒黒	粘板岩	230850	
277 12 B588号 ベルト	石臼	茶白/下臼/臼口8分割/全体に被熱斑	100	388	—	98	16000	暗闇灰	安山岩	230849	
277 13 B591号	砥石	中砥/3面使用/1側面に鋸歯/下部欠損	50	(100)	46	39	179.9	灰	ホルンフェルス	230001	
277 14 B589号	砥石	中砥/4面使用/上側面は手斧痕/表面裏面は研ぎ	60	(92)	46	22	105.9	浅黄褐	淡灰岩	230071	
277 15 B589号	砥石	仕上砥/1面使用/表面は斜面ない/上・左右側面に鋸歯/中央上部に金属質付岩石/下部欠損	60	(65)	35	9	31.5	浅黄褐	粘板岩	230122	
277 16 B5086号	砥石	中砥/3面使用/下添欠損/3側面に鋸歯/裏面・下部は修理面	10	(82)	39	9	49.6	暗灰	ホルンフェルス	230762	
277 17 B5086号	砥石	中砥/5面使用/表面に機械衝撃/下部欠損	30	(43)	31	20	44.0	灰	砂岩	230793	
277 18 B5086号	砥石	仕上砥/4面使用/表面に鋸削状の溝/上・下部欠損	30	(38)	32	13	34.1	灰	ホルンフェルス	230794	
277 19 B5086号	砥石	中砥/5面使用/下部欠損	80	(92)	22	23	58.3	灰	砂岩	230799	
277 20 B5086号	砥石	仕上砥/1面使用/3側面に鋸歯/裏面・下部欠損	30	60	38	12	54.6	明闇灰	粘板岩	230700	
277 21 B5086号	砥石	仕上砥/2面使用/上・左・右側面に鋸歯/下部は被削面後内整形	50	71	39	13	63.3	にふい相	粘板岩	230687	
277 22 B5086号	砥石	仕上砥/1面使用/裏面・3側面に鋸歯/下部欠損	40	51	29	12	34.1	浅黄褐	粘板岩	230766	
277 23 B5086号	砥石	中砥/5面使用/上・下側面にU字形の溝状使用痕/表面裏面は研ぎ溝による凸面/下部欠損	50	(83)	46	26	132.4	灰白	淡灰岩	230689	
278 1 B5086号	砥石	中砥/5面使用/表面裏面に鋸歯	100	71	60	27	215.1	灰白	淡灰岩	230691	
278 2 B5086号	砥石	仕上砥/2面使用/上・右側面に鋸歯/下部は修理面に再整形/左側面欠損	50	85	45	11	63.8	にふい黄黒	粘板岩	230768	
278 3 B5086号	砥石	仕上砥/2面使用/表面裏面は欠損後に内整形し使用か/3側面に鋸歯/下部欠損	50	88	40	16	74.4	にふい黄黒	粘板岩	230688	
278 4 B5086号	砥石	中砥/5面使用/表面裏面に鋸歯/裏面・下部欠損	70	(103)	31	28	125.3	灰白	淡灰岩	230699	
278 5 B5086号	砥石	中砥/1面使用/表面裏面に鋸歯/裏面・下部欠損	40	114	41	15	91.3	浅黄褐	粘板岩	230782	

第90表 石製品観察表（2）

測定番号 採取番号	出土 地点	種別 器形	特徴	現存率 (%)	法線 (mm)			重量 (g)	色調	石材	整理 番号
					長さ	幅	厚み				
278 6	B5086 号	砥石	仕上砥 / 2面使用側面に鏡面 / 裏面は下部は欠損後に再整形 / 下部欠損	50	79	41	19	119.5	浅黄相	粘板岩	230805
278 7	B5086 号	砥石	仕上砥 / 2面使用 / 3面側面は割切断後に平滑に整形 / 下部は欠損後に整形か	20	(44)	54	7	25.8	浅黄相	粘板岩	230697
278 8	B5086 号	砥石	仕上砥 / 2面使用 / 3面側面に鏡面 / 下部・裏面は上部欠損	60	78	32	11	52.7	浅黄相	粘板岩	230812
278 9	B5086 号	砥石	仕上砥 / 2面使用 / 3面側面は鏡面 / 下部は擦理面で欠損	30	76	49	19	109.0	浅黄相	粘板岩	230798
278 10	B5086 号	砥石	仕上砥 / 2面使用 / 表面側面下部は破壊後に再整形 / 裏面は再整形後に使用 / 4面側面に鏡面 / 下部右半は擦理面で欠損	80	135	31	17	123.2	相	粘板岩	230796
278 11	B5086 号	砥石	仕上砥 / 2面使用 / 左側面に鏡面 / 槌状に再加上か	70	(57)	12	8	8.8	にふい相	粘板岩	230833
278 12	B5086 号	砥石	中砥 / 2面使用 / 下部欠損	60	(113)	38	36	180.4	灰	ホルンフェルス	230816
278 13	B5086 号	砥石	中砥 / 3面使用 / 裏面に鏡面 / 下部欠損	40	(87)	70	30	307.1	浅黄相	流紋岩	230810
278 14	B5086 号	砥石	中砥 / 1面使用 / 衣表裏 / 上側面に鏡面 / 右半・下部欠損	20	(74)	(64)	39	299.2	浅黄相	流紋岩	230809
278 15	B5086 号	砥石	中砥 / 4面使用 / 下部欠損	60	(86)	56	26	173.9	灰白	流紋岩	230813
278 16	B5086 号	砥石	中砥 / 2面使用 / 左側面も使用的可能性 / 表面は研ぎきりによる凸溝	90	136	29	46	282.9	相	闊葉岩	230814
278 17	B5086 号	砥石	中砥 / 4面使用 / 表面上面に鏡面 / 表面・左右側面は研ぎきりによる渋曲	90	(165)	58	23	317.9	灰	ホルンフェルス	230815
279 1	B5086 号	砥石	仕上砥 / 3面使用 / 左・左・右側面に手斧痕 / 裏面・下部欠損	30	97	63	45	450.1	灰	ホルンフェルス	230819
279 2	B5086 号	砥石	鏡面改刻し複数面に鏡面を出作	80	115	62	13	121.2	闊葉岩	230684	
279 3	B5086 号	砥石	中砥 / 2面使用 / 裏面に鏡面 / 下部欠損	90	103	64	14	153.3	オーリーブ黒	粘板岩	230985
279 4	B5086 号	砥石	鏡面改刻し複数面欠損	60	63	37	6	23.9	闊葉岩	230683	
279 5	B5086 号	温湯	裏面からくる穿孔 1ヵ所	80	125	63	17	230.7	にふい・黄碧	墨雲母片岩	230830
279 6	B5086 号	砾石		100	22	22	4	3.4	黒	粘板岩	230834
279 7	B5086 号	砾石	平面いづつな棒円形	100	22	25	6	5.5	黒	粘板岩	230836
279 8	B5086 号	砾石	平面棒円形	100	18	23	5	3.4	黒	粘板岩	230835
279 9	B5086 号	砾石		100	22	22	5	3.4	黒	粘板岩	230837
279 10	B5086 号	不明	前面に楔状の整形	20	(23)	(34)	11	14.2	灰白	花崗岩	230832
279 11	B2843 号	砥石	仕上砥 / 3面使用 / 左側面に鏡面 / 右側面は擦理面 / 表面・裏面は欠損後に一層使用か / 下部欠損	40	(149)	(46)	14	107.3	洪赤相	粘板岩	230417
279 12	B2843 号	砥石	中砥 / 3面使用 / 表面に鏡面か / 上下・裏面欠損	20	(50)	48	(45)	162.5	淡棕	流紋岩	230419
279 13	B2843 号	砥石	中砥 / 4面使用 / 表面は研ぎきりによる渋曲 / 下部欠損付で左欠損	50	(81)	33	20	73.4	灰白	流紋岩	230421
279 14	B2843 号	砥石	中砥 / 4面使用 / 上側面に鏡面 / 表面は研ぎきりによる渋曲 / 下部欠損 / 鉄錆付着 / 減熱	80	(106)	40	33	221.0	にふい・黄碧	闊葉岩	230416
279 15	B725 号	砥石	中砥 / 1面使用 / 上・左・右・裏面は平滑で使用の可能性あり / 右・下部欠損	30	(45)	53	11	54.5	浅黄相	流紋岩	230003
279 16	B677 号	砥石	仕上砥 / 3面使用 / 左・左・右側面に鏡面 / 表面に一部手斧痕 / 裏面は欠損後に 2 条の溝状使用痕あり / 下部欠損	30	(73)	62	15	100.7	浅黄相	粘板岩	230121
279 17	B724 号	砥石	小砥 / 3面使用 / 上・左・右側面に鏡面 / 上端部・右側面に手斧痕 / 下端部鏡面	90	123	57	35	432.2	灰	ホルンフェルス	230044
279 18	B604 号	砥石	裏面から渾然にかけて表面剥落	80	121	59	16	273.6	オーリーブ黒	粘板岩	230033
280 1	B745 号	砾石	仕上砥 / 5面使用 / 各側面に鏡面 / 表面上に深い溝状の使用痕 / 裏面に鏡面	50	60	37	9	35.2	にふい相	粘板岩	230115
280 2	B745 号	砾石		100	21	21	5	3.3	黒期	粘板岩	230088
280 3	B750 号	砾石	仕上砥 / 2面使用 / 右側面は研ぎきりにより渋曲 / 右半部欠損	60	(105)	51	32	122.0	灰	ホルンフェルス	230012
280 4	B800 号	砾石	中砥 / 2面使用 / 表面は手斧痕鏡面で未使用か / 右側面に鏡面 / *・下端は擦理面による被損	40	(115)	79	33	517.6	灰	ホルンフェルス	230170
280 5	B800 号	砾石	中砥 / 3面使用 / 表面上側面は擦理面 / 裏面・下部欠損	30	(105)	18	9	23.7	灰	ホルンフェルス	230175
280 6	B800 号	砥石	凹溝を斜位に裏面に鏡面 / 中央にひびき / 鏡面改刻し複数面に鏡面を作出	90	121	62	13	155.3	黒	粘板岩	230149
280 7	B808 号 新段階	砥石	粗粒 / 4面使用 / 各側面に溝状の使用痕 / 下部欠損	80	(87)	64	18	143.9	浅黄	砂岩	230274
280 8	B808 号 新段階	砥石	中砥 / 5面使用 / 表面上に溝状使用痕 / 上下部欠損	40	(54)	27	21	36.1	浅黄相	流紋岩	230195
280 9	B808 号 新段階	砥石	仕上砥 / 2面使用 / 裏面に手斧痕 / 左右側面に鏡面	30	(64)	54	7	42.0	灰オーリーブ	粘板岩	230187
280 10	B808 号 新段階	砥石	粗粒 / 5面使用	30	(52)	55	30	149.3	にふい・赤黒	流紋岩	230249
280 11	B808 号 新段階	砥石	中砥 / 2面使用 / 上・左右側面に鏡面 / 側面に鏡面 / 下部欠損	60	(78)	30	19	72.2	灰白	流紋岩	230189

第91表 石製品観察表（3）

規範番号 部材番号	出土地点	種別 器物名	特徴	現存率 (%)	法量(mm)			重量 (g)	色調	石材	整列 番号
					長さ	幅	厚み				
280 12	B808 号 中段階	砥石	仕上砥/1面使用 /3側面は割切面のうち平滑に整形か /裏面・下部欠損	30	(75)	54	37	213.8	に赤い橙	粘板岩	230270
280 13	B808 号 段階	砥石	仕上砥/1面使用 /4側面に鋸痕 /裏面は欠損後に再整形し使用 /下部欠損	90	132	41	16	171.8	に赤い橙	粘板岩	230245
280 14	B808 号 中段階	砥石	仕上砥/2面使用 /3側面に鋸痕 /裏面は欠損後に再整形し使用 /下部欠損	40	(119)	56	16	136.3	に赤い黄	粘板岩	230074
280 15	B808 号 中段階	砥石	仕上砥/5面使用 /裏面・左側面に手斧痕 /下部欠損 /被削による変色	40	(89)	58	37	324.8	橙	粘板岩	230073
280 16	B808 号 段階	礫	側面全周欠損	60	113	59	(13)	191.2	灰オリーブ	粘板岩	230186
281 1	B808 号 段階	礫	礫石中央に深み/砕屑に刻書・抉りによる認定不明の文様	30	(78)	73	21	152.2	灰オリーブ	粘板岩	230295
281 2	B808 号 段階	礫	礫首欠損 /側面は欠損後に再整形 /裏面右下に格子状の縫合 /裏面中央に深み	70	(115)	60	12	167.9	灰オリーブ	粘板岩	230640
281 3	B808 号 段階	火打石	複数側面に使用痕 /全体に黒色付着物あり	100	41	28	24	34.7	灰白	玉髓	230302
281 4	B808 号 中段階	碁石		100	22	22	6	4.6	黑	粘板岩	230224
281 5	B1037 号	碁石		100	22	22	5	3.6	黑	粘板岩	230038
281 6	B880 号	砥石	中砥/2面使用 //表・裏面研ぎ減りで済曲 /左半欠損	80	155	46	42	474.0	灰	ホルンフェルス	230144
281 7	B880 号 下部	礫	礫石は側面により欠損 /礫石に刻書「正保■六月■八日■」 「中村■」	20	(89)	57	(10)	105.6	黑	粘板岩	230086
281 8	B880 号 No.1	火打石	複数側面に使用痕	100	[35.6]	[28.6]	(15)	12.3	黑	黑曜石	230741
281 9	B880 号	石臼	粉碎臼 /臼口 /目 6 分割	50	(346)	—	111	1100.0	浅黄褐	花崗岩	230441
281 10	B890 号 外側	砥石	仕上砥/1面使用 /各面に鋸痕 /下部欠損	10	51	17	11	10.6	灰黄褐	粘板岩	230169
281 11	B890 号	砥石	仕上砥/1面使用 /3側面に鋸痕 /裏面・下部欠損	70	(119)	42	12	97.8	灰オリーブ	粘板岩	230112
281 12	B966 号	砥石	仕上砥/2面使用 /左・右側面は割切面のうち整形 /下部は敲打による欠損	80	(47)	22	7	17.2	暗オリーブ灰	緑色麻灰岩	230062
281 13	B1148 号	砥石	仕上砥/6面使用 /4側面に鋸痕	100	156	49	15	262.4	灰オリーブ	粘板岩	230078
281 14	B1148 号	砥石	中砥/3面使用 /左側面は欠損後に整形か /下部欠損	60	(136)	46	34	232.6	オリーブ灰	ホルンフェルス	230079
281 15	B1148 号	礫	側面欠損 /礫石中央・右側に深み /側面に褐色色斑を帯び	90	241	119	44	1520.9	灰オリーブ	粘板岩	230127
282 1	B1159 号	碁石	仕上砥/1面使用 /上側面に鋸痕 /乳頭欠損	10	(75)	(38)	(10)	27.2	に赤い黄	粘板岩	230097
282 2	B1523 号	砥石	仕上砥/2面使用 /3側面に鋸痕 /裏面は埋理面 /上部欠損	50	(79)	53	(12)	58.9	灰オリーブ	粘板岩	230552
282 3	B2288 号	砥石	仕上砥/1面使用 /7面に鋸痕 /面取り /裏面欠損	40	56	28	10	24.0	浅黄	粘板岩	230258
282 4	B1001 号	砥石	中砥/4面使用 /上側面に繁縝 /左側面・右側面下部は欠損後に整形か	100	(129)	33	27	135.9	暗青灰	ホルンフェルス	230076
282 5	B1445 号	砥石	仕上砥/5面使用 /3側面に鋸痕 /左側面は面取り /下部は埋理面による破壊か	80	(141)	61	30	435.0	浅黄褐	粘板岩	230469
282 6	B1445 号 上部	砥石	中砥/3面使用 /表面に段差あり /上側面・裏面に謎板 /下部欠損	50	(85)	58	42	350.0	に赤い黄	花崗岩	230486
282 7	B1445 号 下部	砥石	中砥/3面使用 /左側面は被削後の整形か	100	(170)	54	50	458.9	灰	ホルンフェルス	230487
282 8	B1445 号 最下部	砥石	乳頭/2面使用 /表面には研ぎ減りのため済曲	70	(79)	56	25	187.4	浅黄	砂岩	230484
282 9	B1445 号 最下部	砥石	中砥/3面使用 /裏面に繁縝 /上・側面に鉋痕 /下部欠損	50	(86)	54	39	283.8	に赤い橙	粘板岩	230482
282 10	B1445 号 越下部	砥石	仕上砥/2面使用 /3側面は割切面のうち平滑に整形か /下部欠損 /被削付岩物顕著	60	(97)	52	15	116.9	に赤い黄	粘板岩	230485
282 11	B1445 号 越下部	礫	破片を改修か /現在は落葉に埋まつ・キズ状の縦裂跡付 /斜面に削痕 (倒伏不能)	90	116	58	13	128.2	灰オリーブ	粘板岩	230478
282 12	B1445 号 下部	礫	側面中央に深み	90	121	60	16	209.5	黑	粘板岩	230488
282 13	B1520 号	砥石	仕上砥/3面使用 /左側面は埋理面 /上・下部欠損	50	(108)	(38)	14	69.8	に赤い橙	粘板岩	230522
283 1	B1132 号	砥石	中砥/3面使用 /上・下側面は埋理面 /裏面欠損	20	(114)	36	14	93.1	暗オリーブ灰	ホルンフェルス	230129
283 2	B1132 号	碁石		90	(18)	21	4	2.2	黑	粘板岩	230089
283 3	B1505 号	礫	礫石に2条の深み /側面に埋理面で大きな深み	80	211	93.5	29	759.1	灰オリーブ	粘板岩	230501
283 4	B1505 号	礫	被削右端に欠損 /礫石中央から基礎に大きくなみ	80	100	44	13	71.1	灰	粘板岩	230532
283 5	B1505 号 不明	砥石	上部曲線的に加工 /下部側面に加工	100	(125)	68	34	549.4	暗緑灰	緑色凝灰岩	230513
283 6	B1522 号	砥石	仕上砥/2面使用 /3側面に鋸痕 /表面は被削後に使用か /下部欠損	30	(109)	47	18	119.6	に赤い黄	粘板岩	230516

第92表 石製品観察表(4)

測定番号 標印番号	出土 地点	種別 器種	特徴	現存率 (%)	法量(mm)			重量 (g)	色調	石材	整理 番号
					長さ	幅	厚み				
283 7	B1522号 下部	砥石	仕上砥/2面使用/3側面に鋸痕/裏面側縁欠取り/下部欠損	50	(98)	46	14	65.6	灰黄褐	粘板岩	230518
283 8	B1522号 底	砥石	仕上砥/3面使用/上・左・右側面に鋸痕/裏面	90	169	54	25	452.8	にぶい橙	流紋岩	230511
283 9	B1847号	砥石	仕上砥/3面使用/上側面に鋸痕/下部欠損/被熱	50	(112)	67	35	443.7	暗灰	頁岩	230327
283 10	B2135号	砥石	礫丘中央に斜筋の僅み	90	75	32	10	34.0	オリーブ黄	粘板岩	230329
283 11	B2219号	砥石	中砥/3面使用/上側面に鋸痕/下部欠損/被熱による変色	50	(82)	53	38	337.3	淡赤褐	流紋岩	230324
283 12	B2223号	砥石	礫丘欠損	80	80	36	11	49.0	灰オリーブ	粘板岩	230306
283 13	B2291号	砾石	中砥	90	(20)	21	5	2.0	暗灰	粘板岩	230325
283 14	B2300号	温石	両方向からの穿孔1ヵ所	40	(56)	63	15	77.7	にぶい黄褐	砂岩	230345
284 1	B2305号	砥石	仕上砥/1面使用/3側面に鋸痕/表面に構溝の様な凹凸/下部欠損	10	(28)	48	8	15.5	明オリーブ灰	粘板岩	230240
284 2	B2305号	砥石	中砥/1面使用/左・右側面と裏面は節理面	80	(145)	36	45	228.5	青灰	ホルンフェルス	230241
284 3	B2311号	火打石	複数側縁に使用痕	100	38	28	15	18.0	灰白	玉髓	230340
284 4	B2311号	火打石	複数側縁に使用痕	33	26	19	—	15.3	にぶい黄褐	玉髓	230341
284 5	B2312号	印章	複数用/引書「■甲學」	100	(17)	(20)	14	13.3	灰オリーブ	粘板岩	230261
284 6	B2351号	砥石	仕上砥/2面使用/上側面に鋸痕/表面・左側面に溝状の使用痕	10	(27)	(19)	(5)	3.8	にぶい橙	粘板岩	230301
284 7	B2372号	温石	両方向からの穿孔	100	126	63	18	242.5	にぶい黄褐	流紋岩	230234
284 8	B2382号 東側	砥石	仕上砥/4面使用/左側面に鋸痕/裏面に線状の使用痕/下部は欠損後に再整形か	70	86	43	10	65.6	灰	ホルンフェルス	230363
284 9	B2382号	火打石	複数側縁に使用痕	100	27	20	15	11.1	灰白	玉髓	230305
284 10	B2382号	火打石	複数側縁に使用痕	100	22	28	26	20.6	灰白	玉髓	230304
284 11	B2394号	砥石	高砥/4面使用/下部欠損	30	(66)	56	52	313.9	灰白	砂岩	230362
284 12	B2394号	砥石	仕上砥/2面使用/上側面に鋸痕/裏面・下部欠損	20	(62)	26	16	35.9	にぶい橙	粘板岩	230361
284 13	B2462号	碁石	中砥	100	21	21	4	3.1	暗灰	粘板岩	230350
284 14	B2498号	砥石	仕上砥/4面使用/表面右縁辺に断面V字状の溝あり/裏面はぼく欠損/上・下部欠損	20	(61)	74	24	137.4	オリーブ灰	ホルンフェルス	230349
284 15	B2514号	印章	印章道の「残存か」獅子の形刻	80	20.1	23.9	23.8	13.4	灰白	墨石	230317
284 16	B2725号	礫	前面に黒色顔料塗布	90	139	78	20	431.0	黒	粘板岩	230370
285 1	B2748号	砥石	中砥/4面使用/上端・下部欠損/下部へ研ぎ減り	30	(52)	31	31	52.0	淡赤褐	流紋岩	230436
285 2	B2748号	礫	破砕と板状の一部を欠損	60	136	60	(13)	195.9	黒	粘板岩	230435
285 3	B2748号	礫	魔手あり/側面の大平を欠損/板状および側面の覆手に複数のキズ	90	137	62	16	198.3	黒	粘板岩	230434
285 4	B2769号	礫	研磨右側面/礫丘左側に僅み/礫丘全面にキズ	80	184	75	25	461.6	暗灰	粘板岩	230637
285 5	B2760号	温石	両方向からの穿孔1ヵ所/上端部側面に加工痕	30	(69)	60	(10)	74.5	オリーブ灰	緑色片岩	230639
285 6	B2776号	砾石	被熱	100	21	21	5	3.2	暗灰	粘板岩	230617
285 7	B2777号	砥石	仕上砥/2面使用/左・右側面に鋸痕/裏面・下部欠損/下部は再整形	30	96	36	14	66.8	灰オリーブ	粘板岩	230593
285 8	B2777号	砥石	仕上砥/2面使用/下部欠損	50	(70)	28	29	87.8	にぶい黄褐	流紋岩	230599
285 9	B2777号	砥石	中砥/3面使用/裏面は被熱後に下部のみ使用/右側面に千孔痕	30	(154)	44	29	255.2	淡赤褐	流紋岩	230600
285 10	B2777号	温石	両方向からの穿孔1ヵ所/上端部側面に加工痕	90	139	75	17	400.9	にぶい黄褐	黒雲母片岩	230602
285 11	B2789号	礫	被研右側面/板状中央に僅み/研磨右側に補修	80	153	62	19	297.7	灰オリーブ	粘板岩	230611
285 12	B2795号	砥石	中砥/5面使用/下部欠損	50	(54)	22	13	31.9	暗灰	ホルンフェルス	230381
285 13	B2798号	碁石	被熱	100	21	21	4	2.7	暗灰	粘板岩	230584
285 14	B2798号	砾石	被熱	100	21	22	4	2.7	にぶい黄褐	粘板岩	230585
285 15	B2805号	温石	両方向からの穿孔1ヵ所/四隅面取り	100	122	65	17	212.9	灰黄褐	流紋岩	230375
285 16	B2825号	礫	被研・被研右側欠損/被研右側・被研に擦痕残有/礫表面に鋸痕/裏面は横円形で大小2面あり/被研(大)の裏面中央にV字状の溝み/被研(小)の周辺に側面の擦痕/被研(裏面は被熱により化粧)	80	110	98	16	177.6	灰	粘板岩か	230641
286 1	B2883号	砥石	中砥/2面使用/上端面・裏面に手斧痕/下部欠損	90	144	65	58	959.6	暗灰	ホルンフェルス	230408
286 2	B2883号	砥石	中砥/3面使用/上側面・裏面に手斧痕/下部欠損	60	(157)	64	44	581.8	にぶい橙	流紋岩	230407
286 3	B2883号	礫	被研左側面に研磨まで貫通する溝み/被研右側から裏面に逆L字状の溝を改削/側面に黒色顔料塗布か	90	121	63	16	140.4	オリーブ黄	粘板岩	230389
286 4	B2952号	砥石	仕上砥/2面使用/表面に鋸痕/3側面に鋸痕/裏面は被研磨に使用か/下部欠損	30	(91)	48	13	92.8	にぶい橙	粘板岩	230629
286 5	B2952号	砥石	中砥/2面使用/右側面は下方を使用/下部欠損	60	(77)	29	19	71.9	にぶい橙	流紋岩	230632

第93表 石製品観察表(5)

測定番号 測定番号	出土 地点	種別 器種	特徴	残存率 (%)	法線(mm)			重量 (g)	色調	石材	整理 番号
					長さ	幅	厚み				
286 6 B2952 号	砥石	住上砥/2面使用/上・左右側面に鋸痕/下部欠損		40	(73)	55	15	123.0	灰オーラー	粘板岩	230630
286 7 B2952 号	砥石	中砥/4面使用/上・下部欠損		30	(78)	65	30	306.1	緑灰	ホルンフェルス	230634
286 8 B3020 号	砥石	住上砥/1面使用/3側面に鋸痕/裏面・下部欠損		50	111	51	19	187.4	浅黄褐	粘板岩	230740
286 9 B3025 号	砥	破片欠損/破片に複数を改刻/裏面に胡書「山形 (カ)」		60	(100)	63	(14)	176.6	灰オーラー	粘板岩	230728
286 10 B3025 号	砥	破片欠損		80	155	64	20	283.4	オーラー ^ア	粘板岩	230729
286 11 B3223 号	碁石			100	22	22	4	3.0	黒	粘板岩	230401
286 12 B3274 号	火打石	複数側縫に使用痕		100	43	19	19	16.6	灰白	玉髓	230390
287 1 B5054 号	火打石	複数側縫に使用痕		100	42	32	23	36.5	灰白	玉髓	230667
287 2 B5074 号	砥	裏面に鉛筆により欠損/裏面に刻書き ■(元カ) 銀[十六年]「石」		20	(78)	89	(11)	160.6	黒	粘板岩	230676
287 3 B5074 号	碁石			100	22	22	5	3.5	灰黄褐	粘板岩	230675
287 4 B5082 号	砥石	住上砥/1面使用/3側面に鋸痕/裏面に溝状の侵 食あり/下部欠損		30	(77)	64	10	72.0	にふい ^ア	粘板岩	230666
287 5 B5082 号	砥	破壊中央にわずかなび/背面に削害(不詳)		90	153	60	18	293.7	灰オーラー	粘板岩	230678
287 6 B5082 号	砥	破壊側縫より裏面右下に墨痕斑/裏面に削害(不 詳)		90	135	61	18	270.0	オーラー ^ア	粘板岩	230677
287 7 B5082 号	砥	片面に穿孔/片面中央に瘤み		90	88	77	36	55.5	灰	軽石	230656
287 8 B5083 号	砥石	中砥/3面使用/左側面に鋸痕/右側面に鉛筆/ 上端部は墨縞面		60	(121)	69	53	685.0	灰	ホルンフェルス	230664
287 9 B5124 号	砥石	住上砥/3面使用/上・右側面に鋸痕/表面には研 ぎざりのため凹凸/下部欠損		30	(66)	44	19	76.9	にふい ^ア	粘板岩	230720
287 10 C111 号	砥	側縫全面に鉛筆/研磨中央に横模様で貫通する瘤み /側面に黒色顔料染みか/破壊中央に補修痕		80	156	63.5	16	203.2	灰オーラー	粘板岩	231204
287 11 C111 号	火打石	複数側縫に使用痕		100	44	30	21	33.5	にふい ^ア	玉髓	231154
287 12 C111 号	碁石			100	22	22	4	3.7	黒	粘板岩	231203
287 13 C132 号	砥石	中砥/2面使用/上側面に鋸痕/右側面に手斧痕/ 裏面は墨縞面/下部欠損		40	(97)	75	24	253.9	にふい ^ア	流紋岩	231138
288 1 C135 号	砥石	住上砥/5面使用/3面側面に鋸痕/側面一部と下部 欠損		30	(52)	42.5	22	70.2	灰白	粘板岩	231147
288 2 C140 号	砥石	中砥/3面使用/下部欠損		20	(41)	50	36	140.8	淡黄	流紋岩	231176
288 3 C140 号	砥石	中砥/5面使用/裏面に鉛筆・幅2mmの横割研磨		30	46	50	40	162.7	灰白	流紋岩	231175
288 4 C140 号	砥石	住上砥/2面使用/3面側面に鋸痕/下部欠損/裏面 欠損後に再利用か		60	(90)	41	7	37.2	にふい ^ア	粘板岩	231173
288 5 C140 号	砥石	住上砥/4面使用/3面側面/裏面/下部欠損		60	(109)	40	21	164.6	にふい ^ア	粘板岩	231171
288 6 C140 号	砥石	住上砥/1面使用/4面側面/裏面に手斧痕		90	133	41	15	133.9	灰黄褐	粘板岩	231172
288 7 C140 号	砥石	住上砥/4面使用/研磨に減らしのため断面は下部方 向に尖り下部欠損		50	136	47	51	278.2	青灰	ホルンフェルス	231170
288 8 C140 号	砥石	中砥/2面使用/下部は破損後再加工		50	(151.5)	85.5	45.6	609.6	灰	ホルンフェルス	231169
288 9 C140 号	砥	破片欠損/破壊中央に瘤み/背面刻書き「三」		80	140	58	17	192.9	オーラー ^ア	粘板岩	231190
288 10 C140 号	砥	上半部欠損/破壊中央にわずかな瘤み/破壊覆手 あり		40	75	62	13	106.0	灰オーラー	粘板岩	231167
288 11 C140 号	碁石			100	21	22	4	2.9	浅黄褐	粘板岩	231259
288 12 C140 号	碁石			100	21	21	5	3.2	明黄褐	粘板岩	231262
288 13 C210 号	砥石	中砥/4面使用/上端面に鉛筆		50	(70)	36	26	95.0	浅黄	砂岩	231184
288 14 C211 号	砥	破片左端部のみ残存		10	25	37	18	16.2	灰	瓦質	231142
288 15 C231 号	石臼	粉砕白/上臼/自刃部分に横割面/裏面凹込穴あり		50	(26.2)	—	(113)	6000.0	浅黄	花崗岩か	231216
288 16 C244 号	砥	破片欠損/裏面に瘤み・ヰ字状の構造崩れ/ 裏面に刻書き「■」■山長■守(カ)」		80	(142)	78	26	467.7	單眼灰	凝灰岩	231187
289 1 C244 号	七輪	切り出し七輪/七輪部に熱被痕		30	(211)	(155)	242	4700.0	灰	凝灰岩	231217
289 2 C244 号	七輪	切り出し七輪/表面風化顕著		30	225	(125)	240	4000.0	暗灰	凝灰岩	231218
289 3 C250 号	砥	破片欠損		80	75	25	6	17.2	灰オーラー	粘板岩	231191
289 4 C250 号	火打石	複数側縫に使用痕		100	33	25	22	19.2	灰	玉髓	231199
289 5 C250 号	碁石	黑色 磨平		100	23	22	5	4.2	暗灰	粘板岩	231200
289 6 C251 号	砥石	住上砥/1面使用/左右2側面に鋸痕/上側面は 打ち割り/裏面部分的に隕裂/表面に縫隙の際 痕		60	(122.5)	54.5	11.4	120.2	黄灰	粘板岩	230929
289 7 C251 号	砥石	住上砥/1面使用/幅3mmのU字状研磨痕3条		20	(46)	(50)	69	26.4	にふい ^ア	粘板岩	230935
289 8 C251 号	砥石	細粒/1面使用/下部欠損		30	(86)	61	33	334.6	灰	白雲岩	230930
289 9 C251 号	砥石	住上砥/1面使用/左側面は上部一部使用か/3側 面に鉛筆/下部欠損/表面に深い溝状の使用痕		40	(93)	58.5	10.4	99.2	灰黄	粘板岩	230933
289 10 C251 号	砥	破片に補修痕		90	171	79	27	462.2	明オーラー ^ア	凝灰岩	230950

第94表 石製品観察表(6)

測定番号	出土 地點	種別 器種	特徴	現存率 (%)	法量(mm)			重量 (g)	色調	石材	整理 番号
					長さ	幅	厚み				
289 11 C251 号	礎	礎石に僅み / 縦横全体に縦方向の擦痕 / 縦軸に 削差(不整) / 扁手あり	80	169	76	22	381.0	灰オーラー	粘板岩	230956	
289 12 C251 号	礎	礎石にやや墨付着	90	187	82	27	612.4	明オーラー	粘板岩	230951	
290 1 C251 号	砾石	被熱	90	21	21	4	3.0	にふい橙	粘板岩	231260	
290 2 C251 号	不明	上面に方形の抉り込み / 下面に脚ヶ所作成	20	(38.9)	(59.8)	(48.1)	53.1	灰白	ディアシトカ	230976	
290 3 C251 号	七輪	切り出し七輪 / 口縁部済内は被熱による黒度	20	—	421	(19.4)	5900.0	灰白	粘板岩	231267	
290 4 C251 号	七輪	切り出し七輪 / 内部は被熱による黒度	40	(19.2)	237	248	6800.0	灰白	粘板岩	231266	
290 5 C272 号	礎	被齊覆手七輪 / 複手上面・礎石右端部に補修痕	80	137	48	18	198.6	灰オーラー	粘板岩	231060	
290 6 C278 号	砾石	上止紙 / 2面使用 / 3側面断面・端部面取り / 下 部欠損	50	(9.4)	44	17	99.6	にふい橙	粘板岩	231143	
290 7 C278 号	礎	礎石に二重の溝み・キズ状の横位刻痕 / 削痕に刻 書「今井作 (カ)吉持」	80	215	101	19	772.5	黒	粘板岩	231124	
290 8 C304 号	砾石	仕上紙 / 全面使用 / 槌状に加工 / 先端部角離状 / 今代の金型紙石か	100	104	15	10	27.6	にふい黄	粘板岩	231153	
290 9 C304 号	砾石	粗研 / 6面使用	100	67.5	48.3	23	95.2	にふい黄鉛	砂岩	231151	
290 10 C305 号 上解	砾石	仕上紙 / 2面使用 / 3側面に削痕 / 下部欠損	60	108.5	57.5	17.5	145.7	灰オーラー	粘板岩	231162	
290 11 C305 号	砾石	仕上紙 / 2面使用 / 3側面に削痕 / 下部欠損	30	(68.5)	47.5	14	77.7	浅黄	粘板岩	231072	
290 12 C305 号	礎	複数のみ残存	20	(29)	52	8	19.0	灰オーラー	粘板岩	231091	
290 13 C449 号	砾石	被齊覆手端部削り / 縦中央に溝み / 複手取り	80	(139)	44	15	131.5	灰オーラー	粘板岩	231054	
290 14 C476 号	砾石	仕上紙 / 2面使用 / 表面彫り溝状の擦痕 / 上側面 に削痕か	40	(78)	59.5	16.8	91.6	灰灰	粘板岩	231104	
290 15 C485 号	砾石	仕上紙 / 2面使用 / 3側面に削痕 / 下部欠損	30	(67.5)	37.5	20	82.6	淡橙	粘板岩	231047	
291 1 C485 号	砾石	仕上紙 / 1面使用 / 4側面・裏面に削痕 / 231049 と接合	80	183	52	11	176.8	にふい橙	粘板岩	231048	
291 2 C505 号	砾石	仕上紙 / 2面使用 / 3側面に削痕 / 下部欠損	30	(40.5)	34.5	4.5	14.1	浅黄鉛	粘板岩	231077	
291 3 C511 号	砾石	仕上紙 / 1面使用 / 上側面は削痕 / 下部に削痕 側面に削痕 / 下部に削痕	60	(140.5)	68.5	16	223.5	浅黄鉛	粘板岩	231110	
291 4 C521 号	砾石	中研 / 2面使用 / 6面削痕 / 破損	90	151	46	29	345.3	暗灰黄	粘板岩	231240	
291 5 C536 号	砾石	仕上紙 / 1面使用 / 3側面に削痕 / 裏面・下部欠損	60	(66)	69	7	54.7	灰黄	粘板岩	231009	
291 6 C536 号	砾石	仕上紙 / 1面使用 / 3側面に削痕 / 上側面端部取り / 下部欠損	30	50	64.5	10.7	66.1	灰白	粘板岩	231008	
291 7 C536 号	砾石	仕上紙 / 2面使用 / 8・下側面は削痕面 / 右側面 中央は打ち割り / 左側面は削痕 / 打ち割り / 裏面 下部に削痕	90	185.5	73.5	25.5	605.3	明闇灰	粘板岩	230999	
291 8 C536 号	砾石	中研 / 1面使用 / 上側面・裏面に削痕 / 左側面 に削痕	60	105	53.5	32.4	269.5	暗灰	頁岩	230994	
291 9 C536 号	砾石	仕上紙 / 200996 - 200997 接合 / 1面使用 / 4側面削 痕・面取 / 裏面欠損	80	166	61	(22)	365.3	浅黄鉛	粘板岩	230996	
291 10 C536 号	砾石	中研 / 1面使用 / 4側面に削痕 / 黄色削痕面	90	166	58	17	276.6	灰白	粘板岩	230998	
292 1 C536 号	礎	礎石に牛字状の横位刻痕 / 複齊覆手あり / 扁手内 に溝位の横位削痕	80	168	76	25	480.0	黒	粘板岩	231025	
292 2 C536 号	礎	被齊切痕 / 打ち割り / 被齊手内に補修 痕、削痕「赤闘」	80	139	71	24	395.0	暗赤褐	頁岩	231028	
292 3 C536 号	礎	礎石全面に欠損 / 右側面に削痕手あり / 複齊覆手 内部欠損	80	151	62	19	316.0	灰	粘板岩	231026	
292 4 C536 号	礎	礎石中央に複数の溝み / 複齊覆手あり / 全面黒 色削痕	60	(126)	62	23	300.3	灰	粘板岩	231018	
292 5 C536 号	礎	礎石に牛字状の横位刻痕 / 中央に溝み / 複齊覆手 やや墨付着	80	137	61	17	180.5	灰	粘板岩	231027	
292 6 C536 号	礎	被齊左側部欠損 / 矩石中央に削痕まで貫通する 溝み / 削痕に黑色削痕	70	138	59	18	139.4	灰オーラー	粘板岩	231029	
292 7 C536 号	礎	被齊に跡跡による記号「△□」	20	(54)	59	22	82.7	黒	粘板岩	231020	
292 8 C536 号	温石	兩方向からの穿孔 / か所 / 一方向からの非貫通穿 孔 1か所	100	69	52	15	97.1	闇灰	粘板岩	231034	
292 9 C536 号	温石	兩方向からの穿孔 / か所 / 一方向からの非貫通穿 孔 1か所	95	74	48	18	120.7	闇灰	粘板岩	231033	
292 10 C536 号	火打石	複数側面に使用痕	100	21	27	16	12.7	灰白	玉髓	231065	
292 11 C536 号	火打石	複数側面に使用痕	100	42	47	22	53.4	灰白	玉髓	231066	
292 12 C536 号	碁石	100	21	21	3	2.4	暗灰	粘板岩	231031		
292 13 C545 号	碁石	100	22	21	5	3.9	暗灰	粘板岩	231053		
292 14 C536 号	七輪	切り出し七輪 / 口縁部済内は被熱による黒度	20	—	319	(178)	6663.4	灰白	粘板岩	231221	
292 15 C536 号	七輪	切り出し七輪 / 口縁部済内は被熱による黒度	10	—	322	(182)	—	灰白	粘板岩	231222	
293 1 C552 号	砾石	仕上紙 / 2面使用 / 3側面に削痕 / 下部欠損に整 形	40	85	49	10.8	80.1	浅黄	粘板岩	231079	
293 2 C564 号	礎	礎石中央に溝み / 複齊に削痕「近藤氏」(明治4年) 「高八日甘八日」(呉州高島焼石) / 扁手あり	90	167	61	22	377.3	オーラー黒	粘板岩	231056	
293 3 C598 号	礎	礎石中央に溝み / 削痕に黑色削痕	90	122	61	12	200.5	灰	粘板岩	231243	

第95表 石製品觀察表(7)

測量番号	出土 地點	種別 器種	特徴	既存率 (%)	法規 (mm)	重量 (g)	色調	石材	整理 番号	
293	4 C603号	砾石	土上砥/2面使用/3側面に鋸痕/下部欠損/ Z231043と接合	30 (57)	44.5 20.1	76.2	に赤い黄	粘板岩	231042	
293	5 G651号	砾石	土上砥/2面使用/3側面に鋸痕/下部欠損	40 (69)	57 7	44.2	浅黄	粘板岩	231212	
293	6 G659号	砾石	土上砥/1面使用/3側面に鋸痕・面取り/裏面踏面 下部欠損	60 (89)	60 8	85.2	に赤い黄橙	粘板岩	231254	
293	7 B1-3区 3-5面	砾石	中砥/3面使用/裏面に浅い鋸切跡の溝あり/下 部欠損	40 (85)	61 18	127.2	黒	ホルンフェルス	230011	
293	8 B1-4区 1-2面	砾石	土上砥/2面使用/上側面に鋸痕/右側面は欠損 後に内整形し使用/裏面欠損	30 (99)	60 24	188.3	灰	砂岩	230559	
293	9 B1-4区 1-3面	砾石	中砥/2面使用/右側面が主要使用面/上側面に 手斧跡/左側面は踏面	90 (148)	70 38	537.9	灰	ホルンフェルス	230558	
293	10 B2-1区 尾足	砾石	土上砥/2面使用/下部・左平を欠損し、左平は 赤整か	40 (146)	34.0 30	138.6	灰	砂岩	230567	
293	11 B3-2区	砾石	土上砥/1面使用/3側面に鋸痕/裏面・下部欠損	40 (144)	54.5 30	292.2	浅黄	粘板岩	230924	
293	12 B2-1区 0-1面	砾石	土上砥/1面使用/3側面は鋸切跡のもの半滑に整 かれて裏面・下部欠損	30 (11)	33 (10)	51.2	に赤い褐	粘板岩	230569	
294	1 B2-1区 1-2面	砾石	土上砥/1面使用/4側面に鋸痕/表面下部に線刻 や虫歯欠損	70 (149)	55 14	185.7	明黄褐	粘板岩	230571	
294	2 B2-3区	砾石	土上砥/2面使用/3側面に鋸痕/上・右側面は面 取り/下部欠損	50 (66)	75 30	200.2	に赤い褐	粘板岩	230430	
294	3 B3-2区	砾石	中砥/3面使用/裏面に鈍衝突痕/上・下部欠損	40 (96)	52 28	176.8	浅黄褐	砂岩	230925	
294	4 B2-2区 2-3面	砾石	土上砥/4面使用/上側面に鋸痕/裏面に手斧痕/下 部は踏面で整形か	40 (75)	52 31	243.3	に赤い黄褐	砂岩	230708	
294	5 B2-3区 2-3面	砾石	土上砥/2面使用/裏面に研・清状の使用痕/3側 面に踏面/下部欠損	40 (60)	48 15	72.6	灰黄褐	粘板岩	230710	
294	6 B2-3区 3-4面	砾石	中砥/4面使用/下部は欠損後整形・使用か/裏 面欠損	60 (92)	47 19	133.9	灰	ホルンフェルス	230425	
294	7 B1-1区 4-5面	砾石	中砥/1面使用/裏面・上・左側面に鋸痕/上・ 左側面は鋸切跡のものちび割り/裏面は研ぎ減り による渦曲調	40 (164)	36 25	186.9	浅黄褐	砂岩	230607	
294	8 B2-1区 B2-3面	砾石	中砥/5面使用/破損後の整形による砾石か	10 (51)	29 25	53.4	浅黄褐	砂岩	230336	
294	9 C1区 基礎5号	砾石	中砥/幅1.5 ~ 1.0mの複数枚あり/柱状の対象 物に使用か	100 か	46 41	23	41.1	淡赤	淡紋岩	231196
294	10 C1区 2-3面	砾石	土上砥/1面使用/3側面鋸痕・面取り/下部・裏 面欠損	70 (151)	48 12	117.5	灰黄	粘板岩	231188	
294	11 B1-1区 2-3面	砾	礫丘から落湖に埋漬による段差・礫丘覆手内にキ ズ状の延縫網	90 (121)	44 14	115.5	暗灰	粘板岩	230908	
294	12 B1-3区 0-1面	砾	礫丘覆手・砾丘中央にむずかずなみく・複数に覆手 あり	70 (124)	61 23	277.3	オリーブ黒	粘板岩	230565	
294	13 B1-3区 2-3面	砾	破碎部の側縁は欠損後に再調整	90 (152)	60 21	317.1	に赤い黄	粘板岩	230008	
294	14 B1-4区 3-5面	砾	複数大粒・灰岩右側は欠損後に再整形か/複数中 央に覆み	40 (95)	62 (18)	156.7	暗灰	粘板岩	230452	
295	1 B2-3区 1-2面	砾	複数中央に覆み・キズ状の横裂縫・複数に削開 か(「金」)はかず赤・右側側に削開「九百六十九 丈二」面が斜らるる高崎台地/左側側に削開■復右	90 (170)	63 20	316.0	オリーブ黄	粘板岩	230576	
295	2 B2-1区 0-1面	砾	複数に削開「中津」/右側側に削開「古市」	90 (148)	60 15	442.6	黒	粘板岩	230568	
295	3 B2-3区	砾	複数中央にかずかず赤・キズ状の横裂縫/複 数側面に削開「■高崎石原」	90 (169)	62 18	304.2	灰オーリーブ	粘板岩	230575	
295	4 C2-6区 2-3面	砾	複数改修し表作を出ovan/複数にキズ状の横裂縫 ・複数覆手あり	80 (153)	62 22	345.4	黒	粘板岩	231264	
295	5 B2-1区 尾足	砾	小形	100	56 28	7	22.6	黒	粘板岩	230572
295	6 B2-1区 1-2面	砾	複数に削開「上津」/上部片面に覆みあり	90 (61)	60 30	27.7	浅黄褐	軽石	230574	
295	7 B1-4区 尾足	石墨	柱状に加工 / 下端に使用痕	100 (73)	6 6	4.8	灰白	滑石	230928	
295	8 B1-3区 地盤	石臼	粉碎臼/臼口/臼口/臼口/臼口	90 (260)	—	126	13200.0	浅黄褐	安山岩	230444

(7) 金属製品

金属製品は、銭貨を除く真鍮、銅、鉄、鉛を素材とする製品を一括した。煙管と煙管以外の金属製品に分け、それぞれの特徴を記す。なお、大半が近世の所産と考えられるが、一部は近代以降に比定されるものも含む。

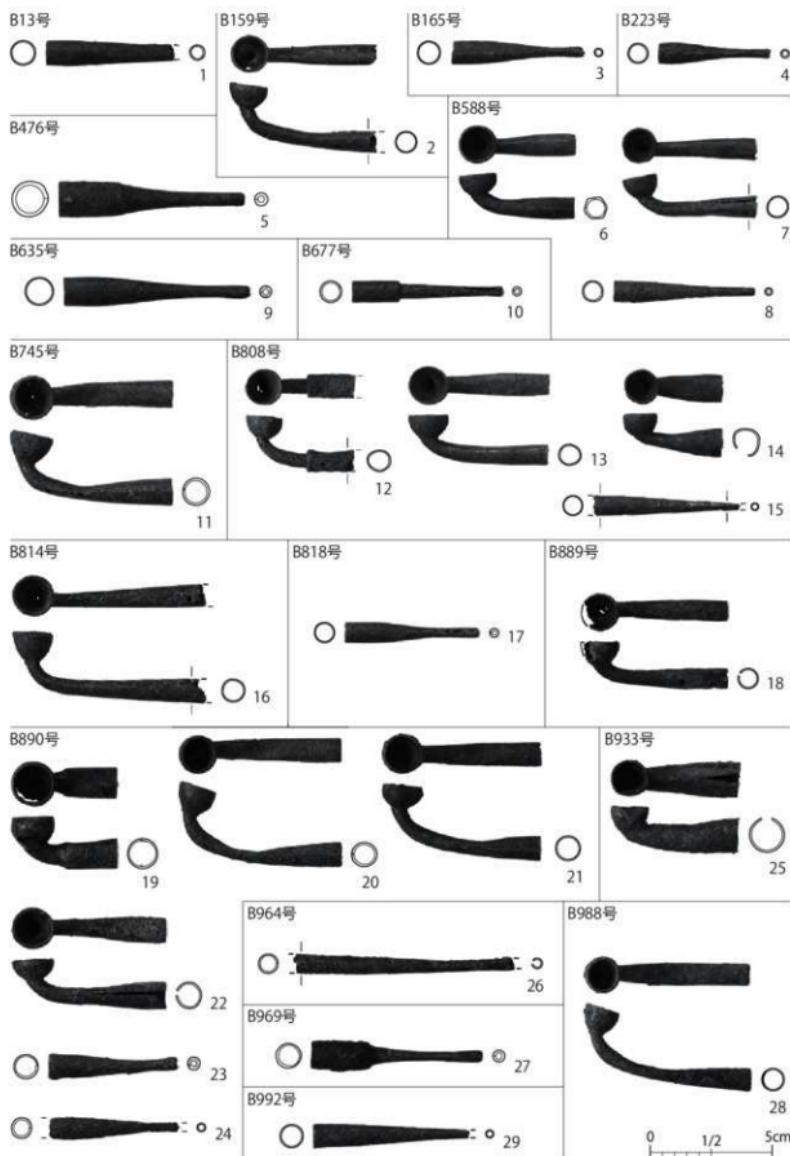
A 煙管（第 296～299 図、第 96・97 表）

金属製品の中でも一定の割合を占める煙管は、B・C 区の各遺構から満遍なく出土している。素材はすべて真鍮製で、とりわけ雁首の形態に複数のバリエーションが認められる。以下では第 296 図～299 図に図示した煙管のうち、雁首を中心に特徴的なものについて概要を記す。

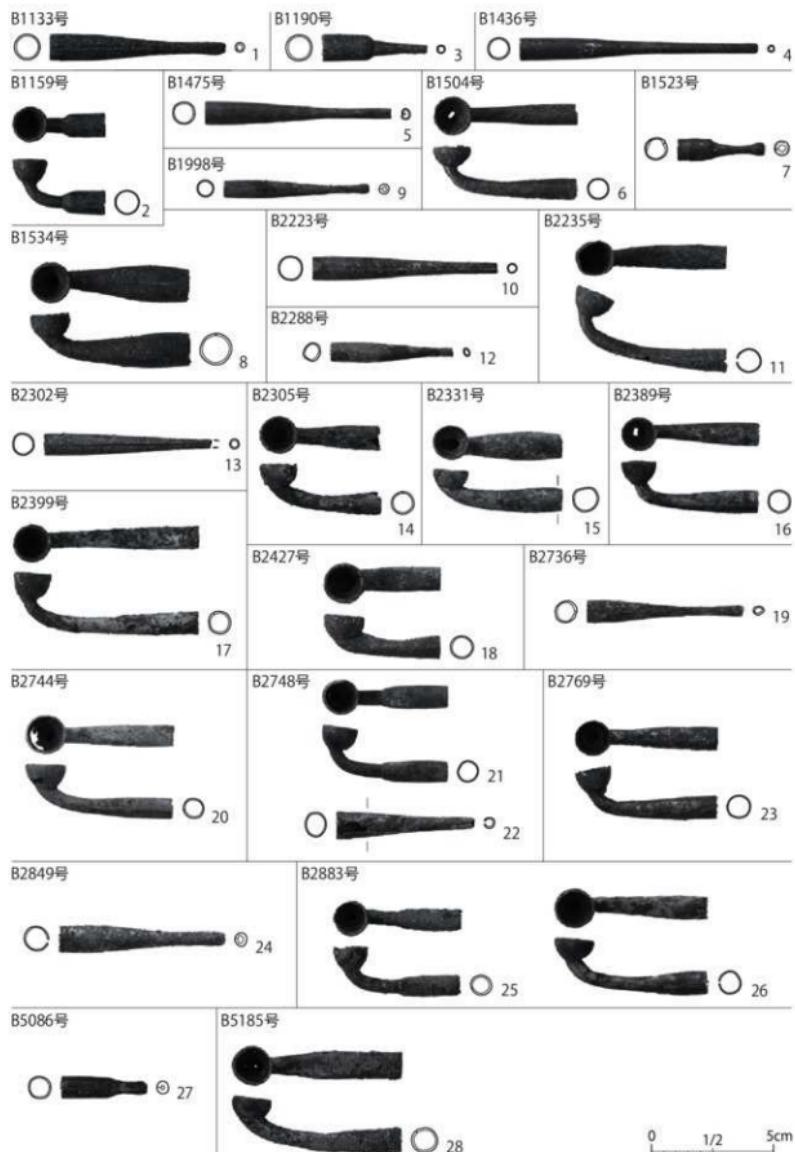
第 296 図 2 は B159 号出土の雁首で、首は河骨形を呈する。5 は B635 号出土の吸口で、肩部がやや角を有する。6・7 は B588 号出土の雁首で、6 は断面が六角形、7 は首がやや河骨形を呈する。10 は B677 号出土の吸口で、肩部に段が作出される。11 は B745 号出土の雁首で、首は河骨形を呈し、首の根元が扁平に凹んでいる。B808 号出土の雁首のうち、12 は肩を有し、首は河骨形である。一方で 14 は、直線的首が火皿に取り付く形態となる。16 は B814 号出土の雁首で、首は河骨形、火皿との境には補強帯がみられる。19～22 は B890 号出土の雁首で、19 は寸胴で肩を有し、首は直線的である。これに対し 20・21 は、長細く河骨形の首が小形の火皿に取り付く。20 には補強帯も残存する。27 は B969 号出土の吸口で、先端は細く、中位に肩を有する。28 は B988 号出土の雁首で、首は河骨形、火皿との境には比較的厚みのある補強帯が観察される。

第 297 図 2 は B1159 号出土の雁首で、肩部を有し、首は河骨形、火皿との境に補強帯がみられる。3 は B1190 号出土の吸口で、やや丸みを帯びた肩を有する。B1504 号出土の雁首である 6 は、首がやや河骨形に屈曲しており、B2235 号出土の 11 も同様である。7 は B1523 号出土の吸口で、肩部に縞状の線刻が施される。15 は B2331 号出土の雁首で、直線的で太い首に火皿が取り付く。17 は B2399 号出土の雁首で、河骨形の首に、補強帯も付属する。21 の雁首は B2748 号出土で、肩部は丸みを帯び、首は河骨形を呈する。B2883 号出土の 25 も類似した形態である。28 は B5185 号出土の雁首で、首には横縞状の線刻があり、小型の火皿に直線的に取り付く。

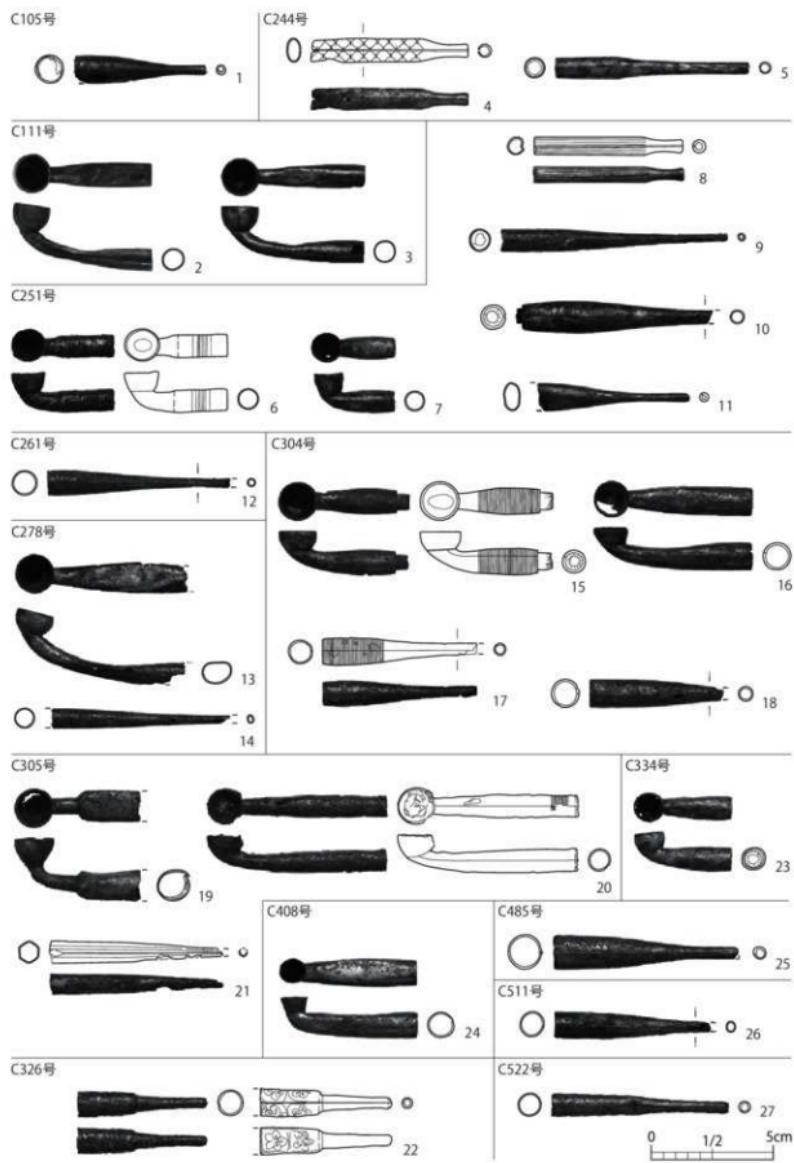
第 298 図 4 は C244 号出土の吸口で、先端部付近に緩やかな肩を有し、格子目状の線刻文様が施される。C251 号出土の 8 も類似した形態で、縦縞状の線刻を有する。同遺構出土の 6 は雁首で、若干肩を有し、横縞状の線刻が施される。15 は C304 号出土の雁首で、細かな横縞状の線刻を有し、同様の文様をもつ同遺構 17 の吸口とはセットの可能性があろう。21 は C305 号出土の吸口で、断面は六角形を呈する。22 は C326 号出土の吸口で、丸みを帯びた肩を有し、花弁状の装飾が施される。第 299 図 1 は C536 号出土の雁首で、火皿は欠損するものの、首に草花状の文様が観察される。同遺構出土の吸口である 2 は根元が折り曲げられているが、出土した煙管の中ではこのタイプの変形例は稀であった。遺構外出土の雁首である 11 は、河骨形の首で、火皿との境には補強帯が明瞭に残る。他方 14・15 などは、直線的で太い首に比較的小ぶりの火皿が取り付いている。



第296図 金属製品（煙管）(1) (1/2)



第297図 金属製品(煙管) (2) (1/2)





第299図 金属製品（煙管）(4) (1/2)

第96表 金属製品（煙管）観察表（1）

規範番号	出土地點	部品	材質	残存率	法則 [mm]				重量 g	特徴	整理 番号
					長さ	幅	厚み	大頭径			
296	1 BI13号	吸口	真鍮	100	153	10	6	—	59	縫字あり	B25491
296	2 BI59号	雁首	真鍮	95	59	95	95	155	53	円錐形	B25494
296	3 BI65号	吸口	真鍮	100	55	95	3	—	38		B25496
296	4 BI23号	雁首	真鍮	100	46	8	3	—	27	縫字あり	B25497
296	5 BI76号	吸口	真鍮	100	76.5	15	55	—	13	無字・八角形・やや斜めあり / 縫字あり	B25504
296	6 BI68号	雁首	真鍮	100	46.9	95	98	16	68	無字・八角形・やや斜め形	B25506
296	7 H588号	雁首	真鍮	100	55	9	9	145	55	やや円錐形	B25507
296	8 BI98号	吸口	真鍮	100	58	85	3	—	26		B25508
296	9 BI35号	吸口	真鍮	100	76	11.5	5	—	73	縫字あり	B25510
296	10 BI77号	吸口	真鍮	100	62	9	35	—	66	鋸歯あり	B25511
296	11 BI45号	雁首	真鍮	100	67.1	112	112	175	84	円錐形	B25512
296	12 BI60号	雁首	真鍮	100	45	9	10	15	55	円錐形 / 縫あり	B25558
296	13 BI80号	雁首	真鍮	100	57.5	85	95	16	58	やや円錐形	B25559
296	14 BI82号	雁首	真鍮	95	40	11.6	11.4	14	52		B25560
296	15 BI86号	吸口	真鍮	95	60	8	3	—	35		B25567
296	16 BI14号	雁首	真鍮	95	78.5	10	10	17	81	やや円錐形 / 補強筋あり	B25517
296	17 BI18号	吸口	真鍮	100	56	8	3	—	28		B25518
296	18 BI89号	雁首	真鍮	100	59.3	84	8	16	37	やや円錐形	B25519
296	19 BI90号	雁首	真鍮	100	44	125	125	17	8	やや円錐形 / 縫あり / 縫字一部あり	B25520
296	20 BI90号	雁首	真鍮	100	66	102	10	153	89	円錐形 / 補強筋 / 縫字あり	B25524
296	21 BI90号	雁首	真鍮	100	65.4	10	10	15.5	89	円錐形	B25521
296	22 BI90号	雁首	真鍮	95	63	11	10.8	17	85	やや円錐形	B25526
296	23 BI90号	吸口	真鍮	100	53	10	5.5	—	48		B25522
296	24 BI90号	吸口	真鍮	100	54	8	4	—	43	縫字あり	B25523
296	25 BI93号	雁首	真鍮	100	53	142	144	155	88	縫字あり	B25529
296	26 BI94号	吸口	真鍮	100	59	08	045	—	87		B25530
296	27 BI99号	吸口	真鍮	100	70.4	102	45	—	87	鋸歯あり	B25606
296	28 BI98号	雁首	真鍮	100	68	95	9	14	78	円錐形 / 補強筋あり	B25532
296	29 BI92号	吸口	真鍮	100	63	95	03	—	45		B25533
297	1 BI133号	吸口	真鍮	100	72	105	4	—	67	縫字あり	B25535
297	2 BI159号	雁首	真鍮	100	36.4	10	10	14	59	円錐形 / 縫・補強筋あり / 縫字一部あり	B25537
297	3 BI190号	吸口	真鍮	100	43.5	108	35	—	45	鋸歯あり	B25539
297	4 BI436号	吸口	真鍮	100	97	9	3	—	101		B25547
297	5 BI475号	吸口	真鍮	100	76	9	4	—	57		B25549
297	6 BI504号	雁首	真鍮	95	59	9	9	16	62	円錐形	B25550
297	7 BI523号	吸口	真鍮	100	36	9	6	—	21	鋸歯あり / 縫字一部あり / 槌目文様	B25551
297	8 BI534号	雁首	真鍮	100	65	13	135	16	131	縫字あり	B25553
297	9 BI996号	吸口	真鍮	100	99.5	11	65	—	46		B25581
297	10 BI223号	吸口	真鍮	100	76	10	4	—	7.1		B25555
297	11 BI225号	雁首	真鍮	100	58.8	10	95	16	64	円錐形	B25556
297	12 BI288号	吸口	真鍮	100	50	8	4	—	32		B25571
297	13 BI302号	吸口	真鍮	100	69	9	4	—	69		B25563
297	14 BI305号	雁首	真鍮	95	49	95	10	15	69		B25564
297	15 BI331号	雁首	真鍮	100	53	10	95	14	7.5	縫字あり	B25565
297	16 BI380号	雁首	真鍮	100	56	95	95	14	85	やや円錐形	B25566
297	17 BI399号	雁首	真鍮	100	76	95	95	15	9.7	円錐形 / 補強筋あり	B25567
297	18 BI427号	雁首	真鍮	100	48.3	95	95	16	9.2		B25568
297	19 BI236号	雁首	真鍮	95	64	9	4	—	48	やや円錐形	B25570
297	20 BI244号	吸口	真鍮	100	60	83	86	16	7.1		B25572
297	21 BI278号	雁首	真鍮	100	51	85	9	14	7.8	円錐形 / 縫あり	B25573
297	22 BI278号	吸口	真鍮	100	57	10	4	—	39		B25574
297	23 BI289号	雁首	真鍮	100	58	10	95	14.4	81	やや円錐形	B25575
297	24 BI294号	吸口	真鍮	100	68.5	10	6	—	53	縫字あり	B25576
297	25 BI293号	雁首	真鍮	100	53	83	9	14	7.4	円錐形 / 縫あり	B25578
297	26 BI283号	雁首	真鍮	100	62	10	9	165	7.8	円錐形	B25579
297	27 BI506号	吸口	真鍮	100	35.5	9	5	—	2	縫・縫字あり / 滑面	B25580
297	28 BI185号	雁首	真鍮	100	69	105	11	155	99	円錐形 / 縫字一部あり	B25586
298	1 C105号	吸口	真鍮	100	54.5	115	4	—	56	縫字あり	C25004
298	2 C111号	雁首	真鍮	100	57	9	9	15	7.4	やや円錐形 / 四角	C25005
298	3 C111号	雁首	真鍮	100	58.9	9	9	15	7.2	やや円錐形 / 四角	C25006
298	4 C244号	吸口	真鍮	100	64.5	10	52	—	5	やや縫あり / 格子目文様 / 滑れ	C25008
298	5 C244号	吸口	真鍮	100	79.5	85	47	—	9	縫・縫字あり	C25100

第 97 表 金属製品（煙管）観察表（2）

測定番号	出土地点	部品	材質	残存率(%)	法規 (mm)				重量(g)	特徴	整理番号
					長さ	幅	厚み	火頭径			
298 6	C251 号	煙呑	真鍮	100	425	9	9	14	66	縫合あり / 横筋文様	C25124
298 7	C251 号	煙呑	真鍮	95	34	82	8	125	47		C25127
298 8	C250 号	吸口	真鍮	100	61	7	5.5	—	7	縫 + 縫字あり / 横筋文様	C25102
298 9	C251 号	吸口	真鍮	95	936	9.3	32	—	69		C25128
298 10	C251 号	吸口	真鍮	95	78	10	5.5	—	132	縫字あり	C25125
298 11	C251 号	吸口	真鍮	90	625	11.5	37	—	39	消れ	C25126
298 12	C261 号	吸口	真鍮	95	75	10	3.5	—	69	横筋文様	C25103
298 13	C278 号	煙呑	真鍮	100	708	9	12	15	83	河内形 / 縫字一部あり / 四身	C25104
298 14	C278 号	吸口	真鍮	90	73	8.1	3.5	—	45		C25129
298 15	C304 号	煙呑	真鍮	100	488	9.5	9.5	16	79	縫字あり / 横筋文様	C25107
298 16	C304 号	煙呑	真鍮	95	65	11.5	11.5	11.5	13	縫字あり / 四身	C25109
298 17	C304 号	吸口	真鍮	100	63	10	5	—	57	縫字あり / 横筋文様	C25108
298 18	C304 号	吸口	真鍮	90	55	11.5	6.3	—	93	縫字あり	C25110
298 19	C305 号	煙呑	真鍮	90	532	13	13	16	79	河内形 / 縫 + 横筋形 / 縫字あり / 四身	C25133
298 20	C305 号	煙呑	真鍮	95	752	9	9	153	69	縫字あり / 横筋文様	C25132
298 21	C305 号	吸口	真鍮	90	71	9	3.5	—	53	断面六角形	C25131
298 22	C326 号	吸口	真鍮	95	54	10.5	4.5	—	45	縫合り / 桜花文様	C25112
298 23	C334 号	煙呑	真鍮	95	40	9.2	9.6	12	47	縫字あり	C25135
298 24	C406 号	煙呑	真鍮	100	567	10.5	10.5	11	99	四身	C25136
298 25	C485 号	吸口	真鍮	95	765	14	5	—	99	縫字あり	C25138
298 26	C511 号	吸口	真鍮	95	64	10	4.5	—	78	縫字あり	C25140
298 27	C522 号	吸口	真鍮	100	72	9.5	4.7	—	52	曲手	C25141
299 1	C336 号	煙呑	真鍮	80	45.5	8.8	9	—	55	やや縫あり / 縫字あり / 草花文様 / 大頭欠損	C25146
299 2	C336 号	吸口	真鍮	100	756	9.8	4.2	—	52	曲手	C25144
299 3	C336 号	吸口	真鍮	95	81	9	3.7	—	65	縫字あり	C25145
299 4	C336 号	吸口	真鍮	100	58	10	4.5	—	61	縫字一部あり	C25142
299 5	C547 号	煙呑	真鍮	95	342	8	81	—	38	やや縫あり / 縫字あり	C25130
299 6	C550 号	吸口	真鍮	95	190	10	4.5	—	61		C25151
299 7	C564 号	煙呑	真鍮	95	666	10	10.5	16.5	127	河内形	C25154
299 8	C564 号	煙呑	真鍮	95	69	10.5	11	13.5	137	縫字あり / 四身 / 銀金か	C25152
299 9	C564 号	煙呑	真鍮	100	51	10.5	11	13	83	縫字あり / 四身	C25156
299 10	C564 号	吸口	真鍮	95	81	10.6	4.5	—	123	縫字あり / 銀金か	C25153
299 11	B1.4K トレンザ-2	吸口	真鍮	100	639	9	9	145	73	河内形 / 横筋形 / 縫字あり / 大頭横筋文様	B25498
299 12	B1.3K 3面	煙呑	真鍮	90	618	10.1	9.7	162	72	河内形 / 横筋形あり / 縫字一部あり / 横筋文様	B25543
299 13	B1.3K 3面	煙呑	真鍮	100	578	9	9.1	188	54	やや河内形 / 縫字あり	B25544
299 14	B3.3K 2~3面	煙呑	真鍮	100	57	13	12.5	16	108	縫字あり	B25585
299 15	C1.4K 2~3面	煙呑	真鍮	100	429	13.5	12	145	89	毛彔りによる底凹印の文様	C25117
299 16	C1.4K 1~4面	煙呑	真鍮	95	568	8.5	8.5	125	6.7		C25116
299 17	R2.3K 0~1面	吸口	真鍮	100	58	11	6.5	—	79		B25580
299 18	C1.4K 基礎21号	吸口	真鍮	95	51	11.5	4.5	—	39		C25113
299 19	B1.3K 2~3面	吸口	真鍮	100	53	12	4	—	76	縫字あり / 消出	B25541
299 20	C1.4K 2~3面	吸口	真鍮	100	51.5	8	3.5	—	26		C25120

B その他の金属製品（第300～310図、第98～103表）

煙管以外の金属製品として、銅製品では、刀装具や調理具、文具に加え、引手金具や飾り金具といった建具が多く出土している。また鉄製品では、紙幅の都合から図示は大幅に割愛したが、和釘がとりわけ多量に出土している。以下では各遺構の出土金属製品について、特徴的なものを抽出して概要を記す。

第300図1・2はB146号出土の目貫で、いずれも菱形を横に3つ連ねた意匠で、第251図1の刃物柄に密着して出土している。3はB163・195号出土の水滴で、平面は楕円形を呈する。豆腐形を呈するB367号出土の水滴の7と構造は同一である。4はB181号出土の小柄で、巴文が2つ並ぶ。B449号出土の9は中央に別部品をはめ込んだもので、小方儀の一部であろうか。10はB531号出土の薬匙で、断面板状で端部は曲線的に成形される。11はB588号出土の金製のしとどめで、周縁部は花弁状に装飾される。同遺構出土の13は箱物等の摘みと考えられ、中央には被熱により変形したガラス玉が残る。16～20のB589・5086・2843号出土遺物のうち、16は切羽、18は柄頭と考えられる。17・20は掛け具等の吊り金具である。B657号出土の21、B686号出土の22はいずれも鉄製の鍵で、断面は前者が方形、後者が円形を呈する。25はB800号出土の留め金具で、中央に菱形の装飾を有する。煙草入れの留金であろう。

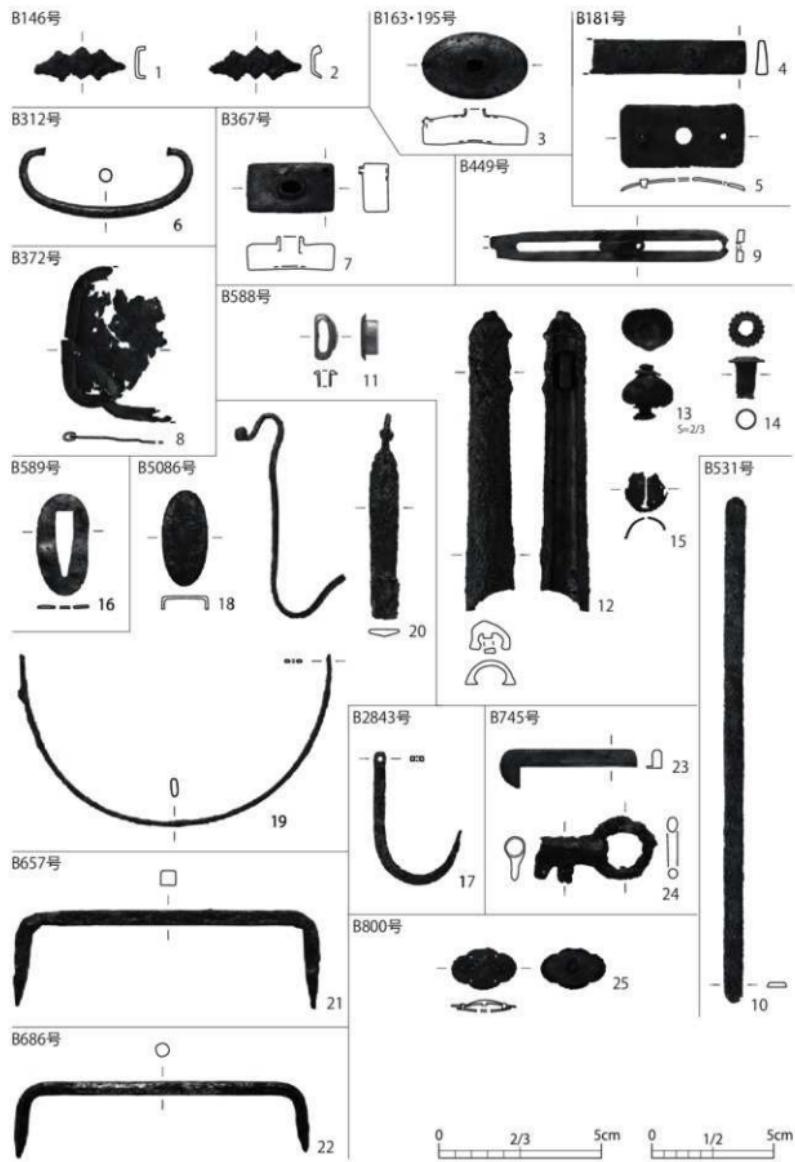
第301図1～6はB808号出土で、1の目貫は短刀と菱形の文様で、金装飾がなされる。2は棒状の道具にはめ込んだ飾り金具と考えられ、毛彫りによる草花文・魚々子文がみられる。4の灯芯押えは、先端が外側へ屈曲している。9はB890号出土の棒状を呈する不明銅製品で、先端に銅線により棒状の鉄製品が巻き付けられている。15はB1445号出土の錠前で、X線透過画像により内部に残る鍵がはっきりと確認できる。20はB1522号出土の鏡で、鏡面は欠損している。21はB1956号出土音目貫で、花弁状の文様と金鏡金がみられる。B2204号出土の22は鍤であろう。

第302図1はB2219号出土の杓子先端部で、柄部は中実で、仏具の可能性がある。B2236号出土の4は、平面が瓢箪形を呈し、上下端の側面に釘穴があり、襷に用いられる引手金具と考えられる。5はB2288号出土で、杓子の柄部である。B2305号出土の6は卸金、B2380号出土の8は化粧筆の持ち手部分であろう。12はB2419号出土の飾り金具で、毛彫りにより草花文が施される。B2748号出土の14は細かな毛彫り文様がみられる蝶番である。19はB2761号出土の匙で、真鍮を素材とする。

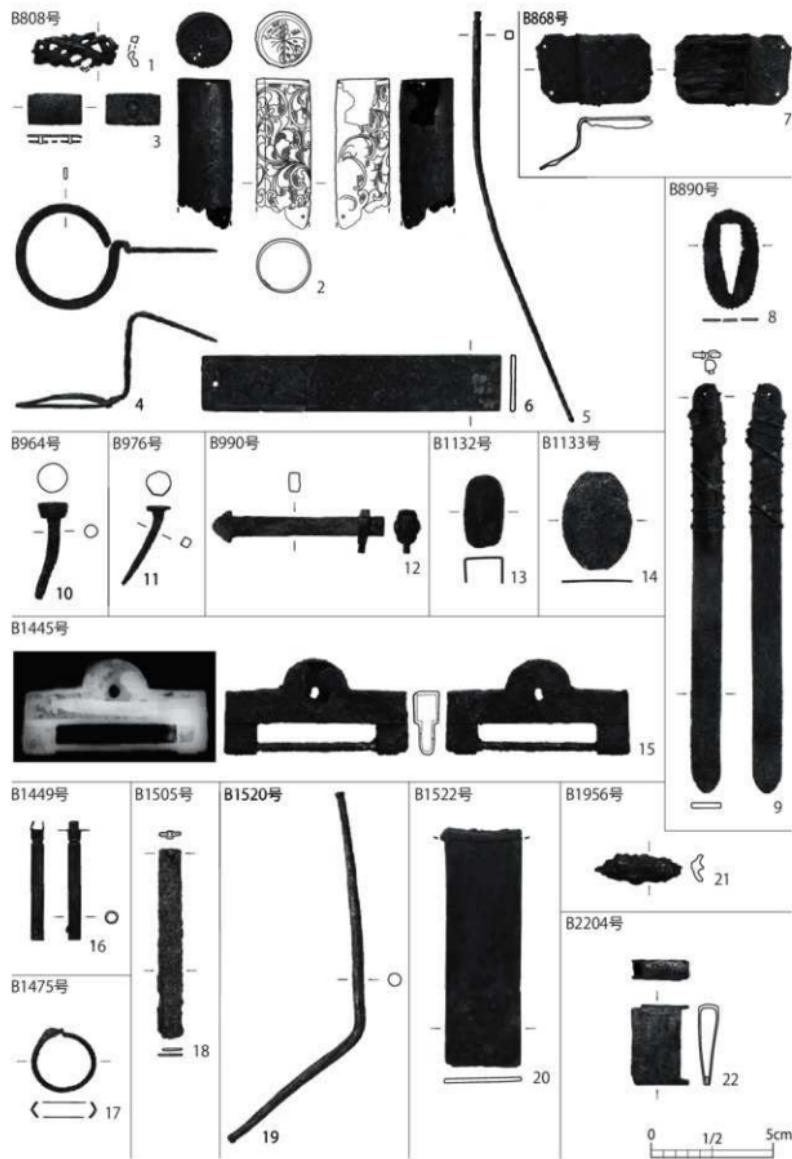
第303図3はB2777号出土の化粧筆で、先端部には纖維が遺存している。7はB2847号出土の灰押えで、円形の先端部の外側には溝状の凹みが数条みられる。9はB2849号出土の小柄で、獅子と牡丹の文様が施される。B2883号出土の10は灯明具とみられ、円筒状の部材に円板をはめ込んでいる。

第304図1～5はB2952号出土の飾り金具で、いくつかの部位に分かれる。10はB3025号出土の耳盥で、中央に爪がある。同遺構出土の12は火箸、13は先端を耳搔き譲渡する真鍮製の簪である。17はB5082号出土の薬缶注口部で、周縁部に釘穴が穿たれる。

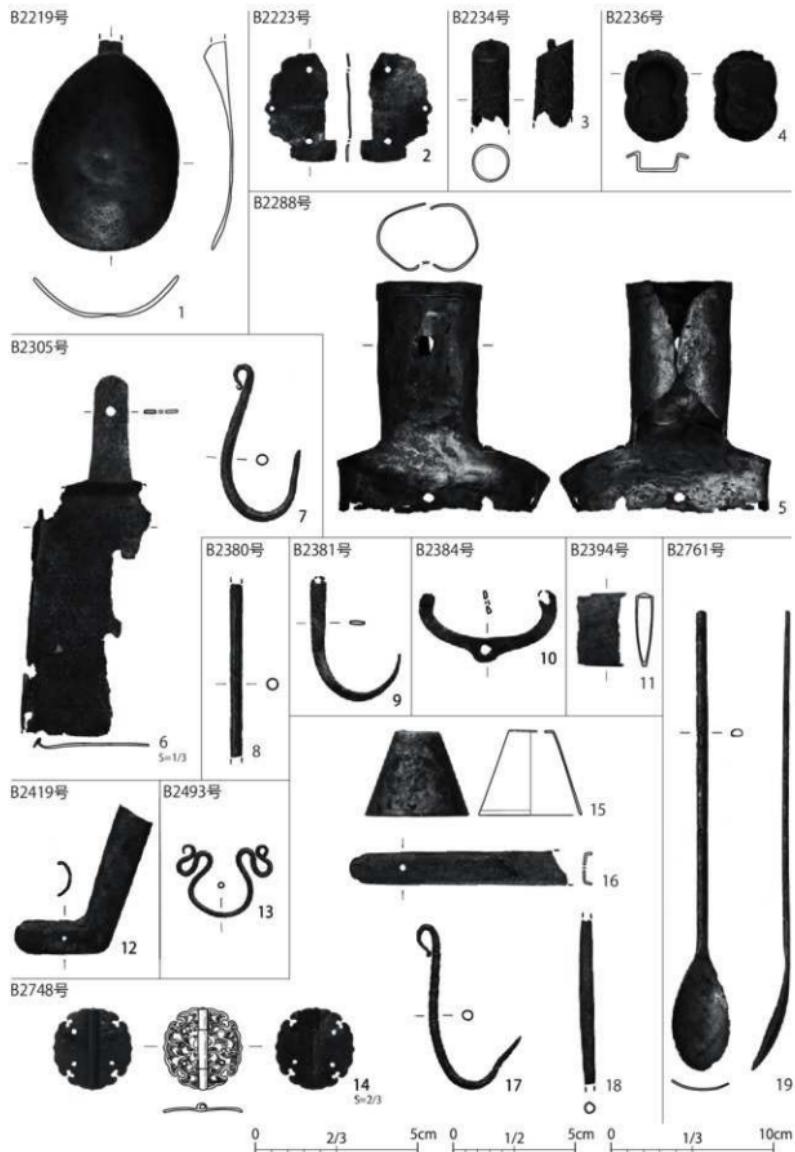
第305図1はC17号出土の把手で、2部材が連結している。C165号出土の4は鉄製の手違鍵である。C244号出土の8は杓子の柄と考えられ、端部が折り返され、縦軸中央に円形の押圧列が並ぶ。14はC251号出土の飾り金具で、中央に円孔があり、蔓草状に成形および毛彫りがなされる。同遺構出



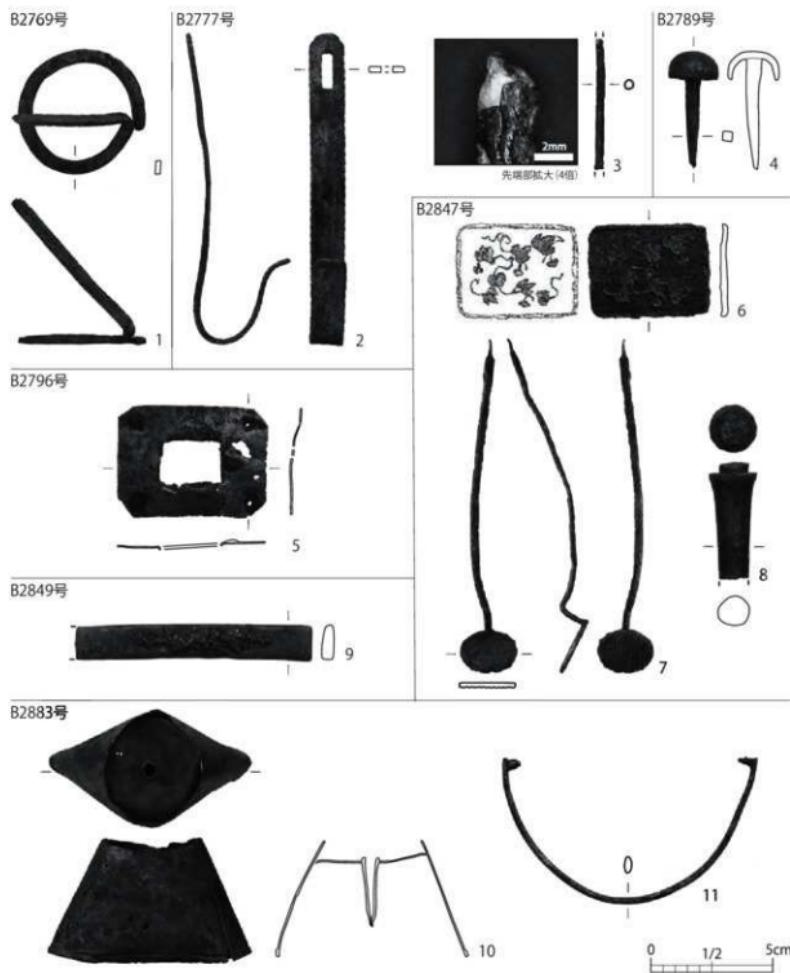
第300図 金属製品（その他）(1) (2/3・1/2)



第301図 金属製品（その他）(2) (1/2)



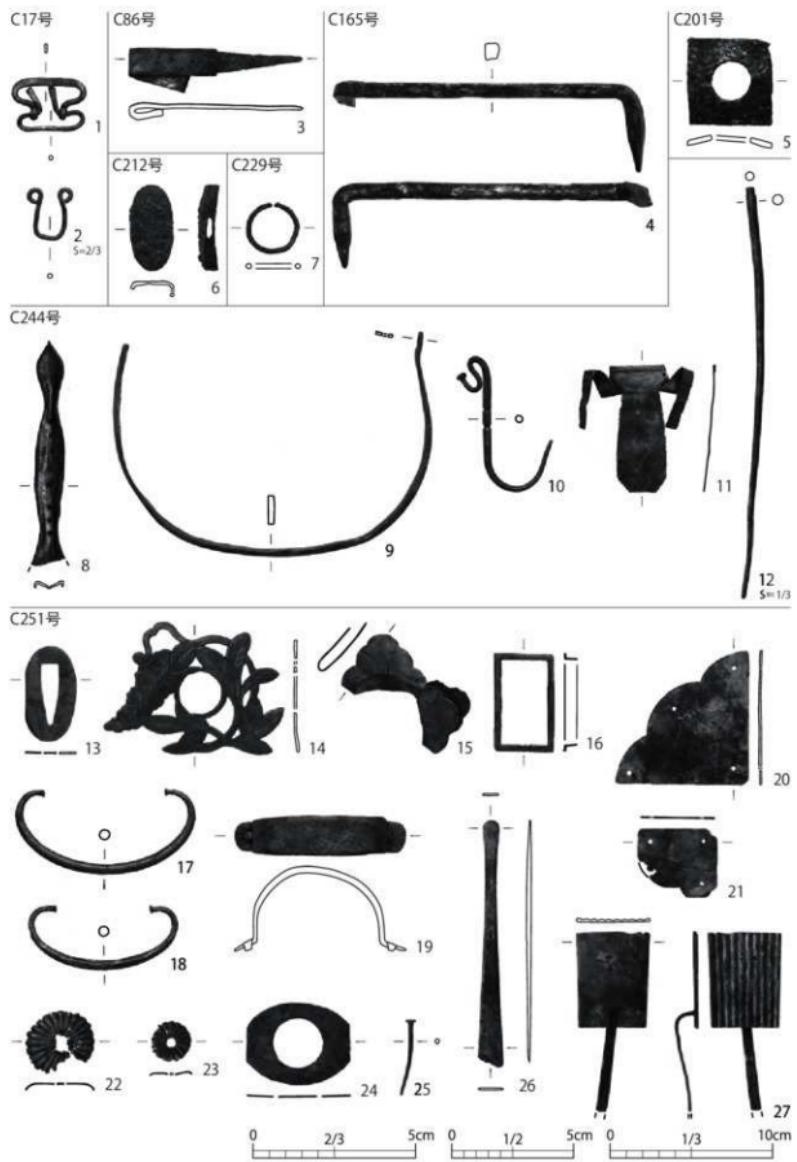
第302図 金属製品（その他）(3) (2/3・1/2・1/3)



第303図 金属製品（その他）(4) (1/2)



第304図 金属製品（その他）(5) (2/3・1/2)

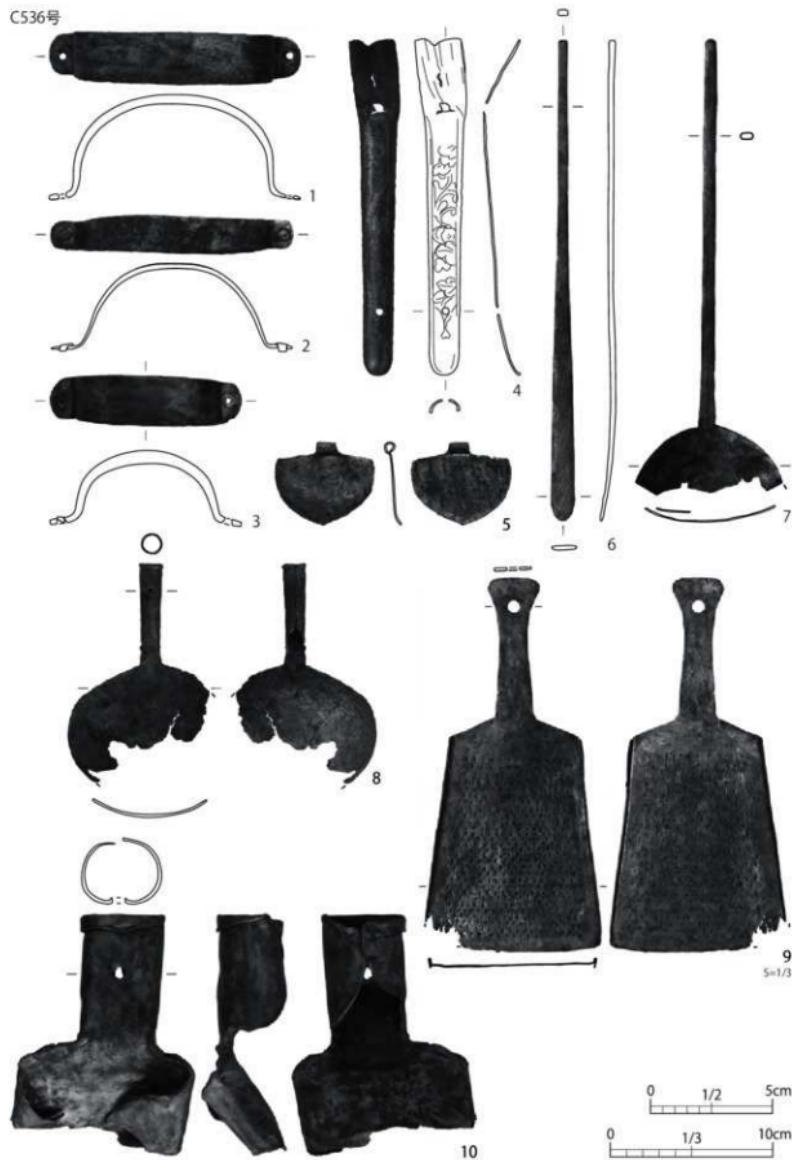


第305図 金属製品(その他)(6) (2/3・1/2・1/3)



第306図 金属製品（その他）(7) (1/2・1/3)

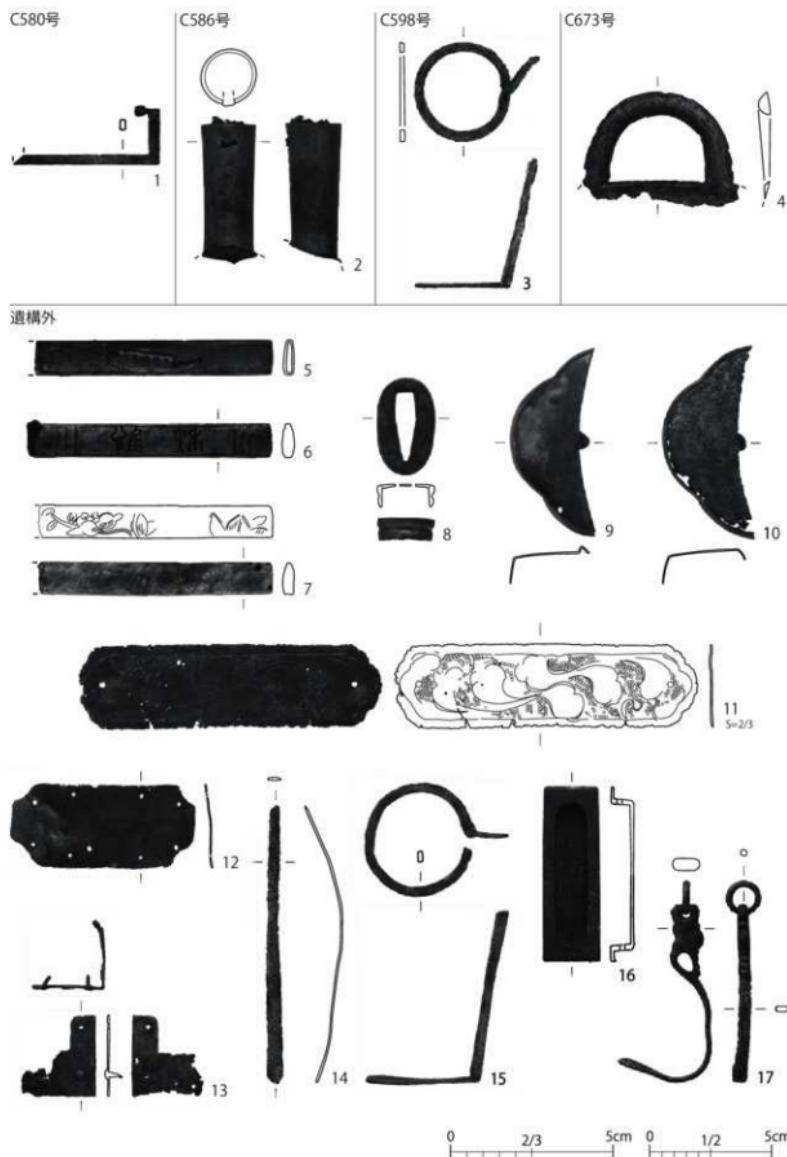
C536号



第307図 金属製品（その他）(8) (1/2・1/3)



第308図 金属製品（その他）(9) (1/2・1/3)



第309図 金属製品(その他)(10) (2/3・1/2)



第310図 金属製品（その他）(11) (1/2)

土の第306図1・2はいずれも火箸で、先端部の形状が異なる。4は先端を耳掻き状とする簪である。9は鉄製のサナで、4分の一が欠損する。C381号出土の12は蓋で、球状の摘みと板状の複数部品を銅留している。C536号出土の17は迷子札で、表面には「市ヶ谷」「尾張様西門前」「中沢邦之■」「一之■」、裏面には毛彫りによる犬が観察される。第307・308図もC536号出土で、第307図1～3の把手は両端の孔にリベットが残るものがある。6は薬匙で、扁平な先端部がやや湾曲している。9の卸金は遺存状況が良好で、表裏とも目立てが存在する。第308図3は側面を短冊状に切り込んだ銅板を素材とするもので、円形の部材に被せる金具と考えられる。5・6は鉄製の刀子で、本調査地點では出土が稀である。7は鉛製の鍾で、両端部に孔があり、鋳型成形による合わせ痕が残る。

遺構外出土の金属製品のうち、第309図5～7は小柄で、5は毛彫りによる魚々子文の上に鉢をモチーフとした据紋があり、鉢刃部には金鍍金がなされる。6は毛彫りによる魚々子文の上に人名と考えられる「秋惟」の文字がある。8は2つの部材を組み合わせた柄縁で、9・10の耳盤は9を外側として密着して出土している。第310図1は瓦釘で、頭部は平たく折り曲げられる。5は吊り下げ鏡を有するメダルで、外周に「文明擁護之大戰日同盟及連合國自大正三年至大正九年」、内周に「日」「米」「英」「佛」「伊」とある。第一次世界大戦の戦捷記章である。6は平面方形の懐中鏡で、背面には松浪文、鏡面には鍍金がなされる。7は金鍍金がなされた簪で、頭部は耳掻き状を呈し、上部に毛彫りによる下がり藤の文様が施される。

第98表 金属製品（その他）観察表（1）

規範番号 検査番号	由土地点 検査番号	種別 検査種	材質	特徴	残存率 (%)	法寸 (mm)			重量 (g)	整理 番号
						長さ	幅	厚み		
300 1 B146 号	目貫	銅	横に菱形を連ねた形		90	37.5	14	4.1	3.3	B25592-I
300 2 B148 号	目貫	銅	横に菱形を連ねた形		90	37	14	4	3.6	B25592-2
300 3 B163・195 号	水滴	銅	半楕円形の孔は微状の別部材を溶接		95	27.5	42.5	14.5	15.8	B25596
300 4 B181 号	小柄	銅	刃端欠損 / 三つ巴文 / 全装飾		60	14	(64.5)	7.5	14.5	B25600
300 5 B181 号	留め金具	銅	中央に円孔 / 肩端に斜穴 / 刃端研		100	26	51	1	8.9	B25597
300 6 B312 号	引手金具	銅	両端部に扁平な返し		100	72	29.5	5	11.6	B25606
300 7 B367 号	水滴	銅	口元形 / 両端は筒状の別部材を溶接		95	20.5	36	14	16.9	B25609
300 8 B372 号	飾り金具か 直輪	銅	側の部材の端間に削り出された材をねじ込み / 直江不明の毛彫		30 か	(13)	(6.4)	3.7	11.4	B25610
300 9 B449 号	小方鑑	真鍮	中央に長楕円形の溝 / 溝中央に別部品はめ込み		90 か	13.5	(9.8)	3.5	18.1	B25616
300 10 B531 号	鉤込	真鍮	やや渋曲		100	20.8	8.5	2	20.9	B25620
300 11 B588 号	じとごめ	銅	側面は花咲形		100	19.5	9.3	6.5	1.7	B25946
300 12 B588 号	飾り金具	銅	上面部に円孔を有する部材溶接 / 被熱により溶解 / 鋼装飾か		60 か	122.5	21	12.7	47	B25674
300 13 B588 号	把手	銅	筋の組み込み / 被熱焼成したガラスの上を刮削		100 か	17	15.8	13	4.1	B25675
300 14 B588 号	被せ金具か	銅	袖伏の部材の装飾 - 固定具か / 筒状の部材の上面に花咲形の装飾		90 か	17	15	15	2.2	B25626
300 15 B588 号	鉤	真鍮	下面に溝上の切込み		40	(16.5)	(17)	(8.5)	0.6	B25939
300 16 B589 号	切羽	銅	中央に孔 / 周縁に連続した刻み		100	41	21	8.0	3.4	B25633
300 17 B2843 号	吊り金具	真鍮	基部に円孔		100	55.5	37	1.7	4.9	B25827
300 18 B5086 号	折詰か	銅	上面部に円孔を有する部材溶接 / 被熱により溶解 / 鋼装飾か		100	39	18.7	5.2	8.1	B25872
300 19 B5086 号	把手	銅	筒状の組み込み / 基部に円孔		100	71	12.8	7.5	2.1	B25870
300 20 B5086 号	吊り金具	真鍮	掛け先端部に球状の作り出し		100	84	13	45.5	18	B25874
300 21 B657 号	鍔	銅			100	45	125.5	6.8	42.6	B25928
300 22 B686 号	鍔	銅			100	31	120.6	5.2	24	B25930
300 23 B745 号	不明	真鍮	平面U字状 / 断面板状		100	55	16	5.7	11.4	B25641
300 24 B745 号	鍔	銅	環状把手		100 か	25	50	10.7	8.4	B25901
300 25 B800 号	留め金具	真鍮	埋込入れの留金 / 3枚の部品を組み合せ / 中央に菱形の文様		100	26	17	5	2.3	B25937
301 1 B808 号	目貫	銅	削り切れた形 / 菱形の文様 / 全装飾		100	35.5	(15)	5	4.3	B25647
301 2 B808 号	飾り金具	銅	毛彫りによる草花文 / 魚々子文 / 全装飾		60 か	(62)	22	22	11.8	B25757
301 3 B808 号	留め金具	銅	埋込入れ部品 / 真鍮中央に楕円形の孔 / 左右両端に釘 / 金鍍金		100	13	22.3	3.5	2.5	B25748
301 4 B808 号	灯芯押え	銅	先端部はねじり		100	39	82.5	44	7.4	B25753
301 5 B808 号	火箸	銅	筒状に段を出せ		100	169	3.2	3.2	7.7	B25650
301 6 B808 号	プレート	真鍮	B25751 と組合せ / 端部に円孔 / 文字「162」		100	23	122.5	18	27.8	B25752
301 7 B808 号	飾り金具	銅	クラクした形 / 筒 / 木質保存		100	48	30	22	8.6	B25685
301 8 B808 号	切羽	真鍮	中央に孔 / 周縁に連続した刻み		100	41	23	8	2.6	B25689
301 9 B809 号	不明	銅	板状状 / 板状の持ち手に鋼線で錠状の鉄製品をきつけ		不明	168	15	2	38.1	B25690
301 10 B964 号	鍔	銅	頭部は逆台形で中央突		100	40	10.3	9.1	2.6	B25657
301 11 B976 号	鍔	銅	頭部は円板状		100	32.5	10	3.7	3.5	B25897
301 12 B990 号	不明	真鍮	断板状の部材に筒状の部材をねじ込み		不明	173	76	10.5	21.4	B25944
301 13 B1132 号	柄頭	銅	部材側面に円孔		90	30	16	11	3.2	B25693
301 14 B1133 号	引手金具か	銅	底部分 / 牛頭によりによる文様か / 金鍍金		30	40.3	28.5	0.2	3.2	B25650
301 15 B1445 号	鍔前	真鍮	鍔残存		90	76	40	14.4	41	B25690
301 16 B1449 号	不明	銅	円筒状の部品 / 上端部が短細形に切り込まれ、対角線上の2枚を削り曲げ		不明	49	8	6	3.1	B25697
301 17 B1475 号	留め金具か	銅	断板「く」字状の製品		100	26.8	26.5	6.2	3.1	B25699
301 18 B1505 号	不明	真鍮	2枚の板材を上端でリベット打ち		不明	78.5	11	3.6	7.6	B25703
301 19 B1520 号	火箸	銅	両端に溝し / 小手金具要素の可能性あり		100	14.4	5	5	18.9	B25700
301 20 B1522 号	鍔	銅	筒部に溝し / 小手金具要素の可能性あり		20	(99)	(34)	(15)	38.1	B25709
301 21 B1956 号	目貫	銅	花弁状の文様あり / 中央に釘残存 / 金鍍金		100	35.5	12.6	5	4.7	B25727
301 22 B2204 号	鍔	銅			100	33.1	24.2	8.8	9.2	B25730
302 1 B2219 号	釣子	銅	柄部は中実 / 且の可能性あり		40	(96)	60	12	63.2	B25731
302 2 B2223 号	飾り金具	銅	筒部に釘穴		50	44.5	28.5	0.5	3.2	B25732
302 3 B2234 号	不明	真鍮	圓板状 / 手持ちか / 頭部に難溶接		30 か	(36)	15.5	15.5	8.8	B25733
302 4 B2236 号	引手金具	銅	平山は楕円形 / 上下端側面に打穴 / 全装飾		100	66.5	38	8	6.5	B25734
302 5 B2288 号	釣子	銅	底部が孔3か所 / 持ち手部穿孔1か所		90	(95)	(87.5)	(64)	74.5	B25806
302 6 B2305 号	卸金	銅	前面飛び出		70	(222)	(805)	(8.5)	76.5	B25791
302 7 B2305 号	吊り金具	銅	筒部は環状に彎曲		100	6	33	4.4	10.7	B25790
302 8 B2380 号	化粧蓋	銅	板材を内筒筒に凸曲 / 内部に固着した土壤と繊維質充填		60 か	(71)	4.8	4.6	5.6	B25773
302 9 B2381 号	吊り金具	銅	上端部に円孔		95	(51)	37.5	1.3	3.8	B25775
302 10 B2384 号	把手	銅	中央に舌状の張り出し / 円孔 / 両端に円孔を有し一方にリベット打ち		90	30.5	56.7	14	5.4	B25777
302 11 B2394 号	鍔	銅	両側摩耗し欠損		90	3	20	7.2	4.8	B25779
302 12 B2419 号	飾り金具	銅	毛彫りによる草花文 / 端部に釘穴		50	61.5	56.5	4.6	8.6	B25781

第99表 金属製品（その他）観察表（2）

測量番号 測定番号	由土地点 測定番号	種別 測定番号	材質	特徴	現存率 (%)	法量 (mm)			重量 (g)	格付 測定番号
						長さ	幅	厚み		
302 13	B2493号	把手	銅	両端は曲状に彫曲 花文状の縁取り／毛彫りによる草花文・魚々子文／四隅に釘穴／釘1ヶ所残存／金装飾	100	29.5	39	2	3.9	B25784
302 14	B2748号	櫛番	銅	三面張状の空き製品／頂部中央に円孔	100か	35	42	0.7	22.1	B25796
302 15	B2748号	被せ金具	銅	端部に釘穴／毛彫りで草花文・魚々子文／金装金	100	(89)	14	33	9.5	B25807
302 16	B2748号	飾り金具	銅	基部は環状に彫曲	100	68.5	42.5	4	7.5	B25811
302 17	B2748号	吊り金具	銅	板材を封錠形に彫曲	100	(67.5)	6	6	6	B25808
302 18	B2748号	化粧革	銅	板材を封錠形に彫曲	100	188	24	15.5	15.4	B25812
302 19	B2761号	逃	銅		100	59.5	55	5.1	22.2	B25814
303 1	B2769号	灯芯押丸	銅		100	128	15	39.5	36.8	B25822
303 2	B2777号	吊り金具	銅	上端は長方形の孔	70か	(33.9)	3.4	4	1.6	B25817
303 3	B2777号	化粧革	銅	外側に繊維質貫孔／内部に木質残存	70か	83.5	48.5	20.4	6	B25831
303 4	B2789号	鏡	銅	鏡面は平面で断面がドーム状	100	48.5	20.4	16.2	19.2	B25833
303 5	B2796号	飾り金具	銅	中央に長方形の孔／四隅に釘穴	90	61	46	0.4	8.1	B25825
303 6	B2847号	飾り金具	銅	長方形に彫刻した草花文	100か	50	39	2.6	25.5	B25830
303 7	B2847号	灰押丸	銅	先端は凹状の凹形の板で上面に毛彫りによる筋状の文様／持手は手形で上部に彫曲	100	135	22.5	3	12.5	B25829
303 8	B2847号	不明	銅	鏡面／上部に一段／下部欠損	80か	(48.5)	20	19	59.5	B25828
303 9	B2849号	小柄	銅	鏡子／草文／刀身欠損／金装金	50	(97)	15.2	7	31.4	B25832
303 10	B2883号	灯明具	銅	中央に円筒形の部材を有する円盤を円筒状の部材にはめ込み	90	83.5	48.5	51.5	42.2	B25800
303 11	B2883号	把手	銅	両端部内側に起立沿面	100	104	60.5	6.7	20.2	B25835
304 1	B2952号	飾り金具	銅	曲線状の縁取り／釘1ヶ所／金装	100	79	69	1.5	45	B25801
304 2	B2952号	飾り金具	銅	曲線状の縁取り／釘1ヶ所／金装	90	85.5	23	0.8	22.8	B25802
304 3	B2952号	飾り金具	銅	曲線状の縁取り／釘1ヶ所／金装	100	102.2	102.2	0.5	22.2	B26018
304 4	B2952号	飾り金具	銅	曲線状の縁取り／釘1ヶ所／金装	90	96.2	94.5	0.5	12.9	B26022
304 5	B2952号	飾り金具	銅	曲線状の縁取り／釘1ヶ所／金装	100	62.7	67	0.5	10.3	B26020
304 6	B2952号	把手	銅	両端部に円孔	100	64	14.5	2.3	5.4	B25804
304 7	B2952号	火箸か	銅	頭部を環状に彫曲	100	227	12	3.3	10.1	B25805
304 8	B2975号	飾り金具	銅	毛彫りによる文様・魚々子文／釘1ヶ所／金装	90	16.8	17.2	0.5	0.9	B25834
304 9	B3025号	切羽	銅	中央に孔／縁取りに連続した斜め／金装	100	(34.7)	(19.8)	0.5	2.1	B25852
304 10	B3025号	耳型	銅	中央に爪あり	100	77	41	18.5	8.3	B25853
304 11	B3025号	把手	銅	両端部は逆字形の彫曲	100	139.5	48.5	8	45.5	B25840
304 12	B3025号	火箸か	銅	頭部に球状の作り出し	100	116.5	37.5	3	6.4	B25839
304 13	B3025号	簪	銅	頭部に球状の作り出し	100	119.2	5.5	5.2	3.5	B25850
304 14	B3084号	飾り金具	銅	又後垂／長方形に花文状の透し／鋸歯金	100	18	25	2	2.3	C25315
304 15	B3026号	ボタン	銅	平行円形／無地／ドーム状／ソ通し部材溶接	100	11	23.5	2.3	2.9	B25854
304 16	B5082号	飾り金具	銅	上部四隅に釘穴	100	81	27	0.2	2.7	B25850
304 17	B5082号	薬缶	銅	口1個／左側に釘穴	95	101.5	52	49.5	35.6	B25861
304 18	B5185号	化粧革	銅	板材を筒状に彫曲／内側に有機質接着	90か	(58)	4.5	4.1	3	B25880
305 1	C17号	把手	銅	両端部に連結	100	22	30.5	1.6	3.7	C25116
305 2	C17号	把手	銅	両端部に円孔	100	16.5	14	1.3	0.6	C25117
305 3	C86号	不明	銅	半球形／彫曲面裏／工具の刃先か／先端部鋭利に形成	100か	18.5	72	7	14.1	C25160
305 4	C165号	鍔	銅	直線	100	37	128	70	47.6	C25350
305 5	C201号	座金	銅	中央に孔	100	35.5	35	2.1	13.7	C25352
305 6	C212号	柄頭	銅	両側面に瘤円形の孔／頭部	90	35.5	18.5	8	7.8	C25167
305 7	C229号	鍔	銅		100	21	22	2	1.4	C25168
305 8	C244号	杓子か	銅	持ち手部分／端部折り返し／鍔部中央に円形の押江口／鍔金か	40	(930)	(14)	3	3.8	C25171
305 9	C244号	把手	銅	両端部に円孔	100	92.5	131	12	48.2	C25177
305 10	C244号	吊り金具	銅	両端部に円孔	100	56	39	3.2	5.2	C25176
305 11	C244号	不明	銅	板状／両端を矩状に切り込み彫曲	100か	52	45	0.2	2.9	C25180
305 12	C244号	火箸か	銅	頭部に溝2条	100	255	6	6	3.6	C25178
305 13	C251号	切羽	銅		100	39	28	0.5	2.8	C25202
305 14	C252号	飾り金具	銅	中央に円孔／成形	100	54.5	74	0.9	13.2	C25170
305 15	C251号	飾り金具	銅	变形銀鏡／手子金具に付属か／表面に毛彫りによる文様	100	52	28	0.2	6.4	C25211
305 16	C251号	引手金具	銅	基礎部の丸軸中央にやや突出あり	100	40	24	5	2.9	C25203
305 17	C251号	把手	銅	両端部底面に彫刻して突起作成	100	35	74	4.2	12.1	C25225
305 18	C251号	把手	銅	両端部底面は溝により突起作成	100	61.5	27	3.8	6.6	C25238
305 19	C251号	把手	銅	両端に円孔／リベット残存	100	35.5	72	3	31.8	C25224
305 20	C251号	飾り金具	銅	金具／曲面の成形／成形／釘1ヶ所	100	55.5	55	0.7	11	C25227
305 21	C251号	金具	銅	両端に円孔／花井状の成形か	80	27	30	0.3	2.6	C25212
305 22	C251号	座金	銅	中央に方形の孔	90	(25)	28	0.2	0.8	C25206
305 23	C250号	座金	銅	中央に方形の孔	90	16.3	167	0.2	0.3	C25183
305 24	C251号	座金か	銅	断面板状／中央に円孔	100	43	33.5	0.3	2.9	C25205
305 25	C250号	釘	銅		100	31	4	4	0.7	C25186

第100表 金属製品（その他）観察表（3）

規格番号 部材番号	由土地点 源種	材質	特徴	残存率 (%)	寸法 (mm)			重量 (g)	構造 番号
					長さ	幅	厚み		
305 26 C251 号	薬丸	真鍮	先端鋸利に成形	90	101.3	10.1	1.8	8.1	C25209
305 27 C251 号	灰鉄丸	真鍮	下面は被状に加工	50	(73.5) (30.2)	(10.4)	12.5	C25222	
306 1 C251 号	火薬	銅	頭部と軸部の間に溝	100	185	4.3	1.5	15.6	C25217
306 2 C251 号	火薬	真鍮	円錐状の頭部を溶接	90	(163)	9	9.6	13.2	C25172
306 3 C251 号	薬丸	銅	頭部は彫刻され頭部	95	155.5	(1.6)	1.5	2.7	C25519
306 4 C251 号	薬丸	真鍮	頭部は彫き付属	100	119	7	2.1	7.4	C25518
306 5 C250 号	火薬	真鍮	板状を筒状に彎曲	100	24.8	4.8	1.8	1.8	C25187
306 6 C251 号	約子	銅	持ち手部分に木質の駆逐残存	20	108	17.5	2.0	19	C25218
306 7 C251 号	薬丸	銅	3部材を溶接	100	92	18	5.5	31.7	C25215
306 8 C251 号	小明	銅	平行柱 / 断面板状 / 両端に四角形の孔	100	6	56.5	0.4	0.9	C25221
306 9 C251 号	サナ	鉄		70	(146)	(146)	15.5	44.8	C25380
306 10 C305 号	釘	銅	断面方形	100	61	6	1.9	1.9	C25192
306 11 C375 号	飾り金具	銅	角部分の金具 + 長軸方向両端にヨリ所す釘穴あり	100	77	25	1	10.1	C25480
306 12 C381 号	蓋	銅	複数部品を組み合わせ / 線状の縫合は継ぎめ	95	102	108	31	45.9	C25244
306 13 C408 号	把手	真鍮	取り付け部は環状に成形	100	20	30	4.8	1.9	C25246
306 14 C408 号	把手	真鍮	両端部は環状に成形	100	19.6	22.4	2	1.9	C25247
306 15 C450 号	火薬	銅	断面六角形 / 頭部に球状の作り出し	95	150.1	37	3.4	7.6	C25290
306 16 C505 号	羽羽	銅か		95	41	24	1	3.4	C25251
306 17 C536 号	送子札	銅	表：「市ヶ谷」、「尾張屋西門前」、「中津井邦之」「一之里」 / 製：「尾張屋」 / 由：「尾張屋」 / 里：「尾張屋」 / 里：「尾張屋」 / 里：「尾張屋」	100	5.5	31	1	9.9	C25250
306 18 C536 号	繩	銅か	合せ目部分接着	100	51.5	51	4	14.6	C25267
307 1 C536 号	把手	銅	両端に円孔	100	21	104	43	73.9	C25293
307 2 C536 号	把手	銅	両端に円孔 + リベット残存	100	14.5	99	36	27.1	C25290
307 3 C536 号	把手	銅か	両端に円孔 / 一方にリベット残存	100	20	79	30.5	55.3	C25439
307 4 C536 号	飾り金具	真鍮	断面ドーム形 / 毛刷による草花文 / 釘穴 2か所	50	139	20.5	18	18.4	C25279
307 5 C536 号	飾り金具か	鉄	上部湾きせき造作	100	34	40.5	7	6.4	C25280
307 6 C536 号	薬丸	真鍮	先端部に凹やや彎曲	100	197.5	10.5	6	73.9	C25291
307 7 C536 号	約子	真鍮		70	(188)	(62)	7.5	23.6	C25257
307 8 C536 号	約子	銅	基部が空 / 釘穴 1か所	80	(89.5)	(58)	(35)	13.5	C25261
307 9 C536 号	卸金	銅	持ち手部分円孔 / 表裏面目立て	95	230	(109)	5.9	141.5	C25286
307 10 C536 号	約子か	銅	持ち手上面に円孔	70	(81)	(76)	(45)	9.6	C25255
308 1 C536 号	火薬	真鍮	円錐状の頭部を溶接	100	179.3	7.8	7.8	11.3	C25263
308 2 C536 号	火薬	真鍮	球形の頭部を溶接 / ニッケル鍍金	100	(72.3)	10.3	10.3	22.3	C25282
308 3 C536 号	被せ金具か	真鍮	円錐の部材に被せる金具 / 上面は円形の縦・斜穴 3か所 / 縫合部に縫合に切り込み穴 3か所以上	90	80	80	31.5	24.3	C25295
308 4 C536 号	不明	銅	板状 / 1枚の板を曲げて基部をリベット留め / 弾力があり折み込むものか	100	47.5	21	11.5	10.5	C25278
308 5 C536 号	刀子	鉄		90	146.5	23.5	4	24.9	C25455
308 6 C536 号	刀子	鉄		90	(108)	16.5	2	8.5	C25456
308 7 C536 号	繩	銅	両端部に孔あり / 球形成形	100	8	73.5	11.5	26.6	C25274
308 8 C536 号	繩	銅		100	146	71	6.3	32.7	C25448
308 9 C536 号	留め金具か	鉄	端部を折り曲げ	90	16.5	(133.5)	3	34	C25423
308 10 C536 号	留め金具か	鉄	先端部を円形に屈曲	100	123	10.5	5	9.6	C25438
308 11 C536 号	留め金具	鉄	端部に円孔	90	106	16	8	23.1	C25446
308 12 C536 号	座金	鉄	中央に孔	100	64	62	4.3	106.8	C25415
308 13 C536 号	不明	鉄	板状 / 端部折り返し	100	42.5	51	9	24.3	C25435
308 14 C536 号	サナ	鉄	格子状	30	(99)	(79)	8	10.1	C25413
308 15 C539 号	火薬	真鍮	頭部に溝 / 軸上部に花文支柱	100	182.8	6	6	21.4	C25483
308 16 C542 号	引手金具か	銅	L字型の刃部に円形の板材組み合わせ / 側面に釘穴 2か所	100	72	72	9	13.3	C25298
308 17 C542 号	不明	銅	板状 / 中央に向かって凸面 / 下端が直線部 / 引手金具底板か	60	62	63.5	3.5	12.1	C25297
309 1 C580 号	把手	真鍮	中央の把手 / 四隅を溶接 / 端部に吊り金具残存	60	(59.6)	(24.1)	3.5	6.1	C25300
309 2 C586 号	約子か	銅	中央の柄内側に木製の持ち手部分残存 / 先端は厚さ 1mm 程度	30	(57.4)	(22.3)	(22.6)	6.7	C25303
309 3 C598 号	灯芯押え	銅	螺旋止め	100	53	50.7	39	6.2	C25308
309 4 C673 号	把手	銅	平面平行円柱で全体的に溝 / 軸面平凹 / 仮具か	60	(47.5)	(64.8)	(7.2)	25	C25319
309 5 B2-14.1-2 面	小柄	銅	毛刷による魚子文 / 扇形 / 球形 / 直角底 / 金具部に金具金	60	(96.5)	14.5	5.8	31.5	B2-25735
309 6 B1-3(4.4 面)	小柄	銅	文字？「秋葉」 / 亂刷 / 毛刷による魚子文 / 金具金	60	100.8	15	5.8	28.9	B2-5672
309 7 B1-3(4.4-5 面)	小柄	真鍮	毛刷による草花文 / 丸部欠損	60	(96)	13	5.4	17.2	C25671
309 8 B1-3(4)	柄跡	銅	2部材組み合わせ / 中央に孔 / 縫合に溝	100	39	23	8.7	2.6	B2-25665
309 9 B2-14.2-3 面	耳	銅	中央に孔があり / 第 309 号 10 の内側に黒着	100	77	35	15.5	9	B2-25736-1
309 10 B2-14.2-3 面	耳	銅	中央に孔あり / 第 309 号 9 回の外側に黒着	100	79	38	14.3	10.4	B2-25736-2
309 11 B2-3(4-3-4 面)	飾り金具	真鍮	両端に釘穴 / 毛刷による型形文 / 魚子文	95	25.5	93.5	0.4	5.1	B2-5647
309 12 B2-3(4-1-2 面)	飾り金具	銅	平面は鋸切抜形 / 周縁に釘穴 9か所	100	75	35	0.3	7.2	B2-5645
309 13 B2-3(4) 間瓦	飾り金具	銅	内部の金具 / 各面に釘穴 3か所 / 一部駆逐存	80	34	30	5.4	5.4	B2-5648

第 101 表 金属製品（その他）観察表（4）

防衛番号 部類 番号	出土地点	種別 器種	材質	特徴	残存率 (%)	法儀 [mm]			重量 (g)	整理 等号
						長さ	幅	厚み		
309	14 B2-3-4 1-2面	束縛	真鍮		90	113.5	7.5	1.1	4.4	B25443
309	15 B2-3-4 鏡	灯芯押え	銅		100	70	60	46.5	10.1	B25449
309	16 B1-2 鏡	引手金具	真鍮	上辺側面に円孔 / 扇底は別部材	100	71.5	24	9.8	30.6	B25612
309	17 B1-3-2 鏡	引手金具	真鍮	毛彔による文様 / 鏡あり	100	82.5	38	9	17.2	B25667
310	1 B1-4-4 0-1面	瓦町	銅	頭部扁平	100	191	16	4.7	25.8	B25717
310	2 B1-1-4 3-4面	飾り金具	銅	中央に円孔	100	21	21	3.9	9.5	B25604
310	3 B1-3-2 鏡	ボタン	真鍮	円盤状 / 背面に凹凸 2ヶ所	100	19.5	19.5	4	1.8	B25666
310	4 B1-3-2 鏡	鍵	銅	環状把手 / 手取環	70	23	34	6	4.1	B25900
310	5 B2-3-0-1面	メダル	真鍮	吊り下げ跡あり / 外周に「文明開拓の大業」印と連合国 日本正三・大正九年 / 内側に「日」「東」「佛」(伊)	100	52.5	36	2.6	18.9	B25875
310	6 C2区基盤 52- 53号	鏡	真鍮	横中継 / 背面に松波文 / 鏡面銘文	100	86.5	55	3	44.6	C25316
310	7 C2区基盤 52- 53号	鏡	銅	頭部に耳桿あり / 毛彔による下り文様 / 金鏡金	80	97.5	8	5	6.1	C25503

第 102 表 金属製品（その他）合金成分表（1）

第103表 金属製品(その他)合金成分表(2)

規範番号 排國番号	合金名	合金表記	合金成分表						規範番号 排國番号	合金名	合金表記	合金成分表						
			[Cu]	[Sn]	[Pb]	[As]	[Sb]	[Zn]				[Cu]	[Sn]	[Pb]	[As]	[Sb]	[Zn]	
304	8	純銅	銅	10.0					307	6	純銅	亜鉛(純銅)銅	83.2	0.3	0.6			15.9
304	9	純銅	(鉛)銅	99.4	0.6				307	7	純銅	亜鉛(鉛銅)銅	87.4	0.8	0.8			11.1
304	10	純銅	(鉛)銅	99.7	0.3				307	8	純銅	(鉛銅)銅	99.5	0.2	0.3			
304	11	純銅	(鉛)銅	99.8	0.2				307	9	純銅	(鉛)銅	99.4	0.6				
304	12	純銅	(鉛)銅	99.8	0.2				307	10	純銅	(鉛)銅	99.6	0.4				
304	13	真鍮	亜鉛(鉛銅)銅	85.5	0.3	0.5		13.7	308	1	純銅	亜鉛(鉛銅)銅	81.6	0.6	0.5			17.3
304	14	純銅	(鉛)銅	99.3	0.7				308	2	純銅	亜鉛(鉛銅)銅	90.6	0.4	0.4			8.5
304	15	純銅	(鉛)銅	99.9	0.1				308	3	純銅	(鉛)銅	99.7	0.3				
304	16	純銅	(鉛ヒ素)銅	99.3	0.3	0.3			308	4	純銅	亜鉛銅(鉛ヒ素)銅	90.1	0.6	0.3			9.0
304	17	純銅	(鉛)銅	99.6	0.4				308	5	鉄	—						
304	18	純銅	(鉛)銅	99.6	0.4				308	6	鉄	—						
305	1	真鍮	亜鉛(鉛)銅	80.5	0.9			18.6	308	7	鉄	鉛(銅)鉄	0.3	4.0	95.7			
305	2	真鍮	亜鉛(鉛銅)銅	95.0	0.2	0.4		4.4	308	8	鉄	—						
305	3	真鍮	—	94.1	0.3			5.6	308	9	鉄	—						
305	4	鉄	—						308	10	鉄	—						
305	5	鉄	—						308	11	鉄	—						
305	6	純銅	(鉛)銅	99.1	0.9				308	12	鉄	—						
305	7	純銅	(鉛)銅	99.5	0.5				308	13	鉄	—						
305	8	真鍮	—	90.2	0.6	0.1		8.4	308	14	鉄	—						
305	9	純銅	(鉛)銅	99.7	0.3				308	15	真鍮	亜鉛(鉛銅)銅	87.6	0.8	0.8			10.7
305	10	真鍮	—	84.3	0.6			15.1	308	16	純銅	(鉛)銅	99.8	0.2				
305	11	純銅	(鉛)銅	99.7	0.3				308	17	純銅	(鉛)銅	99.2	0.8				
305	12	真鍮	亜鉛(鉛銅)銅	81.4	1.0	7.7		9.8	309	1	真鍮	亜鉛(鉛銅)銅	93.4	0.6	0.5			5.5
305	13	純銅	(鉛)銅	99.1	0.9				309	2	青銅銅	銅銅(アンチモニ)銅	75.3	1.5	22.5	0.7		
305	14	銅か	—	99.5	0.5			0.1	309	3	純銅	(鉛)銅	99.7	0.3				
305	15	純銅	(鉛ヒ素)銅	99.1	0.8	0.1			309	4	青銅銅	銅銅(ヒ素アーニン)銅	70.1	4.0	24.9	0.6	0.4	
305	16	純銅	(鉛ヒ素)銅	99.2	0.6	0.2			309	5	純銅	(鉛)銅	99.4	0.6				
305	17	真鍮	亜鉛(鉛)銅	93.2	0.4	1.0		5.4	309	6	純銅	(鉛銅)銅	99.6	0.2	0.3			
305	18	真鍮	亜鉛(鉛)銅	82.6	0.4	1.3		15.8	309	7	真鍮	亜鉛(鉛)銅	93.2	0.4				6.3
305	19	純銅	(鉛)銅	99.5	0.5				309	8	純銅	(鉛銅)銅	98.9	0.7	0.3			
305	20	純銅	(鉛)銅	99.8	0.2				309	9	純銅	(鉛銅)銅	99.5	0.5				
305	21	真鍮	亜鉛(鉛)銅	84.9	0.3	1.1		13.7	309	10	純銅	(鉛銅)銅	99.5	0.3	0.2			
305	22	純銅	(鉛)銅	99.5	0.5				309	11	真鍮	亜鉛(鉛銅)銅	73.4	1.1				25.5
305	23	純銅	(鉛)銅	99.7	0.3				309	12	純銅	(鉛)銅	99.8	0.2				
305	24	純銅	(鉛)銅	99.9	0.1				309	13	純銅	(鉛)銅	99.5	0.5				
305	25	純銅	(鉛)銅	99.7	0.3				309	14	真鍮	亜鉛(鉛銅)銅	94.4	0.2	0.4			5.0
305	26	真鍮	亜鉛(鉛)銅	81.5	0.9	1.6		16.0	309	15	純銅	(鉛)銅	99.7	0.3				
305	27	真鍮	亜鉛(鉛銅)銅	92.5	0.9	1.2		5.4	309	16	真鍮	亜鉛(鉛銅)銅	78.9	2.4	2.6			16.1
306	1	純銅	(鉛)銅	99.7	0.3				309	17	(鉛)銅	亜鉛(亜鉛)銅	96.2	2.1	1.2			
306	2	真鍮	—	83.0	0.6	0.5		15.9	310	1	純銅	(鉛)銅	99.5	0.5				
306	3	避(四分一)	銅	90.3	3.1				310	2	純銅	(鉛)銅	99.8	0.2				
306	4	真鍮	亜鉛(鉛)銅	85.8	0.5	1.1		12.7	310	3	真鍮	(鉛)銅	99.5	0.5				
306	5	真鍮	亜鉛(鉛銅)銅	88.0	0.3	0.3		11.4	310	4	鉄	—						
306	6	純銅	(鉛)銅	99.6	0.4				310	5	内鍍	亜鉛(鉛)銅	93.1	2.6				4.3
306	7	純銅	(鉛ヒ素)銅	99.4	0.5	0.1			310	6	五元合金	亜鉛(ヒ素)銅	82.6	0.4	7.2	4.4	5.4	
306	8	純銅	(鉛)銅	99.6	0.2				310	7	内鍍	亜鉛(鉛)銅	97.8	0.4				1.8
306	9	鉄	—															
306	10	純銅	(鉛)銅	99.8	0.5													
306	11	純銅	(鉛)銅	99.4	0.6													
306	12	純銅	(鉛)銅	99.7	0.3													
306	13	真鍮	亜鉛(鉛)銅	75.0	0.5			24.6										
306	14	真鍮	亜鉛(鉛)銅	82.8	0.2	0.5		16.5										
306	15	純銅	(鉛)銅	99.6	0.4													
306	16	銅か	—															
306	17	真鍮	亜鉛(鉛)銅	85.4	0.5			14.1										
306	18	銅か	—															
307	1	純銅	(鉛)銅	99.5	0.5													
307	2	純銅	(鉛)銅	99.7	0.3													
307	3	銅か	—															
307	4	真鍮	亜鉛(鉛)銅	93.4	1.7	0.9		3.8	0.2									
307	5	純銅	(鉛)銅	99.3	0.7													

(8) 銭貨(第311～315図、第104～107表)

銭貨は寛永通寶を主体とし、天保通寶や絵銭、雁首銭といった近世の所産や、中世以前の渡来銭、近代以降の硬貨が出土している。第311～315図では、遺構単位で遺存状況の良好な銭貨を抽出し、一つの遺構から複数の銭種が出土した場合は可能な限りそれらを図示した。なお、細銭や接着によつて銭文が不明瞭なものについてはX線画像を用いた。

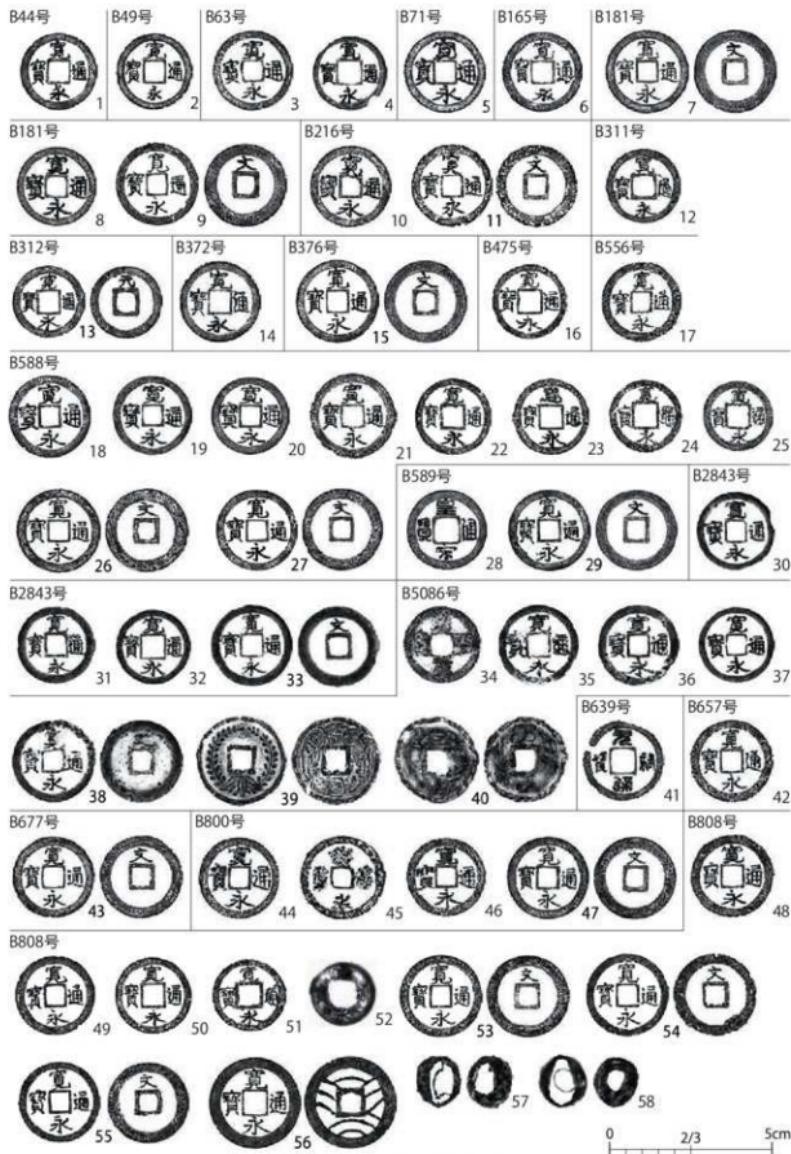
第311図3は古寛永、4は新寛永で、いずれもB63号出土である。B181号では、8の古寛永と7・9の背文を「文」とする新寛永が共伴する。B216号の10・11も同様である。13はB312号出土で、背文「元」の新寛永である。B588号では、19・20の古寛永、20～25の新寛永、26・27の背文「文」の新寛永が共伴している。28はB589号出土の北宋銭・皇宋通寶で、背文「文」の新寛永が伴う。B5086号では、34の北宋銭・治平元寶、35の古寛永、36～38の新寛永に加え、鉛製と考えられる絵銭39・40が出土している。41はB639号出土の北宋銭・元豐通寶である。B800号では45の永樂通寶と44・46の古寛永、47の背文「文」の新寛永が共伴する。B808号では、古寛永、新寛永、背文「文」の新寛永に加え、背文を十一波とする新寛永の四文銭、雁首銭が出土している。

B890号では、第312図2～5の古寛永と背文「文」の新寛永が接着して出土している。35はB2288号出土で、北宋銭・元豐通寶である。B2290号では、36・37の古寛永に38の絵銭がともなう。38は背文を「南無妙法蓮華經」とする題目銭で、材質は銅製である。B2462号出土の42は、遺存状況は良好ではないが、北宋銭・咸平元寶であろう。

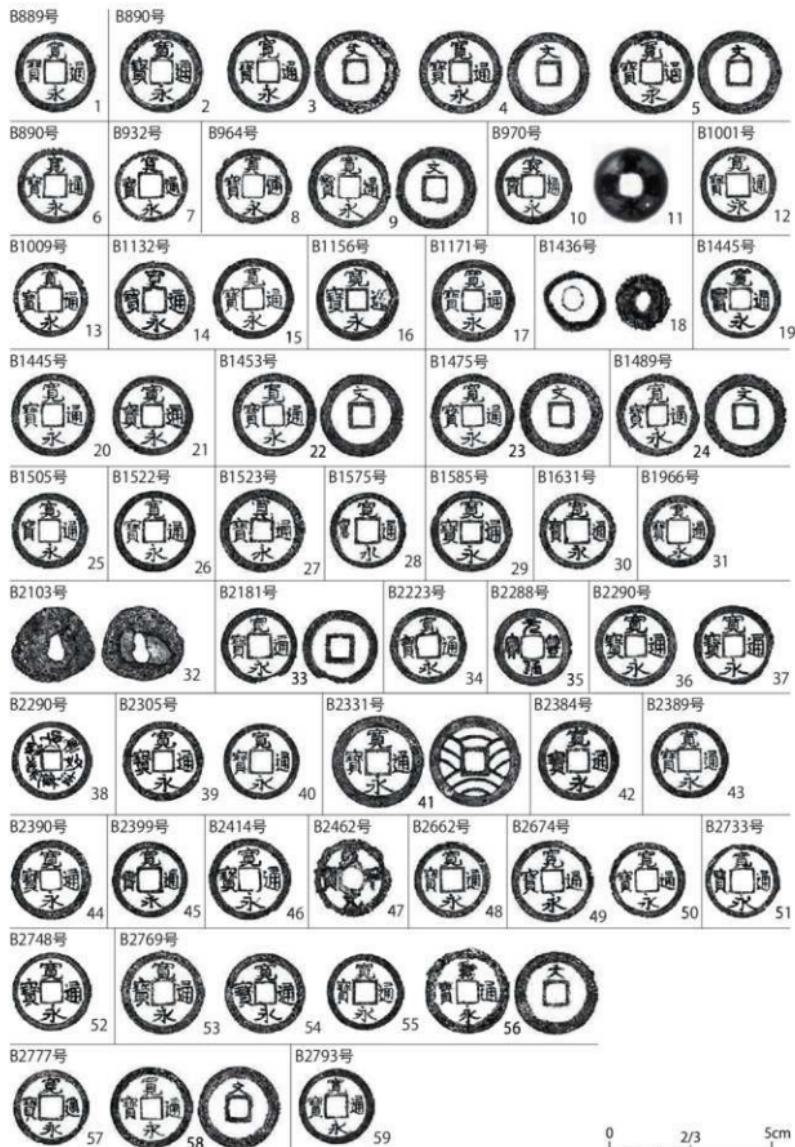
第313図1・2はB2798号出土で、背文「文」の新寛永と無文の新寛永が共伴する。B2847号では4の古寛永、5の新寛永、6の背文「文」の新寛永が揃って出土する。15～17はB5082号出土で、15の新寛永に、背文を二十一波とする四文銭の16と、十一波とする四文銭の17が伴う。C111号出土の19は、北宋銭・景德元寶である。C251号では、28の古寛永、29～32の新寛永、33の背文二十一波の四文銭、34・35の背文十一波の四文銭が出土する。C536号では、背文を「左」とする新寛永の47が、44～46の新寛永と48・49の背文十一波の四文銭に伴う。

第314図の遺構外出土銭貨では、2～9の寛永通寶に加え、1の唐銭・開元通寶、10～12の天保通寶、13の一錢硬貨を図示した。

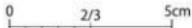
第315図は、複数枚が接着した硬貨の各々の銭文をX線CTにより透過・表示したものである。1はB165号出土で、寛永通寶の鉄銭と銅銭が13枚接着している。2はC536号出土で、背文十一波の新寛永四文銭が9枚接着する。3はC304号出土の四文銭が23枚接着した事例で、このうち3-12と3-17の2枚のみが背文を二十一波とする。4は同じくC304号出土の四文銭が28枚接着した事例で、このうち4-7のみが背文を二十一波としている。

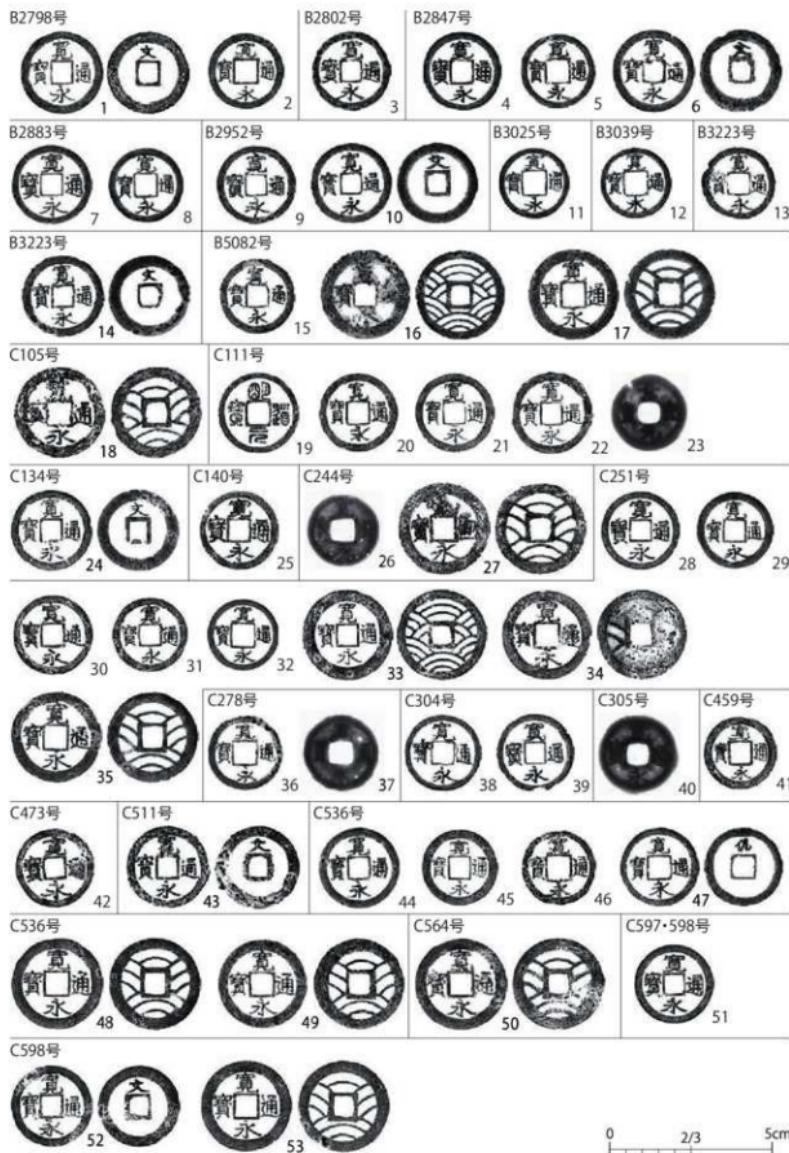


第311図 錢貨(1) (2/3)



第312図 銭貨(2)(2/3)

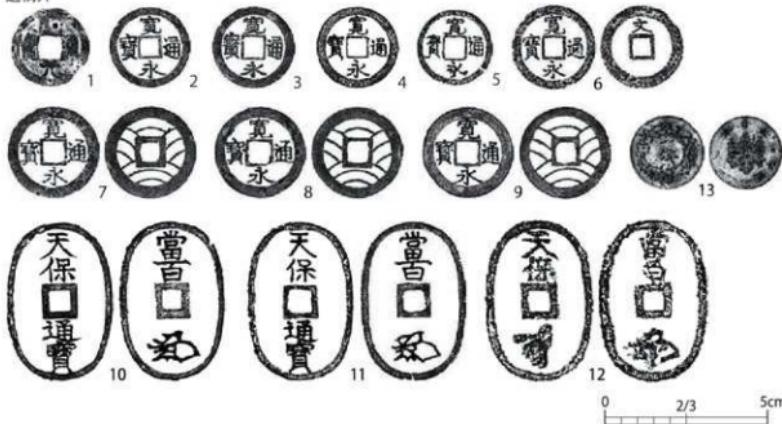




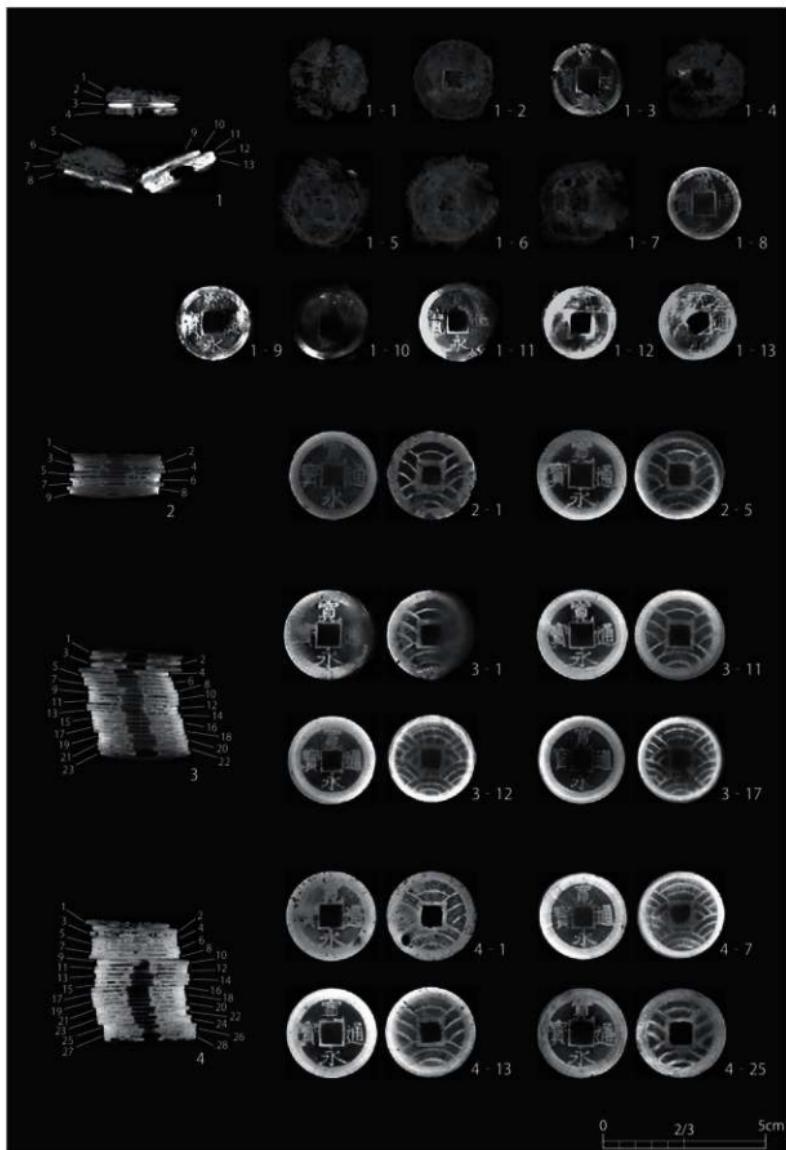
第313図 錢貨(3)(2/3)

0 2/3 5cm

造構外



第 314 図 錢貨 (4) (2/3)



第315図 錢貨(5)(2/3)

第104表 錢貨觀察表(1)

編號番号	出土地点	種別 名称	材質	詳細	法量 [mm]		重量 (g)	初期年 (西曆)	整理 番号
					直径	孔径			
311 1	B44 号	寛永通寶(新)	銅		23.6	5.9	2.1	1668	B25001
311 2	B49 号	寛永通寶(新)	銅		23.3	5.4	2.5	1668	B25003
311 3	B63 号	寛永通寶(古)	銅	2枚接着	24.6	5.5	2.7	1636	B25004-1
311 4	B63 号	寛永通寶(新)	銅	2枚接着	22.4	7.2	1.6	1668	B25004-2
311 5	B71 号	寛永通寶(古)	銅		24.7	5.6	2.9	1636	B25005
311 6	B165 号	寛永通寶(新)	銅		24.4	6.0	2.3	1668	B25008
311 7	B181 号	寛永通寶(新)	銅	背文「文」	25.4	5.4	2.7	1668	B25010
311 8	B181 号	寛永通寶(古)	銅		24.2	5.5	2.9	1636	B25027
311 9	B181 号	寛永通寶(新)	銅	背文「文」/ 2枚接着	24.8	5.5	3.5	1668	B25039-1
311 10	B216 号	寛永通寶(古)	銅		25.0	4.8	4.0	1636	B25015
311 11	B216 号	寛永通寶(新)	銅	背文「文」	25.1	5.0	3.0	1668	B25014
311 12	B311 号	寛永通寶(新)	銅	2枚接着	22.7	6.5	2.5	1668	B25028-1
311 13	B312 号	寛永通寶(新)	銅	背文「元」	22.3	5.7	2.2	1741	B25029
311 14	B372 号	寛永通寶(新)	銅		24.7	6.3	2.7	1636	B25033
311 15	B376 号	寛永通寶(新)	銅	背文「文」	25.3	5.7	2.8	1668	B25034
311 16	B475 号	寛永通寶(新)	銅		22.9	6.2	2.1	1668	B25042
311 17	B556 号	寛永通寶(新)	銅		24.5	5.4	2.6	1636	B25098
311 19	B588 号	寛永通寶(古)	銅		24.0	5.0	2.8	1636	B25057
311 20	B588 号	寛永通寶(古)	銅		23.7	5.4	3.1	1636	B25065
311 21	B588 号	寛永通寶(新)	銅		25.4	6.0	2.3	1668	B25067
311 22	B588 号	寛永通寶(新)	銅		23.4	5.6	1.6	1668	B25056
311 23	B588 号	寛永通寶(新)	銅		22.9	6.5	2.2	1668	B25044
311 24	B588 号	寛永通寶(新)	銅		23.1	6.0	1.5	1668	B25075
311 25	B588 号	寛永通寶(新)	銅		21.3	6.2	1.9	1668	B25090
311 26	B588 号	寛永通寶(新)	銅	背文「文」	25.4	5.7	3.6	1668	B25084
311 27	B588 号	寛永通寶(新)	銅	背文「文」	24.8	5.5	3.2	1668	B25064
311 28	B589 号	皇宋通寶	銅	北宋文/直書体	24.5	6.7	3.0	1039	B25100
311 29	B589 号	寛永通寶(新)	銅	背文「文」	25.0	5.1	3.2	1668	B25099
311 30	B2843 号	寛永通寶(古)	銅	3枚接着	24.2	5.7	3.9	1636	B25359-1
311 31	B2843 号	寛永通寶(新)	銅	3枚接着	23.8	5.5	2.6	1636	B25359-2
311 32	B2843 号	寛永通寶(新)	銅		22.7	5.5	2.6	1668	B25354
311 33	B2843 号	寛永通寶(新)	銅	背文「文」/ 3枚接着	25.0	5.5	3.5	1668	B25359-3
311 34	B5086 号	治平元寶	銅	北宋文/篆書体	24.0	6.2	2.5	1064	B25468
311 35	B5086 号	寛永通寶(古)	銅		24.7	5.5	3.4	1636	B25452
311 36	B5086 号	寛永通寶(新)	銅		24.9	5.3	2.7	1636	B25443
311 37	B5086 号	寛永通寶(新)	銅		23.1	5.1	2.7	1636	B25440
311 38	B5086 号	寛永通寶(新)	銅	背文「文」	25.8	5.2	3.3	1668	B25462
311 39	B5086 号	紹興	銅	意匠不明	27.9	5.8	10.3	1668	B25474
311 40	B5086 号	紹興	銅	意匠不明	26.2	5.3	10.8	1668	B25429
311 41	B639 号	元豐通寶	銅	北宋文/篆書体	24.5	6.7	3.1	1078	B25102
311 42	B657 号	寛永通寶(新)	銅		24.4	5.6	2.6	1668	B25103
311 43	B677 号	寛永通寶(新)	銅	背文「文」	25.1	5.5	2.9	1668	B25105
311 45	B800 号	永樂通寶	銅		25.3	5.3	2.3	1587	B25114
311 46	B800 号	寛永通寶(古)	銅		24.0	5.0	2.7	1636	B25117
311 47	B800 号	寛永通寶(新)	銅	背文「文」	25.2	5.3	3.5	1668	B25111
311 48	B808 号	寛永通寶(古)	銅		25.1	6.1	3.0	1636	B25206
311 49	B808 号	寛永通寶(新)	銅		24.3	5.0	2.7	1668	B25119
311 50	B808 号	寛永通寶(新)	銅		23.1	5.8	2.5	1668	B25118
311 51	B808 号	寛永通寶(新)	銅		22.2	5.7	1.9	1668	B25120
311 52	B808 号	寛永通寶(新)	銅		21.5	5.8	1.6	1668	B25389
311 53	B808 号	寛永通寶(新)	銅	背文「文」	25.3	5.6	2.9	1668	B25123
311 54	B808 号	寛永通寶(新)	銅	背文「文」	25.1	5.7	3.5	1668	B25254
311 55	B808 号	寛永通寶(新)	銅	背文「文」	25.0	5.2	3.0	1668	B25268
311 56	B808 号	寛永通寶(新)	銅	背文十一號/四文錢	28.0	6.2	6.0	1768	B25260
311 57	B808 号	嘉祐通寶	銅		15.9	—	0.7	1668	B25515
311 58	B808 号	嘉祐通寶	銅		16.3	—	1.5	1668	B25516
312 1	B889 号	寛永通寶(新)	銅		24.4	5.6	2.2	1668	B25132
312 2	B890 号	寛永通寶(古)	銅	6枚接着	25.0	5.8	3.1	1636	B25136-1
312 3	B890 号	寛永通寶(新)	銅	背文「文」/6枚接着	25.3	5.5	3.5	1668	B25136-5
312 4	B890 号	寛永通寶(新)	銅	背文「文」/6枚接着	25.0	5.5	3.5	1668	B25136-6
312 5	B890 号	寛永通寶(新)	銅	背文「文」	25.4	5.6	2.4	1668	B25138
312 6	B890 号	寛永通寶(新)	銅	背文「文」	23.1	5.5	1.9	1668	B25139
312 7	B932 号	寛永通寶(新)	銅		22.0	5.7	1.5	1668	B25146

第105表 錢貨觀察表(2)

編號	品名	出土地點	種別 名稱	材質	詳細	法量(mm)		重量 (g)	剪輯年 (西曆)	整理 備註
						面徑	孔徑			
312	8	B094号	寶永通寶(新)	銅		22.8	6.2	1.3	1668	B25150
312	9	B094号	寛永通寶(新)	銅	背文「文」	25.1	5.8	2.8	1668	B25151
312	10	B070号	寶永通寶(新)	銅		23.4	6.2	2.4	1668	B25154
312	11	B070号	寶永通寶(古)	銅		24.2	5.4	2.8	1636	B25153
312	12	B1001号	寶永通寶(新)	銅		23.2	6.0	2.1	1668	B25156
312	13	B1109号	寶永通寶(新)	銅		22.5	5.8	1.8	1668	B25163
312	14	B1132号	寶永通寶(古)	銅		24.6	5.5	2.9	1636	B25159
312	15	B1132号	寶永通寶(新)	銅	字体細小特徵的	24.7	5.5	2.8	1668	B25160
312	16	B1156号	寶永通寶(古)	銅		25.0	5.3	2.7	1636	B25161
312	17	B1171号	寛永通寶(新)	銅		25.3	5.5	3.1	1668	B25162
312	18	B1436号	兼首錢	鐵		18.7	—	2.5		B25548
312	19	B1445号	寛永通寶(古)	銅		24.3	5.1	2.8	1636	B25196
312	20	B1445号	寶永通寶(新)	銅		25.1	5.6	2.9	1668	B25197
312	21	B1445号	寶永通寶(古)	銅		24.3	5.7	2.2	1636	B25202
312	22	B1453号	寶永通寶(新)	銅	背文「文」	25.3	5.5	2.8	1668	B25206
312	23	B1475号	寶永通寶(新)	銅	背文「文」	25.1	5.4	3.2	1668	B25208
312	24	B1489号	寶永通寶(新)	銅	背文「文」	25.2	5.6	2.7	1668	B25209
312	25	B1505号	寶永通寶(新)	銅		23.1	5.8	1.7	1668	B25210
312	26	B1522号	寶永通寶(新)	銅		25.0	5.1	2.9	1668	B25214
312	27	B1523号	寶永通寶(新)	銅		25.4	4.8	2.8	1668	B25220
312	28	B1575号	寶永通寶(新)	銅		23.0	5.7	2.1	1668	B25222
312	29	B1585号	寶永通寶(古)	銅		24.9	4.9	2.6	1636	B25223
312	30	B1631号	寶永通寶(新)	銅		22.9	5.7	2.3	1668	B25224
312	31	B1966号	寶永通寶(新)	銅		22.2	6.0	2.6	1636	B25238
312	32	B2103号	兼首錢	銅		25.1	8.3	1.4		B25243
312	33	B2181号	寶永通寶(新)	銅		23.1	5.7	2.0	1668	B25244
312	34	B2223号	寛永通寶(新)	銅		23.3	5.2	2.5	1636	B25247
312	35	B2288号	元音通寶	鐵	北宋錢/篆書體	23.5	5.6	2.4	1078	B25291
312	36	B2290号	寶永通寶(古)	銅		25.0	5.1	3.3	1636	B25273
312	37	B2290号	寶永通寶(古)	銅	2枚接着	24.5	5.5	2.4	1636	B25274-1
312	38	B2290号	祐臨	銅	蓮山錢/背文「南無妙法蓮華經」	24.0	5.3	3.3		B25280
312	39	B2305号	寶永通寶(古)	銅		24.5	5.1	3.3	1636	B25286
312	40	B2305号	寶永通寶(新)	銅		23.0	5.7	1.8	1668	B25287
312	41	B2331号	寶永通寶(新)	銅	背文十一波/四文錢	27.8	5.8	4.3	1768	B25290
312	42	B2384号	寶永通寶(古)	銅		24.6	5.5	2.9	1636	B25293
312	43	B2389号	寶永通寶(新)	銅		23.3	5.9	2.8	1668	B25296
312	44	B2390号	寶永通寶(古)	銅		23.8	4.3	2.8	1636	B25298
312	45	B2399号	寶永通寶(新)	銅		22.9	5.6	2.9	1668	B25300
312	46	B2414号	寶永通寶(古)	銅		24.8	5.5	3.5	1636	B25303
312	47	B2462号	成化元寶	銅	北宋錢	23.8	5.3	2.9	998	B25305
312	48	B2662号	寶永通寶(新)	銅		22.9	5.8	2.7	1668	B25312
312	49	B2674号	寶永通寶(新)	銅		24.9	5.5	3.0	1668	B25322
312	50	B2674号	寶永通寶(新)	銅		22.9	5.7	2.1	1668	B25321
312	51	B2733号	寶永通寶(新)	銅		22.7	5.9	2.7	1668	B25317
312	52	B2748号	寶永通寶(古)	銅		23.8	5.2	2.7	1636	B25318
312	53	B2769号	寶永通寶(古)	銅		25.3	5.3	3.0	1636	B25326
312	54	B2769号	寶永通寶(古)	銅		24.3	5.3	2.5	1636	B25329
312	55	B2769号	寶永通寶(新)	銅		23.1	5.6	2.6	1668	B25331
312	56	B2769号	寶永通寶(新)	銅	背文「文」	25.0	5.5	2.6	1668	B25338
312	57	B2777号	寶永通寶(新)	銅		22.9	5.5	2.0	1668	B25345
312	58	B2777号	寶永通寶(新)	銅	背文「文」	24.8	5.5	3.2	1668	B25341
312	59	B2793号	寶永通寶(新)	銅		22.9	5.8	2.1	1668	B25347
313	1	B2798号	寶永通寶(新)	銅	背文「文」	25.0	5.5	3.3	1668	B25349
313	2	B2798号	寶永通寶(新)	銅		22.9	5.7	2.8	1668	B25350
313	3	B2802号	寶永通寶(古)	銅		24.0	5.0	2.9	1636	B25352
313	4	B2847号	寶永通寶(古)	銅	2枚接着	24.3	5.7	3.0	1636	B25365-1
313	5	B2847号	寶永通寶(新)	銅		22.6	5.4	2.1	1668	B25363
313	6	B2847号	寶永通寶(新)	銅	背文「文」	25.1	4.6	2.2	1668	B25364
313	7	B2883号	寛永通寶(古)	銅		24.5	5.1	3.3	1636	B25370
313	9	B2952号	寶永通寶(古)	銅		24.3	5.1	3.3	1636	B25378
313	10	B2952号	寶永通寶(新)	銅	背文「文」	24.6	4.9	3.1	1668	B25372
313	11	B3025号	寶永通寶(新)	銅		21.7	6.2	1.8	1668	B25406
313	12	B3039号	寶永通寶(新)	銅	新舊參	21.9	6.4	1.6	1668	B25408

第106表 錢貨観察表(3)

範囲 標印 番号	出土地点	種別 名称	材質	詳細	法量 [mm]		重量 g	初期年 (西暦)	整理 番号
					直径	孔径			
313	13	B3223号	寛永通寶(新)	銅	22.6	5.4	2.8	1668	B25383
313	14	B3223号	寛永通寶(新)	銅	25.2	5.6	3.4	1668	B25385
313	15	B5082号	寛永通寶(新)	銅	23.7	5.8	2.5	1668	B25419
313	16	B5082号	寛永通寶(新)	銅	27.5	5.7	5.1	1768	B25420
313	17	B5082号	寛永通寶(新)	銅	28.0	6.2	3.9	1768	B25418
313	18	C105号	寛永通寶(新)	銅	27.8	5.6	5.0	1768	C25003
313	19	C111号	明治元寶	銅	24.8	5.8	4.0	1023	C25004
313	20	C111号	寛永通寶(新)	銅	24.7	4.9	3.2	1668	C25006
313	21	C111号	寛永通寶(新)	銅	24.1	5.7	3.6	1668	C25007-1
313	22	C111号	寛永通寶(新)	銅	25.1	5.2	4.4	1668	C25007-2
313	23	C111号	銀元元寶	銅	24.1	5.1	3.1	1004	C25008
313	24	C134号	寛永通寶(新)	銅	25.2	5.2	2.6	1668	C25011
313	25	C140号	寛永通寶(古)	銅	24.2	5.3	2.5	1636	C25014
313	26	C244号	寛永通寶(新)	銅	23.3	5.6	2.5	1668	C25021
313	27	C244号	寛永通寶(新)	銅	28.0	5.8	3.6	1768	C25022
313	28	C251号	寛永通寶(古)	銅	24.1	5.2	2.7	1636	C25047
313	29	C250号	寛永通寶(新)	銅	23.6	5.6	2.7	1668	C25024
313	30	C251号	寛永通寶(新)	銅	24.3	5.7	3.0	1668	C25046
313	31	C251号	寛永通寶(新)	銅	22.8	5.0	2.7	1668	C25043
313	32	C250号	寛永通寶(新)	銅	21.8	5.9	1.9	1668	C25023
313	33	C251号	寛永通寶(新)	銅	27.6	5.2	4.7	1768	C25044
313	34	C251号	寛永通寶(新)	銅	27.5	6.2	4.1	1768	C25051
313	35	C252号	寛永通寶(新)	銅	28.0	6.1	5.1	1768	C25025
313	36	C278号	寛永通寶(新)	銅	23.0	6.1	2.4	1668	C25027
313	37	C278号	寛永通寶(新)	銅	24.5	5.9	3.0	1668	C25053
313	38	C304号	寛永通寶(新)	銅	23.7	5.5	2.2	1636	C25029
313	39	C304号	寛永通寶(古)	銅	24.1	4.9	2.8	1636	C25030
313	40	C305号	寛永通寶(古)	銅	25.3	5.4	3.2	1668	C25034
313	41	C459号	寛永通寶(新)	銅	22.2	5.1	2.1	1668	C25055
313	42	C473号	寛永通寶(古)	銅	24.1	5.6	2.9	1636	C25056
313	43	C511号	寛永通寶(新)	銅	25.5	5.1	3.7	1668	C25058
313	44	C536号	寛永通寶(新)	銅	24.9	5.6	3.8	1668	C25059
313	45	C536号	寛永通寶(新)	銅	23.2	5.6	1.8	1668	C25064
313	46	C536号	寛永通寶(新)	銅	22.9	5.8	2.5	1668	C25062
313	47	C536号	寛永通寶(新)	銅	24.3	5.7	2.6	1714	C25077
313	48	C536号	寛永通寶(新)	銅	28.1	6.2	4.8	1768	C25063
313	49	C536号	寛永通寶(新)	銅	27.5	6.1	3.7	1668	C25078
313	50	M564号	寛永通寶(新)	銅	28.2	6.1	4.9	1768	C25080
313	51	M597・598号	寛永通寶(古)	銅	24.2	4.9	3.3	1636	C25084
313	52	M598号	寛永通寶(新)	銅	25.0	6.0	3.2	1668	C25083
313	53	M598号	寛永通寶(新)	銅	28.1	5.7	4.0	1768	C25082
314	1	C24区57号	元通寶	銅	23.7	5.6	1.9	621	C25084
314	2	B13区K3-5面	寛永通寶(古)	銅	24.3	5.1	3.0	1636	C25179
314	3	B13区K2-3面	寛永通寶(古)	銅	24.9	5.5	3.2	1636	C25480
314	4	B11区K4-5面	寛永通寶(新)	銅	24.8	5.7	3.6	1668	C25025
314	5	B11区K1-4面	寛永通寶(新)	銅	22.9	6.4	1.6	1668	C25021
314	6	C1区K2-3面	寛永通寶(新)	銅	25.6	5.0	3.2	1668	C25039
314	7	C2区K2面	寛永通寶(新)	銅	28.1	5.7	4.5	1768	C25088-2
314	8	C2区K2面	寛永通寶(新)	銅	28.0	6.0	5.1	1768	C25088-1
314	9	B1区K2-3面	寛永通寶(新)	銅	27.8	6.6	3.7	1768	B25037
314	10	B1-2区鐵石右下部	天保通寶	銅	48.3	5.9	17.0	1835	B25017-2
314	11	B1-1区鐵石右下部	天保通寶	銅	48.8	6.6	13.4	1835	B25017-2
314	12	B1-1区鐵石右下部	天保通寶	銅	49.4 × 33.1	5.6	20.7	1835	B25018
314	13	C1区K1-2面	一錢硬錢	銅	22.8	—	3.7	明治6	C25035
315	1-1	B165号	寛永通寶	銅	13枚接着	—	39.4	1739か	B25009-1
315	1-2	B165号	寛永通寶	銅	24.0	—	1739	B25009-2	
315	1-3	B165号	寛永通寶(新)	銅	22.5	6.6	—	1668	B25009-3
315	1-4	B165号	寛永通寶	銅	23.5	6.5	—	1739	B25009-4
315	1-5	B165号	寛永通寶	銅	23.5	6.3	—	1739	B25009-5
315	1-6	B165号	寛永通寶	銅	24.5	5.3	—	1739	B25009-6
315	1-7	B165号	寛永通寶	銅	—	6.1	—	1739	B25009-7
315	1-8	B165号	寛永通寶(新)	銅	22.4	6.2	—	1668	B25009-8
315	1-9	B165号	寛永通寶(新)	銅	23.0	6.7	—	1668	B25009-9

第107表 錢貨観察表(4)

銭形番号	出土地点	種別 名称	材質	詳細	法量 [mm]		重量 g	初期年 (西暦)	整理 番号
					直径	孔径			
315 1-10	B165 号	寛永通寶(新)	銅		—	—	—	1668	B25009-10
315 1-11	B165 号	寛永通寶(新)	銅		24.0	5.7	—	1668	B25009-11
315 1-12	B165 号	寛永通寶(新)	銅		22.0	6.0	—	1668	B25009-12
315 1-13	B165 号	寛永通寶(新)	銅		24.0	6.4	—	1668	B25009-13
315 2-1	C536 号	寛永通寶(新)	銅	背文十一波/四文鈕 / 2枚接着	27.4	6.4	47.2	1768	C25070-1
315 2-2	C536 号	寛永通寶(新)	銅	背文十一波/四文鈕	26.9	6.7	—	1768	C25070-2
315 2-3	C536 号	寛永通寶(新)	銅	背文十一波/四文鈕	27.4	6.5	—	1768	C25070-3
315 2-4	C536 号	寛永通寶(新)	銅	背文十一波/四文鈕	27.4	6.5	—	1768	C25070-4
315 2-5	C536 号	寛永通寶(新)	銅	背文十一波/四文鈕	27.3	6.8	—	1768	C25070-5
315 2-6	C536 号	寛永通寶(新)	銅	背文十一波/四文鈕	26.0	6.4	—	1768	C25070-6
315 2-7	C536 号	寛永通寶(新)	銅	背文十一波/四文鈕	27.4	6.7	—	1768	C25070-7
315 2-8	C536 号	寛永通寶(新)	銅	背文十一波/四文鈕	26.3	6.8	—	1768	C25070-8
315 2-9	C536 号	寛永通寶(新)	銅	背文十一波/四文鈕	27.6	7.2	—	1768	C25070-9
315 3-1	C304 号	寛永通寶(新)	銅	背文十一波/四文鈕 / 2枚接着	27.8	6.6	116.9	1768	C2514-1
315 3-2	C304 号	寛永通寶(新)	銅	背文十一波/四文鈕	28.0	6.4	—	1768	C2514-2
315 3-3	C304 号	寛永通寶(新)	銅	背文十一波/四文鈕	27.8	6.4	—	1768	C2514-3
315 3-4	C304 号	寛永通寶(新)	銅	背文十一波/四文鈕	27.9	6.7	—	1768	C2514-4
315 3-5	C304 号	寛永通寶(新)	銅	背文十一波/四文鈕	28.1	6.3	—	1768	C2514-5
315 3-6	C304 号	寛永通寶(新)	銅	背文十一波/四文鈕	28.2	6.2	—	1768	C2514-6
315 3-7	C304 号	寛永通寶(新)	銅	背文十一波/四文鈕	28.0	6.4	—	1768	C2514-7
315 3-8	C304 号	寛永通寶(新)	銅	背文十一波/四文鈕	28.2	6.1	—	1768	C2514-8
315 3-9	C304 号	寛永通寶(新)	銅	背文十一波/四文鈕	28.2	6.3	—	1768	C2514-9
315 3-10	C304 号	寛永通寶(新)	銅	背文十一波/四文鈕	28.0	6.3	—	1768	C2514-10
315 3-11	C304 号	寛永通寶(新)	銅	背文十一波/四文鈕	28.1	6.5	—	1768	C2514-11
315 3-12	C304 号	寛永通寶(新)	銅	背文十一波/四文鈕	27.4	5.8	—	1768	C2514-12
315 3-13	C304 号	寛永通寶(新)	銅	背文十一波/四文鈕	28.1	6.6	—	1768	C2514-13
315 3-14	C304 号	寛永通寶(新)	銅	背文十一波/四文鈕	28.3	6.1	—	1768	C2514-14
315 3-15	C304 号	寛永通寶(新)	銅	背文十一波/四文鈕	27.9	6.1	—	1768	C2514-15
315 3-16	C304 号	寛永通寶(新)	銅	背文十一波/四文鈕	28.0	6.4	—	1768	C2514-16
315 3-17	C304 号	寛永通寶(新)	銅	背文十一波/四文鈕	27.4	5.8	—	1768	C2514-17
315 3-18	C304 号	寛永通寶(新)	銅	背文十一波/四文鈕	28.0	6.5	—	1768	C2514-18
315 3-19	C304 号	寛永通寶(新)	銅	背文十一波/四文鈕	28.0	6.4	—	1768	C2514-19
315 3-20	C304 号	寛永通寶(新)	銅	背文十一波/四文鈕	28.0	6.6	—	1768	C2514-20
315 3-21	C304 号	寛永通寶(新)	銅	背文十一波/四文鈕	28.2	6.4	—	1768	C2514-21
315 3-22	C304 号	寛永通寶(新)	銅	背文十一波/四文鈕	28.0	6.1	—	1768	C2514-22
315 3-23	C304 号	寛永通寶(新)	銅	背文十一波/四文鈕	27.8	6.6	—	1768	C2514-23
315 4-1	C304 号	寛永通寶(新)	銅	背文十一波/四文鈕 / 2枚接着	27.8	6.5	133.4	1768	C2515-1
315 4-2	C304 号	寛永通寶(新)	銅	背文十一波/四文鈕	28.0	6.5	—	1768	C2515-2
315 4-3	C304 号	寛永通寶(新)	銅	背文十一波/四文鈕	28.0	5.7	—	1768	C2515-3
315 4-4	C304 号	寛永通寶(新)	銅	背文十一波/四文鈕	27.8	5.7	—	1768	C2515-4
315 4-5	C304 号	寛永通寶(新)	銅	背文十一波/四文鈕	28.0	5.8	—	1768	C2515-5
315 4-6	C304 号	寛永通寶(新)	銅	背文十一波/四文鈕	28.1	6.2	—	1768	C2515-6
315 4-7	C304 号	寛永通寶(新)	銅	背文十一波/四文鈕	27.1	5.5	—	1768	C2515-7
315 4-8	C304 号	寛永通寶(新)	銅	背文十一波/四文鈕	27.8	6.0	—	1768	C2515-8
315 4-9	C304 号	寛永通寶(新)	銅	背文十一波/四文鈕	28.0	6.0	—	1768	C2515-9
315 4-10	C304 号	寛永通寶(新)	銅	背文十一波/四文鈕	28.0	6.3	—	1768	C2515-10
315 4-11	C304 号	寛永通寶(新)	銅	背文十一波/四文鈕	28.1	6.2	—	1768	C2515-11
315 4-12	C304 号	寛永通寶(新)	銅	背文十一波/四文鈕	28.4	6.1	—	1768	C2515-12
315 4-13	C304 号	寛永通寶(新)	銅	背文十一波/四文鈕	28.2	6.0	—	1768	C2515-13
315 4-14	C304 号	寛永通寶(新)	銅	背文十一波/四文鈕	27.8	6.4	—	1768	C2515-14
315 4-15	C304 号	寛永通寶(新)	銅	背文十一波/四文鈕	26.7	6.0	—	1768	C2515-15
315 4-16	C304 号	寛永通寶(新)	銅	背文十一波/四文鈕	28.2	6.5	—	1768	C2515-16
315 4-17	C304 号	寛永通寶(新)	銅	背文十一波/四文鈕	28.0	6.3	—	1768	C2515-17
315 4-18	C304 号	寛永通寶(新)	銅	背文十一波/四文鈕	28.3	6.2	—	1768	C2515-18
315 4-19	C304 号	寛永通寶(新)	銅	背文十一波/四文鈕	28.3	6.3	—	1768	C2515-19
315 4-20	C304 号	寛永通寶(新)	銅	背文十一波/四文鈕	28.5	5.8	—	1768	C2515-20
315 4-21	C304 号	寛永通寶(新)	銅	背文十一波/四文鈕	28.1	6.1	—	1768	C2515-21
315 4-22	C304 号	寛永通寶(新)	銅	背文十一波/四文鈕	28.1	6.3	—	1768	C2515-22
315 4-23	C304 号	寛永通寶(新)	銅	背文十一波/四文鈕	28.2	6.4	—	1768	C2515-23
315 4-24	C304 号	寛永通寶(新)	銅	背文十一波/四文鈕	27.9	6.1	—	1768	C2515-24
315 4-25	C304 号	寛永通寶(新)	銅	背文十一波/四文鈕	28.1	6.7	—	1768	C2515-25
315 4-26	C304 号	寛永通寶(新)	銅	背文十一波/四文鈕	28.1	5.6	—	1768	C2515-26
315 4-27	C304 号	寛永通寶(新)	銅	背文十一波/四文鈕	28.0	5.8	—	1768	C2515-27
315 4-28	C304 号	寛永通寶(新)	銅	背文十一波/四文鈕	28.3	6.1	—	1768	C2515-28

(9) 骨角貝製品（第316～319図、第108表）

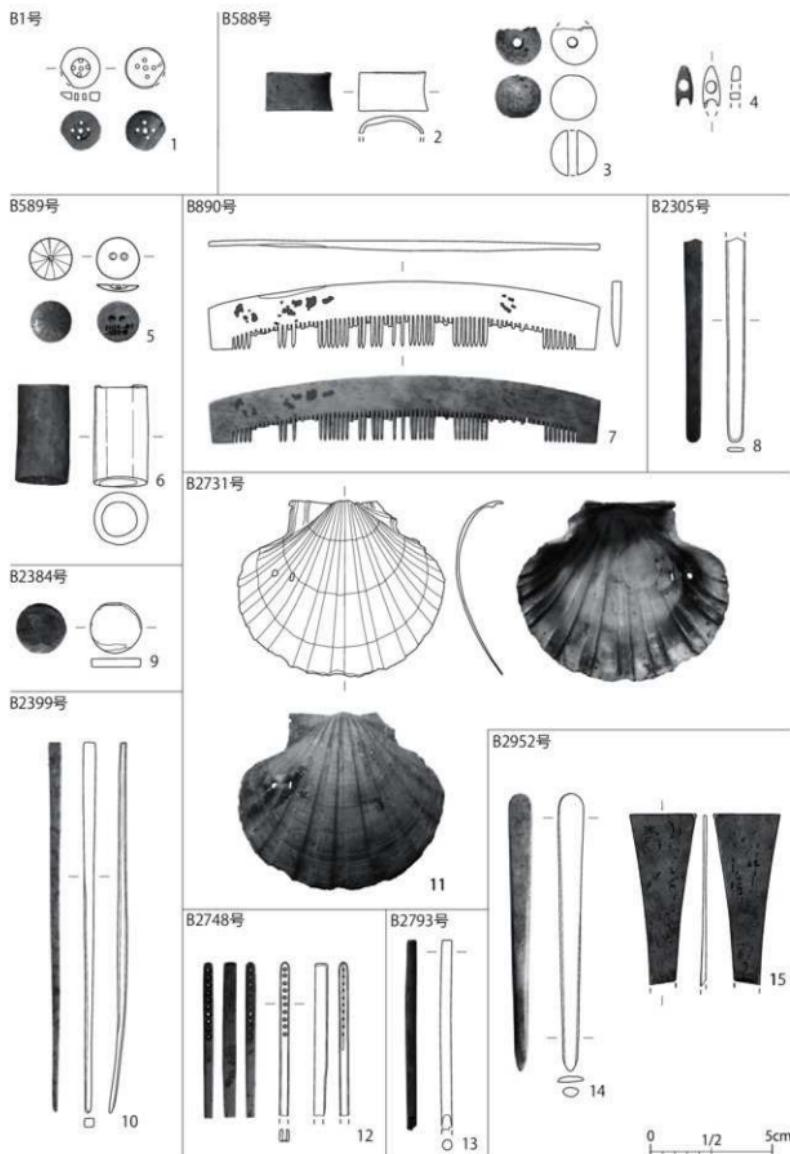
哺乳類の骨、鹿角、貝等を材質とする製品を骨角貝製品として一括して扱った。種類としては髪撫、櫛、横おし等の結髪道具が多いが、物差し等の文具のはか、鹿角の加工残滓も見つかっている。

第316図1はB1号の三和土下部出土のボタンで、断面は長方形、径2mmの穿孔が5か所あり、欠損部は再加工し平滑に調整されている。2～4はB588号出土で、2は断面が円筒状で厚さ1～1.5mmに削り抜かれた鍔と考えられる。3は緒縫で、球形を呈し、中央に径5mmの孔が穿たれる。4も緒具と考えられ、断面は隅丸長方形、径5mmの穿孔が2か所認められる。5・6はB589号出土で、5は断面が半円形のボタンで、表面に円形・放射状の線刻があり、裏面に内部で連結する径3mmの糸孔2か所がある。6は用途は不明であるが、円筒状で表面にケズリ痕が顕著に残る。7はB890号出土の櫛で、断面は板状、桿部に赤色漆の塗膜が若干残存する。8はB2305号出土の髪撫で、断面は板状、表面は平滑に磨かれている。9はB2384号出土の双六の駒で、円盤状で表面に一部が剥落する。10はB2399号出土で、断面方形の完形品で、笄と考えられる。11はB2731号出土の貝杓子で、イタヤ貝右殻を素材とし、腹縫が摩耗し、表面に貫通孔が2か所認められる。12はB2748号出土の櫛払で、ブラシ部の穿孔は1列、裏面にある1条の線刻は毛先を結束する造作であろう。13はB2793号出土の笄で、断面は円形、表面は平滑に仕上げられる。14・15はB2952号出土で、14は上部の断面が板状、下部が楕円形を呈する髪撫で、表面は平滑である。15は平面が銀杏形、断面が薄い板状を呈する横おしと考えられ、剥落は多いものの、表面には「■」「寿■」「寿 別かれ■」、裏面には「山」と「■」「寿■」「寿■」の文字が見える。

第317図1はB3084号出土の賽子で、遺存状況は良好でないが、各面に1～6の賽の目が観察される。2～7はB5086号出土で、2はブラシ部の穿孔を2列とする櫛払で、背面に線刻が認められる。3～5はボタンで、いずれも断面は半円形、裏面に内部で連結する径3mmの糸孔2か所がある。6は貝製の撥先と考えられ、平面は銀杏形、断面は板状で先端が直線状に加工されている。7は双六の駒で、表面は平滑に仕上げられている。8はC111号出土の髪撫で、剥落した表面のみの遺存である。墨書による「門」「女」「禾」の文字が見える。9はC140号出土の鹿角切断品で、2方向に先端部を切断した残滓であろう。

第318図1～3はC244号出土で、1・2は断面方形の箸である。1は上位に、2は中位に装飾があり、背面のみ切断痕を残して磨かれていません。3は断面円形の髪撫と考えられ、先端に段が作出される。4～7はC250号出土で、4は円筒形で草花状の線刻が施され、背面には円孔が穿たれる。根付であろうか。5は断面半円形の髪撫、6は耳搔きと考えられる。7は撥で、銀杏形の平面を呈し、中央に段が作出される。

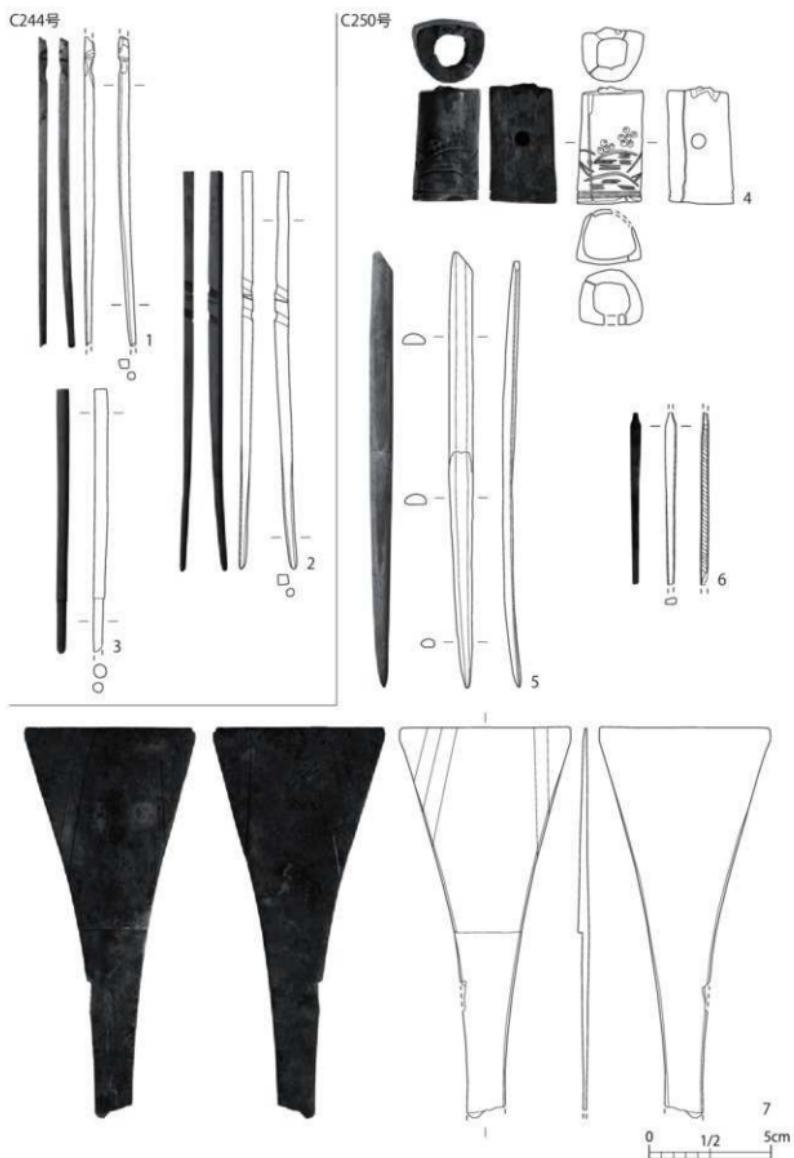
第319図1～7はC536号出土で、1は断面楕円形の耳搔き、2は第318図2と類似する箸である。3は円筒状で厚さ1.5～2mmに削り抜かれた鍔と考えられ、やや厚い4も同様であろう。5は貝杓子で、イタヤ貝右殻を素材とし、腹縫は摩耗し、貫通孔を1か所のみ確認した。6は加工痕の残る鹿角の残滓で、およそ1cm四方の格子目状に素材を採取したことが分かる。7は物差しで、1寸単位で短い線刻、5寸単位で長い線刻がみられる。8～11は遺構外出土のボタンで、いずれも中央に窪みが作出されている。



第316図 骨角貝製品(1) (1/2)

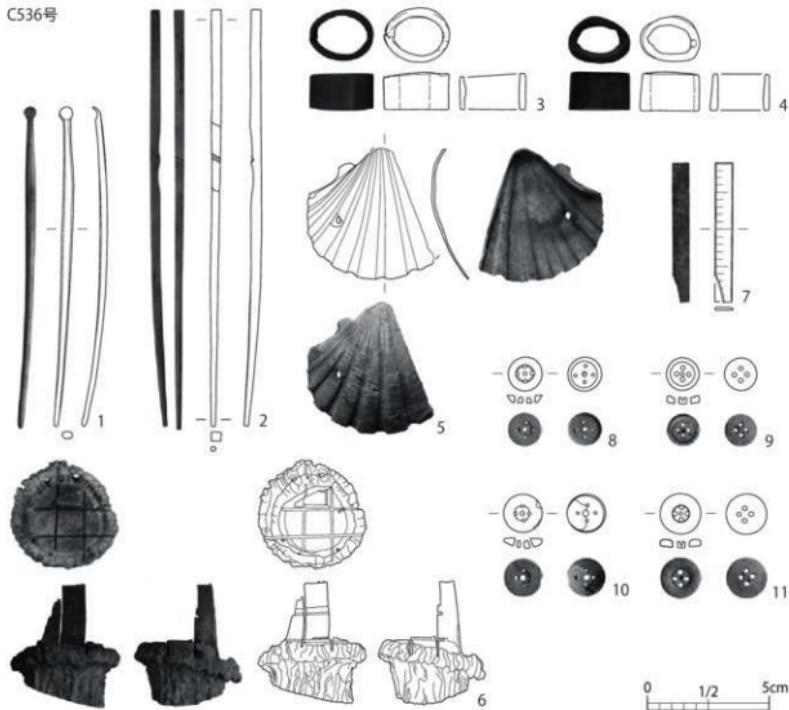


第317図 骨角貝製品 (2) (1/2)



第318図 骨角貝製品(3)(1/2)

C536号



第319図 骨角貝製品(4)(1/2)

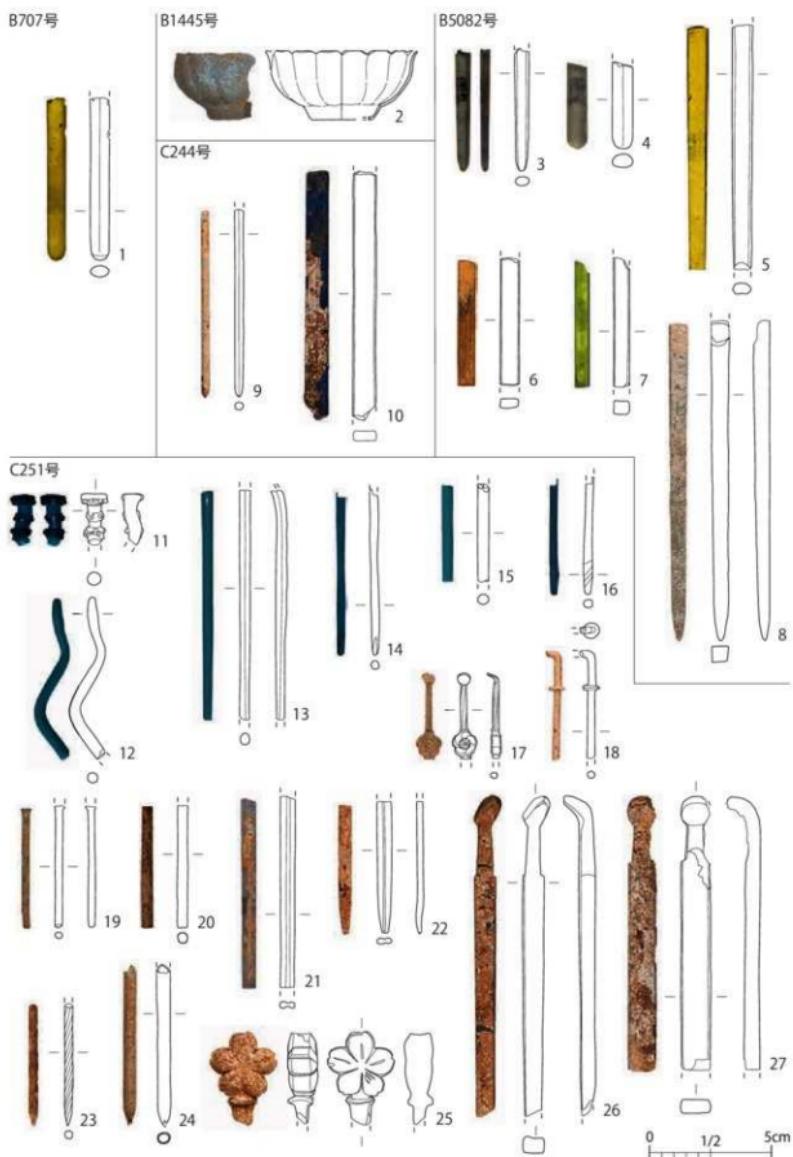
第108表 骨角貝製品観察表

測定番号 種類 番号	出土地点	器種 種別	材質	特徴	残存率 (%)	法量 (mm)			重量 (g)	整理 番号
						長さ	幅	厚み		
316 1	B1-2号タ 牛下部	ボタン	骨製	断面長方形 / 径 2mm の穿孔 5か所 / 次細部再加工	100	16	16	3.5	0.9	26025
316 2	B588号	繩か	骨製	円筒状 / 厚さ 1 ~ 1.5mm に削り抜き / 二次焼熱	50	16	28	2	1.6	26012
316 3	B588号	繩縫	骨製	球形 / 中央に径 5mm の穿孔	70	17.1	18.8	18.5	5.4	26118
316 4	B588号	縫具	骨製	断面丸太長方形 / 径 5mm の穿孔 2か所	70	(17.5)	7	4	0.4	26081
316 5	B589号	ボタン	骨製	断面半円形 / 表面に円形・放射状の線刻 / 裏面に内部で連結する径 3mm の穿孔 2か所	100	17.5	17	2.5	0.5	26060
316 6	B589号	不規則筒製品	骨	円筒状 / 表面にケツリ縫合者	90	41.5	22	22	7.5	26122
316 7	B890号	繩	牙製	断面形状 / 棒に一部赤色漆残存	90	160.5	28	4	16.4	26006
316 8	B2305号	発泡	骨製	断面板状 / 表面平滑	60	(83.5)	75	1.7	1.6	26089
316 9	B2384号	双六の駒	骨製	円盤状 / 表面平滑で一部剥落	90	20.5	20.5	3.5	1.3	26090
316 10	B2399号	繩か	骨製	棒状 / 断面円形	100	152	5	4	2.7	26095
316 11	B2731号	貝杓子	貝製	イタキ貝右殻 / 膜層摩耗 / 穿孔 2か所	90	71	85	1.9	15.2	26091
316 12	B2748号	繩仏	骨製	断面長方形 / ブラシ部穿孔 1列 / 裏面に継目 1条	40	(63)	4	5.5	1.3	26007
316 13	B2793号	管	骨製	棒状 / 断面円形 / 表面平滑	60	(78)	4	4	1.9	26008
316 14	B2952号	発泡	骨製	棒状 / 断面板状 / 表面平滑	100	114	11	4	3.8	26011
316 15	B2952号	横おし	骨製	圓筒形 / 断面板状 / 表面に文字 (表:「■」「内■」「寿■」「寿 別か白■」、裏:「山と■」「寿■」「寿■」「寿■」)	60	(70)	26	2	1.8	26009
317 1	B3084号	貝子	角製か 立方体	断面長方形 / ブラシ部穿孔 2列 / 背面に線刻	90	12	11.5	11	1.3	26005
317 2	B5086号	繩仏	骨製	断面半円形 / 表面に内部で連結する径 3mm の穿孔 2か所	80	(136.2)	9.6	4.3	5.7	26085
317 3	B5086号	ボタン	骨製	断面半円形 / 表面に内部で連結する径 3mm の穿孔 2か所	100	15	15	2.7	0.4	26073
317 4	B5086号	ボタン	骨製	断面半円形 / 表面に内部で連結する径 3mm の穿孔 2か所	100	15.5	15.5	3.2	0.7	26075
317 5	B5086号	ボタン	骨製	断面半円形 / 表面に内部で連結する径 3mm の穿孔 2か所	100	12	12	2.7	0.4	26074
317 6	B5086号	繩先か	骨製	断面半円形 / 断面板状 / 先端直線部に加工 / 表度一部残存	70	(33)	(50)	2.5	5.1	26114
317 7	B5086号	双六の駒	骨製	円盤状 / 表面平滑	100	19	18.5	4	1.7	26076
317 8	C111号	発泡	骨製	断面板状 / 刻画した表面のみ残存 / 黑書「口」「女」「系」	破片	(91)	9	(0.5)	0.7	26003
317 9	C140号	鹿角切断品	角製	不定形 / 切断部 2か所	100	66	54	3.7	80.6	26123
318 1	C244号	著	牙製か 骨製	断面半円形 / 上部に線刻	80	(127)	4	4	3	26015
318 2	C244号	著	骨製	断面半円形 / 左側方に斜位の線刻	100	16.3	5	4	4.8	26013
318 3	C244号	発泡	骨製	棒状 / 断面半円形 / 先端部に段を作出	80	(108)	5	5	3	26014
318 4	C250号	軸付か	骨製	円筒状 / 縫合による草花文 / 表面中央に径 6mm の穿孔	100	47.9	26	70	22.9	26001
318 5	C251号	発泡	骨製	棒状 / 断面半円形	100	179	95	4.6	7.3	26004
318 6	C251号	耳掛け	骨製	棒状 / 断面半円形 / 右側部に擦痕	80	(71.9)	4.4	2.9	1	26088
318 7	C251号	指	骨製	圓筒形 / 断面板状 / 中央に段を作出 / 先端部は粗面に沿ってひび割れ	90	(160)	70	5	23.4	26016
319 1	C536号	耳掛け	骨製	棒状 / 断面椭圆形	100	131	4.5	3	1.9	26017
319 2	C536号	著	骨製	断面半円形 / 正面・左側方に斜位の斜位の線刻	100	171	4	5	4.0	26018
319 3	C536号	繩か	骨製	円筒状 / 厚さ 1.5 ~ 2mm に削り抜き	100	27	23	16	4.1	26124
319 4	C536号	繩か	骨製	円筒状 / 厚さ 2 ~ 3mm に削り抜き	100	16	24	4	4.7	26002
319 5	C536号	貝杓子	貝製	イタキ貝右殻 / 膜層摩耗 / 穿孔 1か所	50	53.5	(47)	2.9	7.4	26019
319 6	C536号	鹿角素材	角製	不定形 / 加工版の残る鹿角残滓 / 縫合の切り込み / 中央は 1cm 四方の立方体素材を採取か	100	50	44	43.5	35.1	26110
319 7	C536号	物差し	角製	板状 / 長短の線刻 / 線刻の間隔は約 3mm	90	57	7	1.2	0.8	26111
319 8	B1-1(k- 2-3)号	ボタン	骨製	断面半円形 / 径 1.5mm の穿孔 5か所	100	14	14	3	0.7	26023
319 9	B1-1(k- 2-3)号	ボタン	骨製	断面半円形 / 径 1.5mm の穿孔 4か所 / 表面中央に円形刻変 1か所	100	13.1	13.1	3.3	0.5	26021
319 10	B1-1(k- 3-4)号	ボタン	骨製	断面長方形 / 径 2mm の穿孔 1か所 / 径 1.5mm の穿孔 4か所	90	16	16	3.7	0.8	26030
319 11	B1-1(k- 2-3)号	ボタン	骨製	断面長方形 / 径 2mm の穿孔 4か所 / 表面中央に円形刻変 1か所	完形	16.7	16.7	3.5	0.9	26020

(10) ガラス製品（第320～322図、第109表）

近世のガラス製品は、出土数は限定的であるが、その多くが簪や笄といった結髪道具で、わずかに器物が含まれる。材質は鉛ガラスと考えられ、色調や形態にバリエーションがみられる。19世紀代に比定されるC251号・C536号からの出土が目立つ。

第320図1はB707号出土の笄で、断面は楕円形、色調は黄色半透明である。2は1445号出土の輪花形の碗で、色調は無色半透明である。3～8はB5082号出土の笄で、3～5は断面楕円形、6～8は長方形ないしは方形を呈する。9・10はC244号出土で、9は断面円形の簪と考えられ、色調は無色半透明と推測されるが表面の白色層が顯著で判然としない。10は断面長方形の簪である。11～27・第321図1～10はC251号出土である。11は水色不透明の簪で、先端に青色半透明のガラスを溶着し装飾を施す。12～16は水色不透明で断面円形の簪で、12は大きく屈曲し、16は先端がややねじれている。17～24は無色の簪で、17は先端部が耳搔き状となり、中位に花弁状の装飾がある。18は先端部がL字状に屈曲し、中位に円盤状の装飾がみられる。21・22は断面扁平で表裏の中央に溝状の凹みがある。23は全体にねじりが施され、24は断面円形で中空となる。25～27・第321図1～8は笄で、第320図25は先端が桜の花弁状の装飾がみられる。26・27・第321図1は断面長方形で、先端が耳搔き状を呈するもので、第321図2・3も同様の装飾がなされていた可能性があろう。4は断面が方形、5・6は長方形を呈する。7・8は全体にねじりが施される。9は水色不透明の連弁状の碗である。10は円盤状を呈する用途不明品で、周縁部に打ち欠いたような痕跡が観察される。第321図11はC305号出土の黄色半透明の笄で、断面は円形を呈する。12はC521号出土の簪と考えられ、断面円形で、白色不透明の本体の上位に赤色透明のガラスで花弁状の装飾が施される。13～23・第322図1～5はC536号出土である。13～16は簪で、13は水色不透明の本体の先端に白色半透明のガラス溶着し、さらに緑色半透明のガラス溶着し装飾を施す。14～16は全体にねじりが施されるもので、14は先端がU字状に屈曲する。17～23・第322図1～4は笄で、17は耳搔き状の先端部、18は平面六角形で表面に凹凸が施された先端部のみが遺存する。19・20はいずれも断面長方形のもので、表面は白色層が顯著にみられる。21は無色半透明のもので、意匠は不明ながら表面に草花状の装飾が施される。22・23も無色不透明で、22は断面長方形で表面が銀化している。第322図1・2はともに中央に溝状の凹みを有するもので、1は水色半透明、2は黄色半透明で、いずれも表面に浅黄橙色の付着物がみられる。3は断面扁平の笄先端部で、水色不透明で先端が尖っている。4は白色不透明で断面は楕円形を呈する中空の笄である。5は瓶と考えられ、無色半透明で表面は白色層がみられる。6・7はC598号出土で、断面円形でやや細い6は簪、断面方形で太い7は笄とした。いずれも表面に浅黄橙色の付着物が顯著にみられる。8はC651号出土で、断面は方形ながら各民に溝状の凹みを有し、白色不透明の本体の上部に青色透明のガラスを溶着して装飾を施す簪である。9はC673号出土の小笄で、水色不透明のガラスを素材とし、口縁は端反形を呈する。10～13は遺構出土で、10は生糸半透明で断面円楕円形の笄、11は無色透明で断面円形かつ中空の簪、12は無色半透明で全体にねじりが施された笄である。13はおはじきで、無色透明の本体に白色不透明・水色不透明のガラスが溶着され、表裏ともに複数条の溝がみられる。



第320図 ガラス製品(1) (1/2)

C251号



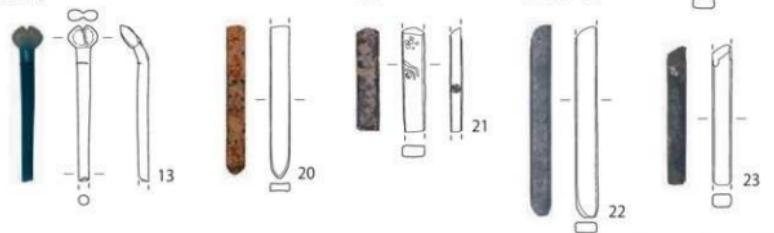
C305号



C521号

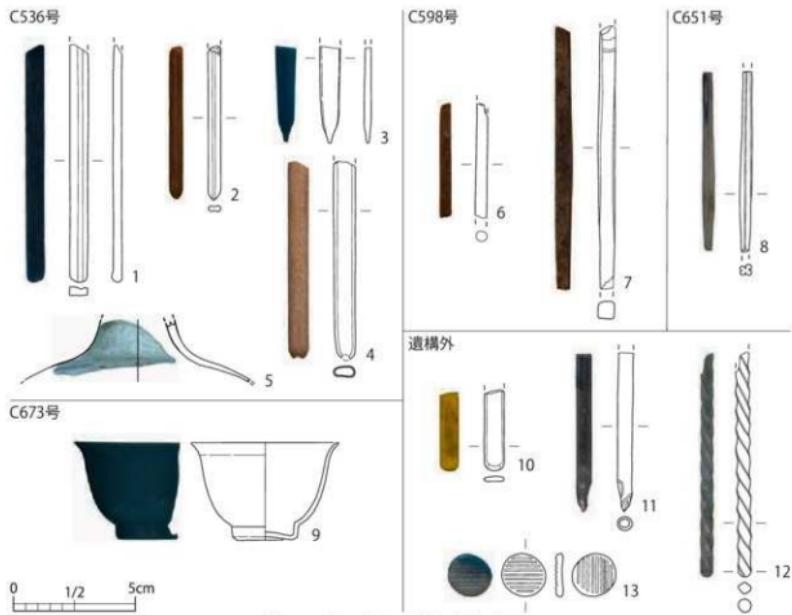


C536号



0 1/2 5cm

第321図 ガラス製品(2) (1/2)



第322図 ガラス製品 (3) (1/2)

第109表 ガラス製品観察表

測定番号 標印 番号	出土地点	種別 器種	特徴	色調	透明度	残存率 (%)	法線 (mm)			物 理 番号
							長さ	幅	厚み	
320 1 B707 号	界	断面楕円形 / 表面磨り化	黄色	半透明	40 (67)	8	4.5	6.4	27006	
320 2 B1445 号	画	輪花形 / 表面白色刷	無色	半透明	30 (62)	28	24	5.3	27012	
320 3 B5082 号	界	断面楕円形 / 表面磨り化	無色	透明	30 (50)	6	4	2.8	27023	
320 4 B5082 号	界	断面楕円形 / 表面磨り化	無色	半透明	20 (34)	8.5	6	4.4	27020	
320 5 B5082 号	界	断面楕円形 / 表面磨り化	黄色	半透明	70 (100)	8	4.5	10.9	27019	
320 6 B5082 号	界	断面長方形 / 表面浅黄褐色刷	黄色	半透明	30 (52)	7.5	4	4.6	27021	
320 7 B5082 号	界	断面方形 / 表面磨り化	黄色	半透明	30 (53)	6.5	6	6.4	27022	
320 8 B5082 号	界	断面方形 / 表面磨り化	無色	半透明	80 (131)	7	6.5	18.3	27018	
320 9 C244 号	鶴	断面円形 / 表面白色刷顯著	無色	半透明	60 (77)	3.5	3.5	1.9	27031	
320 10 C244 号	界	断面長方形 / 表面白色刷	青色	半透明	70 (152)	9.5	4	14.2	27036	
320 11 C251 号	鶴	断面円形 / 先端に青色半透明ガラス溶着し装飾	水色	不透明	10 (21)	10.4	10.4	1.9	27106	
320 12 C251 号	鶴	断面円形	水色	不透明	50 (56.5)	5	5	2.5	27118	
320 13 C272 号	鶴	断面円形	水色	不透明	60 (94)	4	4.5	3.0	27049	
320 14 C251 号	鶴	断面円形	水色	不透明	60 (98)	3.5	3.5	1.3	27151	
320 15 C251 号	鶴	断面円形	水色	不透明	30 (40)	4.5	4.5	1.4	27128	
320 16 C251 号	鶴	断面円形 / 先端はねじり / 二次被熱	水色	不透明	30 (48.4)	3.5	3.5	0.8	27145	
320 17 C251 号	鶴	断面円形 / 花弁状の装飾 / 先端部は彫刻状 / 表面白色刷	無色	半透明	30 (35)	10	4	1.7	27154	
320 18 C251 号	鶴	断面円形 / 表面白色刷顯著	無色	透明	30 (44)	6.5	6.5	1.3	27141	
320 19 C251 号	鶴	断面円形 / 表面磨り化	無色	透明	80 (50)	3	4	1.2	27121	
320 20 C251 号	鶴	断面円形 / 表面白色刷顯著	無色	透明	30 (50)	4	4	3	27155	
320 21 C272 号	鶴	断面円形 / 表面中央に溝 / 表面白色刷	無色	半透明	50 (78)	6	2.5	3	27052	
320 22 C250 号	鶴	断面扁形 / 表面中央に溝 / 表面白色刷顯著	無色	半透明	30 (54)	6	2.5	2	27040	
320 23 C251 号	鶴	断面円形 / 表面白色刷顯著 / ねじり	不明	不明	30 (50)	3.5	3.5	1.2	27150	
320 24 C251 号	鶴	断面円形 / 中空 / 表面白色刷顯著	無色	透明	40 (66)	6	6	2	27159	
320 25 C251 号	界	断面長方形 / 先端部に短い花弁装飾 / 表面白色刷顯著	無色	半透明	20 (38)	27	12	18.6	27104	
320 26 C251 号	界	断面長方形 / 先端部は彫刻状 / 表面白色刷顯著	無色	透明	80 (131)	8.5	7	18.4	27131	
320 27 C251 号	界	断面長方形 / 先端部は彫刻状 / 表面白色刷顯著	無色	透明	70 (112)	11.7	6.6	22.1	27114	
321 1 C251 号	界	断面長方形 / 先端部は彫刻状 / 表面白色刷顯著	無色	半透明	50 (81)	12	7	17.7	27162	
321 2 C251 号	界	断面長方形 / 表面磨り化	無色	透明	90 (163.5)	7	4.5	17.1	27143	
321 3 C251 号	界	断面長方形 / 表面白色刷 / 染色刷顯著	無色	透明	70 (104)	11.3	5.6	12.4	27113	
321 4 C251 号	界	断面方形 / 表面白色刷顯著	無色	不明	70 (91)	7.6	6	12.1	27133	
321 5 C251 号	界	断面長方形 / 表面磨り化	無色	透明	70 (91.5)	8.1	4.5	10.6	27117	
321 6 C250 号	界	断面長方形 / 表面白色刷	無色	半透明	50 (79)	9.5	4	8.2	27037	
321 7 C251 号	界	断面円形 / ねじり / 表面白色刷	青色	半透明	30 (57.5)	5.9	5.9	3.7	27149	
321 8 C252 号	界	断面円形 / ねじり / 表面白色刷顯著	無色	透明	60 (103)	8	4.5	10.8	27042	
321 9 C251 号	小F	通体状	水色	不透明	30 (44)	(39.5)	—	4.8	27105	
321 10 C251 号	不明	円柱状 / 周縁に打ち欠き孔 / 表面白色刷	無色	半透明	100 (17.3)	17.3	1.1	0.8	27136	
321 11 C305 号	界	断面円形 / 表面浅黄褐色刷	黄色	半透明	70 (84)	5.7	5.7	6.8	27171	
321 12 C521 号	鶴	断面円形 / 表面赤色溶着で花咲状装飾溶着	白色	不透明	50 (69)	8	8	4.4	27165	
321 13 C536 号	鶴	断面円形 / 先端に白色半透明ガラス溶着 / 緑色半透明ガラス溶着し装飾	水色	不透明	30 (64)	5	5	3.1	27101	
321 14 C536 号	鶴	断面円形 / ねじり	白色	不透明	20 (36)	(18)	3.9	1.7	27079	
321 15 C536 号	鶴	断面円形 / ねじり / 表面白色刷顯著	無色	半透明	20 (63.5)	4.9	4.9	3.3	27080	
321 16 C536 号	鶴	断面円形 / ねじり	白色	半透明	30 (54.5)	3.5	3.5	1.3	27088	
321 17 C536 号	界	断面長方形 / 先端部は彫刻状 / 表面白色刷	無色	半透明	10 (30)	13.4	3.5	2.9	27058	
321 18 C536 号	界	断面長方形 / 先端部に細かな凹凸を有する装飾	無色	半透明か	10 (18)	8.5	6.5	3.9	27070	
321 19 C536 号	界	断面長方形 / 表面白色刷顯著	無色	透明	80 (150)	9	4	16.4	27092	
321 20 C536 号	界	断面長方形 / 表面白色刷顯著	無色	透明	30 (62)	7.5	3.5	5.7	27098	
321 21 C536 号	界	断面長方形 / 正方形・右側面に草花紋文様 / 表面磨り化	無色	半透明	30 (42.8)	9.4	5	5.6	27084	
321 22 C536 号	界	断面長方形 / 表面磨り化	無色	半透明	40 (78)	9	4	9.3	27097	
321 23 C536 号	界	断面方形 / 表面白色刷	無色	半透明	20 (57)	7.5	5.5	6.4	27066	
322 1 C536 号	界	断面長方形 / 表面浅黄褐色刷	水色	半透明	70 (97)	7	3.7	7.2	27069	
322 2 C536 号	界	断面椭円形 / 表面浅黄褐色刷	黄色	半透明	30 (63)	5.2	2.5	2.6	27083	
322 3 C536 号	界	断面椭円形 / 中空	白色	不透明	50 (81)	9	4.5	3.4	27093	
322 4 C536 号	界	断面椭円形 / 中空	白色	不透明	20 (37)	(46)	—	13.6	27100	
322 5 C536 号	瓶	断面円形 / 表面白色刷	無色	不透明か	30 (47)	4.6	4.6	2.9	27178	
322 6 C598 号	鶴	断面円形 / 表面浅黄褐色刷	黄色	不透明か	20 (39.5)	8.4	3.1	1.6	27076	
322 7 C603 号	界	断面方形 / 表面浅黄褐色刷	無色	半透明	70 (107.6)	7.2	7.4	3.0	27179	
322 8 C651 号	鶴	断面円形 / 4側面に溝 / 青色透明ガラス溶着	白色	不透明	50 (74)	5.5	5.5	2.8	27181	
322 9 C673 号	小F	端反形	水色	不透明	40 (80)	40	26	13.2	27182	
322 10 B1-1・K3-4面	界	断面椭円形 / 表面磨り化	黄色	半透明	20 (33)	8	2.5	2.3	27001	
322 11 C2-3・K4・楓丸	鶴	断面円形 / 中空 / 表面磨り化	無色	透明	50 (65)	6	3	2.3	27166	
322 12 C2-6・K2-3面	界	断面円形 / ねじり / 表面磨り化	無色	半透明	70 (92)	5.2	5.2	5.7	27170	
322 13 C1 (基礎 25 号)	おはじき	断面板状 / 白色不透明・水色不透明ガラス溶着	無色	透明	100	17.5	17.5	3	1.3	27072

(11) 近代以降の陶磁器（第 323～327 図、第 110・111 表）

近代以降の陶磁器は、軍用食器を中心としてわずかに出土が見られた。

陸軍士官学校を示す「土」のマークを有するものは、碗（第 323 図 7～10）、丼（第 323 図 12）、皿（第 324 図 10）等の器種が認められる。また「陸」の文字がある碗（第 323 図 5）、「陸軍省」の文字がある湯呑（第 324 図 1）、陸軍を示す星形のマークを有する鉢（第 323 図 15）や灰皿（第 325 図 10）等がある。「硬陶」のマークを有する硬質陶器も半数程度含まれ、碗（第 323 図 7～9）、皿（第 324 図 10・11）、また破片資料として散見される（第 327 図）。統制番号を有する資料も多く、「岐」「名」の生産地がある。第 325 図 10 の灰皿は、「信」「240」と読める。

このほか、「M」の刻印がある陶製のインク瓶（第 323 図 1、第 326 図 4）、「ERVEN LUCAS BOLS」「HET LOOTSJE」「AMSTERDAM」「1LITER」との刻印があるジンボトル（第 326 図 3）、練歯磨き粉容器（第 325 図 6）、また店名と電話番号が記された通い徳利（第 326 図 1）もある。



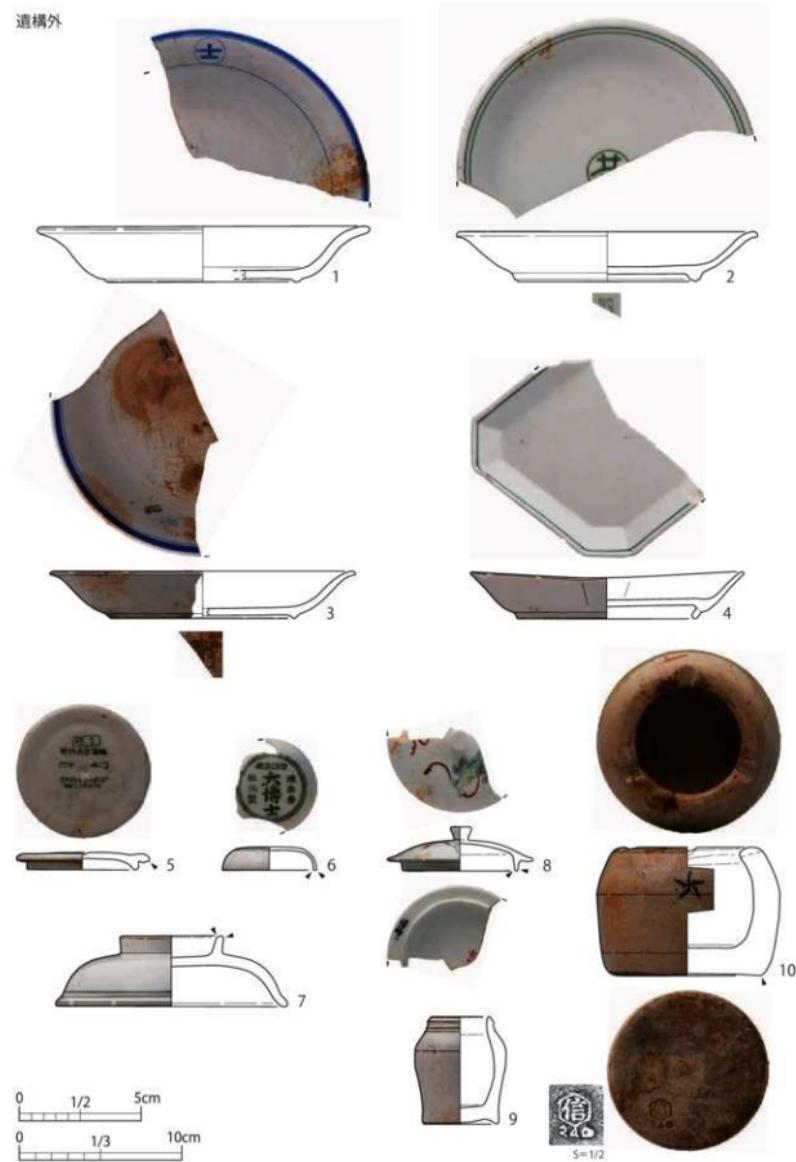
第323図 近代以降の陶磁器 (1) (1/2・1/3)

遺構外



第324図 近代以降の陶磁器(2)(1/3)

造構外



第325図 近代以降の陶磁器（3）（1/2・1/3）

造構外

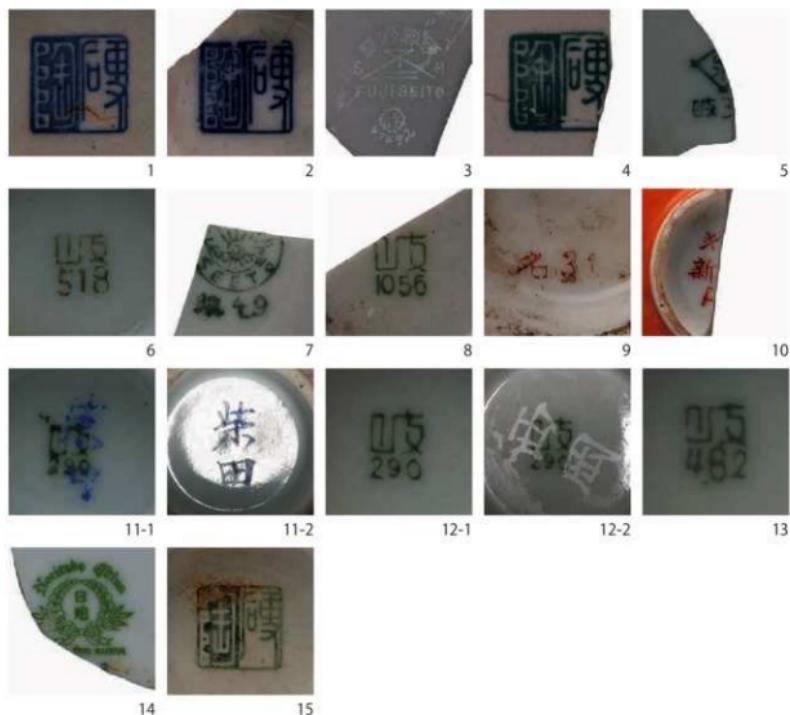


1



2

第326図 近代以降の陶磁器 (4) (1/2・1/3)



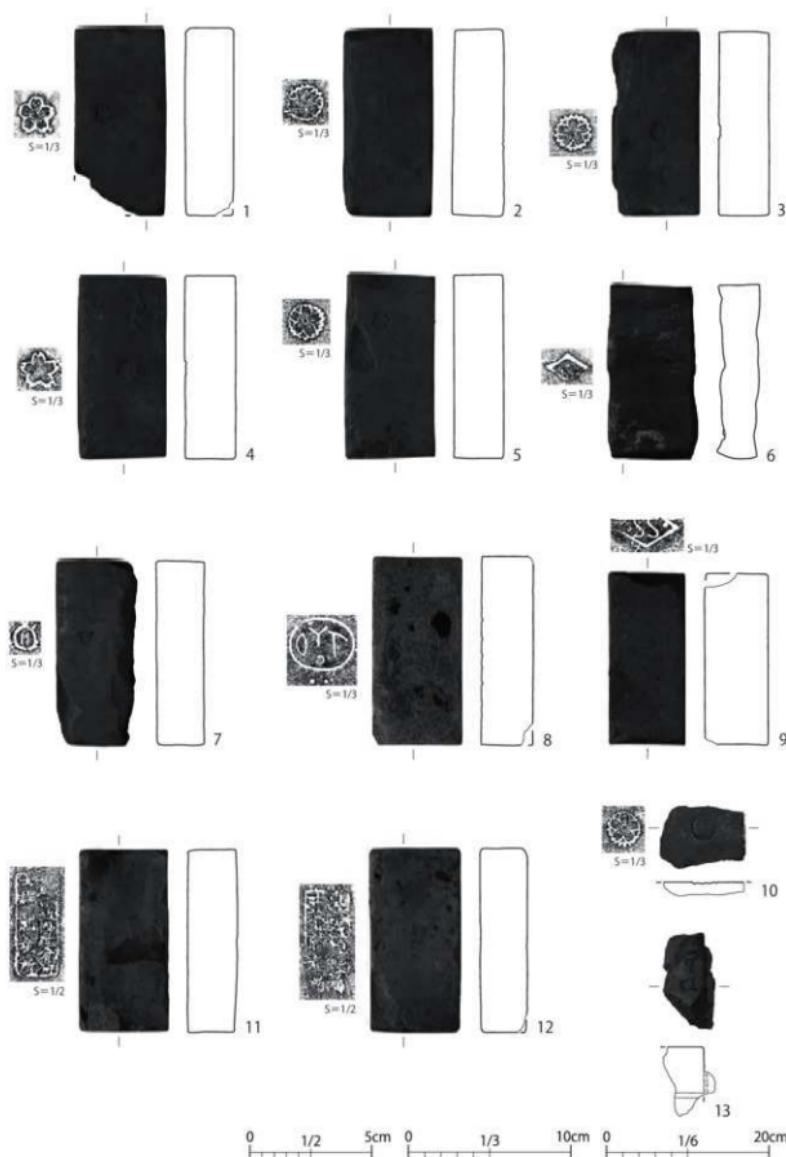
第327図 近代以降の陶磁器 文字資料（縮尺任意）

第110表 近代以降の陶磁器観察表(1)

掲載番号 登録番号	出土地点	材質	種類	器種	残存率 (%)	法盤(mm)			重量 (g)	胎土 色調	釉薬等	特徴	整理番号
						口径	脚高	底径					
323 1 B1号	陶器 蓋	インク	瓶	10	—	(109)	87	252	に赤い 模様	鉄輪	外面部下部に印字：「MARUZENINK・TOKYO」/ 底面に 印字：○に「M」	30023	
323 2 B1000号	磁器 蓋	墨	蓋	30	86	(54)	95	79	灰白	透明釉	外面部赤色スタンプ：「防衛食」「大日本防空食糧・・」	30010	
323 3 B1000号	磁器 蓋	墨	蓋	10	—	(124)	60	130	白	透明釉	高台内青色染付文字：「原平」	30015	
323 4 B2772号	陶器 蓋	墨	蓋	10	110	69	—	39	灰白	染付	○縁内青色二重團綱	30021	
323 5 C16号	磁器 瓶	墨	大瓶	40	153	66	56	184	白	染付	口縁内青色二重團綱 / 外面部に緑色文字：「陸」	30024	
323 6 C16号	磁器 瓶	墨	瓶	90	140	44	—	287	白	染付	外面部綠色二重團綱	30031	
323 7 B2-1区1-2面	磁器 瓶	墨	中瓶	50	104	57	36	104	灰白	染付	○縁内青色二重團綱 / 外面部中央に青色マーク：○に「土」 / 高台内青色スタンプ：「鐵陶」	30019	
323 8 B2-1区横足	磁器 瓶	墨	中瓶	40	106	57	39	87	灰白	染付	○縁内青色二重團綱 / 外面部中央に青色マーク：○に「土」 / 高台内緑色スタンプ：「鐵陶」	30018	
323 9 B2-1区横足	磁器 瓶	墨	中瓶	80	108	57	40	127	灰白	染付	○縁内青色二重團綱 / 外面部中央に青色マーク：○に「土」 / 高台内緑色スタンプ：「鐵陶」	30017	
323 10 C2区基礎44号 横足	磁器 瓶	墨	中瓶	50	104	52	36	116	白	染付	○縁内青色二重團綱 / 外面部中央に緑色マーク：○に「土」	30025	
323 11 B2-3区0-1面	磁器 瓶	墨	片	50	162	79	63	309	白	染付	○縁内青色二重團綱	30008	
C2区基礎43号 横足	磁器 瓶	墨	大瓶	40	146	75	60	215	灰白	染付	○縁内青色二重團綱 / 外面部中央に青色マーク：○に「土」 / 高台内青色模様あり	30032	
323 13 C2-2区基礎60 号横足	磁器 瓶	墨	片	40	147	84	60	172	白	染付	○縁内青色二重團綱 / 高台内：墨帯模様	30030	
323 14 B2-2区横足	磁器 瓶	墨	片	60	156	82	65	260	灰白	染付	○縁内青色二重團綱	30007	
323 15 B2-1区0-1面	磁器 瓶	墨	片	40	165	66	94	248	灰白	透明釉	見込み青色スタンプ / 高台内緑色不詳	30009	
323 16 B2-3区0-1面	磁器 瓶	墨	大瓶	20	130	(60)	—	97	白	染付	○縁内青色二重團綱 / 外面部中央緑色スタンプ：「東一」 / NH	30001	
323 17 C1区基礎25号	磁器 瓶	墨	小瓶	10	81	(39)	—	17	白	染付	○縁内青色二重團綱 / 外面部中央青色文字：「靖國神社」	30027	
324 1 B2-3区0-1面	磁器 瓶	墨	湯呑	40	68	70	43	73	灰白	染付	○縁内青色二重團綱 / 外面部中央緑色スタンプ：「勝軍作」 / 底部型押で統制番号分り	30002	
324 2 C2-2区基礎45 号横足	磁器 瓶	墨	湯呑	100	66	67	43	141	白	染付	○縁内青色二重團綱 / 底部墨帯内に緑色文字：「日陶製」	30026	
324 3 B2-1区横足	磁器 瓶	墨	湯呑	40	64	72	36	83	白	透明釉	底面型押でマークあり	30003	
324 4 C2区基礎44号 横足	磁器 瓶	墨	湯呑	40	63	66	34	51	白	透明釉	外面部に文字：「木村」/ 底面青色文字不詳	30028	
324 5 B1-3区2面	磁器 瓶	墨	湯呑	30	67	73	36	63	白	染付	吹翰による草花文 / 外面部青色文字：「鉢守業務部職員 組・」/ 「鉢守成・組・」	30004	
324 6 B1号下横足	磁器 瓶	合子	100	53 × 39	23	33 × 24	62	白	透明釉	練衝き粉入れ / 底面青色スタンプ：「前田櫻里街壇」 / 「瀧ヶ堂製造元」(貢御元)「東京馬喰町二丁目」(花王石 舎本屋)「近藤昌郎」	30006		
324 7 C2区基礎44号 横足	磁器 瓶	墨	小瓶	90	103	21	56	79	灰白	染付	○縁内青色マーク：○に「土」か	30039	
324 8 C2区基礎44号 横足	磁器 瓶	墨	小瓶	50	104	21	56	44	灰白	染付	○縁内青色二重團綱：○に「土」か / 高台内青色スタン プ：「鐵陶」	30038	
324 9 C2区基礎44号 横足	磁器 瓶	墨	片	10	—	(23)	80	156	灰白	染付	底面青色スタンプ：「鐵陶」	30040	
324 10 C2区基礎44号 横足	磁器 瓶	墨	中瓶	50	193	35	113	277	灰白	染付	○縁内青色二重團綱：○に「土」/ 高台内青色スタンプ： 「鐵陶」	30034	
324 11 C2区基礎44号 横足	磁器 瓶	墨	中瓶	50	198	36	115	327	灰白	染付	○縁内青色二重團綱 / 高台内青色スタンプ：「鐵陶」	30033	
324 12 C2区基礎44号 横足	磁器 瓶	墨	中瓶	10	236	26	140	69	灰白	染付	○縁内青色二重團綱	30035	
324 13 C2区基礎44号 横足	磁器 瓶	墨	中瓶	30	194	35	115	168	灰白	染付	○縁内青色二重團綱 / 见込み團綱	30037	
325 1 C2区基礎44号 横足	磁器 瓶	墨	中瓶	20	197	34	116	120	灰白	染付	○縁内青色二重團綱：○に「土」	30036	
325 2 C2区基礎45 号横足	磁器 瓶	墨	小瓶	50	186	31	109	186	白	染付	○縁内緑色二重團綱 / 见込み中央に文字：「其」か/ 高台内統制番号：「10」	30029	
325 3 B2-1区横足	磁器 瓶	墨	中瓶	30	184	29	112	108	灰白	染付	○縁内青色二重團綱 / 高台内緑色スタンプ：「鐵陶」	30020	
325 4 B1-3区2面	磁器 瓶	墨	中瓶	60	166 × 144	29 × 90	110 × 90	136	白	染付	○縁内緑色團綱	30005	
325 5 B2-2区横足	磁器 瓶	墨	合子	100	66	11	82	67	灰白	透明釉	上部に緑色文字：「硝 之」/ 特許典空器「フタト ル二八販売デカボンニビガラケ」	30012	
325 6 B1-2区0-1面	磁器 瓶	墨	片	60	58	14	58	12	白	透明釉	上部に緑色文字：「登録商標」「雄胸牌」「大博士」「松 本製」	30014	
325 7 B1-2区0-1面	磁器 瓶	墨	片	50	139	44	61	161	灰白	染付	○縁内青色二重團綱	30011	
325 8 B2-1区0-1面	磁器 瓶	墨	蓋	40	70	27	90	23	白	透明釉	上部に赤字文：「新潟県」/ 内面に赤字文：「有田・・」	30013	
325 9 B1-3区2面	磁器 瓶	化粧瓶	中瓶	40	34	66	44	82	灰白	透明釉	○縁内青色二重團綱	30016	
325 10 B2-3区横足	陶器 瓶	墨	灰瓶	100	80	79	94	903	に赤い 黄粉	灰白	外面部中央に青色の星形スタンプ / 底面に印字：「信」 [240]	30022	

第111表 近代以降の陶磁器観察表(2)

掲載番号 登録番号	出土地点	材質	種類	器種	残存率 (%)	法線(mm)			重量 (g)	胎土 色調	釉薬等	特徴	整理 番号
						口径	器高	底径					
326 1	C2区基礎 43号 現瓦	陶器	瓶	徳利	80	27	256	125	1140	灰白	灰釉・ 鉄釉	外面青色文字：「■升吉」「三番町」「電番一、二六三」	30058
326 2	C2区基礎 44号 現瓦	陶器	瓶	徳利	90	26	226	64	590	灰白	灰釉	外面鉄文字「忠」「中屋酒店」	30059
326 3	C1区現瓦	陶器	瓶	ジンボ トル	70	22	(284)	—	747	灰黄褐	鉄釉	外面上部に刻印「ERVEN LUCAS BOLS」/「HET LOOTSIE」/「AMSTERDAM」/「LITER」	30041
326 4	C1区基礎 57号	陶器	瓶	インク 瓶	90	42	207	89	919	に赤い 模様	鉄釉	外面下部に刻印不詳 / 底面に刻印「M」	30042
327 1	C2区基礎 44号 現瓦	硬質 陶器	鉢	片	鐵片	—	—	—	64	灰白	染付	高台内青色スタンプ：「硬陶」	30057
327 2	C2区基礎 44号 現瓦	硬質 陶器	碗	中碗	鐵片	—	—	—	47	灰白	染付	高台内青色スタンプ：「硬陶」	30055
327 3	C1区基礎 23号	磁器	皿	鐵片	—	—	—	—	—	白	透明釉	底面文：「■■磁器」/「SH」/「FUJI SEITO」/「許」/「■ 3472」	30054
327 4	B1738号	硬質 陶器	皿	中皿	鐵片	—	—	—	—	灰白	染付	高台内緑色スタンプ：「硬陶」	30053
327 5	B1000号	磁器	碗	湯呑	鐵片	—	—	—	—	白	透明釉	底面緑色スタンプ：丸和紙の株・統制番号「岐3・」	30044
327 6	B2-3区 0-1面	磁器	碗	湯呑	鐵片	—	—	—	37	白	透明釉	高台内緑色スタンプ：統制番号「岐518」	30045
327 7	B2-2区現瓦	磁器	碗	湯呑	鐵片	—	—	—	—	白	透明釉	底面緑色スタンプ：意匠不明マーク・「SEITO」/「岐 49」	30049
327 8	B2-2区現瓦	磁器	碗	中碗	鐵片	—	—	—	40	灰白	透明釉	高台内緑色スタンプ：統制番号「岐1056」	30046
327 9	B2-1区現瓦	磁器	皿	60片	—	—	—	—	45	白	透明釉	高台内青色スタンプ：統制番号「岐31」	30052
327 10	B2-1区現瓦	磁器	碗	湯呑	鐵片	—	—	—	—	白	上給付	高台内青色文字：「牛・・・「新・・・」	30050
327 11	B2-1区現瓦	磁器	碗	湯呑	鐵片	—	—	—	37	白	透明釉	高台内緑色スタンプ：統制番号「岐280」。青色文字： 「朝日」	30048
327 12	B2-1区現瓦	磁器	碗	湯呑	鐵片	—	—	—	—	白	透明釉	高台内緑色スタンプ：統制番号「岐290」。青色文字： 「西暦」	30047
327 13	B2-1区現瓦	磁器	碗	湯呑	60片	—	—	—	38	白	透明釉	高台内緑色スタンプ：統制番号「岐482」	30043
327 14	B1-3区 1-3面	磁器	皿	鐵片	—	—	—	—	—	白	透明釉	底面中央に緑色スタンプ：「Noritake China」/「日陶」 「TOKI KAISHA」	30051
327 15	C540号	硬質 陶器	碗	中碗	鐵片	—	—	—	41	灰白	染付	高台内緑色スタンプ：「硬陶」	30056



第328図 レンガ (1/2・1/3・1/6)

第 112 表 レンガ観察表

測定番号 種別 番号	出土地点	種別	成形	刻印等	残存率 (%)	法量 (mm)			重量 (g)	整理 番号
						長さ	幅	厚み		
328 1 C14 号	普通	手抜	刻印：単弁桜花		90	231	110	60	2165	31007
328 2 C14 号	普通	手抜	刻印：複弁桜花		100	230	110	64	2434	31008
328 3 C14 号	普通	手抜	刻印：複弁桜花		90	226	107	62	2213	31009
328 4 C2-1-K	普通	手抜	刻印：単弁桜花		100	225	112	63	2424	31010
328 5 C2-1-K	普通	手抜	刻印：複弁桜花		100	226	110	61	2365	31011
328 6 C2-2-K 0-1 面	普通	手抜	刻印：菱形枠に「N」/被熱により変形		100	212	100	50	2149	31012
328 7 B1-K	普通	手抜	刻印：菱形枠に「二」		80	226	99	59	1780	31004
328 8 B2-1-K 0-1 面	耐火	機械	刻印：楕円枠に「OYD」		90	232	110	64	2799	31003
328 9 B2-3-K 観瓦	耐火	機械	小口に刻印：菱形枠に「・SS・」		90	210	92	78	3210	31002
328 10 C2-3-K 観瓦	普通	手抜	刻印：複弁桜花		破裂	(7.0)	(5.2)	(13)	43	31013
328 11 C14 号	普通	手抜	刻印：長方形枠に「東洋組西尾分局」「土族就産所」		90	224	109	61	2453	31006
328 12 B1-K	普通	手抜	刻印：長方形枠に「東洋組西尾分局」「土族就産所」		100	226	109	58	2360	31005
328 13 B1-1-K	普通	不明	墨書：■■■ / モルタル付着		10	(119)	(55)	(87)	452	31001

(12) レンガ (第 328 図、第 112 表)

レンガは主に建物基礎の構築材として一定数確認されているが、このうち刻印を有するものを図示した。

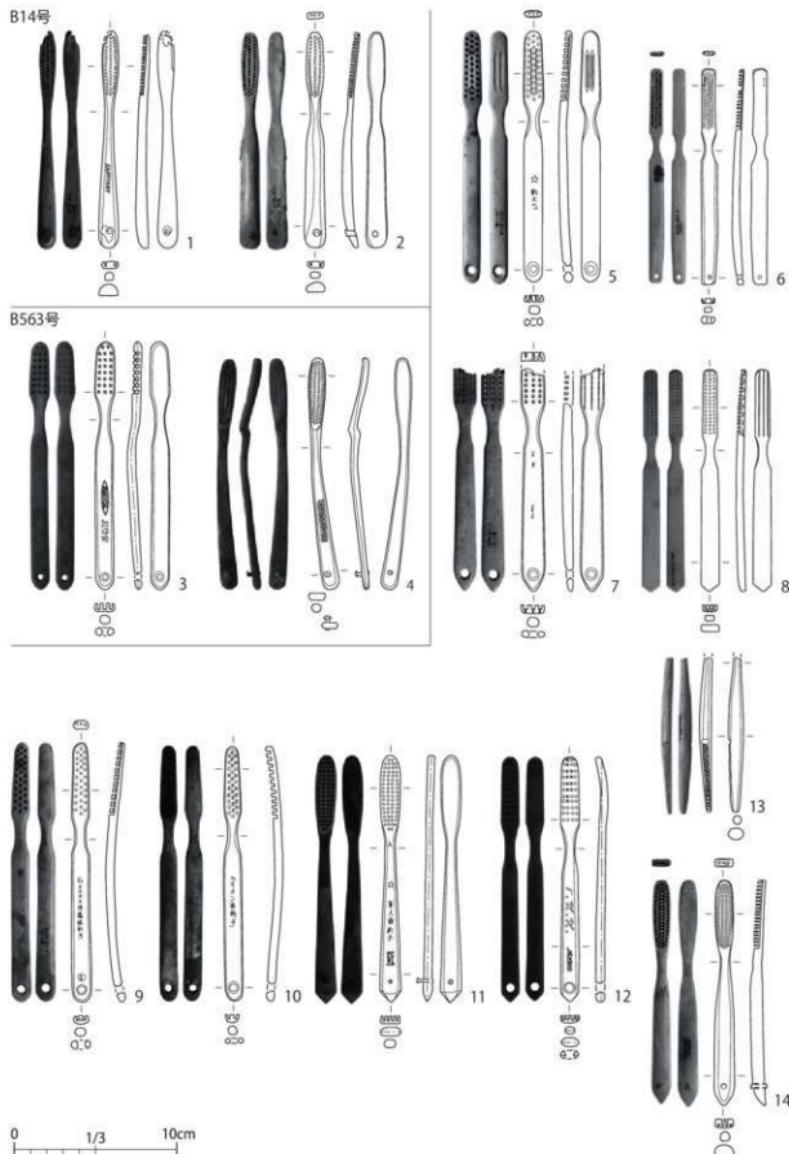
第 328 図 1 ~ 5・10 は桜花を刻印とするもので、1・4 が単弁桜花、その他は複弁桜花である。成形はすべて手抜成形で、小菅集治監製のものと考えられる。6 は被熱により全体的に変形しており、刻印は菱形枠に「N」となる。7 は長手部分の側面が剥離しており、刻印は丸枠に 2 本線である。8・9 は機械成形の耐火煉瓦と考えられ、8 の刻印は楕円枠に「OYD」、9 は菱形枠に「・SS・」となる。11・12 は手抜成形の普通レンガで、刻印はいずれも長方形枠に「東洋組西尾分局」「土族就産所」となり、胎土の色調は 1 ~ 7 に比べて白味が強い。13 はモルタルが付着した破片であるが、「口」と読める墨書が確認されている。

(13) 近代以降の骨・樹脂製品 (第 329 図、第 113 表)

近代以降の骨・樹脂製品として、歯ブラシを取り上げた。第 329 図 1・2・5 ~ 10・13・14 が骨製、その他が樹脂製と考えられる。製作技法としては、一つの素材から削り出されるものと貼り合わせにより成形されるものがある。ブラシ部分は遺存していないが、植毛方法については縦方向の各列に穿孔して結束する方式と、植毛孔それぞれに金属板で括り付ける方式が認められる。

刻印としては、1 が「SANITARY」、3 がレンズ状の枠内に「SMOCA」および「スモカ」、5 が遺存状況は不良であるが「☆戦丈齒■■」、7 が「STE ■■■ ZED」「TOKYO」、9 が「エスエス消毒歯刷子」、10 が「ライオン歯刷子」、11 が「A」「☆」「軍人歯刷子」「内外工商株式会社」、12 が「T.K.K.」「No.1300」とそれぞれ判読できる。

柄尻には 8 以外すべてに掛け具孔が穿たれ、このうち 1・2 には金属製、4・11・14 にはおそらく本体と同一素材と考えられる掛け具が残存する。また 13 は柄部側面に格子状の線刻があり、舌苔を除去するものであろう。



第329図 近代以降の骨・樹脂製品 (1/3)

第113表 近代以降の骨・樹脂製品観察表

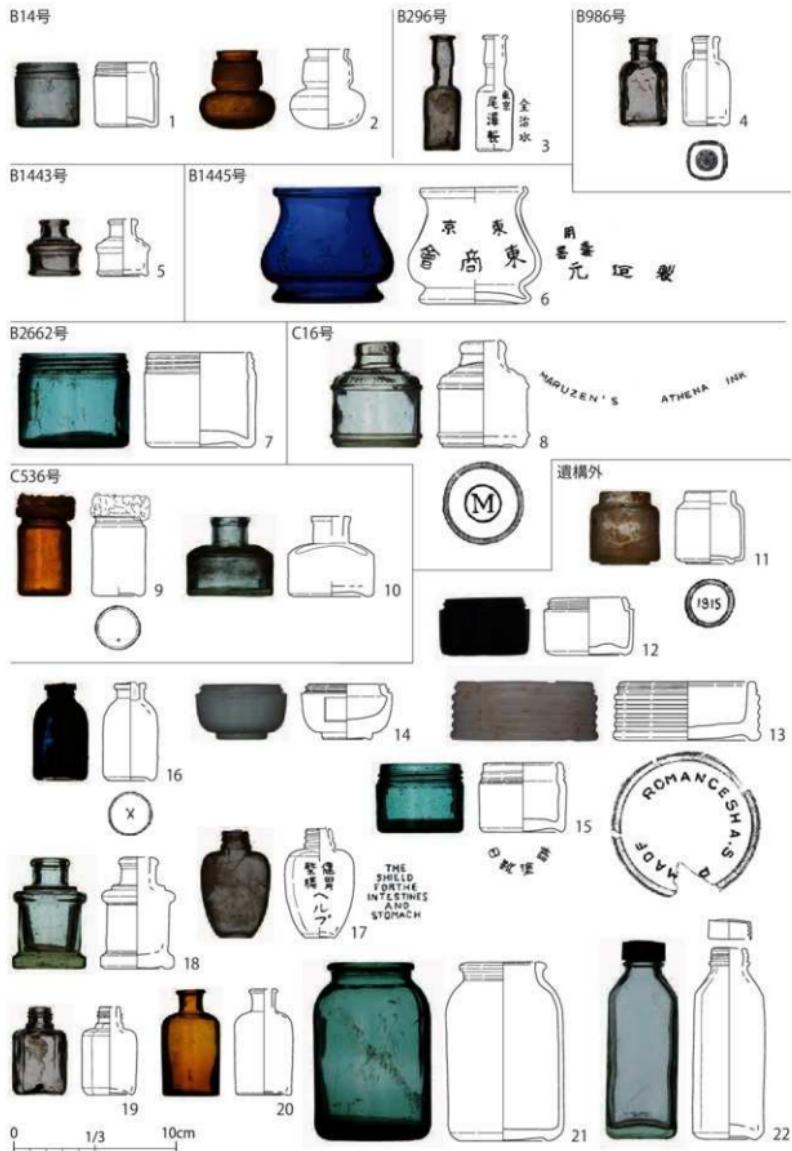
測定番号 種類 番号	出土地点	種類	材質	特徴	現存率 (%)	法規 (mm)			整理 番号
						長さ	幅	厚み	
329 1 B14 号	街ブラシ	骨製		断面平行形 / ブラシ部植毛孔 3 列 / 上端部穿孔 3 列 / 柄尻に金属製器具残存 / 刻印:「SANITARY」	90	134	12	7	10.1 26078
329 2 B14 号	街ブラシ	骨製		断面平行形 / ブラシ部植毛孔 3 列 / 上端部穿孔 3 列 / 柄尻に径 2mm の掛具孔 / 金属製器具残存	90	133	13	6	11.4 26080
329 3 B563 号	街ブラシ	樹脂製		断面平行形 / ブラシ部植毛孔 3 列 / 植毛孔内に一部金属線残存 / 柄尻に径 7mm の掛具孔 / 刻印:「SMOCA・スモカ」	100	142	10	6	5.7 26127
329 4 B563 号	街ブラシ	樹脂製		断面平行形 / ブラシ部植毛孔 4 列 / 柄尻に器具残存 / 文字不清	100	153	11	2	8.5 26128
329 5 B1-4 K-0-1 面	街ブラシ	骨製		断面楕円長方形 / ブラシ部植毛孔 3 列 / 上端部穿孔 3 列 / 真鍮線刻 2 列 / 柄尻に径 8mm の掛具孔 / 刻印:「公教人頭■■」	100	154	12.5	5.5	13.2 26084
329 6 B1-1 K-楕丸	街ブラシ	骨製	3mm	断面楕円長方形 / ブラシ部植毛孔 3 列 / 上端部穿孔 3 列 / 柄尻に径 3mm の掛具孔	100	132.5	10	7	6.7 26052
329 7 B1-1 K-西螺石下部	街ブラシ	骨製		断面楕円形 / ブラシ部植毛孔 3 列 / 裏面に線刻 3 列 / 柄尻に径 7mm の掛具孔 / 刻印:「STE ■■■ ZED」(TOKYO)	80	135	14	7	13.9 26079
329 8 C2 K基礎 52-53 号	街ブラシ	骨製		断面長方形 / ブラシ部植毛孔 3 列 / 裏面に線刻 3 列	100	136	11	4.4	9.3 26087
329 9 B1-4 K-0-1 面	街ブラシ	骨製		断面楕円形 / ブラシ部植毛孔 3 列 / 上端部穿孔 3 列 / 柄尻に径 7mm の掛具孔 / 刻印:「エスエヌ清瀬刷子」(0)	100	159	11	6	13.5 26061
329 10 B1-3 K-0-2 面	街ブラシ	骨製か 樹脂		断面楕円形 / ブラシ部植毛孔 3 列 / 植毛孔内に一部金属線残存 / 柄尻に径 6mm の掛具孔 / 刻印:「ライオン清瀬刷子」	100	156	11.2	5.3	8.5 26082
329 11 B1-3 K-2-3 面	街ブラシ	樹脂製か 樹脂		断面楕円長方形 / 船り合せ成形 / ブラシ部植毛孔 4 列 / 植毛孔内に一部金属線残存 / 柄尻に径 2.5mm の掛具孔 / 掛具残存 / 刻印:「A」(「A」)「軍人刷子」(内外工商株式会社)	100	153	12	5.5	9.4 26083
329 12 B1-3 K-楕丸	街ブラシ	樹脂製か 樹脂		断面楕円形 / 船り合せ成形 / ブラシ部植毛孔 4 列 / 植毛孔内に一部金属線残存 / 柄尻に径 7mm の掛具孔 / 刻印:「T.K.K.」(No.1300)	100	155	11.2	5.5	7.6 26058
329 13 B1-1 K-2-3 面	街ブラシ	骨製		断面楕円形 / ブラシ部植毛孔 4 列 / 柄部側面に椅子状の擦刻	50	69.5	9.0	7.0	6.4 26022
329 14 B2-1 K-楕丸	街ブラシ	骨製		断面平行形 / ブラシ部植毛孔 4 列 / 上端部穿孔 4 列 / 柄尻に径 3mm の掛具孔 / 掛具残存	100	138	12	8	12.4 26062

(14) 近代以降のガラス製品（第330～332図、第114表）

近代以降のガラス製品として、ガラス瓶を取り上げる。出土したガラス瓶は、飲料瓶・薬瓶・化粧瓶・文具瓶と多岐にわたり、一部が近世以降の遺構に混入するものの、大半が近代以降の整地層等の出土である。現代の所産も含むが、大半が1960年代までに収まるもので、調査地点が警視庁敷地となる以前の資料と考えられる。

遺構出土のガラス瓶は、B14号の第330図1・2はいずれも薬瓶と考えられ、2は合わせ蓋となる。B296号出土の3は一般用薬瓶で、コルク栓となり、陽刻は「全治水」「東京」「尾澤製」である。B986号出土の4は調味料瓶と考えられ、底面には丸枠に十字の陽刻が見える。B1443号出土の5は、小型のインク瓶で、陽刻はない。B1445号出土の6は、合わせ蓋で特徴的な形態を呈する薬瓶で、破損により一部判読不能であるが、「東京」「東商會」「用」「毒器」「製造元」とする陽刻がある。B2662号出土の7は、スクリュー栓のクリーム瓶であろうか。C16号出土の8はインク瓶で、肩部には「MARUZEN'S」「ATHENA INK」、底部には丸枠に「M」とする陽刻がある。C536号出土の9は金属製の蓋が残存する薬瓶と考えられ、底部には小さな「H」の陽刻がある。10は陽刻のないインク瓶で、肩部には筆置きの窪みがある。

遺構外出土のガラス瓶として、第330図11は合わせ蓋となる用途不明の円筒形の瓶で、底面に「1915」の陽刻がある。12はスクリュー栓となる比較的扁平なもので、靴墨瓶であろうか。13はスクリュー栓のボマード瓶で、底面には「ROMANCESHA.S」「P ■ MADE」とする陽刻がある。14は化粧品瓶と考えられ、体部には商品名が貼付されていたとみられる長方形の凹みがある。15はスクリュー栓の靴墨瓶で、底面には「日靴塗聯」の陽刻がある。16はコルク栓のインク瓶で、内面には群青色のインクが付着している。17はスクリュー栓の一般用薬瓶で、器壁がとても薄く、体部に「健胃整腸ヘルプ」「THE SHIELD FOR THE INTESTINES AND STOMACH」の陽刻がある。18は陽刻はないもののインク瓶、19は角筒状のインク瓶であろうか。20はコルク栓でなじ肩の薬瓶、21はややいかり肩を呈する用途不明瓶である。22は樹脂製の蓋が残存する角筒状の瓶で、化粧品瓶と考えられる。第331図1は食用油の瓶で、スクリュー栓、体部下位に「DAIICHI OIL CO.」、底部には方形枠に「大一」の陽刻がある。2は薬瓶と考えられ、断面は長方形を呈する。3は合わせ蓋となる用途不明の瓶で、底面に「M」の陽刻がある。4は化粧品瓶で、体部は格子目状のエンボス加工とともに「LION S」「T S CO」の陽刻、底面には「175 C.C.」の陽刻がそれぞれみられる。5はサイダー瓶で、胴部下位に「登録（マーク）商標」「日本麥酒醸泉株式會社」の陽刻があり、第332図7も同様である。第331図6は薬瓶で、底面に菱形枠に「S」等の陽刻がある。7はビール瓶で、肩部には「TRADE」「MARK」、胴部下位に「DAINIPPON BREWERY CO. LTD」の陽刻がある。8は養命酒瓶で、肩部には丸枠に飛龍の陽刻、胴部下位に「養命酒」とあり、1949年製造の可能性がある。第332図1はビール瓶で、胴部下位に「NIPPON BEER KOSEN CO.LTD」とある。2はいかり肩を呈するワイン瓶で、肩部に「DAIKOKU WINE」「JUNKOKUSAN」、胴部下位に「DAIKOKU BUDOSHU CO.LTD」「TOKYO OSAKA」の陽刻がある。3は底面に「GA」の陽刻がある。4は断面扁平のワイン瓶で、首部に「DAIKOKU BUDOSHU」とある。5は角筒状のウイスキー瓶で、首部に「SUNTORY WHISKY」の陽刻がある。6はコーラ瓶で、肩部がエンボス加工、胴部上位に「PEPSI COLA」とある。



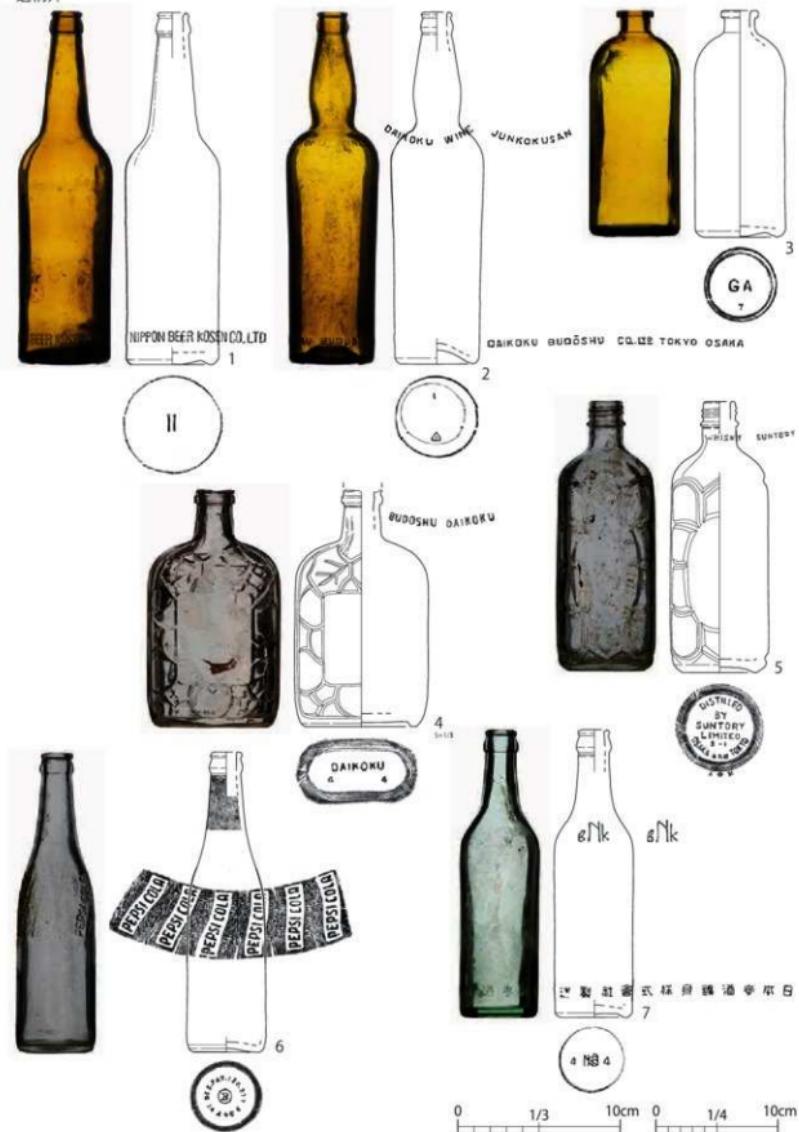
第330図 近代以降のガラス製品（1）（1/3）

遺構外



第331図 近代以降のガラス製品(2) (1/3・1/4)

遺構外



第332図 近代以降のガラス製品(3) (1/3・1/4)

第114表 近代以降のガラス製品観察表

被観番号 採回 番号	由土地点	種類	特徴	色調	透明度	残存率 (%)	法量(mm)			整理 番号	
							口径	底高	底径		
330 1 B14 号	薬瓶	スクリュー栓		無色	透明	100	34	39.5	33	38.5	27215
330 2 B14 号	薬瓶	合わせ蓋		褐色	半透明	100	24	49	11	296	27213
330 3 B296 号	薬瓶	一般用薬瓶 / ルコク栓 / いかり肩 / 脈部に陽刻 : 「全治水」 「東京」(花押)		無色	透明	100	12	71	19	16	27219
330 4 B986 号	薬瓶	ゴルク栓 / いかり肩 / 脈部角形面 / 底面に陽刻 : 円形マーク		無色	透明	100	17.6	54.2	24	31.8	27007
330 5 B1443 号	文具瓶	インク栓 / コルク栓		無色	透明	100	18.6	34.8	28.7	20	27009
330 6 B1445 号	薬瓶	合わせ蓋 / 部中央に陽刻 : 「東京」「東商會」「・・用」「・・ 毒器」「製造元」		トバル ト色	半透明	90	64.5	72	59	136	27011
330 7 B2662 号	日常生活瓶	クリーム瓶か / スクリュー栓		水色	透明	100	62	58.5	61	168	27017
330 8 C16 号	文具瓶	インク栓 / コルク栓 / 脈部残存 / 脉部に陽刻 : 「MARUZEN」、「ATHENA INK」(底部に陽刻 : ○に「M」)		無色	透明	100	21.5	66	49	97.1	27026
330 9 C536 号	薬瓶	スクリュー栓 / 金属製蓋残存 / 底面に陽刻 : 「日」		褐色	半透明	100	(17.8)	61	27	43.8	27216
330 10 C536 号	文具瓶	インク栓 / コルク栓 / 脈部に凹み		無色	透明	100	17	49	47.5	74.9	27211
330 11 B1-1-K 0-1 面	日常生活瓶	合わせ蓋 / 円筒形 / 底面に陽刻 : 「1915」		無色	半透明	100	29	44.5	28	44.1	27214
330 12 BI-3-K 2-3 面	日常生活瓶	スクリュー栓		黒色	不透明	100	43	35.5	44	73.9	27208
330 13 BI-3-K 2 面	化粧瓶	ガマーネ瓶 / スクリュー栓 / 底面に陽刻 : 「ROMANCESHA SA」(■ ■ MADE.)		乳白色	不透明	100	80	46	85	224.1	27222
330 14 BI-3-K 2-3 面	化粧瓶	クリーム瓶 / スクリュー栓		乳白色	不透明	100	46	34	29	86.5	27209
330 15 BI-3-K 1 面	日常生活瓶	靴形瓶 / スクリュー栓 / 底面に陽刻 : 「日賣坐樂」		水色	透明	100	45	42.5	48	82	27207
330 16 BI-3-K 1 面	日常生活瓶	インク栓 / コルク栓 / なし肩		無色	透明	100	14	61	26	42.1	27212
330 17 B+C-K	薬瓶	一般用瓶 / スクリュー栓 / 脈部扁平 / いかり肩 / 脉 部に陽刻 : 「健胃整腸丸ノブ」「THE SHIELD FORTHE INTESTINES AND STOMACH」		無色	半透明	100	13.5	(67)	17.5	26.2	27218
330 18 BI-2-K 視丸	日常生活瓶	インク栓 / スクリュー栓 / いかり肩 / 脉部角形面		無色	透明	100	11	54	28	28.8	27217
330 19 BI-2-K 視丸	日常生活瓶	インク栓 / コルク栓 / 底面に陽刻 : 「×」		無色	透明	100	15	68.5	39.5	104.2	27210
330 20 BI-4-K 0-1 面	薬瓶	コルク栓 / いかり肩		褐色	半透明	100	17.9	65.1	33.3	25.8	27008
330 21 BI-2-K 視丸	不明瓶	いかり肩		水色	透明	100	43	110	46	232	27203
330 22 BI-3-K 4-5 面	化粧瓶か	スクリュー栓 / 脈部角形面 / 脈部割れ残存		無色	透明	100	19	122	34	109	27205
331 1 BI-2-K 視丸	食用瓶	食用油油瓶 / スクリュー栓 / なし肩 / 脈部位に陽刻 : 「DAI-ICHI OIL CO.」(底面に陽刻 : 二に「大一」)		薄水色	半透明	100	13.5	162.5	49	272	27202
331 2 BI-3-K 2 面	薬瓶	スクリュー栓 / 脈部断面角形面		無色	半透明	100	3	63	31	35.2	27221
331 3 C2区點66 号	日常生活瓶	合わせ蓋 / 底面に陽刻 : 「M」		水色	半透明	100	54	71	40	148	27206
331 4 BI-2-K 視丸	化粧瓶	コルク栓 / いかり肩 / 脈部格子状のエンボス加工 / 脈部 中央に陽刻 : 「DAI-ON」、「T'S CO.」(脈部下位に陽刻 : 「T'S C.」)		無色	透明	100	16	157.5	32	162	27204
331 5 BI-2-K 視丸	清涼飲料瓶	サイダー瓶 / 合わせ蓋 / なし肩 / 脈部下位に陽刻 : 「登録 商標」(マーク)「商標」[日本麥酒蓮株式會社] / 底面に陽刻 : 「不明記号」		無色	透明	100	185	235.5	51	483	27198
331 6 BI-2-K 0-1 面	薬瓶	コルク栓 / いかり肩		褐色	透明	100	26	199.5	63	357	27200
331 7 BI-2-K 0-1 面	酒瓶	ビール瓶 / 合わせ蓋 / いかり肩 / 脈部に陽刻 : 「TRADE」(マーク)「MARK」(マーク)、/ 脈部下位に陽刻 : 「DANISPOON BREWERY CO. LTD.」(底面に陽刻 : 二に「大」, △に△)		褐色	半透明	100	20	288	64	633	27193
331 8 BI-3-K 2-3 面	薬瓶	貴重酒瓶 / スクリュー栓 / いかり肩 / 脈部に陽刻 : 「飛龍馬 ケ制」(飛龍方太) / 酒瓶 / 底面に陽刻 : 「6」、菱形		褐色	透明	100	21.5	288	57	605	27195
332 1 BI-2-K 視丸	酒瓶	ビール瓶 / 合わせ蓋 / いかり肩 / 脈部下位に陽刻 : 「NIPPON BEER KOSEN LTD.」(底面に陽刻 : 2本線)		褐色	透明	100	20.5	288.5	66	678	27192
332 2 BI-2-K 視丸	酒瓶	ワイン瓶 / スクリュー栓 / いかり肩 / 脈部に陽刻 : 「DAIKOKU WINE」、「JUNKOKUSAN」/ 脈部下位に陽刻 : 「DAIKOKU BUDOSHU CO.,LTD.」、「TOKYO OSAKA」/ 底面に陽刻 : 「1」, △に△		褐色	透明	100	20	288.5	60	663	27194
332 3 BI-2-K 視丸	薬瓶	コルク栓 / なし肩 / 底面に陽刻 : 「GA」(7)		褐色	透明	100	26	186	61	323	27201
332 4 BI-2-K 視丸	酒瓶	ワイン瓶 / いかり肩 / 脈部扁平 / 部位に陽刻 : 「DAIKOKU BUDOSHU」/ 底面に陽刻 : 「1」(△), △形, 「6」, 「N」, 「Y」(△)		無色	透明	90	(23)	140	68	255.1	27223
332 5 BI-3-K	酒瓶	ウイスキー瓶 / スクリュー栓 / いかり肩 / 脈部角形面 / 首部に陽刻 : 「SUNTORY WHISKY」(底面に陽刻 : 「DISTILLED」, 「BY」, 「SUNTORY」, 「LIMITED」, 「8-1」, 「OSAKA and TOKYO」, 「15」, 菱形, 「N」, 「Y」)		無色	透明	100	23	222	60	551	27196
332 6 BI-2-K 視丸	清涼飲料瓶	コーラ瓶 / 合わせ蓋 / なし肩 / 脈部に陽刻 : 「Pepsi Cola」/ 脈部に陽刻 : 「DES. PAT. 120,277」, 「14A466」, ○(B)		無色	透明	100	18	246	54	308	27199
332 7 BI-2-K 視丸	清涼飲料瓶	サザイー瓶 / 合わせ蓋 / なし肩 / 脈部に陽刻 : 「BNK」/ 脈 部下位に陽刻 : 「日本麦酒蓮株式会社製造」/ 底面に陽刻 : 「4」(NKK), 「4」(BNK)		薄水色	透明	100	20	236	54	451	27197

VI 文献史料の調査

尾張徳川家市谷屋敷西側添地の拝領前における土地と利用

渋谷 葉子（徳川林政史研究所）

はじめに

本稿は尾張徳川家の上屋敷であった市谷屋敷のうち、江戸時代中期の明和5年（1768）、幕府より与えられた西側の添地の場所について、その拝領前の土地と利用のあり方を明らかにしようとするものである⁽¹⁾。

具体的には江戸時代初めから明和5年の間の様相を描いた江戸図類に基づいて、その後尾張徳川家（以下、尾張家とする）の市谷屋敷の西側添地となる場所（以下、調査地とする）の利用のあり方とその変遷を整理する。

これに当り、絵図に加えて文献史料から見出された屋敷地所持者交代の情報も網羅した第115～117表「尾張家添地以前 屋敷地所持者変遷」と、その所持者のうち大名・旗本の履歴を整理した第118～121表「尾張家添地以前 屋敷地所持者履歴」を作成したので、適宜参照しつつ稿を進める。

1. 江戸時代初め～延宝期

第122表「延宝年中以前の土地利用」は、「御府内往還其外沿革図書」（以下「沿革図書」とする）⁽²⁾のうち「延宝年中之形」（1673～81、第336図上）に基づいた各範囲①～⑩（第343図「土地範囲区分」、丸番号は以下、範囲Noとする）を、それ以前の様相を描いた3点の絵図、「江戸全図」（寛永19～20年・1642～43、第333図）、「江戸大絵図」（明暦3年・1657、第334図）、「新板江戸外絵図」（寛文12年・1672、第335図）と照らし合せて範囲ごとに記載をまとめたものである。

まず指摘されるのが、①と①～⑩は成り立ちが異なる点である。①の範囲は元来「加賀大姫君様」、つまり加賀藩主前田光高の室、大姫（清泰院）が所持した屋敷地の南西端に当るが、同人が明暦3年に没したのを機に、この屋敷地は幕府に取公されて、寛文4～5年（1664～1665）頃までには概ね幕臣屋敷に転換しており⁽³⁾、①も同時に旗本に割り与えられたと考えられ、結果的に7家が拝領した。与えられた旗本は家禄から概ね中級に位置づけられ、そうした者たちの居住する地域となった。そして以後一帯は元来の所持者、加賀藩に由来して「市谷加賀屋敷」と俗称された。

一方①～⑩は概ね大縄地（組屋敷）で、主に江戸城防備のため江戸北西部に多く設定されたもののうちであった。まず①～③・⑥・⑦は一貫して留守居番の大縄地で、各範囲に記名された組頭配下の与力・同心に分割支給された。なお①～⑩一帯は俗に「(市谷) 大隅町」と称されたが、これは①～③・⑥・⑦が「松平大隅(守)」（松平重則）配下の与力・同心の大縄地だったことに由来する。④の細工同心町屋は細工頭配下の同心の拝領町屋敷である。拝領町屋敷は町人地が武家（主に微禄の幕臣）に与えられたもので、拝領者はそこを町人に貸与して収入を得ることが許された。したがって④には町人が混住していたと考えられる。⑤は初め大番組大縄地で、理由は不詳だが明暦3年までに留守居番

大綱地に転換したもようで、その配下に支給されたとみられる。⑧・⑨は先手鉄炮組の大綱地で、⑧は一貫してその同心への支給地だったが、⑨は出雲広瀬藩主松平家の屋敷に転換した。これは寛文7年（1667）10月28日、同家立藩に伴い同年6月に初めて拝領した北本所の屋敷地と相対替して獲得したもので^⑩、具体的には北本所屋敷3,600坪のうち2,500坪を旗本筒井織部の四谷屋敷6,200坪と交換、さらにこれを先手安藤九郎左衛門組与力5人・同心30人の組屋敷、市谷本村6,189坪と交換し、加えて筒井家へ金700両、安藤組与力・同心へ金1,200両を、それぞれ引料（移転料）として支払った。こうして獲得した市谷本村屋敷は、広瀬藩松平家の上屋敷とされた。⑩・⑪は当初は書院番の大綱地で、理由は不詳だが寛文12年までには大番組の大綱地に転換したもようで、その同心らへ分割支給されたと考えられる。

2. 享保期前後

「沿革図書」のうち「享保年中之形」（1716～36、第336図下）によれば、調査地の西～南側へ折回しに「火除明地」が設定された。これは享保10年（1725）2月14日、青山久保町から四谷、市谷、小石川を経て谷中まで延焼した大火を受けて、南は赤坂御門近辺から北は牛込御門にかけて、谷地形を取り込みつつ帯状に設けられたもので、その位置取りが外堀の外側、かつ尾張家の市谷屋敷を囲む形となっていることから、設定の目的は外堀の内側及び尾張家の市谷屋敷への延焼防止にあったとの指摘がある^⑫。享保10年の大火では尾張家市谷屋敷も全焼を免れなかったため、その元来の高台の立地と前方（東南側）の外堀に加え、背後（北側）も火除明地で防御しようとした幕府の意図が窺える。

火除明地の設定に当り、幕府は必要な土地を収公していった。調査地のうちその対象となったのは、範囲№で言うと⑥西半と③、⑦、⑨・⑩南部と⑪で、具体的な上地月日（何れも享保10年）／所持者／替地は以下の通りである^⑬。

⑥西半…6月21日／旗本稻富求馬（直■（目に往））／小石川御殿地跡

6月25日／旗本酒依宮内（昌陽、第339図1参照）／川田ヶ窪安藤式部上地

③・⑦…7月28日／留守居番永井三郎右衛門組同心3名・同小川左兵衛組同心7名・同石原勘左衛門組同心6名・同戸田喜右衛門組同心3名／渋谷稲葉丹後守上地

⑩南部+⑪…7月28日／大番山口伊豆守組同心15名／青山宿青山大膳亮上地

⑨南部…8月2日／旗本天野源次郎（政寿）／青山宿青山大膳亮上地

月日不詳／御家人大竹文左衛門（清勝）／不詳

12月12日／広瀬藩主松平飛驒守（近朝）／なし

また「沿革図書」の「享保年中之形」には注目される点が2つある。まず範囲№①「御留守居番同心大綱地」が、東から豊嶋左衛門、岡本新五右衛門、石原八郎左衛門の記載となったことである。うち岡本は元禄10年(1697)12月14日、佐藤兵九郎上地311坪を拝領したものと確認され(第115表)、またその絵図から当時も東・西は豊嶋七兵衛・石原八郎右衛門の屋敷だったと判明する(第339図2)。それらの役職について、豊嶋・岡本は子孫が旗本に昇進したため「寛政重修諸家譜」に記載があり、両者とも留守居番与力だったことが明らかとなる(第119表)。つまり①は実際には留守居番の同心ではなく与力に割り渡された屋敷地で、履歴不詳の石原も同じ留守居番与力だった可能性がある。

もうひとつは、範囲No②のうちに岡部嘉平次・羽山与右衛門・真井半蔵の屋敷が出現したことである。うち羽山は元禄8年（1695）7月2日に栗原兵右衛門上地157坪9合を、また絵図の記載は漏れているが同日に遠藤太兵衛が依田茂左衛門上地143坪7合を、さらに岡部は宝永4年（1707）3月7日に内藤吉左衛門（正明）上地172坪を、それぞれ拝領した（第115・116表、第339図3・4、第340図1）。興味深いのは拝領時、羽山と遠藤は逢坂御用屋敷番同心、岡部は西丸御広敷添番、真井の拝領は元禄8年7月2日以降で（第339図4）、留守居番同心の履歴はない（第120表）。また岡部の前の所持者、内藤はその地を元禄7年（1694）6月23日に拝領したが（第115表）、旗本で当時は小十人を務めており（第120表）、享保12年（1727）3月19日に遠藤上地を拝領した古谷茂太夫は鷹匠明組同心であった。つまり何れも留守居番大縄地のうちが、その配下以外の者へ下賜される事象が、元禄期（1688～1704）の半ばから生じていたのである。こうした「大縄崩（おおなわくずれ）」は18世紀以降の武家地不足を背景に進行したといい⁽⁷⁾、調査地の留守居番大縄地にも及んでいた事実が指摘される。

3. 宝暦～明和期

「沿革図書」のうち「宝暦十三末年之形」（1763、第337図上）は、松平家が宝暦13年4月18日、南側の火除明地の借地を許されたと同時に、新道が出来たことを機に作成された図だが⁽⁸⁾、この絵図で興味深いのは、範囲No②・⑤・⑥の「御留守居番同心大縄地」が分割されて、その一筆ごとに氏名が記入されている点である。大縄地は通常、短冊状に地割されて配下の与力・同心個々へ支給されることから、実際の敷地のあり方が描かれたものとみられるが、こうした描写の変化は、前述した「大縄崩」の進行で留守居番の組屋敷たり得なくなったことの示唆とも解される。

第123表「宝暦～明和期 屋敷地所持者」は調査地に所在した屋敷地45筆の所持者について、「沿革図書」のうち「宝暦十三末年之形」と、明和5年（1768）の上地に関わって作成された「屋敷渡預絵図証文」から、その氏名及び肩書をまとめたものである。宝暦13～明和15年の5年間に代替りはあるものの、所持者の移行はない。特に範囲No①の旗本5家（第123表No1～5、以下Noのみ）は100年以上変わらない所持が確認され、中級旗本の居住地としてあり続けたことが理解される。

その他の所持者はほぼ御家人で、2名の旗本（No20・21）も元来は御家人であった。留守居番大縄地だった範囲No①・②・⑤・⑥の計35筆についてみると、留守居番与力・同心は計6名（No6・7・19・28・42・43）で全体の約17%と、「大縄崩」の状況にあったことが明白となる。もと留守居番同心が役替えや無役（小普請）となっても所持し続けた事例も見出され（No15・17）、こうした屋敷地が少なからずあったと想像される。また範囲No④の細工同心拝領町屋敷は5名が所持していたと判明するが、うち原田孫助（俊隆、No21）は、同家の初代茂久が元和6年（1620）に細工所同心となつて次代良久も継いでおり、その頃から所持し続けてきたものとみられる。さらに範囲No⑤の2名（No26・27）は先手仙石監物組与力、つまり南接の範囲No⑧はその配下の同心大縄地であり、⑤は留守居番から先手組へ所持が移行していたことが推定される。

さらに明和5年の上地からは、その当時の調査地に居住した者たちの実態が明らかとなる。上地による移転に際しては、通常は幕府から代地と引料が与えられたが、この上地では尾張家の四谷堀端と四谷大久保の屋敷を幕府に返上して代地に宛て、加えて引料の一部を肩代わりする形で手当金を支給

した。

屋敷地所持者に対する引料及び手当金については、第123表の備考に載せた。金額は概ね身分・格式に依ったとみられるが、旗本へは手当金の支給がなく(№1～5・20・21)、御家人は引料・手当金とも受給した者が多いものの、手当金のみ(№9・22・31・35)、あるいは両方受けていない者もある(№14・16・23・24)。このうち特に注目したいのが、地守へ手当金が支給された事例である(№31・35)。拝領屋敷は居屋敷としない場合、地守(管理人)を置く決まりとなっており、地守への手当金支給とは、所持者の居住がなかったことが理解される。

もうひとつ注目したいのは、尾張家の手当金が、屋敷地所持者に限らない者たちに支給されている、つまり第123表の45筆のうちに借地・借屋等をして居住した者の具体像も判明するということである。その氏名・肩書と手当金額を第124表「土地に伴う手当金受給者(屋敷地所持者以外)」にまとめた。御家人39名、借地町人11名、店借23名、町医師・浪人・祈祷者各1名の計76名となっている。住まいのあり方は、まず武家地は武家への貸与は許されており、したがって御家人の多くが第123表の武家が所持する屋敷地のうちの、一部を借地して建家を設ける、有来りの建家や屋敷の一部、また長屋等を借用する、といった方法で居住したことが想定される。また肩書きから39名中5名が小普請(無役)、つまり何らかの役職に就く者が大半で、そのうちには御三卿(一橋・田安・清水)勤仕者が17名に上るが、いずれにしても江戸城郭内に勤務する者たちといえる。御家人以外の町入らは、原則的には細工同心拝領町屋敷の範囲に、地借・店借して居住していたと考えられる。

このような屋敷地所持者以外の多数の居住者の存在からすると、絵図には道敷に面して一人別の屋敷地が整然と描かれるが、その内部は各自に、さまざまな人びとの生活があったもようが推察される。

4. 明和5年上地

上地は明和5年4月21～晦日の間に実施され、豊前小倉藩主小笠原左京大夫(忠総)に預けられた⁽⁹⁾。それに伴い幕府により作成された「屋敷渡預絵図証文」の絵図から、各屋敷地のあり方を知ることができる(第340図2～第342図3「屋敷渡預絵図証文」トレース図)⁽¹⁰⁾。表・裏の間口と両側の奥行及び坪数が記入されており(坪数は第115～117表参照)、井戸の位置も丸印で示されている。

加えて屋敷地が面する道の幅も書き込まれ、そのもようが興味深い。すなわち「治革図書」では同じに描かれても、実は道幅はところにより異なることが判明するからである。具体的に範囲№でいうと、例えば①北側の道は幅6間(約11.0m)(第340図3)、①と②の間は1間5尺(約3.3m)(第340図4)、つまり3倍ほどの差がある。また⑩南側の道は、①との間は3間5尺(第340図4・第342図2)、②との間は東寄りが2間、西寄りが3間と(第340図3)、1本の道ながら大きい広狭差がある。こうしたあり方は①・②・③南側(第340図4～第342図1・3)、②・⑥・⑩西側(第341図2・3)の道にも共通する。さらに幅広く描かれる「尾張殿」東側の道は、北寄りが20間(第340図3)、それ以南は10間の道幅であったと判明する。

おわりに

尾張徳川家による拝領前の調査地の利用とその変遷について明らかにしてきた。これに鑑み、最後

に発掘調査で得られた遺構・遺物を理解するに際して留意すべきと指摘される事柄を述べておく。

第一に、屋敷地の成り立ちの相違である。元来、旗本屋敷か大縄地（組屋敷）かという相違は、屋敷の構造や生活のあり方に大きく反映すると考えられる。第二に、所持者以外の者も暮らしている屋敷地が少なくなかった事実、つまり1筆の屋敷地のうちに、そうした痕跡が見出される可能性があるということである。

註

- (1) 調査地についての尾張徳川家拝領前の土地と利用のあり方に言及した論稿としては、宮崎勝美「武家屋敷」（『岩波講座日本通史』第14巻近世4、岩波書店、1995年）、拙稿「尾張藩市谷邸の歴史的変遷」（東京都埋蔵文化財センター編・発行『尾張藩上屋敷跡遺跡I』、1996年、所収）、村田香澄「明和5年（1768）西側添地拝領の過程—街区の復原図作成を通して—」（東京都埋蔵文化財センター編・発行『尾張藩上屋敷跡遺跡VI』、2001年、所収）、がある。
- (2)『地図で見る新宿区の移り変わり牛込編』（新宿区教育委員会、1982年）による。
- (3)「万治年間江戸測量図」（公益財團法人三井文庫所蔵）による。なお、この絵図は万治年間より下って寛文4～5年の様相を描いたものと判断される。
- (4)「初代松平近栄系譜」（島根県立図書館所蔵）。また市谷に屋敷地を獲得した背景等については拙稿「出雲国広瀬藩江戸屋敷に関する一考察一大久保新田下屋敷を中心に」（東京都埋蔵文化財センター編・発行『新宿区新宿六丁目遺跡』第2分冊、2005年、所収）、420頁参照。
- (5) 萩野英晴「享保10年（1725）の火除地設定について～『市谷薬王寺町遺跡II』に与えた影響を中心として～」（市谷薬王寺町遺跡調査団他編・発行『新宿区市谷薬王寺町遺跡II』東京都住宅供給公社「トミンハイム市谷薬王寺」建設に伴う緊急発掘調査一、1998年、所収）。
- (6)「屋敷渡預絵図証文」（国立国会図書館所蔵）、「三代松平近朝家譜」（島根県立図書館所蔵）による。
- (7) 宮崎勝美「江戸の土地一大名・幕臣の土地問題」（吉田伸之他編『日本の近世』第9巻、中央公論社、1992年、所収）、153～154頁。大縄崩は、例えば組内で絶家が生じた場合、本来その地面は組の管理に戻るはずが、一旦普請奉行役所が上地して組からの「差戻願」に応じて返却する、つまり出願しないと戻されずに他者へ回される、あるいは役替えになってしまって移転先がなく居住し続ける者があつたこと等により起ったといふ。
- (8)「六代松平近貞系譜」（島根県立図書館所蔵）。享保10年、火除明地設定時に上地された1,731坪の借地を顧ったところ、293坪余を道敷分として除く1,437坪余が貸与されることになった。
- (9) 小倉藩小笠原家に預けられた理由は市谷に下屋敷を所持していたからとみられる。
- (10) 絵図は紙幅の関係上、調査地のうち発掘調査地に掛る屋敷地を含むものを掲載し、掛る屋敷地の所持者名をキャプションに示した。



第333図 「江戸全図」(部分)

白杆市教育委员会所藏



第334図 「明暦江戸大絵図」(部分)

公益財団法人三井文庫所蔵

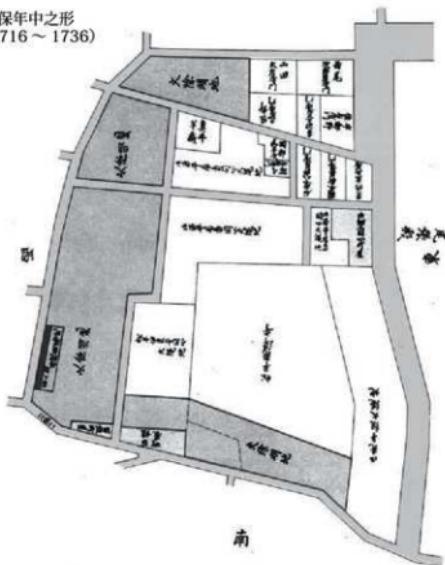


第335図 「新板江戸外絵図」(部分) 国立国会図書館所蔵

延宝年中之形
(1673 ~ 1681)



享保年中之形
(1716 ~ 1736)

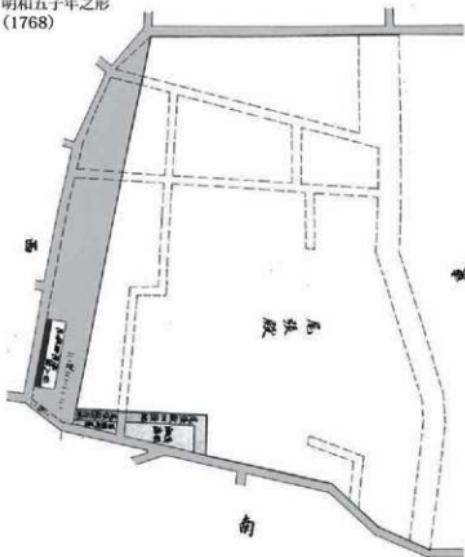


第 336 図 「御府内往還其外沿革図書」(1) 国立国会図書館所蔵・新宿区教育委員会 1983 所収

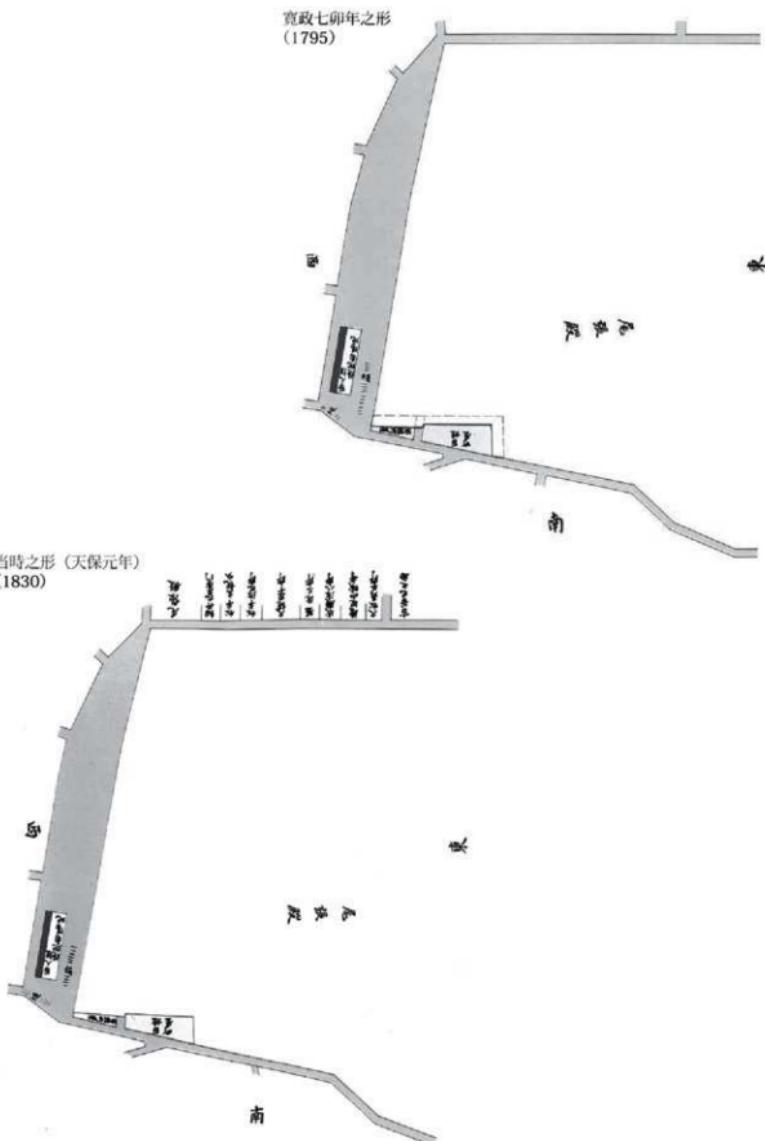
宝曆十三末年之形
(1763)



明和五子年之形
(1768)



第337図 「御府内往還其外沿革図書」(2) 国立国会図書館所蔵・新宿区教育委員会 1983所収



第338図 「御府内往還其外沿革図書」(3) 国立国会図書館所蔵・新宿区教育委員会1983所収

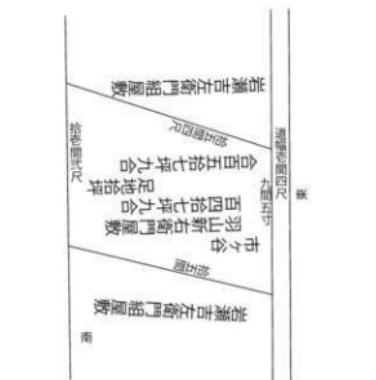
1 宝永 3 年正月 11 日付
(酒依宮内拝領)



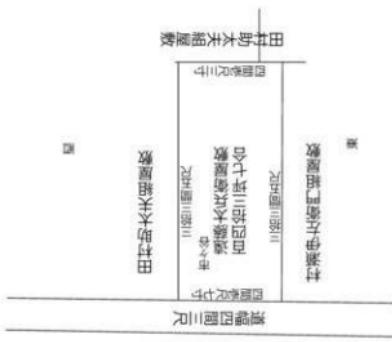
2 元禄 10 年 12 月 14 日付
(岡本新五左衛門拝領)



3 元禄 8 年 7 月 2 日付
(羽山新右衛門拝領)



4 元禄 8 年 7 月 2 日付
(遠藤太兵衛拝領)



第 339 図 「屋敷渡預繪図証文」(国立国会図書館所蔵) トレース図 (1)

1 宝永 4 年 3 月 7 日付
(岡部嘉平次持領)



2 明和 5 年 4 月 21 日付
(原上地)



3 明和 5 年 4 月 24 日付
(佐野・多田・岡部・染谷足地上地)

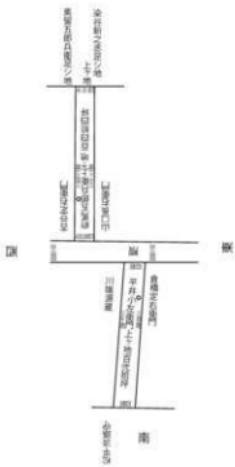


4 明和 5 年 4 月 25 日付
(石原・豊嶋地上地)



第 340 図 「屋敷渡預繪図証文」(国立国会図書館所蔵) トレース図 (2)

1 明和 5 年 4 月 25 日付
(府馬上地)



2 明和 5 年 4 月 26 日付
(矢部足地上地)



3 明和 5 年 4 月 27 日付
(羽山上地)



第 341 図 「屋敷渡預繪図証文」(国立国会図書館所蔵) トレース図 (3)

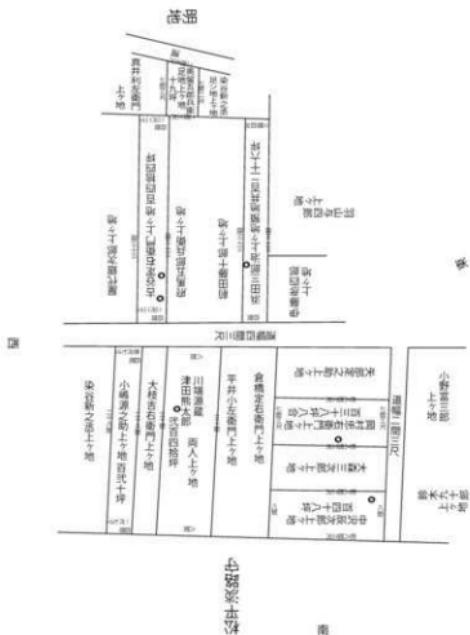
1 明和 5 年 4 月 28 日付
(山口・前田・伊藤上地)



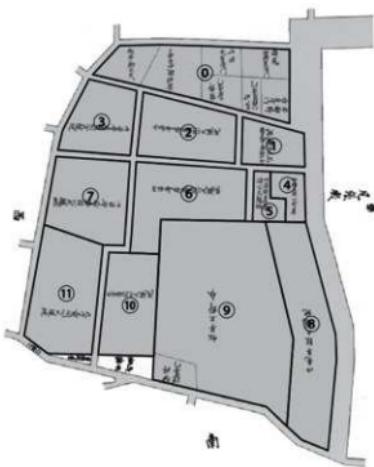
2 明和 5 年 4 月 28 日付
(宇都野上地)



3 明和 5 年 4 月晦日付
(浜田・奥留足地上地)



第 342 図 「屋敷渡預繪図証文」(国立国会図書館所蔵) トレース図 (4)



第 343 図 土地範囲区分（御府内往還其外沿革図書・延宝年中之形）

第 115 表 尾張家添地以前 屋敷地所持者変遷 (1)

第 116 表 尾張家添地以前 屋敷地所持者変遷 (2)

第 117 表 尾張家添地以前屋敷地所持者変遷 (3)

第118表 尾張家系地以前 屋敷地所持者履歴(1)

姓名	よみ	通称等	生年年号	生年年号	苗	父兄 / 妻母 / 正室	出典
尾野 史郎	にしお	喜人地 / 須田地	慶長15～嘉永1 (1610～1688)	寛永19～元禄1 (1614～1688)	300石	西尾小作生御門内次(1男男)/ 多賀内門内次(1女女)	寶政酒 金社-3(1633)11.11.19大番-→(1685)7.7.11(1685)2.12.20(1686)1.1.2番-→(1686)1.1.2番- 金社-3(1633)2.3.6番新替し、少利請。少利請。少利請。少利請。少利請。少利請。
尾野 重徳	にしお しゅうとく	次次左衛門	正承2～寛永2 (1645～1717)	元禄1～寛永2 (1688～1717)	切末 300石	西尾史郎(1女女) 多賀内門内次(1女女)	寶政酒 尾尾史郎(1女女)
尾野 久久	にしお ひさく	三郎助	寛永3～寛永4 (1657～1719)	亨保2～4 (1717～1719)	切末 300石	西尾久久(1女女) 多賀内門内次(1女女)	寶政酒 尾尾久久(1女女)
尾野 重利	にしお じゅうり	少助人 / 須田助 / 天祐2～保永13 (1682～1742)	寛永4～13 (1719～1742)	寛永13～天明1 (1728～1781)	切末 300石	西尾重利(1女女) 多賀内門内次(1女女)	寶政酒 尾尾重利(1女女)
尾野 重徳	にしお じゅうとく	喜人地 / 須田地	宝永3～元禄1 (1706～1781)	元禄1～元禄2 (1728～1781)	切末 300石	西尾重徳(1男男) 多賀内門内次(1女女)	寶政酒 尾尾重徳(1男男)
宇都野 政次	うづの まさとし	千石南門 / 作之介 (1705)	寛永4～元禄4 (1653～1707)	寛永5～元禄5 (1655～1707)	5石～9石 200石	宇都野政次(1女女) 多賀内門内次(1女女)	寶政酒 宇都野政次(1女女)
宇都野 政利	うづの まさとし	新之助 (1706)	寛永5～元禄9 (1659～1724)	寛永5～元禄9 (1659～1724)	550石	宇都野政利(1女女) 多賀内門内次(1女女)	寶政酒 宇都野政利(1女女)
宇都野 政安	うづの まさとあん	助四郎 (1701)	元禄14～元禄2 (1718～1752)	元禄14～元禄2 (1718～1752)	550石	宇都野政安(1女女) 多賀内門内次(1女女)	寶政酒 宇都野政安(1女女)
宇都野 政好	うづの まさとよし	足利助 / 多喜 (1720)	元禄5～7 (1720～1777)	元禄2～元禄5 (1720～1777)	550石	宇都野政好(1男男) 多賀内門内次(1女女)	寶政酒 宇都野政好(1男男)
多田山 重直	ただやま しげなお	二助 / 五右衛門 (1709)	寛永5～6 (1654～1709)	寛永5～6 (1654～1709)	10石人代+10 10石人代+10	多田山重直(1女女) 多賀内門内次(1女女)	寶政酒 多田山重直(1女女)
多田山 重徳	ただやま じゅうとく	地之助 / 五右衛門 (1670)	元禄10～元禄1 (1670～1711)	元禄10～元禄1 (1670～1711)	200石	多田山重徳(1女女) 多賀内門内次(1女女)	寶政酒 多田山重徳(1女女)
多田山 重利	ただやま じゅうり	人助 (1654)	元禄7～元禄3 (1664～1709)	元禄1～元禄3 (1671～1709)	200石	多田山重利(1女女) 多賀内門内次(1女女)	寶政酒 多田山重利(1女女)
多田山 重徳	ただやま じゅうとく	安利 / 重徳 (1737)	元禄2～重徳8 (1673～1736)	元禄3～重徳2 (1753～1736)	200石	多田山重徳(1女女) 多賀内門内次(1女女)	寶政酒 多田山重徳(1女女)
山田 重安	やまだ じゅうあん	喜五右衛門 / 梅右衛門 (1657～1719)	寛永14～寛永4 (1673～1719)	寛永4～元禄4 (1719～1719)	150石+200 150石+200	山田重安(1女女) 多賀内門内次(1女女)	寶政酒 山田重安(1女女)
山田 重利	やまだ じゅうり	左近 / 五右衛門 (1686～1744)	寛永1～重徳1 (1686～1744)	寛永1～重徳1 (1686～1744)	300石	山田重利(1女女) 多賀内門内次(1女女)	寶政酒 山田重利(1女女)
山田 重徳	やまだ じゅうとく	左近 / 五右衛門 (1724～1792)	寛永9～重徳4 (1739～1777)	寛永9～重徳6 (1739～1777)	300石	山田重徳(1女女) 多賀内門内次(1女女)	寶政酒 山田重徳(1女女)
重野 政次	じゅうの まさとく	七右衛門 / 八右衛門 (1658～1670)	寛永15～重徳10 (1658～1670)	寛永15～重徳10 (1658～1670)	250石	大庭野政次(1女女) 多賀内門内次(1女女)	寶政酒 重野政次(1女女)

第 119 表 尾張家添地以前屋敷地所持者履歴 (2)

尾張家添地以前屋敷地所持者履歴 (3)
第 120 表

第 121 表 尾張家添地以前屋敷地所持者履歴 (4)

第122表 延宝年中以前の土地利用

寶永江戸全国 (寛政19~20・1642~43年)			江戸大船岡 (明暦3・1657年)			新板江戸外船岡 (寛文12・1672年)			御内江戸籠其外治革岡 君・ 延宝年中之形 (1673 ~1681)			範囲 No.
船岡記載	氏名	役職	船岡記載	氏名	役職	船岡記載	氏名	役職	船岡記載	氏名	役職	
加賀大姫君様	大姫 (清 泰院)	(徳川家光御女 ・加賀藩主前田 光高室)	相	—	—	ウツ作右・タク八郎左 ・サノ九右・松井介夫 ・夫	宇津野正信・多田 政首・佐野政國・ 松井重宗	(旗本)	西尾次郎左衛門・宇津 野佐 (ア) 右衛門・ 多田八郎左衛門・山田太 左衛門・佐野九右衛門 ・金山能登守・松井助 大夫	⑧		
松平大隅守・力同心 心	松平重則	留守居・奏者番	日下部作十郎 足軽	日下部正定	留守居番	イワセ山兵クミ	岩瀬氏史	留守居番	新留守居番同心大隅地	①		
			山本平九郎足 軽	山本正直	留守居番	同 (イトウ安兵・磯原 四郎左・クガイズ監左・ イワセ山兵・小笠原足左 ・五ヶミ人合)	伊藤正次・磯原忠 重・久貝正信・岩 瀬氏忠・小笠原安 村	留守居番	新留守居番同心大隅地	②		
矢部助之進同心	矢部定成	織工道	町	—	—	町	—	—	新織工同心町屋	④		
大御番衆	—	大番	三宅惣右衛門 組足軽	三宅康政	留守居番	同 (イワセ山兵クミ)	岩瀬氏忠	留守居番	新留守居番同心大隅地	③		
松平大隅同心	松平重則	留守居・奏者番	日下部作十郎 足軽	日下部正定	留守居番	同 (イトウ安兵・磯原 四郎左・クガイズ監左・ イワセ山兵・小笠原足左 ・五ヶミ人合)	伊藤正次・磯原忠 重・久貝正信・岩 瀬氏忠・小笠原安 村	留守居番	新留守居番同心大隅地	⑤		
松平大隅同心	松平重則	留守居・奏者番	山本平九郎足 軽	山本正直	留守居番	同 (イトウ安兵・磯原 四郎左・クガイズ監左・ イワセ山兵・小笠原足左 ・五ヶミ人合)	伊藤正次・磯原忠 重・久貝正信・岩 瀬氏忠・小笠原安 村	留守居番	新留守居番同心大隅地	⑦		
柳原八兵衛同心	柳原正成	先手鉄炮頭	依田内蔵介足 (信忠)	依田重直	先手鉄炮頭	ヨダクラクミ	依田重直 (信忠)	先手鉄炮頭	御先手組同心大隅地	⑧		
神谷与七郎同心	神谷清正	先手鉄炮頭	萬木忠右衛門 組足軽	萬木為信	先手鉄炮頭	松平上野	松平道采	(大名・ 出雲守・ 蓬生守)	松平上野守	⑨		
神谷与七郎同心	神谷清正	先手鉄炮頭	萬木忠右衛門 組足軽	萬木為信	先手鉄炮頭	山口前足	山口重則	青院番頭	トダサガミクミ	山口氏照 (氏好)	大番頭	
酒井忠岐守同心	酒井忠進	書院番頭	山口前足	山口重則	書院番頭	トダサガミクミ	山口氏照 (氏好)	大番頭	大御番同心大隅地	⑩		
酒井忠岐守同心	酒井忠進	書院番頭	山口前足	山口重則	書院番頭	トダサガミクミ	山口氏照 (氏好)	大番頭	大御番同心大隅地	⑪		

第 123 表 宝暦～明和期 屋敷地所持者

範囲 No.	No.	「伯草図書」のうち「宝暦三木年之形」(1763)記載名	明和 5 年(1768)上地対象者		身分	備考 / 引料・手当金
			氏名	肩書		
❶	1	西尾鹿四郎(長農)	西尾鹿四郎(長農)	小普請組田平藤九郎支配組頭	旗本	- / 全 30 両・無
	2	山田吉左(右)衛門(信義)	山田吉左衛門(信義)	御令性組高井千佐守組	旗本	- / 全 30 両・無
	3	佐野九右衛門(政信)	佐野九右衛門(政信)	新御番組野七兵衛組頭と酒	旗本	- / 越 20 両・無
	4	宇津野多宮(政伴)	宇津野多宮(政伴)	小普請組市郷大原支配	旗本	- / 全 30 両・無
	5	多田吉之助(政久)	多田吉之助(政久)	小普請組舟弓次右衛門支配	旗本	- / 越 20 両・無
❷	6	鶴崎左兵衛(武経)	鶴崎左兵衛(武経)	御領守鶴崎左兵大内組頭刀力	御家人	- / 越 20 両・銀 50 枚
	7	原武太夫	原武太夫	御領守番大内部能守組守刀力	御家人	- / 越 20 両・銀 50 枚
	8	石原八郎左衛門	石原八郎左衛門	小普請組設善左衛門組	御家人	- / 越 20 両・銀 50 枚
	9	岡部大助	岡部大助	小普請組舟弓次高采女組	御家人	他役が伴領 / 無・全 25 両
❸	10	引山右衛門	引山右衛門	御御門番同心	御家人	他役が伴領 / 銀 3 枚・全 5 両
	11	伊藤平蔵	伊藤平蔵	小普請組市體大原頭	御家人	他役が伴領 / 銀 3 枚・全 5 両
	12	西田二郎次	西田二郎次	山田伊賀者	御家人	他役が伴領 / 銀 5 枚・同 12 枚
	13	前田藤十郎	前田藤十郎	小普請組舟弓次采女組	御家人	- / 銀 3 枚・全 5 両
	14	山口長右衛門	山口長右衛門	小普請組舟弓次采女組	御家人	- / 無・無
❹	15	前田五郎兵衛	前田五郎兵衛	小普請組高力式組頭	御家人	先租が引領居番同心 / 銀 3 枚・全 5 両
	16	古谷定右衛門	古谷定右衛門	御御近道能守河内支配同心	御家人	- / 無・無
	17	屋代辰次郎	屋代辰次郎	西内御裏門番同心	御家人	先租が引領居番同心 / 銀 3 枚・全 5 両
	18	井上新蔵	井上新蔵	小普請組舟弓四平組頭	御家人	- / 越 3 枚・全 5 両
	19	椎林政云郎	椎林政云郎	御領守番近藤平十郎同心	御家人	- / 銀 3 枚・全 5 両
❺	20	真井平蔵(理)左衛門(側直)	真井平蔵(理)左衛門(側直)	御御定	旗本	宝暦 8 年(1758) - 旗本 / 全 10 両・無
	21	原田正助(俊優)	原田正助(俊優)	御御定	旗本	享保 3 年(1718) - 旗本 / 越 10 枚・無
❻	22	大内儀右衛門	大内儀右衛門	安院院殿添番	御家人	- / 無・銀 12 枚
	23	御御局同心町屋	柄本利一郎	御御拂手行	御家人	- / 無・無
	24	大久大藏	大久大藏	小普請組舟弓大橋大膳組	御家人	- / 無・無
❼	25	長井千之助	長井千之助	小普請組舟弓次右衛門組	御家人	- / 越 5 枚・同 12 枚
	26	小野富三郎	小野富三郎	御手仙石監物組守刀力	御家人	- / 越 20 枚・同 50 枚
	27	鈴木九太郎	鈴木九太郎	御手仙石監物組守刀力	御家人	- / 越 20 枚・同 50 枚
	28	矢張定之助	矢張定之助	御御近道能守近藤平十郎同心	御家人	- / 越 3 枚・全 5 両
	29	岡田左右衛門	岡田左右衛門	追物取次番	御家人	- / 越 3 枚・全 5 両
❽	30	大森三次郎	大森三次郎	小普請組役善左衛門組	御家人	他役が引替替 / 銀 3 枚・同 12 枚
	31	中沢辰次郎	中沢辰次郎	御御近道能守河内支配同心	御家人	- / 無・地守へ銀 2 枚
	32	倉橋定右衛門	倉橋定右衛門	御御役	御家人	他役が引替 / 銀 5 両・同 13 枚
	33	平井左右衛門	平井左右衛門	小普請組舟弓式組頭活役	御家人	- / 越 7 枚・全 12 両
❾	34	川端源蔵	川端源蔵	小普請組舟平求馬介組	御家人	- / 越 3 枚・全 5 両
	35	津川熊太郎	津川熊太郎	小普請組舟平求馬介組	御家人	- / 無・地守へ銀 2 枚
	36	大枝吉右衛門	大枝吉右衛門	小普請組舟藤九郎組	御家人	- / 越 3 枚・全 5 両
	37	小島源之助	小島源之助	小普請組舟平求馬介組	御家人	- / 越 3 枚・全 5 両
	38	染谷新之丞	染谷新之丞	小普請組舟弓次右衛門組	御家人	- / 越 3 枚・全 5 両
❿	39	白井源之助	白井源之助	小普請組舟櫛大膳組	御家人	- / 越 3 枚・全 5 両
	40	西川幸右衛門	西川幸右衛門	小普請組田平能守組頭	御家人	- / 越 3 枚・全 5 両
	41	丹羽源右衛門	丹羽源右衛門	小普請組船六郎組活役	御家人	- / 越 3 枚・同 12 枚
	42	村松吉左衛門	村松吉左衛門	御御守番善一船久右衛門組同心	御家人	- / 越 3 枚・全 5 両
⓪	43	大野幸右衛門	大野幸右衛門	御御守番善一船久右衛門組同心	御家人	- / 越 3 枚・全 5 両
	44	御先手大綱地	(30 名)	御先手石監物組同心	御家人	- / 越 148 枚・同 360 枚
⓪	45	稲葉紀伊守同心大綱地	(5 名)	御書院希稻葉紀伊守組同心	御家人	- / 越 20 枚・同 48 枚

※「範囲No.」は第 122 表に対応

※「No.」は第 115 ～ 117 表の記載順による

※「明和 5 年上地対象者」の「氏名」は同年 4 月 21 ～ 曜日の土地登記作成「縦敷地指図証文」の記載名。「肩書」は同年 2 月 23 ～ 26 日付の替地下闇時作成「縦敷地指図証文」の記載による

※「備考」欄の「他役が…」とは御守番以外の獲得が判明した場合に記した

※「備考」欄の「引料」は「御融資大集会」(治政書店、1958 年)二九九五・二九九六号、「手当金」は「明和 5 年市貢御地御御屋上ヶ地・大草御屋御御上ヶ地・作留」(徳川林政史研究会所蔵)による

第124表 上地に伴う手当金受給者（屋敷地所持者以外）

名前	回書	金額	身分	備考
鈴井儀兵衛	民部卿殿（一橋治済）大番	金 25両	御家人	
橋山清五郎	神谷与次右衛門頭小普請	金 25両	御家人	
林小右衛門	支配期定	金 25両	御家人	
内山伴内	民部卿殿（一橋治済）大番	金 12両	御家人	
高麗七右衛門	設楽甚十郎組世役小普請	金 12両	御家人	
中野孝哲	宮内卿殿（清水重好）医師	金 12両	御家人	
岩浅郡藏	御普請役	金 12両	御家人	
野々山金次郎	神尾若狭守組小普請	金 5両	御家人	
久保田吉右衛門	御留小判矢部能登守組同心	金 5両	御家人	
井戸田兼太夫	御助方	金 5両	御家人	
上野岡之丞	高力式部組小普請	金 5両	御家人	
沼野弥三郎	蓮池御藏番	金 5両	御家人	
村松仁右衛門	二之丸同心	金 5両	御家人	
早野丈助	西丸御助方	金 5両	御家人	
関本乙五郎	龜三郎御組小普請	金 5両	御家人	
富田養益	宮内卿殿（清水重好）奥主	金 5両	御家人	
窪川半内	西丸表舞台所改役	金 5両	御家人	
水次忠藏	柳田安右衛門組御小人	金 5両	御家人	
井戸田利助	御助方御役	金 5両	御家人	
岩崎孫四郎	吹上奉手配御庭口番人	金 5両	御家人	
伊藤新六	右衛門御殿（田安宗武）小道具之者組頭	金 5両	御家人	
鈴木藤右衛門	私方御組同心	金 5両	御家人	
山下藤右衛門	御組工所同心組頭	金 5両	御家人	
平井与市	右衛門御殿（田安宗武）小組工方	金 5両	御家人	
三沢源太夫	御助六尺	金 5両	御家人	
寺田半之丞	高力式部組小普請	金 5両	御家人	
中山沢右衛門	右衛門御殿（田安宗武）物頭同心	金 5両	御家人	
佐藤弥右衛門	脇部源五郎組道具取次下番	金 5両	御家人	
田代弥三郎	御組工吉同心	金 5両	御家人	
(11名)	町屋敷地之分町人	金 55両	—	金 5両宛
神原清吉	宮内卿殿（清水重好）台所六尺	金 1000 正	御家人	
栗田市郎兵衛	表火之番	銀 25枚	御家人	
山本四助右衛門	民部卿殿（一橋治済）徒	銀 12枚	御家人	
田村伊右衛門	御組工所同心	銀 12枚	御家人	
藤巻万右衛門	民部卿殿（一橋治済）伊賀之者組頭	銀 12枚	御家人	
河合隨秀	町医師	銀 12枚	—	
山本六郎	浪人	銀 12枚	—	
田中思次郎	右衛門御殿（田安宗武）小人	銀 5枚	御家人	
小林部藏	右衛門御殿（田安宗武）旗同心	銀 5枚	御家人	
鈴木惣兵衛	右衛門御殿（田安宗武）旗同心	銀 5枚	御家人	
道脇助助	右衛門御殿（田安宗武）切手門番	銀 5枚	御家人	
荒川部藏	右衛門御殿（田安宗武）旗同心	銀 5枚	御家人	
橋田新右衛門	宮内卿殿（清水重好）仕丁	銀 5枚	御家人	
伊藤文治	宮内卿殿（清水重好）小人	銀 5枚	御家人	
古谷伴七	右衛門御殿（田安宗武）広敷下男	銀 5枚	御家人	
(23名)	町家店舗之者	銀 46枚	—	銀 2枚宛
本寿院	折荷者	銀 100枚	—	

※「明和五年市貢御添地拝領の御屋舗御上ヶ地大草御屋舗御上ヶ地一件留」(徳川政史研究所所蔵)より作成

※記載は屋敷地所持者を除く史料記載順である

VII 自然科学分析

1 新宿区市谷本村町遺跡のローム層分析

パリノ・サーヴェイ株式会社

はじめに

新宿区に所在する市谷本村町遺跡は、武蔵野台地東部を構成する淀橋台北部に位置し、調査区は台地内を開析する外堀の谷の支流を形成する左内町の谷、右斜面から緩斜面に広がる。淀橋台は、下末吉海進時の海成層である東京層を地形面構成層とし、12.5万年前に離水した下末吉面（S面）に区分されている台地である（貝塚ほか編,2000; 遠藤ほか,2019）。淀橋台は、樹枝状の谷が多く刻まれている地形を特徴とし、発掘調査では、近世の遺構や遺物が多数確認されている。調査時の観察による地形は、南から北へ谷に向かう緩斜面を形成するが谷底に近づくと斜度は鋭角になる。層序は基本層序のⅡ層（黒ボク土層）が消失し、下位の立川ローム層上部にもその影響は考えられた。この要因は、江戸期の土木開発や近代の大規模な土地利用の変更などが推測され、変更の実態を明らかにする必要性が求められた。

本分析調査では、調査区の高位から低位方向へ3箇所が設定されたローム層の層序断面について、鉱物分析やガラス質のテフラ分析を行い、武蔵野台地の立川ローム層基本層序との対比から、変更の実態を解析する。

1 試料

試料は、高位・中位・低位の3箇所の土層断面より採取された。以下に各断面について述べる。

1) C1 区南西側基本層序トレンチ

最も高い地点であり僅に傾斜する。確認面より深度約2mほどの土層断面が作成されている。発掘調査所見により、断面最上部の土層は漸移層とされ、その下位のローム層については、上位よりⅣ上、Ⅳ下、Ⅴ、Ⅵ、Ⅶ、Ⅸ、Ⅹの各層に分層されている。各層名は、武蔵野台地の立川ローム層の基本層序に準じた層名とされている。

試料は、断面の最上部から下底まで、厚さ5cmで連続に上位より試料番号1～38までの38点が採取されている。各試料の採取層位は、分析結果を呈示した第344図に柱状図として併記する。

2) C2-3 区3001号西壁

やや斜面が認められる地点である。確認面より深度約1.5mほどの土層断面が作成されている。発掘調査所見により、断面最上部はローム層のⅣ上、Ⅳ下の各層に分層され、その下位のローム層は上位よりⅤ、Ⅵ、Ⅶ～Ⅸ、Ⅹの各層に分層されている。各層名については、上述の断面と同様である。

試料は、断面の最上部から下底まで、厚さ5cmで連続に上位より試料番号1～35までの35点が採取されている。各試料の採取層位は、分析結果を呈示した第345図に柱状図として併記する。

3) C4 区調査区北壁

最も低い地点であり、採取した箇所付近から谷に向かい急斜面が始まっている。確認により深度約1mほどの土層断面が作成されている。発掘調査所見により、断面最上部は黒ボク土層のⅡ層とされ、その下位のローム層は上位よりⅢ、Ⅳ、Ⅴの各層に分層されている。各層名については、上述の断面と同様である。

試料は、断面の最上部から下底まで、厚さ5cmで連続に上位より試料番号1～21までの21点が採取されている。各試料の採取層位は、分析結果を呈示した第346図に柱状図として併記する。

2 分析方法

ここでは、ローム層の重鉱物組成を行い、層序対比の指標として重鉱物組成の層位的変化と火山ガラスの産状の両者を用いる。ただし、火山ガラスのほとんど検出されない層位については、重鉱物分析のみを行う。3箇所の断面のうち、C1区南西側基本層序トレンチでは、10点の重鉱物分析と5点の重鉱物分析を行い、C2-3区3001号西壁では、7点の重鉱物分析と5点の重鉱物分析を行い、C4区調査区北壁では9点の重鉱物分析を行う。合計36点である。各地点ともに選択した試料の試料番号は、結果を示した第120表に提示する。以下に分析手順を述べる。

試料約40gに水を加え超音波洗浄装置により分散、250メッシュの分析篩を用いて水洗し、粒径1/16mm以下の粒子を除去する。乾燥の後、篩別し、得られた粒径1/4mm-1/8mmの砂分をポリタンゲステン酸ナトリウム（比重約2.96に調整）により重液分離、重鉱物と軽鉱物を偏光顕微鏡下にてそれぞれ250粒に達するまで同定する。重鉱物同定の際、不透明な粒については、斜め上方からの落射光下で黒色金属光沢を呈するもののみを「不透明鉱物」とする。「不透明鉱物」以外の不透明粒および変質等で同定の不可能な粒子は「その他」とする。軽鉱物組成は、便宜上火山ガラスを含めて計数する。火山ガラスは、その形態によりバブル型・中間型・軽石型の3タイプに分類した。各型の形態は、バブル型は薄手平板状、中間型は表面に気泡の少ない厚手平板状あるいは破碎片状などの塊状ガラスであり、軽石型は小気泡を非常に多く持った塊状および気泡の長く伸びた繊維束状のものとする。また、重鉱物組成と同様に不透明粒および変質等で同定の不可能な粒子は「その他」とする。

3 結果

(1) C1区南西側基本層序トレンチ

結果を第125表、第344図に示す。重鉱物組成は、試料番号15と17の2点を除く13点の試料においてカンラン石が最も多く、次いで斜方輝石が多く、少量または微量の单斜輝石と不透明鉱物を含むという組成である。試料番号15と17では斜方輝石が最も多く、次いでカンラン石が多く、少量の单斜輝石と不透明鉱物を含む。

各重鉱物の量比の層位的な変化を見ると、IV下層中部の試料番号9とV層中部の試料番号15には比較的明瞭な斜方輝石の極大（上位と下位の両試料よりも量比が高い）が認められ、IX層上部の試料番号29にもやや不明瞭ではあるが斜方輝石の極大が認められる。また、IV下層上部の試料番号6とV層上部の試料番号26にはカンラン石の極大が認められる。さらに、X層下部試料番号37は、その下位の試料のカンラン石の量比は不明であるが、その高い値から、カンラン石の極大を示す可能性はある。なお試料番号37では、斜方輝石に対する单斜輝石の量比が他の層位に比べると高い傾向を

示している。

軽鉱物組成では、重軽鉱物分析した全試料において長石が多くを占め、微量または少量の石英が含まれるが、火山ガラスの量比は試料によって大きく異なる。その中で、IV下層下部の試料番号 12 から VI層上部の試料番号 20までの層位にバブル型火山ガラスが多く含まれることが特徴的であり、漸移層の試料番号 1 に少量の中間型火山ガラスが含まれることも特徴とされる。

(2) C2-3 区 3001 号西壁

結果を第 125 表、第 345 図に示す。重鉱物組成は、試料番号 5 を除く 11 点の試料においてカンラン石が最も多く、次いで斜方輝石が多く、少量または微量の单斜輝石と不透明鉱物を含むという組成である。試料番号 5 では斜方輝石が最も多く、次いでカンラン石が多く、少量の单斜輝石と不透明鉱物を含む。

各重鉱物の量比の層位的な変化を見ると、IV下層下部の試料番号 5 には比較的明瞭な斜方輝石の極大が認められ、VII～IX層上部の試料番号 22 にもやや不明瞭ではあるが斜方輝石の極大が認められる。また、VI層下部の試料番号 18 と X層上部の試料番号 31 にはカンラン石の極大が認められる。さらに、IV上層上部試料番号 1 は、その上位の試料のカンラン石の量比は不明であるが、その高い値から、カンラン石の極大を示す可能性はある。なお X層下部の試料番号 34 では、斜方輝石に対する单斜輝石の量比が他の層位に比べると高い傾向を示している。

軽鉱物組成では、重軽鉱物分析した全試料において長石が多くを占め、微量または少量の石英が含まれるが、火山ガラスの量比は試料によって大きく異なる。その中で、VI層上部の試料番号 12 から VI層下部の試料番号 18までの層位にバブル型火山ガラスが多く含まれることが特徴的である。

(3) C4 区調査区北壁

結果を第 125 表、第 346 図に示す。重鉱物組成は、試料番号 9、11、18、21 の各試料ではカンラン石が最も多く、次いで斜方輝石が多く、少量または微量の单斜輝石と不透明鉱物を含むという組成であり、試料番号 1、3、5、16 では斜方輝石が最も多く、次いでカンラン石が多く、少量の单斜輝石と不透明鉱物を含む。

各重鉱物の量比の層位的な変化を見ると、III層下部の試料番号 11 には比較的明瞭なカンラン石の極大が認められ、IV層下部の試料番号 16 にはやや不明瞭ではあるが斜方輝石の極大が認められる。

軽鉱物組成では、重軽鉱物分析した全試料において長石が多くを占め、微量または少量の石英が含まれるが、火山ガラスの量比は試料によって異なる。その中で、II層の試料番号 1 から III層中部の試料番号 9 までの層位に少量の中間型火山ガラスと微量の軽石型火山ガラスが特徴的に含まれる。また、III層下部の試料番号 11 から V層下部の試料番号 21 までの層位には、バブル型火山ガラスが微量から少量含まれるが、下位ほど多く含まれる傾向が窺える。

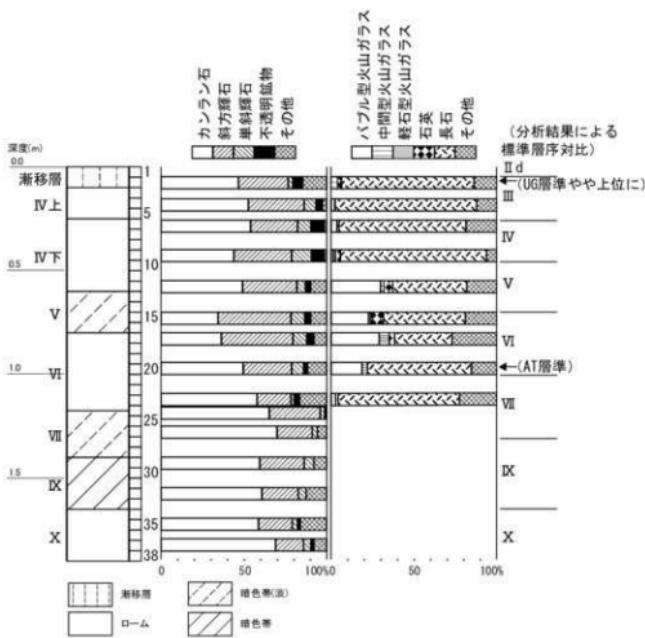
4 考察 - 基本層序との対比 -

(1) C1 区南西側基本層序トレンチ

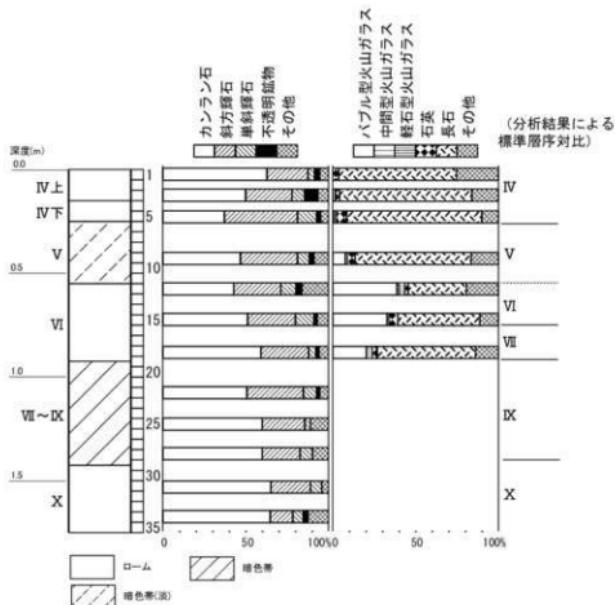
分析結果から、最も明瞭かつ有効な対比指標は、IV下層下部から VI層中部までの層位に認められた

第125表 重軽鉱物分析結果

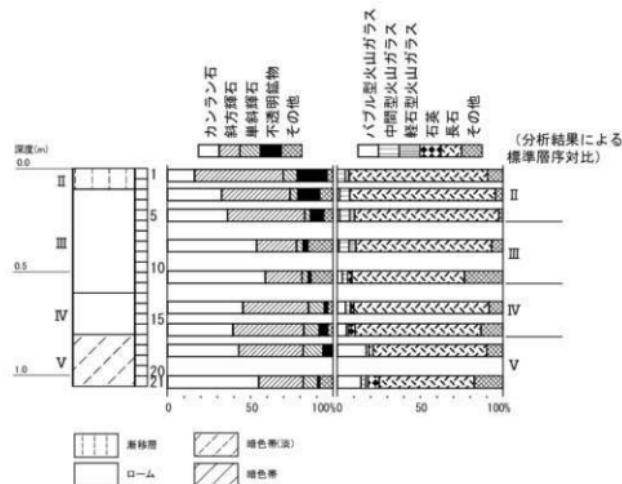
地點名	層名	試料番号	カ	斜	単	角	不	合	バ	中	軽	石	長	そ	合
			ン	方輝	斜輝	閃石	透明	計	ブル	間型	石型	英	石	そ	計
			ラン	輝石	輝石		鉱物		ガラス	火山ガラス	ガラス				
C1区 南西側 基本層序 トレンチ	漸移層	2	117	75	7	1	15	35	250	0	10	1	6	200	33 250
	IV上	4	132	84	18	0	10	6	250	6	0	1	1	214	28 250
		6	135	71	20	0	20	4	250	9	1	0	3	192	45 250
	IV下	9	110	87	30	0	19	4	250	4	2	3	7	221	13 250
		12	123	82	13	0	8	24	250	75	5	1	13	112	44 250
	V	15	86	110	21	0	9	24	250	57	1	3	19	124	46 250
		17	91	108	21	0	11	19	250	73	1	15	8	87	66 250
	VI	20	124	73	18	0	6	29	250	47	0	8	0	157	38 250
		23	145	51	5	0	8	41	250	7	1	0	4	183	55 250
	VII	24下	162	76	7	0	3	2	250	—	—	—	—	—	—
		26	175	53	8	0	1	13	250	—	—	—	—	—	—
	IX	29	149	67	15	0	0	19	250	—	—	—	—	—	—
		32	152	55	12	0	2	29	250	—	—	—	—	—	—
	X	35	147	51	8	0	4	40	250	—	—	—	—	—	—
		37	173	42	11	0	5	19	250	—	—	—	—	—	—
C2-3区 3001号 西壁	IV上	1	157	62	10	0	8	13	250	1	1	1	9	178	60 250
		3	125	70	19	0	20	16	250	4	1	0	6	200	39 250
	IV下	5	93	110	29	0	6	12	250	3	3	0	15	204	25 250
	V	9	117	86	18	0	7	22	250	19	3	1	12	175	40 250
	VI	12	107	71	23	0	9	40	250	97	3	9	5	88	48 250
		15	128	72	28	0	5	17	250	82	0	3	13	124	28 250
		18	148	72	11	0	5	14	250	51	1	9	7	149	33 250
	VII~IX	22	127	85	20	0	5	13	250	—	—	—	—	—	—
		25	150	64	9	0	2	25	250	—	—	—	—	—	—
		28	150	57	19	0	2	22	250	—	—	—	—	—	—
	X	31	163	60	17	0	1	9	250	—	—	—	—	—	—
		34	162	34	16	0	7	31	250	—	—	—	—	—	—
C4区 調査区 北壁	II	1	41	134	21	0	45	9	250	1	12	6	2	209	20 250
		3	82	103	12	0	33	20	250	4	15	2	1	220	8 250
	III	5	91	116	9	1	20	13	250	4	15	7	1	218	5 250
		8	135	60	10	0	7	38	250	3	15	10	2	205	15 250
	IV	11	148	55	10	0	4	33	250	8	8	0	6	170	58 250
		14	114	99	24	1	5	7	250	13	7	1	5	204	20 250
		16	99	107	23	0	13	8	250	14	2	3	10	190	31 250
	V	18	107	96	30	0	15	2	250	44	4	2	6	172	22 250
		21	138	67	22	1	3	19	250	36	7	4	16	144	43 250



第344図 C1区南西側基本層序トレンチの重鉱物組成および軽鉱物組成



第345図 C2-3区3001号西壁の重鉱物組成および軽鉱物組成



第346図 C4区調査区北壁の重鉱物組成および軽鉱物組成

バブル型火山ガラスの濃集層準である。この火山ガラスは、立川ローム層中部付近という産出層位とバブル型という形態により、鹿児島湾奥部の姶良カルデラを給源とする姶良Tnテフラ（AT; 町田・新井, 1976）に由来する。本地点におけるATの産状は、ATが降灰後に搅乱と再堆積を繰り返したことと示唆しているが、このように土壤中に特定テフラが混交して産出する場合はテフラ最濃集部の下限がそのテフラの降灰層準にはほぼ一致すると言われている（早津, 1988）。本地点では、VI層中部の試料番号20がそれに相当する。これまでの分析事例では、ATの降灰層準は、標準層序のVI層とVII層の層界付近（VI層最下部またはVII層最上部）に推定されることが多い。したがって、本地点のVI層上半部が、標準層序のVI層に概ね対比され、本地点のVI層下半部は標準層序のVIIに対比されると考えられる。なおATの噴出年代については、水月湖の年縞堆積物の研究により暦年で3.0万年前とされている（Smith et al., 2013）。

武藏野台地の立川ローム層については、暗色帯を基準とした分層が古くより行われており、標準層序ともいるべき共通した層名が用いられている。矢作・橋本（2012）は、武藏野台地各地における立川ローム層の重鉱物組成の層位的な変化を調べ、特定の鉱物の量比が増加から減少に転じるあるいはその逆を示す層準を極大層準あるいは極小層準と呼び、共通した層位で認められる極大極小層準が対比指標となることを見出した。具体的には、上位より順に、Ⅲ層下部～IV層上部のカンラン石の極大層準、V層直上および直下の輝石の極大層準、VII層下部のカンラン石の極大層準、IX層中部～下部の輝石の極大層準、X層における斜方輝石と単斜輝石の量比の近似およびX層のカンラン石の極大層準があげられる。これらのうち、V層直上の輝石の極大層準は、小林ほか（1971）における羽鳥の分析例以来多くの分析例で指摘されている。また、X層における斜方輝石と単斜輝石の量比の近似は、武藏野ローム層最上部の標準層序のXⅠ層まで認められている。なお上述した各対比指標の認められる層位の記載については、厚さ5cmで層位方向に連続採取した試料を1点おきに分析した結果に基づいている。すなわち層位方向の分解能は、厚さにして10cmである。

今回の分析では、上述したATによる標準層序との対比を考慮すると、前述したカンラン石および斜方輝石の極大層準と上記した指標との対比が可能である。本地点のIV下層上部のカンラン石の極大は標準層序Ⅲ層下部～IV層上部のカンラン石の極大層準に、本地点のIV下層中部の斜方輝石の極大は標準層序のV層直上の輝石の極大層準に、本地点のV層下部の斜方輝石の極大は標準層序のV層直下の輝石の極大層準に、VII層上部のカンラン石の極大は標準層序のVII層下部のカンラン石の極大層準に、本地点のIX層上部の斜方輝石の極大は標準層序のIX層上部～中部の輝石の極大層準に、それぞれ対比されると考えられる。さらに本地点のX層下部のカンラン石の高い量比は標準層序のX層のカンラン石の極大層準に近いことを窺わせる。またX層下部の斜方輝石と単斜輝石の量比関係は、標準層序のX層に認められる両輝石の量比の近似傾向を示している。

なお、本地点の漸移層（試料番号2）には微量ながらも中間型火山ガラスが特徴的に含まれることを指摘したが、この火山ガラスは、その産出層位と形態から、立川ローム層上部ガラス質テフラ（UG; 山崎, 1978）に由来すると考えられる。UGの噴出年代については、町田・新井（1992）などでは1.2万年前とされてきたが、町田・新井（2003）では、その噴出年代は明記されていない。ただし、UGの由来と考えられている浅間火山の軽石流期のテフラの年代については、放射性炭素年代では1.3～1.4万年前（町田・新井, 1992）、層位学的な年代も加味した暦年では1.5～1.6万年前とされている

から、これがUGの噴出年代となる。

以上に述べた指標による対比結果をまとめると、本地点の漸移層とIV上層は標準層序のⅢ層にほぼ対比され、本地点のIV下層の上部が標準層序のIV層に、本地点のIV下層下半部とV層が標準層序のV層にほぼ対比される。そして、本地点のVI層上半部は標準層序のVI層に、本地点のVI層下半部とVII層が標準層序のVII層に対比され、本地点のIX層とX層は、標準層序のそれぞれ同名の層と対比されると考えられる（第344図参照）。

（2）C2-3区3001号西壁

本地点におけるバブル型火山ガラスの濃集層準はVI層に認められるが、ATの降灰層準とする濃集層準下限を判断することは難しい。後述する重鉱物組成による対比結果も考慮すると、ATの降灰層準は、VI層中部に推定される。したがって、本地点のVI層上半部が標準層序のVI層に概ね対比され、本地点のVI層下半部は標準層序のVII層に対比されると考えられる。

前述した本地点のカンラン石および斜方輝石の極大層準と標準層序における指標との対比は次の通りである。本地点のIV下層下部の斜方輝石の極大は標準層序のV層直上の輝石の極大層準に、VI層下部のカンラン石の極大は標準層序のVII層下部のカンラン石の極大層準に、本地点のVII～IX層上部の斜方輝石の極大は標準層序のIX層上部～中部の輝石の極大層準に、本地点のX層のカンラン石の極大は標準層序のX層のカンラン石の極大層準にそれぞれ対比されると考えられる。なお、本地点では標準層序のV層直下の輝石の極大に対比される重鉱物組成は見出せない。さらに本地点のIV上層上部のカンラン石の極大は標準層序III層下部～IV層上部のカンラン石の極大層準に近いことを窺わせる。またX層下部の斜方輝石と單斜輝石の量比関係は、標準層序のX層に認められる両輝石の量比の近似傾向を示している。

以上に述べた指標による対比結果をまとめると、本地点のIV上層とIV下層は標準層序のIV層にほぼ対比され、本地点のV層は標準層序のV層にほぼ対比される。そして、本地点のVI層上半部は標準層序のVI層に、本地点のVI層下半部が標準層序のVII層にそれぞれ対比され、本地点のVII～IX層は標準層序のIX層に、本地点のX層は標準層序のX層にそれぞれ対比されると考えられる（第345図参照）。

（3）C4区調査区北壁

本地点ではII層からIII層中部にかけて特徴的に含まれる中間型火山ガラスと軽石型火山ガラスが対比指標となる。これらの火山ガラスは、その産出層位と形態から、UGに由来する。本地点では、その火山ガラスの濃集層準下限は不明瞭であるが、後述する重鉱物組成による対比も考慮すれば、UGの降灰層準はIII層中部よりやや上位付近に推定される。これまでの分析事例では、UGの降灰層準は標準層序のIII層上部に推定されている。

前述した本地点のカンラン石および斜方輝石の極大層準と標準層序における指標との対比については、本地点のIII層下部のカンラン石の極大は標準層序III層下部～IV層上部のカンラン石の極大層準に対比され、本地点のIV層下部の斜方輝石の極大は標準層序のV層直上の輝石の極大層準にそれぞれ対比されると考えられる。

以上に述べた指標による対比結果をまとめると、本地点のII層とIII層上部までが標準層序のII層下

部に対比され、本地点のⅢ層中部から下部までが標準層序のⅢ層に対比される。そして本地点のⅣ層は標準層序のⅣ層にはほぼ対比され、本地点のⅤ層は標準層序のⅤ層にはほぼ対比されると考えられる(第346図参照)。

5 考察 - 改変について -

3箇所の層序は、地形的に高位で II_d 層下部、中位で IV 層上部、低位で II 層下部付近までそれぞれ標準層序が消失していた。さらに中位での V 層・VI 層・VII 層に関しては、平均的な層厚が 5 割程度薄く、IX 層では逆にやや厚い。そして、これらの変化は C4 区調査区北壁の写真を見ると谷に向かい急激な斜面が看取され斜面の崩壊が窺える。

分析の結果と標準層序対比から、本調査区の斜面は低い場所ほど自然の崩壊などがあり、高位の緩斜面付近では II 層の黒ボク土層の全て(約 1.1-1.2m 程度の層序)と場所によっては、IV 層上部付近まで(約 1.3-1.5m)削平が行われていたといえる。当然これらの層中に包含される時代に伴う遺構・遺物も消失していることになる。さらに緩斜面地形であることから黒ボク土層の層厚は、平坦部より 30-50cm 程度厚かった可能性もあり、改変の程度は面積的にも深度的にも大規模で在り、理由や背景については資料を蓄積し検討する必要がある。

引用文献

- 遠藤邦彦・千葉達朗・杉中佑輔・須貝俊彦・鈴木毅彦・上杉 陽・石綿しげ子・中山俊雄・舟津太郎・大里重人・鈴木正章・野口真利江・佐藤明夫・近藤玲介・堀 伸三郎, 2019, 武藏野台地の新たな地形区分, 第四紀研究, 58, 353-375.
- 早津賢治, 1988, テフラおよびテフラ性土壤の堆積機構とテフロクロノロジー -AT にまつわる議論に關係して-, 考古学研究, 34, 18-32.
- 貝塚爽平・小池一之・遠藤邦彦・山崎晴雄・鈴木毅彦編, 2000, 日本の地形 4 関東・伊豆小笠原, 東京大学出版会, 349p.
- 小林達雄・小田静夫・羽鳥謙三・鈴木正男, 1971, 野川先土器時代遺跡の研究, 第四紀研究, 10, 231-252.
- 町田 洋・新井房夫, 1976, 広域に分布する火山灰-始良 Tn 火山灰の発見とその意義-, 科学, 46, 339-347.
- 町田 洋・新井 房夫, 1992, 火山灰アトラス, 東京大学出版会, 276p.
- 町田 洋・新井房夫, 2003, 新編 火山灰アトラス, 東京大学出版会, 336p.
- Smith, V.C., Staff, R.A., Blockley, S.P.E., Ramsey, C.B., Nakagawa, T., Mark, D.F., Takemura, K., Danhara, T., Suigetsu 2006 Project Members, 2013, Identification and correlation of visible tephras in the Lake Suigetsu SG06 sedimentary archive, Japan: chronostratigraphic markers for synchronizing of east Asian/west Pacific palaeoclimatic records across the last 150 ka, Quaternary Science Reviews, 67, 121-137.
- 矢作健二・橋本真紀夫, 2012, 重鉱物組成と火山ガラス比による武藏野台地の立川ローム層層序対比, 新西郊文化, 2, 7-18.
- 山崎晴雄, 1978, 立川断層とその第四紀後期の運動, 第四紀研究, 16, 231-246.



01: カンラン石, Opx: 斜方輝石, Cpx: 単斜輝石, Op: 不透明鉱物, Vg: 火山ガラス,
Pl: 斜長石。

0.5mm

第347図 重鉱物・軽鉱物

2 B 区 588 号遺構出土舶載陶磁器胎土の元素組成分析

長佐古 真也（東京都埋蔵文化財センター）

はじめに

出土陶磁器の生産地は、器形・意匠・調整技法や胎土（素地）の肉眼的特徴を主な根拠として生産遺跡出土陶磁器類との比較の上で比定されている。しかし、舶載磁器類に関しては、生産地側・消費地側いずれの情報も少なく、景德鎮系・漳州窯系のように大まかに一括しているに過ぎない。調査段階における理解や、報告者の経験や眼力に左右される側面も否めず、極端な場合、人により意見の分かれることも皆無ではない。こうした状況を打開する足掛かりとして、B 区 588 号遺構一括資料に含まれていた舶載陶磁器の一部の元素組成分析を行った。これによって、元素組成と肉眼的分類の整合性を窺うと共に、将来の生産地の識別同定に向けた基礎データの蓄積を目指す。

1 分析対象試料

第 348 図に分析対象を改めて示す。なお、各個体の詳細については本文を参照願う。A～L は各種青花（染付磁器）である。いずれも浙江省景德鎮窯ないしはその系統窯として認識されているものである。ただし、その質感には大きな振れ幅があり、一定の釉調・胎質をもって一括できる訳ではない。また、一部は景德鎮系以外の窯にも類似製品が存在する。M は青磁の小形四方皿である。中世後期以降の青磁は龍泉窯系と看做されることが多いが、景德鎮等のものも知られている。N・O はいわゆる呉須赤絵（五彩手）の鉢である。漳州窯系と一括されるもので、福建省平和県周辺の窯跡で類品が確認されている。全体に緑色釉が施された P は同じく漳州窯系の“華南三彩”の可能性が想起されるが、被熱の影響もあってか胎質が陶器のように見えること、既知例に類品が見当たらないことから、他窯の模倣品の可能性を疑う意見もある。以下は比較対象として分析した試料で、Q～V は肥前産の各種磁器、W は京都産と推定される陶器皿、X は瀬戸美濃産の陶器瓶（志戸呂窯模倣）、Y は舶載の可能性も考えられる叩き成形の四耳壺である。この他に同一遺構で共伴した未報告資料から肥前産磁器輪花杯・網手文くらわんか手碗、瀬戸美濃産陶器灰釉端反碗・鉄釉小形壺、生産地不詳の叩き成形瓶の 5 点を分析している。さらに筆者の過去の分析で用いた肥前各窯跡出土磁器片、江戸遺跡出土の瀬戸美濃産磁器片各 10 点、伝世の徳化窯磁器杯の分析も同時に実施し、比較検討に用いた。

2 分析方法と分析結果

分析には EDX（SHIMADZU EDX-8100 / 東京都埋蔵文化財センター）を用い、素地が直接露出する破断面を非破壊で測定した。Rh ターゲット、真空環境、分析対象 Al-U (4.00 ~ 35.00 eV) は 50kV / 240 μ A-Auto, C-Sc (0.00 ~ 4.40 eV) は 15kV / 1000 μ A-Auto, S-Ca (2.10 ~ 4.10 eV) 15kV / 1000 μ A-Auto で #2 のフィルタを使用し、各範囲を 60 秒ずつ測定した。コリメータは、測定部位の形状および状況に合わせて、10・5・3・1mm から選択した。分析値の算出には、FP 法による定性定量メニューを用いた。岩石・土壤に含まれる可能性が高い珪素 (Si)・アルミニウム (Al)・



第348図 市谷本村町遺跡陶磁器分析個体

鉄(Fe)・チタン(Ti)・ナトリウム(Na)・カリウム(K)・マグネシウム(Mg)・カルシウム(Ca)・リン(P)・硫黄(S)の主成分元素に加え、バナジウム(V)・クロム(Cr)・マンガン(Mn)・亜鉛(Zn)・ガリウム(Ga)・ヒ素(As)・ルビジウム(Rb)・ストロンチウム(Sr)・イットリウム(Y)・ジルコニウム(Zr)の19元素を固定し、定性的に検出されたものを加えて存在比を算出してある。

第126表に分析結果を示した。分析値は、メニューで固定した元素のみを掲載し、岩石学の習慣に倣って全て酸化物の形で示した。鉄については、すべて3価と仮定して算出してある。単位は、主成分元素：%、微量元素：ppmとした。

3 考察

今回は、分析例が31点と少なく、複雑な統計処理に馴染まないところから、第349図に示した主要元素の二元分布図を基に検討を加える。

Aは珪素(Si)／アルミニウム(Al)の傾向を示したグラフである。全体として両元素は負の相間を示しているが、肥前磁器は珪素[多]・アルミニウム[少]、その他は珪素[少]・アルミニウム[多]の領域に分離した。同様に、B:チタン(Ti)／鉄(Fe)においては陶器がチタン[多]、漳州窯系が鉄[多]の領域に、E:ルビジウム(Rb)／ストロンチウム(Sr)においては、景德鎮系がルビジウム[多]、漳州窯系がストロンチウム[多]の領域に分離された。また、マンガン(Mn)／ジルコニウム(Zr)では景德鎮系がマンガン[多]・ジルコニウム[極少]、漳州窯系がマンガン[多]・ジルコニウム[少]、肥前磁器がマンガン[少]、陶器がジルコニウム[多]と四つのカテゴリがすべて異なる領域に分布した。こうした傾向から、元素組成を根拠として景德鎮系・漳州窯系・肥前の各磁器を分別可能であることが判る。さらに、ナトリウム・カリウムに着目すると、景德鎮系磁器がややばらつく傾向を示していることから、今後、分析事例を増やしていくば、これらを細分することも可能かもしれない。

ここで、M:青磁皿についてみると、測定したすべての元素において景德鎮系と近似した挙動を示している。特に、Lのいわゆる“トラディスカント壺”とは値が非常に近似していた。今回、龍泉窯系と考えられる試料が含まれていないことから断定は避けるが、Mの青磁皿も、トラディスカント壺同様、景德鎮系の上質な一群である可能性が極めて高い。一方、Q:総緑釉印花皿に関しては、すべての元素で漳州窯系と類似した挙動を示し、各種陶器とは排他的な傾向を示す元素も多い。こちらも充分な分析数を確保できているとは言い難いが、漳州窯系、すなわち華南三彩の範疇で捉えておきたい。

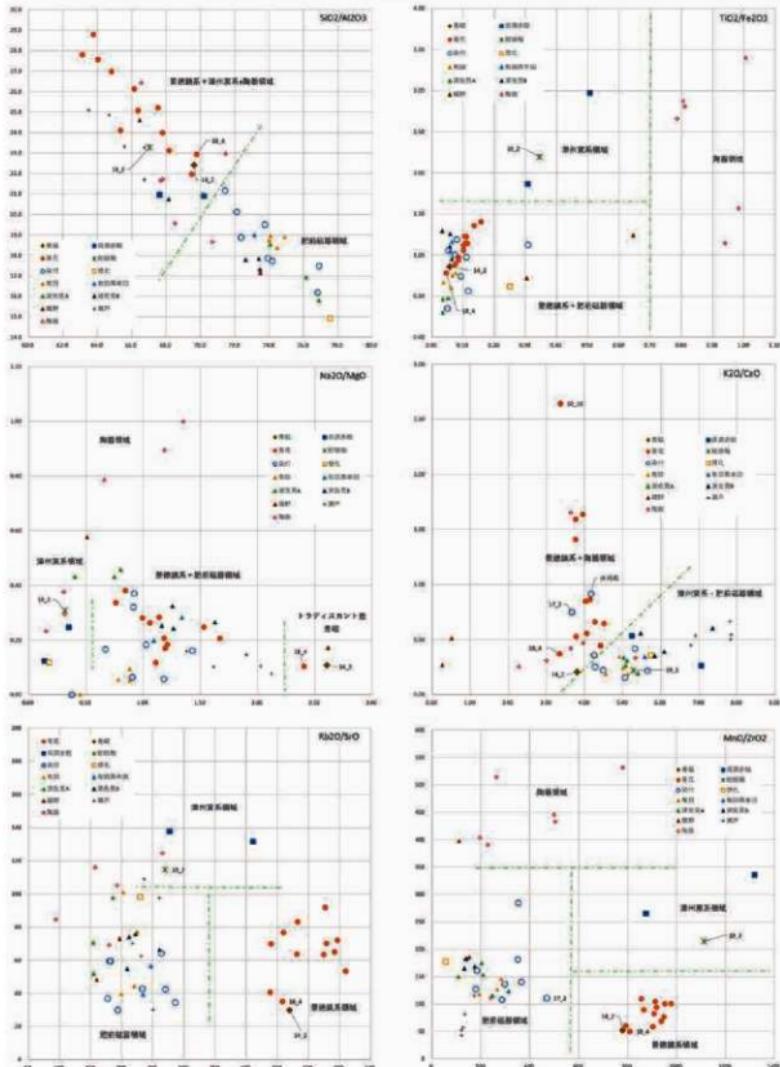
まとめ

以上、肉眼観察による推定生産地と元素組成の間には一定の相関を認めることができた。また、これを基に、青磁や華南三彩の生産地に関する情報を示すこともできた。今後、事例を重ねていけば、元素組成による生産地同定方法を確立することができよう。

第126表 陶磁器分析結果

#	固中 本文辨認 記号	社 種別	器 種	推定生産地	SiO ₂	Fe ₂ O ₃	TiO ₂	Na ₂ O	MgO	K ₂ O	CaO	P ₂ O ₅	SiO ₃	Rb ₂ O	Sc ₂ O	C ₁₂ O ₃	MnO	ZnO	V ₂ O ₅	Y ₂ O ₃	Ga ₂ O ₃			
					%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%			
1	A 10.1	青花 輪花杯	青花	青花	56.4	25.1	1.15	0.11	1.06	0.26	3.77	1.41	0.23	0.09	5.29	7.0	36	908	62	168	82	42	78	
2	B 10.2	青花 圓口碗	青花	青花	54.8	27.0	1.23	0.11	1.18	0.21	4.14	0.85	0.05	0.00	5.60	5.3	57	948	38	168	76	80	84	
3	C 10.6	青花 圓口碗	青花	青花	67.5	25.2	1.06	0.10	1.00	0.28	3.78	0.53	0.03	0.11	5.47	7.2	46	886	43	155	90	36	77	
4	D 10.10	青花 圓口盤	青花	青花	65.4	24.1	1.36	0.14	0.85	0.36	3.37	2.64	0.79	0.25	5.27	9.2	40	913	35	230	104	27	78	
5	E 11.5 ★	青花 圓口盤	青花	青花	67.8	24.0	0.94	0.09	1.21	0.18	3.77	1.59	0.79	0.00	4.81	64	0	903	71	119	58	25	72	
6	F 12.3 ★	青花 圓口盤	青花	青花	68.2	23.1	1.40	0.16	1.14	0.28	4.51	0.65	0.06	0.00	4.39	41	27	856	73	242	110	42	65	
7	G 14.3 ★	青花 愛口盤	青花	青花	69.5	22.0	0.89	0.07	1.11	0.12	3.95	1.64	0.06	0.48	4.83	83	42	793	66	113	60	33	69	
8	H 16.2	青花 圓口盤	青花	青花	63.8	28.8	1.12	0.10	1.19	0.17	4.06	0.56	0.05	0.00	4.60	77	43	953	63	44	100	32	66	
9	I 16.3	青花 圓口盤	青花	青花	63.1	27.8	1.22	0.11	1.67	0.21	4.27	0.66	0.09	0.49	4.40	70	33	977	245	151	101	31	83	
10	J 10.11	青花 圓口盤	青花	青花	64.0	27.6	0.97	0.09	1.53	0.25	4.03	0.85	0.26	0.07	5.42	65	68	937	77	123	68	28	64	
11	K 14.6 ★	青花 斜切盤	青花	青花	66.2	26.1	1.14	0.11	0.76	0.34	4.42	0.44	0.05	0.00	5.25	63	20	918	70	207	94	30	79	
12	L 18.4 ★	青花 盤	青花	青花	69.8	22.9	0.78	0.05	2.40	0.10	3.34	0.37	0.04	0.02	4.58	35	36	809	63	90	50	26	65	
13	M 14.2	青花 盤	青花	青花	69.6	22.4	0.86	0.06	2.61	0.11	3.80	0.20	0.02	0.06	4.70	30	56	780	81	111	52	33	70	
14	N 18.2	五彩手 折沿盤	五彩	五彩	67.6	21.0	2.97	0.51	0.14	0.12	7.05	0.26	0.03	0.00	4.11	132	68	1319	138	279	336	151	75	
15	O 15.2	五彩手 印花瓣	五彩	五彩	70.2	20.9	1.86	0.31	0.35	0.25	5.24	0.53	0.00	0.13	277	138	14	875	130	138	265	180	53	
16	P 19.2	五彩手 印花瓣	五彩	五彩	67.0	23.3	2.19	0.25	0.32	0.31	5.28	0.22	0.04	0.25	270	115	55	1113	89	178	214	242	131	
17	Q 10.4	染付 九瓣	染付	染付	76.8	16.2	0.66	0.12	1.18	0.06	4.75	0.36	0.03	0.13	182	164	60	366	34	156	141	32	48	
18	R 17.2	染付 九瓣	染付	染付	71.4	21.2	0.98	0.11	1.43	0.16	3.66	0.75	0.01	0.00	4.33	60	43	470	80	147	111	35	71	
19	S 15.1 ★	色繪 圓口盤	色繪	色繪	73.7	19.5	1.90	0.07	0.67	0.17	4.27	0.25	0.06	0.09	177	31	37	286	49	162	106	33	45	
20	T 18.8	染付 圓口盤	染付	染付	76.9	17.5	0.35	0.05	0.38	0.00	4.49	0.22	0.01	0.00	180	50	60	180	43	118	127	36	48	
21	U 14.8	染付 圓口盤	染付	染付	72.1	20.1	0.74	0.09	1.03	0.18	5.05	0.15	0.08	0.15	286	210	35	351	50	101	181	51	47	
22	V 13.1 (白)	染付 輪花盤	染付	染付	74.2	17.7	1.06	0.05	0.91	0.06	5.65	0.22	0.00	0.00	264	117	64	298	40	90	136	39	51	
23	— 非地質	染付 輪花盤	染付	染付	73.9	17.9	1.12	0.31	0.92	0.32	4.17	0.92	0.05	0.10	270	263	43	353	52	256	284	62	62	
24	— 非地質	染付 輪花盤	染付	染付	72.4	18.9	1.19	0.08	0.92	0.37	5.32	0.42	0.12	0.11	194	61	30	185	55	238	161	22	37	
25	W 18.11	染付 圓口盤	染付	染付	66.6	26.4	1.57	0.98	0.31	0.38	3.00	0.31	0.09	0.15	1.80	69	79	263	108	413	514	93	68	
26	X 21.3	染付 圓口盤	染付	染付	67.7	21.7	2.81	0.81	1.35	1.00	3.64	0.42	0.27	0.19	193	105	146	279	119	347	390	36	47	
27	Y 20.9	— 印花卉盤	—	印花卉盤	68.5	19.6	3.40	1.01	0.66	0.79	3.64	1.65	0.16	0.21	239	401	25	780	164	412	532	82	60	
28	— 声同類	灰陶 圓口盤	灰陶	圆口盘	67.8	21.7	2.56	0.79	0.30	0.33	0.04	0.18	0.25	0.16	0.10	94	85	122	505	78	1554	433	30	53
29	— 声同類	灰陶 圓口盤	灰陶	圆口盘	71.5	23.0	1.14	0.94	0.15	0.23	2.28	0.41	0.14	0.14	157	116	136	196	86	298	404	40	38	
30	— 声同類	— 印花卉盤	—	印花卉盤	70.7	18.7	2.87	0.80	1.19	0.89	3.97	0.41	0.15	0.14	157	116	136	196	86	298	404	40	38	

注:★は即物的個体群片分析



第349図 陶磁器二元分布図

3 研石材の実体顕微鏡画像と元素組成分析

長佐古 真也（東京都埋蔵文化財センター）

はじめに

近年、研の生産地比定に関する分析事例¹⁾も散見されるようになっているが、研は著名な産地だけでも全国に数多散在し、特に江戸市中の武家地ともなれば、これらが幅較していることも充分に予想される。前項同様、今後に向けた基礎資料の蓄積を意図して、報告資料を対象に石材の元素組成分析をおこなった。加えて実体顕微鏡画像も撮影したので、併せて報告する。

1 研表面の実体顕微鏡画像

デジタル実体顕微鏡（OLYMPUS DSX-110／東京都埋蔵文化財センター）を用いた研表面の拡大画像を第350・351図に示す。撮像倍率は121倍、画像内のスケールバーは2mmである。

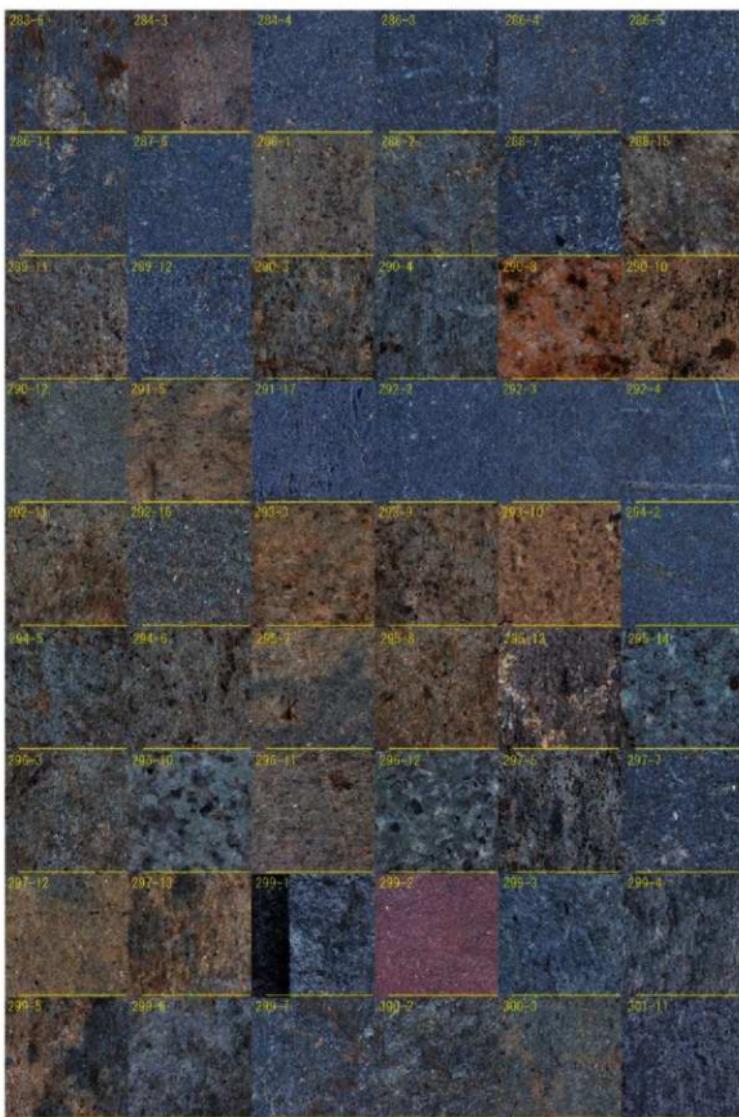
今回報告する研の大半を占める粘板岩（頁岩）系石材を用いた製品は、肉眼的に多くのバリエーションが認められるが、概ね黒色系、灰色系、黄褐色系の三群に大別することも可能である。実体顕微鏡画像等を加味すると、各群はさらに細分が可能である他、各細分群の中間的存在や3群いずれにも属さないものも見出された。こうした差異の一部には、生産地間の石材の相違や同一生産地における石材の質差等が反映されていることが予想されるものの、わずかな差異を以って分けた幾つかの群には同一視すべきものが含まれている可能性も否定できない。何より、各生産地石材の特徴把握と周知が進んでいない現状においては、これらに対して具体的な生産地を比定することは難しく、現時点での暫定的な分類案として示しておく。

黒色系；B1／黒色系研の主体を成し、拡大画像においては微細な白色粒子は目立つものの肌理の細かい石材（284-3、286-3・4、287-6、292-2・3・4、294-2、301-14、302-2・4）、B2／B1よりも肌理が細かく、滑りを感じる石材（291-17）、D G／B1よりやや肌理が粗く、色調もやや明るい印象を受ける石材（299-1・3、301-11）

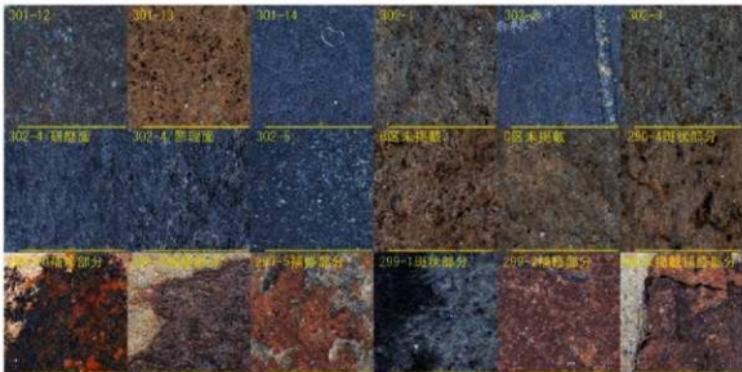
灰色系；G1／暗灰色を呈し、微細な白色粒子を少し含むが肌理は比較的細かい石材（283-6、288-2、290-4）、G2／G1に似るが、よりも粒子感のある石材（286-5、288-7、289-12、297-7、299-7、301-12、302-5）、G3／G2よりもさらに粒子感のある石材（299-4・6、300-2）、LB／肉眼的には褐色を呈し黄褐色群との中間的な様相を有する石材（292-16）

黄褐色群；I1／肉眼的には最も明るい明黄褐色を呈し、拡大画像においては黒色粒子が目立つものの肌理は細かい石材（284-3、288-1、290-12、291-5、292-11、293-3・9・10、296-11、297-12・13、302-1、C区未報告）、I1'／I1とI2の中間的な様相を呈する石材（294-5、295-7・8）、I2／I1よりもやや色調の暗いものも含まれ、拡大画像においても粒子感のある石材（288-15、289-11、290-3・10、297-5、300-2、301-13、302-3、B区未報告）

この他、唯一赤紫色を呈する例をPR群／299-2とした。また、4点報認められる凝灰岩は、粘板岩系と比較して岩石粒子の径が明らかに大きい。灰色系G(t)／295-14、296-10・12と褐色系I(t)



第350図 研表面の実体顕微鏡画像集成(1) (撮像倍率 121x)



第351図 研表面の実体顕微鏡画像集成(2) (撮像倍率121x)

/ 290-8 がある。また、295-12 は、肉眼的に瓦質と判断して RT 群とした。

このうち、G3群300-2および302-3に「高島」銘が、PR群299-2に「赤間関」銘が刻されている。また、いくつかには石材の傷を埋めて補修した痕跡の認められるものがある。このうち、290-(4)・10、295-8、297-5、299-(1)・2、C区未掲載資料の拡大画像を示し、236-6、290-(4)、292-11、295-7、296-10・11、C区未報告資料については補修部分の分析値も示した。

2 硫石材の元素分析

分析の方法については前項同様、卓上型EDXを用いた。分析条件等の詳細も前項を参照されたい。但し、砕は安定した広い平滑面が得られるため、測定部位は破断面にこだわらず、付着物や汚染の少ない研磨面もしくは平坦な節理面を対象とし、分析範囲を定めるコリメータも、汚染部分を避けられない場合を除いての10μmとなるように心掛けた。結果を第127・128表に示す。

今回は、基礎データの提示が主眼であることから、二元分布図等を用いた解析結果は示さないが、以下に各群の分析値の傾向について若干の所見を示しておく。

まず、凝灰岩2種と粘板岩系R-T群に関しては他群と比較的顕著な相違が認められるもの、他の粘板岩系各群については、一定の領域にまとまる傾向を示している。しかし、各群の分析値は、そのまとまりの範囲のさらに特定の部分に偏る傾向も認められることから、各生産地の対比試料を網羅的に整えることを条件に、元素組成による生産地比定が実現する可能性は期待し得るであろう。

計

- (1) テイケイトレード株式会社 2022『東京都文京区 湯島二丁目北遺跡 一集合住宅新築工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書』

第127表 鋼分析結果(1)

#	圖號	地點	區	鑑定地點	石質	分類	鑑定	備考	SGC2	A2023	P2023	T02	N202	M20	K20	C20	R203	S203	Sc203	Sc205	V205	Z205	Z202	Z203	G203			
1	233	6	B	230697	高密安哥拉	粘板岩	G1	補修有※	71.1	16.3	3.5	0.66	0.52	1.38	3.69	0.28	0.17	0.22	22.4	42	159	209%	148	354	172	47	35	
2	234	3	B	230653	高密安哥拉	粘板岩	11'	缺	70.4	15.6	5.12	0.68	0.74	2.60	3.78	0.44	0.32	0.10	77.2	95	163	97	405	215%	50	31	46	
3	234	4	B	230658	高密安哥拉	粘板岩	B1	缺	60.8	22.8	6.78	0.77	0.56	1.50	5.90	0.40	0.19	0.12	18.2	82	154	788	131	379	186	58	46	
4	236	3	B	230664	高密安哥拉	粘板岩	B1	缺	66.4	18.6	5.72	0.73	1.05	1.69	4.90	0.31	0.29	0.12	18.6	10.3	165	811	110	443	186	60	48	
5	236	4	B	230665	高密安哥拉	粘板岩	B1	缺	65.7	18.7	5.85	0.78	1.52	1.66	4.55	0.36	0.26	0.10	14.5	79	217	581	148	430	246	52	36	
6	236	5	B	230663	高密安哥拉	粘板岩	G2	缺	65.5	19.6	5.86	0.78	1.64	1.77	5.17	0.37	0.21	0.17	18.7	71	182	488	156	357	211	47	48	
8	237	6	B	230149	高密安哥拉	粘板岩	B1	缺	65.1	19.4	6.80	0.73	1.02	1.76	4.57	0.15	0.19	0.09	9.6	92	175	493	171	296	170	53	49	
9	238	1	B	230255	高密安哥拉	粘板岩	11'	缺	70.5	17.8	5.86	0.67	0.00	3.36	3.11	0.23	0.11	0.11	6.7	67	335	190	69	35	36	36	36	
10	238	2	B	230640	高密安哥拉	粘板岩	G1	缺	71.4	16.4	5.57	0.61	0.59	1.41	3.19	0.20	0.24	0.21	8.6	60	152	526	143	281	171	42	36	
11	238	7	B	230664+37	高密安哥拉	粘板岩	G2	缺	63.8	20.2	6.77	0.91	0.93	1.72	4.81	0.35	0.20	0.15	9.5	92	206	446	140	443	251	59	45	
12	238	15	B	230127	小升村變面	粘板岩	12	缺	62.5	19.9	5.88	0.93	0.29	0.88	5.26	0.31	0.51	0.26	14.0	71	518	1666	389	528	280	57	66	
13	239	11	B	230478	高密安哥拉	粘板岩	12	缺	66.6	18.6	5.89	0.77	1.43	1.79	4.13	0.17	0.11	0.11	8.1	83	189	761	149	407	232	50	36	
14	239	12	B	230488	高密安哥拉	粘板岩	G2	缺	64.5	19.1	7.65	0.84	0.58	1.57	4.94	0.36	0.17	0.08	13.2	89	221	590	120	512	247	66	53	
15	239	13	B	230501	高密安哥拉	粘板岩	12	缺	62.6	22.0	7.48	0.74	0.00	1.97	4.43	0.27	0.11	0.16	8.6	36	187	160	259	474	239	63	46	
16	239	20	4	230532	高密安哥拉	粘板岩	G1	缺	68.8	19.0	5.55	0.56	0.06	1.57	3.91	0.21	0.15	0.15	7.0	70	30	168	333	178	327	105	37	32
17	239	8	B	230511	高密安哥拉	粘板岩	G1	缺	71.1	20.5	2.02	0.25	0.85	2.87	3.88	0.10	0.27	0.17	14.6	400	61	338	85	172	231	34	32	
18	239	10	B	230329	高密安哥拉	粘板岩	12	缺	66.4	20.5	6.03	0.86	0.00	3.36	4.31	0.20	0.26	0.13	12.4	36	203	424	254	439	218	59	52	
19	239	12	B	230306	高密安哥拉	粘板岩	11	缺	71.3	15.6	5.52	0.64	1.51	1.39	3.38	0.16	0.18	0.12	22.7	67	161	424	132	316	162	36	45	
20	239	21	5	230261	高密安哥拉	粘板岩	11	缺	65.7	19.4	7.27	0.79	0.06	1.73	4.17	0.24	0.09	0.12	5.6	47	101	1044	210	406	263	62	45	
21	239	17	B	230370	高密安哥拉	粘板岩	0.2	缺	55.9	14.7	16.4	1.17	0.39	0.92	5.06	2.30	2.30	2.79	1.05	375	229	217	1169	1647	966	626	194	94
22	239	2	B	230435	高密安哥拉	粘板岩	B1	缺	64.5	19.8	6.65	0.74	0.94	1.89	5.59	0.23	0.21	0.10	10.2	84	266	558	175	429	175	52	34	
23	239	23	B	230434	高密安哥拉	粘板岩	B1	缺	65.2	19.0	6.97	0.72	1.04	7.6	4.44	0.21	0.10	0.14	9.7	83	196	598	987	397	183	58	35	
24	239	4	B	230637	高密安哥拉	粘板岩	B1	缺	62.0	21.5	6.74	0.81	0.11	1.32	6.03	0.30	0.80	0.16	21.0	67	167	882	139	461	191	59	50	
25	239	11	B	230611	高密安哥拉	粘板岩	11	缺	66.5	18.7	6.49	0.74	0.63	1.40	4.25	0.13	0.16	0.12	11.2	84	194	380	157	380	233	49	43	
26	239	16	B	230641	高密安哥拉	粘板岩	11	缺	61.0	21.2	8.81	0.93	0.00	2.3	5.18	0.47	0.16	0.09	9.0	53	262	1230	139	465	268	65	53	
27	239	3	B	230369	高密安哥拉	粘板岩	11	缺	73.5	15.0	5.37	0.55	0.08	1.18	2.71	0.36	0.07	0.04	13.5	36	144	965	197	306	158	44	35	
28	239	9	B	230728	高密安哥拉	粘板岩	11	缺	66.9	18.3	6.45	0.66	1.09	1.79	4.28	0.21	0.06	0.06	13.9	93	181	934	141	342	224	50	37	
29	239	10	B	230729	高密安哥拉	粘板岩	11	缺	69.7	17.5	6.59	0.60	0.05	1.44	3.26	0.21	0.13	0.10	7.1	76	160	811	247	306	174	46	29	
30	239	2	B	230676	高密安哥拉	粘板岩	B1	缺	65.3	19.3	6.81	0.74	0.60	1.76	4.67	0.30	0.16	0.14	11.4	92	187	649	154	407	194	54	43	
31	239	5	B	230678	高密安哥拉	粘板岩	11'	缺	68.3	17.4	5.81	0.65	1.17	1.82	4.04	0.21	0.14	0.18	12.3	92	176	854	153	390	241	48	36	
32	239	6	B	230677	高密安哥拉	粘板岩	12	缺	66.7	18.5	6.02	0.67	1.13	1.74	4.19	0.31	0.09	0.42	11.1	86	131	923	147	417	200	50	37	
33	239	7	C	231190	高密安哥拉	粘板岩	11'	缺	70.3	17.2	6.35	0.67	0.00	1.55	3.15	0.27	0.16	0.10	8.1	36	187	1206	222	345	182	76	30	
34	239	8	C	231167	高密安哥拉	粘板岩	11'	缺	66.1	19.1	6.86	0.78	0.32	1.63	4.01	0.26	0.18	0.14	21.6	53	216	1230	187	431	243	65	38	
35	239	12	C	231142	高密安哥拉	粘板岩	B1	缺	65.5	20.0	5.28	0.69	0.78	1.14	3.40	1.62	0.58	0.54	17.4	72	170	447	169	556	527	93	56	
36	239	14	C	231187	高密安哥拉	粘板岩	Q1	缺	56.2	19.0	9.66	0.81	2.89	3.09	3.17	0.17	0.47	0.13	23.3	130	256	194	470	79	46	36		
37	239	3	C	231191	高密安哥拉	粘板岩	12	缺	57.3	24.3	7.15	0.97	0.63	2.37	5.70	0.42	0.62	0.14	9.0	98	209	1402	162	385	245	55	43	
38	239	10	C	230950	高密安哥拉	粘板岩	Q1	缺	60.1	15.3	6.32	0.67	2.20	2.21	1.68	0.36	0.26	0.27	8.0	682	95	2755	368	276	177	63	39	
39	239	11	C	230956+57	高密安哥拉	粘板岩	11	缺	71.3	15.9	5.36	0.67	1.07	1.65	3.45	0.23	0.09	0.13	6.1	61	193	1016	164	301	201	42	34	
40	239	12	C	230951	高密安哥拉	粘板岩	Q1	缺	57.3	17.5	6.55	0.72	5.57	2.14	1.90	0.16	0.02	0.35	62	357	174	1984	130	241	151	49	36	

第128表 破分析結果(2)

図No.	番号	区	測定部位	石質	色系	偏光	SG2 Al2O3 Fe2O3 TiO2 Na2O K2O CaO P2O5 SiO2 MnO ZnO V2O5 ZrO2 Y2O3 Ga2O3																		
							SiO2	Al2O3	Fe2O3	TiO2	Na2O	K2O	CaO	P2O5	SiO2	MnO	ZnO	V2O5	ZrO2	Y2O3	Ga2O3				
41	297	5	C 231060	高級砂岩面 粘板岩	12	褐修有	66.3	18.7	6.39	0.85	0.41	1.94	4.65	0.34	0.10	0.17	1.21	59	206	741	286	76	28		
42	297	7	C 231124	高級砂岩面 粘板岩	02		67.3	18.3	5.79	0.96	0.46	4.26	0.32	0.13	0.12	1.39	94	200	561	104	257	214	48	41	
43	297	12	C 231091	高級砂岩面 粘板岩	11		66.6	18.9	8.19	0.71	0.00	1.70	3.33	0.20	0.08	0.00	3	35	195	1430	229	365	191	55	40
44	297	13	C 231054	高級砂岩面 粘板岩	11		66.1	19.2	6.67	0.69	0.87	1.84	4.15	0.23	0.14	0.07	67	76	193	1268	281	345	216	57	33
45	299	1	C 231025	高級砂岩面 粘板岩	D3	鎏彩結構有	66.4	18.9	5.69	0.67	0.75	2.33	4.37	0.29	0.11	0.26	175	98	171	1106	125	401	226	47	39
46	299	2	C 231028	右側斜面 粘板岩	PR	鎏2種赤銹鉻	58.0	15.1	7.36	0.89	1.39	2.36	3.14	9.2	1.65	0.15	0.12	482	211	1046	144	443	305	38	30
47	299	3	C 231026	高級砂岩面 粘板岩	D3		66.3	19.0	5.61	0.65	0.81	2.07	4.64	0.31	0.09	0.10	147	89	193	646	137	377	222	47	39
48	299	4	C 231018	高級砂岩面 粘板岩	G3	鎏彩結構有	69.8	16.9	4.91	0.76	0.70	1.72	4.41	0.14	0.11	0.11	79	72	162	515	123	373	205	43	38
49	299	5	C 231027	高級砂岩面 粘板岩	I2	鎏材料用	69.5	19.8	6.40	0.80	0.91	1.10	2.49	0.4	0.15	0.11	102	50	206	554	187	365	248	53	40
50	299	6	C 231029	高級砂岩面 粘板岩	O3	鎏材料用	64.0	19.8	7.26	0.80	0.10	1.61	4.14	0.35	1.07	0.18	95	61	176	1957	166	448	239	71	50
51	299	7	C 231020	高級砂岩面 粘板岩	G2		66.4	18.4	5.34	0.76	0.66	2.00	4.35	0.3	0.22	0.16	98	111	170	1095	166	397	240	55	32
52	300	2	C 231056	高級砂岩面 粘板岩	G3	高島鐵	67.3	11.9	6.03	0.73	1.06	2.16	3.14	9.2	1.65	0.15	0.12	482	211	1046	144	443	305	38	30
53	300	3	C 231243	高級砂岩面 粘板岩	I2		69.7	17.1	6.15	0.64	0.60	1.97	3.77	0.16	0.07	0.11	77	30	156	1084	137	377	222	47	39
54	301	11	B 230908	高級砂岩面 粘板岩	DG		69.0	16.3	5.75	0.68	1.86	1.83	3.61	0.34	0.31	0.10	95	106	191	1310	155	385	214	46	34
55	301	12	B 230565	高級砂岩面 粘板岩	G2	褐修有	68.2	17.6	5.70	0.73	1.99	4.10	0.25	0.16	0.11	147	94	174	1225	128	357	216	47	45	
56	301	13	B 230065	高級砂岩面 粘板岩	I2		72.2	16.2	5.22	0.63	0.61	1.24	3.19	0.30	0.11	0.11	132	63	155	716	155	288	188	45	26
57	301	14	B 230452	高級砂岩面 粘板岩	B1		65.8	19.2	5.90	0.82	1.47	1.77	4.44	0.24	0.14	0.15	112	49	163	305	124	338	246	51	42
58	302	1	B 230576	高級砂岩面 粘板岩	I1		68.0	18.3	5.96	0.68	0.47	1.66	4.14	0.32	0.14	0.14	104	77	165	1024	135	353	225	51	42
59	302	2	B 230568	高級砂岩面 粘板岩	B1		62.8	22.0	5.18	0.90	1.33	3.51	5.66	0.33	0.12	0.12	62	69	191	1029	143	340	228	54	41
60	302	3	B 230075	高級砂岩面 粘板岩	I2		65.1	19.3	6.45	0.80	0.96	1.67	4.66	0.30	0.17	0.12	168	65	156	986	160	341	231	52	37
61	302	4	C 231264	高級砂岩面 粘板岩	B1	低材料用	69.9	16.9	4.67	0.59	1.46	1.76	4.08	0.25	0.12	0.06	131	110	159	844	125	297	212	43	35
62	302	5	B 230572	高級砂岩面 粘板岩	Q2		95.4	19.5	5.95	0.82	1.34	1.73	4.60	0.32	0.07	0.17	121	95	192	521	131	452	207	50	37
63	未	—	B 230166	高級砂岩面 粘板岩	I2		73.2	14.9	5.06	0.64	0.91	1.46	3.16	0.23	0.11	0.15	87	55	140	699	124	217	228	47	28
64	未	—	C 231204	高級砂岩面 粘板岩	I1		68.1	18.7	6.49	0.69	0.90	1.55	3.75	0.26	0.06	0.22	89	46	182	916	210	350	173	59	49
補修もしくはその可能性のある部分																									
図No.	番号	区	台無番号	測定部位	石質	色調系	偏光	SG2	Al2O3	Fe2O3	TiO2	Na2O	K2O	CaO	P2O5	SiO2	MnO	ZnO	V2O5	ZrO2	Y2O3	Ga2O3			
65	236	6	B 230697	左面	R		73.4	15.1	4.62	0.64	0.09	0.76	3.52	1.18	0.19	0.18	131	41	139	1259	57	373	175	56	39
66	290	4	B 220532	裏面中央左	R		68.0	19.7	5.31	0.51	0.09	1.66	4.18	0.37	0.07	0.07	128	34	124	710	170	319	197	43	47
67	292	11	B 230611	裏面中央右	R		65.1	19.3	7.04	0.82	0.00	0.63	4.45	1.88	0.22	0.15	118	74	134	1121	90	478	268	63	46
68	295	7	C 231190	裏面	G		53.8	14.3	7.34	0.88	0.91	2.40	2.65	14.2	2.55	0.44	158	604	216	1292	165	424	252	33	51
69	296	10	C 230950	裏面中央	R		12.3	3.7	11.5	0.78	0.24	2.38	0.87	61.2	3.49	2.09	173	1909	155	8854	1216	294	449	57	51
70	296	11	C 230956+5	裏面	R		66.0	18.9	6.41	0.72	0.15	0.80	4.03	1.89	0.54	0.37	125	82	189	766	199	315	236	54	61
71	未	—	C 231204	裏面	R		64.4	18.4	7.69	0.87	0.00	0.81	4.55	2.06	0.13	0.26	70	71	182	837	127	456	299	110	59

3 市谷本村町遺跡 C536 号土坑から出土した木製品の樹種

鈴木 伸哉（東京都埋蔵文化財センター）

1 はじめに

市谷本村町遺跡の今回の調査において、19世紀中葉の尾張藩上屋敷長局のものに比定される大型のゴミ穴 C536 号遺構が検出され、そこから多数の木製品が出土した。ここではこれらの樹種を同定した結果を報告し、併せて当時の用材について若干の検討を加えた。

2 資料と方法

樹種同定は木材組織切片のプレパラート観察によりおこなった。出土した木製品から片刃カミソリによって木材の横断面・接線断面・放射断面の切片を採取し、これをガムクロラールで封入して同定用プレパラートとした。プレパラートには前回調査からの連番で S61-58～1123 の標本番号を付した。

試料採取に併せて、木取りと年輪幅についても観察した。年輪幅が平均して概ね 1mm 未満のものを A、1～2mm 程度のものを B、2mm 以上のものを C とした。

3 結果

プレパラート 1123 点のうちには針葉樹 14 分類群と広葉樹 21 分類群、単子葉類 1 分類群の、あわせて 36 分類群が認められた。個別の製品および遺構ごとの同定結果は第 129 表にまとめた。以下ではそれぞれの分類群の木材解剖学的な記載をおこない、代表的な標本の顕微鏡写真を第 352～355 図に示し、樹種同定の根拠を明らかにする。

モミ属 *Abies* マツ科（第 352 図 1：S61-949）

垂直・水平樹脂道のいずれをも欠く針葉樹材。早材から晩材への移行は緩やかで、晩材は量多く明瞭。仮道管の内壁にらせん肥厚は認められない。放射組織は柔細胞のみからなり、壁は厚く、垂直壁はじゅず状末端壁。分野壁孔はごく小型のスギ型で、1 分野に 1～4 個。

カラマツ属 *Larix* マツ科（第 352 図 2：S61-417）

垂直・水平樹脂道をもつ針葉樹材。早材から晩材への移行は急で、早材部仮道管の壁は薄く、晩材は量多く明瞭。仮道管の内壁にらせん肥厚は認められない。放射組織の上下端には放射仮道管があり、有縁壁孔の壁孔縁は丸みを帯びる。柔細胞の垂直壁はじゅず状末端壁。分野壁孔はごく小型のトウヒ型で、1 分野に 2～4 個。

トウヒ属 *Picea* マツ科（第 352 図 3：S61-546）

垂直・水平樹脂道をもつ針葉樹材。早材から晩材への移行は緩やかで、晩材は量多く明瞭。仮道管の内壁にらせん肥厚は認められない。放射組織の上下端には放射仮道管があり、有縁壁孔の壁孔縁は角張る。柔細胞の垂直壁はじゅず状末端壁。分野壁孔はごく小型のトウヒ型で、1 分野に 2～4 個。

アカマツ *Pinus densiflora* Sieb. et Zucc. マツ科（第 352 図 4：S61-737）

垂直・水平樹脂道をもつ針葉樹材。早材から晩材への移行はやや急で、晩材は量多く明瞭。放射仮道管の水平壁には著しい鋸歯状の突起がある。分野壁孔は大型の窓状で、1分野にふつう1個。

マツ属単維管束亜属 *Pinus* subgen. *Haplo* o マツ科 (第352図5:S61-874)

垂直・水平樹脂道をもつ針葉樹材。早材から晩材への移行は緩やかで、晩材は少ない。エビセリウム細胞は薄壁で、ふつうは残っていない。放射仮道管の水平壁は平滑。分野壁孔は大型の窓状で、1分野にふつう1個。

ツガ属 *Tsuga* マツ科 (第352図6:S61-538)

垂直・水平樹脂道のいずれをも欠く針葉樹材。早材から晩材への移行はやや急で、晩材は量多く明瞭。仮道管の内壁にらせん肥厚は認められない。放射組織の上下端には放射仮道管があり、柔細胞の垂直壁はじみず状末端壁。分野壁孔はごく小型のトウヒ型で、1分野に1~4個。

コウヤマキ *Sciadopitys verticillata* (Thunb.) Sieb. et Zucc. コウヤマキ科 (第352図7:S61-344)

垂直・水平樹脂道のいずれをも欠く針葉樹材。早材から晩材への移行は緩やかで、晩材は少ない。仮道管の内壁にらせん肥厚は認められない。分野壁孔は孔口が水平に開く窓型で、1分野に1~2個。

ヒノキ *Chamaecyparis obtusa* (Sieb. et Zucc.) Endl. ヒノキ科 (第352図8:S61-1122)

垂直・水平樹脂道のいずれをも欠く針葉樹材。早材から晩材への移行は緩やかで、晩材はごく少ない。樹脂細胞が早材の終わりから晩材にかけて接線方向に散在する。仮道管の内壁にらせん肥厚は認められない。分野壁孔は中型で孔口が縦に開くトウヒ型~ヒノキ型で、1分野に2~3個。

サワラ *Chamaecyparis pisifera* (Sieb. et Zucc.) Endl. ヒノキ科 (第352図9:S61-1116)

ヒノキに似る針葉樹材。晩材は少ない。分野壁孔はやや大きく孔口が斜めに開くヒノキ型~スギ型で、1分野に2~3個。

スギ *Cryptomeria japonica* (L.f.) D.Don ヒノキ科 (第352図10:S61-563)

垂直・水平樹脂道のいずれをも欠く針葉樹材。早材から晩材への移行は緩やかで、晩材は量多く明瞭。樹脂細胞が早材の終わりから晩材にかけて接線方向に散在する。仮道管の内壁にらせん肥厚は認められない。分野壁孔は大型で孔口が水平に開くスギ型で、1分野に1~2個。

アスナロ *Thujopsis dolabrata* (L.f.) Sieb. et Zucc. ヒノキ科 (第352図11:S61-1107)

ヒノキに似る針葉樹材。晩材は比較的多い。放射柔細胞は樹脂を多く含む。分野壁孔は小さく孔口が斜めに開くヒノキ型~スギ型で、1分野に3~5個。アスナロとその変種のヒバ、ヒノキアスナロ *T. dolabrata* var. *harringtonii* は木材構造からは区別できないので、アスナロと統一して表記する。

イヌガヤ *Cephalotaxus harringtonia* (Knight ex Forbes) K.Koch var. *harringtonii* イチイ科

(第352図12:S61-794)

垂直・水平のいずれの樹脂道も欠く針葉樹材。仮道管の壁は厚く、早材から晩材への移行は緩やかで晩材は少ない。樹脂細胞が年輪内に散在する。仮道管の内壁には水平に近く走るらせん肥厚がある。放射組織は放射柔細胞のみからなり、分野壁孔はごく小型のトウヒ型で1分野にふつう2~3個。

カヤ *Torreya nucifera* (L.) Sieb. et Zucc. イチイ科 (第352図13:S61-971)

垂直・水平樹脂道を欠く針葉樹材。早材から晩材への移行は緩やかで晩材は少ない。木部柔細胞はない。仮道管の内壁には2~3本ずつまとめて走るらせん肥厚がある。放射組織は柔細胞のみからなり、分野壁孔はやや小型のトウヒ型で1分野に2~3個。

モクレン属 *Magnolia* モクレン科 (第 353 図 14 : S61-752)

やや小型で薄壁の道管が単独あるいは放射方向に 2 ~ 4 個ほど複合して、ややまばらに散在する散孔材。道管の直径は年輪の終わりでやや減少する。道管の穿孔は單一。道管相互壁孔は階段状。放射組織はほぼ同性で、1 ~ 2 細胞幅。

タケ亜科 subfam. *Bambusoideae* イネ科 (第 353 図 15 : S61-926)

厚壁の纖維細胞が木部と篩部を取り囲んで纖維束を形成し、それが散在して不齊中心柱をなす。木部では原生木部の小道管の左右外側に 1 対の大道管があり、篩部は原生木部の外方に位置する。

ツゲ *Buxus microphylla* Sieb. et Zucc. var. *japonica* (Müll.Arg. ex Miq.) Rehd. et E.H.Wils. ツゲ科

(第 353 図 16 : S61-969)

ごく小型でやや角張った厚壁の道管が単独で均一に散在する散孔材。道管の穿孔は 10 本ほどの横棒からなる階段状。木部柔組織は散在状 ~ 短接線状。放射組織は異性で 1 ~ 2 細胞幅で、ふつう 2 ~ 4 細胞高の單列の翼部をもつ。

イスノキ *Distylium racemosum* Sieb. et Zucc. マンサク科 (第 353 図 17 : S61-812)

やや小型でやや厚壁の丸い道管が単独で均一に散在する散孔材。年輪界は不明瞭。道管の穿孔は 10 数本の横棒からなる階段状。木部柔組織は接線状で、ときに大型の結晶をもつ。放射組織は異性で 2 細胞幅で、大きさが揃っている。

カツラ *Cercidiphyllum japonicum* Sieb. et Zucc. ex Hoffm. et Schult. カツラ科 (第 353 図 18 : S61-586)

小型でやや丸い道管がほぼ単独で密に散在する散孔材。道管の穿孔は 30 本ほどの横棒からなる階段状。放射組織は異性で 2 細胞幅くらい。

カリン *Pterocarpus indicus* Willd. マメ科 (第 353 図 19 : S61-1000)

中型の道管が単独または 2 ~ 3 個放射方向に複合してまばらに散在する散孔材。道管の直径は成長輪内で緩やかに減少する。軸方向柔組織は連合翼状 ~ 帯状。道管の穿孔は單一。放射組織は同性でほぼ単列で、層階状に配列する。

ケンボナシ属 *Hovenia* クロウメモドキ科 (第 353 図 20 : S61-735)

大型の道管が年輪のはじめに並び、晩材では徐々に径を減じた厚壁の小道管が単独または放射方向に数個複合して散在する半環孔材。道管の穿孔は單一。木部柔組織は周囲状 ~ 連合翼状。放射組織は上下端の 2 ~ 4 細胞が直立する異性で 6 細胞幅くらいで、單列部がやや長く伸びる。

ケヤキ *Zelkova serrata* (Thunb.) Makino ニレ科 (第 353 図 21 : S61-656)

大型で丸い道管が年輪のはじめに 1 列に並んで孔圈をなし、晩材では小型で薄壁の道管が集合して接線方向に連なる帯状に配列する環孔材。道管の穿孔は單一。小道管の内壁にはらせん肥厚がある。放射組織は上下端の 1 ~ 2 細胞が直立細胞からなる異性で、1 ~ 10 細胞幅。しばしば上下端に大型の結晶をもつ。

エノキ属 *Celtis* アサ科 (第 353 図 22 : S61-708)

大型 ~ 中型で丸い道管が単独か 2 個複合して年輪のはじめに 1 ~ 2 列並び、晩材では徐々に径を減じた小道管が塊をなして斜めに連なる傾向をみせて配列する環孔材。道管の穿孔は單一で、小道管にはらせん肥厚がある。放射組織は上下端の 1 ~ 4 細胞ほどが直立する異性で 10 細胞幅くらいとなり、不明瞭な鞘細胞をもつ。

クワ属 *Morus* クワ科 (第354図23:S61-692)

やや大型で丸い道管が単独または数個複合して年輪のはじめに斜めに数列集合し、晩材では徐々に径を減じた道管が丸い塊をなして斜めに連なる傾向をみせて散在する環孔材。道管の穿孔は單一で、小道管にはらせん肥厚がある。放射組織は上下端の1~2細胞が直立する異性で10細胞幅くらい。

クリ *Castanea crenata* Sieb. et Zucc. ブナ科 (第354図24:S61-819)

ごく大型で丸い道管が年輪のはじめに1~3列ほど並んで孔圈をなし、晩材では小型で薄壁の道管が火炎状に配列する環孔材。木部柔細胞は短接線状で、晩材で著しい。道管の穿孔は單一。放射組織は單列同性。

ブナ属 *Fagus* ブナ科 (第354図25:S61-1082)

小型で丸い道管が単独あるいは2個複合して密に配列する散孔材。道管の直径は晩材にむけてやや減少する。木部柔組織は接線状あるいは短接線状。道管の穿孔は單一または階段状。放射組織は單列同性のものに、大型の複合放射組織が混在する。

スダジイ *Castanopsis sieboldii* (Mak nō Hatus. ex T.Yamaz. et Mashiba) ブナ科 (第354図26:S61-670)

中型で丸い道管が年輪のはじめに放射方向に伸びる塊をなして散在し、晩材では径を減じた小型で薄壁の道管が火炎状に配列する環孔材。木部柔組織はいびつな接線状。道管の穿孔は單一。放射組織は單列同性。

アカガシ亜属 *Quercus* subgen. *Corymbosa* is ブナ科 (第354図27:S61-1024)

中型で丸いや厚壁の道管が単独で1~3列幅の帯をなして放射方向に配列する散孔材(放射孔材)。木部柔組織はいびつな接線状から2~3細胞幅の帯状。道管の穿孔は單一。放射組織は同性で、單列の小型のものと複合状で大型のものとからなる。

ハンノキ属 *Alnus* sect. *Gymnospermae* カバノキ科 (第354図28:S61-1073)

中型~小型の道管が単独あるいは放射方向に数個複合して散在する散孔材。道管の穿孔は20本ほどの横棒からなる階段状。放射組織は同性で、單列のものと集合状のものとがあり、集合放射組織の出現は多い。

カバノキ属 *Betula* カバノキ科 (第354図29:S61-805)

中型で丸い道管が単独あるいは放射方向に数個複合してまばらに散在する散孔材。道管の穿孔は10~20本ほどの横棒からなる階段状。放射組織は同性で1~4細胞幅程度。

トチノキ *Aesculus turbinata* Blume ムクロジ科 (第354図30:S61-1072)

小型で丸い道管が単独あるいは放射方向に2~3個複合して散在する散孔材。道管の密度は晩材でやや低くなる。道管の穿孔は單一で、内壁にはらせん肥厚がある。道管相互壁孔は小型の交互状。放射組織は單列同性で層階状に配列する。

センダン *Melia azedarach* L. センダン科 (第354・355図31:S61-751)

大型の道管が年輪のはじめに単独で2~3列並んで孔圈をなし、晩材では小型の道管が斜線状または放射状に塊をなして散在する環孔材。軸方向柔組織は独立散在または周囲状。道管の穿孔は單一で、内壁にはらせん肥厚がある。心材道管はゴム質物質に富む。放射組織は同性または縁辺部の1細胞が直立する異性で6細胞幅くらい。軸方向柔細胞中に菱形結晶がある。

ウツギ属 *Deutzia* アジサイ科 (第355図32:S61-761)

ごく小型で角張った道管が単独でまばらに散在する散孔材。道管の穿孔は数十本の横棒からなる階段状。放射組織は異性で背が高く、單列のものは直立細胞のみからなり、多列のものは4~6細胞幅くらいで鞘細胞をもつ。

サカキ *Cleyera japonica* Thunb. モッコク科 (第355図33:S61-1115)

ごく小型で角ばった道管が単独で均一に散在する散孔材。道管の穿孔は40段ほどの階段状。放射組織は単列で上下端の2~4細胞が直立する異性。

エゴノキ属 *Styrax* エゴノキ科 (第355図34:S61-767)

早材ではやや小型で丸い道管が単独あるいは2~3個放射方向に複合してまばらに散在し、晩材では木繊維と同じくらい小径で厚壁の道管が放射方向に数個複合して散在する散孔材。木部柔組織は晩材で接線状。道管の穿孔は数~10本ほどの横棒からなる階段状。放射組織は異性で1~3細胞幅。

トネリコ属シオジ節 *Fraxinus sect. Fraxinaster* モクセイ科 (第355図35:S61-590)

大型で丸い厚壁の道管が年輪のはじめに1~2列ほど密に並んで孔圈をなし、晩材では小型で厚壁の道管が単独あるいは放射方向に2~3個複合してまばらに散在する環孔材。道管の穿孔は単一。放射組織は同性で1~2細胞幅。

4 考察

同定をおこなった1069点の資料のうち、針葉樹が904点と多くを占めた。このうちスギが524点と最も多くを占め、ヒノキが178点とこれに次ぎ、これらを中心とした広義のヒノキ科の木材が多くの製品に用いられていた。この他、針葉樹ではモミ属(63点)やアカマツ(25点)が、広葉樹ではクリ(44点)やケヤキ(29点)が多く認められた。江戸においてヒノキ科を中心とした針葉樹を多用する傾向は、大名屋敷や町屋、寺社といった遺跡の性格の違いを超えて認められるもので(鈴木, 2021)、尾張藩上屋敷の長局においても同様の傾向が確認されたことは意義深い。

器種ごとの用材傾向を見ると、桶・樽類の部材はスギが大半を占め、ヒノキがこれに次ぐ。樽の注口にはウツギ属が用いられており、これは木材の縫合が中空になる性質を利用したものと見られる。容器類にはスギやヒノキ、サワラやアスナロといったヒノキ科の他、モミ属やツガ属などの針葉樹も多用されていた。漆塗りの椀やその蓋にはトチノキとブナ属が多く認められた一方、これら2分類群と並んでしばしば多用されるケヤキを欠く。

下駄にはスギが多用されていた他、多用な針葉樹・広葉樹が用いられていた。都内の近世遺跡では出土例の少ないケンボナシ属が陰卯下駄の台に多用されていたのは特異な例である。陰卯下駄の台と歯の接続部にはめ込まれていた楔(図版260-2)はタケ亜科であった。

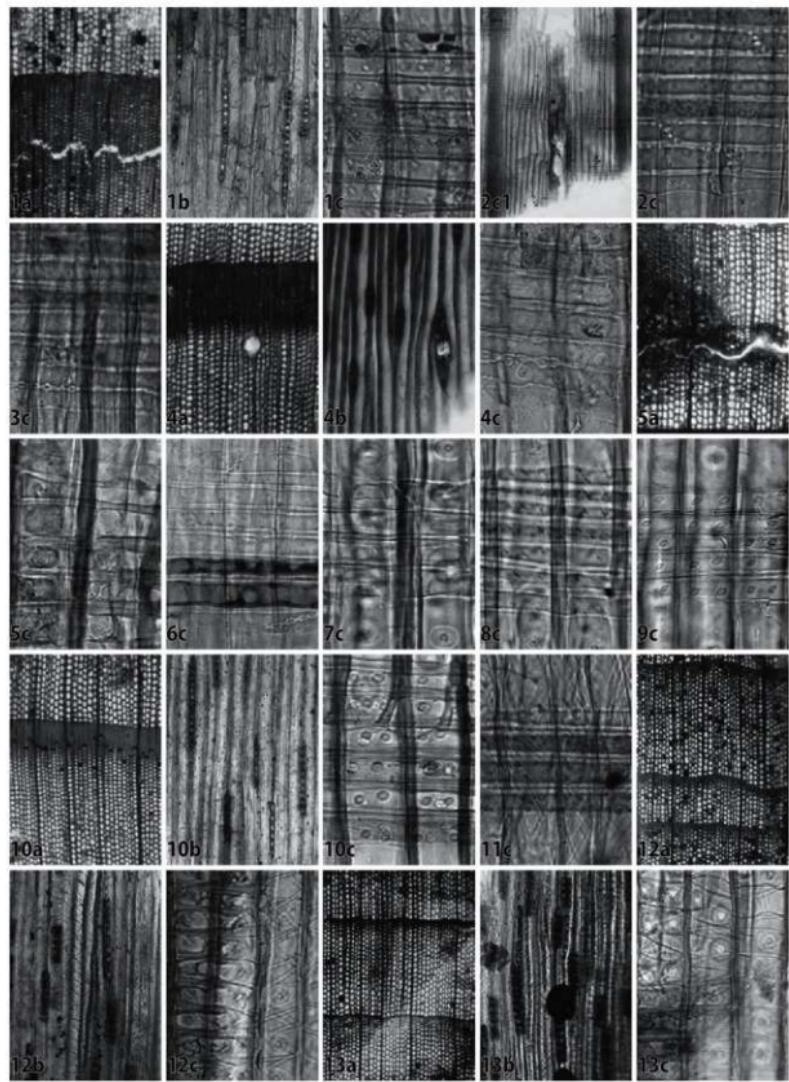
この他の製品にも、ヒノキやスギ、アスナロなどのヒノキ科を中心とした用材傾向が広く認められた一方、特定の器種・用途と結びついた用材も各所に散見された。櫛にはイスノキやツゲといった一般的な樹種の他、カバノキ属を用いたもの(図版257-1)が認められた。木曾地方で生産された「お六櫛」と呼ばれる櫛にはカバノキ属のミネバリ(オノオレカンバ) *Betula schmidtii* Regelの材が用いられたとされ、これとの関わりも想定される。傘の籠縁にエゴノキ属を、物差にタケ亜科を用いた例は都内の近世遺跡においてしばしば認められる。出土例が少ない琴柱には、主要な南洋材のひとつであるカリン(マメ科)が用いられていた。都内の近世遺跡では南洋材のシタン(紫檀)類が用いられ

た例（鈴木, 2014）があり、琴柱には唐木類を充てることが多かったものと見られる。

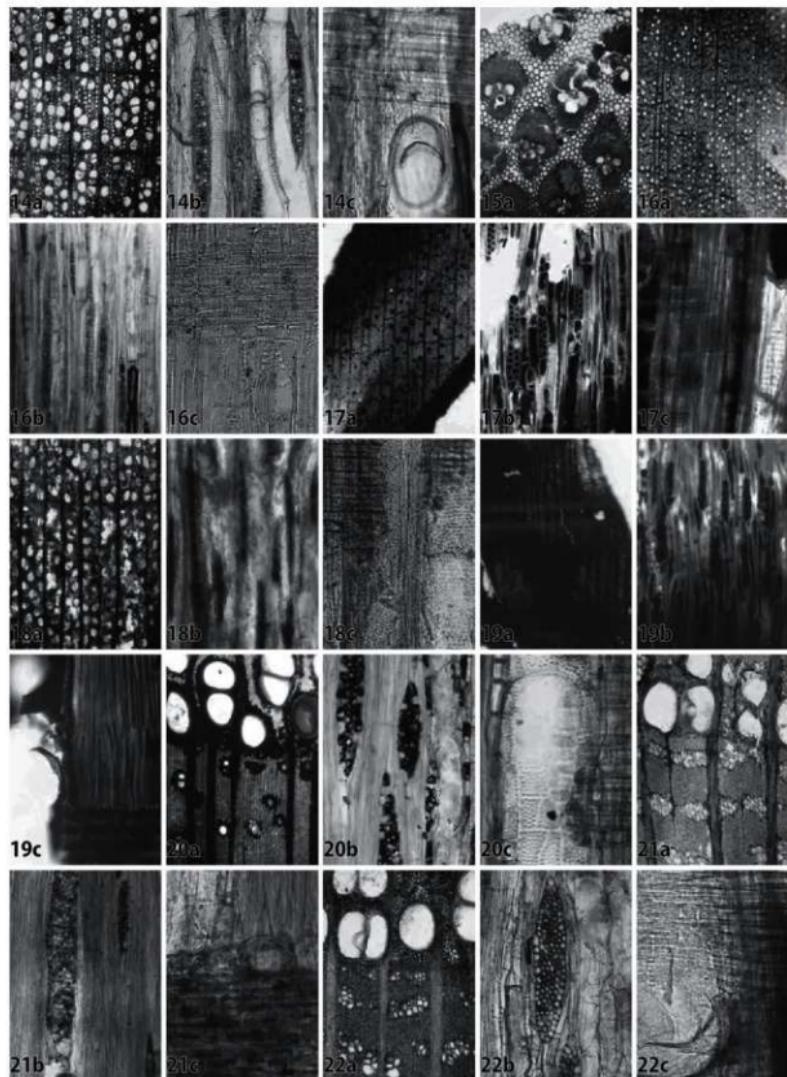
引用文献

- 鈴木伸哉 2014 「築地五丁目遺跡から出土した木製品の樹種」『築地五丁目遺跡』東京都埋蔵文化財センター調査報告第291集 東京都埋蔵文化財センター 310-314頁
- 鈴木伸哉 2021 「中央区日本橋一丁目遺跡出土木製品の樹種からみた 17世紀の江戸の町屋における木材利用」『古代』147 早稲田大学考古学会 91-114頁

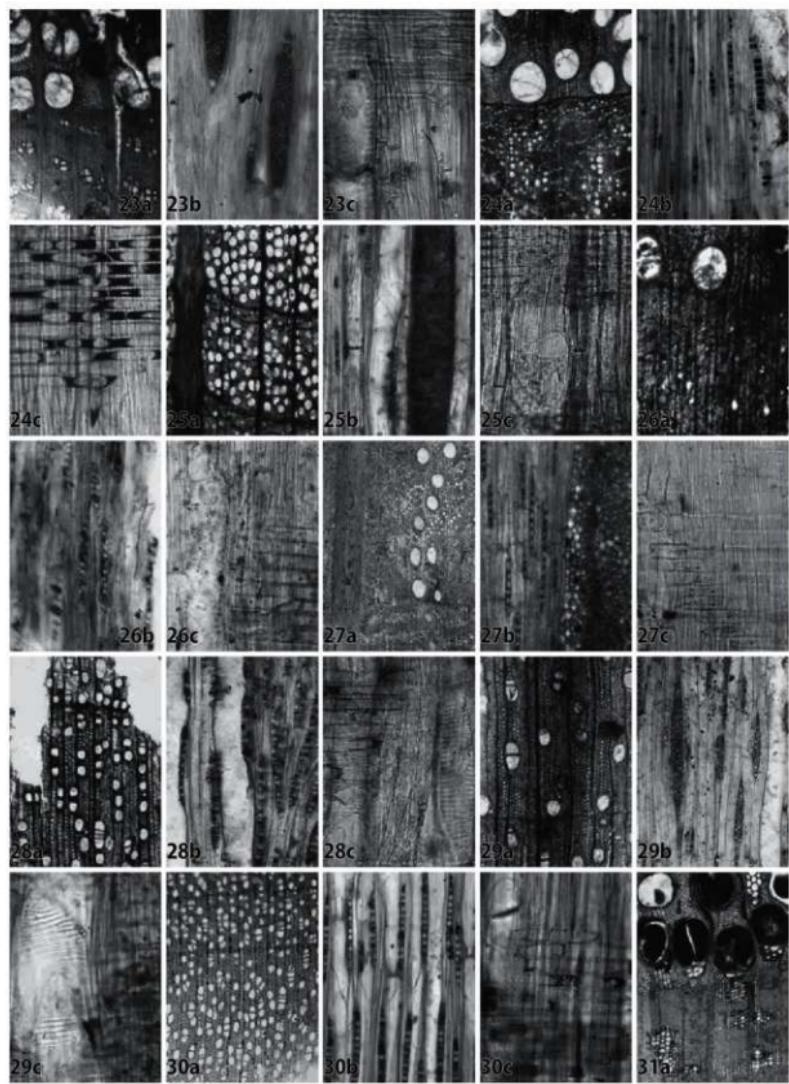
第129表 市谷本村町遺跡市ヶ谷警察総合庁舎地点から出土した木製品の樹種組成



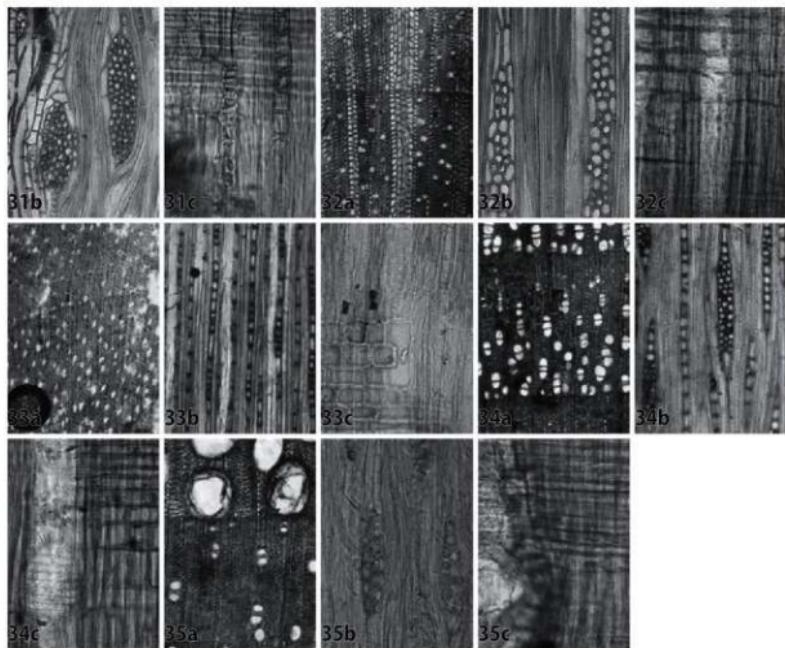
第352図 市谷本村町遺跡市ヶ谷警察総合庁舎地点から出土した木製品の顕微鏡写真（1）



第 353 図 市谷本村町遺跡市ヶ谷警察総合庁舎地点から出土した木製品の顕微鏡写真（2）



第354図 市谷本村町遺跡市ヶ谷警察総合庁舎地点から出土した木製品の顕微鏡写真（3）



第355図 市谷本村町遺跡市ヶ谷警察総合庁舎地点から出土した木製品の顕微鏡写真 (4)

1:モミ属 (S61-949), 2:カラマツ属 (S61-417), 3:トウヒ属 (S61-546), 4:アカマツ (S61-737), 5:マツ属単維管束亜属 (S61-874), 6:ツガ属 (S61-538), 7:コウヤマキ (S61-344), 8:ヒノキ (S61-1122), 9:サワラ (S61-1116), 10:スギ (S61-563), 11:アスナロ (S61-1107), 12:イヌガヤ (S61-794), 13:カヤ (S61-971), 14:モクレン属 (S61-752), 15:タケ亜科 (S61-926), 16:ツゲ (S61-969), 17:イスノキ (S61-812), 18:カツラ (S61-586), 19:カリン (S61-1000), 20:ケンボナシ属 (S61-735), 21:ケヤキ (S61-656), 22:エノキ属 (S61-708), 23:クワ属 (S61-692), 24:クリ (S61-819), 25:ブナ属 (S61-1082), 26:スダジイ (S61-670), 27:アカガシ亜属 (S61-1024), 28:ハンノキ属ハンノキ節 (S61-1073), 29:カバノキ属 (S61-805), 30:トチノキ (S61-1072), 31:センダン (S61-751), 32:ウツギ属 (S61-761), 33:サカキ (S61-1115), 34:エゴノキ属 (S61-767), 35:トネリコ属シオジ節 (S61-590)

scale: a (横断面): × 32, b (接線断面): × 80, c (放射断面): × 160 (1c - 13c: × 320, 2c1: × 32)

VIII 調査の成果と課題

1 調査地点の位置と調査概要

市谷本村町遺跡は、17世紀中頃から幕末まで尾張藩徳川家の市谷邸が所在した場所と、その東側の寺院などを含む遺跡である。江戸城外堀の北西に接して所在する本遺跡は、南側を旧紅葉川によって開析された谷、東側を長延寺谷に挟まれた標高約33mの舌状台地上に位置する。今回の発掘調査は、市ヶ谷警察総合庁舎の整備事業に伴い、市谷本村町遺跡の北西側、新宿区市谷本村町7番地他を対象に実施した。この地点は、明和5(1768)年に添地された市谷邸「西御殿」の一部に相当し、明和5年以前には旗本屋敷や火除地などがあった場所とされている。

市谷邸西御殿の北半部に相当する今回の発掘調査区B・C区では、近世の礎石跡、井戸、道路状遺構、地下室や採土坑などの大型土坑のほか、2,000基を超える土坑やピットが検出された。また近代の建物基礎や配管類等の遺構も調査範囲の各所で見つかっている。出土遺物は、陶磁器や土器、瓦、土製品、木製品、石製品、金属製品など多岐にわたり、コンテナ数にして約1,100箱に上る。

検出された遺構は、確認面や遺構の重複関係から、①市谷邸西御殿以前の江戸時代の土地利用、②市谷邸西御殿に伴う土地利用、③近代の陸軍施設に伴う土地利用、という大きく三つの時期に分けることができる。遺構数や遺物数が膨大であるため、第1分冊IV章および第2分冊V章では個別データの提示が中心となった。そこで以下では、検出遺構と出土遺物について、上記の各段階における調査区内での位置付けを検討し、調査成果を総括する。

2 尾張藩拝領前の土地利用について

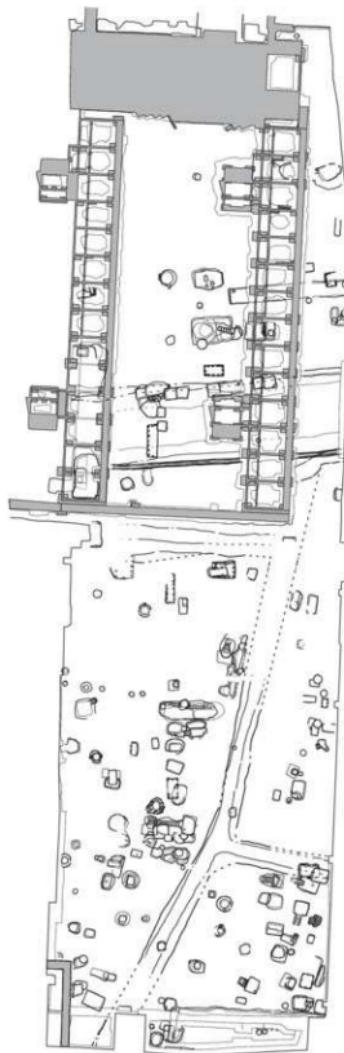
尾張藩拝領前の遺構には、調査区を北西から南東方向、および南北へ走る道路状遺構と、地下室などの大型土坑、井戸、土坑・ピット群などがある(第356図)。道路状遺構は、調査区を北西から南東に走るB808号、B808号から南へ分岐するB2288号、幅広の南北往還であるC305号の大きく3条に分かれる。これらの道路状遺構は、「御府内往還其外沿革図書」に描かれた尾張藩の拝領以前に存在した往還と考えられる。

検出された道路状遺構は、浅い溝のような形態を呈し、底面には轍と思われる硬化範囲が複数条見つかっている。轍の幅は10~15cm程度であり、一定間隔で並走する状況から牛車等の車両の存在が想起される。また、B808号は覆土の堆積状況、C305号は路面の硬化範囲の広がりから、時期によつて道幅に差異があった可能性がある。さらにC305号では、底面西側から上水跡とみられる溝状遺構C270号が検出されている。木樋は遺存していないが、底面からは湧水があり、遺構の断面形態も近隣の調査(斎藤2011)で上水施設とされるものとよく類似する。

道路状遺構の周囲では、道に沿うように多数の遺構が検出されている。B808号北側ではピット、B808号南側では土坑や溝状遺構が列をなして分布しており、生垣等による西御殿以前の土地の区画を示す可能性もあり注目される。C305号東側に南北に並ぶC622号等の平面が正方形の大型土坑は、用途は不明であるが、同様に往還を意識して配置されたものであろう。

また、とりわけB区において、道路状遺構を切り込む地下室等の大型遺構がほぼみられない点は、

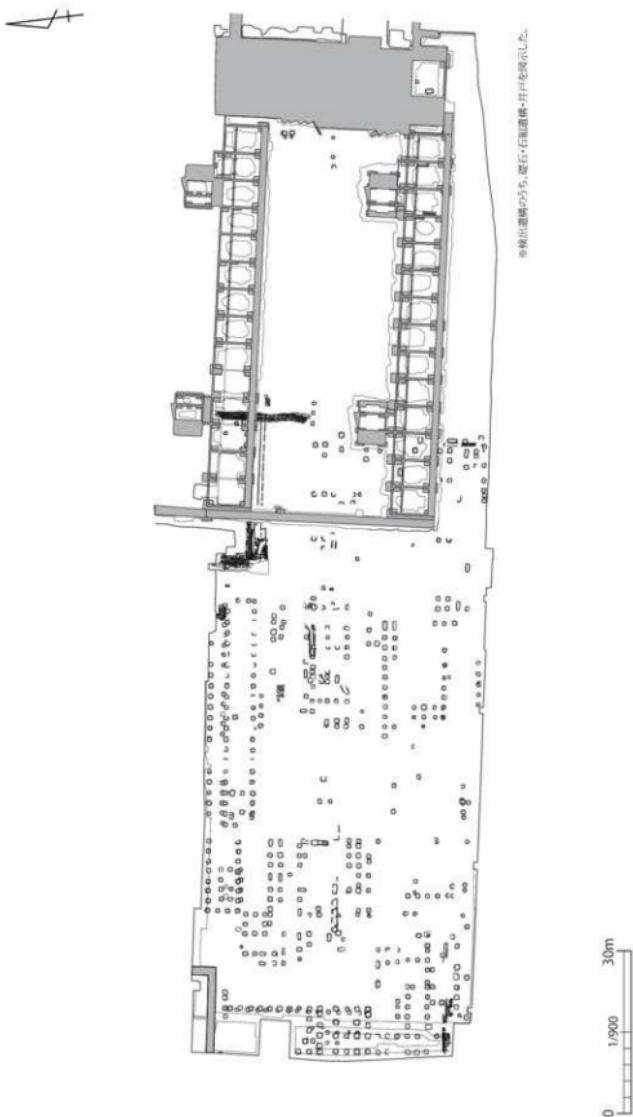
△+



今村正義著「尾張・濃尾・伊勢・三河の城と町」

0 30m
1/900

第356図 尾張藩拝領以前の土地利用



第357図 市谷邸西御殿期の土地利用

当時の土地利用を如実に反映しており興味深い。整地層を挟んで上位に構築される市谷邸の礎石の分布とは対照的に、これらの大型土坑は往還を避けるように構築されている。また平面が長方形ないしは方形を呈するものは、その多くがB808号と同一の軸となる点からも両者の関係性を窺うことができる。大型土坑の時期は17世紀中頃～18世紀中頃を廃絶時期とするものが大半で、往還周囲の土地区画のそれぞれに帰属するものであろう。第VI章では、渋谷葉子氏により市谷邸拝領以前の土地区画と使用者の変遷が詳細にまとめられている。居住者や土地区画と検出遺構との紐付けについては、既刊のA区も含めて稿を改めて検討したい。

尾張藩拝領以前の出土遺物では、B588号の出土陶磁器がとりわけ注目される。B588号は平面が長方形を呈する大型土坑で、焼土塊を主とした覆土に火災廃棄物と考えられる舶載陶磁器が多量に含まれる。明代の景德鎮窯や漳州窯の碗や盤、皿を主とし、揃いのものも少なくない。国産のものとしては肥前の大皿や波佐見系の碗などがあり、陶器では手指や茶入といった茶器の類も良好な遺存状態で出土している。「御府内往還其外沿革図書」では、B588号が位置する土地の使用者は長らく「佐野九右衛門」となっており、こうした舶載陶磁器や茶器を所有する背景について、検討を深めていく必要があろう。

3 市谷邸西御殿の土地利用について

市谷邸西御殿に伴う遺構は、建物の基礎となる礎石跡を中心とし、近代以降のものも含めて807基が検出されている(第357図)。上部の礎石自体はほとんどが後世に取り去られているが、礎石の下部を根固めした掘り込みが良好に残っており、西御殿の建物配置を考えるうえで貴重な資料を得た。

検出された礎石跡は、平面が方形で、多くの事例でローム土と根石を交互に埋め固めている点で共通する。礎石跡の掘り方は、底面をローム層上面とするものが多く、大型遺構等の重複範囲ではこれらの遺構底面まで2m以上にわたって掘削と根固めが施されている例もある。地盤が安定したローム層を意識して建物基礎が掘削されていたのであろう。根石には中形～大形の亜円礎が多用され、間知石や割石を用いる近代以降の礎石跡とは一線を画する。その中で、B区西側でまとまって検出された蠍燭石を根石とする一群は異質である。蠍燭石による基礎は、近世では土蔵等にみることができるが、通常の礎石建物に利用される事例は多くない。本調査地点の場合、蠍燭石が用いられる範囲は大規模な採土坑B589・2843・5086号が所在した場所に相当し、広範囲にわたってローム層の検出面が自然地形に比べて低い位置まで掘削されている。こうした状況を踏まえ、より強固な基礎とするべく蠍燭石による基礎が選択されたものと考えておきたい。なお、これらの礎石群は第2次西御殿期の「御廊下」に相当する位置にあり、こうした建物配置上の理由からも、より強固な基礎を要した可能性がある。

市谷邸の礎石建物は、礎石跡の重複関係から、少なくとも2回にわたって建て替えが行われており、とりわけ第2次西御殿期における改築の様相を詳細に捉えることができる。個々の部屋との照合はここでは割愛するが、本調査で検出された礎石は、「市谷西御殿絵図」に描かれた当初の第2次西御殿と、「西御殿中惣図」に描かれた解体・改築後の建物配置にきわめて良く整合する。柱間は半間を基本的な単位としているようで、平面が長方形となる礎石跡も含め、これら半間の礎石跡は建物の角や廊下との連結箇所等に配される傾向が指摘される。また、絵図との照合に際しては井戸の配置も手

掛かりとなるが、とりわけ B 区中央南側の B2392 号と B2371 号は、第 2 次西御殿期における上述の 2 時期の変遷に沿って作り替えられたものと考えられる。

このように第 2 次西御殿期の様相が詳細に判明した一方で、第 1 次西御殿期に該当する礎石跡についてはほとんど認識できていない。本調査地点の南に隣接する『尾張藩上屋敷跡遺跡 I』の第 2 地点でも同様の傾向があり、検出された多数の礎石は第 2 次西御殿に帰属するものである。ただ、本調査地点で検出された礎石のうち、礎石列 62 のように平面形が円形のものや、第 2 次西御殿期の礎石跡に壊される形で並ぶ、深度が浅く掘り方底面がローム層まで至らない一群については一考の余地があろう。

市谷邸に関連する他の遺構として、石組遺構は、絵図に表現がなく照合が難しいが、基本的に礎石跡との重複ではなく、それそれが同時期に併存していた可能性を示唆する。また大規模な水利施設と考えられる B3025・3070・3084 号は、西御殿に関する絵図では第 1 次・第 2 次とともに北東隅の空閑地に位置しており、遺構の作り替えの様相からも長期にわたって機能した施設と考えられる。

大型土坑では、19 世紀代に比定される C244・251・536 号が市谷邸に関連するものと考えられる。これらの土坑は、その配置も第 2 次西御殿の東側で建物と干渉しない地点に位置している。とりわけ C536 号では、多量の陶磁器・土器とともに、ガラス製や骨角製の簪・笄・櫛等の結髪道具がまとまって出土している。また木製品では漆塗りの調度品も多い。第 2 次西御殿では、本土坑が隣接する御殿東側に長局が配されており、「西御殿中惣図」ではその解体がなされている。ここから、C536 号は長局解体に伴う廃棄土坑である可能性が指摘される。

出土遺物では、「葵」の文様が施された陶磁器・土器・木製品のほか、記銘資料も注目される。陶磁器・土器への記銘例では、年号のほか、人名や役職名、部屋名など、市谷邸にまつわる資料も多く、既往調査資料も併せて今後詳細な検討を必要とする。

4 近代以降の土地利用について

市谷邸は、明治時代になると政府から上地され、その跡地は陸軍関係の施設として利用されることとなる。今回の調査では、明治年間の東京鎮台砲兵営の建物跡と思われる布掘り基礎と石組溝、また昭和年間の陸軍幼年学校の建物跡と思われる鉄筋コンクリート建物基礎や配管類なども確認されている。これら近代の遺構群は、警視庁特科車両隊の舗装直下から検出され、現代の大きな擾乱も少なく、全体像をよく把握できる好例と言える。

明治年間の建物基礎は、東西に軸を持つ建物が 2 棟並び、各建物は布掘り基礎とその外周の石組溝がセットとなる。布掘り基礎は大形の礫を充填して根固められており、市谷邸で使用されていたと思われる礎石や間知石が多く含まれる。また近世の墓石も多く、これらは廢仏毀釈によって投棄されたものと考えられる。紙幅の都合から墓石の詳細は示し得ないが、銘や家紋を有するものについては原則として拓影等の記録を実施しており、採取したデータのうち紀年銘の年代別数量を第 358 図に示した。元和年間から安政年間まで近世を通じて確認されており、年数が長い元禄年間・享保年間・宝暦年間は墓石の数量も多い傾向にある。

東京鎮台砲兵営の建物の平面形態を特徴付けるのは石組溝で、建物端の南北の張り出しが注目される。これらは出入口を示す箇所と考えられ、地図との照合においても重要な手掛かりとなった。また、

その他の施設として挙げられる小規模な礎石建物2棟は、放射状に配列された平面長方形の礎石跡が特徴的で、布掘り基礎建物の北側に配された高層の建造物と考えられる。

陸軍幼年学校の建物は、鉄筋コンクリート製の基礎による屢が南北に並び、これらの東側には馬に関連する施設が位置する。屢は短冊状に仕切られた多数の部屋からなる建物で、通常の建築物とは間取りが異なっており特殊である。出土遺物からの裏付けは乏しいが、陸軍幼年学校の建物配置図との比較からも妥当なものと判断される。

建物に伴う配管類も多数検出されている。土管と連結するコンクリート枠も含めて陸軍幼年学校に伴うインフラと考えられ、土管から鉄管への少なくとも2段階の変遷が想定される。B区では配管の南側に防空壕と考えられる大型土坑が並んでおり、本地点が陸軍参謀本部となったのちも計画的な土地利用がなされていた様子が窺える。

近代以降の出土遺物は多くないが、陶磁器や歯ブラシには軍用品が含まれる。ガラス瓶の中には現代のものも一定数あり、それらはおよそ1960年代までに帰属する。地図や航空写真によれば、現在調査地点は太平洋戦争による被災を免れ、現在の警視庁特科車両隊および財務研修所が建設される1960年代末まで、若干の改修等はありながらも上述の鉄筋コンクリート建物が機能していたことが明かとなっている。こうした建物の沿革は、出土したガラス瓶の年代観とも整合するもので、本調査地点の近代から現代への土地利用変遷の画期を示すものと考えられる。



第358図 紀年銘を有する墓石の年代別数量

(大網信良)

引用・参考文献

- 安芸穂子 2008 「江戸出土人形の時期的変遷」『関西近世考古学研究 16 土人形が見た近世社会』 関西近世考古学研究会 51-62 頁
- 安芸穂子・大成可乃・大貫浩子・坂野貞子・成瀬晃司・堀内秀樹 1999 「東京大学構内遺跡出土陶磁器・土器の分類(1)」『東京大学構内遺跡調査研究年報 2』別冊 東京大学埋蔵文化財調査室 1-130 頁
- 安芸穂子・小林照子・堀内秀樹 2012 「東京大学構内遺跡出土人形・玩具の分類」『東京大学構内遺跡調査研究年報 8 2009・2010 年度』 東京大学埋蔵文化財調査室
- 井汲隆夫 1991 「江戸遺跡検出のやきもの分類」『四谷三丁目遺跡』別冊 新宿区四谷三丁目遺跡調査団 1-35 頁
- 井汲隆夫 1992 「第 2 章 検出遺物の概要と整理方法」『東京都新宿区 内藤町遺跡—放射 5 号線整備事業に伴う緊急発掘調査報告書— 第 II 分冊<遺物編>』 新宿区内藤町遺跡調査会 1-45 頁
- 市田京子 2000 「江戸時代の下駄」『江戸文化の考古学』(江戸遺跡研究会編) 吉川弘文館 26-54 頁
- 伊藤徳広 2018 「有史以降の黒曜石—利器以外の黒曜石利用—」『隱岐の黒曜石』 島根県立出雲歴史博物館 79-80 頁
- 上本進二・上杉 陽 1996 「神奈川県のテフラ層と遺跡層序—考古学のための Y-no.・S-no. 分層マニュアル」『関東の四紀』20 関東第四紀研究会 3-24 頁
- 内田祐治 1990 「下締内山遺跡出土の砥石」『清瀬市郷土博物館 年報 平成元年度』 清瀬市郷土博物館
- 内野 正 2004 「尾張藩市谷邸に葺かれた瓦の様相—尾張藩上屋敷跡遺跡出土資料からー」『研究論集』XX 東京都埋蔵文化財センター 43-62 頁
- 内野 正 2005 「出土陶磁器からみた尾張藩市谷邸の画期—柳茶碗・御小納戸茶碗・灰釉平碗の分析からー」『研究論集』XXI 東京都埋蔵文化財センター 1-21 頁
- 内野 正 2006 「尾張藩市谷邸で使用された陶磁器・土器の様相(1)—陶磁器碗類素描—」『研究論集』XII 東京都埋蔵文化財センター 41-64 頁
- 内野 正 2013 「尾張藩上屋敷における陶磁器組成の在り方—尾張藩上屋敷跡遺跡出土の 17 世紀から 18 世紀初頭の資料を中心としてー」『第 3 回近世陶磁研究会資料 江戸の武家地出土の肥前磁器—罹災資料と初期色絵・鍋島・柿右衛門ー』 近世陶磁研究会 230-276 頁
- 江戸遺跡研究会編 2001 『図説 江戸考古学研究事典』 柏書房
- 遠藤邦彦・千葉達朗・杉中佑輔・須貝俊彦・鈴木毅彦・上杉 陽・石綿しげ子・中山俊雄・舟津太郎・大里重人・鈴木正章・野口真利江・佐藤明夫・近藤玲介・堀伸三郎 2019 「武藏野台地の新たな地形区分」『第四紀研究』58 卷 6 号 日本国第四紀学会 353-375 頁
- 大成可乃 2011 「東京大学構内遺跡出土陶磁器・土器の分類(2)」『東京大学構内遺跡調査研究年報 7』 東京大学埋蔵文化財調査室 223-314 頁
- 大橋康二 1988 「18 世紀における肥前磁器の銘款について」『青山考古』第 6 号 青山考古学会 67-74 頁
- 岡 重文 1985 「関東地方南西部における中・上部更新統の地質の概要」『関東平野』第 2 号 関東平野研究会 3-27 頁
- 小川 望 1995 「「泉湊伊織」の刻印をもつ焼塙壺について—法量分布による若干の考察—」『東京考古』13 東京考古談話会 91-118 頁

- 小川 望 2000 「出土遺物から見る江戸の「タバコ」」『江戸文化の考古学』(江戸遺跡研究会編) 吉川弘文館
192-217 頁
- 小川 望編 2019 『考古調査ハンドブック 19 江戸の土器一付・江戸遺跡発掘調査報告書一覧一』 ニューサ
イエンス社
- 及川良彦 2005 「千代田区外神田四丁目遺跡出土木器ノート下駄 その 1-」『研究論集』XXI 東京都
埋蔵文化財センター 23-52 頁
- 金沢 陽 2017 「中国・明代の陶磁器国内流通一景德鎮窯といくつかの有力地方窯ー」『中近世陶磁器の考古
学 第七卷』(佐々木達夫編) 雄山閣 21-56 頁
- 金子 智 1993 「近世瓦の基本分類—江戸遺跡出土品を中心にー」『文学研究科紀要別冊第 20 集』早稲田大
学大学院文学研究科 133-143 頁
- 川田壽文 2004 「砥礪考一附 日本産砥石地名一覧表ー」『白門考古論叢 稲生典太郎先生追悼考古学論集』
中央考古学会・中央大学考古学研究会 367-406 頁
- 川田壽文 2020 「砥石の歴史」『多摩地域史研究会会報』第 143 号 多摩地域史研究会 1-16 頁
- 国立歴史民俗博物館編 1997 『お金の玉手箱一銭貨の列島 2000 年史ー』 国立歴史民俗博物館
- 越村 篤 2003 「第 2 節 近世木製品の分類・計測」『東京都新宿区 行元寺跡』(財)新宿区生涯学習財団
新宿歴史博物館 309-324 頁
- 越村 篤 2013 「江戸遺跡出土木製品の概観」『江戸遺跡研究会第 26 回大会 江戸と木の文化 発表要旨』
江戸遺跡研究会 69-90 頁
- 小林照子 2016 「西行の系譜—CT 画像からみた土人形の成形技法ー」『東京大学本郷構内の遺跡 医学部附
属病院入院棟 A 地点 研究編』東京大学埋蔵文化財調査室発掘調査報告書 13 東京大学埋蔵文化財調査室
287-302 頁
- 佐藤興平 2005 「砥沢の砥石: 地質と歴史」『群馬県立自然史博物館報告』9 群馬県立自然史博物館 1-9 頁
- 静岡いづみ会編 1997 『穴銭入門 宽永通宝ー新寛永の部ー』書信館出版(1992 初版)
- 新宿区内藤町遺跡調査会編 1993 『新宿内藤町遺跡に見る 江戸のやきものと暮らし』
(財)新宿区生涯学習財団新宿歴史博物館 2006 『徳川御三家 江戸屋敷発掘物語ー尾張家の誘いー展示圖
録』
- 鈴木伸哉 2013 「用語解説」『江戸遺跡研究会第 26 回大会 江戸と木の文化 発表要旨』 江戸遺跡研究会
II - III 頁
- 鈴木裕子 2005 「近世志戸呂窯由右衛門徳利一覺書ー」『東京考古』23 東京考古談話会 147-151 頁
- 鈴木裕子 2006 「近世志戸呂窯由右衛門徳利一覺書 2 (窯址採集資料から)ー」『東京考古』24 東京考古談
話会 121-127 頁
- 鈴木裕子 2013 「江戸出土の備前産の壺・甕・擂鉢・火鉢・花入等ー17 世紀を中心にー」『東京考古』31
東京考古談話会 83-113 頁
- 鈴木裕子 2014 「江戸出土の備前産の小壺・広口壺・煎餅皿等ー19 世紀を中心にー」『東京考古』32 東京
考古談話会 101-126 頁
- 瀬戸市史編纂委員会編 1993 『瀬戸市史 陶磁史篇五』瀬戸市
- 瀬戸市史編纂委員会編 1998 『瀬戸市史 陶磁史篇六』瀬戸市

- (財)瀬戸市文化振興財団埋蔵文化財センター 2006 『江戸時代の瀬戸窯』
- (財)瀬戸市文化振興財団埋蔵文化財センター 2006 『江戸時代のやきもの一生産と流通ー』
- 瀬澤武雄・西脇 康編 1999 『日本史小百科 貨幣』 東京堂出版
- 谷田有史 2000 『江戸時代のたばこ』『江戸文化の考古学』(江戸遺跡研究会編) 吉川弘文館 171-191 頁
- 坪井利弘 1986 『図鑑 瓦屋根(改訂版)』 理工学社
- 東京都埋蔵文化財センター 2015 『港区 旗本花房家屋敷跡遺跡』 東京都埋蔵文化財センター調査報告第306集
- 東京都埋蔵文化財センター 2020 『新宿区 四谷一丁目遺跡』 東京都埋蔵文化財センター調査報告第350集
- 豊島区遺跡調査会 1998 「陶磁器・土器分類・計測基準」「伝中・上富士前II」別冊 豊島区教育委員会
1-22 頁
- 中井さやか 1992 「近世の漆椀について—その器種と組み合わせを考えるー」『江戸の食文化』(江戸遺跡研究会編) 吉川弘文館 180-204 頁
- 長佐古真也 1992 「近世「徳利」の諸様相—瀬戸・美濃産灰釉系徳利をめぐる型式学的考察ー」江戸遺跡研究会編『江戸の食文化』 吉川弘文館 63-92 頁
- 中野高久 1999 「江戸遺跡にみる貝殻の利用—牡蠣殻葺屋根、貝杓子を中心にしてー」『東京考古』17 東京考古談話会 87-96 頁
- 仲光克顕 1998 「墨田区江東橋二丁目遺跡にみる江戸の土製品生産」『東京考古』16 東京考古談話会 113-129 頁
- 名古屋市博物編 2008 『特別展 尾張名古屋は地下で待つ 城下町大発掘』
- 成瀬晃司 2013 「罹災資料にみる大名藩邸の陶磁器諸相一天和2年・元禄16年の加賀・大聖寺・富山藩邸出土資料からー」『第3回近世陶磁研究会資料 江戸の武家地出土の肥前磁器・罹災資料と初期色絵・鍋島・柿右衛門ー』 近世陶磁研究会 120-193 頁
- 日本貨幣商協同組合編 2021 『日本貨幣カタログ 2022年版』 日本貨幣商協同組合
- 樋上 昇 2012 『考古学調査ハンドブック④ 出土木製品の保存と対応』 同成社
- 藤木 聰・谷畠美帆 2020 「江戸時代の遺構から出土する黒曜石製「火打石」について」『資源環境と人類』 第10号 明治大学黒曜石研究センター 59-64 頁
- 増尾富房 2000 『江戸時代の銭貨・寛永通宝』『江戸文化の考古学』(江戸遺跡研究会編) 吉川弘文館 260-272 頁
- 水本和美 1998 「消費地出土の「鍋島」」『東京考古』16 東京考古談話会 77-111 頁
- 森村健一 2017 「福建省漳州窯の研究—漳州窯陶磁と「茶人の都・堺」の茶の湯ー」『中近世陶磁器の考古学 第七巻』(佐々木達夫編) 雄山閣 91-120 頁
- 森本伊知郎・鈴木裕子 2001 「天明期の墨書を記した植木鉢—江戸における植木栽培・園芸との関係からー」『東京考古』13 東京考古談話会 119-148 頁
- 萩田みゆき 2013 「寒梅館地点出土の歯ブラシ形骨加工品—2002年度大学会館(室町殿跡)発掘調査に伴う事例報告ー」『同志社大学歴史資料館 館報』16 同志社大学歴史資料館 54-62 頁

報告書抄録

ふりがな	いちがやはんmuらちょういせき							
書名	市谷本村町遺跡							
副書名	市ヶ谷警察総合庁舎の整備に伴う埋蔵文化財調査（A区～C区）							
シリーズ名	東京都埋蔵文化財センター調査報告							
シリーズ番号	第377集							
編著者名	大綱信良 寺西朗平 渋谷葉子 長佐古真也 鈴木伸哉 パリノ・サーヴェイ株式会社							
編集機関	公益財団法人東京都教育支援機構 東京都埋蔵文化財センター							
所在地	〒206-0033 東京都多摩市落合一丁目14番2 TEL 042-374-8044							
発行年月日	西暦 2023年 11月 30日							
ふりがな 所取遺跡名	ふりがな 所在地	コード	北緯	東経	発掘期間	発掘面積	発掘原因	
いちがやはんむらちょう いせき 市谷本村町 遺跡	とうきょうとしんじゆく いちがやはんむらちょう 東京都新宿区 市谷本村町 7	市町村 13104	遺跡番号 61	35° 41' 43"	139° 43' 34"	20171101 ～ 20200331	11,777m ²	市ヶ谷 警察総合庁舎 の整備
所取遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項			
市谷本村町 遺跡	包蔵地 屋敷	縄文時代	土坑・ビット	土器・石器	・尾張藩拝領前の旗 本屋敷期における道 路状遺構と地下室等 を検出。 ・市谷邸（尾張藩徳 川家上屋敷）西御殿 の礎石建物と廃棄遺 構等を検出。 ・市谷邸（尾張藩徳 川家上屋敷）西御殿 の礎石建物と廃棄遺 構等を検出。			
		古墳時代		土器				
		江戸時代	礎石跡・石組溝・ 石組遺構・地下 室・採土坑・井 戸・道路状遺構・ 埋桶・胞衣埋納 遺構・溝状遺構・ 土坑・ビット	磁器・陶器・瓦・ 煉瓦・石製品・ ミニチュア製品・ 木製品・石製品・ 金属製品・銭貨・ 骨角製品・ガラス 製品・自然遺物				
近代	建物基礎・井戸・ 土管・鉄管・防 空壕・埋蔵・土坑・ ビット	磁器・陶器・瓦・ 煉瓦・石製品・ 金属製品・銭貨・ 骨角製品・樹脂 製品・ガラス製品						
要約	市谷本村町遺跡は、17世紀中頃から幕末まで尾張藩徳川家の市谷邸が所在した場所と、その東側の寺院などを含む遺跡である。今回の発掘調査は、市谷本村町遺跡の北西側、市谷邸西御殿の北半部にあたり、明和5年以前には旗本屋敷や火除地などがあった場所とされる。調査の結果、江戸時代の礎石跡・井戸・道路状遺構・地下室や土取り穴などのほか、2,000基を超える土坑やビットが検出された。遺構の時期は、①市谷邸西御殿以前の江戸時代の土地利用、②市谷邸西御殿に伴う土地利用、③近代の陸軍施設に伴う土地利用、という大きく三つの時期に分類される。①西御殿以前の遺構では、「御府内往還其外沿革図書」に描かれた尾張藩拝領前に存在した往来と考えられる道路状遺構が調査区全体で検出された。②市谷邸西御殿に伴う遺構は、約700基の礎石跡を中心とし、第二次西御殿の建物配置が明確となった。③近代の陸軍に伴う遺構では、「東京鎮台砲兵營」・「陸軍中央幼年学校」に伴う建物基礎や配管類が検出された。							

印刷仕様		
表紙	レザック	215kg (四六判)
見返し	上質紙	135kg (四六判)
本文	マットコート紙	90kg (四六判)
写真図版	マットコート紙	90kg (四六判)
印刷方式	オフセット印刷	
使用インク	エコマーク商品認定基準に適合	
製版線数	150 線 (カラー 175 線)	
本書は永久保存を考慮し、すべて中性紙を使用		

新宿区

市谷本村町遺跡

—市ヶ谷警察総合庁舎の整備に伴う埋蔵文化財の調査（A 区～C 区）—
 東京都埋蔵文化財センター調査報告 第 377 集
 (第二分冊)

2023 年 11 月 30 日 発行

編集・発行 公益財団法人東京都教育支援機構
 東京都埋蔵文化財センター
 東京都多摩市落合一丁目 14 番 2
 TEL 042 - 374 - 8044

印刷 明誠企画株式会社
 東京都武藏村山市榎 2-25-5

